コンバイン：MY2015
S660、S670、S680、S685、
S690、HillMaster

オペレータマニュアル

コンバイン：MY2015
S660、S670、S680、S685、S690、
HillMaster

OMHXE81366 号 G4 版 (JAPANISCH)

John Deere GmbH & Co. KG
John Deere Werk Zweibrücken
欧州版
Printed in U.S.A.

導入

序文

このマニュアルをよく読んで、機械を正しく運転、整備する方法を習得してください。そうでないと、けがや機器の損傷を招く恐れがあります。このマニュアルと機械上の安全標示ラベルは、他の言語でも入手可能です (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

このマニュアルは常に本機の一部と見なし、本機を売却する場合は一緒に引き渡してください。

このマニュアルでは、メートル法、および対応するヤード・ポンド法の両方で寸法が記載されています。正しい交換部品とボルト、ナット類のみを使用してください。メートル表記またはインチ表記の留め具には、特定のメートル表記またはインチ表記のレンチが必要になる場合があります。

右側か左側かは、前進方向に向かった状態で決まります。

製品識別番号 (P.I.N.) を「仕様」セクションまたは識別番号のセクションに記入してください。すべての数字を正確に記入しておくと、盗難時に機械を追跡するために役立ちます。この番号は取扱店で部品を注文する際にも必要になります。識別番号を機械から離れた、安全な場所に保管してください。

公開されている工場仕様を超える燃料供給の設定や、過剰な動力供給をすると、この機械の保証は無効となります。

この機械を納入する前に、販売店は納品前点検を実施しています。最初の 20〜50 時間運転の後、最高性能を引き出すために取扱店による販売後点検を計画してください。

このコンバインは、通常の農業または同様の作業で使用することのみを目的としています (「使用目的」)。他の方法に使用すると、使用目的に反していると見なされます。メーカーは、このような誤使用の結果として生じた損傷やけがについて一切責任を負いません。これらの危険はすべてユーザーが負う必要があります。また、メーカーの指定する操作、整備、修理の条件を順守し、厳密に従うことも使用目的の必須要素です。

このコンバインは、その個々の特性すべてに習熟し、関連する安全規則 (事故防止) に精通している人が操作、整備、および修理する必要があります。事故防止規則、一般的に認められている安全衛生上の規則、交通法規を常に順守する必要があります。このコンバインを勝手に改造した場合、その結果として生じる損傷やけがに対してメーカーはすべての責任を免除されます。

中古車両についても登録を行ってください。認可を受けた John Deere 取扱店から中古車両の John Deere 製品を購入した場合、取扱店により保証に関する登録情報が更新されるため、お客様自身が情報を提供する必要はありません。

オークション、トレーダー、または農場主から中古車両の John Deere 製品を購入した場合は、すぐに登録を行ってください。John Deere と John Deere 取扱店では、お客様に安全と満足をお届けすることを尊重しています。John Deere 取扱店は、お使いの作業機のため最高レベルのサポート体制を準備するとともに、提供することを望んでいます。お住まいの国に対応した John Deere のウェブサイトから、お客様の製品詳細と連絡先をオンラインでご入力ください。その後、希望する取扱店をお選びいただければ、認可済み John Deere 製部品の購入に使用できるクーポンをお届けいたします。

識別図

OUO6075,00013F0 -40-28FEB13-1/1

ページ

安全機能
機械の安全機能 05-1

安全
安全情報の確認 10-1
シグナルワードの理解 10-1
安全上の注意事項の順守 10-1
機械の運転 10-2
道路交通規制の順守 10-2
機械の安全の点検 10-2
機械への同乗者および子供の接近の禁止 10-2
安全な接地接触のためのバラスト 10-3
ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送 10-3
送電線の回避 10-3
機械を駐車して離れる際の注意 10-3
作業場所の換気 10-4
燃料の安全な取り扱い：火災防止 10-4
緊急事態に対する準備 10-4
エンジン始動液の安全な取り扱い 10-5
火災が発生した場合 10-5
燃料再補充時の静電気発生リスクの防止 10-6
保護服の着用 10-6
収穫装置に近づかない 10-6
ナイフに手を近づけない 10-7
安全灯と安全装置の使用 10-7
シートベルトの着用 10-7
ヘッダー付きのコンバインの安全な輸送 10-8
機械の暴走または予期しない動きの防止 10-8
安全メンテナンスの慣行 10-9
電子コントロールユニット近くでの溶接 10-9
溶接または加熱前の塗料の除去 10-10
加圧流体ライン近くでの加熱の回避 10-10
可動部品との接触の回避 10-10
グレインタンクの清掃と詰まりの除去を
安全に行う 10-11
回転している駆動系の回避 10-11
すべてのシールドとガードの取り付け 10-11
高圧流体の回避 10-12
高圧燃料システムの開放禁止 10-12
アキュムレータシステムの安全な整備 10-12
高圧噴霧からの保護 10-13
タイヤの安全な整備 10-13

ページ

タイヤに関する推奨事項の順守 10-13
廃棄物の適切な処分 10-14
冷却システムの安全な整備 10-14
溜まっている作物屑の除去 10-14
機械の適切な支持 10-15
アタッチメントの安全な保管 10-15
ドライブベルトの安全な整備 10-15
電子部品とブラケットの安全な取り扱い 10-16
後退時の事故の回避 10-16
バッテリの安全な取り扱い 10-17
エグゾーストフィルタの安全な清掃 10-18
高温排気の回避 10-18
エグゾーストフィルタクリーニング 10-19

安全標示ラベル
絵入りの安全標示ラベル 15-1
安全標示ラベルの交換 15-1
オペレータマニュアル 15-1
修理とメンテナンス 15-2
シートベルト 15-2
パーキングブレーキ 15-2
圧力がかかっている作動油および気体 15-3
アキュムレータ 15-3
低く垂れ下がっている送電線の回避 15-3
グレインタンク 15-4
非常出口 15-4
キャビン／プラットフォームアクセスタラップ 15-4
車両との衝突の回避 15-5
ダブルタイヤホイール (装備されている場合) 15-5
フィーダーハウス安全ストップ 15-5
フィーダーハウスガード 15-6
圧力がかかっている作動油および気体 15-6
アキュムレータ 15-6
フィーダーハウスコンベアチェーン 15-7
フィーダーハウス傾斜フレーム 15-7
左ガード 15-7
グレインタンククリーンアウトドア 15-8
動力折りたたみ式アンローディングオーガ
(装備されている場合) 15-8
バッテリボックス 15-8
圧力がかかっている作動油および気体 15-9
アキュムレータ 15-9

次のページへ

本文書は翻訳版です。記載されているあらゆる情報、
画像、仕様は、原本発行時の最新情報に基づきます。
予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

COPYRIGHT © 2014
John Deere GmbH & Co. KG Mannheim Regional Center
Zentralfunktionen
All rights reserved.
A John Deere ILLUSTRUCTION ® Manual

ページ

チョッパー 15-10
スプレッダー 15-10
スプレッダーロックアウト 15-11
リアアクセスタラップと整備プラットフォーム 15-11
火災防止 15-11
グレインタンク 15-12
圧力がかかっている作動油および気体 15-12
アキュムレータ 15-13
冷却システム 15-13
グレインタンクから離れる 15-13
クリーングレインローディングオーガの回避 15-14
ロータリースクリーンドアとラジエータファン 15-14
クリーングレインエレベーター 15-14
ストーントラップ 15-15
圧力がかかっている作動油および気体 15-15
アキュムレータ 15-15
フィーダーコンベア駆動装置ガード 15-16
スタータ 15-16
排気温度 (ファイナル ティア 4／ステージ IV) 15-16

コントロールと計器

コントロールと計器の全体図 20-1

オーバーヘッドコントロールパネル

オーバーヘッドコントロールパネル 25-1
マイク (オプション) 25-1
ミラーヒータースイッチ (オプション) 25-1
ミラーコントロールスイッチ (オプション) 25-2
ラジオの種類 (オプション) 25-2
アフターマーケットラジオ 25-3
現地周波数へのラジオのプログラム 25-3
ラジオのコントロール 25-3
アンテナ 25-3
通信／CB 無線機の取り付け 25-4

CommandCenter™ ディスプレイ画面

ひじかけディスプレイのナビゲーション
(GreenStar™ 3 CommandCenter™
非タッチスクリーン) 30-1
ひじかけディスプレイのナビゲーション
(GreenStar™ 3 CommandCenter™
タッチスクリーン) 30-2
ひじかけディスプレイのナビゲーション
(GreenStar™ 3 2630 ディスプレイ) 30-3
ディスプレイナビゲーションのレイアウト 30-4
ディスプレイアイコンの識別 30-8
ディスプレイ領域のレイアウト 30-10
ディスプレイの左領域のレイアウト 30-11
コンバイン：メイン画面 30-11
サイドベルト回転数低減
およびグレインタンク充満センサー
(システムモニタリングアイコン) 30-12
アンローディングオーガ
(システムモニタリングアイコン) 30-12

ページ

インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン) 30-12
Harvest Smart™ Feed Rate (装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン) 30-13
手動記録 ON/OFF 30-13
機械の詳細設定の再構成 30-14
パフォーマンスモニタ設定の再構成 30-14
収穫情報画面 30-15
収量ウェットまたは収量ドライの選択
および刈幅の変更 30-17
圃場総収量の消去 30-18
作物総収量の消去 30-19
コンバインの設定画面 30-19
グレインタンクレベルとアンローディングレート
オフセットの設定 30-23
折りたたみ機能の設定 30-24
残留物管理の設定 30-25
水分の設定および収量単位の設定の変更 30-26
収量較正 30-27
単点収量較正または多点収量較正 30-34
タイヤ半径コードの変更 30-34
水分センサー温度の較正 30-35
水分と密度の一覧表 30-36
標準重量表 30-36
作物および穀粒ロスの設定の変更 30-37
機械の設定の変更 30-39
名前をカスタマイズした作物 30-40
インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合)
(キャビン内推奨事項) 30-41
インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合)
(キャビン外推奨事項) 30-49
Harvest Smart™ Feed Rate (装備されている場合) 30-54
ヘッダー設定画面 30-54
ヘッダーの設定の変更 30-57
自動ヘッダー制御 (AHC) の設定 30-61
マルチファンクションレバーの設定 30-62
エンジン情報画面 30-62
エグゾーストフィルタクリーニング
(インテリムティア 4／ステージ III B および
ファイナル ティア 4／ステージ IV) 30-63
エンジン回転数管理 (ProDrive™ 装備の機械) 30-64
エンジンクールダウン進行中
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 30-65
診断および較正画面 30-65
ラジオソースの選択 30-67
MW/LW ホームページ 30-68
CD/MP3 ホームページ 30-70
USB ホームページ (プレミアムラジオ) 30-72
AUX (Auxiliary) ホームページ 30-74
Bluetooth® オーディオ 30-74
ラジオの設定 30-75
電話の操作 (プレミアムラジオ) 30-76
電話帳 (プレミアムラジオ) 30-77
電話ディレクトリ (プレミアムラジオ) 30-78

次のページへ

ページ

電話の設定 (プレミアムラジオ)..... 30-79
輝度レベルと境界ボックスの色..... 30-81
地域設定、言語、時刻／日付設定、測定単位 30-84
診断結果、バージョン情報、
　ディスプレイテスト..... 30-87
複数のディスプレイと補助制御装置の接続..... 30-89
メッセージセンターアプリケーション..... 30-90
パフォーマンスモニタアプリケーション 30-92
レイアウトマネージャアプリケーション 30-94
ビデオインターフェース機能 30-95
ビデオの安全 30-96
ビデオアプリケーション (装備されている場合)..... 30-96
アクセスマネージャアプリケーション..... 30-98

CommandTouch™ ひじかけコンソール

ひじかけコンソールのコントロール 35-1
ヘッダー接続／フィーダーハウスリバーサスイッチ 35-2
フィーダーハウスリバーサのシフト 35-3
セパレータ接続スイッチ 35-3
Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ
　(装備されている場合) 35-4
エンジン回転数スイッチ 35-5
パーキングブレーキスイッチ
　(装備されている場合) 35-5
押しボタンシフトギアスイッチ
　(装備されている場合) 35-6
ProDrive モード 1、2 スイッチ (ProDrive 装備の機械)
　(装備されている場合) 35-6
四輪駆動スイッチ (装備されている場合) 35-8
デフロックスイッチ (装備されている場合)..... 35-8
ヘッダー高さ／HydraFlex™ 圧力制御ダイヤル 35-9
Dial-A-Speed™ ダイヤル 35-9
道路輸送切断スイッチ..... 35-10
折りたたみ機能ショートカットスイッチ
　(装備されている場合) 35-10
CommandARM™ コントロール 35-11
ヘッダー調整スイッチ..... 35-12
脱穀速度調整スイッチ..... 35-13
クリーニングファン回転数調整スイッチ 35-13
スプレッダー回転数調整スイッチ
　(わらスプレッダー および
　　PowerCast™ テールボードスプレッダー) 35-14
シュラウド調整スイッチ
　(Advanced PowerCast™ テールボード
　　スプレッダー)..... 35-15
ディスチャージスワップスイッチ
　(装備されている場合) 35-16
フィーダーハウスレート／感度調整スイッチ 35-17
脱穀隙間調整スイッチ..... 35-18
チャファー／ふるい調整スイッチ..... 35-18
テールボード羽根角度調整スイッチ
　(装備されている場合) 35-18
サイドベルト速度低減スイッチ..... 35-19

ページ

オペレータインターフェースコントロール 35-19
セットポイントモード (手動または自動)..... 35-20
HillMaster 水平調整制御スイッチ..... 35-22
ClimaTrak™ 自動温度コントロール..... 35-23
ライトスイッチ 35-24
ラジオ機能スイッチ (装備されている場合) 35-25
マルチファンクションレバーとパーム調整 35-25
マルチファンクションレバースイッチ 35-26
クイックストップスイッチ 35-27
アンローディングオーガ旋回スイッチ 35-27
アンローディングオーガドライブスイッチ 35-28
ヘッダー昇降スイッチ 35-28
横方向傾斜スイッチ..... 35-29
機械同期ボタン (装備されている場合)..... 35-29
プラットフォームリールリフト／
　リール前後スイッチ 35-30
コーンヘッドバックシャフト回転数／
　調整式デッキプレート間隔スイッチ 35-30
ヘッダー起動ボタン..... 35-31
AutoTrac™ 再開ボタン (装備されている場合)..... 35-31
ドレーパーカッターバー傾斜スイッチ、
　油圧フィーダーハウス前後傾斜スイッチ、
　　カッターバー前後スイッチ 35-32

CommandTouch™ キャビンコーナーポスト

CommandTouch™ キャビンコーナーポスト..... 40-1
アクティブヘッダー制御ディスプレイ 40-4
自動ヘッダー高さ制御システムの説明 40-4
起動ボタンモードの組み合せ..... 40-5
ヘッダー高さ再開..... 40-6
ヘッダー高さ検出..... 40-8
ヘッダー高さ検出
　(HydraFlex™ プラットフォーム)..... 40-10
Dial-A-Speed™ システム..... 40-12
横方向傾斜システム (オプション)..... 40-14
アクティブヘッダーフロート..... 40-16
リール位置再開 40-18
デッキプレート位置再開..... 40-20
油圧フィーダーハウス前後傾斜
　(装備されている場合)..... 40-22
カッターバー前後位置
　(欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)..... 40-24
VisionTrak™ ディスプレイ 40-26
VisionTrak™ パフォーマンスモニタ (一般情報) 40-28
VisionTrak™ パフォーマンスモニタ：操作 40-29
VisionTrak：機械での予備調整 40-32
VisionTrak™ 作動点検 40-32

較正手順

較正手順：較正の時期 45-1
較正手順..... 45-2
較正エラーコード..... 45-2

次のページへ

ページ

オペレータステーション

マニュアルの保管場所 50-1
非常出口 50-1
John Deere FarmSight™ イーサネット接続
(装備されている場合) 50-1
ComfortCommand オペレータシート
(ベーシックシート) : 調整 50-2
ComfortCommand™ オペレータシート
(プレミアムクロスシート) : 調整 50-3
ComfortCommand™ オペレータシート
(プレミアムレザーシート) : 調整 50-4
左側ひじかけおよびシートバック (ベーシックシート) :
調整 50-5
左側ひじかけおよびシートバック
(プレミアムクロス／レザーシート) : 調整 50-5
シートヒーター／換気スイッチ
(プレミアムレザーシート) 50-6
ランバーサポートスイッチ
(プレミアムレザーシート) 50-6
教習シート : 調整 50-7
冷蔵庫 (装備されている場合) 50-7
シートベルト 50-8
ひじかけコントロールコンソール : 調整 50-8
ひじかけディスプレイ : 調整 50-8
補助電源コンセント 50-9
キャビンタラップ位置 (シングルタイヤ構成) 50-9
キャビンタラップ位置 (ダブルタイヤ構成) 50-10
消火器 50-10
消火器の位置 50-11
ステアリングコラム 50-11
ウインドシールドワイパー／ウインドシールド
ウォッシャスイッチ 50-12
ギアシフトレバー (装備されている場合) 50-12
手動パーキングブレーキ (装備されている場合) 50-12
ブレーキペダル 50-13
手すりと右側踊り場アクセス 50-13
GreenStar™ ディスプレイと
Harvest Monitor/Harvest Doc™ システム 50-13

ライトとシグナル

ライトスイッチ 55-1
ライトの位置 55-2
運転ライト (ロシアのみ) 55-8
照明の遅延／タイムアウト 55-8
ターンシグナル 55-8
キャビンインテリアライト 55-9
マップライト 55-9

フィーダーハウス

油圧シリンダ安全ストップ 60-1
フィーダーハウスサイドシールド 60-1
フィーダーハウスドア 60-2
フィードアクセルレータのトップアクセスドア 60-2

ページ

フィーダーハウス底部ドアと
フィードプレートシールサポート 60-3
ストーントラップ 60-3
フィーダーハウス前後傾斜フレームの調整と設定 60-4
フィーダーハウスコンベアチェーン : 調整 60-6
フィーダーハウスコンベアチェーンリンク :
取り外し 60-7
フィーダーハウスドラム : 高さ調整 60-8
フィーダーハウスコンベア速度 : 変更 60-8
フィーダーハウスコンベアドライブチェーン :
調整 60-10
フィーダーハウス上部シャフトスプロケット 60-11
フィーダーハウスバリアブルスピードドライブベルト :
交換 60-11
フィーダーハウスバリアブルスピードドライブベルト :
調整 60-13
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(バリアブルスピードフィーダーハウス) : 交換 60-17
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(バリアブルスピードフィーダーハウス) : 調整 60-22
フィーダーハウス固定速度ドライブベルト : 交換 60-22
フィーダーハウス固定速度ドライブベルト : 調整 60-23
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(固定速度フィーダーハウス) : 交換 60-23
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(固定速度フィーダーハウス) : 調整 60-26
CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス
ドライブベルト : 交換 60-26
CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス
ドライブベルト : 調整 60-27
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) :
交換 60-27
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) :
調整 60-29
手動傾斜インジケーター (横方向傾斜システム) 60-29
マルチカプラーとシングルポイントラッチの
取り付け 60-30
フィーダーハウスへのヘッダーの取り付け／
取り外し 60-33
シングルポイントラッチ : 調整 60-34
平地フィーダーハウス下部ケーブル端 : 調整 60-36
平地フィーダーハウス : シム調整 60-36
フィーダーハウスラッチピン (清掃) 60-37
フィーダーハウスの手動ラッチ解除 60-37
せん断ねじの位置 60-37

シールド

ガルウイングドア 65-1
左サイドシールド 65-2
右サイドシールド 65-4
セパレータカバー 65-5

次のページへ

ページ

セパレータ

標準フィードアクセルレータ摩耗ストリップ：
交換 70-1
難脱穀性作物用フィードアクセルレータの
摩耗ストリップ：交換 70-2
タインフィードアクセルレータの摩耗ストリップ：
交換 70-3
タインフィードアクセルレータのコームフロア
(イネ用機械) 70-4
フィードアクセルレータベルト：交換 70-7
フィードアクセルレータベルト：調整 70-8
標準速度大容量フィードアクセルレータ：
速度の変更 70-9
高速大容量フィードアクセルレータ：
低速への変更 70-10
コンケーブに関する推奨事項 70-10
コンケーブタイプ 70-11
セパレータ格子スペーサ 70-11
セパレータ格子の種類 70-12
セパレータ格子カバー (装備されている場合) 70-12
セパレータ格子インタラプタ
(装備されている場合) 70-13
セパレータ格子インタラプタの位置
(装備されている場合) 70-13
コンケーブセクターギアせん断ボルト
(標準型コンケーブの調整) 70-14
コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整)：
取り外しと取り付け 70-14
コンケーブセクション (アクティブコンケーブの分離)：
取り外しと取り付け 70-19
コンケーブの水平調整 (標準型コンケーブの調整) 70-27
コンケーブの水平調整
(アクティブコンケーブの分離) 70-30
セパレータトップカバー羽根
(装備されている場合) 70-39
脱穀エレメントおよびタイン (TriStream ローター)：
取り外しと取り付け 70-39
脱穀エレメントとセパレータタインの位置
(TriStream ローターラフグレイン構成) 70-41
脱穀エレメントとセパレータタインの位置
(TriStream ローターデンスパック構成) 70-42
脱穀エレメントおよびタイン
(バリアブルストリームローター)：
取り外しと取り付け 70-43
脱穀エレメントとセパレータタインの位置
(バリアブルストリームローター標準構成) 70-46
脱穀エレメントとセパレータタインの位置
(バリアブルストリームローターデンス
パック構成) 70-47
Posi-Torq™ セパレータ：デュアルレンジ 70-48
セパレータドライブシーブ隙間：調整 70-49
セパレータバリアブルドライブベルト：交換 70-50
オーガーベッドディバイダー 70-50

ページ

ディスチャージビーターベルト：調整 70-51
ディスチャージビーターベルト：交換 70-51
ディスチャージビーター摩耗ストリップ：
交換 (S660、S670) 70-56
標準ディスチャージビーター摩耗ストリップ：
交換 (S680、S685、S690) 70-57
難脱穀性作物用ディスチャージビーター摩耗ストリップ：
交換 70-58
オーバーショットビーターベルト (装備されている場合)：
調整 (S670、S680、S685、S690) 70-58
オーバーショットビーターベルト (装備されている場合)：
交換 (S670、S680、S685、S690) 70-59
オーバーショットビーター (装備されている場合)：
ウイングの交換 (S670、S680、S685、S690) 70-60
カウンタシャフト右フロントベルト：調整 70-61
カウンタシャフト右フロントベルト：交換 70-61
カウンタシャフト右リアベルト：調整 70-62
カウンタシャフト右リアベルト：交換 70-62
クリーニングシューエアシュート 70-62
クリーニングシューアクセスドア
(スプレッダー機械) 70-63
クリーニングシューオーガギア：手動クリーンアウトドア
(装備されている場合) 70-63
クリーニングシューオーガギア：クリーンアウトドア
(装備されている場合) 70-63
シュー、ファン、コンベアオーガベルト：調整 70-64
シュー、ファン、コンベアオーガベルト：交換 70-64
クリーニングファンベルト：交換 70-65
クリーニングファンアクチュエータ：調整 70-65
ディープツースフロントチャファー 70-65
チャファーとふるい：測定 70-66
汎用チャファー 29 mm (1-1/8 in) 70-66
ディープツースチャファー 41 mm (1-5/8 in) 70-67
汎用ふるい 29 mm (1-1/8 in) 70-67
高歯ふるい 29 mm (1-1/8 in) 70-67
チャファー／ふるい調整スイッチ 70-68
デュアルゾーン調整リアチャファー：調整 70-68
チャファー／ふるいエレメント：
取り外しと取り付け 70-68
チャファー／ふるいモーター：手動調整 70-71
クリーングレインエレベーターベルト：調整 70-72
クリーングレインエレベーターベルト：交換 70-72
クリーングレインエレベーターコンベアチェーン：
調整 70-73
2 番物システムエレベーターセンサー 70-74
2 番物システムエレベーターパドル 70-75
2 番物エレベータードライブベルト：
調整 (S660、S670) 70-75
2 番物システムエレベーターパドルチェーン：
調整 70-76
上部 2 番物オーガドライブチェーン：
調整 (S660、S670) 70-76

次のページへ

ページ

2 番物システムドライブベルト：調整 (S680、S685、S690) 70-77
2 番物システムドライブベルト：交換 (S680、S685、S690) 70-78
2 番物システムドライブチェーン：調整 (S680、S685、S690) 70-79
2 番物システムドライブチェーン：交換 (S680、S685、S690) 70-79
2 番物システムの摩耗ストリップおよびラスプバー：取り外しと取り付け (S680、S685、S690) 70-80
2 番物システムの摩耗ストリップおよびラスプバー：調整 (S680、S685、S690) 70-82
2 番物システムリターンコンケーブ：調整 (S680、S685、S690) 70-84
2 番物システムオーガクリーンアウトドア (S680、S685、S690) 70-84
ドライブベルト：左側 70-85
ドライブベルト：右側 (S660、S670) 70-86
ドライブベルト：右側 (S680、S685、S690) 70-87
フィードアクセルレータ：詰まり除去 70-87
セパレータ：詰まり除去 70-88
ディスチャージビーター：詰まり除去 70-88

チョッパーとスプレッダー (Deluxe Residue)

チョッパー (一般情報) 75-1
ウィンドロー (一般情報) 75-1
テールボード：調整 75-1
テールボード羽根 (手動調整)：調整 75-2
テールボード羽根 (電気モーター)：調整 75-2
テールボード羽根 (手動調整)：工場設定 75-3
テールボード羽根 (電動調整)：工場設定 75-4
PowerCast テールボード：調整 (オプション) 75-5
PowerCast テールボードブレード：交換 (オプション) 75-5
PowerCast テールボード (オプション) リアシュラウド 75-6
作物ダイバータ羽根：調整 75-8
作物ダイバータ 75-9
エアシュート 75-9
チョッパーアクセスドア 75-10
チョッパーコントローラバー (オプション) 75-10
チョッパー固定ナイフバンク：調整 75-11
チョッパー固定ナイフブレード：交換 75-12
ファインカットチョッパーブレード：交換と構成 75-13
チョッパーブレード：心出し 75-14
チョッパー調整スイッチ 75-16
チョッパードライブ速度：変更 75-16
チョッパードライブベルト張力：調整 75-17
チョッパーベルト：交換 75-18
チョッパージャックシャフトベルト：調整 75-23
チョッパージャックシャフトベルト：交換 (S660、S670) 75-24

ページ

チョッパージャックシャフトベルト：交換 (S680、S685、S690) 75-26
スプレッダー (一般情報) 75-30
スプレッダー：ウィンドロー位置 75-31
スプレッダー：下降 75-33
スプレッダーディスク (シングルスピード)：交換 75-34
スプレッダーディスク (デュアルスピード)：交換 75-35
ワイドスプレッドストロースプレッダー (オプション) 75-36

チョッパーとスプレッダー (中間およびプレミアムモデル)

チョッパー (一般情報) 80-1
ウィンドロー (一般情報) 80-1
テールボード羽根：調整 80-2
テールボード羽根 (電気モーター)：調整 80-2
テールボード羽根 (電動調整)：工場設定 80-3
作物ダイバータ羽根：調整 80-4
作物ダイバータ 80-5
エアシュート 80-5
チョッパーアクセスドア 80-6
オーバーショットビーターフロア (装備されている場合)：取り外し 80-7
チョッパーコントローラバー (オプション) 80-7
チョッパー固定ナイフバンク：調整 80-8
チョッパー固定ナイフブレード：交換 80-9
中間スプリッタナイフ：交換 80-10
エキストラファインカットチョッパーブレード：交換と構成 80-11
チョッパーブレード：心出し 80-12
チョッパー調整スイッチ 80-14
チョッパードライブ速度：変更 80-14
チョッパードライブベルト張力：調整 80-15
チョッパーベルト：交換 80-16
チョッパージャックシャフトベルト：調整 80-21
チョッパージャックシャフトベルト：交換 (S670) 80-22
チョッパージャックシャフトベルト：交換 (S680、S685、S690) 80-24
Advanced PowerCast スプレッダーディスク：交換 80-28
ウィンドローコンバージェンスレーキ 80-29

グレインタンクとアンローディングシステム

グレインタンク／エンジンタラップ 85-1
グレインタンクドレン穴 85-1
グレインタンクサンプルトラフ 85-2
グレインタンク充満センサー：調整 85-3
グレインタンクカバー (装備されている場合)：操作 85-4

次のページへ

ページ

グレインタンクカバー (装備されている場合) :
調整 ... 85-4
グレインタンククロスオーガカバー ... 85-5
せん断ボルトの位置 ... 85-5
アンローディングオーガドライブせん断ボルト ... 85-6
グレインタンクローディングオーガデフレクタ ... 85-6
グレインタンクローディングオーガ
(グレインタンクエクステンション) : 折りたたみ ... 85-7
グレインタンクローディングオーガ
(グレインタンクカバー) : 調整 ... 85-7
質量流量センサープレート
(グレインタンクエクステンション) : 清掃 ... 85-8
質量流量センサープレート (グレインタンクカバー) :
清掃 ... 85-9
アンローディングオーガドライブチェーン : 調整 ... 85-9
アンローディングオーガクレードルサポート :
調整 ... 85-10
アンローディングオーガ位置 : 調整 ... 85-10
アンローディングオーガロックアームの位置 ... 85-11
アンローディングオーガドライブベルト :
交換 (S660、S670) ... 85-11
アンローディングオーガドライブベルト :
交換 (S680、S685、S690) ... 85-13

整備 : 電気システム

電子コントロールユニット近くでの溶接 ... 90-1
電子コントロールユニットのコネクタの清掃 ... 90-1
電気に関する注意事項の順守 ... 90-2
コンピュータ制御システムを搭載した車両の
基本的な電気部品の取り扱い／
安全上の注意事項 ... 90-2
バッテリの安全な取り扱い ... 90-3
バッテリ : 安全な取り付け ... 90-4
バッテリケーブル : 接続 ... 90-4
バッテリ : 充電 ... 90-5
バッテリ : 比重の点検 ... 90-5
バッテリ : ブースターの接続 ... 90-6
バッテリ : 取り外しと取り付け (S660、S670) ... 90-6
バッテリ : 取り外しと取り付け
(S680、S685、S690) ... 90-8
バッテリ遮断スイッチ ... 90-9
ヒューズセンターカバー ... 90-9
ヒューズセンター ... 90-10
ハロゲンバルブ交換時の安全規則 ... 90-11
キャビンヘッドライトバルブ : 交換 ... 90-12
キャビンヘッドライト : 調整 ... 90-12
キャビンハロゲンライトバルブ : 交換 ... 90-13
キャビンハロゲンライト : 調整 ... 90-13
フェーシアライトバルブ (装備されている場合) :
交換 ... 90-14
下部運転ライトバルブ (装備されている場合) : 交換 ... 90-14
下部運転ライトバルブ (装備されている場合) : 調整 ... 90-15
高輝度放電 (HID) キセノンライト交換時の
安全規則 ... 90-15

ページ

高輝度放電 (キセノン) ライトバルブ (オプション) :
交換 ... 90-16
高輝度放電 (キセノン) ライト (オプション) : 調整 ... 90-17
ビーコンライトの交換
(発光ダイオード (LED) ライトなし) ... 90-17
ビーコンライトの交換
(発光ダイオード (LED) ライト) ... 90-18
ディスチャージライト、補助圃場ライト、
アクセスドアワークライト、スタッブルライト、
グレインタンク／アンローディングオーガライト :
交換 ... 90-18
サイドファインダーライト
およびクリーニングシューライト : 交換 ... 90-18
ハザード／マーカーライト、マーカー／ブレーキライト、
リアハザードライト : 交換 ... 90-19
キャビンインテリアライト : 交換 ... 90-19
マップライト : 交換 ... 90-20

診断トラブルコード

診断トラブルコードメニューへのアクセス ... 95-1
診断トラブルコードの優先順位 ... 95-3

グラウンドドライブとリア車軸

タイヤの安全な整備 ... 100-1
ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送 ... 100-1
タイヤ荷重ステッカー ... 100-1
タイヤの手入れと整備 ... 100-2
フロントタイヤおよびリアタイヤの情報 ... 100-3
駆動輪スタータスタッドボルト ... 100-3
駆動輪ボルトのトルク (シングルタイヤ構成) ... 100-4
フロント駆動輪オフセット ... 100-5
リアホイールボルトのトルク ... 100-6
液体ウエイトの使用 ... 100-6
バラスト要件 (S660) ... 100-7
バラスト要件 (S670) ... 100-8
バラスト要件 (S670 HillMaster™) ... 100-9
バラスト要件 (S680) ... 100-10
バラスト要件 (S685、S690) ... 100-11
バラスト要件 (S680 HillMaster™) ... 100-12
バラスト要件
(S685 HillMaster™、S690 HillMaster™) ... 100-13
ジャッキポケット位置のステッカー ... 100-13

慣らし運転整備

エンジンの慣らし運転 ... 105-1
ベルトドライブの調整 : 最初の 50 時間 ... 105-3
慣らし運転点検、最初の 100 時間 ... 105-4
慣らし運転整備、100 時間後
(ティア 2／ステージ II) ... 105-4
慣らし運転整備、400 時間後
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) ... 105-5

次のページへ

ページ

始動前点検

エンジンオイルレベル 110-1
ハイドロスタティックオイル／作動油のレベル 110-2
クーラントレベル 110-2
燃料システム 110-3
燃料タンクブリーザー 110-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 110-5
エンジンエアスクープの位置 110-5
エンジンエアスクープの位置設定 (標準圃場位置) 110-6
エンジンエアスクープの位置設定 (拡張圃場位置) 110-7
エンジンエアスクープの位置設定 (輸送位置) 110-8
エンジンルームの清掃 110-9

エンジンの運転

エグゾーストフィルタクリーニング 115-1
エグゾーストフィルタシステムの概要
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 115-1
エグゾーストクリーニングシステムを
無効化する時期 115-2
エグゾーストフィルタ AUTO モード
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 115-2
駐車エグゾーストフィルタクリーニング
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 115-3
エンジンクールダウン警告画面
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 115-4
物体検出センサー (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 115-5
SCR (選択触媒還元) システム
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 115-6
エンジンの始動 115-7
エンジンの停止 115-8
エンジン始動液の安全な取り扱い 115-8
寒冷時始動補助装置 (装備されている場合) 115-9
クーラントヒーター 115-10

整備：エンジン

リアタラップと踊り場 120-1
エンジンフィルタアクセスカバー 120-1
エンジンアクセスカバー 120-1
始動液缶の交換 120-2
エンジン出力や燃料／吸気システムの改造の禁止 120-2
燃料システム 120-2
エンジンオイルレベル 120-3
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク：
充填 (ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク：
抜き取り (ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-5
排ガス処理用尿素水 (DEF) ドージングフィルタ：
交換 (ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-6
燃料タンク：充填 120-7

ページ

燃料タンク：抜き取り 120-7
燃料タンク：シャットオフバルブ 120-7
ウォーターセパレータ 1 次燃料フィルタ：
抜き取り 120-8
燃料プレクリーナフィルタ：清掃 120-9
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)：
フラッシング 120-10
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-11
1 次および 2 次燃料フィルタエレメント：
交換 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-12
1 次および 2 次燃料フィルタエレメント：
交換 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-13
1 次および 2 次燃料フィルタエレメント：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-14
燃料システム、エア抜き 120-15
冷却システム：抜き取り 120-16
冷却システム：充填 120-18
冷却システム：冬季に対する準備 120-18
エンジンベルト：取り回し (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 120-19
エンジンベルト：取り回し (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-19
エンジン補機／ファンドライブベルト：
交換 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-20
エンジン補機ベルト：交換 (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-23
ファンドライブベルト：交換 (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-28
ロータリースクリーンベルト：取り回し 120-31
ロータリースクリーンドライブベルト：
交換 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-31
ロータリースクリーンドライブベルト：
交換 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-32
エンジンベルト：取り回し
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-33
エンジンベルト：取り回し
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-34
エアコンコンプレッサ／オルタネータベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-34
エアコンコンプレッサ／オルタネータベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-38
ロータリースクリーンドライブベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-43

次のページへ

ページ

ロータリースクリーンドライブベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690)..... 120-44
バキュームファンドライブベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-45
バキュームファンドライブベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690)..... 120-46
バキュームファン従動ベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-47
回転数可変ファンドライブベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-47
ファンドライブベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690)..... 120-52
ロータリースクリーン、オイルクーラー、コンデンサ、
ラジエータ、チャージャエアクーラー：清掃..... 120-56
ロータリースクリーンブラシ：調整 120-58
エンジンデブリマネジメントベルト：
交換 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)..... 120-58
エンジンデブリマネジメントエアフィルタ：
取り外し (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)..... 120-60
エアクリーナフィルタ：取り外し..... 120-61
ディーゼル微粒子フィルタのメンテナンスと整備
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)..... 120-62
エグゾーストフィルタ／ディーゼル微粒子フィルタの
灰の処理と廃棄 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) .. 120-62
エグゾーストフィルタの廃棄
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)..... 120-63

輸送

ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送 125-1
道路での機械の運転 125-1
バックアップアラーム..... 125-6
トレーラーによる機械の輸送 125-7
機械の結束位置ステッカー..... 125-12
輸送情報 125-12
機械の牽引
(機械式シフトトランスミッション装備の機械).... 125-13
機械の牽引 (押しボタンシフトおよび
ProDrive トランスミッション装備の機械)..... 125-14
半自動トレーラーヒッチ：取り付け (標準)..... 125-15

ページ

自動リアトレーラーヒッチ：
取り付け (オプション)..... 125-15
フロント牽引フック 125-15
リア牽引フック 125-16

収穫のヒント

低温時の運転..... 130-1
収穫のヒント..... 130-1

作物の設定

アルファルファ／オオムギ／アブラナ／ヒヨコ豆..... 135-1
トウモロコシ (ドライ)／トウモロコシ (ウエット)／
トウモロコシ穂軸混合／食用大豆 135-2
亜麻／牧草種子／グアー (クラスタマメ)／
ヒラマメ 135-3
ルピナス／キビ／カラシ／白インゲンマメ 135-4
カラスムギ／エンドウマメ／ポップコーン／
ナタネ (ドライ)..... 135-5
ナタネ (未乾燥)／イネ／ライムギ／ベニバナ..... 135-6
モロコシ／大豆／ヒマワリ／ライコムギ..... 135-7
コムギ (難脱穀性)／コムギ (普通)..... 135-8
脚注の説明ページ..... 135-9
コンケーブに関する推奨事項..... 135-9
動力の遮断手順 135-10

Harvest Smart™ Feed Rate (オプション)

Harvest Smart Feed Rate：
安全な操作 (装備されている場合)..... 140-1
Harvest Smart Feed Rate：説明..... 140-1
Harvest Smart™ Feed Rate：
スマートまたはキャパシティモード 140-1
Harvest Smart™ Feed Rate：目標圧力 140-2
Harvest Smart™ Feed Rate：最大エンジン出力..... 140-3
Harvest Smart™ Feed Rate：最大収穫速度..... 140-4
Harvest Smart™ Feed Rate：感度 140-5
Harvest Smart™ Feed Rate：ステータスの識別..... 140-6
Harvest Smart™ Feed Rate：初期較正 140-7
Harvest Smart™ Feed Rate：運転 140-8
Harvest Smart™ Feed Rate：追加情報
(アンローディングオーガ ON および圃場条件)..... 140-9
Harvest Smart™ Feed Rate：ベストプラクティス .. 140-10
Harvest Smart™ Feed Rate 制御：
システムと圃場の症状..... 140-11
Harvest Smart™ Feed Rate の
トラブルシューティング 140-12
Harvest Smart Feed Rate、
リンプモードと緊急モード..... 140-14

HillMaster™ 水平調整システム (装備されている場合)

HillMaster システム (一般情報) 145-1
HillMaster の日常操作の準備..... 145-3
HillMaster 水平調整制御スイッチ..... 145-4

次のページへ

ページ

火災防止

火災防止のための推奨事項 150-1
消火器の操作 150-1
燃料の安全な取り扱い：火災防止 150-2
緊急事態に対する準備 150-2
エンジン始動液の安全な取り扱い 150-2
溜まっている作物屑の除去 150-3
消火器 150-3
消火器の位置 150-3
火災が発生した場合 150-4
エンジンルームの清掃 150-4

機械の清掃

一般的な清掃のガイドライン 155-1
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物) 155-11

燃料と潤滑剤

燃料の安全な取り扱い：火災防止 160-1
燃料再補充時の静電気発生リスクの防止 160-1
燃料タンク：充填 160-2
ディーゼル燃料の取り扱いと保管 160-2
ディーゼル燃料 160-3
バイオディーゼル燃料 160-4
ディーゼル燃料の潤滑性 160-5
ディーゼル燃料の補助添加剤 160-5
ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響を
最小限に抑える方法 160-6
排ガス処理用尿素水 (DEF)
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-7
排ガス処理用尿素水 (DEF) のテスト
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-7
排ガス処理用尿素水 (DEF) の保管
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-8
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクへの補給
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-9
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの清掃
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-10
排ガス処理用尿素水 (DEF) の廃棄
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-10
ディーゼルエンジンクーラント (ウェットスリーブ
シリンダライナー付きエンジン) 160-11
John Deere COOL-GARD™ II Coolant Extender 160-12
温暖気候での運転 160-12
クーラント濃縮タイプと混合する場合の水質 160-13
クーラントの凝固点のテスト 160-14
ディーゼルエンジン慣らし運転オイル
(ティア 2／ステージ II) 160-15
John Deere Break-In Plus™ エンジンオイル
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-15
ディーゼルエンジンオイル
(ティア 2／ステージ II) 160-16

ページ

ディーゼルエンジンオイル
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-17
エンジンオイルとフィルタの点検間隔
(ティア 2／ステージ II) 160-18
エンジンオイルとフィルタの点検間隔
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 160-18
OILSCAN™ および COOLSCAN™ 160-19
ProDrive™ トランスミッション、CommandTouch™
マルチスピードフィーダーハウスドライブ、ハイドロ
スタティック駆動システム、メイン油圧システム、
メインエンジンギアケースオイル 160-19
トランスミッション (機械式シフトおよび押しボタンシフト)、
ファイナルドライブ、ローディングオーガ、プライマリカ
ウンタシャフトおよび 2 スピードセパレータ
駆動ギアケース 160-20
フィーダーハウスリバーサギアケース 160-21
グリース 160-21
ブレーキフルード (装備されている場合) 160-21
オイルフィルタ 160-22
燃料フィルタ 160-22
代替潤滑剤と合成潤滑剤 160-22
潤滑剤の保管 160-22
潤滑剤の混合 160-22

潤滑とメンテナンス

点検間隔：消去または遅延 165-1
潤滑ステッカーの位置 165-2
油圧ホースの交換 165-3
油圧システムの清浄度 165-3
アキュムレータ圧力 165-3
潤滑記号 165-4
10 時間ごと 165-4
10 時間ごと 165-5
10 時間ごと (HillMaster™ 装備の機械) 165-6
50 時間ごと 165-7
50 時間ごと 165-8
50 時間ごと 165-10
50 時間ごと 165-12
50 時間ごと (Hillmaster™ 装備の機械) 165-13
最初の 100 時間 (S670、S680、S685、
S690 ProDrive™ 装備の機械) 165-14
100 時間ごと 165-15
200 時間ごと 165-16
200 時間ごと (S660) 165-17
250 時間ごと (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 165-18
250 時間ごと (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 165-19
250 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 165-20

次のページへ

ページ

250 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690) 165-22
400 時間ごと (S660、S670)..... 165-23
400 時間ごと (ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 165-24
400 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690) 165-25
400 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670)..... 165-26
400 時間ごと 165-27
400 時間ごと 165-29
400 時間ごと 165-30
400 時間ごと 165-31
400 時間ごと (S660、S670 ProDrive™ 非装備の機械) 165-33
400 時間ごと (S660、S670 押しボタンシフト トランスミッション装備の機械)..... 165-34
400 時間ごと (S670 ProDrive™ 装備の機械) 165-35
400 時間ごと (S680、S685、S690 ProDrive™ 装備の機械)..... 165-36
400 時間ごと 165-37
400 時間ごと 165-39
800 時間ごと 165-40
1000 時間ごと (S670 ProDrive™ 装備の機械) 165-41
1000 時間ごと (S680、S685、S690)..... 165-42
1000 時間ごと (S680、S685、S690)..... 165-43
2000 時間ごと (S660、S670)..... 165-44
2000 時間ごと (S680、S685、S690)..... 165-45
2000 時間ごと 165-46
4500 時間ごとまたは 3 年ごと (ファイナル ティア 4／ステージ IV)..... 165-47
4500 時間または 5 年 165-47
6000 時間ごとまたは 6 年ごと 165-48
必要に応じて 165-49

トラブルシューティング

フィーダーハウス 170-1
セパレータ 170-2
ハイドロスタティックグラウンドドライブ..... 170-5
四輪駆動 (オプション)..... 170-7
ステアリング 170-7
ブレーキ 170-8
エンジン 170-9
電気 170-17
ヒーター 170-18
エアコン 170-19
水分センサー (装備されている場合)..... 170-19
質量流量センサー (装備されている場合) 170-20

ページ

保管

保管のための機械の準備 175-1
保管からの機械の復帰 175-2

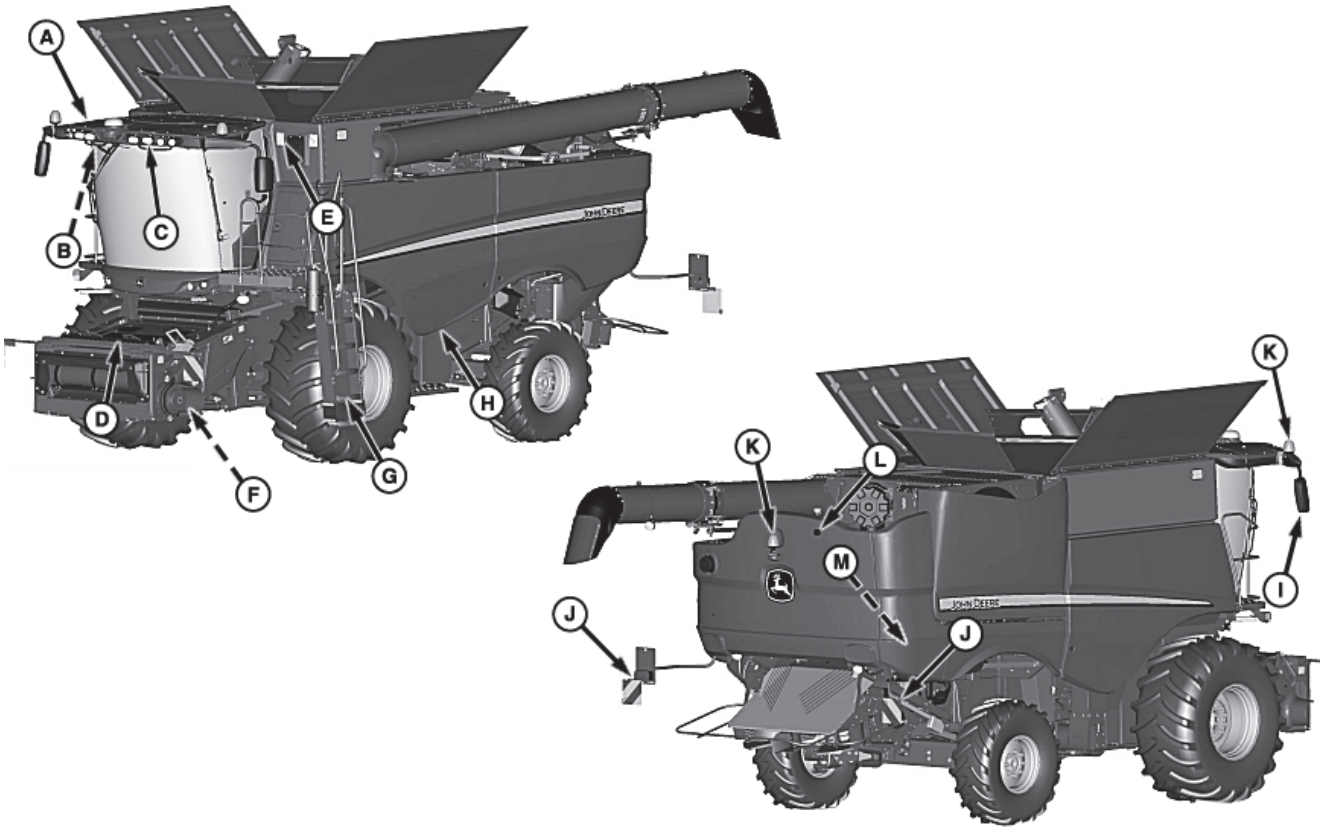
仕様

運転回転数 (S660、S670)..... 180-1
運転回転数 (S680、S685、S690)..... 180-3
仕様 (S660、S670) 180-5
仕様 (S680、S685、S690) 180-7
寸法 (S660、S670) 180-9
寸法 (S670 HillMaster™)..... 180-10
寸法 (S680、S685、S690) 180-11
寸法 (S680 HillMaster™、S685 HillMaster™、S690 HillMaster™)..... 180-12
寸法基準点 180-13
全身振動..... 180-14
騒音レベル 180-14
電気・電子機器、およびその構成要素の追加設置に関する安全のしおり 180-14
EC 適合宣言 180-15
関税同盟：EAC..... 180-16
ユニファイボルトとネジの締め付けトルク値..... 180-17
メートルボルトとネジの締め付けトルク値 180-18

機械識別番号

機械シリアル番号の解釈..... 185-1
識別番号..... 185-2
機械識別プレート..... 185-2
機械識別プレートの位置..... 185-2
関税同盟：EAC 適合ラベルの位置 185-3
エンジンシリアル番号 (ティア 2／ステージ II)..... 185-3
エンジンシリアル番号 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)..... 185-3
ハイドロスタティックドライブユニットポンプ..... 185-4
ハイドロスタティックドライブユニットモーター..... 185-4
2 速四輪駆動モーター..... 185-4
エンジンギアケース..... 185-5
ロータードライブギアケース..... 185-5
トランスミッション..... 185-5
フィーダーハウスリバーサ 185-6
マルチスピードフィーダーハウスギアケース (装備されている場合)..... 185-6
チョッパー (装備されている場合)..... 185-6
羽根テールボード (Deluxe、Intermediate、Premium Residue)..... 185-7
Advanced PowerCast™ テールボード (Intermediate、Premium Residue) 185-7
PowerCast テールボード (Deluxe Residue)..... 185-7
スプレッダー (Deluxe Residue)..... 185-8
所有権証明の保管..... 185-8
作業機の安全な場所での保管..... 185-8

機械の安全機能



安全機能の配置：正面図／背面図

A：キャビン安全機能：オペレータプレゼンスシステム、電子制御エンジン始動ロックアウト、シートベルト、非常口ウインドウ、パーキング、ブレーキ、ターンシグナル
B：手掛り
C：ヘッドライト
D：滑り止めスキッドマット
E：安全標示ラベル
F：機械の安全な停止 (フィーダーハウス)
G：滑り止めステップと手すり付きプラットフォーム
H：シールド
I：バックミラー
J：警告灯と反射テープ
K：ビーコンライト
L：バックアップアラーム
M：手すり付き滑り止め整備プラットフォーム

ここに示す安全機能に加え、他の部品およびシステム、機械の安全表示ラベル、およびオペレータマニュアルの安全上の注意事項と指示は、有能なオペレータによるケアおよび配慮と共にこの機械の安全な操作に大きく役立ちます。

OUO6075,00013F1 -40-28FEB13-1/1

安全情報の確認

これは安全警告マークです。機械上、またはマニュアル内にこのマークのある場所では、けがをしないように注意してください。

推奨されている注意事項と安全操作の慣行に従ってください。

DX,ALERT -40-27NOV12-1/1

シグナルワードの確認

シグナルワード「危険」、「警告」、「注意」は安全警告マークと共に使用されます。「危険」は最も重大な危険要素を示します。

「危険」または「警告」安全標示ラベルは、特定の危険要素の近くにあります。一般注意事項は「注意」安全標示ラベルに記載されています。「注意」はこのマニュアルに記載されている安全上の注意事項への注意も促しています。

DX,SIGNAL -40-27NOV12-1/1

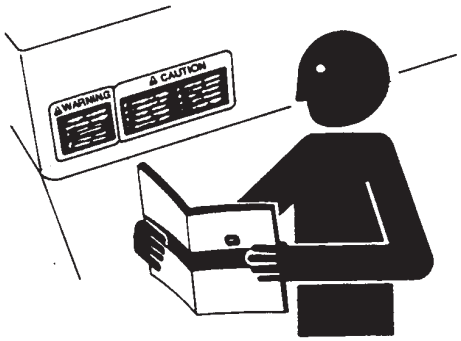
安全上の注意事項の順守

機械上の安全標示ラベルと当マニュアルに記載されているすべての安全上の注意事項を注意深く読んでください。安全標示ラベルを良好な状態に保ってください。安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。新しい装置部品や修理部品に、最新の安全標示ラベルが付けられているか確認してください。交換用の安全標示ラベルは担当の John Deere 取扱店から入手できます。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転記されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

適切な機械の操作方法とコントロールの使用方法を習得してください。説明なしで他の人に操作させないでください。

機械を適切な作動状態に保ってください。許可なく機械を改造すると、機能や安全性を損なう可能性があり、機械寿命に影響を及ぼすことがあります。



このマニュアルに不明な点があり、サポートが必要な場合は、John Deere 取扱店までご連絡ください。

DX,READ -40-27NOV12-1/1

機械の運転

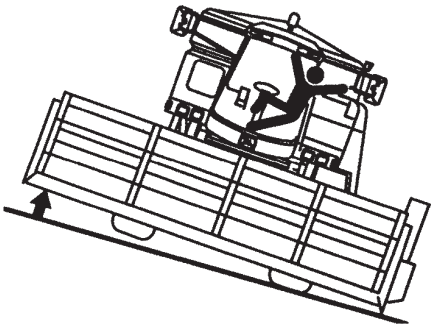
すべてのガードが正しく取り付けられている場合のみ機械を運転してください。

機械を動かす前に、機械の周辺を必ず点検してください (子供がいないかなど)。適切な視界を確保してください。機械を動かす直前に、ホーンを警告として使用してください。

常に道路や圃場の条件に合わせて対地速度を調整してください。登り坂または下り坂の運転時、傾斜地を横断して運転するときは、急旋回を避けてください。グレインタンクがいっぱいの状態で、傾斜地で旋回する場合は、特に注意してください。

ヘッダーの脱着時はヘッダーのオペレータマニュアルの指示に従ってください。

旋回時は、装置の幅と、機械の後端が振れることを常に考慮してください。装置と地面の状態はコンバインの運転特性に影響を与えます。



ZX002461

傾斜地または凹凸のある地面を運転するときや急旋回を行う前に、対地速度を下げてください。急な坂を下る前に、低速ギアにシフトしてください。

特に傾斜地ではコンバインが転倒する可能性があるため、穴、溝、および障害物を避けてください。

OUO6075,0000AB7 -40-21FEB07-1/1

道路交通規制の順守

公道を使用するときは必ず現地の道路交通規制に従ってください。

OUO6075,0000032 -40-22JAN01-1/1

機械の安全の点検

必ず使用前に機械の路上運転および一般運転の安全を点検してください。

FX,READY -40-28FEB91-1/1

機械への同乗者および子供の接近の禁止

機械にはオペレータのみが乗り込むことができます。トレーニング期間中や短期の見学期間を除き、機械への同乗を禁止してください。

同乗者が機械から振り落とされてけがをする危険性があります。また、同乗者がオペレータの視界の妨げとなり、機械の安全な操作が損なわれることがあります。

エンジン運転中は、絶対に機械やコンバインキャビンに子供を乗せないでください。

教習シートは、説明や短期の機械見学だけのために使用する必要があり、子供を乗せるためのものではありません。

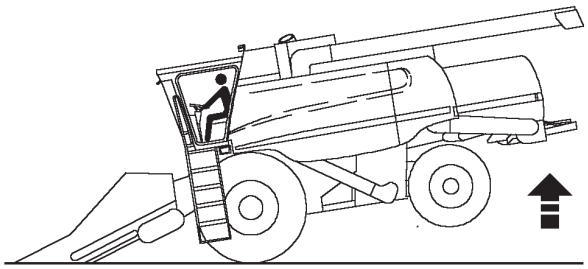
HX,AG,SF6904 -40-22JUL99-1/1

安全な接地接触のためのバラスト

重量のあるフロントエンド装置によってコンバインの重心が変わり、コンバインの操作、ステアリング、ブレーキ性能がかなり影響を受ける可能性があります。

必要な接地接触を維持するには、必要に応じてコンバインの後端にバラストを取り付ける必要があります。

最大許容軸荷重および総重量を順守してください。



HX,AG,SF6782 -40-05FEB99-1/1

ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送

公道でのコンバインの運転に関する国および地域の規則を順守してください。

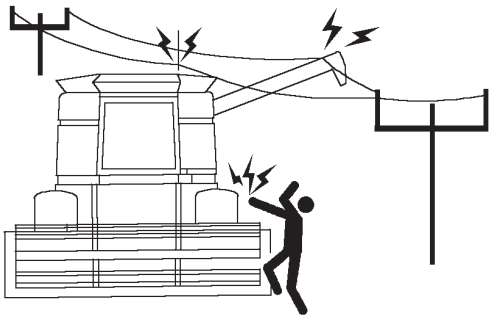
このコンバインは、Geringhoff 8 条折りたたみ式ヘッダーおよび Kemper 8 条折りたたみ式ヘッダーを使用する場合、ドイツの公道での輸送が認められています。他のヘッドを使用してドイツの公道で輸送する場合は、最寄りの TUEV の認可を受けて道路使用許可を得る必要があります。

OUO6075,0003B9B -40-03NOV04-1/1

送電線の回避

公道で運転する前に、グレインタンクアンローディングオーガを輸送位置にし、グレインタンクアクセス手すりを下ろします。

公道で運転する前に、ラジオアンテナを輸送位置にしてください。垂れ下がっている送電線にラジオアンテナが接触する可能性があります。これにより、オペレータが感電して重傷を負うことがあります。



HX,STSSA,D -40-22JUL99-1/1

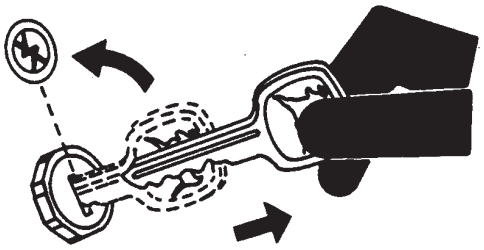
機械を駐車して離れる際の注意

ヘッダーを地面に下ろします。

機械から離れる前に、ヘッダーとセパレーターの接続を解除します。マルチファンクションレバーをニュートラル位置にして機械を OFF にします。パーキングブレーキをかけて、キーを抜き、オペレータキャビンをロックします。

エンジンを運転している場合は、絶対に機械から離れないでください。

運転中は、絶対にオペレータキャビンから離れないでください。



OUO6075,0000AEB -40-11FEB14-1/1

作業場所の換気

エンジンの排気ガスは病気や死亡の原因になる可能性があります。閉鎖された場所でエンジンを運転する必要がある場合は、排気管エクステンションを使って排気ガスを除去してください。

排気管エクステンションがない場合は、ドアを開けて外気を取り入れてください。

DX,AIR -40-27NOV12-1/1

燃料の安全な取り扱い：火災防止

燃料は慎重に取り扱ってください。高い引火性があります。喫煙しながら、または直火や火花がある状況で給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。燃料タンクは屋外で補充してください。

廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃し、火災を防止してください。こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

引火性液体の持ち運びには認可された燃料容器だけを使用してください。

プラスチック製ベッドライナーを敷いたピックアップトラックで、絶対に燃料容器を充填しないでください。補充の前に必ず燃料容器を地面に置いてください。缶の蓋を外す前に燃料容器を燃料ディスペンサーのノズルで触ります。補充時は、燃料ディスペンサーのノズルが常に燃料容器に触れているようにします。

直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに燃料容器を保管しないでください。

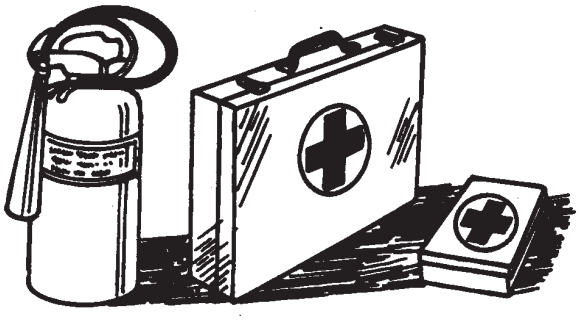
DX,FIRE1 -40-27NOV12-1/1

緊急事態に対する準備

火災に備えてください。

救急箱と消火器を手近に置いてください。

医師、救急車サービス、病院、消防署の緊急番号を電話の近くに備えてください。



DX,FIRE2 -40-27NOV12-1/1

エンジン始動液の安全な取り扱い

エンジン始動液は高い引火性があります。

使用する場合は、すべての火気と火花を遠ざけてください。エンジン始動液はバッテリとケーブルから離してください。

加圧された缶の保管時には、中身が誤って放出されないよう、蓋をして涼しい安全な場所に保管してください。

エンジン始動液の容器を焼却したり、穴を開けたりしないでください。

DX,FIRE3 -40-27NOV12-1/1

火災が発生した場合

警戒：けがをしないようにしてください。

火災の兆候が認められた場合はすぐに作業機を止めてください。火災は煙の臭いや炎により発見することができます。火災は急速に拡大するため、すぐに作業機を降りて火元から離れてください。絶対に作業機には戻らないでください。安全を最優先してください。

消防署に通報してください。携帯型の消火器でも小さな火災を消火したり消防車が到着するまで抑えることができますが、それにも限界があります。必ずオペレータと同伴者の安全を最優先してください。消火を試みる場合は、風を背にして避難路を確保し、消火に失敗した時にすぐに離れられるようにしてください。

消火器の説明書を読み、火災が発生する前にその位置、部品、および操作を理解しておいてください。現地の消防署または防火装置の販売店から消火器の講習や推薦を受けることができます。

お使いの消火器に説明書がない場合は、以下のガイドラインに従ってください。

1. ピンを引きます。ノズルを自分から離して消火器を保持し、ロック機構を解除します。
2. 低い場所を狙います。消火器は火の根元に向けてください。
3. レバーをゆっくり均等に握ります。
4. 横から横へノズルを動かします。

DX,FIRE4 -40-22AUG13-1/1

燃料再補充時の静電気発生リスクの防止

超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料内の硫黄と他の化合物が除去されると導電性が低下するため、静電気を帯電しやすくなります。

製油業者が帯電防止添加剤で燃料を処理している場合もあります。しかし時間の経過により、添加剤の効果が低下するさまざまな要因があります。

燃料供給システム内を ULSD 燃料が流れるにしたがい、静電気が帯電する可能性があります。燃焼性のガスが存在する場合に静電放電が発生すると、火災や爆発のおそれがあります。

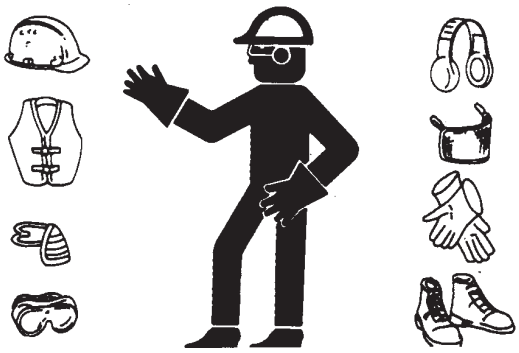
したがって、お使いの作業機に燃料を補充するためのシステム全体 (燃料供給タンク、移送ポンプ、移送ホース、ノズル等) を適切に接地し接合することが重要です。燃料供給システムが、適切な接地および接合に関して燃料補給系としての基準を満たしているかどうか確認するには、お使いの燃料または燃料システムのメーカーにお問い合わせください。

DX,FUEL,STATIC,ELEC -40-12JUL13-1/1

保護服の着用

ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。

機械の安全な操作のために、オペレーターは細心の注意を払う必要があります。機械の操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。



DX,WEAR2 -40-27NOV12-1/1

収穫装置に近づかない

カッターバー、オーガ、リール、およびフィードロールは機能上完全にシールドすることはできません。操作中はこれらの可動部に近づかないでください。機械の整備または詰まりの除去を行う前に、必ずメインクラッチを切り、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜き取ってください。

OUO6075,00009E5 -40-28SEP10-1/1

ナイフに手を近づけない

セパレータを解除し、パーキングブレーキをかけて、エンジンを停止し、キーを抜いていない限り、ヘッダーの前部または上部の障害物を除去しないでください。

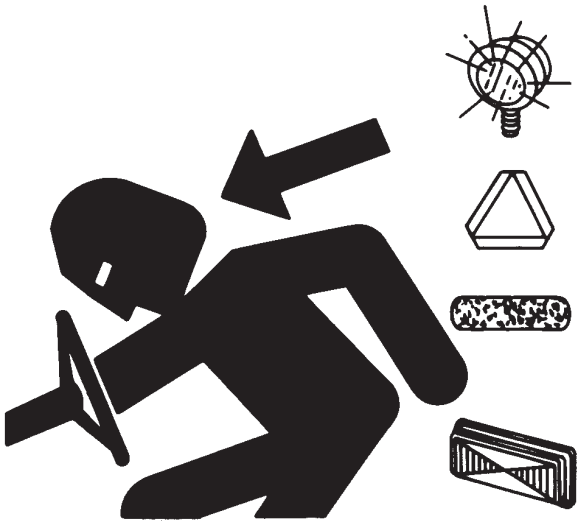
エンジンを始動する前に機械から人を遠ざける必要があります。

OUO6075,00009E6 -40-28SEP10-1/1

安全灯と安全装置の使用

公道では、他の道路利用者、装置や牽引装置を取り付けて低速走行しているトラクター、および自走式作業機との衝突を予防してください。特に右折や左折時など、後方からの交通をこまめに確認し、ターンシグナルライトを使用してください。

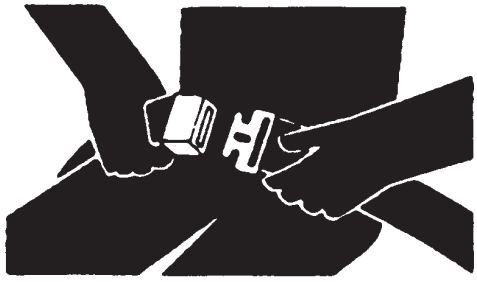
ヘッドライト、点滅する警報灯、ターンシグナルを昼夜使用します。装置の照明や識別標識については現地の法規制に従ってください。照明や標識は見やすくきれいにして、良好な作動状態を維持してください。照明や識別標識の破損や紛失の際は、交換または修理してください。



HX,STSSA,O -40-22JUL99-1/1

シートベルトの着用

コンバインを操作する、または見学者として乗る場合は、必ずシートベルトを着用してください。



H47137

HX,STSSA,I -40-22JUL99-1/1

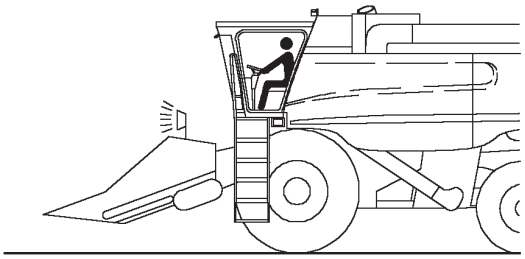
ヘッダー付きのコンバインの安全な輸送

可能な場合、ヘッダーを取り付けて公道で輸送することは避けてください。

ヘッダーを取り付けてコンバインを輸送する必要がある場合は、ヘッダーの点滅警告灯が作動すること、および反射材が汚れてなく視認できることを確認してください。

混雑している道路、狭い道路、または坂の多い道路での輸送や橋を渡る場合は、スポッター車両またはパイロット車両の使用をお勧めします。

条件に対して安全な速度で走行してください。



OUO6075,0000034 -40-22JAN01-1/1

機械の暴走または予期しない動きの防止

機械や部品の予期しない動きによるけがや死亡事故を防止してください。

スタータやソレノイドの端子を短絡させてエンジンを始動しないでください。通常の回路を迂回すると、機械や部品が動く可能性があります。

AG,OUO1035,792 -40-08JUL99-1/1

安全メンテナンスの慣行

作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。作業域を清潔で乾いた状態に保ってください。

機械が動いている間は、絶対に潤滑、整備、調整を行わないでください。手足や衣類が、動力で駆動される部品に接触しないようにしてください。すべての電源および操作スイッチをオフにして圧力を下げます。装置を地面に降ろし、エンジンを停止します。キーを取り外し、機械が冷めるまで待ちます。

整備作業で持ち上げる必要のある機械部品をしっかりと固定してください。

すべての部品を良好な状態、および正しく取り付けられた状態に保ってください。破損は速やかに修理してください。摩耗、または破損している部品は交換してください。堆積したグリース、オイル、ごみなどは取り除いてください。

自走式装置では、電気システムの調整や機械の溶接作業を開始する前に、バッテリアースケーブル (-) をバッテリから取り外してしてください。

被牽引インプルメントでは、電気システム部品の整備や機械の溶接を開始する前に、トラクターからワイヤハーネスを取り外します。

DX,SERV -40-27NOV12-1/1

電子コントロールユニット近くでの溶接

重要：溶接装置を使用して、エンジンをかけないでください (ジャンプスタートしないでください)。電流と電圧がとても高いので、完全に損傷する可能性があります。

1. バッテリのマイナスケーブル (-) の接続を外します。
2. プラス (+) バッテリケーブルの接続を外します。
3. プラスおよびマイナスのケーブルをつなぎます。車両フレームに接続しないでください。
4. ワイヤハーネス部を溶接部分から離して移動します。
5. 溶接アースを溶接するポイント近くに接続して、コントロールユニットから遠ざけます。

6. 溶接が終了したら、手順 1～5 の逆の手順を行います。

DX,WW,ECU02 -40-27NOV12-1/1

溶接または加熱作業前の塗料の除去

有毒ガスや粉塵が出ないようにしてください。

溶接、はんだ付け、またはトーチの使用によって塗料が加熱されると、有害なガスが発生する可能性があります。

加熱前に次のように塗料を除去してください。

- 加熱の影響を受ける領域から最低 100 mm (4 in) 、塗料を除去してください。塗料を除去できない場合は、適切なマスクを着用してから加熱や溶接を行ってください。
- 塗料を研摩する場合は、粉塵を吸い込まないようにしてください。適切なマスクを着用してください。
- 溶剤や塗料除去剤を使用した場合は、溶接の前にせっけんと水で除去剤を洗い流してください。溶剤または塗料除去剤の容器や、その他の引火性材料は作業域から遠ざけてください。溶接または加熱前に最低 15 分間有毒ガスを消散させてください。

溶接を行う作業域で塩素系溶剤を使用しないでください。

有毒なガスや粉塵を消散させるために、すべての作業は十分に換気された場所で行ってください。

塗料や溶剤は適切に処分してください。

DX,PAINT -40-27NOV12-1/1

加圧流体ライン近くでの加熱の回避

加圧流体ラインの近くで加熱を行なうと、引火性の噴霧が生成され、自身や近くの人に大やけどをさせる可能性があります。加圧流体ラインやその他の引火性材料の近くで溶接、はんだ付け、またはトーチ使用による加熱を行わないでください。作業域を越えて熱が伝わると、加圧ラインが誤って破裂する恐れがあります。

DX,TORCH -40-27NOV12-1/1

可動部品との接触の回避

動力で駆動される部品から手足や衣類を遠ざけてください。機械が動いている間は、絶対に清掃、潤滑、調整を行わないでください。

H01,9000SA,E -40-15JUN90-1/1

グレインタンクの清掃と詰まりの除去を安全に行う

グレインタンククロスオーガに巻き込まれて大けがや死亡事故が発生しないようにしてください。機能上、クロスオーガを完全に覆うことはできません。エンジン運転中はグレインタンクに入らないでください。残留している穀類を清掃するためにタンクに入る前に、必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。

穀類がつながってクロスオーガ内に流れていかない場合は、エンジンを停止し、キーを抜き、エンジンルームドアの上の位置からロッド、ほうき、またはショベルを使用して、つながっている穀類をばらして流れを回復させてください。

OUO6043,00015E2 -40-24MAY04-1/1

回転している駆動系の回避

回転しているドライブラインに巻き込まれると、深刻な人身事故を引き起こす可能性があります。

すべてのシールドは常時所定の位置に取り付けてください。回転するシールドが自由に動くようにしてください。

ぴったりした衣類を着用してください。エンジンや機械駆動装置の調整、接続、その他あらゆる種類の整備は、エンジンを停止し、回転部と駆動系がすべて停止したことを確認してから行ってください。

DX,ROTATING -40-27NOV12-1/1

すべてのシールドとガードの取り付け

回転しているファン、ベルト、プーリー、ドライブにより大けがをすることがあります。

運転中は常時すべてのシールドおよびガードを所定の位置に取り付けてください。

ぴったりした衣類を着用してください。エンジンを停止し、ファン、ベルト、プーリー、およびドライブが停止したことを確認してから、調整、接続、またはファンやファンドライブ部品近くの清掃を行ってください。

OUO6075,0000C23 -40-03MAY11-1/1

高圧流体の回避

少なくとも 1 年に 1 回、定期的に油圧ホースを点検し、漏れ、よじれ、切れ、亀裂、摩耗、ふくれ、腐食、ワイヤブレードの露出、または他の摩耗または損傷の兆候がないか確認してください。

摩耗または損傷しているホースアセンブリは、John Deere 認定交換部品と即座に交換してください。

圧力のかかった流体が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをする危険性があります。

油圧パイプや他のパイプを外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。

ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department から英語で入手可能です (Moline, Illinois, U.S.A。電話番号 1-800-822-8262 または +1 309-748-5636)。

DX,FLUID -40-27NOV12-1/1

高圧燃料システムの開放禁止

燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外したり、修理したりしないでください。

この種類のシステムを熟知している技術員のみが修理できます。(John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

DX,WW,HPCR1 -40-27NOV12-1/1

アキュムレータシステムの安全な整備

エアコン、油圧系、エアブレーキシステムで使用されている圧力のかかったアキュムレータ系統からの液体やガスは、重大なけがを引き起こすことがあります。アキュムレータは過熱により爆発し、圧力のかかったラインが切れる事故が起こることがあります。圧力のかかったアキュムレータや圧力のかかったラインの近くでは溶接をしたりトーチを使用しないでください。

アキュムレータを取り外す前に、圧力のかかったシステムから圧力を抜いてください。

アキュムレータを取り外す前に、圧力のかかったシステムから圧力を抜いてください。継手を緩めて油圧システムやアキュムレータから絶対に圧力を抜かないでください。

アキュムレータは修理できません。

DX,WW,ACCLA2 -40-27NOV12-1/1

高圧噴霧からの保護

高圧ノズルからの噴霧が皮膚に浸透し、大けがをする危険性があります。噴霧が手や身体にかからないようにしてください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった高圧噴霧は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A) から入手可能です。

DX,SPRAY -40-27NOV12-1/1

タイヤの安全な整備

タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。

常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接、加熱しないでください。熱により空気圧が高くなり、タイヤが破裂することがあります。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。必要に応じて安全ケージを使用してください。

ホイールを点検し、圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないかどうかを確認します。

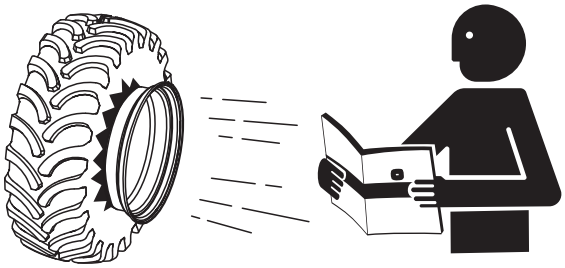
DX,WW,RIMS -40-27NOV12-1/1

タイヤに関する推奨事項の順守

機械の適切な作動状態を保ってください。

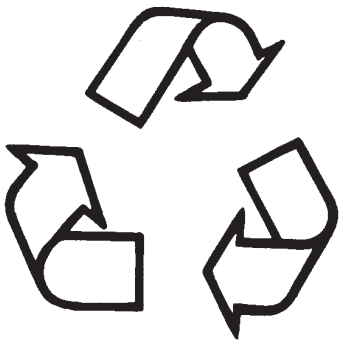
適切な定格の指定されたタイヤサイズのみを使用し、このマニュアルで指定されている空気圧にしてください。

このマニュアルに記載されていないタイヤを使用すると、安定性が失われてステアリングに影響し、タイヤの早期の破損や、耐久性または安全性に関する問題が発生するおそれがあります。



OUO6075,00017F1 -40-14MAY14-1/1

廃棄物の適切な処分



廃棄物は正しく処分しないと環境や生態系を脅かします。John Deere 装置で使用される潜在的に有害な廃棄物には、オイル、燃料、クーラント、ブレーキ液、フィルタ、バッテリなどがあります。

液体を抜き取るときは漏れない容器を使用してください。他の人が誤って使用する恐れのある食品容器や飲料容器を使用しないでください。

排水を地面、排水溝、またどのような水源にも注がないでください。

空気中に流出するエアコンの冷媒は地球環境を汚染する可能性があります。政府規制により、認定されたエアコンサービスセンターがエアコンの冷媒を回収し、再利用することが義務付けられている可能性があります。

廃棄物の適切なリサイクルや処分方法については、地域の環境センターやリサイクルセンター、または担当の John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,DRAIN -40-27NOV12-1/1

冷却システムの安全な整備

加圧された冷却システムから流体が噴出すると、大やけどを負うことがあります。

エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。放置して冷ましてからキャップを開けてください。完全に外す前に、キャップをゆっくりと緩めて圧力を解放してください。

OUO6075,0000ABC -40-21FEB07-1/1

溜まっている作物屑の除去

エンジンルーム、エンジン、可動部品の近くに堆積しているもみ殻や作物屑は火災の危険があります。これらの部分を頻繁に点検し、清掃してください。点検や整備を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜いてください。

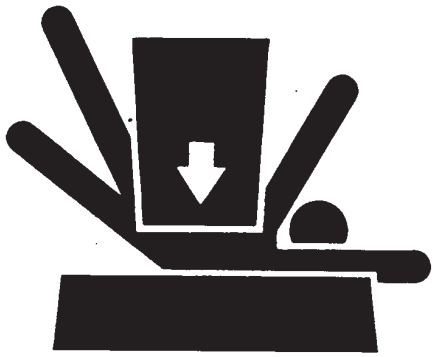
HX,9010SA,B -40-23AUG97-1/1

機械の適切な支持

機械に作業をする前には必ずアタッチメントやインプルメントを地面まで下降させてください。作業で機械やアタッチメントを持ち上げておく必要がある場合は、これらをしっかりと支持してください。油圧で支持された機器を上昇位置に保っておくと、少しずつ下がったり、漏れにより下降することがあります。

軽量コンクリートブロック、中空のタイル、支柱などで機械を支えないでください。これらは連続負荷によりくずれる可能性があります。ジャッキのみで支持されている機械の下では作業をしないでください。このマニュアルに記載の推奨手順に従ってください。

機械でインプルメントやアタッチメントを使用する際は、インプルメントやアタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全上の注意事項に常に従ってください。



DX,LOWER -40-27NOV12-1/1

アタッチメントの安全な保管

保管しているダブルタイヤホイール、かご車輪、ローダーなどのアタッチメントは倒れたり、死傷事故の原因となる危険性があります。

アタッチメントおよびインプルメントが倒れないようにしっかり固定して保管してください。子供や人を保管場所に近づけないでください。

DX,STORE -40-27NOV12-1/1

ドライブベルトの安全な整備

ドライブベルトを整備するときは、必ず以下の注意事項に従ってください。

- 手や腕が巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。機械が動いているときは、絶対にベルトの清掃、点検、調整を行わないでください。必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜いてください。
- 可燃性の溶剤を使用してベルトを清掃しないでください。

OUO6075,00026A4 -40-06FEB03-1/1

電子部品とブラケットの安全な取り扱い

装置への電子部品の取り付けまたは取り外し中に落下すると、大けがをすることがあります。取り付け位置に容易に近づけるように、はしごや作業台を使用してください。安全で強固な足場と手掛りを使用してください。濡れたり凍ったりした状態での部品の取り付け、取り外しは避けてください。

RTK 基地局をタワーその他の高架構造物に設置したり、整備する場合は、認可された昇降器具を使用してください。

インプルメントに使用する測位受信機のマストを設置したり、整備する場合は、適切なつり上げ方法を使用して適切な保護具を着用してください。マストは重いので、取り扱いは容易ではありません。地上または整備用作業台から近づけない取り付け位置での作業は、2 人で行ってください。

DX,WW,RECEIVER -40-27NOV12-1/1

後退時の事故の回避

作業機を動かす前に、作業機の進路に人がいないことを確認してください。振り向いて、直接最良の視界を得るようにしてください。後退時に視界が遮られている場合、または狭い場所では合図を出してくれる人を配置してください。

作業機の後ろに人や障害物が存在するかどうかを確認する場合は、カメラだけに頼らないでください。システムはメンテナンス、環境条件、動作範囲など、多くの要因によって制限される可能性があります。

DX,AVOID,BACKOVER,ACCIDENTS -40-27NOV12-1/1

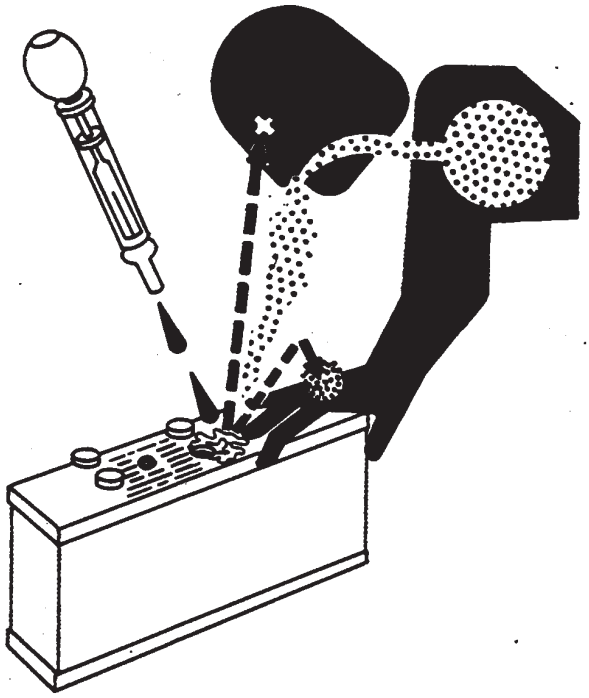
バッテリの安全な取り扱い

バッテリガスは爆発する可能性があります。バッテリに火花や火気を近づけないでください。バッテリ電解液の点検には、懐中電灯を使用します。

バッテリーの電極間に金属を入れて充電状態を確認することは絶対にしないでください。電圧計または比重計を使用します。

バッテリーの接続を外すときはアース側 (-) のクランプを必ず最初に外し、バッテリーを接続するときはアース側を必ず最後に接続します。

バッテリー電解液の硫酸は有害で強力なので、やけどをしたり、衣類に穴が開いたり、目にはねると失明する恐れがあります。



危険回避のための注意事項

- 十分に換気された場所でバッテリ液を補充してください。
- ゴーグルとゴム手袋を着用してください。
- バッテリ清掃に圧縮空気を使用しないでください。
- 電解液の追加時にガスを吸い込まないようにしてください。
- 電解液をこぼしたり、たらさないようにしてください。
- バッテリブースターやバッテリ充電器は正しい手順で使用してください。

酸が皮膚や目にかかった場合の処置

1. 水で洗い流してください。
2. 酸を中和するため、重曹または石灰をかけてください。
3. 目に入った場合は、15〜30 分間水で洗い流してください。直ちに治療を受けてください。

酸を飲み込んだ場合の処置

1. 吐出しようとしないでください。
2. 大量の水または牛乳を飲んでください。ただし 2 L (2 qt) を超えないこと。
3. 直ちに治療を受けてください。

警告：バッテリ電極、端子、および関連アクセサリには、癌の原因になったり、生殖機能に有害なことがカリフォルニア州により確認されている鉛や鉛化合物が含まれています。**取り扱い後は手を洗ってください。**

DX,WW,BATTERIES -40-27NOV12-1/1

エグゾーストフィルタの安全な清掃

エグゾーストフィルタクリーニング中に、エンジンは高アイドル回転数、高温の状態で長時間作動することがあります。排気ガスやエグゾーストフィルタは、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

人や動物、また熱いエグゾーストガスや部品から悪影響を受けて損傷を受ける可能性のある構造物から機械を離してください。エグゾースト近くから引火性物質や蒸気による火災や爆発の危険を避けてください。エグゾーストアウトレットから人や熱で溶ける、燃える、または爆発する可能性がある物を離してください。

エグゾーストフィルタクリーニング中とその後には、機械と周辺を良く見てくすぶっているゴミが無いことを確認してください。

エンジン作動中の給油は火災や爆発の危険を伴います。必ずエンジンを停止し、こぼれた燃料をきれいにしてから給油してください。

機械をトラックやトレーラー上で運搬する際には常にエンジンを停止してください。

エグゾースト部品がまだ熱い時に触れると、重傷を負う可能性があります。

こうした部品には、安全な温度に冷めるまでは触らないでください。

整備手順でエンジンを運転する必要がある場合：

- 整備手順で駆動を必要とする動力駆動部品のみを駆動してください。
- オペレータステーションと機械から他の人員を遠ざけてください。

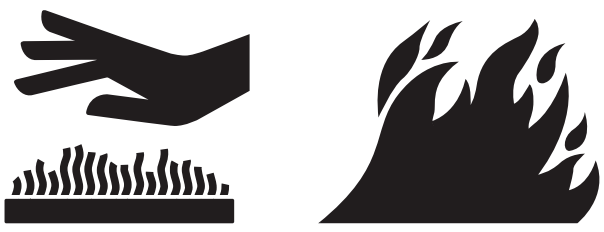
動力で駆動される部品から手、足、衣服を遠ざけてください。

オペレーターステーションを去る前に、常に動きを停止し(ニュートラルにし)、パーキングブレーキを入れるかパーキング機構をかけ、アタッチメントやツールから動力を切断してください。

機械から離れる前に、エンジンを停止してキーを抜いてください (装備されている場合)。

OUO6075,0000E81 -40-07FEB12-1/1

高温排気の回避



エンジンの運転中に機械や付属品の整備を行うと、大けがをすることがあります。高温の排気ガスにさらされたり、高温の部品に触れたりしないように気を付けてください。

排気部品や排気流は運転中非常に熱くなります。排気ガスや部品は、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

DX,EXHAUST -40-20AUG09-1/1

エグゾーストフィルタクリーニング

エグゾーストフィルタクリーニング中に機械や付属品の整備を行うと、大けがをすることがあります。高温の排気ガスにさらされたり、高温の部品に触れたりしないように気を付けてください。

自動または手動／駐車エグゾーストフィルタクリーニング中に、エンジンは上昇したアイドル回転数、高温の状態で長時間運転します。排気ガスやエグゾーストフィルタは、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

DX,FILTER -40-27NOV12-1/1

安全標示ラベル

絵入りの安全標示ラベル

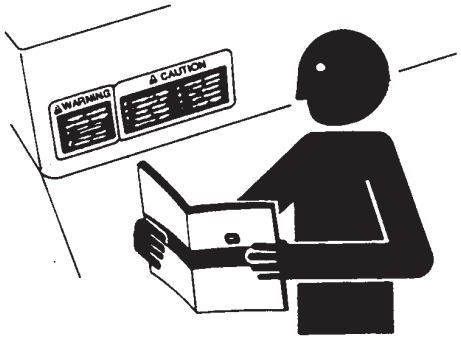
この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標示ラベルが貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する絵はけがを防ぐための情報を提供します。これらの安全標示ラベル、機械上のラベルの位置、および簡単な説明を以下に示します。

OUO6075,0001163 -40-19JUN12-1/1

安全標示ラベルの交換

安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。適切な安全標示ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを参照してください。

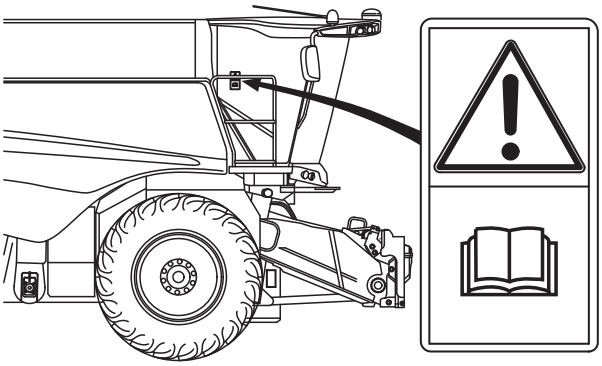
販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転記されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。



DX,SIGNS -40-27NOV12-1/1

オペレータマニュアル

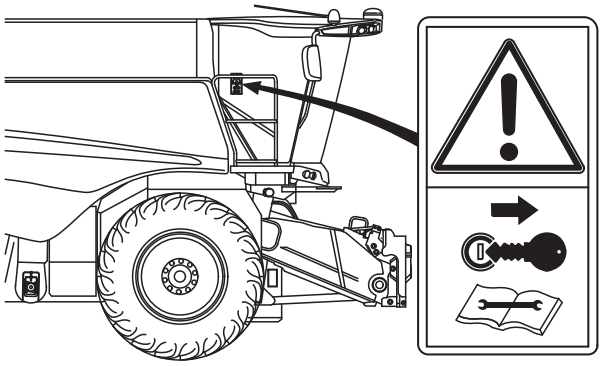
このオペレータマニュアルには機械を安全に運転する上で必要な情報がすべて記載されています。安全に関するすべての規則を守って事故を防いでください。



OUO6075,00015D7 -40-09AUG13-1/1

修理とメンテナンス

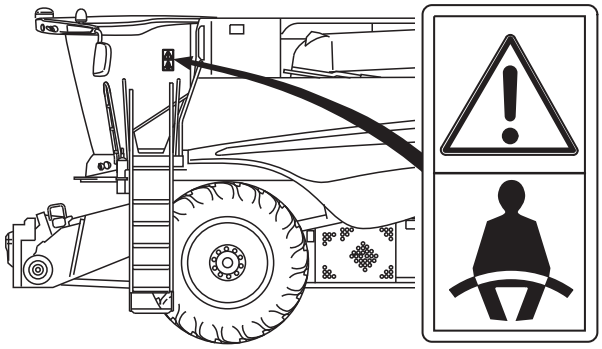
修理やメンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。すべてのメンテナンス作業については、オペレータマニュアルを参照してください。



OUO6041,0000453 -40-03SEP10-1/1

シートベルト

教習用のシートはオペレータの研修、機械の問題の診断用にのみ用意されています。他の人や子供を近づけないでください。機械を運転するときまたは見学者として同乗するときは、必ずシートベルトを着用してください。

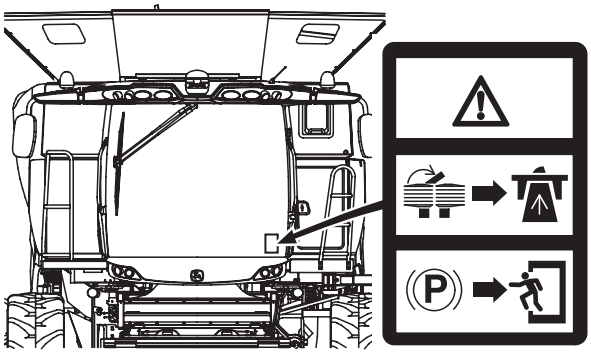


OUO6041,0000454 -40-03SEP10-1/1

パーキングブレーキ

機械から離れる前に、パーキングブレーキをかけてください。

車道を運転する前に常用ブレーキを互いに固定してください。



OUO6075,0000DE8 -40-24JAN12-1/1

圧力がかかっている作動油および気体

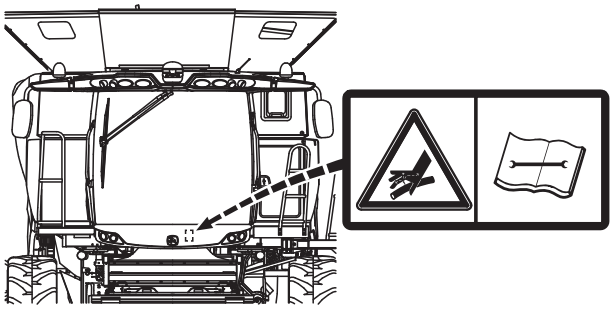
注記：ステッカーはキャビンサポートにあり、ProDrive™ トランスミッション装備の機械のみにあります。

圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。



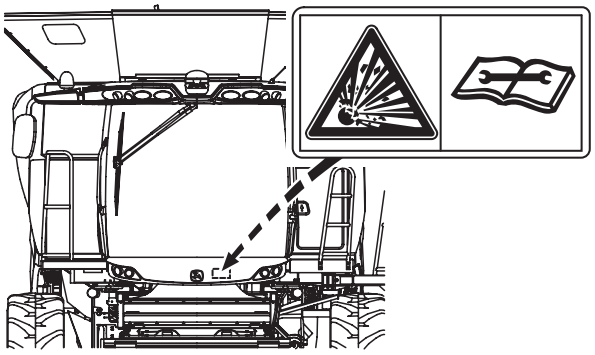
OUO6075,00015C0 -40-05AUG13-1/1

アキュムレータ

注記：ステッカーはキャビンサポートにあり、ProDrive™ トランスミッション装備の機械のみにあります。

けがの危険、アキュムレータや油圧システムの損傷を防止するために、推奨窒素ガス圧力を維持してください。

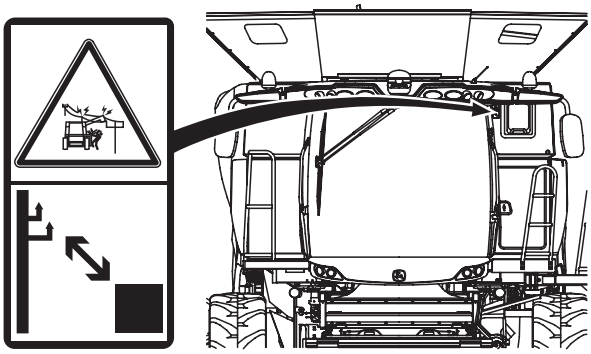
乾燥窒素のみに交換してください。定格作動圧力は 21,500 kPa (3,120 psi) です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。



OUO6075,00010F3 -40-18JUN13-1/1

低く垂れ下がっている送電線の回避

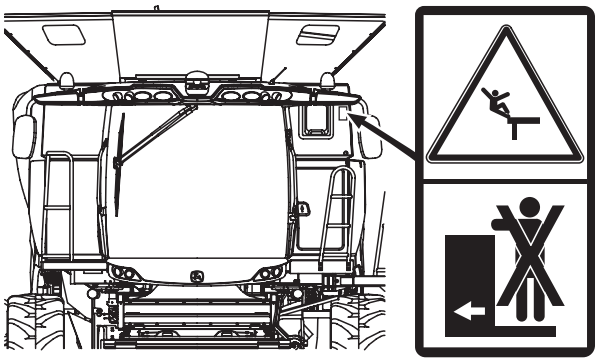
感電による大けがや死亡事故を防止してください。電線に接触しないでください。低く垂れ下がっている送電線の近くで運転するときは、グレインタンクカバーを下げてください。



OUO6041,00003F6 -40-03SEP10-1/1

グレインタンク

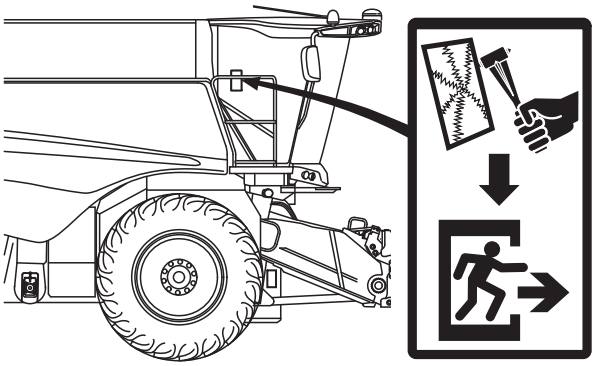
落下による大けがに注意してください。この区域のグレインタンクに入らないでください。



OUO6041,00003F7 -40-03SEP10-1/1

非常出口

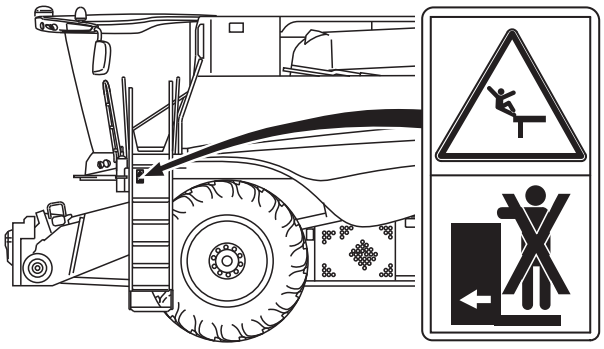
ハンマーを取り外して、窓をたたいてガラスを割り、キャビンから出てください。ウィンドウの交換については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。



OUO6041,0000455 -40-14SEP10-1/1

キャビン／プラットフォームアクセスタラップ

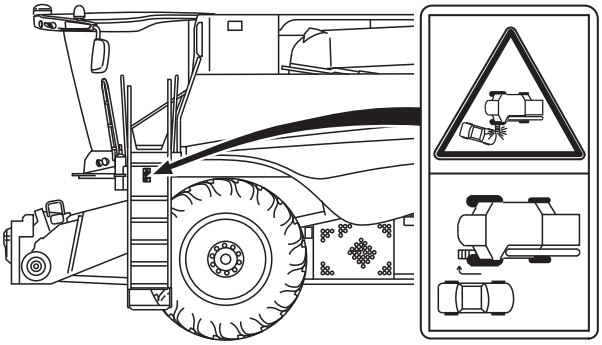
落下による大けがに注意してください。機械が動いているときは、タラップやプラットフォーム部分に人を乗せないでください。



OUO6041,0000404 -40-03SEP10-1/1

車両との衝突の回避

車両との衝突や大けがまたは死亡事故を回避してください。車道で機械を運転する前に、必ずタラップをロック位置まで旋回させてください。



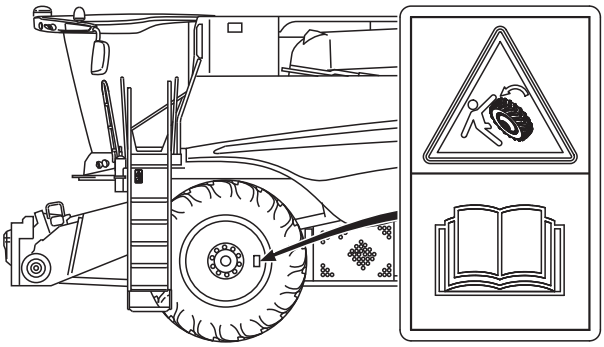
OUO6041,0000403 -40-03SEP10-1/1

ダブルタイヤホイール (装備されている場合)

注記：ステッカーはダブルタイヤホイールおよび機械の両側にあります。

ダブルタイヤホイールは重心がオフセットしています。取り外し時は十分注意してください。ホイールの脱着には 2 人が必要です。

けがを防止するために、脱着用の専用パイロットスタッドボルトが用意されています。ダブルタイヤホイールに付属の説明書を参照してください。

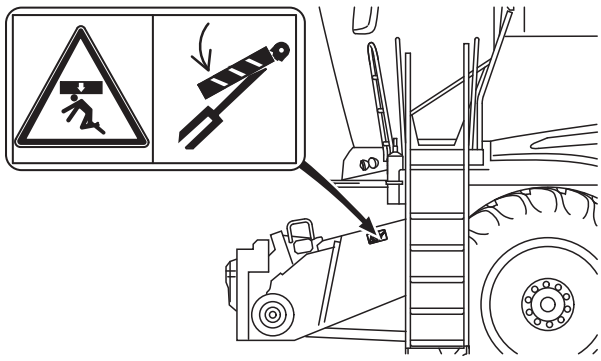


OUO6075,00015C1 -40-31JUL13-1/1

フィーダーハウス安全ストップ

注記：ステッカーは、シールドの外側と内側およびフィーダーハウスの両側にあります。

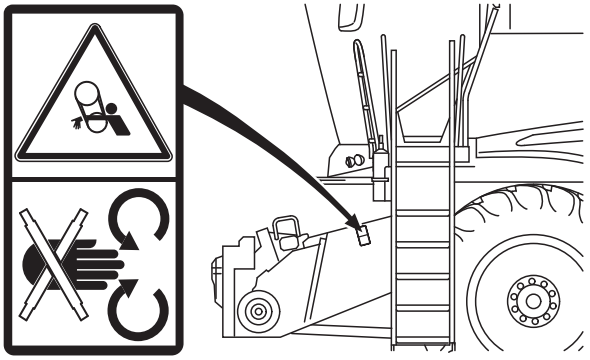
機械に挟まれてけがをしないように注意してください。ヘッダーの下に入る前に、ヘッダーを地面に下ろすか、フィーダーハウスリフトシリンダにある安全ストップをセットしてください。



OUO6041,0000405 -40-03SEP10-1/1

フィーダーハウスガード

巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。エンジン運転中は、絶対にシールドを上げないでください。エンジンを停止し、キーを抜きます。



OUO6075,00015C4 -40-09AUG13-1/1

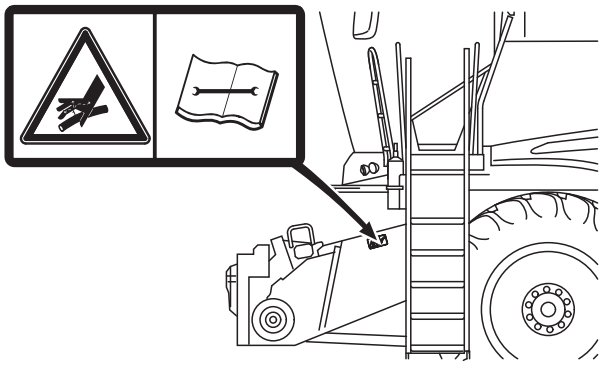
圧力がかかっている作動油および気体

圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

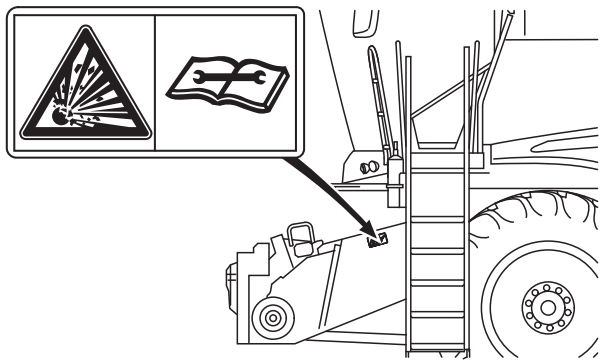


OUO6075,00015C3 -40-31JUL13-1/1

アキュムレータ

けがの危険、アキュムレータや油圧システムの損傷を防止するために、推奨窒素ガス圧力を維持してください。

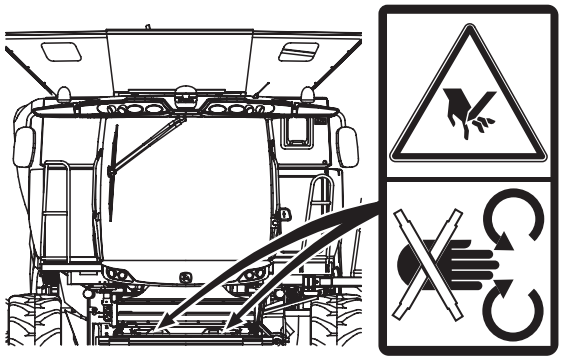
乾燥窒素のみに交換してください。定格作動圧力は 21,500 kPa (3,120 psi) です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。



OUO6075,000091B -40-18JUN13-1/1

フィーダーハウスコンベアチェーン

回転している機械部品による潜在的な危険があります。

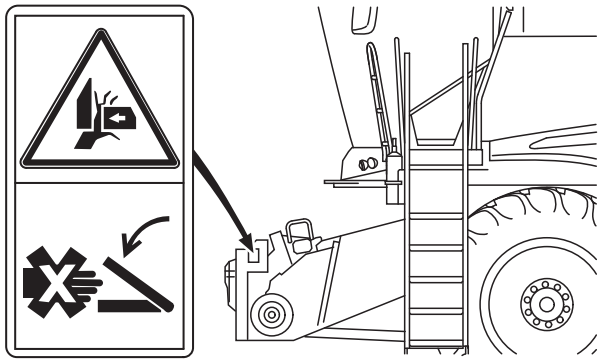


OUO6075,00015C5 -40-31JUL13-1/1

フィーダーハウス傾斜フレーム

注記：ステッカーはフィーダーハウスの両側にあります。

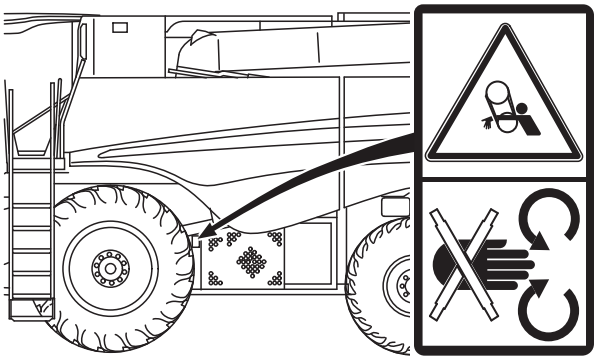
ヘッダーが傾いて大けがや死亡事故が発生する可能性があります。機械に挟まれてけがをしないように注意してください。エンジン運転中は離れてください。



OUO6041,00003F8 -40-03SEP10-1/1

左ガード

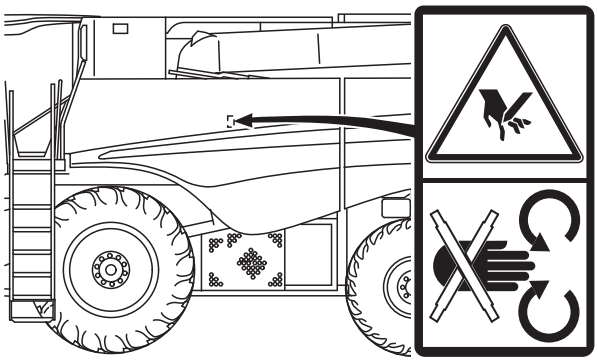
巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。エンジン運転中は、絶対にシールドを上げないでください。エンジンを停止し、キーを抜きます。



OUO6041,0000407 -40-03SEP10-1/1

グレインタンククリーンアウトドア

巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。クリーンアウトドアを開く前にエンジンを停止し、キーを抜いてください。



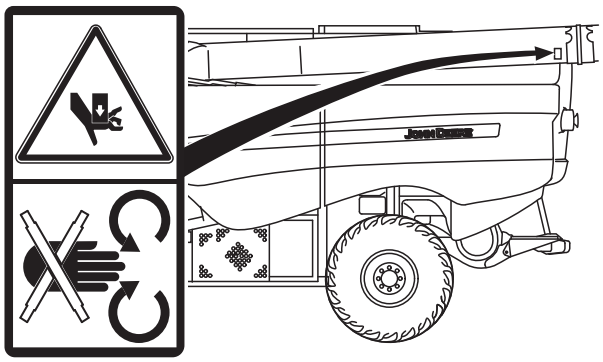
OUO6041,0000406 -40-03SEP10-1/1

動力折りたたみ式アンローディングオーガ (装備されている場合)

アンローディングオーガアクチュエータが故障した場合は、アンローディングオーガロックアウトピンをロック位置に取り付けてください (「グレインタンク」セクションを参照してください)。

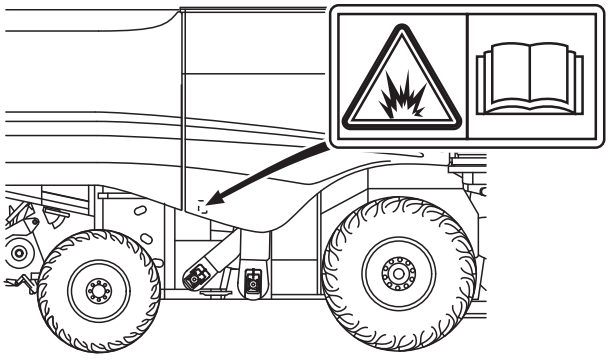
ロックアウトピンにアクセスするには、適切な荷重定格のタラップまたは同等品を使用してください。エンジンプラットフォームからオーガにアクセスしないでください。

オーガヒンジ部品によるけがを防止してください。予期しないオーガの動きが発生する可能性があるので、アクチュエータを取り外すときは、ピンチポイントに手を近づけないでください。

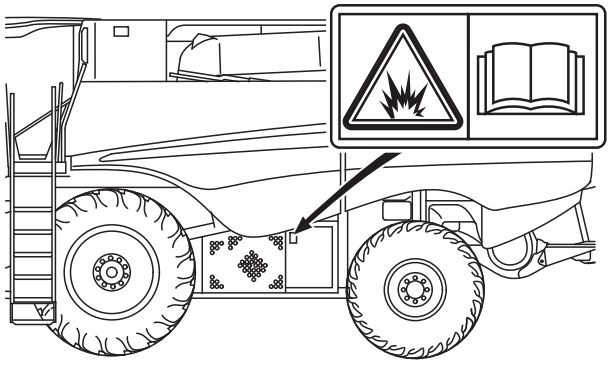


OUO6041,00003F9 -40-03SEP10-1/1

バッテリボックス



S660、S670



S680、S685、S690

爆発による大けがや死亡事故を防止してください。バッテリボックスが正しく換気されていない場合、高濃度の水素ガスが溜まる可能性があります。バッテリやバッテリボックスで整備またはメンテナンスを実施した後、必ずベントチューブを元に戻してください。

OUO6075,00015C6 -40-31JUL13-1/1

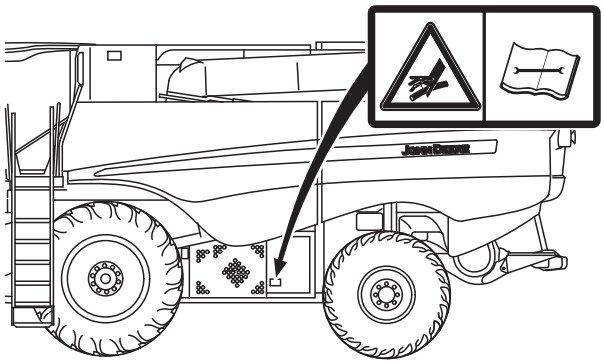
圧力がかかっている作動油および気体

圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。



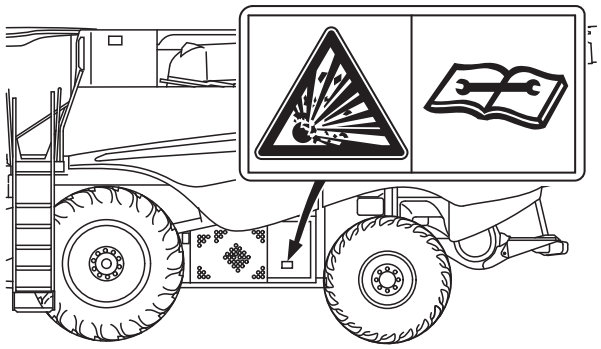
S660、S670

OUO6075,00015C7 -40-09AUG13-1/1

アキュムレータ

けがの危険、アキュムレータや油圧システムの損傷を防止するために、推奨窒素ガス圧力を維持してください。

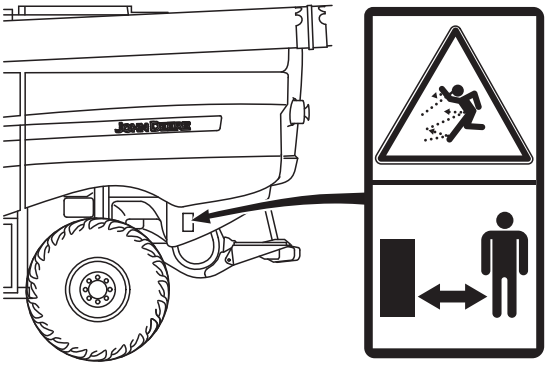
乾燥窒素のみに交換してください。定格作動圧力は 21,500 kPa (3,120 psi) です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

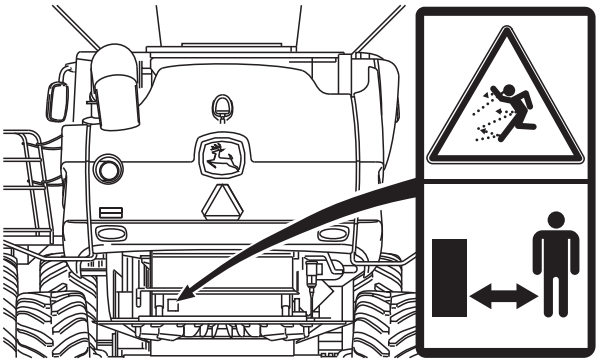


S660、S670

OUO6075,00015D8 -40-09AUG13-1/1

チョッパー

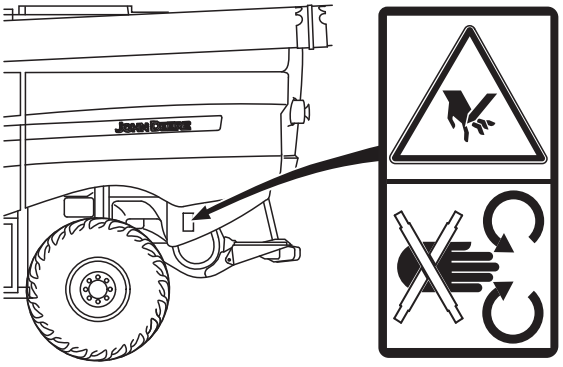




注記：ステッカーはチョッパーの両側にあります。

飛ばされた物体により大けがをしないように注意してください。エンジン運転中は離れてください。

可動部品に触れないでください。すべての可動部品が停止するまで待ちます。

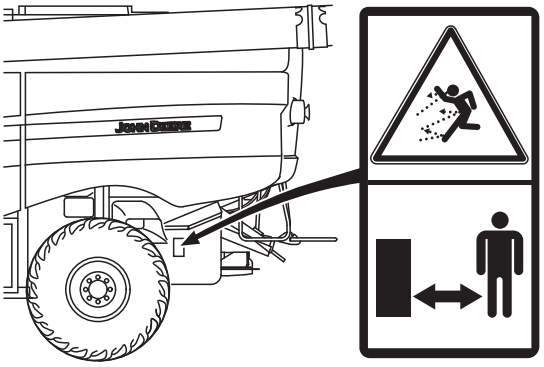


OUO6075,0001789 -40-04MAR14-1/1

スプレッダー

注記：ステッカーはスプレッダーの両側にあります。

飛ばされた物体により大けがをしないように注意してください。エンジン運転中は離れてください。

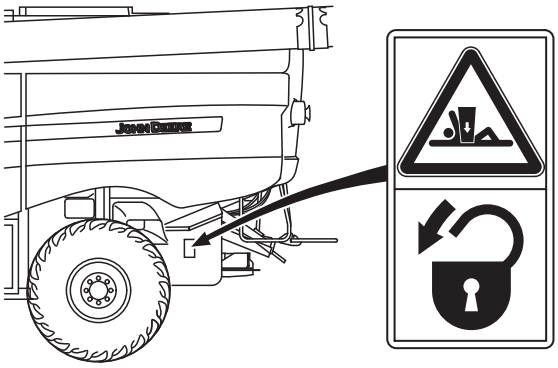


OUO6041,000040D -40-03SEP10-1/1

スプレッダーロックアウト

注記：ステッカーはスプレッダーの両側にあります。

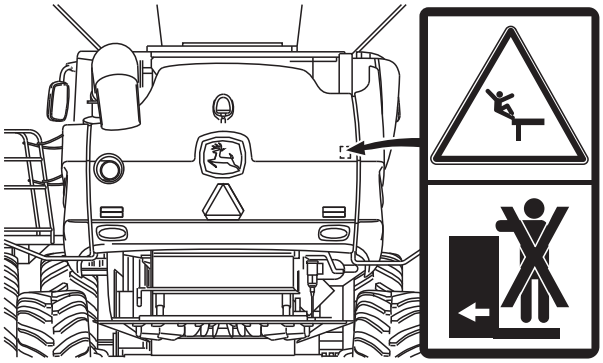
挟まれて大けがや死亡事故が発生しないように注意してください。上昇させたスプレッダーで整備やメンテナンスを行う前に、ロックアウトピンを所定の位置に完全に挿入してください。



OUO6041,00003FA -40-03SEP10-1/1

リアアクセスタラップと整備プラットフォーム

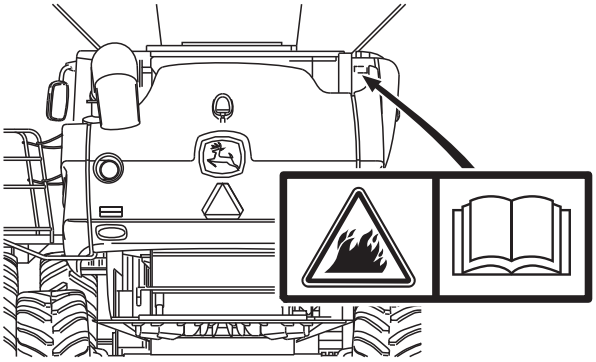
落下による大けがに注意してください。機械が動いているときにタラップに乗らないでください。



OUO6041,00003FB -40-03SEP10-1/1

火災防止

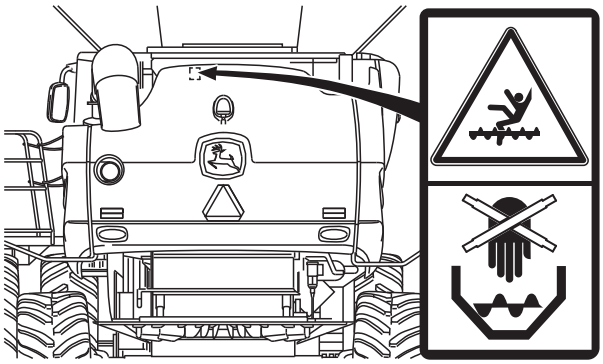
装置の火災を回避してください。エンジンルーム、エンジン、または可動部品の近くに籾殻、葉、その他の作物材料が溜まると、火災の原因になります。これらの部分を頻繁に点検し、清掃してください。



OUO6075,00015CA -40-31JUL13-1/1

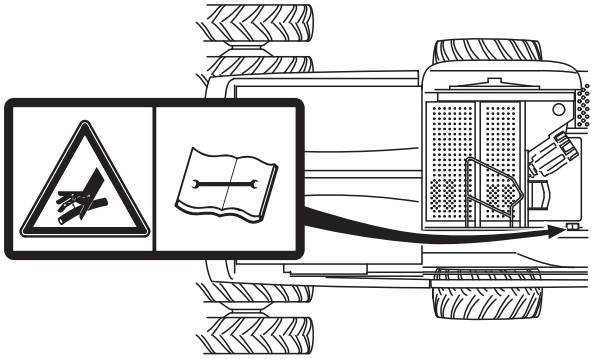
グレインタンク

巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。エンジン運転中はグレインタンクに入らないでください。

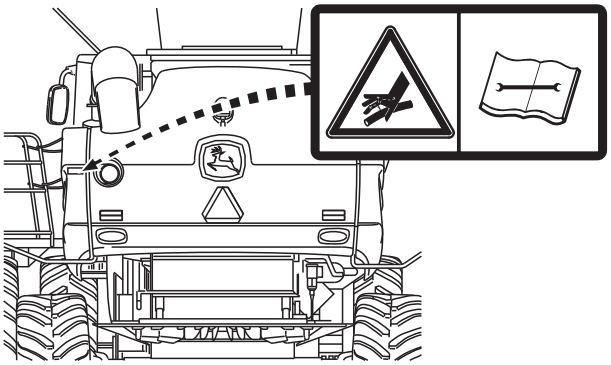


OUO6041,000040A -40-03SEP10-1/1

圧力がかかっている作動油および気体



(場所：作動油リザーバー)



S680、S685、S690
(場所：プライマリコントロールバルブの近く)

圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

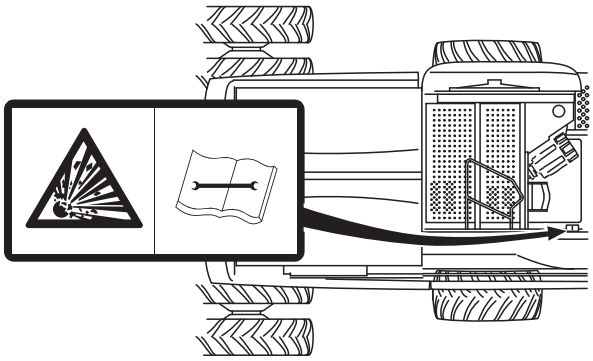
油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

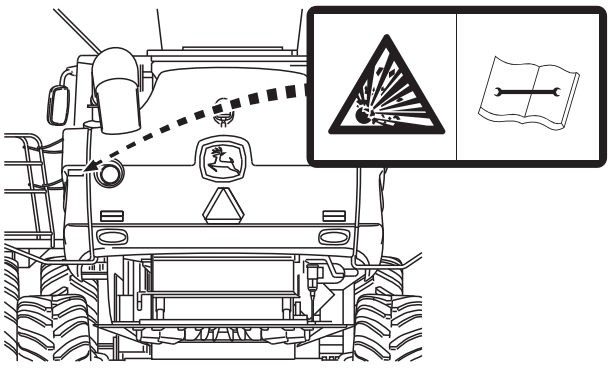
OUO6075,00015D5 -40-09AUG13-1/1

アキュムレータ



(場所：作動油リザーバー)

けがの危険、アキュムレータや油圧システムの損傷を防止するために、推奨窒素ガス圧力を維持してください。



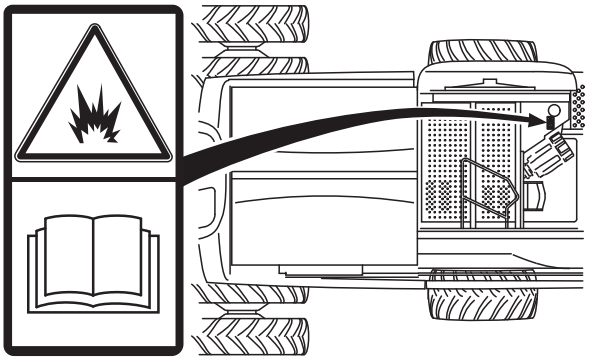
S680、S685、S690
(場所：プライマリコントロールバルブの近く)

乾燥窒素のみに交換してください。定格作動圧力は 21,500 kPa (3,120 psi) です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00015D6 -40-09AUG13-1/1

冷却システム

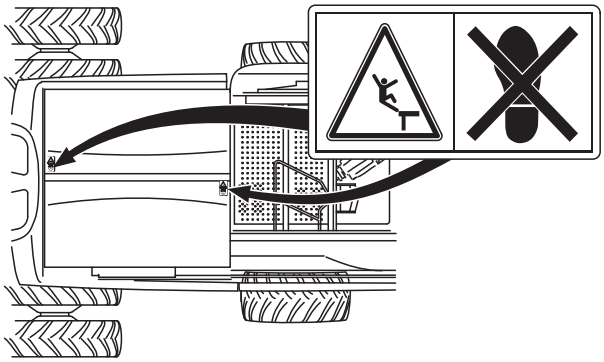
冷却システムには圧力がかかっています。蒸気や高温のクーラントが制御されないで放出されてやけどを負わないように、システムが冷めるまで待ってください。キャップをゆっくりと緩めてください。キャップを取り外す前に、圧力を解放してください。



OUO6041,0000402 -40-03SEP10-1/1

グレインタンクから離れる

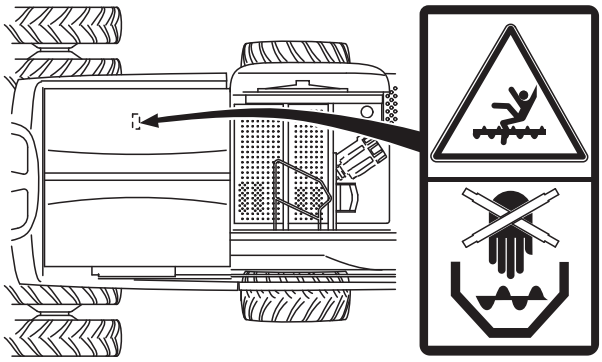
落下による大けがに注意してください。グレインタンクカバーの上に立ったり歩き回ったりしないでください。



OUO6041,000040F -40-03SEP10-1/1

クリーングレインローディングオーガの回避

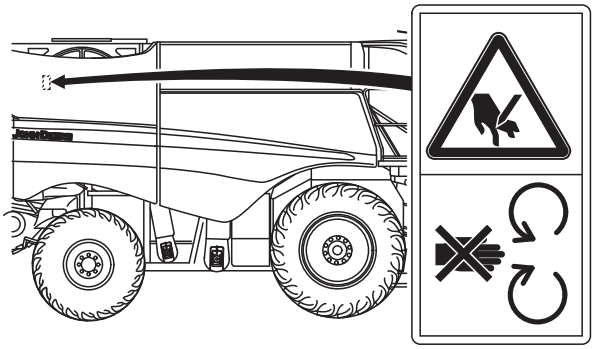
巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。エンジン運転中はグレインタンクに入らないでください。



OUO6041,0000410 -40-03SEP10-1/1

ロータリースクリーンドアとラジエータファン

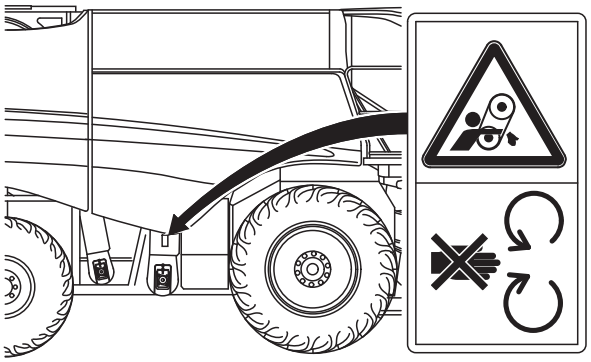
回転しているファンおよびスクリーン部品によるけがを防止してください。ロータリースクリーンドアを開く前にエンジンを停止し、キーを抜いてください。



OUO6041,00003FF -40-03SEP10-1/1

クリーングレインエレベーター

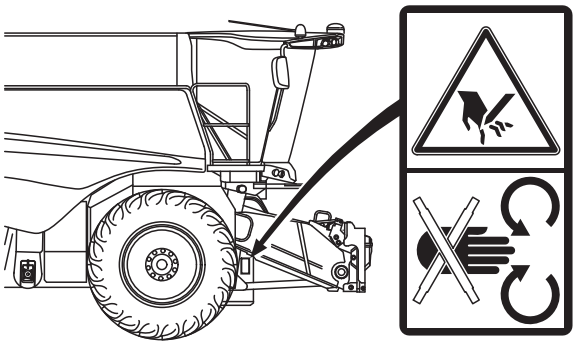
巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。エンジン運転中は、絶対にシールドを上げないでください。エンジンを停止し、キーを抜きます。



OUO6041,00003FE -40-03SEP10-1/1

ストーントラップ

フィードアクセルレータに巻き込まれた大けがをしないように注意してください。フィードアクセルレータは、セパレータが接続されると回り、セパレータが解除された後に停止します。すべてのセパレータの動きが停止するまで、ストーントラップを清掃しないでください。



OUO6041,0000457 -40-03SEP10-1/1

圧力がかかっている作動油および気体

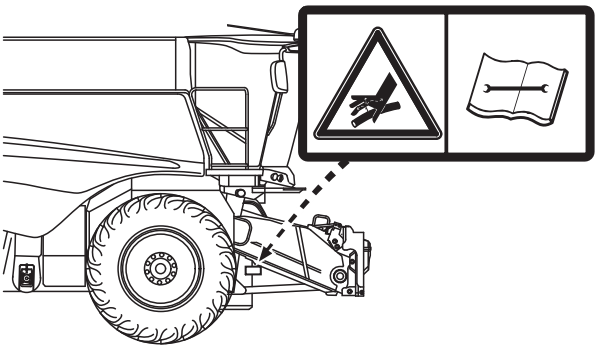
注記：ステッカーはストーントラップドアにあり、ProDrive™ トランスミッション装備の機械のみにあります。

圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。



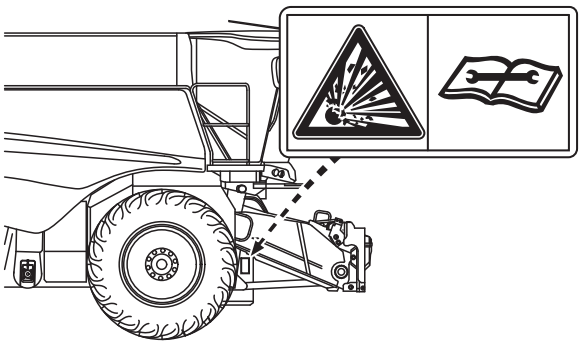
OUO6075,00015CF -40-31JUL13-1/1

アキュムレータ

注記：ステッカーはストーントラップドアにあり、ProDrive™ トランスミッション装備の機械のみにあります。

けがの危険、アキュムレータや油圧システムの損傷を防止するために、推奨窒素ガス圧力を維持してください。

乾燥窒素のみに交換してください。定格作動圧力は 21,500 kPa (3,120 psi) です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

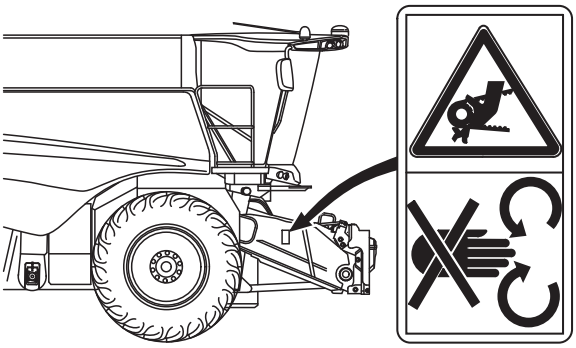


OUO6075,0000921 -40-01JUL13-1/1

フィーダーコンベア駆動装置ガード

注記：ステッカーは、シールドの外側と内側およびフィーダーハウスの両側にあります。

エンジン運転中はガードを開けないでください。

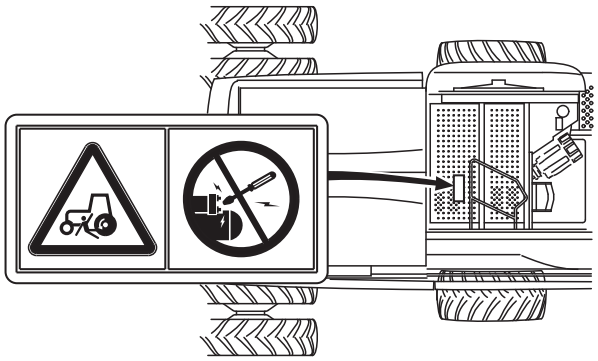


OUO6041,0000458 -40-03SEP10-1/1

スタータ

注記：ステッカーはスタータにあります。

スタータやソレノイドの端子を短絡させてエンジンを始動しないでください。通常の回路を迂回すると、機械や部品が動く可能性があります。

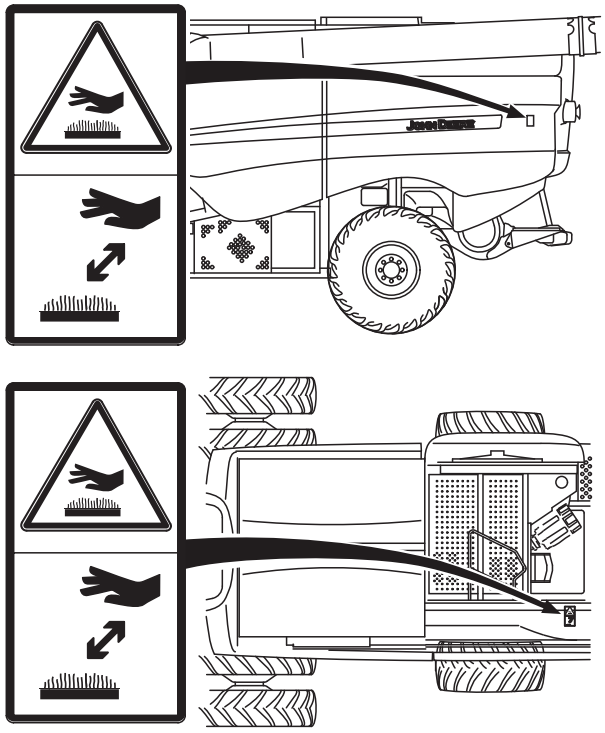


OUO6075,00015D0 -40-31JUL13-1/1

排気温度 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

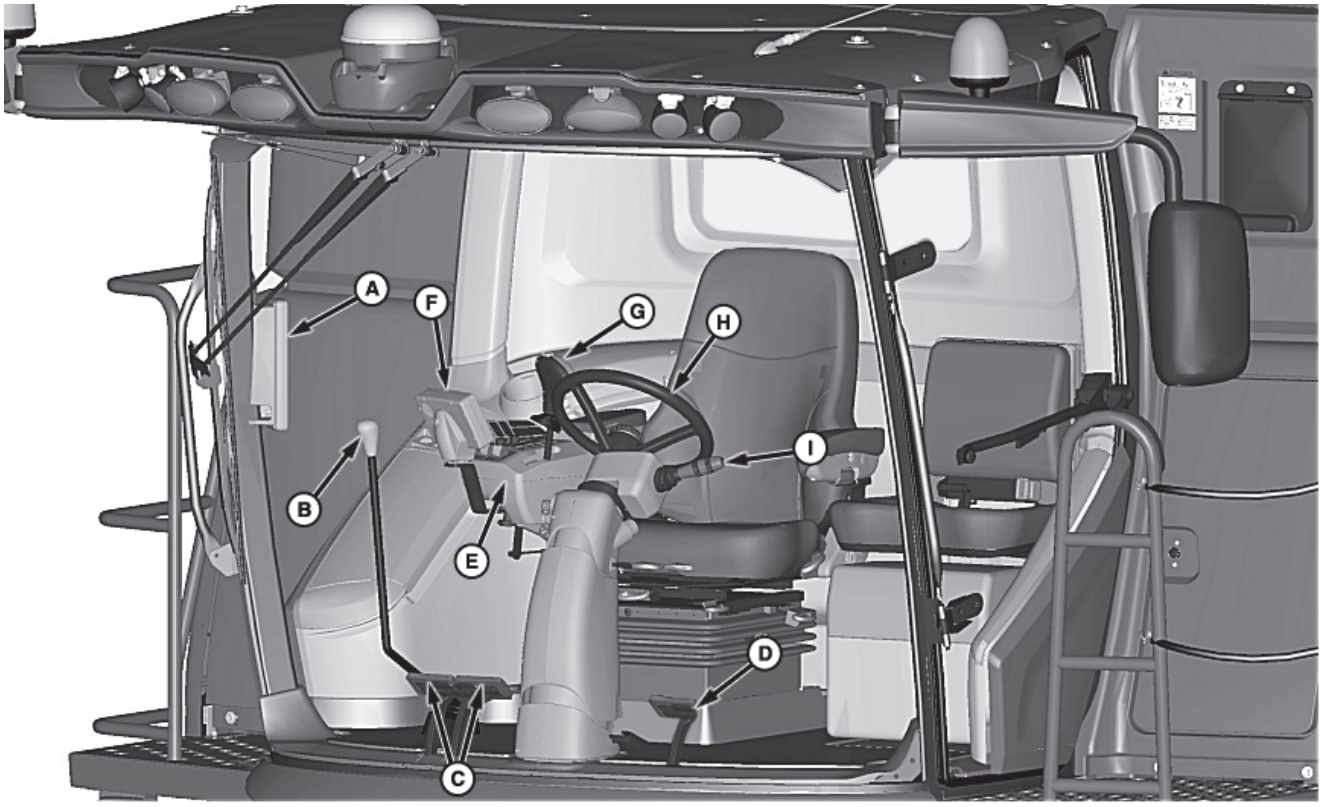
注記：ステッカーはシールド面にあります (外側および上部)。

排気システムの部品は高温になっていることがあります。重傷のやけどを負わないように、排気システム部品に近づかないでください。



OUO6075,00015DE -40-14AUG13-1/1

コントロールと計器の全体図



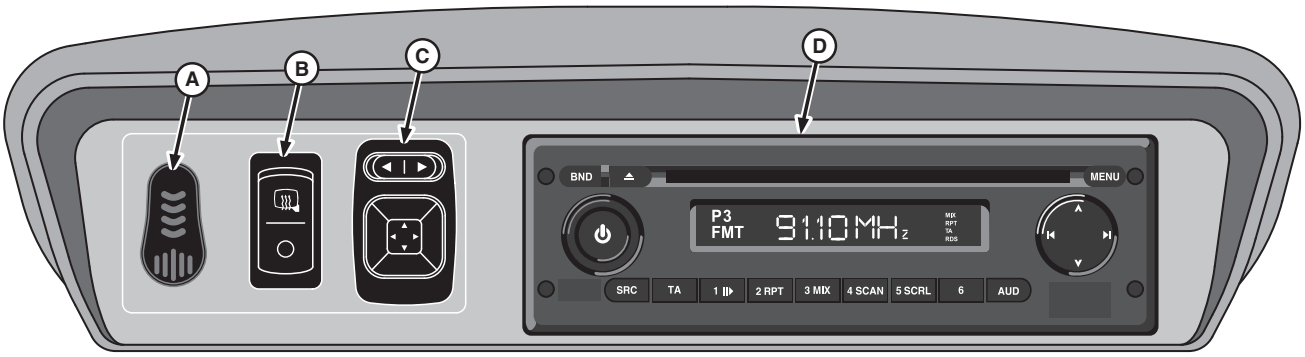
A：CommandTouch™ キャビンコーナーポスト
B：ギアシフトレバー (装備されている場合)
C：ブレーキペダル
D：手動パーキングブレーキ (装備されている場合)
E：CommandTouch™ ひじかけコンソール
F：CommandCenter™ ディスプレイ
G：マルチファンクションレバー
H：ステアリングコラム
I：ターンシグナル／ライト選択レバー

CommandTouch は Deere & Company の商標です。
CommandCenter は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0000495 -40-10DEZ10-1/1

オーバーヘッドコントロールパネル

オーバーヘッドコントロールパネル



A：マイク (オプション)

B：ミラーヒータースイッチ (オプション)

C：ミラーコントロールスイッチ (オプション)

D：ラジオ (オプション)

OUO6075,0001850 -40-23JUN14-1/1

マイク (オプション)

注記：マイクが機能するには、キースイッチが ON の位置にあるか、機械を運転している必要があります。

オペレータは、オーバヘッドパネルのマイクを使って、Bluetooth® 携帯電話を使用してハンズフリーで通信します (Bluetooth を有効にしている必要があります)。

注記：Bluetooth はワイヤレスで携帯電話に接続できる狭域通信技術です。

Bluetooth は Bluetooth SIG の商標です。

OUO6075,000089A -40-14JUL10-1/1

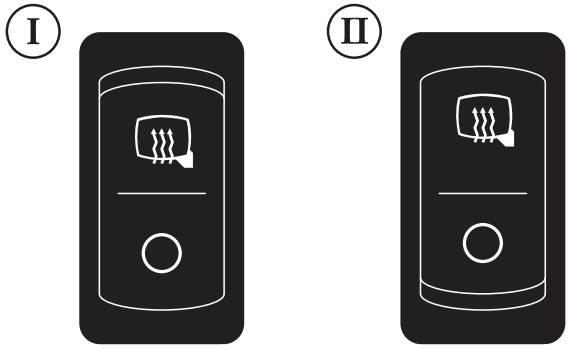
ミラーヒータースイッチ (オプション)

注記：ミラーを調整するには、キースイッチが ON の位置にあるか、機械を運転している必要があります。

ヒーター付きミラーは氷や曇り除去します。

ミラーヒータースイッチ (I) で (スイッチの下側を押して) 電源を OFF にします。ミラーヒータースイッチ (II) で (スイッチの上側を押して) ミラーを暖めます。

I：ミラーヒータースイッチ (OFF)
II：ミラーヒータースイッチ (ON)



OUO6075,00008AE -40-20AUG10-1/1

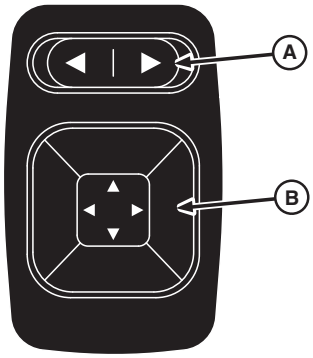
ミラーコントロールスイッチ (オプション)

注記：ミラーを調整するには、キースイッチが ON の位置にあるか、機械を運転している必要があります。

ミラーコントロールスイッチ (A) は左右のミラーに電源を供給します。スイッチの左側を押して左ミラーに電源を供給し、スイッチの右側を押して右ミラーに電源を供給します。

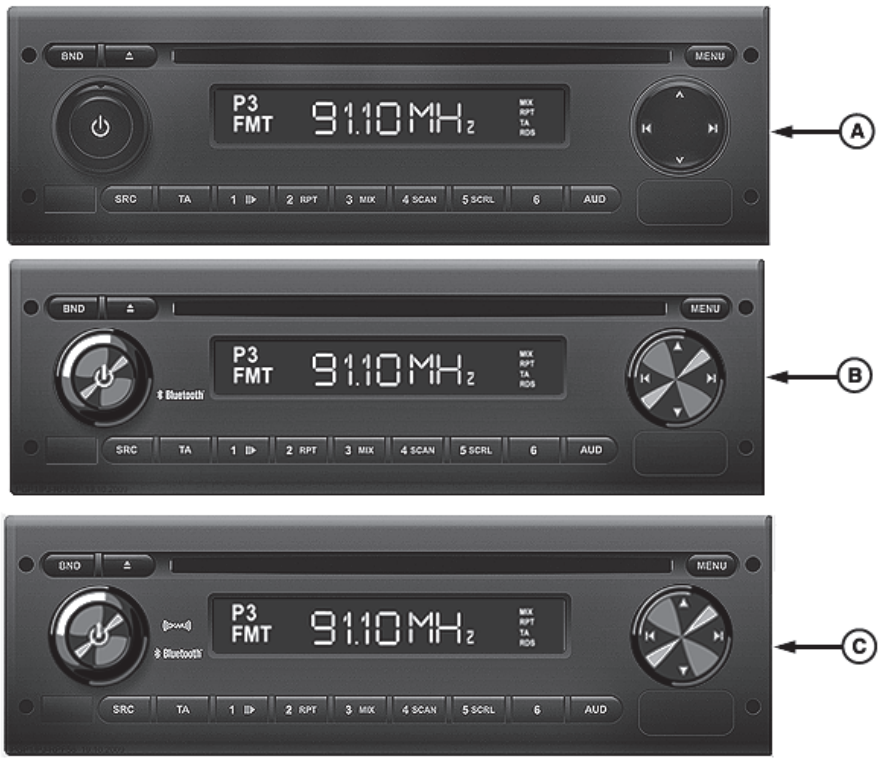
ミラー調整スイッチ (B) で選択したミラーを上下・左右に動かします。

A：ミラーコントロールスイッチ
B：ミラー調整スイッチ



OUO6075,00003F6 -40-14JUL10-1/1

ラジオの種類 (オプション)



主要機能	ラジオ	外部デバイスの接続	CD	CD、MP3/WMA	USB	Bluetooth®	衛星ラジオ
(A)：CD 付きデラックスラジオシステム	X	X	X	X			
(B)：プレミアムラジオシステム (欧州／輸出モデル)	X	X	X	X	X	X	
(C)：プレミアムラジオシステム (北米)	X	X	X	X	X	X	X

Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

OUO6075,000184F -40-19JUN14-1/1

アフターマーケットラジオ

重要：アフターマーケットラジオの取り付けまたは交換を行う場合は、詳細について John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,0000B6E -40-21MAR11-1/1

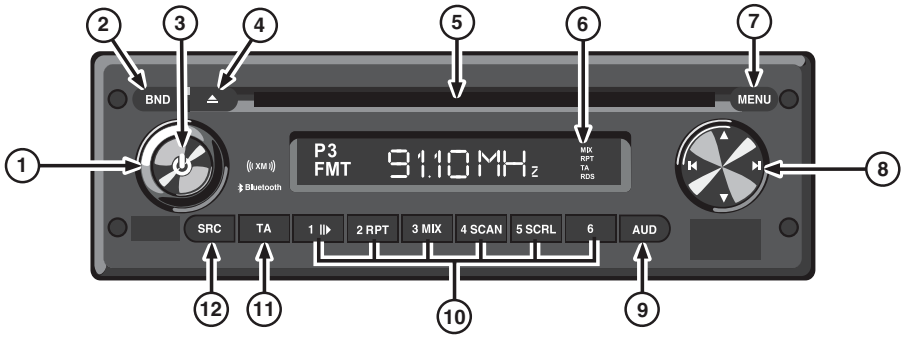
現地周波数へのラジオのプログラム

注記：ラジオで別のチューナー周波数が必要な場合は、詳細について John Deere 取扱店にお問い合わせください。

周波数バンド (米国／カナダ)		周波数バンド (欧州)	
FM	87.7～107.9 MHz	UKW (FM)	87.5～108.0 MHz
AM	530～1710 kHz	MW	522～1629 kHz
WX	162.4～162.55 MHz	LW	153～279 kHz

OUO6075,0001165 -40-25JUN12-1/1

ラジオのコントロール



1：音量コントロール
2：バンド (BND) キー
3：電源／ミュートキー
4：イジェクトキー
5：CD スロット
6：ラジオディスプレイ
7：メニューキー
8：マルチファンクションロッカースイッチ
9：オーディオ (AUD) キー
10：キーブロック (1～6)
11：交通情報 (TA) キー
12：ソース選択 (SRC) キー

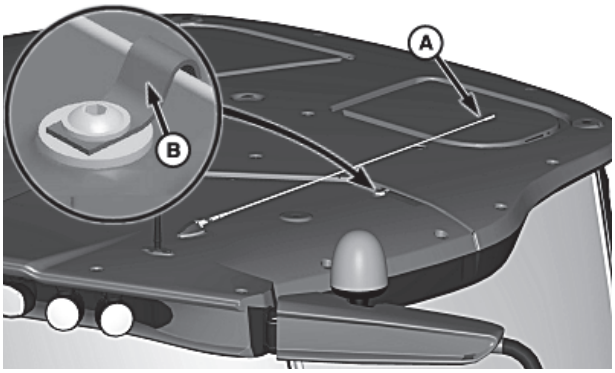
注記：詳細については、ラジオの取扱説明書を参照してください。

OUO6075,0001851 -40-23JUN14-1/1

アンテナ

重要：ラジオを使用しない場合、または機械を輸送する場合は、アンテナを下げてクリップで固定してください。クリップがない場合は、アンテナをキャビンルーフにテープで固定します。

アンテナの調整範囲は 5～60° です。最大角度を超えるとアンテナが損傷します。

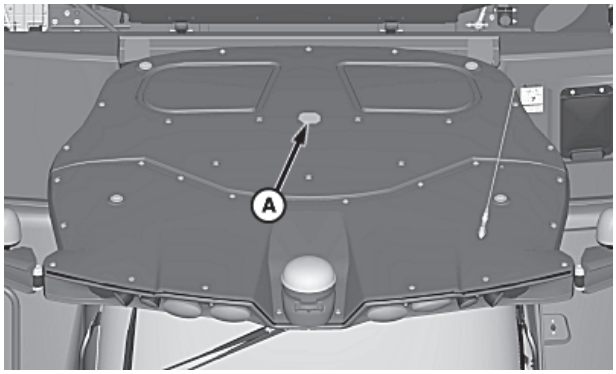


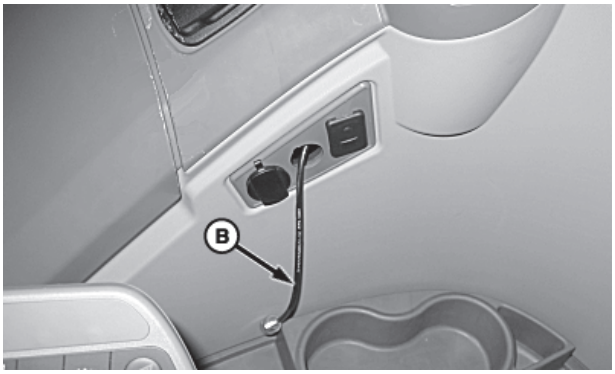
ラジオを使用するときは、クリップ (B) からラジオアンテナ (A) を取り外してください。

A：ラジオアンテナ
B：クリップ

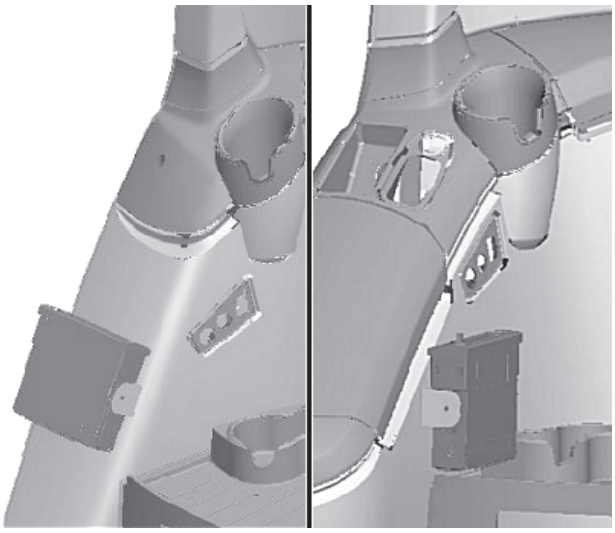
OUO6075,000183C -40-07JUL14-1/1

通信／CB 無線機の取り付け





後部コーナーポストの位置 (右後)



デラックスキャビンでの位置／プレミアムキャビンでの位置

A : アンテナマウント　　**B : アンテナケーブル**

重要：電気システムが故障する可能性があるため、3 A を超える電流を必要とするラジオは取り付けないでください。

追加の通信無線機を取り付ける場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

アンテナマウント (A) はキャビンルーフの中央にあります。

1. アンテナ取り付け座からダストキャップを取り外します。
2. アンテナ取り付け座から真鍮製ナットを取り外します。
3. ゴム製ワッシャーを廃棄します。
4. O リングを下に向けてアンテナ取り付け座を取り付けます。
5. アンテナを取り付けます。

注記：カップホルダを取り外してアンテナケーブルを確認し、開口部を通して取り回します。

アンテナケーブル (B) は、キャビン右側のアームレストコンソールの下にあります。

重要：ドリルで穴をあける前に、コーナーポストカバーを取り外す必要があります。ドリルでの穴あけまたは金具の取り付け時は、図に示すワイヤハーネスやクーラントホースを損傷しないように注意してください。

必要に応じて、図に示すさまざまな位置でメーカーが提供しているブラケットを穴の位置と穴あけのテンプレートとして使用します。セルフタッピングねじまたはボルトとナットを使用してブラケットを取り付けます。

注記：特定の放送バンドは測位レシーバとの干渉を生じることがあります。測位レシーバで信号の損失が確認された場合は、別の放送バンドを使用するか、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00014A9 -40-18APR13-1/1

ひじかけディスプレイのナビゲーション (GreenStar™ 3 CommandCenter™ 非タッチスクリーン)

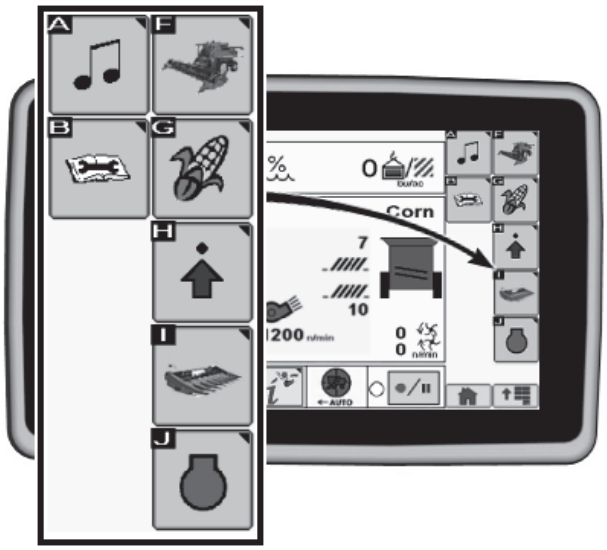
ディスプレイ画面で移動するには、2 つの方法があります。

選択ダイヤルと「Confirm (確定)」スイッチによる方法：

選択ダイヤル (K) を使用して必要なアイコン (A～J) を強調表示します。

必要なアイコンを強調表示したら、次のダイヤルとスイッチを使用します。

- **選択ダイヤル (K)**：ダイヤルを回して次の操作を行います。
  - 選択したページで利用可能な項目間をスクロールします。
  - 選択した項目の値を増減します。
- **「Confirm (確定)」スイッチ (L)**：利用可能な項目を選択したら、選択ダイヤルを使用し、スイッチを押して次の操作を行います。
  - 項目を選択する
  - 項目内の利用可能な選択肢を切り替える
  - 値を入力／保存する
- **「Cancel (キャンセル)」スイッチ (M)**：スイッチを押して現在の選択をキャンセルします。



ショートカットスイッチによる方法：

ショートカットスイッチ (A～J) を使用すると、ディスプレイ上の必要な入力フィールドや対応する項目をワンタッチで選択できます。

- **ショートカットスイッチ (A～J)**：スイッチを押して、ひじかけのディスプレイまたは GreenStar™ ディスプレイ (装備されている場合) の対応するアイコンを選択します。

ナビゲーションスイッチは次のとおりです。

- **「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (N)**：スイッチを押して、ディスプレイで実行されているアクティブなアプリケーションを変更します。以下のアプリケーションがあります。
  - メッセージセンター
  - ディスプレイの設定
  - レイアウトマネージャ
  - コンバイン
  - パフォーマンスモニタ
  - GreenStar™
  - ビデオ
  - アクセスマネージャ
- **「Home (ホーム)」スイッチ (O)**：ユーザー定義ホーム画面を表示します。複数の画面が定義されている場合は、ホームスイッチを複数回押して定義済みのホーム画面を切り替えます。

GreenStar は Deere & Company の商標です。
CommandCenter は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00013B4 -40-04FEB13-1/1

ひじかけディスプレイのナビゲーション (GreenStar™ 3 CommandCenter™ タッチスクリーン)

ディスプレイ画面で移動するには、3 つの方法があります。

選択ダイヤルと「Confirm (確定)」スイッチによる方法：

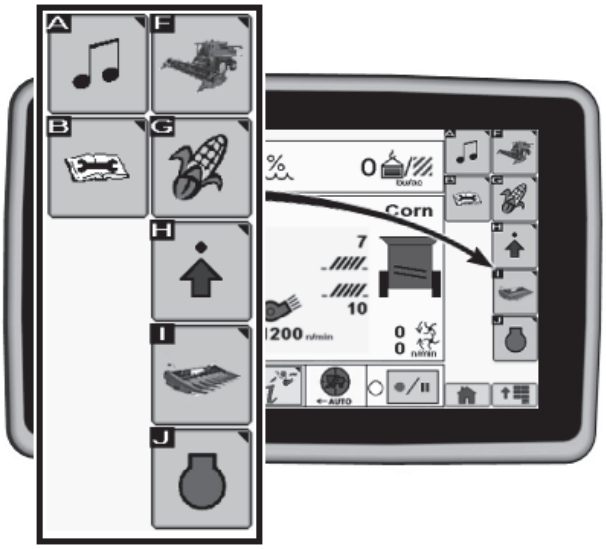
選択ダイヤル (K) を使用して必要なアイコン (A～J) を強調表示します。

必要なアイコンを強調表示したら、次のダイヤルとスイッチを使用します。

- **選択ダイヤル (K)**：ダイヤルを回して次の操作を行います。
  - 選択したページで利用可能な項目間をスクロールします。
  - 選択した項目の値を増減します。
- **「Confirm (確定)」スイッチ (L)**：利用可能な項目を選択したら、選択ダイヤルを使用し、スイッチを押して次の操作を行います。
  - 項目を選択する
  - 項目内の利用可能な選択肢を切り替える
  - 値を入力／保存する
- **「Cancel (キャンセル)」スイッチ (M)**：スイッチを押して現在の選択をキャンセルします。

ショートカットスイッチによる方法：

ショートカットスイッチ (A～J) を使用すると、ディスプレイ上の必要な入力フィールドや対応する項目をワンタッチで選択できます。



- **ショートカットスイッチ (A～J)**：スイッチを押して、ひじかけのディスプレイまたは GreenStar™ ディスプレイ (装備されている場合) の対応するアイコンを選択します。

タッチスクリーンによる方法：

重要：タッチスクリーンには、指先よりも固いものまたは鋭いもの (ペン、鉛筆、または金属製の物) で絶対に触れないでください。強く押しすぎても表面下の部品が損傷し、保証が無効になる可能性があります。弱い圧力であっても長時間継続して加えるとタッチスクリーンの信頼性を損ないます。

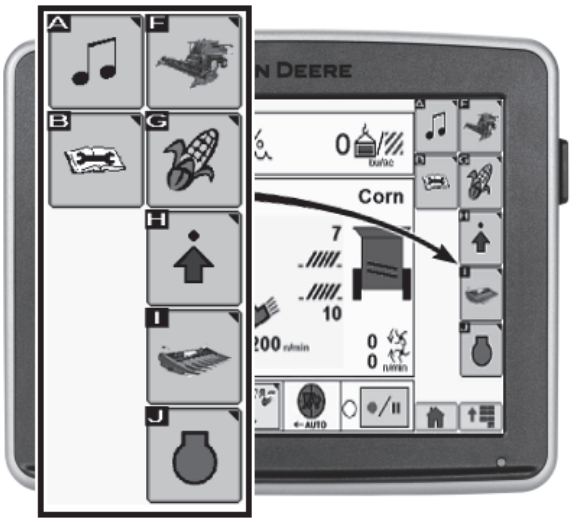
- ディスプレイの必要なアイコンを選択して触れます。

ナビゲーションスイッチは次のとおりです。

- **「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (N)**：スイッチを押して、ディスプレイで実行されているアクティブなアプリケーションを変更します。以下のアプリケーションがあります。
  - メッセージセンター
  - ディスプレイの設定
  - レイアウトマネージャ
  - コンバイン
  - パフォーマンスモニタ
  - GreenStar™
  - ビデオ
  - アクセスマネージャ
- **「Home (ホーム)」スイッチ (O)**：ユーザー定義ホーム画面を表示します。複数の画面が定義されている場合は、ホームスイッチを複数回押して定義済みのホーム画面を切り替えます。

GreenStar は Deere & Company の商標です。
CommandCenter は Deere & Company の商標です。

ひじかけディスプレイのナビゲーション (GreenStar™ 3 2630 ディスプレイ)



注記：GreenStar™ 2 2600 ディスプレイはひじかけ構成に対応していません。

GreenStar™ 2 2600 ディスプレイはコーナーポストのみに取り付けることができます。GreenStar™ 3 2630 ディスプレイをコーナーポストの 2 番目のディスプレイとして取り付ける場合、ユーザーインターフェースモジュール (UIM) で画面上のナビゲーションは制御されません。コーナーポストのディスプレイはタッチスクリーンとしてのみ機能します。

選択ダイヤルと「Confirm (確定)」スイッチによる方法：

選択ダイヤル (K) を使用して必要なアイコン (A～J) を強調表示します。

必要なアイコンを強調表示したら、次のダイヤルとスイッチを使用します。

- **選択ダイヤル (K)**：ダイヤルを回して次の操作を行います。
  - 選択したページで利用可能な項目間をスクロールします。
  - 選択した項目の値を増減します。
- **「Confirm (確定)」スイッチ (L)**：ディスプレイ上で利用可能な項目を選択したら、選択ダイヤルを使用し、スイッチを押して次の操作を行います。
  - 項目を選択する
  - 項目内の利用可能な選択肢を切り替える
  - 値を入力／保存する
- **「Cancel (キャンセル)」スイッチ (M)**：スイッチを押して現在の選択をキャンセルします。

GreenStar は Deere & Company の商標です。

ショートカットスイッチによる方法：

ショートカットスイッチ (A～J) を使用すると、ディスプレイ上の必要な入力フィールドや対応する項目をワンタッチで選択できます。

- **ショートカットスイッチ (A～J)**：スイッチを押して、ひじかけのディスプレイまたは GreenStar™ ディスプレイ (装備されている場合) の対応するアイコンを選択します。

タッチスクリーンによる方法：

重要：タッチスクリーンには、指先よりも固いものまたは鋭いもの (ペン、鉛筆、または金属製の物) で絶対に触れないでください。強く押しすぎても表面下の部品が損傷し、保証が無効になる可能性があります。弱い圧力であっても長時間継続して加えるとタッチスクリーンの信頼性を損ないます。

- ディスプレイの必要なアイコンに触れます。

ナビゲーションスイッチは次のとおりです。

- **「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (N)**：スイッチを押して、ディスプレイで実行されているアクティブなアプリケーションを変更します。以下のアプリケーションがあります。
  - メッセージセンター
  - ディスプレイの設定
  - レイアウトマネージャ
  - コンバイン
  - パフォーマンスモニタ
  - GreenStar™
  - ビデオ
  - アクセスマネージャ
- **「Home (ホーム)」スイッチ (O)**：ユーザー定義ホーム画面を表示します。複数の画面が定義されている場合は、ホームスイッチを複数回押して定義済みのホーム画面を切り替えます。

ディスプレイナビゲーションのレイアウト

「Infotainment (インフォテイメント)」(A)
「Diagnostic and Calibrations (診断と較正)」(B)
「Combine Main (コンバインメイン)」(F)
「Harvesting Information (収穫情報)」(G) [a]
「Combine Setup (コンバインの設定)」(H)
「Header Setup (ヘッダーの設定)」(I) [b]
「Engine Information (エンジン情報)」(J)

[a] アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じてトウモロコシとコムギの間で切り替わります。
[b] アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のディスプレイ画面に進みます。詳細な画面ナビゲーションについては、以降の情報を参照してください。

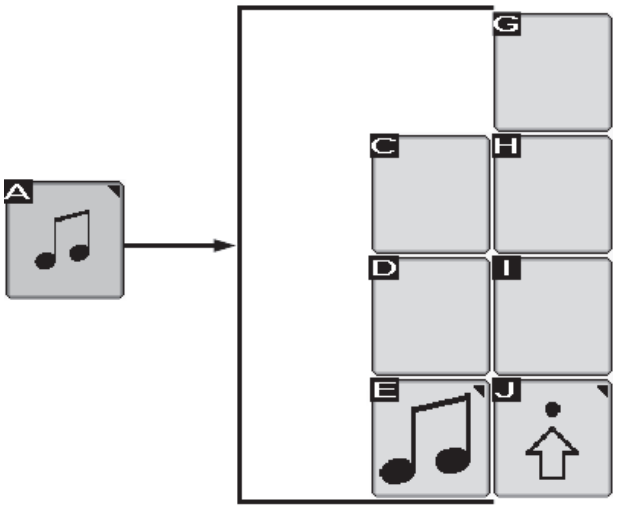
OUO6075,0001736 -40-19MAR14-1/8

インフォテイメント

注記：選択したオーディオソースに応じて、インフォテイメント内のアイコンは異なります。

「Infotainment (インフォテイメント)」(A)

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のディスプレイ画面に進みます。詳細な画面ナビゲーションについては、以降の情報を参照してください。



次のページへ

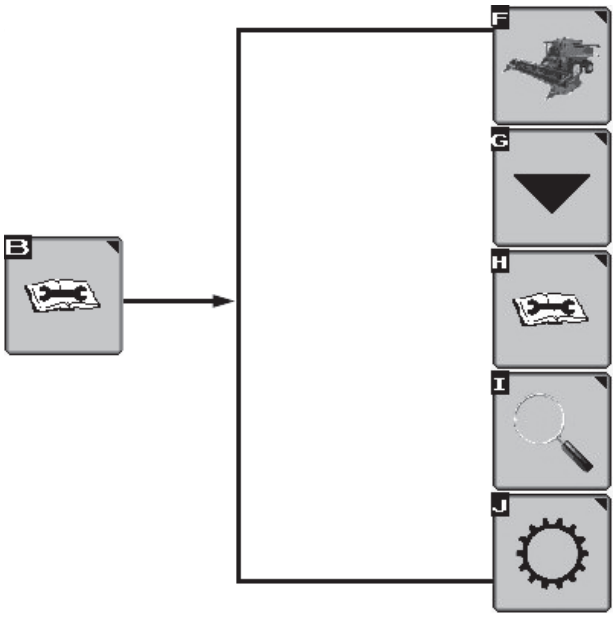
OUO6075,0001736 -40-19MAR14-2/8

診断と較正

「Diagnostic and Calibrations (診断と較正)」(B)		
アイコン (F)	**アイコン (G)**	**アイコン (H)**
「Combine Main (コンバインメイン)」	較正	診断結果
アイコン (I)	**アイコン (J)** [a]	
「Special Tests (特殊テスト)」	「Tow Mode Setup (牽引モードの設定)」	

[a] ProDrive™ および押しボタンシフトトランスミッション装備の機械のみで表示されます。

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のディスプレイ画面に進みます。詳細な画面ナビゲーションについては、以降の情報を参照してください。



OUO6075,0001736 -40-19MAR14-3/8

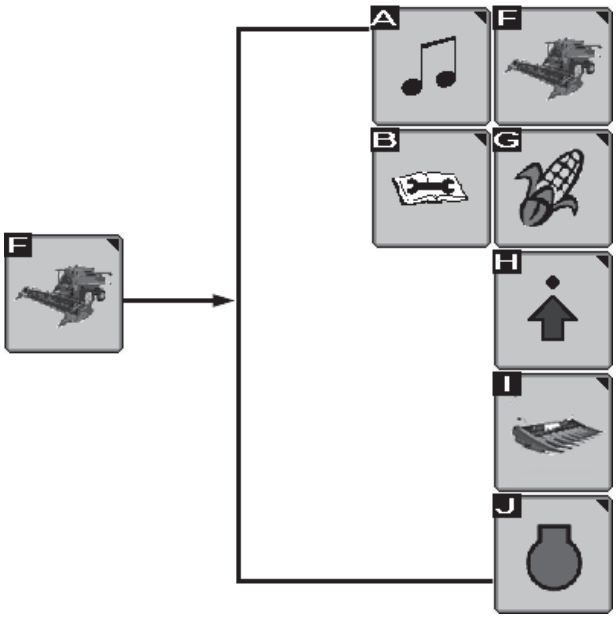
「Combine Main (コンバインメイン)」

注記：「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンはすべてのディスプレイ画面に表示されます。「Combine Main (コンバインメイン)」画面に戻ることができます。

「Combine Main (コンバインメイン)」(F)	
アイコン (A)	インフォテイメント
アイコン (B)	診断と較正
アイコン (F)	「Combine Main (コンバインメイン)」
アイコン (G)	収穫情報 [a]
アイコン (H)	「Combine Setup (コンバインの設定)」
アイコン (I)	「Header Setup (ヘッダーの設定)」 [b]
アイコン (J)	「Engine Information (エンジン情報)」

[a] アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じてトウモロコシとコムギの間で切り替わります。
[b] アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のディスプレイ画面に進みます。詳細な画面ナビゲーションについては、以降の情報を参照してください。



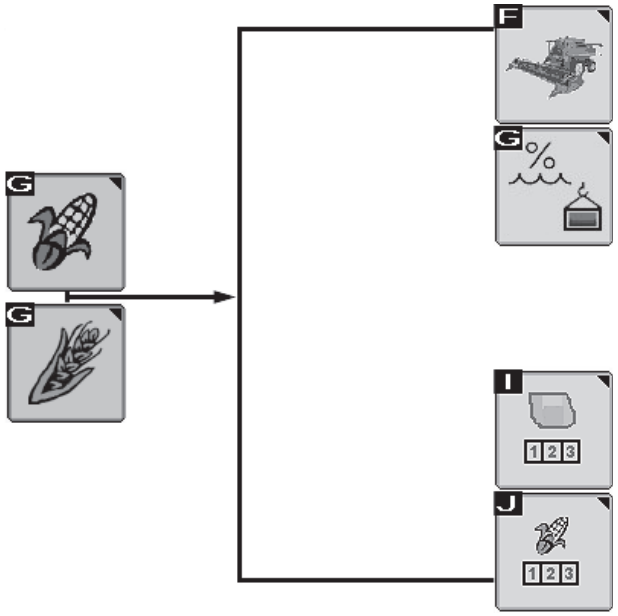
次のページへ

OUO6075,0001736 -40-19MAR14-4/8

収穫情報

「Harvesting Information (収穫情報)」(G) [a]	
アイコン (F)	**アイコン (G)**
Combine Main (コンバインメイン)	Yield Information (収量情報)
	Moisture Information (水分情報)
	Change Cut Width/Rows (刈幅／条数の変更) [b]
アイコン (I) [c]	**アイコン (J)** [c]
Field Totals (圃場総収量)	Crop Totals (作物総収量)

[a] アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じてトウモロコシとコムギの間で切り替わります。
[b] GreenStar™ ディスプレイを取り付けている場合、刈幅／条数は GreenStar™ ディスプレイで調整され、ひじかけディスプレイのみに表示されます。
[c] GreenStar™ ディスプレイを取り付けている場合、「Field Totals (圃場総収量)」ページと「Crop Totals (作物総収量)」ページは利用できません。総収量は GreenStar™ ディスプレイに表示されます。



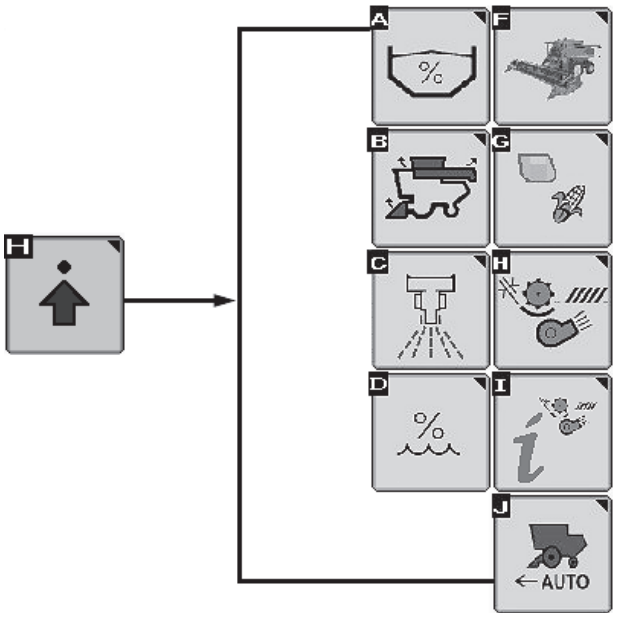
必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のディスプレイ画面に進みます。詳細な画面ナビゲーションについては、以降の情報を参照してください。

OUO6075,0001736 -40-19MAR14-5/8

「Combine Setup (コンバインの設定)」

コンバインの設定 (H)		
アイコン (A)	**アイコン (B)**	**アイコン (C)**
Grain Tank Level Setup (グレインタンクレベルの設定)	Folding Functions Setup (折りたたみ機能の設定) [a]	Residue Management Setup (残留物管理の設定) [b]
アイコン (D)	**アイコン (F)**	**アイコン (G)**
Moisture Alarm (水分アラーム)	Combine Main (コンバインメイン)	Crop Setup (作物の設定) [c]
Moisture Correction (Offset) (水分補正 (オフセット))		Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)
Yield Units (収量単位)」		Advanced Grain Loss Setup (詳細穀粒ロス設定)
アイコン (H)	**アイコン (I)**	**アイコン (J)**
Automatic Combine Adjust Setup (自動コンバイン調整設定)	Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整) [d]	Harvest Smart™ Feed Rate の設定 [e]

[a] 折りたたみ式グレインタンクカバーを装備している場合。
[b] Premium Flex Residue チョッパー／スプレッダーを装備している場合。
[c] GreenStar™ ディスプレイを取り付けている場合、作物は GreenStar™ ディスプレイで設定します。
[d] インタラクティブコンバイン調整を装備している場合。
[e] Harvest Smart™ Feed Rate を装備している場合。



必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のディスプレイ画面に進みます。詳細な画面ナビゲーションについては、以降の情報を参照してください。

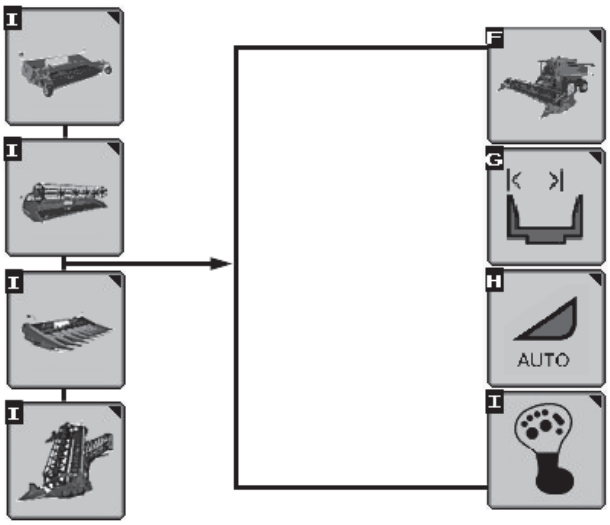
次のページへ

OUO6075,0001736 -40-19MAR14-6/8

ヘッダーの設定

「Header Setup (ヘッダーの設定)」(I) [a]	
アイコン (F)	**アイコン (G)** [a]
「Combine Main (コンバインメイン)」	「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」
	「Header Hours (ヘッダー運転時間)」
	「Record Stop Height (記録停止高さ)」
アイコン (H)	**アイコン (I)**
「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」	マルチファンクションレバーの設定 [b]

[a] アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。
[b] 機械のオプションやヘッダーのタイプによっては、ドレーパーカッターバー傾斜 (600D Draper) 、油圧フィーダーハウス前後傾斜 (装備されている場合) 、またはカッターバー前後 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム) を制御するためにスイッチを再プログラムすることができます。



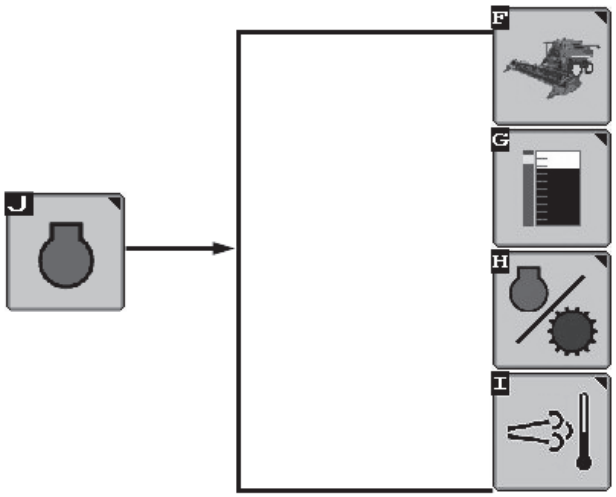
必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のディスプレイ画面に進みます。詳細な画面ナビゲーションについては、以降の情報を参照してください。

OUO6075,0001736 -40-19MAR14-7/8

「Engine Information (エンジン情報)」

エンジン情報 (J)	
アイコン (F)	**アイコン (G)**
「Combine Main (コンバインメイン)」	「Engine and Separator Hours (エンジンとセパレータの運転時間)」
	「Power Meter (出力計)」
	「Exhaust Filter Cleaning (エグゾーストフィルタクリーニング)」 [a]
アイコン (H)	**アイコン (I)**
「Engine Speed Management (エンジン回転数管理)」 [b]	「Engine Cool Down Progress (エンジンクールダウン進行中)」 [c]

[a] インテリムティア 4／ステージ III B またはファイナル ティア 4／ステージ IV エンジンを装備している場合に表示されます。
[b] ProDrive™ トランスミッションを装備している場合に表示されます。
[c] ファイナル ティア 4／ステージ IV エンジンを装備している場合に、クールダウンが進行中に表示されます。



必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のディスプレイ画面に進みます。詳細な画面ナビゲーションについては、以降の情報を参照してください。

OUO6075,0001736 -40-19MAR14-8/8

ディスプレイアイコンの識別

ホーム (1)：オペレータが以前設定した現在の機械の設定が表示されます。

「Harvesting Information (収穫情報)」(2)：現在の収穫モニタ情報、パフォーマンス／生産性、総収量が表示され、オペレータは必要な設定を表示できます。

設定 (3)：現在の機械の設定、穀粒ロス感度 (種子サイズ)、現在のヘッダー幅、水分設定、Harvest Smart 設定 (装備されている場合) が表示されます。

「Diagnostics and Calibration (診断と較正)」(4)：機械較正、診断結果テンプレート、特殊テスト (テンプレート) が表示されます。

「Area Harvested (収穫済み面積)」(5)：収穫した面積が表示されます。

「Distance Harvested (収穫済み距離)」(6)：現在のアクティブな負荷で走行した合計距離が表示されます。

「Generic Cleaning Shoe Element (一般的なクリーニングシューエレメント)」(7)：ホームページのチャファー／ふるいエレメント設定の両方の一般的なアイコンが表示されます。

「Chaffer (チャファー)」(8)：現在のチャファー位置が表示されます。

「Sieve (ふるい)」(9)：現在のふるい位置が表示されます。

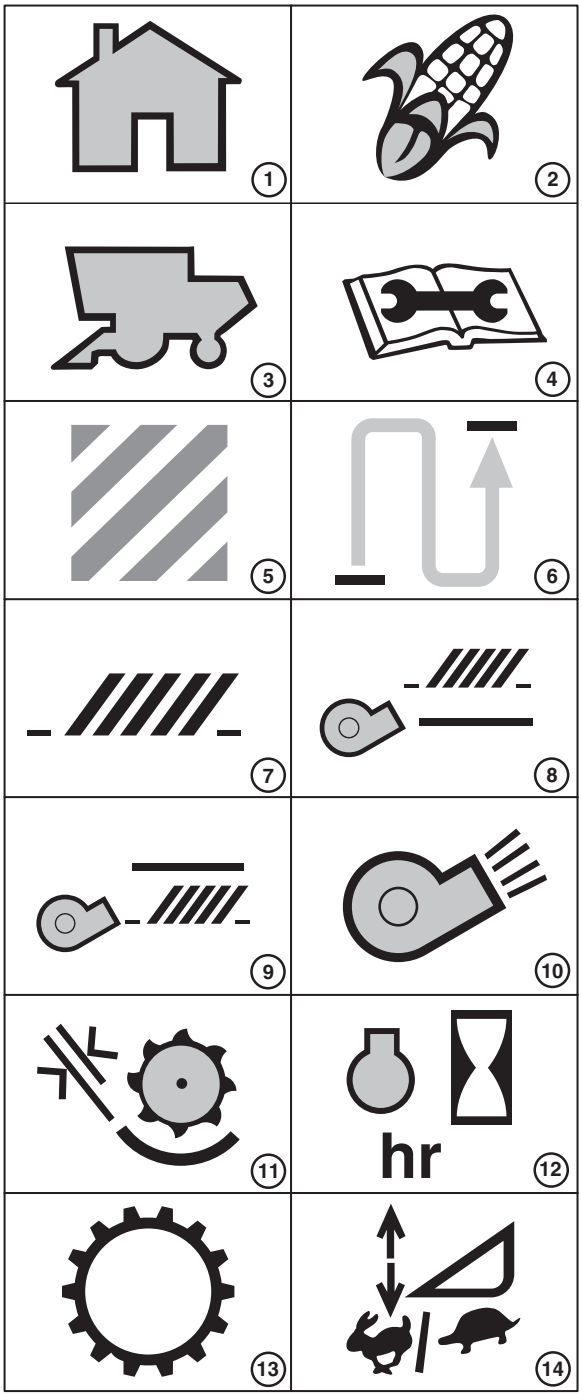
「Cleaning Fan (クリーニングファン)」(10)：現在のファン回転数が表示されます。

「Threshing Speed/Clearance (脱穀速度／クリアランス)」(11)：現在のローター回転数とクリアランスが表示されます。

「Engine Hours (エンジン運転時間)」(12)：エンジンの累積運転時間が表示されます。

「CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスギア」(装備されている場合) (13)：フィーダーハウス回転数用に選択したギアが表示されます。

「Header Height Rate and Sensitivity (ヘッダー高さレートと感度)」(14)：現在のレートおよび感度の設定が表示されます。



次のページへ

「Recording ON/OFF (記録オン／オフ)」(15)：記録の ON/OFF が表示されます。

「Vane Angle (羽根角度)」(装備されている場合) (16)：現在の羽根角度位置が表示されます。

「Enter/Accept (入力／承諾)」(17)：必要な情報や設定を入力／承諾することができます。

較正 (18)：特定の機能を較正することができます。

「Next Step (次の手順)」(19)：情報の次のページを表示できます。

「Yield (収量)」(20)：作物収量の平均値または瞬間の値が表示されます。

「Moisture (水分)」(21)：水分の平均値または瞬間の値が表示されます。

「Threshing Speed (脱穀速度)」(22)：現在の脱穀速度が表示されます。

「Backshaft Speed (バックシャフト回転数)」(23)：現在のバックシャフト回転数が表示されます。

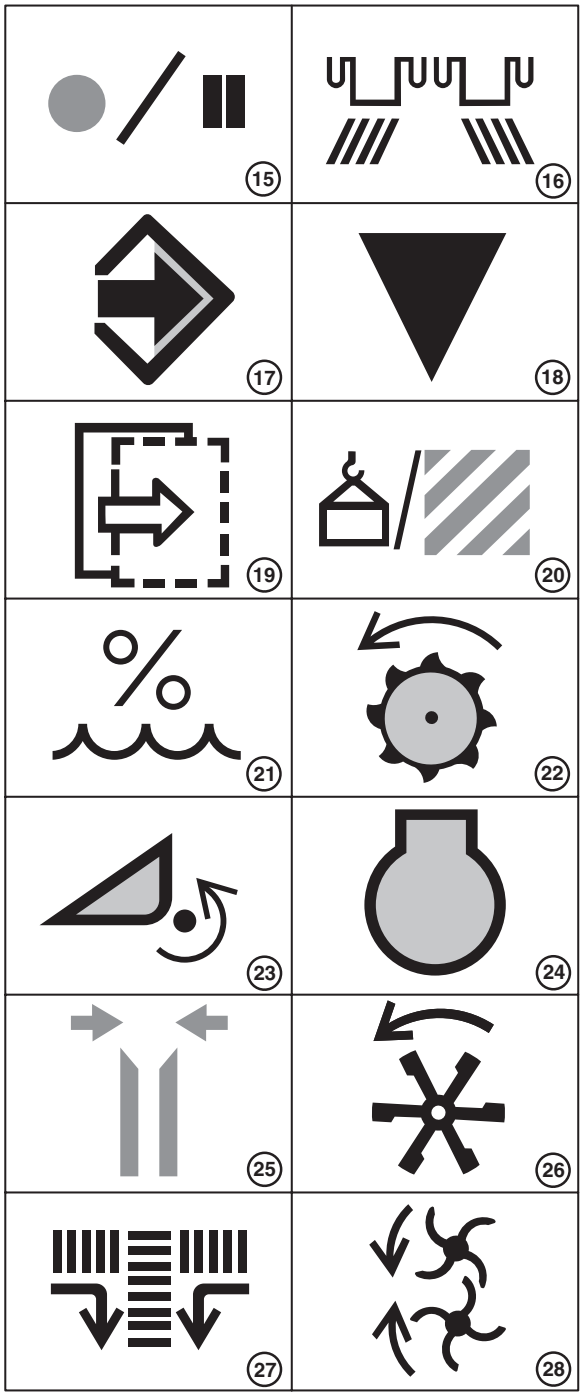
エンジン回転数 (24)：現在のエンジン回転数が表示されます。

「Deck Plate Spacing (デッキプレート間隔)」(25)：現在のデッキ間隔位置が表示されます。

「Reel Speed (リール回転数)」(26)：現在のリール回転数が表示されます。

「Draper Speed (ドレーパー回転数)」(27)：現在のドレーパー回転数が表示されます (装備されている場合)。

「Spreader Speed (スプレッダー回転数)」(28)：現在のスプレッダー回転数が表示されます (装備されている場合)。



OUO6075,00003FE -40-28SEP10-2/3

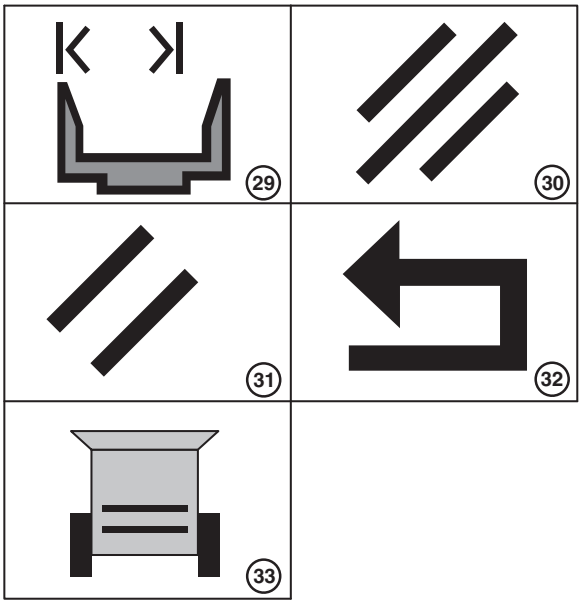
「Cut Width (刈幅)」(29)：現在の刈幅位置が表示されます。

「Cancel (キャンセル)」(30)：必要な情報や設定をキャンセルできます。

「Clear (消去)」(31)：必要な情報や設定を消去できます。

「Return/Back (戻る)」(32)：前のページを表示できます。

「Self-Leveling Shoe (セルフレベリングシュー)」(装備されている場合) (33)：チャファー／ふるいエレメントの現在の角度が表示されます。



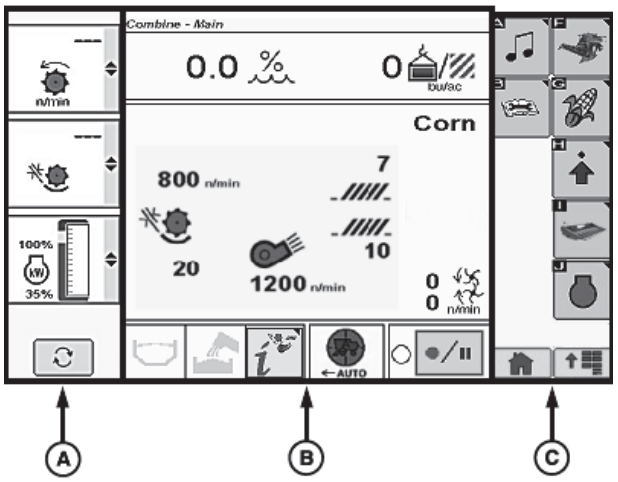
OUO6075,00003FE -40-28SEP10-3/3

ディスプレイ領域のレイアウト

注記：表示されている画面は参考のために記載されています。機械オプションに応じて画面の表示は異なります。

ディスプレイは次の 3 つの領域に分かれています。

- **左領域 (A)**：以下の項目をモニタして切り替えることができます。
  - 機械の詳細設定
  - 誘導情報
  - パフォーマンスモニタの設定
- **中央領域 (B)**：さまざまなアプリケーションで機械の設定を表示および変更できます。
- **右領域 (C)**：現在の画面で使用できるアイコンオプションが表示されます。
  - 右領域で必要なアイコンを選択すると、新しい画面、機能を表示したり、設定を変更したりすることができます。



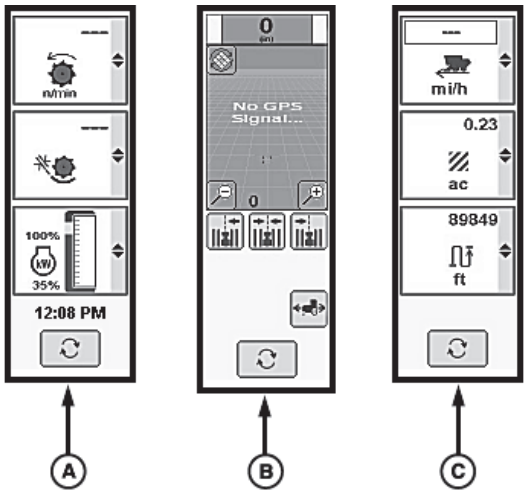
OUO6075,0001761 -40-14FEB14-1/1

ディスプレイの左領域のレイアウト

注記：表示されている画面は参考のために記載されています。機械オプションに応じて画面の表示は異なります。

ディスプレイ時計は、GreenStar™ 3 CommandCenter™ タッチスクリーンまたは GreenStar™ 3 CommandCenter™ 非タッチスクリーンひじかけディスプレイを装備している場合にのみ、機械の詳細設定領域に表示されます。

- **「Detail Machine Settings (機械の詳細設定)」(A)**：左領域の 3 つのボックスを一度に選択およびモニタできます。各ボックスには、進行中の機能や特定の機械ステータスが表示されます。
- **「Guidance Information (誘導情報)」(B)**：誘導設定を表示および変更できます。
- **「Performance Monitor Settings (パフォーマンスモニタの設定)」(C)**：左領域の 3 つのボックスを一度に選択およびモニタできます。各ボックスには、進行中の機能や特定の機械ステータスが表示されます。

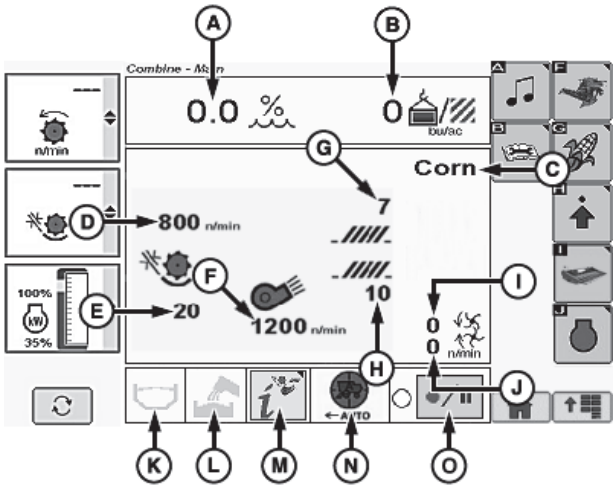


OUO6075,00011C2 -40-05DEZ12-1/1

コンバイン：メイン画面

注記：機械の読み値のみ表示できます。

- 「Moisture (水分)」(装備されている場合) (A)
- 「Yield (収量)」(装備されている場合) (B)
- 「Crop (作物)」(C)
- 「Machine Settings (機械の設定)」
  - 「Threshing Speed (脱穀速度)」(D)
  - 「Threshing Clearance (脱穀隙間)」(E)
  - 「Fan Speed (ファン回転数)」(F)
  - 「Chaffer Clearance (チャファー隙間)」(G)
  - 「Sieve Clearance (ふるい隙間)」(H)
- スプレッダー回転数／チョッパー羽根角度設定 1 (装備されている場合) (I)
- スプレッダー回転数／チョッパー羽根角度設定 2 (装備されている場合) (J)
- サイドベルト回転数低減およびグレインタンク 3/4 または満杯ステータス (K)
- アンローディングオーガアウト／接続ステータス (L)
- インタラクティブコンバイン調整インジケーター (M)



- Harvest Smart™ Feed Rate ステータス (OFF、スマート、キャパシティ) (装備されている場合) (N)
- 手動記録 ON/OFF (O)

OUO6075,0001762 -40-24MAR14-1/1

サイドベルト回転数低減およびグレインタンク充満センサー (システムモニタリングアイコン)

サイドベルト回転数低減アイコン :

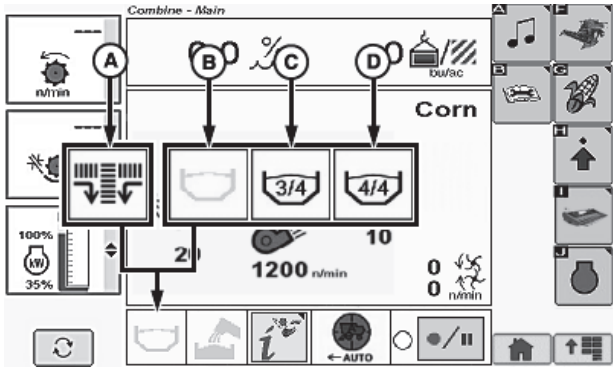
- (A) アイコン : ドレーパーベルト回転数が工場設定回転数まで下げられていることを示しています。

注記 : 3/4 満杯グレインタンクレベルに達した場合、アイコンは、ベルト回転数低減アイコンと 3/4 満杯アイコンの間で切り替わります。

グレインタンク充満センサーアイコン :

- (B) アイコン : グレインタンクレベルが 3/4 満杯または 4/4 満杯センサーに達していないことを示しています。
- (C) アイコン : グレインタンクレベルが 3/4 満杯センサーに達したことを示しています。

  注記 : 30 秒ごとに 4/4 満杯アイコンが 8 秒間点滅し、グレインタンクがいっぱいであることおよび下ろす必要があることを示します。



- (D) アイコン : グレインタンクレベルが 4/4 満杯センサーに達したことを示しています。

OUO6075,0001763 -40-24MAR14-1/1

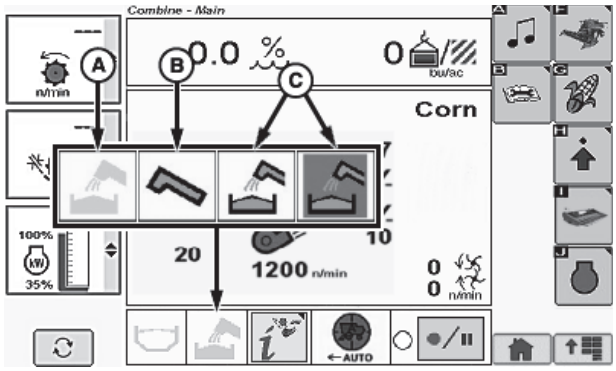
アンローディングオーガ (システムモニタリングアイコン)

アンローディングオーガアイコン :

- (A) アイコン : アンローディングオーガが旋回していないこと、およびアンロードシステムが接続されていないことを示しています。
- (B) アイコン : アンローディングオーガが旋回していることを示しています。

  注記 : 3 分ごとにアイコンが青の背景に変わって 8 秒間点滅し、アンローディングオーガが接続されていることを示します。

- (C) アイコン : アンローディングオーガが旋回していること、およびアンロードシステムが現在接続されていることを示しています。



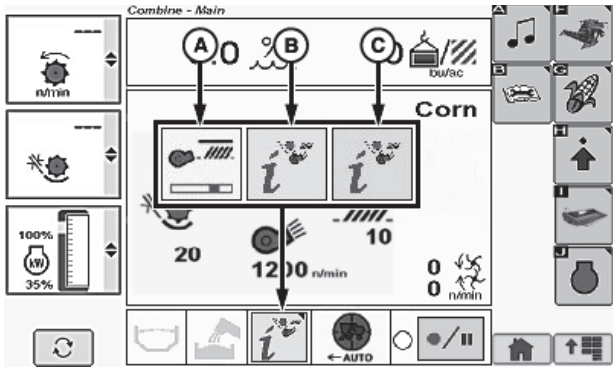
OUO6075,0001764 -40-14FEB14-1/1

インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合) (システムモニタリングアイコン)

注記 : 「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」アイコンがディスプレイに表示されるには 30 秒かかります。

インタラクティブコンバイン調整表示灯 :

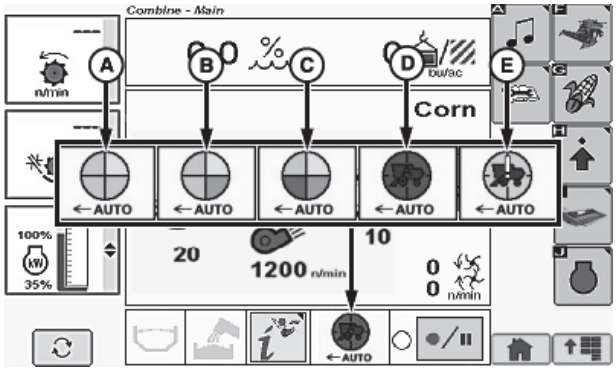
- (A) インジケーター (システムビジー) - システム調整が実行されていることを示しています。アイコンの下の緑色のセグメントが前後に動き、機械が設定を適用して、システムが安定するのを待機中であることを示します。
- (B) インジケーター (黄インジケーター) : システムが機能向上設定の検証の準備が整っていることを示しています。黄の背景のアイコンが点滅するまたは点灯したままになると (30 秒間点滅して点灯したままになる) 、システムで調整が行われたこと、およびオペレータのフィードバック (パフォーマンスパラメータの評価) を待機していることを示しています。



- (C) インジケーター (赤インジケーター) : システムが条件のシフトを検出したことを示しています。赤の背景のアイコンは、システムが機械パフォーマンスの変化を検出したことを示しています。システムは、オペレータによる機械のパフォーマンスの評価と機械設定の最適化の検討が行われることを前提としています。

OUO6075,0001765 -40-05MAR14-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate (装備されている場合) (システムモニタリングアイコン)



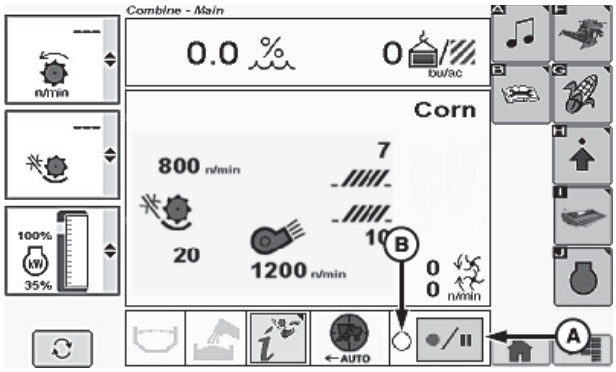
Harvest Smart™ Feed Rate アイコン：

- (A) アイコン：システムは機械に取り付けられていますが、現在 OFF です。
- (B) アイコン：システムは有効な操作モード (スマートまたはキャパシティ) です。
- (C) アイコン：システムはオペレータが起動する準備が整っています。
- (D) アイコン：システムはアクティブであり、正常に機能しています。
- (E) アイコン：システムはマルチファンクションレバーの対地速度により制限されています。

詳細については、「Harvest Smart™ Feed Rate」セクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：ステータスの識別」を参照してください。

OUO6075,000138A -40-16JAN13-1/1

手動記録 ON/OFF



A：「記録 ON/OFF」アイコン　　B：ON/OFF 表示灯

記録画面には、データ記録ステータス (ON/OFF) が表示されます。

データの記録を開始するには、次のすべての条件が満たされているか、手動で ON にする必要があります。

- セパレータ接続済み
- ヘッダー接続済み
- エンジンハイアイドル
- ヘッダーが記録位置まで下ろされている
- 依頼主、農場、圃場の名前が指定されている

記録を停止するには、以下のいずれかの条件が満たされる必要があります。

- ヘッダーが記録停止高さ設定点を超えて上げられる
- ヘッダーが接続を解除される
- 記録を手動で OFF にする

記録は手動で停止できます。また、ヘッダーを上げることなくまたはセパレータの接続を解除することなく再開できます (枕地に接近している、終端の畝を既に収穫している、データの記録が不適切な水路の場合など)。

「ON/OFF」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

記録 ON/OFF 表示灯 (B) は、白丸または黒丸の間で切り替わります。

- 白丸：記録 OFF
- 点滅する黒丸：記録 ON

もう一度「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、記録を ON にし、手動で記録を再開します。マルチファンクションレバーのヘッダー下降ボタンを押します (ヘッダー下降ボタンに軽く触れると、記録が始まります)。

OUO6075,0001766 -40-14FEB14-1/1

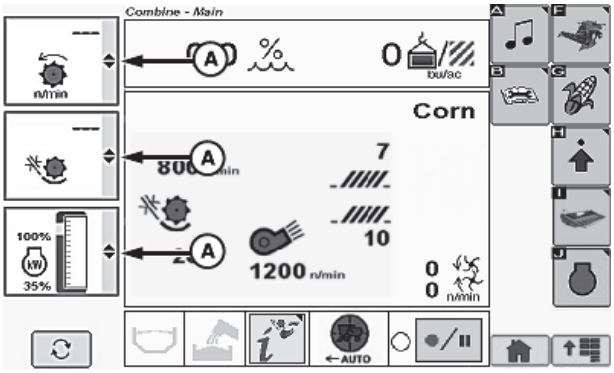
機械の詳細設定の再構成

注記：機械の詳細設定が表示されます。オペレータは画面を再構成して、同時に 3 つの項目をモニタできます。項目は機械構成に応じて異なります。

必要な機械設定アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

機械の設定メニューには、以下の情報が表示されます。

- 「Moisture (水分)」
- 「Yield (収量)
- 「Cleaning Fan Speed (クリーニングファン回転数)」
- 「Threshing Speed (脱穀速度)」
- 「Threshing Clearance (脱穀隙間)」
- 「Chaffer Clearance (チャファー隙間)」
- 「Sieve Clearance (ふるい隙間)」
- 「Backshaft Speed (バックシャフト回転数)」
- CommandTouch™ マルチスピードフィーダーハウスギア (装備されている場合)
- 「Deck Plate Spacing (デッキプレート間隔)」
- 「Reel Speed (リール回転数)」
- 「Draper Speed (ドレーパー回転数)」
- 「Spreader Speed (スプレッダー回転数)」
- 収穫済み重量カウンター
- 「Productivity (生産性)」(収量/時間)



A：機械の設定のアイコン

- 「Grain Tank Level (グレインタンクレベル)」(%)
- 「Vehicle/Separator Hours (車両／セパレータ運転時間)」
- 「Power Meter (出力計)」
- 油圧フィーダーハウス前後傾斜位置 (装備されている場合)
- カッターバー前後 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

必要な機械設定を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要に応じて、残りの設定で手順を繰り返します。

OUO6075,0001767 -40-19MAR14-1/1

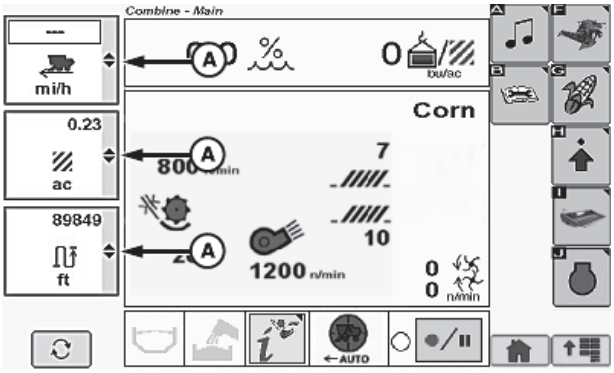
パフォーマンスモニタ設定の再構成

注記：詳細なパフォーマンスモニタ設定を表示します。オペレータは画面を再構成して、同時に 3 つの項目をモニタできます。項目は機械構成に応じて異なります。

必要なパフォーマンスモニタ設定アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

パフォーマンスモニタ設定メニューには、以下の情報が表示されます。

- 車両対地速度
- GPS (Global Position Satellite) 速度
- エンジン回転数
- 時間あたりの燃料
- 面積あたりの燃料
- 面積/時間
- 面積カウンター
- バッテリ電圧
- 距離カウンター
- 作物重量カウンター
- 作物水分カウンター



A：パフォーマンスモニタ設定のアイコン

- 機械総面積カウンター

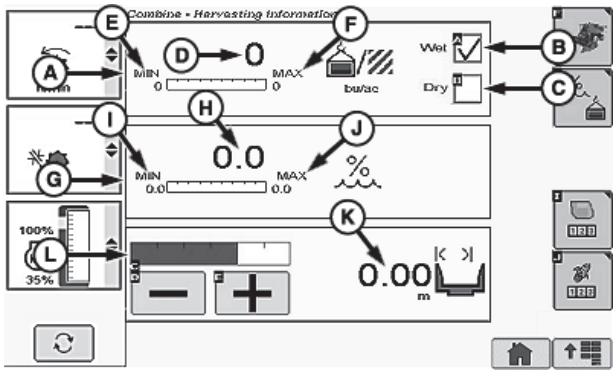
必要なパフォーマンスモニタ設定を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要に応じて、残りの設定で手順を繰り返します。

OUO6075,0001768 -40-14FEB14-1/1

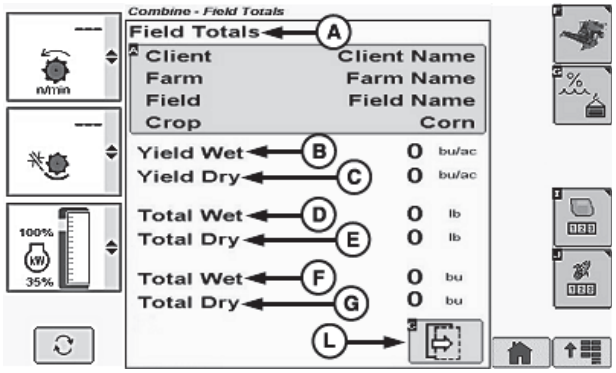
収穫情報画面

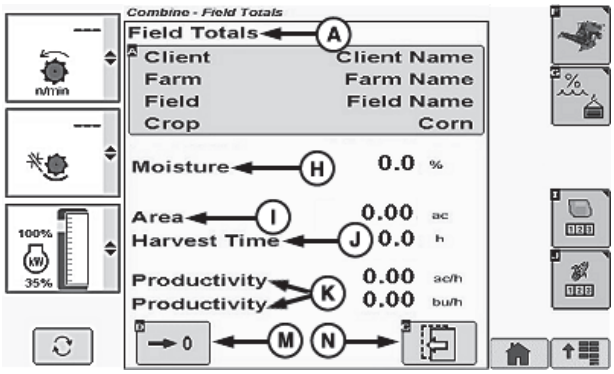
収穫情報：



- 収量 (A)
  - ウェット (B)
  - ドライ (C)
  - 瞬時 (記録 ON) (D)
  - 平均 (記録 OFF) (D)
  - 最小 (E)
  - 最大 (F)
- 水分 (G)
  - 瞬時 (記録 ON) (H)
  - 平均 (記録 OFF) (H)
  - 最小 (I)
  - 最大 (J)
- 刈幅 (K)
  - 増減 (L)

OUO6075,000040E -40-24MAY11-1/3





圃場総収量：

注記：農場／圃場名は GreenStar アプリケーションで設定します。詳細については、GreenStar の取扱説明書を参照してください。

以下の情報は、ひじかけディスプレイではなく GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。

機械に水分センサーが取り付けられていない場合、以下の圃場総収量情報のみが表示されます。

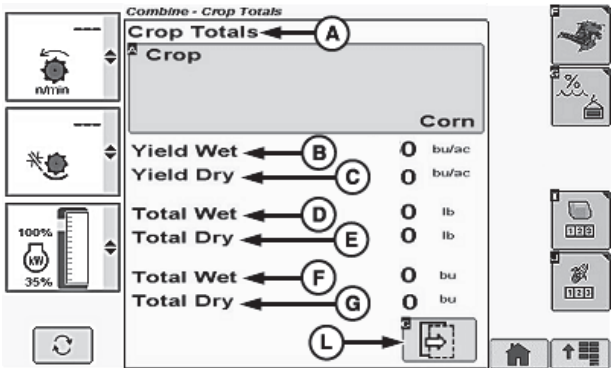
- 「Area (面積)」
- 「Harvest Time (収穫時間)」
- 「Productivity (生産性)」

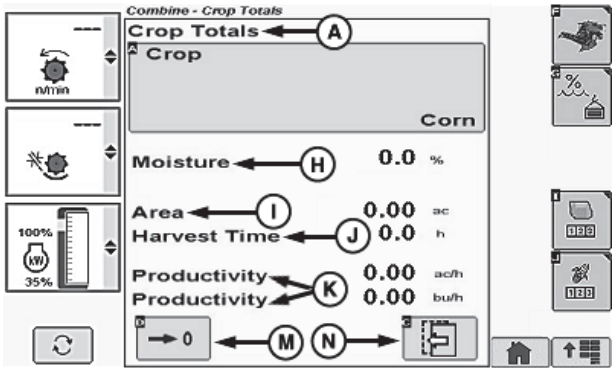
- 「Field Totals (圃場総収量)」(A)
- 「Yield Wet (収量ウェット)」(B)
- 「Yield Dry (収量ドライ)」(C)
- 「Total Wet (合計ウェット)」(重量 lb または kg) (D)
- 「合計ドライ (Total Dry)」(重量 lb または kg) (E)
- 「Total Wet (合計ウェット)」(収量単位) (F)
- 「Total Dry (合計ドライ)」(収量単位) (G)
- 「Moisture (水分)」(H)
- 「Area (面積)」(I)
- 「Harvest Time (収穫時間)」(J)
- 「Productivity (生産性)」(K)

- 選択する項目
  - 「Next Page (次のページ)」アイコン (L)
  - 「Clear Totals (総収量の消去)」アイコン (M)
  - 「Previous Page (前のページ)」アイコン (N)

次のページへ

OUO6075,000040E -40-24MAY11-2/3





作物総収量

注記：農場／圃場名は GreenStar アプリケーションで設定します。詳細については、GreenStar の取扱説明書を参照してください。

以下の情報は、ひじかけディスプレイではなく GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。

機械に水分センサーが取り付けられていない場合、以下の圃場総収量情報のみが表示されます。

- 「Area (面積)」
- 「Harvest Time (収穫時間)」
- 「Productivity (生産性)」

- 作物総収量 (A)
- 「Yield Wet (収量ウェット)」(B)
- 「Yield Dry (収量ドライ)」(C)
- 「Total Wet (合計ウェット)」(重量 lb または kg) (D)
- 「合計ドライ (Total Dry)」(重量 lb または kg) (E)
- 「Total Wet (合計ウェット)」(収量単位) (F)
- 「Total Dry (合計ドライ)」(収量単位) (G)
- 「Moisture (水分)」(H)
- 「Area (面積)」(I)
- 「Harvest Time (収穫時間)」(J)
- 「Productivity (生産性)」(K)

選択する項目
- 「Next Page (次のページ)」アイコン (L)
- 「Clear Totals (総収量の消去)」アイコン (M)
- 「Previous Page (前のページ)」アイコン (N)

OUO6075,000040E -40-24MAY11-3/3

収量ウェットまたは収量ドライの選択および刈幅の変更

収量ウェットまたは収量ドライ

注記：「Harvesting Information (収穫情報)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じてトウモロコシとコムギの間で切り替わります。

「Harvesting Information (収穫情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Yield Information (収量情報)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要な「収量ウェット」ボックス (B) または「収量ドライ」ボックス (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

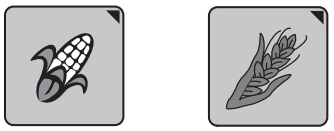
- 収量ウェット：現在の収穫条件における面積単位数あたりの収量単位数が表示されます。
- 収量ドライ：水分の除去を考慮した後の面積単位数あたりの収量単位数が表示されます。

刈幅：

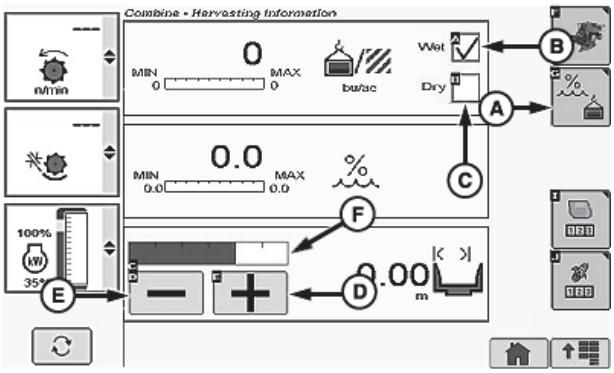
注記：GreenStar ディスプレイを取り付けている場合、刈幅／条数は GreenStar ディスプレイで調整され、ひじかけディスプレイのみに表示されます。

「プラス (+)」アイコン (D) または「マイナス (-)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。必要な刈幅はバーグラフ (F) に表されます。

注記：刈幅の数値は選択したアイコンに応じて更新されます。



「収穫情報」アイコン



A：「収量情報」アイコン
B：「収量ウェット」ボックス
C：「収量ドライ」ボックス
D：「Plus (プラス)」アイコン
E：「Minus (マイナス)」アイコン
F：刈幅調整バーグラフ

OUO6075,000040F -40-27JUN12-1/1

圃場総収量の消去

注記：以下の情報は、ひじかけディスプレイではなくGreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。

機械に水分センサーが取り付けられていない場合、以下の圃場総収量情報のみが表示されます。

- 「Area (面積)」
- 「Harvest Time (収穫時間)」
- 「Productivity (生産性)」

「Harvesting Information (収穫情報)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じてトウモロコシとコムギの間で切り替わります。

「Harvesting Information (収穫情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

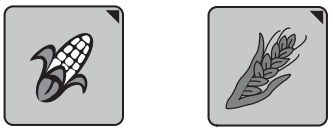
「Field Totals (圃場総収量)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Next Page (次のページ)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

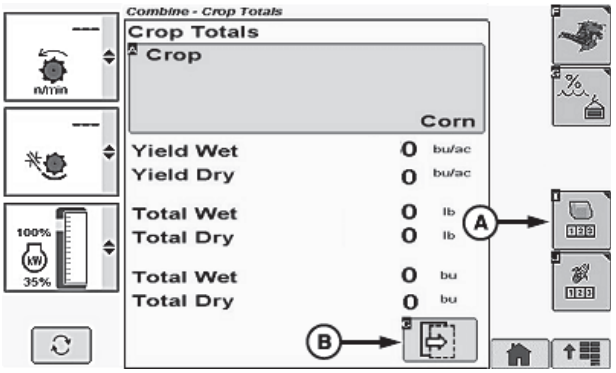
必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

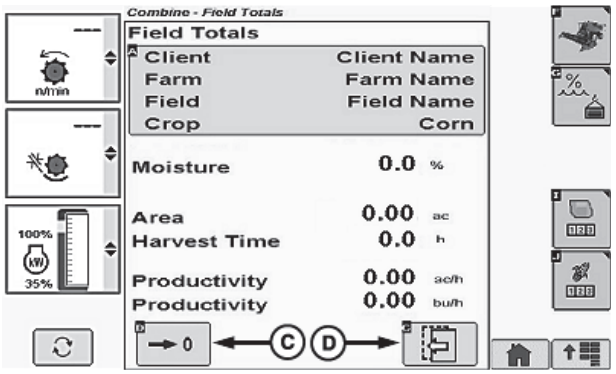
- 「Field Totals Reset (圃場総収量のリセット)」アイコン (C)：選択した農場／圃場／作物の圃場総収量を削除します。
- 「Previous Page (前のページ)」アイコン (D)：前のページを表示できます。

A：「Field Totals (圃場総収量)」アイコン
B：「Next Page (次のページ)」アイコン
C：「Field Totals Reset (圃場総収量のリセット)」アイコン
D：「Previous Page (前のページ)」アイコン



「収穫情報」アイコン





OUO6075,0000411 -40-03MAY10-1/1

作物総収量の消去

注記：以下の情報は、ひじかけディスプレイではなく GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。

機械に水分センサーが取り付けられていない場合、以下の圃場総収量情報のみが表示されます。

- 「Area (面積)」
- 「Harvest Time (収穫時間)」
- 「Productivity (生産性)」

「Harvesting Information (収穫情報)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じてトウモロコシとコムギの間で切り替わります。

「Harvesting Information (収穫情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

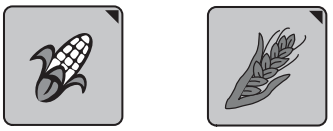
「Crop Totals (作物総収量)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Next Page (次のページ)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

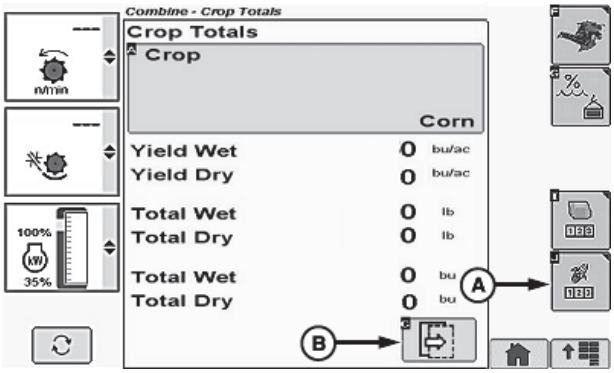
必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Crop Totals Reset (作物総収量のリセット)」アイコン (C)：選択した作物の作物総収量を削除します。
- 「Previous Page (前のページ)」アイコン (D)：前のページを表示できます。

A：「Crop Totals (作物総収量)」アイコン
B：「Next Page (次のページ)」アイコン
C：「Crop Totals Reset (作物総収量のリセット)」アイコン
D：「Previous Page (前のページ)」アイコン



「収穫情報」アイコン



OUO6075,0000412 -40-03MAY10-1/1

コンバインの設定画面

グレインタンクレベルの設定：

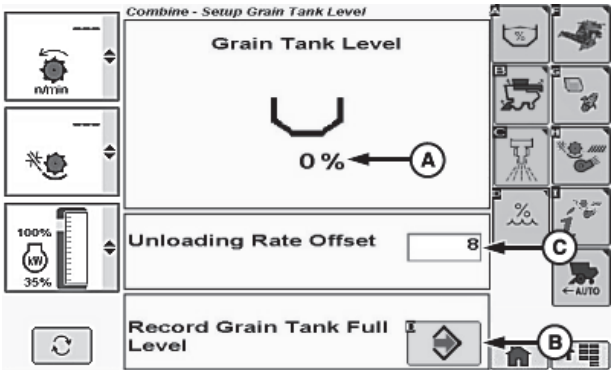
注記：必要なタンク満杯レベルを較正できます。

- グレインタンクレベル割合 (A)
- 「Save (保存)」アイコン (B)：グレインタンクの満杯レベルを保存できます。

アンローディングレートオフセットの設定：

注記：計算されたアンローディングレートオフセット値を変更できます。

- 「Unloading Rate Offset (アンローディングレートオフセット)」(C)
- オフセットレート (-15～15)



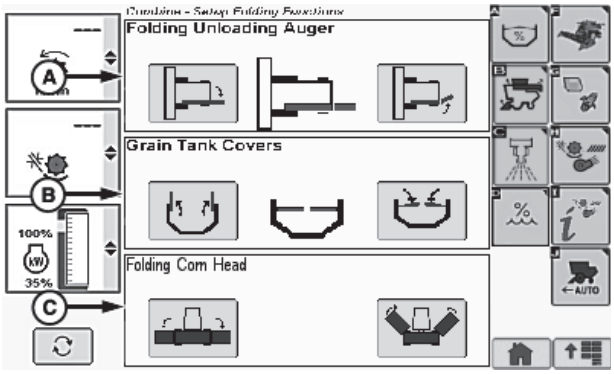
次のページへ

OUO6075,0001807 -40-17JUN14-1/8

折りたたみ機能の設定：

注記：すべてのオプションの折りたたみ機能 (装備されている場合) が表示されます。

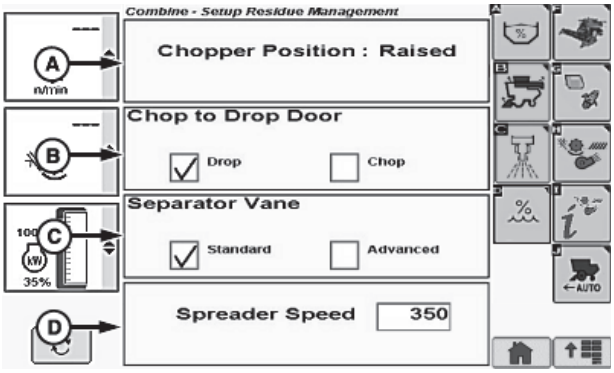
- Folding Unloading Auger (折りたたみ式アンローディングオーガ) (A) (装備されている場合)
  - 「オーガ位置」インジケーター
  - 「Unfold (展開)」アイコン
  - 「Fold (折りたたみ)」アイコン
- 「Grain Tank Covers (グレインタンクカバー)」(B) (装備されている場合)
  - 「グレインタンク位置」インジケーター
  - 「Unfold (展開)」アイコン
  - 「Fold (折りたたみ)」アイコン
- 折りたたみ式コーンヘッド (C) (装備されている場合)
  - 「Unfold (展開)」アイコン
  - 「Fold (折りたたみ)」アイコン



OUO6075,0001807 -40-17JUN14-2/8

残留物管理の設定

- 「Chopper Position (チョッパー位置)」(A) (装備されている場合)
  - 「Raised (上昇)」
  - 「Lowered (下降)」
- 「Chop-to-Drop Door Position (チョップツードロップドア位置)」(B) (装備されている場合)
  - 開
  - 閉
- 「Separator Vane Position (セパレータ羽根位置)」(C) (装備されている場合)
  - 「Standard (標準)」
  - 「Advanced (進み側)」
- 「Spreader Speed (スプレッダー回転数)」(D) (Advanced PowerCast™ スプレッダー)



- 350～550 rpm (トウモロコシ) (既定値 500 rpm)
- 600～800 rpm (小粒穀物) (既定値 700 rpm)

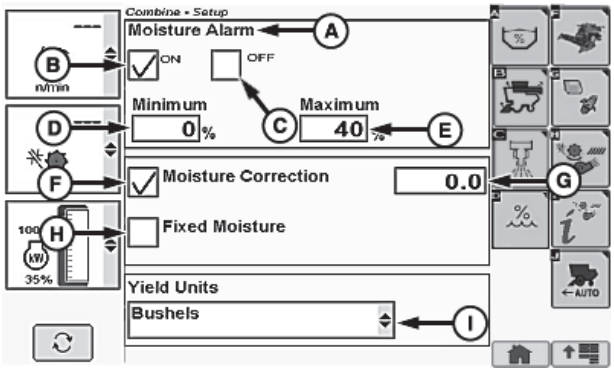
PowerCast は John Deer の商標です。

OUO6075,0001807 -40-17JUN14-3/8

水分の設定：

注記：水分センサーが取り付けられている場合のみ表示されます。

- 水分アラーム (A)
  - ON (B)
  - OFF (C)
  - 「Minimum (最小)」アラーム (1～50%) (D)
  - 「Maximum (最大)」アラーム (1～60%) (E)
- 「Moisture Correction (水分補正)」(-25.0～25.0、0.1 単位) (F)
  - 「Manual Offset Setting (手動オフセット設定)」(G)
  - 「Fixed Moisture (固定水分)」(H)



収量単位の設定：

- 「Harvesting Yield Units (収穫中の収量単位)」(I)
  - 固定リスト

次のページへ

OUO6075,0001807 -40-17JUN14-4/8

作物の設定：

注記：農場／圃場名は GreenStar™ アプリケーションで設定します。詳細については、GreenStar™ のマニュアルを参照してください。

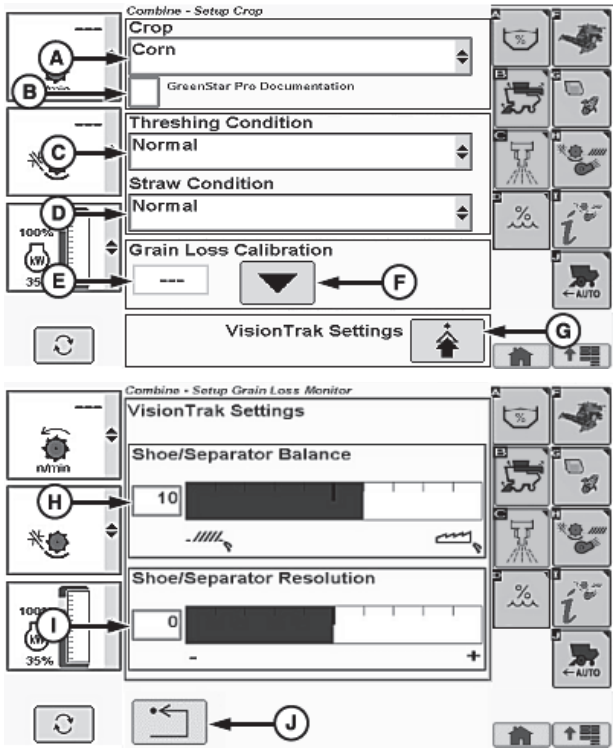
- 「Crop (作物)」(A) [1]
  - 固定リスト
- GreenStar™ Pro ドキュメンテーション (B)：チェックすると、ひじかけディスプレイから選択した作物を、コーナーポストに取り付けたディスプレイ (装備されている場合) と同期します。
- 「Threshing Condition (脱穀条件)」(C)
  - 固定リスト
- 「Straw/Cob Condition (わら／穂軸条件)」(D)
  - 固定リスト

Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)：

- 「Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)」
  - 「Calibration Reference Number (較正参照番号)」(E)
  - 「Calibration (較正)」アイコン (F)
- 「VisionTrak™ Settings (の設定)」アイコン (G)：次のページに進んで、選択した作物のシュー／セパレータロスを微調整できます。
  - 「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」(-50、既定値 0、50) (H)
  - 「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」(-50、既定値 0、50) (I)
- 「Return/Back (戻る)」アイコン (J)：前のページに戻ることができます。

GreenStar は Deere & Company の商標です。
VisionTrak は John Deere の商標です。

[1] ひじかけディスプレイではなく、GreenStar™ ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。



OUO6075,0001807 -40-17JUN14-5/8

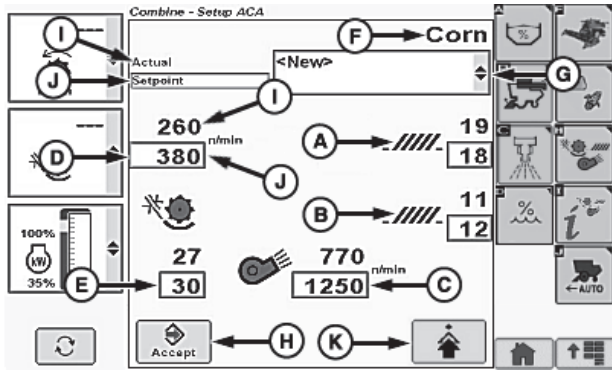
機械の設定：

- 自動コンバイン調整 (ACA) (数値入力)
  - 「Chaffer Position (チャファー位置)」(A)
  - 「Sieve Position (ふるい位置)」(B)
  - 「Fan Speed (ファン回転数)」(C)
  - 「Threshing Speed (脱穀速度)」(D)
  - 「Threshing Clearance (脱穀隙間)」(E)
  - 「Harvested Crop (収穫済み作物)」(表示のみ) (F)
- 「Crop Modifiers (作物因子)」(G)
  - 「Default (既定値)」
  - 「Dry (ドライ)」(既定)
  - 「Wet (ウエット)」(既定)
  - 新品
  - 「Cleanout (クリーンアウト)」

- 「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (H)：選択した変更済みの機械設定を自動的に調整して、個人的な機械設定を保存できます。

注記：セパレータが接続され、エンジン回転数が 2000 rpm を超えるまで脱穀速度およびファン回転数設定点の値が点滅します。

「Crop Modifiers (作物因子)」メニューから「New (新規)」を選択した場合、個人的な機械設定も保存されます (工場設定はこの設定により上書きされません)。



- 「Actual (実際)」(黒の設定点値) (I)：機械の現在の設定点値が表示されます。
- 「Setpoint (設定点)」(青の設定点値) (J)：「プラス (+)」または「マイナス (-)」記号に触れるか、選択ダイヤルを回すと、設定点値は自動的に増減します。

注記：機械はオペレータが設定した設定点値に自動的に調整します。

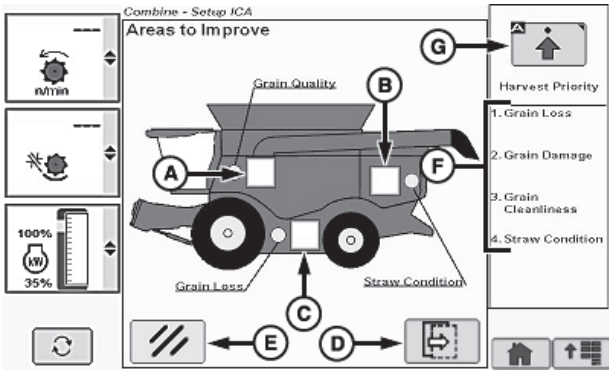
- 「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン (K)：次にページに進んで、キャビン外側の項目の機械構成設定を確認できます。

次のページへ

OUO6075,0001807 -40-17JUN14-6/8

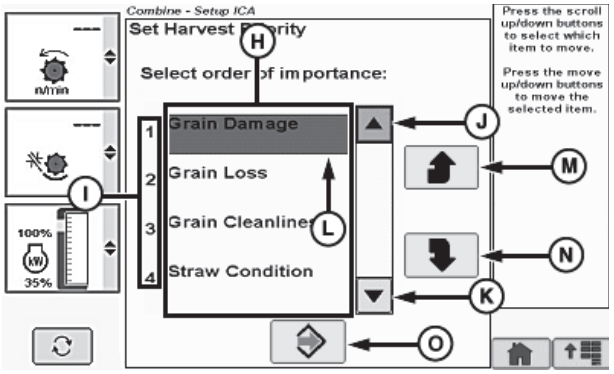
インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合) (改善目標) :

- 「Areas to Improve (改善する領域)」 : 要求を満たしていない機械性能の領域を変更できます。
  - 「Grain Quality (穀粒品質)」(A)
  - 「Straw Condition (わら条件)」(B)
  - 「Grain Loss (穀粒ロス)」(C)
- 「Next Page (次のページ)」アイコン (D) : 次のページに進み、特定の収穫の問題点を微調整することができます。
- 「Cancel (キャンセル)」アイコン (E) : インタラクティブコンバイン調整設定をキャンセルしてコンバインメイン画面に戻ることができます。
- 「Harvest Priority Order (収穫時の優先項目)」(F) : 収穫時の優先項目リストの現在の順序が表示されます。
- 「Setup Harvest Priority (収穫時の優先項目の設定)」アイコン (G) : 次のページに進み、収穫時の優先項目リストの順序を変更できます。



インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合) (収穫時の優先項目の設定) :

- 「Harvest Priority List (収穫時の優先項目リスト)」(H) : 機械を最適化する環境設定を変更できます。
  - 「Grain Loss (穀粒ロス)」
  - 「Grain Damage (穀粒の損傷)」
  - 「Grain Cleanliness (穀粒清浄度)」
  - 「Straw Condition (わら条件)」
- 「Harvest Priority Order (収穫時の優先項目)」(I)
  - 1. 最高優先度
  - 2. 高優先度
  - 3. 低優先度
  - 4. 最低優先度
- 「上矢印アイコン」(J) : 強調表示された領域を上に移動できます。
- 「下矢印」アイコン (K) : 強調表示された領域を下に移動できます。
- 強調表示された領域 (L) : リストの強調表示された項目を上または下に移動できます。

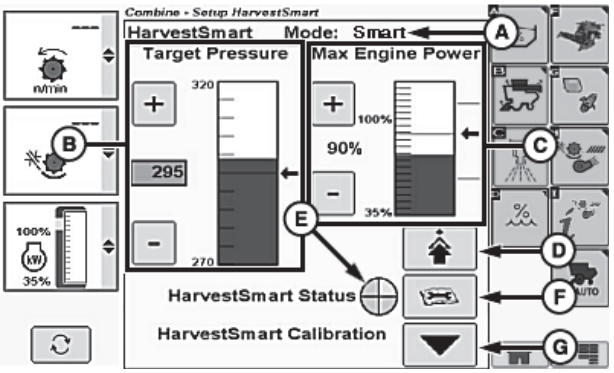


- 「Selection Up (選択した項目を上に移動)」アイコン (M) : 選択した収穫時の優先項目をリスト内で上に移動できます。
- 「Selection Down (選択した項目を下に移動)」アイコン (N) : 選択した収穫時の優先項目をリスト内で下に移動できます。
- 「Save (保存)」アイコン (O) : 収穫時の優先項目リストの変更を保存できます。

OUO6075,0001807 -40-17JUN14-7/8

Harvest Smart™ Feed Rate の設定 (装備されている場合) :

- 現在の運転モード (A)
  - OFF
  - スマート
  - 容量
- 「Target Pressure (目標圧力)」(30～420、1 刻み) (B)
- 「Max Engine Power (最大エンジン出力)」(60％～106％、1 刻み) (C)
- 「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン (D) : 次のページに進み、最大収穫速度と感度を設定できます。
  - 「Max Harvest Speed (最大収穫速度)」2.0～14.0 km/h (1.2～8.6 mph) 、0.1 km/h (0.1 mph) 刻み
  - 「Sensitivity (感度)」(1～100、1 刻み)
- 「Harvest Smart™ Status (Harvest Smart™ ステータス)」インジケーター (E) : Harvest Smart™ の現在の状態が表示されます。
- 「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン (F) : 機械サブシステムに関する詳細情報をトラブルシューティング用に確認できます。



- 「Harvest Smart™ Calibration (Harvest Smart™ の較正)」(G) : 現在の Harvest Smart™ の運転特性をメモリに入力できます。

OUO6075,0001807 -40-17JUN14-8/8

グレインタンクレベルとアンローディングレートオフセットの設定

グレインタンクレベルの設定：

注記：必要なグレインタンク満杯レベルを較正できます。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Grain Tank Level Setup (グレインタンクレベルの設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

グレインタンクに充填しているときは、グレインタンクレベルの割合 (B) を参考にすることができます。

必要なグレインタンクレベルに達するまで機械を運転してください。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：坂のある条件で運転しているときは、穀粒が側方にあふれ出ないように低いグレインタンク設定を保存できます。

アンローディングレートオフセットの設定：

注記：種々の作物、重量、水分はグレインタンクレベルセンサーの読み値に影響を与えます。アンローディングレートのオフセット値の範囲は -15～15 です。

- グレインタンクレベルの読み値が 0% のときに穀粒がタンクに残っている場合は、オフセット値を減らします。
- グレインタンクレベルの読み値が 0% になる前にグレインタンクが空になっている場合は、オフセット値を増やします。

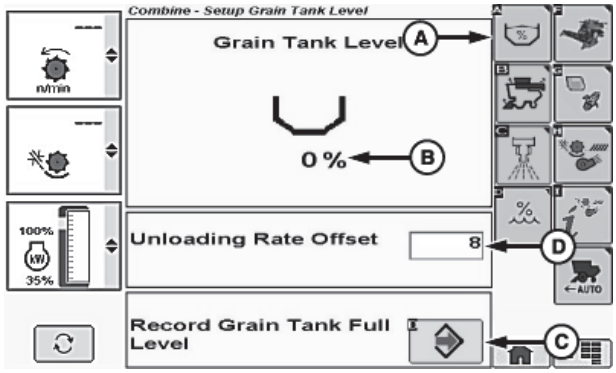
「Unloading Rate Offset (アンローディングレートオフセット)」メニュー (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

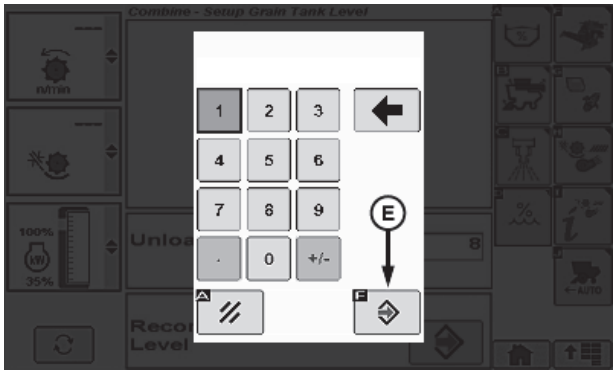
必要な桁を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：必要なアンローディングレートのオフセット値が表示されるまで手順を繰り返します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン





A ： 「 Grain Tank Level Setup (グレインタンクレベルの設定)」アイコン
B：グレインタンクレベル割合
C ： 「 Enter/Accept (入 力 ／ 承諾)」アイコン
D：「Unloading Rate Offset (アンローディングレートオフセット)」メニュー
E ： 「 Enter/Accept (入 力 ／ 承諾)」アイコン

OUO6075,000119E -40-17JUN13-1/1

折りたたみ機能の設定

注記：すべてのオプションの折りたたみ機能が画面に表示されます。折りたたみ機能は、オプションに応じて常に画面の上部に表示されます。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Folding Functions Setup (折りたたみ機能の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

折りたたみ式アンローディングオーガ (装備されている場合)

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Unfold (展開)」アイコン (B)
- 「Fold (折りたたみ)」アイコン (C)
- オーガ位置インジケーター (D)

注記：折りたたみ式アンローディングオーガは自動機能です。必要なアイコンを選択すると、オーガは自動的に折りたたみまたは展開を開始します。

画面には、アンローディングオーガが以下の位置に達していない場合に示されます。

- 完全に折りたたまれた位置 (圃場) 位置。アンローディングオーガは完全に折りたたまれていない限り機能しません。
- オペレータがアンローディングオーガを折りたたんだ後に完全に折りたたまれた (輸送) 位置。

グレインタンクカバー (装備されている場合)

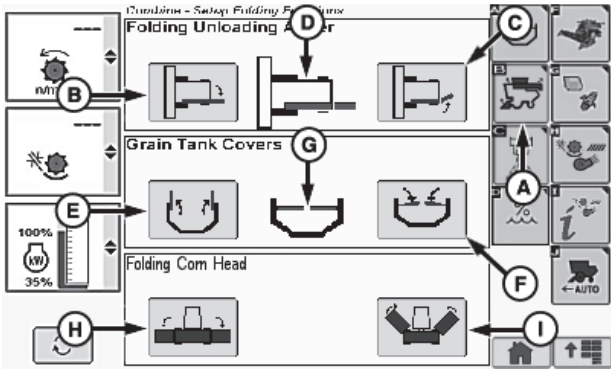
警戒：送電線との接触を回避してください。機械を輸送する前に、グレインタンクカバーを閉める必要があります。

注記：セパレータを接続するには、グレインタンクカバーをいっぱいまで開く必要があります。

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Unfold (展開)」アイコン (E)
- 「Fold (折りたたみ)」アイコン (F)

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Folding Functions Setup (折りたたみ機能の設定)」アイコン
B：「Unfold (展開)」アイコン
C：「Fold (折りたたみ)」アイコン
D：「オーガ位置」インジケーター
E：「Unfold (展開)」アイコン
F：「Fold (折りたたみ)」アイコン
G：「グレインタンク位置」インジケーター
H：「Unfold (展開)」アイコン
I：「Fold (折りたたみ)」アイコン

- グレインタンク位置インジケーター (G)

選択したアイコンに応じて、カバーが展開または折りたたまれます。

注記：必要なアイコンに触れるか、「Confirm (確定)」スイッチを押すと、カバーは自動的に折りたたまれるか、展開します。

折りたたみ式コーンヘッド (装備されている場合)

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Unfold (展開)」アイコン (H)
- 「Fold (折りたたみ)」アイコン (I)

選択したアイコンに応じて、コーンヘッドが展開または折りたたまれます。

OUO6075,000119F -40-20SEP12-1/1

残留物管理の設定

注記：ディスプレイには、装備されている場合、オプションのすべての残留物管理機能が表示されます。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Residue Management Setup (残留物管理の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Chopper Position (チョッパー位置)」(B) (装備されている場合) :

チョッパーの現在の位置が表示されます。
- 「Raised (上昇)」
- 「Lowered (下降)」

Chop-to-Drop Door Position (チョップツードロップドア位置) (装備されている場合) :

注記：チョップツードロップドアの位置を変更するときは、セパレータを OFF にする必要があります。

必要なボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Open (開)」(C) : チョップツードロップドアを自動的に開くことができます。
- 「Closed (閉)」(D) : チョップツードロップドアを自動的に閉めることができます。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

選択したボックスに応じて、チョップツードロップドアが自動的に開閉します。

Separator Vane Position (セパレータ羽根位置) (装備されている場合) :

注記：セパレータ羽根の位置を変更するときは、セパレータを OFF にする必要があります。

必要な「Standard (標準)」ボックスまたは「Advanced (進み側)」ボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- Standard (標準) (E) : セパレータ羽根を標準位置で運転できます。

  注記：セパレータ羽根を Advanced (進み側) 位置で運転すると、特定の作物や条件で穀粒ロスが増える場合があります。わら品質を改善するには、セパレータでの作物の滞留時間を減らします。

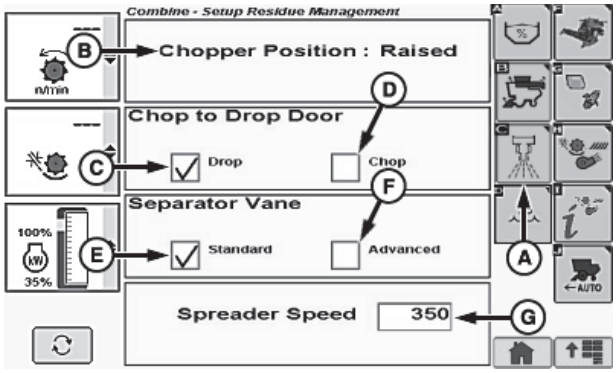
- Advanced (進み側) (F) : セパレータ羽根の位置を変えてわら品質を改善することができます。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

選択したボックスに応じて、セパレータ羽根は目的の位置に自動的に動きます。

PowerCast は John Deer の商標です。
CommandTouch は John Deere の商標です。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A : 「Residue Management Setup (残留物管理の設定)」アイコン
B : 「Chopper Position (チョッパー位置)」
C : 「Chop-to-Drop Door Position (Open) (チョップツードロップドア位置 (開)」
D : 「Chop-to-Drop Door Position (Closed) (チョップツードロップドア位置 (閉)」
E : 「Separator Vane Position (セパレータ羽根位置)」「Standard (標準)」
F : 「Separator Vane Position (セパレータ羽根位置)」「Advanced (進み側)」
G : 「Spreader Speed (スプレッダー回転数)」ボックス

Advanced PowerCast™ スプレッダー回転数 (装備されている場合) :

注記：シュラウド拡散幅の設定を調整してから、スプレッダー回転数を調整します。詳しくは、CommandTouch™ ひじかけコンソールセクションのシュラウド調整スイッチ (Advanced PowerCast™ テールボードスプレッダー) を参照してください。

スプレッダー回転数は、セパレータを接続または接続を解除した状態で調整できます。これにより、スプレッダーセットポイント回転数を調整できます。

セパレータが接続されている場合、スプレッダーはプリセット回転数で作動します。スプレッダー回転数の範囲は次のとおりです。

- 350～550 rpm (トウモロコシ) (既定値 500 rpm)
- 600～800 rpm (小粒穀物) (既定値 700 rpm)

「Spreader Speed (スプレッダー回転数)」ボックス (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン : 必要な値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ : 数値ディスプレイ上で必要な値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

OUO6075,000180E -40-29MAY14-1/1

水分の設定および収量単位の設定の変更

水分センサーの設定：

注記：ページは水分センサーが取り付けられている場合のみ表示されます。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Moisture Setup (水分の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「ON (オン)」ボックス (B) または「OFF オフ」ボックス (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

- 「Moisture Alarm ON (水分アラームオン)」ボックス：値が最低設定未満なるか最高設定を超過すると (オペレータがあらかじめ設定)、水分アラームが鳴ります。
- 「Moisture Alarm ON (水分アラームオフ)」ボックス：値が最低設定未満なるか最高設定を超過しても (オペレータがあらかじめ設定)、水分アラームは鳴りません。

「Minimum (最低)」ボックス (D) または「Maximum (最高)」ボックス (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：これにより、水分アラームの起動の設定点 (最低と最高) を決定します。

- 「Moisture Alarm (水分アラーム)」の「Minimum (最低値)」ボックス：水分の値がプリセット値未満に低下したときにアラームが鳴る水分の割合を選択します。
- 「Moisture Alarm (水分アラーム)」の「Maximum (最大値)」ボックス：水分の値がプリセット値を超えたときにアラームが鳴る水分の割合を選択します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

「Moisture Correction (水分補正)」／「Fixed Moisture (固定水分)」の設定：

「Moisture Correction (水分補正)」ボックス (F)／「Fixed Moisture (固定水分)」ボックス (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

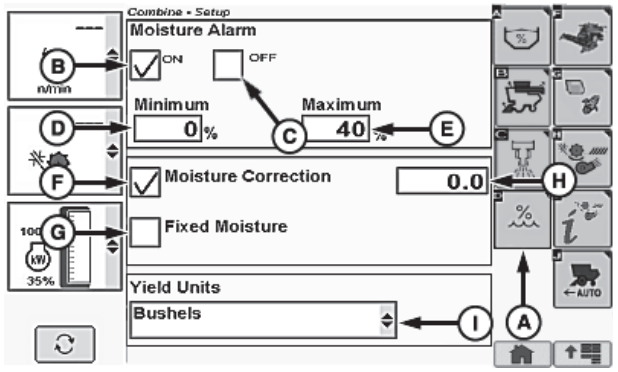
ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

重要：水分補正を変更しても、保存済みのデータは変更されません。変更後は、その時点から収集されるすべての収穫情報に変更が反映されます。

- 「Moisture Correction (水分補正)」ボックス：水分補正をコンバイン水分センサーとエレベーター証明書付き水分センサーとの差に設定します。エレベーター水分 (13%) - コンバイン測定水分 (12%) = 水分差 (+1%)

  注記：水分差は正または負の数値です。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Moisture Setup (水分の設定)」アイコン
B：「ON (オン)」ボックス
C：「OFF (オフ)」ボックス
D：「Minimum (最低)」ボックス
E：「Maximum (最高)」ボックス
F：「Moisture Correction (水分補正)」ボックス
G：「Fixed Moisture (固定水分)」ボックス
H：「Value/Change (値／変更)」ボックス
I：「Yield Units (収量単位)」メニュー

- 「Fixed Moisture (固定水分)」ボックス：水分センサーの読み値を無効にして、プリセット水分値を適用します。

値/変更ボックス (H) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

収量単位の設定：

「Yield Units (収量単位)」メニュー (I) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Yield Units (収量単位)」メニューには、以下の情報が表示されます。

「Bushels (ブッシェル)」	「Hundred Weight (ハンドレッドウエイト)」	「Metric Tons (メートルトン)」
「Barrels (バレル)」	「Pounds (ポンド)」	「Tons (トン)」
「Sacks (袋)」	「Kilograms (キログラム)」	

必要な収量単位を選択したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,000119C -40-13SEP12-1/1

収量較正

重要：較正は、正確な穀粒重量測定値を得るために毎年および収穫する作物ごとに実行する必要があります。

最高の結果を得るには、作物ごとに振動較正が実行済みであることも確認してください。

- **高精度の較正の実現：**

注記：較正を実行中は、畝の終端または交差水路で旋回しないでください。

- 較正負荷内で一貫した流量を維持してください (VisionTrak™ パフォーマンスモニタで流量をモニターし、対地速度を適宜調整します)。
- 種々の流量で負荷を較正します (負荷を除去または追加する必要がある各較正負荷特性を理解します)。
- すべての較正負荷を概略同じ重量に維持します。

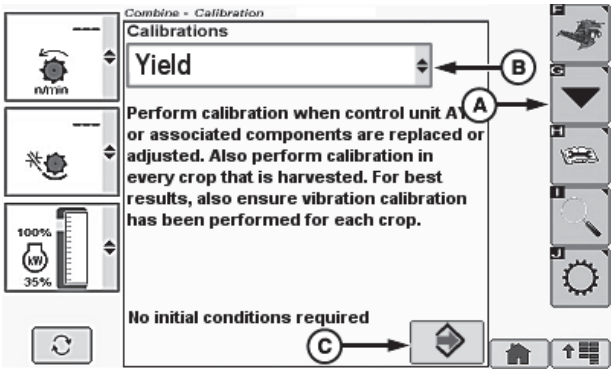
「Diagnostic (診断)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Calibration (較正)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Calibration (較正)」メニュー (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「**Yield (収量)**」を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Diagnostic (診断)」アイコン



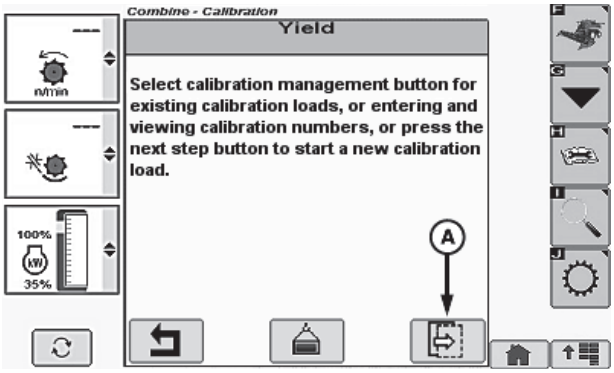
A：「Calibration (較正)」アイコン
B：「Calibrations (較正)」メニュー
C：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00012DF -40-19FEB13-1/12

「Next Page (次のページ)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A：「Next Page (次のページ)」アイコン



次のページへ

OUO6075,00012DF -40-19FEB13-2/12

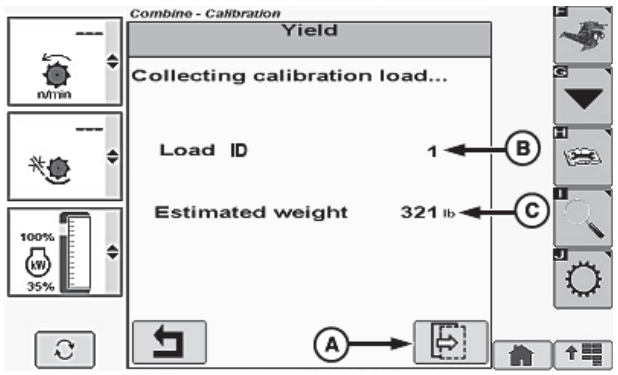
「Next Page (次のページ)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Load ID (負荷 ID)」(B)：較正中の現在の負荷 ID が表示されます。

注記：較正が受け入れられるには、1,360 kg (3,000 lb) 以上の作物を収穫する必要があります。

- 「Estimated Weight (推定重量)」(C)：較正中に質量流量システムで収集された負荷について収集された重量が表示されます。

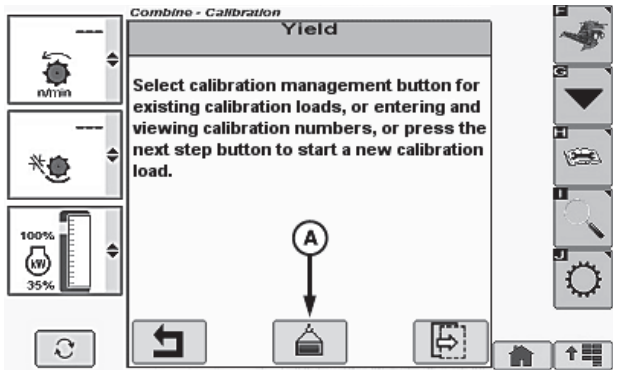
A：「Next Page (次のページ)」アイコン
B：「Load ID (負荷 ID)」
C：「Estimated Weight (推定重量)」



OUO6075,00012DF -40-19FEB13-3/12

「Calibration Management (較正管理)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A：「Calibration Management (較正管理)」アイコン



OUO6075,00012DF -40-19FEB13-4/12

- 「Load Identification (負荷 ID)」(A)：収集された負荷 ID 番号 (将来参照用) が表示されます。
- Estimated Weight (推定重量) (B)：較正中に質量流量システムで収集された負荷について収集された重量が表示されます。
- 「Actual Weight (実際の重量)」(C)：オペレータが入力した負荷重量が表示されます。
- 「Percent Error (百分率誤差)」(D)：推定重量と実際の重量の差の割合が表示されます。

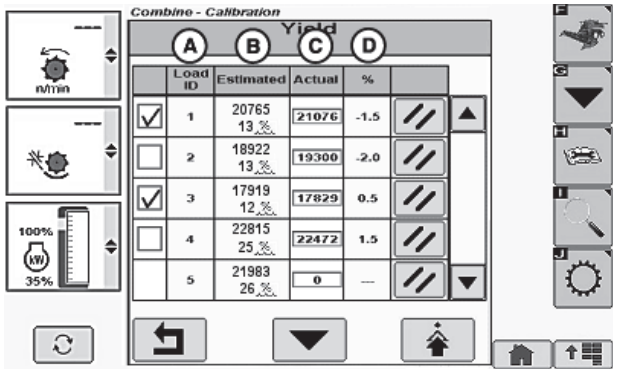
式：

誤差% = 100 x (推定 - 実際) ÷ 実際

例：

0.5% = 100 x (17919 - 17829) ÷ 17829

A：Load Identification (負荷 ID)
B：「Estimated Weight (推定重量)」
C：「Actual Weight (実際の重量)」
D：「Percent Error (百分率誤差)」



次のページへ

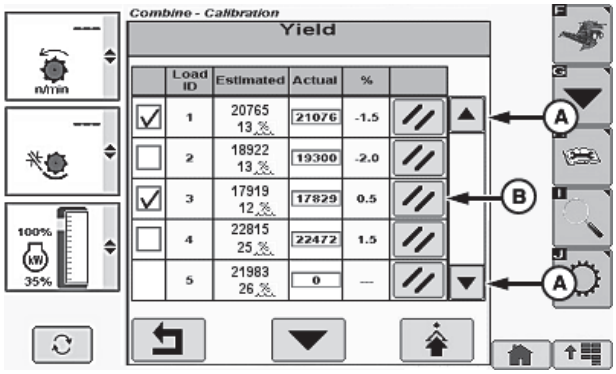
OUO6075,00012DF -40-19FEB13-5/12

負荷 ID と収量値の消去：

注記：メモリがいっぱいになるまでに 13 個の負荷 ID 番号を保存できます。メモリがいっぱいになったら、別の負荷を収集する前に 1 つ以上の較正負荷を削除する必要があります。

上下矢印アイコン (A) が強調表示されて必要な負荷 ID が表示されるまでスクロールしたら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

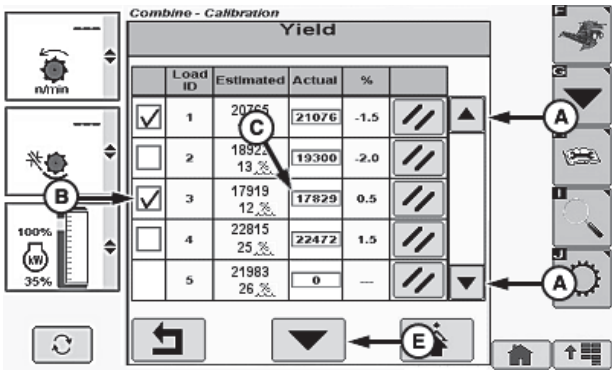
必要な「負荷 ID 消去」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



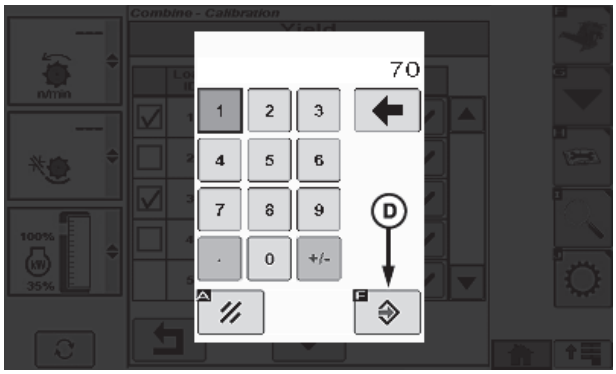
A：上下矢印アイコン
B：「ID Clear (ID 消去)」アイコン

OUO6075,00012DF -40-19FEB13-6/12

実際の重量値の更新：



A：上下矢印アイコン
B：「Calibration Selection (較正選択)」ボックス
C：「Actual Weight (実際の重量)」メニュー



D：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
E：「Calibration (較正)」アイコン

上下矢印アイコン (A) が強調表示されて必要な負荷 ID が表示されるまでスクロールしたら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：実際のスケール重量を入力するまでチェックボックスは利用できません。

- 制限付き精度：ユーザー較正手順が実行されていません。システムは、既定で固定内部較正値に設定されます。この値は異なる機械や圃場条件には適切ではない場合があります。
- 単点較正：ユーザーは較正手順を実施し、1〜3 つの較正負荷を収集しました。通常、収量が十分一貫している圃場 (一貫した流量を得ることが可能) に適しています。
- 多点較正：ユーザーは較正手順を実施し、4 つ以上の較正負荷を収集しました。較正精度は、収量条件が大きく変わる圃場 (流量の一貫性が維持されません) に適しています。

注記：詳細については、このセクションで後述の「単点収量較正または多点収量較正」を参照してください。

必要な較正選択ボックス (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要な実際の重量メニュー (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要な桁を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：実際の重量値が表示されるまで手順を繰り返します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

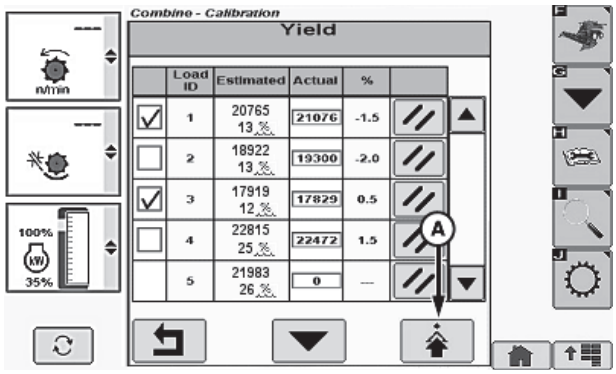
注記：収量較正値を更新するには、較正アイコンを選択する必要があります。「Return/Back (戻る)」アイコンが強調表示されている場合、値は保存または更新されません。

「Calibration (較正)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、収量較正値を更新します。

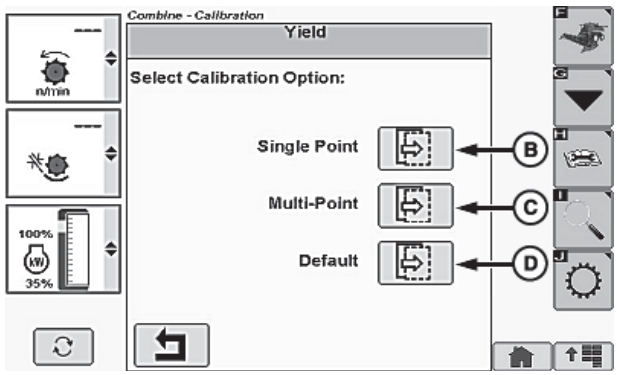
次のページへ

OUO6075,00012DF -40-19FEB13-7/12

詳細較正設定：



Load Management (負荷管理) 画面



A：詳細設定アイコン　**B ：「 Single Point Next Page (単点 次のページ」アイコン**　**C：「Multi-Point Next Page (多点 次のページ)」アイコン**　**D：「Default (既定) 次のページ」アイコン**

「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：較正係数を入力すると、主に同じ圃場内の複数の機械間で較正値を転送する場合に役立ちます。まったく新し較正を作成するのはお勧めできません。

- 補正できない誤差を入力する場合は、既定の較正を使用して、工場出荷時の値を復元します。
- 単点較正を実施中に較正番号 C11 を入力すると、以前の較正が多点較正であった場合でも、線形 (単点) 較正が適用されます。
- 多点較正中に較正番号 C11 を調整すると、較正番号 C11 の調整に基づいて他のすべての較正番号 C1～C10 が比例して調整されます。比線形較正特性が保存されますが、強度が異なります。たとえば、較正番号 C11 を 10% (0.1) 増やすと、較正番号 C1～C10 も 10% 増加します。
- 非線形の調整が必要な場合 (多点のみ) 、すべての較正番号を個別に調整する必要があります。

- Single Point (単点) (B)：較正は較正番号 C11 を調整して変更できます。
- Multi-Point (多点) (C)：較正は、較正番号 C11 のみを調整して、または C11 を調整してから 10 個のすべての較正番号を調整して変更できます。
- Default (既定) (D)：工場出荷時の初期較正番号を復元します。

必要な較正オプション (B～D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00012DF -40-19FEB13-8/12

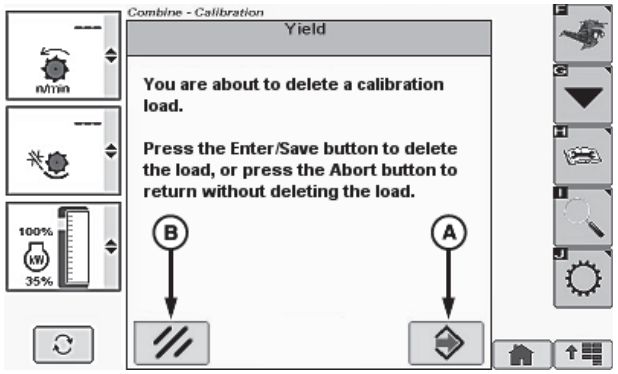
既定の較正：

注記：次の警告メッセージが表示されます。

> You are about to reinstate factory initial calibration numbers. (工場出荷時の初期較正番号を復元しようとしています)。
>
> Press the Enter/Save button to continue, or press Abort button to return to the load management screen without changes. (「Enter/Save (入力／保存)」ボタンを押して続行するか、「Abort (中断)」ボタンを押して変更しないで負荷管理画面に戻ります

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して工場出荷時の初期較正番号を復元します。

注記：「キャンセル」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して変更しないで「Load Management (負荷管理)」画面に戻ります。

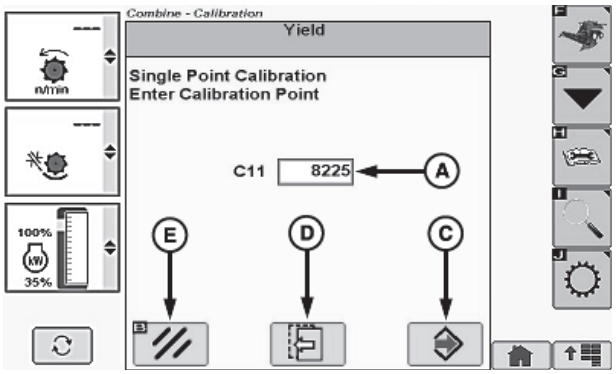


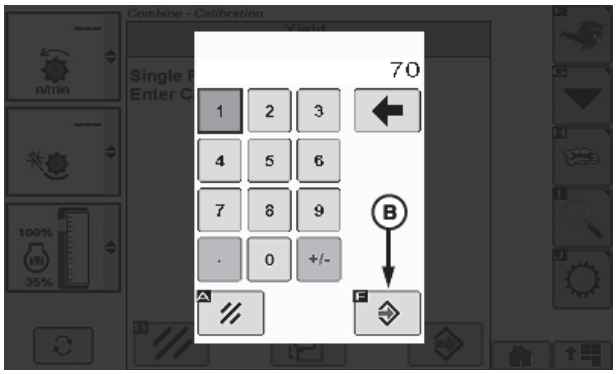
A：「 Enter/Accept (入 力 ／ 承諾)」アイコン　**B：「Cancel (キャンセル)」アイコン**

次のページへ

OUO6075,00012DF -40-19FEB13-9/12

単点較正：





A：較正番号 C11
B：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
C：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
D：「Previous Page (前のページ)」アイコン
E：「Cancel (キャンセル)」アイコン

注記：質量流量誤差の大きさが既知の場合は、較正番号を手動で調整できます。

式：

新しい C11 = 古い C11 x 実際の重量 ÷ 推定重量

例：

9048 = 8225 x 6600 ÷ 6000

較正番号 C11 (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：較正番号の範囲：

- C1：-250～15000
- C2～C11：0～15000

必要な桁を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：必要な較正値が表示されるまで手順を繰り返します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

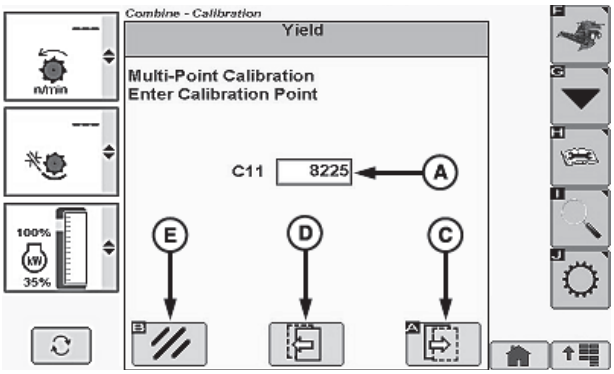
「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して較正値を保存して「Load Management (負荷管理画)」面に戻ります。

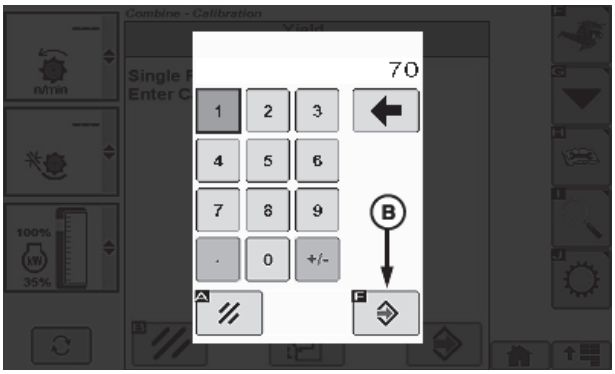
注記：較正値を更新するには、「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを選択する必要があります。「キャンセル」アイコン (E) が強調表示されている場合、値は保存または更新されません。ディスプレイは、「Load Management (負荷管理)」画面に戻ります。

「Previous Page (前のページ)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。

次のページへ

多点較正 (C11 のみ) :





A : 較正番号 C11
B : 「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
C : 「Next Page (次のページ)」アイコン
D : 「Previous Page (前のページ)」アイコン
E : 「Cancel (キャンセル)」アイコン

注記 : 質量流量誤差の大きさが既知の場合は、較正番号を手動で調整できます。

式 :

新しい C11 = 古い C11 x 実際の重量 ÷ 推定重量

例 :

7477 = 8225 x 6000 ÷ 6600

較正番号 C11 (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記 : 較正番号の範囲 :

- C1 : -250～15000
- C2～C11 : 0～15000

必要な桁を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記 : 必要な較正値が表示されるまで手順を繰り返します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

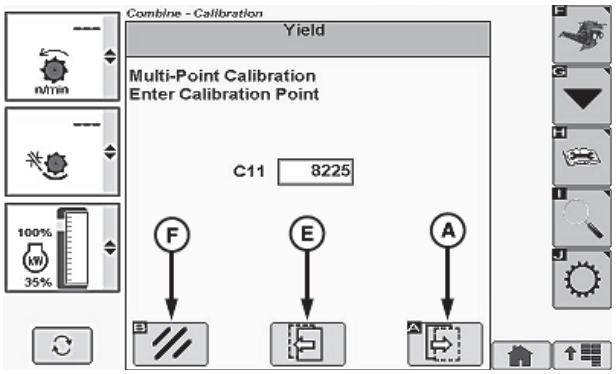
「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して較正値を保存して「Load Management (負荷管理画)」面に戻ります。

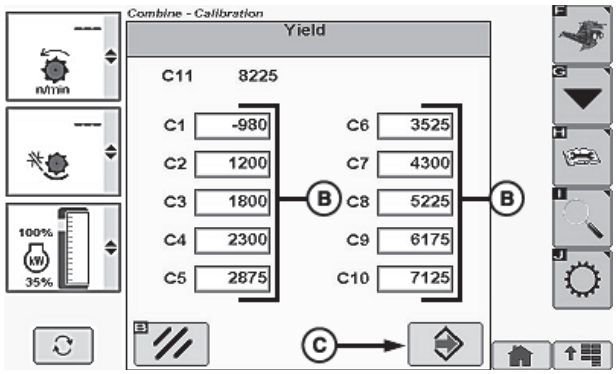
注記 : 較正値を更新するには、「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを選択する必要があります。「キャンセル」アイコン (E) が強調表示されている場合、値は保存または更新されません。ディスプレイは、「Load Management (負荷管理)」画面に戻ります。

「Previous Page (前のページ)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。

次のページへ

多点較正 (C1～C10) :





注記：C1～C10 較正係数は C11 の値で拡大縮小されます。前の画面に C11 が更新された場合はいつでも C1～C10 が自動的に調整されます。

「Next Page (次のページ)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要な較正番号 (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：較正番号の範囲：

- C1：-250～15000
- C2～C11：0～15000

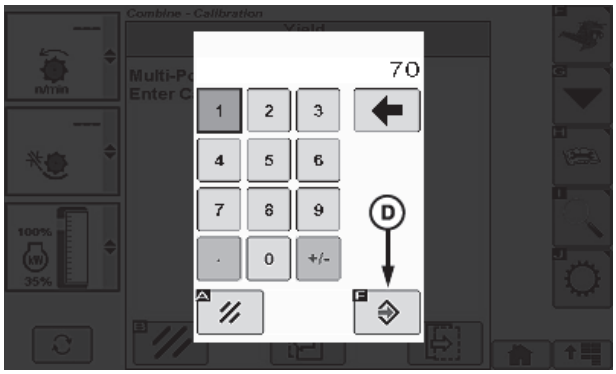
較正番号 C1～C10 が受け入れられるには、昇順に入力する必要があります。

必要な桁を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：必要な較正値が表示されるまで手順を繰り返します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して較正値を保存して「Load Management (負荷管理画)」面に戻ります。

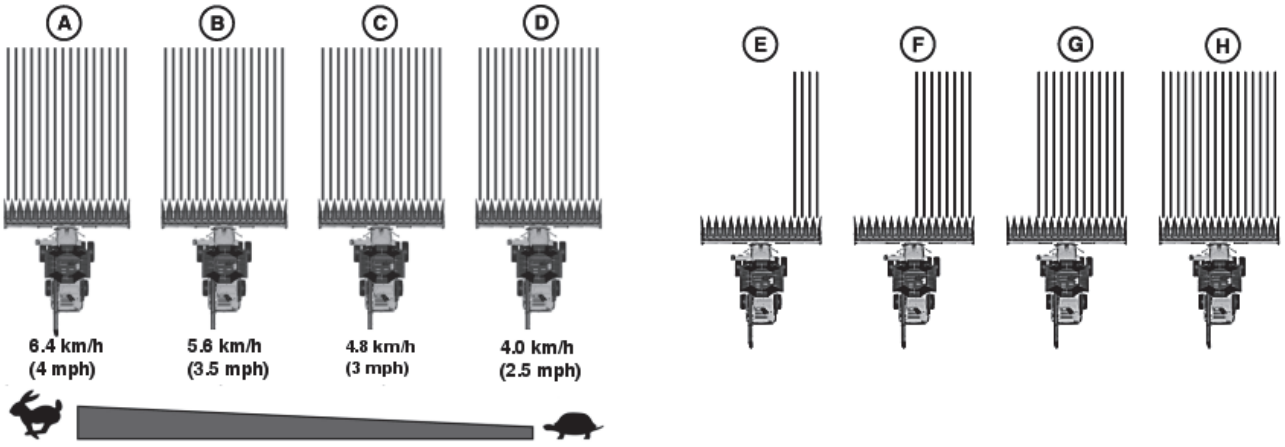


A：「Next Page (次のページ)」アイコン
B：較正番号 (C1～C10)
C：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
D：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
E：「Previous Page (前のページ)」アイコン
F：「Cancel (キャンセル)」アイコン

注記：較正値を更新するには、「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを選択する必要があります。「キャンセル」アイコン (F) が強調表示されている場合、値は保存または更新されません。ディスプレイは、「Load Management (負荷管理)」画面に戻ります。

「Previous Page (前のページ)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。

単点収量較正または多点収量較正



A：負荷 1
B：負荷 2
C：負荷 3
D：負荷 4
E：最大フロー
F：中フロー
G：中フロー
H：最大フロー

注記：流量を変える最適な方法は、機械の対地速度を変えることです。

流量を一定に維持する最適な方法は、VisionTrak™ ディスプレイをモニタして、機械の対地速度を適宜調整することです。

単点収量較正

単点収量較正は、1 つから 3 つまでの較正負荷を収集するときに実施します。

このタイプの較正は、収穫された圃場が十分一貫した収量を有し、機械が一定の対地速度で運転され、フローの変動が非常に少ない場合に推奨します。

較正負荷を収集するには、最大収穫速度で約 2,722 kg (6,000 lb) を収穫します。

1 つまたは 2 つの追加の負荷を実施する必要はありませんが、これにより、システムで全体の誤差を平均化することができます。

多点収量較正

多点収量較正は、収穫される圃場で収量が変化するまたは機械が異なる速度で異なる穀粒フローにより運転される場合に使用します。

このタイプの較正では、予想されるフロー条件ごとにそれぞれの較正負荷を収集します。

較正負荷ごとに、約 2,722 kg (6,000 lb) を収穫します。

種々の対地速度 (A～D) または種々の刈幅で少なくとも **4 つ**の較正負荷を実行し、さまざまな流量 (E～H) をシミュレーションします。

OUO6075,00013D5 -40-19FEB13-1/1

タイヤ半径コードの変更

タイヤまたはファイナルドライブを工場出荷時のものから変更する場合は、システムを再較正する必要が生じます。正しいタイヤコードがメモリに入力されていることを確認します。

重要：駆動輪を交換すると、タイヤ半径が変わる場合があります。新しいタイヤ半径に合わせて CAB コントロールユニットを設定する必要があります。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

システムを較正しないと、Harvest Monitor の収量が不正確になります。

OUO6075,0001111 -40-11APR12-1/1

水分センサー温度の較正

「Diagnostic (診断)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Calibration (較正)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

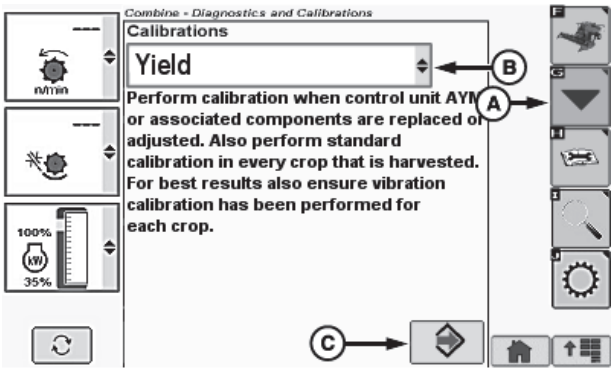
「Calibration (較正)」メニュー (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「**Moisture Sensor Temperature (水分センサー温度)**」を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A：「Calibration (較正)」アイコン
B：「Calibrations (較正)」メニュー
C：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

「Diagnostic (診断)」アイコン



OUO6075,0000746 -40-05OCT10-1/2

注記：収穫の開始前および水分センサーが空のときに較正を実施する必要があります。

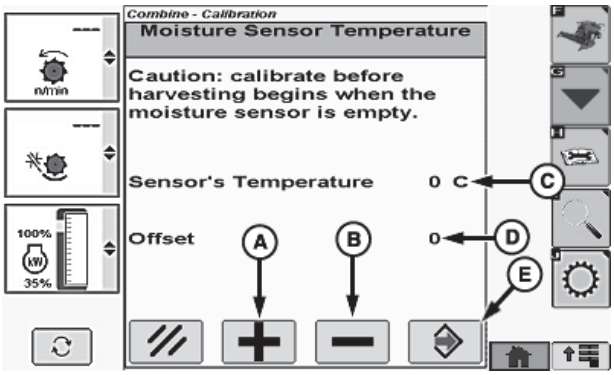
「プラス (+)」アイコン (A) または「マイナス (-)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：センサー温度は現在の外気温に設定する必要があります。

必要なセンサー温度 (C) が表示されるまで増減します。

注記：外気センサー温度が設定されると、「Offset (オフセット)」(D) は自動的に調整されます。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押してセンサー温度を保存します。



A：「プラス (+)」アイコン
B：「マイナス (-)」アイコン
C：「Sensor Temperature (センサー温度)」
D：「Offset (オフセット)」
E：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

OUO6075,0000746 -40-05OCT10-2/2

水分と密度の一覧表

作物	標準水分 (%)	作物密度 (lbs/bushel)	作物密度 (kg/bushel)
アルファルファ	12.0	60	27
オオムギ	14.0	48	22
オオムギ (冬) [a]	14.5	48	22
オオムギ (春) [a]	14.5	48	22
アブラナ	10.0	52	24
ヒヨコ豆 [a]	12.0	61	27
トウモロコシ (ドライまたはウェット)	15.0	56	25
食用豆	14.5	60	27
亜麻	7.0	56	25
牧草種子	12.0	22	10
ヒラマメ	10.5	60	27
ルピナス [a]	12.0	53	24
キビ	11.0	50	23
カラシ	8.0	60	27
白インゲンマメ	14.5	62	28
カラスムギ	14.0	32	15
カラスムギ [a]	15.0	32	15
エンドウマメ	10.5	60	27
エンドウマメ [a]	12.0	60	27
ポップコーン	14.0	60	27
ポップコーン [a]	15.5	60	27
ナタネ (ドライまたはウェット) [a]	10.0	52	24
イネ	14.0	45	20
ライムギ	14.0	56	25
ベニバナ	6.0	45	20
モロコシ	13.0	56	25
大豆	13.0	60	27
ヒマワリ	14.0	29	11
ヒマワリ [a]	9.0	20	11
ライコムギ [a]	14.5	58	26
コムギ (春)	13.0	60	27
コムギ (冬)	13.0	60	27

[a] 欧州の作物一覧のみ。

OUO6075,0000E89 -40-22MAR12-1/1

標準重量表

単位	重量 (lb)	重量 (kg)
「Barrels (バレル)」	162.0	73.5
「Sacks (袋)」	100.0	45.4
「Hundred Weight (ハンドレッドウエイト)」	100.0	45.4
ポンド (lb)	1.0	0.454
キログラム (kg)	2.204	1.0
「Metric Tons (メートルトン)」	2204.0	1000.0
「Tons (トン)」	2000.0	907.0

OUO6075,0000435 -40-15APR10-1/1

作物および穀粒ロスの設定の変更

「Crop (作物)」メニュー：

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop Setup (作物の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop (作物)」メニュー (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop (作物)」メニューには、以下の情報が表示されます。

アルファルファ	ヒラマメ	ライムギ
オオムギ	ルピナス	ベニバナ
オオムギ：春 [a]	イブキヌカボ	ソルガム
オオムギ：冬 [a]	カラシ	大豆
アブラナ	白インゲンマメ	ヒマワリ
ヒヨコ豆	オートムギ	ライコムギ [a]
トウモロコシ	エンドウマメ	コムギ [a]
食用豆	ポップコーン	コムギ：春
亜麻	ナタネ [a]	コムギ：冬
牧草種子	イネ	

[a] 欧州の作物一覧のみ。

必要な作物を選択したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

GreenStar™ Pro ドキュメンテーション：

ひじかけディスプレイから選択した作物を、コーナーポストに取り付けたディスプレイ (装備されている場合) と同期します。

「GreenStar Pro Documentation (GreenStar Pro ドキュメンテーション)」ボックス (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- チェックした場合：選択した作物を両方のディスプレイで同期します。
- チェックを外した場合：両方のディスプレイで選択した作物に対して個別に作業します。

Threshing Condition (脱穀条件)：

「Threshing Condition (脱穀条件)」メニュー (D) には、以下の情報が表示されます。

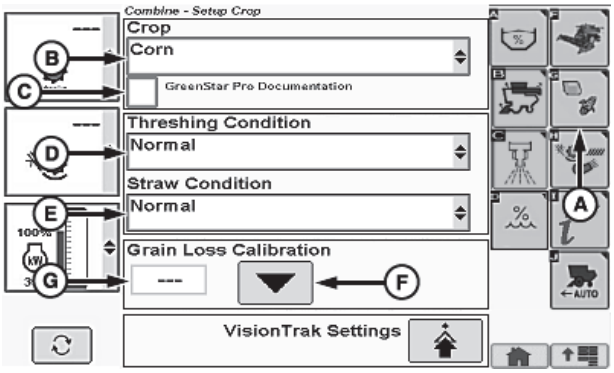
- 易脱穀性
- 標準
- 難脱穀性

必要な脱穀条件を選択したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Straw/Cob Condition (わら／穂軸条件)」：

「Straw/Cob Condition (わら／穂軸条件)」メニュー (E) には、以下の情報が表示されます。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Crop Setup (作物の設定)」アイコン
B：「Crop (作物)」メニュー
C：GreenStar™ Pro ドキュメンテーション
D：「Threshing Condition (脱穀条件)」メニュー
E：「Straw/Cob Condition (わら／穂軸条件)」メニュー
F：「Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)」アイコン
G：「Grain Loss Calibration Value (穀粒ロス較正値)」

- 脆性
- 標準
- 難脱穀性

必要なわら／穂軸条件を選択したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)：

機械およびヘッダーを特定の作物や条件について受け入れ可能なロスレベルに調整します。

「穀粒ロス較正」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：これにより、現在の運転特性がメモリに入力され、コーナーポストの合計ロスアクティビティインジケーターが中心に設定されます。

「Calibration Reference Number (較正参照番号)」：

「Grain Loss Calibration Value (穀粒ロス較正値)」(G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な較正基準値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な較正基準値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

GreenStar は Deere & Company の商標です。

次のページへ

シュー／セパレータバランス

VisionTrak™ ディスプレイにあるシューロスインジケーターとセパレータロスインジケーターの間でバーのバランスを調整します。機械の 1 つのエリアからのロスが表示され、作物条件によって機械のその他のエリアにより多くのロスが表示される場合は、調整を使用してディスプレイを微調整できます。

「VisionTrak™ Settings (VisionTrak™ の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」ボックス (B) または「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」バーグラフ (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」ボックスの調整：

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要なシュー／セパレータバランス値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要なシュー／セパレータバランス値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」バーグラフの調整：

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：選択ダイヤルを回して、シュー／セパレータバランスバーグラフを必要な値に増減します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要なシュー／セパレータバランス値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Return/Back (戻る)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

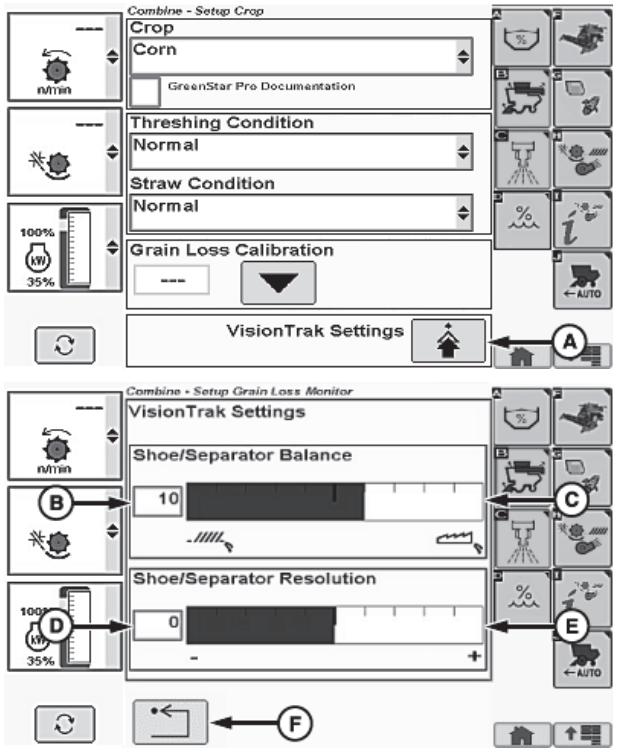
「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」

シューロスインジケーターとセパレーターインジケーターについて VisionTrak™ ディスプレイに表示されるバーの数を変更できます (センターバーの数に無関係に)。

「VisionTrak™ Settings (VisionTrak™ の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」ボックス (D) または「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」バーグラフ (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」ボックスの調整：



A：「VisionTrak™ Settings (VisionTrak™ の設定)」アイコン
B：「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」ボックス
C：Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス) バーグラフ
D：「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」ボックス
E：「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」バーグラフ
F：「Return/Back (戻る)」アイコン

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要なシュー／セパレータ分解能値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要なシュー／セパレータ分解能値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」バーグラフの調整：：

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：選択ダイヤルを回して、シュー／セパレータ分解能バーグラフを必要な値に増減します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要なシュー／セパレータ分解能値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Return/Back (戻る)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

VisionTrak は John Deere の商標です。

機械の設定の変更

実際またはセットポイントの設定：

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Machine Settings (機械の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Actual Setting (実際の設定)」(B) (セットポイント値は黒で表示)：機械の現在のセットポイント値が表示されます。
- 「Setpoint Setting (セットポイントの設定)」(C) (セットポイント値は青で表示)：機械は自動的にオペレータセットポイント値に調整します。

機械の設定：

注記：セパレータが接続され、エンジン回転数が 2,000 rpm を超えるまで脱穀速度およびファン回転数設定点の値が点滅します。

以下のいずれかの項目を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Threshing Speed (脱穀速度)」(D)
  200～1,000 rpm、10 rpm 刻み
- 「Threshing Clearance (脱穀隙間)」(E)
  0～40 mm*、1 mm 刻み
- 「Fan Speed (ファン回転数)」(F)
  620～1,350 rpm、10 rpm 刻み
- 「Chaffer Clearance (チャファー隙間)」(G)
  0～22 mm (汎用) および 0～30 mm (高歯) [1]、1 刻み
- 「Sieve Clearance (ふるい隙間)」(H)
  0～20 mm (汎用および高歯) [1]、1 mm 刻み

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な機械の値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な機械の値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

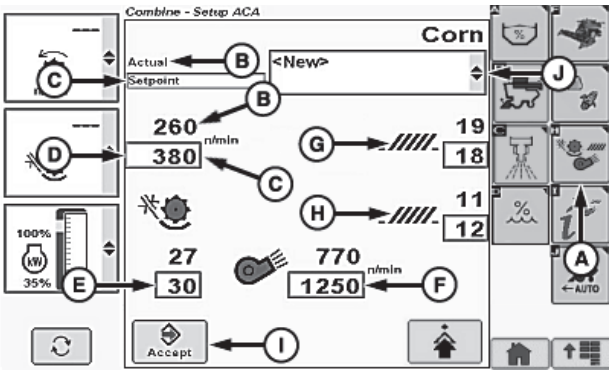
「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (I) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチの触れるか押して、オペレータが選択した変更済みの機械設定を自動的に調整したり、オペレータの個人的な機械設定を保存したりすることができます。

「Crop Modifiers (作物因子)」メニューの変更：

注記：20 個のカスタム作物設定を保存できます。各設定には 20 文字の制限があります。個人的な機械設定によって工場出荷時の設定が上書きされることはありません。

[1] 手動操作は、実際の設定値 (黒で表示) よりも上で、およびセットポイント設定値 (青で表示) で許可され、これは MAX で示されます。MAX はオペレータが減らす指定をするまで表示されます。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Machine Settings (機械の設定)」アイコン
B：「Actual Setting (実際の設定)」
C：「Setpoint Setting (セットポイントの設定)」
D：「Threshing Speed (脱穀速度)」
E：「Threshing Clearance (脱穀隙間)」
F：「Fan Speed (ファン回転数)」
G：「Chaffer Clearance (チャファー隙間)」
H：「Sieve Clearance (ふるい隙間)」
I：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
J：「Crop Modifiers (作物因子)」メニュー

「Crop Modifiers (作物因子)」メニュー (J) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop Modifiers (作物因子)」メニューには、以下の情報が表示されます。

- 「Default (既定)」：選択した作物の工場出荷時の既定の設定が表示されます。
- 「Dry (Default) (ドライ (既定))」：トウモロコシの工場出荷時の既定の設定が表示されます。
- 「Wet (Default) (ウエット (既定))」：トウモロコシの工場出荷時の既定の設定が表示されます。
- 「New (新規)」：一連のカスタム／個人の作物設定を入力するときに選択します。
- 「Clean Out (クリーンアウト)」：工場出荷時の既定の設定が表示され、機械をクリーンアウトできます。

必要な作物変更を選択したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

次のページへ

詳細設定 (機械外部構成の設定) :

「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

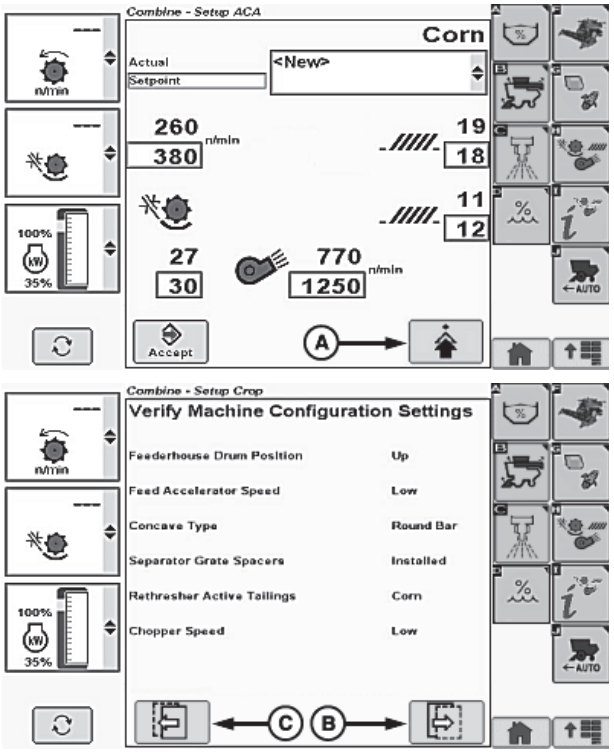
推奨設定について機械の周囲のエリアを手動で点検するようオペレータに警告がディスプレイに表示されます。

注記：画面に表示される項目は機械のオプションや選択した作物に応じて異なります。

「Next Page (次のページ)」アイコン (B) を強調表示したら (使用可能な場合) 、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

注記：「Previous Page (前のページ)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

A : 詳細設定アイコン
B : 「Next Page (次のページ)」アイコン
C : 「Previous Page (前のページ)」アイコン



OUO6075,000177B -40-03MAR14-2/2

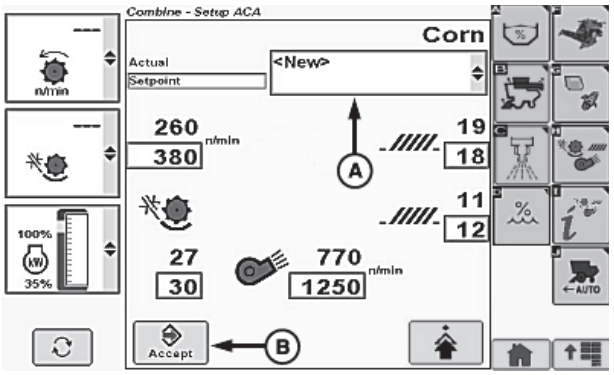
名前をカスタマイズした作物

注記：20 個のカスタム作物設定を保存できます。各設定には 20 文字の制限があります。個人的な機械設定によって工場出荷時の設定が上書きされることはありません。

「Crop Modifiers (作物因子)」メニュー (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop Modifiers (作物因子)」メニューには、以下の情報が表示されます。

- 「Default (既定)」：選択した作物の工場出荷時の既定の設定が表示されます。
- 「Dry (Default) (ドライ (既定))」：トウモロコシの工場出荷時の既定の設定が表示されます。
- 「Wet (Default) (ウエット (既定))」：トウモロコシの工場出荷時の既定の設定が表示されます。
- 「New (新規)」：一連のカスタム／個人の作物設定を入力するときに選択します。
- 「Clean Out (クリーンアウト)」：工場出荷時の既定の設定が表示され、機械をクリーンアウトできます。



A : 「Crop Modifiers (作物因子)」メニュー　**B : 「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン**

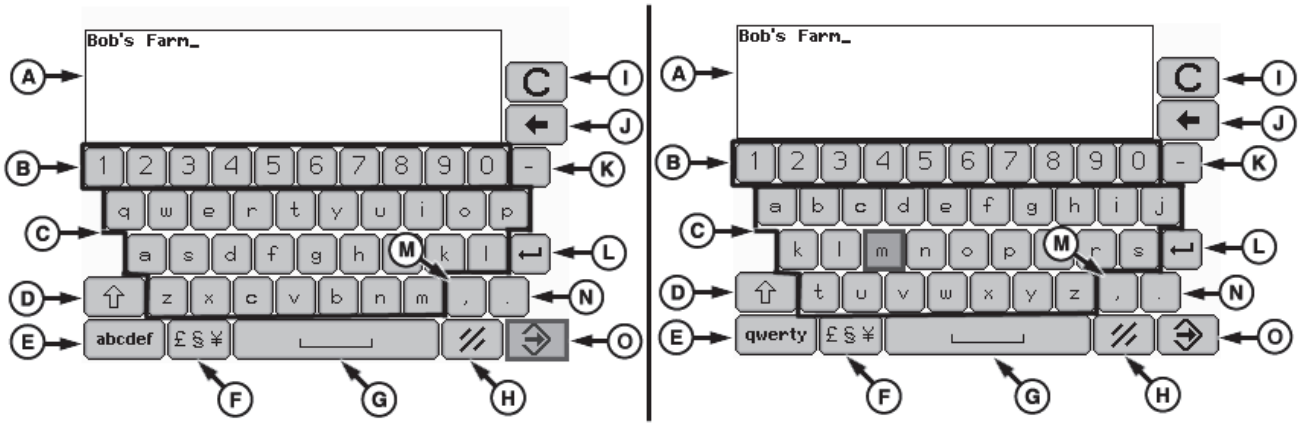
「New (新規)」を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要に応じて、機械の設定を変更します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

次のページへ

OUO6075,000177C -40-28FEB14-1/2



QWERTY キーボードレイアウト／ABC キーボードレイアウト

A：カスタム名ディスプレイ
B：数字キー
C：アルファベットキー
D：Caps Lock/Shift キー
E：QUERTY (標準タイプライターキーボードレイアウト) または ABC キー
F：記号キー
G：スペースキー
H：キャンセルキー
I：すべて消去キー
J：バックスペースキー
K：ハイフンキー
L：入力／戻るキー
M：コンマキー
N：ピリオドキー
O：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

注記：シンボルキー (F) を選択して別のキーボードレイアウトに移動し、必要な記号を選択できます。

英数字画面が表示され、作物にカスタム名を付けることができます。

ディスプレイキーボードの必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要なだけ手順を繰り返して、カスタム作物に名前を付けます。

必要なカスタム作物に名前を付けた後、「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (O) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,000177C -40-28FEB14-2/2

インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合) (キャビン内推奨事項)

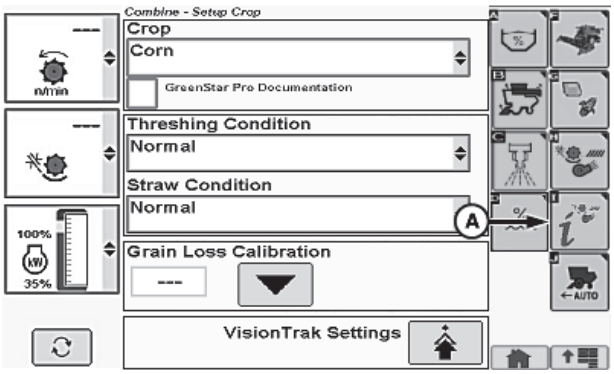
注記：Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整) システムは、エンジン停止 (キーを OFF に切り替え)、システムのキャンセル、または最適化完了状態が得られた場合に無効になります。インタラクティブコンバイン調整が再開されると、システムは以前の機械推奨設定を保持していません。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A：「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」アイコン

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



次のページへ

OUO6075,0001833 -40-12JUN14-1/12

コンバインの改善目標：

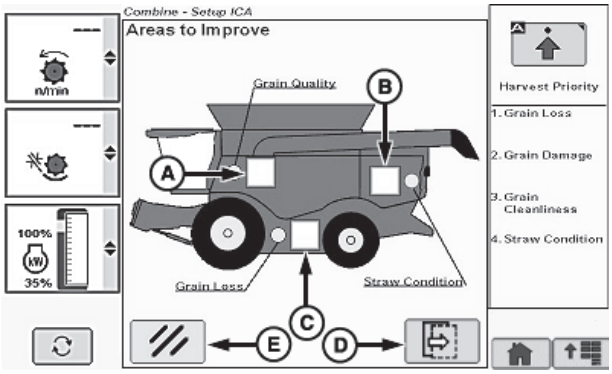
注記：1 つ、2 つ、またはすべて (3 つ) のタイプのコンバインの改善目標ボックスを選択できます。

コンバインの選択した部分が緑から黄に変わります。

必要なコンバインの改善目標ボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Grain Quality (穀粒品質)」(A)
  - 「Broken Grain (穀粒の割れ)」
  - 「Chaff/Husks (籾殻／外皮)」
  - 「Straw Pieces/Cobs (わら／穂軸)」
  - 「Unthreshed Material (未脱穀材)」
  - 「Excess Tailings (2 番物過剰)」
- 「Straw Condition (わら条件)」(B)
  - 「Straw Condition (わら条件)」
- 「Grain Loss (穀粒ロス)」(C)
  - 「Separator Loss (セパレータロス)」
  - 「Shoe Loss (シューロス)」
  - 「Unthreshed Loss (未脱穀ロス)」

ボックスには、どの項目が選択されたかを示すチェックマークが表示されます。



A：「Grain Quality (穀粒品質)」
B：「Straw Condition (わら条件)」
C：「Grain Loss (穀粒ロス)」
D：「Next Page (次のページ)」アイコン
E：「Cancel (キャンセル)」アイコン

注記：コンバインの改善目標ボックスが選択されるまで、「Next Page (次のページ)」アイコン (D) は選択できません。「キャンセル」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、インタラクティブコンバイン調整設定をキャンセルして、コンバイの設定画面に戻ります。

次のページへ

収穫時の優先項目の設定：

注記：「Setup harvest priority (収穫時の優先項目の設定)」アイコンは、収穫時の優先項目を変更した場合のみ押す必要があります。

「Setup Harvest Priority (収穫時の優先項目の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、「Harvest Priority (収穫時の優先項目)」(B) を再配置します。

上下矢印アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、強調表示されている領域 (D) を移動します。

強調表示されている領域を収穫時の優先項目リスト (E) 内の必要な項目に移動します。

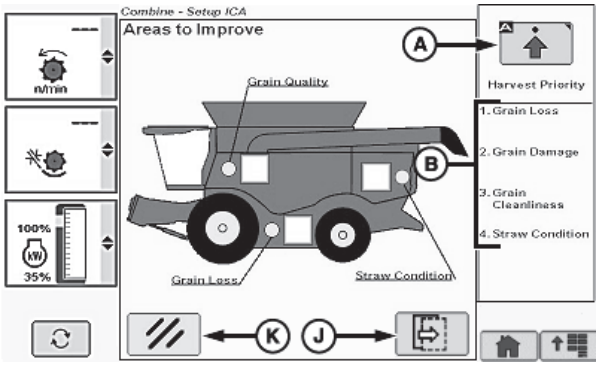
「選択した項目を上に移動」アイコン (F) または「選択した項目を下に移動」アイコン (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、選択した強調表示されている項目を上または下の優先順位 (H) に移動します。

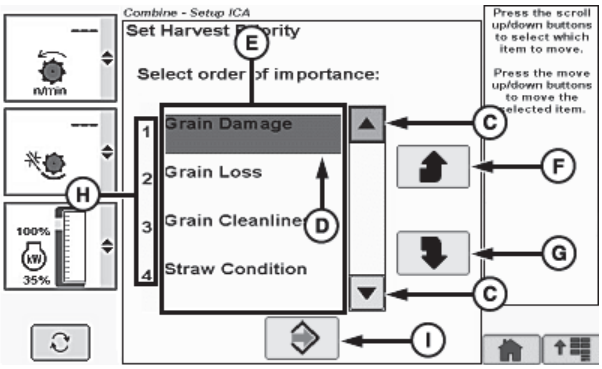
1. 最高優先度
2. 高優先度
3. 低優先度
4. 最低優先度

必要に応じて、リストの優先順位設定が終了するまで手順を繰り返します。

「Save (保存)」アイコン (I) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前の画面に戻ります。

「Next Page (次のページ)」アイコン (J) を強調表示したら、「Confirm 確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。または、「キャンセル」アイコン (K) を押してインタラクティブコンバイン調整設定をキャンセルして、コンバイの設定画面に戻ります。





A：「Setup Harvest Priority (収穫時の優先項目)」アイコン
B：「Harvest Priority List (収穫時の優先項目リスト)」
C：上下矢印アイコン
D：強調表示された領域
E：「Harvest Priority List (収穫時の優先項目リスト)」
F：「Selection Up (選択項目を上に移動)」アイコン
G：「Selection Down (選択項目を下に移動)」アイコン
H：優先順位
I：「保存」アイコン
J：「Next Page (次のページ)」アイコン
K：「Cancel (キャンセル)」アイコン

OUO6075,0001833 -40-12JUN14-3/12

穀粒ロスの改善：

注記：画面は、穀粒ロスにチェックマークが以前付けられていた場合のみ表示されます。推奨機械変更について、穀粒ロスの改善の組み合わせを選択します。

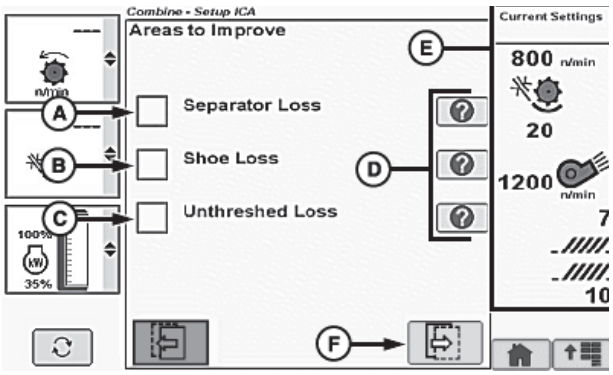
以下に示す必要な穀粒ロスの改善ボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Separator Loss (セパレータロス)」(A)
- 「Shoe Loss (シューロス)」(B)
- 「Unthreshed Loss (未脱穀ロス)」(C)

注記：必要な「ヘルプ」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。情報領域 (E) が現在の機械設定から改善の詳細を提供するヘルプ情報領域に切り替わります。

「Next Page (次のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

注記：「Previous Page (前のページ)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。



A：「Separator Loss (セパレータロス)」
B：「Shoe Loss (シューロス)」
C：「Unthreshed Loss (未脱穀ロス)」
D：「ヘルプ」アイコン
E：情報領域
F：「Next Page (次のページ)」アイコン

次のページへ

OUO6075,0001833 -40-12JUN14-4/12

穀粒品質の改善：

注記：画面は、穀粒品質にチェックマークが以前付けられていた場合のみ表示されます。推奨機械変更について、穀粒品質の改善の組み合わせを選択します。

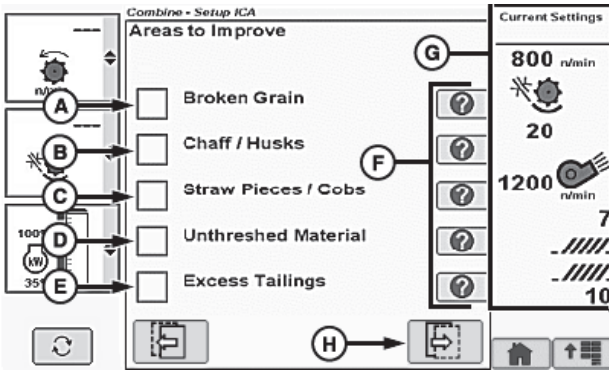
以下に示す必要な穀粒品質の改善ボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Broken Grain (穀粒の割れ)」(A)
- 「Chaff/Husks (籾殻／外皮)」(B)
- 「Straw Pieces/Cobs (わら／穂軸)」(C)
- 「Unthreshed Material (未脱穀材)」(D)
- 「Excess Tailings (2 番物過剰) (E)

注記：必要な「ヘルプ」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。情報領域 (G) が現在の機械設定から改善の詳細を提供するヘルプ情報領域に切り替わります。

「Next Page (次のページ)」アイコン (H) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

注記：「Previous Page (前のページ)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。



A：「Broken Grain (穀粒の割れ)」
B：「Chaff/Husks (籾殻／外皮)」
C：「Straw Pieces/Cobs (わら／穂軸)」
D：「Unthreshed Material (未脱穀材)」
E：「Excess Tailings (2 番物過剰)」
F：「ヘルプ」アイコン
G：情報領域
H：「Next Page (次のページ)」アイコン

OUO6075,0001833 -40-12JUN14-5/12

推奨機械設定の変更：

「Current Recommendation (現在の推奨事項)」領域 (A) には、推奨機械設定の変更が表示されます。

注記：推奨設定がこれ以上ない場合、「Next Recommendation (次の推奨事項)」または「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコンは灰色表示されます。

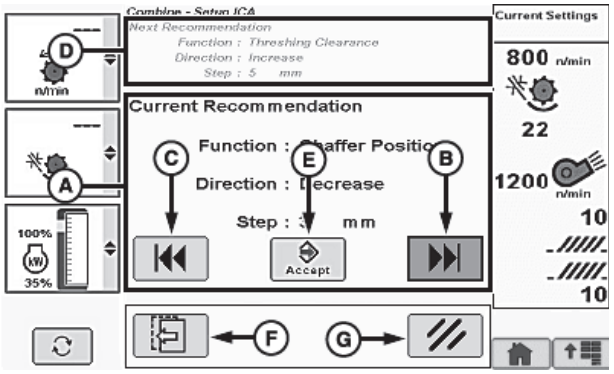
「Next Recommendation (次の推奨事項)」(B) または「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、次の推奨事項に進むか、前の推奨事項に進みます。

注記：「Next Recommendation (次の推奨事項)」領域 (D) には、システムで提案されている次の調整が表示されます。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、提案された機械調整を実施します。

「Previous Page (前のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

注記：「キャンセル」アイコン (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して推奨事項をキャンセルします。前の機械調整は維持されます。



A：「Current Recommendation (現在の推奨事項)」領域
B：「Next Recommendation (次の推奨事項)」アイコン
C：「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコン
D：「Next Recommendation (次の推奨事項)」領域
E：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
F：「Previous Page (前のページ)」アイコン
G：「Cancel (キャンセル)」アイコン

Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整) システムは、エンジン停止 (キーを OFF に切り替え)、システムのキャンセル、または最適化完了状態が得られた場合に無効になります。インタラクティブコンバイン調整が再開されると、システムは以前の機械推奨設定を保持していません。

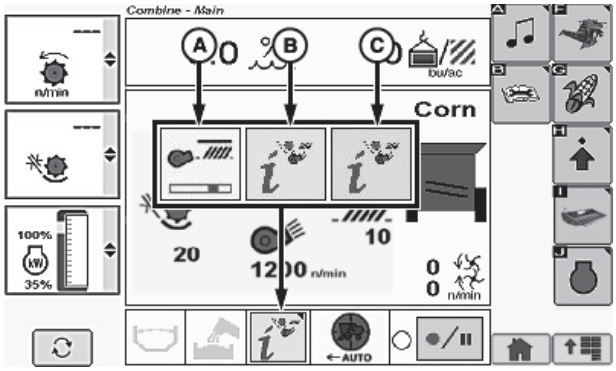
次のページへ

OUO6075,0001833 -40-12JUN14-6/12

インタラクティブコンバイン調整 (システムモニタリングアイコン) :

注記 : 「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」アイコンがディスプレイに表示されるには 30 秒かかります。

「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」インジケーター (A～C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



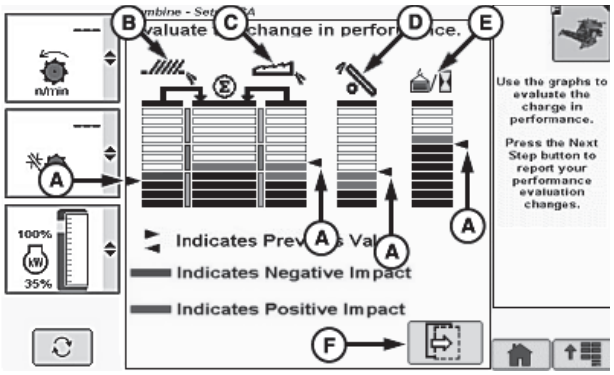
- (A) インジケーター (システムビジー) : システム調整が実行されていることを示しています。アイコンの下の緑色のセグメントが前後に動き、機械が設定を適用して、システムが安定するのを待機中であることを示します。
- (B) インジケーター (黄インジケーター) : システムが機能向上設定の検証の準備が整っていることを示しています。黄の背景のアイコンが点滅するまたは点灯したままになると (30 秒間点滅して点灯したままになる) 、システムで調整が行われたこと、およびオペレータのフィードバック (パフォーマンスパラメータの評価) を待機していることを示しています。
- (C) インジケーター (赤インジケーター) : システムが条件のシフトを検出したことを示しています。赤の背景のアイコンは、システムが機械パフォーマンスの変化を検出したことを示しています。システムは、オペレータによる機械のパフォーマンスの評価と機械設定の最適化の検討が行われることを前提としています。

OUO6075,0001833 -40-12JUN14-7/12

矢印インジケーター (A) は、インタラクティブコンバイン調整システムで推奨機械設定の変更が行われる前の値を示します。

注記 : バーグラフは、一定の時間中に増減が発生するかを確認するための視覚的なガイドです。

- 「Shoe Loss Indicator (シューロスインジケーター)」(B)
  - 緑のバーは、ロスレベルが以前よりも低くなり、パフォーマンスが改善したことを示しています。
  - 赤のバーは、以前よりもロスレベルが高いことを示しています。
- 「Separator Loss Indicator (セパレーターロスインジケーター) (C)」
  - 緑のバーは、ロスレベルが以前よりも低くなり、パフォーマンスが改善したことを示しています。
  - 赤のバーは、以前よりもロスレベルが高いことを示しています。
- 「Tailings Volume Indicator (2 番物の量インジケーター)」(D)
  - 緑のバーは少ない 2 番物の量がモニタされていることを示しています。
  - 赤のバーは多くの 2 番物の量がモニタされていることを示しています。
- 「Mass Flow Indicator (質量流量インジケーター)」(E)
  - 緑のバーはフィードレートが増加したことを示しています。
  - 赤のバーはフィードレートが減少したことを示しています。



A : 矢印インジケーター
B : シューロスインジケーター
C : シューロスインジケーター
D : 2 番物容量インジケーター
E : 質量流量インジケーター
F : 「Next Page (次のページ)」アイコン

「Next Page (次のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

次のページへ

OUO6075,0001833 -40-12JUN14-8/12

改善設定の確認：

注記：これは可能性のある条件の一例です。必ずディスプレイに表示される情報に従ってください。

各パラメータに関する一連の質問に答えることにより、以前のロスや品質条件の改善に役立てることができます。

以下に示す必要なパラメータメニュー (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Broken Grain (穀粒の割れ)」
- 「Chaff/Husks (籾殻／外皮)」
- 「Straw Pieces/Cobs (わら／穂軸)」
- 「Unthreshed Material (未脱穀材)」
- 「Straw Condition (わら条件)」
- 「Separator Loss (セパレータロス)」
- 「Shoe Loss (シューロス)」
- 「Unthreshed Loss (未脱穀ロス)」
- 「Excess Tailings (2 番物過剰)」

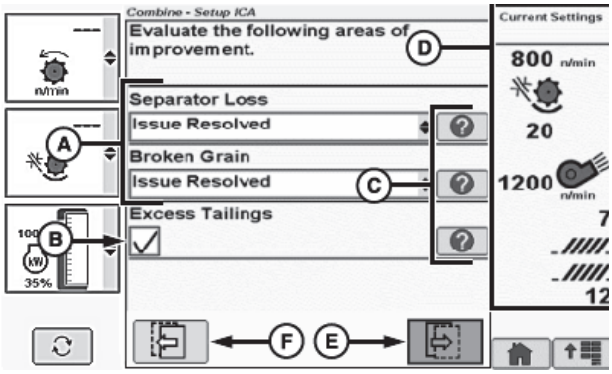
各パラメータメニューには、以下の情報が表示されます。

- 「Issue Resolved (問題解決)」
- 「Better (改善)」
- 「No Change (変化なし)」
- 「Worse (悪化)」

必要な選択肢が選択されたら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要に応じて、残りのパラメータメニューで繰り返します。

「Excess Tailings (2 番物過剰)」ボックス (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



A：「Parameter (パラメータ)」メニュー
B：「Excess Tailings (2 番物過剰)」ボックス
C：「ヘルプ」アイコン
D：情報領域
E：「Next Page (次のページ)」アイコン
F：「Previous Page (前のページ)」アイコン

- チェックした場合：2 番物過剰が引き続き存在します。
- チェックを外した場合：2 番物過剰状態が改善されました。

注記：必要な「ヘルプ」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。情報領域 (D) が現在の機械設定から改善の詳細を提供するヘルプ情報領域に切り替わります。

「Next Page (次のページ)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

注記：「Previous Page (前のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。

次のページへ

以前の受け入れ可能なパラメータ設定の確認：

注記：これは可能性のある条件の一例です。必ずディスプレイに表示される情報に従ってください。

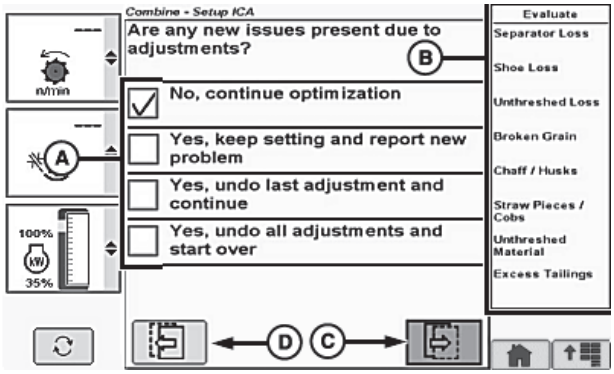
以前選択されていないパラメータがまだ受け入れ可能であるか、現在受け入れ不可であるかを確認できます。

必要なシステム評価ボックス (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「No, continue optimization (いいえ、最適化を続けてください)」：システムの最適化を続けることができます。システムは推奨機械設定の変更項目を表示します。
- 「Yes, keep setting and report new problem (はい、設定を維持して新しい問題を報告します」：既存の問題に新し問題を組み合わせることができます。システムは推奨機械設定の変更項目を表示します。
- 「Yes, undo last adjustment and continue (はい、前回の調整を元に戻して続行します)」：以前の推奨機械変更を元に戻してその他の推奨事項を続けることができます。
- 「Yes, undo all adjustments and start over (はい、すべての調整を元に戻してやり直します)：システムで実施されたすべての推奨機械変更を元に戻して「インタラクティブコンバイ調整 (Interactive Combine Adjustment)」を終了します。

「Parameters Not Previously Selected (以前選択されていないパラメーター)」(B)：

- 「Broken Grain (穀粒の割れ)」
- 「Chaff/Husks (籾殻／外皮)」
- 「Straw Pieces/Cobs (わら／穂軸)」
- 「Unthreshed Material (未脱穀材)」
- 「Straw Condition (わら条件)」



A：「System Evaluation (システム評価)」ボックス
B：「Parameters Not Previously Selected (以前選択されていないパラメーター)」
C：「Next Page (次のページ)」アイコン
D：「Previous Page (前のページ)」アイコン

- 「Separator Loss (セパレータロス)」
- 「Shoe Loss (シューロス)」
- 「Unthreshed Loss (未脱穀ロス)」
- 「Excess Tailings (2 番物過剰)」

「Next Page (次のページ)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

注記：「Previous Page (前のページ)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。

次のページへ

推奨機械設定の変更：

「Current Recommendation (現在の推奨事項)」領域 (A) には、推奨機械設定の変更が表示されます。

注記：推奨設定がこれ以上ない場合、「Next Recommendation (次の推奨事項)」または「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコンは灰色表示されます。

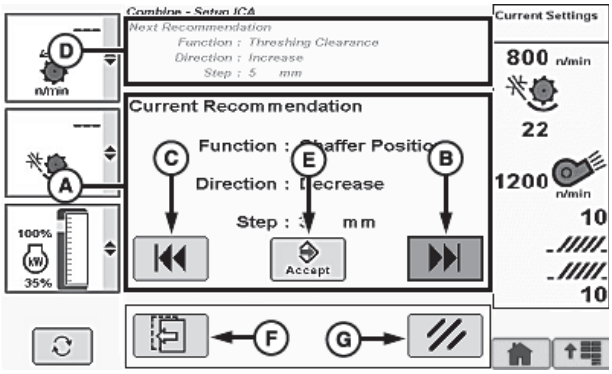
「Next Recommendation (次の推奨事項)」(B) または「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、次の推奨事項に進むか、前の推奨事項に進みます。

注記：「Next Recommendation (次の推奨事項)」領域 (D) には、システムで提案されている次の調整が表示されます。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、提案された機械調整を実施します。

「Previous Page (前のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

注記：「キャンセル」アイコン (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して推奨事項をキャンセルします。前の機械調整は維持されます。



A：「Current Recommendation (現在の推奨事項)」領域
B：「Next Recommendation (次の推奨事項)」アイコン
C：「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコン
D：「Next Recommendation (次の推奨事項)」領域
E：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
F：「Previous Page (前のページ)」アイコン
G：「Cancel (キャンセル)」アイコン

Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整) システムは、エンジン停止 (キーを OFF に切り替え)、システムのキャンセル、または最適化完了状態が得られた場合に無効になります。インタラクティブコンバイン調整が再開されると、システムは以前の機械推奨設定を保持していません。

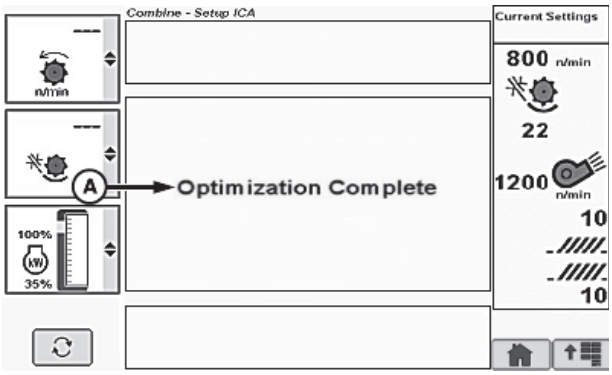
OUO6075,0001833 -40-12JUN14-11/12

最適化完了：

機械推奨事項がこれ以上不要な場合は、「Optimization Complete (最適化完了)」(A) がディスプレイに表示されます。

注記：1 日を通じて収量や圃場条件が変わったら、インタラクティブコンバイン調整パラメーターを再起動して調整する必要があります。

A：「Optimization Complete (最適化完了)」



OUO6075,0001833 -40-12JUN14-12/12

インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合) (キャビン外推奨事項)

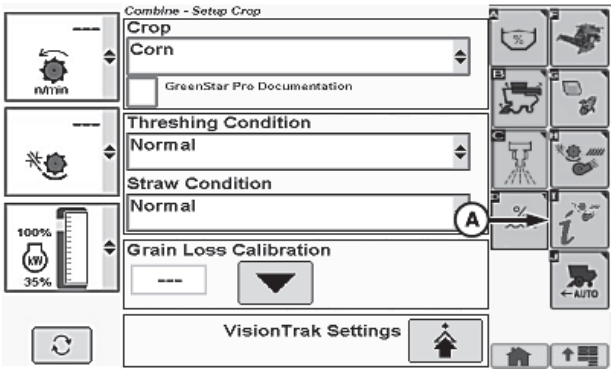
注記：機械を OFF にした場合、システムはキャビン内推奨設定を維持します。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A：「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」アイコン

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



OUO6075,0001834 -40-12JUN14-1/8

推奨機械設定の変更：

「Current Recommendation (現在の推奨事項)」領域 (A) には、推奨機械設定の変更が表示されます。

注記：推奨設定がこれ以上ない場合、「Next Recommendation (次の推奨事項)」または「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコンは灰色表示されます。

「Next Recommendation (次の推奨事項)」(B) または「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、次の推奨事項に進むか、前の推奨事項に進みます。

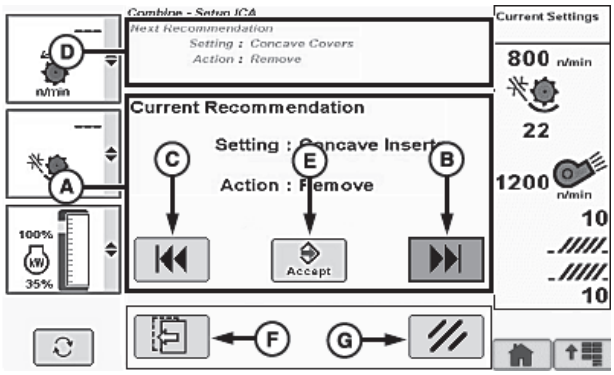
注記：「Next Recommendation (次の推奨事項)」領域 (D) には、システムで提案されている次の調整が表示されます。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、提案された機械調整を実施します。

注記：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを選択したときにディスプレイに表示された推奨アクションを実行する前に機械を停止します。

エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ディスプレイで推奨された機械調整を実施します。



A：「Current Recommendation (現在の推奨事項)」領域
B ： 「 Next Recommendation (次の推奨事項)」アイコン
C：「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコン
D ： 「 Next Recommendation (次の推奨事項)」領域
E ： 「 Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
F ：「Previous Page (前のページ)」アイコン
G：「Cancel (キャンセル)」アイコン

「Previous Page (前のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

注記：「キャンセル」アイコン (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して推奨事項をキャンセルします。前の機械調整は維持されます。

機械を OFF にした場合、システムはキャビン内推奨設定を維持します。

次のページへ

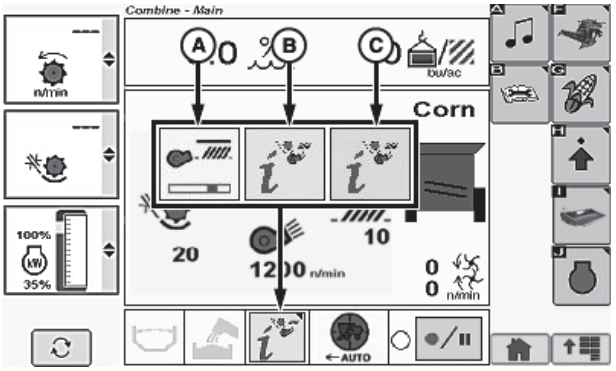
OUO6075,0001834 -40-12JUN14-2/8

インタラクティブコンバイン調整 (システムモニタリングアイコン) :

注記 : 「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」アイコンがディスプレイに表示されるには 30 秒かかります。

「Interactive Combine Adjustment (インタラクティブコンバイン調整)」インジケーター (A～C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- (A) インジケーター (システムビジー) : システム調整が実行されていることを示しています。アイコンの下の緑色のセグメントが前後に動き、機械が設定を適用して、システムが安定するのを待機中であることを示します。
- (B) インジケーター (黄インジケーター) : システムが機能向上設定の検証の準備が整っていることを示しています。黄の背景のアイコンが点滅するまたは点灯したままになると (30 秒間点滅して点灯したままになる) 、システムで調整が行われたこと、およびオペレータのフィードバック (パフォーマンスパラメータの評価) を待機していることを示しています。

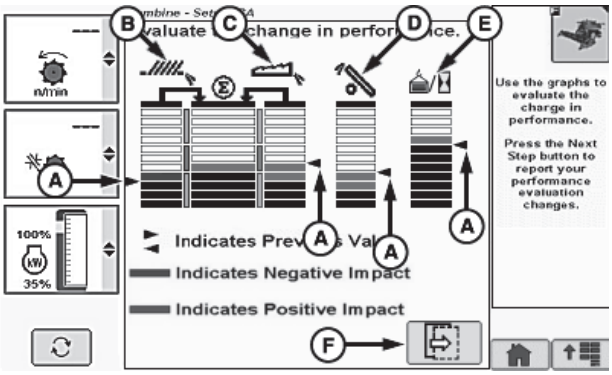


- (C) インジケーター (赤インジケーター) : システムが条件のシフトを検出したことを示しています。赤の背景のアイコンは、システムが機械パフォーマンスの変化を検出したことを示しています。システムは、オペレータによる機械のパフォーマンスの評価と機械設定の最適化の検討が行われることを前提としています。

矢印インジケーター (A) は、インタラクティブコンバイン調整システムで推奨機械設定の変更が行われる前の値を示します。

注記 : バーグラフは、一定の時間中に増減が発生するかを確認するための視覚的なガイドです。

- 「Shoe Loss Indicator (シューロスインジケーター)」(B)
  - 緑のバーは、ロスレベルが以前よりも低くなり、パフォーマンスが改善したことを示しています。
  - 赤のバーは、以前よりもロスレベルが高いことを示しています。
- 「Separator Loss Indicator (セパレーターロスインジケーター) (C)」
  - 緑のバーは、ロスレベルが以前よりも低くなり、パフォーマンスが改善したことを示しています。
  - 赤のバーは、以前よりもロスレベルが高いことを示しています。
- 「Tailings Volume Indicator (2 番物の量インジケーター)」(D)
  - 緑のバーは少ない 2 番物の量がモニタされていることを示しています。
  - 赤のバーは多くの 2 番物の量がモニタされていることを示しています。
- 「Mass Flow Indicator (質量流量インジケーター)」(E)



A : 矢印インジケーター
B : シューロスインジケーター
C : シューロスインジケーター
D : 2 番物容量インジケーター
E : 質量流量インジケーター
F : 「Next Page (次のページ)」アイコン

  - 緑のバーはフィードレートが増加したことを示しています。
  - 赤のバーはフィードレートが減少したことを示しています。

「Next Page (次のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

次のページへ

改善設定の確認：

注記：これは可能性のある条件の一例です。必ずディスプレイに表示される情報に従ってください。

各パラメータに関する一連の質問に答えることにより、以前のロスや品質条件の改善に役立てることができます。

以下に示す必要なパラメータメニュー (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Broken Grain (穀粒の割れ)」
- 「Chaff/Husks (籾殻／外皮)」
- 「Straw Pieces/Cobs (わら／穂軸)」
- 「Unthreshed Material (未脱穀材)」
- 「Straw Condition (わら条件)」
- 「Separator Loss (セパレータロス)」
- 「Shoe Loss (シューロス)」
- 「Unthreshed Loss (未脱穀ロス)」
- 「Excess Tailings (2 番物過剰)」

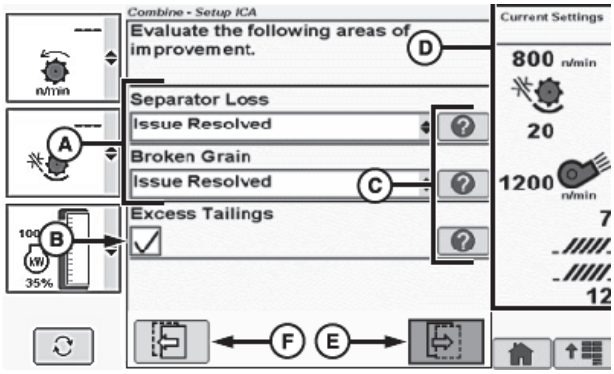
各パラメータメニューには、以下の情報が表示されます。

- 「Issue Resolved (問題解決)」
- 「Better (改善)」
- 「No Change (変化なし)」
- 「Worse (悪化)」

必要な選択肢が選択されたら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要に応じて、残りのパラメータメニューで繰り返します。

「Excess Tailings (2 番物過剰)」ボックス (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



A：「Parameter (パラメータ)」メニュー
B：「Excess Tailings (2 番物過剰)」ボックス
C：「ヘルプ」アイコン
D：情報領域
E：「Next Page (次のページ)」アイコン
F：「Previous Page (前のページ)」アイコン

- チェックした場合：2 番物過剰が引き続き存在します。
- チェックを外した場合：2 番物過剰状態が改善されました。

注記：必要な「ヘルプ」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。情報領域 (D) が現在の機械設定から改善の詳細を提供するヘルプ情報領域に切り替わります。

「Next Page (次のページ)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

注記：「Previous Page (前のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。

次のページへ

以前の受け入れ可能なパラメータ設定の確認：

注記：これは可能性のある条件の一例です。必ずディスプレイに表示される情報に従ってください。

以前選択されていないパラメータがまだ受け入れ可能であるか、現在受け入れ不可であるかを確認できます。

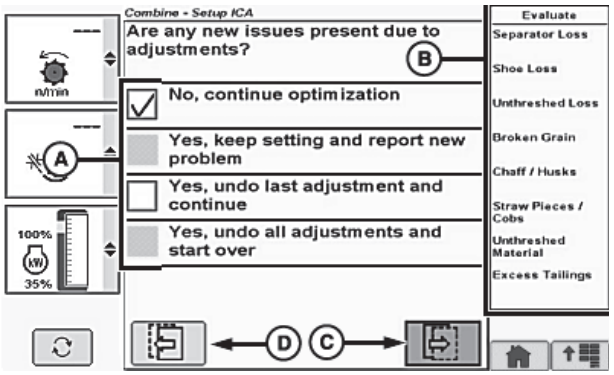
必要なシステム評価ボックス (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：評価機能を利用できない場合、ボックスは灰色表示されます。

- 「No, continue optimization (いいえ、最適化を続けてください)」：システムの最適化を続けることができます。システムは推奨機械設定の変更項目を表示します。
- 「Yes, undo last adjustment and continue (はい、前回の調整を元に戻して続行します)」：以前の推奨機械変更を元に戻してその他の推奨事項を続けることができます。

「Parameters Not Previously Selected (以前選択されていないパラメーター)」(B)：

- 「Broken Grain (穀粒の割れ)」
- 「Chaff/Husks (籾殻／外皮)」
- 「Straw Pieces/Cobs (わら／穂軸)」
- 「Unthreshed Material (未脱穀材)」
- 「Straw Condition (わら条件)」
- 「Separator Loss (セパレータロス)」
- 「Shoe Loss (シューロス)」



A：「System Evaluation (システム評価)」ボックス
B：「Parameters Not Previously Selected (以前選択されていないパラメーター)」
C：「Next Page (次のページ)」アイコン
D：「Previous Page (前のページ)」アイコン

- 「Unthreshed Loss (未脱穀ロス)」
- 「Excess Tailings (2 番物過剰)」

「Next Page (次のページ)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して次のページに進みます。

注記：「Previous Page (前のページ)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要に応じて前のページに戻ります。

次のページへ

推奨機械設定の変更：

注記：パフォーマンスが改善した場合、ソフトウェアはキャビン内推奨事項を続けます。「インタラクティブコンバイン調整」を参照してください。

パフォーマンスが低下した場合、ソフトウェアはキャビン外推奨事項を続けます。

「Current Recommendation (現在の推奨事項)」領域 (A) には、推奨機械設定の変更が表示されます。

注記：推奨設定がこれ以上ない場合、「Next Recommendation (次の推奨事項)」または「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコンは灰色表示されます。

「Next Recommendation (次の推奨事項)」(B) または「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、次の推奨事項に進むか、前の推奨事項に進みます。

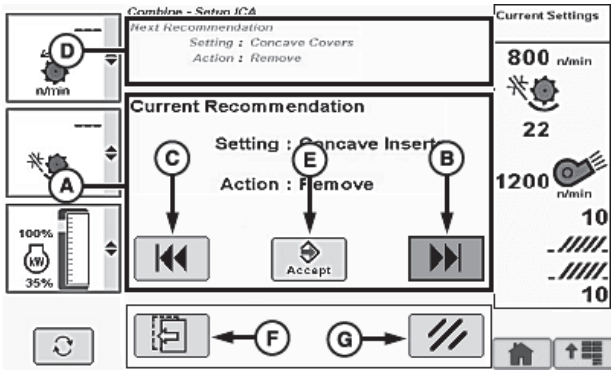
注記：「Next Recommendation (次の推奨事項)」領域 (D) には、システムで提案されている次の調整が表示されます。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、提案された機械調整を実施します。

注記：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを選択したときにディスプレイに表示された推奨アクションを実行する前に機械を停止します。

エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ディスプレイで推奨された機械調整を実施します。



A：「Current Recommendation (現在の推奨事項)」領域
B ： 「 Next Recommendation (次の推奨事項)」アイコン
C：「Previous Recommendation (前の推奨事項)」アイコン
D ： 「 Next Recommendation (次の推奨事項)」領域
E ： 「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
F：「Previous Page (前のページ)」アイコン
G：「Cancel (キャンセル)」アイコン

「Previous Page (前のページ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

注記：「キャンセル」アイコン (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して推奨事項をキャンセルします。前の機械調整は維持されます。機械を OFF にした場合、システムはキャビン内推奨設定を維持します。

+

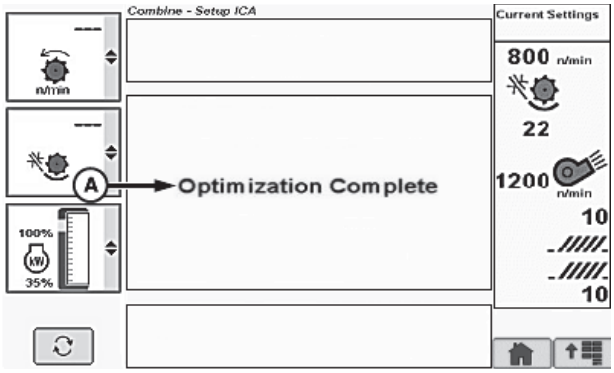
OUO6075,0001834 -40-12JUN14-7/8

最適化完了:

機械推奨事項がこれ以上不要な場合は、「Optimization Complete (最適化完了)」(A) がディスプレイに表示されます。

注記：1 日を通じて収量や圃場条件が変わったら、インタラクティブコンバイン調整パラメーターを再起動して調整する必要があります。

A：「Optimization Complete (最適化完了)」



OUO6075,0001834 -40-12JUN14-8/8

Harvest Smart™ Feed Rate (装備されている場合)

注記：Harvest Smart™ Feed Rate を装備している場合のみ表示されます。

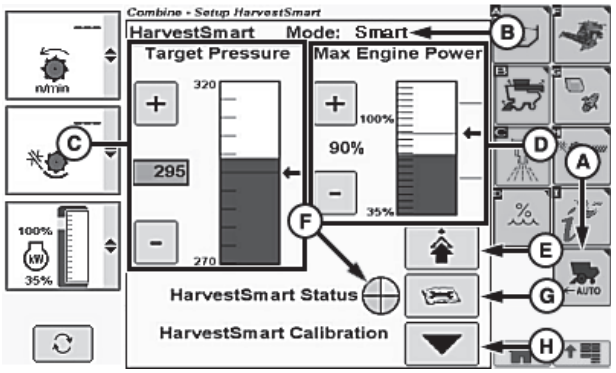
「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

以下で運転する詳細については、「Harvest Smart™ Feed Rate」セクションを参照してください。

- 運転モード (B)
  - OFF
  - スマート
  - 容量
- 「Target Pressure (目標圧力)」(C)
- 「Max Engine Power (最大エンジン出力)」(D)
- 「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン (E)
  - 「Max Harvest Speed (最大収穫速度)」
  - 「Sensitivity (感度)」
- 「Harvest Smart™ Status (Harvest Smart™ ステータス)」インジケータ (F)
- 「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン (G)
- 「Harvest Smart™ Calibration (Harvest Smart™ 較正)」アイコン (H)

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン
B：運転モード
C：「Target Pressure (目標圧力)」
D：「Max Engine Power (最大エンジン出力)」
E：「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン
F：「Harvest Smart™ Status (Harvest Smart™ ステータス)」インジケータ
G：「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン
H：「Harvest Smart™ 較正」アイコン

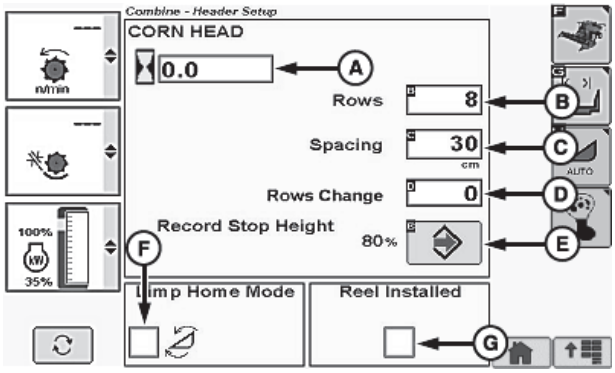
OUO6075,000119D -40-09JAN13-1/1

ヘッダーの設定画面

ヘッダー設定 (コーンヘッド) :

- コーンヘッドと時間カウンター[1] (A)
  - ヘッダータイプ (自動検出)
  - 合計条数 (条、タイプに基づく、数値入力) (B)
  - 条間隔 (C)
  - 「Row Change (条数の変更)」(刈条数の減少) [2] (D)
  - 「Record Stop Height (記録停止高さ)」(記録を ON/OFF する高さの設定) (E)
  - 「Limp Home Mode (リンプホームモード)」[3, 4] (F)
  - 「Reel Installed (リール装着済み)」ボックス (G)

[1] ヘッダーの運転時間のリセットについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。
[2] ひじかけディスプレイではなく、GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。
[3] 油圧フィーダーハウス前後傾斜を装備している場合。
[4] リンプモードは、センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合にのみ表示されます。



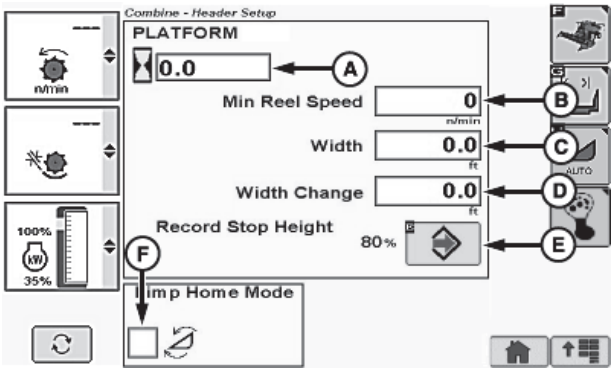
次のページへ

OUO6075,000182E -40-11JUN14-1/5

ヘッダー設定 (ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップ) :

- ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップと時間カウンター[1] (A)
  - ヘッダータイプ (自動検出)
  - 「Minimum Reel or Belt Pickup Speed (リールまたはベルトピックアップの最低回転数)」(B)
  - 「Total Width (全幅)」(タイプに基づく全幅、数値入力) (C)
  - 「Width Change (幅変更)」(刈幅の減少) [2] (D)
  - 「Record Stop Height (記録停止高さ)」(記録を ON/OFF する高さの設定) (E)
  - 「Limp Home Mode (リンプホームモード)」[3, 4] (F)

[1] ヘッダーの運転時間のリセットについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。
[2] ひじかけディスプレイではなく、GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。
[3] 油圧フィーダーハウス前後傾斜を装備している場合。
[4] リンプモードは、センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合にのみ表示されます。

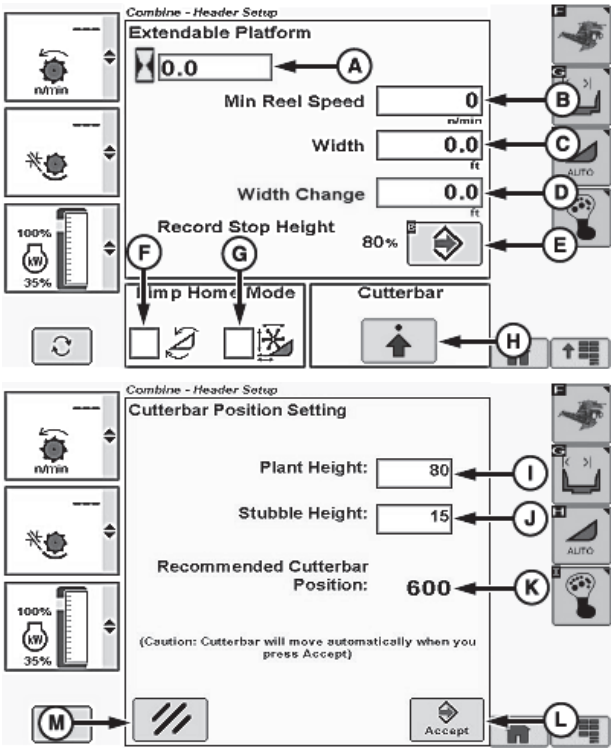


OUO6075,000182E -40-11JUN14-2/5

ヘッダー設定 (伸縮プラットフォーム) (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム) :

- 伸縮プラットフォームと時間カウンター[1] (A)
  - ヘッダータイプ (自動検出)
  - 「Minimum Reel Speed (最低リール速度)」(B)
  - 「Total Width (全幅)」(タイプに基づく全幅、数値入力) (C)
  - 「Width Change (幅変更)」(刈幅の減少) [2] (D)
  - 「Record Stop Height (記録停止高さ)」(記録を ON/OFF する高さの設定) (E)
  - リンプホームモード (油圧フィーダーハウス前後傾斜) [3, 4] F)
  - リンプホームモード (カッターバー位置) [5, 4] (G)
  - 「Cutterbar Setup (カッターバーの設定)」(H) (カッターバー位置の変更)
  - 「Plant Height (作物高さ) (I) (0～999 cm) (既定値 80 cm)
  - 「Stubble Height (刈株高さ)」(J) (0～999 cm) (既定値 15 cm)
  - 「Recommended Cutterbar Position (推奨カッターバー位置)」(K)
  - 「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (L)
  - 「キャンセル」アイコン (M)

[1] ヘッダーの運転時間のリセットについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。
[2] ひじかけディスプレイではなく、GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。
[3] 油圧フィーダーハウス前後傾斜を装備している場合。
[4] リンプモードは、センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合にのみ表示されます。
[5] 欧州向け 600X ヘッダープラットフォームのみ。



次のページへ

OUO6075,000182E -40-11JUN14-3/5

自動ヘッダー制御 (AHC) の設定：

注記：機械のオプションおよびヘッダータイプによってアイコンが異なります。

コーンヘッド

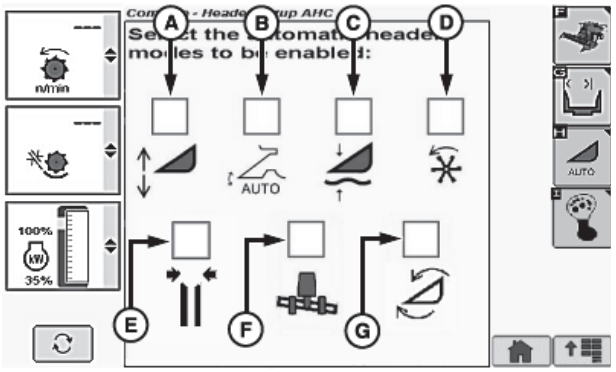
- 「Header Height Sensing Enable (ヘッダー高さ検出の有効化)」(A)
- 「Header Height Resume Enable (ヘッダー高さ再開の有効化)」(B)
- 「Active Header Float Enable (アクティブヘッダーフロートの有効化)」(C)
- 「Dial-A-Speed™ Enable (Dial-A-Speed の有効化)」[1] (D)
- 「Deck Plate Position Resume Enable (デッキプレート位置再開の有効化)」[2] (E)
- 「Lateral Tilt Enable (横方向傾斜の有効化)」[3] (F)
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt Enable (油圧フィーダーハウス前後傾斜の有効化)」[4] (G)

ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップ／伸縮プラットフォーム

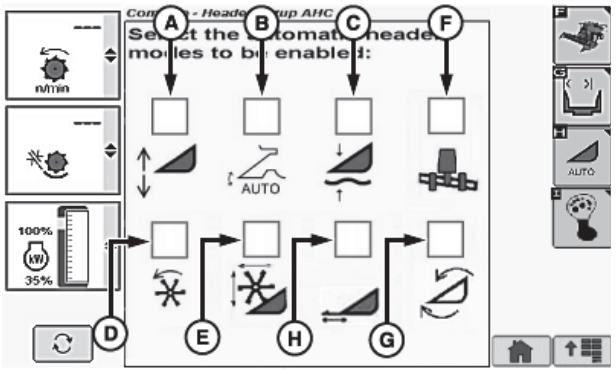
- 「Header Height Sensing Enable (ヘッダー高さ検出の有効化)」(A)
- 「Header Height Resume Enable (ヘッダー高さ再開の有効化)」(B)
- 「Active Header Float Enable (アクティブヘッダーフロートの有効化)」(C)
- 「Dial-A-Speed™ Enable (Dial-A-Speed の有効化)」(D)
- 「Reel Position Resume Enable (リール位置再開の有効化)」[5] (E)
- 「Lateral Tilt Enable (横方向傾斜の有効化)」[3] (F)
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt Enable (油圧フィーダーハウス前後傾斜の有効化)」[4] (G)
- 「Cutterbar Position Enable (カッターバー位置の有効化)」[6] (H)

Dial-A-Speed は Deere & Company の商標です。

[1] リール付きコーンヘッドに接続されている場合。
[2] 調整式デッキプレート付きコーンヘッドに接続している場合。
[3] 横方向傾斜を装備している場合。
[4] 油圧フィーダーハウス前後傾斜を装備している場合。
[5] リール付きプラットフォーム機械に接続されている場合。
[6] 欧州向け 600X ヘッダープラットフォームのみ。



コーンヘッドディスプレイ



プラットフォームディスプレイ

OUO6075,000182E -40-11JUN14-4/5

マルチファンクションレバーの設定：

注記：機械のオプションとヘッダータイプに応じて、マルチファンクションレバーの後部のスイッチをプログラムして以下の機能を制御できます。

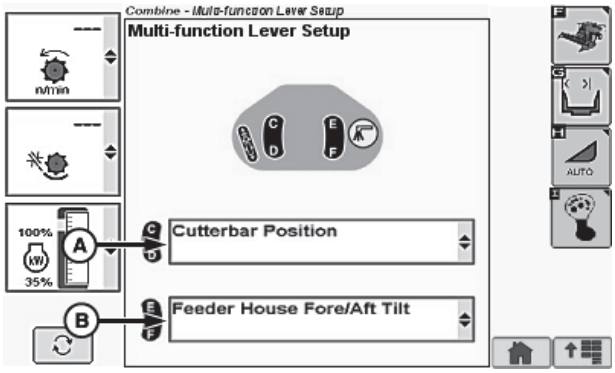
- 「Draper Cutterbar Tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」(600D ドレーパー)
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)
- カッターバー前後 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

スイッチ (C、D) は、既定で以下の機能に割り当てられています。

- 「Draper Cutterbar Tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」(600D ドレーパー)
- カッターバー前後 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

スイッチ (E、F) は、既定で以下の機能に割り当てられています。

- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)



- スイッチメニュー (A、B)
  - 「Cutterbar Position (カッターバー位置)」(欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)
  - 「Draper Cutterbar Tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」(600D ドレーパー)
  - 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)

OUO6075,000182E -40-11JUN14-5/5

ヘッダーの設定の変更

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

以下のいずれかの項目を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

コーンヘッドディスプレイ：

- 「Rows (条数)」ボックス (B)：コーンヘッドの条数を設定できます。
- 「Spacing (間隔)」ボックス (C)：コーンヘッドの条間隔を設定できます。
- 「Rows Change (条数の変更)」ボックス (D)：(収穫の全幅ではなく) 条の変更を設定できます。

注記：「Rows Change (条数の変更)」ボックスは、ひじかけディスプレイではなく GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要なヘッダー値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要なヘッダー値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

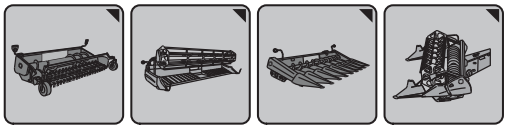
「Recording Stop Height (記録停止高さ)」：

注記：他のすべての条件 (セパレータ／ヘッダー接続済み、エンジンハイアイドル、農場／圃場設定済み) が満たされている場合、記録はプリセット高さよりも上で自動的に OFF になり、プリセット高さよりも下で自動的に ON になります。一時的に無効にする方法については、このセクションの「手動記録 ON/OFF」を参照してください。

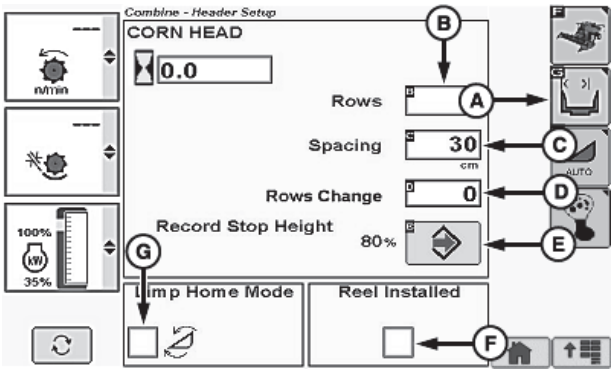
「ヘッダー高さ検出」または「アクティブヘッダーフロート」がアクティブである場合、記録停止高さの設定は無関係になり、他のすべての条件 (セパレータ／ヘッダー接続済み、エンジンハイアイドル、農場／圃場設定済み) が満たされていることを条件に記録が ON になります。

必要な記録停止高さまでヘッダーを昇降させます。

「Record Stop Height (記録停止高さ)」の「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



ヘッダー設定のアイコン



A：「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」アイコン
B：「Rows (条数)」ボックス
C：「Spacing (間隔)」ボックス
D：「Rows Change (条数の変更)」ボックス
E：「Record Stop Height Enter/Accept (記録停止高さ入力／承諾)」アイコン
F：「Reel Installed (リール装着済み)」ボックス
G：「Limp Home Mode (リンプホームモード)」ボックス

「Reel Installed (リール装着済み)」：

垂れ下がったまたはもつれた作物条件で、コーンヘッドリールシステムを有効にできます。

「Reel Installed (リール装着済み)」ボックス (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

リンプホームモード (油圧フィーダーハウス前後傾斜)：

注記：センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合にのみ表示されます。

センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合は、油圧フィーダーハウス前後傾斜フレームを手動で一時的に動かすことができます。

「Limp Home Mode (リンプホームモード)」ボックス (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

次のページへ

ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ：

「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

以下のいずれかの項目を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Minimum Reel or Belt Pickup Speed (リールまたはベルトピックアップの最低回転数)」ボックス (B)：リールまたはベルトピックアップの最低回転数を設定できます。
- 「Width (幅)」ボックス (C)：プラットフォーム上で刈幅を設定できます。
- 「Width Change (幅の変更)」ボックス (D)：(収穫の全幅ではなく) 刈幅の変更を設定できます。

注記：「Width Change (幅の変更)」ボックスは、ひじかけディスプレイではなく GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。

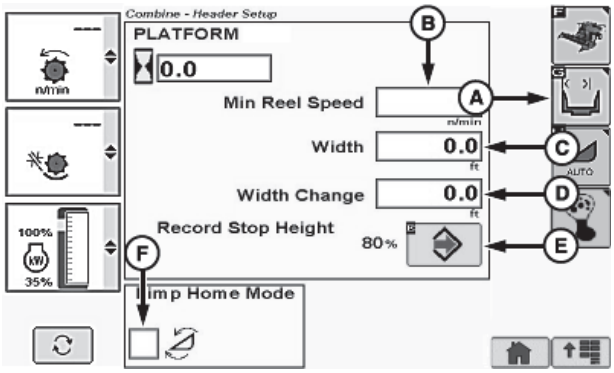
非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要なヘッダー値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要なヘッダー値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

「Recording Stop Height (記録停止高さ)」：

注記：他のすべての条件 (セパレータ／ヘッダー接続済み、エンジンハイアイドル、農場／圃場設定済み) が満たされている場合、記録はプリセット高さよりも上で自動的に OFF になり、プリセット高さよりも下で自動的に ON になります。一時的に無効にする方法については、このセクションの「手動記録 ON/OFF」を参照してください。

「ヘッダー高さ検出」または「アクティブヘッダーフロート」がアクティブである場合、記録停止高さの設定は無関係になり、他のすべての条件 (セパレータ／ヘッダー接続済み、エンジンハイアイドル、農場／圃場設定済み) が満たされていることを条件に記録が ON になります。



A：「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」アイコン
B：「Minimum Reel or Belt Pickup Speed (リールまたはベルトピックアップの最低回転数)」ボックス
C：「Width (幅)」ボックス
D：「Width Change (幅の変更)」ボックス
E：「Record Stop Height Enter/Accept (記録停止高さ入力／承諾)」アイコン
F：「Limp Home Mode (リンプホームモード)」ボックス

必要な記録停止高さまでヘッダーを昇降させます。

「Record Stop Height (記録停止高さ)」の「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

リンプホームモード (油圧フィーダーハウス前後傾斜)：

注記：センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合にのみ表示されます。

センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合は、油圧フィーダーハウス前後傾斜フレームを手動で一時的に動かすことができます。

「Limp Home Mode (リンプホームモード)」ボックス (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

次のページへ

伸縮プラットフォーム (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム) ディスプレイ：

「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

以下のいずれかの項目を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Minimum Reel Speed (最低リール速度)」ボックス (B)：最低リール速度を設定できます。
- 「Width (幅)」ボックス (C)：プラットフォーム上で刈幅を設定できます。
- 「Width Change (幅の変更)」ボックス (D)：(収穫の全幅ではなく) 刈幅の変更を設定できます。

注記：「Width Change (幅の変更)」ボックスは、ひじかけディスプレイではなく GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) に表示されます。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要なヘッダー値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要なヘッダー値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

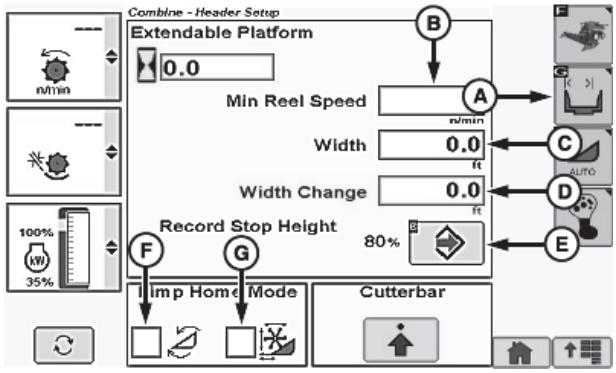
「Recording Stop Height (記録停止高さ)」：

注記：他のすべての条件 (セパレータ／ヘッダー接続済み、エンジンハイアイドル、農場／圃場設定済み) が満たされている場合、記録はプリセット高さよりも上で自動的に OFF になり、プリセット高さよりも下で自動的に ON になります。一時的に無効にする方法については、このセクションの「手動記録 ON/OFF」を参照してください。

「ヘッダー高さ検出」または「アクティブヘッダーフロート」がアクティブである場合、記録停止高さの設定は無関係になり、他のすべての条件 (セパレータ／ヘッダー接続済み、エンジンハイアイドル、農場／圃場設定済み) が満たされていることを条件に記録が ON になります。

必要な記録停止高さまでヘッダーを昇降させます。

「Record Stop Height (記録停止高さ)」の「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



A：「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」アイコン
B：「Minimum Reel Speed (最低リール速度)」ボックス
C：「Width (幅)」ボックス
D：「Width Change (幅の変更)」ボックス
E：「Record Stop Height Enter/Accept (記録停止高さ入力／承諾)」アイコン
F：「Limp Home Mode (リンプホームモード)」ボックス
G：「Limp Home Mode (リンプホームモード)」ボックス

リンプホームモード (油圧フィーダーハウス前後傾斜)：

注記：センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合にのみ表示されます。

センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合は、油圧フィーダーハウス前後傾斜フレームを手動で一時的に動かすことができます。

「Limp Home Mode (リンプホームモード)」ボックス (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

リンプホームモード (カッターバー位置)：

注記：センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合にのみ表示されます。

センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合は、伸縮カッターバーを手動で一時的に動かすことができます。

重要：センサーまたは故障が存在することが原因で、リールとカッターバーの間の距離は確認できません。オペレータはリールとカッターバーが衝突するリスクを受け入れる必要があります。

「Limp Home Mode (リンプホームモード)」ボックス (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスには、選択されたことを示すチェックマークが表示されます。

次のページへ

カッターバーの設定：

さまざまな作物高さや刈株高さ用にカッターバーの位置を調整できます。

「Cutterbar Setup (カッターバーの設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

作物高さまたは刈株高さ：

以下のいずれかの項目を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Plant Height (作物高さ)」ボックス (B)：異なる作物高さに調整できます。
- 「Stubble Height (刈株高さ)」ボックス (C)：必要な刈株高さに調整できます。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

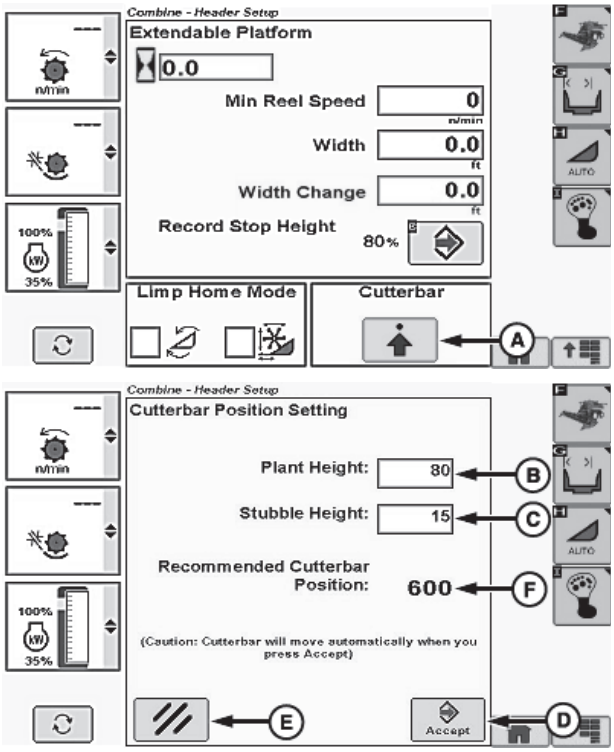
タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要な値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して値を保存します。

注記：「Cancel (キャンセル)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して値をキャンセルします。機械の前の値は維持されます。

「Recommended Cutterbar Position (推奨カッターバー位置)」：

「Recommended Cutterbar Position (推奨カッターバー位置)」(F) は、オペレータが選択した作物高さ値および刈株高さ値を使用しているときに表示されるセットポイント値です。



A：「Cutterbar Setup (カッターバーの設定)」アイコン
B：「Plant Height (作物高さ)」ボックス
C：「Stubble Height (刈株高さ)」ボックス
D：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
E：「Cancel (キャンセル)」アイコン
F：「Recommended Cutterbar Position (推奨カッターバー位置)」

OUO6075,0001739 -40-19MAR14-4/4

自動ヘッダー制御 (AHC) の設定

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

以下のいずれかの項目を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

コーンヘッド

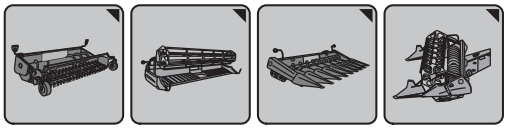
- 「Header Height Sensing Enable (ヘッダー高さ検出の有効化)」(B)
- 「Header Height Resume Enable (ヘッダー高さ再開の有効化)」(C)
- 「Active Header Float Enable (アクティブヘッダーフロートの有効化)」(D)
- 「Dial-A-Speed™ Enable (Dial-A-Speed 有効化)」[1] (E)
- 「Deck Plate Position Resume Enable (デッキプレート位置再開の有効化)」[2] (F)
- 「Lateral Tilt Enable (横方向傾斜の有効化)」[3] (G)
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」[4] (H)

ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップ／伸縮プラットフォーム

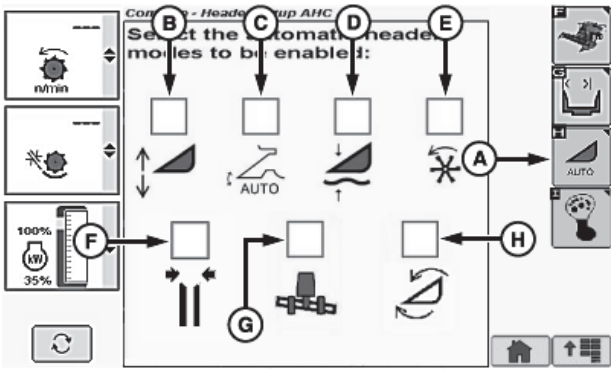
- 「Header Height Sensing Enable (ヘッダー高さ検出の有効化)」(B)
- 「Header Height Resume Enable (ヘッダー高さ再開の有効化)」(C)
- 「Active Header Float Enable (アクティブヘッダーフロートの有効化)」(D)
- 「Dial-A-Speed™ Enable (Dial-A-Speed の有効化)」(E)
- 「Reel Position Resume Enable (リール位置再開の有効化)」[5] (F)
- 「Lateral Tilt Enable (横方向傾斜の有効化)」[3] (G)
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」[4] (H)
- 「Cutterbar Position Enable (カッターバー位置の有効化)」[6] (I)

どのアイコンが有効化または無効化されるかを示すチェックマークが表示されているボックスはコーナーポストに表示されます。

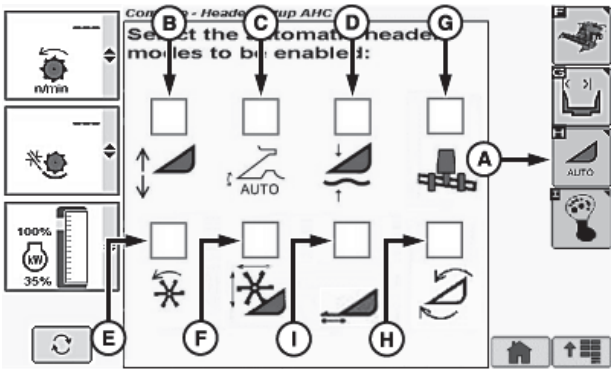
注記：ボックスが灰色表示されている場合、そのオプションは機械で利用できません。



ヘッダー設定のアイコン



コーンヘッドディスプレイ



プラットフォームディスプレイ

Dial-A-Speed は Deere & Company の商標です。

[1] リール付きコーンヘッドに接続されている場合。
[2] 調整式デッキプレート付きコーンヘッドに接続している場合。
[3] 横方向傾斜を装備している場合。
[4] 油圧フィーダーハウス前後傾斜を装備している場合。
[5] リール付きプラットフォーム機械に接続されている場合。
[6] 欧州向け 600X ヘッダープラットフォームのみ。

マルチファンクションレバーの設定

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

機械のオプションとヘッダータイプに応じて、マルチファンクションレバーの後部のスイッチをプログラムして以下の機能を制御できます。

- 「Draper Cutterbar Tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」(600D ドレーパー)
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)
- カッターバー前後 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

スイッチ (C、D) は、既定で以下の機能に割り当てられています。

- 「Draper Cutterbar Tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」(600D ドレーパー)
- カッターバー前後 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

スイッチ (E、F) は、既定で以下の機能に割り当てられています。

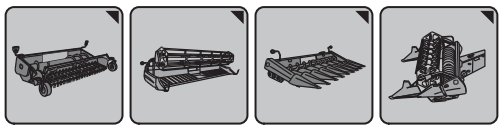
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

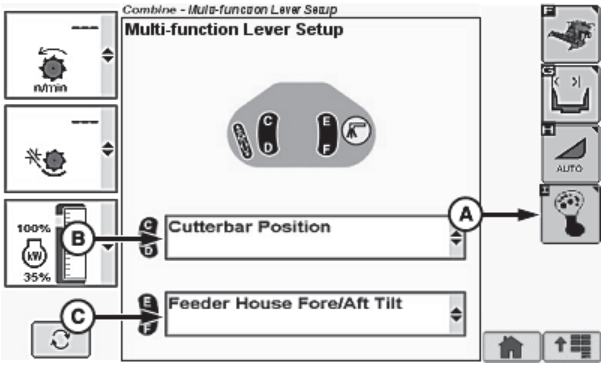
「Multi-function Lever Setup (マルチファンクションレバーの設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Switch (スイッチ)」メニュー (B または C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Switch (スイッチ)」メニューには、以下の情報が表示されます。



ヘッダー設定のアイコン



A：「Multi-function Lever Setup (マルチファンクションレバーの設定)」アイコン

B：「Switch (スイッチ)」メニュー

- 「Cutterbar Position (カッターバー位置)」(欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)
- 「Draper Cutterbar Tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」(600D ドレーパー)
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)

必要な選択肢が選択されたら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001745 -40-19MAR14-1/1

エンジン情報画面

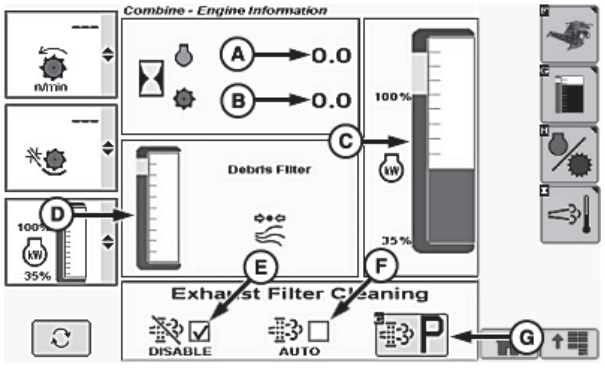
エンジンの設定：

- 「Engine Hours (エンジン運転時間)」(A)
- 「Separator Hours (セパレータ運転時間)」(B)
- 「Engine Power Meter (エンジン出力計)」(C)
  - 緑領域 (35～100%)
  - 黄領域 (101～110%)
  - 赤領域 (111～114%)

重要：インジケーターが赤の領域に動いた場合、エンジン出力は最大化されており、機械が停止する可能性があります。インジケータが緑および黄領域に戻るまで機械の負荷を減らしてください。

- 「Engine Debris Management Air Filter (エンジンデブリスマネジメントエアフィルタ)」インジケーター (D) [1]
  - 緑領域 (0～80%)
  - 黄領域 (81～95%)
  - 赤領域 (96～100%)

[1] インテリムティア 4／ステージ III B またはファイナル ティア 4／ステージ IV エンジンを装備している場合に表示されます。



重要：インジケーターが赤領域に動いた場合は、エンジンデブリスマネジメントフィルタを取り外して清掃してください。

- 「Disable Exhaust Filter Cleaning Mode (エグゾーストフィルタクリーニングモードの無効化)」(E) [1]
- 「AUTO Exhaust Filter Cleaning Mode (自動エグゾーストフィルタクリーニングモード)」(F) [1]
- 「Parked Exhaust Filter Cleaning (駐車エグゾーストフィルタクリーニング)」アイコン (G) [1]

OUO6075,0001751 -40-14MAR14-1/1

エグゾーストフィルタクリーニング (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

「Engine Information (エンジン情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

以下のいずれかの項目を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

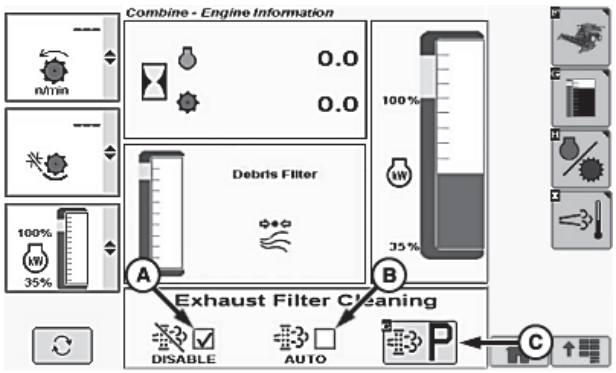
注記：キースイッチを入れ直すたびにシステムは既定で自動モードに設定されます。安全ではない条件が存在している場合を除き、AUTO モードが選択されていることを必ず確認してください。「エンジンの運転」セクションの「エグゾーストクリーニングシステムの無効化」を参照してください。

- 「Disable Exhaust Filter Cleaning Mode (エグゾーストクリーニングモードの無効化)」(A)：エグゾーストクリーニングシステムを無効にすることができます。システムの無効化は推奨されません。特定の条件や緊急状況のみで使用します。詳細については、「エンジンの運転」セクションの「エグゾーストクリーニングシステムの無効化」を参照してください。
- 「AUTO Exhaust Filter Cleaning Mode (自動エグゾーストクリーニングモード)」(B)：エグゾーストクリーニングシステムで必要に応じてフィルタのクリーニングをインテリジェントに行うことができます。コーナーポストディスプレイの表示灯とひじかけのディスプレイには、エグゾーストフィルタシステムの動作に関する情報が表示されます。

  注記：エグゾーストフィルタシステムでフィルタクリーニングがアクティブに行われているときは、コーナーポストディスプレイのエグゾーストフィルタクリーニング表示灯が点灯します。

- 「Parked Exhaust Filter Cleaning (駐車エグゾーストフィルタクリーニング)」アイコン (C) はシステムが必要に応じてエグゾーストフィルタをクリーニングする自動化されたプロセスです。このプロセス中は、システムがエンジン回転数を制御し、この手順完了まで機械を駐車しておく必要があります。駐車エグゾーストフィルタクリーニングに要する時間は、エグゾーストフィルタの詰まり具合、周囲温度、その時点の排気ガス温度によって異なります。完了までの推定時間がひじかけディスプレイに表示されます。

「Engine Information (エンジン情報)」アイコン



注記：エグゾーストフィルタの詰まり具合によって、「Parked exhaust filter cleaning (駐車エグゾーストフィルタクリーニング)」アイコンはアクティブまたは非アクティブ (灰色表示) になります。「エンジンの運転」セクションの「駐車エグゾーストフィルタクリーニング」を参照してください。

駐車エグゾーストフィルタクリーニングが完了すると、システムは既定で AUTO モードに設定されます。安全ではない条件が存在している場合を除き、AUTO モードが選択されていることを必ず確認してください。「エンジンの運転」セクションの「エグゾーストクリーニングシステムの無効化」を参照してください。

OUO6075,00016BF -40-06FEB14-1/1

エンジン回転数管理 (ProDrive™ 装備の機械)

注記：エンジン回転数管理はソフトウェアで制御され、道路輸送切断スイッチでアクティブ化されます。

エンジン回転数管理は燃料消費を低減し、燃料効率を高めます。

- 燃料消費は、低負荷条件でエンジン回転数を下げて低減されます。
- 必要な場合、エンジン回転数を動的に増やして高負荷への対応能力を維持します。
- 対地速度は、エンジン回転数の変更中にハイドロスタティック変位を変えることにより維持されます。
- 機械が動いていないときは、エンジン回転数はローアイドルで維持されます。
- 機械が平坦な地面にある場合、または低対地速度の場合、エンジン回転数は約 1600 rpm です。
- エンジン負荷に応じて、エンジン回転数は約 1600 rpm と最大ハイアイドルの間で変化します。

注記：圃場モードへの移行後、エンジンが移行中にローアイドル回転数ではなかった場合、エンジン回転数表示灯は消灯します。いずれかのアイドルボタンが押されるまで、エンジンは現在の回転数を維持します。

オペレータはエンジン回転数スイッチを通じて最高エンジン回転数を制限します。

- 「Low Engine Speed (低エンジン回転数)」：エンジン回転数は 1250 rpm に維持されます。
- 「Medium Engine Speed (中エンジン回転数)」：エンジン回転数は 1870 rpm を超えません。
- 「High Engine Speed (高エンジン回転数)：エンジン回転数は約 1600 rpm と最大ハイアイドルの間で変化します。

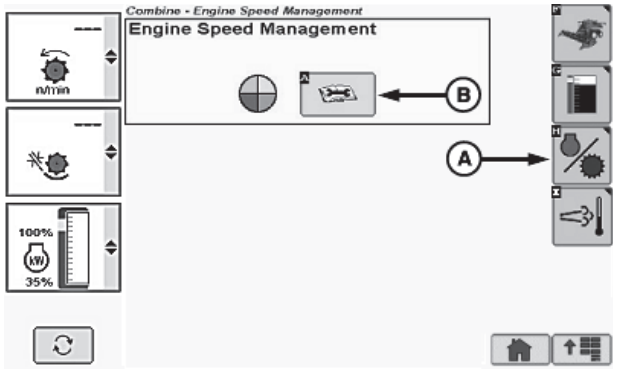
「Engine Information (エンジン情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

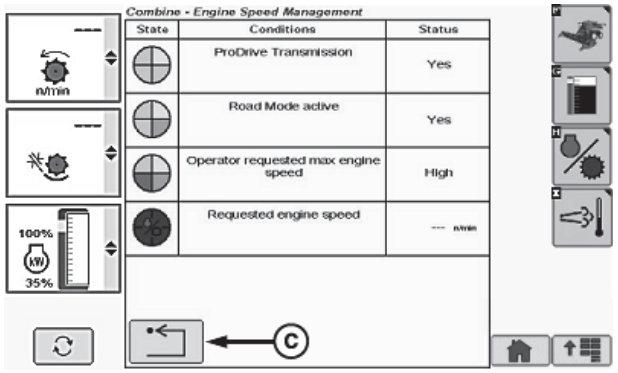
「Engine Speed Management (エンジン回転数管理)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Engine Speed Management (エンジン回転数管理)」画面には、以下の条件およびステータスが表示されます。

「Engine Information (エンジン情報)」アイコン





A：「Engine Speed Management (エンジン回転数管理)」アイコン
B：「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン
C：「Return/Back (戻る)」アイコン

- ProDrive™ トランスミッション
- 道路モードアクティブ
- オペレータが要求した最大エンジン回転数
- 要求エンジン回転数

「Return/Back (戻る)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

OUO6075,00015AE -40-26JUL13-1/1

エンジンクールダウン進行中 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

重要：エグゾーストフィルタクリーニングを実施中にエンジンを停止した場合は、詳細について、「エンジンの運転」セクションの「エンジンクールダウン警告画面 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)」を参照してください。

注記：クールダウンが進行中は画面を定期的に参照できます。

「Engine Information (エンジン情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

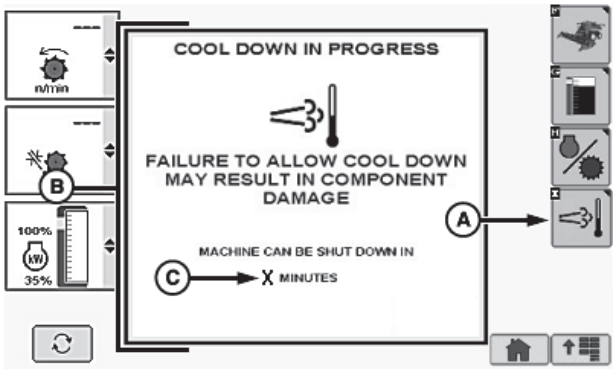
「Engine Cool Down Progress (エンジンクールダウン進行中)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

メッセージ領域 (B) には、以下の情報が表示されます。

Cool Down In Progress (クールダウン進行中)
Failure To Allow Cool Down (クールダウンしなかった場合)
May Result In Component (構成部品が)
Damage (損傷する可能性があります)
Machine Can Be Shut Down In (次の時間後、機械を停止できます)
X Minutes (X 分)

カウントダウンタイマー (C) が表示され、安全にキースイッチを OFF にできるまでの時間が示されます。

「Engine Information (エンジン情報)」アイコン



A：「Engine Cool Down Progress (エンジンクールダウン進行中)」アイコン
B：メッセージ領域
C：カウントダウンタイマー

OUO6075,00015AF -40-02AUG13-1/1

診断および較正画面

較正：

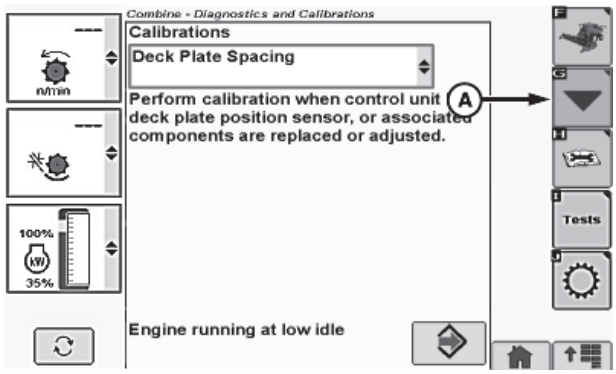
注記：較正は画面に表示された指示に従って実施されます。オペレータは較正を選択し、較正アイコンを強調表示して手順に従います。

「Diagnostic (診断)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Calibration (較正)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 較正のリストについては、「較正手順」セクションの「較正する時期」を参照してください。

「Diagnostic (診断)」アイコン



較正

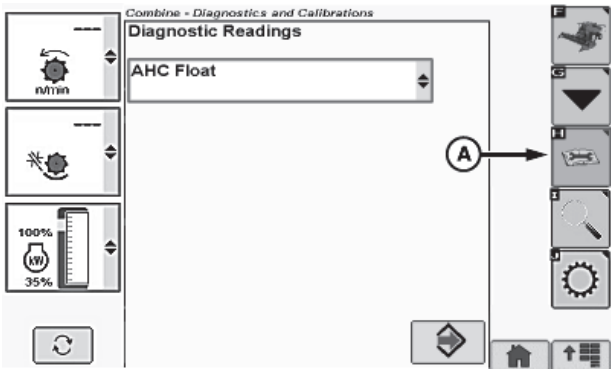
次のページへ

OUO6075,000042B -40-02SEP10-1/4

「Diagnostic Readings (診断結果)」：

「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Diagnostic Readings (診断結果)」：機械サブシステムに関する詳細情報を確認してトラブルシューティングに役立てることができます。ディスプレイは診断アドレスから情報を収集し、収集した情報を 1 つのページに表示します。



診断結果

OUO6075,000042B -40-02SEP10-2/4

「Special Tests (特殊テスト)」：

注記：クリーニングファン回転数減速キットが取り付けられている場合、「Cleaning Fan Speed Adjust (クリーニングファン回転数調整)」特殊テストは正しく実施されない可能性があります。

「Diagnostic Special Tests (診断特殊テスト)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Diagnostic Special Tests (診断特殊テスト)」：特殊な手順のセットを通じてオペレータや技術者をガイドすることにより、問題の診断に要する時間を最小限度に抑えます。機械は、オペレータが特殊テストを通じてガイドされているときに自動的に点検を行います。

「Special Tests (特殊テスト)」

OUO6075,000042B -40-02SEP10-3/4

「Tow Mode Setup [1] (牽引モードの設定)」：

重要：緊急時に短距離を 8 km/h (5 mph) で牽引する以外は機械を牽引しないでください。詳細については、「輸送」セクションの「機械の牽引」を参照してください。

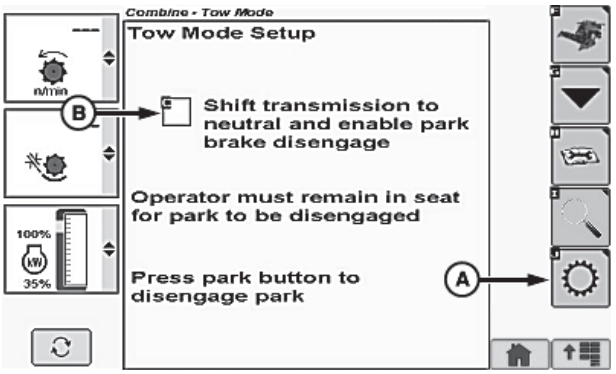
注記：「Tow Mode Setup (牽引モードの設定)」では、緊急モードで以下を選択できます。

「Tow Mode Setup (牽引モードの設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「 Shift transmission to neutral and enable park brake disengaged (トランスミッションをニュートラルにシフトしてパーキングブレーキの解除を有効にしてください」ボックス (B)：機械をニュートラル位置にシフトし、パーキングブレーキの解除を有効にします。

[1] ProDrive および押しボタンシフトトランスミッション装備の機械のみで表示されます。



注記：パーキングブレーキを解除するには、オペレータがシートに座っている必要があります。

機械を牽引する前に、ひじかけのパーキングブレーキスイッチを押してブレーキを解除します。

OUO6075,000042B -40-02SEP10-4/4

ラジオソースの選択

「Infotainment (インフォテイメント)」アイコンまたは「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Source Select (ソースの選択)」(A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

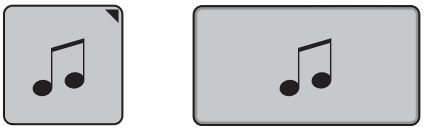
必要なソースアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- MW (B)
- FM (C)
- LW (D)
- CD/MP3 (E)
- ユニバーサルシリアルバス (USB) (プレミアムラジオのみ) (F)
- AUX (Auxiliary) (G)
- Bluetooth® オーディオ (プレミアムラジオのみ) (H)

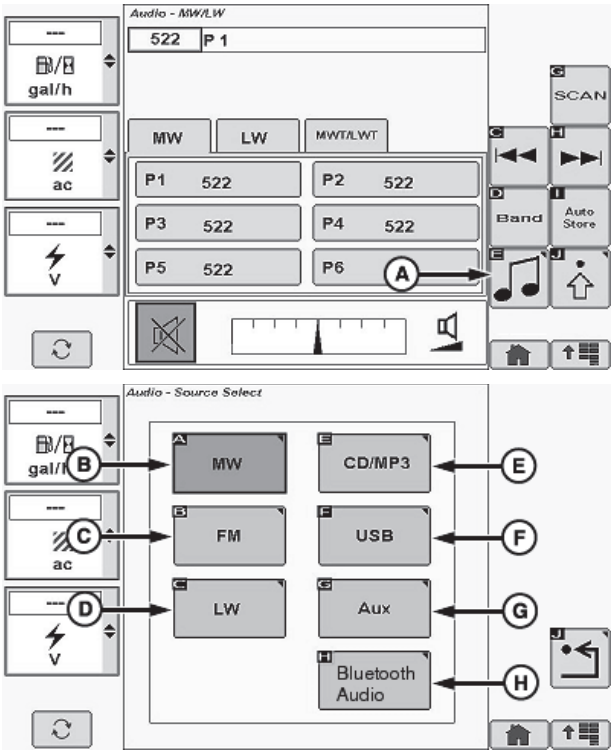
ラジオ OFF：「Infotainment (インフォテイメント)」アイコンまたは「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコンを選択すると、ソースの選択画面に移動します。この画面でソースを選択すると、選択したソースでラジオが ON になります。

ラジオ ON：「Infotainment (インフォテイメント)」アイコンまたは「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコンを選択すると、現在選択しているソースのホームページに移動します。

ラジオホーム画面でソースアイコンを選択すると、ソースの選択画面に進みます。この画面でソースを選択すると、ラジオは選択したソースに変わります。



「Infotainment (インフォテイメント)」アイコン／
「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコン



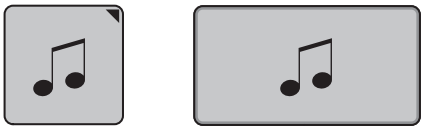
Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

OUO6075,000112C -40-25JUN12-1/1

MW/LW ホームページ

注記：FM および LW ホームページは MW ホームページと同様です。

「Infotainment (インフォテイメント)」アイコンまたは「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



「Infotainment (インフォテイメント)」アイコン／
「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコン

「Scan (スキャン)」アイコン (A)

注記：アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押すと、スキャンは無効になります。

選択したラジオバンドで利用できる局をスキャンできます。スキャンの再開までに現在の局が (オーディオの生成にかかる時間に応じて) 4〜8 秒間流れます。

「Scan (スキャン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Station SEEK Up/Down (局を上にシーク)／(下にシーク)」アイコン (B)

注記：スキャンモード中、アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押すと、スキャンは無効になります。

「Station SEEK Up/Down (局を上にシーク)／(下にシーク)」を使用すると、信号が強い放送局を見つけることができます。

注記：手動によるチューニングは、ラジオフェースプレートおよびひじかけのスイッチから実行できます。

必要なチャンネルアップアイコンまたはチャンネルダウンアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

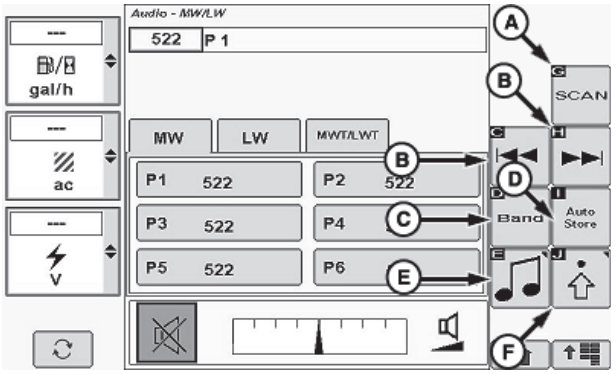
「Band (バンド)」アイコン (C)

MW、LW、MWT、LWT の間で切り替えることができます。

「Band (バンド)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、使用可能なラジオバンド間で切り替えます。

「Auto Store (自動保存)」アイコン (D)

「Auto Store (自動保存)」では、MWT および LWT バンドの 6 つの最も強い周波数を保存できます。



「Auto Store (自動保存)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して 6 つの最も強い周波数を保存します。

注記：ラジオの「Band (BND)」キーを 2 秒間押し続けて、「Auto Store (自動保存)」を開始します。

「Source Select (ソースの選択)」アイコン (E)

放送やその他のオーディオソースに直接変更できます (詳細については、このセクションの「ラジオソースの選択」を参照してください)。

「Select Source (ソースの選択)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、使用可能な選択肢の間で切り替えます。

「Audio Settings (オーディオの設定)」アイコン (F)

必要なオーディオの設定に切り替えることができます。詳細については、このセクションで後述の「オーディオの設定」を参照してください。

次のページへ

「Mute (ミュート)」アイコン (A)

ラジオのサウンドレベルを消すことができます。

「Mute (ミュート)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

音量バーグラフ領域 (B)

現在のサウンドレベルを調整できます。

プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、バーグラフの設定を増減します。

チャンネルプリセット 1～6 (C)

プリセット局を選択できます (既定では最も低い周波数を利用できます)。

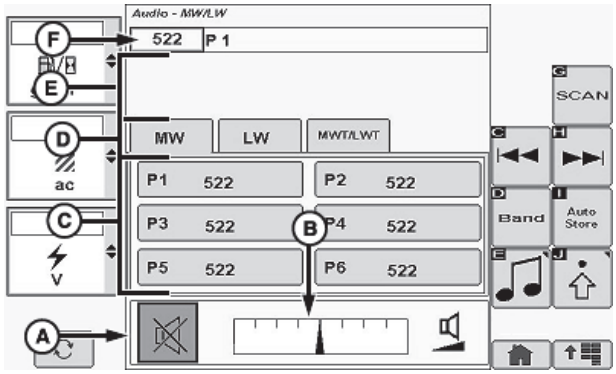
必要なプリセット局を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

画面アイコンまたは確認ボタンを 2 秒間押し続けてアクティブな局の周波数をプリセットします。

ラジオとディスプレイのボタンは同期しています。

ラジオバンドタブ (MW/LW) (D)

その他のタブの別のプリセット局間で切り替えることができます (メモリに以前保存している場合)。



必要なタブを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、その他のプリセット局間で切り替えます (メモリに以前保存している場合)。

アーティスト／曲名表示領域 (E)

現在のラジオ局で利用可能な場合は、アーティスト名と曲名を表示できます。

ラジオ局周波数表示領域 (F)

ラジオ局周波数とチャンネルプリセット番号を表示できます (メモリに以前保存している場合)。

OUO6075,0001521 -40-18JUN13-2/2

CD/MP3 ホームページ

「Infotainment (インフォテイメント)」アイコンまたは「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Folder Select (フォルダの選択)」アイコン (A)

注記：MP3 以外の形式の CD を再生しているときは、「Folder Select (フォルダの選択)」と「フォルダ名」アイコンは使用できません。

フォルダの選択ページを表示できます (MP3 CD にフォルダ構造が含まれる場合)。

「Folder Select (フォルダの選択)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。ラジオはナビゲーション時に各フォルダの最初の曲を再生します。

「Pause/Play (一時停止／再生)」アイコン (B)

オーディオの一時停止とオーディオ再生の再開ができます。

「Pause/Play (一時停止／再生)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Fast Reverse/Fast Forward (早戻し／早送り)」アイコン (C)

現在再生しているオーディオを早送りまたは早戻しできます。

「Fast Reverse/Fast Forward (早戻し／早送り)」アイコンを強調表示したら、アイコンに触れて押し続けるか「Confirm (確定)」スイッチを押し続けて、オーディオファイルを早送りまたは早戻しします。放すと、再生が再開されます。

「Previous Track (前のトラック)」／「Next Track (次のトラック)」アイコン (D)

前の曲を選択するか、次の曲に進むことができます。

「Previous Track (前のトラック)」または「Next Track (次のトラック)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

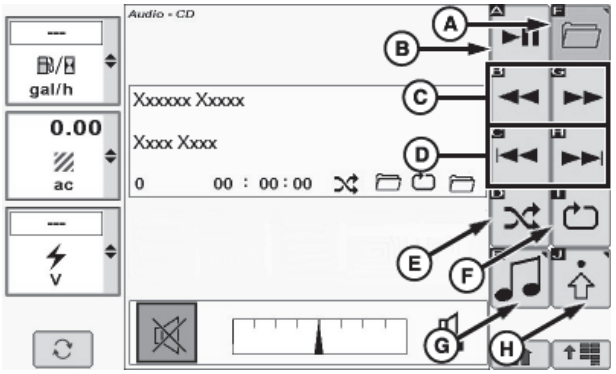
「Random Folder (ランダムフォルダ再生)」／「Random All (すべてランダム再生)」(E)

以下の選択肢の間で切り替えることができます。

- 「Random Folder (ランダムフォルダ再生)」(MP3 CD のみ)
- 「Random All (すべてランダム再生)」
- 「Random Off (ライダム再生オフ)」

ランダムアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して選択肢の間で切り替えます。

「Infotainment (インフォテイメント)」アイコン／
「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコン



「Repeat Track (トラックを繰り返し再生)」／「Repeat Folder (フォルダ内のトラックを繰り返し再生)」／「Repeat All (すべて繰り返し再生)」アイコン (F)

以下の選択肢の間で切り替えることができます。

- 「Repeat Track (トラックを繰り返し再生)」
- 「Repeat Folder (フォルダ内のトラックを繰り返し再生)」(MP3 CD のみ)
- 「Repeat Off (繰り返し再生オフ)」

繰り返し再生アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、使用可能な選択肢の間で切り替えます。

「Source Select (ソースの選択)」アイコン (G)

放送やその他のオーディオソースに直接変更できます (詳細については、このセクションの「ラジオソースの選択」を参照してください)。

「Select Source (ソースの選択)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、使用可能な選択肢の間で切り替えます。

「Audio Settings (オーディオの設定)」アイコン (H)

オーディオの設定を変更できます (詳細については、このセクションの「ラジオの設定」を参照してください)。

「Audio Settings (オーディオの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

次のページへ

「Mute (ミュート)」アイコン (A)

ラジオの音を消すことができます。また、現在のサウンドレベルが表示されます。

「Mute (ミュート)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

音量バーグラフ領域 (B)

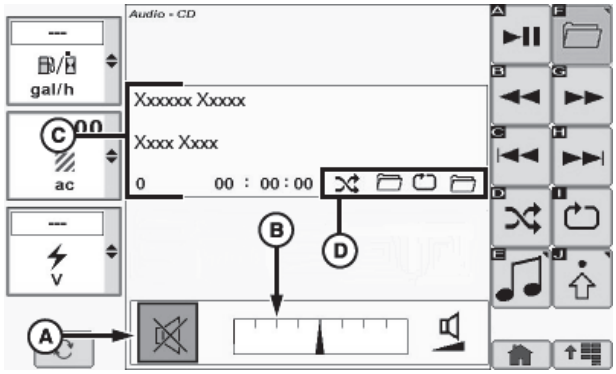
現在のサウンドレベルを調整できます。

プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、バーグラフの設定を増減します。

ディスプレイ領域 (C)

以下の情報を表示できます。

- アーティスト名
- アルバム名
- 曲名
- トラック番号
- 経過時間



インジケーターアイコン領域 (D)

注記：「Random Folder (ランダムフォルダ再生)」アイコンと「Repeat Folder (フォルダ内のトラックを繰り返し再生)」アイコンは、MP3 CD を再生しているときのみ表示されます。

以前選択していた以下のアイコンを表示できます。

- 「Random Track (ランダムトラック再生)」
- 「Random Folder (ランダムフォルダ再生)」
- 「Repeat Track (トラックを繰り返し再生)」
- 「Repeat Folder (フォルダ内のトラックを繰り返し再生)」

OUO6075,0001517 -40-17JUN13-2/3

「Folder (フォルダ)」アイコン (A)

前のフォルダに移動できます (使用可能な場合)。

「Folder (フォルダ)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

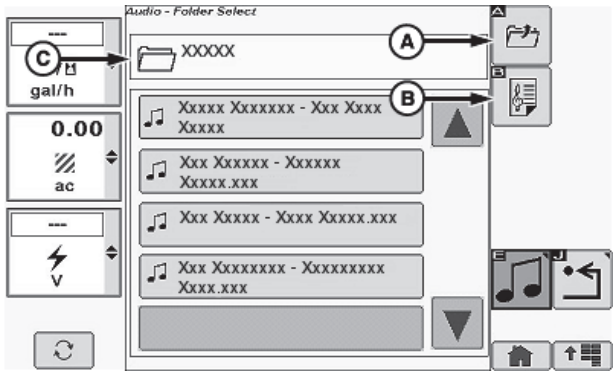
「Playlist Enable/Disable (プレイリスト有効化／無効化)」アイコン (B)

プレイリストモードを有効／無効にできます (使用可能な場合)。

「Playlist Enable/Disable (プレイリスト有効化／無効化)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Folder Name (フォルダ名)」(C)

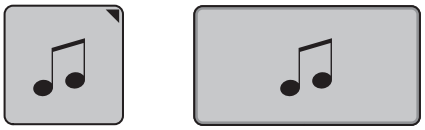
フォルダ名を表示できます (フォルダに名前を付けていた場合)。



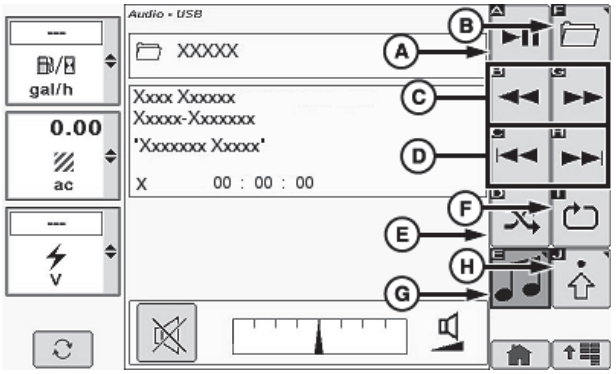
OUO6075,0001517 -40-17JUN13-3/3

USB ホームページ (プレミアムラジオ)

「Infotainment (インフォテイメント)」アイコンまたは「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



「Infotainment (インフォテイメント)」アイコン／「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコン



「Pause/Play (一時停止／再生)」アイコン (A)

オーディオの一時停止とオーディオ再生の再開ができます。

「Pause/Play (一時停止／再生)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。ラジオはナビゲーション時に各フォルダの最初の曲を再生します。

「Folder Select (フォルダの選択)」アイコン (B)

「Folder Select (フォルダの選択)」ページを表示できます。

「Folder Select (フォルダの選択)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Fast Reverse/Fast Forward (早戻し／早送り)」アイコン (C)

現在再生しているオーディオを早送りまたは早戻しできます。

「Fast Reverse/Fast Forward (早戻し／早送り)」アイコンを強調表示したら、アイコンに触れて押し続けるか「Confirm (確定)」スイッチを押し続けて、オーディオファイルを早送りまたは早戻しします。放すと、再生が再開されます。

「Previous Track (前のトラック)」／「Next Track (次のトラック)」アイコン (D)

前の曲を選択するか、次の曲に進むことができます。

「Previous Track (前のトラック)」または「Next Track (次のトラック)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Random Folder (ランダムフォルダ再生)」／「Random All (すべてランダム再生)」(E)

以下の選択肢の間で切り替えることができます。

- 「Random Folder (ランダムフォルダ再生)」
- 「Random All (すべてランダム再生)」
- 「Random Off (ライダム再生オフ)」

ランダムアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して選択肢の間で切り替えます。

「Repeat Track (トラックを繰り返し再生)」／「Repeat Folder (フォルダ内のトラックを繰り返し再生)」／「Repeat All (すべて繰り返し再生)」アイコン (F)

以下の選択肢の間で切り替えることができます。

- 「Repeat Track (トラックを繰り返し再生)」
- 「Repeat Folder (フォルダ内のトラックを繰り返し再生)」
- 「Repeat Off (繰り返し再生オフ)」

繰り返し再生アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、使用可能な選択肢の間で切り替えます。

「Source Select (ソースの選択)」アイコン (G)

放送やその他のオーディオソースに直接変更できます (詳細については、このセクションの「ラジオソースの選択」を参照してください)。

「Select Source (ソースの選択)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、使用可能な選択肢の間で切り替えます。

「Audio Settings (オーディオの設定)」アイコン (H)

オーディオの設定を変更できます (詳細については、このセクションの「ラジオの設定」を参照してください)。

「Audio Settings (オーディオの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

次のページへ

「Mute (ミュート)」アイコン (A)

ラジオの音を消すことができます。また、現在のサウンドレベルが表示されます。

「Mute (ミュート)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

音量バーグラフ領域 (B)

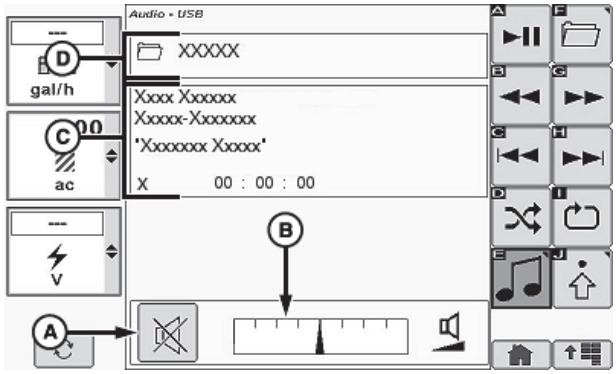
現在のサウンドレベルを調整できます。

プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、バーグラフの設定を増減します。

ディスプレイ領域 (C)

以下の情報を表示できます。

- アーティスト名
- アルバム名
- 曲名



- トラック番号
- 経過時間

「Folder Name (フォルダ名)」(D)

フォルダ名を表示できます (フォルダに名前を付けていた場合)。

OUO6075,0001518 -40-17JUN13-2/3

「Folder (フォルダ)」アイコン (A)

前のフォルダに移動できます (使用可能な場合)。

「Folder (フォルダ)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

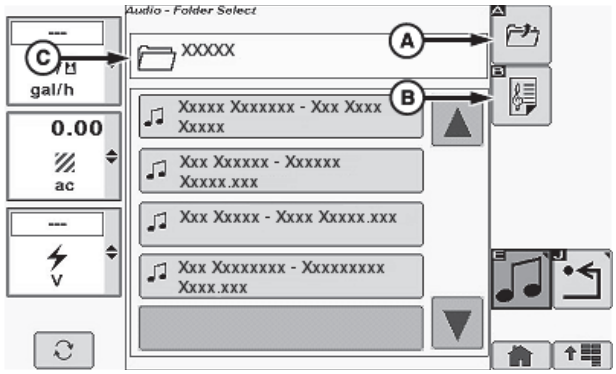
「Playlist Enable/Disable (プレイリスト有効化／無効化)」アイコン (B)

プレイリストモードを有効／無効にできます (使用可能な場合)。

「Playlist Enable/Disable (プレイリスト有効化／無効化)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Folder Name (フォルダ名)」(C)

フォルダ名を表示できます (フォルダに名前を付けていた場合)。



OUO6075,0001518 -40-17JUN13-3/3

AUX (Auxiliary) ホームページ

「Infotainment (インフォテイメント)」アイコンまたは「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Remote Auxiliary (AUX) (リモート AUX (Auxiliary)」(A)

外部デバイスがステレオ AUX ポート (3.5 mm) に接続されていること、およびオーディオソースとして選択されていることを示します (詳細については、このセクションの「ラジオソースの選択」を参照してください)。

「Mute (ミュート)」アイコン (B)

ラジオのサウンドレベルを消すことができます。

「Mute (ミュート)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

音量バーグラフ領域 (C)

現在のサウンドレベルを調整できます。

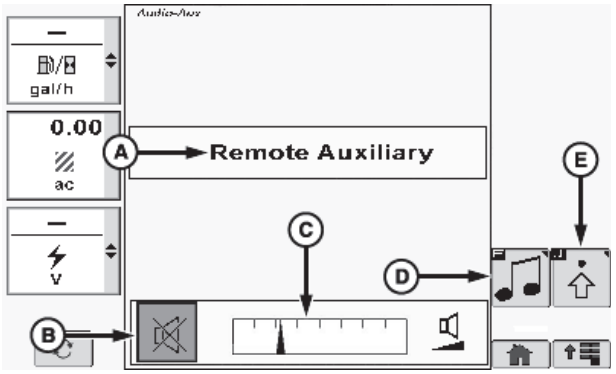
プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、バーグラフの設定を増減します。

「Source Select (ソースの選択)」アイコン (D)

放送やその他のオーディオソースに直接変更できます (詳細については、このセクションの「ラジオソースの選択」を参照してください)。

「Select Source (ソースの選択)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、使用可能な選択肢の間で切り替えます。

「Infotainment (インフォテイメント)」アイコン／
「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコン



「Audio Settings (オーディオの設定)」アイコン (E)

必要なオーディオの設定に切り替えることができます。詳細については、このセクションで後述の「オーディオの設定」を参照してください。

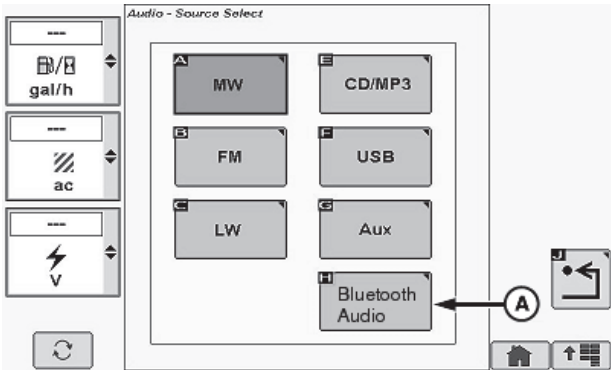
OUO6075,000151F -40-17JUN13-1/1

Bluetooth® オーディオ

「Bluetooth® Audio (Bluetooth オーディオ)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

Bluetooth® デバイスとラジオのペアリングに関する詳細については、ラジオの取扱説明書を参照してください。

注記：CommandARM にあるラジオ機能スイッチでも、ペアリングされた Bluetooth® デバイスを制御できます。



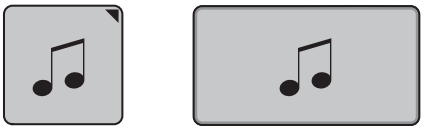
Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

OUO6075,0001143 -40-25JUN12-1/1

ラジオの設定

「Infotainment (インフォテイメント)」アイコンまたは「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押してオーディオの設定にアクセスします。



「Infotainment (インフォテイメント)」アイコン／
「Audio Application (オーディオアプリケーション)」アイコン

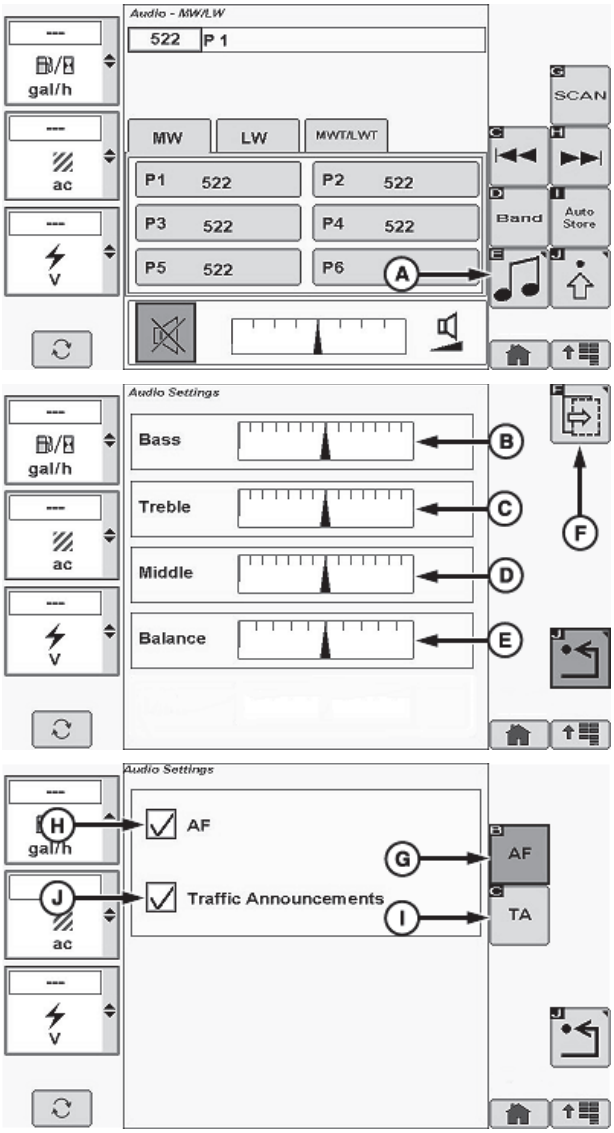
オーディオ設定

別のサウンド設定に変更できます。

必要なオーディオ設定を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- Bass (B)
- Treble (C)
- Middle (D)
- Balance (E)

必要なオーディオ設定を強調表示したら、プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか選択ダイヤルを回して、バーグラフの設定を増減します。



「Next Page (次のページ)」アイコン (F)

次のページに進むことができます。

「Next Page (次のページ)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Alternative Frequency (AF) (代替周波数 (AF))」アイコン (G)

代替周波数は、ラジオ周波数が変わった場合でも番組の放送に同調したままにできるラジオデータシステム (RDS) 機能です。

「Alternative Frequency (AF) (代替周波数 (AF))」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押してこの機能を有効にします。

「Alternative Frequency (AF) (代替周波数 (AF))」ボックス (H)

ボックスには、代替周波数 (AF) が有効になっていることを示すチェックマークが表示されます。

「Traffic Announcements (TA) (交通情報 (TA))」アイコン (I)

注記：交通情報 (TA) の音量は、ラジオのメニューキーと音量コントロールを使用して設定できます。

交通情報は、さまざまな交通レポートを聴くことができる機能です。

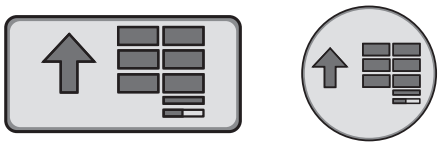
「Traffic Announcements (TA) (交通情報 (TA))」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押してこの機能を有効にします。

「Traffic Announcements (交通情報)」ボックス (K)

ボックスには、交通情報が有効になっていることを示すチェックマークが表示されます。

OUO6075,0001130 -40-07MAY12-1/1

電話の操作 (プレミアムラジオ)



「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Phone Application (電話アプリケーション)」アイコン

注記：電話が電話帳とラジオを同期している間、このページの電話ボタンは無効になります。

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Phone Application (電話アプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Transfer Call (通話の転送)」アイコン (A)

プライバシーのために、接続している電話に通話を転送できます。

「Transfer Call (通話の転送)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Phone Book (電話帳) アイコン (B)

同期されている電話帳を表示できます (詳細については、このセクションの「電話帳」を参照してください)。

「Phone Book (電話帳) アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Call History (通話履歴)」アイコン (C)

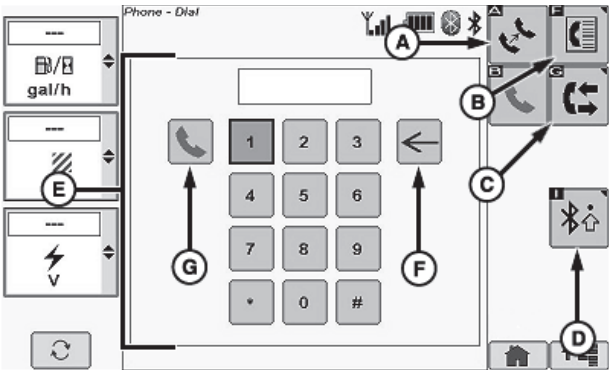
不在着信、発信、着信を表示できます (詳細については、このセクションの「通話履歴」を参照してください)。

「Call History (通話履歴)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Bluetooth® Settings (Bluetooth の設定)」アイコン (D)

Bluetooth® の設定を変更できます (詳細については、このセクションの「電話の設定 (プレミアムラジオ)」を参照してください)。

「Bluetooth® Settings (Bluetooth の設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



電話テンキー (E)

ディスプレイ画面を使用して電話番号をダイヤルすることができます。

必要な数字を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。必要な電話番号が表示されるまで手順を繰り返します。

「Delete (削除)」アイコン (F)

電話番号をダイヤル中に番号を削除できます。

「Delete (削除)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Call (通話)」アイコン (G)

注記：電話をかけようとしているときに、画面には連絡先の名前と電話番号が表示されます。

通話中、特定のアイコンは利用できません。通話中に番号を使用する必要がある場合は、携帯電話を使用してください。

電話テンキーを使用して以前入力した電話番号にダイヤルすることができます。

「Call (通話)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

電話帳 (プレミアムラジオ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Phone Application (電話アプリケーション)」アイコン

注記：携帯電話で新しい連絡先を作成した場合は、電話をラジオ Bluetooth® と再同期する必要があります (詳細については、このセクションの「電話の設定」を参照してください)。

ひじかけディスプレイを通じて連絡先エントリを編集することはできません。連絡先は携帯電話で編集する必要があり、電話をラジオ Bluetooth® と再同期する必要があります (詳細については、このセクションの「電話の設定」を参照してください)。

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Phone Application (電話アプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Phone Book (電話帳) アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

英字ソフトキー (B)

連絡先リストの名前の数を、選択した文字アイコンで始まる名前に絞り込むことができます。

必要な英字アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Return/Back (戻る)」アイコン (C)

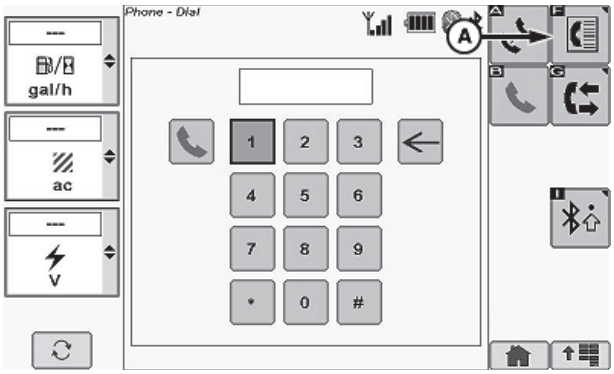
前のページに戻ることができます。

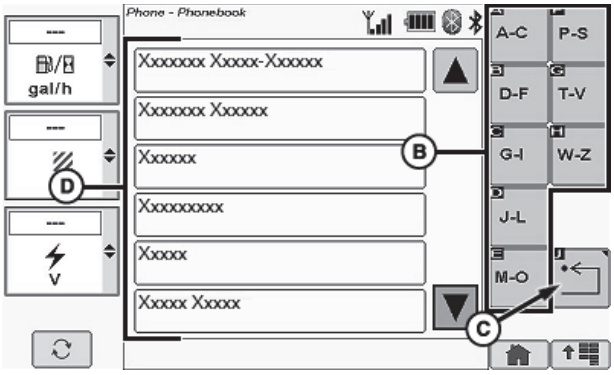
「Return/Back (戻る)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Phone Book Contact List (電話帳連絡先リスト)」(D)

注記：電話帳の最大エントリ数は 650 です。電話番号の最大文字数は 20 です。電話帳の連絡先名の最大文字数は 20 です。

電話帳エントリページで番号を選択すると、その番号に直接電話がかかります。





電話によってはラジオの Bluetooth® と正しく同期しないものがあります。この場合、電話帳のページから電話をかけることはできません。

リストから連絡先を選択すると、連絡先の電話番号 (携帯、職場、自宅) が一覧表示されている電話帳エントリページが表示されます。

必要な連絡先を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

姓と名による連絡先のアルファベット順の並べ替えの後に携帯電話の並べ替えの環境設定が続きます。

Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

電話ディレクトリ (プレミアムラジオ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Phone Application (電話アプリケーション)」アイコン

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Phone Application (電話アプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：ディレクトリアイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。連絡先からの着信では、連絡先の名前と電話番号が表示されます。不明な連絡先からの着信では、「**Unknown (不明)**」と表示されます。

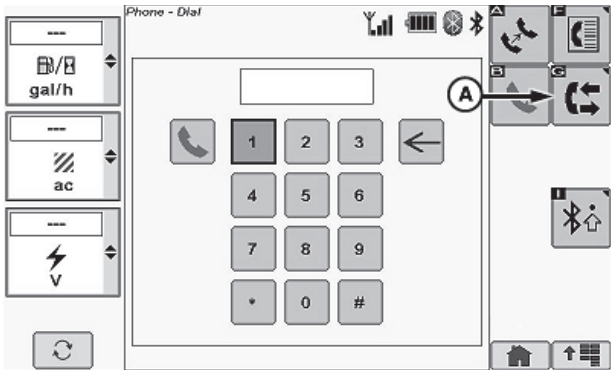
不在着信画面には、発信者名と電話番号が表示されます (発信者が電話帳に記載されている場合)。発信者が電話帳に記載されていない場合、画面に「**Unknown (不明)**」が表示されます。

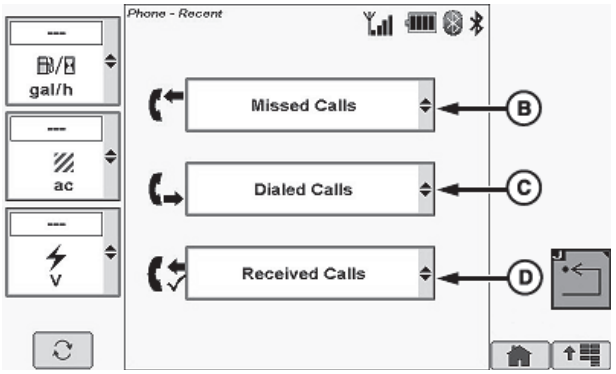
ディレクトリページでは、以下の情報を確認できます。

- 不在着信 (B)
- 発信 (C)
- 着信 (D)

必要な通話メニューを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：前に選択したメニューから通話リストが表示されます。名前と電話番号が同時に表示されます (発信者が電話帳に記載されている場合)。必要なリストから選択してその人または番号にかけ直すことができます。





OUO6075,0000E4D -40-02APR12-1/1

電話の設定 (プレミアムラジオ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Phone Application (電話アプリケーション)」アイコン

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Phone Application (電話アプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Bluetooth® Settings (Bluetooth の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Bluetooth® Enable/Disable (Bluetooth の有効化／無効化)」アイコン (B)

注記：ラジオ Bluetooth® 機能が有効である場合、電話とラジオが同期しているときにディスプレイの Bluetooth® 有効インジケーターアイコン (C) が点滅します。

Bluetooth® 機能を有効／無効にすることができます。

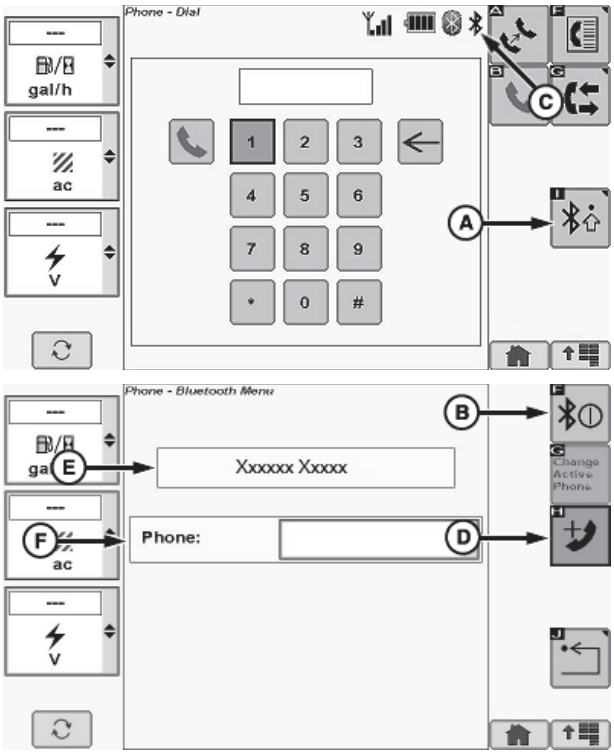
「Bluetooth® Enable/Disable (Bluetooth の有効化／無効化)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Add Phone (電話の追加)」アイコン (D)

注記：必ずしもすべての携帯電話でラジオ Bluetooth® 機能を使用できるわけではありません。

別の携帯電話を追加できます。

1. 「Add Phone (電話の追加)」アイコンを選択します。
2. **「Adding Phone (電話の追加中)」**がメッセージボックス (E) に表示され、続いて PIN 番号「PIN XXXX」が表示されます。
3. 携帯電話の「Bluetooth®」メニューで、「Add New Device (新規デバイスの追加)」を選択します。
4. 携帯電話の使用可能な **デバイスのリストから**「Bosch-BTBluetooth®」を選択します。
5. 携帯電話で**「Bond With Device (デバイスと接続)」**を選択します。
6. 表示された PIN をメッセージボックス (E) に入力します (PIN はラジオフェースプレートにも表示されます)。
7. 携帯電話がラジオに接続しているときは、ペアリング済み Bluetooth® インジケーターがアクティブです。



8. 携帯電話が正常に接続されると、メッセージボックスに**「Phone Connected (電話接続済み)」**と表示されます。

注記：携帯電話はラジオの電話帳と自動的に同期します。ラジオは同期を開始する前に「BT 電話帳」要求を送信します。お使いの電話でこの要求が承認されなかった場合、電話帳機能は無効になります。

「Phone Device List (電話デバイスリスト)」(F)

リストから別の携帯電話を選択できます。

電話デバイスリストを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

メニューで必要な電話デバイスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

次のページへ

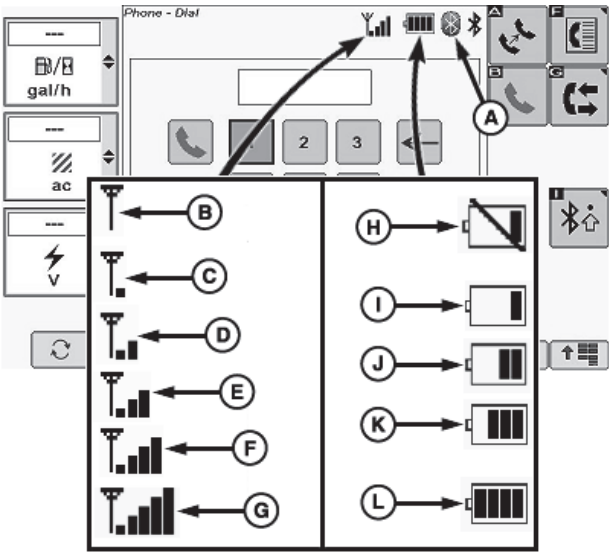
Bluetooth® 有効携帯電話インジケーター (A)

携帯電話とラジオが互いにペアリングされていることを示します。

信号強度とバッテリのインジケーター

電話に以下の情報が表示されます。

信号強度		バッテリ電源	
B	信号なし	H	バッテリ電源なし
C	5～20%	I	5～25%
D	25～40%	J	30～50%
E	45～70%	K	55～80%
F	75～90%	L	85～100%
G	100%		



Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

OUO6075,000151E -40-17JUN13-2/3

「Change Active Phone (アクティブな電話の変更)」アイコン (A)

注記：電話デバイスリストの最初の電話が現在アクティブな電話です。

5 台までの携帯電話を保存できます。

電話デバイスリストから別の携帯電話を選択できます。必要な携帯電話をリストから選択した後、「Change Active Phone (アクティブな電話の変更)」アイコンを選択します。

「Return/Back (戻る)」アイコン (B)

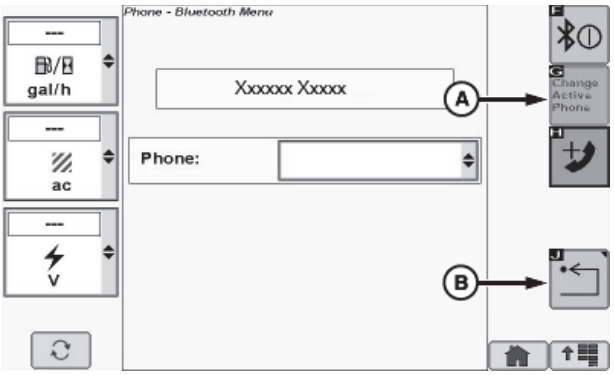
前のページに戻ることができます。

「Return/Back (戻る)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

携帯電話の再同期

注記：携帯電話をラジオの Bluetooth® とペアリングするときは、必ず携帯電話の Bluetooth® を有効にします。

- 携帯電話を OFF にしてもう一度 ON にします。



すべての電話からの切断

Bluetooth® を OFF にします。

「Bluetooth® Enable/Disable (Bluetooth の有効化／無効化)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、Bluetooth® を無効にします。

1 台の電話の切断

「Bluetooth® setup (Bluetooth の設定)」メニュー内で、「unpair/disconnect from Bosch Radio (Bosch Radio からのペアリング解除／切断)」を選択します。

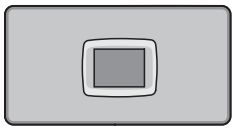
Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

OUO6075,000151E -40-17JUN13-3/3

輝度レベルと境界ボックスの色

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Display Application
(ディスプレイアプリケーション)」アイコン

ディスプレイの設定アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001511 -40-11JUN13-1/6

輝度レベル：

画面の輝度レベルを制御できます。

「Brightness (輝度)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

輝度バーグラフ (B) を強調表示し、プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して画面の輝度レベルを選択します。

- バーグラフの増やして画面を明るくします。
- バーグラフを減らして画面を暗くします。

「Day/Night Settings (昼／夜の設定)」：

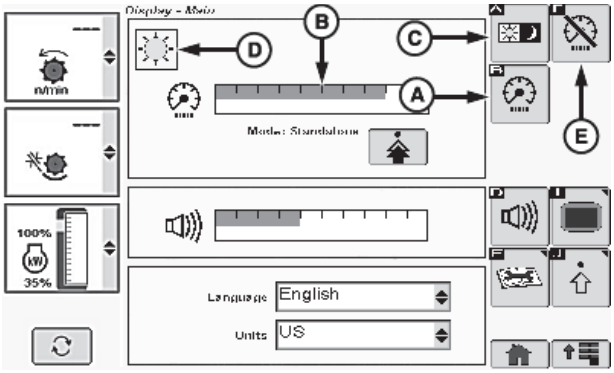
注記：「Day/Night (昼／夜)」アイコンは、スタンドアロンモードのみで表示されます。

昼の設定と夜の設定の間で切り替えることができます。

「Day/Night (昼／夜)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm 確認」スイッチに触れるか押して昼の設定と夜の設定 (D) の間で切り替えます。

減光モード:

眩しさを抑えるために画面をすばやく暗くすることができます。



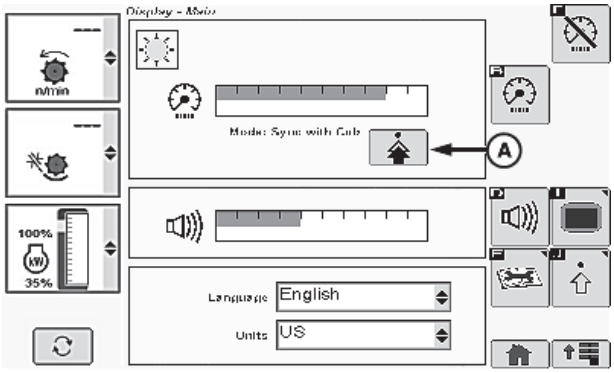
A：「Brightness (輝度)」アイコン
B：輝度バーグラフ
C：「Day/Night (昼／夜)」アイコン
D：「Day/Night Settings (昼／夜の設定)」
E：「Dim Mode (減光モード)」アイコン

「Dim Mode (減光モード)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して画面をすばやく暗くします。

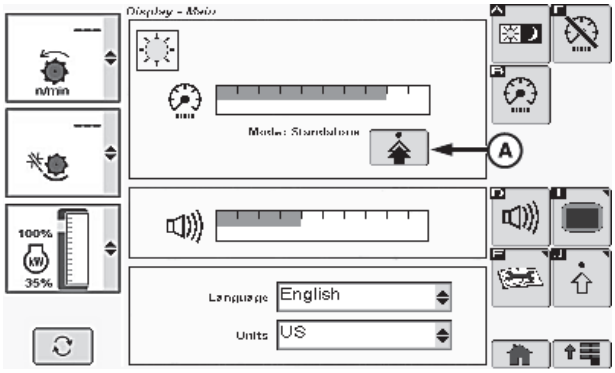
注記：減光モードでは、一時的に画面を暗くして眩しさを抑えることができます。アラームが存在する場合、またはひじかけのスイッチが押された場合、画面は通常の輝度に戻ります。

次のページへ

OUO6075,0001511 -40-11JUN13-2/6



キャビンと同期モード



スタンドアロンモード

キャビンと同期／スタンドアロンモード：

画面をキャビンの照明と同期させたり、キャビンの照明から独立して画面を作動させることができます。

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Sync With Cab (キャビンと同期)」ボックス (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

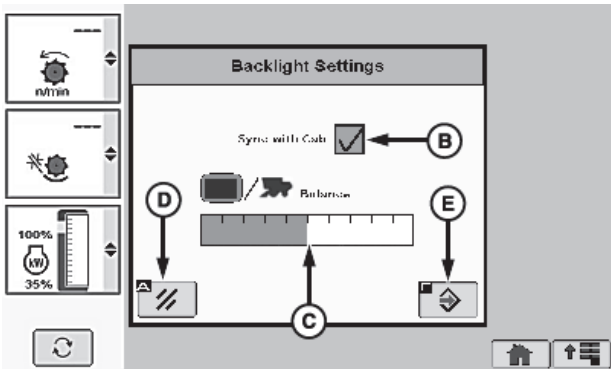
- チェックマークが付いている場合：画面はキャビンの背面照明と同期しています。
- チェックマークがない場合：画面とキャビンの背面証明は互いに独立して作動します。

「Balance (バランス)」バーグラフ (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して画面のバランスレベルを選択します。

- バーグラフの増やして背面照明を明るくします。
- バーグラフを減らして背面照明を暗くします。

注記：「Cancel (キャンセル)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押してバランスレベルを消去します。



A：「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン
B：「Sync With Cab (キャビンと同期)」ボックス
C：「Balance (バランス)」バーグラフ
D：「Cancel (キャンセル)」アイコン
E：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前の画面に戻ります。

アラーム音量の設定：

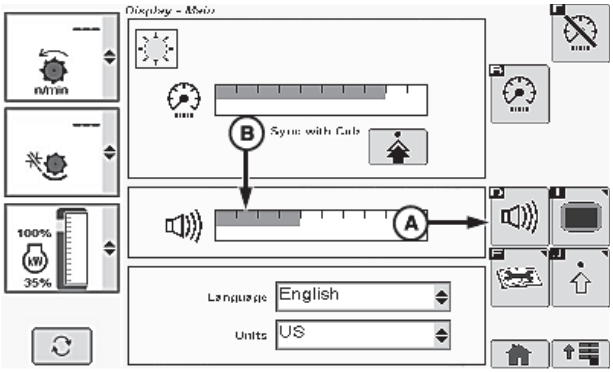
必要なアラーム音量に設定できます。

「Volume (音量)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Alarm Volume (アラーム音量)」バーグラフ (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

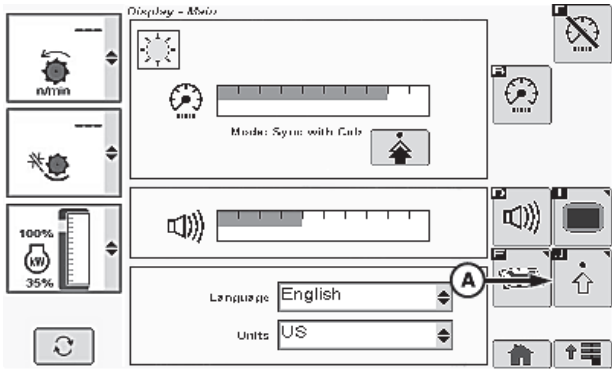
プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回してアラーム音量を調整します。

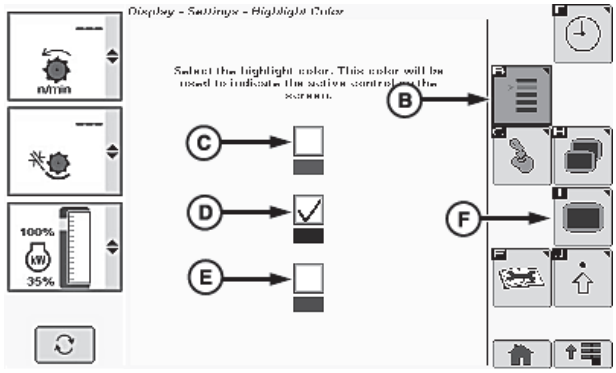
- バーグラフを増やしてアラーム音量を増やします。
- バーグラフを減らしてアラーム音量を減らします。



A：「Volume (音量)」アイコン
B：アラーム音量バーグラフ

次のページへ





A：「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン
B：「Highlight (強調表示)」アイコン
C：緑ハイライト
D：青ハイライト
E：赤ハイライト
F：「Display (ディスプレイ)」アイコン

境界ボックスの色の設定

境界ボックスの色を選択できます。

注記：画面の初回電源投入時は、色は既定で赤に設定されます。

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Highlight (ハイライト)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要な色ボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 緑 (C)
- 青 (D)
- 赤 (E)

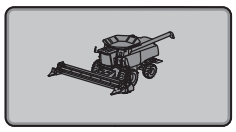
ボックスには、どの色が選択されたかを示すチェックマークが表示されます。

「Display (ディスプレイ)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前の画面に戻ります。

OUO6075,0001511 -40-11JUN13-5/6

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Combine Main Application
(コンバインメインアプリケーション)」アイコン

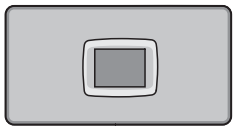
「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001511 -40-11JUN13-6/6

地域設定、言語、時刻／日付設定、測定単位

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Display Application
(ディスプレイアプリケーション)」アイコン

ディスプレイの設定アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001512 -40-11JUN13-1/5

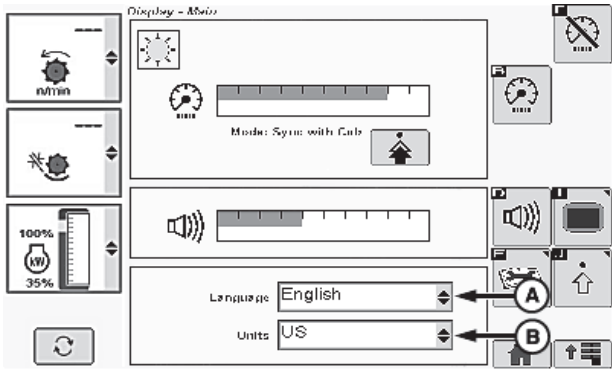
地域／言語／単位メニュー設定：

必要なメニューを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Language (言語)」メニュー (A)
- 「Units (単位)」メニュー (B)

メニューから必要な選択を行ったら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A：「Language (言語)」メニュー
B：「Units (単位)」メニュー



次のページへ

OUO6075,0001512 -40-11JUN13-2/5

詳細設定：

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要なメニューを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Country (国)」メニュー (B)
- 「Language (言語)」メニュー (C)
- 「Numeric Format (数値の形式)」メニュー (D)
- 「Units (単位)」メニュー (E)

メニューから必要な選択を行ったら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要なメニューを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Distance (距離)」メニュー (G)
- 「Area (面積)」メニュー (H)
- 「Volume (容積)」メニュー (I)
- 「Mass (質量)」メニュー (J)
- 「Temperature (温度)」メニュー (K)
- 「Pressure (圧力)」メニュー (L)
- 「Force (力)」メニュー (M)

メニューから必要な選択を行ったら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

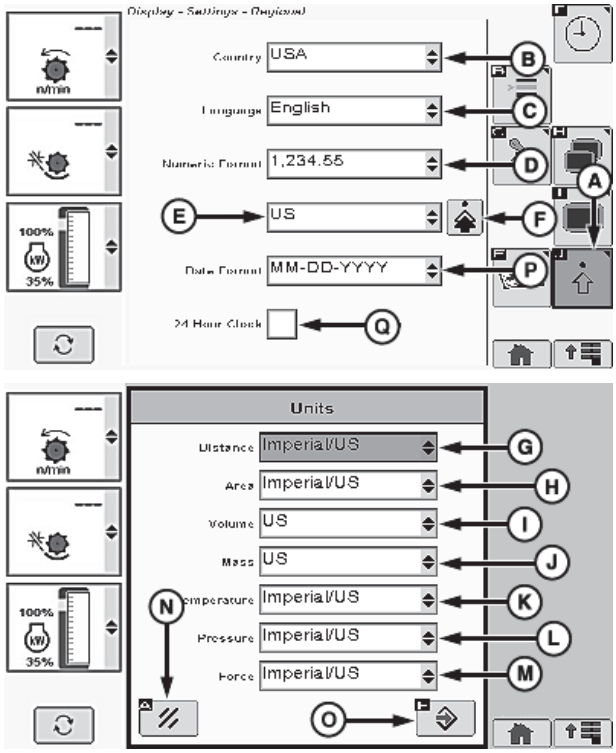
注記：「Cancel (キャンセル)」アイコン (N) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前の画面に戻ります。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (O) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前の画面に戻ります。

必要なメニューを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Date Format (日付の形式)」メニュー (P)

メニューから必要な選択を行ったら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



A：「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン
B：「Country (国)」メニュー
C：「Language (言語)」メニュー
D：「Numeric Format (数値の形式)」メニュー
E：「Units (単位)」メニュー
F：「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン
G：「Distance (距離)」メニュー
H：「Area (面積)」メニュー
I：「Volume (容積)」メニュー
J：「Mass (質量)」メニュー
K：「Temperature (温度)」メニュー
L：「Pressure (圧力)」メニュー
M：「Force (力)」メニュー
N：「Cancel (キャンセル)」アイコン
O：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
P：「Date Format (日付の形式)」メニュー
Q：「24 Hour (24 時間)」ボックス

「24 Hour (24 時間)」ボックス (Q) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- チェックを入れた場合：時刻はミリタリータイム (24 時間時計) で表示されます。
- チェックを外した場合：時刻は標準タイム (12 時間時計) で表示されます。

次のページへ

グローバルポジショニングシステム (GPS) 日付／時刻設定：

「Clock (時計)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：グローバルポジショニングサテライト (GPS) の測位レシーバが検出された場合、チェックボックスが表示され GPS の日付と時刻が自動的に測位レシーバから使用可能になります。

測位レシーバが検出されない場合、日付と時刻は手動で入力する必要があります。

「GPS Time and Date (GPS 時刻／日付)」ボックス (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

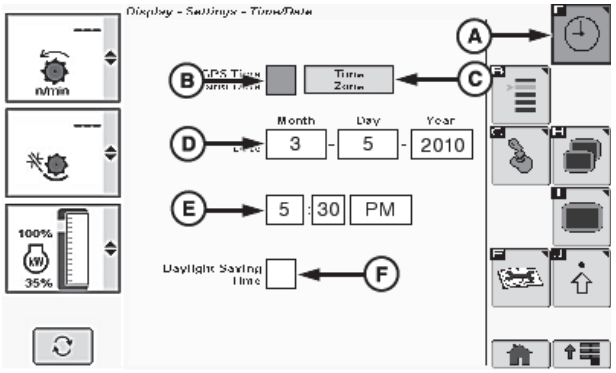
- チェックを入れた場合：「Date (日付)」メニューと「Time (時刻)」メニューを選択することはできません。日付と時刻は GPS システムに合わせて設定されます。
- チェックを外した場合：「Date (日付)」メニューと「Time (時刻)」メニューを選択できます。日付と時刻は GPS システムに合わせて設定されません。

「Time Zone (タイムゾーン)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：タイムゾーンはグリニッジ標準時 (GMT) に基づいて表示されます。

アルゼンチン - 2	デンマーク +1	モスクワ +3
オーストリア +1	ドイツ +1	サマラ +4
オーストラリア	エストニア +2	オレンブルグ +5
ブリスベン +10	フランス 0	オムスク +6
アデレード +10	フィンランド +2	クラスノヤルスク +7
パース +9	ギリシャ +2	スイス +1
メルボルン +11	アイスランド 0	スロバキア +1
ブルガリア +2	イタリア +1	南アフリカ +2
サンパウロ -3	ハンガリー +1	スウェーデン +1
マトグロッソ -4	中央アメリカ -5	英国 0
バンクーバー -7	ラトビア +2	ウクライナ +2
カルガリー -6	リトアニア +2	トルコ +2
ウィニペグ -5	オランダ +1	ロサンゼルス -7
トロント -4	ノルウェー +1	デンバー -6
ハリファックス -3	ポーランド +1	シカゴ -5
チェコ共和国 +1	ポルトガル 0	アトランタ -4
クロアチア +1	ルーマニア +2	

適切なタイムゾーンを選択したら、確定スイッチに触れるかまたは押します。



A：時計アイコン
B：GPS 時刻と日付ボックス
C：「Time Zone (タイムゾーン)」アイコン
D：「Date (日付)」メニュー (月、日、年)
E：「Time (時刻)」メニュー (時間、分、A.M または P.M)
F：「Daylight Savings Time (夏時間)」ボックス

日付設定：

必要な日付メニュー (D) を強調表示したら、確定スイッチに触れるかまたは押します：

- 月
- 日
- 年

メニューから必要な選択を行ったら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

時刻設定：

必要な「Time (時刻)」メニュー (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 時間
- 分
- A.M. または P.M.

メニューから必要な選択を行ったら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

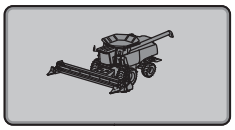
「Daylight Savings Time (夏時間)」ボックス (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- チェックを入れた場合：その国／地域で夏時間が導入されている場合、時刻は自動的に更新されます。
- チェックを外した場合：夏時間の変更時、時刻を手動で入力する必要があります。

次のページへ

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Combine Main Application
(コンバインメインアプリケーション)」アイコン

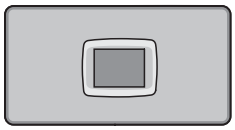
「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001512 -40-11JUN13-5/5

診断結果、バージョン情報、ディスプレイテスト

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Display Application
(ディスプレイアプリケーション)」アイコン

ディスプレイの設定アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

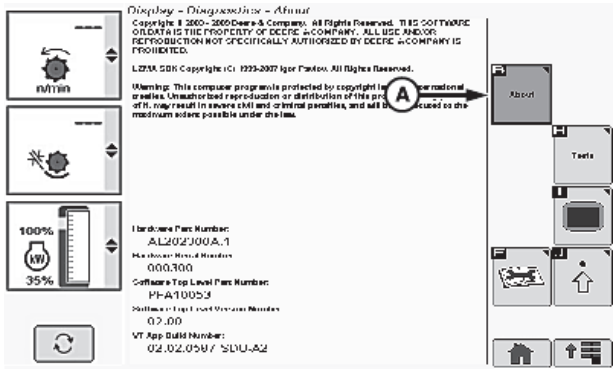
OUO6075,0001513 -40-11JUN13-1/5

「About (バージョン情報)」メニュー

「About (バージョン情報)」メニューアイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

画面には以下の情報が表示されます。

- 著作権情報
- ソフトウェアおよびハードウェア情報
  - ハードウェア品番
  - ハードウェアシリアル番号
  - ソフトウェア品番
  - ソフトウェアバージョン番号
  - アプリケーションビルド番号



A : 「About (バージョン情報)」メニューアイコン

次のページへ

OUO6075,0001513 -40-11JUN13-2/5

ディスプレイテスト：

「Tests (テスト)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

Display Color Test (ディスプレイのカラーテスト)：

「Display Color Test (ディスプレイのカラーテスト)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 画面のテストカラーが表示されます (赤、青、緑の図が表示されます)。
- テストカラーが表示されない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

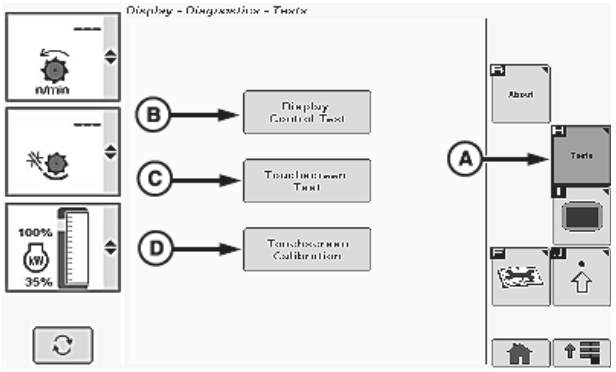
Touchscreen Test (タッチスクリーンのテスト)：

注記：タッチスクリーンディスプレイが装備されている場合のみ機能します。

「Touchscreen Test (タッチスクリーンのテスト)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- このテストでは、画面の画素の問題を特定できます。
  a. 画面に触れると、触れたエリアに照準ターゲットが表示されます。
  b. 引き続き画素の不具合が疑われる領域で画面を触れて、照準ターゲットが表示されるかどうか確認します。
  c. 照準ターゲットが表示されない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

Touchscreen Calibration (タッチスクリーンの較正)：



A：「Tests (テスト)」アイコン
B：「Display Color Test (ディスプレイのカラーテスト)」アイコン
C：「Touchscreen Test (タッチスクリーンのテスト)」アイコン
D：「Touchscreen Calibration (タッチスクリーンの較正)」アイコン

注記：タッチスクリーンディスプレイが装備されている場合のみ機能します。

「Touchscreen Calibration (タッチスクリーンの較正)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

1. 右上隅に「X」がある別の画面が表示されます。
2. 画面の「X」を押し、続いて画面に表示される「X」をたどります。必ず「X」の中心で画面を直接押してください。

注記：タッチスクリーンの較正により、保存されている較正はキャンセルされ、ユーザーは最初から新しい較正を実行できます。

OUO6075,0001513 -40-11JUN13-3/5

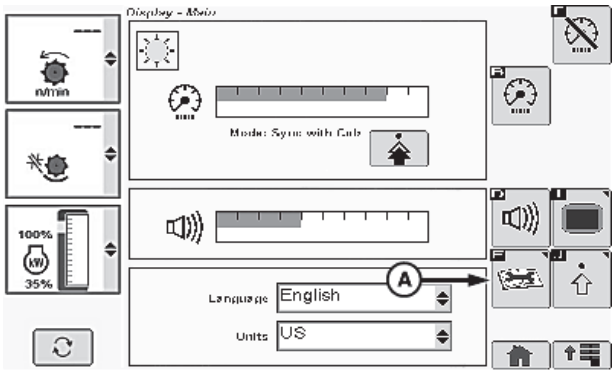
「Diagnostic Readings (診断結果)」：

「Diagnostic (診断)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

画面には以下の情報が表示されます。

- 常時供給電圧
- 切替電圧
- CAN High 電圧 (車両バス)
- CAN High 電圧 (装置バス)
- CAN Low 電圧 (車両バス)
- CAN Low 電圧 (装置バス)
- ディスプレイ操作時間
- USB の有無

注記：USB (Universal Serial Bus) コネクタはひじかけの下にあります。このコネクタは基本的な診断結果とデータの転送に使用されます。このコネクタに電話やオーディオデバイスを差し込まないでください。このコネクタはコンシューマデバイスに充電するためのものではありません。



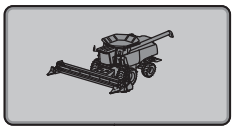
A：「Diagnostic (診断)」アイコン

次のページへ

OUO6075,0001513 -40-11JUN13-4/5

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

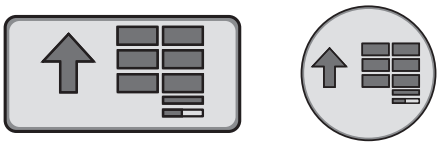


「Combine Main Application
(コンバインメインアプリケーション)」アイコン

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

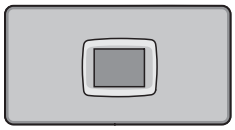
OUO6075,0001513 -40-11JUN13-5/5

複数のディスプレイと補助制御装置の接続



「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



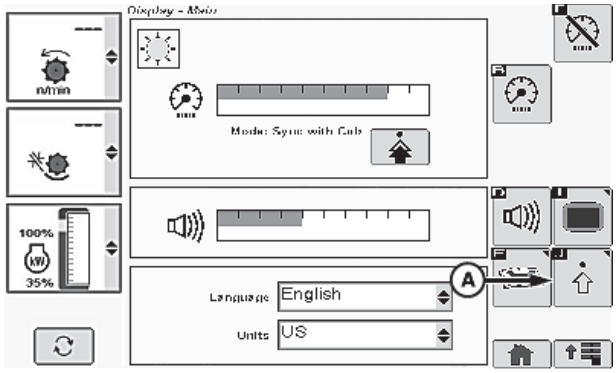
「Display Application
(ディスプレイアプリケーション)」アイコン

ディスプレイの設定アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001514 -40-11JUN13-1/4

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A：「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン

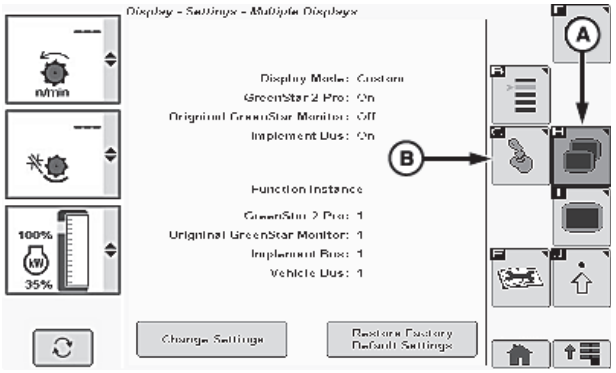


次のページへ

OUO6075,0001514 -40-11JUN13-2/4

複数のディスプレイの接続：

注記：別のディスプレイが接続されると、ソフトウェアは自動的に検出します。設定を変更する前に、または接続しているディスプレイをシステムが検出しない場合は、詳細について、John Deere 取扱店にお問い合わせください。



Auxiliary Controls (補助制御装置)：

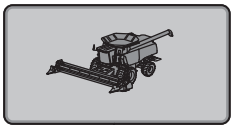
注記：補助制御装置機能は利用できません。

A：「Multiple Displays (複数のディスプレイ)」アイコン
B：「Auxiliary Controls (補助制御装置)」アイコン

OUO6075,0001514 -40-11JUN13-3/4

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Combine Main Application
(コンバインメインアプリケーション)」アイコン

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001514 -40-11JUN13-4/4

メッセージセンターアプリケーション

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Message Center Application
(メッセージセンターアプリケーション)」アイコン

「Message center (メッセージセンター)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

次のページへ

OUO6075,0000652 -40-26AUG10-1/3

「Message Center (メッセージセンター)」アイコン (A)

「Message center (メッセージセンター)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

存在する場合は、メッセージまたはアクティブなトラブルコードが表示されます。

「Diagnostic Address (診断アドレス)」アイコン (B)

注記：オプションの GreenStar ディスプレイを装備している場合は、両方の画面で同時に診断アドレス情報にアクセスしないでください。

「Diagnostic Address (診断アドレス)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要なコントロールユニットを選択してアドレスを修正/変更したり、アドレスを表示したりできます (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

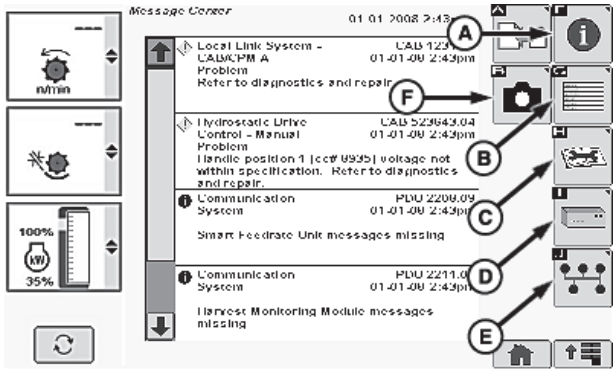
「Diagnostic Trouble Codes (診断トラブルコード)」アイコン (C) :

注記：オプションの GreenStar ディスプレイを装備している場合は、両方の画面で同時に診断トラブルコードにアクセスしないでください。

「Diagnostic Trouble Codes (診断トラブルコード)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

コントロールユニット、トラブルコードアドレス、コード (アクティブまたは非アクティブ) 、コードが表示された回数を確認できます (詳細については、「診断トラブルコード」セクションの「診断トラブルコードへのアクセス」を参照してください。

「Electronic Control Unit Information (ECU) (電子コントロールユニット情報 (ECU))」アイコン (D) :



「Electronic Control Unit Information (電子コントロールユニット情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

コントロールユニット、アドレス、メッセージ数、コントロールユニットの品番およびシリアル番号、ソフトウェア品番およびバージョンを確認できます (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

「CAN Bus Information (CAN バス情報)」アイコン (E) :

「CAN Bus Information (CAN バス情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ネットワークステータスがアクティブであるか非アクティブであるか、総メッセージ数、CAN High または CAN Low 電圧を確認できます (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

「Transfer Debug Files (デバッグファイルの転送)」アイコン (F) :

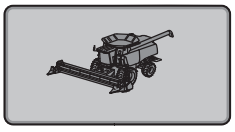
「Transfer Debug Files (デバッグファイルの転送)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ほとんど任意の画面を内部メモリに保存して、USB () メモリデバイスにコピーできます (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

OUO6075,0000652 -40-26AUG10-2/3

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

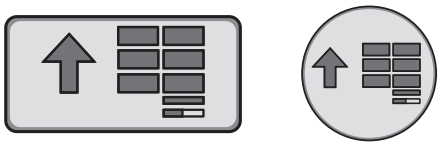


「Combine Main Application
(コンバインメインアプリケーション)」アイコン

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

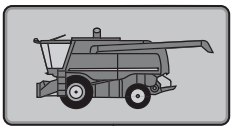
OUO6075,0000652 -40-26AUG10-3/3

パフォーマンスモニタアプリケーション



「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Performance Monitor Application
(パフォーマンスモニタアプリケーション)」アイコン

「Performance Monitor Application (パフォーマンスモニタアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

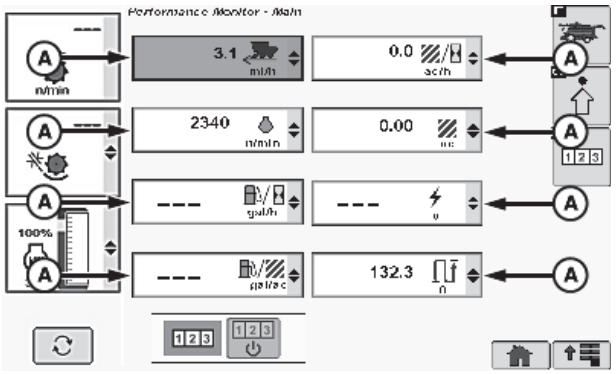
「Performance Monitor (パフォーマンスモニタ)」メニュー：

必要な「Performance Monitor (パフォーマンスモニタ)」メニュー (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

次の情報とともに再構成されたパフォーマンスモニタメニューが表示されます。

- 面積あたりの平均燃費 (gal/acre、L/ha、gal/ha、L/acre)
- 時間あたりの瞬間面積
- 時間あたりの平均面積
- 収穫済み面積 (記録を ON にしてからの累積値)
- 距離 (常時累積されます。記録ステータスに無関係)
- 時間あたりの瞬時燃料消費 (gal/hr、L/hr)
- 時間あたりの収穫生産性 (容積または重量)
- 重量カウンター
- 水分カウンター

必要なメニューオプションを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



A：「Performance Monitor (パフォーマンスモニタ)」メニュー

次のページへ

パフォーマンスモニタの消去：

「Totals (合計)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

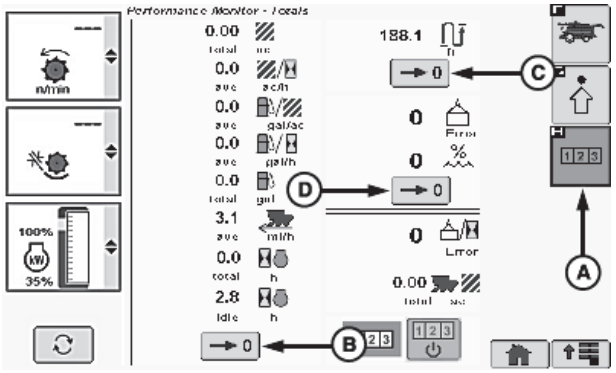
必要なカウンターリセットアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：この画面で面積、距離、重量、水分の数値を消去しても、依頼主、農場、圃場、作物総収量は消去されません。

この画面のカウンターのみが消去されます。

- 「Area Counter Reset (面積カウンターリセット)」アイコン (B)
  - リセットしてから走行した総面積が表示されます。
- 「Distance Counter Reset Icon (距離カウンターリセット)」アイコン (C)
  - リセットしてから走行した総距離が表示されます。
- 「Weight and Moisture Reset (重量および水分のリセット)」アイコン (D)
  - リセット以降の重量および水分の数値が表示されます。

必要なトータル情報をリセットするかどうかを確認する警告画面が表示されます。



A：「Totals (合計)」アイコン
B：「Area Counter Reset (面積カウンターリセット)」アイコン
C：「Distance Counter Reset Icon (距離カウンターリセット)」アイコン
D：「Weight and Moisture Reset (重量および水分のリセット)」アイコン

重要：複数のディスプレイを接続している場合、この画面で合計をリセットすると、その他のディスプレイの合計もリセットされます。

OUO6075,0001779 -40-28FEB14-3/5

パフォーマンスモニタ詳細設定：

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Auto Width (自動幅)」ボックス (B)

  注記：常にチェックした状態にしてオペレータに対して無効にしておく必要があります。

- 「Header Width (ヘッダー幅)」ボックス (C)

  注記：オペレータに対して常に無効にしておく必要があります。

  - ヘッダーの設定画面で行った設定が自動的に検出されます。
- 「Recording ON/OFF Status (記録オン／オフステータス)」(D)

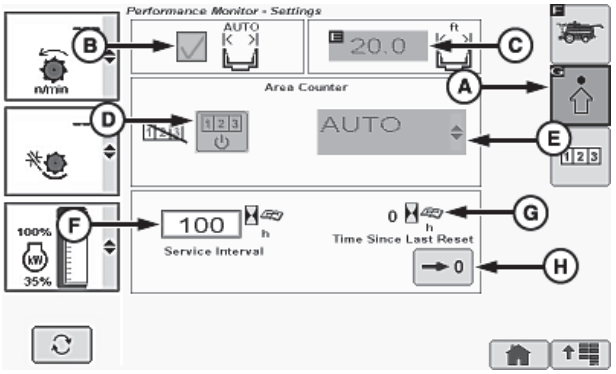
  注記：オペレータに対して常に無効にしておく必要があります。

- 「Recording (記録)」メニュー (E)

  注記：オペレータに対して常に無効にし、必ず「AUTO (自動)」に設定しておく必要があります。

- 「Service Interval (点検間隔)」(F)

  注記：点検間隔設定の 20 時間以内にディスプレイでアラームが鳴り、メッセージが表示されます。



A：「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン
B：「Auto Width (自動幅)」ボックス
C：「Header Width (ヘッダー幅)」ボックス
D：「Recording ON/OFF Status (記録オン／オフステータス)」
E：「Recording (記録)」メニュー
F：「Service Interval (点検間隔)」
G：「Time Since Last Reset (前回のリセットしてからの時間)」
H：「Reset (リセット)」アイコン

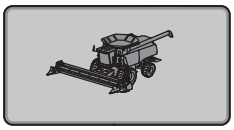
  - 間隔は 0～999 時間の間で調整できます。点検を実施した後、点検間隔をゼロにリセットする必要があります。
- 「Time Since Last Reset (前回のリセットしてからの時間)」(G)
  - 点検を前回リセットしてからのエンジンの運転時間数が表示されます。
- 「Reset (リセット)」アイコン (H)
  - 前回点検カウンターをリセットしてからの時間を消去します。

次のページへ

OUO6075,0001779 -40-28FEB14-4/5

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Combine Main Application (コンバインメインアプリケーション)」アイコン

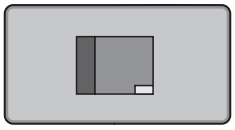
「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001779 -40-28FEB14-5/5

レイアウトマネージャアプリケーション

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Layout Manager Application
(レイアウトマネージャアプリケーション)」アイコン

「Layout Manager Application (レイアウトマネージャアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001272 -40-11OCT12-1/3

ホームページ領域の設定：

種々のホームページを表示できます。

「Region (領域)」メニュー (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

画面には以下の情報が表示されます。

- ホームページ 1
- ホームページ 2
- ホームページ 3

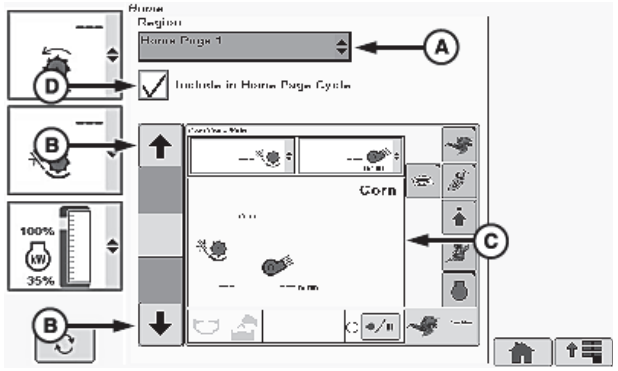
必要なホームページを選択したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

上下矢印アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、ホームページ (C) をスクロールします。

必要なホームページを選択します。

「Home Page Cycle (ホームページサイクル)」ボックス (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- チェックマーク付き：選択したホームページがホームページサイクルに含まれます。



A：「Region (領域)」メニュー
B：上下矢印アイコン
C：種々のホームページ
D：「Include in Home Page Cycle (ホームページサイクルに含める)」チェックボックス

- チェックマークなし：選択したホームページはホームページサイクルに含まれません。

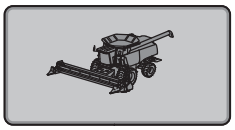
注記：画面のホームアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、選択したホームページの間で切り替えます。ひじかけのホームページスイッチでも選択したホームページ間で切り替えることができます。

次のページへ

OUO6075,0001272 -40-11OCT12-2/3

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Combine Main Application
(コンバインメインアプリケーション)」アイコン

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001272 -40-11OCT12-3/3

ビデオインターフェース機能

注記：GreenStar™ 2 2600 ディスプレイにはビデオ機能はありません。

ラベル ADU 01、ADU 02、ADU 03 付きのコネクタは、アームレストのディスプレイにビデオ信号を供給します。

ラベル CPDU 01 付きのコネクタは、コーナーポストのオプションのディスプレイにビデオ信号を供給します。

機械には 4 つのカメラビデオ入力があり、これらはオペレータステーションの右側にあります。

注記：ひじかけの GreenStar™ 3 CommandCenter™ ディスプレイは 1 つのビデオ信号をサポートしています。

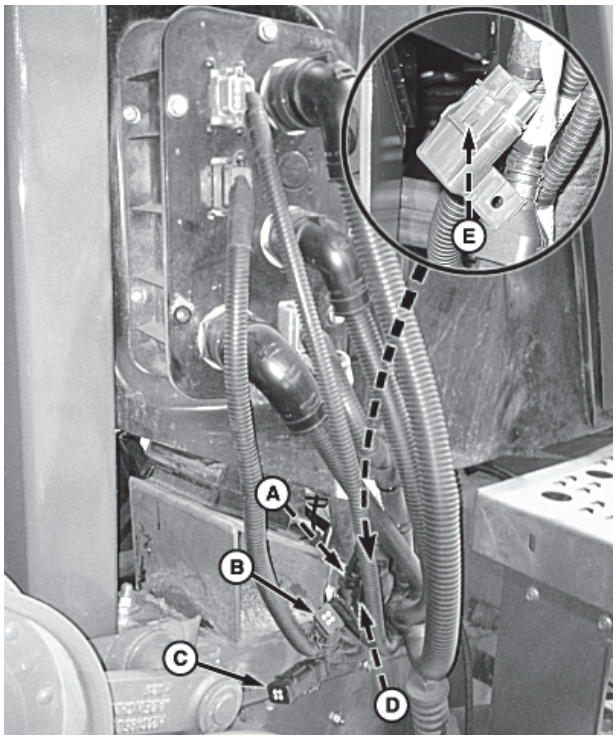
ひじかけの GreenStar™ 3 2630 ディスプレイは 3 つのビデオ信号をサポートします。

ビデオ入力 (A～C) はビデオ信号をひじかけのディスプレイに供給します。

ビデオ入力 (D) は、コーナーポストに取り付けられた GreenStar™ 3 2630 ディスプレイ (オプション) に接続します。

ビデオ入力はインライン (E) により保護されています。

ビデオ互換カメラソリューションの詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。



A：ビデオ入力 (ひじかけ)
B：ビデオ入力 (ひじかけ)
C：ビデオ入力 (ひじかけ)
D：ビデオ入力 (コーナーポスト)
E：インラインヒューズ

GreenStar は Deere & Company の商標です。
CommandCenter は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00015A7 -40-03JUL13-1/1

ビデオの安全

警戒：衝突回避や近くの人の確認をカメラだけに頼らないでください。オペレータやその他の人の死傷事故を防止するため、機械操作時は常に警戒を怠らず、周囲に気を配ってください。「安全」セクションの「後退時の事故の回避」を読み、理解してください。

重要：

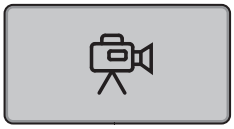
- **カメラで鏡像が示されるのか、ビデオアプリケーションで鏡像が示されるのかを正しく理解してください。**
- **カメラは頑丈で安全な場所に取り付けてください。**
- **カメラの視野を理解してください。**
- **カメラは適切に整備しておいてください。**
- **カメラのレンズは常にきれいにしてください。**

OUO6075,00013B2 -40-31JAN13-1/1

ビデオアプリケーション (装備されている場合)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Video Application
(ビデオアプリケーション)」アイコン

「Video (ビデオ)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00013B1 -40-31JAN13-1/4

コントラストの調整：

ビデオディスプレイを明るくまたは暗くすることができます。

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「Increase (増加)」アイコン (A)：ビデオディスプレイを明るくします。
- 「Decrease (減少)」アイコン (B)：ビデオディスプレイを暗くします。

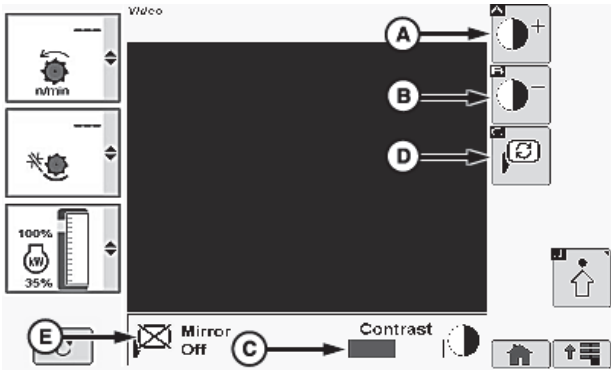
注記：「Contrast (コントラスト)」バーグラフ (C)：選択したアイコンに応じて増減します。

ミラーの設定：

画面上で画像の鏡像を表示できます。

「Mirror (ミラー)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

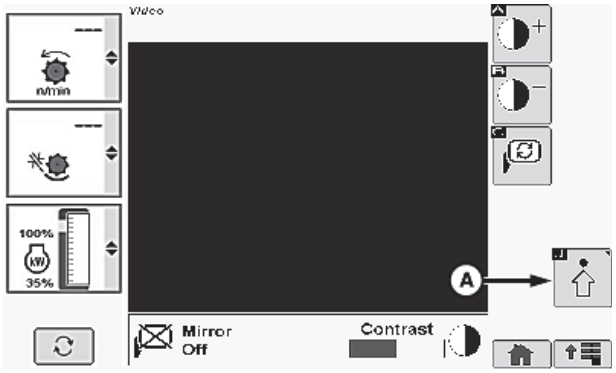
注記：「Mirror ON/OFF (ミラーオン/オフ)」(E) により、表示する角度を変更できます。

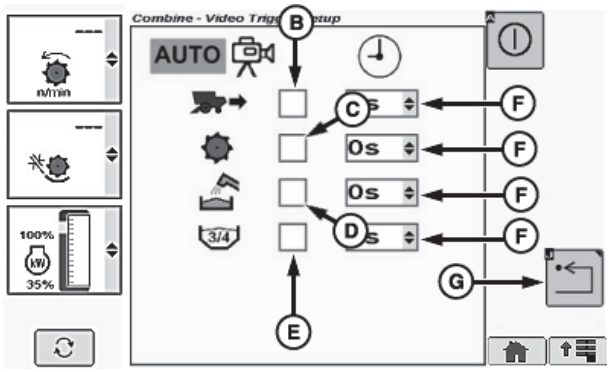


A：「Contrast Increase (コントラスト増加)」アイコン
B：「Contrast Decrease (コントラスト減少)」アイコン
C：「Contrast (コントラスト)」バーグラフ
D：「Mirror (ミラー)」アイコン
E：「Mirror ON/OFF (ミラーオン／オフ)」

次のページへ

OUO6075,00013B1 -40-31JAN13-2/4





A：「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン
B：リアビデオのトリガー
C：セパレータビデオのトリガー
D：アンローディングオーガビデオのトリガー
E：グレインタンクビデオのトリガー
F：「Time (時間)」メニュー
G：「Return/Back (戻る)」アイコン

ビデオ設定：

注記：ひじかけのディスプレイは、複数のビデオトリガーをサポートしています。

設定して機械の周囲の別の領域を表示できます。

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

画面には以下の情報が表示されます。

- 「Rear View Video Trigger (リアビュービデオのトリガー)」(B)
- 「Separator Video Trigger (セパレータビデオのトリガー)」(C)
- 「Unloading Auger Video Trigger (アンローディングオーガビデオのトリガー)」(D)
- 「Grain Tank Video Trigger (グレインタンクビデオのトリガー)」(E)

注記：トリガー条件が満たされると、ビデオはディスプレイに自動的に表示されます (例：機械が後方へ動いているときはリアビュービデオがディスプレイに表示されます)。

必要なビデオトリガーボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- チェックマークが付いている場合：ビデオが表示されます。
- チェックマークが付いていない場合：ビデオは表示されません。

必要なビデオボックスの「Time (時間)」メニュー (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要な時間を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

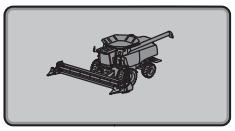
注記：条件が変わった後、時間を延長してカメラで確認できます (例：マルチファンクションレバーを前方に動かした後でも、時間を延長してリアビデオを表示できます)。

「Return/Back (戻る)」アイコン (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00013B1 -40-31JAN13-3/4

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Combine Main Application
(コンバインメインアプリケーション)」アイコン

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00013B1 -40-31JAN13-4/4

アクセスマネージャアプリケーション

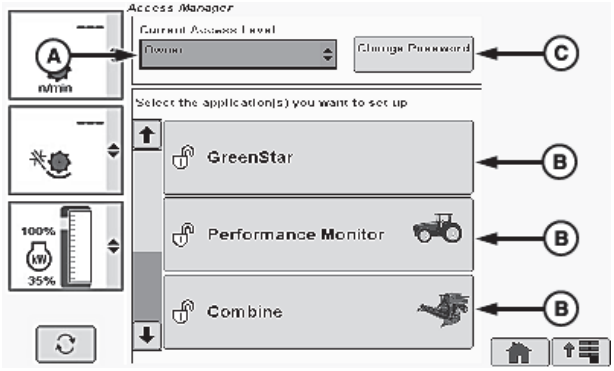
「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

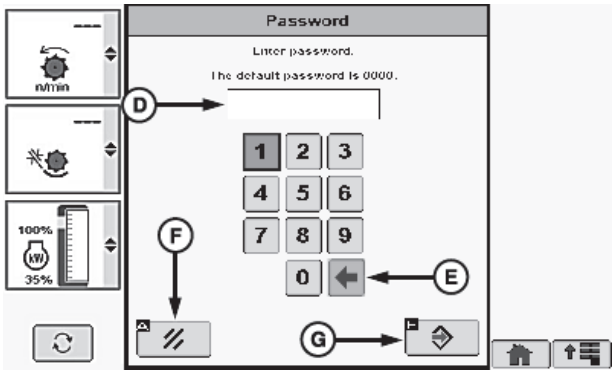
「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Access Manager Application
(アクセスマネージャアプリケーション)」アイコン

「Access Manager (アクセスマネージャ)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00006F8 -40-07OCT10-1/5





A：「Access Level (アクセスレベル)」メニュー
B：アプリケーション
C：「Change Password (パスワードの変更)」アイコン
D：「Password (パスワード)」メニュー
E：「Back Arrow (戻る矢印)」アイコン
F：「Cancel (キャンセル)」アイコン
G：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

アクセスレベルの設定：

機械の所有者は特定の機能をロック／ロック解除できます。機能がロックされている場合、変更／調整を実行できるのは所有者だけです。機能がロック解除されている場合、所有者とオペレータの両方が変更／調整を実行できます。

「Access Level (アクセスレベル)」メニュー (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

画面には以下の情報が表示されます。

注記：アプリケーション (B) をロック／ロック解除するには、所有者モードである必要があります。オペレータモードを所有者モードに変更するには、パスワードが必要です。

- オペレータモード：所有者が設定した場合は、特定の変更／調整を実行できます。
- 所有者モード：オペレータが使用できる変更／調整を決定します。

必要なアクセスレベルを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

パスワードの変更：

機械の所有者は、所有者があらかじめ設定した設定をオペレータが変更／調整できないようにするパスワードを設定できます。

注記：パスワードを紛失または忘れた場合は、詳細について John Deere 取扱店にお問い合わせください。

「Change Password (パスワードの変更)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Confirm (確定)」スイッチに触れて、計算機から「Password (パスワード)」メニュー (D) に数字を入力します。

注記：「Back Arrow (戻る矢印)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、誤って入力した数字を削除します。

「Cancel (キャンセル)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、キャンセルして前の画面に戻ります。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

次のページへ

OUO6075,00006F8 -40-07OCT10-2/5

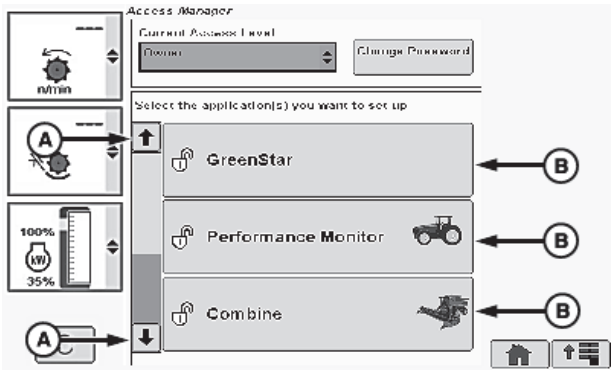
アプリケーションのロック／ロック解除：

所有者は特定の機能をロック／ロック解除できます。ロックされた場合、オペレータには特定の機能のみ表示されます。

上下矢印アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、種々のアプリケーション間でスクロールします。

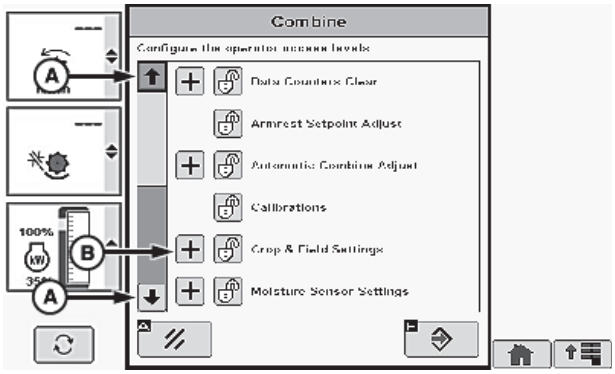
コンバイン	ディスプレイ
メッセージセンター	レイアウトマネージャ
パフォーマンスモニタ	ビデオ
GreenStar	アクセスマネージャ

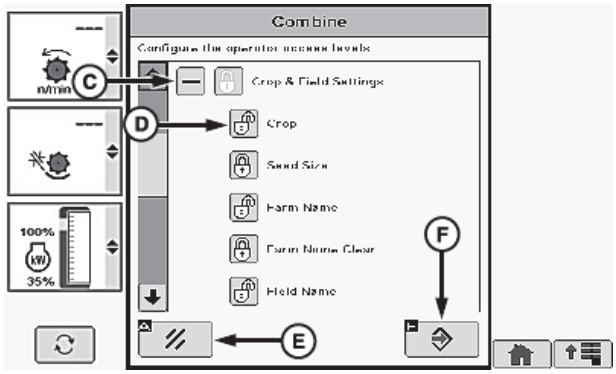
必要なアプリケーション (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



A：上下矢印アイコン　　**B：アプリケーション**

OUO6075,00006F8 -40-07OCT10-3/5





A：上下矢印アイコン
B：「Plus (プラス)」アイコン
C：「Minus (マイナス)」アイコン
D：「Lock/Unlock (ロック／ロック解除)」アイコン
E：「Cancel (キャンセル)」アイコン
F：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

上下矢印アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、アプリケーションサブ機能間でスクロールします。

「Plus (プラス)」アイコン (B) (サブ機能を展開します) または「Minus (マイナス)」アイコン (C) (サブ機能を折りたたみます) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要なサブ機能を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：サブ機能は「Lock/Unlock (ロック／ロック解除)」アイコン (D) 間で切り替わります。

灰色のロックは、一部のサブ機能のみがロックされていることを意味します。

- 「Lock (ロック)」アイコン：オペレータは変更／調整を実行できなくなります。変更／調整を実行できるのは所有者だけです。
- 「Unlock (ロック解除)」アイコン：所有者とオペレータの両方が変更／調整を実行できます。

必要に応じて、残りのアプリケーションで手順を繰り返します。

注記：「Cancel (キャンセル)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、変更をキャンセルして前の画面に戻ります。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

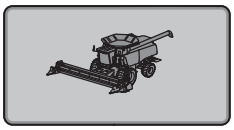
次のページへ

OUO6075,00006F8 -40-07OCT10-4/5

CommandCenter™ ディスプレイ画面

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ)／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Combine Main Page Application
(コンバインメインページアプリケーション)」アイコン

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00006F8 -40-07OCT10-5/5

ひじかけコンソールのコントロール

1 ： 「 Header Engage and Feeder House Reverser (ヘッダー接続／フィーダーハウスリバーサ)」スイッチ
2：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ
3：Harvest Smart™ フィードレート有効化スイッチ (装備されている場合)
4：「Engine Speed (エンジン回転数)」スイッチ (高回転数)
5：「Engine Speed (エンジン回転数)」スイッチ (中回転数)
6：「Engine Speed (エンジン回転数)」スイッチ (低回転数)
7：「Push Button Shift 3rd Gear (押しボタンシフト 3 速スイッチ)」(装備されている場合)
8：「Push Button Shift 2nd Gear／ProDrive Mode 2 (押しボタンシフト 2 速／ProDrive モード 2)」スイッチ (装備されている場合)
9：「Push Button Shift 2nd Gear／ProDrive Mode 2 (押しボタンシフト 1 速／ProDrive モード 1)」スイッチ (装備されている場合)
10：「Park Brake (パーキングブレーキ)」スイッチ (装備されている場合)
11 ： 「 Four-Wheel Drive (四 輪 駆 動)」スイッチ (高速) (装備されている場合)
12：Four-Wheel Drive Switch (Slow Speed) (If Equipped)「Four-Wheel Drive (四輪駆動)」スイッチ (低速) (装備されている場合)
13 ： 「 Differential Lock (デ フ ロ ッ ク)」スイッチ (装備されている場合)
14 ： 「 Header Height/HydraFlex™ Pressure (ヘッダー高さ／Hydra Flex 圧力)」制御ダイヤル
15：Dial-A-Speed ダイヤル
16 ： 「 Road Transport Disconnect (道路輸送切断)」スイッチ
17 ： 「 Folding Functions Shortcut Switch (折りたたみ機能ショートカット)」スイッチ (装備されている場合)

注記：機械モデルによっては使用できないスイッチもあります。

機械を運転する前に、スイッチやコントロールに習熟してください。

Harvest Smart は Deere & Company の商標です。
HydraFlex は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0000A9E -40-16NOV10-1/1

ヘッダー接続／フィーダーハウスリバーサスイッチ

「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ (A) を使用すると、ヘッダー駆動装置を ON/OFF にすることができます。前方に押してスイッチを ON 位置にロックするか、スイッチを戻して OFF にします。

注記：フィーダーハウスリバーサを接続すると、リールが反対方向に動き (Rigid および HydraFlex ヘッダーのみ)、作物材がフィーダーハウスから引き出されやすくなります。

高エンジン回転数で運転中にフィーダーハウスリバーサスイッチを接続している場合、エンジンは自動的にディレーティングされ、ローアイドルになります。

「Feeder house reverser (フィーダーハウスリバーサ)」スイッチ (A) は、油圧によりフィーダーハウスギアケースをリバースモードにシフトして、フィーダーハウスやヘッダーの詰まりを除去するために使用されます。

スイッチを押し下げて戻し、フィーダーハウスの詰まりが除去されるまで保持します。

システム要件：

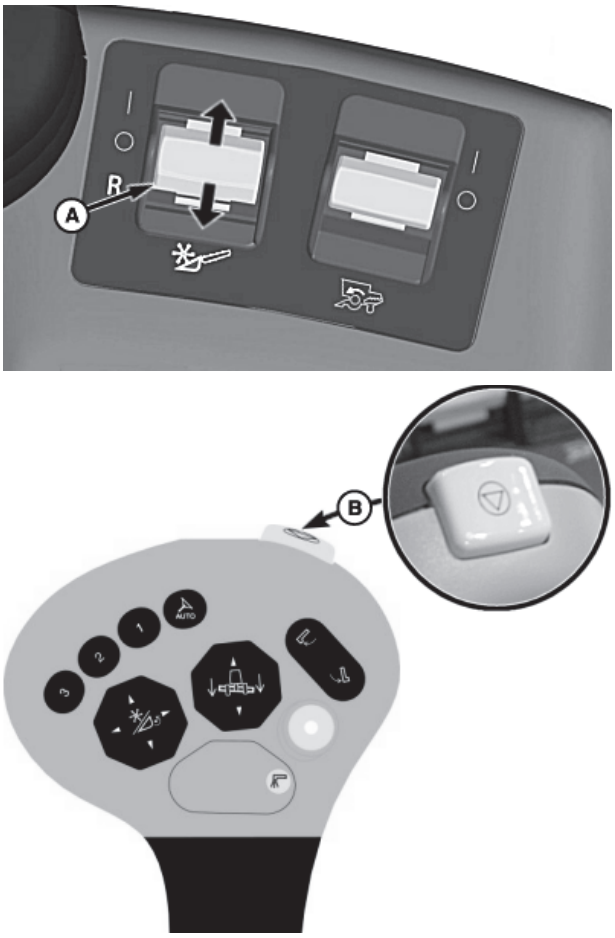
- 機械を始動するには、「Header Engage/Feeder House Reverser (ヘッダー接続/フィーダーハウスリバーサ)」スイッチを OFF にする必要があります。
- 「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチは ON である必要があります。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーを操作するには、オペレータがシートに座っている必要があります。

ヘッダー駆動装置は、マルチファンクションレバーにある「Quick Stop (クイックストップ)」スイッチ (B) を使用して OFF にすることができます。

クイックストップスイッチを使用していた場合にヘッダー駆動装置やアンローディングオーガを接続するには、スイッチを OFF にして ON に戻します。

接続の後にオペレータがシートから離れた場合、ヘッダーは 5 秒間運転を続けてから接続を解除されます。

接続するには、オペレータシートにしっかりと座って スイッチを OFF にし、ON に戻します。



A ： 「 Header Engage/Feeder House Reverser (ヘッダー接続/フィーダーハウスリバーサ)」スイッチ

B：「Quick Stop (クイックストップ)」スイッチ

OUO6075,000043D -40-13DEZ10-1/1

フィーダーハウスリバーサのシフト

注記：高エンジン回転数で運転中にフィーダーハウスリバーサスイッチを接続している場合、エンジンは自動的にローアイドルになります。

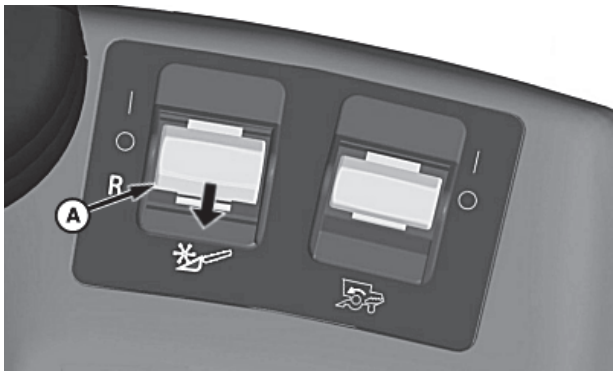
「Header Engage/Feeder House Reverser (ヘッダー接続/フィーダーハウスリバーサ)」スイッチ (A) を OFF にしてエンジンのスロットルをローアイドルに設定します。

「Feeder House Reverser (フィーダーハウスリバーサ)」スイッチを押し下げて戻し、フィーダーハウスの詰まりが除去されるまで保持します。

フィーダーハウスの詰まりが除去されたら、スイッチを放します。

エンジンのスロットルをハイアイドルに設定して、収穫を再開します。

重要：リバーサ駆動装置の OFF と ON を繰り返して、機械から詰まりを除去することは絶対にしないでください。OFF と ON を繰り返すと、コンポーネントの寿命が短くなります。



A ：「 Header Engage/Feeder House Reverser (ヘッダー接続/フィーダーハウスリバーサ)」スイッチ

OUO6075,000043E -40-20NOV09-1/1

セパレータ接続スイッチ

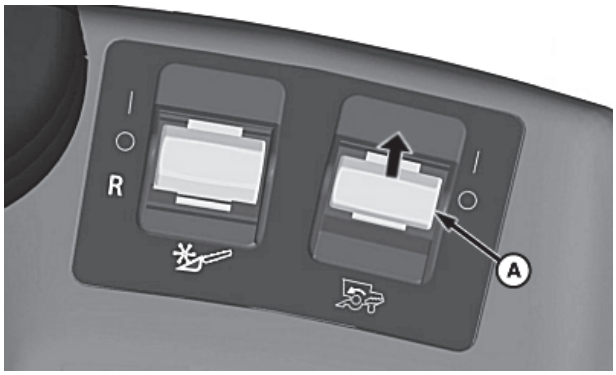
注記：ヘッダーを接続する前にセパレータを接続してください。

「Separator Engage (セパレータ接続スイッチ)」(A) を使用すると、セパレータを ON/OFF にすることができます。前方に押してスイッチを ON 位置にロックするか、スイッチを戻して OFF にします。

システム要件：
- エンジンがローアイドルで運転されている。
- 機械を始動するには、「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチは OFF である必要があります。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

セパレータドライブ回転数調整システムおよびクリーニングファン回転数調整システムは、セパレータが運転されている場合のみ機能します。

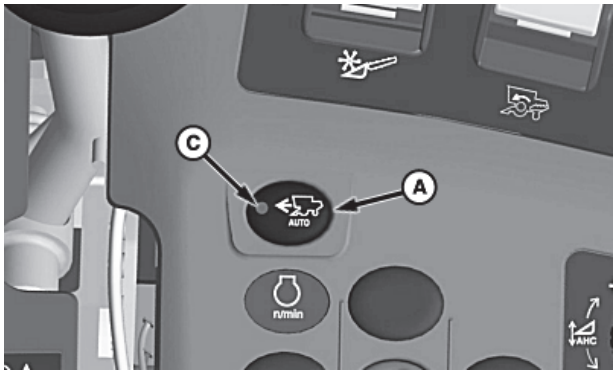
注記：ディスチャージビーター回転数が 300 rpm 未満に低下すると、セパレータの接続は解除されます。



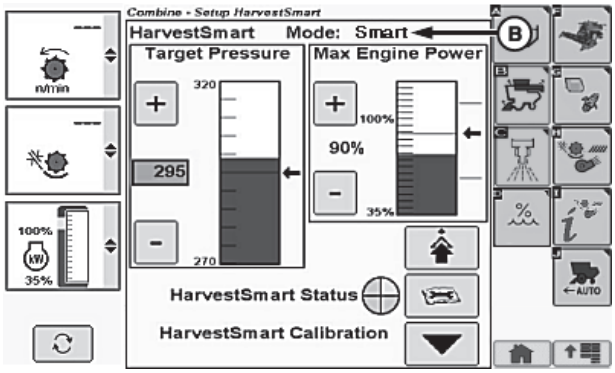
A：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ

OUO6075,000043F -40-28SEP10-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ (装備されている場合)



A：Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ　B：運転モード　C：表示灯



「Harvest Smart™ Feed Rate Enable (Harvest Smart™ フィードレート有効化)」スイッチ (A) を使用して、機械で Harvest Smart™ システムを有効にして 2 つの操作モードを選択できます。

「Harvest Smart™ Feed Rate Enable (Harvest Smart™ フィードレート有効化)」スイッチを 1 回押すと、ディスプレイに画面が表示されます。スイッチをもう一度押すと、異なる操作モード (B) 間で切り替わります。

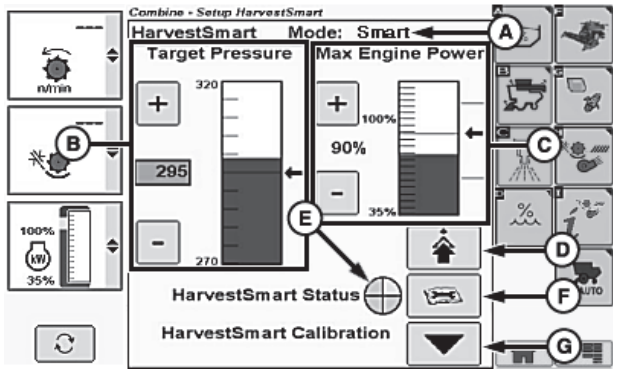
- OFF
- スマート
- 容量

システムがアクティブであることを示す表示灯 (C) が点灯します。

OUO6075,0001808 -40-23MAY14-1/2

以下で運転する詳細については、「Harvest Smart™ Feed Rate」セクションを参照してください。

- 運転モード (A)
  - OFF
  - スマート
  - 容量
- 「Target Pressure (目標圧力)」(B)
- 「Max Engine Power (最大エンジン出力)」(C)
- 「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン (D)
  - 「Max Harvest Speed (最大収穫速度)」
  - 「Sensitivity (感度)」
- 「Harvest Smart™ Status (Harvest Smart™ ステータス)」インジケータ (E)
- 「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン (F)
- 「Harvest Smart™ Calibration (Harvest Smart™ 較正)」アイコン (G)



OUO6075,0001808 -40-23MAY14-2/2

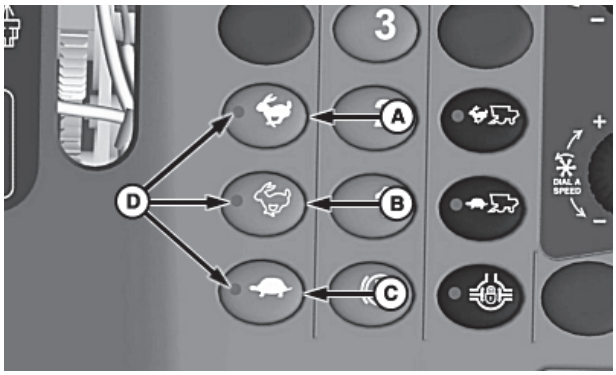
エンジン回転数スイッチ

エンジン回転数スイッチは、エンジン回転数の増減に使用します。

- スイッチ (A) は高回転数用です。
- スイッチ (B) は中回転数用です。
- スイッチ (C) は低回転数用です。

表示灯 (D) は現在どのスイッチが選択されているかを示します。

A：高エンジン回転数
B：中エンジン回転数
C：低エンジン回転数
D：表示灯



OUO6075,0000450 -40-28SEP10-1/1

パーキングブレーキスイッチ (装備されている場合)

注記：機械を最初に始動したとき、システムは手動モードです。コーナーポストのパーキングブレーキ表示灯が点灯し、パーキングブレーキがかかっていることが示されます。パーキングブレーキスイッチを 1 回押して自動モードに入ります。システムが自動モードの場合は、パーキングブレーキ表示灯が消灯します。

パーキングブレーキスイッチ (A) は手動または自動によりパーキングブレーキを ON/OFF して機械の動きを防止します。

自動モード：

注記：マルチファンクションレバーをニュートラル位置にするたびに、またはエンジンを OFF にした場合、パーキングブレーキがかかります。

マルチファンクションレバーがニュートラル位置で、速度が 1.5 km/h (1 mph) 未満の場合、パーキングブレーキがかかります。マルチファンクションレバーをニュートラル位置から動かすと、パーキングブレーキが解除されます。

手動でパーキングブレーキをかける (デフォルトのモード)：

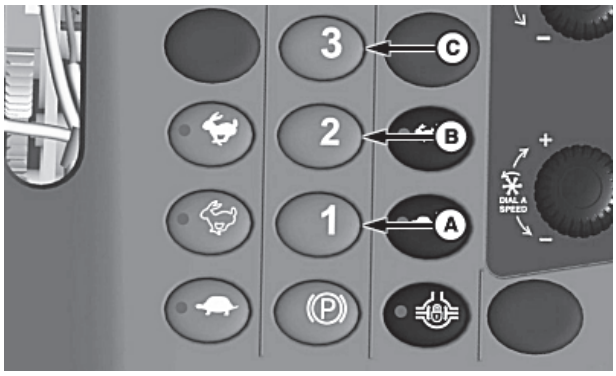
マルチファンクションレバーがニュートラル位置で、速度が 3.0 km/h (1.9 mph) 未満の場合、パーキングブレーキがかかります。マルチファンクションレバーをニュートラル位置から動かした場合、または速度が 1.5 km/h (1 mph) を超えている場合、アラームが鳴ります。

A：パーキングブレーキスイッチ

- **パーキングブレーキをかける：**
  - パーキングブレーキスイッチを押して、パーキングブレーキを作動させます。コーナーポストのパーキングブレーキ表示灯が点灯し、パーキングブレーキがかかっていることが示されます。
- **パーキングブレーキの解除：**
  - マルチファンクションレバーがニュートラル位置のときにパーキングブレーキスイッチを押してパーキングブレーキを解除します。コーナーポストのパーキングブレーキ表示灯が消灯します。マルチファンクションレバーをニュートラル位置から動かして自動モードに戻るまで、パーキングブレーキはかかったままです。

OUO6075,0001706 -40-02JAN14-1/1

押しボタンシフトギアスイッチ (装備されている場合)



注記：タイヤサイズと国の規則により最高対地速度は制限されます。

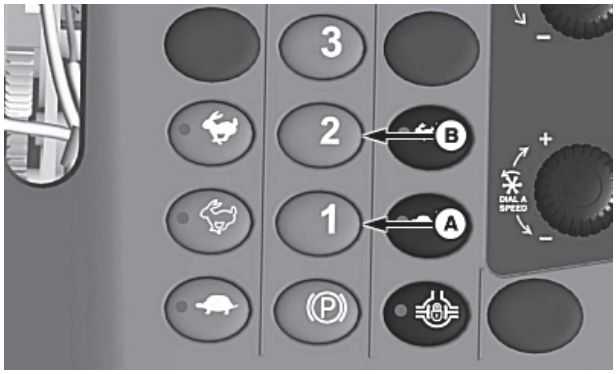
必要なギアを選択する前に機械を停止し、マルチファンクションレバーをニュートラル位置に動かす必要があります。

押しボタンシフトギアスイッチ (A、B、C) はトランスミッション対地速度を電子制御するために使用されます。必要なスイッチを押して、機械の対地速度を増減します。ディスプレイにどのスイッチが押されたかが表示され、トランスミッションが電子制御でシフトするまで点滅します。

A：押しボタンシフト 1 速スイッチ
B：押しボタンシフト 2 速スイッチ
C：押しボタンシフト 3 速スイッチ

OUO6075,0000642 -40-13DEZ10-1/1

ProDrive モード 1、2 スイッチ (ProDrive 装備の機械) (装備されている場合)



A：ProDrive モード 1 スイッチ　　B：ProDrive モード 2 スイッチ

注記：タイヤサイズと国の規則により最高対地速度は制限されます。速度はゼロから最大許容対地速度までプログラムできます。

最大後退対地速度は 10 km/h (6.2 mph) であり、いずれのモードでも変わりません。

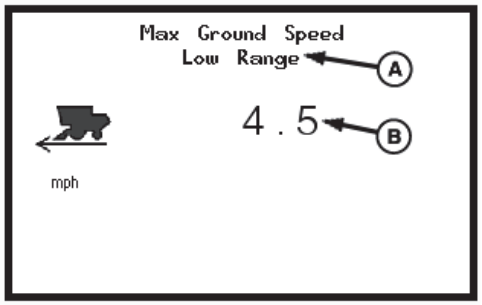
機械が動いているときに ProDrive モード 1 または 2 スイッチを選択できます。

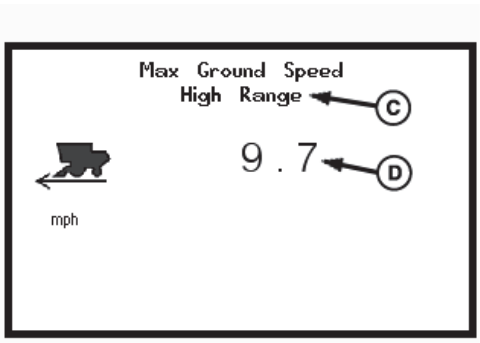
ProDrive モード 1 スイッチ (A) と ProDrive モード 2 スイッチ (B) を使用して、トランスミッション対地速度を電子制御します。スイッチを使用して快適な収穫速度または輸送速度に設定します。必要な対地速度を設定して、マルチファンクションレバーを前方いっぱいに動かすと、機械は選択したモードのセットポイントを超えない速度で運転されます。

1. ProDrive モード 1 または 2 スイッチを押します。コーナーポストディスプレイの表示灯が点灯し、現在選択しているモードが示されます。
2. 必要な機械速度設定に達するまで、プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回します。

次のページへ

OUO6075,0000F82 -40-09FEB12-1/2





CommandCenter ディスプレイには、以下のオペレータ調整設定が表示されます。

注記：モード 1 最高速度は、モード 2 で設定されている現在の最高速度よりも高く設定することはできません。

機械の速度レンジは、図に示すように 0～7.2 km/h (0～4.5 mph) または 0～15.6 km/h (0～9.7 mph) であり、セットポイント速度よりも速く運転することはできません。

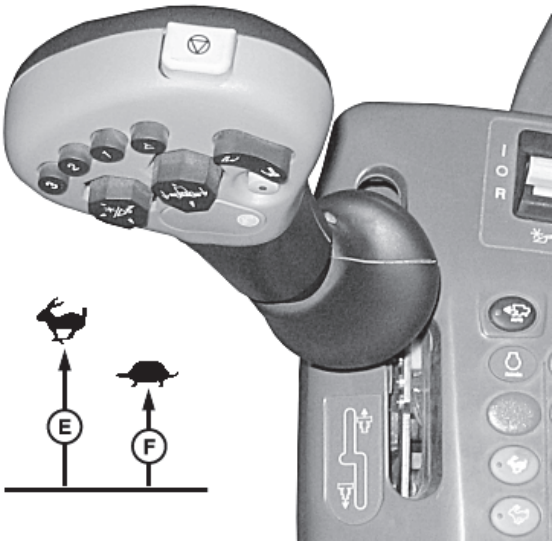
速度の変化はモード 1 とモード 2 の間で発生します。(例：マルチファンクションレバーが中レンジ (4 km/h 2.5 mph) でモード 1 は 8 km/h (5 mph) に設定されます。マルチファンクションレバーが中レンジ (10 km/h；6.2 mph) でモード 2 は 20 km/h (12.4 mph) に設定されます。現在の対地速度はモード間で増加します)。

最高対地速度ローレンジ (モード 1)：

- ProDrive モード 1 スイッチを選択すると、「Max Ground Speed Low Range (最高対地速度ローレンジ)」(A) が表示されます。
  - ディスプレイに現在のセットポイント速度 (B) が表示されます。
  - 選択ダイヤルを回転させると、マルチファンクションレバーの位置に関係なく機械の対地速度がゆっくりと増減します。

最高対地速度ハイレンジ (モード 2)：

- ProDrive モード 2 スイッチを選択すると、「Max Ground Speed High Range (最高対地速度ハイレンジ)」(C) が表示されます。
  - ディスプレイに現在のセットポイント速度 (D) が表示されます。
  - 選択ダイヤルを回転させると、マルチファンクションレバーの位置に関係なく機械の対地速度がゆっくりと増減します。



A：最高対地速度ローレンジ
B：現在のセットポイント速度
C：最高対地速度ハイレンジ
D：現在のセットポイント速度
E：高加速レンジ
F：低加速レンジ

注記：最大セットポイントよりも大きい場合、機械の動きがよりアグレッシブであることを意味します。精密な動きを実行している場合 (ヘッダーの取り付けなど) は、低い最大セットポイントでローレンジを使用することが常に最適です。

- **例 1**：ヘッダーを機械に取り付けて目的の作物を収穫している。モード 1、1.6 km/h (1 mph) に設定。モード 2 、11.3 km/h (7 mph) に設定。
- **例 2**：水路に接近して目的の作物を収穫している。モード 1、4.8 km/h (3 mph) に設定。モード 2 、11.3 km/h (7 mph) に設定。

OUO6075,0000F82 -40-09FEB12-2/2

四輪駆動スイッチ (装備されている場合)

重要：最高走行速度を機械を運転中に、四輪駆動スイッチを ON または OFF にしないでください。速度を落とすか、機械を停止してください。

急な勾配を下る前に四輪駆動を OFF にしてください。

ProDrive 非装備の機械：ハイドロスタティックシステムで高圧が発生する条件や機械を遅くなるまたは停止する条件では、マルチファンクションレバーをニュートラルに動かして、トランスミッションを低いギアにシフトしてください。

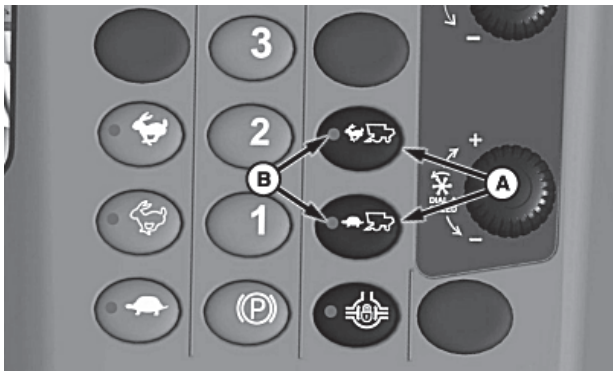
収穫中、動いているときにロー (カメ) とハイ (ウサギ) の間で切り替えることは問題ありません。

四輪駆動スイッチ (A) を使用して四輪駆動システムの速度を制御します。

いずれかの四輪駆動スイッチを 1 回押して ON または OFF にします。いずれかのスイッチの表示灯 (B) が点灯し、どのスイッチを選択したか示されます。

さらにトラクションが必要な場合は下のスイッチ (カメ) を押し、高い速度が必要な場合は上のスイッチ (ウサギ) を押します。

注記：ほとんどの条件で、後輪の前に前輪がスピンする (トラクションを失う) のは正常です。極端にぬかるんだ条件では、両方のブレーキをかけて四輪駆動モーターへのハイドロスタティック圧力を瞬間的に増やすことが必要になることがあります。ProDrive 非装備の機械：後輪が過剰にスピンする場合は、トランスミッションを低いギアにシフトしてください。



A：「Four-Wheel Drive (四輪駆動)」スイッチ　B：表示灯

四輪駆動を低い (カメ) 速度に維持して機械を最大トルク能力で運転できるようにすることをお勧めします。後輪を対地速度よりも速くスピンさせる必要がある場合のみ高い (ウサギ) 速度を使用することをお勧めします。

警戒：ProDrive 非装備の機械：対地速度は OFF にすると増加し、ON にすると減少します。

OUO6075,0000F83 -40-09FEB12-1/1

デフロックスイッチ (装備されている場合)

注記：道路輸送切断スイッチが ON の場合、デフロックは連結されません。ブレーキペダルを踏み込むと、ディファレンシャルは連結解除されます。

対地速度が 10 km/h (6.2 mph) 未満の場合のみ連結が可能で、対地速度が 12 km/h (7.5 mph) を超えると、自動的に連結解除されます。

デフロックスイッチ (A) を手動でデフロックを連結／連結解除して圃場でのトラクションの問題を解決します。システムがアクティブである場合、表示灯 (B) が点灯します。

A：デフロックスイッチ
B：表示灯

OUO6075,0000F85 -40-09FEB12-1/1

ヘッダー高さ／HydraFlex™ 圧力制御ダイヤル

ヘッダー高さ制御ダイヤル (A) を使用して、地面に対するヘッダーの位置を選択し、自動的にその位置に戻すことができます (「CommandTouch キャビンコーナーポスト」セクションの「ヘッダー高さ再開」および「ヘッダー高さ検出」を参照してください)。

プラス (+) 記号の方向にダイヤルを回してヘッダーとセットポイントを上げるか (HydraFlex 圧力上昇機能を装備している場合)、マイナス (-) 記号の方向に回してヘッダーとセットポイントを下げます (HydraFlex 圧力上昇機能を装備している場合)。

A : ヘッダー高さ／HydraFlex 圧力制御ダイヤル

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0000445 -40-20NOV09-1/1

Dial-A-Speed™ ダイヤル

リール回転数／ベルトピックアップ回転数の自動調整

Dial-A-Speed™ ダイヤル (A) を使用して、オペレータが決定したリールまたはベルトピックアップの回転数を変更します。操作速度は、機械の対地速度とリールまたはベルトの回転数の比です (「CommandTouch™ キャビンコーナーポスト」セクションの「Dial-A-Speed™ システム」を参照してください)。

ダイヤルをプラス (+) 記号の方向に回して、リールまたはベルトピックアップの回転数とセットポイントを増やすか、マイナス (-) 記号の方向に回してリールとベルトピックアップの回転数およびセットポイントを減らします。

リール回転数／ベルトピックアップ回転数の手動調整

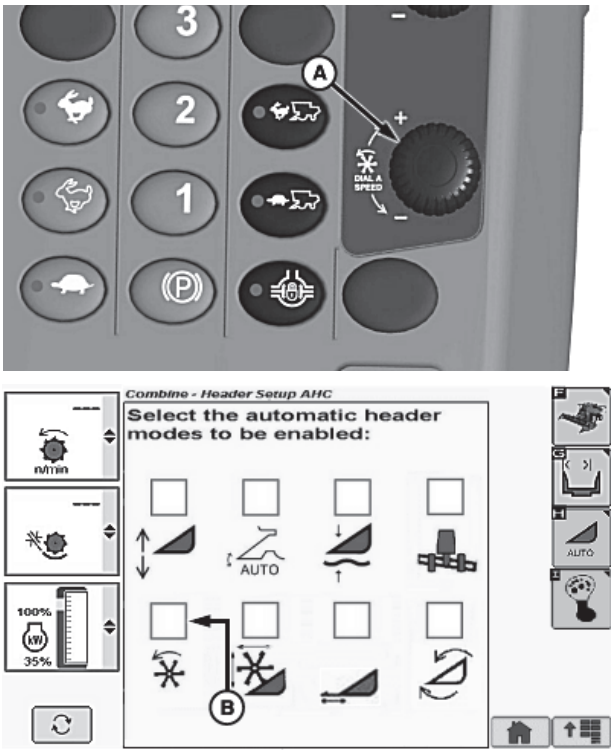
「Dial-A-Speed™ アイコン」(B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して自動調整システムを無効にし、手動制御を有効にします。

Dial-A-Speed™ ダイヤルを回して、リールまたはベルトピックアップの回転数を手動で変更します。

ダイヤルをプラス (+) 記号の方向に回して、リールまたはベルトピックアップの回転数を増やすか、マイナス (-) 記号の方向に回してリールとベルトピックアップの回転数を減らします。

次の場合、システムは手動モードです。

- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーとセパレータが接続されている。
- Dial-A-Speed™ が無効になっている。または機械の速度が 0.25 km/h (0.16 mph) 未満の場合。



A : Dial-A-Speed™ ダイヤル **B : Dial-A-Speed™ アイコン**

注記 : ダウンコーン用のリールを取り付けたコーンヘッドは手動モードでのみ作動します。

リールを有効にしている必要があります。詳細については、「CommandCenter™ ディスプレイ画面」セクションの「ヘッダーの設定の変更」を参照してください。

Dial-A-Speed は Deere & Company の商標です。
CommandTouch は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001753 -40-06FEB14-1/1

道路輸送切断スイッチ

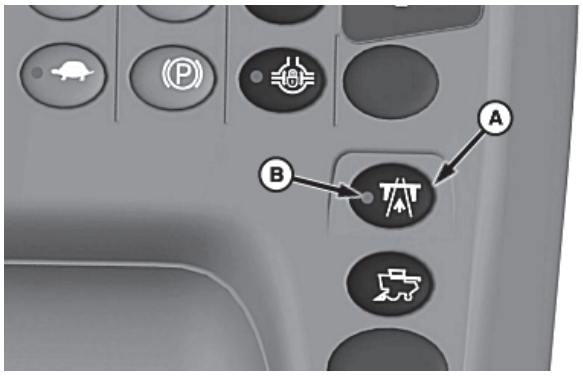
警戒：ProDrive 装備の機械：セパレータを接続した状態でクイックストップスイッチを押すと、機械はすぐに停止します。大けがをしないようにシートベルトを必ず着用してください。

注記：セパレータが接続されている場合、機械は道路モードに入りません。セパレータが接続されていることを示す警告アラームメッセージが表示されます。セパレータを OFF にして道路輸送切断スイッチを入れます。

機械を道路で輸送する際は、道路輸送切断スイッチ (A) が道路位置である必要があります。

道路輸送切断スイッチを押すと、スイッチが道路位置であることを示す表示灯 (B) が点灯します。道路輸送切断スイッチは以下の機能を禁止します。

- セパレータの接続
- ヘッダーの接続
- ヘッダーの昇降
- ヘッダー高さ再開
- ヘッダー高さ検出
- 横方向傾斜



A：「Road Transport Disconnect (道路輸送切断)」スイッチ　B：表示灯

- リールの昇降とリール前後
- アンローディングオーガ
- オーガ旋回
- 動力折りたたみ式オーガ (装備されている場合)
- グレインタンクカバー (装備されている場合)

機械を道路で輸送した後、圃場で運転する場合は、道路輸送切断スイッチを **2 秒**間押して、表示灯を消灯させ、必要なスイッチの機能を復帰させます。

OUO6075,000061F -40-11OCT10-1/1

折りたたみ機能ショートカットスイッチ (装備されている場合)

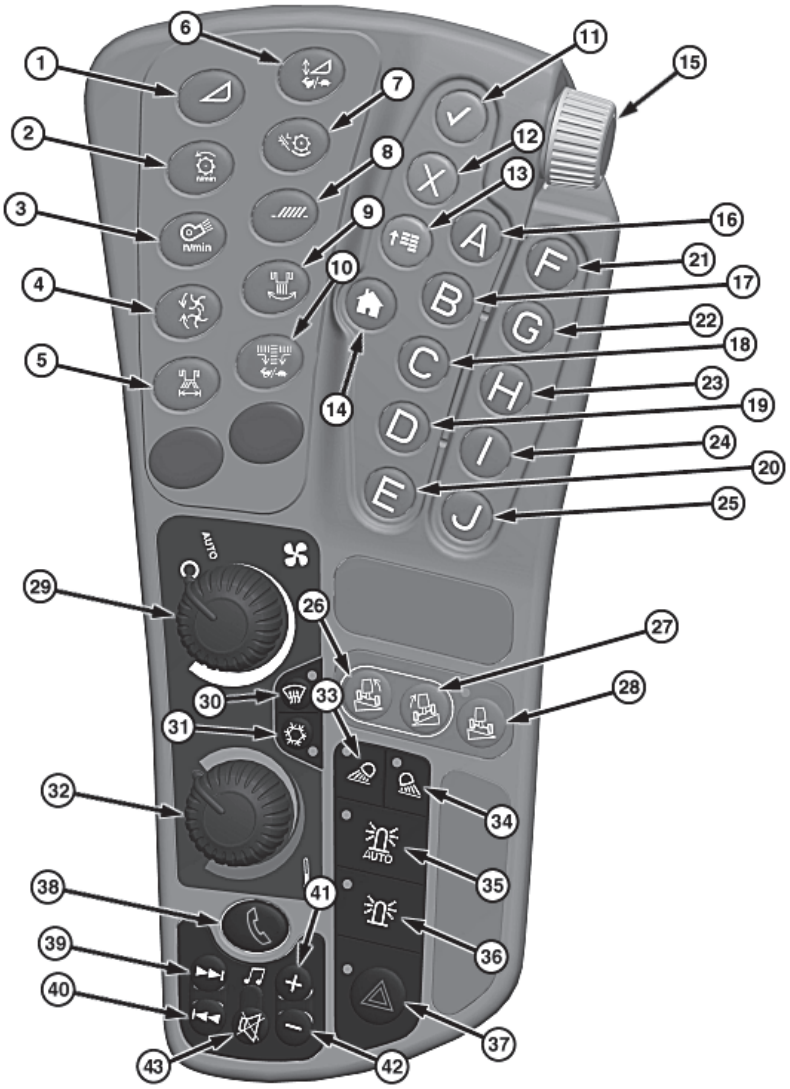
注記：すべてのオプションの折りたたみ機能が画面に表示されます。折りたたみ機能は、オプションに応じて常に画面の上部に表示されます。

折りたたみ機能スイッチショート (A) を使用すると、折りたたみ機能の設定画面に直接進むことができます。折りたたみ機能の詳細については、「CommandCenter ディスプレイ画面」セクションの「折りたたみ機能の設定」を参照してください。

A：折りたたみ機能ショートカットスイッチ

OUO6075,0000468 -40-28SEP10-1/1

CommandARM™ コントロール



1：「Header Adjustment (ヘッダー調整)」スイッチ
2：「Threshing Speed Adjust (脱穀速度調整)」スイッチ
3：「Cleaning Fan Speed Adjust（クリーニングファン回転数調整)」スイッチ
4：スプレッダー回転数およびシュラウド調整スイッチ
5：「Discharge Swap Switch (ディスチャージスワップ)」スイッチ (装備されている場合)
6：「Feeder House Rate/Sensitivity Adjust (フィーダーハウスレート／感度調整)」スイッチ
7：「 Threshing Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチ
8：「Chaffer/Sieve Adjust (チャファー／ふるい調整)」スイッチ
9：テールボード羽根角度調整スイッチ (装備されている場合)
10：「Side Belt Speed Reduction（サイドベルト速度低減)」スイッチ
11：「Confirm (確定)」スイッチ
12：「Cancel (キャンセル)」スイッチ
13：「 Main Menu (メインメニュー)」スイッチ
14：「Home (ホーム)」スイッチ
15：選択ダイヤル
16：25：A～J：ショートカットスイッチ
26：HillMaster™ 手動傾斜左スイッチ (装備されている場合)
27：HillMaster™ 手動傾斜右スイッチ (装備されている場合)
28：HillMaster™ 自動水平調整制御スイッチ (装備されている場合)
29：ファン速度制御ダイヤル
30：デフロスタスイッチ
31：エアコンスイッチ
32：温度コントロールダイヤル
33：ワークライト 1 (フロント刈り株) スイッチ
34：ワークライト 2 (リア排出) スイッチ
35：オートビーコンライトスイッチ
36：ビーコンライトスイッチ
37：ハザード警告灯スイッチ
38：プッシュツートークスイッチ (装備されている場合)
39：シークフォワードスイッチ (装備されている場合)
40：シークリバーススイッチ (装備されている場合)
41：容量増加スイッチ (装備されている場合)
42：容量減少スイッチ (装備されている場合)
43：ミュートスイッチ (装備されている場合)

注記：すべての機械モデルで、CommandARM™ のすべてのスイッチが利用できるわけではありません。

機械を運転する前に、スイッチやコントロールに習熟してください。

CommandARM は Deere & Company の商標です。

ヘッダー調整スイッチ

注記：機械のオプションおよびヘッダータイプによっては、スイッチを押す回数が異なります。ディスプレイに必要な調整が表示されるまでスイッチを押します。

必要に合わせてヘッダー調整スイッチ (A) を押して、以下の機能を調整します。

カッターバー圧力調整

注記：HydraFlex プラットフォームのみで機能します。

カッターバー圧力調整を使用して、カッターバー内の圧力を増減できます。

1. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、圧力とセットポイントを増減します。
2. ディスプレイに調整設定が表示されます。

フロート位置調整

注記：600D ドレーパーのみで機能します。

フロート位置を調整するには、ヘッダー高さ検出 (地面から離れた状態) を有効にしている必要があります。ヘッダー高さ検出 (地面に接した状態) では、この機能を利用できません。

フロート圧力を調整するには、ヘッダー高さ検出を無効にする必要があります。

フロート位置調整を使用して、ゲージホイールとフロートフレームシリンダ内の圧力を増減できます。

1. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、ゲージホイールとフロートフレームシリンダの圧力およびセットポイントを増減します。
   - 値は 1〜10 の間で調整可能で、既定値は 5 です。
   - 平坦な場所の機械の設定は 3 以下である必要があります。
   - 横方向傾斜の機械では、設定を 5 から始める必要があります。

注記：刈高が (左から右に) 水平ではない問題がある場合は、設定を低くする必要があります。急こう配では値を低くする必要があります。

2. ディスプレイに調整設定が表示されます。

ベルト速度調整

注記：ドレーパーおよびベルトピックアップのみで機能します。

ドレーパーベルト速度調整を使用して、ベルト速度を増減できます。

1. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回してベルト速度を増減します。
2. ディスプレイに調整設定が表示されます。

ドレーパーカッターバー傾斜調整

注記：600 シリーズドレーパーのみで機能します。

A：ヘッダー調整スイッチ

ドレーパーカッターバー傾斜調整を使用すると、カッターバー角度を増減できます。

1. プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回してカッターバー角度を調整します。
   - カッターバーの下向きの傾斜を増やします。
   - カッターバーの上向きの傾斜を増やします。
2. ディスプレイに調整設定が表示されます。

油圧フィーダーハウス前後傾斜調整

注記：油圧フィーダーハウス前後傾斜を装備している場合のみ機能します。

油圧フィーダーハウス前後傾斜調整を使用して、フィーダーハウス傾斜フレームの角度を増減します。

1. プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回してフィーダーハウス傾斜フレームの角度を調整します。
   - フィーダーハウス傾斜フレームの前方への傾斜角度を増やします。
   - フィーダーハウス傾斜フレームの後方への傾斜角度を減らします。
2. ディスプレイに調整設定が表示されます。

カッターバー前後位置の調整

注記：欧州向け 600X ヘッダープラットフォームでのみ作動します。

カッターバー位置調整により、カッターバーの位置をコントロールすることができます。

1. プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回してカッターバーの位置を調整します。
   - 「Increase (増加)」によりカッターバーの位置を前に伸ばします。
   - 「Decrease (減少)」によりカッターバーの位置を後に縮めます。
2. ディスプレイに調整設定が表示されます。

OUO6075,00017CB -40-23APR14-1/1

脱穀速度調整スイッチ

「Threshing Speed Adjust (脱穀速度調整)」スイッチ (A) を使用して、脱穀速度を増減します。

1. セパレータを接続します。
2. 「Threshing Speed Adjust (脱穀速度調整)」スイッチを押します。
3. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、脱穀速度を増減します。
4. ディスプレイに調整設定が表示されます。

注記：脱穀速度スイッチにより、タコメータは低回転数アラームにリセットされます。脱穀速度を変更するたびにアラームもリセットされます。脱穀速度はオイル温度が高くなるにつれて 4 時間で約 30 rrpm 増加することがあります。必要に応じて脱穀速度を調整してください。

A：「Threshing Speed Adjust (脱穀速度調整)」スイッチ

OUO6075,000044A -40-28SEP10-1/1

クリーニングファン回転数調整スイッチ

「Cleaning Fan Speed Adjust (クリーニングファン回転数調整)」スイッチ (A) を使用して、クリーニングファン回転数を増減します。

1. セパレータを接続します。
2. 「Cleaning Fan Speed Adjust (クリーニングファン回転数調整)」スイッチを押します。
3. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、クリーニングファン回転数を増減します。
4. ディスプレイに調整設定が表示されます。

ファン回転数モーターは、以下の条件が発生した場合、モーターの機能が停止するサーマル (熱) 遮断機能を備えています。

- スイッチは 2、3 分以上の間続けて使用できます。
- 調整システムは停止に備えますが、モーターは回転数の変更を試行します。
- リンケージの極端な固着または引きづり

A：「Cleaning Fan Speed Adjust (クリーニングファン回転数調整)」スイッチ

上記の原因が疑われる場合は、必要に応じて清掃と調整を行ってください。

注記：スイッチをオンにする前に、モーターを 10～15 分放置して冷ましてください。

OUO6075,000044B -40-28SEP10-1/1

スプレッダー回転数調整スイッチ (わらスプレッダー および PowerCast™ テールボードスプレッダー)

シングルスピードスプレッダー (装備されている場合) :

注記：スプレッダー回転数は、セパレータの接続を解除した状態で調整できます。これにより、スプレッダーセットポイント回転数を調整できます。セパレータが接続されている場合、スプレッダーはプリセット回転数で作動します。

スプレッダー回転数の範囲は 0～550 rpm です。必要な拡散幅に達するまでスプレッダー回転数を増やします。

スプレッダー回転数調整スイッチ (A) を使用して、キャビン内から両方のスプレッダーディスクの回転数を増減します。

1. 「Spreader Speed Adjust (スプレッダー回転数調整)」スイッチを押します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、スプレッダー回転数を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

注記：スプレッダーを使用しない場合は、スプレッダー回転数をゼロに設定してください。

デュアルスピードスプレッダー (装備されている場合) :

注記：スプレッダー回転数は、セパレータの接続を解除した状態で調整できます。これにより、スプレッダーセットポイント回転数を調整できます。セパレータが接続されている場合、スプレッダーはプリセット回転数で作動します。

スプレッダー回転数の範囲は 0～550 rpm です。必要な拡散幅に達するまでスプレッダー回転数を増やします。

スプレッダー回転数調整スイッチ (A) を使用して、キャビン内から両方のスプレッダーディスクの回転数を一緒にまたは個別に増減します。

1. スプレッダー回転数調整スイッチ：
   - スイッチを 1 回押して両方のスプレッダーディスクの回転数を調整します。
   - スイッチを 2 回押して左側のスプレッダーディスクの回転数を調整します。
   - スイッチを 3 回押して右側のスプレッダーディスクの回転数を調整します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、スプレッダー回転数を増減します。

A : 「 Spreader Speed Adjust (スプレッダー回転数調整)」スイッチ

3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

注記：スプレッダーを使用しない場合は、スプレッダー回転数をゼロに設定してください。

PowerCast™ テールボードスプレッダー (装備されている場合) :

注記：スプレッダー回転数は、セパレータの接続を解除した状態で調整できます。これにより、スプレッダーセットポイント回転数を調整できます。セパレータが接続されている場合、スプレッダーはプリセット回転数で作動します。

スプレッダー回転数の範囲は 0～550 rpm です。必要な拡散幅に達するまでスプレッダー回転数を増やします。

スプレッダー回転数調整スイッチ (A) を使用して、キャビン内から両方のスプレッダーディスクの回転数を一緒にまたは個別に増減します。

1. スプレッダー回転数調整スイッチ：
   - スイッチを 1 回押して両方のスプレッダーディスクの回転数を調整します。
   - スイッチを 2 回押して左側のスプレッダーディスクの回転数を調整します。
   - スイッチを 3 回押して右側のスプレッダーディスクの回転数を調整します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、スプレッダー回転数を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

PowerCast は John Deer の商標です。

シュラウド調整スイッチ (Advanced PowerCast™ テールボードスプレッダー)

Advanced PowerCast™ テールボードスプレッダー (装備されている場合) :

注記：スプレッダー回転数の調整の詳細については、「CommandCenter™ ディスプレイ画面」セクションの「残留物管理の設定」を参照してください。

スプレッダー回転数の範囲は次のとおりです。

- 350～550 rpm (トウモロコシ) (既定値 500 rpm)
- 600～800 rpm (小粒穀物) (既定値 700 rpm)

A：スプレッダー回転数調整スイッチ

スプレッダー回転数調整スイッチ (A) を使用して、キャビン内から両方のスプレッダーディスクのシュラウド拡散幅の割合またはオフセットを増減します。

注記：スイッチを 1 回押して拡散幅を調整するか、スイッチを 2 回押してオフセットを調整します。

Advanced PowerCast™ テールボードスプレッダーは、個別に調整可能なシュラウドを使用してスプレッダーディスクを覆います。これにより、残留物の拡散幅と方向を調整します。スプレッダーディスクのより多くの部分が覆われるようにシュラウドを調整すると、材料は機械からさらにその方向に押されます。

幅調整 :

1. スイッチを **1 回**押して拡散幅を調整します。

注記：0～100% の範囲を入力することにより、両方のスプレッダーディスクで両方のシュラウドが動き、拡散幅が均一に増えます。

例：機械には無風状態で 10.7 m (35 ft) のヘッダーが装備されています。既定のスプレッダー幅は 0% です。0% 設定では、残留物はヘッダー端から 1 m (3 ft) 短く拡散されます。スイッチを 1 回押して拡散幅の値を調整します。拡散幅を 50% に増やすと、両方のシュラウドが同じ量だけ動きます。これにより左右の拡散幅が必要な概略の幅に増加します。

2. 必要な桁を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：必要な値が表示されるまで手順を繰り返します。

3. 「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要な値を保存します。

4. ディスプレイに調整設定が表示されます。

オフセットの調整 (風補正) :

1. スイッチを **2 回**押してスプレッダーオフセットを調整します。

注記：0～100% 左または右の範囲を入力すると (ディスプレイの矢印で表示) 、残留物はその方向に拡散されます。

例：機械には風向きが機械の右側からの状態で 10.7 m (35 ft) のヘッダーが装備されています。ヘッダーの全幅に拡散するには (無風状態) 、拡散幅を 50% に設定します。シュラウドのオフセットを 0% に設定すると、残留物を風向き (右側) に対して 1 m (3 ft) 短く拡散し、風向き (左側) に沿って 1 m (3 ft) 遠く拡散します。スイッチを 2 回押してシュラウドのオフセット値を調整します。オフセット値を 50% に増やすと、左シュラウドを内側に動かし (左側の拡散幅を減らし) 、右シュラウドを外側に動かします (右側の拡散幅を増やします)。

2. 必要な桁を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：必要な値が表示されるまで手順を繰り返します。

3. 「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して必要な値を保存します。

4. ディスプレイに調整設定が表示されます。

PowerCast は John Deer の商標です。
CommandCenter は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001811 -40-28MAY14-1/1

ディスチャージスワップスイッチ (装備されている場合)

チョッパー羽根 (装備されている場合) : 「Discharge swap (ディスチャージスワップ)」スイッチ (A) はチョッパー羽根を右から左にまたは左から右に動かします。

デュアルスピードスプレッダー (装備されている場合) : 「Discharge swap (ディスチャージスワップ)」スイッチ (A) は、スプレッダーディスクの速度を上げ下げしてスプレッダー回転数を自動的に調整します。

PowerCast テールボードスプレッダー (装備されている場合) : 「Discharge swap (ディスチャージスワップ)」スイッチ (A) は、スプレッダーディスクの速度を上げ下げしてスプレッダー回転数を自動的に調整します。

Advanced PowerCast テールボードスプレッダー (装備されている場合) : 「Discharge swap (ディスチャージスワップ)」スイッチ (A) は、スプレッダーディスクを覆っているスプレッダーシュラウドを自動的に調整します。

注記 : 例 : 風が刈り取られていない作物に向かっている籾殻やわらに風が吹いている場合、または畝の端部に到達し、反対方向に戻る場合は、スイッチを押して次の操作を自動的に行います。

A : 「 Discharge Swap Switch (ディスチャージスワップ)」スイッチ

- チョッパー羽根を自動的に反対側に動かします。
- スプレッダー回転数を自動的に反対側に動かします。
- スプレッダーシュラウドを自動的に反対側に動かします。

OUO6075,000046D -40-19NOV10-1/1

フィーダーハウスレート／感度調整スイッチ

「Feeder house rate/sensitivity adjust (フィーダーハウスレート／感度調整)」スイッチ (A) を使用すると、不均一な地面に対して補正を行い、ヘッダーの水平および垂直位置を制御できます。システムはプリセット位置と実際の位置を連続して補正し、ヘッダーを必要な作業位置に維持します。

手動昇降速度：

手動昇降速度は、手動制御の場合または自動高さ再開モード時のヘッダー昇降機能の応答速度を制御します。

注記：調整時、ディスプレイにレート設定が表示されます。設定は 0〜100 の間で調整されます。

1. 「Feeder House Rate/Sensitivity Adjust (フィーダーハウスレート／感度調整)」スイッチ (A) を **1 回**押して手動昇降速度を選択します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して応答速度を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

ヘッダー高さ感度：

高さ検出およびアクティブヘッダーフロート圧力感度 (自動機能) は、自動検出および自動フロートモード時のヘッダー動作の応答速度を制御します。

注記：調整時はディスプレイに感度設定が表示されます。設定は 0〜100 の間で調整されます。

1. 「Feeder House Rate/Sensitivity Adjust (フィーダーハウスレート／感度調整)」スイッチ (A) を **2 回**押してヘッダー高さ感度を選択します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して感度を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

手動傾斜速度：

注記：手動傾斜速度機能は、横方向傾斜機能を備えたクローズドセンター油圧の機械のみで機能します。

手動傾斜速度では、手動レートモード時の横方向傾斜動作の応答を制御します。

A：「Feeder House Rate/ Sensitivity Adjust (フィーダーハウスレート／感度調整)」スイッチ

注記：調整時、ディスプレイにレート設定が表示されます。設定は 0〜100 の間で調整されます。

1. 「Feeder House Rate/Sensitivity Adjust (フィーダーハウスレート／感度調整)」スイッチ (A) を **3 回**押して手動傾斜速度を選択します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して傾斜速度を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

自動傾斜感度：

注記：自動傾斜感度速度機能は、横方向傾斜機能を装備している機械のみで作動します。

自動傾斜感度は、自動検出時および自動フロートモード時の横方向傾斜の動きの応答速度を制御します。

注記：調整時はディスプレイに感度設定が表示されます。設定は 0〜100 の間で調整されます。

注記：フィーダーハウス横方向傾斜感度速度機能は、横方向傾斜機能を装備している機械のみで作動します。

1. 「Feeder House Rate/Sensitivity Adjust (フィーダーハウスレート／感度調整)」スイッチ (A) を **4 回**押して自動傾斜感度を選択します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して傾斜感度を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

OUO6075,0000447 -40-01DEZ10-1/1

脱穀隙間調整スイッチ

「Threshing clearance adjust (脱穀速度調整)」スイッチ (A) を使用して、コンケーブ隙間を増減します。

1. 「Threshing Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチを押します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、脱穀隙間を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

A：「Threshing Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチ

OUO6075,00004D3 -40-28SEP10-1/1

チャファー／ふるい調整スイッチ

「Chaffer/Sieve (チャファー／ふるい)」調整スイッチを使用して、チャファー／ふるいの隙間の量を増減します。

チャファーの調整

1. スイッチを **1 回**押してチャファー隙間を調整します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、チャファー隙間を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

ふるいの調整

1. スイッチを **2 回**押してふるい隙間を調整します。
2. プラス (+) 記号またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して、ふるい隙間を増減します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

A：「Chaffer/Sieve Adjust (チャファー／ふるい調整)」スイッチ

OUO6075,00004D4 -40-07OCT10-1/1

テールボード羽根角度調整スイッチ (装備されている場合)

テールボード羽根調整スイッチ (A) を使用して、キャビン内からテールボード羽根の方向を調整します。

1. テールボード羽根角度調整スイッチを押します。
2. プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回してテールボード羽根を左または右に調整します。
3. ディスプレイに調整設定が表示されます。

A：テールボード羽根角度調整スイッチ

OUO6075,0001812 -40-28MAY14-1/1

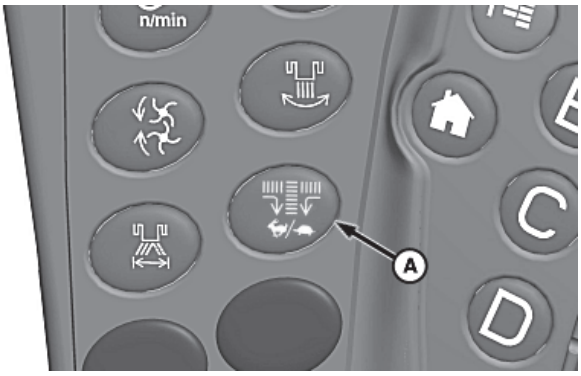
サイドベルト速度低減スイッチ

注記：ドレーパープラットフォームのみで機能します。

不規則な形状の圃場であるために作物をプラットフォームの片側で収穫しているときは、サイドドレーパーベルト速度を遅くすると、供給性能が向上します。

サイドベルト速度低減スイッチ (A) を使用すると、ドレーパーベルトの速度を工場出荷時のセットポイント速度に自動的に下げることができます。

1. 「Side Belt Speed Reduction (サイドベルト速度低減)」スイッチを押します。
2. ディスプレイに低速モードがオンになっていることが表示され、ドレーパーベルト速度速度が工場出荷時のセットポイント速度に自動的に低下します。
3. 低速モードのときにベルト速度低減スイッチをもう一度押すか、手動でベルト速度を調整しようとすると、ベルト速度はオペレータが設定した元の速度に自動的に戻ります。



A：「Side Belt Speed Reduction (サイドベルト速度低減)」スイッチ

注記：現在のドレーパーベルト速度が工場出荷時のセットポイント速度よりも遅くなると、システムは接続解除され、診断トラブルコードが表示されます。

工場出荷時のセットポイント速度を調整する必要がある場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00017AA -40-26MAR14-1/1

オペレータインターフェースコントロール

- **選択ダイヤル (A)**：CommandCenter ディスプレイの項目から項目に「フォーカス」を移動することができます。項目が強調表示されると、強調表示されているオブジェクトについて説明する「ツールチップ」が表示されます。選択ダイヤルを使用してデータを入力し、数値を増減することもできます。
  - 選択ダイヤルを前方へ回すと入力ボックスの値が増加します。
  - 選択ダイヤルを後方へ回すと入力ボックスの値が減少します。
- **「Confirm (確定)」スイッチ (B)**：CommandCenter ディスプレイ上の必要な「フォーカス」領域を選択するか、強調表示されている操作を確認できます。
- **「Cancel (キャンセル)」スイッチ (C)**：オペレータはディスプレイ上の操作をいつでもキャンセルまたは選択解除できます。
- **「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (D)**：CommandCenter ディスプレイで実行されているアクティブな「アプリケーション」を変更するために使用します。メニューの項目やアプリケーションには、次のものがあります。
  - メッセージセンター
  - ディスプレイの設定
  - レイアウトマネージャ
  - コンバイン
  - パフォーマンスモニタ
  - GreenStar
  - ビデオ
- **ホームスイッチ (E)：ホームページに戻ることができます。**

A：選択ダイヤル
B：「Confirm (確定)」スイッチ
C：「Cancel (キャンセル)」スイッチ
D：「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ
E：「Home (ホーム)」スイッチ

- **ショートカットスイッチ (F)：2 次ディスプレイユニットまたは GreenStar ディスプレイ (装備されている場合) の対応するアイコンを選択できます。**

OUO6075,00004D5 -40-07OCT10-1/1

セットポイントモード (手動または自動)

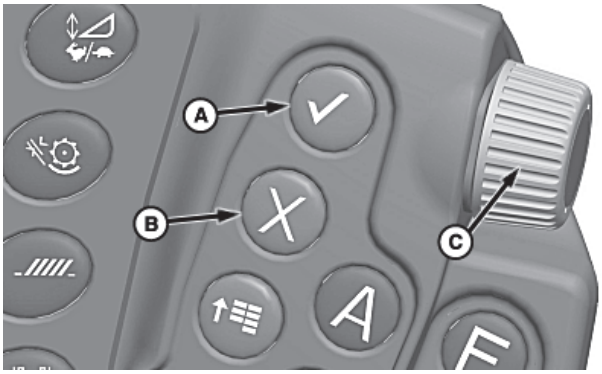
セットポイント画面が表示されているときに「Confirm (確定)」スイッチ (A) または「Cancel (キャンセル)」スイッチ (B) を押すと、セットポイント画面が消えてホームページに戻ります。

調整中に「確認 (Confirm)」スイッチまたは「キャンセル (Cancel)」スイッチを押すと、次のようになります。

- 調整中に「Confirm (確定)」スイッチを押した場合
  - 手動モード：システムが非アクティブになります。
  - 自動モード：システムはバックグラウンドで調整を続けます。

- 調整中に「Cancel (キャンセル)」スイッチを押した場合
  - 手動モード：システムが非アクティブになります。
  - 自動モード：システムが非アクティブになります。

両方のモードで選択ダイヤル (C) を前方に回すとセットポイントが増加し、後方へ回すとセットポイントが減少します。



A：「Confirm (確定)」スイッチ
B：「Cancel (キャンセル)」スイッチ
C：選択ダイヤル

OUO6075,0000441 -40-11OCT10-1/3

手動モード

基本的な増減機能制御を実行できます。道路モードで、または自動モード要件が満たされていない場合に使用します。

キースイッチを ON にしてセパレーターとヘッダーの接続を解除した状態で、以下のセットポイントを調整できます。

- HydraFlex 圧力
- 「Draper Speed (ドレーパー回転数)」
- 「Reel Speed (リール回転数)」
- チャファー開口部
- ふるい開口部
- 「Threshing Clearance (脱穀隙間)」
- 「Cleaning Fan Speed (クリーニングファン回転数)」
- 「Threshing Speed (脱穀速度)」
- プラットフォーム前後傾斜
- チョッパー羽根角度
- ベルト速度

必要な CommandARM™ スイッチを押します。

プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回してセットポイントに合わせます。

CommandARM は Deere & Company の商標です。

次のページへ

OUO6075,0000441 -40-11OCT10-2/3

自動モード

注記：黒の値 (A) は現在のセットポイントを示しています。青の値 (B) は、プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか選択ダイヤルを回したときに増減したセットポイント値を示しています。

詳細な「ダイヤルイン」機能コントロールを利用できます。

エンジンがハイアイドルで、セパレータを接続した状態では、以下のセットポイントを調整できます。

- 「Threshing Speed (脱穀速度)」
- 「Cleaning Fan Speed (クリーニングファン回転数)」

A：黒の値　　**B：青の値**

エンジン運転中に以下のセットポイントを調整できます。

- チャファー開口部
- ふるい開口部
- 「Threshing Clearance (脱穀隙間)」
- チョッパー羽根角度
- 「Spreader Speed (スプレッダー回転数)」
- ヘッダー高さレート
- ヘッダー高さ感度
- 手動横方向傾斜感度
- 自動横方向傾斜感度
- ProDrive トランスミッション最高速度レンジ 1
- ProDrive トランスミッション最高速度レンジ 2
- ヘッダー高さ検出フロート位置

必要な CommandARM™ スイッチを押します。

プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回してセットポイントに合わせます。

CommandARM は Deere & Company の商標です。

HillMaster 水平調整制御スイッチ

自動水平調整

自動水平調整制御スイッチ (A) を使用すると、機械が起伏地を動くときに機械セパレータは自動的で水平調整できます。

システム要件：
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

1. 自動水平調整制御スイッチを押して、自動水平調整システムを起動します。
2. 表示灯 (B) が点灯し、設定が自動モードであることが示されます。
3. 機械シャーシボディの位置がディスプレイに図形として表示されます。

機械が圃場を動くときに、振り子を使用して機械の勾配が検出されます。

注記：自動水平調整制御システムが作動した状態で、手動傾斜スイッチを使用して自動機能よりも優先させることができます (機械を手動で左右に傾斜させることができます)。

手動水平調整

機械が起伏地を動くときに、手動傾斜スイッチを使用して機械シャーシを手動で左右に傾斜させることができます。

システム要件：
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

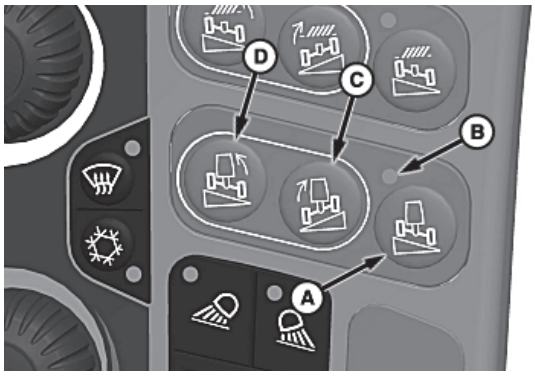
注記：押しボタンシフトトランスミッション装備の機械：手動傾斜右スイッチ (C) または手動傾斜左スイッチ (D) を使用して、HillMaster モードを有効にします。パーキングブレーキスイッチを押して、パーキングブレーキを解除します。

手動傾斜右スイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

手動傾斜右スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

注記：目的の手動傾斜スイッチを放すと、自動モードに引き継がれ、機械シャーシが自動的に水平調整されます。

機械シャーシボディの位置がディスプレイに図形として表示されます。



A：自動水平調整制御スイッチ
B：表示灯
C：手動傾斜右スイッチ
D：手動傾斜左スイッチ

機械が圃場を動くときに、振り子を使用して機械の勾配が検出されます。

注記：自動水平調整制御システムが作動した状態で、手動傾斜スイッチを使用して自動機能よりも優先させることができます (機械を手動で左右に傾斜させることができます)。

道路輸送位置：

警戒：道路輸送中に制御が失われて大けがや死亡事故が発生しないようにしてください。絶対に HillMaster を自動モードにして車道で機械を輸送しないでください。車道を輸送中は、絶対に機械の手動傾斜を行わないでください。

以下の条件では、HillMaster 水平調整システムがロックアウトされ、道路輸送中に水平調整システムによる変更は行われません。

システム要件：
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

1. 機械を平坦な場所に駐車します。
2. 自動水平調整制御スイッチを **5 秒**間、または表示灯 (B) が点滅するまで押します。
3. 手動傾斜右スイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。
4. 手動傾斜右スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

以上で機械はニュートラル位置であり、車道で運転できます。

OUO6075,00010C8 -40-14MAR12-1/1

ClimaTrak™ 自動温度コントロール

「Fan Speed (ファン回転数)」

注記：寒冷環境で運転するときは、エアコンの吹き出し口をキャビンフロアに向けてファン回転数を自動位置に回すのが適切です。これにより、キャビン全体の空気フローの循環が促進されます。

ファン速度制御ダイヤル (A)：ファン回転数とルーバーから出てくる空気量を調整します。

- OFF 位置：システムのすべての電源を OFF にします。
- 自動位置：ファン回転数は選択した温度と実際のキャビン温度の違いによって決定されます。

注記：温度が設定点に近づくにつれて、ファン回転数は低下します。

ファン回転数インジケーター (B)：インジケーターの矢印は、必要なファン回転数調整設定に応じて動きます。

デフロスタ

デフロスタスイッチ (C)：デフロスタ吹き出し口を手動で開きます。

注記：デフロスタを ON にすると、表示灯が点灯します。

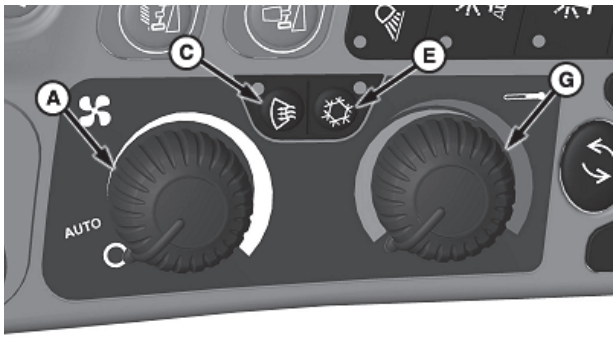
デフロスタスイッチを最初に押すと、エアコンが ON になります。これにより、空気から湿気が除去され、乾燥した空気をウィンドウに吹き付けることができます。エアコンスイッチを押して OFF にします。

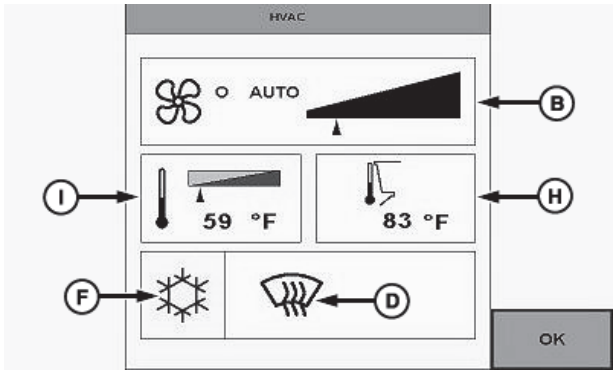
- デフロスタはヒーターモードの場合でも空気から湿気を除去するのに役立ちます。

デフロスタインジケーター (D)：デフロスタスイッチを押すと、アイコンの ON/OFF が切り替わります。

エアコン

エアコンスイッチ (E)：エアコンを起動してキャビンを冷やします。





注記：デフロスタが ON のときは表示灯が点灯します。

「エアコン」アイコン (F)：エアコンスイッチを押すと、アイコンの ON/OFF が切り替わります。

温度コントロール

温度コントロールダイヤル (G)：キャビンの温度を調整します。ダイヤルを赤のゾーンに回して温度を上げ、青のゾーンに回して温度を下げます。

注記：外気温度 (H) は現在の気温を示しています。

温度コントロールインジケーター (I)：インジケーターの矢印は、必要な温度調整設定に応じて動きます。

ClimaTrak は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00010C3 -40-08MAR12-1/1

ライトスイッチ

注記：機械の照明の位置の詳細については、「ライトと信号」セクションを参照してください。

フロントスタッブルライトスイッチ (A) :

スイッチを押して、フロントスタッブルライトの ON/OFF を切り替えます。

注記：道路ライトが ON の場合、スタッブルライト、フェーシアライト、リアディスチャージライトを ON にすることはできません。

- スタッブルライトは、夜間運転や薄暗い条件時にヘッダーの背後の区域を照らします。

リアディスチャージライトスイッチ (B) :

スイッチを押して、リアディスチャージライトの ON/OFF を切り替えます。

注記：道路ライトが ON の場合、スタッブルライト、フェーシアライト、リアディスチャージライトを ON にすることはできません。

- リアディスチャージライトは、夜間運転や薄暗い条件時に後部を照らします。

オートビーコンライトスイッチ (C) :

スイッチを押して、オートビーコンライトの ON/OFF を切り替えます。

- ビーコンライトは点灯して、グレインタンクが満杯の ¾ まで達したか満杯に達しており、降ろす準備が整っていることをグレインカートオペレータに知らせます。

ビーコンライトスイッチ (D) :

スイッチを押して、ビーコンライトの ON/OFF を切り替えます。

- ビーコンライトは機械の前部または後部の両側にあり、車道で輸送しているときに他のドライバーに警告します。

ハザードライトスイッチ (E) :

スイッチを押して、ハザード警告灯の ON/OFF を切り替えます。

- ハザード警告灯は機械の前部または後部の両側にあり、車道で輸送しているときに他のドライバーに警告します。

OUO6075,00004D7 -40-29JUN11-1/1

ラジオ機能スイッチ (装備されている場合)

プッシュトゥトークスイッチ (A) [1] **:**

スイッチを押して、通話ページにすばやく移動したり、着信通話に応答したり、既に進行している通話を終了したりします。

シークフォワードスイッチ (B) :

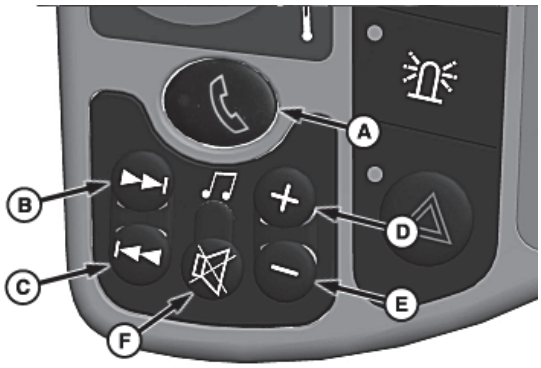
- AM/FM/WX/MW/LW：スイッチを (短く) 押して、次のプリセットに変更します。
- AM/FM/WX/MW/LW：スイッチを (長く) 押して、上にシークします。
- SiriusXM® サテライトラジオ：スイッチを押し続けて、次の／高いチャンネルに変更します。
- CD/MP3：スイッチを押して、次に利用可能なトラックに進めます。

シークリバーススイッチ (C) :

- AM/FM/WX/MW/LW：スイッチを (短く) 押して、前のプリセットに変更します。
- AM/FM/WX/MW/LW：スイッチを (長く) 押して、下にシークします。
- SiriusXM® サテライトラジオ：スイッチを押し続けて、前の／低いチャンネルに変更します。
- CD/MP3：スイッチを押して、現在のトラックの先頭にまたは前のトラックに進みます。

SiriusXM は Sirius XM Radio Inc. の登録商標です。

[1] スイッチはプレミアムラジオのみで利用できます。



音量増加スイッチ (D) :

スイッチを押してオーディオの音量を高くします。

音量減少スイッチ (E) :

スイッチを押してオーディオの音量を低くします。

ミュートスイッチ (F) :

注記：スイッチを押して通話中にマイクをミュートします。

スイッチを押してオーディオをミュートします。スイッチを押してオーディオ音楽の再生を再開します。

OUO6075,000184B -40-26JUN14-1/1

マルチファンクションレバーとパーム調整

重要：マルチファンクションレバーを動かしたときにハイドロスタティックチャージ圧力警告灯が点灯した場合は、作動油レベルの点検またはフィルタ交換を実施してください。問題が直らない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

マルチファンクションレバーを前方に雨後がして機械を前進させるか、右に少し引き戻し、後方に動かして機械を後退させます。

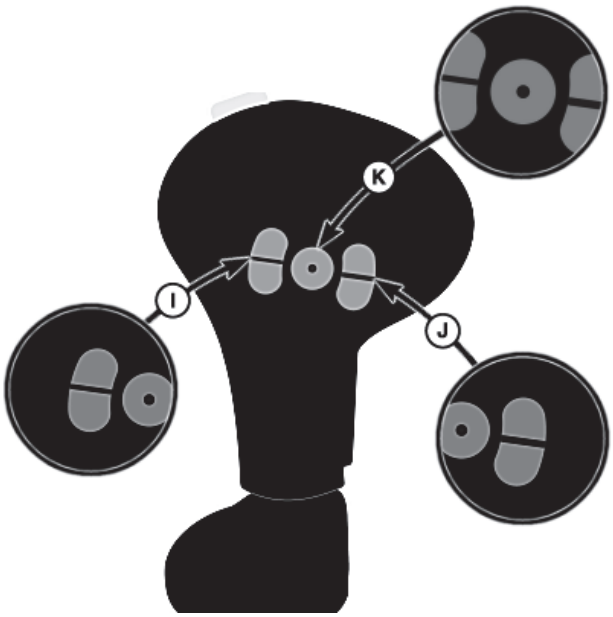
パームレスト (A) は 3 つのデテント位置に調整できます。パームレストを上げ下げするには、パームレストの下のレバー (B) を引き、パームレストを必要な位置に調整します。

A : パームレスト
B : レバー

OUO6075,000173A -40-30JAN14-1/1

マルチファンクションレバースイッチ

正面



背面図

A：「Quick Stop (クイックストップ)」スイッチ
B：アンローディングオーガ旋回スイッチ
C：アンローディングオーガドライブ接続／解除スイッチと表示灯
D：「Header Raise/Lower Switch and Lateral Tilt Switch (ヘッダー昇降スイッチ／横方向傾斜)」スイッチ (オプション)
E：機械同期ボタン (装備されている場合)
F：リール昇降、リール前後 (オプション)、フィーダーハウスバックシャフト回転数、調整式コーンヘッドデッキプレート (オプション)
G：起動ボタン (1、2、3)
H：AutoTrac™ 再開 (装備されている場合)
I：ドレイパーカッターバー傾斜スイッチ、油圧フィーダーハウス前後傾斜スイッチ、カッターバー前後スイッチ [1]
J：ドレイパーカッターバー傾斜スイッチ、油圧フィーダーハウス前後傾斜スイッチ、カッターバー前後スイッチ [1]
K：不使用

AutoTrac は Deere & Company の商標です。

[1] 機械のオプションやヘッダーのタイプによっては、ドレーパーカッターバー傾斜 (600D Draper)、油圧フィーダーハウス前後傾斜 (装備されている場合)、またはカッターバー前後 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム) を制御するためにスイッチを再プログラムすることができます。

OUO6075,000172A -40-19MAR14-1/1

クイックストップスイッチ

警戒：ProDrive™ 装備の機械：セパレータを接続した状態でクイックストップスイッチを押すと、機械はすぐに停止します。大けがをしないようにシートベルトを必ず着用してください。

重要：故障時は、このスイッチを使用してヘッダー駆動装置を解除できます。

クイックストップスイッチ (A) を使用して、オペレータは緊急時に以下の機能を同時に OFF にすることができます。

- ヘッダーの接続
- アンローディングオーガドライブ
- アンローディングオーガ旋回
- グレインタンクカバー (装備されている場合)
- 動力折りたたみ式オーガ (装備されている場合)
- ProDrive™ (推進運動がすばやく停止します) (装備されている場合)

マルチファンクションレバーのアンローディングオーガドライブスイッチを押すと、アンローディングオーガドライブが再起動します。ヘッダードライブを接続するには、「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチを OFF にしてから ON に戻します。

ProDrive は Deere & Company の商標です。

A：「Quick Stop (クイックストップ)」スイッチ

OUO6075,000173B -40-30JAN14-1/1

アンローディングオーガ旋回スイッチ

アンローディングオーガ旋回スイッチ (A) を使用して、オペレータは手動または自動でアンローディングオーガを内側または外側に旋回させることができます。

システム要件：
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- オペレータがシートに座っている。

アンローディングオーガ旋回スイッチの上部を押してオーガを外側に旋回させ、スイッチの下側を押してオーガを内側に旋回させます。

手動制御：オーガが必要な位置に達するまで、スイッチを途中まで押し続けます。スイッチを放すと、オーガが停止します。

自動制御：スイッチをいっぱいまで押して放します。スイッチを押し続けていなくてもオーガは外側または内側にいっぱいまで旋回します。

A：アンローディングオーガ旋回スイッチ

注記：アンローディングオーガドライブが接続されている場合、自動オーガ旋回機能は作動しません。アンローディングオーガを使用しない場合は、アンローディングオーガを輸送位置に戻しておくことをお勧めします。

OUO6075,000173C -40-30JAN14-1/1

アンローディングオーガドライブスイッチ

アンローディングオーガドライブスイッチ (A) を使用して、アンローディングオーガを接続または接続解除できます。

システム要件：
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- オペレータがシートに座っている。

アンローディングオーガドライブスイッチを 1 回押して ON にするか、アンローディングオーガドライブスイッチをもう一度押して OFF にします。システムが作動すると、表示灯が点灯します。

注記：緊急時は、クイックストップスイッチ (B) を使ってアンローディングオーガドライブを OFF にすることもできます。クイックストップスイッチでヘッダーやアンローディングオーガを停止した場合に、アンローディングオーガを接続するには、アンローディングオーガスイッチをもう一度押します。

オーガが自動旋回モードのとき、またはオーガが 50% 未満手動で旋回されているときは、ボタンを押し続けた場合のみアンローディングオーガドライブが接続されます。

接続の後にオペレータがシートから離れた場合、アンローディングオーガドライブは 5 秒間運転を続けてから接続を解除されます。システムを接続するには、オペレータシートに座り、アンローディングオーガスイッチをもう一度押します。

注記：アンローディングシステムが接続しないか、予期せず停止する場合は、シートにしっかりと座り、アンローディングオーガスイッチを 1 回押します。

A：アンローディングオーガドライブスイッチ　**B：「Quick Stop (クイックストップ)」スイッチ**

OUO6075,000173D -40-30JAN14-1/1

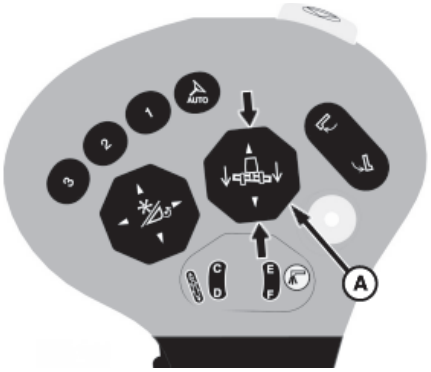
ヘッダー昇降スイッチ

ヘッダー昇降スイッチ (A) を使用して、ヘッダーを上昇または下降させます。

注記：ヘッダー昇降スイッチには、2 つのデテント位置があります。スイッチを途中まで押すと、ヘッダーはゆっくりと上昇または下降します。いっぱいまで押すと、ヘッダーは速い速度で上昇または下降します。

システム要件：
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- オペレータがシートに座っている。

ヘッダー昇降スイッチの上部を押したままにするとヘッダーが上昇し、ヘッダー昇降スイッチの下部を押したままにするとヘッダーは下降します。



A：ヘッダー昇降スイッチ

OUO6075,000173E -40-30JAN14-1/1

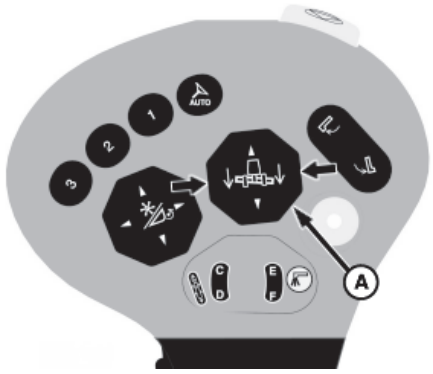
横方向傾斜スイッチ

注記：デュアルゾーンフロート装置付きの 600D ドレーパープラットフォームと一緒に操作するレベルランドまたは横方向傾斜フィーダーハウスを装備しているコンバインでは、横方向傾斜スイッチを使用して、左右のフロートアームとゲージホイール (装備されている場合) シリンダを個別に調整できます。

横方向傾斜スイッチ (A) を使用して、フィーダーハウスを左右に傾斜させることができます。

システム要件：
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

横方向傾斜スイッチの右側を押してフィーダーハウスを右側に傾けるか、横方向傾斜スイッチの左側を押してフィーダーハウスを左側に傾けます。



A：「Lateral Tilt (横方向傾斜)」スイッチ

OUO6075,000173F -40-30JAN14-1/1

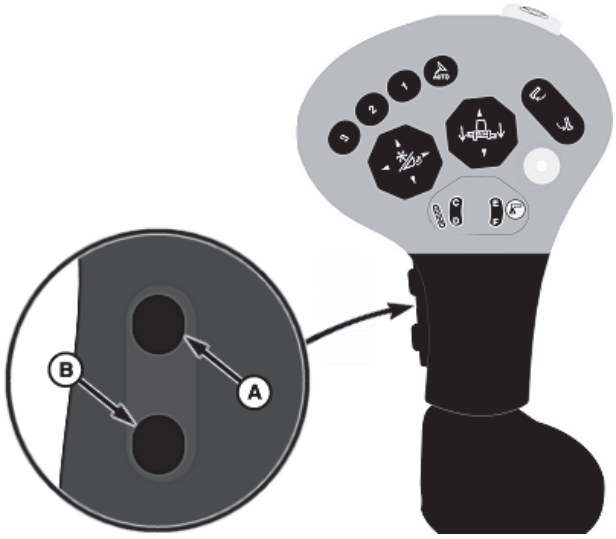
機械同期ボタン (装備されている場合)

機械同期ボタンを使用すると、GreenStar™ 3 2630 ディスプレイのアイコンを使用しないで機械同期のナッジ機能を利用できます。詳細については、Machine Sync の取扱説明書を参照してください。

増加ボタン (A) を押して、トラクターを前進させるか、減少ボタン (B) を押してトラクターを後退させます。

システム要件：
- GreenStar™ 3 2630 ディスプレイが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

A：増加ボタン
B：減少ボタン



GreenStar は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001740 -40-30JAN14-1/1

プラットフォームリールリフト／リール前後スイッチ

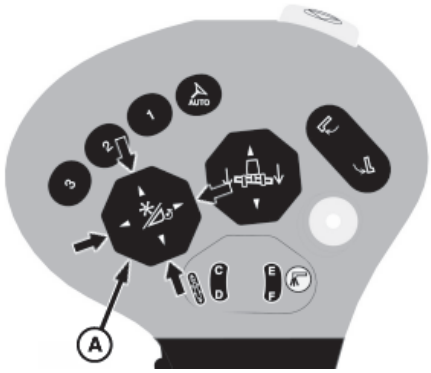
注記：このスイッチは、コーンヘッドバックシャフト回転数および調整式デッキプレート間隔の制御にも使用されます。詳細については、このセクションの「コーンヘッドバックシャフト回転数／調整式デッキプレート間隔スイッチ」を参照してください。

リールリフトおよびリール前後スイッチ (A) を使用して、リールの位置を制御できます。

システム要件：
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

スイッチの上部を押し続けてリールを上昇させ、スイッチの下部を押し続けてリールを下降させます。

スイッチの左側を押し続けてリールを前方に移動させ、スイッチの右側を押し続けてリールを後方に動かします。



A：「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト／リール前後)」スイッチ

OUO6075,0001741 -40-19MAR14-1/1

コーンヘッドバックシャフト回転数／調整式デッキプレート間隔スイッチ

注記：このスイッチは、プラットフォームリフト／リール前後の制御にも使用されます。詳細については、このセクションの「プラットフォームリールリフト／リール前後スイッチ」を参照してください。

「Backshaft speed and deck plate spacing (バックシャフト回転数／デッキプレート間隔)」スイッチ (A) を使用して、コーンヘッドのバックシャフト回転数を制御し、デッキプレート間隔を調整できます (装備されている場合)。

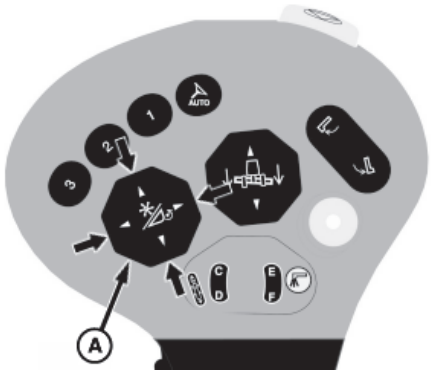
システム要件：
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

注記：キースイッチを ON にしてマルチスピードフィーダーハウスドライブを調整できる。機械を始動してフィーダーハウスを接続すると、フィーダーハウスはあらかじめ設定された回転数で作動します。

CommandTouch™ マルチスピードフィーダーハウスドライブ (オプション)：コーンヘッドまたはロークロップヘッドを取り付けた場合、バックシャフト回転数／デッキプレート間隔スイッチを使用してバックシャフト回転数／調整式デッキプレート間隔を制御します。

スイッチの上部または下部を 1 回押して、ディスプレイを起動します。スイッチの上部を押してギア選択を増やすか、スイッチの下部を押してギア選択を減らします。

ディスプレイに現在のギアが黒で表示され、必要なギアに達するまで目的のギアが青で点滅して表示されます。



A：バックシャフト回転数／デッキプレート間隔スイッチ

回転数は、以下のようにハイアイドルおよび無負荷で表示されます。

- 1 速：510～530 rpm
- 2 速：560～580 rpm
- 3 速：620～640 rpm
- 4 速：700～720 rpm
- 5 速：770～790 rpm

デッキプレート間隔 (装備されている場合)：スイッチの左側または右側を 1 回押してディスプレイを起動します。スイッチの左側をもう一度押すと間隔が増加し、スイッチの右側を押すと間隔が減少します。

OUO6075,0001742 -40-19MAR14-1/1

ヘッダー起動ボタン

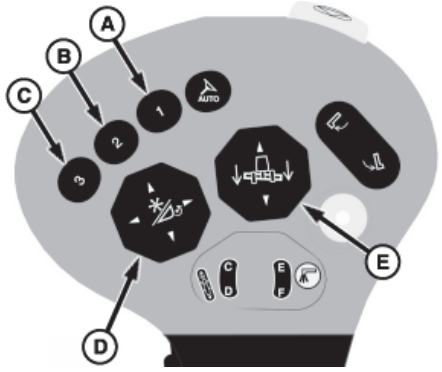
ヘッダー起動ボタン (A) 、(B) 、(C) を押して以下の機能を実行します。

- ヘッダー高さ再開
- ヘッダー高さ検出
- 横方向傾斜制御
- リール位置再開
- デッキプレート位置再開
- アクティブヘッダーフロート
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)
- 「Cutterbar Position (カッターバー位置)」(欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

電子制御システムは、あらかじめ選択されている位置にヘッダーを戻します。

注記：起動ボタンを押して得られたヘッダー位置は、リール昇降／リール前後スイッチ (D) またはヘッダー昇降／横方向傾斜スイッチ (E) を押して無効にすることができます。起動ボタンが手動で無効化されたら、必要な起動ボタンを押してもう一度有効にします。

システム要件：
- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジンが運転中です。



A：起動ボタン 1
B：起動ボタン 2
C：起動ボタン 3
D：「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト／リール前後)」スイッチ
E：「Header Raise/Lower Switch and Lateral Tilt Switch (ヘッダー昇降／手動横方向傾斜)」スイッチ

- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダー高さ再開、ヘッダー高さ検出、またはアクティブヘッダーフロートモードが有効になっている。
- ヘッダーが連結されている。

ヘッダー起動ボタンを押してシステムを起動します。ヘッダー制御システムが制御を獲得して、ヘッダーをオペレータが選択した位置に動かします。

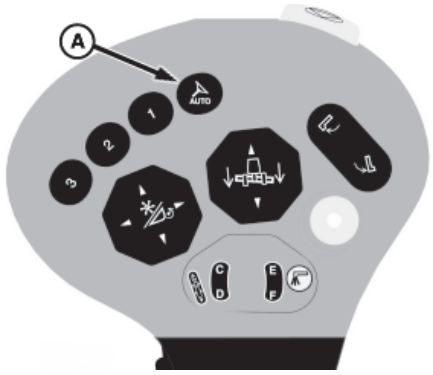
OUO6075,0001743 -40-19MAR14-1/1

AutoTrac™ 再開ボタン (装備されている場合)

AutoTrac™ 再開ボタン (A) を使用して、AutoTrac™ システムを有効または無効にします。

AutoTrac™ 再開ボタンを使用して、RowSense™ システムを有効または無効にすることもできます。詳細については、AutoTrac™ のオペレータマニュアルを参照してください。

システム要件：
- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジンが運転中です。
- 道路輸送スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーが連結されている。



A：AutoTrac™ 再開ボタン

AutoTrac は Deere & Company の商標です。
RowSense は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001744 -40-30JAN14-1/1

ドレーパーカッターバー傾斜スイッチ、油圧フィーダーハウス前後傾斜スイッチ、カッターバー前後スイッチ

注記：機械のオプションとヘッダータイプに応じて、スイッチを再プログラムして以下の機能を制御できます。

- 「Draper Cutterbar Tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」(600D ドレーパー)
- 「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)
- カッターバー前後 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

再プログラムの詳細については、「CommandCenter™ ディスプレイ画面」セクションの「マルチファンクションレバーの設定」を参照してください。

「Draper Cutterbar Tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」スイッチ (600D ドレーパー)

「Draper cutterbar tilt (ドレーパーカッターバー傾斜)」スイッチ (600D ドレーパー) (A または B) を使用すると、カッターバー角度を増減できます。

システム要件：
- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジンが運転中です。
- 道路輸送スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーが連結されている。
- マルチファンクションレバースイッチに機能が割り当てられている。

スイッチの上部を押し続けて、カッターバー角度を増やします。

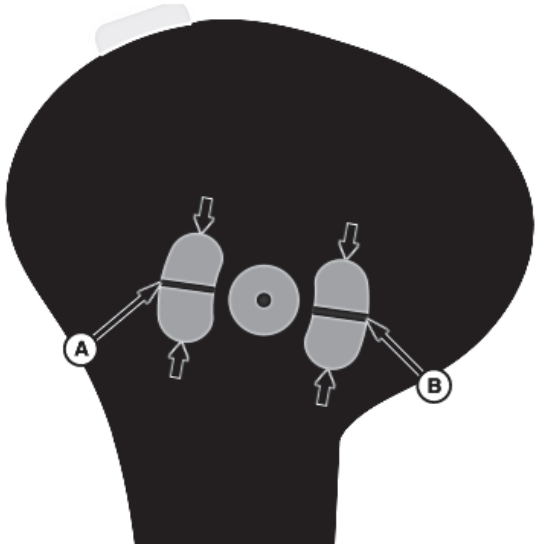
スイッチの下部を押し続けて、カッターバー角度を減らします。

「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」スイッチ (装備されている場合)

「Hydraulic feeder house fore/aft tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」スイッチ (装備されている場合) (A または B) を使用して、フィーダーハウス傾斜フレームの位置を制御できます。

システム要件：
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- マルチファンクションレバースイッチに機能が割り当てられている。

スイッチの上部を押し続けて、フィーダーハウスを前方に傾けます。



マルチファンクションレバー機能 (背面図)

A：ドレーパーカッターバー傾斜スイッチ、油圧フィーダーハウス前後傾斜スイッチ、カッターバー前後スイッチ

B：ドレーパーカッターバー傾斜スイッチ、油圧フィーダーハウス前後傾斜スイッチ、カッターバー前後スイッチ

スイッチの下部を押し続けて、フィーダーハウスを後方に傾けます。

「Cutterbar Fore/Aft Switch (カッターバー前後)」スイッチ (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

「Cutterbar Fore/Aft Switch (カッターバー前後)」スイッチ (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム) (A または B) を使用して、カッターバーの位置を制御できます。

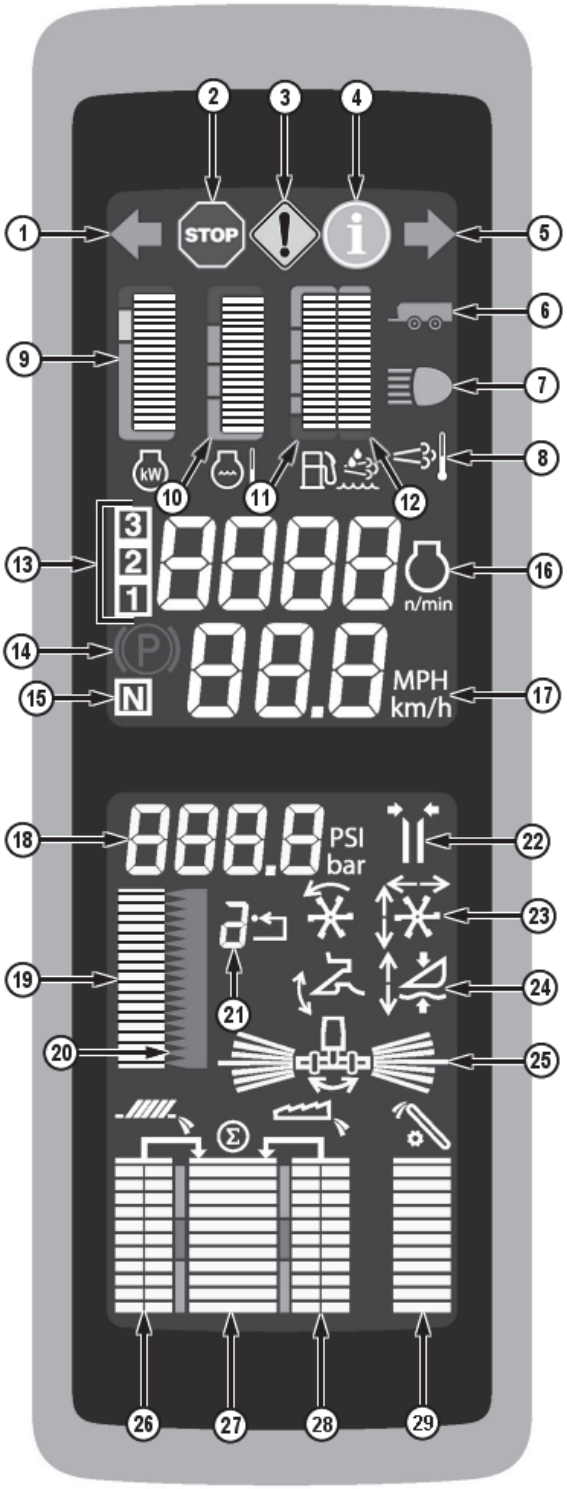
システム要件：
- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジンが運転中です。
- 道路輸送スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーが連結されている。
- マルチファンクションレバースイッチに機能が割り当てられている。

スイッチの上部を押し続けて、カッターバー位置を伸長させます。

スイッチの下部を押し続けて、カッターバー位置を収縮させます。

OUO6075,000172B -40-19MAR14-1/1

CommandTouch™ キャビンコーナーポスト



(1) 左ターンシグナル表示灯：左ターンシグナルが作動していることを示します。

(2) エンジン停止警告灯 (赤)：点灯した場合、すぐにエンジンを停止し、問題を解決する必要があることを示します。問題が解決するまで、診断トラブルコードがひじかけのディスプレイに表示されます。

(3) 点検警告灯 (黄)：機械で問題がある場合は、点灯して点滅します。機械をすぐに停止する必要があります。診断トラブルコードがひじかけのディスプレイに表示されます。

(4) 情報警告表示灯 (青)：診断トラブルコードがアクティブの場合に点灯し、点滅します。条件を確認するようにオペレータに警告します。警告を確認したら、画面メッセージが消えて警告表示灯が消灯します。

(5) 右ターンシグナル表示灯：右ターンシグナルが作動していることを示します。

(6) トレーラーライト表示灯：トレーラーハーネスが接続されているときにターンシグナルを作動させると点灯します。

(7) ハイビーム表示灯：ハイビームライトが現在選択されていることを示します。

重要：ファイナル ティア 4／ステージ IV：エグゾーストフィルタクリーニングを実行中に、またはクリーニングの完了直後にエンジンを停止すると、エグゾーストクリーニングの部品が損傷する可能性があります。警報が鳴り、警告メッセージがディスプレイに表示されます。機械を始動し、ディスプレイのメッセージに従って構成部品を冷ましてください。

(8) エグゾーストフィルタクリーニング表示灯 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)：エグゾーストフィルタシステムでエグゾーストフィルタクリーニングが行われているときに点灯します。

(9) エンジン出力計インジケーター：所定の時間に現在使用されているエンジンの出力を割合を表示します。

重要：インジケーターが赤の領域に動いた場合、エンジン出力は最大化されており、機械が停止する可能性があります。インジケータが緑および黄領域に戻るまで機械の負荷を減らしてください。

- 緑領域 (35～100%)
- 黄領域 (101～110%)
- 赤領域 (111～114%)

次のページへ

(10) エンジン温度インジケーター：通常の使用温度では、7～9 個のバーが表示されます。

アラームが鳴り、エンジン温度メッセージが表示された場合は、エンジンを停止してすぐに問題を点検してください。

(11) 燃料計インジケーター：タンクに残っている燃料の量が表示されます。残りの燃料の指示が 10% (約 1 時間運転できる量) に達すると、燃料インジケーターが点滅し、アラームが鳴り、燃料残量低下メッセージが表示されます。

燃料タンクが空になると、インジケーターにバーは表示されません。

(12) 排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター (ファイナル ティア 4／ステージ IV)：タンクに残っているフルードの量が表示されます。

- レベルが 10% に達すると、レベルインジケーターが点滅し、警報が鳴り、フルード低下メッセージが表示されます。
- レベルが 0% に達すると、レベルインジケーターが点灯して点滅しなくなり、警報が鳴り、フルード空メッセージとエンジン出力制限メッセージが表示されます。
- プライミングの損失に達すると、レベルインジケーターが点灯して点滅が停止し、警報が鳴り、フルード空メッセージ、エンジン出力制限メッセージ、速度制限メッセージが表示されます。エンジン停止警告灯 (赤) が点灯して、エンジンがディレーティングされ、機械機能が制限されます。

(13) トランスミッションギア/レンジ表示灯：

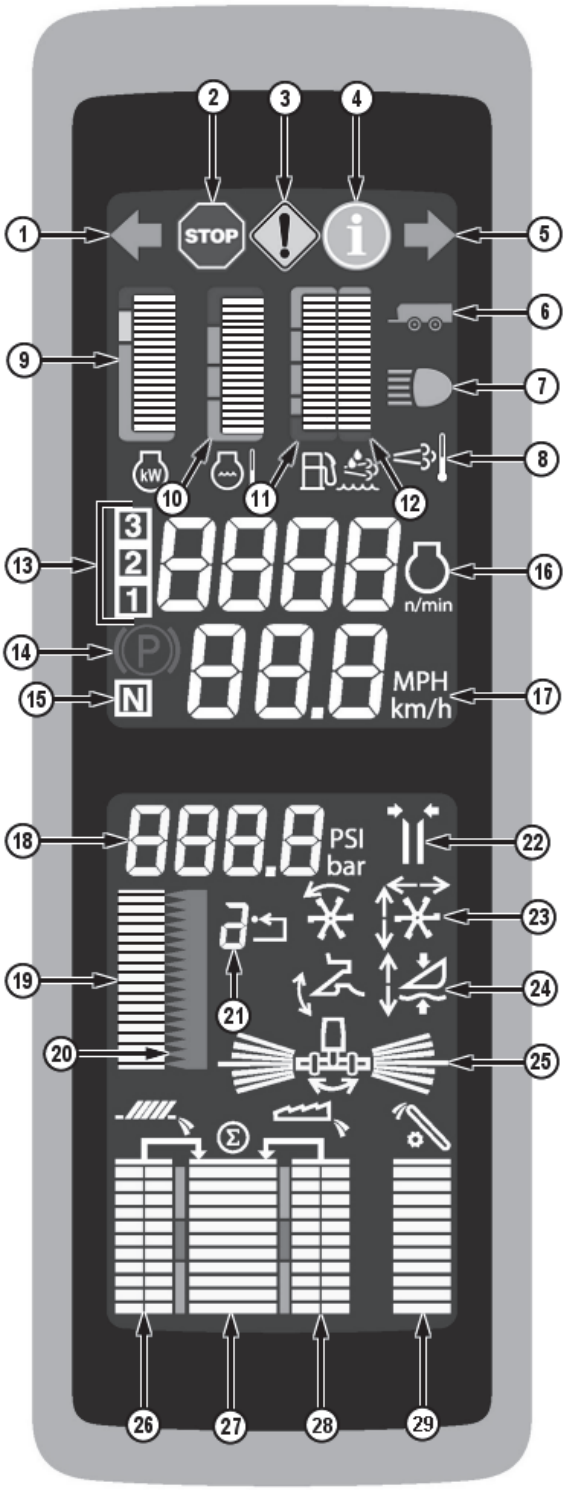
- **3 速 ProDrive™ 非装備の機械**：現在選択されているギアが表示されます。ギアの選択に応じて、1、2、3 表示灯が点灯します。
- **2 速 ProDrive™ 装備の機械**：現在選択されているレンジが表示されます。レンジの選択に応じて、1、2 表示灯が点灯します。

(14) パーキングブレーキ表示灯：パーキングブレーキがかかっているときに点灯します。

(15) ニュートラルインジケータ：機械が現在ニュートラル位置であることを示します。

(16) エンジン回転数インジケーター：エンジン回転数が表示されます。

(17) 対地速度インジケーター：機械の対地速度 (km/h または mph).が表示されます。



次のページへ

(18) ヘッダー高さ数値ディスプレイ：現在のヘッダー高さが表示されます。

(19) ヘッダー高さ位置表示：現在のヘッダー高さ位置が表示されます。

(20) ヘッダー高さセットポイント表示：必要なセットポイントが表示されます。

(21) ヘッダー起動番号：現在選択されている起動ボタンが表示されます。

(22) デッキプレート位置再開：システムが現在アクティブであることが表示されます。

(23) Dial-A-Speed／リール再開：

- **Dial-A-Speed (左側のアイコン)**：システムが現在アクティブであることが表示されます。
- **リール再開 (右側のアイコン)**：システムが現在アクティブであることが表示されます。

(24) ヘッダー高さ再開／ヘッダー高さ検出／アクティブヘッダーフロート：

- **ヘッダー高さ再開 (左側のアイコン)**：システムが現在アクティブであることが表示されます。
- **ヘッダー高さ検出 (右側のアイコン)**：システムが現在アクティブであることが表示されます。
- **アクティブヘッダーフロート (右側のアイコン)**：システムが現在アクティブであることが表示されます。

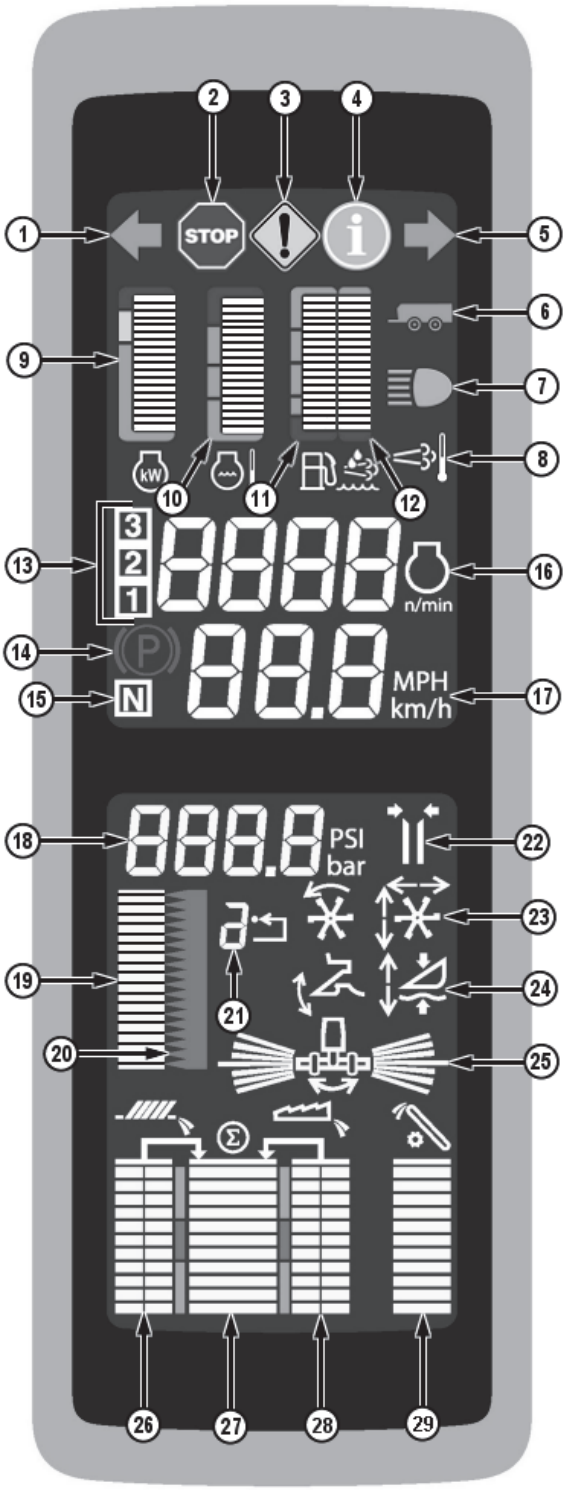
(25) 横方向傾斜ディスプレイ：フィーダーハウスフレームの位置が表示されます。

(26) シューロスインジケーター：シューからの穀粒ロスが表示されます。

(27) 合計ロスインジケーター：シューおよびセパレータ部分からの平均穀粒ロスが表示されます。

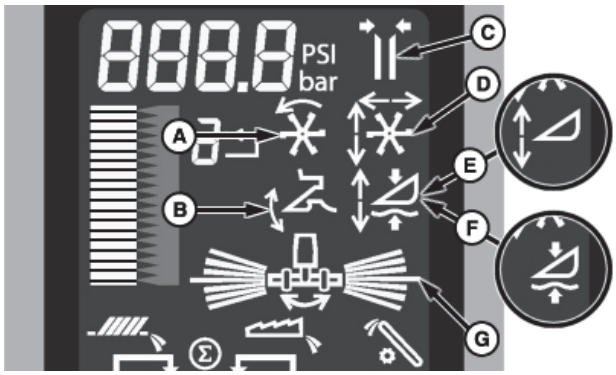
(28) セパレータロスインジケーター：セパレータ部分からの穀粒ロスが表示されます。

(29) 2 番物容量インジケーター：二番還元の量が表示されます。



OUO6075,000179D -40-14MAR14-3/3

アクティブヘッダー制御ディスプレイ



Dial-A-Speed (A)：リールまたはベルトピックアップヘッダーの運転速度を自動制御できます。運転速度は、リールまたはベルト速度に対する機械の対地速度の比です。

「Header Height Resume (ヘッダー高さ再開)」(B)：機械シャーシに対するヘッダーの位置を選択し、その位置に自動的に戻すことができます。

「Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置再開) (C)：デッキプレート (装備されている場合) の位置を選択し、その位置に自動的に戻すことができます。

「Reel Position Resume (リール位置再開) (D)：リール高さおよびリール前後位置を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。

ヘッダー高さ検出 (E)：地面に対するヘッダーの位置を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。

ヘッダー高さ検出 (HydraFlex) (E)：カッターバー接地圧またはカッターバー重量を調整して、その設定に自動的に戻すことができます。HydraFlex はヘッダー高さ検出と連動して機能し、地面に対するヘッダー位置を維持し、地形に追従し、その位置に自動的に戻します。

アクティブヘッダーフロート (F)：リジッドヘッダーを地面に接触させて作動させ、設定した接地圧を維持できます。オペレータはヘッダーが地面に接触する緊密度を選択して、その圧力に自動的に戻すことができます。

横方向傾斜 (G)：地面に対するヘッダーの位置を維持できます。ヘッダーの各端部のセンサーは地面までの距離を測定します。ヘッダーは傾斜して各端部での地面までの距離が均一化されます。左右のヘッダー高さセンサーを装備し、横方向傾斜がアクティブである場合、システムは連携して地面に対してカッターバーを最も近い位置に維持します。

OUO6075,00004C4 -40-01DEZ10-1/1

自動ヘッダー高さ制御システムの説明

自動ヘッダー高さ制御システムは、不均一な地面に対して補正を実行してヘッダーの水平および垂直位置を制御します。システムはプリセット位置と実際の位置を連続して補正し、ヘッダーを必要な作業位置に維持します。

システム要件：

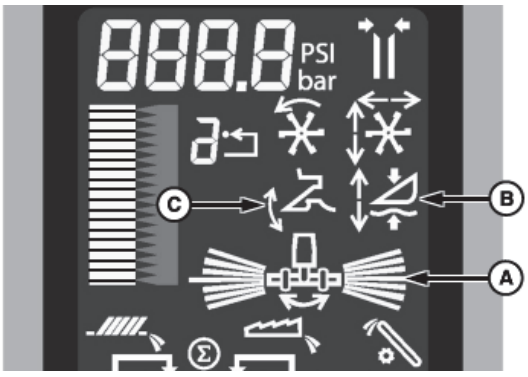
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- エンジン運転中。
- ヘッダーが連結されている。
- 必要なヘッダー制御モードが起動されている。

横方向傾斜調整 (A)

- 地面に対してヘッダーを平行にする調整はヘッダーの各端部のセンサーにより実行されます。これにより、ヘッダーと地面の間の距離が左右両側で等しくなります。

プラットフォーム高さ調整 (B、C)

- ヘッダー高さ再開：プラットフォームをフィーダーハウス範囲内の任意の位置に設定できます。



A：横方向傾斜
B：ヘッダー高さ検出／アクティブヘッダーフロート
C：ヘッダー高さ再開

- ヘッダー高さ検出：プラットフォームに取り付けられている高さセンサーによりプラットフォームの高さが維持されます。これにより、ヘッダー高さは起伏の多い地形での一定に維持されます。
- アクティブヘッダーフロート：機械は接地した状態で一定のヘッダー圧力を維持します。

OUO6075,00004C5 -40-01DEZ10-1/1

起動ボタンモードの組み合わせ

注記：マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を 2 秒間押し続けて必要なモードをメモリに入力します。

複数の一般的なモードを以下に示しますが、多数の組み合わせがあります。

コントロールモード有効	起動ボタン 1	起動ボタン 2	起動ボタン 3
高さ再開	高さ再開		
高さ再開、高さ検出	高さ再開	高さ検出	
高さ再開、HydraFlex™ 高さ検出	高さ再開	HydraFlex™ 高さ検出	
高さ再開、高さ検出、HydraFlex™ 高さ検出 [a]	高さ再開	高さ検出	HydraFlex™ 高さ検出
高さ再開、高さ検出、HydraFlex™ 高さ検出 [b]	高さ再開	高さ検出	HydraFlex™ 高さ検出
高さ再開、高さ検出／アクティブヘッダーフロート	高さ再開	高さ検出	アクティブヘッダーフロート
高さ再開、HydraFlex™ 高さ検出、アクティブヘッダーフロート	高さ再開	HydraFlex™ 高さ検出	アクティブヘッダーフロート
高さ再開、アクティブヘッダーフロート	高さ再開		アクティブヘッダーフロート
高さ検出	高さ検出		
HydraFlex™ 高さ検出	HydraFlex™ 高さ検出		
高さ検出、HydraFlex™ 高さ検出 [a]	高さ検出		HydraFlex™ 高さ検出
高さ検出、HydraFlex™ 高さ検出 [b]	高さ検出		HydraFlex™ 高さ検出
高さ検出、HydraFlex™ 高さ検出、アクティブヘッダーフロート [a]	高さ検出、HydraFlex™ 高さ検出		アクティブヘッダーフロート
ヘッダー高さ検出、アクティブヘッダーフロート	高さ検出		アクティブヘッダーフロート
HydraFlex™ 高さ検出、アクティブヘッダーフロート	HydraFlex™ 高さ検出		アクティブヘッダーフロート
アクティブヘッダーフロート	アクティブヘッダーフロート		
リール位置再開	リール位置再開		
デッキプレート位置再開	デッキプレート位置再開		
「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」(装備されている場合)	油圧フィーダーハウス前後傾斜		
カッターバー前後位置 [c]	カッターバー前後位置		

[a] 高さ検出および HydraFlex 高さ検出を有効にするには、補助高さセンサー付き 600F または 600FD、またはゲージホール付き 600D が必要です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
[b] 較正中にゲージホイールを固定解除した場合の 600D プラットフォームの既定のモードには、ゲージホイール付き 600D が必要です。
[c] 欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム。

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001746 -40-19MAR14-1/1

ヘッダー高さ再開

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

機械に対するフィーダーハウスの位置を選択し、その位置に自動的に戻すことができます。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用して、プログラム可能な 3 つの異なるヘッダー高さのいずれかを選択します。

注記：複数のモードを有効にした場合は、詳細についてこのセクションの「起動ボタンモードの組み合わせ」を参照してください。

システムの有効化／無効化：

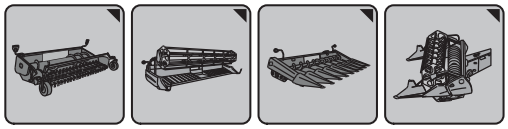
「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

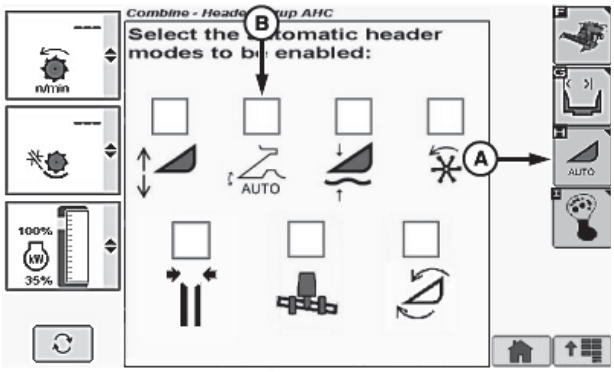
「Header Height Resume (ヘッダー高さ再開)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。

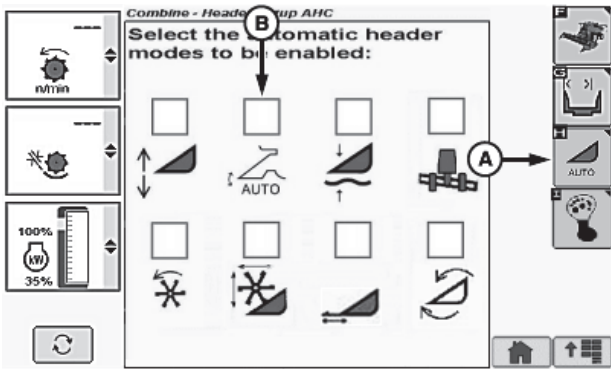
A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン
B：「Header Height Resume (ヘッダー高さ再開)」アイコン



ヘッダー設定のアイコン



コーンヘッドディスプレイ



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 「Header Height Resume (ヘッダー高さ再開)」システムが有効になっている。
- ヘッダーが連結されている。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を押して、ヘッダー高さ再開を起動します。

ディスプレイの起動ボタン番号 (B) は選択した起動ボタンを示しています。

システムが有効であることを示す「Header Height Resume (ヘッダー高さ再開」アイコン (A) がディスプレイに表示されます。

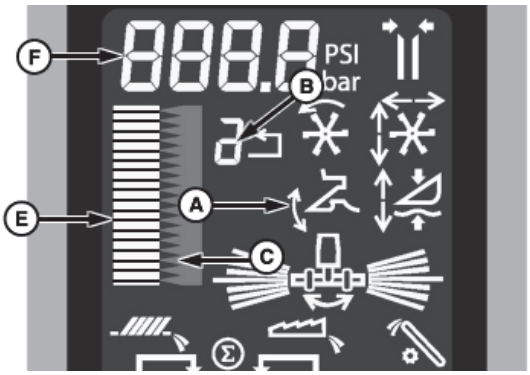
起動ボタンの高さセットポイント (C) を変更するには、必要な起動ボタンを押し、アクティブヘッダー高さ制御ダイヤル (D) を使って高さを調整します。

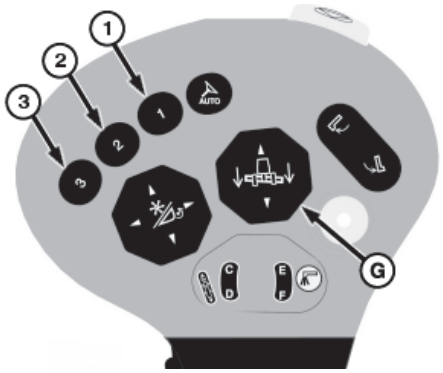
アクティブヘッダー高さ制御ダイヤルをプラス (+) 記号の方向に回してヘッダーとセットポイントを上げるか、マイナス (-) 記号の方向に回してヘッダーとセットポイントを下げます。

バーグラフ (E) と数値ディスプレイ (F) には、フィーダーハウスにリンクされているヘッダー高さ再開センサーに基づいて地面に対するヘッダーの相対位置が表示されます。

ヘッダー昇降スイッチ (G) を使用してヘッダー高さを手動で調整すると、システムは無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは事前に選択した高さに自動的に動きます。





A：「Header Height Resume (ヘッダー高さ再開)」アイコン
B：起動ボタン番号
C：高さセットポイント
D：ヘッダー高さ制御ダイヤル
E：バーグラフ
F：数値ディスプレイ
G：ヘッダー昇降スイッチ

OUO6075,0001747 -40-06FEB14-2/2

ヘッダー高さ検出

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

地面に対するヘッダーの位置を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用して、プログラム可能な 3 つの異なるヘッダー高さのいずれかを選択します。

注記：複数のモードを有効にした場合は、詳細についてこのセクションの「起動ボタンモードの組み合わせ」を参照してください。

システムの有効化／無効化：

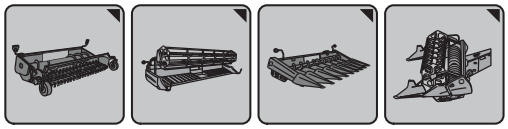
「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

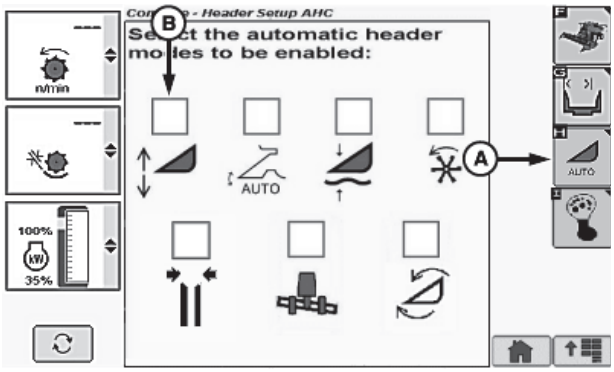
「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。

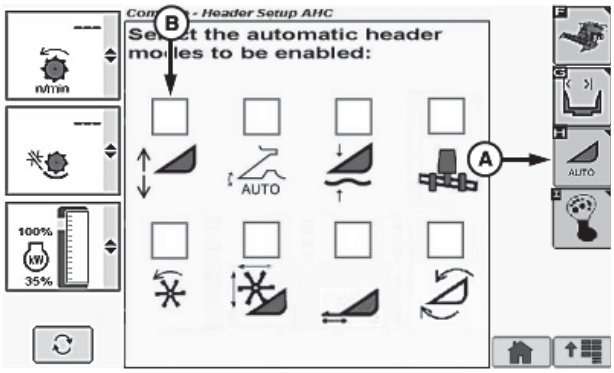
A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン
B：「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」アイコン



ヘッダー設定のアイコン



コーンヘッドディスプレイ



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」システムが有効になっている。
- ヘッダーが連結されている。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を押して、ヘッダー高さ検出を起動します。

ディスプレイの起動ボタン番号 (B) は選択した起動ボタンを示しています。

システムが有効であることを示す「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出」アイコン (A) がディスプレイに表示されます。

起動ボタンの高さセットポイント (C) を変更するには、必要な起動ボタンを押し、アクティブヘッダー高さ制御ダイヤル (D) を使って高さを調整します。

アクティブヘッダー高さ制御ダイヤルをプラス (+) 記号の方向に回してヘッダーとセットポイントを上げるか、マイナス (-) 記号の方向に回してヘッダーとセットポイントを下げます。

バーグラフ (E) と数値ディスプレイ (F) には、ヘッダーにリンクされているヘッダー高さセンサーに基づいてヘッダーの相対位置が表示されます。

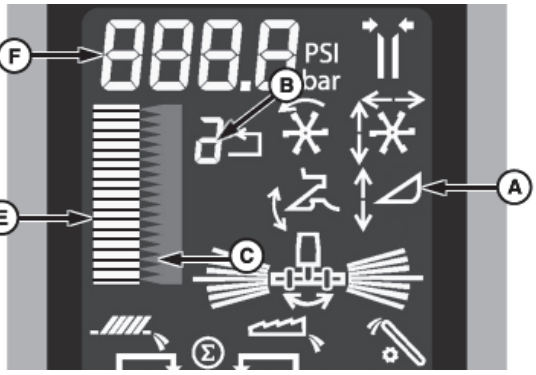
注記：起動ボタンが押されるまでシステムを即座に無効にするようにヘッダー下降スイッチを設定できます。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

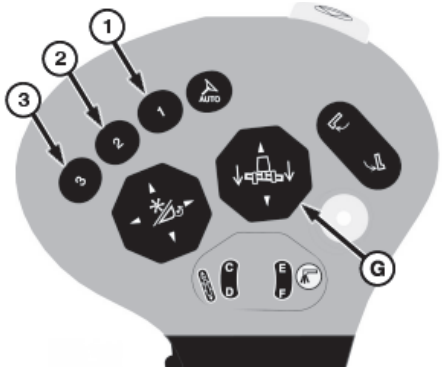
ヘッダー下降スイッチ (G) を使用してヘッダー高さを手動で調整すると、スイッチを解放するまでシステムは一時的にオーバーライド (無効化) されます。スイッチを放すと、システムは自動モードに戻ります。

注記：ヘッダー下降スイッチを押したときにシステムを再起動しないようにヘッダー下降スイッチを設定できます。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

ヘッダー上昇スイッチ (G) を使用すると、ヘッダー下降スイッチが押されるまでシステムは一時的に無効になります。スイッチを押すと、システムは再起動します。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは事前に選択した高さに自動的に動きます。





A：「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」アイコン
B：起動ボタン番号
C：高さセットポイント
D：ヘッダー高さ制御ダイヤル
E：バーグラフ
F：数値ディスプレイ
G：ヘッダー昇降スイッチ

OUO6075,0001748 -40-06FEB14-2/2

ヘッダー高さ検出 (HydraFlex™ プラットフォーム)

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

カッターバー接地圧またはカッターバー重量を調整して、その設定に自動的に戻すことができます。HydraFlex™ はヘッダー高さ検出と連動して機能し、地面に対するヘッダー位置を維持し、地形に追従し、その位置に自動的に戻します。HydraFlex™ ヘッドは、ヘッダーの右側にあるセンサーを使用してカッターバーの支持に使用される油圧を測定します。

注記：HydraFlex™ は地面に対する刈り高を制御します。HydraFlex™ が存在する場合、これは高さ検出システムにより自動的に制御され、アクティブヘッダー制御ダイヤルを通じて調整できません。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

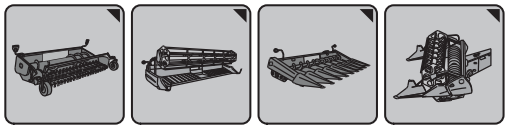
マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用して、プログラム可能な 3 つの異なる HydraFlex™ 圧力のいずれかを選択します。

注記：複数のモードを有効にした場合は、詳細についてこのセクションの「起動ボタンモードの組み合わせ」を参照してください。

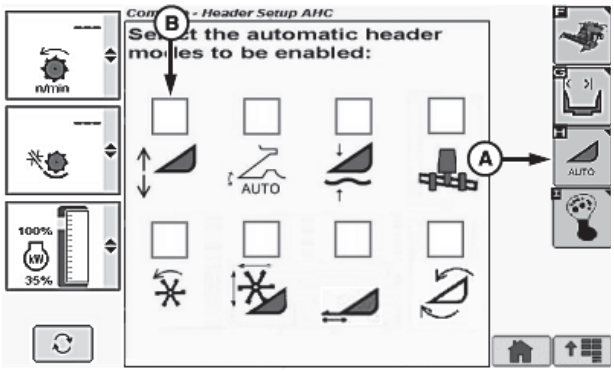
システムの有効化／無効化：

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



ヘッダー設定のアイコン



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン

B：「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」アイコン

「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」システムが有効になっている。
- ヘッダーが連結されている。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、3 を押して、ヘッダー高さ検出 (HydraFlex™) を起動します。

ディスプレイの起動ボタン番号 (B) は選択した起動ボタンを示しています。

システムが有効であることを示す「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出」アイコン (A) がディスプレイに表示されます。

起動ボタンの圧力セットポイント (C) を変更するには、必要な起動ボタンを押し、アクティブヘッダー高さ制御ダイヤル (D) を使って圧力を調整します。

バーグラフ (E) と数値ディスプレイ (F) にプラットフォームのカッターバーの圧力に基づいて圧力セットポイントが表示されます。

注記：自動モードでは、HydraFlex™ はヘッダー高さ検出と無関係に作動できません。これらのシステムは連動してカッターバー重量とヘッダーの動きを制御します。

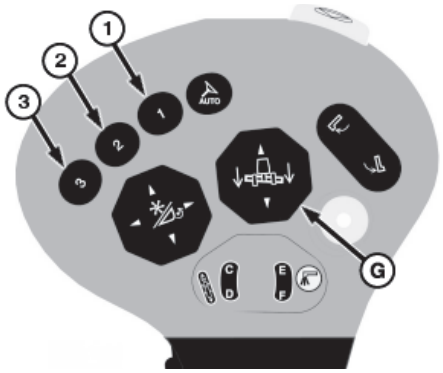
アクティブヘッダー高さ制御ダイヤルをプラス (+) 記号の方向に回して HydraFlex™ 圧力とセットポイントを上げるか、マイナス (-) 記号の方向に回して HydraFlex™ 圧力とセットポイントを下げます。

注記：起動ボタンが押されるまでシステムを即座に無効にするようにヘッダー下降スイッチを設定できます。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

ヘッダー下降スイッチ (G) を使用してヘッダー高さを手動で調整すると、スイッチを解放するまでシステムは一時的にオーバーライド (無効化) されます。スイッチを放すと、システムは自動モードに戻ります。

注記：ヘッダー下降スイッチを押したときにシステムを再起動しないようにヘッダー下降スイッチを設定できます。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

ヘッダー上昇スイッチ (G) を使用すると、ヘッダー下降スイッチが押されるまでシステムは一時的に無効になります。スイッチを押すと、システムは再起動します。



A ：「 Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」アイコン
B：起動ボタン番号
C：圧力セットポイント
D：ヘッダー高さ制御ダイヤル
E：バーグラフ
F：数値ディスプレイ
G：ヘッダー昇降スイッチ

起動ボタン 1、2、または 3 を押してシステムを再起動するか、ヘッダー下降スイッチ (G) でヘッダー高さを下げてシステムを再起動します。ヘッダーは事前に選択した圧力に自動的に移行します。

OUO6075,0001749 -40-06FEB14-2/2

Dial-A-Speed™ システム

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

リールまたはベルトピックアップヘッダーの運転速度を自動制御できます。運転速度は、リールまたはベルト速度に対する機械の対地速度の比です。

システムは、適切なリールまたはベルトピックアップ回転数センサーを備えたヘッダーで作動します。

システムの有効化／無効化：

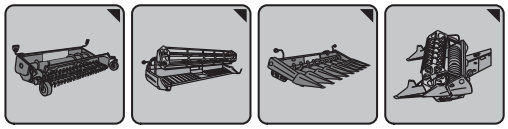
「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

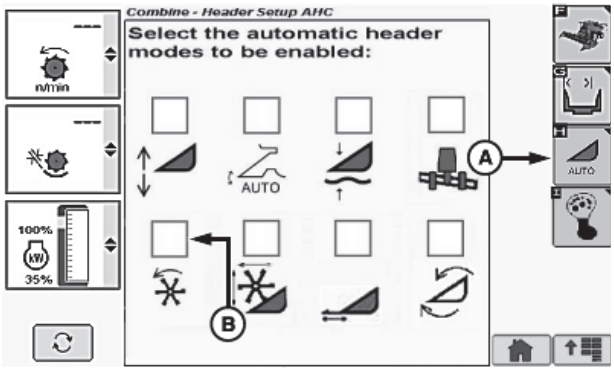
「Dial-A-Speed™」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。

Dial-A-Speed は Deere & Company の商標です。



ヘッダー設定のアイコン



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン

B：Dial-A-Speed™ アイコン

OUO6075,000174A -40-14FEB14-1/3

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーとセパレータが接続されている。
- Dial-A-Speed™ システムが有効になっている。
- 対地速度が 0.25 km/h (0.16 mph) を超えている。

注記：対地速度が 0.25 km/h (0.16 mph) 未満である場合、Dial-A-Speed™ システムは作動しません。

システムが有効であることを示す「Dial-A-Speed™」アイコン (A) がディスプレイに表示されます。

リールまたはベルトピックアップ回転数に対する対地速度の比は、Dial-A-Speed™ ダイヤル (B) を使用して調整します。ダイヤルをプラス (+) 記号の方向に回して、リールまたはベルトピックアップの回転数を増やすか、マイナス (-) 記号の方向に回してリールとベルトピックアップの回転数を減らします。

ディスプレイに現在の速度比設定が表示されます。大きい比率の数値を選択すると、機械の対地速度に対してリールまたはベルトピックアップが高速に作動します。

A：Dial-A-Speed™ アイコン
B：Dial-A-Speed™ ダイヤル

次のページへ

OUO6075,000174A -40-14FEB14-2/3

リールまたはベルトピックアップの最低回転数の変更

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

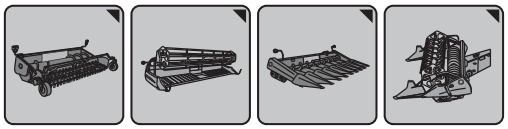
「Minimum Reel Speed (最低リール回転数)」または「Minimum Belt Pickup Speed (最低ベルトピックアップ回転数)」ボックス (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要なヘッダー値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

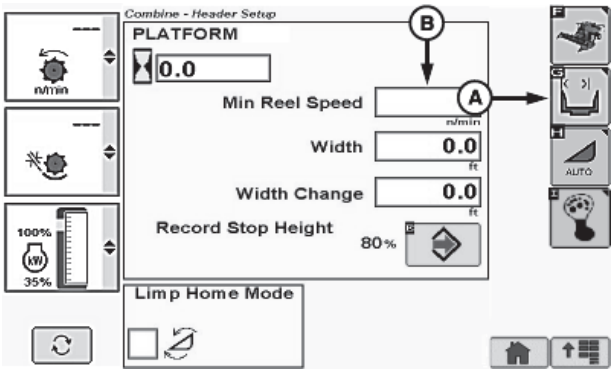
タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要なヘッダー値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

注記：最低リール回転数または最低ベルトピックアップ回転数は 1 rpm の低レンジです。

A：「Header Width Setup (ヘッダー幅の設定)」アイコン
B：「Minimum Reel or Belt Pickup Speed (リールまたはベルトピックアップの最低回転数)」ボックス

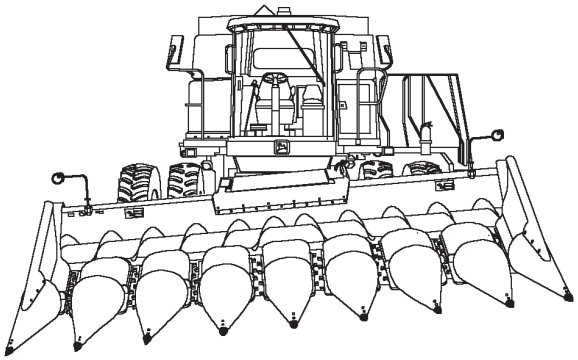


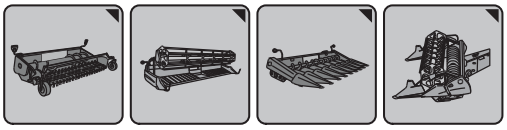
ヘッダー設定のアイコン



OUO6075,000174A -40-14FEB14-3/3

横方向傾斜システム (オプション)





ヘッダー設定のアイコン

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

地面に対するヘッダーの位置を維持できます。ヘッダーの各端部での高さを判定するためにセンサーが使用されます。横方向傾斜システムは、ヘッダーを傾斜させてヘッダーの各端部で地面までの距離を均一にします。横方向傾斜システムは、ヘッダーを左右に傾斜できる特殊なフィーダーハウスを使用します。

左右のヘッダー高さセンサーを装備し、横方向傾斜がアクティブである場合、システムは連携して地面に対してカッターバーを最も近い位置に維持します。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用してシステムを起動します。

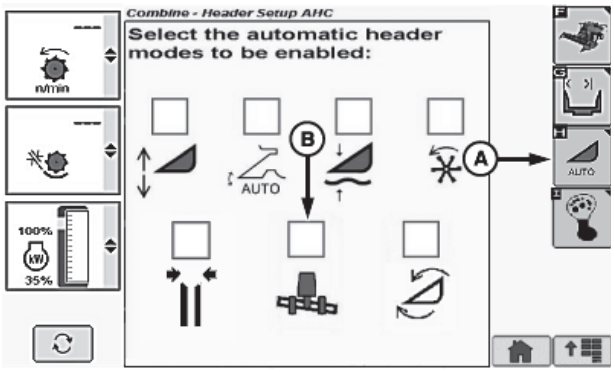
システムの有効化／無効化：

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

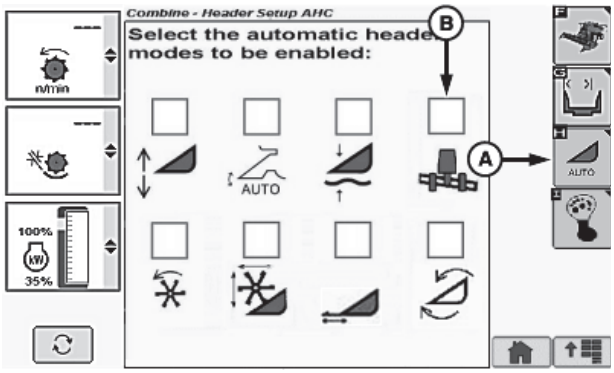
「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Lateral Tilt (横方向傾斜)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。



コーンヘッドディスプレイ



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン

B：「Lateral Tilt (横方向傾斜)」アイコン

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーが較正されている。
- ヘッダーが連結されている。
- Lateral Tilt System (横方向傾斜システム) が有効になっている。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を押して、横方向傾斜を起動します。

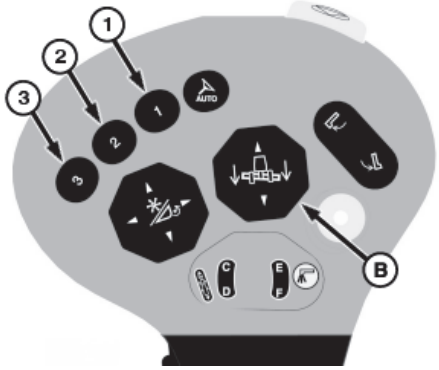
ディスプレイの起動ボタン番号は選択した起動ボタンを示しています。

システムが有効であることを示す「Lateral Tilt (横方向傾斜)」アイコン (A) がディスプレイに表示されます。

注記：「Lateral Tilt (横方向傾斜)」スイッチ (B) を押すと、システムは無効になります。5 秒以内にスイッチを放すと、システムは自動モードに戻ります。

スイッチの右側を押してヘッダーを右に傾斜させるか、スイッチの左側を押してヘッダーを左に傾斜させます。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは自動モードに自動的に戻ります。



A：「Lateral Tilt (横方向傾斜)」アイコン
B：「Lateral Tilt (横方向傾斜)」スイッチ

OUO6075,000174B -40-06FEB14-2/2

アクティブヘッダーフロート

注記：このシステムは、リジッドプラットフォーム、フレックスプラットフォーム、およびドレーパープラットフォームのみで機能します。

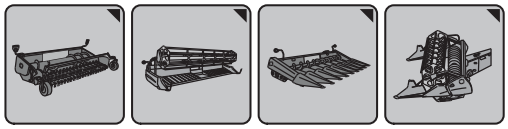
「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

リジッドヘッダーを地面に接触させて作動させ、設定した接地圧を維持できます。オペレータはヘッダーが地面に接触する緊密度を選択して、その圧力に自動的に戻すことができます。センサーはフィーダーハウスのリフトシリンダ内の油圧を測定し、ヘッダーが地面を横断して動くときにその圧力が維持されます。精度はアキュムレータのプレチャージ設定に大きく影響されます。

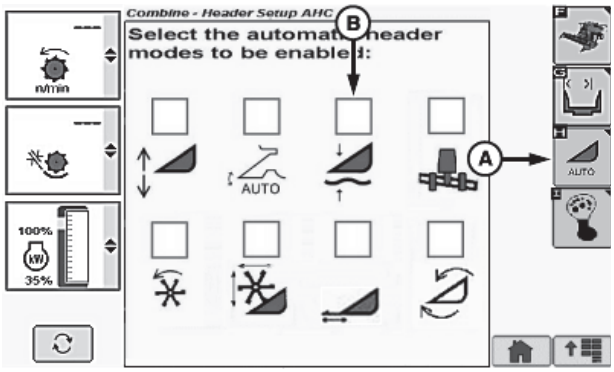
注記：圃場を進んでいるときに、センサーはリフトシリンダ内の圧力を測定します。このシステムは、リフトシリンダ内の油圧に基づいてヘッダー昇降ソレノイドバルブを作動させます。これにより、地形が変化する際にヘッダーの一定の接地圧が維持されます。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用して、プログラム可能な 3 つの異なるヘッダー圧力のいずれかを選択します。



ヘッダー設定のアイコン



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン

B：「Active Header Float (アクティブヘッダーフロート)」アイコン

システムの有効化／無効化：

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Active Header Float (アクティブヘッダーフロート)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- アクティブヘッダーフロートモードが有効になっている。
- ヘッダーが連結されている。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を押して、アクティブヘッダーフロートを起動します。

ディスプレイの起動ボタン番号 (B) は選択した起動ボタンを示しています。

システムが有効であることを示す「Active Header Float (アクティブヘッダーフロート」アイコン (A) がディスプレイに表示されます。

起動ボタンの圧力セットポイント (C) を変更するには、必要な起動ボタンを押し、アクティブヘッダー高さ制御ダイヤル (D) を使って圧力を調整します。

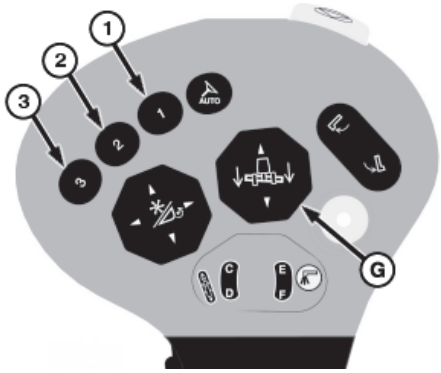
ダイヤルをプラス (+) 記号の方向に回してシリンダリフト圧力セットポイントを増やすか (ヘッダー上昇) 、マイナス (-) 記号の方向に回してシリンダリフト圧力セットポイントを減らします (ヘッダー下降)。

バーグラフ (E) と数値ディスプレイ (F) に実際のヘッダーフロート圧力が表示されます。単位：メートル法では bar、ヤードポンド法では psi。

ヘッダー昇降スイッチ (G) を使用してアクティブヘッダーフロートを手動で上昇させると、システムは無効になります。

注記：ヘッダー昇降スイッチを押すと、システムは 5 秒以内に無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは事前に選択した圧力に自動的に移行します。



A：「Active Header Float (アクティブヘッダーフロート)」アイコン
B：起動ボタン番号
C：圧力セットポイント
D：ヘッダー高さ制御ダイヤル
E：バーグラフ
F：数値ディスプレイ
G：ヘッダー昇降スイッチ

OUO6075,000174C -40-06FEB14-2/2

リール位置再開

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

カッターバーに対するリールの位置を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用して、プログラム可能な 3 つの異なるリール位置／デッキプレート位置のいずれかを選択します。

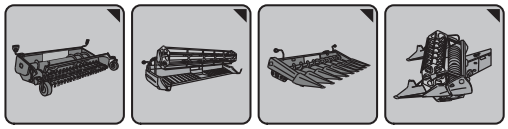
システムの有効化／無効化：

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

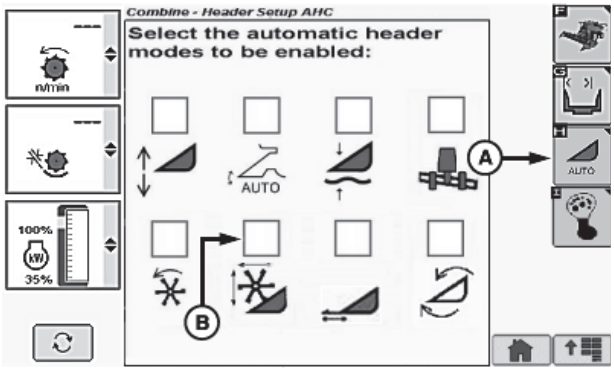
「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Reel Position Resume (リール位置再開)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。



ヘッダー設定のアイコン



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン

B：「Reel Position Resume (リール位置再開)」アイコン

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- 正しく装備されたヘッダー (リール位置センサー付き) が機械に接続され、較正されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

注記：複数のリール位置 (垂れた作物位置や立っている作物位置など) が必要な収穫条件の場合、再開ボタンごとにリール位置を保存して、必要な再開ボタンを保存することにより、あるリール位置から別のリール位置に動かすことができます。

マルチファンクションレバーの現在選択している起動ボタン 1、2、または 3 を 2 秒間押し続けて、リール位置再開セットポイントを保存します。アイコン (A) が点滅して、セットポイントが保存されたことを示します。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を押して、リール位置再開を起動します。

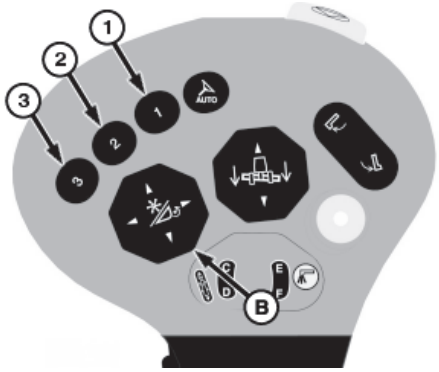
ディスプレイの起動ボタン番号 (C) は選択した起動ボタンを示しています。

システムが有効であることを示す「Reel Position Resume (リール位置再開」アイコン (A) がディスプレイに表示されます。

「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト／リール前後)」スイッチ (B) を使用して、必要なリール前後位置およびリール高さ位置を得ます。

マルチファンクションレバーの「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト／リール前後)」スイッチ (B) を手動で動かすと、リール位置は無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。リールは事前に選択した位置に自動的に移動します。



A：「Reel Position Resume (リール位置再開)」アイコン
B：「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト／リール前後)」スイッチ
C：起動ボタン番号

OUO6075,000174D -40-19MAR14-2/2

デッキプレート位置再開

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

油圧調整式デッキプレートの間隔を選択し、その位置に自動的に戻すことができます。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用して、プログラム可能な 3 つの異なるリール位置／デッキプレート位置のいずれかを選択します。

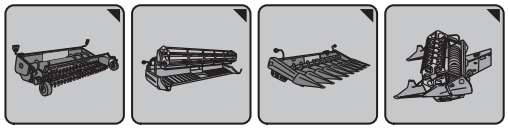
システムの有効化／無効化：

「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

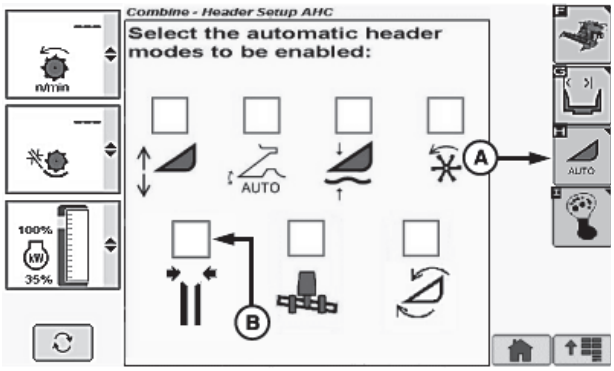
「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置再開)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。



ヘッダー設定のアイコン



コーンヘッドディスプレイ

A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン

B：「Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置再開)」アイコン

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 正しく装備されたヘッダー (デッキプレートセンサー付き) が機械に接続され、較正されている。

注記：マルチファンクションレバーの現在選択している起動ボタン 1、2、または 3 を 2 秒間押し続けて、デッキプレート位置再開セットポイントを保存します。アイコン (A) が点滅して、セットポイントが保存されたことを示します。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を押して、デッキプレート位置再開を起動します。

ディスプレイの起動ボタン番号 (C) は選択した起動ボタンを示しています。

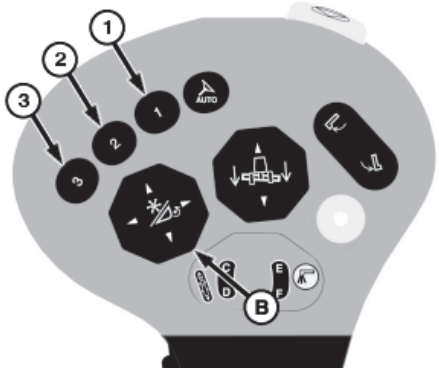
システムが有効であることを示す「Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置再開)」アイコン (A) がディスプレイに表示されます。

「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト／リール前後)」スイッチ (B) を使用して、必要な油圧デッキプレート間隔を得ます。スイッチの左側を押すと間隔が増加し、スイッチの右側を押すと間隔が減少します。

ディスプレイに現在のデッキプレートの開口部が示されます。デッキプレートの範囲は 0 (最小位置)～9 (最大位置) です。

マルチファンクションレバーの「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト／リール前後)」スイッチ (B) を手動で動かすと、デッキプレート間隔は無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。デッキプレートは事前に選択した位置に自動的に移動します。



A：「Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置再開)」アイコン

B：「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト／リール前後)」スイッチ

C：起動ボタン番号

OUO6075,000174E -40-13FEB14-2/2

油圧フィーダーハウス前後傾斜 (装備されている場合)

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

このシステムは、油圧フィーダーハウス前後傾斜を装備している場合のみ機能します。

油圧フィーダーハウス前後傾斜を使用して、プラットフォームスキッドプレートと地面との間の正しい関係を設定します。垂れた作物、フィーダーハウスへの作物の供給、多様な角度でヘッドをピックアップする能力など、さまざまな収穫条件についてカッターバー角度を変更して補正します。センサーはフィーダーハウスの角度を測定し、ヘッダーが地面を横断して動くときにその角度が維持されます。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用して、プログラム可能な 3 つの異なるフィーダーハウス前後傾斜位置位置のいずれかを選択します。

システムの有効化／無効化：

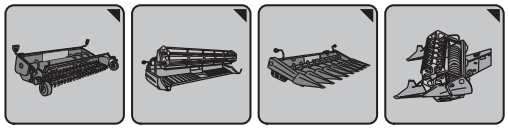
「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

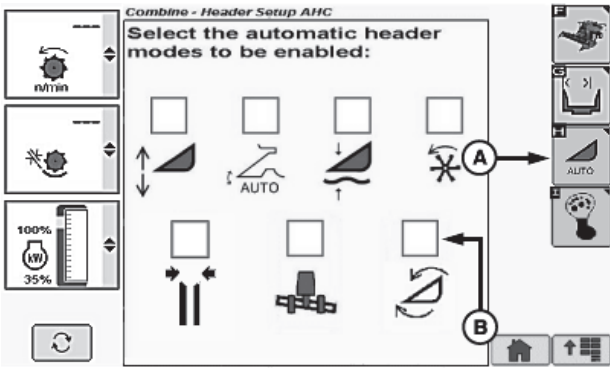
「Feeder House Fore/Aft (フィーダーハウス前後)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。

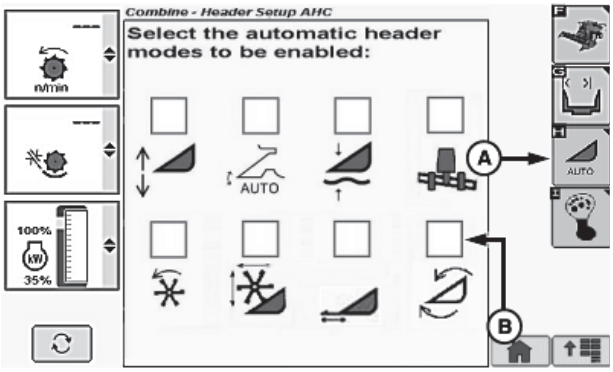
A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン
B：「Feeder House Fore/Aft Tilt (フィーダーハウス前後傾斜)」アイコン



ヘッダー設定のアイコン



コーンヘッドディスプレイ



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 油圧フィーダーハウス前後傾斜システムが有効になっている。
- マルチファンクションレバースイッチに機能が割り当てられている。

注記：マルチファンクションレバーの背面のスイッチは再プログラム可能です。

再プログラムの詳細については、「CommandCenter™ ディスプレイ画面」セクションの「マルチファンクションレバーの設定」を参照してください。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を押して、油圧フィーダーハウス前後傾斜を起動します。

ディスプレイの起動ボタン番号 (A) は選択した起動ボタンを示しています。

起動ボタンの前後傾斜セットポイントを変更するには、必要な起動ボタンを押して、「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」スイッチ (B または C) を使用して前後傾斜を調整します。

スイッチの上部を押し続けて、フィーダーハウスを前方に傾けるか、スイッチの下部を押し続けて、フィーダーハウスを後方に傾けます。

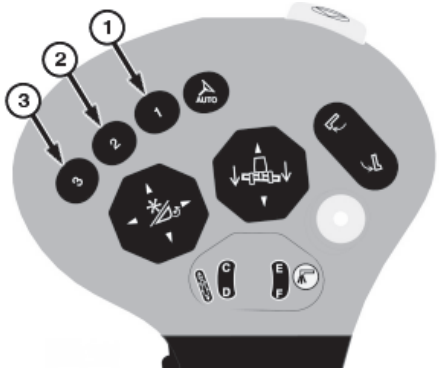
フィーダーハウスにリンクされているセンサーに基づいて地面に対するフィーダーハウスの前後傾斜位置がひじかけのディスプレイに表示されます。

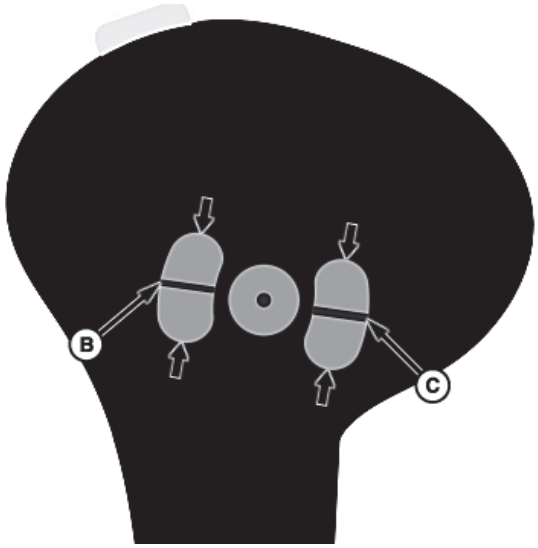
「マルチファンクションレバーの「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」スイッチ (B または C) を手動で動かすと、システムは無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。油圧フィーダーハウス前後傾斜は事前に選択した位置に自動的に移動します。

注記：フィーダーハウスを上昇させてヘッダーを接続すると、フィーダーハウス前後傾斜が自動的に前に移動し、フィーダーハウスを安全に停止させて油圧シリンダロッドまで降ろします。下降する際、フィーダーハウス前後傾斜が前回の位置まで自動的に戻ります。

ヘッダーの接続を解除すると、上昇時にフィーダーハウス前後傾斜が自動的に前に移動します。下降する際、フィーダーハウス前後傾斜は前回の位置まで戻りません。





A：起動ボタン番号
B ：「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」スイッチ
C ：「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」スイッチ

OUO6075,000182F -40-11JUN14-2/2

カッターバー前後位置 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)

注記：「Header setup (ヘッダーの設定)」アイコンは、機械に接続されているヘッダーの種類に応じて変わります。

このシステムは欧州向け 600X ヘッダープラットフォームのみで機能します。

さまざまな作物高さおよび刈株高さに合わせてカッターバーを前後に調整できます。カッターバー位置を変更して、垂れた作物やフィーダーハウスへの作物の供給などのさまざまな収穫条件に合わせて補正します。センサーはカッターバーの位置を測定し、ヘッダーが地面を横断して動く際にその位置に維持します。

使用する各ヘッダーを使ってシステムを較正する必要があります (「較正手順」セクションを参照してください)。

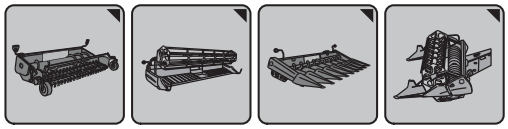
マルチファンクションレバーにある起動ボタン 1、2、または 3 を使用して、プログラム可能な 3 つの異なるフィーダーハウス前後傾斜位置位置のいずれかを選択します。

システムの有効化／無効化：

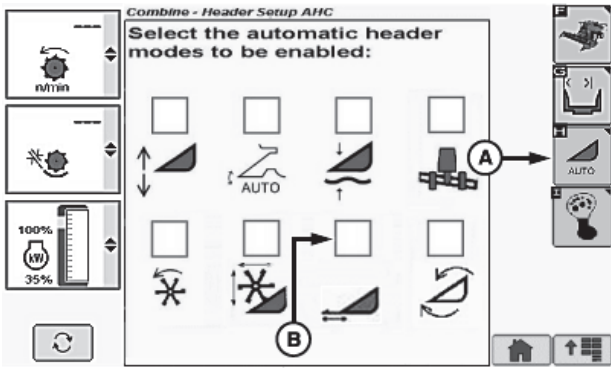
「Header Setup (ヘッダーの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Cutterbar Fore/Aft Position (カッターバー前後位置)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



ヘッダー設定のアイコン



ドレーパー／プラットフォーム／ベルトピックアップディスプレイ

A：「Automatic Header Height Modes (自動ヘッダー高さモード)」アイコン

B：「Cutterbar Fore/Aft Position (カッターバー前後位置)」アイコン

注記：システムが有効になっていることを示すチェックマークが表示されるか、システムが無効になっている場合はチェックマークが表示されません。

次のページへ

操作：

システムは次の場合にアクティブです。

- 正しく装備されたヘッダーが接続されている。
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーが連結されている。
- マルチファンクションレバースイッチに機能が割り当てられている。

注記：マルチファンクションレバーの背面のスイッチは再プログラム可能です。

再プログラムの詳細については、「CommandCenter™ ディスプレイ画面」セクションの「マルチファンクションレバーの設定」を参照してください。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を押して、カッターバー前後位置を起動します。

ディスプレイの起動ボタン番号 (A) は選択した起動ボタンを示しています。

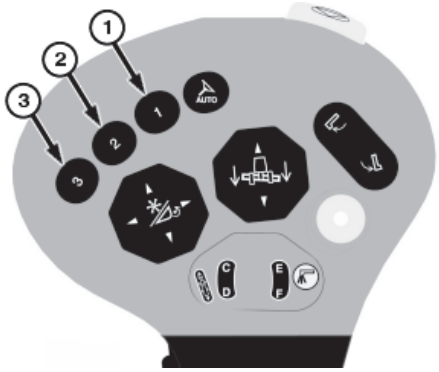
起動ボタンのカッターバー前後セットポイントを変更するには、必要な起動ボタンを押し、カッターバー前後スイッチ (B または C) を使用して前後を調整します。

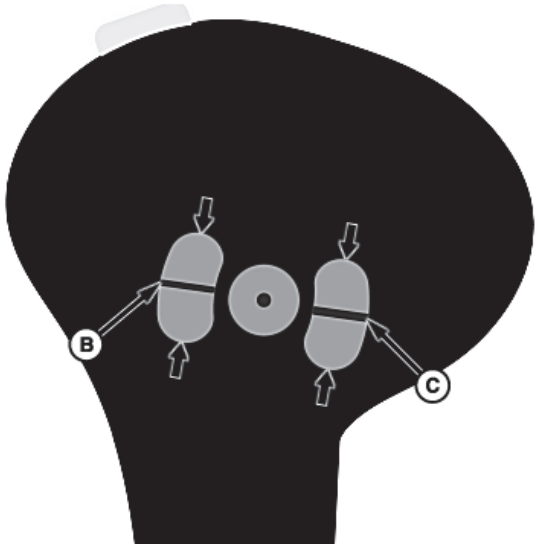
スイッチの上部を押し続けてカッターバー位置を伸長させるか、スイッチの下部を押し続けてカッターバー位置を収縮させます。

ヘッダーにリンクされているセンサーに基づいて、ヘッダーに対するカッターバーの前後位置がひじかけのディスプレイに表示されます。

「マルチファンクションレバーの「Cutterbar Fore/Aft (カッターバー前後)」スイッチ (B または C) を手動で動かすと、システムは無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。カッターバー前後位置は事前に選択した位置に自動的に移動します。

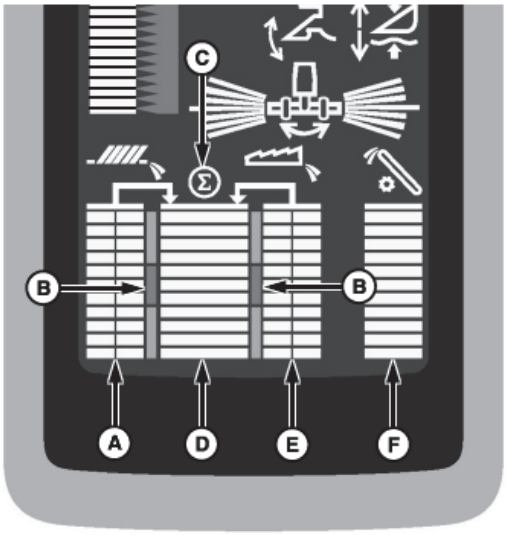




A：起動ボタン番号
B：「Cutterbar Fore/Aft (カッターバー前後)」スイッチ
C：「Cutterbar Fore/Aft (カッターバー前後)」スイッチ

OUO6075,000175C -40-01APR14-2/2

VisionTrak™ ディスプレイ



システム要件：

- ヘッダースイッチとセパレータスイッチが接続されている。

VisionTrak™ モニタは、クリーニングシューとセパレータで発生するロスの代表的なサンプルを測定することにより穀粒ロスを確認します。VisionTrak™ は機械性能を連続的にモニタし、オペレータは最大の機械能力を利用できます。ロス率の変化はバーグラフに表示されます。

穀粒ロス情報は 3 つの縦のバーグラフにより表示されます。

「Shoe Loss Indicator (シューロスインジケーター)」(A)：シューからの穀粒ロスが表示されます。

- 平均シューロスは隣接する 2 つの縦のバーグラフにより表示されます。

標準範囲 (B) (緑の範囲)：中心範囲近くの線は受け入れ可能なロスレベルを示しています。

総和記号 (C)：バーグラフの上に表示されます。

「Total Loss (合計ロス)」インジケーター (D)：シューおよびセパレータ部分からの平均穀粒ロスが表示されます。

- 合計ロスはディスプレイの中央にある縦のバーグラフに表示されます。

「Separator Loss (セパレーターロス)」インジケーター (E)：セパレータ部分からの穀粒ロスが表示されます。

- 平均セパレータロスは隣接する 2 つの縦のバーグラフにより表示されます。

「Tailings Volume Indicator (2 番物の量インジケーター)」(F)：二番還元の量が表示されます。

- 2 番物の量は、縦のバーグラフ合計全体に対する割合として表示されます。
- 2 番物の量は、2 番物エレベータを通過する材料 (穀粒と穀粒以外の材料) の総量として定義されます。

注記：バーグラフが目盛いっぱいまで表示されているか、警告アラーム画面が表示された場合は、機械を停止して、チャファーとふるいを調整してください。

バーグラフは、2 番物の量の増減が発生しているかどうかを定期的に確認できる視覚的なガイドです。

バーグラフで量の増加が示された場合は、対地速度を下げてバーグラフが受け入れ可能なロス範囲に戻るかどうかを確認してください。

対地速度を遅くしてもバーグラフが受け入れ可能なロス範囲に戻らない場合は、ヘッダースイッチを解除してください。バーグラフがゼロになります (バーグラフに何も表示されません)。ヘッダースイッチを接続すると、バーグラフは受け入れ可能なロス範囲に戻る必要があります。

次のページへ

収穫していない時や収穫時に空の時 (バーの点灯なし) に 2 番物センサーの表示が常に最大 (すべてのバーが点灯) になる場合は、センサーのレンズに材料が付着しているか、レンズの下側のシールを通ってほこりが侵入している可能性があります。

警戒：2 番物センサーはクラス 1 レーザー製品であり、通電時にレーザーを放射します。2 番物センサーを整備または取り外す際は、十分注意してビームを直接見ないようにしてください。

2 番物センサーを整備または取り外す前に、キースイッチを OFF にして 2 番物センサーを外す必要があります。

レンズを取り外した状態でセンサーを作動させないでください。レンズが所定の位置にある時にアクセス可能なレーザー発光：

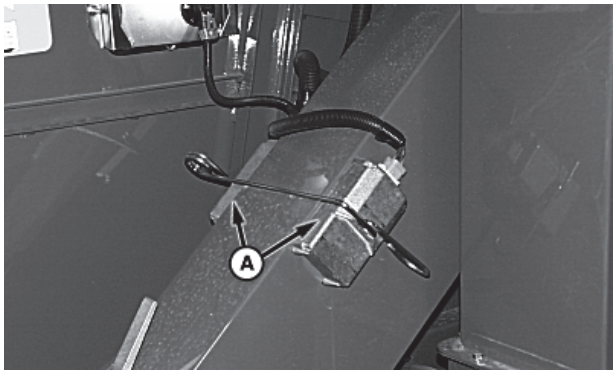
- 850 nm
- 500 nsec パルス幅
- ≤ 500 Hz 反復率
- < 90 nJ/パルス
- 43 uW 平均出力
- クラス 1 レベル (目に安全)

レンズを取り外した状態でセンサーを作動させた場合のアクセス可能なレーザー発光レベル：

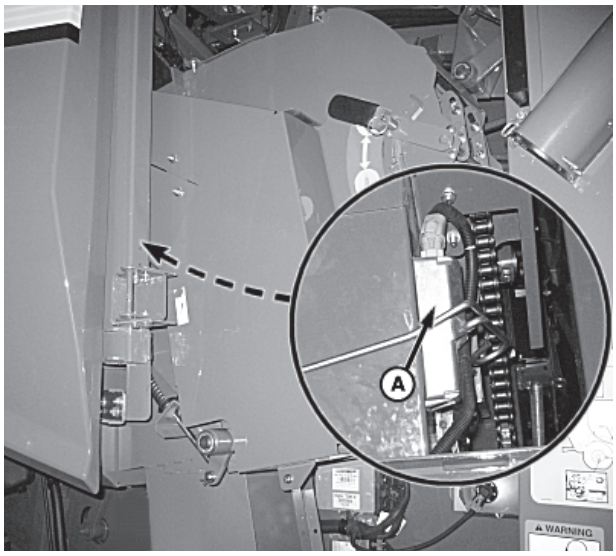
- 850 nm
- 500 nsec パルス幅
- ≤ 500 Hz 反復率
- < 380 nJ/パルス
- 188 uW 平均出力
- クラス 3R レベル (目の傷害の軽微な可能性)

1. 2 番物センサー (A) を取り外して点検し、必要に応じてレンズを清掃します。
2. レンズが汚れていない場合は、取り外してほこりを点検します。ほこりが見つかった場合は、各部を十分清掃し、レンズをユニットに組み付けてガスケットで密封されていることを確認します。
3. 取り付けの前に、前の手順で取り外したすべてのねじでレンズが固定されていることを確認します。

警戒：エレベータに交換用センサーを取り付ける前にプラスチックカバーの取り付けを怠ると、故障、収穫の不適切な読み取り、センサーの損傷が発生することがあり、センサーの取り外し時に目がレーザーにさらされる潜在的な危険があります。



2 番物センサー (S660、S670)



2 番物センサー (S680、S685、S690)

A：2 番物センサー

4. センサーを取り付けてシステムをテストします。
5. ディスプレイにフルまたは空が続けて表示される場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00017F5 -40-08MAY14-2/2

VisionTrak™ パフォーマンスモニタ (一般情報)

注記：VisionTrak™ は、ヘッダーが接続されて診断モードの時にアクティブになります。

VisionTrak™ モニタは、クリーニングシューとセパレータで発生するロスの代表的なサンプルを測定することにより穀粒ロスを確認します。VisionTrak™ が機械の性能を連続的にモニタし、機械の能力を最大限に利用できます。ロス率の変化はバーグラフに表示されます。

VisionTrak™ は、以下の 2 つのモードに設定できます。

標準モード (工場出荷時モード)：シューセンサーをまとめて平均化します。これらのアクティビティインジケーターは、システム較正の変化に応じて感度が変わります。

シューアクティビティインジケーター (A、B) (シューセンサーの平均) およびセパレータアクティビティインジケーター (C) は 3 つのセンサーそれぞれのアクティビティを示します。「Total Loss Activity (合計ロスアクティビティ)」インジケーター (D) は、3 つのセンサーからの合計ヒット数を表示します。この合計は、通常の性能が中央のスケールに表示されるように調整できます。

オプションモード：個々のシューセンサーのアクティビティが表示されます (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。これらのアクティビティインジケーターは、システム較正の変化に応じて感度が変わります。

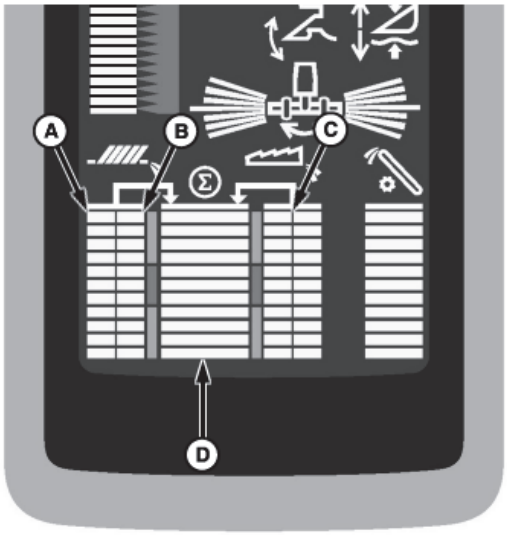
シューアクティビティインジケーター (A、B) (シューセンサーは個別に表示されます) およびセパレータアクティビティインジケーター (C) は 3 つのセンサーのアクティビティを示します。「Total Loss Activity (合計ロスアクティビティ)」インジケーター (D) は、3 つのセンサーからの合計ヒット数を表示します。較正を実施中に通常の性能が中央のスケールに表示されるように、すべてのバーを調整できます。

注記：シュー／セパレータロス (バランス) およびシュー／セパレータロス (感度) の調整については、このセクションの「VisionTrak™ パフォーマンスモニタ：操作」を参照してください。

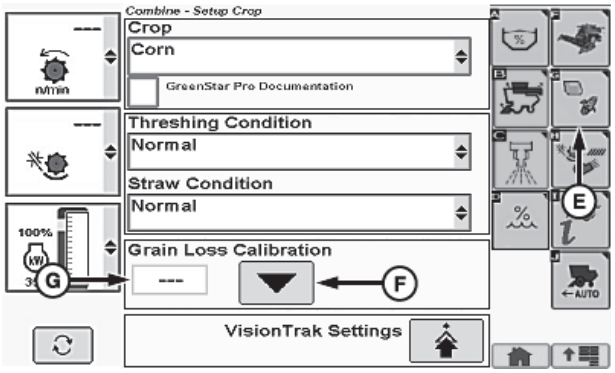
「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop Setup (作物の設定)」アイコン (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

機械およびヘッダーを特定の作物や条件について受け入れ可能なロスレベルに調整します。必要な性能で機械を運転中に、「Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。これにより、現在の運転特性がメモリに入力され、コーナーポストの合計ロスアクティビティインジケーターが中心に設定されます。「Grain Loss Calibration Value (穀粒ロス較正値)」(G) も将来の参照用として表示されます。VisionTrak™ はオペレータが機械性能を維持しやすいように設定されました。



「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Shoe Activity (シューアクティビティ)」インジケーター (左センサー)
B：「Shoe Activity (シューアクティビティ)」インジケーター (右センサー)
C：「Separator Activity (セパレータアクティビティ)」インジケーター
D：「Total Loss (合計ロス)」インジケーター
E：「Crop Setup (作物の設定)」アイコン
F：「Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)」アイコン
G：「Grain Loss Calibration Value (穀粒ロス較正値)」

注記：中央のバーグラフは視覚的なガイドになります。オペレータは定期的にディスプレイを確認して、合計ロス量の増減が発生したことを確認できます。圃場条件が変わらないときにバーグラフが突然上に動いたら、チャファーまたはふるいが詰まっているか閉じていることを示している可能性があります。これが発生したときは、機械を停止して問題を解決してください。

VisionTrak は John Deere の商標です。

OUO6075,0001835 -40-12JUN14-1/1

VisionTrak™ パフォーマンスモニタ：操作

VisionTrak™ パフォーマンスモニタは、以下の場合にアクティブになります。

- ヘッダーが連結されている。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop Setup (作物の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop (作物)」メニュー (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Crop (作物)」メニューには、以下の情報が表示されます。

アルファルファ	ヒラマメ	ライムギ
オオムギ	ルピナス	ベニバナ
オオムギ：春 [a]	イブキヌカボ	ソルガム
オオムギ：冬 [a]	カラシ	大豆
アブラナ	白インゲンマメ	ヒマワリ
ヒヨコ豆	オートムギ	ライコムギ [a]
トウモロコシ	エンドウマメ	コムギ：春
食用豆	ポップコーン	コムギ：冬
亜麻	ナタネ [a]	
牧草種子	イネ	

[a] 欧州の作物一覧のみ。

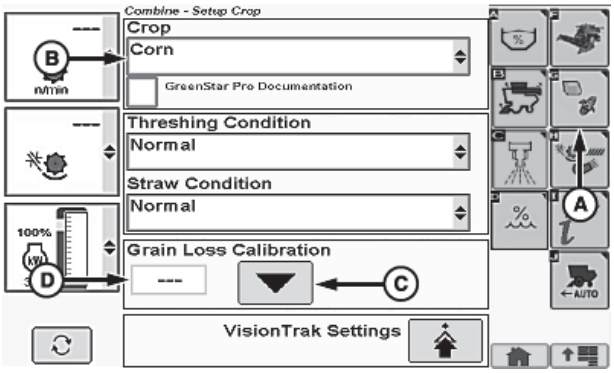
必要な作物を選択したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)：

機械およびヘッダーを特定の作物や条件について受け入れ可能なロスレベルに調整します。

「Calibration (較正)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Crop Setup (作物の設定)」アイコン
B：「Crop (作物)」メニュー
C：「Calibration (較正)」アイコン
D：「Grain Loss Calibration Value (穀粒ロス較正値)」

注記：これにより、現在の運転特性がメモリに入力され、コーナーポストの合計ロスアクティビティインジケーターが中心に設定されます。

Calibration Reference Number (較正参照番号)：

「Grain Loss Calibration Value (穀粒ロス較正値)」(D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な較正基準値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な較正基準値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

VisionTrak は John Deere の商標です。

次のページへ

シュー／セパレータバランス

VisionTrak™ ディスプレイにあるシューロスインジケーターとセパレーターロスインジケーターの間でバーのバランスを調整します。機械の 1 つのエリアからのロスが表示され、作物条件によって機械のその他のエリアにより多くのロスが表示される場合は、調整を使用してディスプレイを微調整できます。

「VisionTrak™ Settings (VisionTrak™ の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」ボックス (B) または「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」バーグラフ (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」ボックスの調整：

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要なシュー／セパレータバランス値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要なシュー／セパレータバランス値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス)」バーグラフの調整：

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：選択ダイヤルを回して、シュー／セパレータバランスバーグラフを必要な値に増減します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要なシュー／セパレータバランス値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Return/Back (戻る)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」

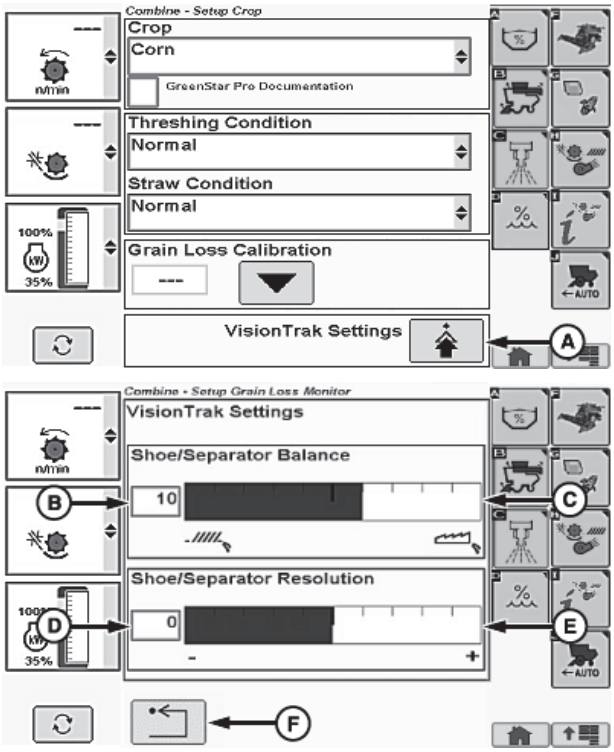
シューロスインジケーターとセパレーターインジケーターについて VisionTrak™ ディスプレイに表示されるバーの数を変更できます (センターバーの数に無関係に)。

「VisionTrak™ Settings (VisionTrak™ の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」ボックス (D) または「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」バーグラフ (E) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」ボックスの調整：

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要なシュー／セパレータ分解能値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。



A：VisionTrak™ Settings (VisionTrak™ の設定) アイコン
B：Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス) ボックス
C：Shoe/Separator Balance (シュー／セパレータバランス) バーグラフ
D：Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能) ボックス
E：Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能) バーグラフ
F：Return/Back (戻る) アイコン

タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要なシュー／セパレータ分解能値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

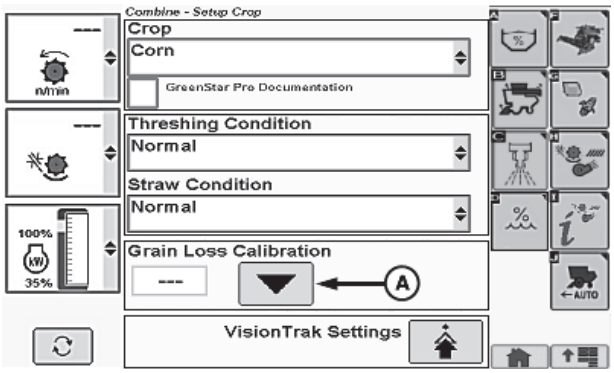
「Shoe/Separator Resolution (シュー／セパレータ分解能)」バーグラフの調整：：

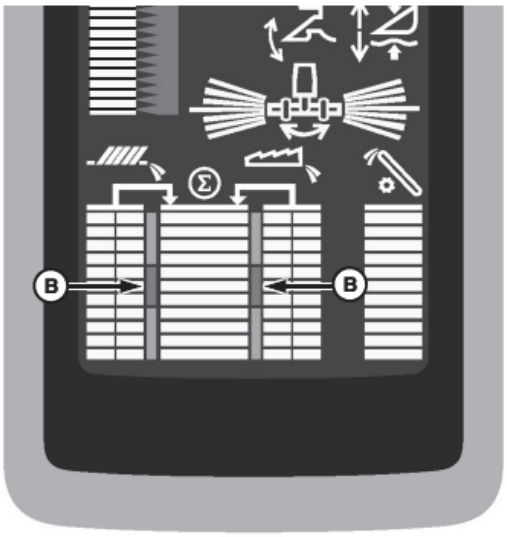
非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：選択ダイヤルを回して、シュー／セパレータ分解能バーグラフを必要な値に増減します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：「プラス (+)」または「マイナス (-)」アイコンを強調表示したら、必要なシュー／セパレータ分解能値が表示されるまで押して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Return/Back (戻る)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

次のページへ





A：「Calibration (較正)」アイコン　　B：通常範囲

ディスプレイで以下の設定を行います。

1. 「Crop (作物)」メニューから収穫する必要な作物を選択します。
2. 機械およびヘッダーを特定の作物や条件について受け入れ可能なロスレベルに調整します。

注記：このときにコーナーポストの中央のバーグラフを無視します。

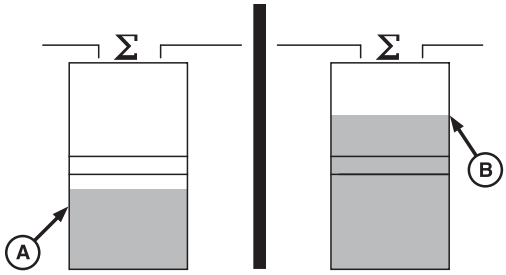
3. 受け入れ可能なロスレベルで機械を運転します。
4. 「Calibration (較正)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、合計ロスを通常範囲 (B) の中央に配置します。バーグラフは、オペレータが手順 3 で指定した受け入れ可能な合計ロスレベルで運転されていることを示します。

OUO6075,0001836 -40-12JUN14-3/4

注記：バーグラフは視覚的なガイドになります。オペレータは定期的にディスプレイを確認して、合計ロス量の減少 (A) または増加 (B) が発生したことを確認できます。クリーニングシューおよびセパレータのロスレベルを監視することにより、より詳細なモニタリングが可能です。

5. 日中、作物条件 (わら水分、露など) が変化する場合は、ロスを時々点検して再調整が必要かどうかを判定してください。

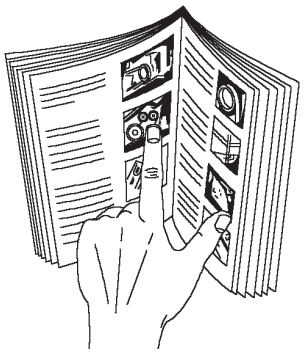
A：減少
B：増加



OUO6075,0001836 -40-12JUN14-4/4

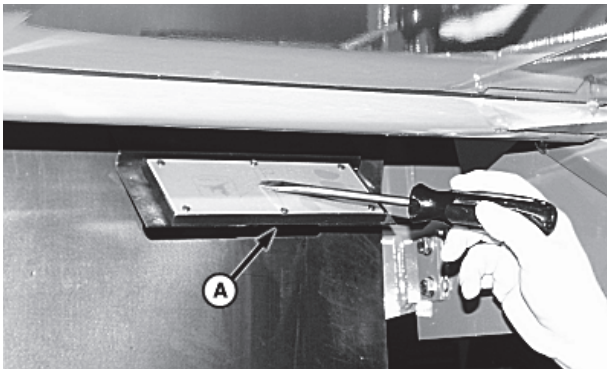
VisionTrak：機械での予備調整

VisionTrak パフォーマンスモニタを調整する前にピークの効率で運転されるように機械を調整してください。調整は、関連する圃場および作物条件に対応している必要があります(「作物の設定」セクションを参照してください)。

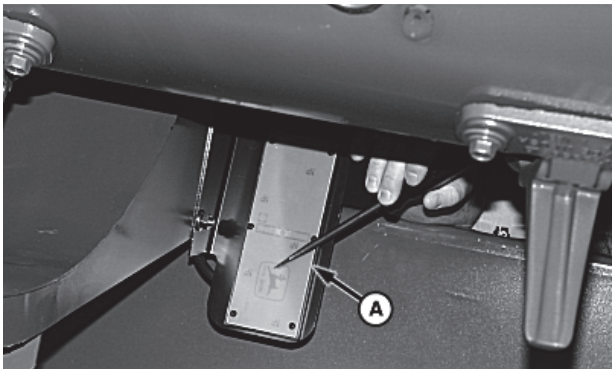


OUO6075,00004CE -40-19NOV09-1/1

VisionTrak™ 作動点検



右シューセンサー



セパレータセンサー

A：センサー

注記：この作動点検は 2 人で実施する必要があります。1 人がオペレータシートに座り、もう 1 人がセンサーを軽くたたきます。

1. キースイッチを RUN 位置に回しますが、機械は始動しないでください。
2. ヘッダースイッチを接続します。

注記：前回較正した作物にしておく必要があります。「Grain Loss Calibration Value (穀粒ロス較正値)」は 50 未満である必要があります。

3. 該当するセンサー (A) を数回軽くたたきます。VisionTrak™ ディスプレイにシューロスインジケーターまたはセパレータロスインジケーターの動きが表示されます。

注記：穀粒ロス較正値を元の値に戻すか、他の作物の較正を実行します。

4. ヘッダースイッチを解除して、キースイッチを OFF にします。
5. これらの点検を実施した後、VisionTrak™ が機能しない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00017F4 -40-08MAY14-1/1

較正手順：較正の時期

このリストは、可能性のあるすべての較正を示しています。機械のオプションおよびヘッダータイプによっては、リストがディスプレイに表示される較正メニューと一致しないことがあります。

注記：較正手順中に問題が存在する場合、エラーコードがディスプレイに表示されます。較正を続行する前にエラーを発生している条件を修正する必要があります。

- **黄色のフラッシャ**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット RC1、黄色のフラッシャのバルブ、または関連する部品を交換／調整した場合。
- **コーンヘッドデッキプレート間隔**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC1、デッキプレート位置センサー、または関連する部品を交換／調整した場合。
- **フィーダーハウス上昇速度**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC1 を交換した場合。
  - 各ヘッダーをコンバインに初めて接続した場合。
  - 非常に重い装置をヘッダーに追加した場合、またはヘッダーから取り外した場合。
- **フィーダーハウス前後傾斜範囲 (装備されている場合)**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC1、コントロールユニット CAB、フィーダーハウス前後位置センサー、または関連する部品を交換／調整した場合。
- **フィーダーハウス傾斜範囲 (装備されている場合)**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC1 を交換した場合。
  - フィーダーハウス横方向傾斜センサーまたは関連する部品を交換／調整した場合。
  - ヘッダーをコンバインに接続する前。
- **フィーダーハウス傾斜速度 (装備されている場合)**：次の場合に較正を実施してください。
  - フィーダーハウス横方向傾斜センサーまたは関連する部品を交換／調整した場合。
  - ヘッダーをコンバインに接続する前、または初めて接続したとき。
- **ヘッダー**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC1 を交換した場合。
  - ヘッダー高さ制御センサーまたは関連する部品を交換／調整した場合。
  - 各ヘッダーをコンバインに初めて接続した場合。

  注記：質量流量振動較正は、ヘッダーを変更した場合、および収穫する作物ごとに実施する櫃必要があります。

- **質量流量振動 (装備されている場合)**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット AYM、または関連する部品を交換／調整した場合。
- **水分センサー温度 (装備されている場合)**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット AYM、または関連する部品を交換／調整した場合。
- **リールおよびカッターバー位置 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム)**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC1、リール／カッターバー位置センサー、または関連する部品を交換／調整した場合。
- **シューチャファー位置**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC2 またはチャファーアクチュエータを交換／調整した場合、またはルーバー開口部が調整範囲を外れている場合。
- **シューふるい位置**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC2 またはふるいアクチュエータを交換／調整した場合、またはルーバー開口部が調整範囲を外れている場合。

  重要：ラウンドバーコンケーブカバーを取り付けた状態で較正を行わないでください。ゼロ位置が不適切になる可能性があります。

- **脱穀隙間**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC2、脱穀隙間センサー、または関連する部品を交換／調整した場合。

  注記：コンケーブエア抜きの較正に入る前に、水平調整ねじが保管位置にあり、エア抜きホースが取り付けられてエンジンが作動していることを確認します。

- **コンケーブエア抜き (アクティブコンケーブアイソレーションオプション)**：次の場合に較正を実施してください。
  - コンケーブシステムの油圧部品を交換した場合。
  - 油圧システムに空気が入った場合。
- **コンケーブ水平調整 (アクティブコンケーブアイソレーションオプション)**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット LC2、脱穀隙間センサー、または関連する部品を交換／調整した場合。
  - コンケーブの交換／取り外しを行った場合、または関連する部品を交換／調整した場合。
- **アンローディングオーガ接続**：次の場合に較正を実施してください。
  - コントロールユニット RC2、アンローディングオーガベルト、または関連する部品を交換／調整した場合。

  注記：収量較正は、正確な穀粒重量測定値を得るために毎年および収穫する作物ごとに実行する必要があります。また、作物ごとに質量流量振動較正が実施済みであることを確認してください。

  詳細については、「CommandCenter ディスプレイ画面」セクションの「収量較正」を参照してください。

次のページへ

- **収量 (装備されている場合)** : コントロールユニット AYM または関連する部品を交換／調整した場合は、較正を実施してください。
  - 制限付き精度：ユーザー較正手順が実行されていません。較正値を調整できない場合、システムは既定で固定内部較正値に設定します。
  - 中精度：ユーザーは 1～3 の負荷を収集して選択しました。システムはこれらの値を使用して内部較正値を調整します。
  - 最高精度：ユーザーは 4 つ以上の較正負荷を収集して選択しました。システムはこれらの値を使用して内部較正値を調整します。

注記：メモリがいっぱいになって負荷識別番号を削除しなければならなくなるまで、13 個の負荷識別番号を保存できます。

OUO6075,0001869 -40-01JUL14-2/2

較正手順

「Diagnostic (診断)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Calibration (較正)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Calibration (較正)」メニュー (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

必要な**較正**を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

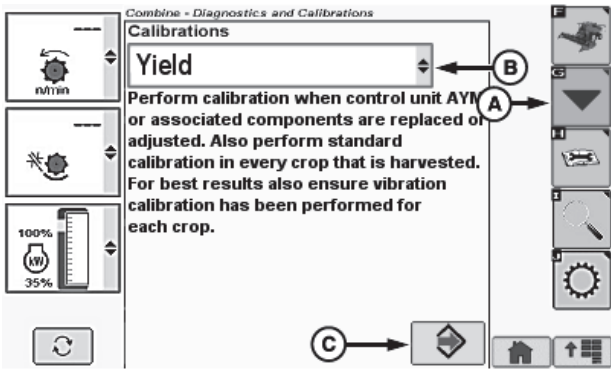
「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ディスプレイに表示される指示に従って較正を実行します。

必要に応じてその他の較正の手順を繰り返します。

A：「Calibration (較正)」アイコン
B：「Calibrations (較正)」メニュー
C：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

「Diagnostic (診断)」アイコン



OUO6075,0000623 -40-26APR10-1/1

較正エラーコード

注記：較正手順中にエラーコードが発生すると、CommandCenteディスプレイにコードが表示されます。較正を続行する前にエラーを発生している条件を修正する必要があります。

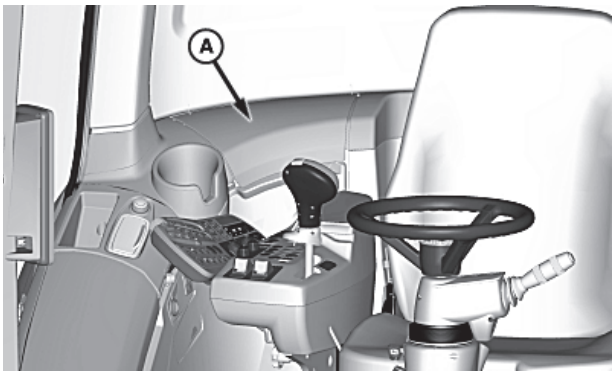
機械を較正中に較正エラーコードが表示された場合は、詳細について「診断トラブルコード」セクションを参照してください。

OUO6075,0000624 -40-22JAN10-1/1

マニュアルの保管場所

機械のオペレータマニュアルおよび設定カードはキャビン後部の壁にそった収納ボックス (A) に保管してください。

A：収納ボックス

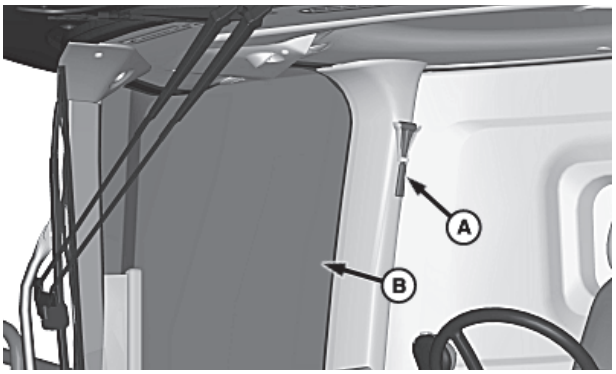


OUO6075,0000628 -40-04FEB10-1/1

非常出口

ハンマー (A) を取り外して、窓 (B) をたたいてガラスを割り、キャビンから出てください。ウィンドウの交換については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

A：ハンマー
B：ウィンドウ



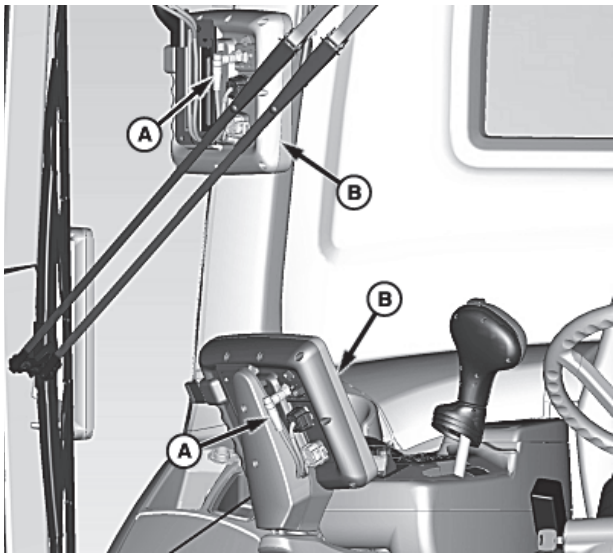
OUO6075,0000626 -40-22JAN10-1/1

John Deere FarmSight™ イーサネット接続 (装備されている場合)

注記：John Deere FarmSight™ 対応の機械にはイーサネットケーブルが取り付けられており、このケーブルはひじかけのディスプレイに接続されます (GreenStar™ 3 2630 ディスプレイを装備している場合)。

イーサネットケーブル (A) は、ひじかけまたはコーナーポストにある GreenStar™ 3 2630 ディスプレイ (B) を John Deere FarmSight™ テクノロジを使用して接続するために使用されます。その他のコントロールユニットはひじかけの下のキャビンフロアにあります。詳細については、John Deere FarmSight™ の取扱説明書を参照してください。

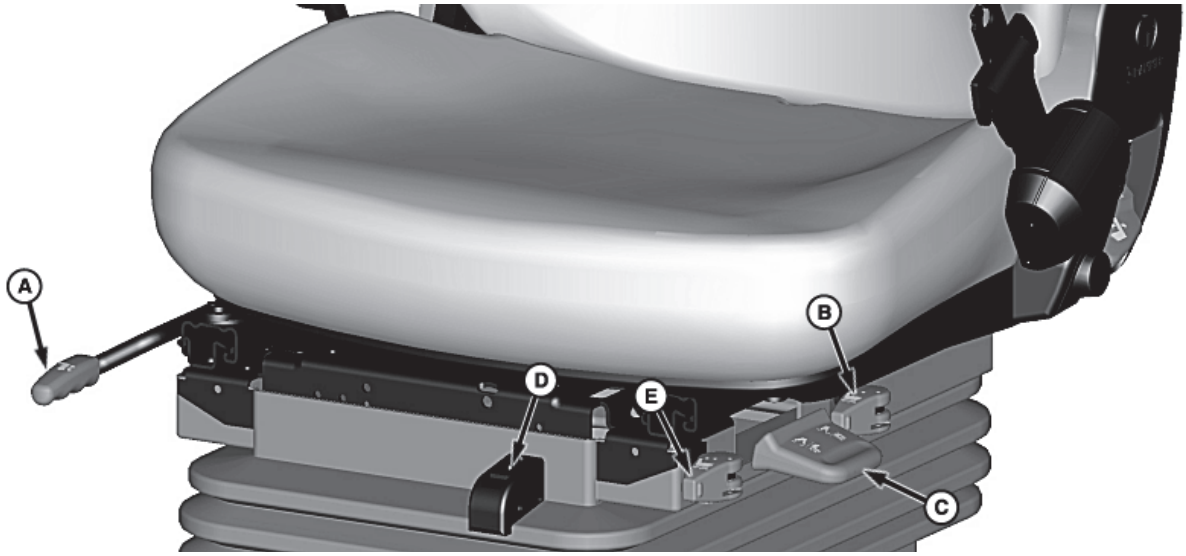
A：イーサネットケーブル
B：GreenStar™ 3 2630 ディスプレイ



FarmSight は Deere & Company の商標です。
GreenStar は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00012CD -40-16NOV12-1/1

ComfortCommand オペレータシート (ベーシックシート) : 調整



注記 : シートにはオペレータプレゼンスシステムが装備されています。ヘッダーシステムおよびセパレータシステムが接続されている場合にオペレータがシートから離れると、ヘッダードライブシステムは接続解除されます。

A : 前後調整ハンドルにより、シートを前後に動かして最適な作業位置に設定します。

B : 垂直衝撃吸収コントロールは、シートサスペンションで生じる「上向きの動き」の量を制限します。

注記 : コントロールを前方に押してソフトな乗り心地にするか、ハンドルを戻して硬い乗り心地にします。これら 2 つの位置の間にすると、中程度の硬さが得られます。

C : 体重／身長調整ハンドルにより、シートを上げ下げします。ハンドルを引き上げるとシートが上昇し、ハンドルを押し下げるとシートが下降します。体重／身長インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

注記 : サスペンションは、最低高さおよび最高高さの制限に達するまで調整できます。これらの制限に達すると、サスペンションシステムがロックアウトされ、硬くなります。サスペンション高さコントロールは、一番端に近すぎる調整を行った場合に限界にもヒットします。

シートを調整しているときは 1 分以上コンプレッサを作動させないでください。

シートがフロートしないまたは「膨らまない」場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

D : 体重／身長インジケーターは現在の体重と身長をオペレータに視覚的に示します。体重／身長調整ハンドルを使用して、インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

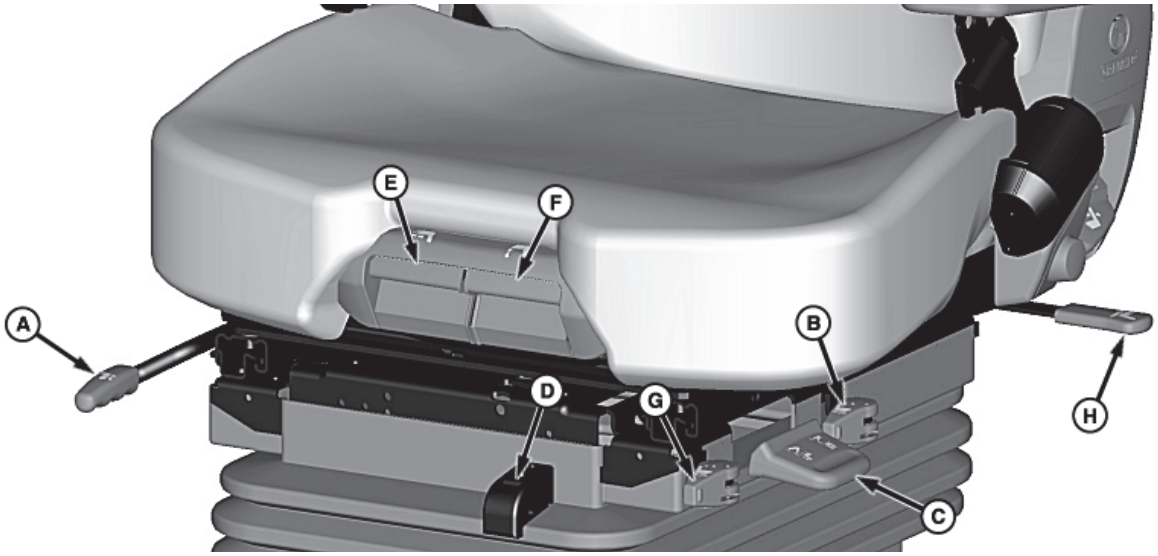
注記 : シートをオペレータの体重と身長に合わせて調整してください。これにより、オペレータは最適なライドゾーン保護を得ることができます。シートは、シートの垂直方向移動の上端と下端にバッファーが組み込まれており、滑らかな乗り心地を提供します。

E : 前後位置調整ハンドルを使用して、前後方向の動きをロックアウトまたは解放します。ハンドルを引き上げてロックするか、ハンドルを押し下げてシートを解放します。

注記 : 前後位置調整装置により、ショック衝撃を吸収できます。

OUO6075,00007BB -40-09AUG10-1/1

ComfortCommand™ オペレータシート (プレミアムクロスシート) : 調整



注記：シートにはオペレータプレゼンスシステムが装備されています。ヘッダーシステムおよびセパレータシステムが接続されている場合にオペレータがシートから離れると、ヘッダードライブシステムは接続解除されます。

A：前後調整ハンドルにより、シートを前後に動かして最適な作業位置に設定します。

B：垂直衝撃吸収コントロールは、シートサスペンションで生じる「上向きの動き」の量を制限します。

注記：コントロールを前方に押してソフトな乗り心地にするか、ハンドルを戻して硬い乗り心地にします。これら 2 つの位置の間にすると、中程度の硬さが得られます。

C：体重／身長調整ハンドルにより、シートを上げ下げします。ハンドルを引き上げるとシートが上昇し、ハンドルを押し下げるとシートが下降します。体重／身長インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

注記：サスペンションは、最低高さおよび最高高さの制限に達するまで調整できます。これらの制限に達すると、サスペンションシステムがロックアウトされ、硬くなります。サスペンション高さコントロールは、一番端に近すぎる調整を行った場合に限界にもヒットします。

シートを調整しているときは 1 分以上コンプレッサを作動させないでください。

シートがフロートしないまたは「膨らまない」場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

D：体重／身長インジケーターは現在の体重と身長をオペレータに視覚的に示します。体重／身長調整ハンドルを使用して、インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

注記：シートをオペレータの体重と身長に合わせて調整してください。これにより、オペレータは最適なライドゾーン保護を得ることができます。シートは、シートの垂直方向移動の上端と下端にバッファーが組み込まれており、滑らかな乗り心地を提供します。

E：シートクッション奥行調整ハンドルを使用して、シートクッションを前後に動かして最適な作業位置に設定します。

F：シートクッション角度調整ハンドルを使用して、シートクッションを上昇または下降させて最適な作業位置に設定します。

G：前後位置調整ハンドルを使用して、前後方向の動きをロックアウトまたは解放します。ハンドルを引き上げてロックするか、ハンドルを押し下げてシートを解放します。

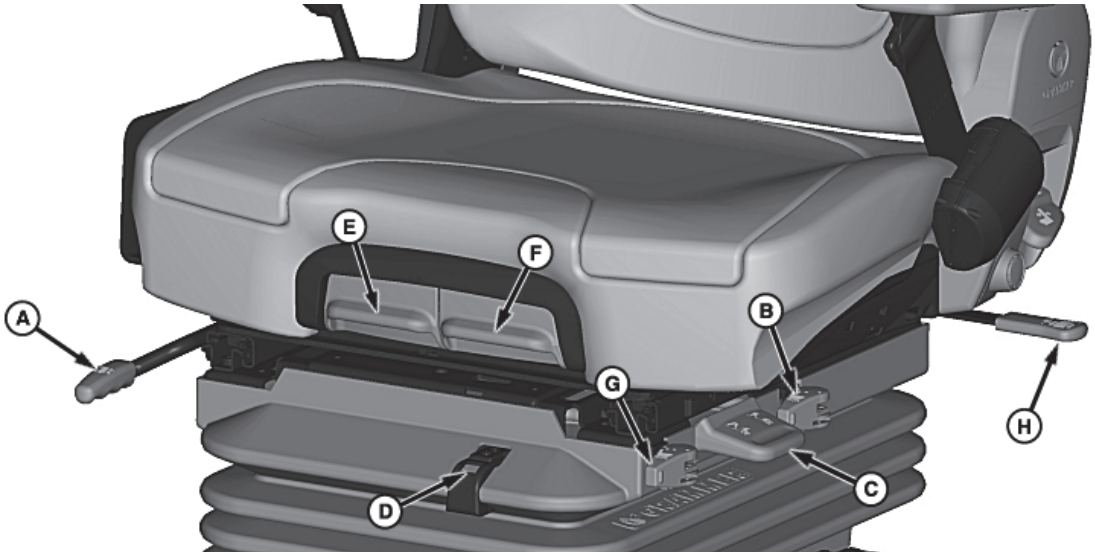
注記：前後位置調整装置により、ショック衝撃を吸収できます。

H：横位置調整ハンドルを使用して、側方の動きをロックアウトまたは解放します。ハンドルを前方に押して解放するか、後方に引っ張ってロックします。

注記：横位置調整装置によりショック衝撃を吸収できます。

OUO6075,000127F -40-16OCT12-1/1

ComfortCommand™ オペレータシート (プレミアムレザーシート) : 調整



注記 : シートにはオペレータプレゼンスシステムが装備されています。ヘッダーシステムおよびセパレータシステムが接続されている場合にオペレータがシートから離れると、ヘッダードライブシステムは接続解除されます。

A : 前後調整ハンドルにより、シートを前後に動かして最適な作業位置に設定します。

B : 垂直衝撃吸収コントロールは、シートサスペンションで生じる「上向きの動き」の量を制限します。

注記 : コントロールを前方に押してソフトな乗り心地にするか、ハンドルを戻して硬い乗り心地にします。これら 2 つの位置の間にすると、中程度の硬さが得られます。

C : 体重／身長調整ハンドルにより、シートを上げ下げします。ハンドルを引き上げるとシートが上昇し、ハンドルを押し下げるとシートが下降します。体重／身長インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

注記 : サスペンションは、最低高さおよび最高高さの制限に達するまで調整できます。これらの制限に達すると、サスペンションシステムがロックアウトされ、硬くなります。サスペンション高さコントロールは、一番端に近すぎる調整を行った場合に限界にもヒットします。

シートを調整しているときは 1 分以上コンプレッサを作動させないでください。

シートがフロートしないまたは「膨らまない」場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

D : 体重／身長インジケーターは現在の体重と身長をオペレータに視覚的に示します。体重／身長調整ハンドルを使用して、インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

注記 : シートをオペレータの体重と身長に合わせて調整してください。これにより、オペレータは最適なライドゾーン保護を得ることができます。シートは、シートの垂直方向移動の上端と下端にバッファーが組み込まれており、滑らかな乗り心地を提供します。

E : シートクッション奥行調整ハンドルを使用して、シートクッションを前後に動かして最適な作業位置に設定します。

F : シートクッション角度調整ハンドルを使用して、シートクッションを上昇または下降させて最適な作業位置に設定します。

G : 前後位置調整ハンドルを使用して、前後方向の動きをロックアウトまたは解放します。ハンドルを引き上げてロックするか、ハンドルを押し下げてシートを解放します。

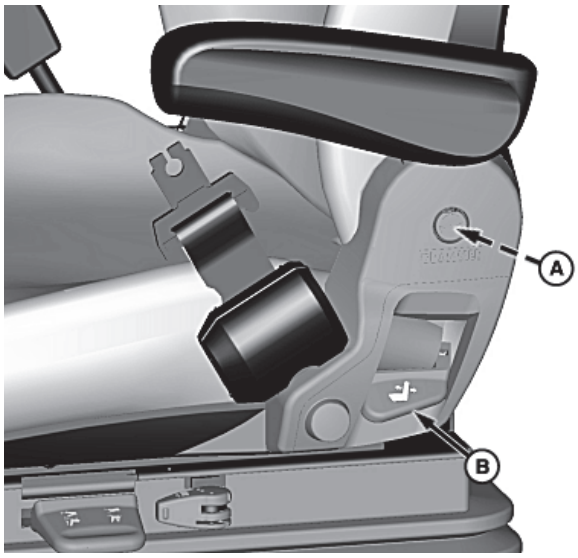
注記 : 前後位置調整装置により、ショック衝撃を吸収できます。

H : 横位置調整ハンドルを使用して、側方の動きをロックアウトまたは解放します。ハンドルを前方に押して解放するか、後方に引っ張ってロックします。

注記 : 横位置調整装置によりショック衝撃を吸収できます。

OUO6075,0001280 -40-31OCT12-1/1

左ひじかけおよびシートバック (ベーシックシート) : 調整



A : ひじかけ高さの調整、円形のキャップをカバーから取り外して、13 mm (1/2 in) のナットを緩めます。ひじかけを必要な位置に調整して、ナットを規定のトルクで締め付けてからキャップを取り付けます。

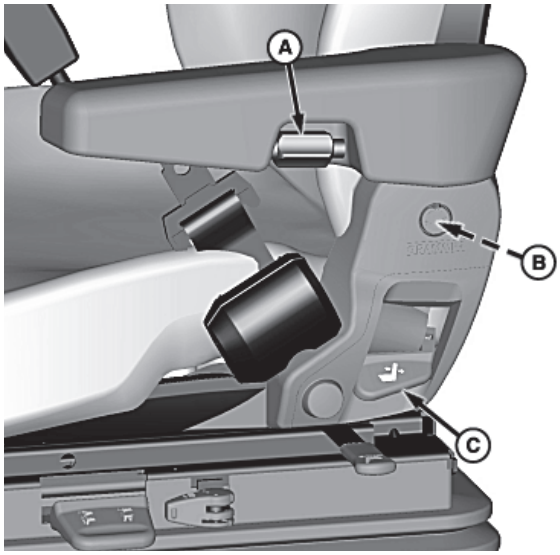
仕様

ナット トルク	25 N•m (221 lb-in)

B : 背もたれ角度調整ハンドルを使用して背もたれの角度を調整します。ハンドルを引き上げて背もたれを必要な位置に調整し、ハンドルを放します。

OUO6075,0000795 -40-09AUG10-1/1

左ひじかけおよびシートバック (プレミアムクロス／レザーシート) : 調整



A : ひじかけ角度調整ノブを使用してひじかけを上下に調整します。ノブを時計回りに回すとひじかけが下がり、反時計回りに回すと上がります。

B : ひじかけ高さの調整、円形のキャップをカバーから取り外して、13 mm (1/2 in) のナットを緩めます。ひじかけを必要な位置に調整して、ナットを規定のトルクで締め付けてからキャップを取り付けます。

仕様

ナット トルク	25 N•m (221 lb-in)

C : 背もたれ角度調整ハンドルを使用して背もたれの角度を調整します。ハンドルを引き上げて背もたれを必要な位置に調整し、ハンドルを放します。

OUO6075,0001282 -40-31OCT12-1/1

シートヒーター／換気スイッチ (プレミアムレザーシート)

注記：シートヒーター／換気を作動させるには、キースイッチが ON の位置にあるか、機械を運転している必要があります。

シートヒーター／換気機能は、冷間時/高温時に快適性を提供します。背もたれの左側にあるシートヒーター／換気スイッチ (A) によりシートヒーターまたはシート換気の ON/OFF を切り替えます。

- スイッチを上に倒してシートヒーターを ON にします (シート換気 OFF)。
- スイッチを中間位置にしてシートヒーターとシート換気を OFF にします。
- スイッチを下に倒してシート換気を ON にします (シートヒーター OFF)。

A：シートヒーター／換気スイッチ

OUO6075,0001281 -40-31OCT12-1/1

ランバーサポートスイッチ (プレミアムレザーシート)

注記：ランバーサポートを作動させるには、キースイッチが ON の位置にあるか、機械を運転している必要があります。

ランバーサポートは、上部および下部背もたれエリアでの快適性をさらに向上させます。背もたれの左側にあるランバーサポートスイッチ (A、B) を使用してランバーサポートの曲率を増減します。

- 上ランバーサポートスイッチ：スイッチをプラス (+) 記号側に押して上部ランバーサポートの曲率を増やすか、マイナス (-) 記号側に押してアッパーランバーサポートの曲率を減らします。
- 下ランバーサポートスイッチ：スイッチをプラス (+) 記号側に押して下部ランバーサポートの曲率を増やすか、マイナス (-) 記号側に押して下部ランバーサポートの曲率を減らします。

A：ランバーサポートスイッチ
B：ランバーサポートスイッチ

OUO6075,00012E0 -40-31OCT12-1/1

教習シート：調整

シートバック (A) とシートクッション (B) は必要な操作位置まで上昇または下降させることができます。

A：シートバック
B：シートクッション

OUO6075,000078B -40-26MAY10-1/1

冷蔵庫 (装備されている場合)

注記：冷蔵庫はキースイッチを ON にしている場合のみ作動します。食べ物や飲み物を冷やすには、補助コンセントに差し込んでいる必要があります。

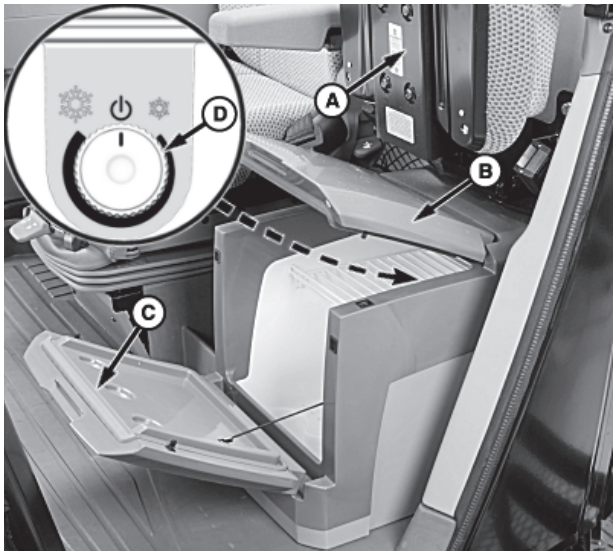
冷蔵庫は日中食べ物や飲み物を冷やしておくスペースを提供します。

シートクッション (A) を上げて冷蔵庫の上部カバー (B) を開きます。

シートクッションを上げないで冷蔵庫の前面カバー (C) を開くこともできます。

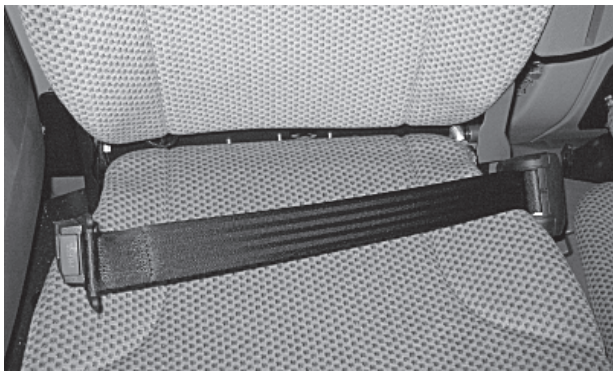
温度コントロールダイヤル (D) を時計回りに回して温度を下げるか、反時計回りに回して温度を上げます。

A：シートクッション
B：上部カバー
C：フロントカバー
D：温度コントロールダイヤル



OUO6075,000078F -40-02NOV10-1/1

シートベルト

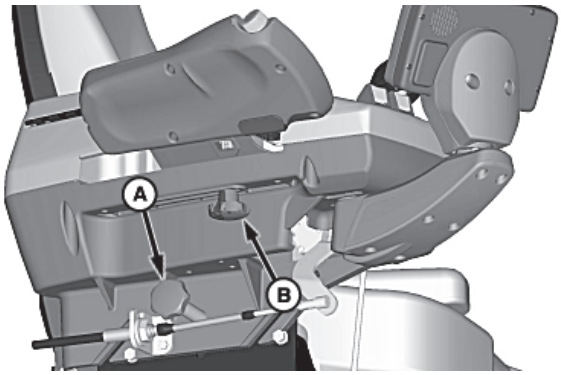


警戒：機械のシートベルトと取り付け金具を少なくとも年に 1 回点検してください。シートベルトシステム (取り付け金具、バックル、ベルト、リトラクタ) に切れ、ほつれ、極度のまたは異常な擦り切れ、変色、摩耗など、損傷の兆候が見られる場合は、シートベルトシステム全体を直ちに交換してください。安全を確保するために、シートベルトシステムは機械で認可されている交換部品のみと交換してください。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

シートベルトはオペレータシートと教習シートの両方で標準装置です。ラップタイプシートベルトは、クイックリリース押しボタンと自動ベルトリトラクションを備えており、乗降が楽に行えます。

OUO6075,000062D -40-01JUN10-1/1

ひじかけコントロールコンソール：調整



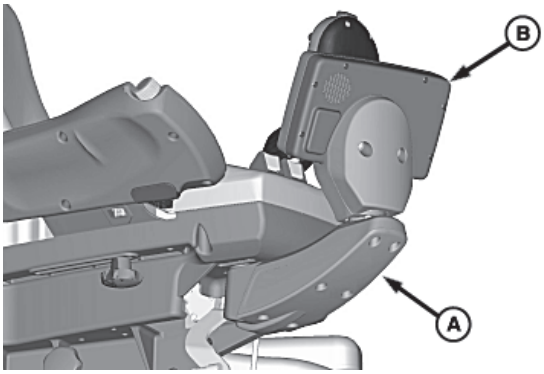
ノブ (A) を緩めて、ひじかけコントロールコンソールを外側プレートの上前方または下後方のスロットにスライドさせます。ノブを締め付けてひじかけをその位置に固定します。

ノブ (B) を緩めて、CommandARM コントロールコンソールを前後にスライドさせます。ノブを締め付けてコントロールコンソールをその位置に固定します。

A：ノブ
B：ノブ

OUO6075,000078E -40-20AUG10-1/1

ひじかけディスプレイ：調整



アーム (A) を必要な操作位置まで左右に回します。

ディスプレイ (B) を必要な操作位置まで左右または前後に回します。

A：アーム
B：ディスプレイ

OUO6075,00008F8 -40-20AUG10-1/1

補助電源コンセント

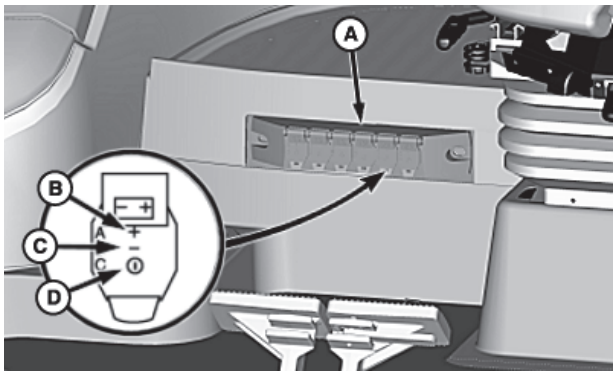
注記：最大結合消費電流は切替電源で 20A、常時供給電源で 30 A です。

補助電源コンセント (A) は、右ウィンドウ後部下側に 6 個の追加のコンセントを付属しています。これらのコンセントは切替電源および常時供給電源を提供します。

スペード形端子 (B) は常時直流プラス電源です。

スペード型端子 (C) はアースです。

スペード形端子 (D) は補助電源 (キースイッチ ON 時) です。



A：補助電源コンセント
B：スペード形端子 (直流プラス電源)
C：スペード型端子アース
D：スペード型端子 (プラス、キーを ON に切り替え時)

OUO6075,00010C7 -40-08MAR12-1/1

キャビンタラップ位置 (シングルタイヤ構成)

警戒：機械が動いている間にフロントまたはリアのタラップに乗ったり昇ろうとしたりしないでください。

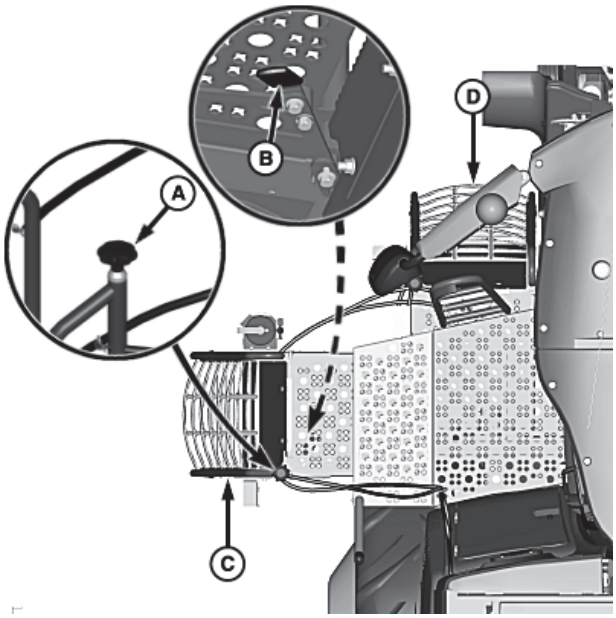
ハンドル (A) またはレバー (B) で、タラップを地面またはタラップの踊り場から位置決めすることができます。

タラップラッチが緩んでいるように見えたら、ラッチピンの周辺を清掃します。このエリアではグリースやオイルを使用しないでください。

タラップを前後に旋回させて異なる位置にロックします。

- **位置 (C)**：通常の圃場の条件で作業するときの位置です。
- **位置 (D)**：公道で機械を輸送するときの位置です。

警戒：車道で機械を輸送する前にタラップを位置 (D) に必ず旋回させて、機械幅を減らし、接近する自動車運転者にマーカー／ハザードライトを向けてください。



A：ハンドル
B：レバー
C：圃場位置
D：道路走行位置

OUO6075,000075F -40-29JUN11-1/1

キャビンタラップ位置 (ダブルタイヤ構成)

警戒：機械が動いている間にフロントまたはリアのタラップに乗ったり昇ろうとしたりしないでください。

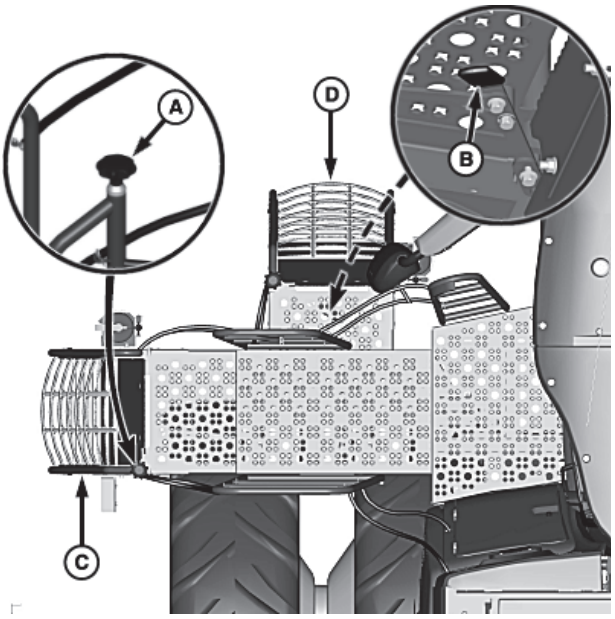
ハンドル (A) またはレバー (B) で、タラップを地面またはタラップの踊り場から位置決めすることができます。

タラップラッチが緩んでいるように見えたら、ラッチピンの周辺を清掃します。このエリアではグリースやオイルを使用しないでください。

タラップを前後に旋回させて異なる位置にロックします。

- **位置 (C)**：通常の圃場の条件で作業するときの位置です。
- **位置 (D)**：公道で機械を輸送するときの位置です。

警戒：車道で機械を輸送する前にタラップを位置 (D) に必ず旋回させて、機械幅を減らし、接近する自動車運転者にマーカー／ハザードライトを向けてください。



A：ハンドル
B：レバー
C：圃場位置
D：道路走行位置

OUO6075,0000630 -40-29JUN11-1/1

消火器

機械には、国の認定要件を満たしている 6 kg (15 lb) の汎用消火器を取り付ける必要があります。消火器とブラケットはエンジンプラットフォームの右側にあります。

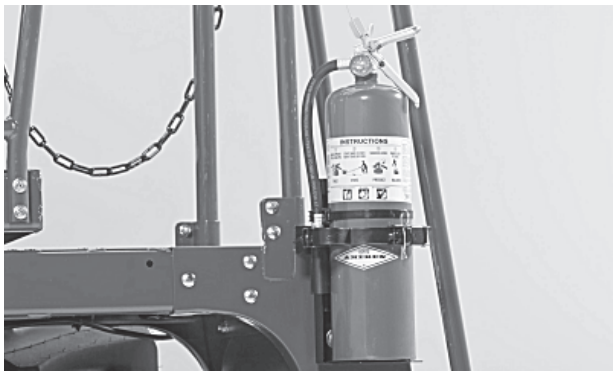
消火器はいつでも使用できる状態に維持してください。

エンジンデッキを清潔に保ち、籾殻、わらがない状態に維持して火災を防止してください。

OUO6075,0000A9F -40-16NOV10-1/1

消火器の位置

汎用消火器はフロントタラッププラットフォームにあります。



前部の消火器の位置

OUO6075,0000C9F -40-14JUN11-1/1

ステアリングコラム

A：ホーンを使用して機械から離れるように周囲の人に警告します。

B：ターンシグナルスイッチを使用して左折または右折を示します。

警戒：必ず機械が停止しているときにステアリングホイールを調整してください。

C：ステアリングコラム上下方向調整を使用して、ステアリングコラムを上下に調整できます。

ハブを緩めてホイールを必要な位置に押すか引っ張ります。ハブを少し締め付けてステアリングホイールをその位置に保持します。

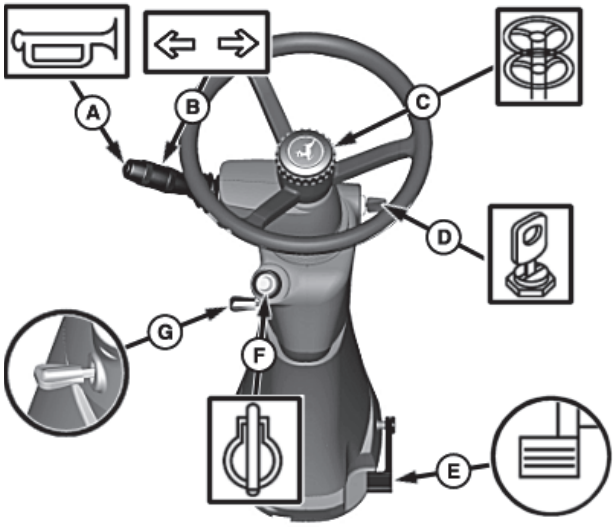
D：スタータスイッチを使用してキースイッチを次の位置に回します。

最初の位置 ..... アクセサリ
2 番目の位置 ..... OFF
3 番目の位置 ..... RUN
4 番目の位置 ..... START

警戒：必ず機械が停止しているときにコラムを調整してください。ステアリングホイールを保持していないときにペダルを踏み込まないでください。

E：ステアリングコラム横方向調整を使用して、ペダルを使ってステアリングコラムを必要な位置に動かします。

ペダルを踏み込んでステアリングコラムのロックを解放してコラムを必要な位置に動かします。ペダルを放すと、コラムはロックします。



注記：始動補助装置は、「RUN」または「START」位置でのみ機能します。

F：始動補助押しボタン (装備されている場合) を使用すると、寒冷時のエンジン始動が容易に行えます。

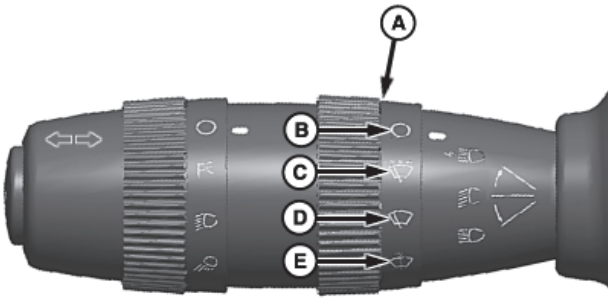
警戒：必ず機械が停止しているときにステアリングホイールを調整してください。

G：ステアリングホイール傾斜調整 (装備されている場合) を使用して、ハンドルを使ってステアリングコラムを必要な位置に動かします。

ハンドルを引き上げてロックを解放し、ステアリングホイールを必要な位置に動かします。ハンドルを解放して必要な位置にロックします。

OUO6075,0000634 -40-21MAR11-1/1

ウインドシールドワイパー／ウインドシールドワイパーウォッシャスイッチ



注記：ウインドシールドワイパーとウインドシールドウォッシャを操作するには、キースイッチを ON の位置にしているか、機械を運転している必要があります。

ステアリングコラムのウインドシールドワイパー／ウォッシャスイッチ (A) を使用して、次の制御を行います。

- OFF 位置 (B)
- ワイパーの間欠作動 (C)
- ワイパー ON 位置 (D)
- ウインドシールドウォッシャ (E)

A：ウインドシールドワイパー／ウォッシャスイッチ
B：OFF 位置
C：間欠ワイパー位置
D：ワイパー ON 位置
E：ウインドシールドウォッシャ

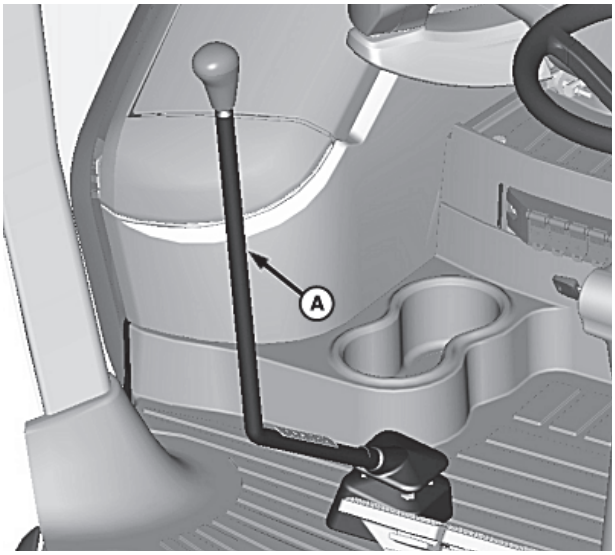
OUO6075,000076D -40-20MAY10-1/1

ギアシフトレバー (装備されている場合)

重要：機械を停止してマルチファンクションレバーをニュートラルに入れてからギアをシフトしてください。

ギアシフトレバー (A) をシフトするときのシフトパターンは 1、2、3 のデント位置と一致します。1 速と 2 速の間のニュートラルでは抵抗が少なく感じられます。

A：ギアシフトレバー



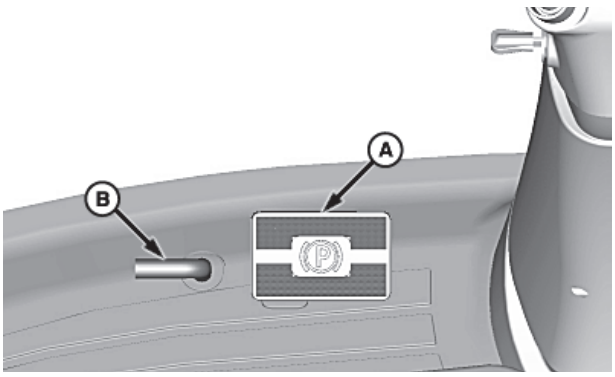
OUO6075,0000635 -40-13JUN11-1/1

手動パーキングブレーキ (装備されている場合)

重要：この機械は、手動による ON と解除が可能なパーキングブレーキペダルを装備しています。エンジンを OFF にして機械から離れる前に、エンジン運転中で機械を駐車しているときにパーキングブレーキをかけてください。

ペダル (A) を踏み込んでパーキングブレーキをかけ、ペダル (B) で解除します。

A：ペダル (ブレーキ ON)
B：ペダル (ブレーキ解除)

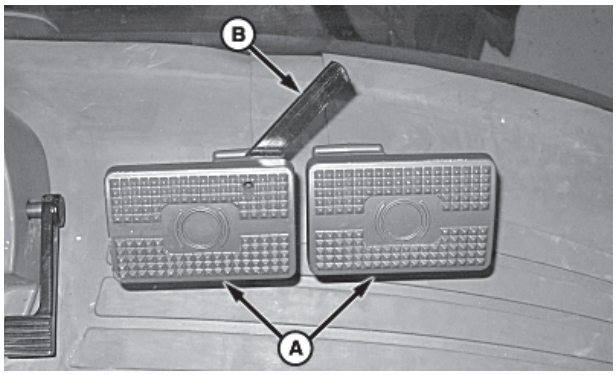


OUO6075,0000636 -40-17JUN13-1/1

ブレーキペダル

圃場での使用時はブレーキペダル (A) のロックを解除したままにし、輸送時はブレーキペダルをロック (B) で連結してください。

A：ブレーキペダル
B：ロック (輸送時)



OUO6075,0000637 -40-01JUN10-1/1

手すりと右踊り場アクセス

警戒：フィーダーハウスを完全に上昇させ、安全ストップをフィーダーハウスリフトシリンダに下ろします。

重要：キャビンドアを閉めてから手すりを使用してください。

ワイパーアームを手動で動かさないでください。ワイパーのメカニズムが損傷する可能性があります。

タラップと踊り場を使用してキャビンの左側を清掃します。

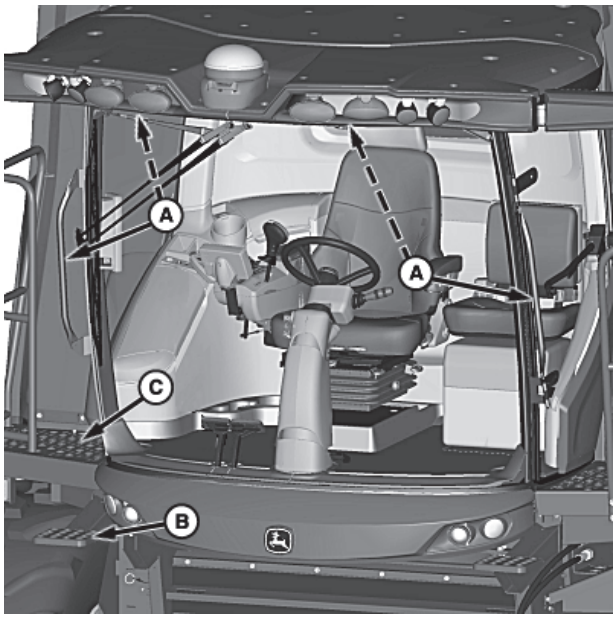
左側のステップを使用してフィーダーハウスにアクセスします。

キャビンの両側および上部にある手すり (A) を使用します。

上昇させたフィーダーハウスの上に立ってフロントキャビンウインドウを清掃し、ヘッドライトやワイパーを点検します。

ステップ (B) および踊り場 (C) を使用してキャビンの右側を清掃します。

A：手すり
B：ステップ
C：踊り場



OUO6075,0000496 -40-08OCT09-1/1

GreenStar™ ディスプレイと Harvest Monitor/Harvest Doc™ システム

GreenStar 3 CommandCenter ディスプレイはひじかけに取り付けられます。これは、車両固有の情報や GreenStar アプリケーション (Harvest Doc など) を含んでいます。

GreenStar 3 2630 ディスプレイ (オプション) はひじかけに取り付けられ、車両固有の情報および GreenStar アプリケーションを含んでいます。

Harvest Doc システムの詳細については、Harvest Doc のマニュアルを参照してください。

GreenStar は Deere & Company の商標です。
Harvest Monitor/Harvest Doc は Deere & Company の商標です。

OUO6075,000062E -40-03NOV10-1/1

ライトスイッチ

注記：出口ライトはキースイッチを OFF に回した後、180 秒間点灯したままになります (道路ライトまたは圃場ライトを 5 分以内に使用していた場合)。ターンシグナルレバーを使用して機械の左側または右側を選択できます。

キースイッチを OFF にした状態で最初にすべてのライトを ON にすると、ライトが点灯するまでに少し遅れがあります。

ステアリングコラムのライト選択スイッチ (A) を使用して次の制御を行います。

- OFF 位置 (B)
- パークライトスイッチ (C) では、以下のライトを制御します。
  - マーカーライト
- 道路ライトスイッチ (D) では、以下のライトを制御します。
  - ハザード (点滅) ライト
  - ヘッドライト 4 灯 (ロービームライト 2 灯、ハイビームライト 2 灯)
  - ビーコンライト
  - 下部運転ライト (装備されている場合)
- 圃場ライトスイッチ (E) では、以下のライトを制御します。
  - グレインタンクおよびすべてのヘッドライト 8 灯
  - ローファインダーライト (ターンシグナルレバー使用)
  - アンローディングオーガライト (伸長時)
  - マーカーライトとハザードライト

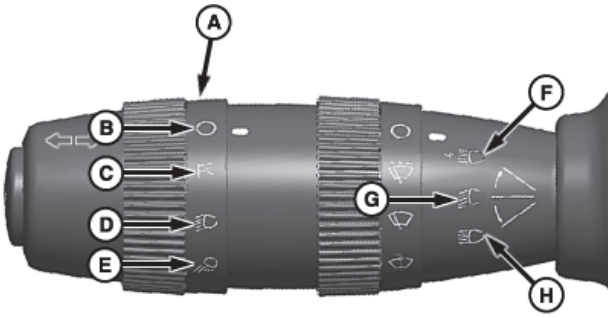
ステアリングコラムのライト選択レバーは、ハイ／ロービームヘッドライトの制御に使用します。

注記：レバーをパッシング位置およびハイビーム位置にすると、コーナーポストのハイビームインジケーターが点灯します。

- パッシング (F) :
  - レバーを上位置に上げてパッシングを作動させます。
- ロービーム位置 (G) :
  - レバーを中央位置まで戻してロービームを作動させます。
- ハイビーム位置 (H) :
  - レバーを下位置まで下げてハイビームヘッドライトを作動させます。

ひじかけのライトスイッチは、以下のライトを制御するために使用します。

- フロントスタッブルライトスイッチ (I) で以下のライトを制御します。
  - 機械前部のスタッブルライト
  - キャビンフェーシアライト (装備されている場合)
- リアディスチャージライトスイッチ (J) で以下のライトを制御します。
  - 機械後部のリア残留物ライト



ステアリングコラムのライト選択スイッチ

ひじかけのライトスイッチ

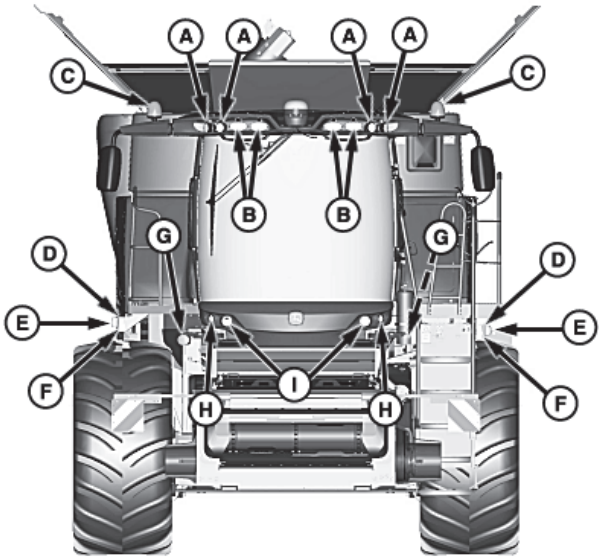
A : ライト選択スイッチ
B : OFF 位置
C : パークライトスイッチ
D : 道路ライトスイッチ
E : 圃場ライトスイッチ
F : パッシング
G : ロービーム位置
H : ハイビーム位置
I : フロントスタッブルライトスイッチ
J : リアディスチャージライトスイッチ
K : オートビーコンライトスイッチ
L : ビーコンライトスイッチ
M : ハザードライトスイッチ

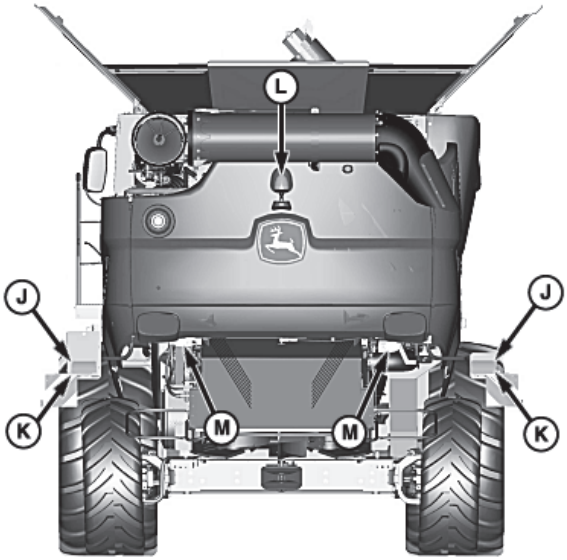
- オートビーコンライトスイッチ (K) で以下のライトを制御します。
  - オートビーコンライト
- ビーコンライトスイッチ (L) で以下のライトを制御します。
  - ビーコンライト
- ハザードライトスイッチ (M) では、以下のライトを制御します。
  - ハザード (点滅) ライト

OUO6075,0001352 -40-30NOV12-1/1

ライトの位置

ライト位置の前面図および背面図





A：ハロゲンキャビンヘッドライトまたは高輝度放電 (HID) (オプション) キャビンヘッドライト
B：キャビンヘッドライト (ハイビーム／ロービーム)
C：ビーコンライト
D：ハザードライト (黄色)
E：ハザードライト (黄色)
F：マーカーライト (白)
G：スタッブルライト
H：フェーシアライト (装備されている場合)
I：下部運転ライト (装備されている場合)
J：マーカー／ブレーキライト (赤)
K：リアハザードライト (黄色)
L：ビーコンライト
M：リアディスチャージライト

ビーコンライトスイッチ：

警戒：輸送時はこのライトをオンにする必要があります。キャビンのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー／ハザードライトを接近してくる自動車運転者に向けます。

- スイッチはビーコンライト (C、L) を制御します。
- 機械の前部に 2 つのビーコンライト (左右) があり、機械の後部に 1 つがあります。これらのライトは機械を車道で輸送時に他のドライバーに警告します。

ハザードライトスイッチ：

警戒：輸送時はこのライトをオンにする必要があります。キャビンのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー／ハザードライトを接近してくる自動車運転者に向けます。

- このスイッチは、ビーコンライト (C、L) 、ハザードライト (D、E) 、およびリアハザードライト (K) を制御します。
- ハザードライトは機械の前後の両側にあります。これらのライトは機械が運転不能であることを示すために使用されます。

道路ライトスイッチ：

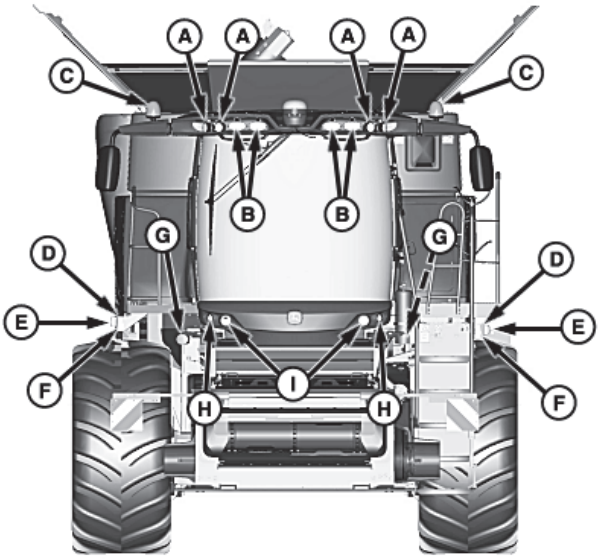
警戒：輸送時はこのライトをオンにする必要があります。キャビンのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー／ハザードライトを接近してくる自動車運転者に向けます。

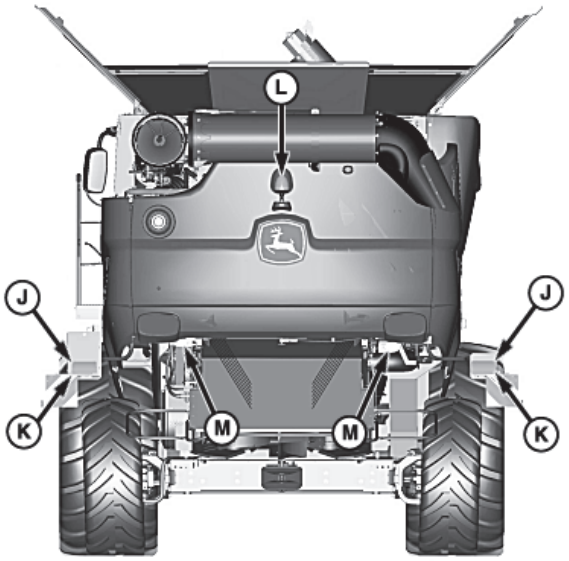
注記：道路ライトを ON にし、ヘッダーを接続していない場合は、下部運転ライトを ON にしてキャビンヘッドライトを OFF にしてください。ヘッダーを接続している場合は、下部運転ライトを OFF にし、キャビンヘッドライトを ON にしてください。

ターンシグナルが OFF の場合、ハザードライトが ON になります。ターンシグナルが ON の場合、ハザードライトはターンシグナルライトとして機能します。

- このスイッチは、ビーコンライト (C、L) 、キャビンヘッドライト (B) 、マーカーライト (F) 、下部運転ライト (I) 、マーカー／ブレーキライト (J) を制御します。
- ビーコンライトは機械を車道で輸送時に他のドライバーに警告します。

次のページへ





A：ハロゲンキャビンヘッドライトまたは高輝度放電 (HID) (オプション) キャビンヘッドライト
B：キャビンヘッドライト (ハイビーム／ロービーム)
C：ビーコンライト
D：ハザードライト (黄色)
E：ハザードライト (黄色)
F：マーカーライト (白)
G：スタッブルライト
H：フェーシアライト (装備されている場合)
I：下部運転ライト (装備されている場合)
J：マーカー／ブレーキライト (赤)
K：リアハザードライト (黄色)
L：ビーコンライト
M：リアディスチャージライト

オートビーコンライトスイッチ：

注記：オートビーコンライトを作動させているときに穀粒が 3/4 満杯センサーに達すると、ビーコンライトは点滅を開始します (3 秒点灯、6 秒消灯)。穀粒がグレインタンク満杯センサーに達すると、ビーコンライトは ON のままになり、点滅しなくなります。

- ビーコンライト (C、L) はグレインタンクが満杯の 3/4 に達すると点灯します。ビーコンライトは、グレインタンクがいっぱいであり、降ろす準備が整っていることをグレインカートオペレータに知らせます。

圃場ライトスイッチ：

- このスイッチは、マーカーライト (F) 、マーカー／ブレーキライト (J) 、キャビンヘッドライト (A、B) を制御します。
- 圃場ライトは夜間および薄暗い条件で運転用のエリア照明をオペレータに提供します。

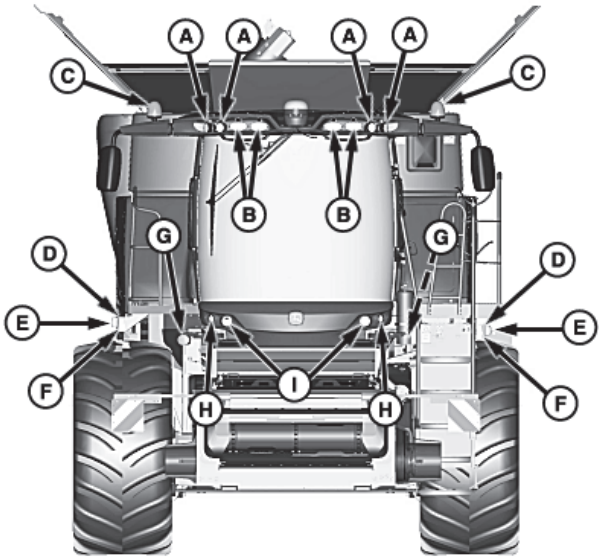
フロントスタッブルライトスイッチ：

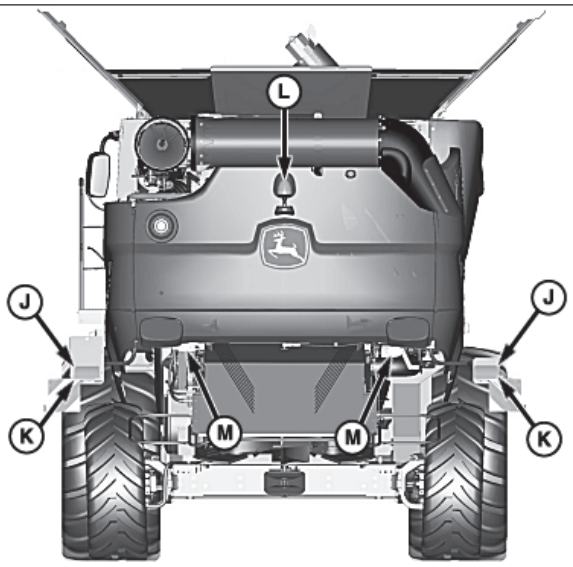
警戒：他の運転者を混乱させないようにするために、公道での輸送時はワークライトを操作しないでください。

- このスイッチはスタッブルライト (G) とフェーシアライト (H) を制御します。
- スタッブルライトは、夜間運転や薄暗い条件時にヘッダーの背後の区域をさらに照らします。[1]
- フェーシアライトは収穫中に機械前部をさらに照らします。

[1] 道路ライトが ON にして機械が道路モードの場合、スタッブルライト、フェーシアライト、リアディスチャージライトを ON にすることはできません。

次のページへ





A：ハロゲンキャビンヘッドライトまたは高輝度放電 (HID) (オプション) キャビンヘッドライト
B：キャビンヘッドライト (ハイビーム／ロービーム)
C：ビーコンライト
D：ハザードライト (黄色)
E：ハザードライト (黄色)
F：マーカーライト (白)
G：スタッブルライト
H：フェーシアライト (装備されている場合)
I：下部運転ライト (装備されている場合)
J：マーカー／ブレーキライト (赤)
K：リアハザードライト (黄色)
L：ビーコンライト
M：リアディスチャージライト

リアディスチャージライトスイッチ：

警戒：他の運転者を混乱させないようにするために、公道での輸送時はワークライトを操作しないでください。

- このスイッチはリアディスチャージライト (M) を制御します。
- リアディスチャージライトは、夜間運転や薄暗い条件時に後部を照らします[1, 2]。

マーカー／ブレーキライト：

- マーカー／ブレーキライト (J) は機械が減速を検出したときに点灯します。ライトは 2 秒以上の間点灯状態を維持します。[3]
- 速度が 1.6 km/h (1 mph) 未満になると、前進方向の加速度が検出されて速度が 1.6 km/h (1 mph) を超えるまで、ブレーキライトは 2 分間点灯したままになります。
- マーカーライトはターンインジケーターとしても機能し、ターンシグナルの操作時に点灯します。右折または左折する方向のライトが点滅します。

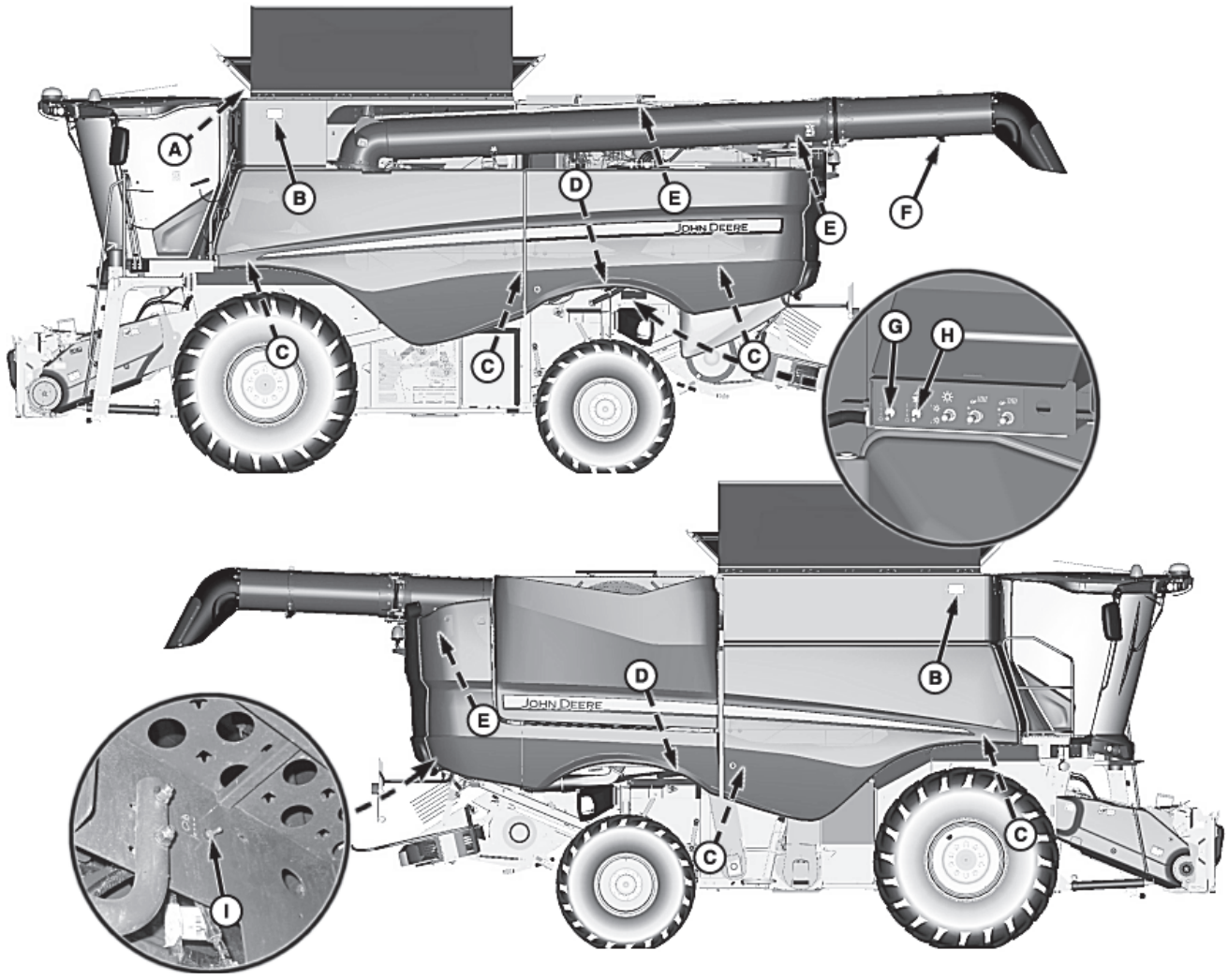
降車時のライト：

- キースイッチとライトスイッチを OFF にした後、最も外側の 2 つのキャビンヘッドライト (B) が最長で 180 秒間点灯したままになります (その前の 5 分以内に道路ライトまたは圃場ライトを使用した場合)。

[1] 道路ライトが ON にして機械が道路モードの場合、スタッブルライト、フェーシアライト、リアディスチャージライトを ON にすることはできません。
[2] フランスのみ：機械が道路モードの場合、リアディスチャージライトは点灯しません。
[3] フランスのみ：ブレーキライトはブレーキペダルを踏み込んだときに点灯します。

次のページへ

左右のサイドビューライト



A : グレインタンクライト
B : ローファインダーライト
C : ガルウイングサービスライト
D : シューサービスライト
E : エンジンルームサービスライト
F : アンローディングオーガライト
G : シューサービスライトスイッチ
H : ガルウイングサービスライトスイッチ
I : エンジンルームサービスライトスイッチ

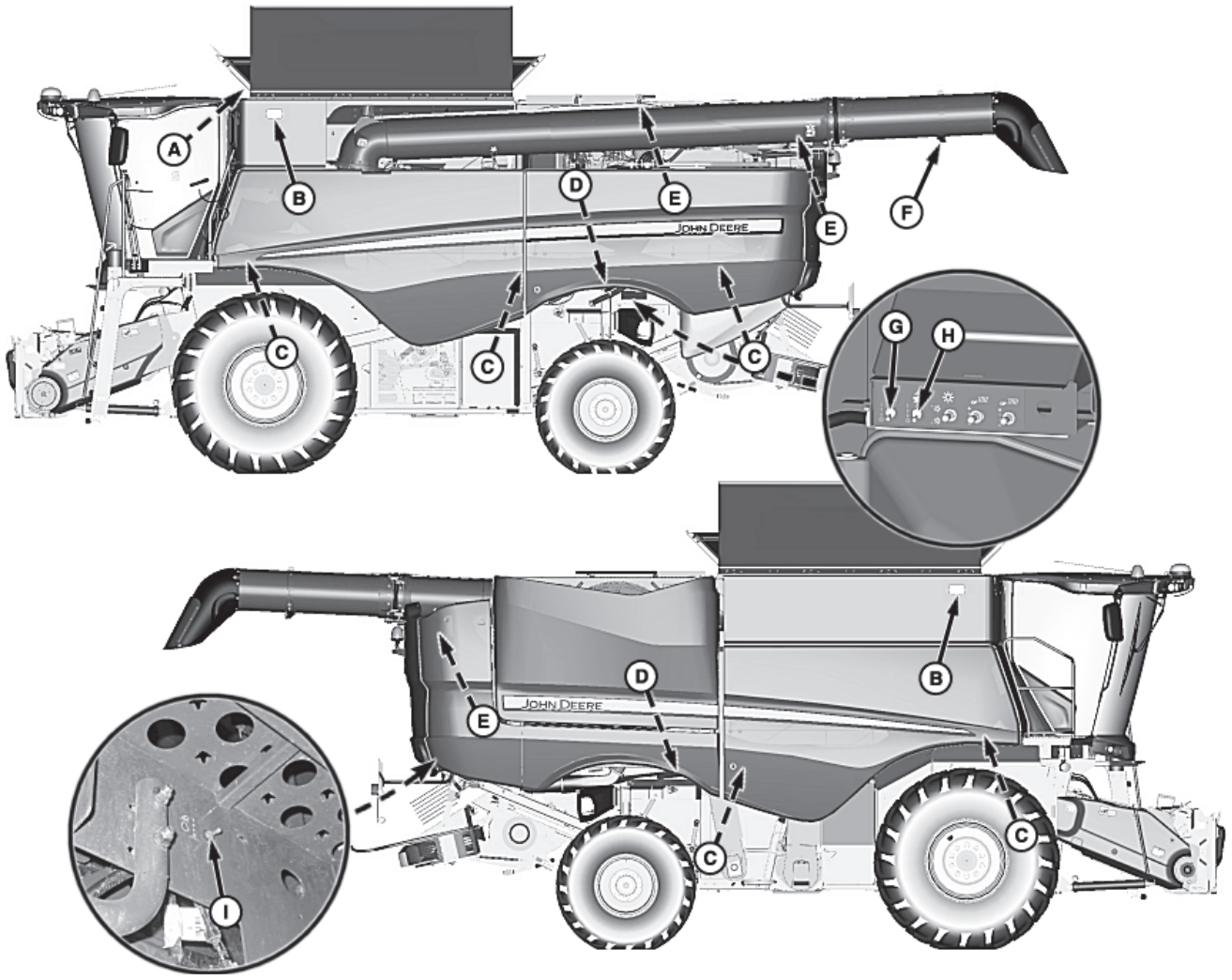
圃場ライトスイッチ :

- このスイッチは、グレインタンクライト (A) 、ローファインダーライト (B) (ターンシグナルレバー使用) 、アンローディングオーガライト (F) 、マーカーマーカー／ハザードライトを制御します。
- ローファインダーライトは、夜間運転や薄暗い条件時に機械の両側の区域を照らします。

注記 : 圃場ライトスイッチを ON にしているときに、ターンシグナルレバーを使用して右側または左側のローファインダーライトを作動させます。

- グレインタンクライトは、夜間運転時および薄暗い条件時にグレインタンクを照らします。
- グレインタンクライトは穀粒が 3/4 満杯センサーに達すると消灯します。
- アンローディングオーガライトは、圃場ライトスイッチを ON にしてオーガを 50% を超えて伸長させたときに点灯します。
- アンローディングオーガライトは、夜間または薄暗い条件にグレインタンクを下ろすときの照明を提供します。

次のページへ



A : グレインタンクライト
B : ローファインダーライト
C : ガルウイングサービスライト
D : シューサービスライト
E : エンジンルームサービスライト
F : アンローディングオーガライト
G : シューサービスライトスイッチ
H : ガルウイングサービスライトスイッチ
I : エンジンルームサービスライトスイッチ

シューサービスライト :

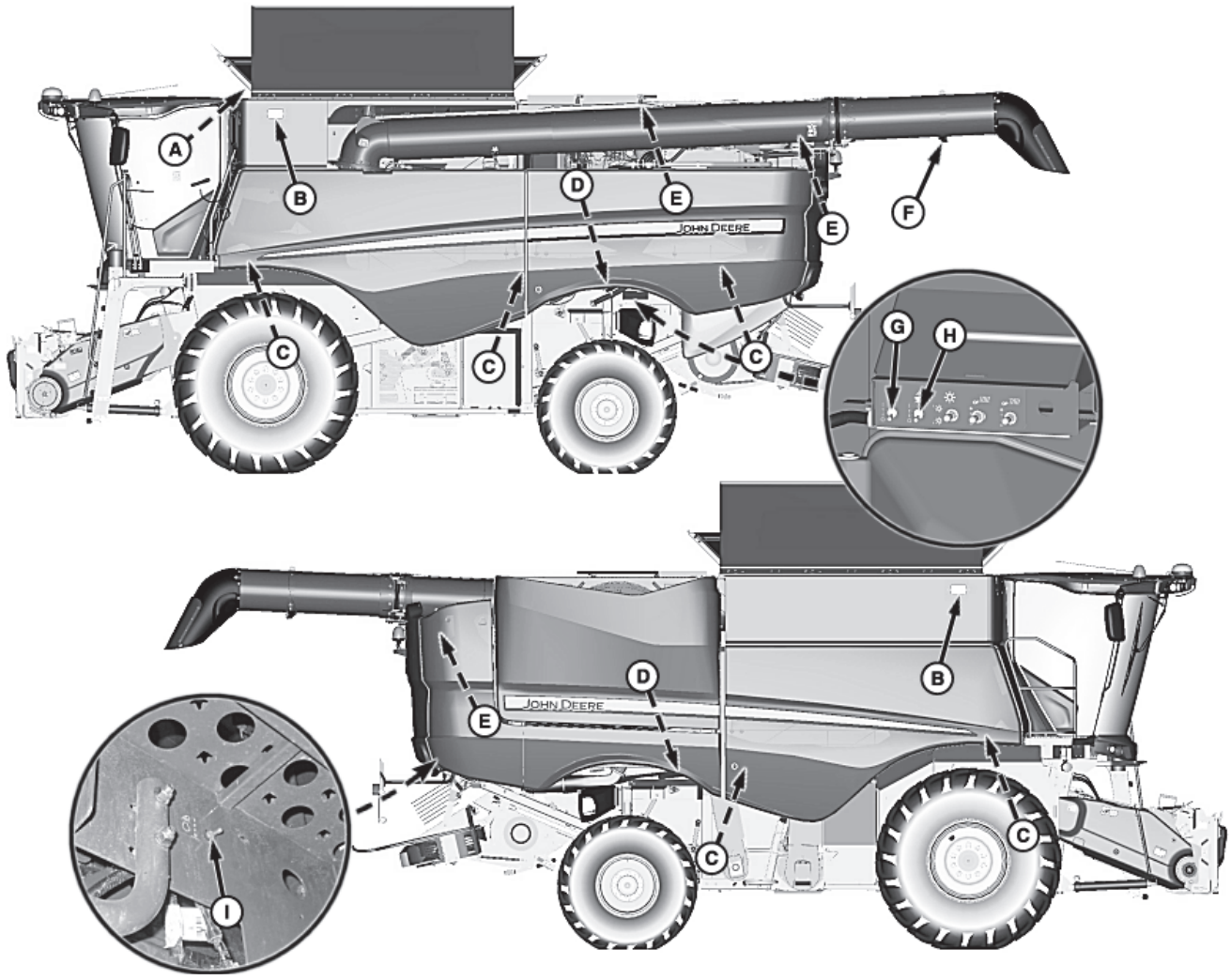
- シューサービスライト (D) は、夜間または薄暗い条件時にクリーニングシュー調整のための照明を提供します。
- シューサービスライト ON/OFF スイッチ (G) は左セパレータシールドの上にあります。
- メンテナンスおよび点検作業中に (収穫中ではなく) 点灯させてください。

ガルウイングサービスライト (オプション) :

警戒 : 他の運転者の混乱を回避してください。輸送中はガルウイングサービスライトを使用しないでください。

- ガルウイングサービスライト (C) は機械の両側のガルウイングの下に取り付けられ、セパレータエリアの視認性を高めます。
- ガルウイングサービスライト ON/OFF スイッチ (H) は左セパレータシールドの上にあります。

次のページへ



A : グレインタンクライト
B : ローファインダーライト
C : ガルウイングサービスライト
D : シューサービスライト
E : エンジンルームサービスライト
F : アンローディングオーガライト
G : シューサービスライトスイッチ
H : ガルウイングサービスライトスイッチ
I : エンジンルームサービスライトスイッチ

エンジンルームサービスライト (オプション) :

警戒 : 他の運転者の混乱を回避してください。輸送中はエンジンルームサービスライトを使用しないでください。

- エンジンルームサービスライト (E) は、夜間または薄暗い条件時にエンジンデッキエリアを照らします。
- エンジンルームサービスライト ON/OFF スイッチ (I) は機械の右後部にあります。
- このスイッチは、エンジンルームドアライト、リアエンジンデッキライト、およびエンジンルームフロントライトを制御します。
- メンテナンスおよび点検作業中に (収穫中ではなく) 点灯させてください。

降車時のライト :

- キースイッチとライトスイッチを OFF にした後、ローファインダーライト (B) が最長で 180 秒間点灯したままになります (その前の 5 分以内に道路ライトまたは圃場ライトを使用した場合)。ターンシグナルレバーを使用して機械の左側または右側を選択できます。

OUO6075,0001353 -40-18JUN13-6/6

運転ライト (ロシアのみ)

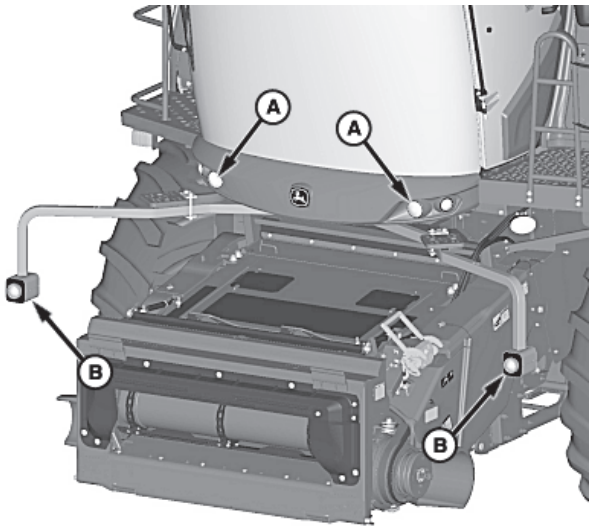
警戒：輸送時は道路ライトをオンにする必要があります。キャビンのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー／ハザードライトを接近してくる自動車運転者に向けます。

注記：道路ライトを ON にし、ヘッダーを接続していない場合は、下部運転ライトを ON にしてキャビンヘッドライトを OFF にしてください。ヘッダーを接続している場合は、下部運転ライトを OFF にし、キャビンヘッドライトを ON にしてください。

下部運転ライト (A) は最高走行速度 20 km/h (12.4 mph) の場合のみ利用できます。

最高走行速度 30 km/h (18.6 mph) の場合は下部運転ライト (A) にカバーを取り付けて、2 つのオプションの運転ライト (B) を取り付ける必要があります。

道路ライトスイッチは、下部運転ライト (A) とオプションの運転ライト (B) を制御します。詳細については、このセクションで前述の「ライトスイッチ」を参照してください。



A：下部運転ライト　　B：運転ライト (オプション)

OUO6075,00012CF -40-26OCT12-1/1

照明の遅延／タイムアウト

キースイッチを OFF にした状態で最初にすべてのライトを ON にすると、ライトが点灯するまでに少し遅れがあります。機械は、機械が運転されていない状態で現在のバッテリ電圧によりライトを作動させることができるかどうかを判定しています。この機能は、機械を始動できなくなるほどの過度の電圧がバッテリから消費されないようにするために機械に内蔵されています。

注記：クリーニングシューライト、サービスライト、またはエンジンルームサービスライトを 10 分以上点灯させると、ライトが点滅して瞬間的に OFF になり、その後 20 秒間点灯します。このサイクルは 3 分間続き、スイッチを入れ直すまでライトが消灯します。スイッチを入れ直した後にライトが点灯しない場合、機械はライトを作動させるにはばってり電圧が低すぎると判定しています。エンジンを運転してバッテリが充電されると、ライトは再び点灯します。

OUO6075,0001354 -40-27NOV12-1/1

ターンシグナル

注記：キースイッチが ON の場合、ターンシグナルが作動します。圃場ライトスイッチを ON にしているときに、ターンシグナルレバーを使用して左右のローファインダーライトを作動させます。ターンシグナルは自動復帰式ではありません。このため、レバーをニュートラル位置に動かす必要があります。

機械を道路や高速道路で運転している場合は、ターンシグナルレバー (A) を使用して右折や左折を指示してください。

注記：コーナーポストのインジケーターライト (左または右) が点灯し、右折または左折を示します。

A：ターンシグナルレバー

OUO6075,0000682 -40-29JUN11-1/1

キャビンインテリアライト

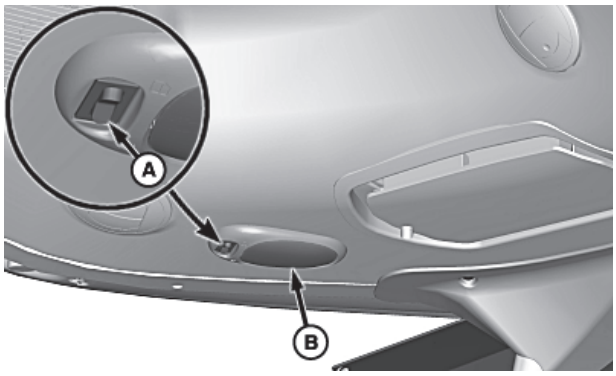
ドームライトは夜間または薄暗い条件時に使用する天井照明として機能します。

ライトスイッチ (A) を使用してドームライト (B) を制御します。

ライトスイッチは以下のように 3 ポジションスイッチです。

- ON (左)
- OFF (中央)
- 自動 (右) (キャビンドアを開いたとき点灯)

A : ライトスイッチ
B : ドームライト



OUO6075,0000683 -40-03FEB10-1/1

マップライト

マップライトは夜間または薄暗い条件時に使用する天井照明として機能します。

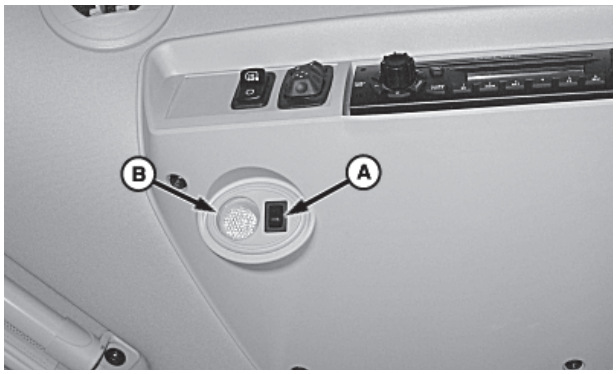
ライトスイッチ (A) を使用してマップライト (B) を制御します。

注記 : 必要に応じてマップライトを調整します。

ライトスイッチは以下のように 2 ポジションスイッチです。

- ON
- OFF

A : ライトスイッチ
B : マップライト



OUO6075,00007D1 -40-02NOV10-1/1

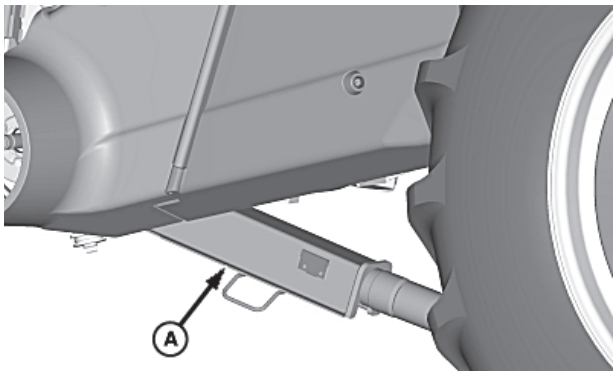
油圧シリンダ安全ストップ

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

油圧ライン継手に亀裂が入るとフィーダーハウスが下がり、フィーダーハウスとヘッダーが瞬時に落下します。

安全ストップ (A) を油圧シリンダロッドまで下げます。

A：安全ストップ



OUO6075,0000657 -40-02FEB10-1/1

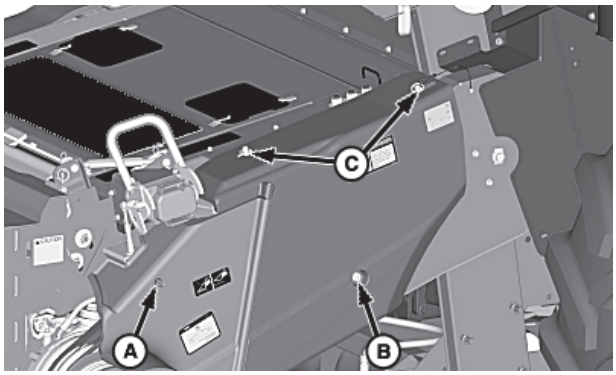
フィーダーハウスサイドシールド

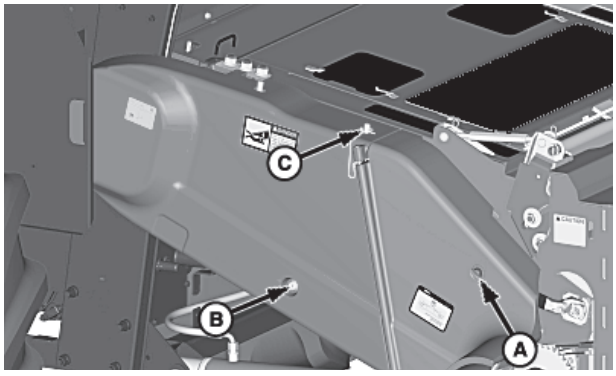
警戒：フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

フィーダーハウスシールドには、フロントシールドとリアシールドがあります。ラッチ (A) を回し、フロントシールド旋回させて開いて点検を行います。

ラッチ (B) を回してクイックロックピン (C) を取り外し、リアシールドを取り外します。

A：ラッチ
B：ラッチ
C：クイックロックピン





OUO6075,0000677 -40-02FEB10-1/1

フィーダーハウスドア

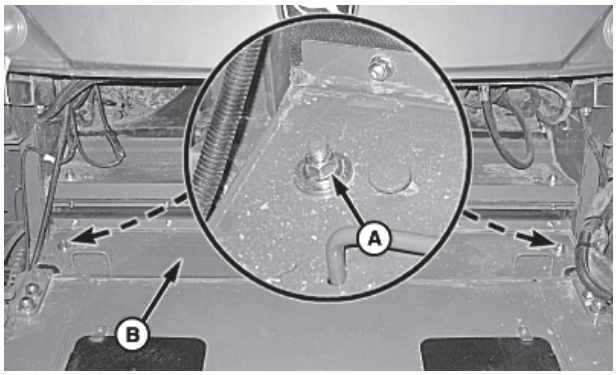
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

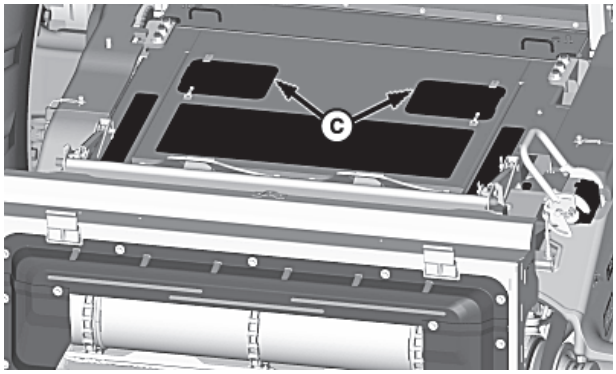
ドアの各側のナット (A) を緩めて、ナットをフィーダーハウスの中心に向けて押します。

ドア (B) を前方に引っ張って取り外します。

ドア (C) を持ち上げてフィーダーハウスの内側にアクセスします。

A：ナット
B：ドア
C：ドア





OUO6075,0000B6F -40-21MAR11-1/1

フィードアクセルレータのトップアクセスドア

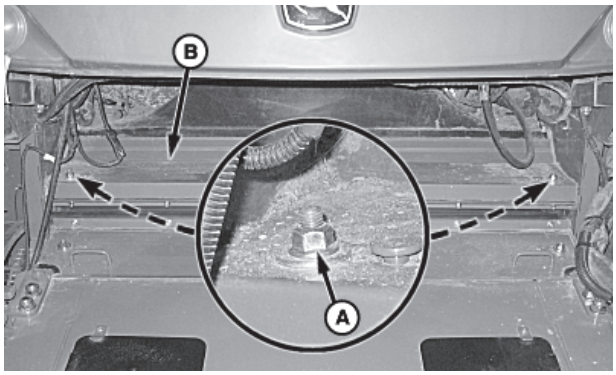
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

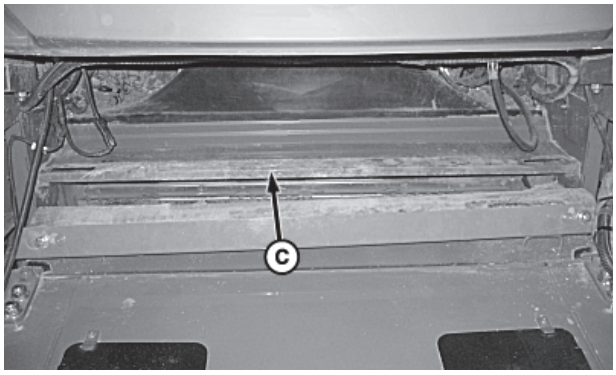
ドアの各側のロックナット (A) を緩めて、ロックナットを機械の中心に向けて押します。

ドア (B) を前方に引っ張って取り外します。

ドア (C) を前方にスライドさせて取り外します。

A：ロックナット
B：ドア
C：ドア





OUO6075,0000B70 -40-21MAR11-1/1

フィーダーハウス底部ドアとフィードプレートシールサポート

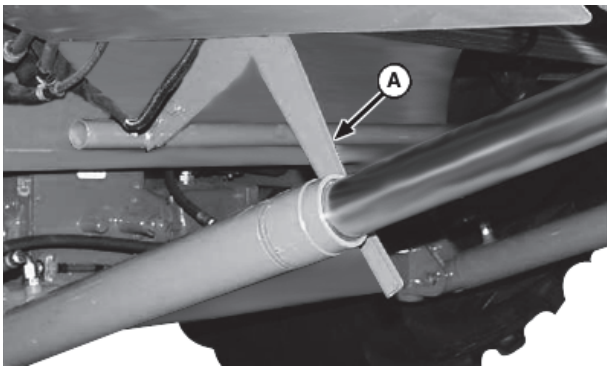
警戒：フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

クイックロックピンを取り外してレバー (A) を下後方に動かし、ドアを開きます。

重要：フィーダーハウスを下げたときにレバーが下がっている場合、レバーが曲がります。

レバーを前方に上に押してドアを示します。クイックロックピンで固定します。

A：レバー



OUO6075,000065B -40-02FEB10-1/2

フィーダーハウスドアのシール (A) が緊密ではない場合、穀粒の漏れが発生します。

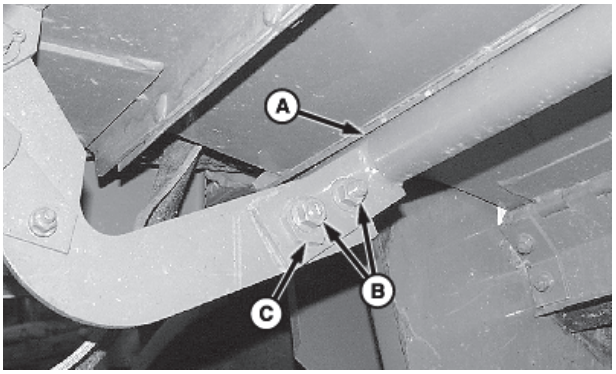
両側のボルト (B) を緩めます。

偏心部 (C) を回します。

偏心部を固定するボルトを締め付けます。

残りのボルトを締め付けます。

A：シール
B：ボルト
C：偏心部



OUO6075,000065B -40-02FEB10-2/2

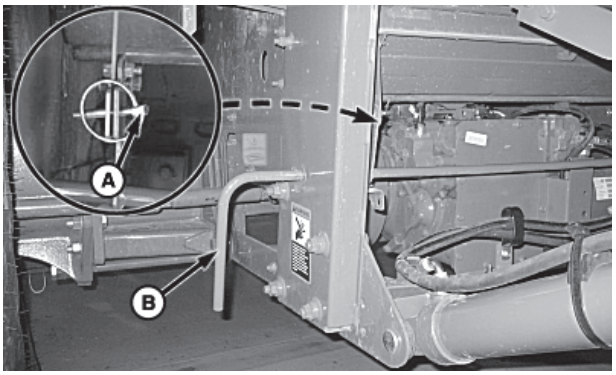
ストーントラップ

警戒：フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

ストーントラップは岩や石による損傷からシリンダおよびコンケーブを保護します。

クイックロックピン (A) を取り外し、レバー (B) を上に動かしてストーントラップを開きます。

レバーを下に動かしてストーントラップを閉めます。クイックロックピンで固定します。



A：クイックロックピン　　**B：レバー**

OUO6075,000065C -40-01DEZ10-1/1

フィーダーハウス前後傾斜フレームの調整と設定

警戒：ヘッダーを地面に下ろして、前後傾斜フレームのターンバックルから張力を解放します。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

前後傾斜フレームを使用して、プラットフォームスキッドプレートと地面との間の正しい関係を設定します。これは異なるタイヤサイズ、リア車軸設定、その他の変数について補正します。

両側の傾斜フレームのナット (A) とナット (B) を緩めます。

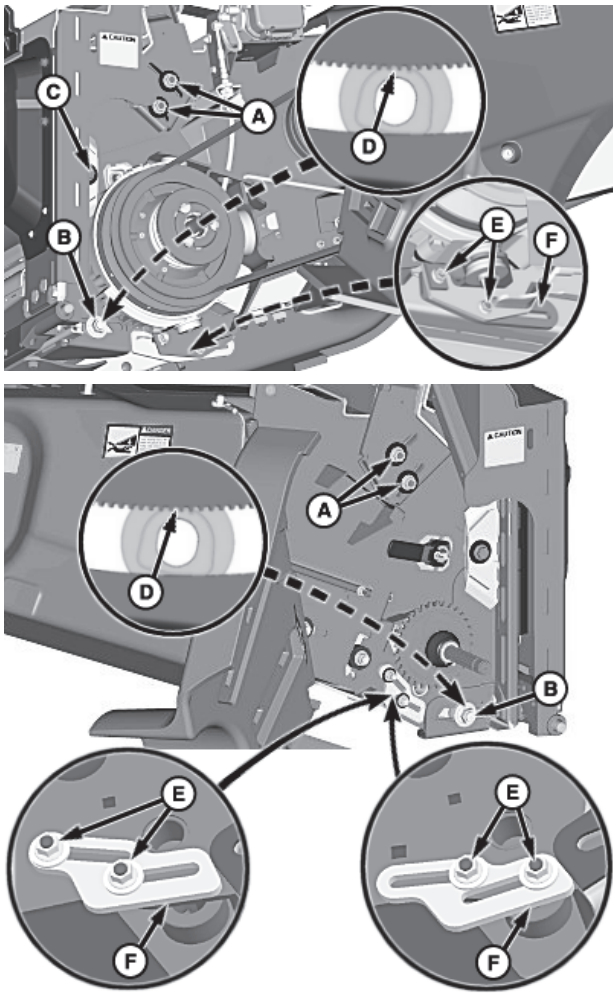
重要：ボルト (C) は緩めないでください。

両側のサポートプレートからワッシャスプライン (D) を外します。

注記：必要に応じて、右側のストッププレートを後方の取り付け穴に移動します。

両側のナット (E) を緩めてストッププレート (F) を後方に動かします。

A：傾斜フレームのナット、M16
B：傾斜フレームのナット、M20
C：ボルト
D：ワッシャスプライン
E：ナット
F：ストッププレート



後方の穴 (左)／前方の穴 (右)

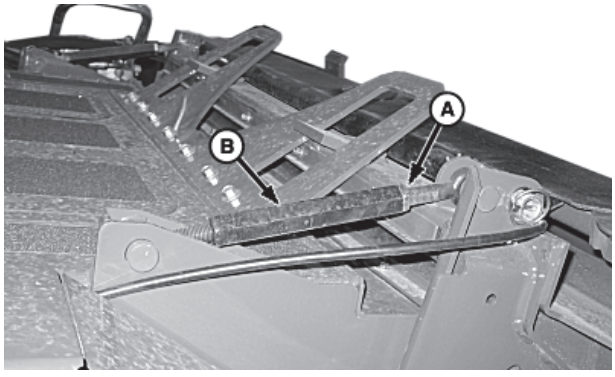
OUO6075,0001760 -40-12MAR14-1/4

重要：前後傾斜フレームを調整するときは、マルチカプラーのホースクランプの位置を変える必要がある場合があります。

必要に応じて正しいヘッダー角度にするために両側のナット (A) を緩めてターンバックル (B) を調整します。

両側のターンバックルのナットを締め付けます。

A：ナット
B：ターンバックル



次のページへ

OUO6075,0001760 -40-12MAR14-2/4

ワッシャスプライン (D) をサポートプレートにかみ合わせて両側のナット (A、B) を規定のトルクで締付けます。

仕様

M16 傾斜フレームのナット (A)
トルク ..... 300 N•m (221 lb-ft)

M20 傾斜フレームのナット (B)
トルク ..... 620 N•m (460 lb-ft)

重要：ナットを締め付けた後、ストッププレートと前後傾斜フレームの間に隙間がないようにする必要があります。

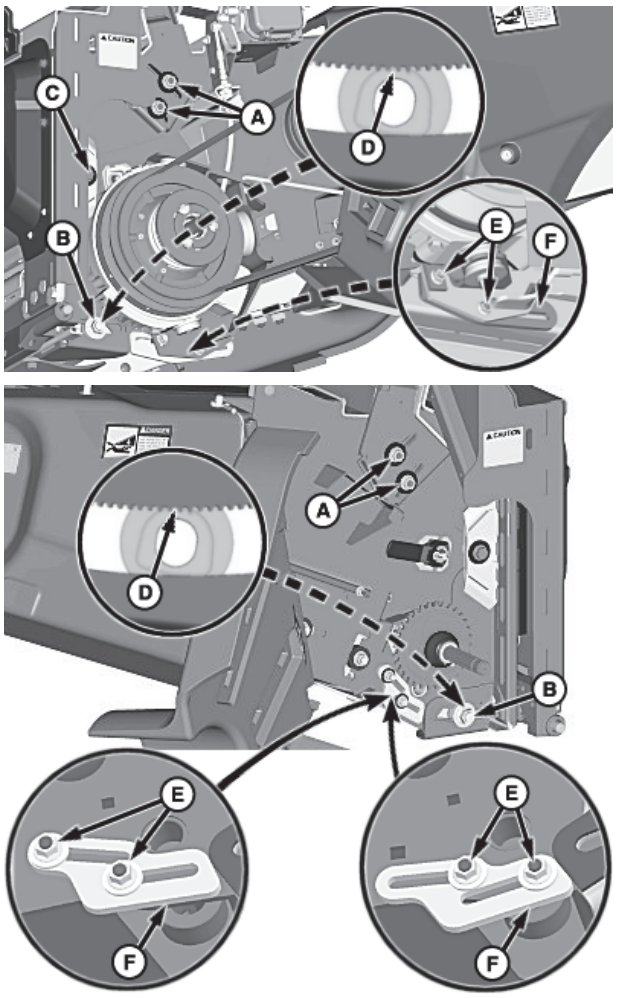
注記：必要に応じて、右ストッププレートを前後の穴に取り付けます。

両側のストッププレート (F) を前方いっぱいまで動かしてナット (E) を規定のトルクで締付けます。

仕様

ストッププレートのナット
トルク ..... 130 N•m (96 lb-ft)

A：傾斜フレームのナット、M16
B：傾斜フレームのナット、M20
C：ボルト
D：ワッシャスプライ
E：ナット
F：ストッププレート



後方の穴 (左)／前方の穴 (右)

OUO6075,0001760 -40-12MAR14-3/4

傾斜フレームは工場で概略の位置に設定されていますが、タイヤや車軸位置を変更したり、地面条件が変わったりした場合 (軟らかい地面など)、再調整が必要になることがあります。

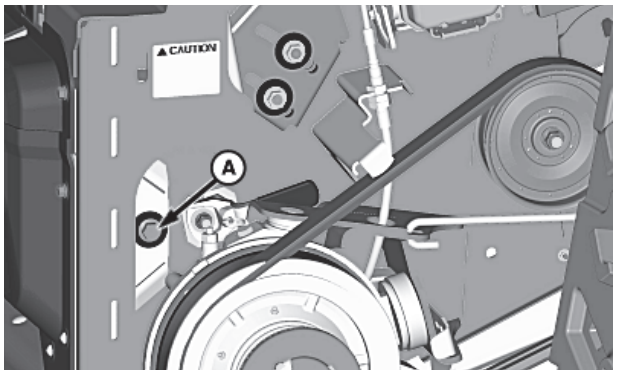
概略の設定は、ヘッダーを取り付けない状態で以下の手順に従って実現できます。

- 機械を滑らかで水平な面に駐車して、ピボットボルト (A) から地面までの距離が仕様値に設定されるまでフィーダーハウスを下げるか上げます。

仕様

ピボットボルトから地面までの
距離 ..... 903 mm (35-1/2 in)

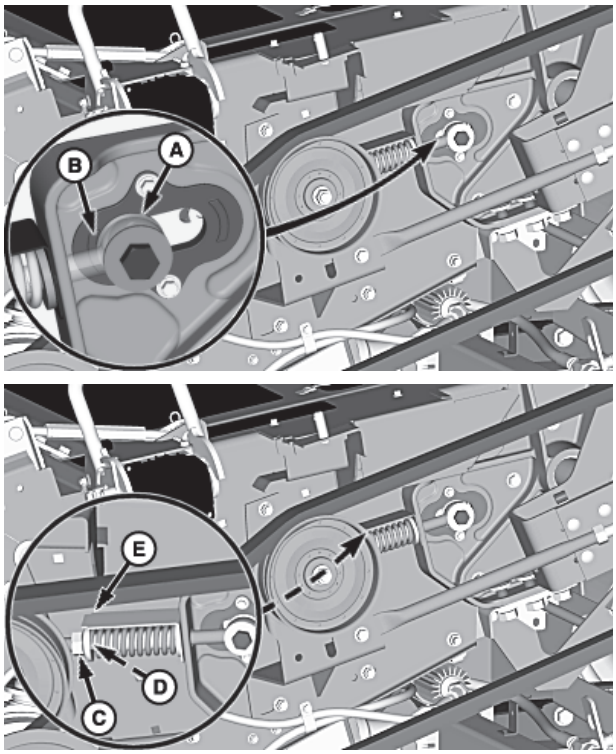
- レベルを基準として使用し、前面が垂直になるまで前後傾斜フレームを調整します。



A：ピボットボルト

OUO6075,0001760 -40-12MAR14-4/4

フィーダーハウスコンベアチェーン：調整



両側のフィーダーハウスシールドを取り外します。

図に示すように座金 (A) がフロントエンボス (B) の内側の端と整列したときは、各チェーンストランドのオフセットリンク 1 個を取り外す必要があります。

座金 (D) がゲージ (E) の端と段差の底部に間になるまでフィーダーハウスの両側のナット (C) を締め付けます。

注記：最初の 100 時間は、25 時間ごとに両側の張力を点検します。

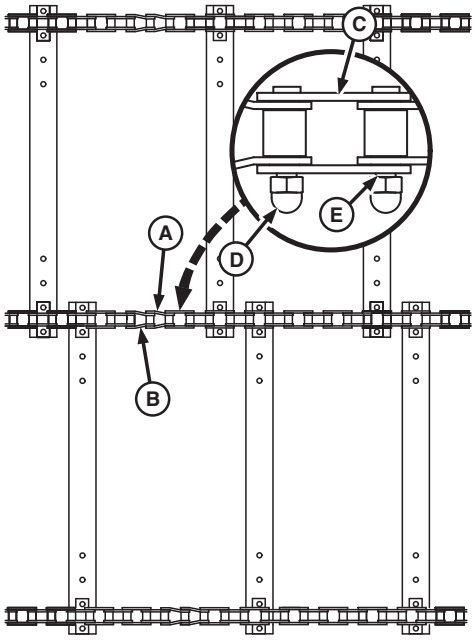
- その後、100 時間ごとに両側の張力を点検します。座金のいずれかの部分がゲージの端部を越えた場合は調整してください。
- 真円ではないスプロケットやドラムおよび曲がったシャフトを使用すると、チェーン張力の不均一、きつすぎ、緩すぎが発生することがあります。
- 過度のチェーン張力はシャフトやベアリングの故障の原因になります。

フィーダーハウスサイドシールドを取り付けます。

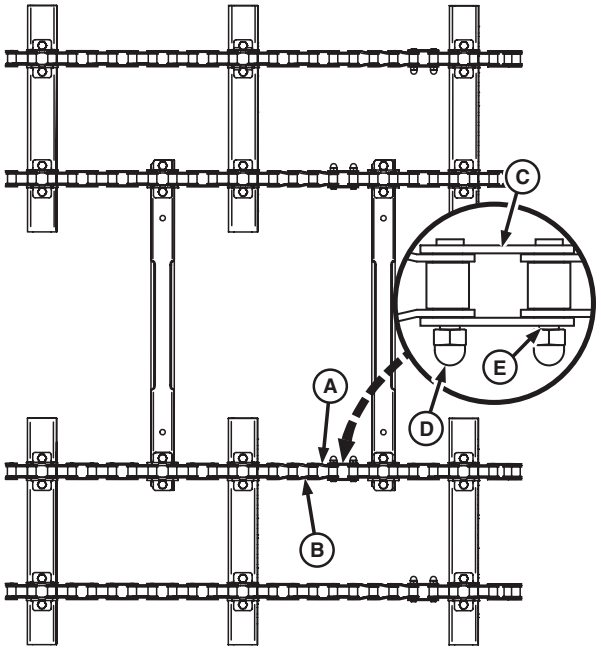
A：座金
B：エンボス
C：ナット
D：座金
E：ゲージ

OUO6075,000067C -40-22NOV10-1/1

フィーダーハウスコンベアチェーンリンク：取り外し



3 ストランドフィーダーハウスコンベアチェーン



4 ストランドフィーダーハウスコンベアチェーン

A：オフセットリンク
B：オフセットリンク
C：サイドバー
D：袋ナット

E：隙間：1～2 mm (3/64 in～5/64 in)

注記：3 ストランドフィーダーハウスコンベアチェーンは HillMaster™ 機械のみで利用できます。

チェーンリンクを交換するときは必ずスプロケットの摩耗を点検してください。

初期チェーン調整では、オフセットリンク (A) を取り外します。

2 回目の調整では、オフセットリンク (B) を取り外します。2 回目の調整で調整を使い切った場合、チェーンが使い古されているため交換する必要があります。

仕様

"U" スラット M10 金具 トルク	73 N•m (54 lb-ft)
チェーンリンク M8 袋ナット トルク	25 N•m (18 lb-ft)

重要：コネクタリンクを取り付けている場合、袋ナットをドラムリングから離して配置する必要があります。

チェーンリンク袋ナット (D) を規定のトルクで締付けるときは、コネクタリンクサイドバー (C) と袋ナットの間に隙間 (E) がある必要があります。

HillMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001755 -40-03FEB14-1/1

フィーダーハウスドラム：高さ調整

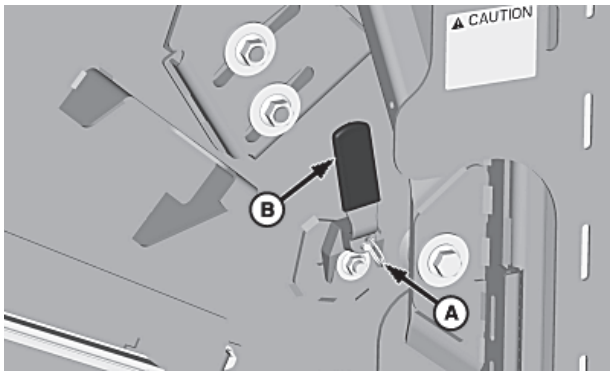
警戒：フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

フィーダーハウスシールドを開きます。

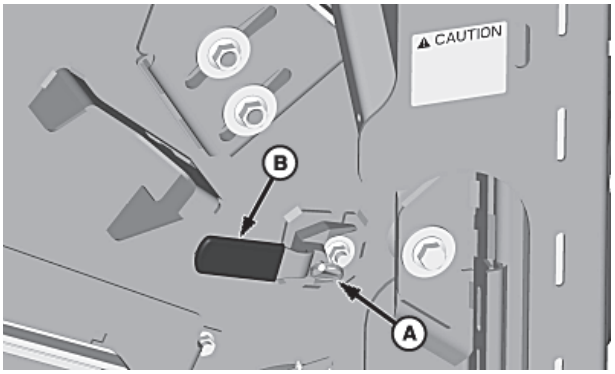
両側でハンドル (B) を必要な作物位置まで回しながらピン (A) を引っ張って保持します。

フィーダーハウスシールドを閉めます。

A：ピン
B：ドラム高さハンドル



コーン専用位置



小粒穀物用位置

OUO6075,000067E -40-02FEB10-1/1

フィーダーハウスコンベア速度：変更

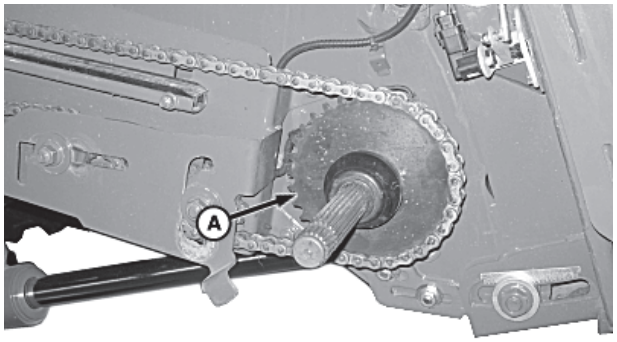
警戒：フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

注記：推奨されているフィーダーハウスコンベアスプロケットの設定については、「作物の設定」セクションを参照してください。

歯数 32 のスプロケットに関する重要な注意事項：
- トウモロコシ用途にはスプロケットは推奨されません。

以下に示す作物や条件により供給が不十分である条件でお勧めします。
- **作物**：オオムギ、アブラナ、カラスムギ、イネ、ライムギ、コムギ
- **条件**：大量、未乾燥作物、湿気を含んだ作物、ウィンドロー、供給不足

作物条件の変化または供給の改善 (作物の乾燥化、より均一なウィンドロー、わらの軽量化) にしたがって、歯数 26 のスプロケットの使用をお勧めします。チェーン速度を遅くすると、わらの損傷や前脱穀の可能性が低くなってチェーンの寿命が延びます。



A：スプロケット

フィーダーコンベアチェーンは、下部シャフトの右側にあるドライブスプロケット (A) を選択することにより 2 種類の異なる速度に設定できます。

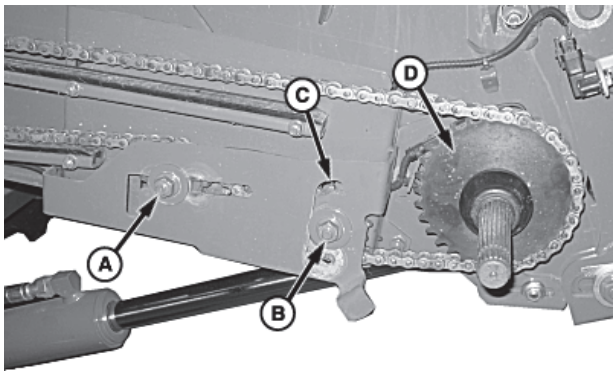
速度を遅くするには小型のスプロケットを使用し、速度を速くするには大型のスプロケットを使用します。

次のページへ

OUO6075,0000661 -40-13JUN11-1/4

1. **ドライブチェーンで小型のスプロケットを使用するには：**右フロントシールドを開きます。
2. ナット (A) を緩めてスプロケットを後方に押します。
3. ナット (B) を緩めてスプロケットを上部位置 (C) に動かします。
4. カプラーを押して、デント位置にかみ合うまでスプロケット (D) を外側に動かします。

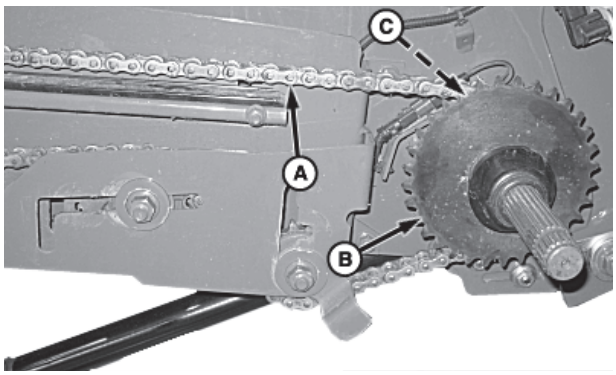
A：ナット
B：ナット
C：上部位置
D：スプロケット



OUO6075,0000661 -40-13JUN11-2/4

5. チェーン (A) を大型のスプロケット (B) から小型のスプロケット (C) に動かします。

A：チェーン
B：大型のスプロケット
C：小型のスプロケット



次のページへ

OUO6075,0000661 -40-13JUN11-3/4

6. スプロケット (A) を下側の位置に動かしてナット (B) を締め付けます。

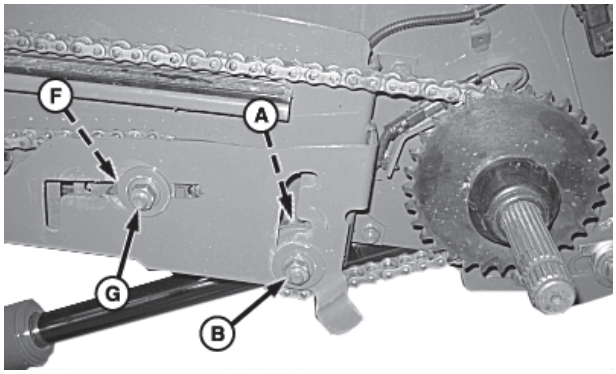
7. ナット (C) を緩めて、チェーンガイド (D) を必要なノッチ (E) にスライドさせてナットを締め付けます。

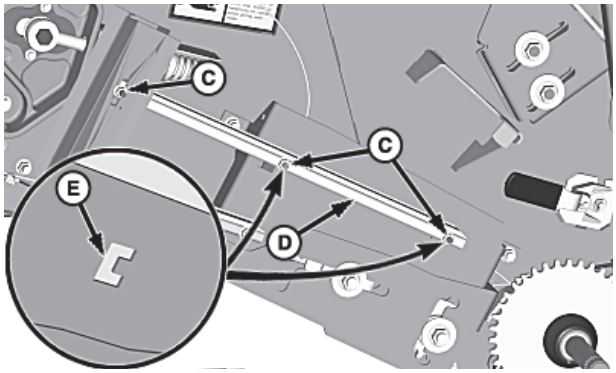
注記：フィーダーコンベアドライブチェーンを締め付けすぎないでください。チェーンがプラスチックガイドに乗り上げるのは許容されます。

8. バールを内側プレートの穴に入れて、スプロケット (F) を前方に動かしてナット (G) を締め付けます。

9. 右フロントシールドを閉めます。

A : スプロケット
B : ナット
C : ナット
D : チェーンガイド
E : ノッチ
F : スプロケット
G : ナット





OUO6075,0000661 -40-13JUN11-4/4

フィーダーハウスコンベアドライブチェーン：調整

警戒：フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

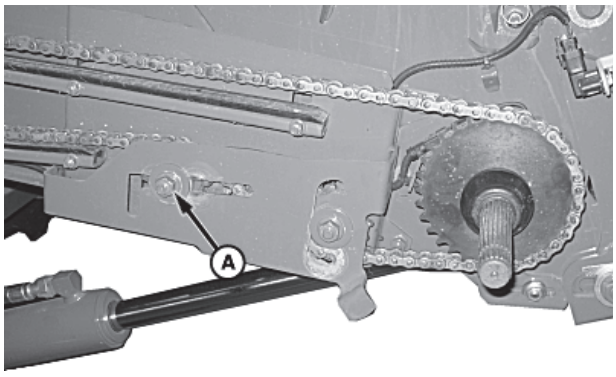
右フロントシールドを開きます。

ナット (A) を緩めてスプロケットを後方に押します。

注記：フィーダーコンベアドライブチェーンを締め付けすぎないでください。チェーンがプラスチックガイドに乗り上げるのは許容されます。

バールを内側プレートの穴に入れて、スプロケットを前方に動かしてナット (A) を締め付けます。

右フロントシールドを閉めます。



A : ナット

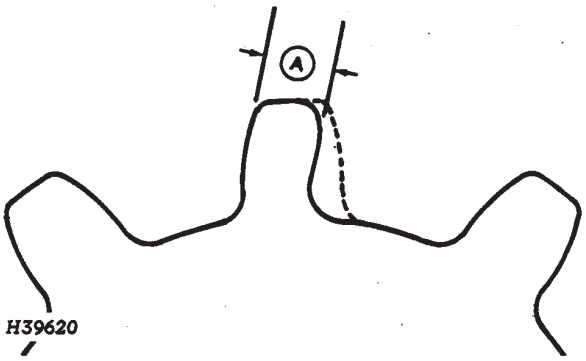
OUO6075,0000662 -40-13JUN11-1/1

フィーダーハウス上部シャフトスプロケット

1,000 時間後、収穫している作物に応じて上部シャフトスプロケットの摩耗を点検してください。

これらのスプロケットが 12 mm (1/2 in) (A) を超えて摩耗している場合、スプロケットを逆にして今後の摩耗に対応することができます。

A：寸法 12 mm (1/2 in)



OUO6075,0000665 -40-02FEB10-1/1

フィーダーハウスバリアブルスピードドライブベルト：交換

警戒：下部バリアブルスピードシーブはスプリング張力がかかっています。ベルトを取り外した場合、閉位置に突然跳ね返ります。

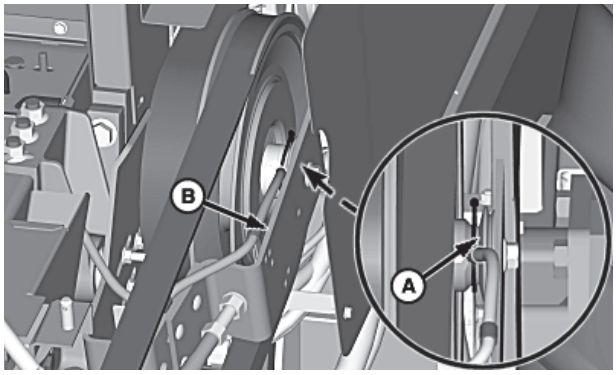
エンジンを始動し、セパレータを接続してエンジン回転数スイッチをファストアイドルに切り替えます。**フィーダーハウスドライブベルトを低フロントシャフト速度に調整します。**

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

セパレータの接続を解除し、エンジンを停止してキーを抜きます。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

ゴムブーツ (A) の下側を確認して上部シーブが完全に開いているか確認します。低速位置では、外側シーブのつばはブラケット (B) に対向しています。



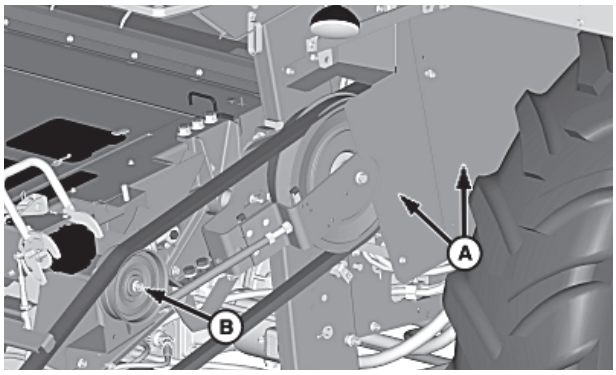
A：ゴムブーツ **B：ブラケット**

OUO6075,0000666 -40-02FEB10-1/6

シールド (A) を取り外します。

アイドラナット (B) を緩めてドライブベルト張力を解放します。

A：シールド
B：ナット

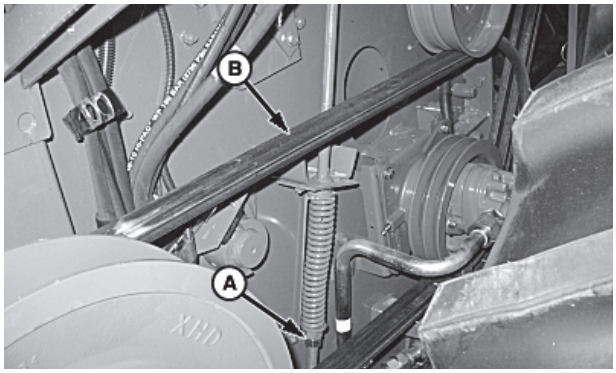


次のページへ

OUO6075,0000666 -40-02FEB10-2/6

ナット (A) を緩めて、リールドライブベルト (B) の張力を解放します。

A : ナット
B : ドライブベルト

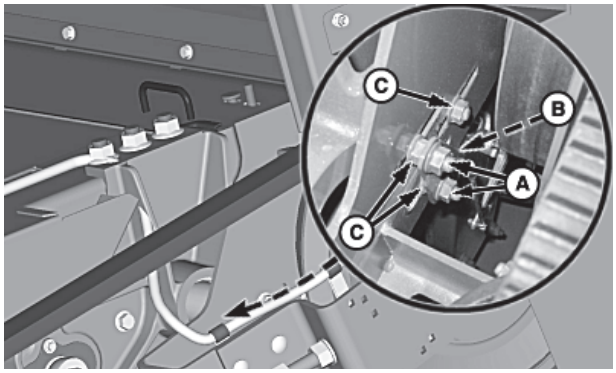


OUO6075,0000666 -40-02FEB10-3/6

ナット (A) とブラケット (B) を取り外して保管します。

ナット (C) を緩めて上部シーブアセンブリを動かせるようにします。

A : ナット (2 個使用)
B : ブラケット
C : ナット (3 個使用)



OUO6075,0000666 -40-02FEB10-4/6

注記：ナット (C) はナット (A) に接触するまで動かす必要があります。これらのナットはテンショナボルトを回すために一緒に使用できます。

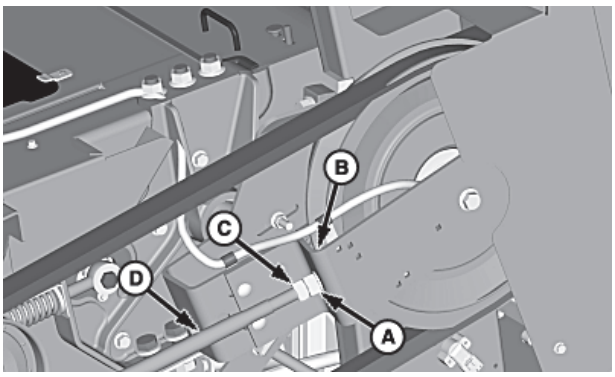
ブラケットの両側で 3 mm (1/8 in) の隙間が得られるまで、ナット (A) を緩めてブラケット (B) から離します。

ナット (C) をナット (A) に対して締め付けます。

注記：ボルトをテンショナにねじ込むと、シーブが前方に移動してドライブベルトが外れます。

ナット (A) を使用してテンショナ (D) にボルトをねじ込みます。

A : ナット
B : ブラケット
C : ナット
D : テンショナ



次のページへ

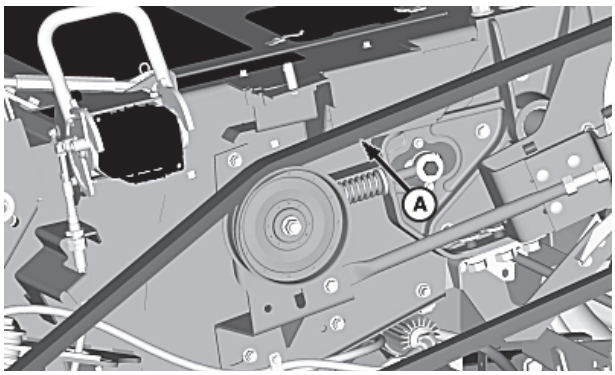
OUO6075,0000666 -40-02FEB10-5/6

ドライブベルト (A) をシーブから取り外します。

交換用ドライブベルトを取り付けて張力を調整します。(「フィーダーハウスバリアブルスピードベルト：調整」を参照してください)。

前の手順で取り外したブラケットとフィーダーハウスシールドを取り付けます。

A：ドライブベルト



OUO6075,0000666 -40-02FEB10-6/6

フィーダーハウスバリアブルスピードドライブベルト：調整

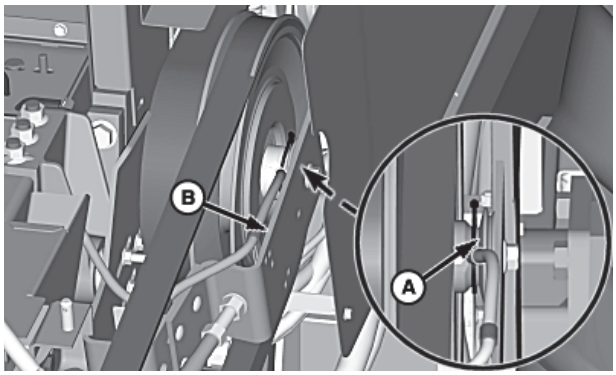
注記：アイドラを上げてバリアブルスピードベルトに対して軽微な調整を行うことができます。アイドラを上げても 3 mm (1/8 in) の隙間が得られない場合は、次の手順を実行します。

エンジンを始動し、セパレータを接続してエンジン回転数スイッチをファストアイドルに切り替えます。**フィーダーハウスドライブベルトを低フロントシャフト速度に調整します。**

セパレータの接続を解除し、エンジンを停止してキーを抜きます。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

ゴムブーツ (A) の下側を確認して上部シーブが完全に開いているか確認します。低速位置では、外側シーブのつばはブラケット (B) に対向しています。

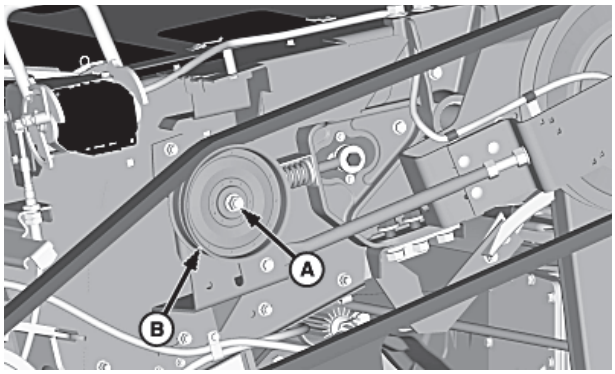


A：ゴムブーツ　　**B：ブラケット**

OUO6075,0000667 -40-02FEB10-1/9

ナット (A) を緩めてアイドラ (B) を下側の位置に調整します。

A：ナット
B：アイドラ



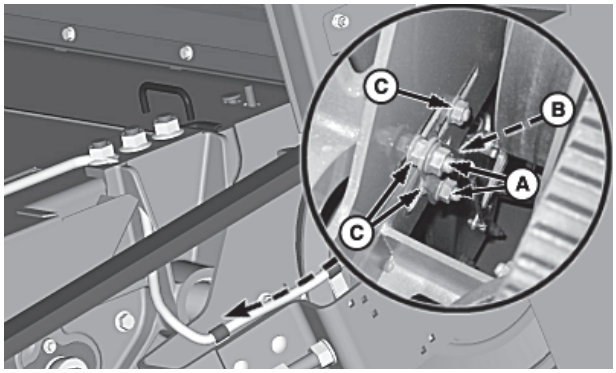
次のページへ

OUO6075,0000667 -40-02FEB10-2/9

ナット (A) とブラケット (B) を取り外して保管します。

ナット (C) を緩めて上部シーブアセンブリを動かせるようにします。

A : ナット (2 個使用)
B : ブラケット
C : ナット (3 個使用)



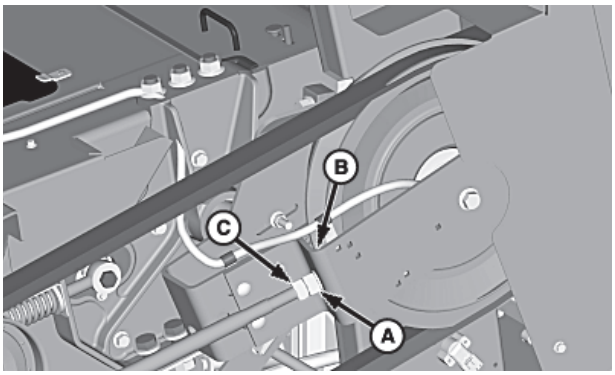
OUO6075,0000667 -40-02FEB10-3/9

注記 : ナット (C) はナット (A) に接触するまで動かす必要があります。これらのナットはテンショナボルトを回すために一緒に使用できます。

ブラケットの両側で 3 mm (1/8 in) の隙間が得られるまで、ナット (A) を緩めてブラケット (B) から離します。

ナット (C) をナット (A) に対して締め付けます。

A : ナット
B : ブラケット
C : ナット



次のページへ

OUO6075,0000667 -40-02FEB10-4/9

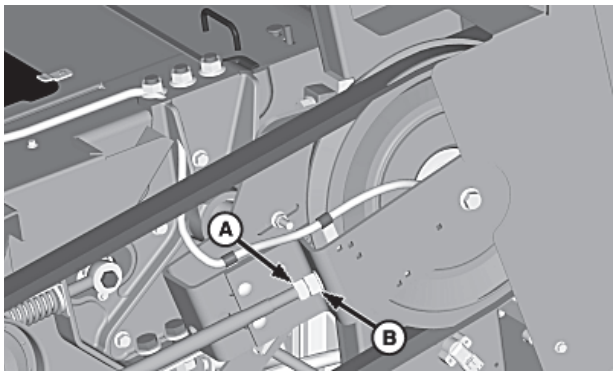
重要：シーブ隙間を調整中にベルトを回転させます。シーブ隙間を調整中にベルトを回転させなかった場合、ベルトが損傷します。

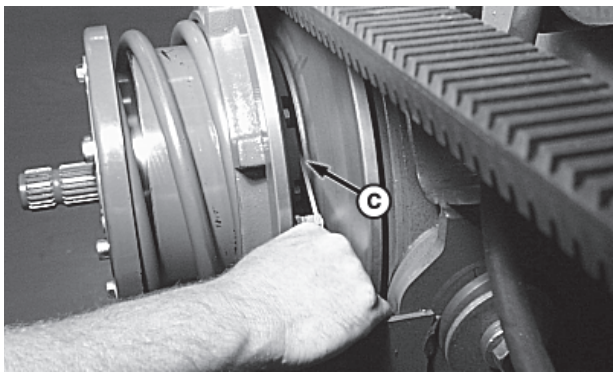
シーブのつば間の隙間は重要です。これにより、低速位置のときにシーブのつばがベルトを保持できます。カッティングプラットフォームのドライブシャフト速度は低速位置にある必要があります。

ナット (A) を緩めてボルト (B) を調整します。

下部シーブのつばの間に 3 mm (1/8 in) の隙間が得られるまで、または上部シーブアセンブリがスロットの端に達するまで、ボルトを使用して上部バリアブルスピードシーブを動かします。

A：ナット
B：ボルト
C：隙間：3 mm (1/8 in)

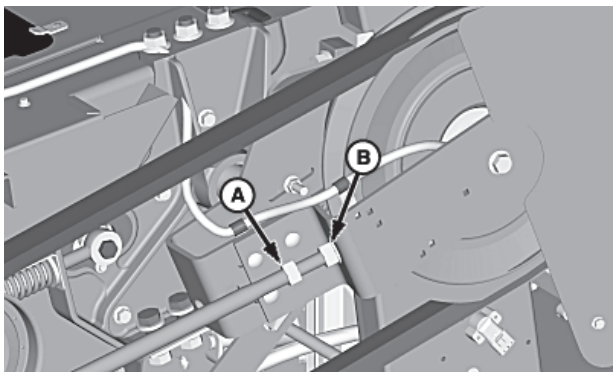




OUO6075,0000667 -40-02FEB10-5/9

ナット (A) を最初に締め付けてからナット (B) を締め付けます。

A：ナット
B：ナット

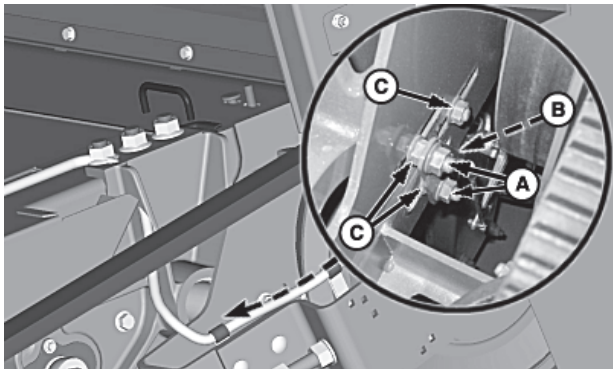


次のページへ

OUO6075,0000667 -40-02FEB10-6/9

ナット (C) を締め付けて、ブラケット (B) を取り付けてナット (A) で固定します。

A : ナット (2 個使用)
B : ブラケット
C : ナット (3 個使用)



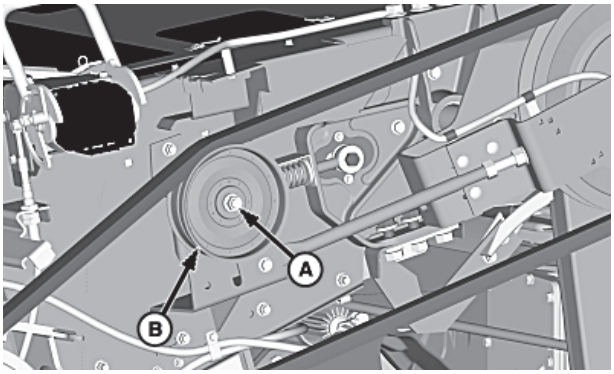
OUO6075,0000667 -40-02FEB10-7/9

重要 : アイドラを押し上げて隙間を設定するときにベルトの上に立たないでください。

アイドラがドライブベルトに接触するまでアイドラ (A) を上げます。

シーブをさらに 25 mm (1 in) 上げてナット (B) を締め付けます。

A : アイドラ
B : ナット

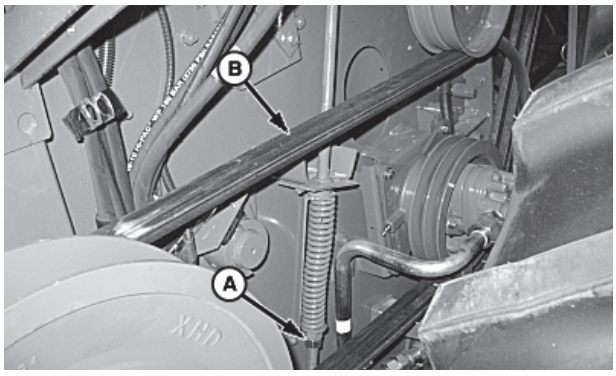


OUO6075,0000667 -40-02FEB10-8/9

調整ナット (A) を締め付けてゲージの端部と段差の底部の間に座金を配置してリールドライブベルト (B) を調整します。

フィーダーハウスシールドを取り付けます。

A : ナット
B : ドライブベルト



OUO6075,0000667 -40-02FEB10-9/9

ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (バリアブルスピードフィーダーハウス) : 交換

警戒 : 下部バリアブルスピードシーブはスプリング張力がかかっています。ベルトを取り外した場合、閉位置に突然跳ね返ります。

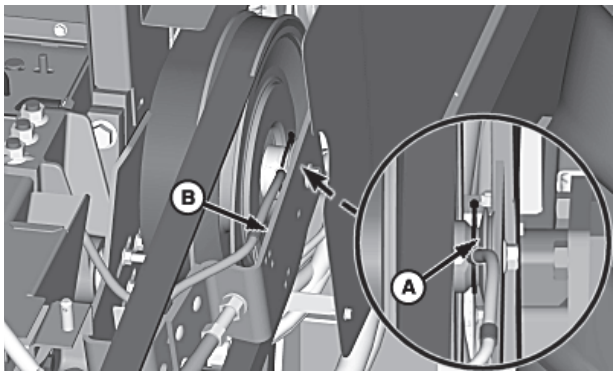
エンジンを始動し、セパレータを接続してスイッチをファストアイドルに切り替えます。**フィーダーハウスドライブベルトを低フロントシャフト速度に調整します。**

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

セパレータの接続を解除し、エンジンを停止してキーを抜きます。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

ゴムブーツ (A) の下側を確認して上部シーブが完全に開いているか確認します。低速位置では、外側シーブのつばはブラケット (B) に対向しています。

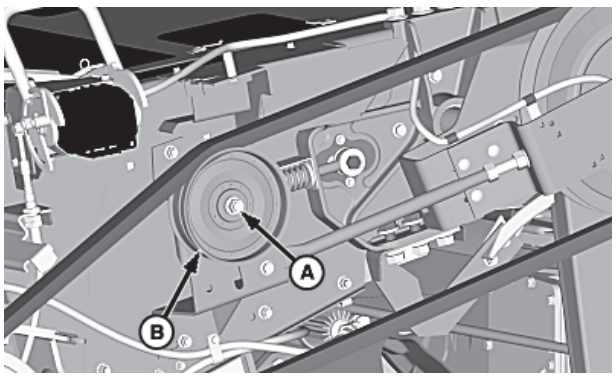


A : ゴムブーツ　　**B : ブラケット**

OUO6075,0000668 -40-03AUG10-1/13

アイドラナット (A) を緩めてシーブ (B) を下にスライドさせ、ドライブベルトの張力を解放します。

A : アイドラナット
B : シーブ

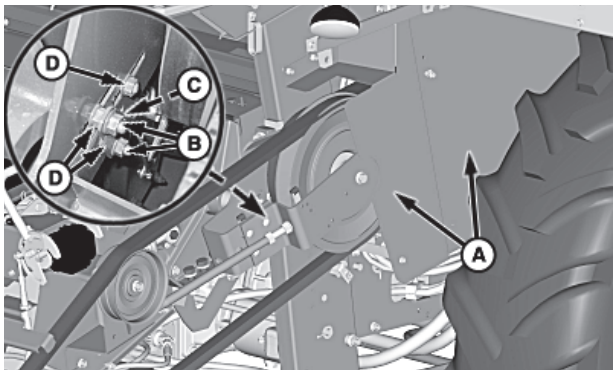


OUO6075,0000668 -40-03AUG10-2/13

シールド (A) 、ナット (B) 、センサーブラケット (C) を取り外します。

ナット (D) を緩めて上部シーブアセンブリを動かせるようにします。

A : シールド
B : ナット (2 個使用)
C : センサーブラケット
D : ナット (3 個使用)



次のページへ

OUO6075,0000668 -40-03AUG10-3/13

注記：ナット (C) はナット (A) に接触するまで動かす必要があります。これらのナットはテンショナボルトを回すために一緒に使用できます。

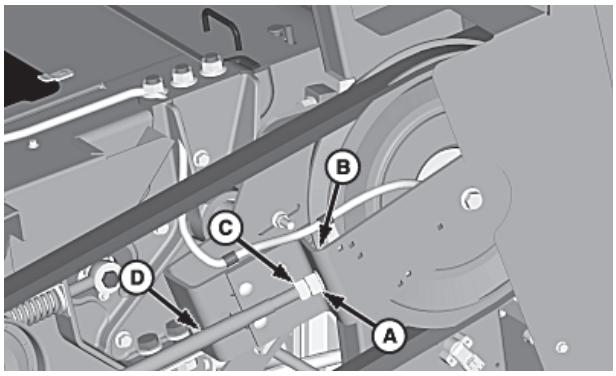
ブラケットの両側で 3 mm (1/8 in) の隙間が得られるまで、ナット (A) を緩めてブラケット (B) から離します。

ナット (C) をナット (A) に対して締め付けます。

注記：ボルトをテンショナにねじ込むと、シーブが前方に移動してドライブベルトが外れます。

ナット (A) を使用してテンショナ (D) にボルトをねじ込みます。

A：ナット
B：ブラケット
C：ナット
D：テンショナ

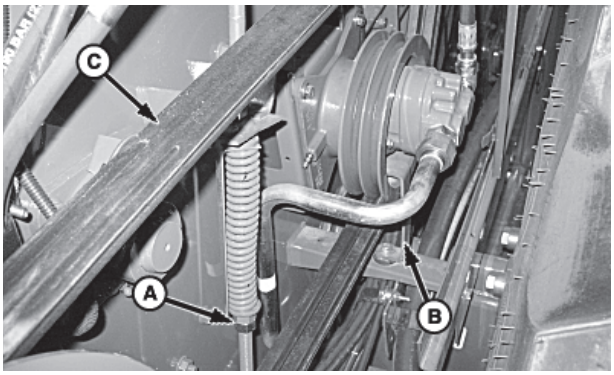


OUO6075,0000668 -40-03AUG10-4/13

ナット (A) を緩めて、ドライブベルトの張力を解放します。

ドライブベルト (C) を取り外せるようにボルトとナットを取り外してリールポンプブレース (B) を邪魔にならない位置に動かします。

A：ナット
B：ブレース
C：ドライブベルト

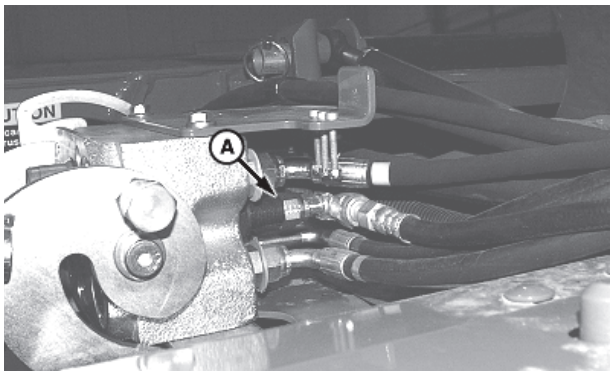


OUO6075,0000668 -40-03AUG10-5/13

注記：システムへの異物の侵入およびフルードの損失を防止するために油圧ホースにキャップを取り付けます。

油圧ホース (A) をマルチカプラーから外します。

A：油圧ホース



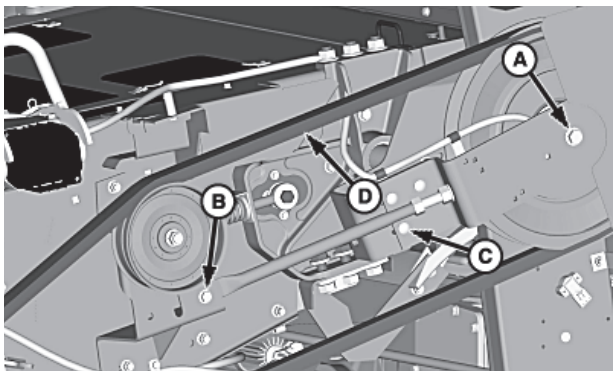
次のページへ

OUO6075,0000668 -40-03AUG10-6/13

ボルト (A) 、ボルトとナット (B) 、および丸頭ボルト (C) を取り外します。

リアシーブからドライブベルト (D) を取り外します。

A : ボルト
B : ボルトとナット
C : 丸頭ボルト (3 本使用)
D : ドライブベルト



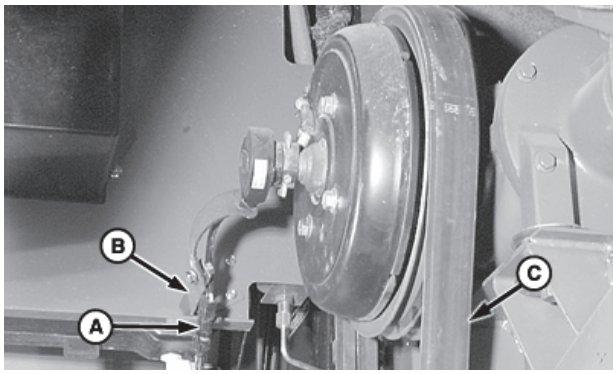
OUO6075,0000668 -40-03AUG10-7/13

コネクタ (A) の接続を外し、ブラケット (B) からストラップを取り外します。

ドライブベルト (C) を取り外して廃棄します。

交換用ドライブベルトを取り付けてストラップをブラケットに接続し、電気コネクタを接続します。

A : コネクタ
B : ブラケット
C : ドライブベルト

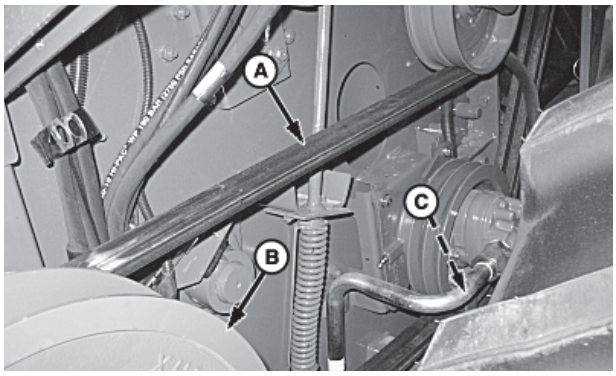


OUO6075,0000668 -40-03AUG10-8/13

リールポンプとリアシーブ (B) の周囲にドライブベルト (A) を取り付けます。

前の手順で取り外したリールポンプブレース (C) をボルトとナットとともに取り付けます。

A : ドライブベルト
B : シーブ
C : ブレース



次のページへ

OUO6075,0000668 -40-03AUG10-9/13

リアシーブの周囲にドライブベルト (A) を取り付けます。

ボルト (B) を取り付けて規定のトルクで締め付けます。

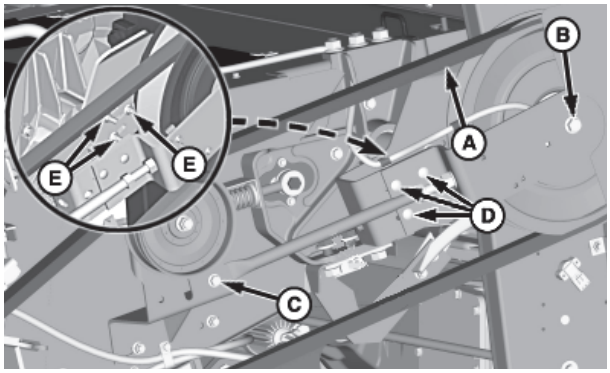
仕様

ボルト トルク	185 N•m (136 lb-ft)

ボルトとナット (C) を締め付けます。

この時点で、丸頭ボルト (D) は緩めたままにします。

上部シーブアセンブリが動かないようにナット (E) を締め付けます。

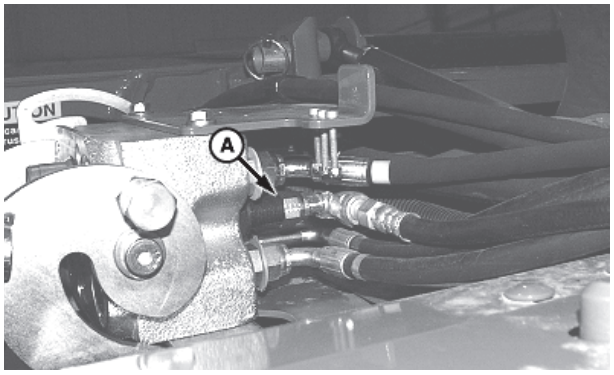


A : ドライブベルト
B : ボルト
C : ボルトとナット
D : 丸頭ボルト (3 本使用)
E : ナット (3 個使用)

OUO6075,0000668 -40-03AUG10-10/13

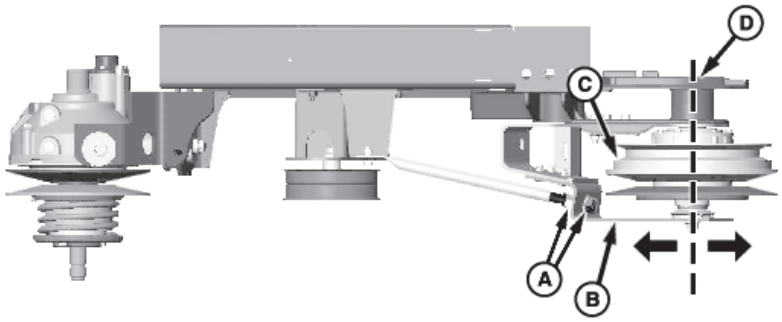
油圧ホース (A) をマルチカプラーに接続します。

A : 油圧ホース



次のページへ

OUO6075,0000668 -40-03AUG10-11/13



上面図

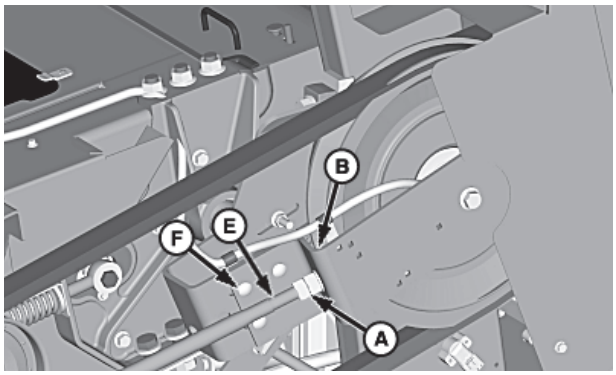
注記：上部カウンタシャフトシーブ (C) の整列を確認します。シーブがフィーダーハウスサイドシートに対して平行に回転していることを確認します。カウンタシャフトシャフトシーブの平行配列は丸頭ボルト (F) を緩めて、ボルト (E) のナット (A) を使用して調整する必要があります。

ナット (A) を使用し、ボルト (E) を回して外側ストラップ (B) を前後に動かして、シーブ (C) をフィーダーハウスサイドシート (D) に対して平行に整列させます。

丸頭ボルト (F) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

カウンタシャフトストラップの丸頭ボルトトルク ..... 54 N•m (40 lb-ft)

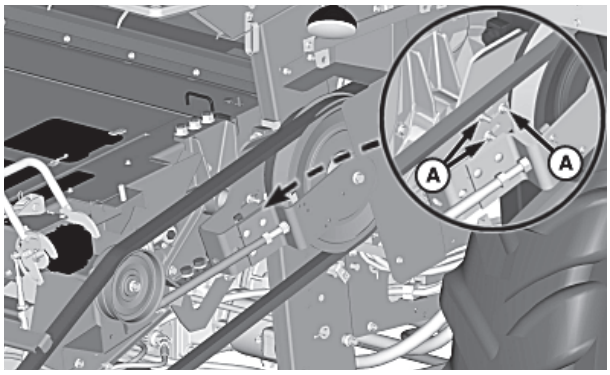


A：ナット (2 個使用)
B：外側ストラップ
C：シーブ (2 個使用)
D：サイドシート
E：ボルト
F：丸頭ボルト (3 本使用)

OUO6075,0000668 -40-03AUG10-12/13

前の手順で締め付けたナット (A) を緩めて、「フィーダーハウスバリアブルスピードベルト：調整」を参照してシーブ隙間を設定します。

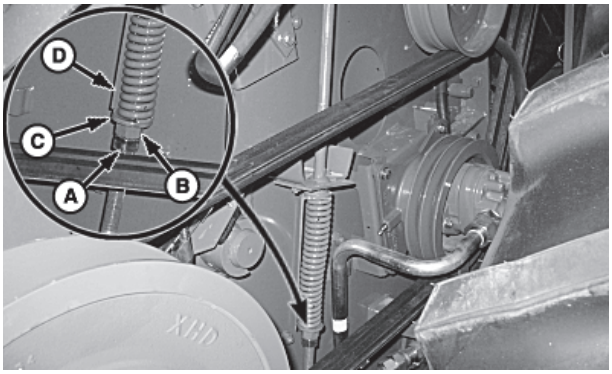
A：ナット (3 個使用)



OUO6075,0000668 -40-03AUG10-13/13

ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (バリアブルスピードフィーダーハウス)：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。



ロックナット (A) を緩めます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ロックナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ

OUO6075,0000669 -40-02FEB10-1/1

フィーダーハウス固定速度ドライブベルト：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

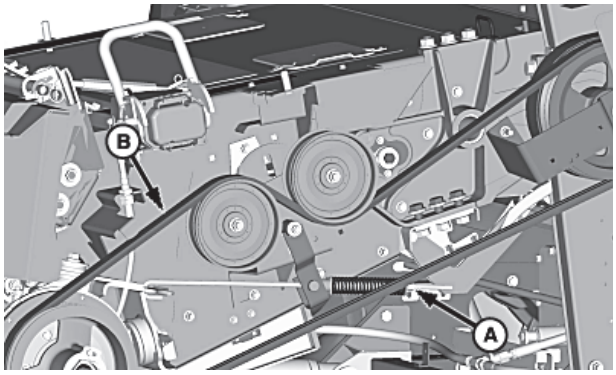
安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

シールド (A) を取り外します。

A：シールド

OUO6075,000066A -40-02FEB10-1/2

ナット (A) を緩めて、ドライブベルト (B) の張力を解放します。



シーブからドライブベルトを取り外します

交換用ドライブベルトを取り付けて、ナットを締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

ブラケットを所定の位置に旋回させてボルトとナットで固定します。

前の手順で取り外したフィーダーハウスシールドを取り付けます。

A：ナット
B：ドライブベルト

OUO6075,000066A -40-02FEB10-2/2

フィーダーハウス固定速度ドライブベルト：調整

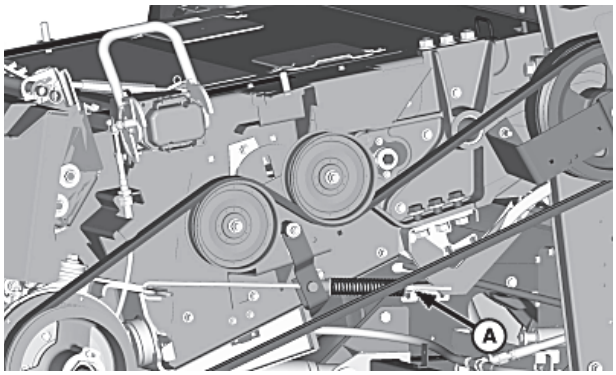
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

ナット (A) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

前の手順で取り外したフィーダーハウスシールドを取り付けます。

A：ナット



OUO6075,000066B -40-02FEB10-1/1

ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (固定速度フィーダーハウス)：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

シールド (A) を取り外します。

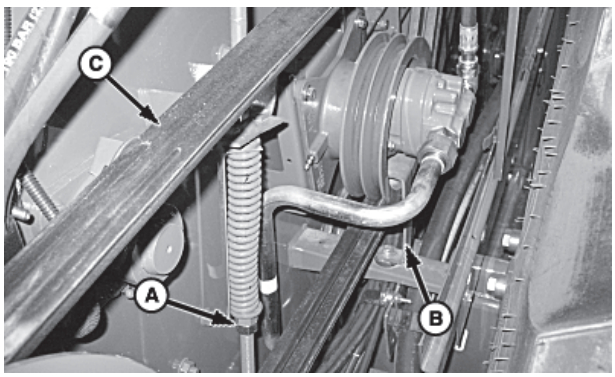
A：シールド

OUO6075,000066C -40-02FEB10-1/8

ナット (A) を緩めて、ドライブベルトの張力を解放します。

ドライブベルト (C) を取り外せるようにボルトとナットを取り外してリールポンプブレース (B) を邪魔にならない位置に動かします。

A：ナット
B：ブレース
C：ドライブベルト

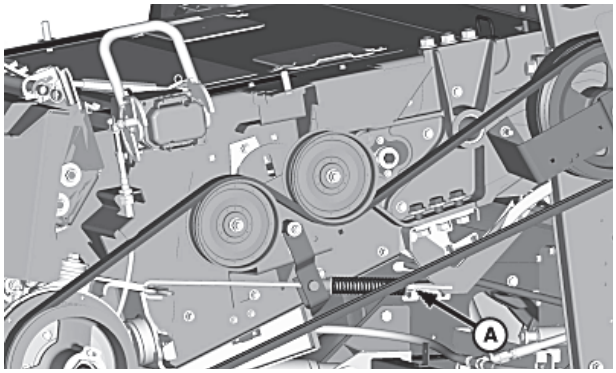


次のページへ

OUO6075,000066C -40-02FEB10-2/8

ナット (A) を緩めて、ドライブベルトの張力を解放します。

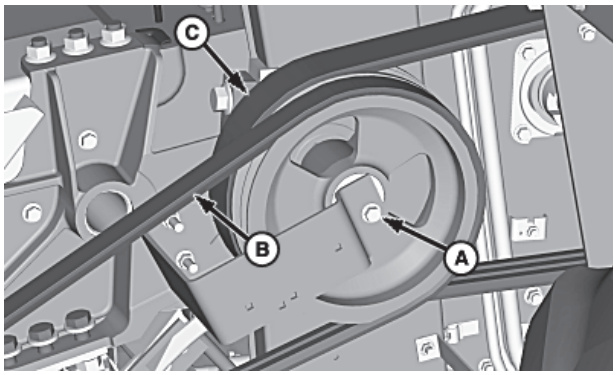
A : ナット



OUO6075,000066C -40-02FEB10-3/8

ボルト (A) 、固定速度ドライブベルト (B) 、ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (C) を取り外します。

A : ボルト
B : 固定速度ドライブベルト
C : ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト



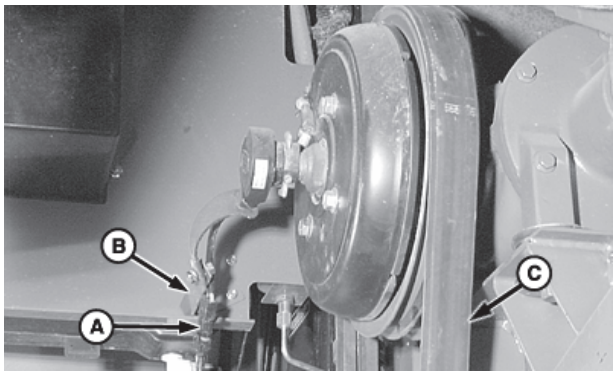
OUO6075,000066C -40-02FEB10-4/8

コネクタ (A) の接続を外し、ブラケット (B) からストラップを取り外します。

ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (C) を取り外して廃棄します。

交換用ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルトを取り付けてストラップをブラケットに接続し、電気コネクタを接続します。

A : コネクタ
B : ブラケット
C : ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト



次のページへ

OUO6075,000066C -40-02FEB10-5/8

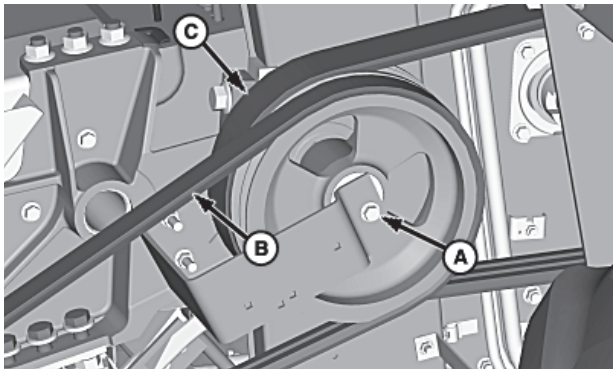
交換用ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (C) と固定速度ドライブベルト (B) を取り付けます。

ボルト (A) を取り付けて規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト
トルク ..... 185 N•m
(136 lb-ft)

A：ボルト
B：固定速度ドライブベルト
C：ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト



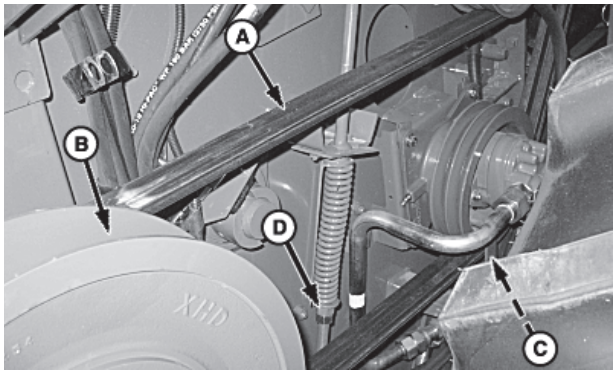
OUO6075,000066C -40-02FEB10-6/8

リールポンプとリアシーブ (B) の周囲にドライブベルト (A) を取り付けます。

前の手順で取り外したリールポンプブレース (C) をボルトとナットとともに取り付けます。

ナット (D) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置し、ドライブベルトを調整します。

A：ドライブベルト
B：シーブ
C：ブレース
D：ナット (2 個使用)

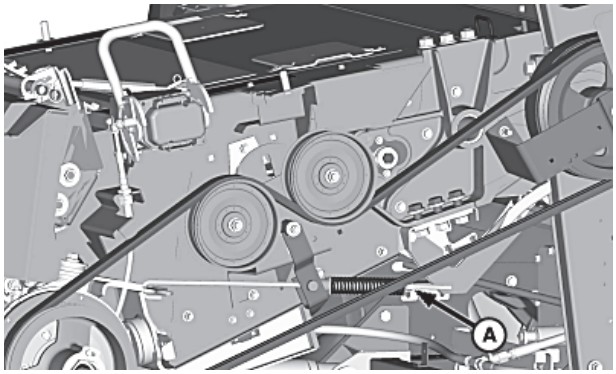


OUO6075,000066C -40-02FEB10-7/8

ナット (A) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置し、ドライブベルトの張力を適切に設定します。

左フィーダーハウスシールドを取り付けます。

A：ナット



OUO6075,000066C -40-02FEB10-8/8

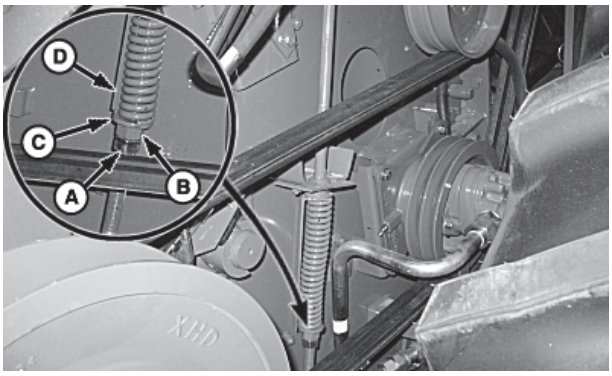
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (固定速度フィーダーハウス)：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ロックナット (A) を緩めます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ロックナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ



OUO6075,000066D -40-02FEB10-1/1

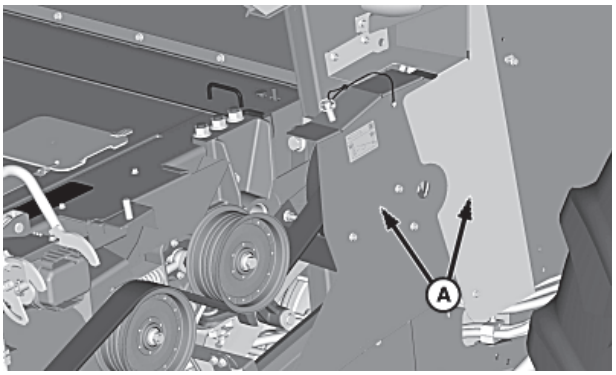
CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

シールド (A) を取り外します。

A：シールド



OUO6075,0000653 -40-02FEB10-1/2

ナット (A) を緩めてドライブベルトの張力を解放し、アイドラナット (B) を緩めます。

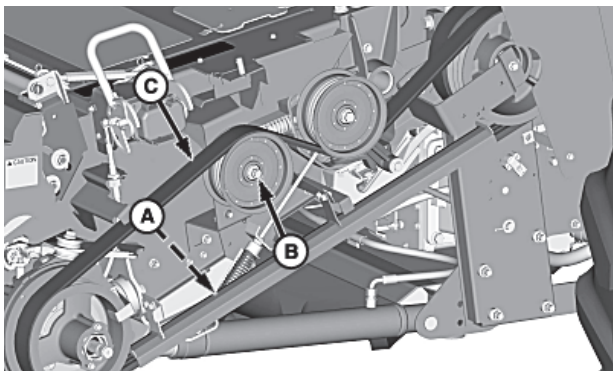
ドライブベルト (C) をシーブから取り外します。

交換ドライブベルトを取り付けて、アイドラをスロットの上から 3/4 の位置まで動かしてアイドラナットを締め付けます。

ナットを締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

前の手順で取り外したフィーダーハウスシールドを取り付けます。

A：ナット
B：アイドラナット
C：ドライブベルト



OUO6075,0000653 -40-02FEB10-2/2

CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト：調整

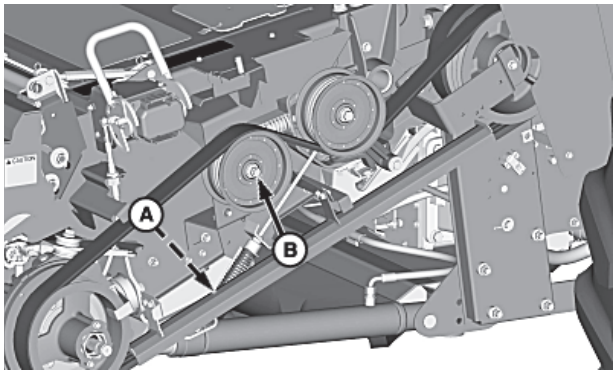
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

ナット (A) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

注記：ゲージが張力調整範囲の端部に達した場合は、アイドラナット (B) を緩めてアイドラをスロットの高い位置に動かします。ナットを締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

前の手順で取り外したフィーダーハウスシールドを取り付けます。



A：ナット　　**B：アイドラナット**

OUO6075,0000654 -40-02FEB10-1/1

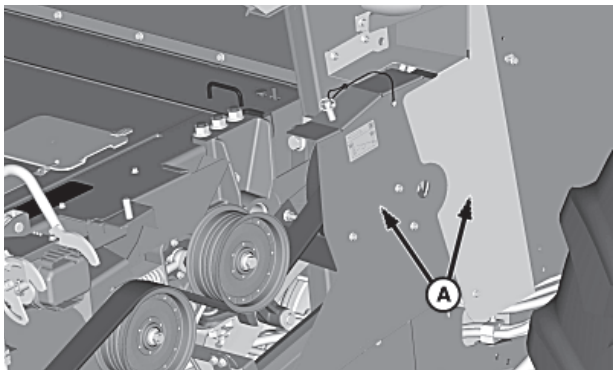
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス)：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

シールド (A) を取り外します。

A：シールド

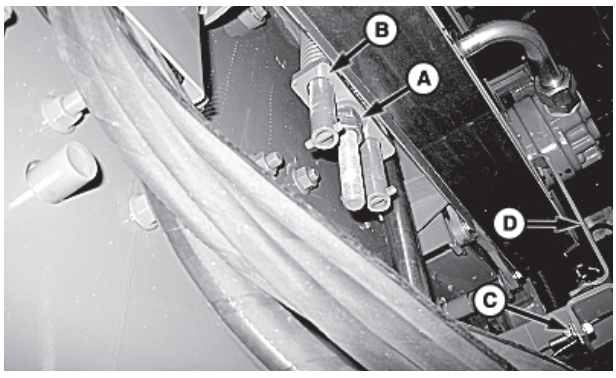


OUO6075,0000655 -40-02FEB10-1/6

スプリングテンショナ (B) のナット (A) を緩めて、ドライブベルトの張力を解放します。

ボルトとナット (C) を取り外してリールポンプブレース (D) を邪魔にならない位置に動かします。

A：ナット
B：スプリングテンショナ
C：ボルトとナット
D：ブレース

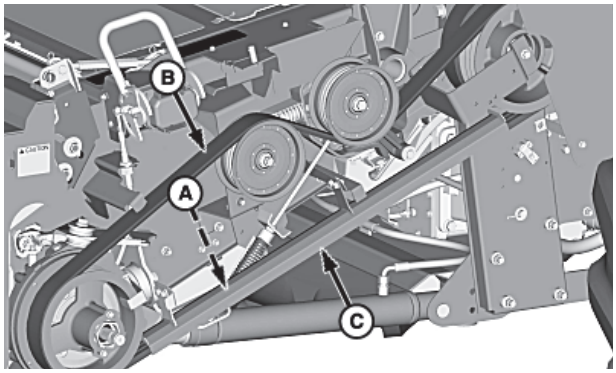


次のページへ

OUO6075,0000655 -40-02FEB10-2/6

ナット (A) を緩めてドライブベルト (B) の張力を解放し、シールド (C) を取り外します。

A : ナット
B : ドライブベルト
C : シールド



OUO6075,0000655 -40-02FEB10-3/6

センサーブラケット (A) とボルト (B) を取り外します。

フィーダーハウスドライブベルト (C) をシーブから取り外して、ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (D) を取り外します。

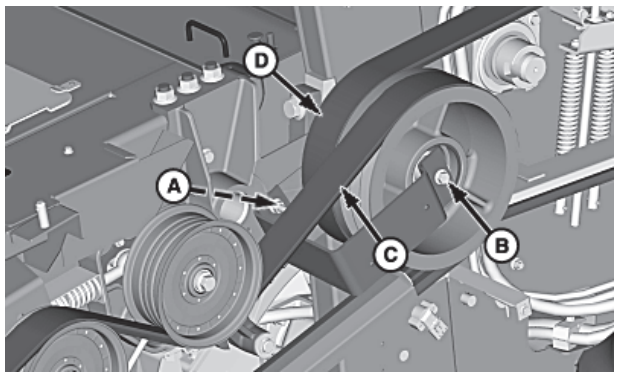
交換用ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルトとフィーダーハウスドライブベルトを取り付けます。

センサーブラケットを取り付けて、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト トルク	185 N•m (136 lb-ft)

A : センサーブラケット
B : ボルト
C : フィーダーハウスドライブベルト
D : ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト

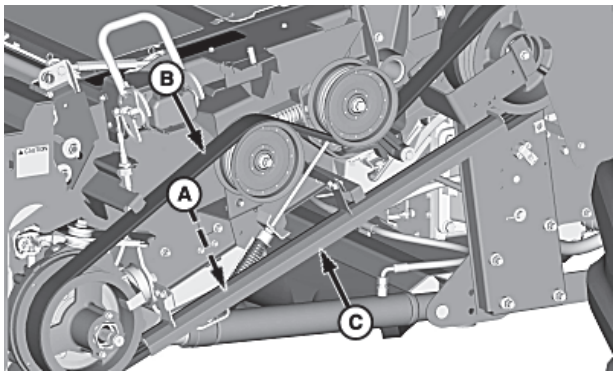


OUO6075,0000655 -40-02FEB10-4/6

注記：ベルトの擦れを防止するためにドライブベルトの両側とベルトシールドで均一な隙間が必要です。

前の手順で取り外したシールド (C) を取り付けて、ナット (A) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置し、ドライブベルト (B) の張力を適切に設定します。

A : ナット
B : ドライブベルト
C : シールド



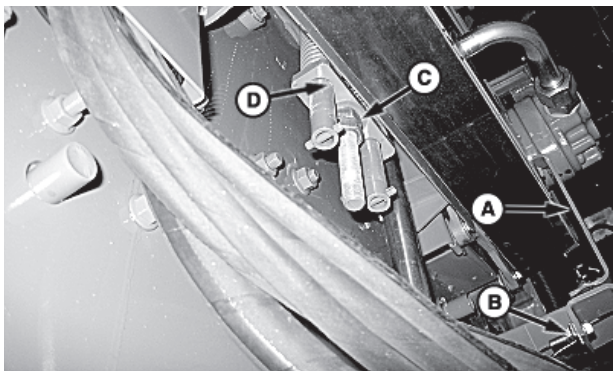
次のページへ

OUO6075,0000655 -40-02FEB10-5/6

前の手順で取り外したリールポンプブレース (A) を取り付けて、ボルトとナット (B) で固定します。

ゲージを通して穴 (D) が見えるようになるまでナット (C) を締め付けます。

A : ブレース
B : ボルトとナット
C : ナット
D : 穴



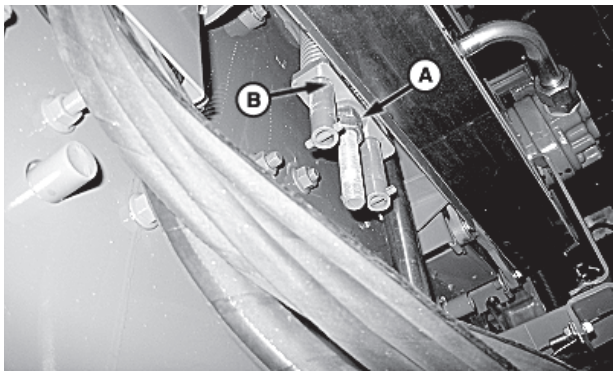
OUO6075,0000655 -40-02FEB10-6/6

ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) : 調整

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ゲージを通して穴 (B) が見えるようになるまでナット (A) を締め付けます。

A : ナット
B : 穴



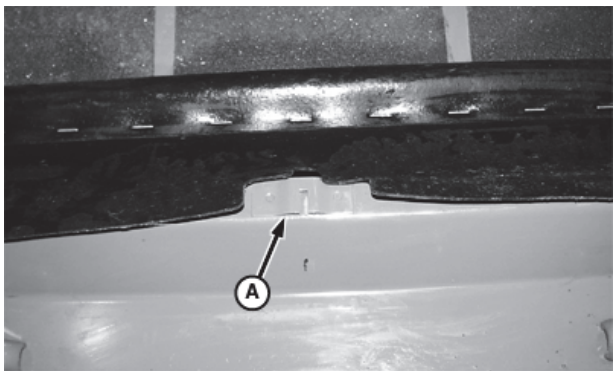
OUO6075,0000656 -40-02FEB10-1/1

手動傾斜インジケーター (横方向傾斜システム)

ヘッダーが機械シャーシに対して水平であるかをすばやく目視で確認できるように、横方向傾斜システムには手動傾斜インジケーターが装備されています。

ノッチ (A) がゴムシールの中央にある場合、ヘッダーは機械ボディに対しておおよそ水平です。インジケーターは運転中に基準としても役立ちます。

A : ノッチ



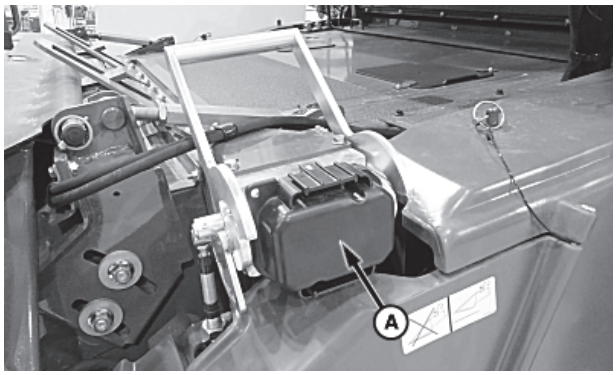
OUO6075,000066E -40-02FEB10-1/1

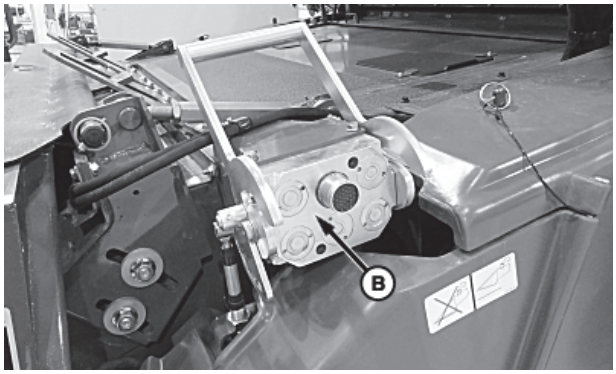
マルチカプラーとシングルポイントラッチの取り付け

重要：ヘッダーが地面にあるときにラッチピンを作動させないでください。ヘッダーが地面にあるときにマルチカプラーを作動させる必要がある場合は、ハンドルからケーブルを外してください。

カバー (A) を取り外して、マルチカプラー面 (B) を清掃します。

A：カバー
B：マルチカプラー面

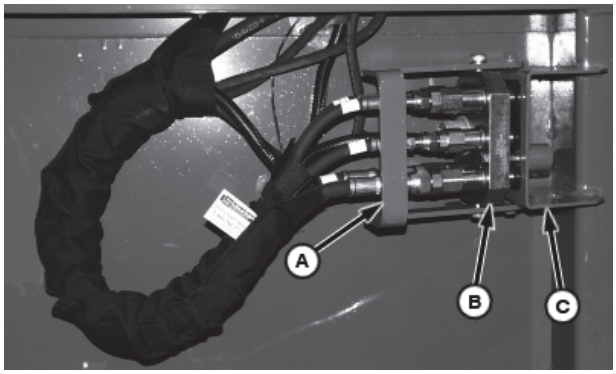




SS43267,0000379 -40-05FEB14-1/6

ハンドル (A) を開き、保管用ブラケット (C) からマルチかウラー (B) を取り外します。

A：ハンドル
B：マルチカプラー
C：保管用ブラケット



次のページへ

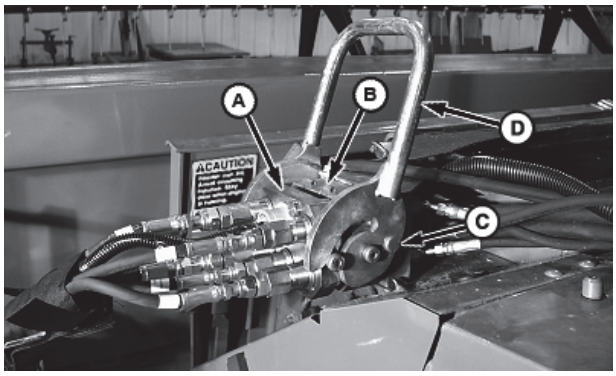
SS43267,0000379 -40-05FEB14-2/6

注記：ラッチケーブルの損傷を防止するために、ハンドルにせん断ねじが取り付けられています。ヘッダーが地面にあるときにラッチピンを作動させると、ねじがせん断が発生します。(このセクションで後述の「せん断ねじの位置」を参照してください)。

マルチカプラー (A) を油圧取出し口 (B) に接続します。

ボタンロック (C) を押し続けてハンドル (D) を閉じます。

A：マルチカプラー
B：ソケット
C：ボタンロック
D：ハンドル

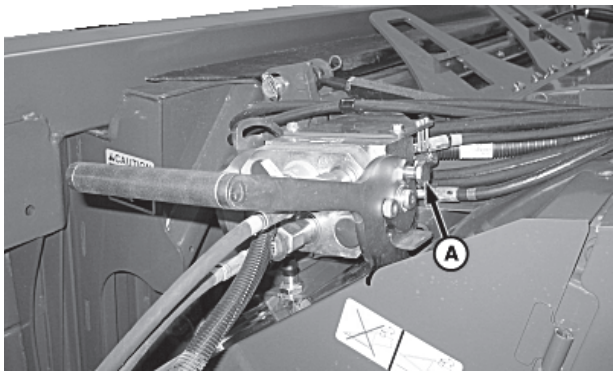


SS43267,0000379 -40-05FEB14-3/6

重要：ボタンロックがかみ合うようにマルチカプラーが完全に閉じていない場合、収穫または輸送中にヘッダーが落下する可能性があります。

マルチカプラーのハンドルを完全に閉じると、ボタンロック (A)) が自動的にカプラーをロックします。

A：ボタンロック



次のページへ

SS43267,0000379 -40-05FEB14-4/6

注記：ヘッダーを取り付けた状態で、ラッチピンはラッチプレート穴を自由に移動する必要があります。ラッチピンがラッチプレートを通って伸長しない場合、ヘッダーのラッチプレートが正しく調整されていることを確認してください。

マルチカプラーを取り付けたときに、ラッチピン (A) はヘッダーのラッチプレートを自由に移動する必要があります。ラッチプレート (B) はブラケット (C) と接触する必要があります。プレートの上部 (E) とピンの間の隙間ではなく、プレートの底部とピンの間の隙間 (D) を少なく維持する必要があります。このためには、ラッチプレートを裏返す必要がある場合があります。

調整が必要な場合：ボルト (F) を取り外し、プレートを反転させて取り付けます。

ボルトを M10 または M12 の規定のトルクで締め付けます。

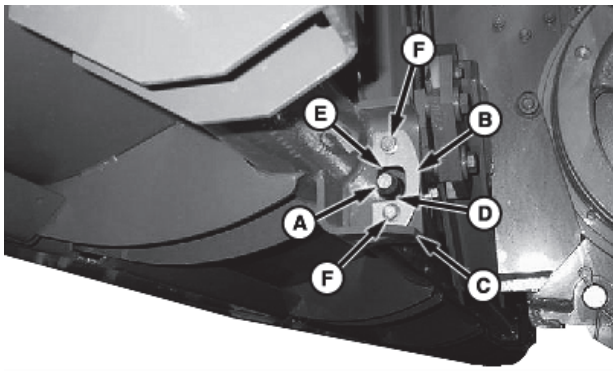
仕様

内側ラッチプレート (M10 ボルト)
トルク ..... 80 N•m (60 lb-ft)

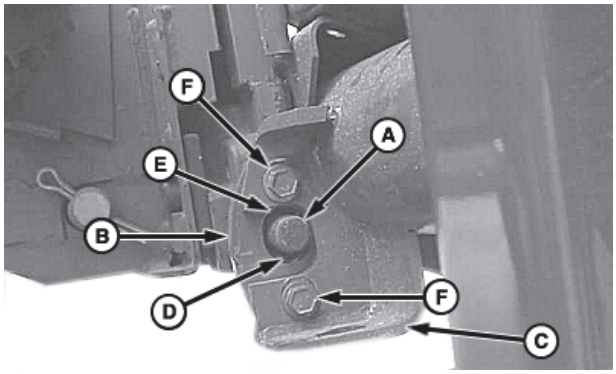
仕様

外側ラッチプレート (M12 ボルト)
トルク ..... 130 N•m (96 lb-ft)

A：ラッチピン
B：ラッチプレート
C：底部ブラケット
D：隙間
E：プレートの上部
F：ボルト



内側ラッチプレート (M10 ボルト)



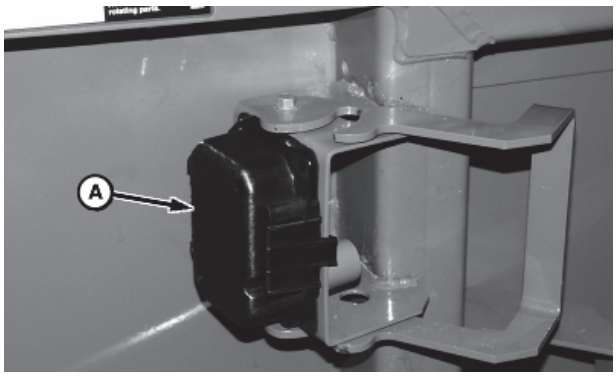
外側ラッチプレート (M12 ボルト)

SS43267,0000379 -40-05FEB14-5/6

マルチカプラーカバー (A) をプラットフォームの保管位置に取り付けます。

保管位置から伸縮シャフトを取り外してフィーダーハウスバックシャフトに取り付けます。クイックアタッチカラーが完全にロックしていることを確認してください。

A：カバー



SS43267,0000379 -40-05FEB14-6/6

フィーダーハウスへのヘッダーの取り付け／取り外し

警戒：ドライブシャフトを機械の残したままにしないでください。フィーダーハウスが誤って接続された場合、けがや機械の損傷が発生する可能性があります。

重要：認定済みのすべてのヘッダーでは左右で U ジョイント付きのドライブシャフトを使用します

注記：取り付けと取り外しの手順の詳細については、ヘッダーの取扱説明書を参照してください。

左右のクイックディスコネクトカプラー (A) でヘッダーから伸縮ドライブシャフトを外します。

伸縮ドライブシャフトを保管位置 (B) に配置します。

重要：ヘッダーが地面にあるときにラッチピンを作動させないでください。ヘッダーが地面にあるときにマルチカプラーを作動させる必要がある場合は、ハンドルからケーブルを外してください。

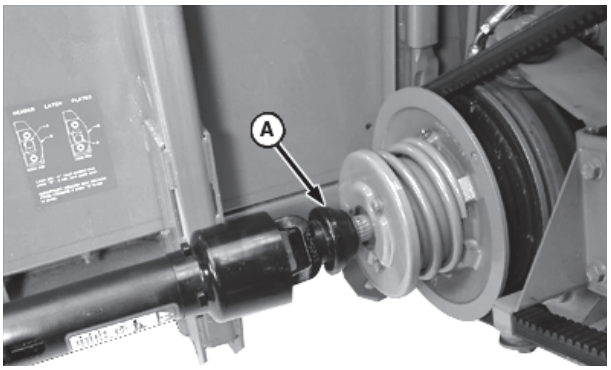
注記：ハンドルを停止位置まで上げたときにラッチピンは完全に格納される必要があります。ラッチピンが完全に格納されない場合は、ケーブルの取り付けを調整してください (「シングルポイントラッチ：調整」を参照してください)。

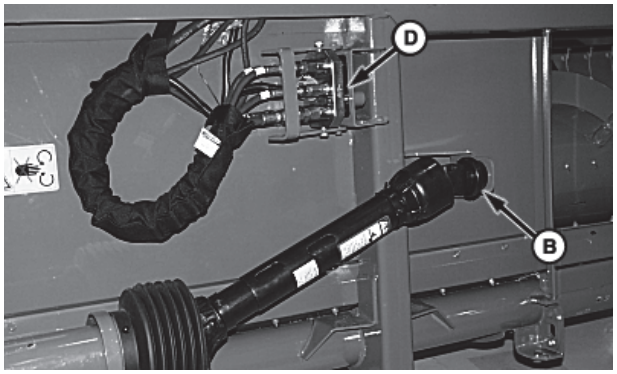
ハンドルを上げてマルチカプラーを外しているときに、ボタンロック (C) を引っ張ってロックを解放します。

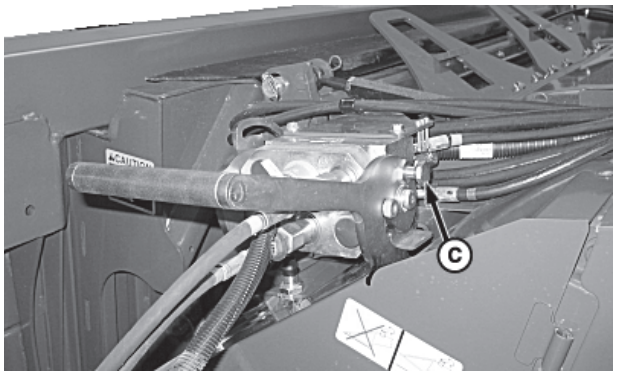
マルチカプラーカバーをヘッダー保管位置から外して、カバーを機械のマルチカプラーに取り付けます。

マルチカプラーを保管位置 (D) に取り付けてロックします。

A：クイックディスコネクトカプラー
B：保管位置
C：ボタンロック
D：マルチカプラーの保管位置







OUO6075,0000670 -40-02FEB10-1/1

シングルポイントラッチ：調整

注記：横方向傾斜フィーダーハウス：調整はマルチカプラーハンドルのケーブルのみで行う必要があります。

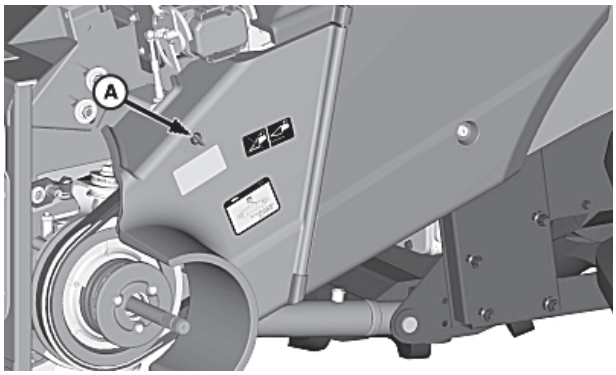
左フィーダーハウスシールド (A) を開きます。

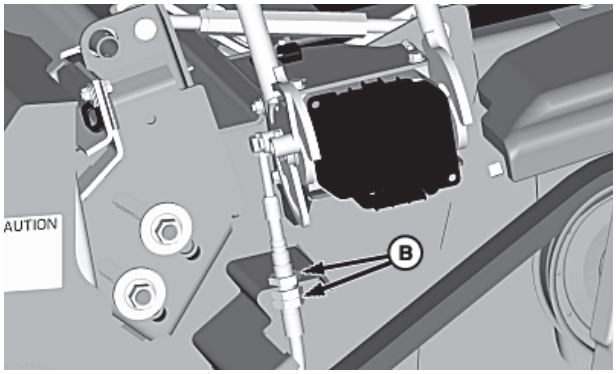
ケーブルロックナット (B) を緩めます。

重要：ハンドルがマルチカプラーのストップに接触していることを確認してください。ハンドルがストップにセッションしていることを確認しなかった場合、ピン寸法が不適切になり、収穫または輸送中にヘッダーが落下する場合があります。

マルチカプラーハンドルをストップ位置にリセットします。

A：シールド
B：ロックナット





SS43267,000037C -40-05FEB14-1/4

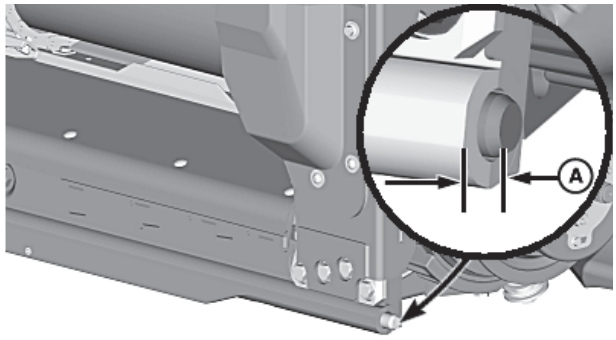
注記：ブラケットのケーブルを「上に」動かすと、ピンはさらに内側に引かれます。

ブラケットのケーブルを「下に」動かすと、ピンはさらに外側に押されます。

必要に応じてブラケットのケーブルを調整してピンを正しく調整します。

- 左ラッチピンは +/- 2 mm (0.08 in) の範囲で面一である必要があります (A)。

A：寸法



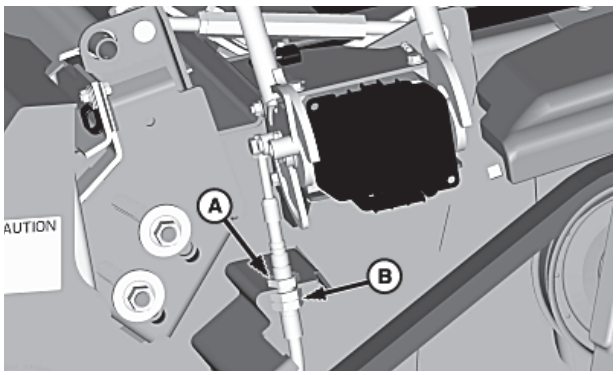
左ラッチピン

次のページへ

SS43267,000037C -40-05FEB14-2/4

下部ロックナット (B) を保持しながら上部ロックナット (A) を締め付けます。

A：上部ロックナット
B：下部ロックナット



SS43267,000037C -40-05FEB14-3/4

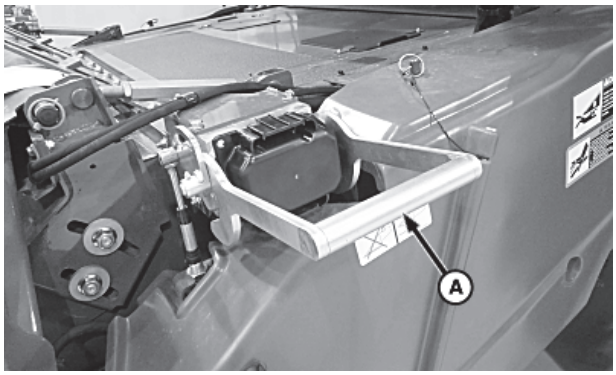
重要：ピンが指定された寸法に設定されていることを確認しなかった場合、収穫または輸送中にヘッダーが落下する可能性があります。

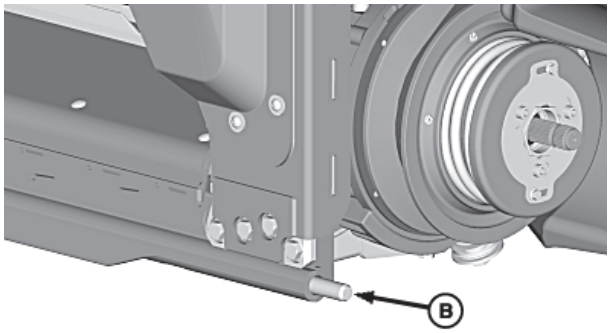
マルチカプラーハンドル (A) を完全に下ろしてピン (B) (両側) が仕様のとおりに設定されていることを確認します。そうでない場合は、再調整して仕様の値に設定します。

仕様

フィーダーハウスピン
距離 ..... 45～52 mm
(1-3/4 in～2 in)

A：マルチカプラーハンドル
B：ピン





SS43267,000037C -40-05FEB14-4/4

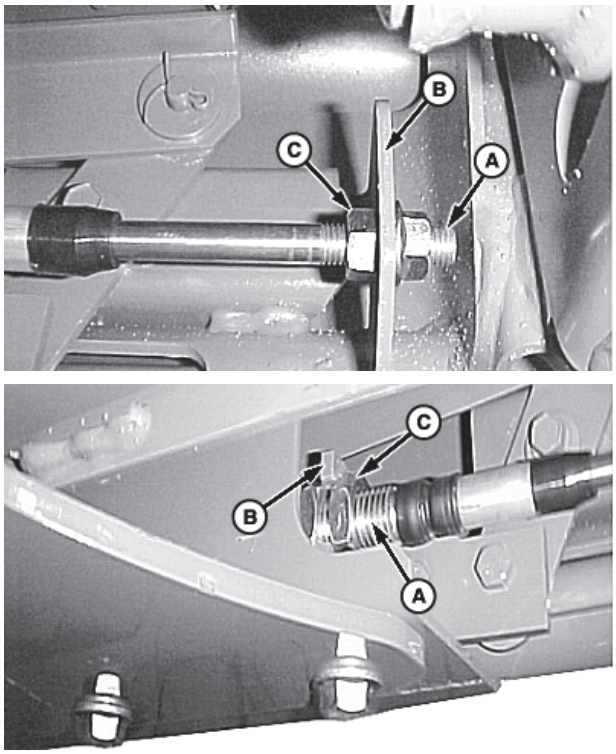
平地フィーダーハウス下部ケーブル端：調整

ねじ山 (A) の中心がブラケット (B) から外れている場合は、ラッチケーブルの下端を調整する必要があります。

ロックナット (C) を緩めて、ねじ山の中心がブラケットの位置になるようにケーブルを調整します。

ロックナットを締め付けます。

A：ねじ山
B：ブラケット
C：ロックナット



OUO6075,0000672 -40-02FEB10-1/1

平地フィーダーハウス：シム調整

注記：正確な水平調整を行うには、タイヤの空気圧を均一にする必要があります。

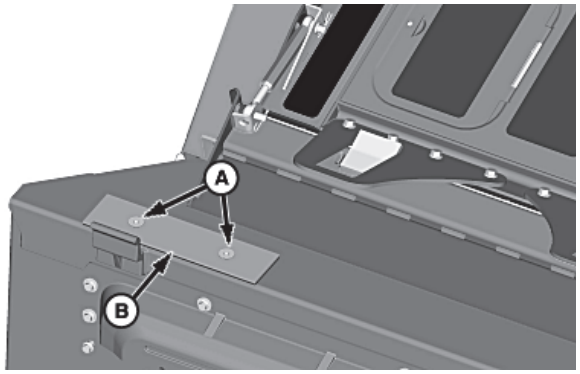
ヘッダーは、フィーダーハウスに取り付けるときに水平である必要があります。

ヘッダーを中程度の高さまで上げます。

ヘッダーの前の約 5 m (15 ft) の位置に立ちます。

ヘッダーの底部を機械のフロント車軸と比較します。

ヘッダーが水平ではない場合は、ボルト (A) を取り外してフィーダーハウスの上部ビームの左右からシム (B) を取り外してヘッダーを水平にします。



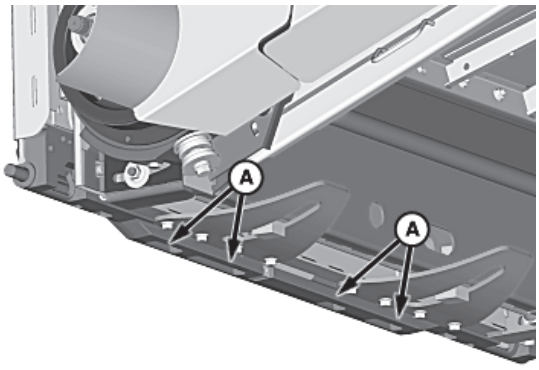
A：ボルト　　**B：シム**

OUO6075,0000673 -40-02FEB10-1/1

フィーダーハウスラッチピン (清掃)

横方向傾斜フィーダーハウスでのラッチピンの動きが固い場合は、作物のごみを位置 (A) から清掃してください。

A : 清掃位置

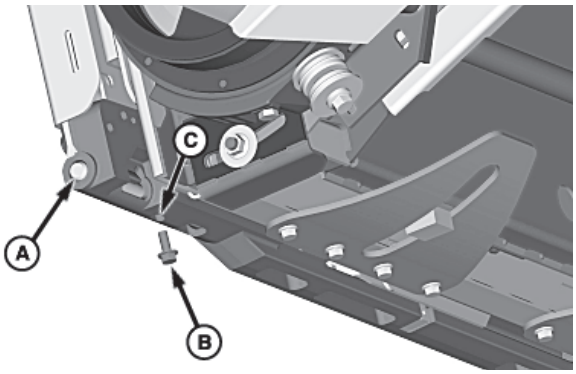


OUO6075,0000674 -40-02FEB10-1/1

フィーダーハウスの手動ラッチ解除

せん断ねじが破損した場合にヘッダーを取り外すには、ラッチプレートを通してラッチピン (A) を押し、穴 (C) に M12 ボルト (B) を取り付けます。反対側で繰り返します。

A : ラッチピン
B : ボルト
C : 穴



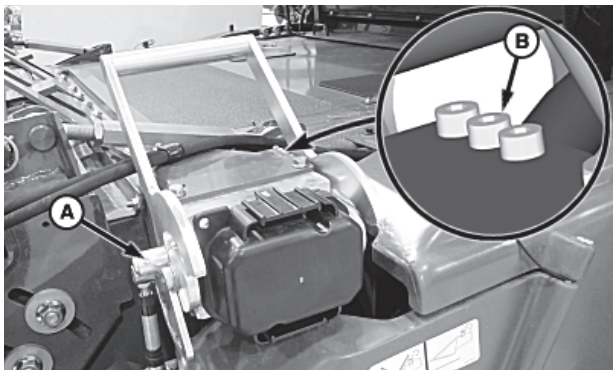
OUO6075,0000675 -40-02FEB10-1/1

せん断ねじの位置

注記 : 予備のせん断ねじ 3 本を付属しています。

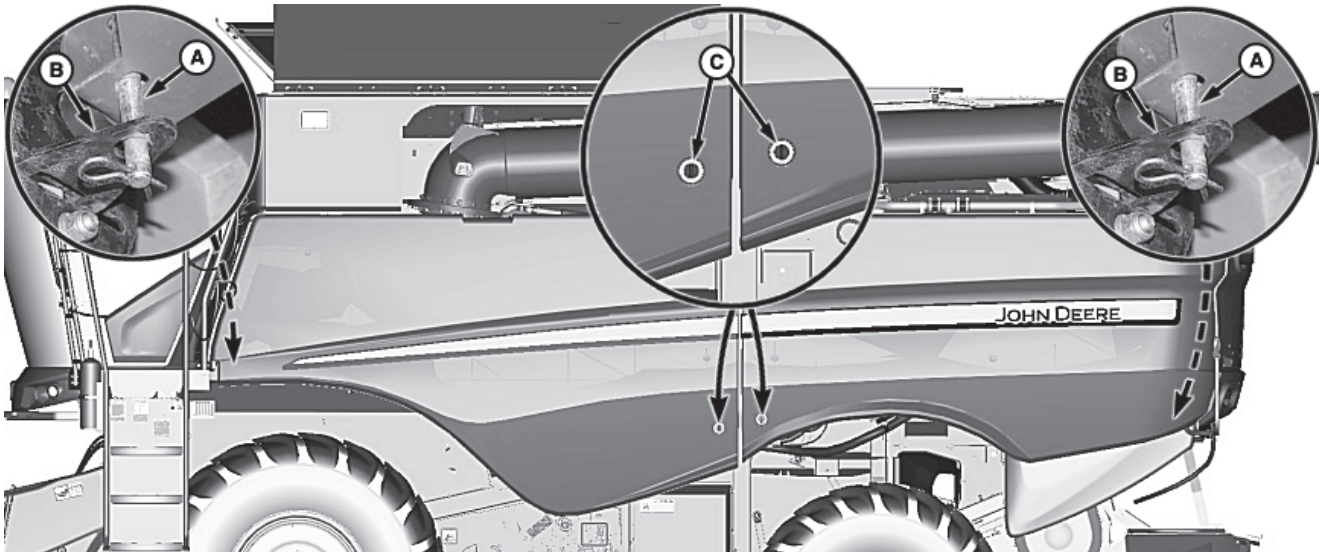
せん断ねじ (A) が破損した場合は、取り外して予備のせん断ねじ (B) に交換します。

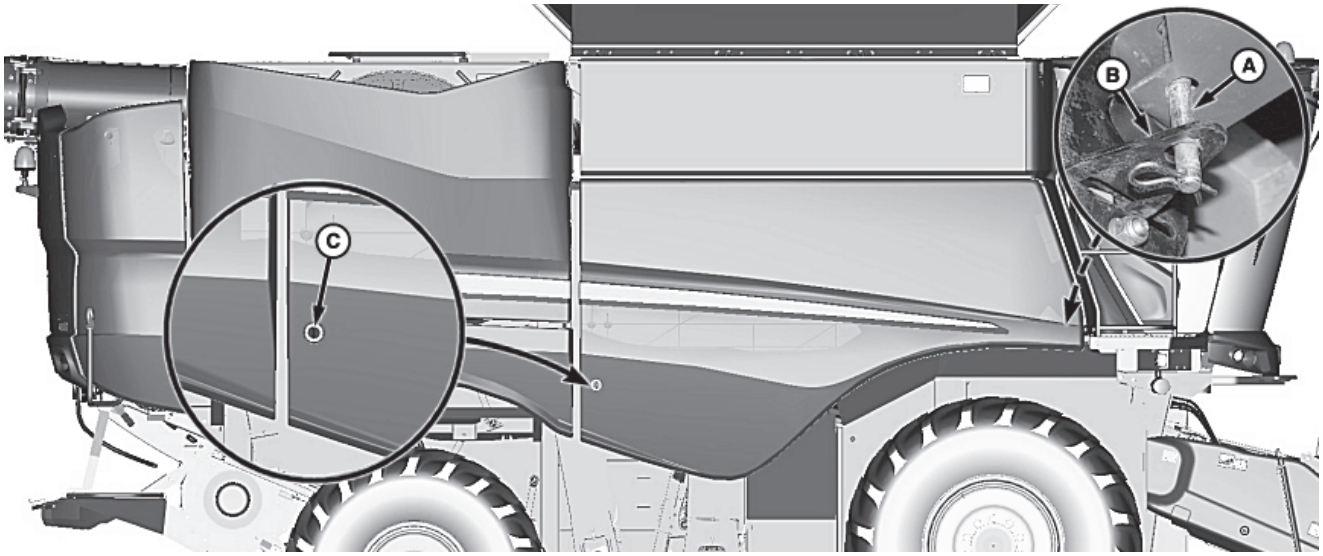
A : せん断ねじ
B : 予備のせん断ねじ



SS43267,000037A -40-05FEB14-1/1

ガルウイングドア





A：ピン　　B：ロックプレート　　C：ラッチ

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：ピンとラッチレバーの操作は機械の両方で同じです。

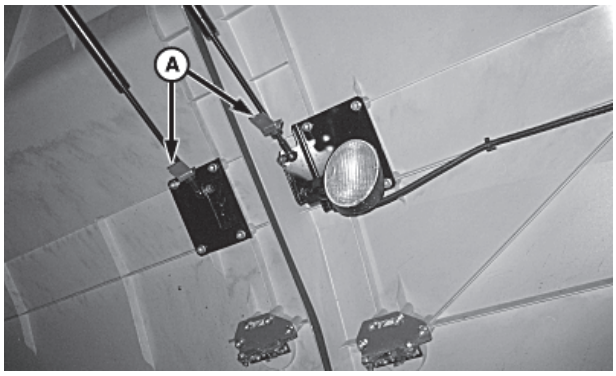
1. ロックプレート (B) からスプリングクリップとピン (A) を取り外します。スプリングクリップをピンに取り付けます。
2. ラッチ (C) を回してガルウイングドアを引っ張って上げます。

次のページへ

重要：シリンダ (A) を取手として使用しないでください。また、これらのシリンダには何も吊り下げないでください。これにより、シリンダロッドが曲がったり、破損したりすることがあります。

寒冷時や強風時に、ガルウイングドアがクリープ現象を起こして下がることがあります。ロッドにストップを配置して、ガルウイングドアを所定の位置に保持してください。

A：シリンダ



左シリンダストップ

OUO6075,0001329 -40-16NOV12-2/2

左サイドシールド

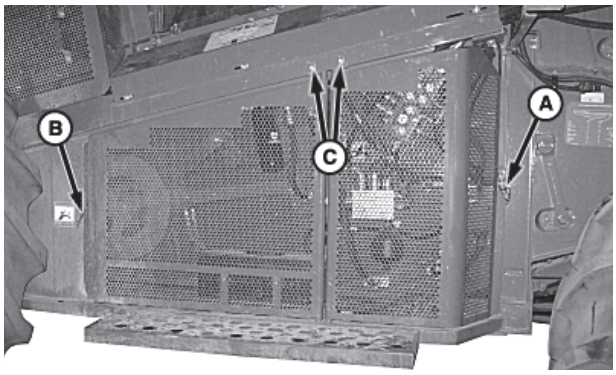
S660、S670

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

サイドシールド：クイックロックピン (A、B) を取り外してシールドを開きます。

ボルト (C) を取り外し、シールドを持ち上げて取り外します。

A：クイックロックピン
B：クイックロックピン
C：ボルト



OUO6075,00015A0 -40-25JUN13-1/5

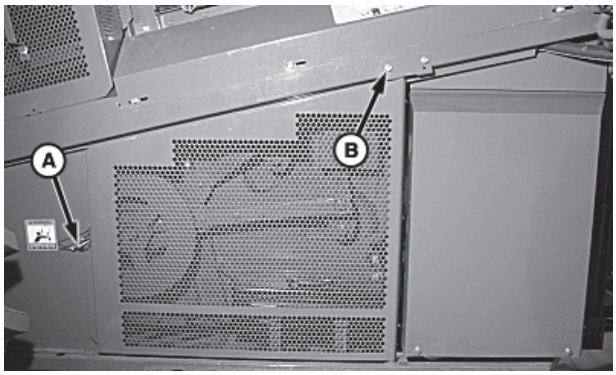
S680、S685、S690

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

サイドシールド：クイックロックピン (A) を取り外してシールドを開きます。

ボルト (B) を取り外し、シールドを持ち上げて取り外します。

A：クイックロックピン
B：ボルト

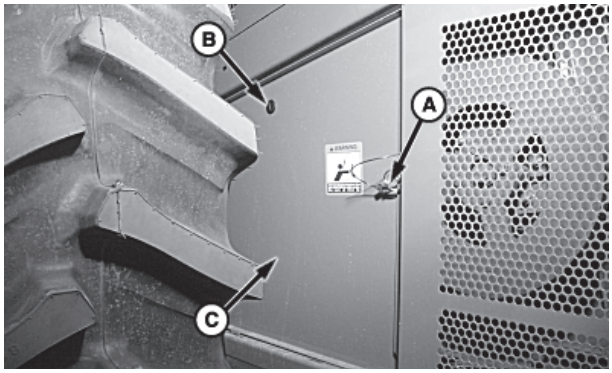


次のページへ

OUO6075,00015A0 -40-25JUN13-2/5

ファンシールド：クイックロックピン (A) を取り外し、ラッチ (B) を回してシールド (C) を取り外します。

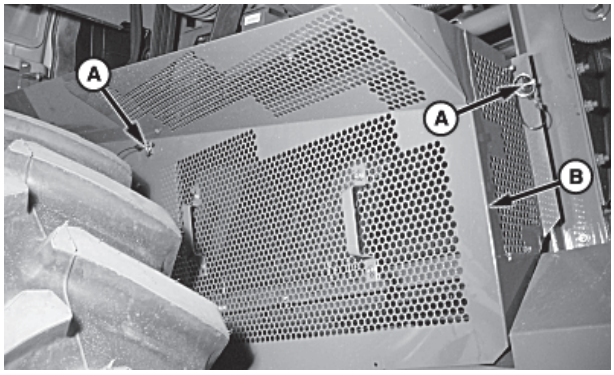
A：クイックロックピン
B：ラッチ
C：シールド



OUO6075,00015A0 -40-25JUN13-3/5

上部セパレータシールド：クイックロックピン (A) を取り外してシールド (B) を取り外します。

A：クイックロックピン
B：シールド



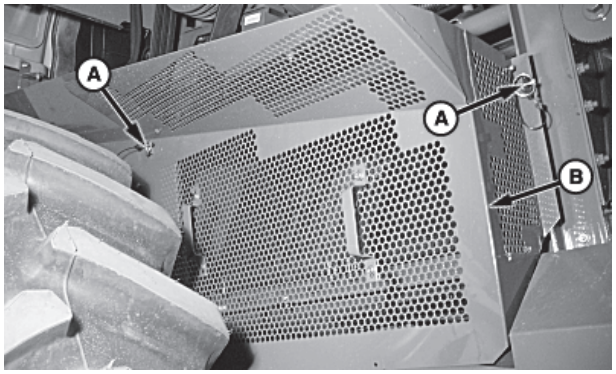
次のページへ

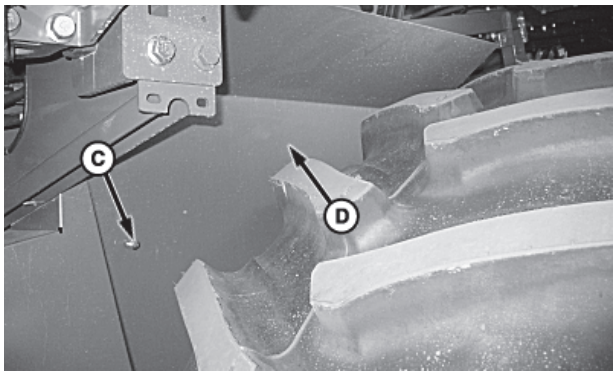
OUO6075,00015A0 -40-25JUN13-4/5

フロントセパレータシールド：クイックロックピン (A) を取り外してシールド (B) を取り外します。

ボルト (C) を取り外し、フロントセパレータシールド (D) を後方に押して取り外します。

A：クイックロックピン
B：シールド
C：ボルト
D：シールド





OUO6075,00015A0 -40-25JUN13-5/5

右サイドシールド

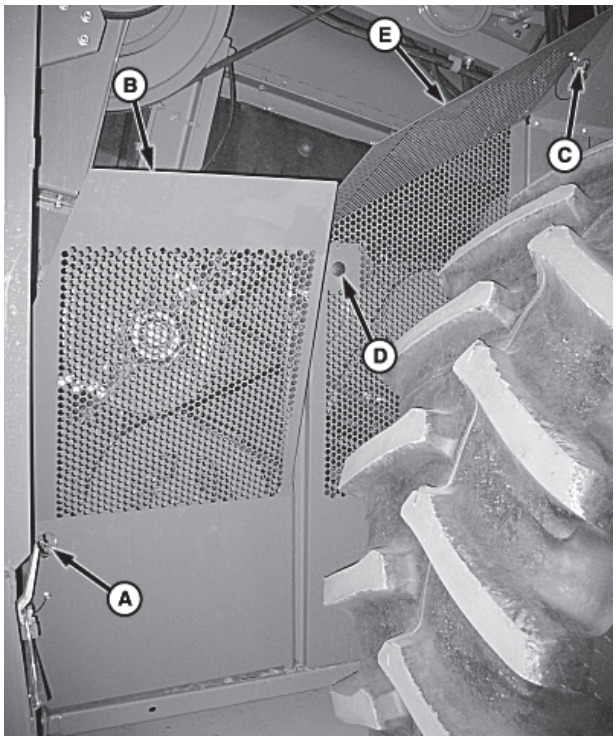
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

リアシールドとミドルファンシールド：クイックロックピン (A) を取り外してシールド (B) を開き、ベルトを整備します。

クイックロックピン (C) を取り外し、ラッチ (D) を回してロックを解除します。

リアシールド (B) とミドルファンシールド (E) を持ち上げて取り外します。

A：クイックロックピン
B：シールド
C：クイックロックピン
D：ラッチ
E：シールド



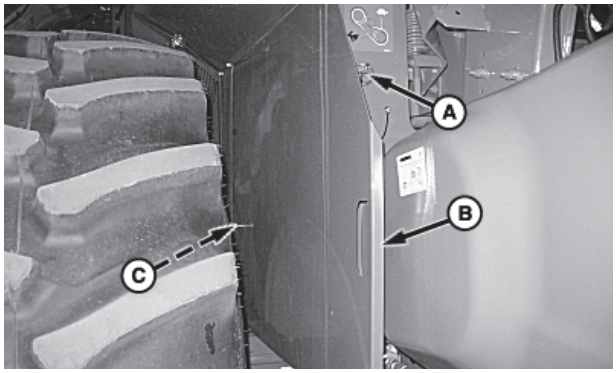
次のページへ

OUO6075,00007C7 -40-28SEP10-1/2

フロントセパレータシールド：クイックロックピン (A) を取り外してシールド (B) を前方に引きます。

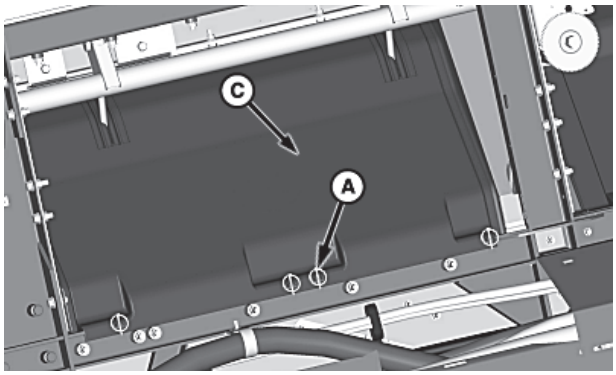
ボルト (C) を取り外してシールドを取り外します。

A：クイックロックピン
B：シールド
C：ボルト

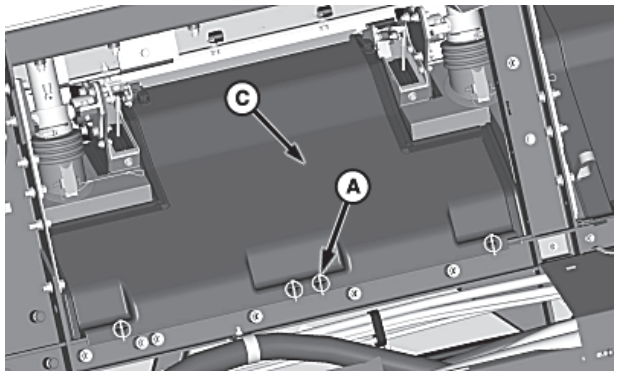


OUO6075,00007C7 -40-28SEP10-2/2

セパレータカバー



脱穀カバー (標準型コンケーブの調整)



脱穀カバー (アクティブコンケーブアイソレーション)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

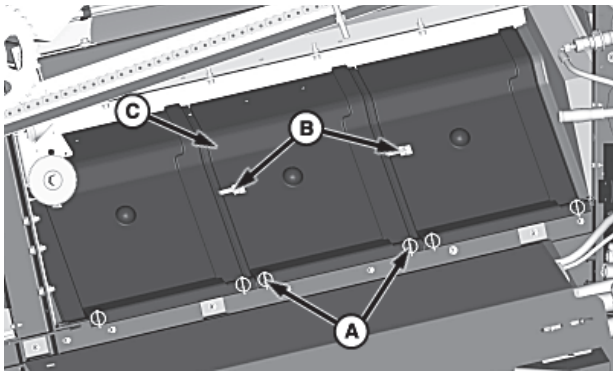
重要：穀粒ロスを防止するために、セパレータカバーがセパレータにぴったりと接触していることおよびセパレータの縁の下側にあることを確認してください。カバーは機械に向かって、左側から始めて右側に作業しながら取り付けます。

強い日射のときにカバーを横たえないでください。カバーが歪みます。

注記：機械の左側の 1 つのカバーと機械の右側の 2 つのカバーは脱穀セクションを密閉するために使用されます。機械の両側の 3 つのカバーは分離セクションの密閉に使用されます。

クイックロックピン (A) とスプリングストラップ (B) を使用してカバー (C) を固定します。

クイックロックピンを取り外してスプリングストラップを上げて、カバーを取り外します。



セパレータカバー

A：クイックロックピン
B：スプリングストラップ
C：カバー

OUO6075,00017FF -40-13MAY14-1/1

標準フィードアクセルレータ摩耗ストリップ：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：摩耗ストリップは反転させて、さらに使用することができます。

フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップはフィードアクセルレータを取り外さないで交換できます。フィードアクセルレータウイングと摩耗ストリップは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記：フィードアクセルレータを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、フィードアクセルレータの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

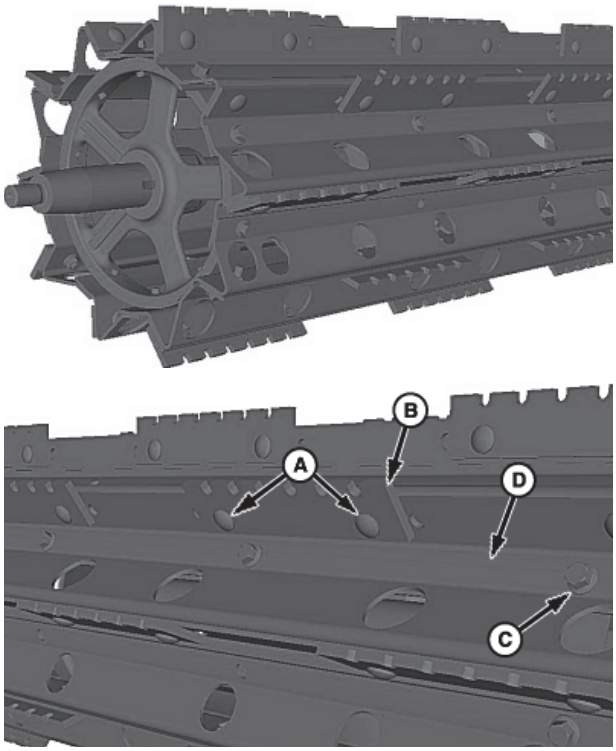
仕様

フィードアクセルレータの摩耗ストリップの丸頭ボルトトルク	70 N•m (52 lb-ft)

必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、フィードアクセルレータウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィードアクセルレータウイングのボルトトルク	70 N•m (52 lb-ft)



フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップ (標準)

A：丸頭ボルト
B：フィードアクセルレータ摩耗ストリップ
C：ボルト
D：フィードアクセルレータウイング

OUO6075,0001726 -40-14JAN14-1/1

難脱穀性作物用フィードアクセルレータの摩耗ストリップ：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップはフィードアクセルレータを取り外さないで交換できます。フィードアクセルレータウイングと摩耗ストリップは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記：フィードアクセルレータを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

フィードアクセルレータの摩耗ストリップを交換するときは、必ず金具を交換してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、フィードアクセルレータの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

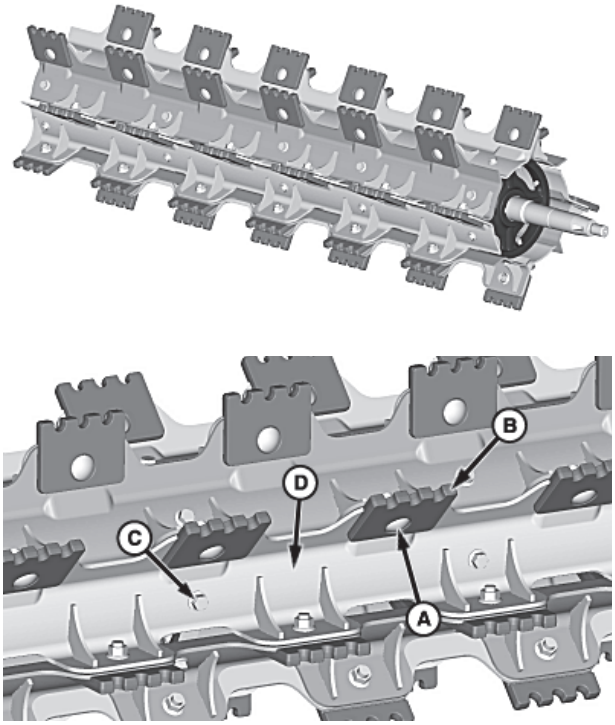
仕様

フィードアクセルレータの摩耗ストリップの丸頭ボルトトルク	130 N•m (96 lb-ft)

必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、フィードアクセルレータウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィードアクセルレータウイングのボルトトルク	70 N•m (52 lb-ft)



フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップ (難脱穀性作物)

A：丸頭ボルト
B：フィードアクセルレータ摩耗ストリップ
C：ボルト
D：フィードアクセルレータウイング

OUO6075,000171A -40-14JAN14-1/1

タインフィードアクセルレータの摩耗ストリップ：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップはフィードアクセルレータを取り外さないで交換できます。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、フィードアクセルレータの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィードアクセルレータの摩耗ストリップの丸頭ボルトトルク	73 N•m (54 lb-ft)

必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、ウイングアセンブリ (D) を交換します。

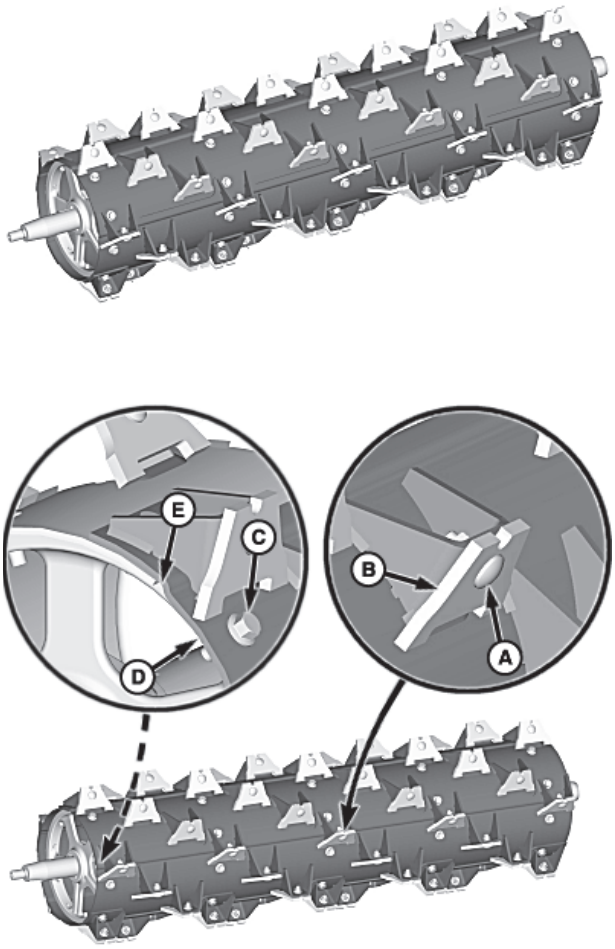
重要：フィードアクセルレータは静的にバランスが取れている必要があります。フィードアクセルレータのバランスが取れるまで必要に応じて座金を追加します。

位置 (E) で重ねて図のようにウイングアセンブリを取り付けます。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィードアクセルレータウイングアセンブリのボルトトルク	73 N•m (54 lb-ft)

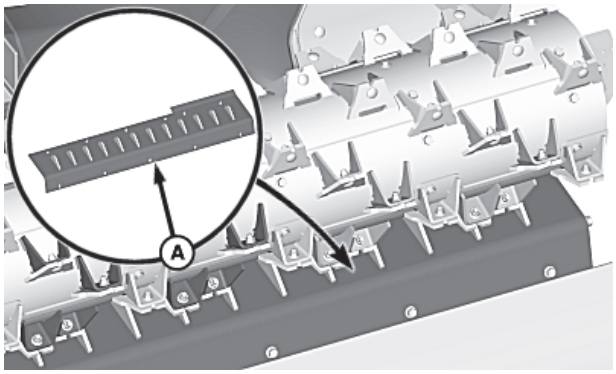
A：丸頭ボルト
B：フィードアクセルレータ摩耗ストリップ
C：ボルト
D：ウイングアセンブリ
E：オーバーラップの位置



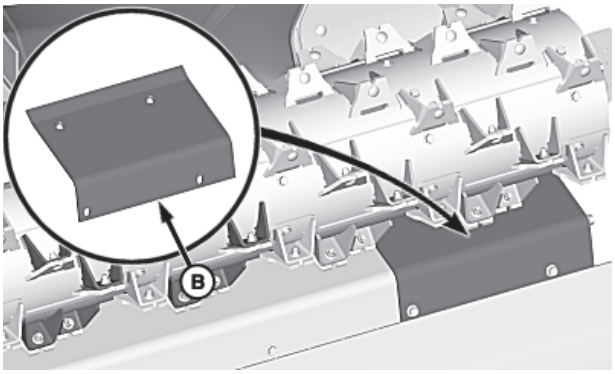
フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップ

OUO6075,0001729 -40-14JAN14-1/1

タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械)



A : コームフロア



B : スムースライナープレート

注記：機械は工場でコームフロアを取り付けて出荷されます。コームフロアはタインフィードアクセルレータのみで運転できます。

収穫のためにコームフロア (A) を取り外した場合は、機械に付属のスムースライナープレート (B) を取り付ける必要があります (機械の左側)。

イネ以外の収穫情報：

- トウモロコシ：コームフロアを取り外してスムースライナープレートを取り付けます。
- 大豆：割れが懸念される場合は、コームフロアを取り外してスムースライナープレートを取り付けます。
- 小粒穀物：コームフロアを取り外してスムースライナープレートを取り付けます。

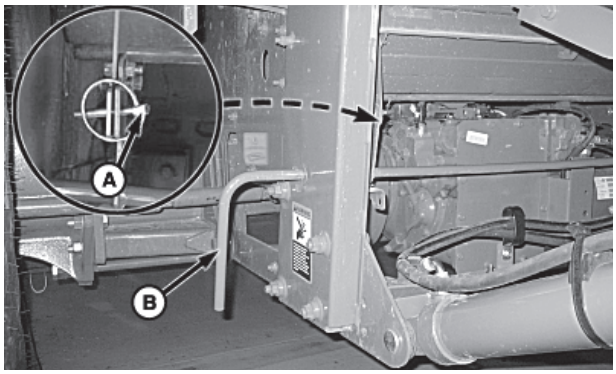
OUO6075,0001166 -40-22JUN12-1/8

コームフロアの取り外し：

警戒：フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

クイックロックピン (A) を取り外し、レバー (B) を上に動かしてストーントラップを開きます。

A : クイックロックピン
B : レバー



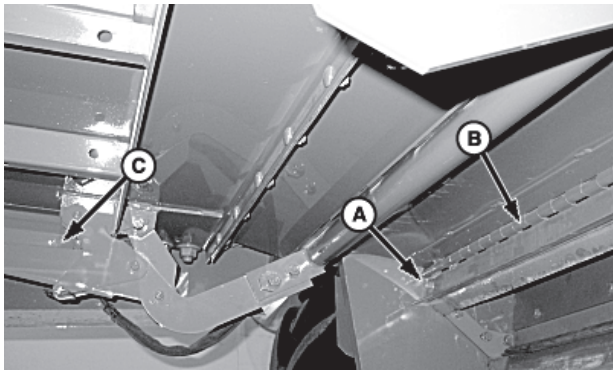
OUO6075,0001166 -40-22JUN12-2/8

機械の両側のボルトとナット (A) を取り外して保管します。

フィードプレートアセンブリ (B) の取り外し中に同時にクイックロックピンと下部レバー (C) を取り外します。

フィードプレートレバー (C) を上げます。

A : ボルトとナット
B : フィードプレートアセンブリ
C : レバー



次のページへ

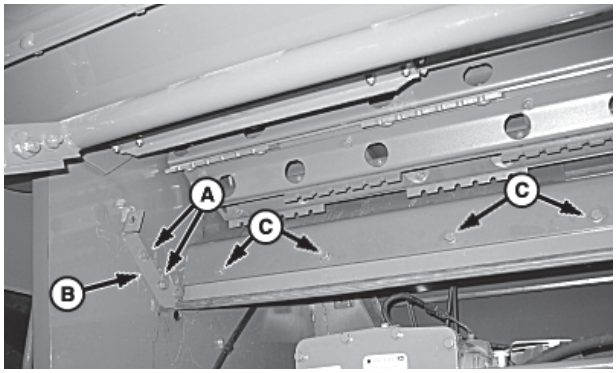
OUO6075,0001166 -40-22JUN12-3/8

機械の両側から金具 (A) とブラケット (B) を取り外して保管します。

ボルトとナット (C) を取り外して保管します。

プラウボルトを取り外して保管し、コームフロアを取り外します。

A : 金具 (4 個使用)
B : ブラケット (2 個使用)
C : ボルトとナット (6 個使用)



OUO6075,0001166 -40-22JUN12-4/8

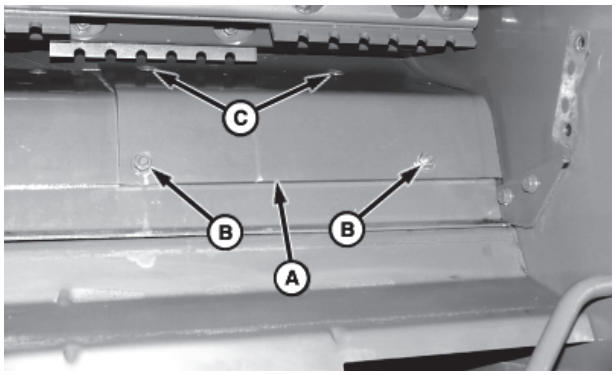
機械に付属のスムースライナープレート (A) を機械の左側に取り付けます。

前の手順で取り外したボルトとナット (B) を取り付けます。

注記：コームフロアを固定していた穴にプラウボルトを取り付けて、穀粒ロスを防止する必要があります。

前の手順で取り外したプラウボルト (C) を取り付けます。

A : スムースライナープレート
B : ボルトとナット (2 個使用)
C : プラウボルト (6 本使用)

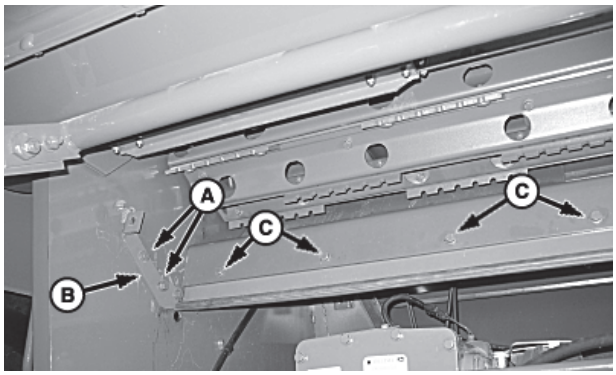


OUO6075,0001166 -40-22JUN12-5/8

前の手順で取り外したボルトとナット (C) を取り付けます。

前の手順で取り外したブラケット (B) を機械の両側に取り付けて、前の手順で取り外した金具 (A) で固定します。

A : 金具 (4 個使用)
B : ブラケット (2 個使用)
C : ボルトとナット (4 個使用)



次のページへ

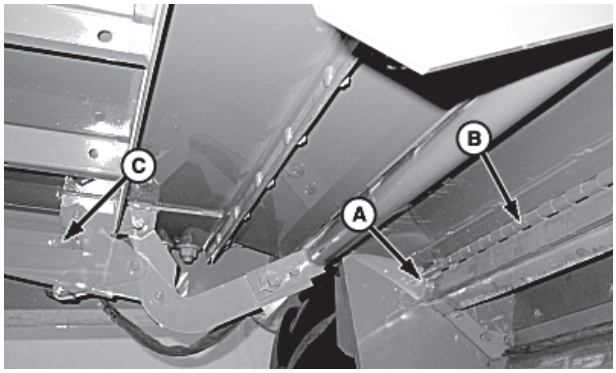
OUO6075,0001166 -40-22JUN12-6/8

フィードプレートレバー (C) を下げて、前の手順で取り外したフィードプレートアセンブリ (B) を取り付けます。

前の手順で取り外したボルトとナット (A) を機械の両側に取り付けます。

レバーを前方上に押してフィードプレートドアを閉めてクイックロックピンで固定します。

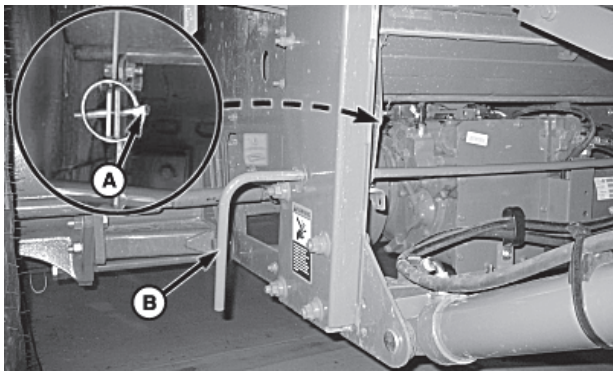
A : ボルトとナット
B : フィードプレートアセンブリ
C : レバー



OUO6075,0001166 -40-22JUN12-7/8

レバー (B) を下に動かしてストーントラップを閉めてクイックロックピン (A) で固定します。

A : クイックロックピン
B : レバー



OUO6075,0001166 -40-22JUN12-8/8

フィードアクセルレータベルト：交換

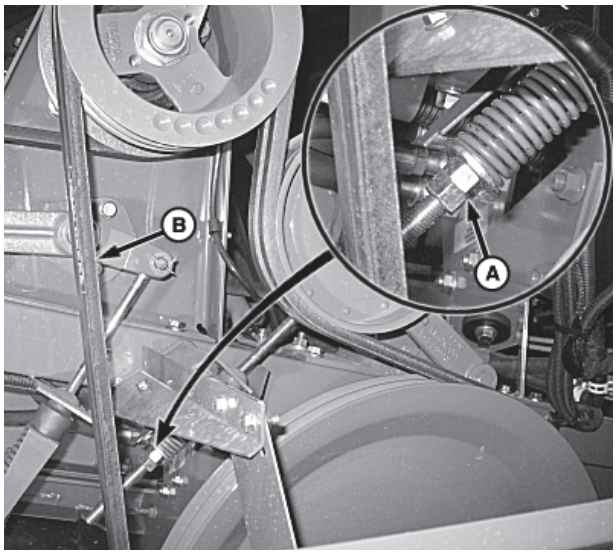
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

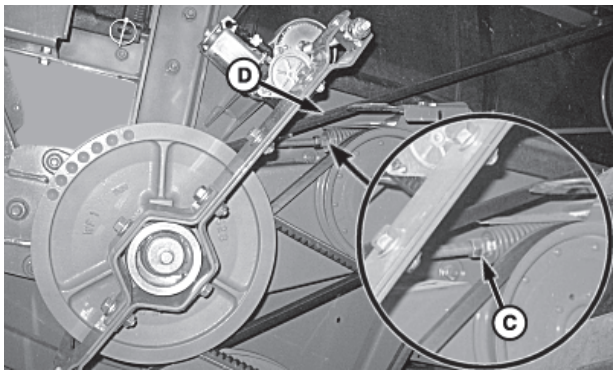
ナット (A) を緩めてフロントジャックシャフトベルト (B) から張力を除去します。

ナット (C) を緩めて、シュー、ファン、コンベアオーガベルト (D) から張力を除去します。

フィードアクセルレータベルトを取り外せるように、カウンタシャフトシャフトシーブから両方のベルトを取り外します。

A：ナット
B：フロントジャックシャフトベルト
C：ナット
D：ベルト

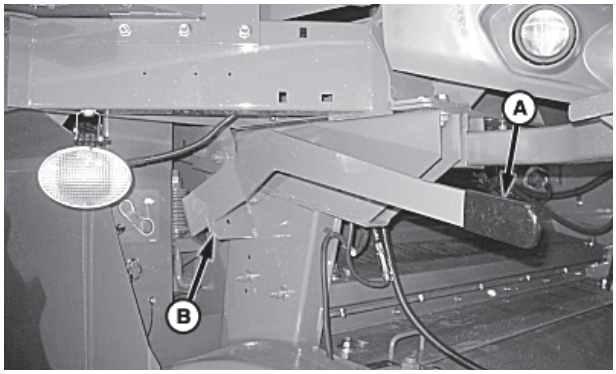




OUO6075,00017FE -40-13MAY14-1/3

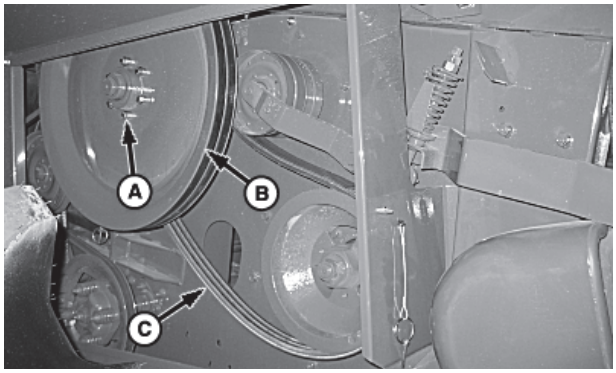
レバー (A) を押し上げてブラケット (B) のノッチから外し、アクセルレータベルトからベルト張力を解放します。

A：レバー
B：ブラケット

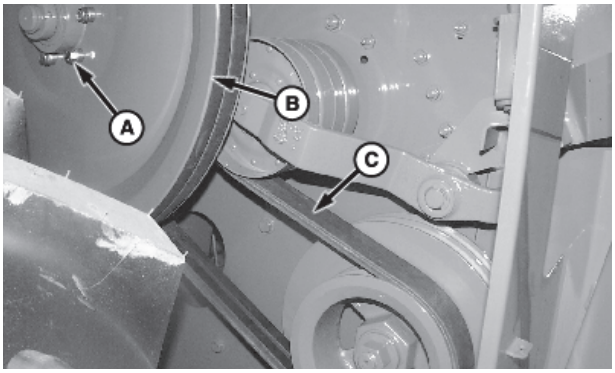


次のページへ

OUO6075,00017FE -40-13MAY14-2/3



フィードアクセルレータベルト (標準速度大容量)



フィードアクセルレータベルト (高速大容量)

A : ボルト (6 個使用)
B : シーブ
C : フィードアクセルレータベルト

ボルト (A) とシーブ (B) を取り外します。

フィードアクセルレータベルト (C) を取り外して交換用ベルトを取り付けます。

シーブを取り付けてボルトで固定します。

レバーを押し上げてブラケットのノッチにかみ合わせます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるようにフィードアクセルレータベルトの張力を調整します。

シュー、ファン、コンベアオーガベルト、フロントジャックシャフトベルトを取り付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるようにベルトの張力を調整します。

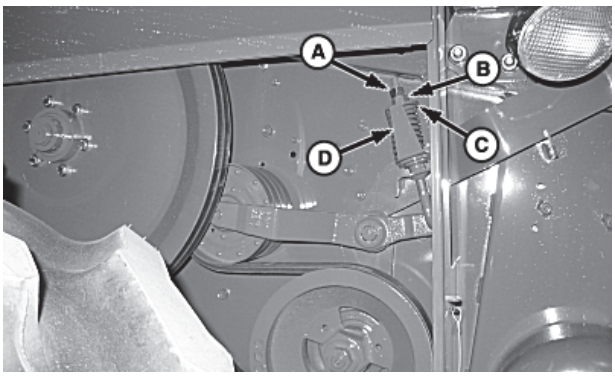
OUO6075,00017FE -40-13MAY14-3/3

フィードアクセルレータベルト : 調整

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

フィードアクセルレータベルトアイドラは、機械の右側、フィーダーハウスピボットの背後にあります。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでロックナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。



A : ロックナット
B : ナット
C : 座金
D : ゲージ

OUO6075,0000743 -40-19MAR07-1/1

標準速度大容量フィードアクセルレータ：速度の変更

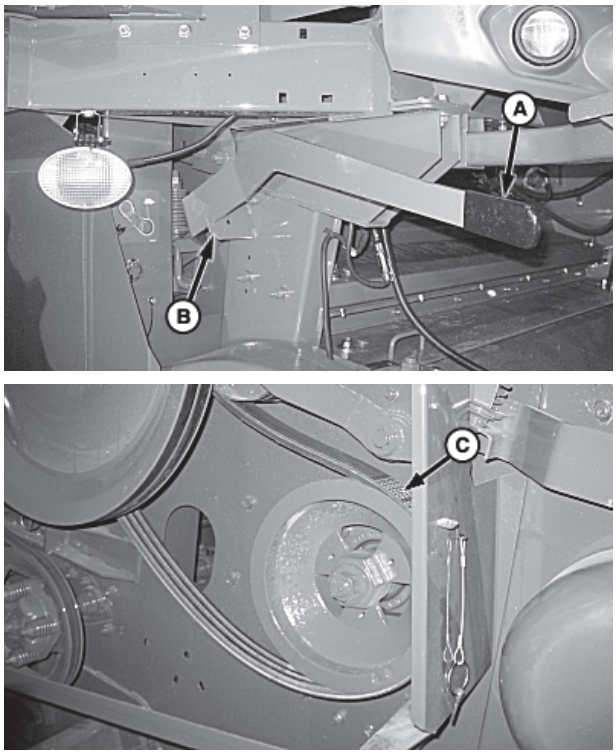
注記：推奨されているフィードアクセルレータ速度の設定については、「作物の設定」セクションを参照してください。

セパレータ回転数を変更するときは、電源の ON と OFF を入れ直して新しい回転数範囲が認識されていることを確認してください。

フィードアクセルレータ速度を高速位置に変更するには、次の手順に従います。

- レバー (A) を押し上げてブラケット (B) のノッチから外し、ベルト張力を解放します。
- ベルト (C) を両方のシーブの内側のシーブ溝 (高速用) に移動します。
- レバーを押し上げてブラケットのノッチにかみ合わせて、ベルト張力をリセットします。

A：レバー
B：ブラケット
C：ベルト



OUO6075,00007F2 -40-27OCT10-1/1

高速大容量フィードアクセルレータ：低速への変更

注記：推奨されているフィードアクセルレータ速度の設定については、「作物の設定」セクションを参照してください。

セパレータ回転数を変更するときは、電源の ON と OFF を入れ直して新しい回転数範囲が認識されていることを確認してください。

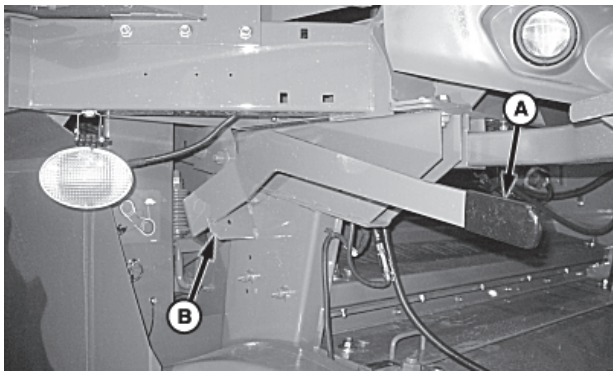
フィードアクセルレータ速度を低速位置に変更するには、次の手順に従います。

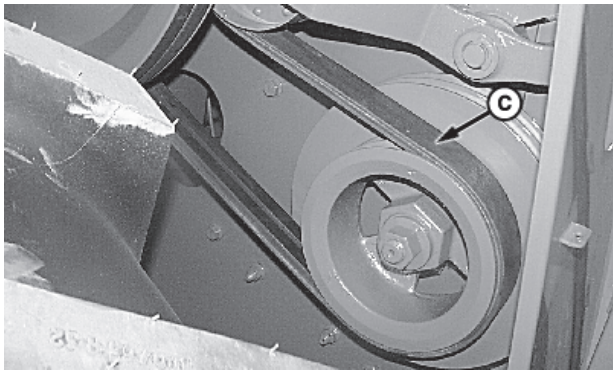
- レバー (A) を押し上げてブラケット (B) のノッチから外し、ベルト張力を解放します。
- 下部シーブからベルト (C) を取り外して、ベルトを上部シーブから吊り下げます。

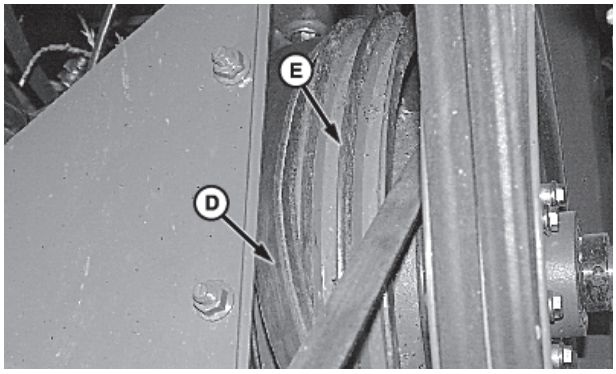
  注記：上部シーブとサイドシートの間に合わせるためにベルトをねじる必要があります。

- 上部シーブ (E) からベルト (D) を取り外して、低速用の内側シーブに移動します。
- 下部シーブの内側シーブの溝にベルト (C) を取り付けます。
- レバーを押し上げてブラケットのノッチにかみ合わせて、ベルト張力をリセットします。

A：レバー
B：ブラケット
C：ベルト
D：ベルト
E：上部シーブ







OUO6075,00007F3 -40-14JUN11-1/1

コンケーブに関する推奨事項

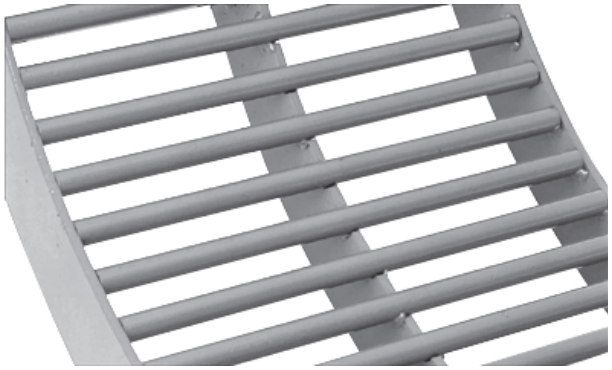
注記：各種作物に対する機械の推奨設定の詳細については、「作物設定」セクションを参照してください。

コンケーブタイプ	トウモロコシ	大豆	コムギ オオムギ 小粒穀物	イネ	ポップコーン 食用 トウモロコシ	モロコシ (ミロ) ヒマワリ (製菓用)	ヒマワリ (オイル用)	アブラナ
小ワイヤ	非推奨	非推奨	最良	非推奨	NR	非推奨	平均	最良
大ワイヤ	良好	良好	良好	最良	非推奨	最良	最良	良好
丸棒	最良	最良	平均	良好	最良	平均	最良	平均

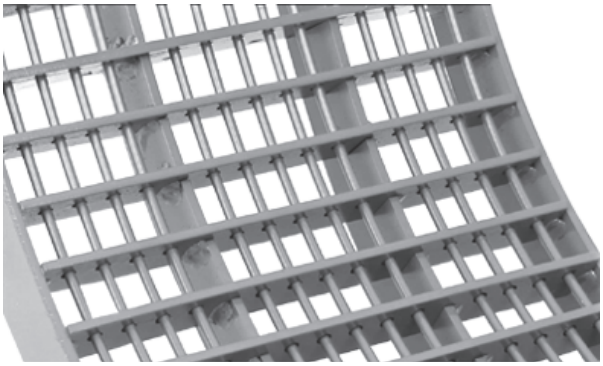
最良 = 最高の結果を得ることが可能。
良好 = 良い結果を得ることが可能。
平均 = 平均的な結果を得ることが可能。
非推奨 = 推奨しません。

OUO6075,00017E2 -40-07MAY14-1/1

コンケーブタイプ



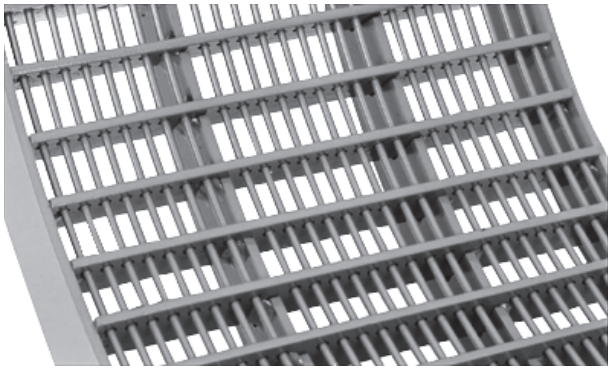
ラウンドバー複数作物コンケーブ



大径ワイヤコンケーブ

種々の作物および作物条件用の 3 種類のコンケーブがあります。

- トウモロコシや大豆には、ラウンドバー複数作物コンケーブを使用します。
- イネ、大豆、モロコシには大径ワイヤコンケーブを使用します。
- 小径ワイヤコンケーブは小粒穀物に使用します。



小径ワイヤコンケーブ

OUO6075,00007A8 -40-02JUN10-1/1

セパレータ格子スペーサ

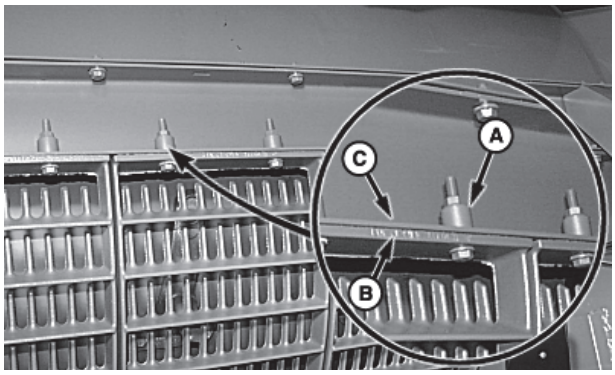
保管位置 (図示) には工場でスペーサが取り付けられています。

グレインタンクサンプルの穂軸の破片を減らすためにスペーサを使用できます。

重要：スペーサはトウモロコシや大豆のみに使用する必要があります。他のすべての作物でスペーサを取り外してください (図のようにスペーサを保管位置に配置します)。

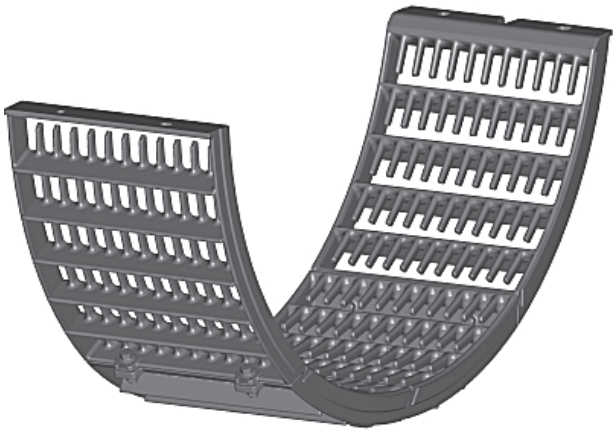
保管位置 (図示) からすべてのセパレータ格子スペーサ (A) を取り外して、セパレータ格子 (B) とセパレータチャンネル (C) の間に取り付けます。

A：スペーサ
B：セパレータ格子
C：セパレータチャンネル

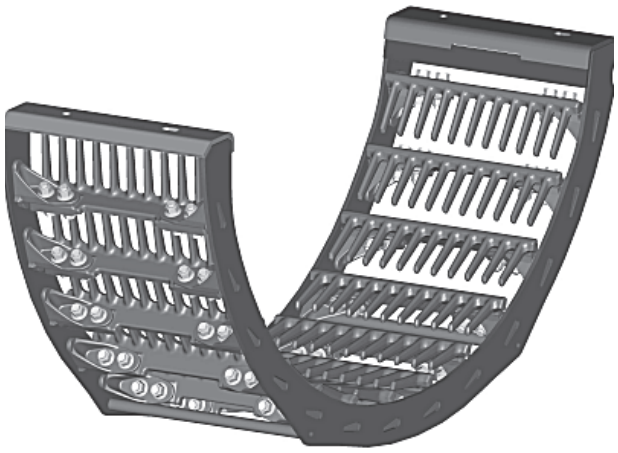


OUO6075,0000B06 -40-03JAN11-1/1

セパレータ格子の種類



標準鋳造セパレータ格子



ヘビーデューティセパレータ格子

機械には、2 種類のセパレータ格子オプションがあります。

- 標準鋳造セパレータ格子：イネ用機械を除き、すべての機械に標準で付属しています。
- ヘビーデューティセパレータ格子：難脱穀性作物条件で使用されます。この格子はすべてのバリアブルストリームローター機械でオプションですが、イネ用機械は標準で装備しています。

OUO6075,000140F -40-08MAR13-1/1

セパレータ格子カバー (装備されている場合)

非常に乾燥した小粒穀物に推奨されます。クリーニングシューへの脱穀負荷のバランスを取りやすくするために、カバー (A) をセパレータ格子に取り付けます。

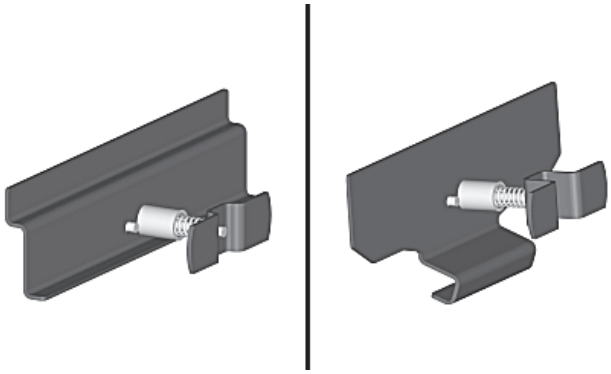
標準鋳造格子カバー

- 右側に 2 列 (カバー 8 個)、左側に 3 列 (カバー 12 個) を取り付けます。条件によっては、必要に応じて調整します。

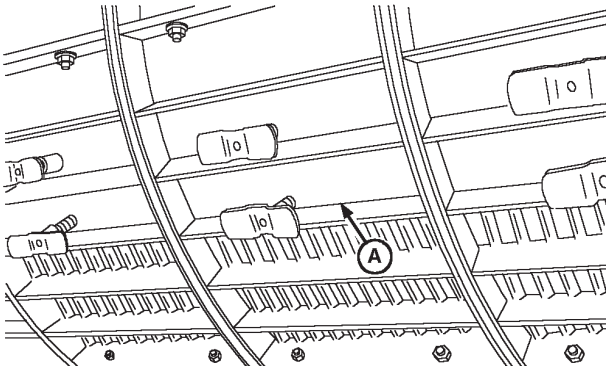
ヘビーデューティ格子カバー

- 右側に 1 列 (カバー 4 個)、左側に 3 列 (カバー 8 個) を取り付けます。条件によっては、必要に応じて調整します。

A : セパレータ格子カバー



標準鋳造格子カバー／ヘビーデューティ格子カバー



OUO6075,0001410 -40-08MAR13-1/1

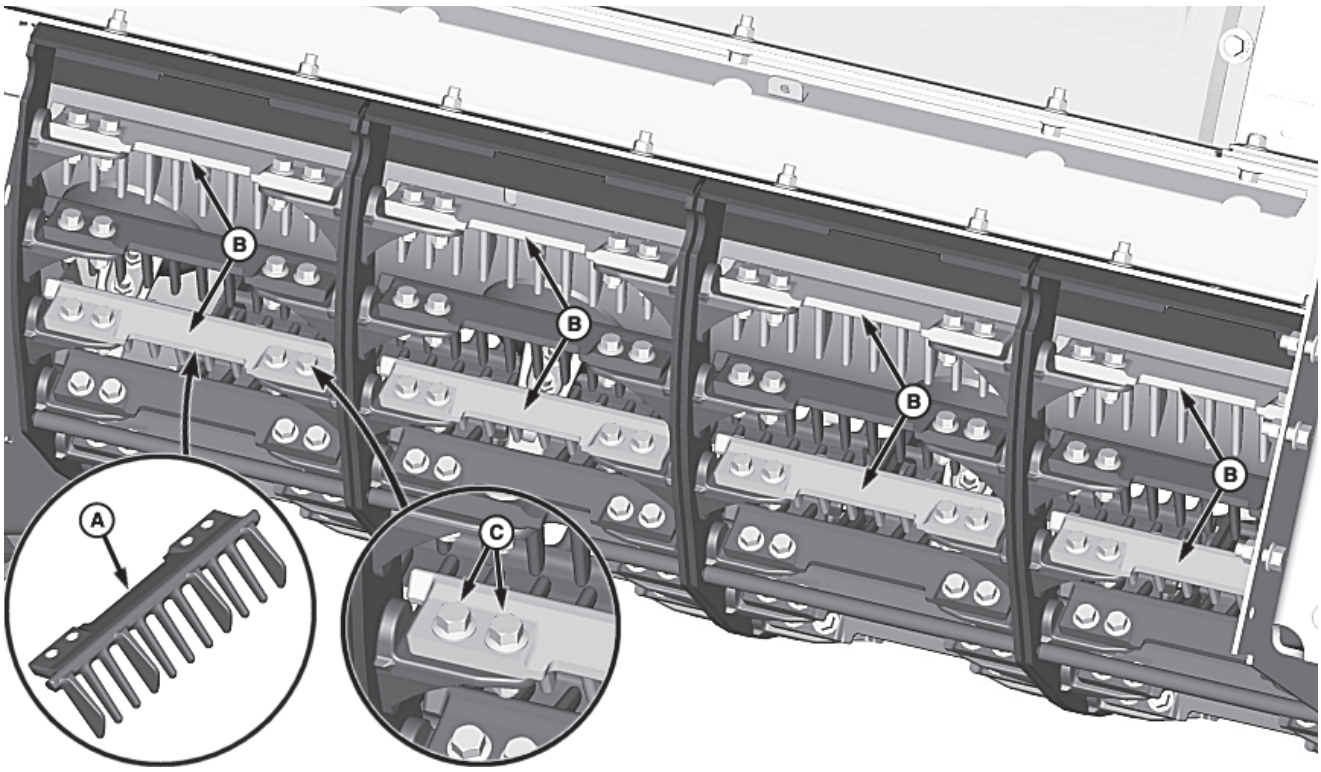
セパレータ格子インタラプタ (装備されている場合)

セパレータ格子インタラプタは、ヘビーデューティセパレータ格子で使用され、機械の右側の 1 列目と 3 列目にあります。

これらのインタラプタは、作物マットのフローを寸断し、さらに穀粒を振って分離できるのでセパレータ容量が増えます。

OUO6075,00016F7 -40-19DEZ13-1/1

セパレータ格子インタラプタの位置 (装備されている場合)



A : セパレータ格子インタラプタ　　B : 位置 (8 個使用)　　C : ボルトとナット (32 個使用)

重要 : セパレータ格子インタラプタは、図に示すようにセパレータの右側の 1 列目と 3 列目で使用します。その他の位置に取り付けると、干渉や機械性能の低下の原因になります。

セパレータ格子インタラプタを取り付けた後、機械を始動する前またはセパレータを接続する前にローターが自由に回転することを確認してください。

1. セパレータ格子インタラプタ (A) は、図に示すように必ず位置 (B) に取り付ける必要があります。
2. ボルトとナット (C) を使用してセパレータ格子インタラプタを固定します。
3. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト トルク	73 N•m (54 lb-ft)

OUO6075,00016F8 -40-19DEZ13-1/1

コンケーブセクターギアせん断ボルト (標準型コンケーブの調整)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

John Deere が供給しているせん断ボルト (A) のみを使用してください。交換用せん断ボルトについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

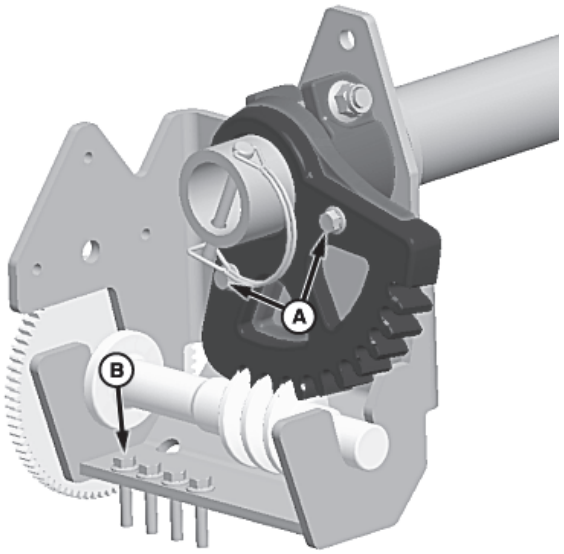
せん断ボルトが破断した場合は、セクターギアブラケットにある予備せん断ボルト (B) に交換してください。

せん断ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

せん断ボルトトルク	15 N•m (133 lb-in)

A：せん断ボルト
B：予備せん断ボルト (4 本使用)



OUO6075,0001800 -40-13MAY14-1/1

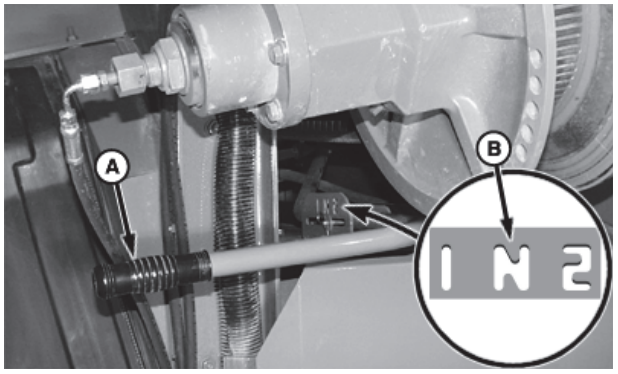
コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整)：取り外しと取り付け

警戒：コンケーブセクションは非常に重いので取り扱いが厄介です。コンケーブセクションの取り外しと取り付けには、もう 1 人の作業者が必要な場合があります。

注記：取り外しを容易に行うには、コンケーブを完全に閉めてください。

1. ハンドル (A) を動かして、ローターギアケースをニュートラル位置 (B) にシフトします。

A：ハンドル
B：ニュートラル位置

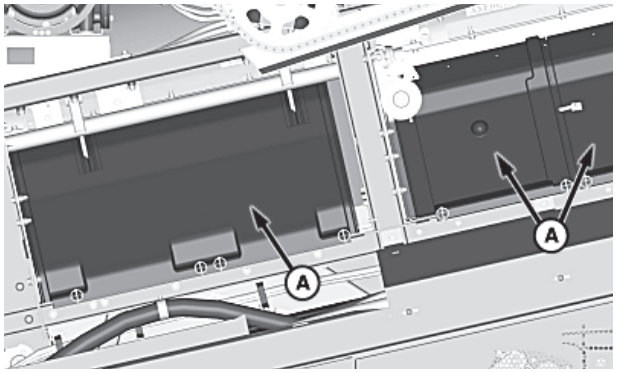


OUO6075,0001801 -40-15MAY14-1/15

注記：必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。

2. セパレータ点検カバー (A) を取り外します。
3. KXE10110 隙間ゲージを使用してコンケーブセクションの摩耗を点検します。

A：セパレータカバー



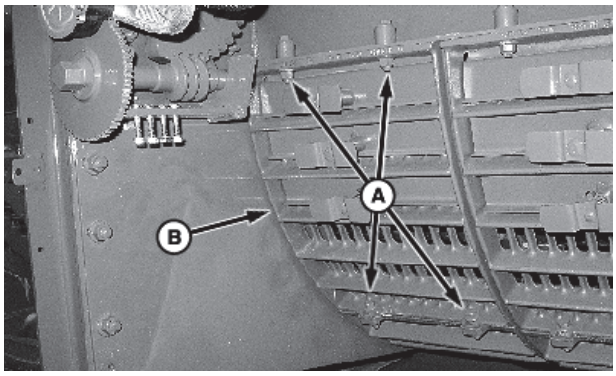
次のページへ

OUO6075,0001801 -40-15MAY14-2/15

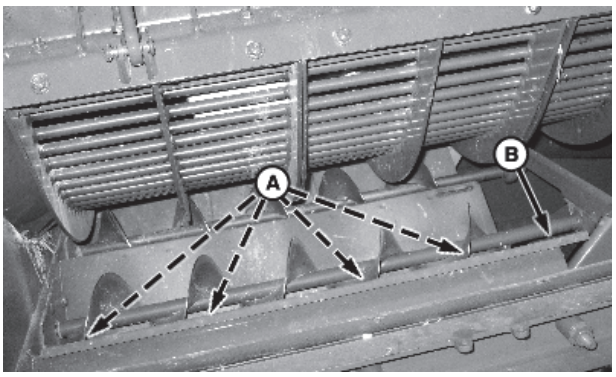
注記：セパレータ格子を取り外すと、コンケーブと脱穀エレメントの最大隙間を得るためにローターを回転させることができます。

4. ボルト (A) とセパレータ格子 (B) を取り外します。

A：ボルト
B：セパレータ格子

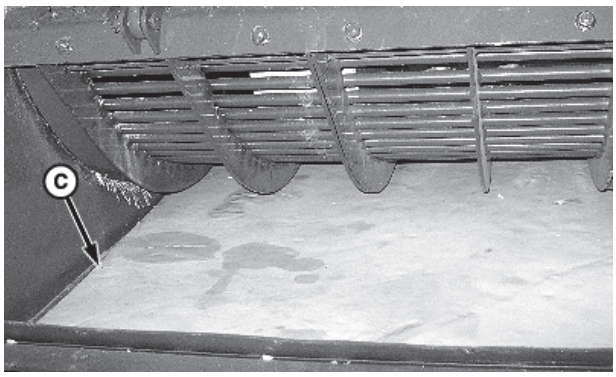


OUO6075,0001801 -40-15MAY14-3/15



A：ボルト **B：ダイバータ**

5. ボルト (A) を緩めて、左側のシートメタル製ダイバータ (B) を取り外します。



C：ボール紙

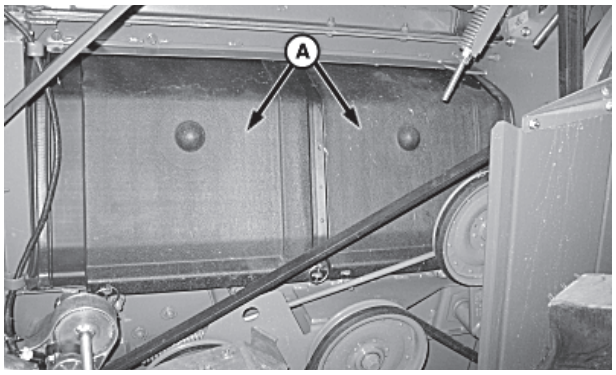
6. コンベアオーガにボール紙 (C) やポリの小片を置きます。これにより、オーガを保護してコンケーブを取り外すための滑らかな面を用意できます。

OUO6075,0001801 -40-15MAY14-4/15

7. 必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。

8. 機械の右側のクイックロックピンと前部の 2 つのセパレータカバー (A) を取り外します。

A：セパレータカバー



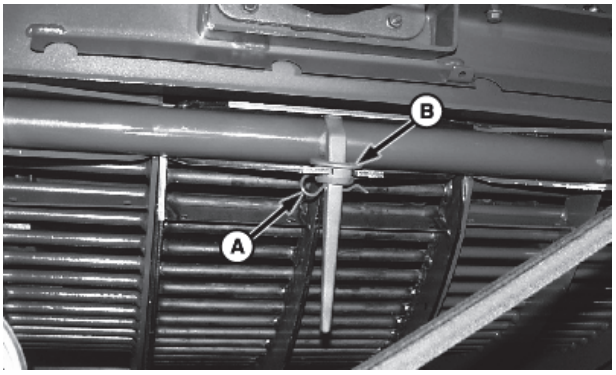
次のページへ

OUO6075,0001801 -40-15MAY14-5/15

9. スプリングロックピン (A) をコンケーブリテーナ (B) から取り外します。

10. コンケーブリテーナを持ち上げて各コンケーブセクションからハンドルを取り外します。

A : スプリングピン
B : コンケーブリテーナ

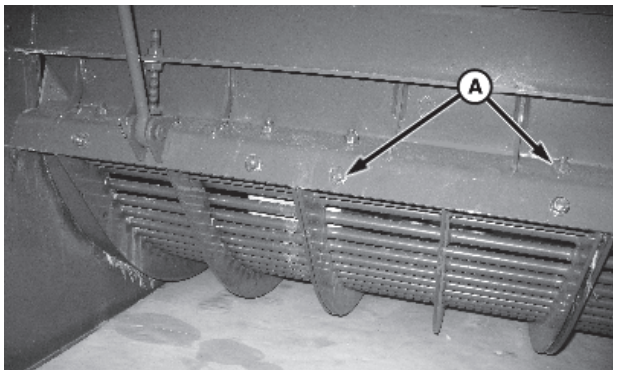


コンケーブリテーナ

OUO6075,0001801 -40-15MAY14-6/15

11. ボルト (A) を緩めます。

A : ボルト (12 本使用)



OUO6075,0001801 -40-15MAY14-7/15

12. ボルト (A) を取り外します。

13. コッタピン、ピン (B)、「Z」バー (C) を取り外します。

14. 脱穀エレメントパターンの隙間が中間のコンケーブで発生するようにローターを回転させます。

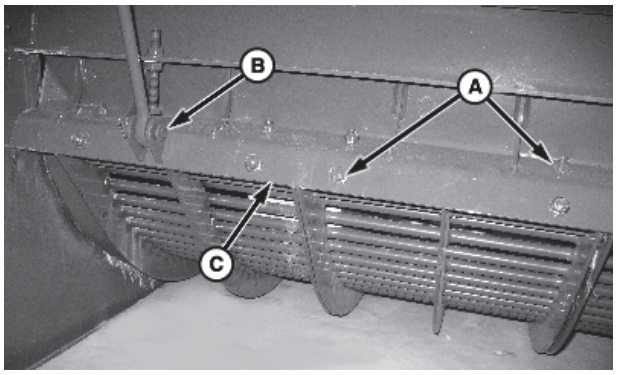
15. 中心コンケーブセクションを取り外します。

16. リアコンケーブを中心位置までスライドさせて取り外します。

17. フロントコンケーブを中心位置までスライドさせて取り外します。

18. 逆の順にコンケーブを取り付けます。

A : ボルト (12 本使用)
B : ピン (2 本使用)
C : 「Z」バー



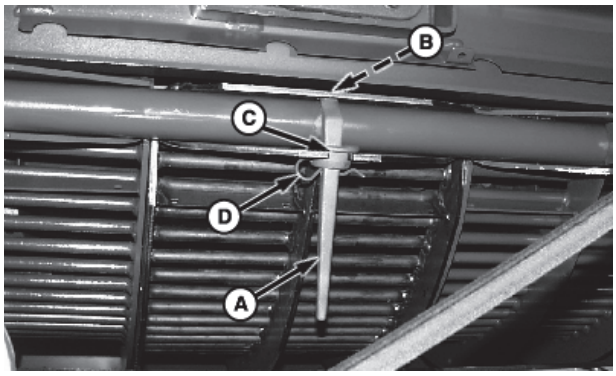
次のページへ

OUO6075,0001801 -40-15MAY14-8/15

19. コンケーブハンドル (A) をコンケーブセクションの溝 (B) に取り付けます。

20. コンケーブリテーナ (C) を取り付けてスプリングピン (D) で固定します。

A : ハンドル
B : 溝
C : コンケーブリテーナ
D : スプリングピン

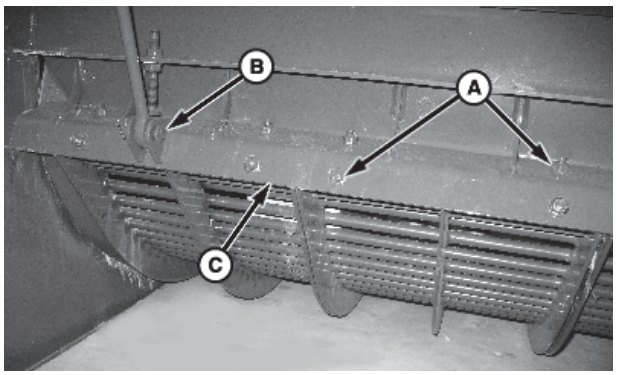


OUO6075,0001801 -40-15MAY14-9/15

21. コンケーブの端に「Z」バー (C) を配置してボルトを取り付けます。この時点では完全に締め付けないでください。

22. ピン (B) を取り付けます。

A : ボルト (12 本使用)
B : ピン (2 本使用)
C : 「Z」バー



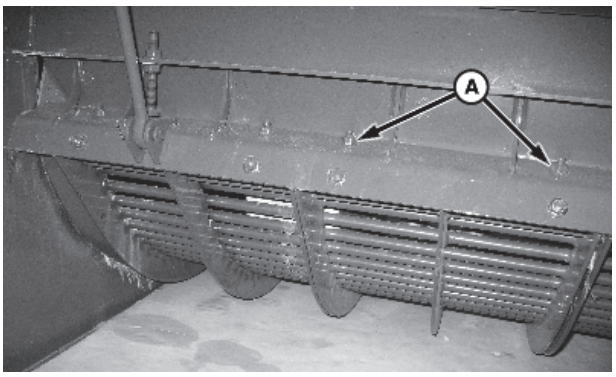
OUO6075,0001801 -40-15MAY14-10/15

23. コンケーブの端部が「Z」バーにしっかりとはまっていることを確認し、まず上の列のボルト (A) を締め付けます。

24. 下の列のボルトを最後に締め付けます。

25. コンケーブレベルを調整します。(このセクションで後述の「コンケーブの水平調整」を参照してください)。

A : ボルト (6 本使用)



次のページへ

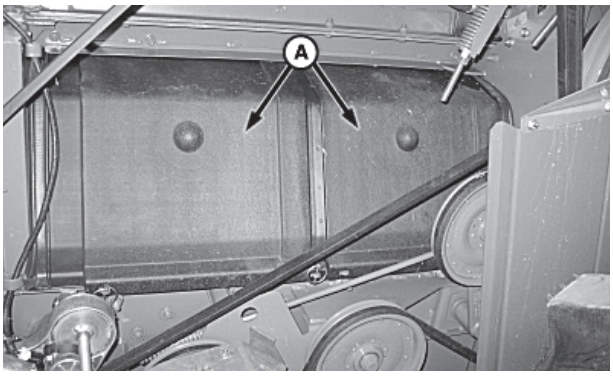
OUO6075,0001801 -40-15MAY14-11/15

注記：セパレータカバーの上端がクリップの下側にあること
を確認してください。

26. セパレータカバー (A) を取り付けます。

27. セパレータ点検カバーにアクセスするために前の手順で
取り外したシールドを取り付けます。

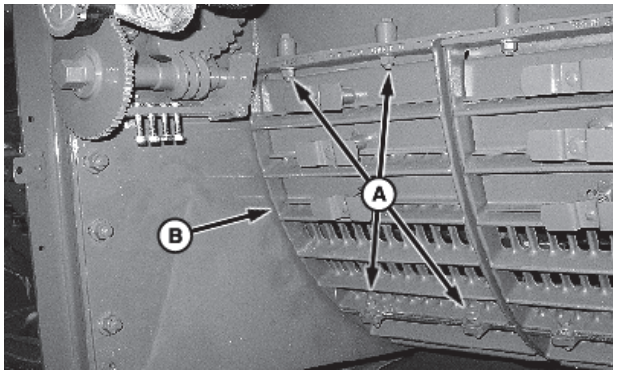
A：セパレータカバー



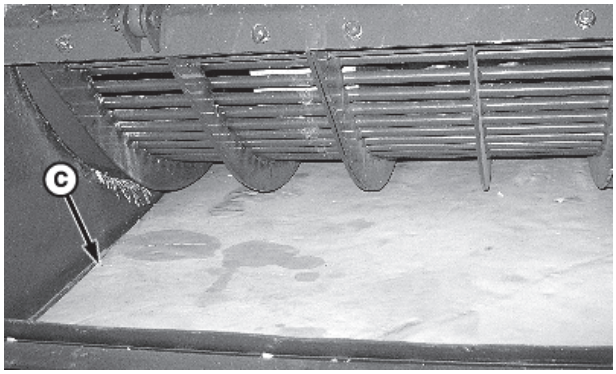
OUO6075,0001801 -40-15MAY14-12/15

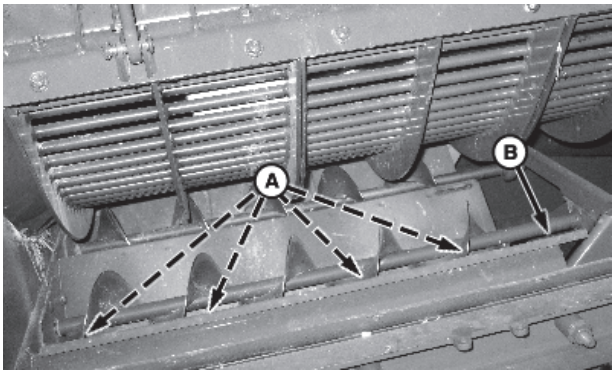
28. セパレータ格子 (B) を取り付けて、ボルト (A) で固定します。

A：ボルト (4 本使用)
B：セパレータ格子



OUO6075,0001801 -40-15MAY14-13/15





A：ボール紙
B：ダイバータ
C：ボルト (4 本使用)

29. コンベアオーガからボール紙 (C) またはポリを取り外します。

30. ダイバータ (B) を元の位置に取り付けて、ボルト (C) を締
め付けます。

次のページへ

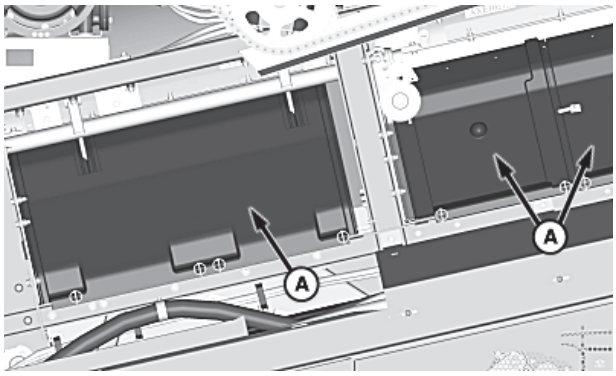
OUO6075,0001801 -40-15MAY14-14/15

31. セパレータ点検カバー (A) を取り付けます。

32. セパレータ点検カバーにアクセスするために前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

33. ロータードライブギアケースを元の位置にシフトします。

A : セパレータカバー



OUO6075,0001801 -40-15MAY14-15/15

コンケーブセクション (アクティブコンケーブの分離) : 取り外しと取り付け

警戒 : コンケーブセクションは非常に重いので取り扱いが厄介です。コンケーブセクションの取り外しと取り付けには、もう 1 人の作業者が必要な場合があります。

1. エンジンを始動し、「Threshing Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチ (A) を押します。

2. 「Z」バー金具に簡単にアクセスするには、プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して脱穀隙間を 5 に設定します。

注記 : 機械の構成によっては、脱穀隙間を増やす必要がある場合があります。

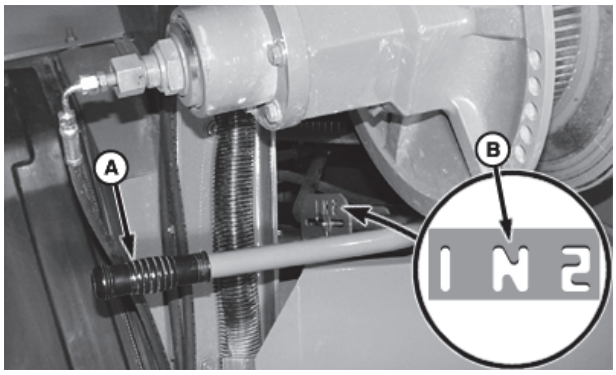
3. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

A : 「Threshing Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチ

SS43267,00003E4 -40-19JUN14-1/19

4. ハンドル (A) を動かして、ローターギアケースをニュートラル位置 (B) にシフトします。

A : ハンドル
B : ニュートラル位置



次のページへ

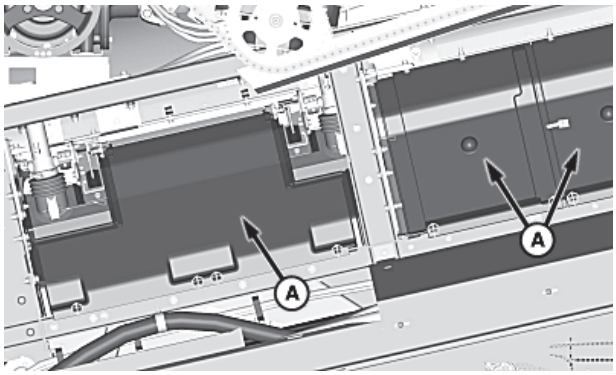
SS43267,00003E4 -40-19JUN14-2/19

注記：必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。

5. セパレータ点検カバー (A) を取り外します。

6. KXE10110 隙間ゲージを使用してコンケーブセクションの摩耗を点検します。

A : セパレータカバー

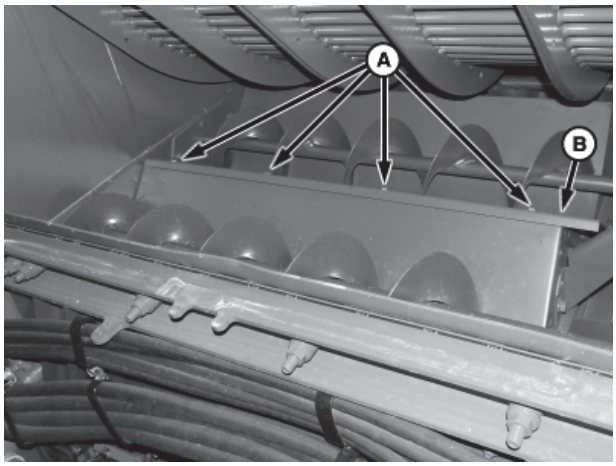


SS43267,00003E4 -40-19JUN14-3/19

7. ボルト (A) を緩めて、左側のシートメタル製ダイバータ (B) を取り外します。

注記：コンベアオーガにボール紙やポリの小片を置きます。これにより、オーガを保護してコンケーブを取り外すための滑らかな面を用意できます。

A : ボルト
B : ダイバータ

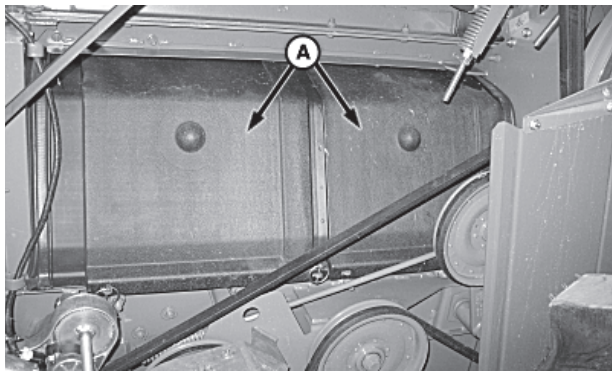


SS43267,00003E4 -40-19JUN14-4/19

8. 必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。

9. 機械の右側のクイックロックピンと前部の 2 つのセパレータカバー (A) を取り外します。

A : セパレータカバー



次のページへ

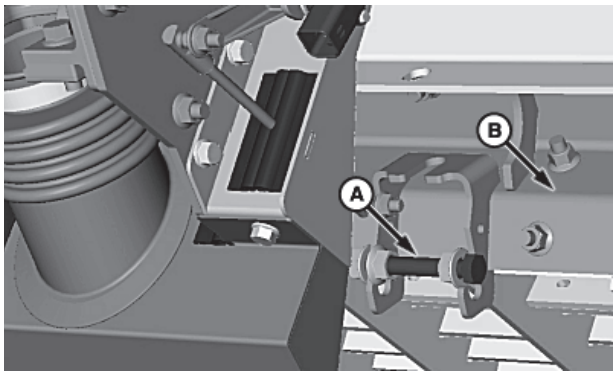
SS43267,00003E4 -40-19JUN14-5/19

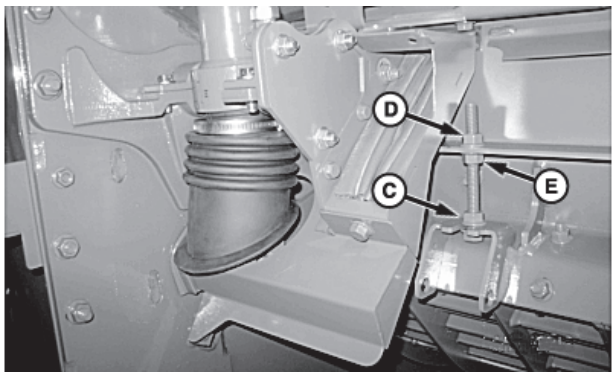
10.「Z」バー (B) のブラケットからコンケーブ水平調整ボルト (A) を取り外し、レールを通して取り付けてコンケーブと「Z」バーアセンブリを保持します。

11.「Z」バーブラケットに対してナット (C) を手締めし、両側でナット (D) をレールに対して少し締め付けます。

注記：ゼロ調整のためにナット (E) とレールの間に適切な隙間があることを確認してください。レールに対してナットを締め付けないでください。

A：水平調整ボルト (2 本使用)
B：「Z」バー
C：ナット (2 個使用)
D：ナット (2 個使用)
E：ナット (2 個使用)

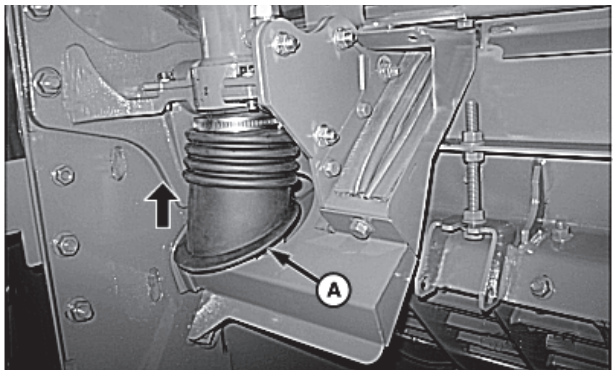




SS43267,00003E4 -40-19JUN14-6/19

12. ゴムシール (A) の差し込み口を取り外し、両方のシリンダを上げます。

A：ゴムシール (2 個使用)

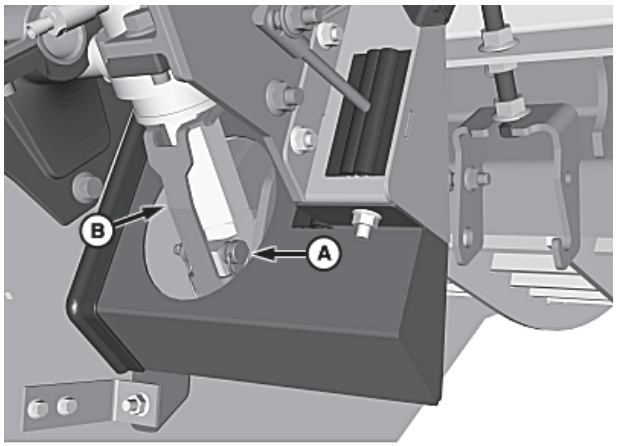


次のページへ

SS43267,00003E4 -40-19JUN14-7/19

13. ピン (A) とシリンダ安全ストップ (B) を両方のシリンダで取り外します。

A : ピン (2 本使用)
B : シリンダ安全ストップ (2 個使用)

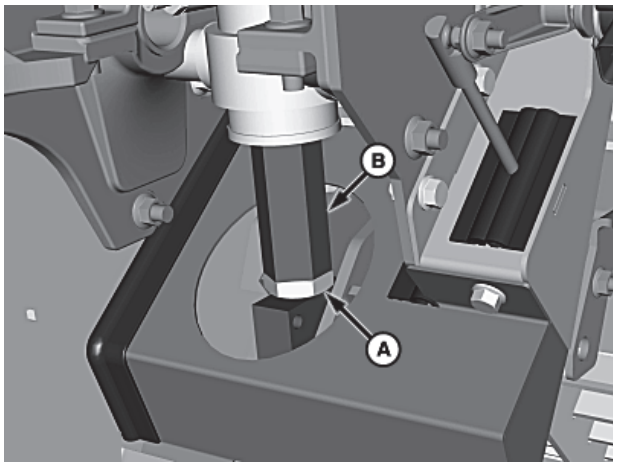


SS43267,00003E4 -40-19JUN14-8/19

14. 薄ナット (A) をシリンダストップ (B) から緩め、ストップを両方のシリンダロッドの上に下ろします。

注記 : 薄ナットとストップは、現在の位置から 15 mm (19/32 in) 以上下ろす必要があります。

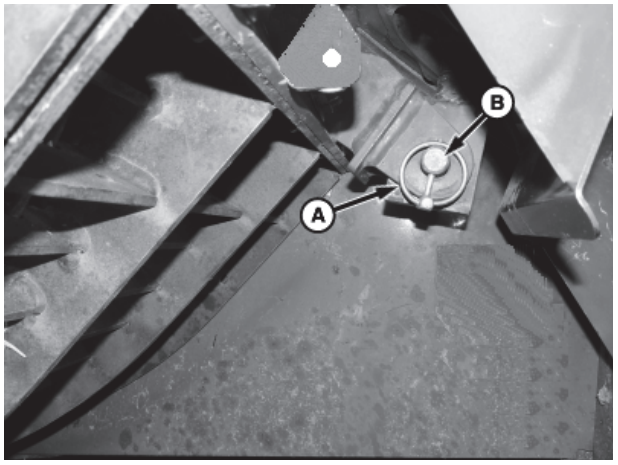
A : 薄ナット (2 個使用)
B : シリンダストップ (2 個使用)



SS43267,00003E4 -40-19JUN14-9/19

15. クイックロックピン (A) とピン (B) を両側のシリンダロッドから取り外します。

A : クイックロックピン (2 本使用)
B : ピン (2 本使用)



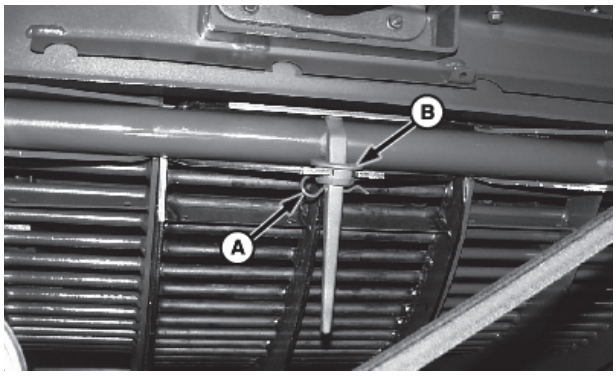
次のページへ

SS43267,00003E4 -40-19JUN14-10/19

16. スプリングピン (A) をコンケーブリテーナ (B) から取り外します。

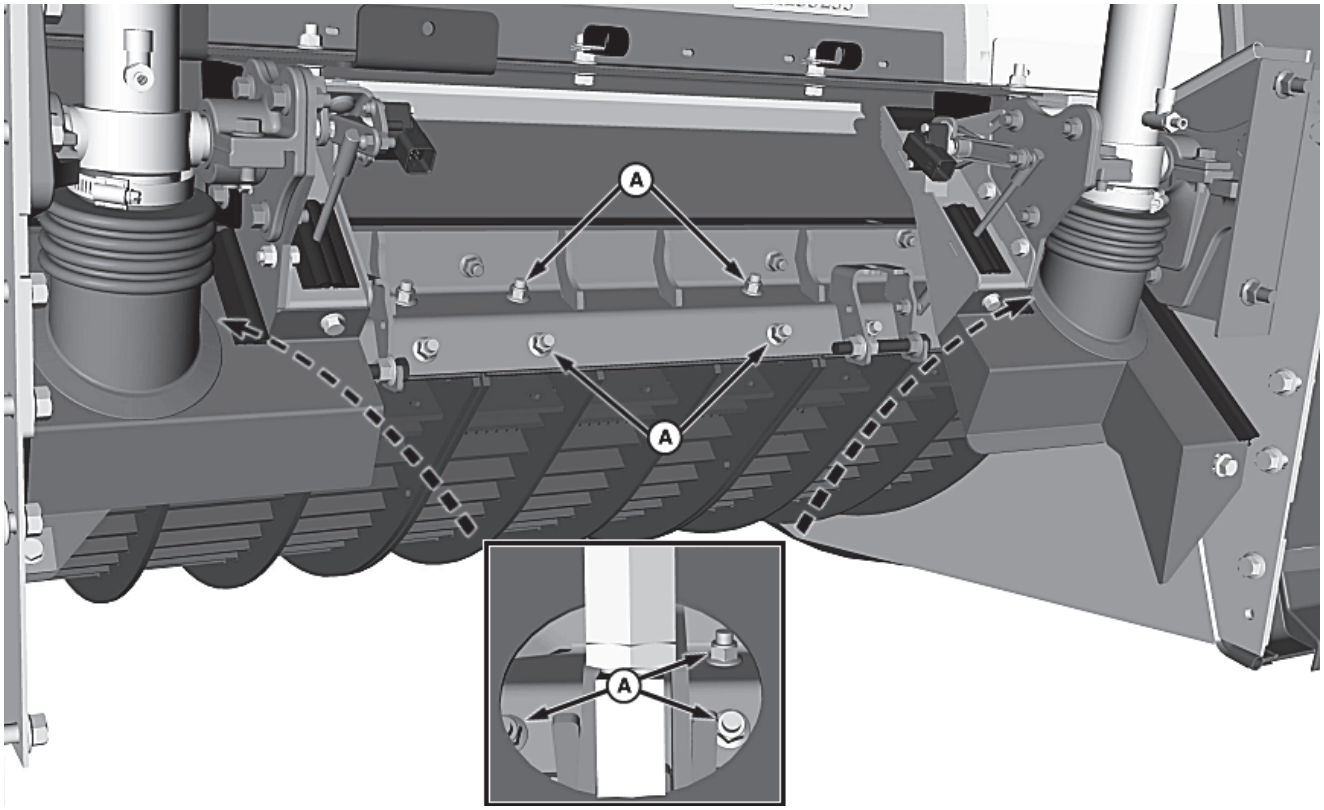
17. コンケーブリテーナを持ち上げて各コンケーブセクションからハンドルを取り外します。

A : スプリングピン
B : コンケーブリテーナ



コンケーブリテーナ

SS43267,00003E4 -40-19JUN14-11/19



A : ボルト (14 本使用)

18. ボルト (A) を緩めます。

次のページへ

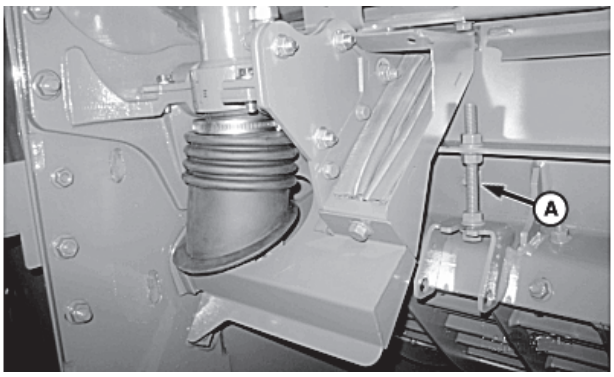
SS43267,00003E4 -40-19JUN14-12/19

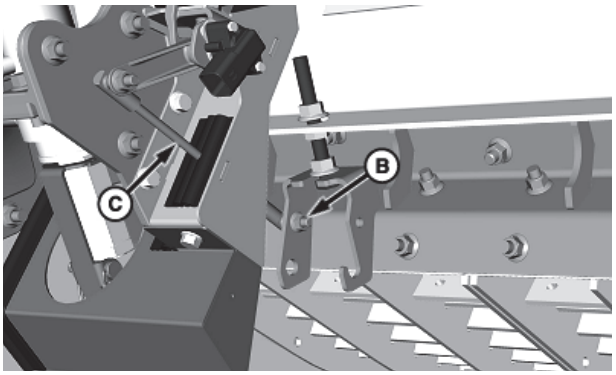
19. 水平調整ボルト (A) を使用して「Z」バーとコンケーブを約 10 mm (13/32 in) 上に調整するか、中間のコンケーブを簡単に取り外せるまで調整します。

注記：機械構成によっては、「Z」バーの取り外しが不要な場合があります。

20. 「Z」バーを取り外す場合は、ナット (B) とリンケージアーム (C) を取り外します。

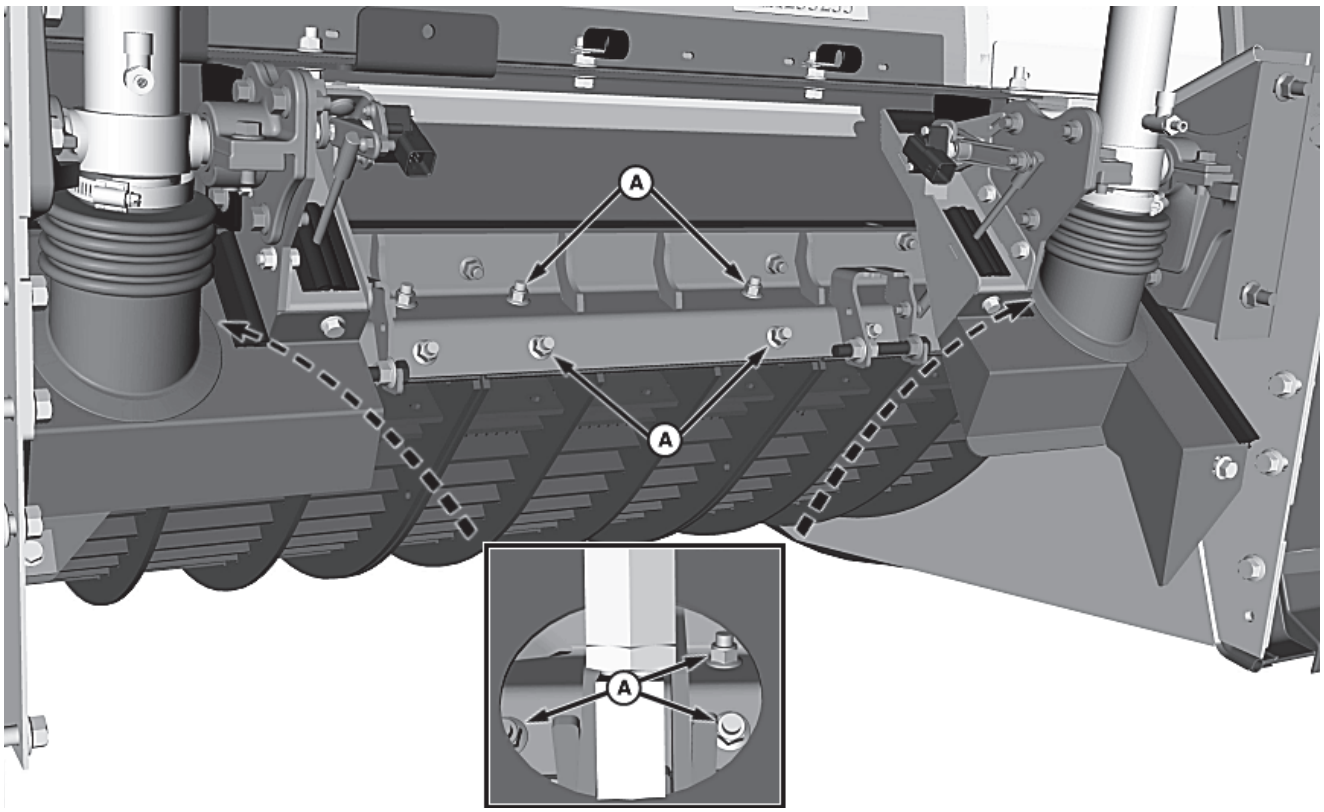
A : 水平調整ボルト (2 本使用)
B : ナット (2 個使用)
C : リンケージアーム (2 個使用)





次のページへ

SS43267,00003E4 -40-19JUN14-13/19



A : ボルトとナット (14 個使用)

21. ボルトとナット (A) を取り外します。

注記：脱穀エレメントパターンの隙間が中間のコンケーブで発生するようにローターを回転させます。

22. 中心コンケーブセクションを取り外します。

23. リアコンケーブを中心位置までスライドさせて取り外します。

24. フロントコンケーブを中心位置までスライドさせて取り外します。

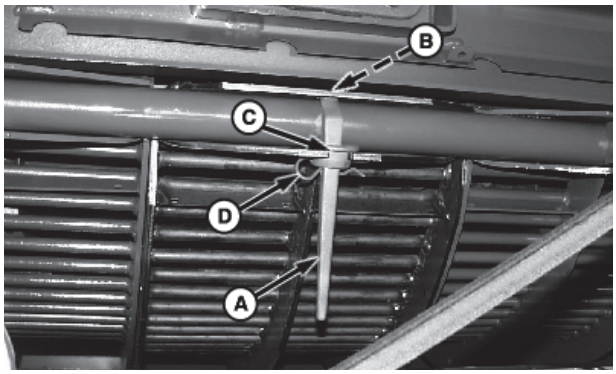
25. 逆の順にコンケーブを取り付けます。

SS43267,00003E4 -40-19JUN14-14/19

26. コンケーブハンドル (A) をコンケーブセクションの溝 (B) に取り付けます。

27. コンケーブリテーナ (C) を取り付けてスプリングピン (D) で固定します。

A : ハンドル
B : 溝
C : コンケーブリテーナ
D : スプリングピン



次のページへ

SS43267,00003E4 -40-19JUN14-15/19

注記：「Z」バーを前の手順で取り外した場合は、この時点で取り付けます。

28. 水平調整ボルトを使用して、「Z」バーとコンケーブを約 10 mm (13/32 in)、または前の手順で上げた量と同じ距離だけ下げます。

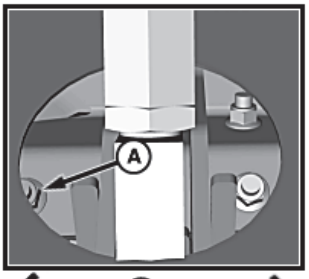
29. コンケーブの端部が「Z」バーにしっかりとはまっていることを確認し、まず上の列のボルトとナット (A) を締め付けます。

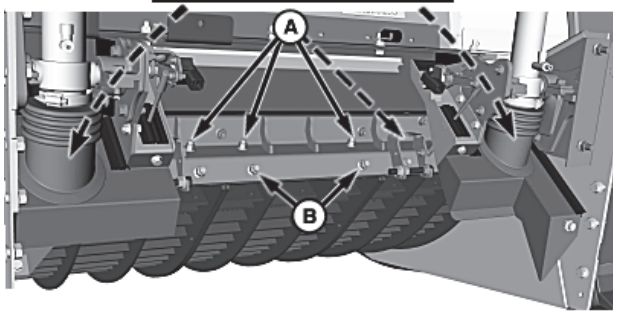
30. 下の列のボルトとナット (B) を最後に締め付けます。

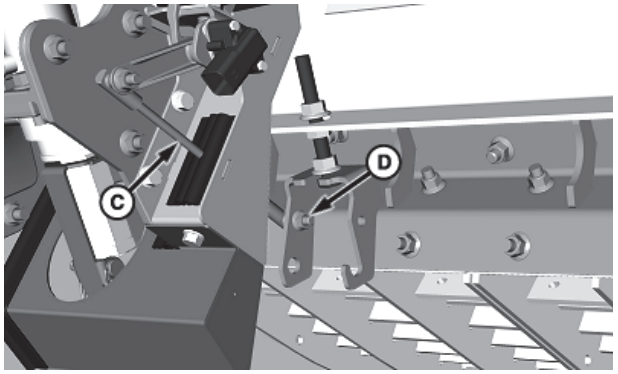
31. 「Z」バーを取り外した場合は、ナット (D) でリンケージアーム (C) を取り付けます。

32. コンケーブレベルを調整します。(このセクションで後述の「コンケーブの水平調整 (アクティブコンケーブの分離」を参照してください)。

A：ボルトとナット (6 個使用)
B：ボルトとナット (8 個使用)
C：リンケージアーム (2 個使用)
D：ナット (2 個使用)







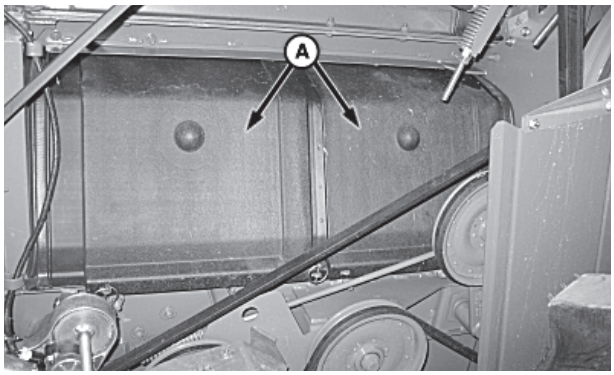
SS43267,00003E4 -40-19JUN14-16/19

注記：セパレータカバーの上端がクリップの下側にあることを確認してください。

33. セパレータカバー (A) を取り付けます。

34. セパレータ点検カバーにアクセスするために前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

A：セパレータカバー



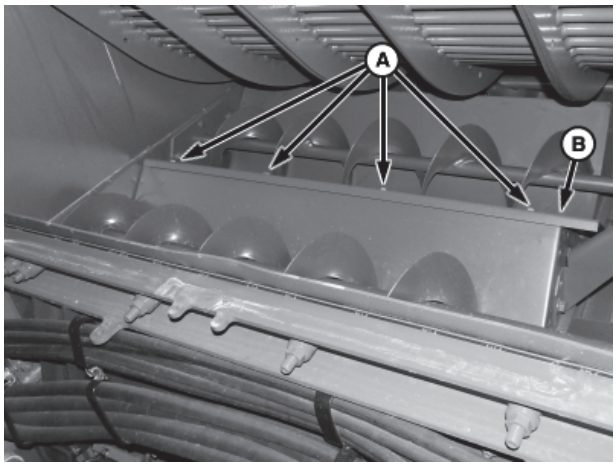
次のページへ

SS43267,00003E4 -40-19JUN14-17/19

注記：コンベアオーガからボール紙またはポリを取り外します。

35. ダイバータ (B) を元の位置に取り付けて、ボルト (A) を締め付けます。

A：ボルト (4 本使用)
B：ダイバータ



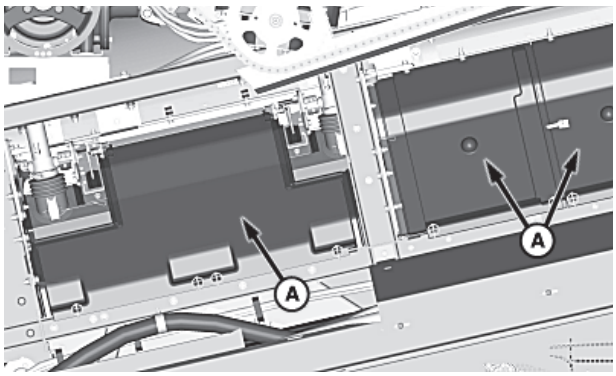
SS43267,00003E4 -40-19JUN14-18/19

36. セパレータ点検カバー (A) を取り付けます。

37. セパレータ点検カバーにアクセスするために前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

38. ロータードライブギアケースを元の位置にシフトします。

A：セパレータカバー



SS43267,00003E4 -40-19JUN14-19/19

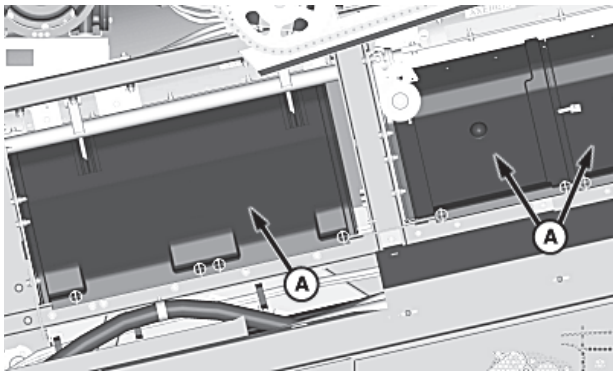
コンケーブの水平調整 (標準型コンケーブの調整)

注記：コンケーブの水平調整を行う前に、ラウンドバーコンケーブのカバー (取り付けられている場合) を取り外す必要があります。

1. 必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。

2. セパレータ点検カバー (A) を取り外します。

A：セパレータカバー



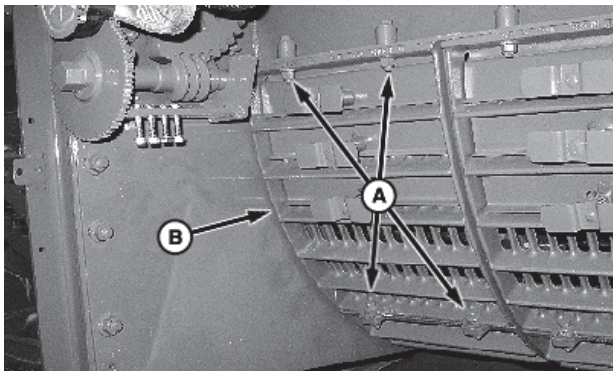
次のページへ

OUO6075,0001802 -40-15MAY14-1/9

注記：セパレータ格子を取り外すと、ローターを回転させることができます。

3. ボルト (A) とセパレータ格子 (B) を取り外します。

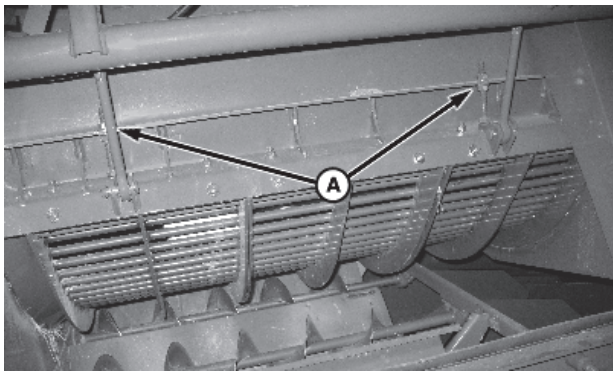
A : ボルト (4 本使用)
B : セパレータ格子



OUO6075,0001802 -40-15MAY14-2/9

4. ストップボルト (A) を緩めます。

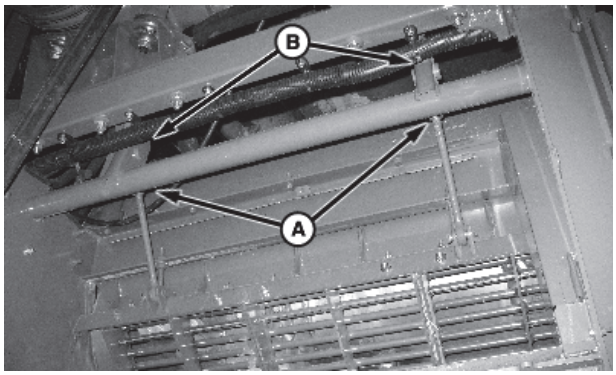
A : ストップボルト (2 本使用)



OUO6075,0001802 -40-15MAY14-3/9

5. ロックナット (A) を緩めてナット (B) をそれぞれ 5 回転させて戻します。

A : 下部ナット (2 個使用)
B : 上部ナット (2 個使用)

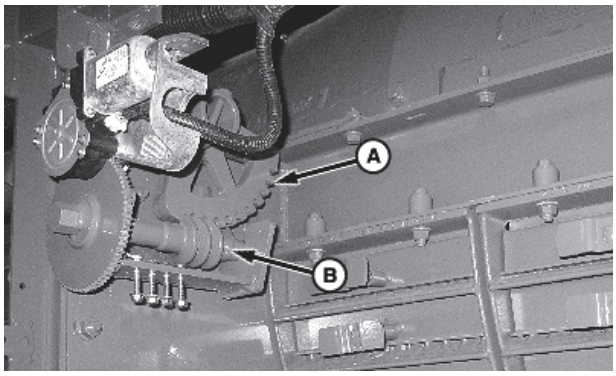


次のページへ

OUO6075,0001802 -40-15MAY14-4/9

6. キャビン内のスイッチを使用して、ウォームギア (B) とセクターギア (A) が上の位置で底が出るまでコンケーブを閉位置に調整します。

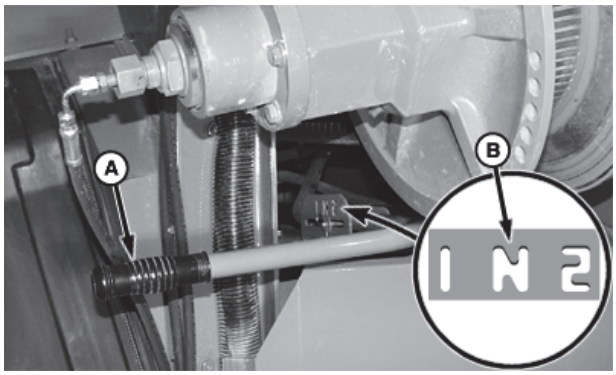
A : セクターギア
B : ウォームギア



OUO6075,0001802 -40-15MAY14-5/9

7. ハンドル (A) を動かして、ローターギアケースをニュートラル位置 (B) にシフトします。

A : ハンドル
B : ニュートラル位置



OUO6075,0001802 -40-15MAY14-6/9

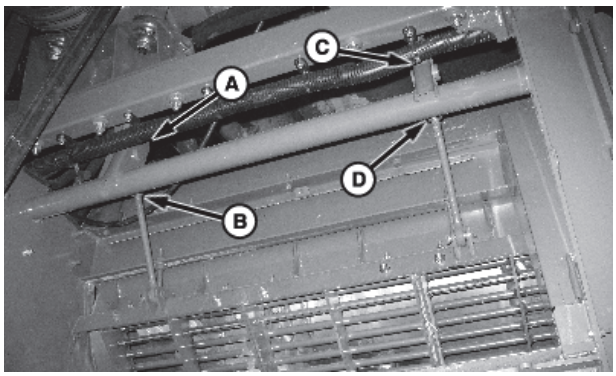
8. ローターを反時計回りに回転させている間に要素がコンケーブに「カチッ」と当たるまで、フロントアイボルト上部ナット (A) を徐々に調整します。完全に 3 回転させて戻します。

9. ローターを反時計回りに回転させている間に要素がコンケーブに「カチッ」と当たるまで、リアアイボルト上部ナット (C) を徐々に調整します。完全に 3 回転させて戻します。

10. 要素がコンケーブに「カチッ」と当たるまで、フロントアイボルト上部ナット (A) を下に徐々に調整します。カチッという音が止まるまでゆっくりと戻します。「カチッ」という音が止まったら、完全に 1 回転させて戻して上部ロックナットを締め付けます。

11. 要素がコンケーブに「カチッ」と当たるまで、リアアイボルト上部ナット (C) を下に徐々に調整します。カチッという音が止まるまでゆっくりと戻します。「カチッ」という音が止まったら、完全に 1 回転させて戻して上部ロックナットを締め付けます。

12. 下部フロントコンケーブ調整ナットを締め付けます。レンチを使用してフロントアイボルト上部ナット (A) を保持しながら、フロントアイボルト下部ロックナット (B) を締め付けます。



A : フロントアイボルト上部ナット
B : フロントアイボルト下部ロックナット
C : リアアイボルト上部ナット
D : リアアイボルト下部ロックナット

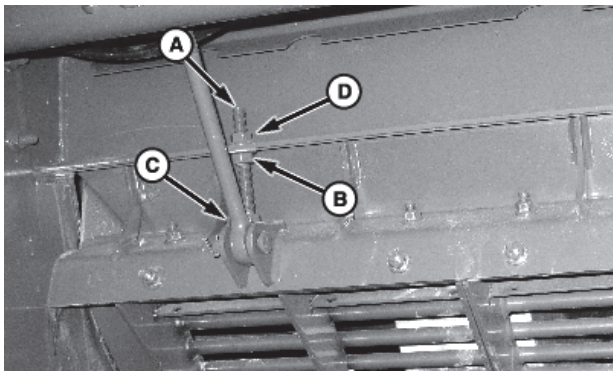
13. 下部リアコンケーブ調整ナットを締め付けます。レンチを使用してリアアイボルト上部ナット (C) を保持しながら、リアアイボルト下部ロックナット (D) を締め付けます。

次のページへ

OUO6075,0001802 -40-15MAY14-7/9

14. ボルト (C) の頭がコンケーブに接触するまで下部ナット (B) を締め付けて、フロントおよびリアコンケーブストップボルト (A) を調整します。下部ナット (B) をレンチで保持しながら、上部ナット (D) を締め付けます。

A : ストップボルト (2 個使用)
B : ロックナット
C : ボルトの頭
D : ロックナット



ストップボルト

OUO6075,0001802 -40-15MAY14-8/9

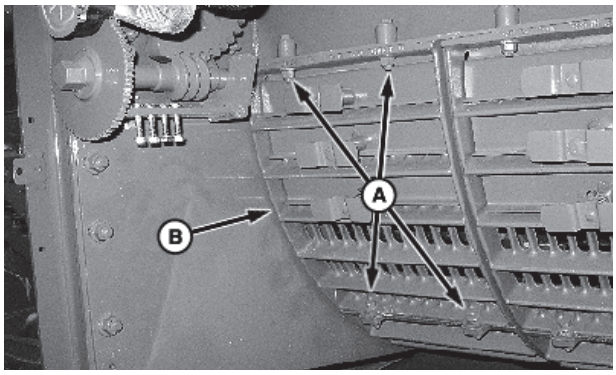
15. セパレータ格子 (B) を取り付けて、ボルト (A) で固定します。

16. ロータードライブギアケースを元の位置にシフトします。

17. 前の手順で取り外したセパレータ点検カバーとシールドを取り付けます。

18. キャビン内からコンケーブ位置を較正します。(詳細については、「較正手順」セクションを参照してください)。

A : ボルト (4 本使用)
B : セパレータ格子



OUO6075,0001802 -40-15MAY14-9/9

コンケーブの水平調整 (アクティブコンケーブの分離)

注記：コンケーブの水平調整を開始する前に、ラウンドバーコンケーブのカバー (取り付けられている場合) を取り外す必要があります。

1. エンジンを始動し、「Threshing Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチ (A) を押します。

2. プラス (+) またはマイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回して脱穀隙間を 0 に設定します。

注記：トールデンスパック脱穀タインまたはイネ脱穀エレメントを穀粒エレメントに交換した場合は、脱穀隙間を 15 に設定してください。

3. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキースイッチを ON にします。

A :「Threshing Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチ

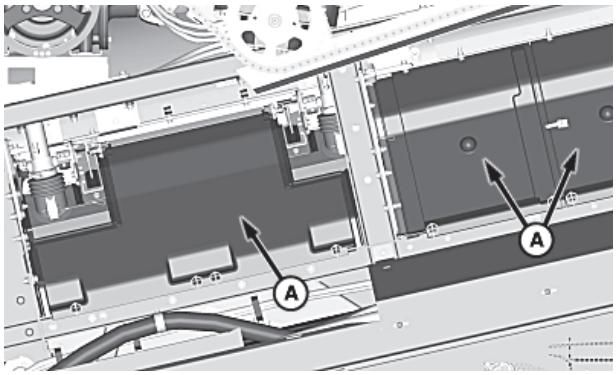
次のページへ

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-1/21

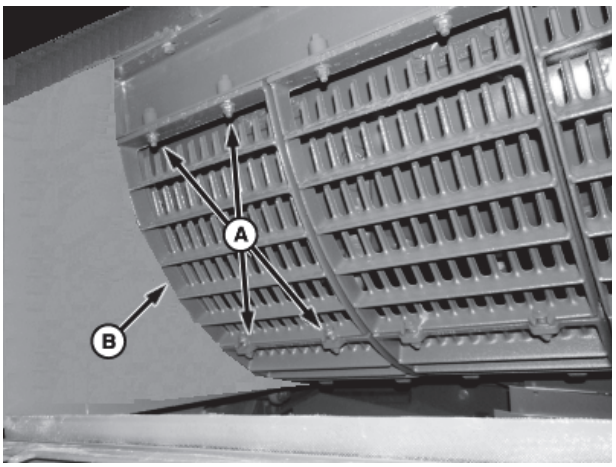
注記：必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。

4. セパレータ点検カバー (A) を取り外します。

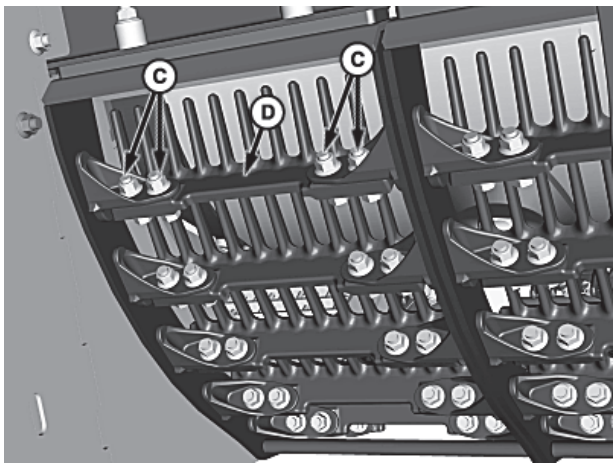
A：点検カバー



SS43267,00003E5 -40-22MAY14-2/21



標準鋳造セパレータ格子



ヘビーデューティセパレータ格子

A：ボルト (4 本使用)
B：セパレータ格子
C：ボルトとナット
D：セパレータ格子フィンガー

注記：セパレータ格子を取り外すと、ローターを回転させることができます。

5. ボルト (A) とセパレータ格子 (B) を取り外します。

注記：機械にヘビーデューティセパレータ格子が装備されている場合は、ボルトとナット (C) およびセパレータ格子フィンガー (D) を取り外します。

ロータを回転させるには、2 つ以上のセパレータ格子フィンガーを取り外す必要がある場合があります。

次のページへ

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-3/21

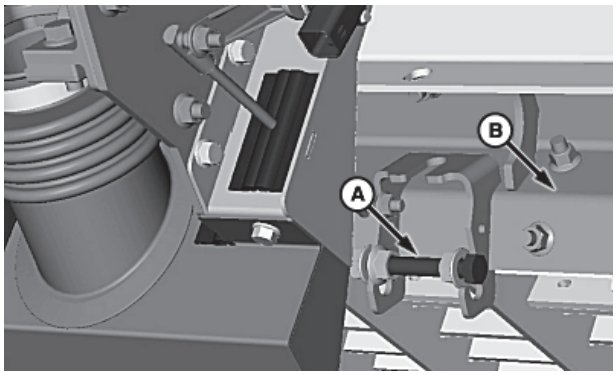
6. 「Z」バー (B) のブラケットからコンケーブ水平調整ボルト (A) を取り外し、レールを通して取り付けてコンケーブと「Z」バーアセンブリを保持します。

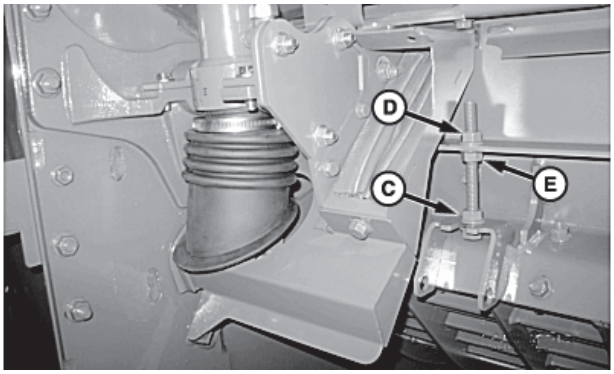
7. 「Z」バーブラケットに対してナット (C) を手締めし、両側でナット (D) をレールに対して少し締め付けます。

注記：コンケーブの重量を支えられる程度にナットを締め付けると、後にシリンダロッドからピンを取り外しやすくなります。

ゼロ調整のためにナット (E) とレールの間に適切な隙間があることを確認してください。レールに対してナットを完全に締め付けないでください。

A：水平調整ボルト (2 本使用)
B：「Z」バー
C：ナット (2 個使用)
D：ナット (2 個使用)
E：ナット (2 個使用)

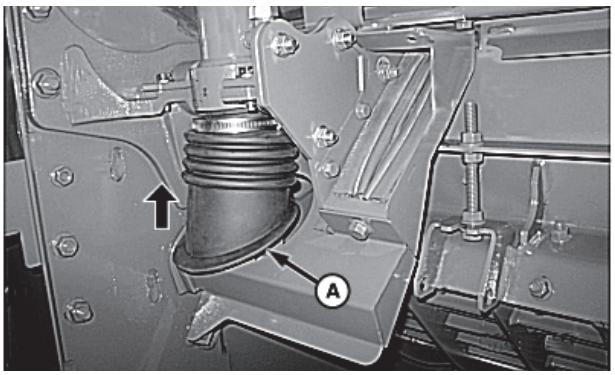




SS43267,00003E5 -40-22MAY14-4/21

8. ゴムシール (A) の差し込み口を取り外し、両方のシリンダを上げます。

A：ゴムシール (2 個使用)

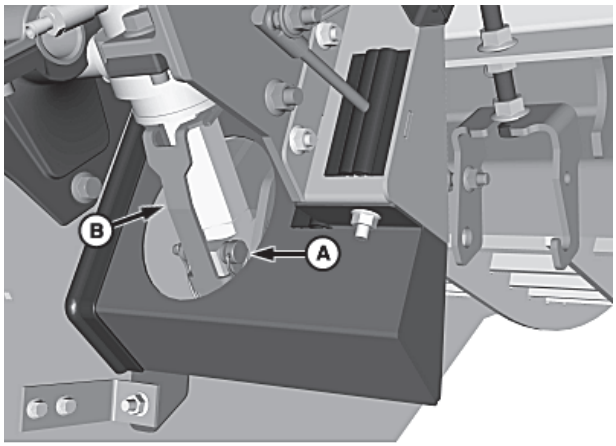


次のページへ

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-5/21

9. ピン (A) とシリンダ安全ストップ (B) を両方のシリンダで取り外します。

A : ピン (2 本使用)
B : シリンダ安全ストップ (2 個使用)

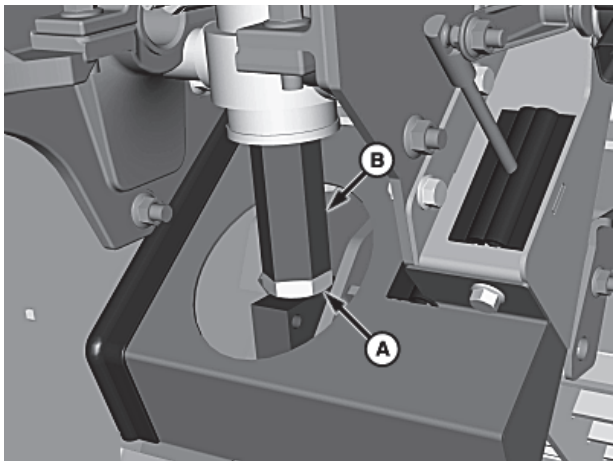


SS43267,00003E5 -40-22MAY14-6/21

10. 薄ナット (A) をシリンダストップ (B) から緩め、ストップを両方のシリンダロッドの上に下ろします。

注記 : 薄ナットとストップは、現在の位置から 15 mm (19/32 in) 以上下ろす必要があります。

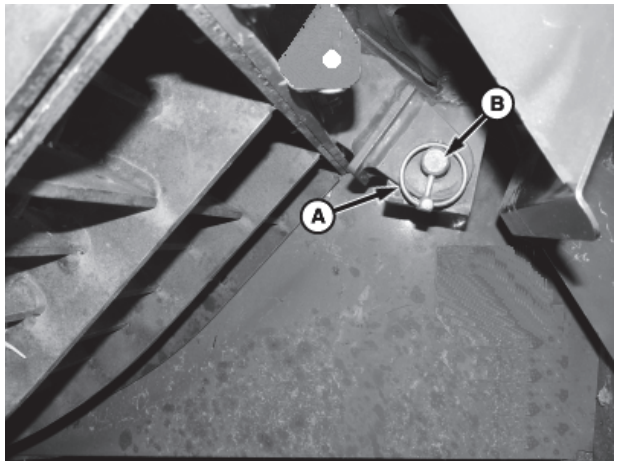
A : 薄ナット (2 個使用)
B : シリンダストップ (2 個使用)



SS43267,00003E5 -40-22MAY14-7/21

11. クイックロックピン (A) とピン (B) を両方のシリンダロッドから取り外します。

A : クイックロックピン (2 本使用)
B : ピン (2 本使用)



次のページへ

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-8/21

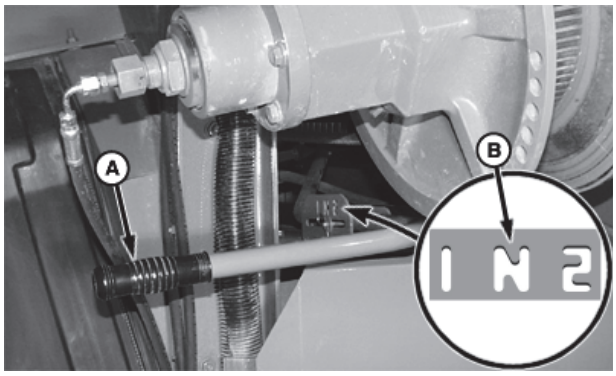
12. ハンドル (A) を動かして、ローターギアケースをニュートラル位置 (B) にシフトします。

13. ローターを反時計回りに回転させてリア水平調整ボルトを締め付けて、エレメントが「カチッ」と当たるまでコンケーブを上に引きます。「カチッ」と音がしたら、水平調整ボルトを完全に 3 回転させて戻します。

14. ローターを反時計回りに回転させてフロント水平調整ボルトを締め付けて、エレメントが「カチッ」と当たるまでコンケーブを上に引きます。「カチッ」と音がしたら、水平調整ボルトを完全に 3 回転させて戻します。

15. ローターを反時計回りにそのまま回転させてリア水平調整ボルトを締め付け、エレメントが「カチッ」と当たるまでコンケーブを上に引きます。「カチッ」と音がしたら、水平調整ボルトを完全に 1.5 回転させて戻します。

16. ローターを反時計回りにそのまま回転させてフロント水平調整ボルトを締め付け、エレメントが「カチッ」と当たるまでコンケーブを上に引きます。「カチッ」と音がしたら、水平調整ボルトを完全に 1.5 回転させて戻します。

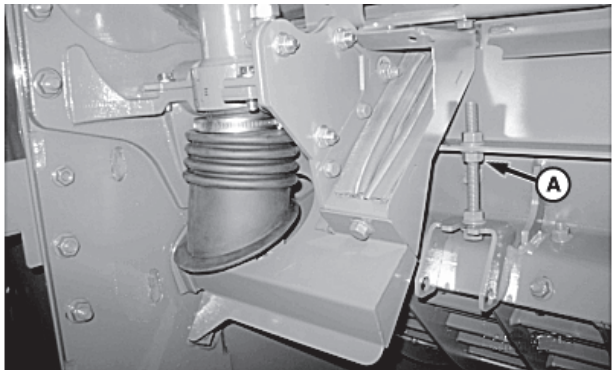


A : ハンドル　　**B : ニュートラル位置**

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-9/21

17. ナット (A) をレールに対して締め付け、コンケーブの所定の位置に固定しやすくします。

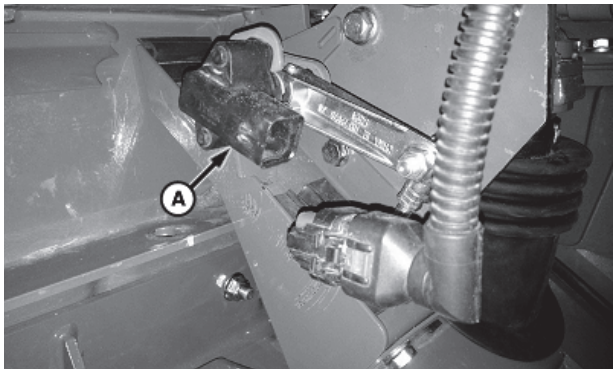
A : ナット



SS43267,00003E5 -40-22MAY14-10/21

18. コンケーブ位置決めセンサー (A) の接続を外して、システムを手動モードにします。

A : コンケーブ位置決めセンサー



次のページへ

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-11/21

19. キャビンの内側からエンジンを始動し、「Threshing Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチ (A) を押します。

20. シリンダがストップまで完全に収縮するまで、マイナス (-) 記号に触れるか、選択ダイヤルを回します。

注記：システムが手動モードであるため、脱穀隙間は表示されません。

21. 機械を OFF にしてからキースイッチを ON にします。

22. キャビン内から「**Concave Leveling** (コンケーブ水平調整)」較正に進みます。(詳細については、「較正手順」セクションを参照してください)。

23. ディスプレイに表示される指示に従って較正を実行します。

A：「Thresher Clearance Adjust (脱穀隙間調整)」スイッチ

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-12/21

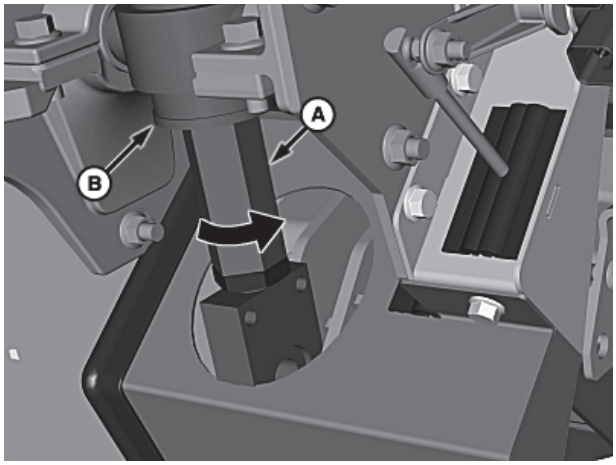
注記：キャビンの外で以下の手順を実行中は、キースイッチを ON のままにしておく必要があります。

24. 「**Concave Leveling** (コンケーブ水平調整)」較正の手順 3 中に、シリンダストップを正しく調整することが重要です。

25. 矢印の方向にシリンダストップ (A) を回します。

重要：ロッドを「Z」バーに整列させている時に、シリンダストップの上部がシリンダバレル (B) と接触していることが重要です。隙間がないようにする必要があります。隙間があった場合、セパレータが損傷する可能性があります。

A：シリンダストップ (2 個使用)
B：シリンダバレル (2 個使用)

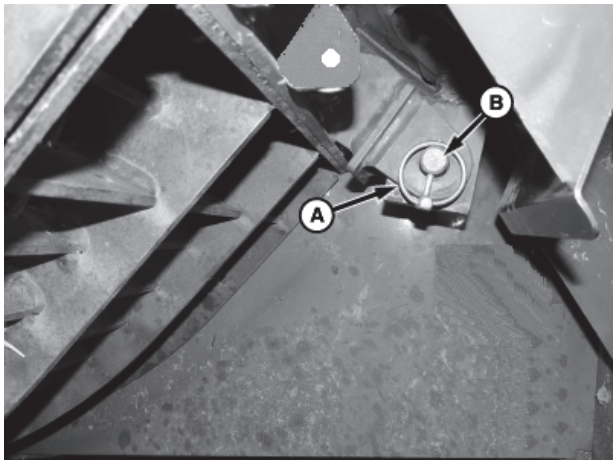


SS43267,00003E5 -40-22MAY14-13/21

重要：ピン (B) をシリンダロッドに無理に入れないでください。

26. シリンダストップを正しく調整した後、先に取り外したピン (B) を取り付け、クイックロックピン (A) で両方のシリンダに固定します。

A：クイックロックピン (2 本使用)
B：ピン (2 本使用)

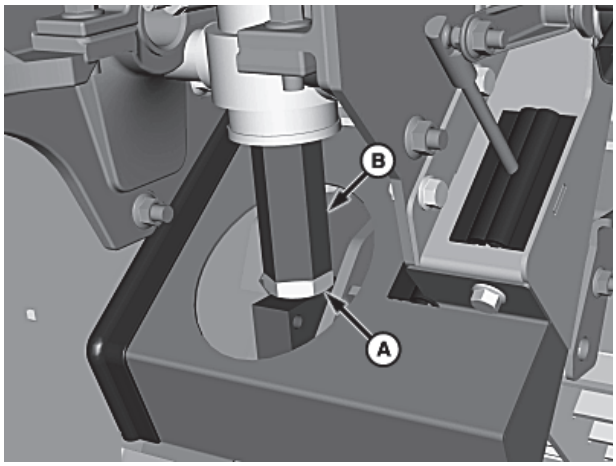


次のページへ

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-14/21

27. 各シリンダで、薄ナット (A) をシリンダストップ (B) に締め付けます。

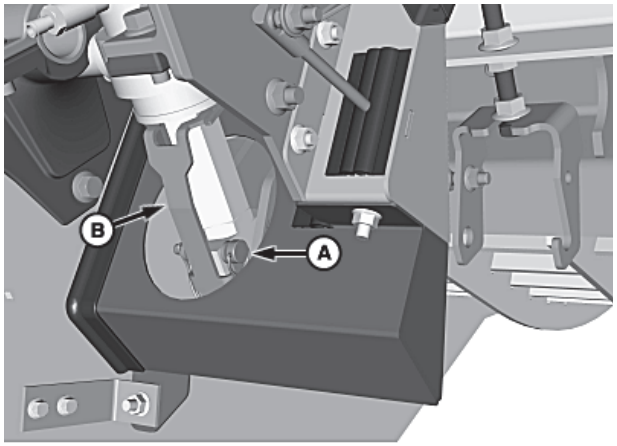
A : 薄ナット (2 個使用)
B : シリンダストップ (2 個使用)



SS43267,00003E5 -40-22MAY14-15/21

28. 各シリンダで、前の手順で取り外したシリンダ安全ストップ (B) とピン (A) を取り付けます。

A : ピン (2 本使用)
B : シリンダ安全ストップ (2 個使用)



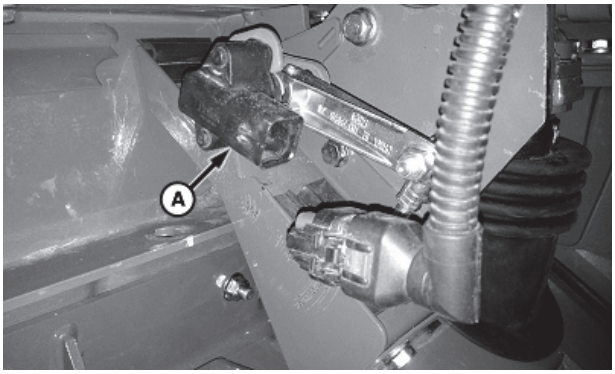
SS43267,00003E5 -40-22MAY14-16/21

29. コンケーブ位置決めセンサー (A) を接続します。

注記 : 水平調整ボルトは、「Z」バーブラケットとレールに締め付けたままにする必要があります。

30. 「**Concave Leveling** (コンケーブの水平調整)」較正の次の手順に進みます。

A : コンケーブ位置決めセンサー



次のページへ

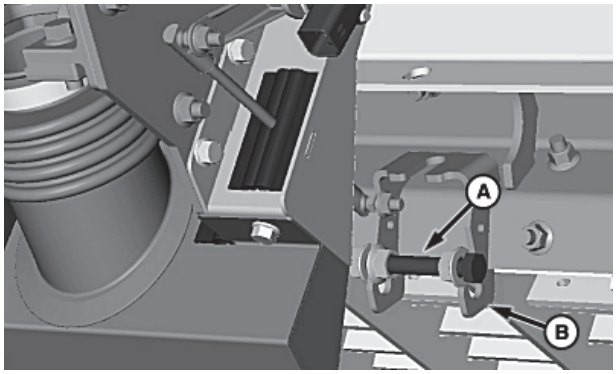
SS43267,00003E5 -40-22MAY14-17/21

31. 較正を受け入れた場合は、水平調整モードを終了し、キースイッチを OFF にして、水平調整ボルト (A) を取り外します。

32. 水平調整ボルトを保管ブラケット (B) に保管します。

33. エンジンを始動し、較正メニューに進み、「**Threshing Clearance** (脱穀隙間)」を較正します (詳細については、「較正手順」セクションを参照してください)。

重要：システムがコンケーブ水平調整位置に一致しないコンケーブルゼロ位置を検出したために、較正を中断することを通知する警告メッセージがディスプレイに表示されることがあります。この場合は、「Threshing Clearance (脱穀隙間)」較正を中断し、コンケーブ水平調整の手順を繰り返して「Threshing Clearance (脱穀隙間)」を再度較正してください。

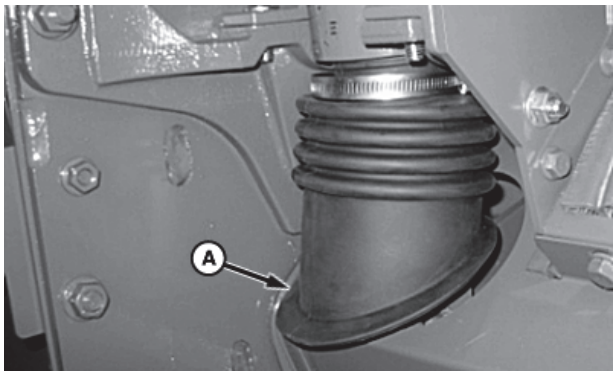


A：水平調整ボルト (2 本使用)　**B：保管ブラケット (2 個使用)**

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-18/21

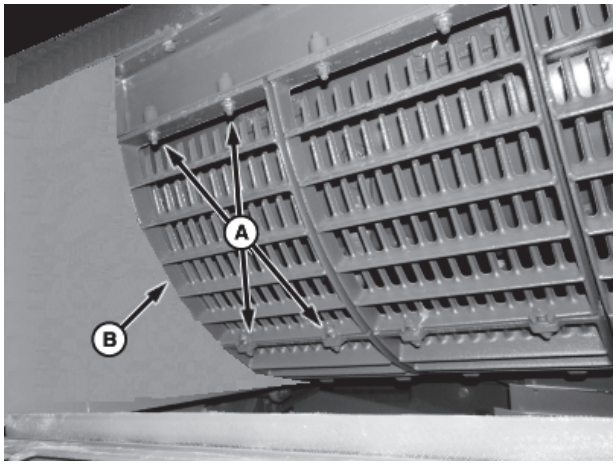
34. 両方のシリンダにゴムシール (A) の底部を取り付けます。

A：ゴムシール (2 個使用)

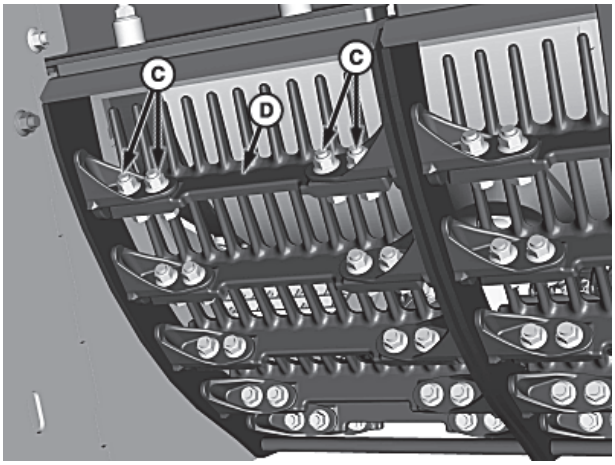


次のページへ

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-19/21



標準鋳造セパレータ格子



ヘビーデューティセパレータ格子

A : ボルト (4 本使用)
B : セパレータ格子
C : ボルトとナット
D : セパレータ格子フィンガー

35. セパレータ格子 (B) を取り付けて、ボルト (A) で固定します。

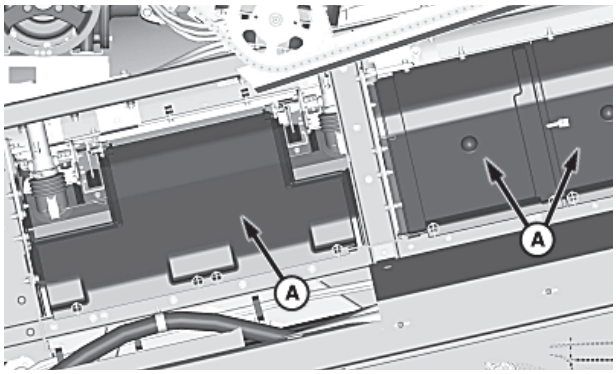
36. 機械にヘビーデューティセパレータ格子が装備されていた場合は、セパレータ格子フィンガー (D) とボルトおよびナット (C) を取り付けます。

37. ロータードライブギアケースを元の位置にシフトします。

SS43267,00003E5 -40-22MAY14-20/21

38. 前の手順で取り外したセパレータ点検カバー (A) とシールドを取り付けます。

A : 点検カバー



SS43267,00003E5 -40-22MAY14-21/21

セパレータトップカバー羽根 (装備されている場合)

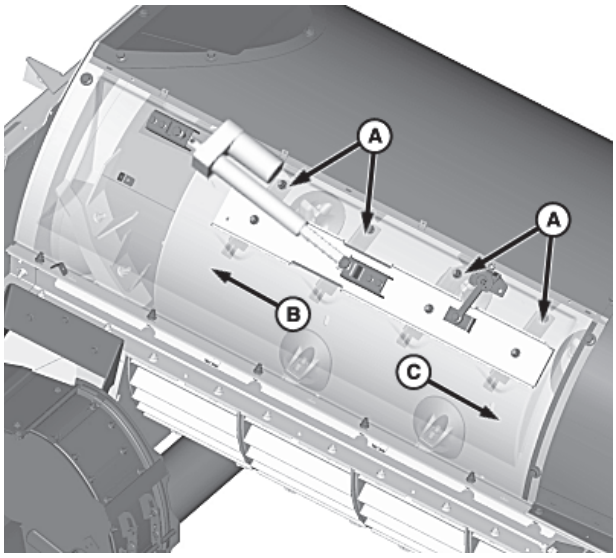
セパレータトップカバー羽根 (A) は機械の右側のクリーングレインローディングオーガの背後にあります。

セパレータトップカバー羽根はソフトウェアを介して 2 種類の位置に調整できます。

注記：セパレータ羽根を Advanced (進み側) 位置で運転すると、特定の作物や条件で穀粒ロスが増える場合があります。わら品質を改善するには、セパレータでの作物の滞留時間を減らします。

- (B)：進み側位置
- (C)：標準位置

ソフトウェアを介して位置を変更する方法の詳細については、「CommandCenter ディスプレイ画面」セクションの「残留物管理の設定」を参照してください。



A：セパレータトップカバー羽根　　C：標準位置
B：進み側位置

OUO6075,0000811 -40-12OCT10-1/1

脱穀エレメントおよびタイン (TriStream ローター)：取り外しと取り付け

重要：ローターはバランスの取れたアセンブリです。エレメントとタインはバランスを維持するために 3 個セットで交換する必要があります。交換キットは整備部品を通じて入手可能で、スレッドロッカーとシーラーが塗布された新品のボルトを付属しています。タインまたはエレメントが緩むと、機械が損傷する可能性があります。

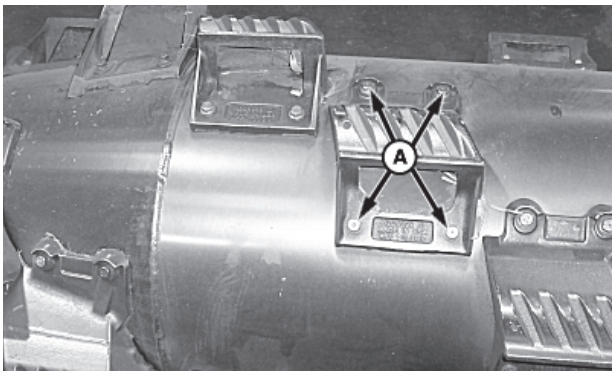
交換以外でタインまたはエレメントを取り外す必要がある場合は、取り外しの前のタイン／エレメントおよびローターの位置にマークを付けてください。取り外したときと同じ位置に取り付けてバランスを維持してください。必ず新品のボルトを使用してください。

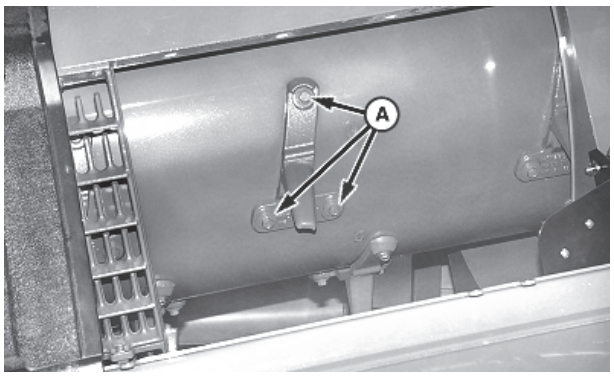
タインが破損または損傷したためにタインを交換する場合は、2 番物およびフロントクロスオーガを清掃してください。初回起動の前にこの清掃を怠ると、タインが破損して循環し、タインの破損が再発する可能性があります。

1. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。
2. 必要に応じてセパレータ格子またはコンケーブセクションを取り外してローターにアクセスします。

注記：機械のオプションに応じて、このセクションの以下の部分を参照してください。

- コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整)：取り外しと取り付け
- コンケーブセクション (アクティブコンケーブの分離)：取り外しと取り付け





A：ボルト

3. KXE10110 隙間ゲージを使用して、脱穀エレメントおよびセパレータタインの摩耗を点検します。
4. ボルト (A) と脱穀エレメントまたはタインを取り外します。

次のページへ

OUO6075,0001804 -40-13MAY14-1/2

5. RIVNUT® ねじ込みインサート (A) を点検します。損傷がある場合は、交換します。

6. 1 つのエレメントまたはタインを交換する必要がある場合は、そのグループのすべてのエレメントまたはタインを交換します。例：エレメント 2 を交換する必要がある場合は、エレメント 1 と 3 も交換します。

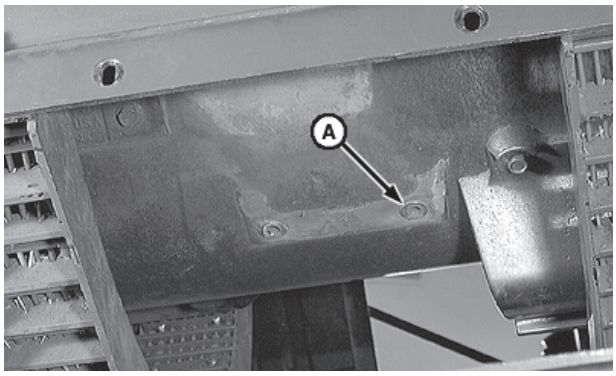
7. エレメントとタインを識別するには、脱穀エレメントおよびセパレータタインの位置図を参照してください。

8. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

脱穀エレメントと セパレータタインのボルト トルク	90 N•m (66 lb-ft)

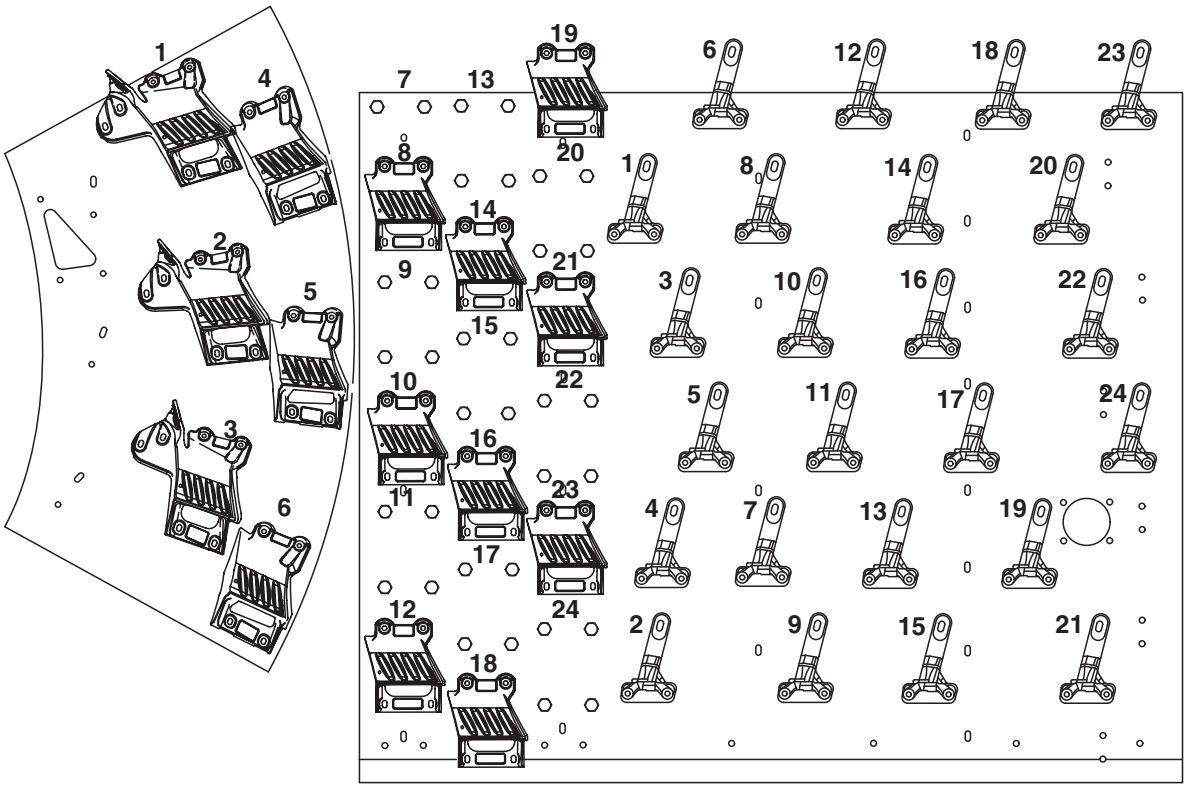
RIVNUT は RIVNUT Engineered Products Inc. の商標です。



A：ねじ込みインサート

OUO6075,0001804 -40-13MAY14-2/2

脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (TriStream ローラータフグレイン構成)

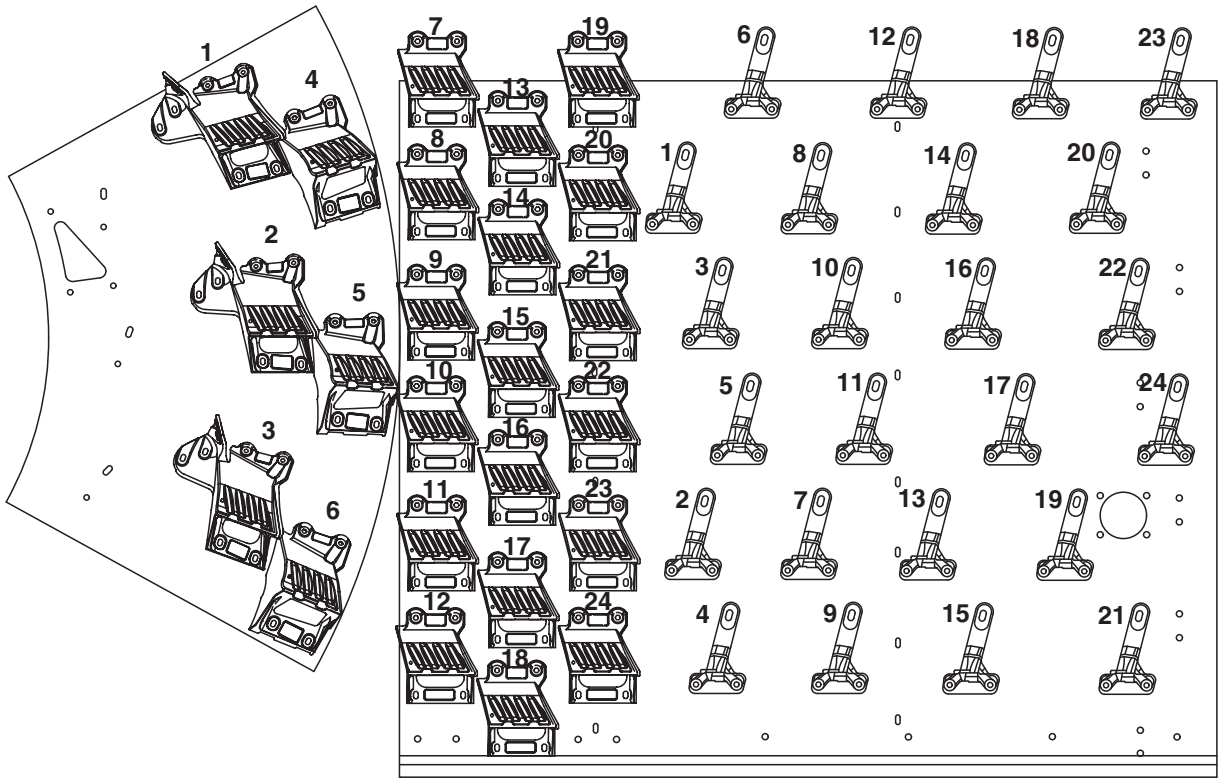


注記：密集配置 (デンス) パック構成が必要な場合は、追加のエレメントをタフグレイン構成のローターの「O」と刻印されている位置に追加できます。

脱穀エレメントグループ (タフグレインローター構成)	セパレータタイングループ (タフグレインローター構成)
グループ 1 エレメント = 1、2、3	**グループ 1 タイン =** 1、4、5
グループ 2 エレメント = 4、5、6	**グループ 2 タイン =** 2、3、6
グループ 3 エレメント = 8、10、12	**グループ 3 タイン =** 8、9、11
グループ 4 エレメント = 14、16、18	**グループ 4 タイン =** 7、10、12
グループ 5 エレメント = 19、21、23	**グループ 5 タイン =** 13、16、18
	グループ 6 タイン = 14、15、17
	グループ 7 タイン = 19、22、23
	グループ 8 タイン = 20、21、24

OUO6075,0000B81 -40-22MAR11-1/1

脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (TriStream ローターデンスパック構成)



注記：デンスマック較正は圃場での変換のみです。

脱穀エレメントグループ (デンスパックローター構成)	セパレータタイングループ (デンスパックローター構成)
グループ 1 エレメント = 1、2、3	**グループ 1 タイン =** 1、4、5
グループ 2 エレメント = 4、5、6	**グループ 2 タイン =** 2、3、6
グループ 3 エレメント = 7、9、11	**グループ 3 タイン =** 8、9、11
グループ 4 エレメント = 8、10、12	**グループ 4 タイン =** 7、10、12
グループ 5 エレメント = 13、15、17	**グループ 5 タイン =** 13、16、18
グループ 6 エレメント = 14、16、18	**グループ 6 タイン =** 14、15、17
グループ 7 エレメント = 19、21、23	**グループ 7 タイン =** 19、22、23
グループ 8 エレメント = 20、22、24	**グループ 8 タイン =** 20、21、24

OUO6075,0000B80 -40-22MAR11-1/1

脱穀エレメントおよびタイン (バリアブルストリームローター) : 取り外しと取り付け

脱穀エレメント

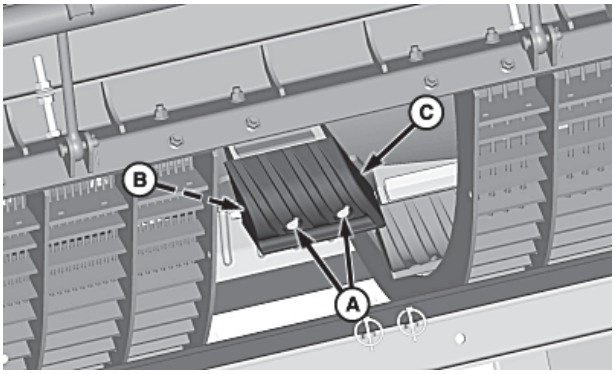
重要 : ローターはバランスの取れたアセンブリです。エレメントはバランスを維持するために 3 個のグループで交換する必要があります。複数のキットを取り付けるときは、エレメントを混合しないで一致させてください。交換キットは整備部品を通じて入手可能で、スレッドロッカーとシーラーが塗布された新品のボルトを付属しています。必ず付属のボルトを使用してください。エレメントが緩むと、機械が損傷する可能性があります。

1. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

2. 必要に応じて、コンケーブセクションを取り外して脱穀エレメントにアクセスします。

注記 : 機械のオプションに応じて、このセクションの以下の部分を参照してください。

- コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整) : 取り外しと取り付け
- コンケーブセクション (アクティブコンケーブの分離) : 取り外しと取り付け



A : ボルト
B : ねじ加工されたストラップ
C : 脱穀エレメント

3. KXE10110 隙間ゲージを使用して、脱穀エレメントの摩耗を点検します。

4. ボルト (A) を取り外して廃棄し、脱穀エレメント (C) からねじ加工されたストラップ (B) を外して必要に応じて保管します。

次のページへ

5. 交換用脱穀エレメント (A) をローターベースに取り付けます。(脱穀エレメント位置の図を使用して、脱穀エレメントを識別してください)。

脱穀エレメントグループ
グループ 1 エレメント = 1、2、3
グループ 2 エレメント = 4、5、6
グループ 3 エレメント = 7、8、9
グループ 4 エレメント = 10、11、12
グループ 5 エレメント = 13、14、15

6. エレメントボス (B) がローターベース穴 (C) を通って完全に密着していることを確認してください。

7. 前の手順で取り外したねじ加工されたストラップ (D) と付属のボルト (E) を取り付けます。

8. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

脱穀エレメントのボルトトルク .....87 ± 9 N•m (64 ± 7 lb-ft)

重要：締め付け後、エレメントが正しく密着していることを確認してください。

イネ脱穀エレメントの高さはトウモロコシ／穀粒エレメントよりも高いです。コンケーブ水平調整を調整する必要があります。

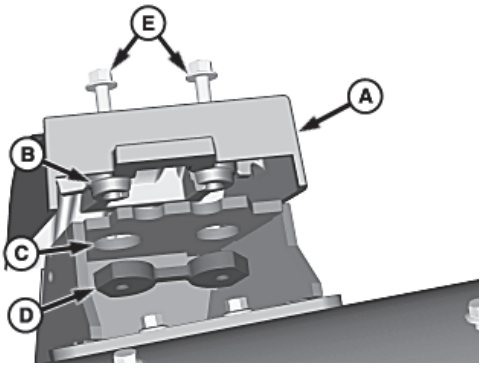
9. コンケーブルの水平度を調整します。(このセクションの「コンケーブの水平調整」を参照してください)。

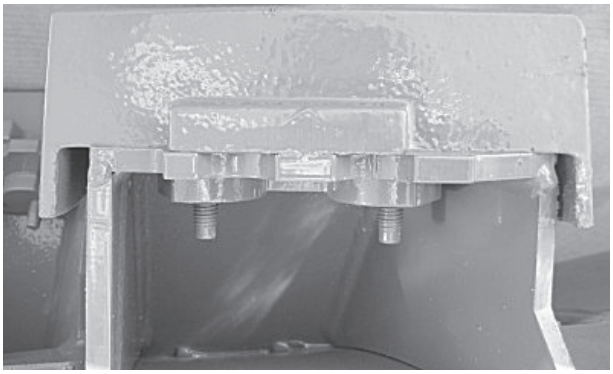
10. コンケーブルの水平度を調整します。

注記：機械のオプションに応じて、このセクションの以下の部分を参照してください。

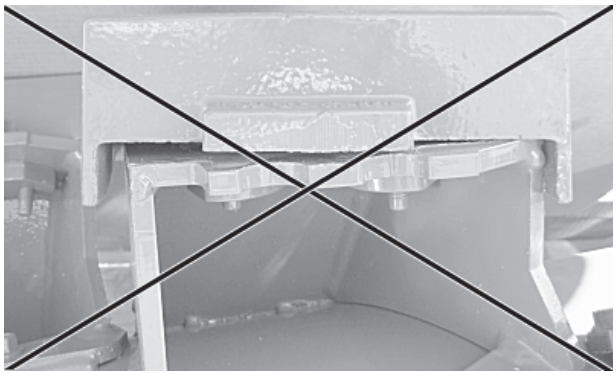
- コンケーブの水平調整 (標準型コンケーブの調整)
- コンケーブの水平調整 (アクティブコンケーブの分離)

A：脱穀エレメント
B：エレメントボス
C：ローターベース穴
D：ねじ加工されたストラップ
E：ボルト





完全に密着した状態



完全に密着していない状態

次のページへ

セパレータタイン

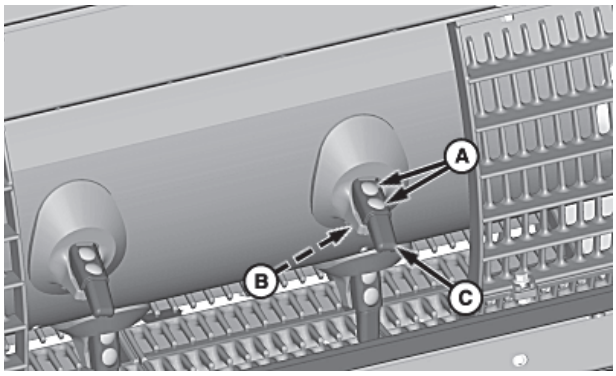
重要：ローターはバランスの取れたアセンブリです。タインはバランスを維持するためにペアで交換する必要があります。複数のキットを取り付けるときは、タインを混合しないで一致させてください。必ず付属のボルトを使用してください。タインが緩むと、機械が損傷する可能性があります。

1. 必要に応じてセパレータ格子を取り外してセパレータタインにアクセスします。

注記：機械のオプションに応じて、このセクションの以下の部分を参照してください。

- コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整)：取り外しと取り付け
- コンケーブセクション (アクティブコンケーブの分離)：取り外しと取り付け

2. KXE10110 隙間ゲージを使用して、セパレータタインの摩耗を点検します。



A：丸頭ボルト
B：ロックナット (2 個使用)
C：セパレータタイン

注記：取り外しを容易にするために、ローターギアケースをニュートラル位置にシフトします。

3. 必要に応じて、丸頭ボルト (A)、ナット (B)、セパレータタイン (C) を取り外して廃棄します。

OUO6075,0001805 -40-13MAY14-3/4

重要：セパレータタインは、適切なバランスを維持するためにペアで交換する必要があります。

セパレータタインのペア	
1-2	11-12
3-4	13-14
5-6	15-16
7-8	17-18
9-10	19-20

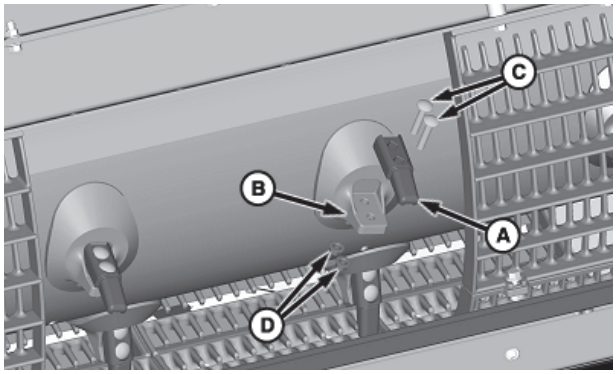
4. 付属のセパレータタイン (A) をローターベース (B) に取り付けます。(セパレータタイン位置図を使用してセパレータタインを識別します)。

5. 付属の丸頭ボルト (C) を取り付けてナット (D) で固定します。

6. 規定のトルクでナットを締め付けます。

仕様

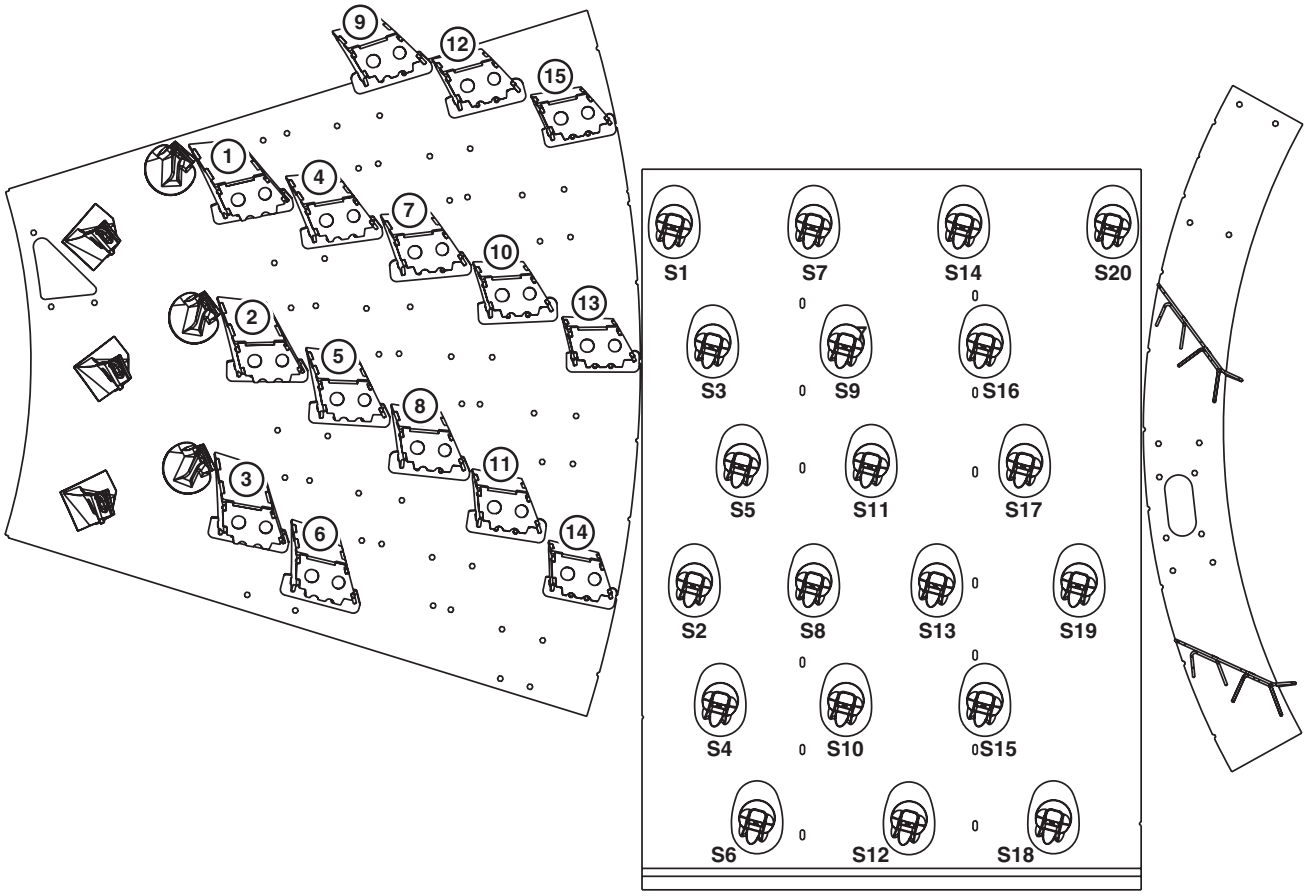
タインのボルト
トルク ..... 75 ± 11 N•m
(55 ± 8 lb-ft)



A：セパレータタイン
B：ローターベース
C：丸頭ボルト
D：ナット

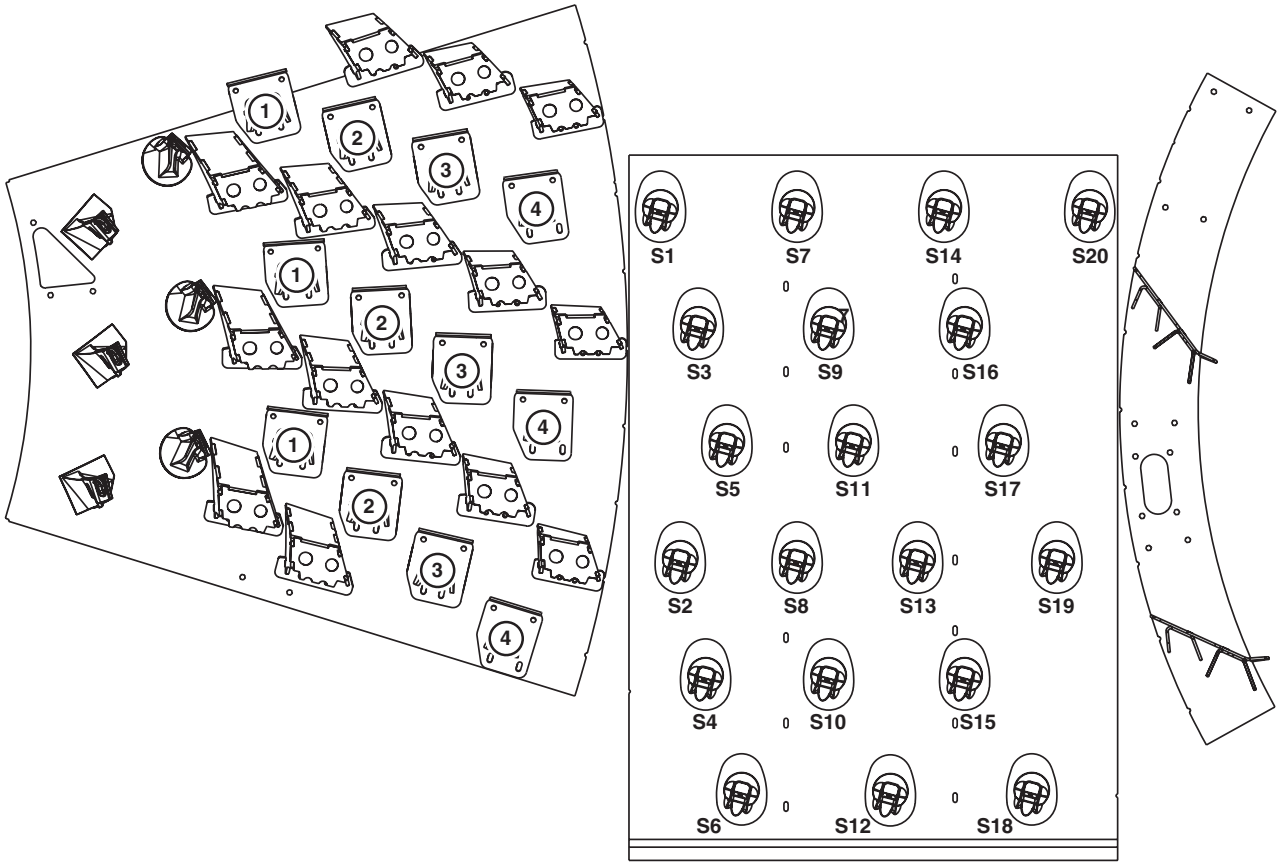
OUO6075,0001805 -40-13MAY14-4/4

脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (バリアブルストリームローター標準構成)



OUO6075,0000B83 -40-07APR11-1/1

脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成)



OUO6075,0000B84 -40-07APR11-1/1

Posi-Torq™ セパレータ：デュアルレンジ

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：大粒の種子作物では、設定可能な最低の速度を使用して破損を防止します。

低速から高速または高速から低速にシフトするには、ハンドル (A) をデテントのニュートラル位置に動かします。

低速位置 (B) の場合は、ハンドルをセパレータサイドシートに向けて押します。

高速位置 (C) の場合は、ハンドルをセパレータサイドシートから離れる方向に引きます。

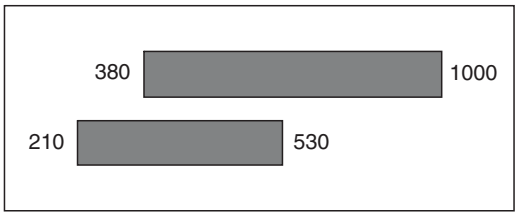
ドライブを完全に接続するには、シフトハンドルを動かしながらバリアブルシーブを少し回転させる必要がある場合があります。

注記：ギアが完全にかみ合っていることを確認します。

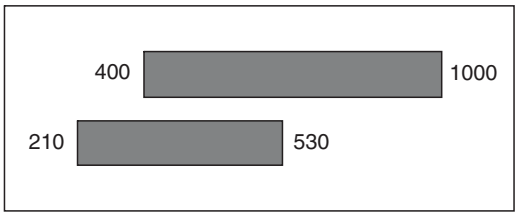
セパレータ回転数を変更するときは、電源の ON と OFF を入れ直して新しい回転数範囲が認識されていることを確認してください。

530 rpm 未満で長時間運転している場合は、低速にシフトします。

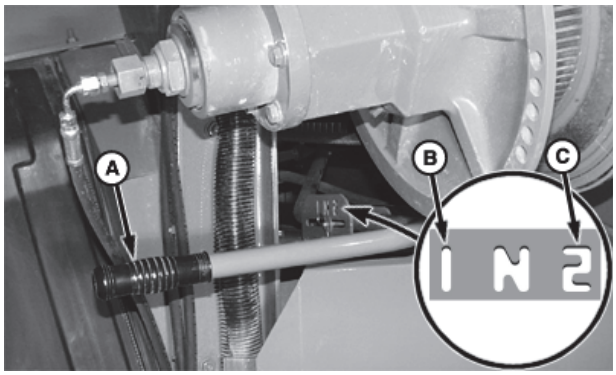
A：ハンドル
B：低速位置 (1)
C：高速位置 (2)



速度範囲 (S660)



速度範囲 (S670、S680、S685、S690)



Posi-Torq は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001527 -40-18JUN13-1/1

セパレータ ドライブシーブ隙間：調整

重要：隙間が 10 mm (3/8 in) を超えた場合、シーブの移動量が制限されます。ドライブがバリアブルドライブレンジの上限で運転された場合、以下に示す故障が発生することがあります。

- **ベルトの伸びまたは故障**
- **ベアリングまたはシャフトの故障**

隙間が 6 mm (1/4 in) 未満の場合、トルクセンシングが制限されます。ドライブがバリアブルレンジの下限で運転された場合、以下に示す故障が発生することがあります。

- **ベルトの故障**
- **ベルトの滑り**

バリアブルドライブレンジの上限で運転中に高速を得られない場合、またはバリアブルドライブの下限で運転中にベルトの滑りが発生する場合は、隙間が不適切でないか点検してください。最高の性能を得るには、隙間を仕様値に設定してください。

仕様

シーブ
隙間.....8 mm ± 2 mm
(5/16 in ± 1/16 in)

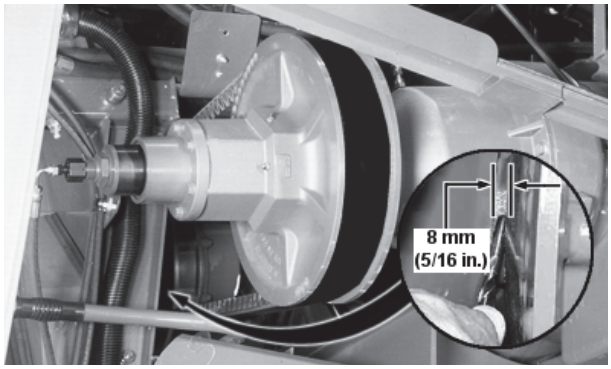
セパレータを接続した状態でセパレータ ドライブを最低速度に設定すると、従動シーブが閉じます。

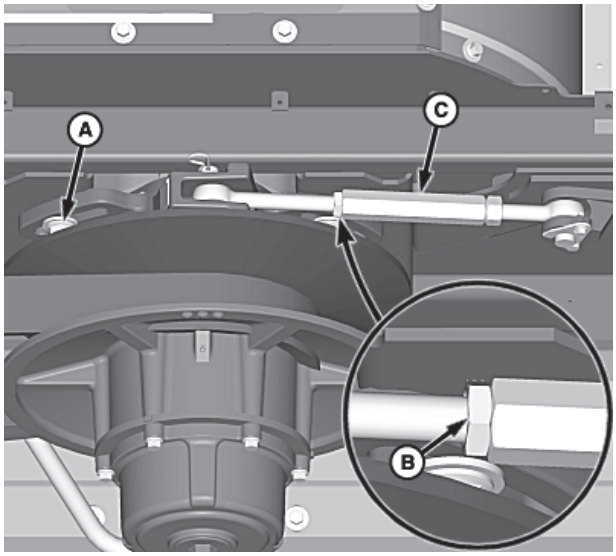
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ギアケースの周囲のボルト (A) を緩めます。

注記：ギアケースをニュートラルにシフトして、ベルトをシーブ間に正しく密着させます。ターンバックルを調整しながらシーブを手動で回転させます。

ナット (B) を緩めてターンバックル (C) を調整し、従動シーブ間の隙間を指定されている値に設定します。





A：ボルト (4 個使用)
B：ナット
C：ターンバックル

仕様

シーブ
隙間.....8 mm
(5/16 in)

ナット (B) とボルト (A) 締め付けます。

ギアケースを必要な速度レンジにシフトします。

OUO6075,0000BE3 -40-27APR11-1/1

セパレータバリアブルドライブベルト：交換

セパレータを接続した状態でセパレータドライブを最低速度に設定すると、従動シーブが閉じます。

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ギアケースをニュートラル位置にシフトします。

レンチ 2 個を使用して回転式油圧カップリングの位置でホース (A) を外します。

プラグ (B) を清掃して取り外し、グリースキャビティの真空を解放します。

ドライバーシーブをこじて完全に開きます。

注記：必要に応じて、セパレータバリアブルドライブベルトにアクセスできるようにシールドを取り外します。

ギアケースの周囲のボルト (C) を緩めます。

ナット (D) を緩めてターンバックル (E) を調整し、ギアケースとシーブアセンブリを左へ動かします。

ベルトを取り外して交換します。プーリーを手で回してベルトを密着させます。

プーリーを回してターンバックルを調整して、従動シーブ間の隙間を指定されている値に設定します。

仕様

シーブ隙間	8 mm (5/16 in)

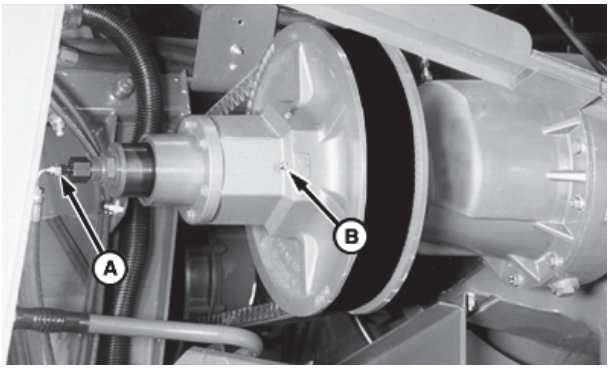
ナット (D) とボルト (C) を締め付けます。

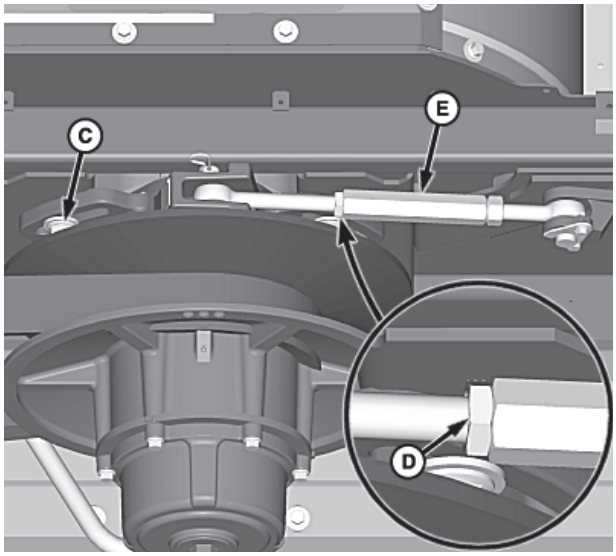
注記：前の手順でセパレータバリアブルドライブベルトにアクセスできるように取り外したシールドを取り付けます。

ドライバーシーブにプラグ (B) と油圧ホース (A) を取り付けます。

ギアケースを必要な速度レンジにシフトします。

エンジンを始動し、セパレータを接続します。バリアブルドライブを速度レンジに複数回入れ直します。セパレータドライブの接続を解除します。





A：ホース
B：プラグ
C：ボルト (4 本使用)
D：ナット
E：ターンバックル

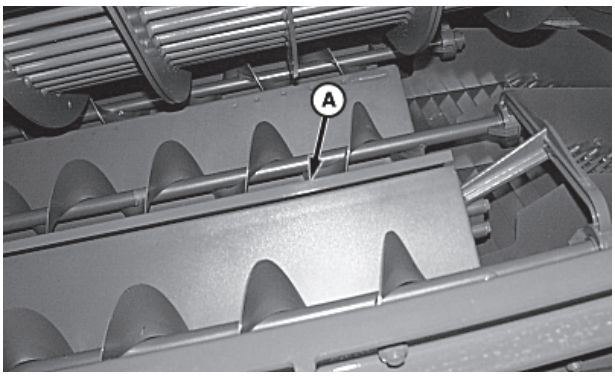
注記：数時間後、シーブ隙間をもう一度点検し、必要に応じて調整します。

OUO6075,0000BE4 -40-27APR11-1/1

オーガーベッドディバイダー

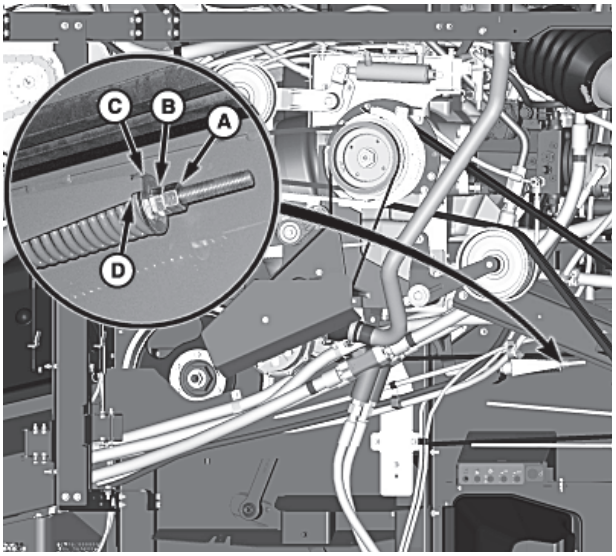
傾斜地での収穫中に、高い種子ロスや片側への材料の堆積を防止するには、オーガーベッドディバイダー (A) を上方向に動かします。

A：オーガーベッドディバイダー

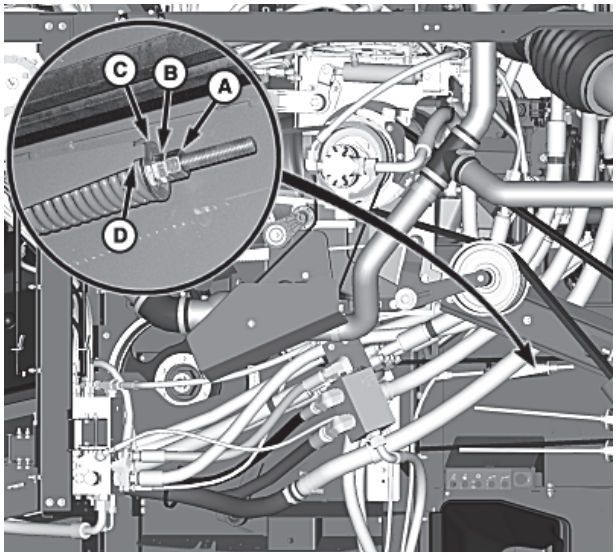


OUO6075,0000755 -40-20MAR07-1/1

ディスチャージビーターベルト：調整



S660、S670



S680、S685、S690

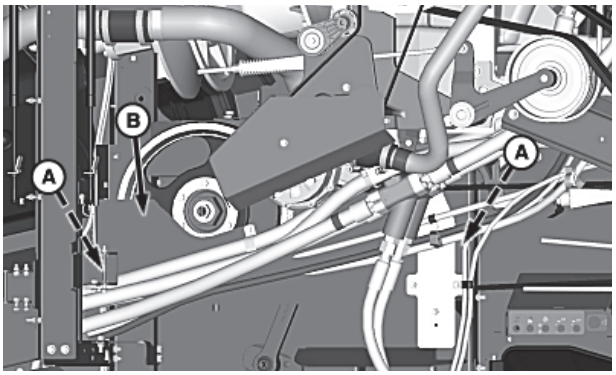
A：ナット **B：ナット** **C：座金** **D：ゲージ**

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

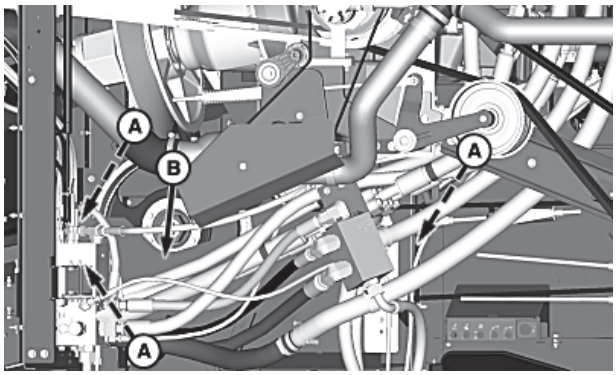
座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0001528 -40-18JUN13-1/1

ディスチャージビーターベルト：交換



S660、S670



S680、S685、S690

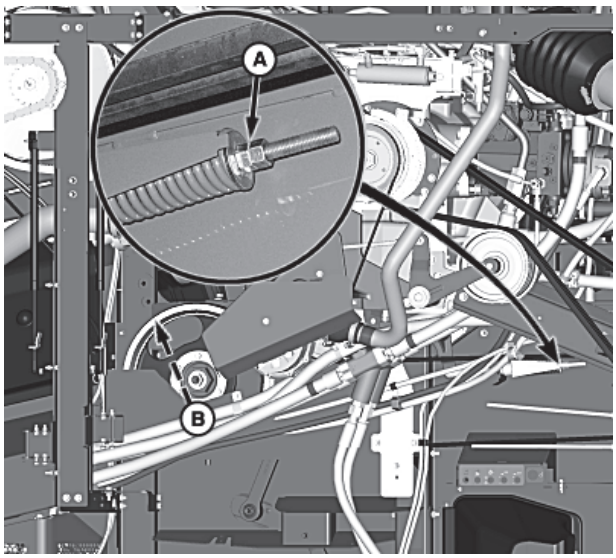
A：ボルト **B：シールド**

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

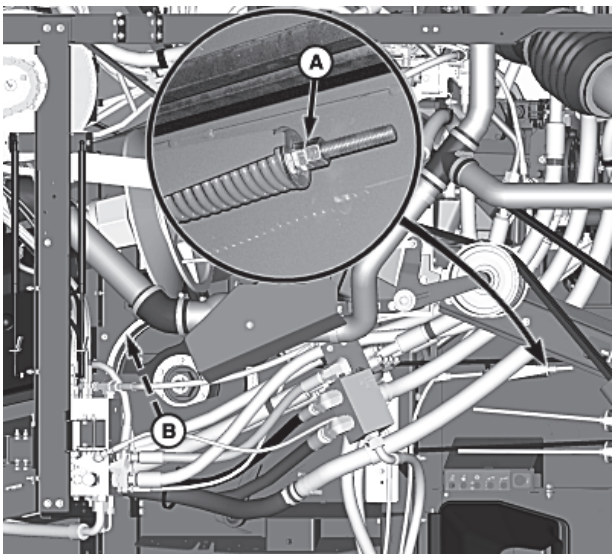
機械の左後部からボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

次のページへ

OUO6075,0001529 -40-18JUN13-1/8



S660、S670



S680、S685、S690

A：ナット　　**B：ディスチャージビーターベルト**

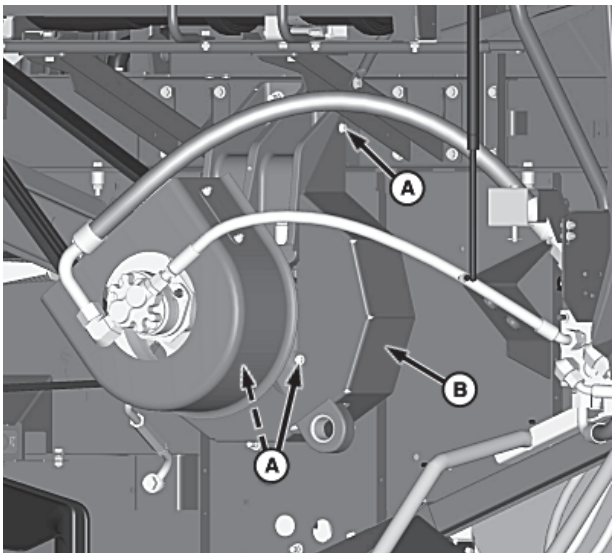
ナット (A) を緩めてシーブからベルト (B) を取り外します。

OUO6075,0001529 -40-18JUN13-2/8

スプレッダー装備の機械

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト
B：シールド



次のページへ

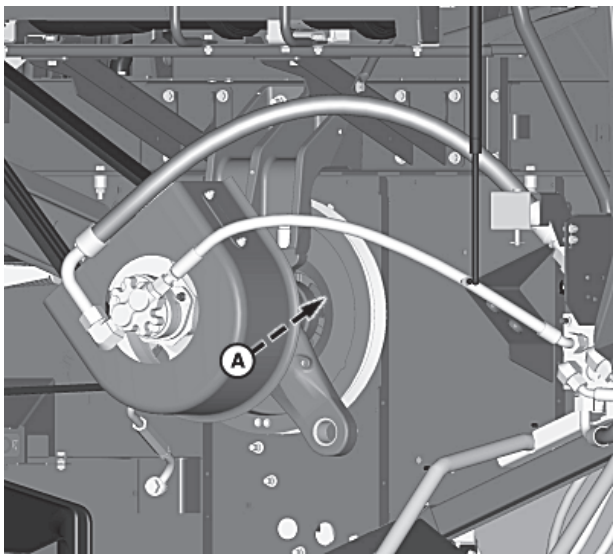
OUO6075,0001529 -40-18JUN13-3/8

ジャックシャフトからベルト (A) を取り外して廃棄します。

交換用ディスチャージビーターベルトをジャックシャフトに取り付けます。

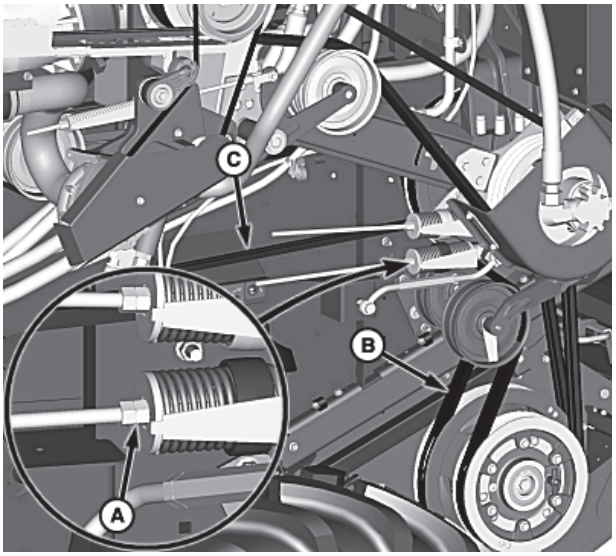
前の手順で取り外したシールドとボルトを取り付けます。

A : ディスチャージビーターベルト

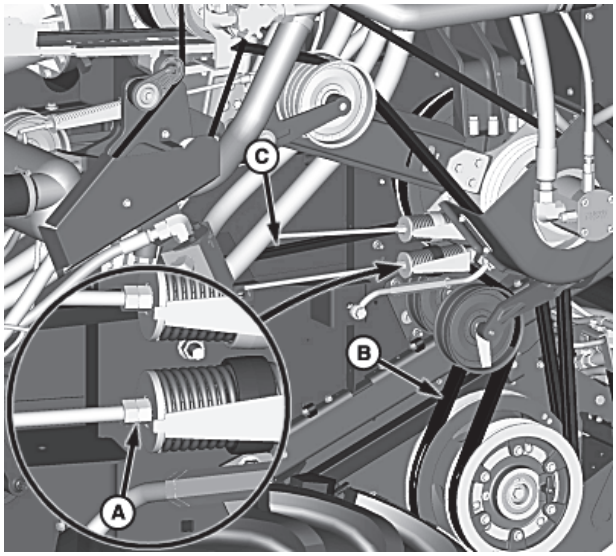


OUO6075,0001529 -40-18JUN13-4/8

チョッパー装備の機械



S660、S670



S680、S685、S690

A : ナット **B : 内側チョッパードライブベルト** **C : ディスチャージビーターベルト**

左サイドシートのスイッチを使用してチョッパーアセンブリを完全に上昇させ、チョッパーシールドを取り外します。

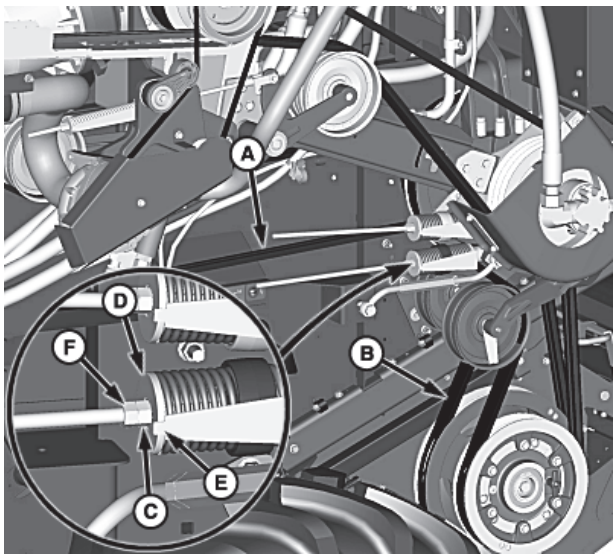
注記：再組み付けを容易にできるように、テンショナナットを緩める前にその位置に印を付けます。

ナット (A) を緩めてシーブから内側ベルト (B) を取り外します。

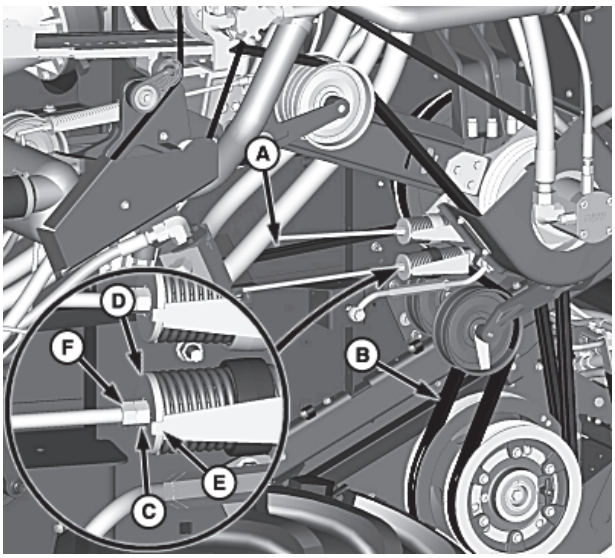
チョッパージャックシャフトからベルト (C) を取り外して廃棄します。

次のページへ

OUO6075,0001529 -40-18JUN13-5/8



S660、S670



S680、S685、S690

A : ディスチャージビーターベルト
B : 内側チョッパードライブベルト
C : ナット
D : 座金
E : ゲージ
F : ロックナット

交換用ディスチャージビーターベルト (A) をチョッパージャックシャフトに取り付けます。

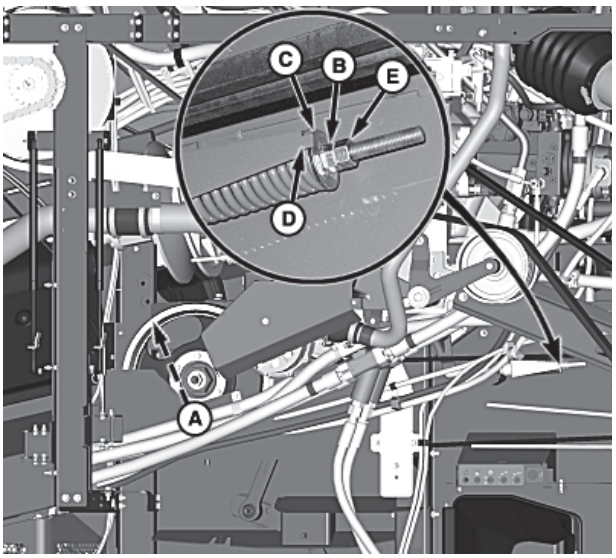
内側ベルト (B) を取り付けてベルトがシーブと整列していることを確認します。

左サイドシートのスイッチを使用してチョッパーアセンブリを完全に下降させます。

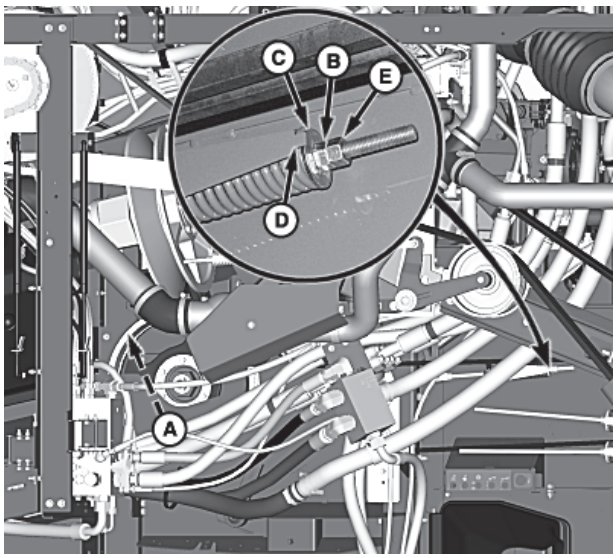
座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

前の手順で取り外したチョッパーシールドを取り付けます。

次のページへ



S660、S670



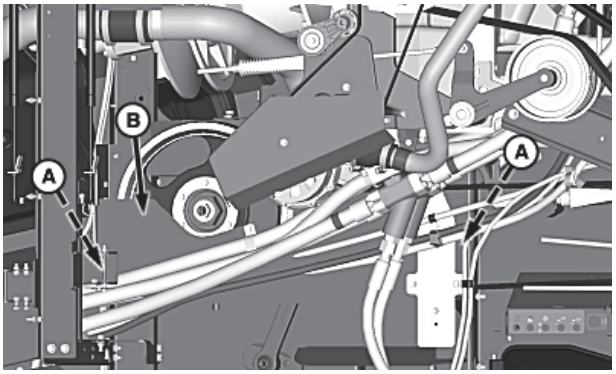
S680、S685、S690

A：ディスチャージビーターベルト
B：ナット
C：座金
D：ゲージ
E：ロックナット

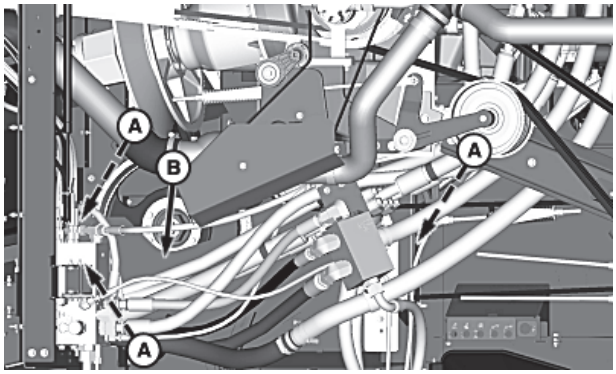
ディスチャージビーターベルト (A) をシーブに取り付けます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナット (E) を締め付けます。

OUO6075,0001529 -40-18JUN13-7/8



S660、S670



S680、S685、S690

A：ボルト
B：シールド

シールド (B) を取り付けてボルト (A) で固定します。

OUO6075,0001529 -40-18JUN13-8/8

ディスチャージビーター摩耗ストリップ：交換 (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：摩耗ストリップは反転させて、さらに使用することができます。

ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップはディスチャージビーターを取り外さないで交換できます。

注記：ディスチャージビーターを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、ディスチャージビーターの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

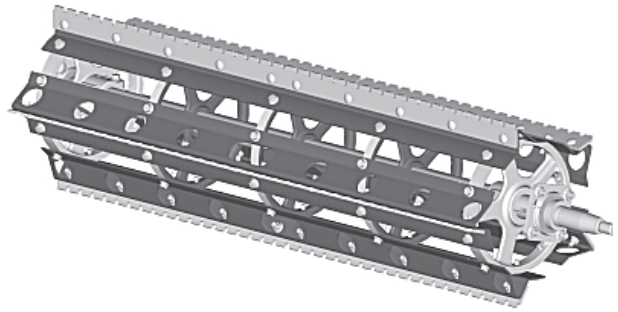
仕様

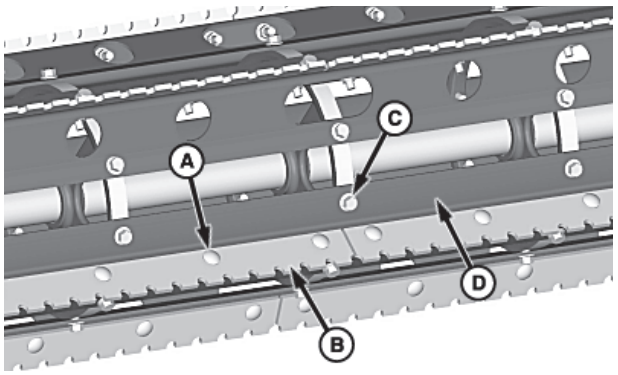
ディスチャージビーター摩耗ストリップの丸頭ボルトトルク	70 N•m (52 lb-ft)

必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、ディスチャージビーターウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ディスチャージビーターウイングのボルトトルク	70 N•m (52 lb-ft)





A：丸頭ボルト
B：ディスチャージビーター摩耗ストリップ
C：ボルト
D：ディスチャージビーターウイング

OUO6075,0001725 -40-14JAN14-1/1

標準ディスチャージビーター摩耗ストリップ：交換 (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：摩耗ストリップは反転させて、さらに使用することができます。

ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップはディスチャージビーターを取り外さないで交換できます。ディスチャージビーターウイングは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記：ディスチャージビーターを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、ディスチャージビーターの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

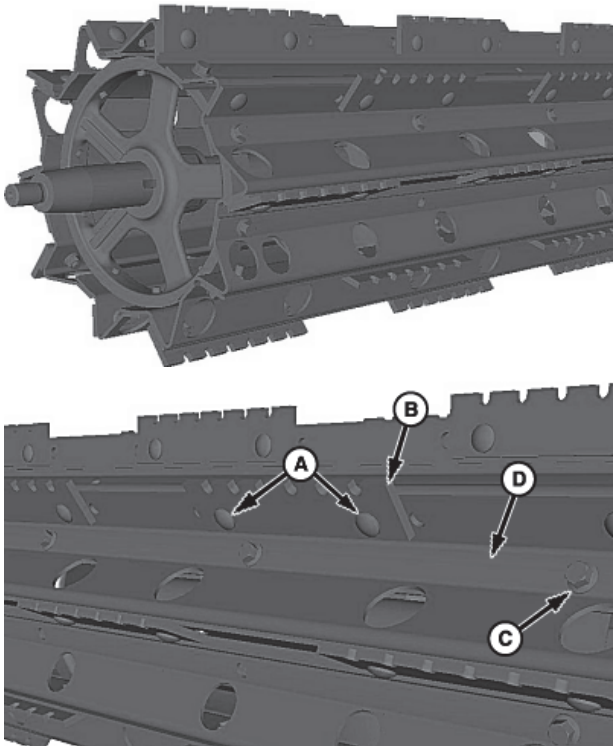
仕様

ディスチャージビーター
摩耗ストリップの丸頭ボルト
トルク .....70 N•m (52 lb-ft)

必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、ディスチャージビーターウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ディスチャージビーターウイングの
ボルト
トルク .....70 N•m (52 lb-ft)



ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップ (標準)

A：丸頭ボルト
B：ディスチャージビーター摩耗ストリップ
C：ボルト
D：ディスチャージビーターウイング

OUO6075,0001728 -40-14JAN14-1/1

難脱穀性作物用ディスチャージビーター摩耗ストリップ：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップはディスチャージビーターを取り外さないで交換できます。ディスチャージビーターウイングは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記：ディスチャージビーターを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

ディスチャージビーターの摩耗ストリップを交換するときは、必ず金具を交換してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、ディスチャージビーターの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

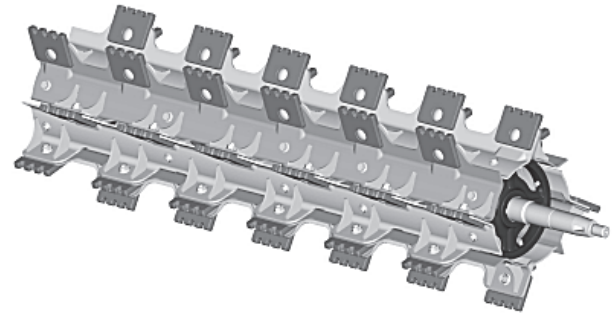
仕様

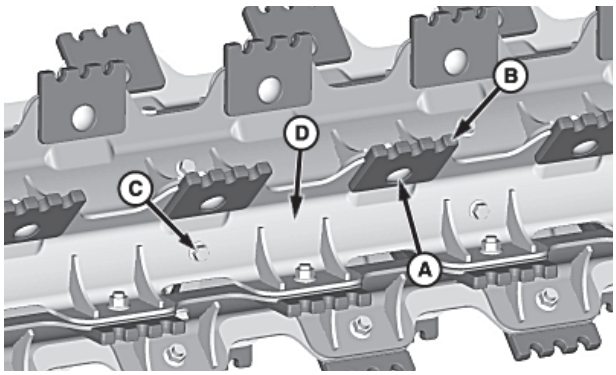
ディスチャージビーター
摩耗ストリップの丸頭ボルト
トルク .....130 N•m (96 lb-ft)

必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、ディスチャージビーターウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ディスチャージビーター
ウイングのボルト
トルク .....70 N•m (52 lb-ft)





ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップ (難脱穀性作物用)

A：丸頭ボルト
B：ディスチャージビーター摩耗ストリップ
C：ボルト
D：ディスチャージビーターウイング

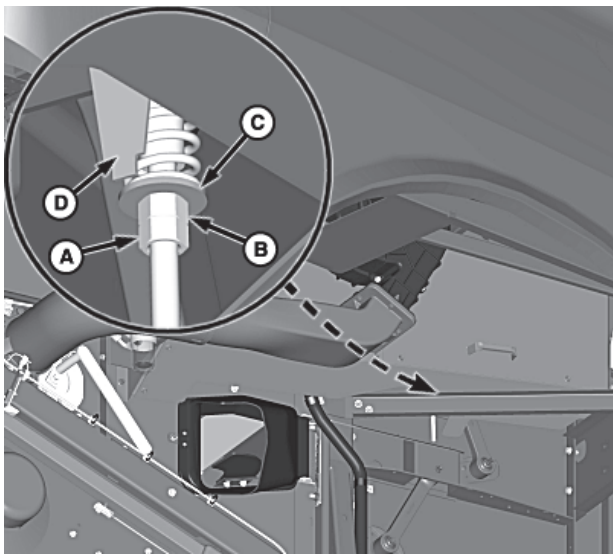
OUO6075,000171B -40-14JAN14-1/1

オーバーショットビーターベルト (装備されている場合)：調整 (S670、S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ



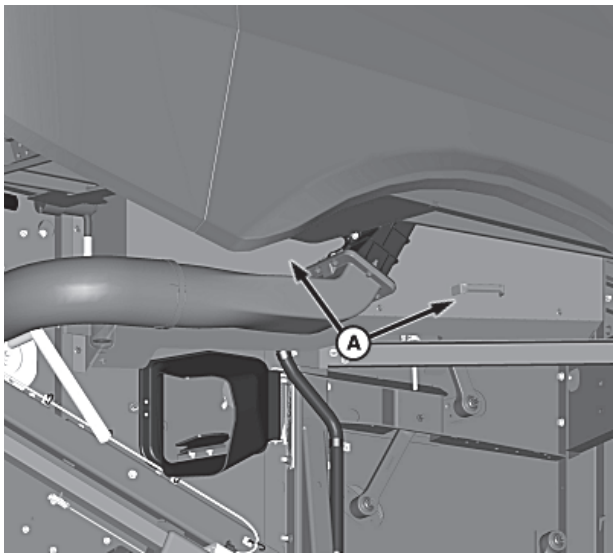
OUO6075,0001225 -40-09OCT12-1/1

オーバーショットビーターベルト (装備されている場合) : 交換 (S670、S680、S685、S690)

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

機械の右後部からボルトとシールド (A) を取り外します。

A : シールド



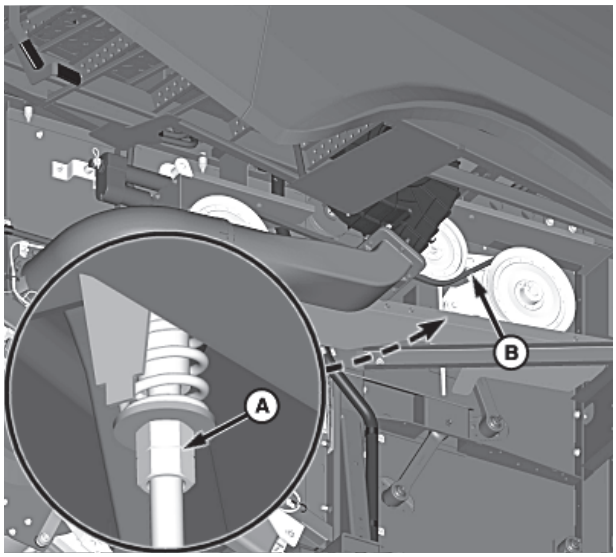
OUO6075,0001226 -40-09OCT12-1/2

ナット (A) を緩めてシーブからベルト (B) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。ロックナットを締め付けます。

シールドを取り付けてボルトで固定します。

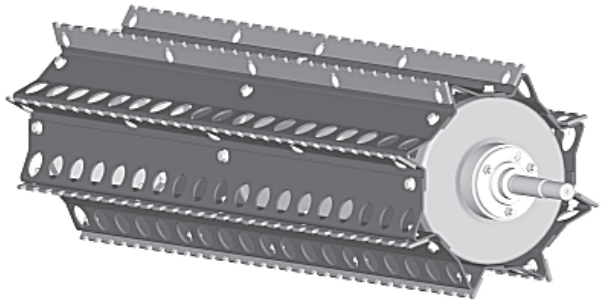
A : ナット
B : オーバーショットビーターベルト



OUO6075,0001226 -40-09OCT12-2/2

オーバーショットビーター (装備されている場合) : ウイングの交換 (S670、S680、S685、S690)

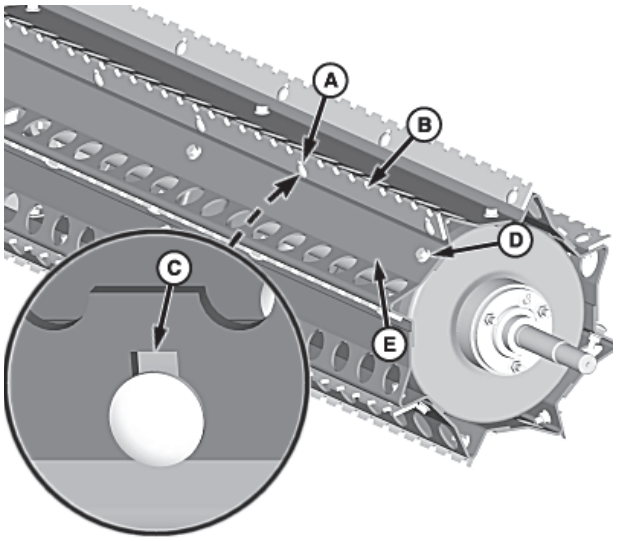
警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。



注記 : ウイングは反転させて、さらに使用することができます。

オーバーショットビーターウイングおよび摩耗ストリップはオーバーショットビーターを取り外さないで交換できます。オーバーショットビーターウイングは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記 : オーバーショットビーターを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。ボルトを規定のトルクで締め付けます。



必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、オーバーショットビーターの摩耗ストリップ (B) を交換します。

図に示すようにオーバーショットビーター摩耗ストリップをノッチ (C) の端まで外側に調整します。

丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

オーバーショットビーター摩耗ストリップの丸頭ボルトトルク	79 N•m (58 lb-ft)

必要に応じて、ボルト (D) を取り外して、オーバーショットビーターウイング (E) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

オーバーショットビーターウイングのボルトトルク	79 N•m (58 lb-ft)

A : 丸頭ボルト
B : オーバーショットビーター摩耗ストリップ
C : ノッチ
D : ボルト
E : オーバーショットビーターウイング

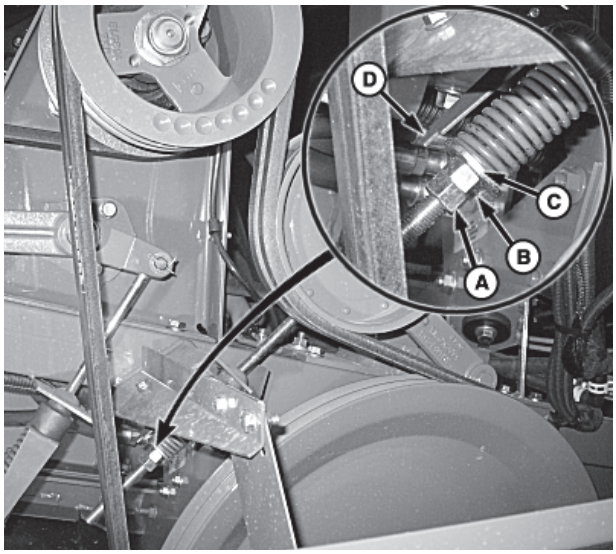
OUO6075,0001227 -40-09OCT12-1/1

カウンタシャフト右フロントベルト：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ



OUO6075,00007F8 -40-17JUN10-1/1

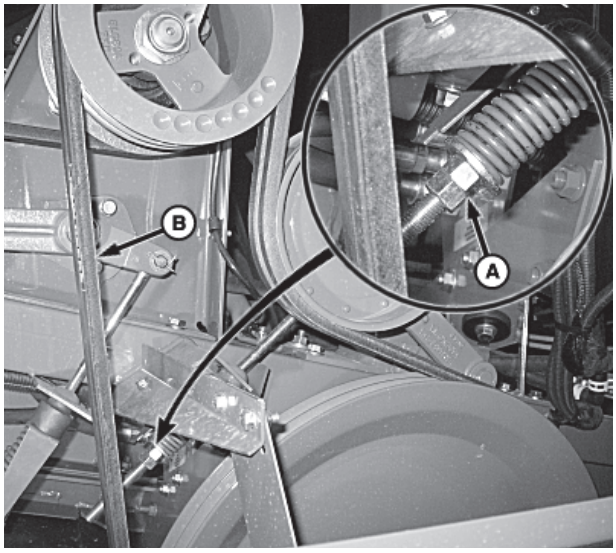
カウンタシャフト右フロントベルト：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めてベルト (B) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。ロックナットを締め付けます。

A：ナット
B：右フロントベルト



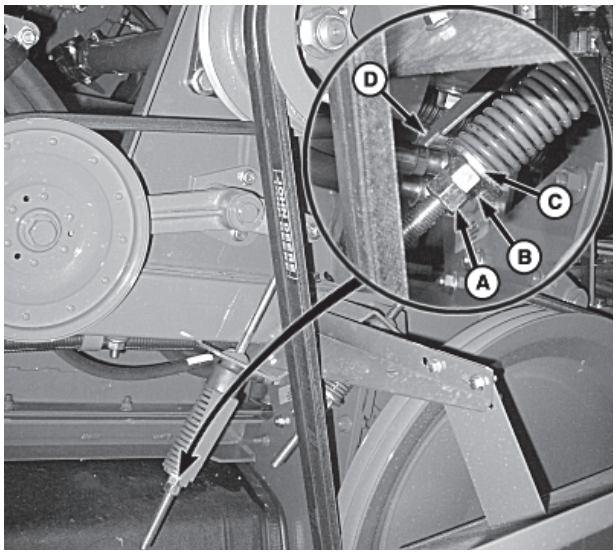
OUO6075,00007F9 -40-17JUN10-1/1

カウンタシャフト右リアベルト：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ



OUO6075,00007FA -40-17JUN10-1/1

カウンタシャフト右リアベルト：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

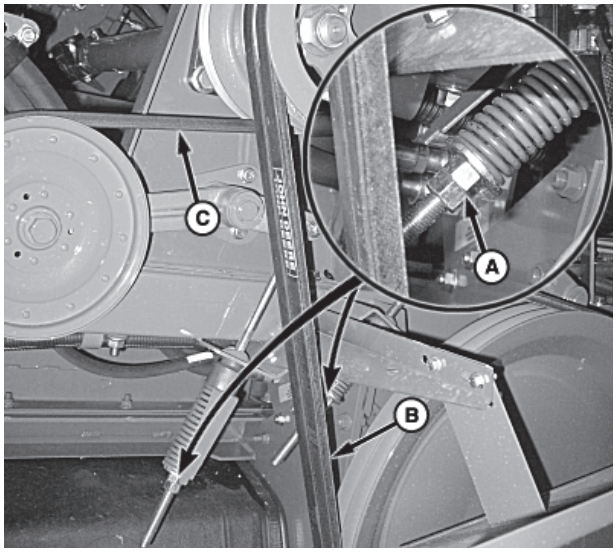
ナット (A) を緩めて、右フロントカウンタシャフトベルト (B) を取り外します。

ナット (A) を緩めて、リアカウンタシャフトベルト (C) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

フロントカウンタシャフトベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

A：ナット
B：フロントカウンタシャフトベルト
C：リアカウンタシャフトベルト

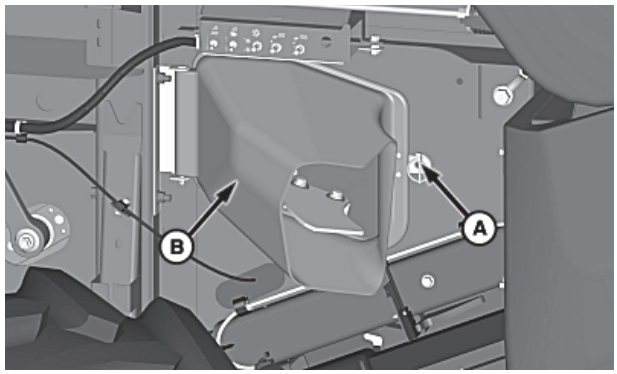


OUO6075,00007FB -40-22JUN10-1/1

クリーニングシューエアシュート

クイックロックピン (A) を取り外してエアシュート (B) を開きます。エアシュートを開くと、チャファーやふるいの調整時またはクリーニングシュー部分の点検時にクリーニングシュー部分を確認できます。

A：クイックロックピン
B：エアシュート

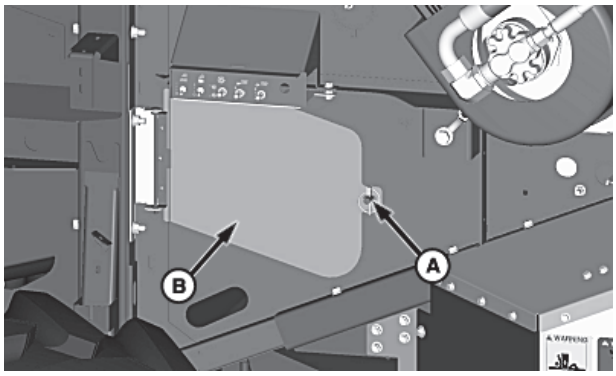


OUO6075,00007FC -40-14SEP10-1/1

クリーニングシューアクセスドア (スプレッダー機械)

クイックロックピン (A) を取り外してアクセスドア (B) を開きます。アクセスドアを開くと、チャファーやふるいの調整時またはクリーニングシュー部分の点検時にクリーニングシュー部分を確認できます。

A : クイックロックピン
B : アクセスドア



OUO6075,0000CA7 -40-16JUN11-1/1

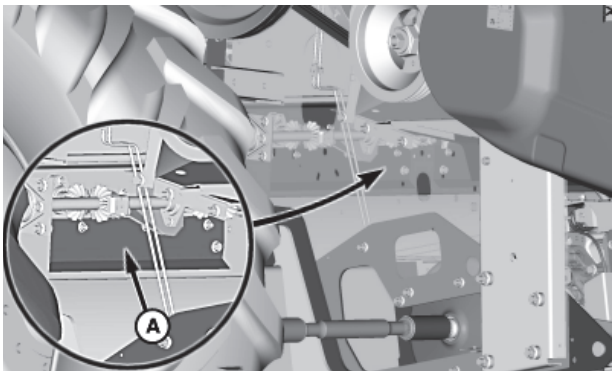
クリーニングシューオーガギア : 手動クリーンアウトドア (装備されている場合)

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

クリーニングシューオーガギア部分を清掃して点検できます。

ボルトをクリーンアウトドア (A) から取り外して周辺を清掃します。

A : クリーンアウトドア



OUO6075,0000CBD -40-29JUN11-1/1

クリーニングシューオーガギア : クリーンアウトドア (装備されている場合)

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

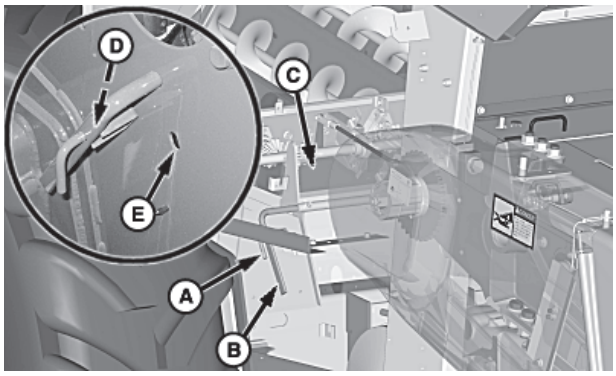
クリーニングシューオーガギア部分を清掃して点検できます。

ロックアウトピン (A) を引き、ハンドルを (B) を動かしてクリーンアウトドア (C) を制御します。

ハンドルを必要な位置に動かします。

- 閉位置 (D)
- 開位置 (E)

A : ロックアウトピン
B : ハンドル
C : クリーンアウトドア
D : 閉位置
E : 開位置



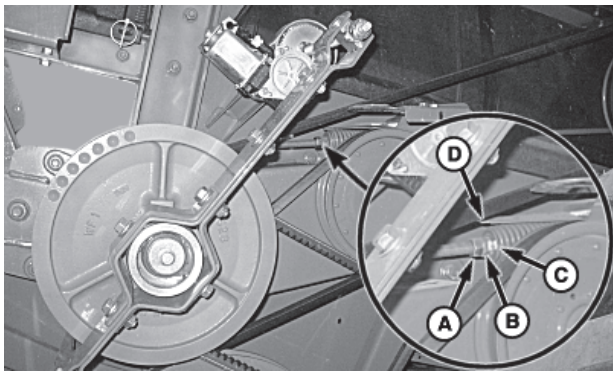
OUO6075,0000F8B -40-09FEB12-1/1

シュー、ファン、コンベアオーガベルト：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ



わかりやすいようにシールドを取り外した写真

OUO6075,00007FD -40-17JUN10-1/1

シュー、ファン、コンベアオーガベルト：交換

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

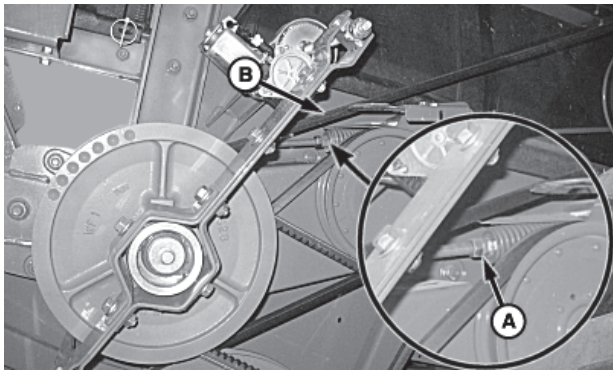
右フロントカウンタシャフトベルトとクリーニングファンバリアブルドライブベルトを取り外します。

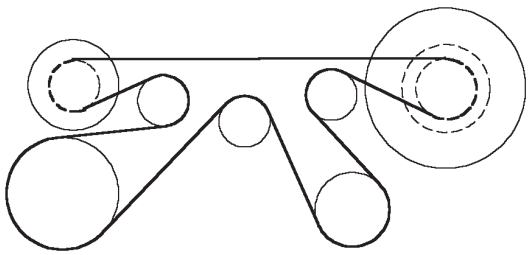
ナット (A) を緩めて、シュー、ファン、コンベアオーガドライブベルト (B) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

フロントカウンタシャフトベルト、クリーニングファンバリアブルドライブベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

A：ナット
B：ベルト





ベルトの取り回し

OUO6075,00007FE -40-17JUN10-1/1

クリーニングファンベルト：交換

機械を始動し、セパレータを接続してファンを最高回転数で運転します。

セパレータの接続を解除し、エンジンを OFF にしてキーを抜きます。

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

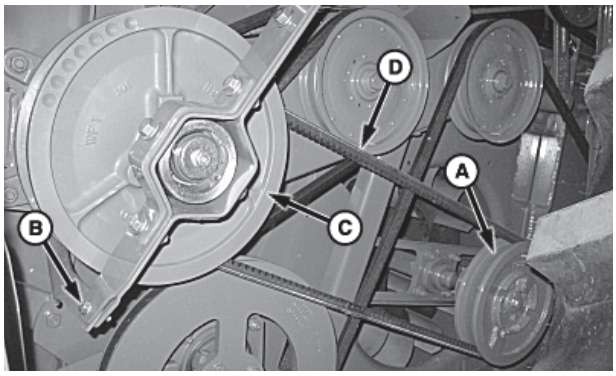
完全に開いた位置まで下部シーブ (A) にくさびを差し込みます。

サポートアーム (B) を外してアームを旋回させて離します。

上部シーブ (C) を取り外して、ベルト (D) を下部シーブに引っ張ります。

交換用ベルトを取り付けて、くさびを外してサーポートアームを接続します。

クリーニングファン回転数の調整を点検します。



A：下部シーブ
B：サポートアーム
C：上部シーブ
D：ベルト

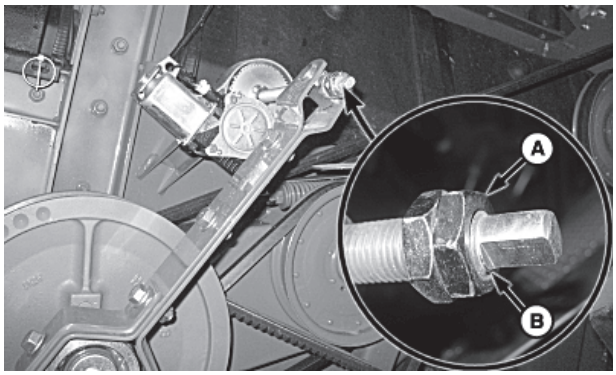
OUO6075,00007FF -40-17JUN10-1/1

クリーニングファンアクチュエータ：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

注記：クリーニングファンの最低／最高回転数は電子制御されています。電子制御で不適切な回転数に設定された場合にストップナットによってドライブが保護され、図のようにストップナットを取り付ける必要があります。

図のようにねじ山の端 (B) にナット (A) が互いに締め付けられていることを確認してください。



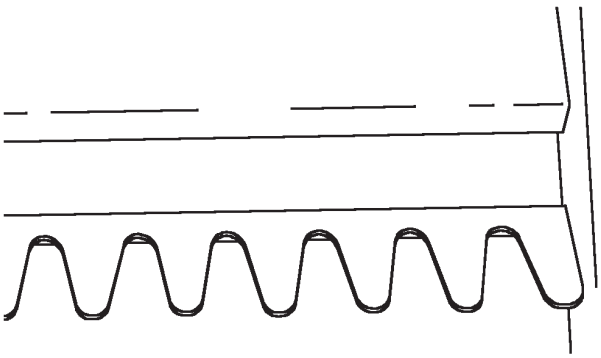
A：ナット
B：ねじ山の端

OUO6075,0000800 -40-17JUN10-1/1

ディープツースフロントチャファー

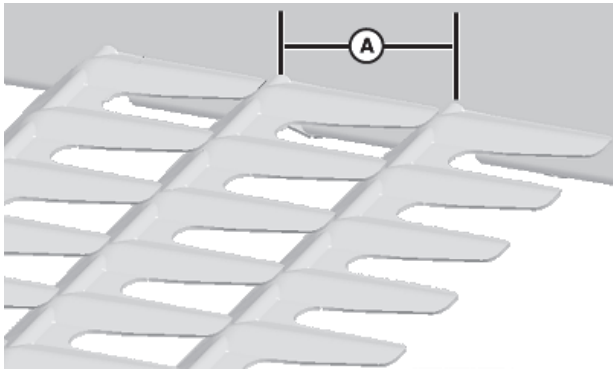
ディープツースフロントチャファーは 24 mm (15/16 in) の位置で固定され設定されます。

フロントチャファーを通過する作物材料はさらにクリーニングのためにチャファーに送られます。



OUO6075,0000766 -40-22APR08-1/1

チャファーとふるい：測定



ルーバー長さ

機械には、2 種類のチャファーおよびふるいを取り付けることができます。

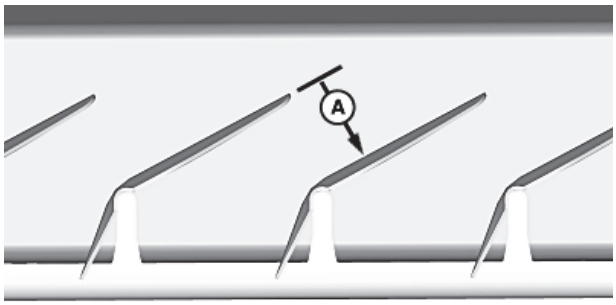
- **ディープツース**チャファーおよびふるい。
- **汎用**チャファーおよびふるい。

チャファーおよびふるいのルーバー長さを正しく測定するには、図に示すようにワイヤ間 (A) を測定します。これは、ディープツースまたは汎用のどちらのチャファーまたはふるいが取り付けられているかを判定するために使用できます。

A：ワイヤ間

OUO6075,0001367 -40-18DEZ12-1/2

ルーバークリアランス



注記：必ず必要な設定点を通過させてチャファー／ふるいルーバーを閉じ、必要な設定点までルーバーを開いて遊びを除去します。

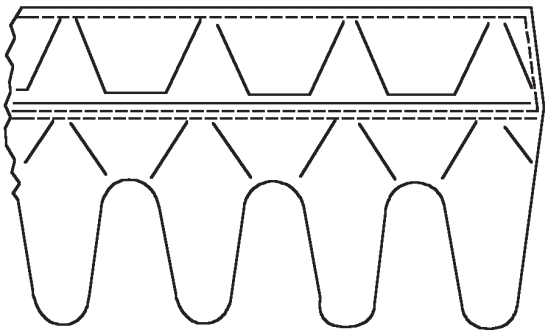
チャファーおよびふるいのクリアランスを正しく測定するには、図に示すようにルーバー間 (A) を測定します。これにより、チャファーおよびふるいのクリアランスがひじかけディスプレイに表示されている設定と一致しているかどうかを判定できます。

A：ルーバー間

OUO6075,0001367 -40-18DEZ12-2/2

汎用チャファー 29 mm (1-1/8 in)

汎用チャファーは、トウモロコシ、大豆、モロコシ、小粒穀物、脂肪種子作物、牧草種子、他の多くの特殊作物に適しています。これは乾燥条件に推奨され、トウモロコシの房毛や大豆、ヒマワリ、モロコシの茎の「突き刺し」に対して耐久性があります。

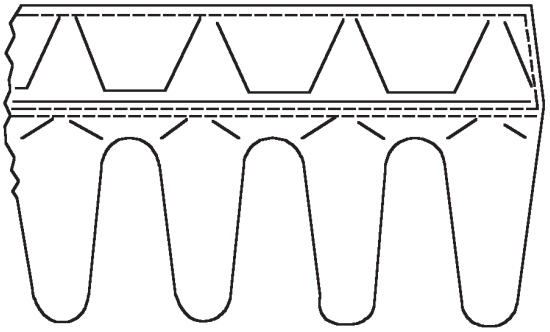


OUO6075,0000767 -40-22AUG07-1/1

ディープツースチャファー 41 mm (1-5/8 in)

注記：小粒穀物、食用トウモロコシ、またはポップコーンでの使用は推奨されません。

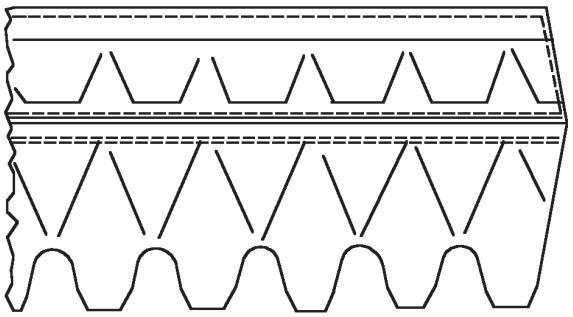
ディープツースチャファーおよびディープツースふるいは、高水分および高収量トウモロコシで穀粒の分離を促進し、トウモロコシおよび大豆で高容量およびクリーンな穀粒サンプルを提供します。



OUO6075,0000A1E -40-13OCT10-1/1

汎用ふるい 29 mm (1-1/8 in)

このふるいは、すべての主要作物および主要な特殊作物に最適です。



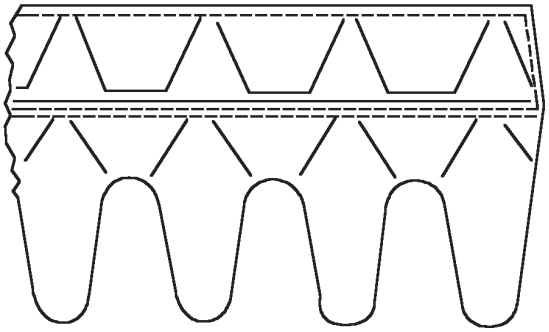
OUO6075,0000C9E -40-14JUN11-1/1

高歯 29 mm (1-1/8 in)

注記：小粒穀物、食用トウモロコシ、またはポップコーンでの使用は推奨されません。

ディープツースふるいは高水分および高収量トウモロコシでの穀粒の分離を促進します。

このふるいはディープツースチャファーとともに、トウモロコシや大豆で高容量およびクリーンな穀粒サンプルを提供します。



OUO6075,0000A20 -40-13OCT10-1/1

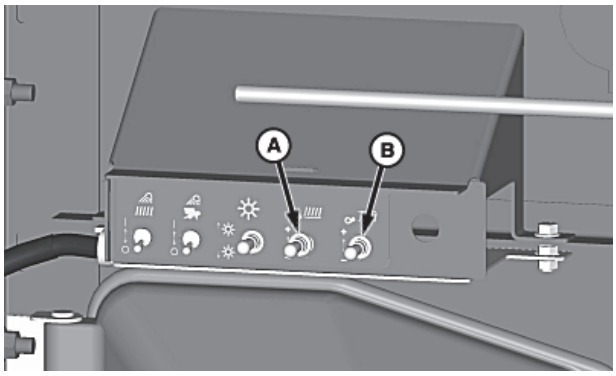
チャファー／ふるい調整スイッチ

重要：チャファー／ふるいルーバーを完全に閉じて、チャファー／ふるいを取り外しているときのルーバーの損傷を防止します。

チャファー調整スイッチ (A) とふるい調整スイッチ (B) は機械の左側にあります。

チャファー調整スイッチとふるい調整スイッチを使用して、チャファーとシーブを種々の位置に開閉できます。

A：チャファー調整スイッチ
B：ふるい調整スイッチ



OUO6075,00007DC -40-21MAR11-1/1

デュアルゾーン調整リアチャファー：調整

警戒：エンジンを停止してパーキングブレーキをかけ、キーを抜いて予期しない始動やけがを防止してください。

チョッパー／スプレッダーアセンブリを上げます。

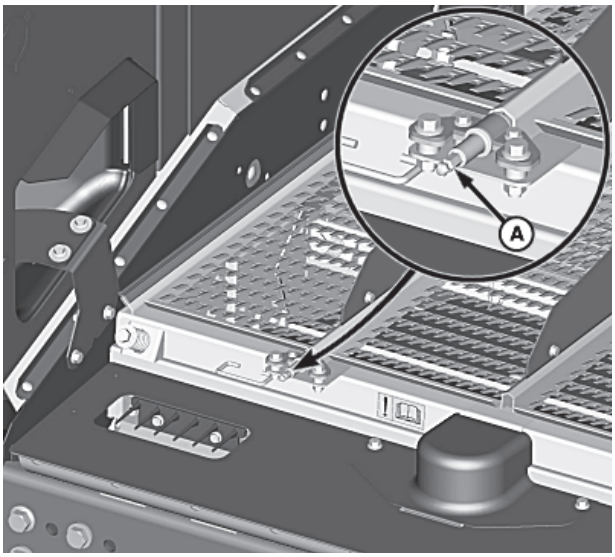
調整リンケージ (A) を時計回りに回してチャファーを閉じ、反時計回りに回してチャファーを開きます。

必ず必要な設定点を通過させてチャファールーバーを閉じ、必要な設定点までルーバーを開いて遊びを除去します。

注記：推奨されるデュアルゾーン調整リアチャファーの設定については、「作物の設定」を参照してください。

ルーバー間の距離を測定して設定を確認します。

A：調整リンケージ



OUO6075,0001368 -40-25JAN13-1/1

チャファー／ふるいエレメント：取り外しと取り付け

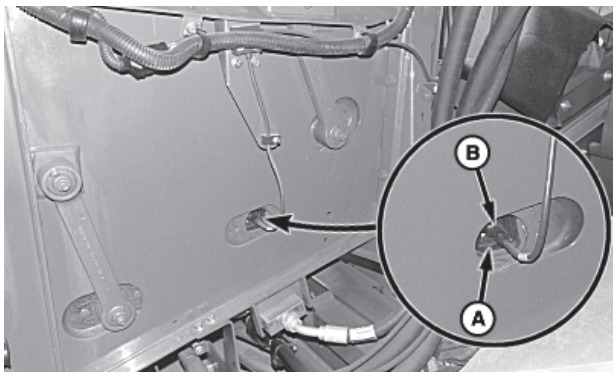
警戒：エンジンを停止してパーキングブレーキをかけ、キーを抜いて予期しない始動やけがを防止してください。

重要：チャファー／ふるいエレメントの損傷を防止してください。機械からエレメントを取り外す前に、ルーバーを完全に閉じてください。

注記：チャファー／ふるいエレメントを取り外すためにチョッパーやスプレッダー (装備されている場合) を取り外す必要はありません。チョッパーまたはスプレッダーを完全に上昇させる必要があります。

ふるいの取り外しはチャファーの取り外しと同様です。

1. グロメット (A) を取り外してから電気ハーネス (B) の接続を外します。



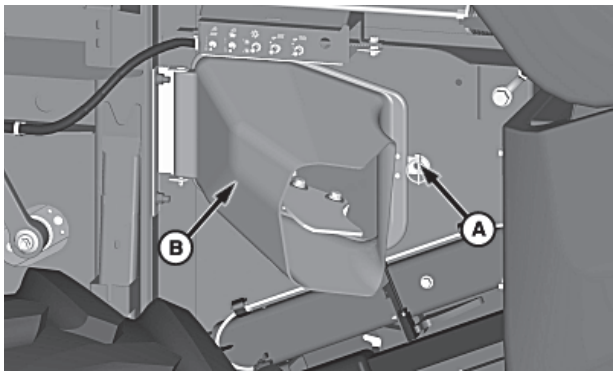
A：グロメット　　**B：電気ハーネス**

次のページへ

OUO6075,00017DC -40-30APR14-1/6

2. クイックロックピン (A) を取り外して機械の両側のエアシュート (B) を開きます。

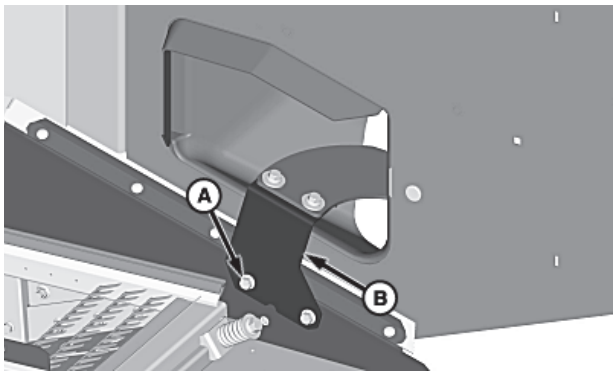
A : クイックロックピン
B : エアシュート



OUO6075,00017DC -40-30APR14-2/6

3. ボルト (A) を取り外して、機械の両側のアジテータブラケット (B) を取り外します。

A : ボルト (2 個使用)
B : アジテータブラケット



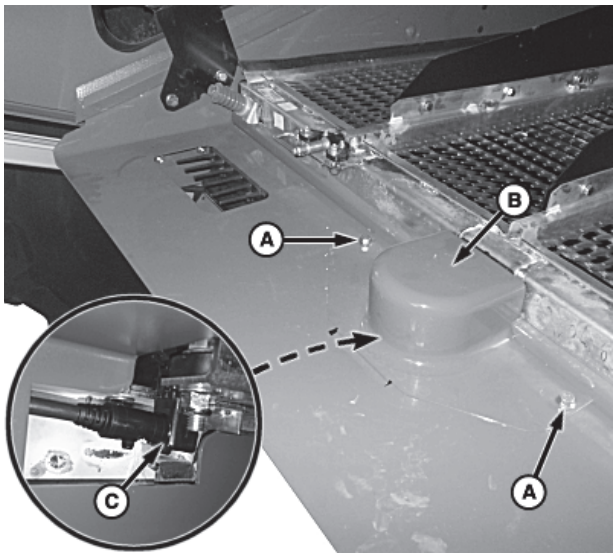
OUO6075,00017DC -40-30APR14-3/6

注記 : チャファーモーターを取り外す必要はありません。

4. ボルト (A) とカバー (B) を取り外します。

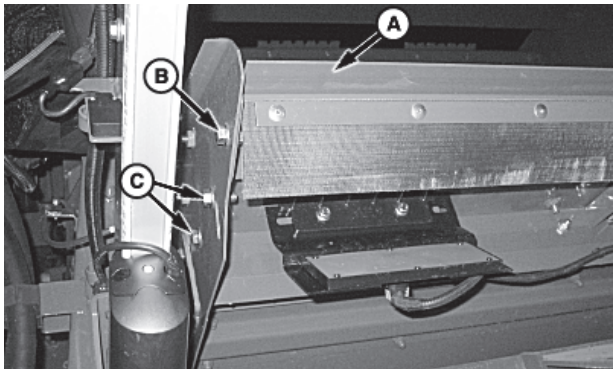
5. 電気ハーネス (C) をチャファーモーターから取り外します。

A : ボルト
B : カバー
C : 電気ハーネス

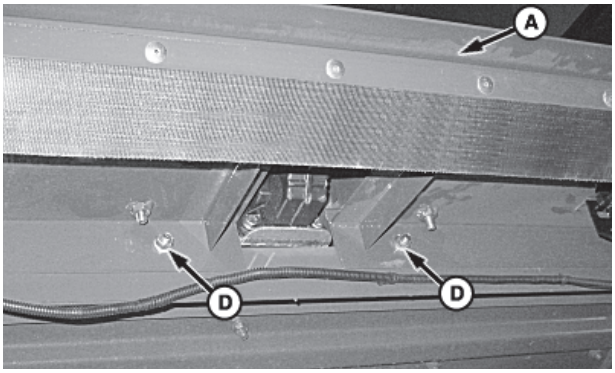


次のページへ

OUO6075,00017DC -40-30APR14-4/6



A：テールボード　　B：ボルトとナット



C：ボルト　　D：ボルトとナット

注記：テールボードを取り外す必要はありません。

6. **下部テールボード (A)：**

   a. 機械の両側からボルトとナット (B) を取り外します。

   b. 機械の両側からボルトとナット (C) を取り外します。

   c. テールボードの中心の下からボルトとナット (D) を取り外します。

   d. テールボードを後方へ下に引っ張ります。

OUO6075,00017DC -40-30APR14-5/6

7. 機械の両側からチャファー／ふるい固定ボルト (A) とスプリングを取り外します。

8. 機械の後部を通してチャファー／ふるいエレメントをスライドさせます。

9. チャファー／ふるいエレメントのグレインシールを点検し、必要に応じて修理または交換します。

10. 機械の後部を通してチャファー／ふるいエレメントを取り付けて、固定ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

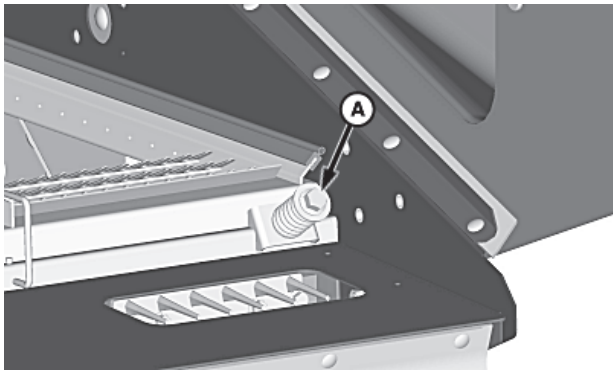
チャファー／ふるいの固定ボルトトルク	100 N•m (74 lb-ft)

11. テールボードを上昇させ、前の手順で取り外した金具を取り付けます。

12. 前の手順で取り外した電気ハーネスをチャファーモーターに接続します。

13. 前の手順で取り外したカバーを取り付けてボルトで固定します。

14. アジテータブラケットを機械の両側に取り付けてボルトで固定します。



A：固定ボルト

15. 機械の両側のエアシュートを閉じてクイックロックピンで固定します。

16. 前の手順で取り外したグロメットを取り付けて、前の手順で取り外したふるいの電気ハーネスを接続します。

17. チャファー／ふるいを較正します。詳細については、「較正手順」セクションを参照してください。

OUO6075,00017DC -40-30APR14-6/6

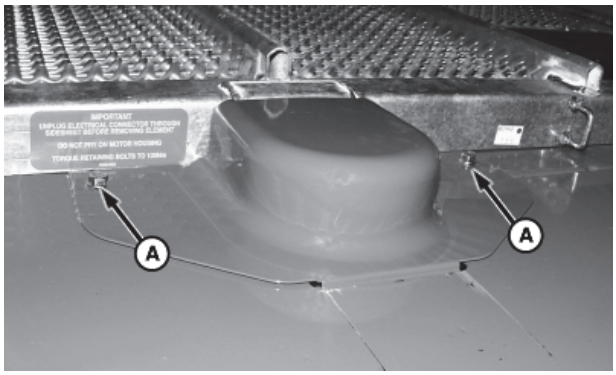
チャファー／ふるいモーター：手動調整

警戒：エンジンを停止してパーキングブレーキをかけ、キーを抜いて予期しない始動やけがを防止してください。

注記：チャファーモーターとふるいモーターで同じ手動調整手順を使用できます。

1. ボルト (A) を取り外してモーターにアクセスします。

A：ボルト



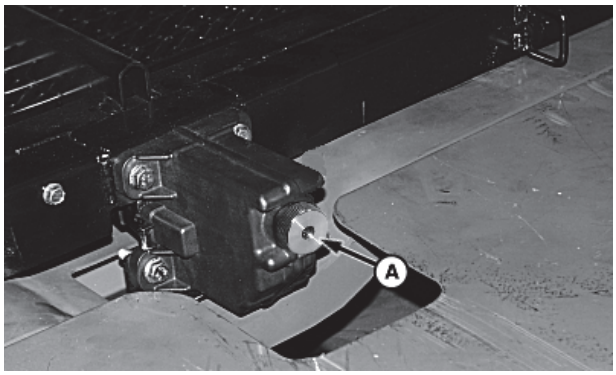
OUO6075,00009B4 -40-06DEZ10-1/2

重要：調整モーターの損傷を防止するため、ノブにレンチを使用しないでください。

注記：チャファー／ふるい調整モーターを修理または交換したら、調整モーターを再較正する必要があります。(「較正手順」セクションを参照してください)。

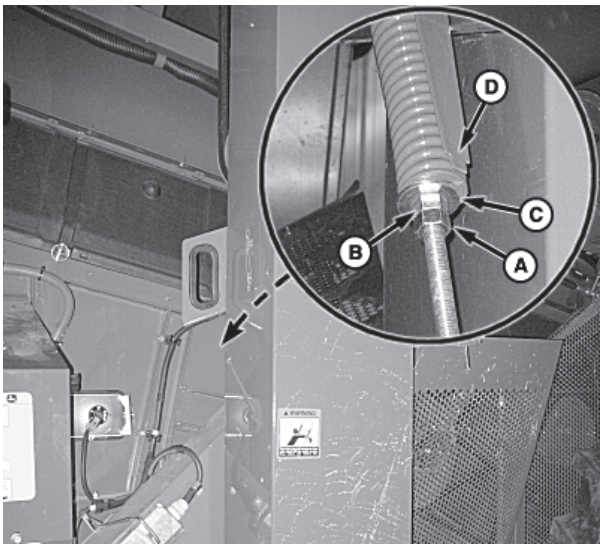
2. ノブ (A) を使用してモーターを調整します。ノブを時計回りに回すとチャファー／ふるいが閉じて、反時計回りに回すとチャファー／ふるいが開きます。

A：ノブ

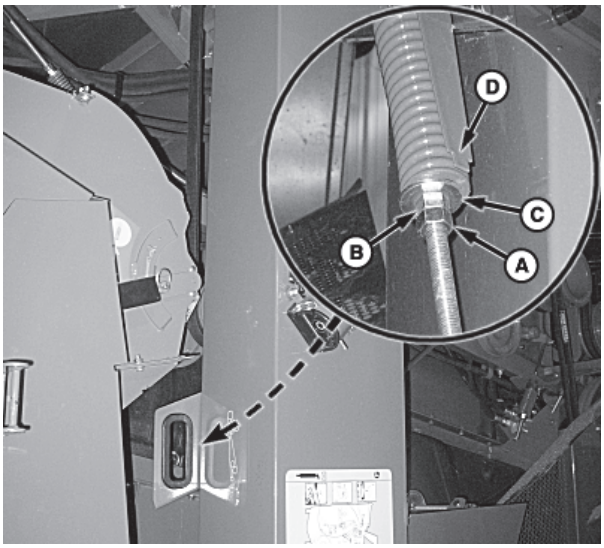


OUO6075,00009B4 -40-06DEZ10-2/2

クリーングレインエレベーターベルト：調整



S660、S670



S680、S685、S690

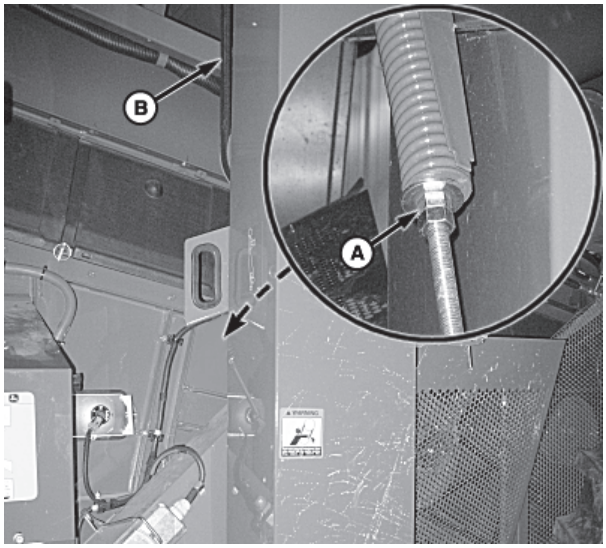
A：ナット　　**B：ナット**　　**C：座金**　　**D：ゲージ**

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

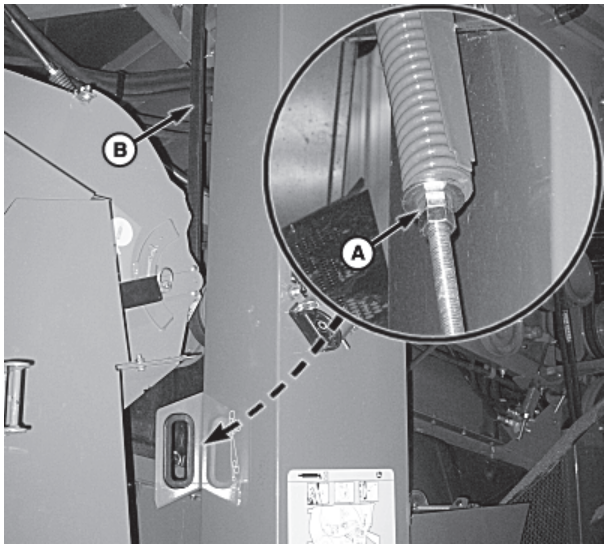
座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0001228 -40-09OCT12-1/1

クリーングレインエレベーターベルト：交換



S660、S670



S680、S685、S690

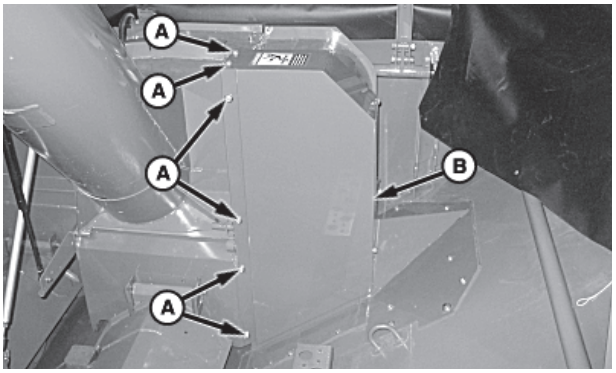
A：ナット　　**B：クリーングレインエレベーターベルト**

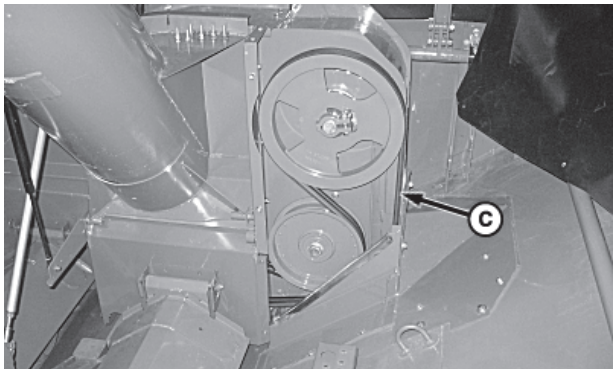
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めて、クリーングレインエレベーターベルト (B) の張力を解放します。

次のページへ

OUO6075,0001229 -40-09OCT12-1/2





A：ボルト
B：カバー
C：クリーングレインエレベーターベルト

ボルト (A) とカバー (B) を取り外します。

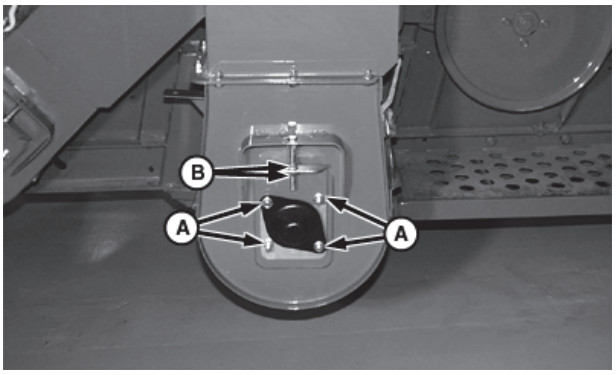
クリーングレインエレベーターベルト (C) をプーリーから取り外します。

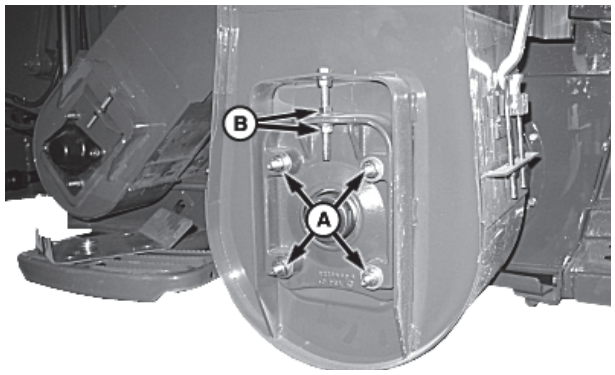
交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。ロックナットを締め付けます。

前の手順で取り外したカバーを取り付けてボルトで固定します。

OUO6075,0001229 -40-09OCT12-2/2

クリーングレインエレベーターコンベアチェーン：調整





A：ナット (4 個使用)
B：ナット

ラッチを解放して下部ドアを開きます。

ナットをベアリングカバーから取り外します (装備されている場合)。

ナット (A) を緩めて、ナット (B) を使用してチェーンを調整します。ベアリングキャリアを下に動かしてチェーンを締め付けます。

チェーンの下端をスプロケットの横方向にスライドさせることができるが、スプロケットから引っ張って外すことができない場合、エレベータチェーンは正しく調整されています。チェーンがスプロケットから 6 mm (1/4 in) 緩んだら、チェーンを再調整してください。一定期間使用した後、ハーフリンクを取り外してチェーンを正しく調整する必要がある場合があります。

OUO6075,0001048 -40-27FEB12-1/1

2 番物システムエレベーターセンサー

警戒：2 番物センサーはクラス 1 レーザー製品であり、通電時にレーザーを放射します。点検時または 2 番物センサーの取り外し時は、十分注意してビームを直接見ないでください。

2 番物センサーの点検または取り外しの前に、キースイッチを OFF にして 2 番物センサーを外す必要があります。

レンズを取り外した状態でセンサーを作動させないでください。レンズが所定の位置にあるときのアクセス可能なレーザー発光：

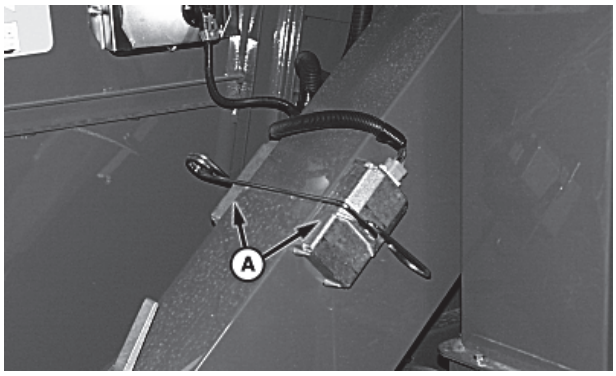
- 850 nm
- 500 nsec パルス幅
- ≤ 500 Hz 反復率
- < 90 nJ/パルス
- 43 uW 平均出力
- クラス 1 レベル (目に安全)

レンズを取り外した状態でセンサーを作動させた場合のアクセス可能なレーザー発光レベル：

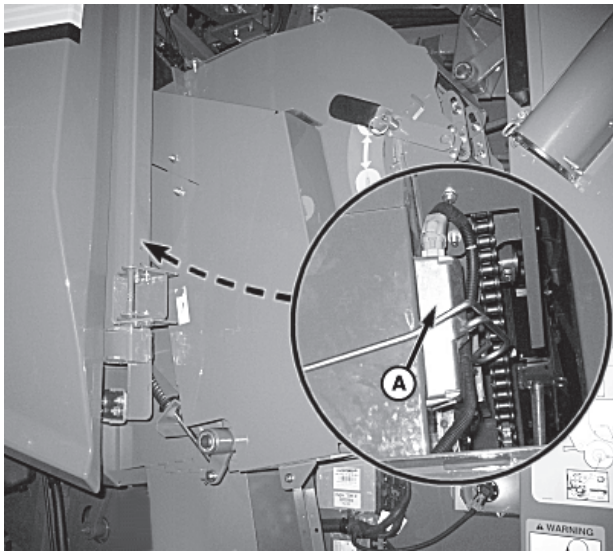
- 850 nm
- 500 nsec パルス幅
- ≤ 500 Hz 反復率
- < 380 nJ/パルス
- 188 uW 平均出力
- クラス 3R レベル (目の傷害の軽微な可能性)

1. 2 番物センサー (A) を取り外して点検し、必要に応じてレンズを清掃します。
2. レンズが汚れていない場合は、取り外してほこりを点検します。ほこりが見つかった場合は、各部を十分清掃し、レンズをユニットに組み付けてガスケットで密封されていることを確認します。
3. 取り付けの前に、前の手順で取り外したすべてのねじでレンズが固定されていることを確認します。

警戒：エレベータに交換用センサーを取り付ける前にプラスチックカバーの取り付けを怠ると、故障、収穫の不適切な読み取り、センサーの損傷が発生すること



S660、S670



S680、S685、S690

A：2 番物センサー

があり、センサーの取り外し時に目がレーザーにさらされる潜在的な危険があります。

4. センサーを取り付けてシステムをテストします。
5. ディスプレイにフルまたは空が続けて表示される場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

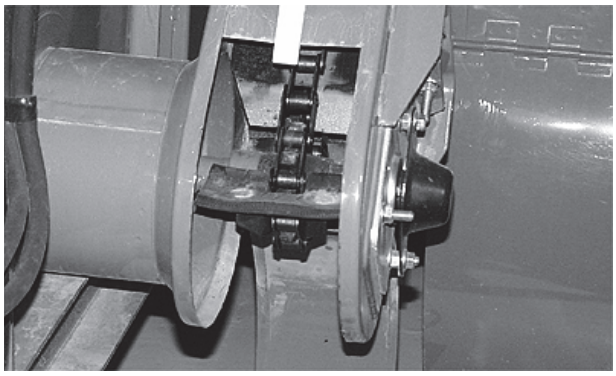
OUO6075,000122A -40-09OCT12-1/1

2 番物システムエレベーターパドル

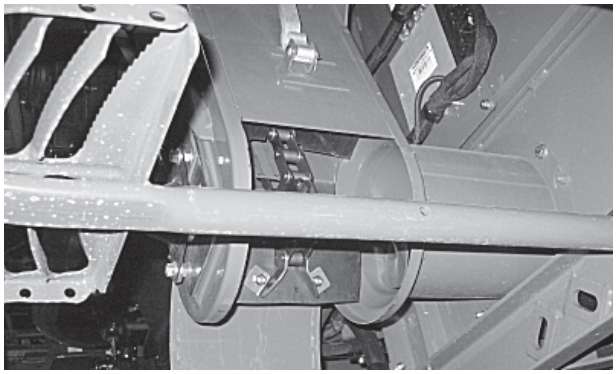
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

摩耗やパドルの不足がないかエレベーターチェーンを時々点検します。

ぬかるんだ条件では、ワイパーとして機能するように 1 つのスチール製パドルをエレベーターチェーンに取り付けることができます。



S660、S670



S680、S685、S690

OUO6075,000122B -40-09OCT12-1/1

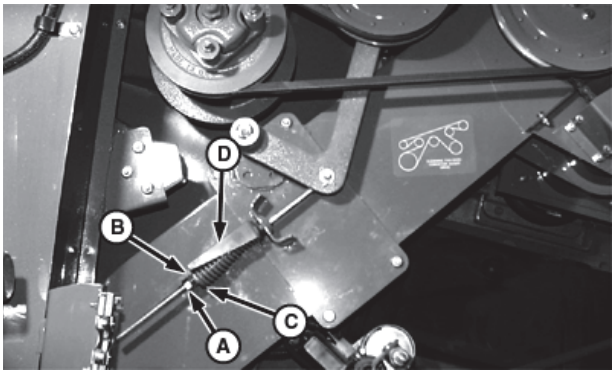
2 番物エレベータードライブベルト：調整 (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ロックナット (A) を緩めます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ロックナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ



OUO6075,0000F98 -40-09FEB12-1/1

2 番物システムエレベーターパドルチェーン：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

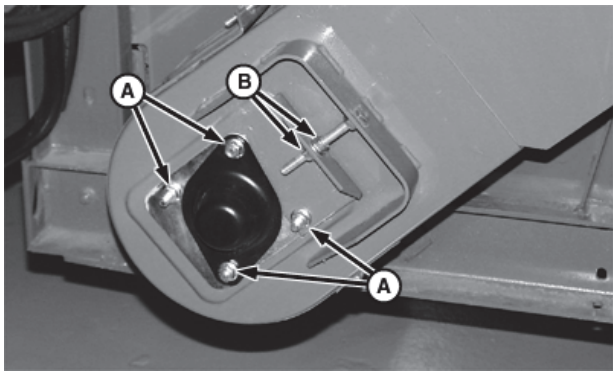
ラッチを解放して下部ドアを開きます。

ナットをベアリングカバーから取り外します。

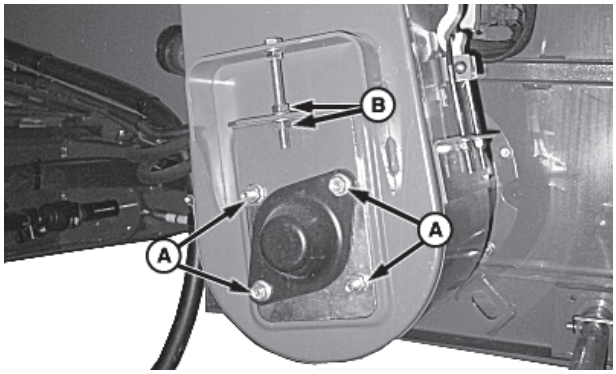
ナット (A) を緩めて、ナット (B) を使用してチェーンを調整します。ベアリングキャリアを下に動かしてチェーンを締め付けます。

チェーンの下端をスプロケットの横方向にスライドさせることができるが、スプロケットから引っ張って外すことができない場合、エレベータチェーンは正しく調整されています。チェーンがスプロケットから 6 mm (1/4 in) 緩んだら、チェーンを再調整してください。一定期間使用した後、ハーフリンクを取り外して 2 番物エレベーターチェーンを正しく調整する必要がある場合があります。

A：ナット (4 個使用)
B：ナット



S660、S670



S680、S685、S690

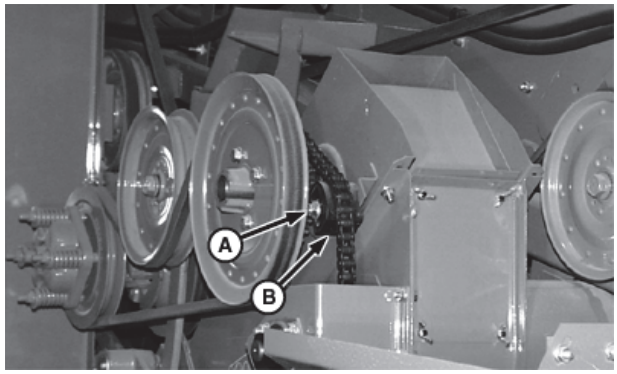
OUO6075,000122C -40-09OCT12-1/1

上部 2 番物オーガドライブチェーン：調整 (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ボルト (A) を緩めて、ブロック (B) を調整してチェーンを締め付けます。チェーンが張っているときにボルトを締め付けます。

A：ボルト
B：ブロック



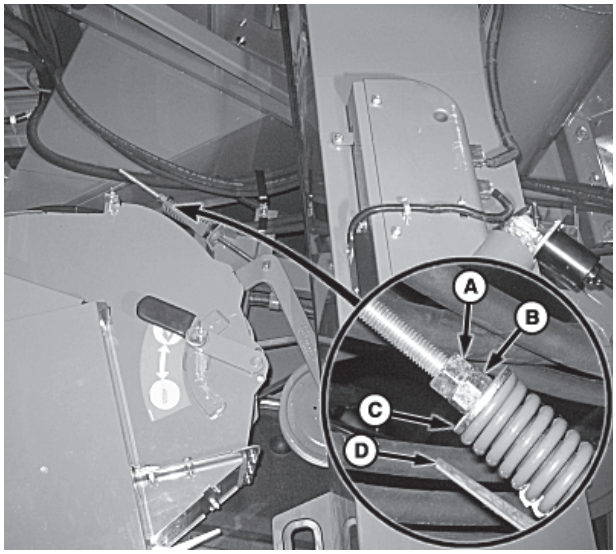
OUO6075,0000F99 -40-09FEB12-1/1

2 番物システムドライブベルト：調整 (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ



OUO6075,000122D -40-09OCT12-1/1

2 番物システムドライブベルト：交換 (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

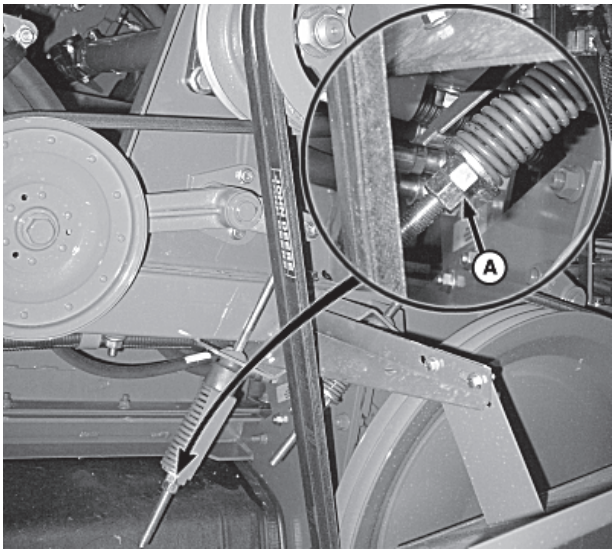
ナット (A) を緩めて、リアカウンタシャフトベルト (B) をプーリーから取り外します。

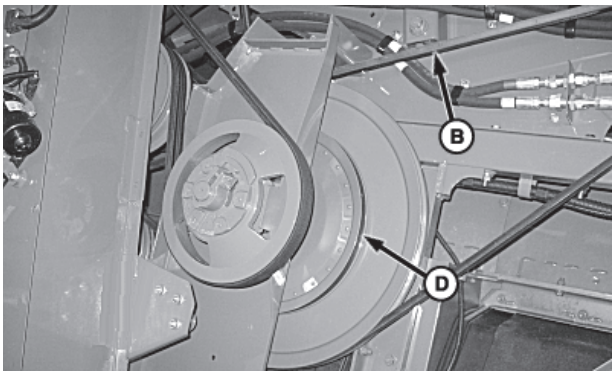
ナット (C) を緩めて、2 番物システムドライブベルト (D) を取り外します。

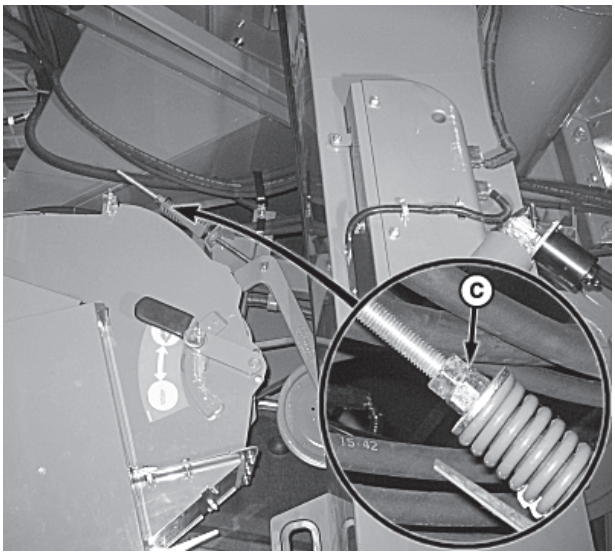
交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

リアウンタシャフトベルトをプーリーに取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

A：ナット
B：リアカウンタシャフトベルト
C：ナット
D：2 番物システムドライブベルト







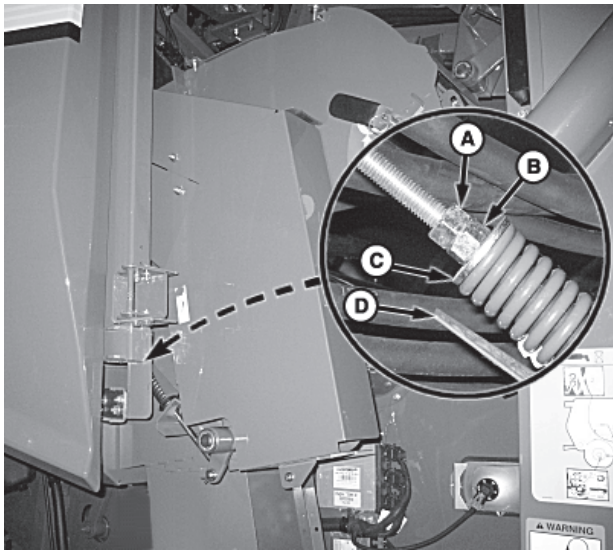
OUO6075,000122E -40-09OCT12-1/1

2 番物システムドライブチェーン：調整 (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A：ナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ



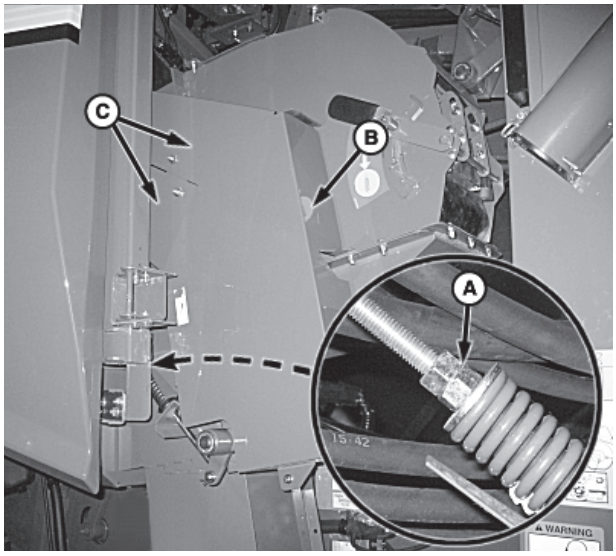
OUO6075,000122F -40-09OCT12-1/1

2 番物システムドライブチェーン：交換 (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めてシールド (B、C) を取り外します。

A：ナット
B：シールド
C：シールド



次のページへ

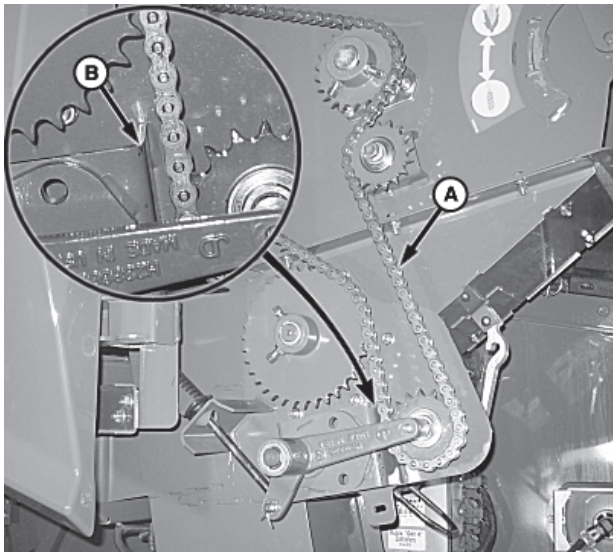
OUO6075,0001230 -40-09OCT12-1/2

張力を完全に調整したチェーン (A) がブラケット (B) に接触するか、ブラケットから 3 mm (1/8 in) 未満の位置にある場合は、チェーンを交換します。

交換用チェーンを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

A : チェーン
B : ブラケット



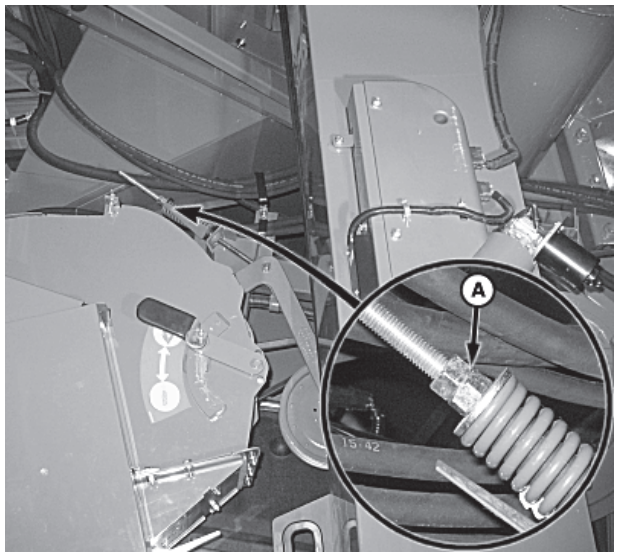
OUO6075,0001230 -40-09OCT12-2/2

2 番物システムの摩耗ストリップおよびラスプバー : 取り外しと取り付け (S680、S685、S690)

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めて、2 番物システムドライブベルトからベルト張力を解放します。

A : ナット



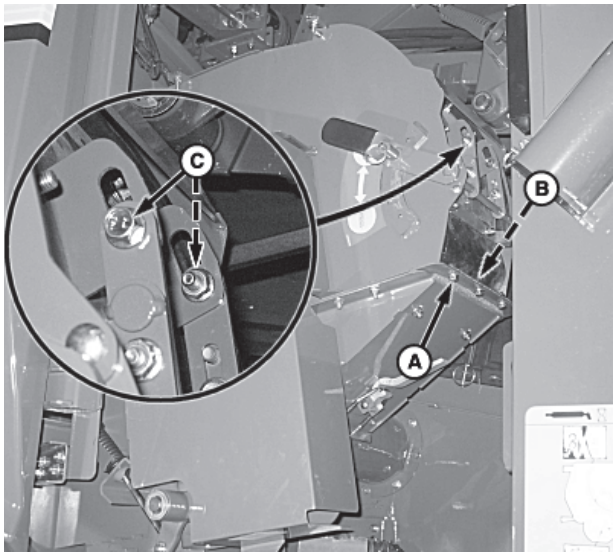
次のページへ

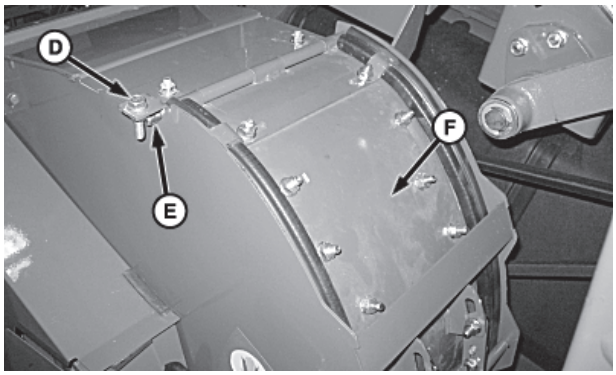
OUO6075,0001231 -40-09OCT12-1/4

ボルト (A) とストラップ (B) を取り外します。

ショルダーボルト (C)、ボルト (D)、ロッド (E) をアクセスカバー (F) から取り外します。

A : ボルト (3 個使用)
B : ストラップ
C : ショルダーボルト (2 個使用)
D : ボルト
E : ロッド
F : アクセスカバー





OUO6075,0001231 -40-09OCT12-2/4

ボルトとナット (A) を摩耗ストリップから取り外します。

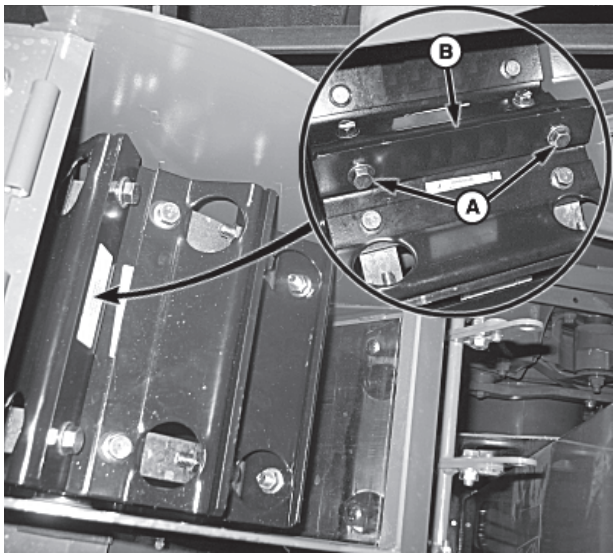
摩耗ストリップを取り外して、必要に応じて交換します。

摩耗ストリップのボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

摩耗ストリップのボルト
トルク .....70 N•m
(52 lb-ft)

A : ボルトとナット
B : 摩耗ストリップ



次のページへ

OUO6075,0001231 -40-09OCT12-3/4

ボルトとナット (A) をラスプバー (B) から取り外します。

ラスプバーを取り外して必要に応じて交換します。

ラスプバーボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

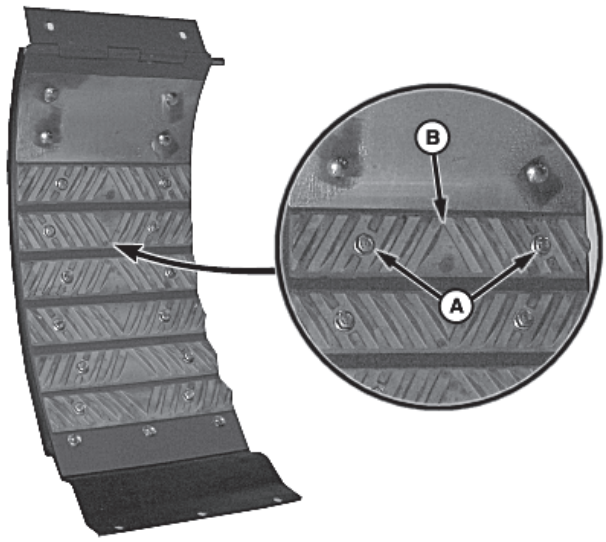
ラスプバーのボルト
トルク .....37 N•m ± 7 N•m
(27 lb-ft ± 5 lb-ft)

注記：2 番物システムにアクセスカバーを取り付けるときは、シールが所定の位置にあることを確認してください。

アクセスカバーを取り付けて、ロッドとボルトを使用して固定します。

ショルダーボルトを取り付けて、ゴム片を穴に整列させてストラップとボルトを取り付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまで 2 番物システムを調整します。



A : ボルトとナット
B : ラスプバー

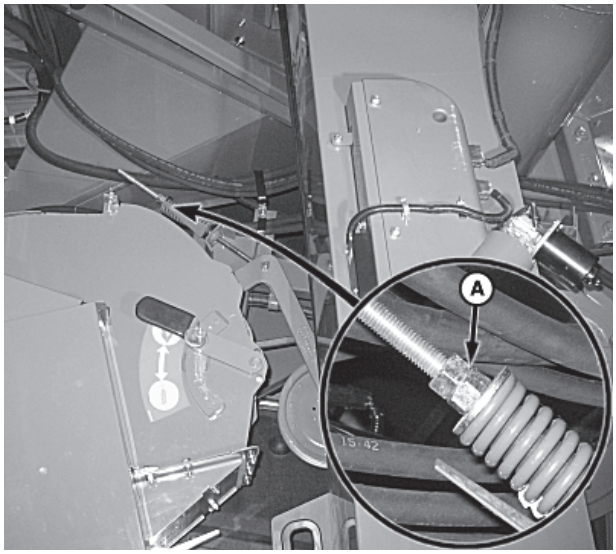
OUO6075,0001231 -40-09OCT12-4/4

2 番物システムの摩耗ストリップおよびラスプバー：調整 (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めて、2 番物システムドライブベルトからベルト張力を解放します。

A : ナット



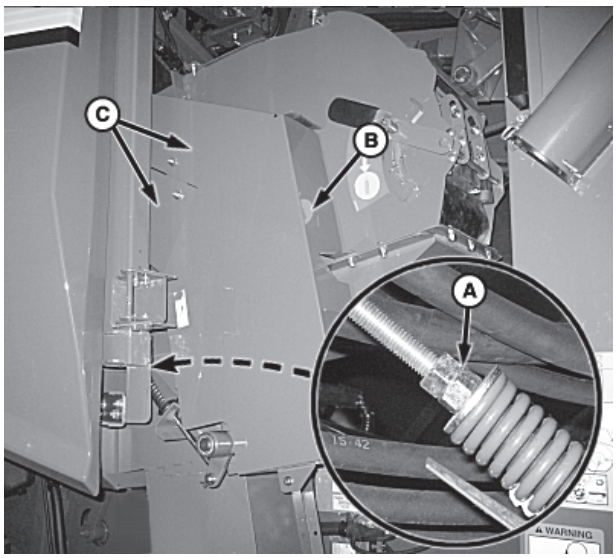
次のページへ

OUO6075,0001232 -40-09OCT12-1/3

ナット (A) を緩めてシールド (B、C) を取り外します。

2 番物システムが自由に回るようにドライブチェーンを取り外します。

A : ナット
B : シールド
C : シールド



OUO6075,0001232 -40-09OCT12-2/3

注記：調整ハンドルを下側に動かすと、摩耗ストリップとラスプバー間の位置がゼロに設定されます。

調整ハンドル (A) を図のように下側に動かして、既存の穴にボルト (B) を取り付けます。

ボルトとナット (C) を緩めます。

ビーターを回転させながら、「カチッ」という音が聞こえるまでアクセスドアをゆっくりと調整します。

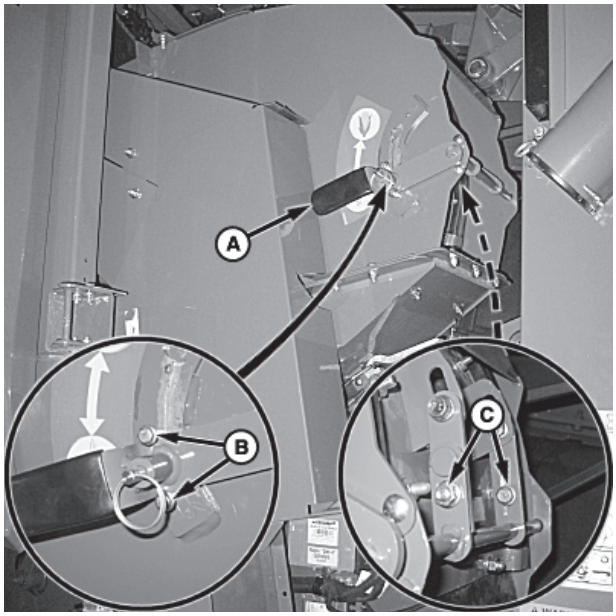
「カチッ」という音が止まるまで戻して、ボルトとナットを締め付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまで 2 番物システムを調整します。

チェーンを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

A : 調整ハンドル
B : ボルト、M6
C : ボルトとナット



OUO6075,0001232 -40-09OCT12-3/3

2 番物システムリターンコンケーブ：調整 (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

重要：けがや機械の損傷を防止するため、機械を運転中は作物選択ハンドルを動かさないでください。

注記：2 番物システムの推奨されているコンケーブ位置設定については、「作物の設定」セクションを参照してください。

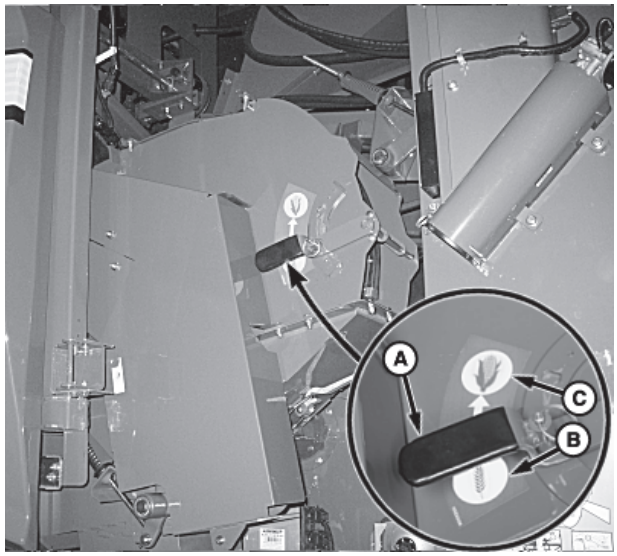
小粒穀物用位置 (B)：

小粒作物を収穫するときは、作物選択ハンドル (A) を「下側」位置にする必要があります。

大粒穀物用位置 (C)：

小粒作物を収穫するときは、作物選択ハンドル (A) を「上側」位置にする必要があります。この位置にしなかった場合、傷つきやすい作物は破損します。

A：作物選択ハンドル
B：小粒穀物用位置
C：大粒穀物用位置



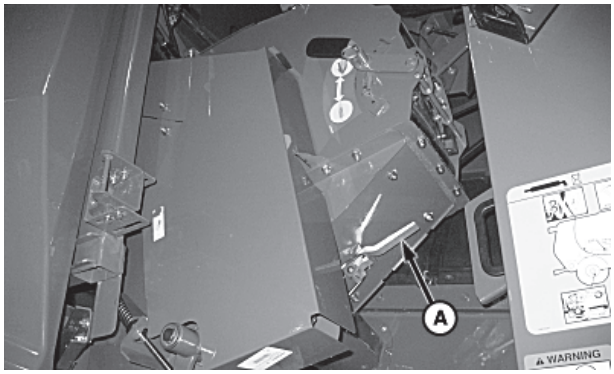
OUO6075,0001233 -40-10MAR14-1/1

2 番物システムオーガクリーンアウトドア (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

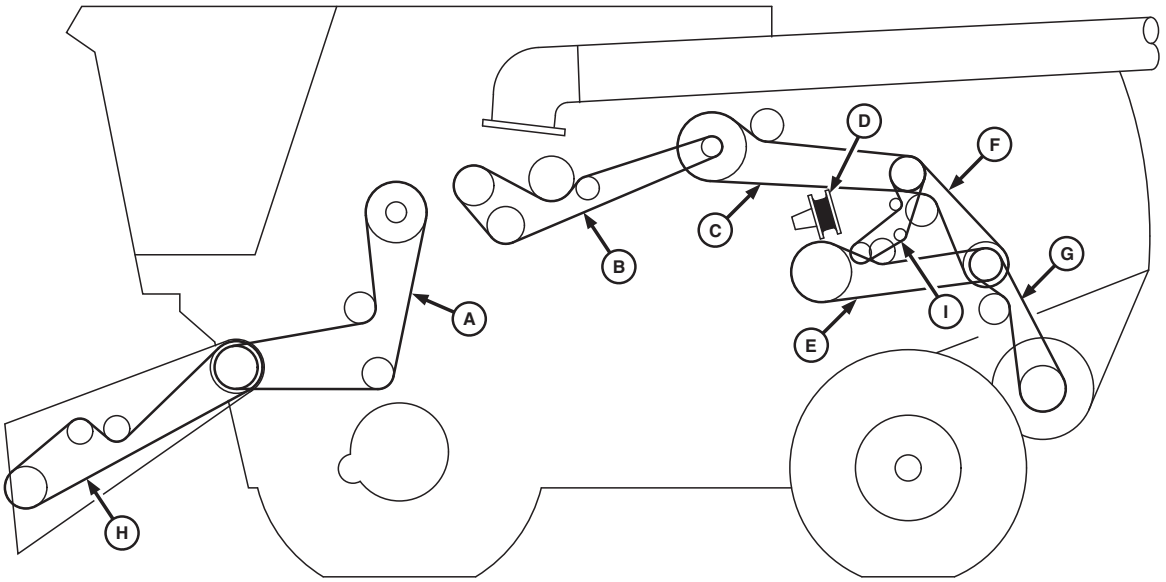
ハンドル (A) を使用して 2 番物システムオーガクリーンアウトドアを開き、必要に応じて材料を除去します。

A：ハンドル



OUO6075,0001234 -40-09OCT12-1/1

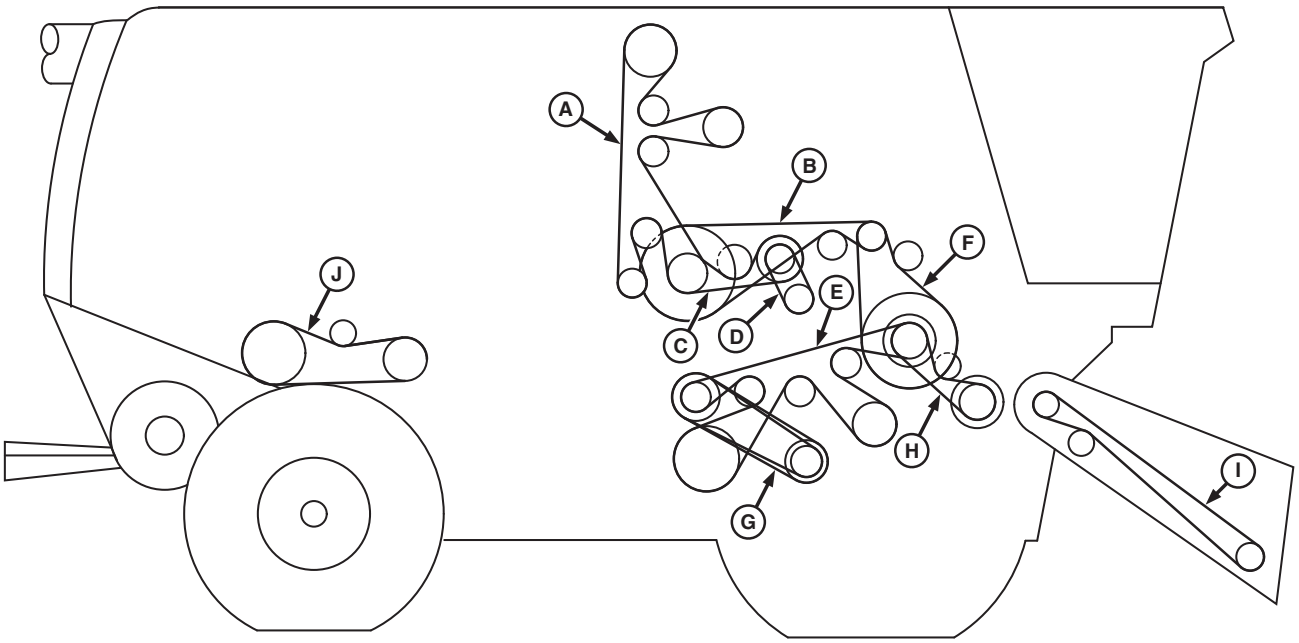
ドライブベルト：左側



S660 機械			
A	ヘッダーとリールポンプの標準／高容量ベルト	F	カウンタシャフト、ディスチャージビーター、チョッパーベルト
B	アンローディングオーガオーガシステム、No.60 ローラーチェーン	G	ストローチョッパーベルト
C	アンローディングオーガシステムベルト	H	固定速度フィーダーハウスドライブベルト フィーダーハウスバリアブルドライブ標準／高容量ベルト
D	セパレータバリアブルドライブベルト	I	エンジンデブリマネジメントベルト (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
E	ディスチャージビーターベルト (イネ以外用の機械) ディスチャージビーターベルト (イネ用の機械)		
S670 機械			
A	ヘッダーおよびリールポンプ標準／高容量ベルトまたは CommandTouch™ マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト (オプション)		
B	アンローディングオーガオーガシステム、No.60 ローラーチェーン (10 572 L (300 bu) グレインタンク)		
C	アンローディングオーガシステムベルト		
D	セパレータバリアブルドライブベルト		
E	ディスチャージビーターベルト		
F	カウンタシャフト、ディスチャージビーター、チョッパーベルト		
G	ストローチョッパーベルト		
H	固定速度フィーダーハウスドライブベルト フィーダーハウスバリアブルドライブ標準／高容量ベルトまたは CommandTouch™ マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト (オプション)		
I	エンジンデブリマネジメントベルト (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)		
S680、S685、S690 機械			
A	ヘッダーおよびリールポンプ標準／高容量ベルトまたは CommandTouch™ マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト (オプション)		
B	アンローディングオーガオーガシステム、No.80 ローラーチェーン (14 096 L (400 bu) グレインタンク)		
C	アンローディングオーガシステムベルト		
D	セパレータバリアブルドライブベルト		
E	ディスチャージビーターベルト		
F	カウンタシャフト、ディスチャージビーター、チョッパーベルト		
G	ストローチョッパーベルト		
H	固定速度フィーダーハウスドライブベルト フィーダーハウスバリアブルドライブ標準／高容量ベルトまたは CommandTouch™ マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト (オプション)		
I	エンジンデブリマネジメントベルト (インテリムティア 4／ステージ III B)		

OUO6075,00016C0 -40-17FEB14-1/1

ドライブベルト：右側 (S660、S670)

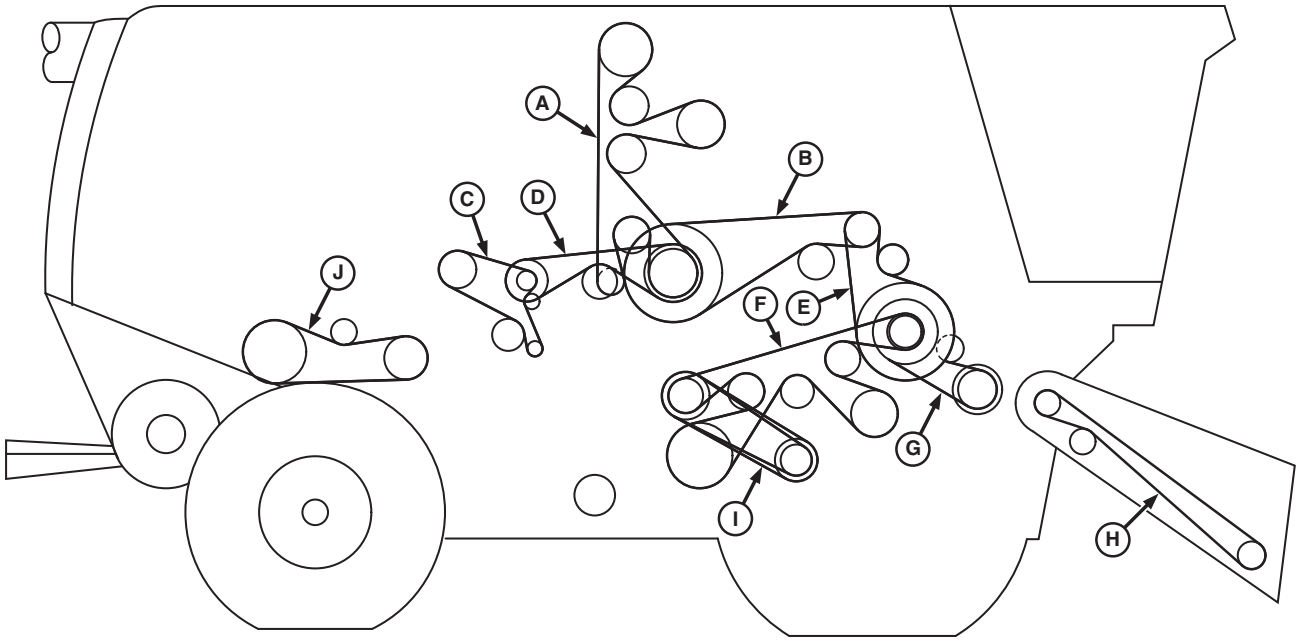


A：クリーングレインエレベーターベルト
B：リア右ジャックシャフト
C：2 番物オーガおよびエレベーターベルト
D：2 番物リターンオーガ、No.50 チェーン
E：シューファンおよび、コンベアオーガベルト
F：フロント右ジャックシャフトベルト
G：クリーニングファンバリアブルベルト
H：フィードアクセルレータベルト
I：フィーダーコンベア (チェーン)、No.60 チェーン
J：オーバーショットビータードライブベルト (オプション) [1]

[1] S670 機械でのみ使用可能です。

OUO6075,0001049 -40-27FEB12-1/1

ドライブベルト：右側 (S680、S685、S690)



A：クリーングレインエレベーターベルト
B：リア右ジャックシャフト
C：2 番物エレベーター／上部オーガ No.60 ローラーチェーン
D：2 番物システムドライブベルト
E：フロント右ジャックシャフトベルト
F：シューファンおよび、コンベアオーガベルト
G：フィードアクセルレータベルト
H：フィーダーコンベア (チェーン)、No.60 チェーン
I：クリーニングファンバリアブルベルト
J：オーバーショットビータードライブベルト

OUO6075,0001235 -40-09OCT12-1/1

フィードアクセルレータ：詰まり除去

1. セパレータの接続を解除します。
2. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。
3. セパレータードライブギアケースを低速にシフトします。
4. レバーを上に押してブラケットのノッチから外し、フィードアクセルレータドライブからベルト張力を解放します。
5. ストーントラップドアを開いて清掃します。ストーントラップドアを開いたままにします。
6. ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数をミッドアイドルに設定します。
7. セパレータを接続し、ディスチャージビーターおよびチョッパーから材料を除去します。
8. セパレータの接続を解除します。
9. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。
10. フィードアクセルレータアクセスカバーを取り外して、アクセルレータ部分から作物材料を除去します。詰まりを除去した後、アクセルレータを 1 回転させて自由に回ることを確認します。
11. レバーを上に押してブラケットのノッチにかみ合わせて、フィードアクセルレータドライブを接続します。
12. ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数をミッドアイドルに設定します。
13. セパレータを接続します。詰まりが除去されない場合は、セパレータの接続を解除して手順 9～13 を繰り返します。
14. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。
15. ストーントラップドアを閉めてコンケーブ間隔を元の設定に戻します。フィードアクセルレータアクセスカバーを取り付けます。
16. 初期に高速で運転していた場合は、セパレータドライブギアケースをシフトしてセパレータ速度を初期設定に調整してから運転を再開します。

OUO6075,0000785 -40-09AUG07-1/1

セパレータ：詰まり除去

セパレータの接続を解除します。

注記：コンケーブ設定を確認し、コンケーブを広く開いた位置に調整します。

エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

セパレータドライブギアケースをニュートラル位置にシフトします。

レバーを上に押してブラケットのノッチから外し、フィードアクセルレータドライブからベルト張力を解放します。

ストーントラップドアを開いて清掃します。ストーントラップドアを閉じます。

ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数をミッドアイドルに設定します。

セパレータを接続し、ディスチャージビーターから材料を除去します。

セパレータバリアブルベルトを中速レンジに調整します。

セパレータの接続を解除します。

エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

セパレータードライブギアケースを低速にシフトします。

ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数をミッドアイドルに設定します。

重要：メインエンジンギアケースとウェットクラッチの損傷を防止するために、詰まっているセパレータでセパレータクラッチを 1 回の接続時間を 3 分として 4 回以上接続しないでください。

機械をアイドルで運転し、詰まっているセパレータを 1 分空けて接続します。

セパレータを接続してセパレータを清掃します。詰まりが除去されない場合は、セパレータの接続を解除します。

セパレータの詰まりを動力で除去できない場合は、コンケーブと格子を外して一部のわらを手で除去する必要があります。詰まりを除去した後、コンケーブと格子を交換します。

セパレータの詰まりを除去した後、コンケーブ間隔を元の設定に戻します。

レバーを上に押してブラケットのノッチにかみ合わせて、フィードアクセルレータドライブを接続します。

本来高速で運転していた場合は、セパレータギアケースを高速位置にシフトします。セパレータ速度を元の設定に調整して運転を再開します。

OUO6075,0001853 -40-25JUN14-1/1

ディスチャージビーター：詰まり除去

ヘッダーとセパレータの接続を解除します。

注記：コンケーブ設定を確認し、コンケーブを広く開いた位置に調整します。

エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ストローチョッパーを上げます。

カバーを取り外してディスチャージビーター部にアクセスし、ビーター部から作物材料を除去します。

ディスチャージビータードライブプーリーを手で回せるようにのシールドを取り外します。

詰まりを除去した後、ビーターを 1 回転させて自由に回ることを確認します。

セパレータドライブギアケースをニュートラル位置にシフトします。

レバーを上に押してブラケットのノッチから外し、フィードアクセルレータドライブからベルト張力を解放します。

ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数をミッドアイドルに設定します。

セパレータを接続し、ディスチャージビーターおよびチョッパーから材料を除去します。

セパレータの接続を解除します。

エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

セパレータドライブギアケースを元の速度にシフトします。

レバーを上に押してブラケットのノッチにかみ合わせて、フィードアクセルレータドライブを接続します。

前の手順で取り外したすべてのシールドを取り付けます。

ストローチョッパーを運転位置まで下げます。

ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数をミッドアイドルに設定します。

セパレータを接続します。

コンケーブ間隔も初期設定に戻して運転を再開します。

OUO6075,0000787 -40-09AUG07-1/1

チョッパーとスプレッダー (Deluxe Residue)

チョッパー (一般情報)

警戒：チョッパーを運転中はチョッパーの背後に誰も立たせないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてからチョッパーを調整してください。

通常の使用では、チョッパーフィンの底部が鋭角に摩耗します。

高速チョッパーの用途：

- 穀物

低速チョッパーの用途：

- トウモロコシ

チョッパーを高速から低速に変更するには、このセクションで後述の「チョッパードライブ速度：変更」を参照してください。

ナイフバンクを完全に接続解除した位置にして開始します。良好な切断品質が必要な場合は、ナイフバンクを完全に接続した位置に調整します。このセクションで後述の「チョッパー固定ナイフバンク：調整」を参照してください。

注記：キャビンのチョッパー調整スイッチを使用する場合は、詳細について「CommandTouch ひじかけコンソール」セクションを参照してください。

OUO6075,0000B74 -40-21MAR11-1/1

ウィンドロー (一般情報)

- チョッパーを完全に上昇させます。このセクションで後述の「チョッパー調整スイッチ」を参照してください。
- チョッパードライブをニュートラル位置にシフトします。このセクションで後述の「チョッパードライブ速度：変更」を参照してください。
- わらの量が少ない作物を収穫する場合は、穂軸デフレクタをトウモロコシ位置に下げます。このセクションで後述の「作物ダイバータ」を参照してください。
- PowerCast テールボードを装備している場合は、ディスク速度をゼロに設定します。詳細については、「CommandTouch ひじかけコンソール」セクションの「スプレッダー速度調整スイッチ」を参照してください。

OUO6075,0000CB9 -40-28JUN11-1/1

テールボード：調整

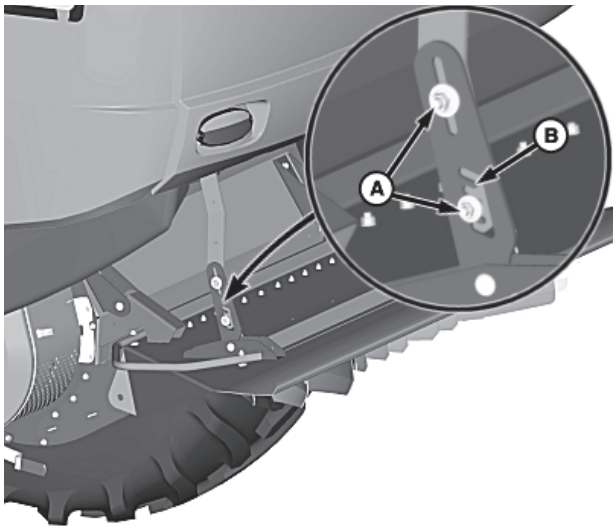
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

テールボードの両側のボルト (A) を緩めます。

テールボードを上または下のノッチ (B) に調整してわらの拡散幅を制御します。

テールボードの両側のボルトを締め付けてその位置に固定します。

A：ボルト (4 個使用)
B：ノッチ



OUO6075,0001815 -40-28MAY14-1/1

テールボード羽根 (手動調整) : 調整

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

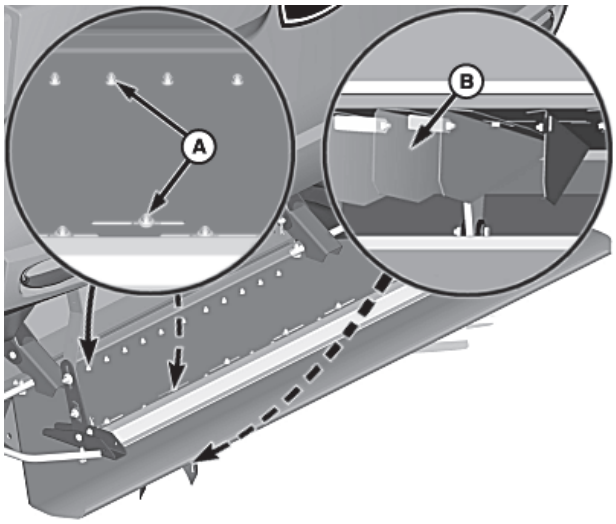
注記 : 工場設定で適切な拡散幅や均一な分散が得られない場合は、テールボード羽根を調整できます。

テールボード羽根は 9.1 m (30 ft) プラットフォーム用に工場で設定されています。

ナット (A) を緩めてテールボード羽根 (B) を必要に応じて調整し、わら拡散幅の分布を制御します。このセクションで後述の「テールボード羽根 (手動調整) : 工場設定」を参照してください。

ナットを締め付けて、残りのテールボード羽根で必要に応じて手順を繰り返します。

A : ナット
B : テールボード羽根



OUO6075,0001816 -40-28MAY14-1/1

テールボード羽根 (電気モーター) : 調整

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

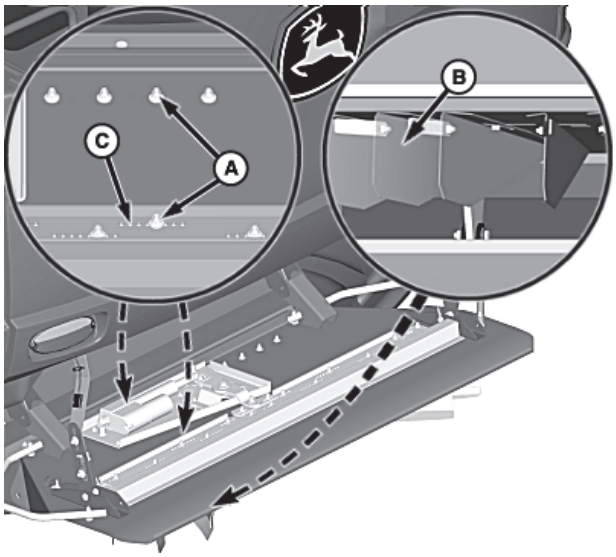
注記 : 工場設定で適切な拡散幅や均一な分散が得られない場合は、テールボード羽根を調整できます。

テールボード羽根は 9.1 m (30 ft) プラットフォーム用に工場で設定されています。

ナット (A) を緩めてテールボード羽根 (B) を必要に応じて別の穴 (C) に調整し、わら拡散幅の分布を制御します。このセクションで後述の「テールボード羽根 (電動調整) : 工場設定」を参照してください。

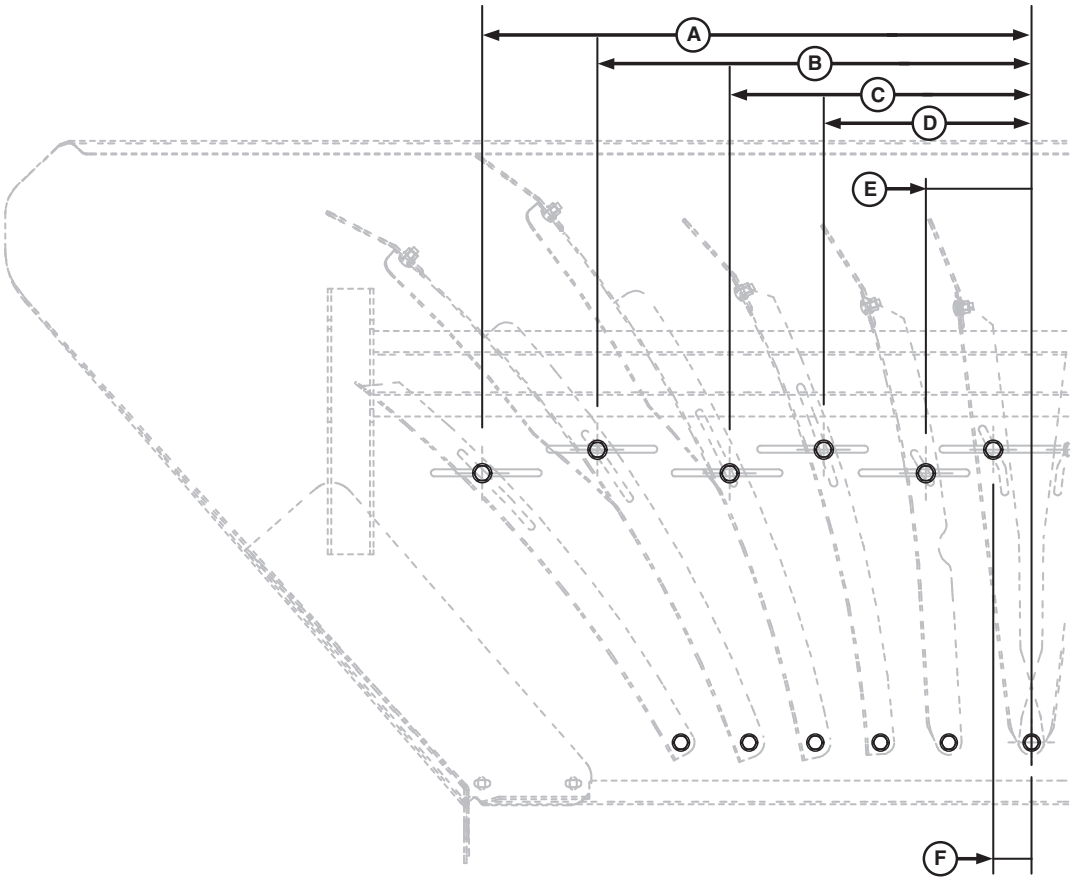
ナットを締め付けて、残りのテールボード羽根で必要に応じて手順を繰り返します。

A : ナット
B : テールボード羽根
C : 穴



OUO6075,0001818 -40-28MAY14-1/1

テールボード羽根 (手動調整) : 工場設定

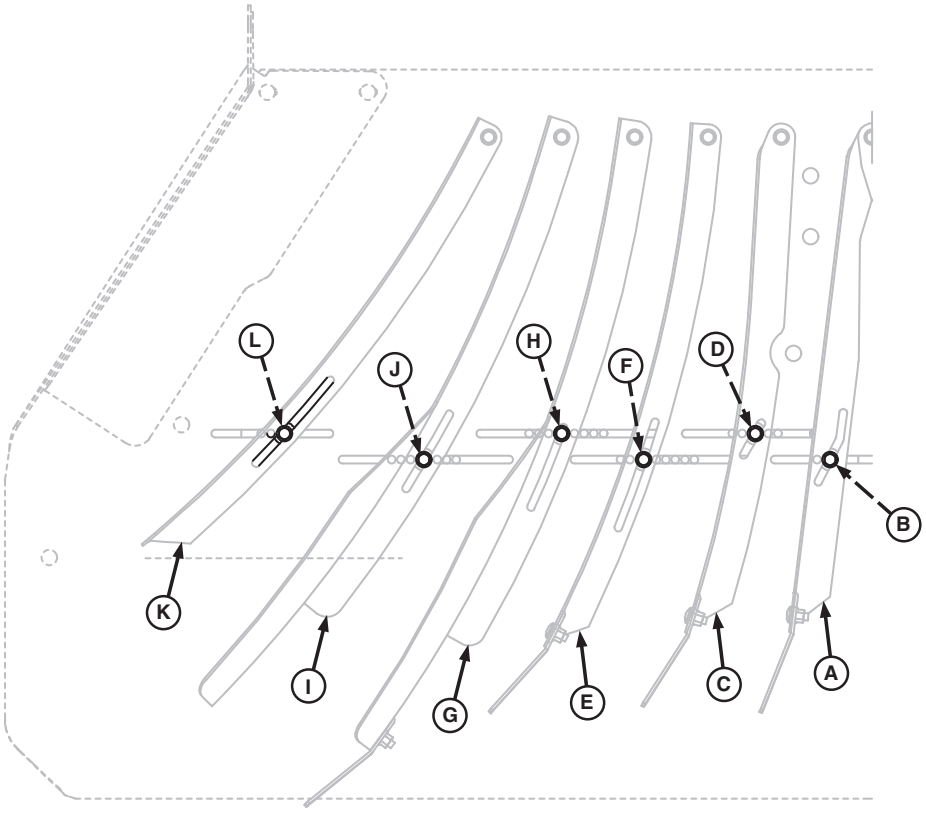


9.1 m (30 ft) プラットフォーム用のテールボード羽根の設定 (テールボード上面から見た図)

A : 693 mm (27.3 in)
B : 548 mm (21.6 in)
C : 382 mm (15 in)
D : 262 mm (10.3 in)
E : 133 mm (5.2 in)
F : 48 mm (1.9 in)

OUO6075,0001817 -40-28MAY14-1/1

テールボード羽根 (電動調整) : 工場設定



9.1 m (30 ft) プラットフォーム用のテールボード羽根の設定 (テールボード底面から見た図)

A : 羽根 1	**D : 3 番目の穴**	**G : 羽根 4**	**J : 4 番目の穴**
B : 2 番目の穴	**E : 羽根 3**	**H : 5 番目の穴**	**K : 羽根 6**
C : 羽根 2	**F : 6 番目の穴**	**I : 羽根 5**	**L : 最初の穴**

注記 : 穴の位置は、テールボード羽根を調整する際のテールボードの中心から外側への位置を表しています。7.6 m (25 ft) 拡散幅パターンが必要な場合は、オプションキットの詳細について John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,0001819 -40-28MAY14-1/1

PowerCast テールボード：調整 (オプション)

警戒：運転中は広げているテールボードの背後に誰も立たせないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてから調整してください。

最高の性能を得るには、駆動されているテールボードを水平にまたは地面に対して平行に常に運転する必要があります。タイヤの組み合わせによっては、テールボードを上げ下げする必要があります。

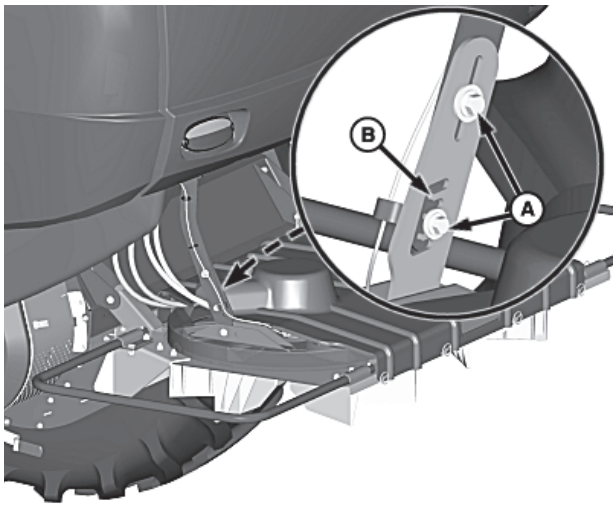
機械を平坦な場所に駐車します。

チョッパーの両側のボルト (A) を緩めます。

駆動されているテールボードを上下のノッチ (B) に調整してテールボードを水平に調整します。

チョッパーの両側のボルトを締め付けてその位置に固定します。

A：ボルト (4 個使用)
B：ノッチ



OUO6075,00009CC -40-14OCT10-1/1

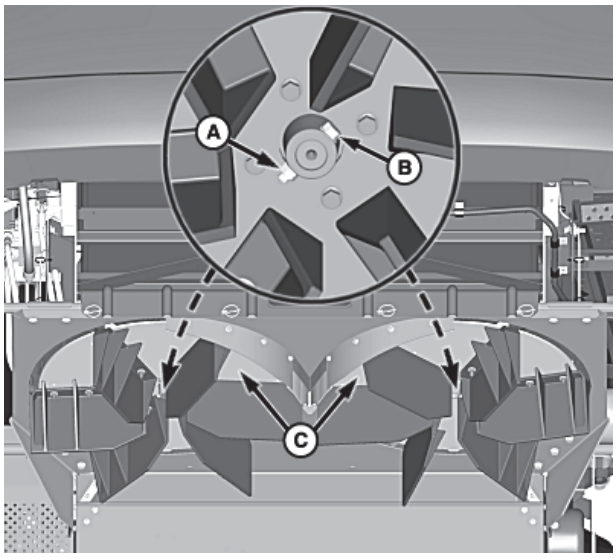
PowerCast テールボード：交換 (オプション)

警戒：ディスクアセンブリの重量は約 13 kg (29 lb) です。

重要：ディスクアセンブリは左用と右用があります。取り外す前にディスクアセンブリの位置の印を付けてください。

ロックナット (A) とボルト (B) をスプレッダーディスクアセンブリ (C) から取り外します。

A：ロックナット
B：ボルト
C：スプレッダーディスクアセンブリ



次のページへ

OUO6075,00009CE -40-22SEP10-1/2

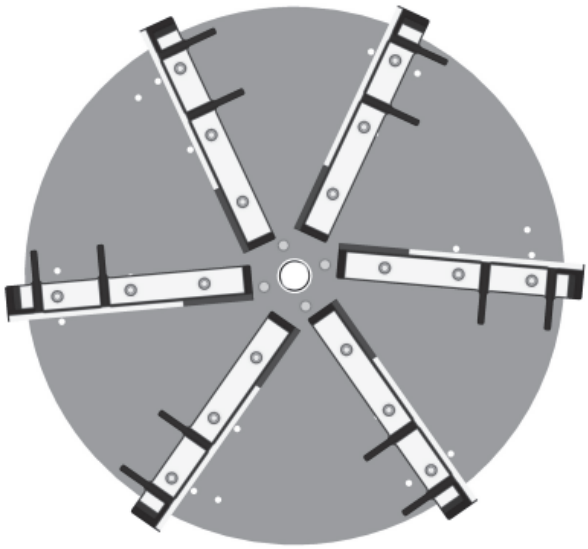
重要：摩耗または破損したブレードを交換するときは、ディスクの反対側のブレードも同時に交換してディスクの回転バランスを維持してください。

ブレードは、材料の最適な拡散が得られるように交互に変わる穴パターンで向きを設定されています。前に取り外したときの穴と同じ穴に交換用ブレードを取り付けていることを確認してください。

必要に応じて交換用ブレードを取り付けて金具を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ブレード金具 トルク	22 N•m (16 lb-ft)



OUO6075,00009CE -40-22SEP10-2/2

PowerCast テールボード (オプション) リアシュラウド

注記：難脱穀性や重いわら条件で収穫しているときは、材料を機械の中心に向けて拡散させるためにシュアラウドを取り外すことができます。

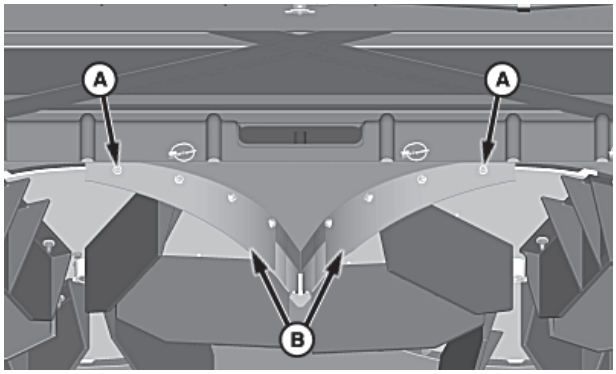
トウモロコシを収穫するときは、材料の最適な分布を確保するためにフロントおよびリアシュラウドを必ず取り付ける必要があります。

圃場位置：

シュラウドは、幅が広いプラットフォーム用の分布の残留物拡散を管理するために使用されます。

図に示すように、溶接付けされたストラップの背後にリアシュラウド (B) を取り付けて金具 (A) を使用して固定します。

A：クイックロックピン
B：シールド
C：リアシュラウド
D：蝶ナット



A：金具 (8 個使用) **B：リアシュラウド**

次のページへ

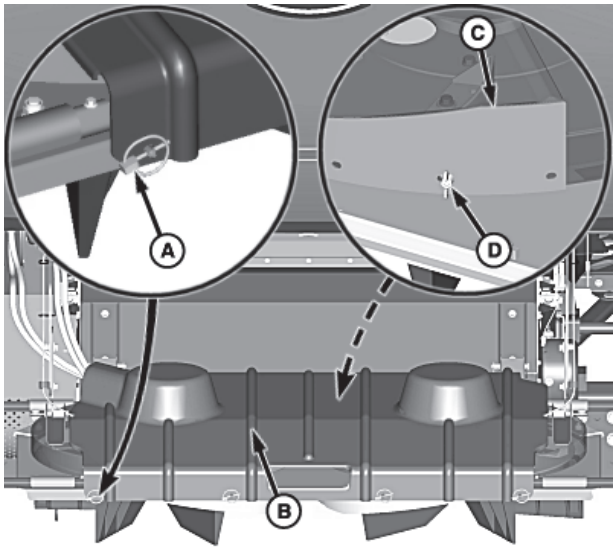
OUO6075,00009CF -40-30SEP10-1/2

保管位置：

クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外して保管します。

図に示すように、リアシュラウド (C) を溶接スタッドに取り付けて蝶ナット (D) で固定します。

前の手順で取り外したシールドとクイックロックピンを取り付けます。



OUO6075,00009CF -40-30SEP10-2/2

作物ダイバータ羽根：調整

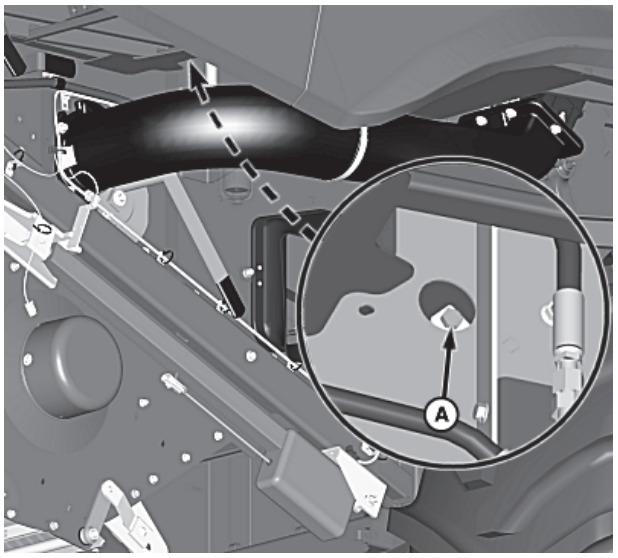
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

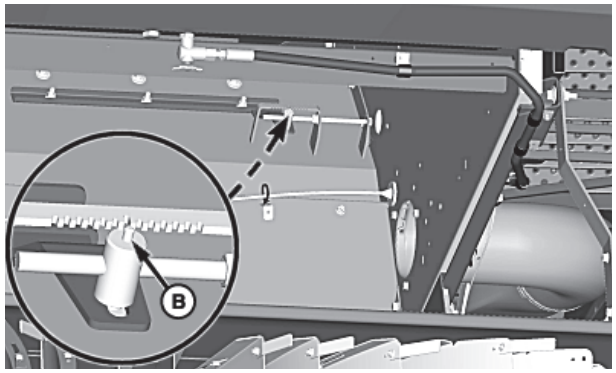
ボルト (A) を回してインジケーター (B) を調整し、作物ダイバータ羽根を動かします。

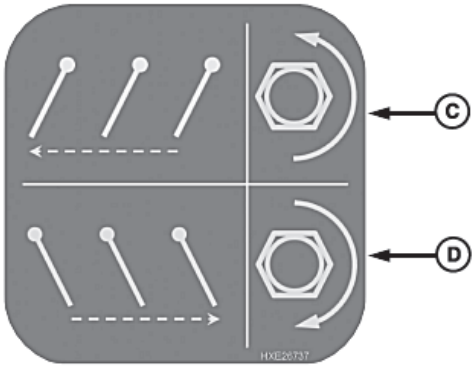
- 反時計回り (C)：羽根を機械の左側に動かします。
- 時計回り (D)：機械の右側に羽根を動かします。

注記：ボディ幅に全体に作物材料の分布が均等になるまで羽根を調整します。

A：ボルト
B：インジケーター
C：反時計回り
D：時計回り







OUO6075,00009CD -40-17NOV10-1/1

作物ダイバータ

重要：けがや機械の損傷を防止するため、機械を運転中は作物ダイバータハンドルを動かさないでください。

小粒穀物用位置 (C)：

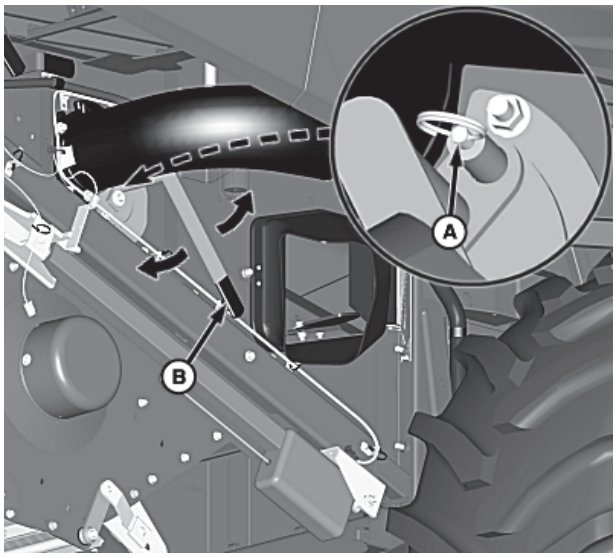
ロックアウトピン (A) を引き、作物ダイバータハンドル (B) を「上側」の位置に動かします。クリーニングシューを整備するときは、作物ダイバータハンドルを「上側」の位置にする必要があります。

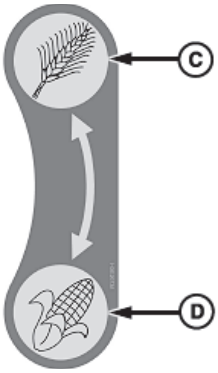
大粒穀物用位置 (D)：

注記：トウモロコシまたはヒマワリを収穫するときは、作物ダイバータハンドルを「下側」の位置にする必要があります。

ロックアウトピン (A) を引き、作物ダイバータハンドル (B) を「下側」の位置に動かします。作物ダイバータは材料が前方に飛ばないようにしてクリーニングシューの損傷を防止します。

A：ロックアウトピン
B：作物ダイバータハンドル
C：小粒穀物用位置
D：大粒穀物用位置





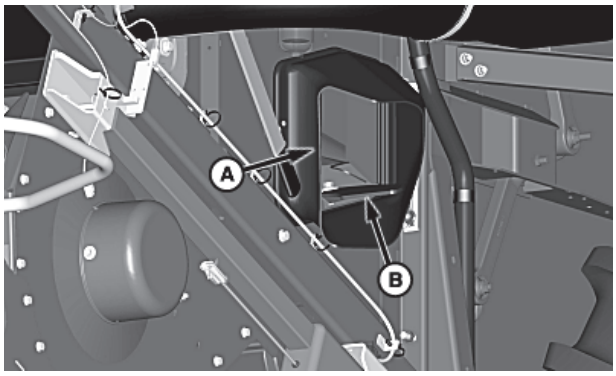
OUO6075,00009BC -40-23NOV10-1/1

エアシュート

エアシュート (A) はチョッパーの両側にあり、特に低速で運転中にクリーニングシューでより自由な空気の呼吸を可能にします。収穫条件によっては、グレインタンク品質を向上させてフィーダーハウスのほこりを減らすことができます。

エアシュートアジテータ (B) は作物材料の堆積やエアシュートの詰まりを防止します。

A：エアシュート
B：エアシュートアジテータ



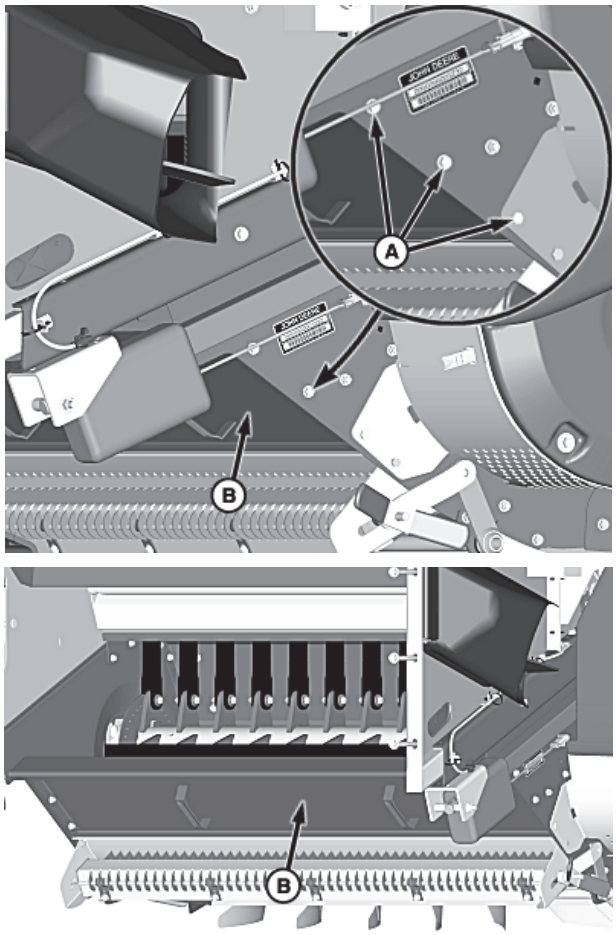
OUO6075,00009BD -40-28SEP10-1/1

チョッパーアクセスドア

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

チョッパーの両側のボルト (A) を取り外してアクセスドア (B) を取り外します。

A：ボルト
B：アクセスドア



OUO6075,0000A30 -40-20OCT10-1/1

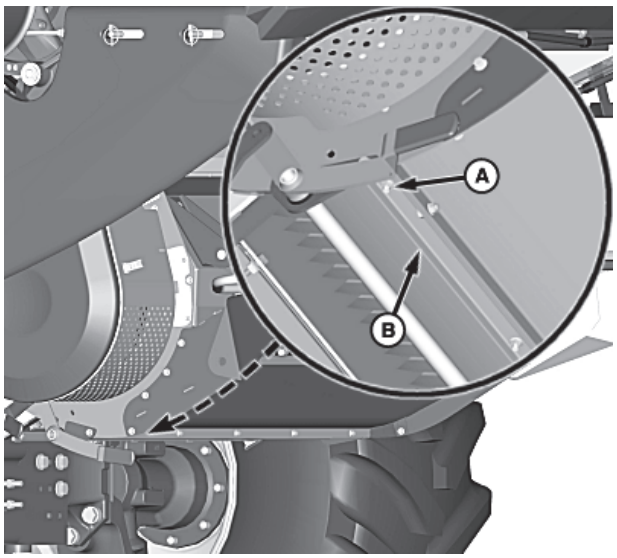
チョッパーコントローラバー (オプション)

重要：トウモロコシを収穫するときは、コントローラバーを取り外して保管位置に配置する必要があります。コントローラバーを取り外さないと、チャファーエレメントが損傷する可能性があります。

コントローラバーは、難脱穀性わら条件で切断品質、分布、拡散幅を改善します。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

金具 (A) とコントローラバー (B) をチョッパーの底から取り外します。

A：金具
B：コントローラバー

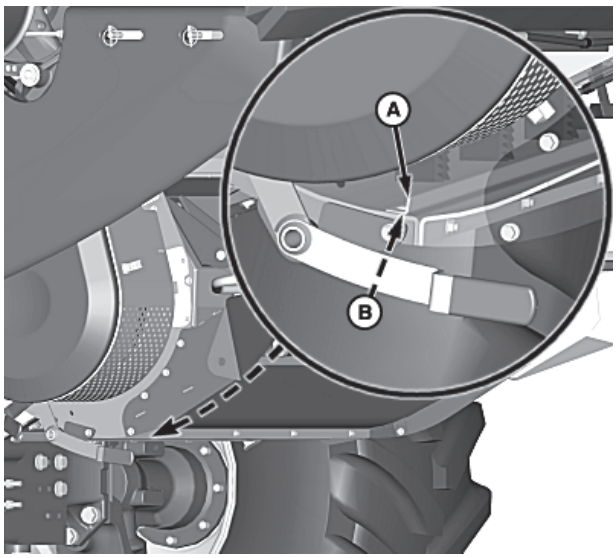


次のページへ

OUO6075,00009BF -40-21SEP10-1/2

図のように、チョッパーを完全に上げ、コントローラバー (A) をチョッパーの内側に取り付けて金具 (B) で固定します。

A : コントローラバー
B : 金具



OUO6075,00009BF -40-21SEP10-2/2

チョッパー固定ナイフバンク : 調整

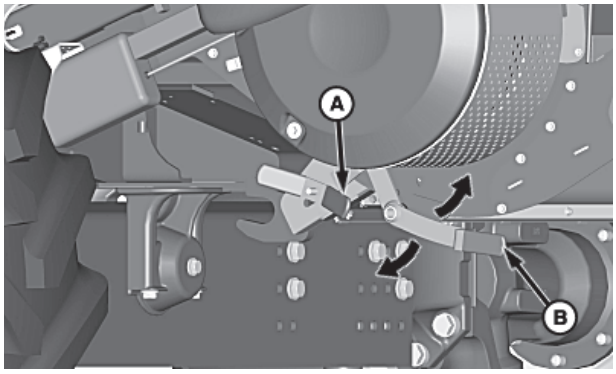
警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

重要 : ナイフバンクは、トウモロコシでは接続を完全に解除する必要があります。

注記 : チョッパーはナイフを解除して運転できますが、切断品質が低下低下します。

間の位置を使用して動力の消費を最適化し、満足できる切断長さを実現してください。

ナイフは任意の位置に調整できます。ナイフの位置によって材料の切断長さが決まります。



ナイフバンクの接続位置

A : 蝶ナット **B : ハンドル**

ナイフバンクの接続位置 :

チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。

ナイフバンクが調整スロットの上部に配置されるまで調整ハンドル (B) を下に動かします。

蝶ナットを締め付けてナイフバンクをその位置に固定します。

ナイフバンクの解除位置 :

チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。

ナイフバンクが調整スロットの底部に配置されるまで調整ハンドル (B) を上に動かします。

蝶ナットを締め付けてナイフバンクをその位置に固定します。

OUO6075,00009C1 -40-21SEP10-1/1

チョッパー固定ナイフブレード：交換

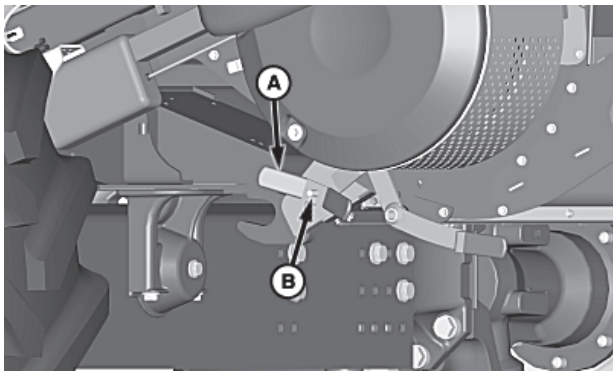
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。ナイフブレードは鋭利です。

チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。

ナイフバンクが調整スロットの底部に配置されるまで調整ハンドルを上に動かします。

注記：後で組み付けるためにナイフバンクの外端のブッシングを保管します。

ナイフバンクを支持し、機械の右側に押してテンションロッド (B) を取り外します。



A：蝶ナット **B：テンションロッド**

OUO6075,00009C0 -40-21SEP10-1/2

ピン (A) を固定ロッド (B) から取り外します。

固定ロッドを保持しているクリップのロックナット (C) を緩めます。

交換する必要があるナイフをかわせるまで固定ロッドをスライドさせます。

さらに使用するためにナイフを反転させるか、両側が摩耗している場合はナイフを交換します。

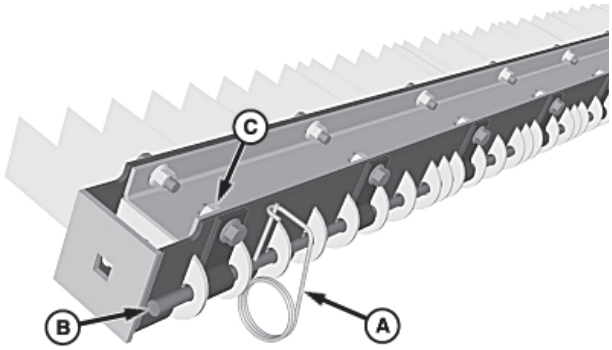
固定ロッドをナイフに整列させます。

クリックのロックナットを締め付けてピンを取り付けます。

注記：ナイフバンクの外端にブッシングを取り付けます。

ナイフバンクアセンブリを取り付けて、機械の右側からテンションロッドをスライドさせます。

蝶ナットを取り付けてナイフバンクを必要な位置に調整します。



A：ピン **C：ロックナット**
B：固定ロッド

重要：ナイフバンクは、トウモロコシでは接続を完全に解除する必要があります。

蝶ナットを締め付けてナイフバンクをその位置に固定します。

OUO6075,00009C0 -40-21SEP10-2/2

ファインカットチョッパーブレード：交換と構成

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：図に示すローターは、スクープブレードとパドルブレードの両方の交換例を示しています。必ず工場出荷時のブレードパターンを維持してください。

外側ブレード：

注記：点検のためにブレードやブッシングを取り外した場合は、取り外したサポートと同じサポートにブレードを取り付けてください。これはバランスを維持するために必要です。取り外す前に各ブレードに印を付けることが適切です。

ブレードの取り付けまたは交換時は、取り外したときと同じ方向に新品の金具を取り付けてください。

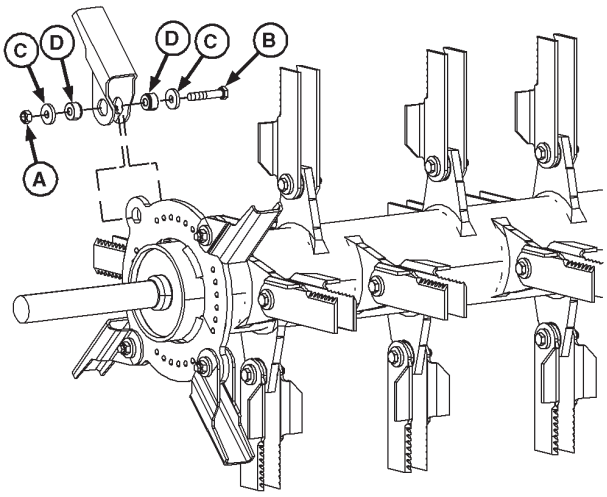
ロックナット (A)、ボルト (B)、座金 (C)、ブッシング (D) を取り外します。

注記：ブッシング、ロックナット、ボルトを点検し、摩耗している場合は交換します。

ブレードとブッシングを交換します。ボルト、座金、ロックナットを取り付けます。ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

チョッパーブレードのロックナットトルク .....60 N•m (44 lb-ft)



A：ロックナット
B：ボルト
C：座金
D：ブッシング

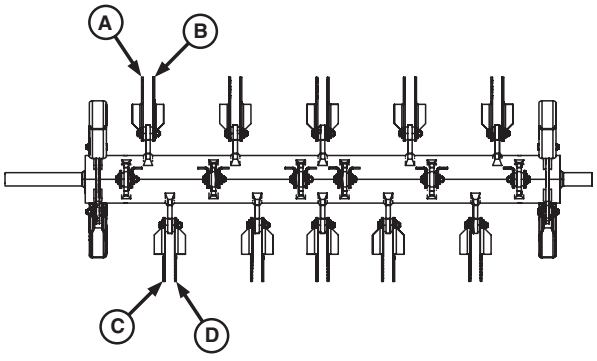
OUO6075,0001451 -40-27MAR13-1/3

ブレード構成：

重要：チョッパーのバランスを維持する必要があります。1 つのサポートの両方のブレード、および反対側のサポートの (180°) の両方のブレードを交換します。1 つの破損したブレードを交換するには、4 つのブレードを取り付ける必要があります。また、すべてのブレードを一度に交換できます。これはバランスを維持するために必要です。

ブレード (A) が破損した場合は、ブレード (A～D) を交換します。

A～D：パドルブレード



次のページへ

OUO6075,0001451 -40-27MAR13-2/3

内側ブレード：

注記：点検のためにブレードやブッシングを取り外した場合は、取り外したサポートと同じサポートにブレードを取り付けてください。これはバランスを維持するために必要です。取り外す前に各ブレードに印を付けることが適切です。

ブレードの取り付けまたは交換時は、取り外したときと同じ方向に新品の金具を取り付けてください。

ロックナット (A) とボルト (B) を取り外します。

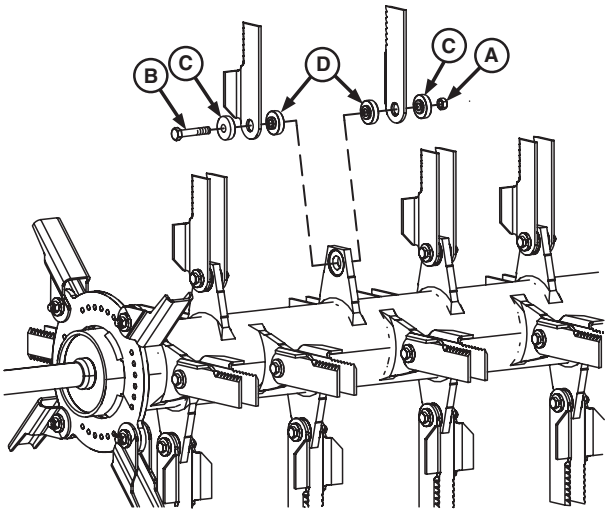
ブッシング (C、D) を取り外して点検します。

注記：ブッシング、ロックナット、ボルトを点検し、摩耗している場合は交換します。

ブレードとブッシングを交換します。ボルトとロックナットを取り付けます。ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

チョッパーブレードのロックナットトルク ..... 60 N•m (44 lb-ft)



A：ロックナット
B：ボルト
C：ブッシング
D：ブッシング

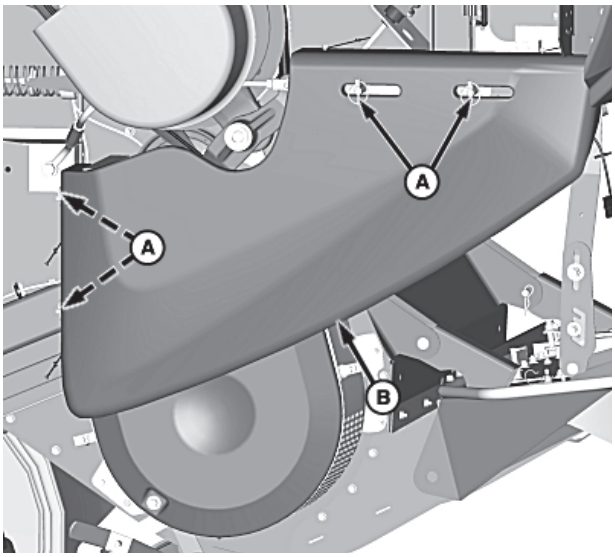
OUO6075,0001451 -40-27MAR13-3/3

チョッパーブレード：心出し

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

チョッパーを完全に上げて、クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。

A：クイックロックピン
B：シールド



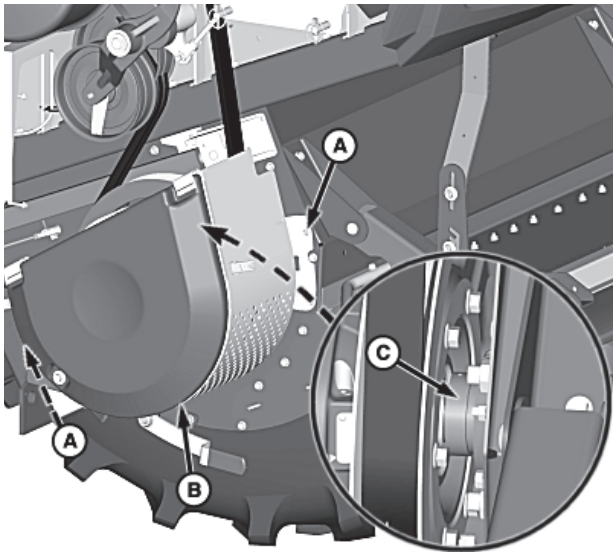
次のページへ

OUO6075,00009C4 -40-21SEP10-1/4

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

左側のセットボルトとロッキングカラー (C) を緩めます。

A : ボルト (4 個使用)
B : シールド
C : ロッキングカラー

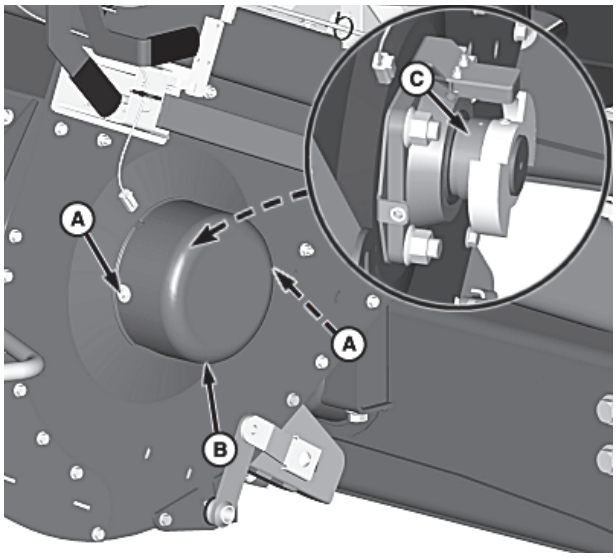


OUO6075,00009C4 -40-21SEP10-2/4

ボルト (A) とベアリングカバー (B) を取り外します。

右側のセットボルトとロッキングカラー (C) を緩めます。

A : ボルト (2 個使用)
B : ベアリングカバー
C : ロッキングカラー



次のページへ

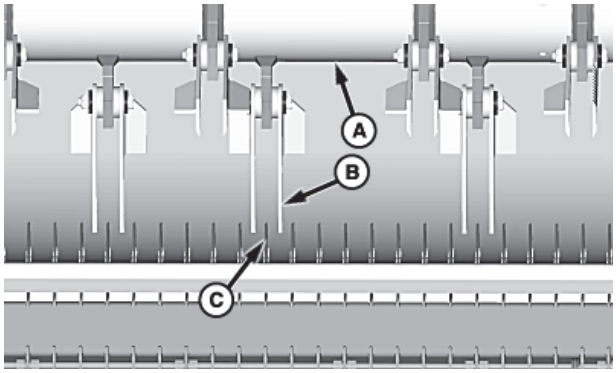
OUO6075,00009C4 -40-21SEP10-3/4

チョッパーローター (A) を右または左に配置して、すべてのブレード (B) が固定ナイフ (C) をかわした位置にあることを確認します。

両側のロッキングカラーを回転方向に締め付けて、セットボルトで固定します。

ベアリングカバーを右側に取り付けて、チョッパーシールドを左側に取り付けます。

A : チョッパーローター
B : ローターブレード
C : 固定ナイフ



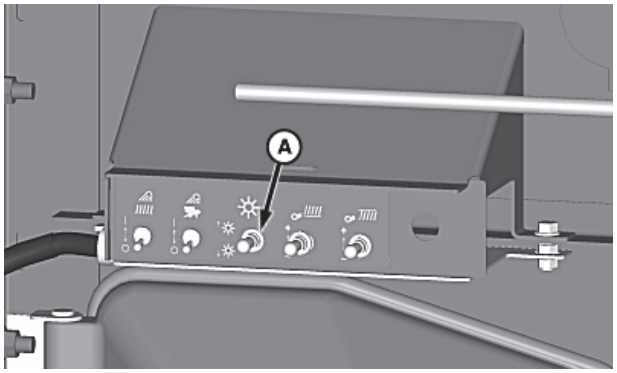
OUO6075,00009C4 -40-21SEP10-4/4

チョッパー調整スイッチ

チョッパー調整スイッチ (A) は機械の左側にあります。

チョッパー調整スイッチを使用して、チョッパーを種々の位置に上昇・下降させることができます。

A : チョッパースイッチ



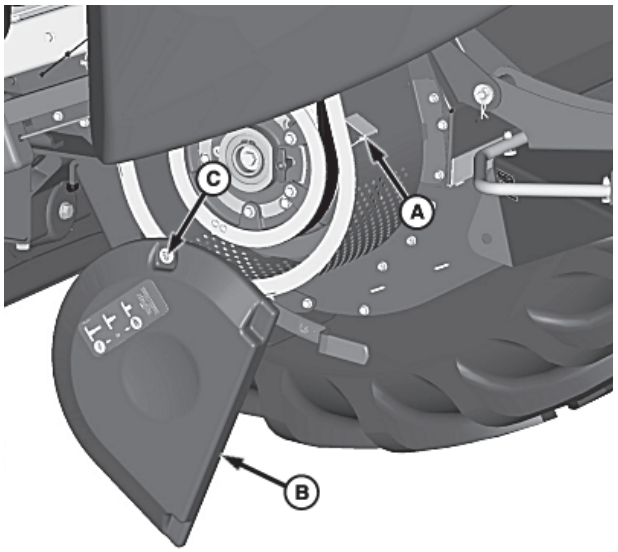
OUO6075,00009C6 -40-21SEP10-1/1

チョッパードライブ速度：変更

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ラッチ (A) を外し、ピボット (C) を中心にシールド (B) を回転させます。

A : ラッチ
B : シールド
C : ピボット



次のページへ

OUO6075,000113F -40-18MAY12-1/2

低速位置：

注記：シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。

シフターハンドル (A) を位置 (B) に動かします。

- トウモロコシ

ニュートラル位置：

注記：シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。

シフターハンドル (A) を位置 (C) に動かします。

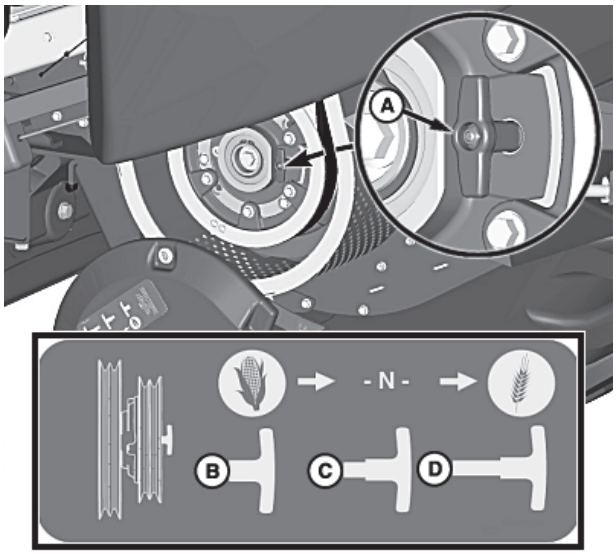
高速位置：

注記：シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。

シフターハンドル (A) を位置 (D) に動かします。

- 穀物

シールドを閉めてラッチで固定します。



A：シフターハンドル
B：低速位置
C：ニュートラル位置
D：高速位置

OUO6075,000113F -40-18MAY12-2/2

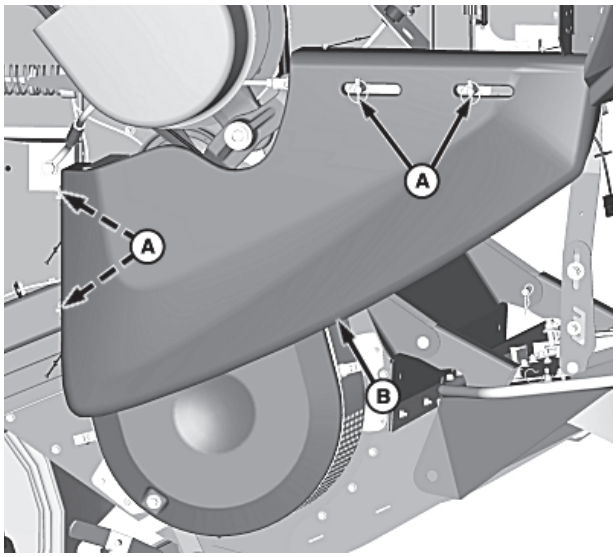
チョッパードライブベルト張力：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：チョッパーを完全に下ろしてベルトの張力を正しく調整します。

クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。

A：クイックロックピン
B：シールド



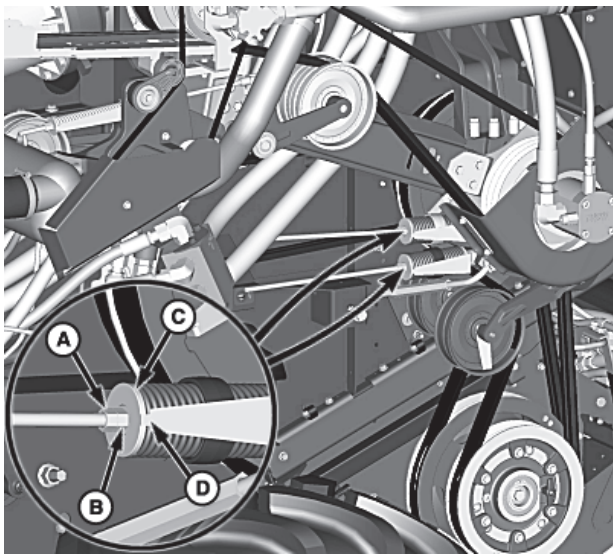
次のページへ

OUO6075,000113F -40-18MAY12-1/2

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでロックナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

シールドを取り付けてクイックロックピンで固定します。

A : ロックナット
B : ナット
C : 座金
D : ゲージ



OUO6075,000113F -40-18MAY12-2/2

チョッパーベルト : 交換

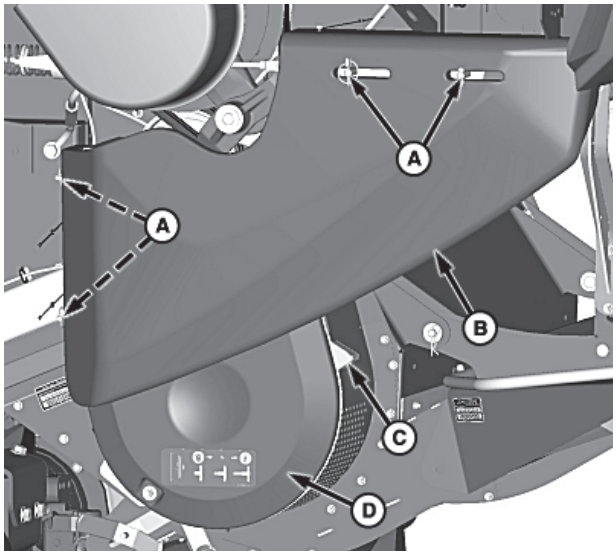
警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記 : ベルトを簡単に取り付けるには、チョッパーを中間位置に動かす必要があります。

クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。

ラッチ (C) を外し、シールド (D) を回転させて外します。

A : クイックロックピン
B : シールド
C : ラッチ
D : シールド



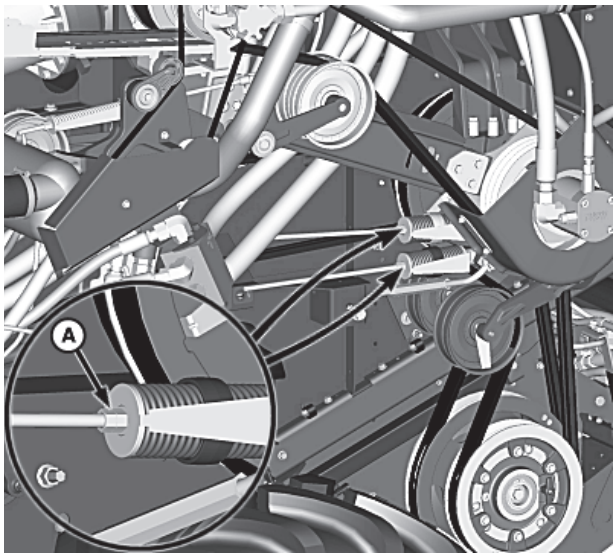
次のページへ

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-1/10

注記：再組み付けを容易にできるように、テンショナナットを緩める前にその位置に印を付けます。

ナット (A) を緩めてベルトの張力を解放します。

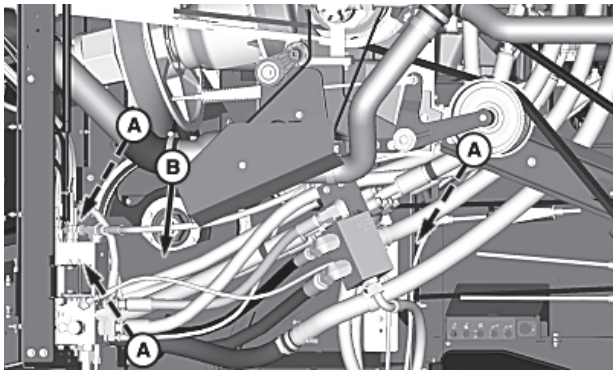
A : ナット



OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-2/10

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A : ボルト
B : シールド

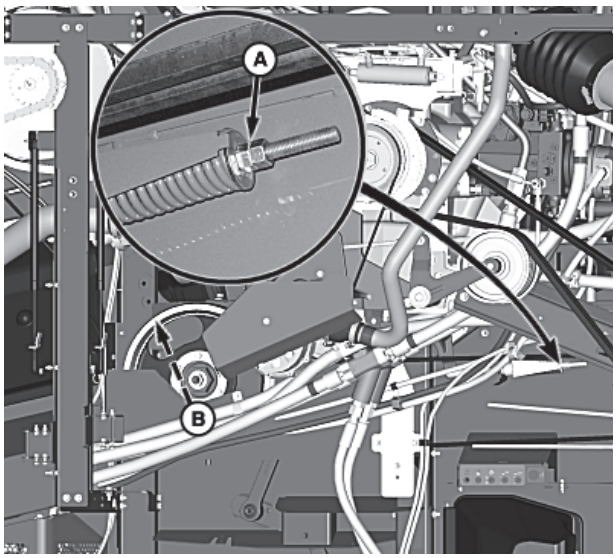


次のページへ

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-3/10

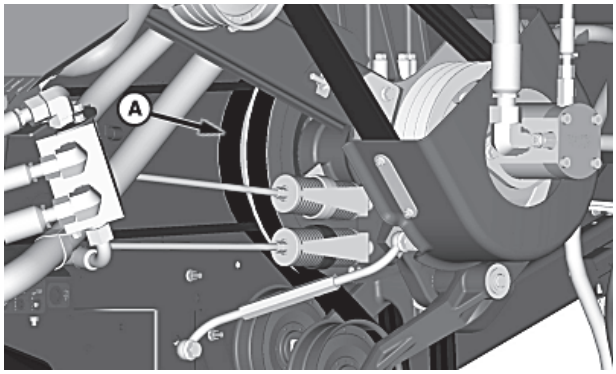
ナット (A) を緩めてディスチャージビーターベルト (B) の張力を解放します。

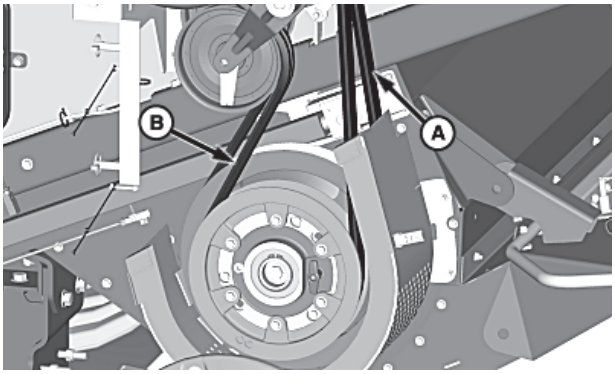
A : ナット
B : ディスチャージビーターベルト



OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-4/10

内側チョッパーベルト :





A : 内側チョッパードライブベルト　　B : 外側チョッパードライブベルト

注記 : シーブとサイドシートの間に収まるようにベルトを回します。

内側チョッパードライブベルト (A) を上部シーブから取り外します。

外側チョッパードライブベルト (B) を下部シーブから取り外します。

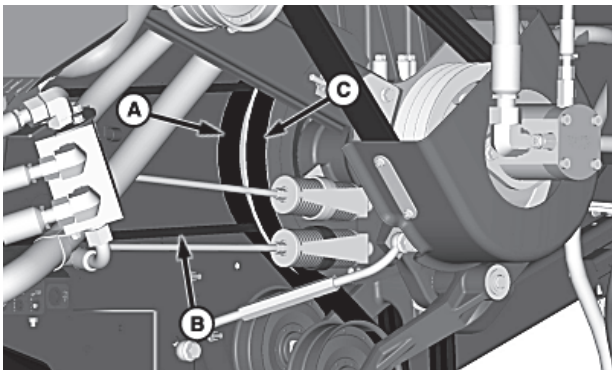
内側チョッパードライブベルトを下部シーブから取り外します。

交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

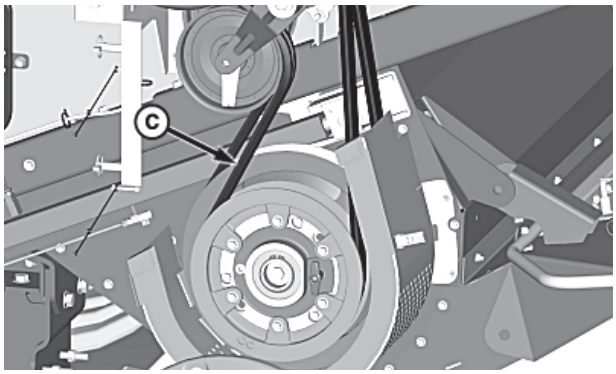
次のページへ

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-5/10

外側チョッパーベルト：



A：内側チョッパードライブベルト　　B：ディスチャージビーターベルト



C：外側チョッパードライブベルト

注記：シーブとサイドシートの間に収まるようにベルトを回します。

内側チョッパードライブベルト (A) とディスチャージビーターベルト (B) を上部シーブから取り外します。

外側チョッパードライブベルト (C) を上部および下部シーブから取り外します。

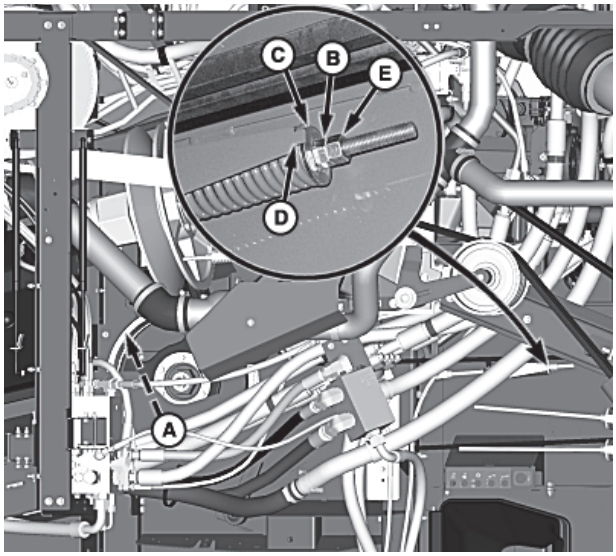
交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-6/10

ディスチャージビーターベルト (A) をシーブに取り付けます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナット (E) を締め付けます。

A：ディスチャージビーターベルト
B：ナット
C：座金
D：ゲージ
E：ロックナット

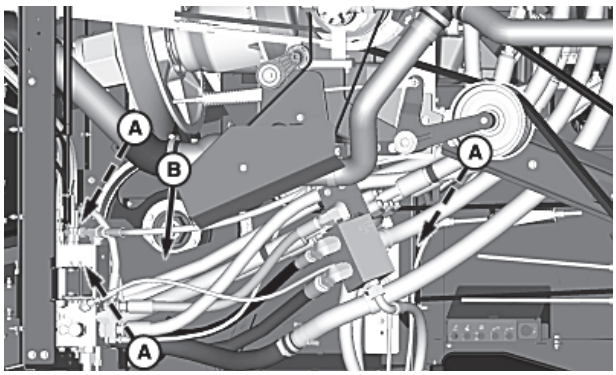


次のページへ

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-7/10

シールド (B) を取り付けてボルト (A) で固定します。

A : ボルト
B : シールド

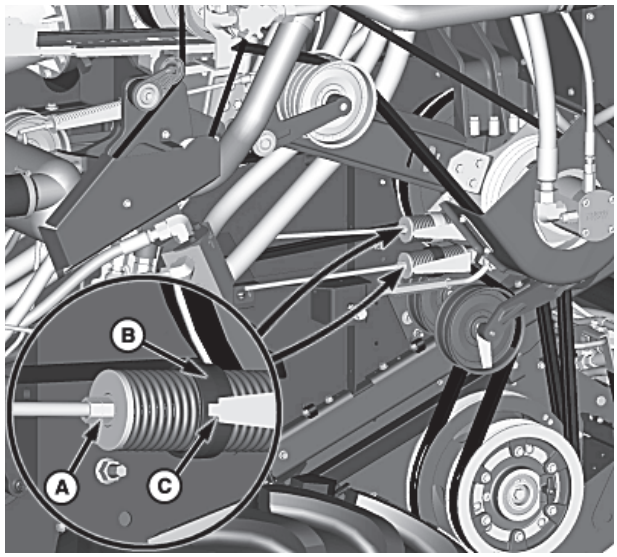


OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-8/10

チョッパーを中間の位置まで下ろします。

図に示すようにスプリングガイド (B) がゲージ (C) の端部に配置されるまでナット (A) を締め付けます。

A : ナット
B : スプリングガイド
C : ゲージ



次のページへ

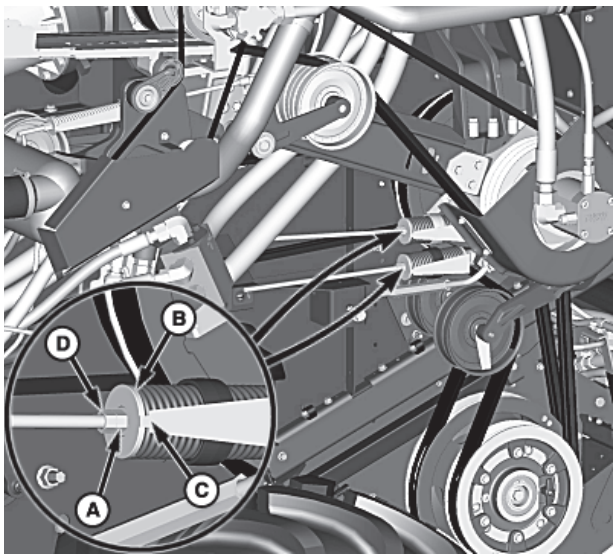
OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-9/10

チョッパーを完全に下ろしてベルトの張力を正しく調整します。

座金 (B) がゲージ (C) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。ロックナット (D) を締め付けます。

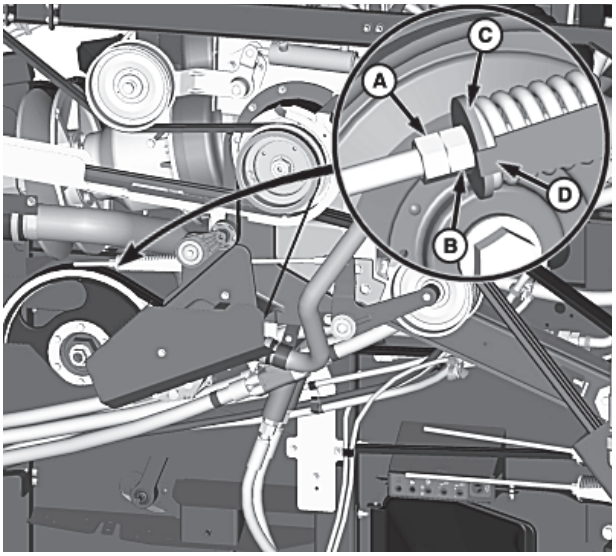
シールドを取り付けてクイックロックピンで固定します。

A : ナット
B : 座金
C : ゲージ
D : ロックナット

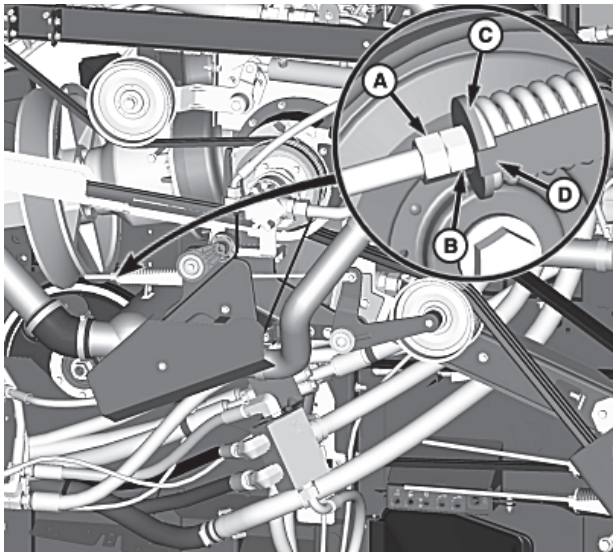


OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-10/10

チョッパージャックシャフトベルト : 調整



S660、S670



S680、S685、S690

A : ロックナット **B : ナット** **C : 座金** **D : ゲージ**

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

チョッパージャックシャフトベルトはチョッパーの上の左側にあります。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでロックナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0001539 -40-19JUN13-1/1

チョッパージャックシャフトベルト：交換 (S660、S670)

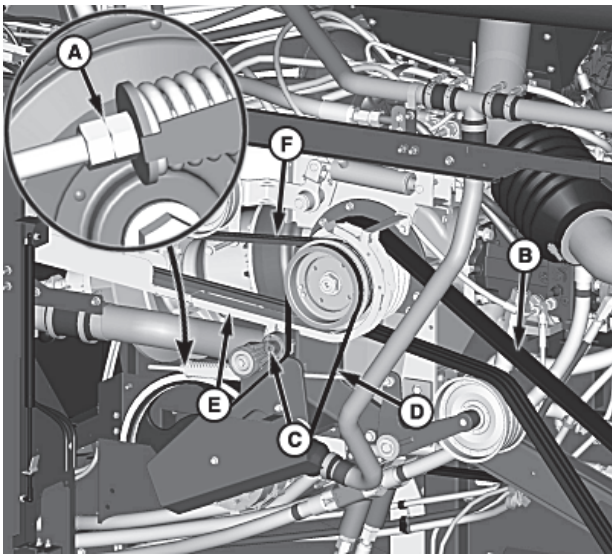
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ナット (A) を緩めてチョッパージャックシャフトベルト (B) の張力を解放します。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (C) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (D) を取り外します。

ボルトをベルトトラップ (E) から取り外します。

アンローディングオーガドライブベルト (F) を取り外して保管します。



A：ナット
B：チョッパージャックシャフトベルト
C：テンショナアーム
D：エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)
E：ベルトトラップ
F：アンローディングオーガドライブベルト

OUO6075,000153A -40-19JUN13-1/5

油圧ポンプ付きの場合：

シールドの両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

ナット (C) をポンプアセンブリブラケットから取り外します。

注記：取り外すときは、座金と防振材が残っていることを確認してください。アセンブリを取り外すときは、前の手順で取り外したナットを取り付けて座金と防振材を固定します。

ボルト (D) をポンプアセンブリから取り外します。

シールド (E) とポンプアセンブリブラケットを取り外します。

シールドとポンプアセンブリブラケットを邪魔にならない位置に支持します。

ジャックシャフトシャフト (F) を上部および下部シーブから取り外します。

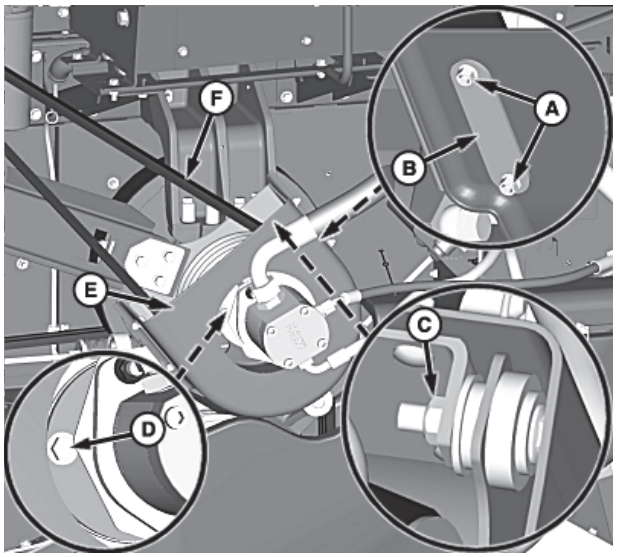
交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト トルク	80 N•m (59 lb-ft)

注記：ポンプアセンブリのシャフトキーをシーブのキー溝と整列させます。座金と防振材がポンプアセンブリに残っていることを確認してください。



A：金具
B：ストラップ
C：ナット
D：ボルト (2 本使用)
E：シールド
F：チョッパージャックシャフトベルト

シールドとポンプアセンブリブラケットを取り付けてナットで固定します。

ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。

次のページへ

OUO6075,000153A -40-19JUN13-2/5

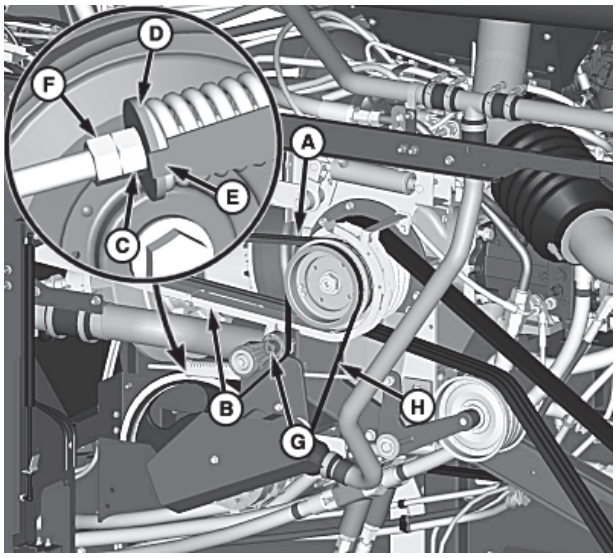
アンローディングオーガドライブベルト (A) を取り付けます。

ベルトトラップ (B) を取り付けてボルトで固定します。

座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (H) を取り付けます。

A : アンローディングオーガドライブベルト
B : ベルトトラップ
C : ナット
D : 座金
E : ゲージ
F : ロックナット
G : テンショナアーム
H : エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



OUO6075,000153A -40-19JUN13-3/5

油圧ポンプなしの場合 :

シールド (C) の両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

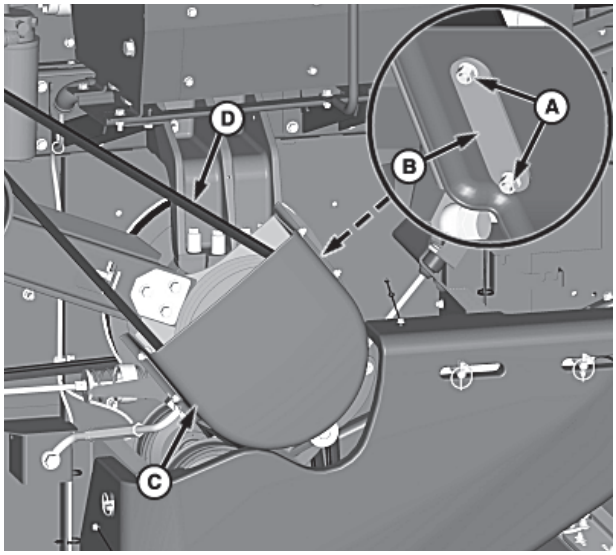
ジャックシャフトシャフト (D) を上部および下部シーブから取り外します。

交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

シールドをブラケットの穴に整列させます。

ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。

A : 金具
B : ストラップ
C : シールド
D : チョッパージャックシャフトベルト



次のページへ

OUO6075,000153A -40-19JUN13-4/5

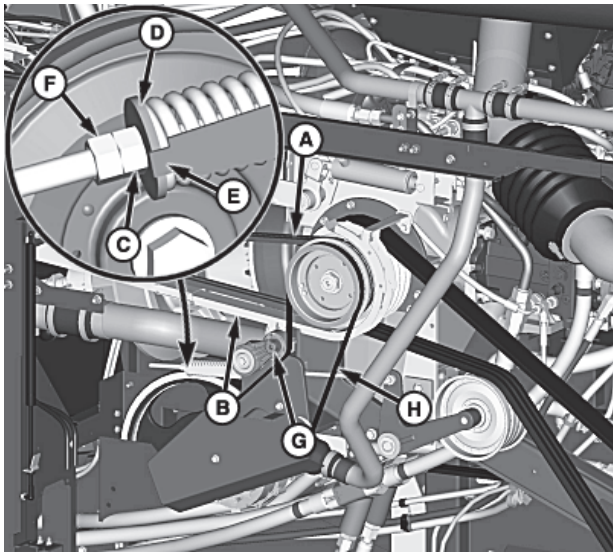
アンローディングオーガドライブベルト (A) を取り付けます。

ベルトトラップ (B) を取り付けてボルトで固定します。

座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (H) を取り付けます。

A : アンローディングオーガドライブベルト
B : ベルトトラップ
C : ナット
D : 座金
E : ゲージ
F : ロックナット
G : テンショナアーム
H : エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



OUO6075,000153A -40-19JUN13-5/5

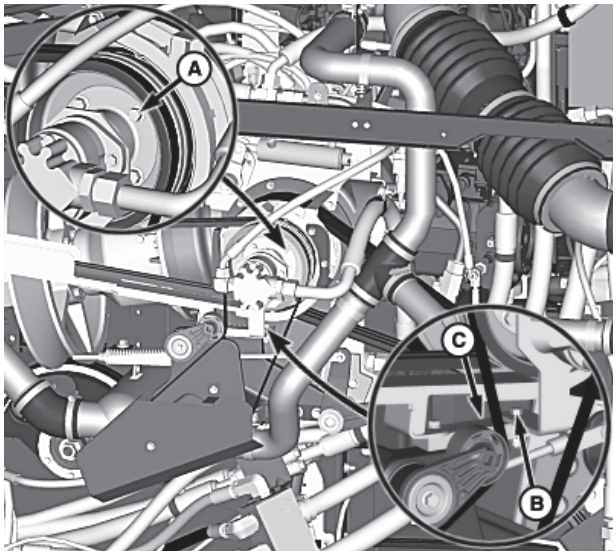
チョッパージャックシャフトベルト : 交換 (S680、S685、S690)

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ボルト (A) と金具 (B) を防振材ストラップ (C) から取り外します。

サポートポンプアセンブリを取り外し、邪魔にならない位置に支持します。

A : ボルト (4 個使用)
B : 金具
C : 防振材ストラップ



次のページへ

OUO6075,000153B -40-19JUN13-1/8

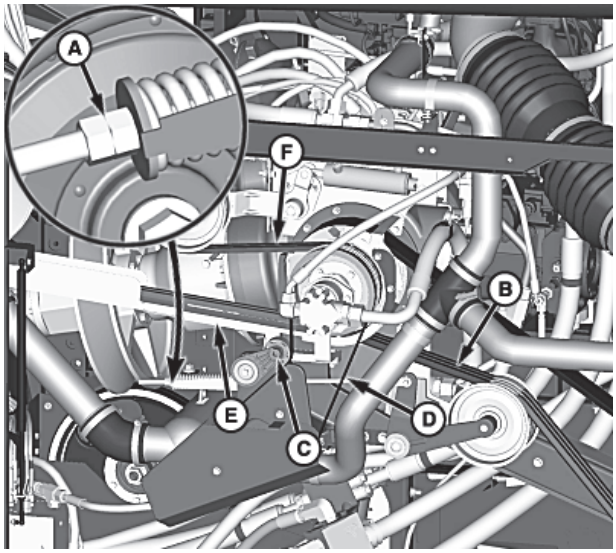
ナット (A) を緩めてチョッパージャックシャフトベルト (B) の張力を解放します。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (C) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (D) を取り外します。

ボルトをベルトトラップ (E) から取り外します。

アンローディングオーガドライブベルト (F) を取り外して保管します。

A : ナット
B : チョッパージャックシャフトベルト
C : テンショナアーム
D : エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)
E : ベルトトラップ
F : アンローディングオーガドライブベルト



OUO6075,000153B -40-19JUN13-2/8

油圧ポンプ付きの場合 :

シールドの両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

ナット (C) をポンプアセンブリブラケットから取り外します。

注記 : 取り外すときは、座金と防振材が残っていることを確認してください。アセンブリを取り外すときは、前の手順で取り外したナットを取り付けて座金と防振材を固定します。

ボルト (D) をポンプアセンブリから取り外します。

シールド (E) とポンプアセンブリブラケットを取り外します。

シールドとポンプアセンブリブラケットを邪魔にならない位置に支持します。

ジャックシャフトシャフト (F) を上部および下部シーブから取り外します。

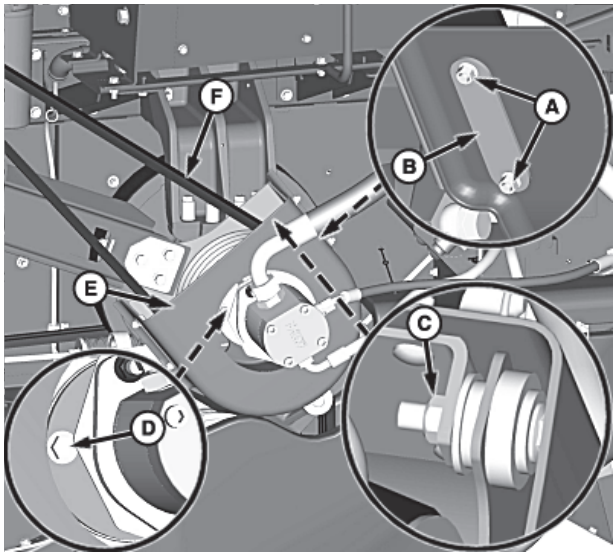
交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト トルク	80 N•m (59 lb-ft)

注記 : ポンプアセンブリのシャフトキーをシーブのキー溝と整列させます。座金と防振材がポンプアセンブリに残っていることを確認してください。



A : 金具
B : ストラップ
C : ナット
D : ボルト (2 本使用)
E : シールド
F : チョッパージャックシャフトベルト

シールドとポンプアセンブリブラケットを取り付けてナットで固定します。

ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。

次のページへ

OUO6075,000153B -40-19JUN13-3/8

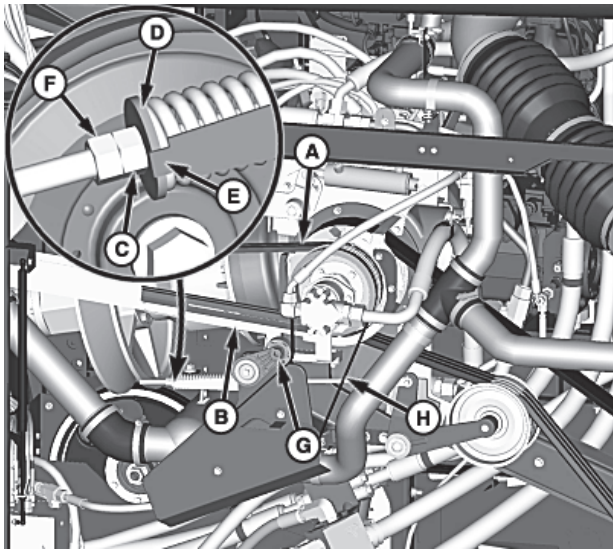
アンローディングオーガドライブベルト (A) を取り付けます。

ベルトトラップ (B) を取り付けてボルトで固定します。

座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (H) を取り付けます。

A : アンローディングオーガドライブベルト
B : ベルトトラップ
C : ナット
D : 座金
E : ゲージ
F : ロックナット
G : テンショナアーム
H : エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



OUO6075,000153B -40-19JUN13-4/8

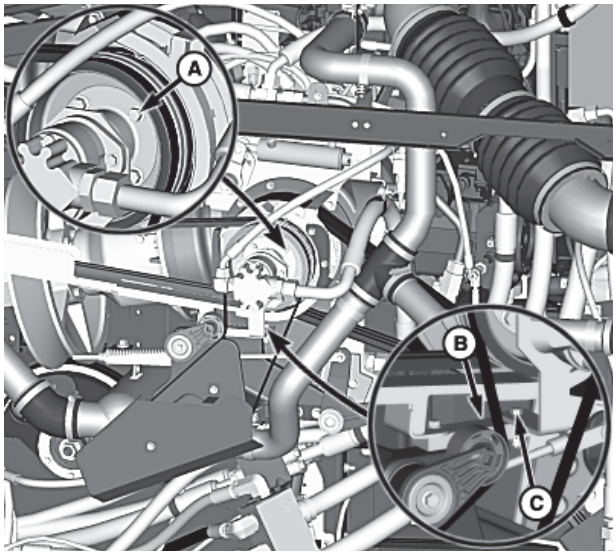
ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルト (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト トルク	80 N•m (59 lb-ft)

防振材ストラップ (B) を取り付けて金具 (C) で固定します。

A : ボルト (4 個使用)
B : 防振材ストラップ
C : 金具



次のページへ

OUO6075,000153B -40-19JUN13-5/8

油圧ポンプなしの場合：

シールド (C) の両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

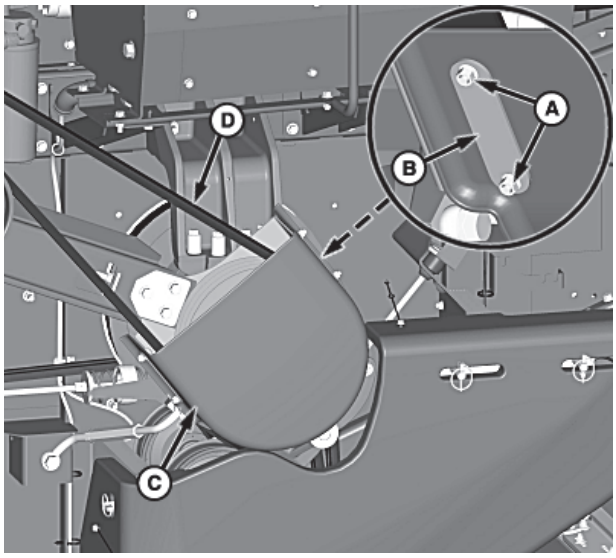
ジャックシャフトシャフト (D) を上部および下部シーブから取り外します。

交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

シールドをブラケットの穴に整列させます。

ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。

A：金具
B：ストラップ
C：シールド
D：チョッパージャックシャフトベルト



OUO6075,000153B -40-19JUN13-6/8

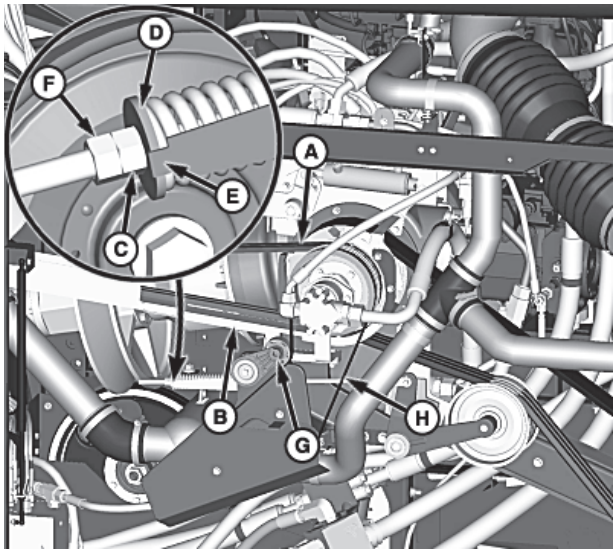
アンローディングオーガドライブベルト (A) を取り付けます。

ベルトトラップ (B) を取り付けてボルトで固定します。

座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (H) を取り付けます。

A：アンローディングオーガドライブベルト
B：ベルトトラップ
C：ナット
D：座金
E：ゲージ
F：ロックナット
G：テンショナアーム
H：エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



次のページへ

OUO6075,000153B -40-19JUN13-7/8

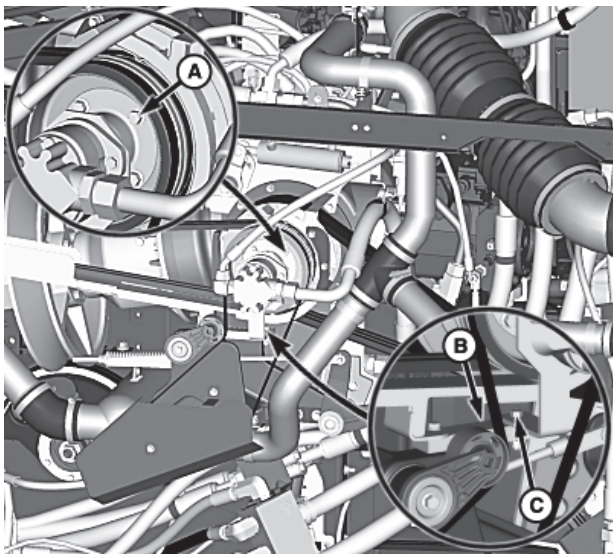
ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルト (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト	
トルク	80 N•m (59 lb-ft)

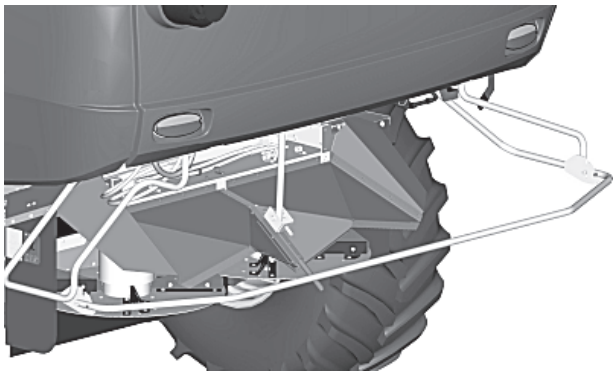
防振材ストラップ (B) を取り付けて金具 (C) で固定します。

A : ボルト (4 個使用)
B : 防振材ストラップ
C : 金具

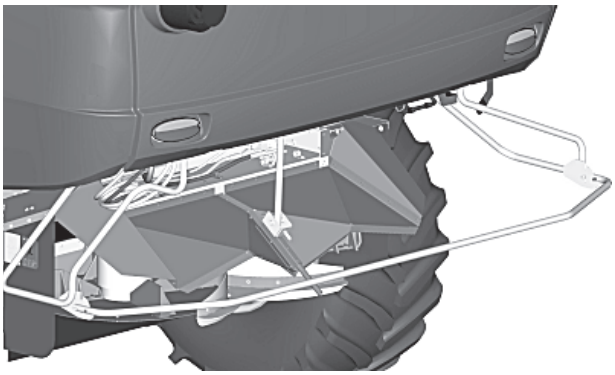


OUO6075,000153B -40-19JUN13-8/8

スプレッダー (一般情報)



シングルスピードスプレッダー



デュアルスピードスプレッダー

警戒 : スプレッダーを運転中はスプレッダーの背後に誰も立たせないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてからスプレッダーを調整してください。上昇させたスプレッダーで整備やメンテナンスを行う前に、ロックアウトピンを所定の位置に完全に挿入してください。

注記 : キャビン内のスプレッダー調整スイッチの詳細については、「CommandTouch ひじかけコンソール」セクションを参照してください。

OUO6075,0000B75 -40-21MAR11-1/1

スプレッダー：ウィンドロー位置

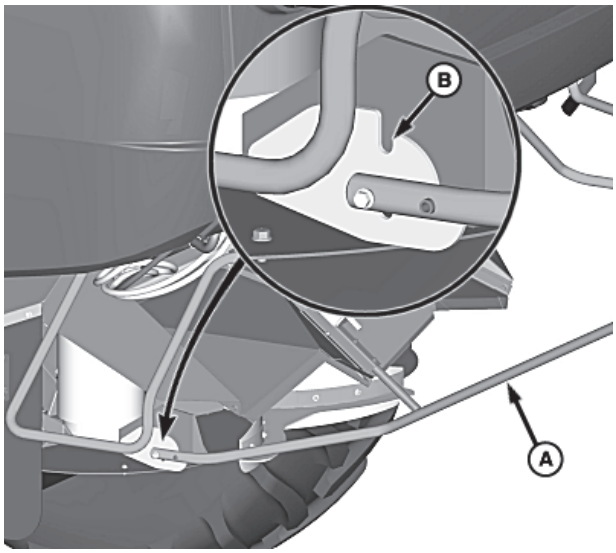
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。上昇させたスプレッダーで整備やメンテナンスを行う前に、ロックアウトピンを所定の位置に完全に挿入してください。

重要：図に示すように、運転時はスプレッダーフープを必ず「下」位置にする必要があります。

注記：ウィンドローパターンで材料を排出させるために、スプレッダーを上に回転させることができます。

スプレッダーにアクセスするとき、またはスプレッダーをウィンドロー位置に上げるときは、ノッチ (B) と整列するまでスプレッダーフープ (A) を上げます。

A：スプレッダーフープ
B：ノッチ

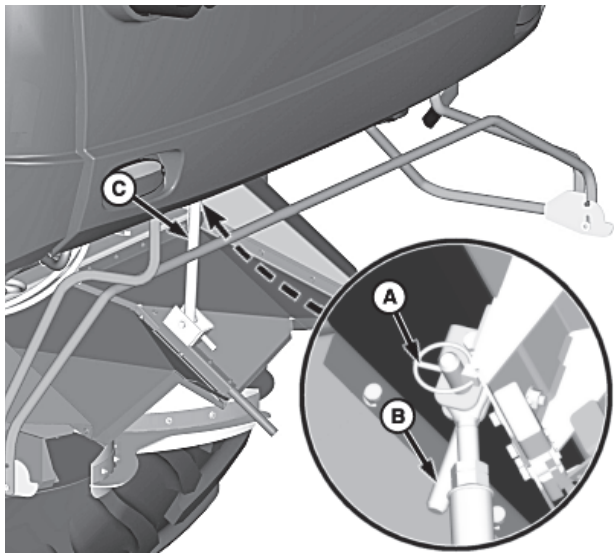


OUO6075,00009D3 -40-23SEP10-1/3

クイックロックピン (A) をピン (B) から取り外してサポートチューブ (C) を下げます。

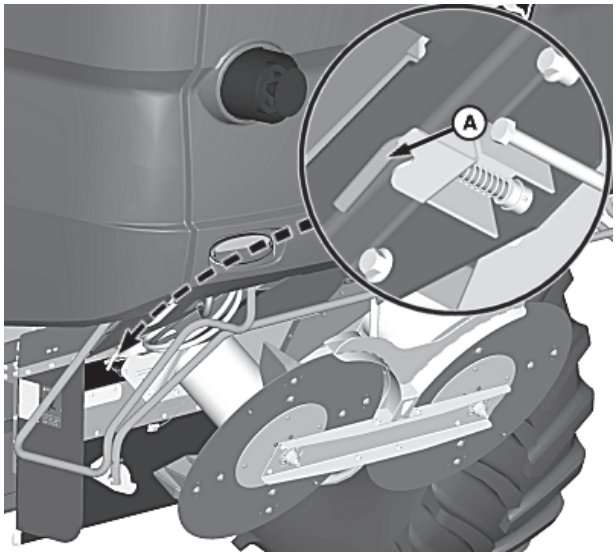
注記：ピンを保管位置に戻してクイックロックピンで固定します。

A：クイックロックピン
B：ピン
C：サポートチューブ



次のページへ

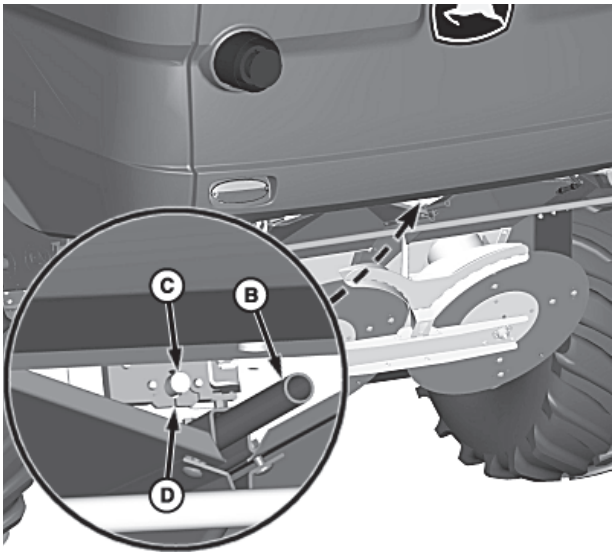
OUO6075,00009D3 -40-23SEP10-2/3



A：ピン　　B：ハンドル

ピン (A) を引っ張り、スプレッダーを完全に上げます。

ピン (C) がラッチアセンブリ (D) と完全にかみ合うまでスプレッダーをハンドル (B) で上げます。

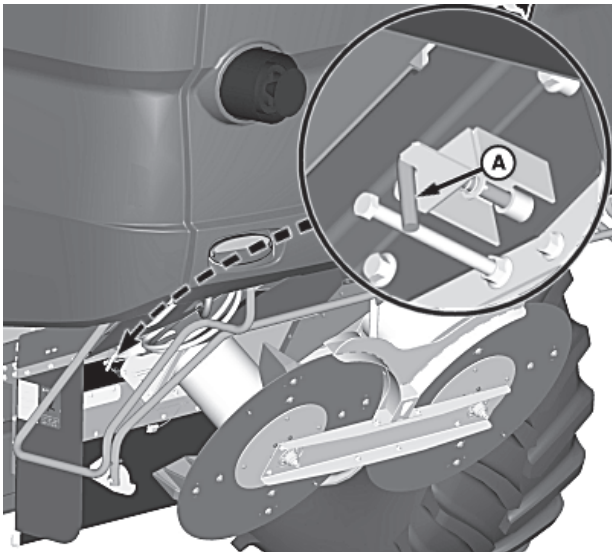


C：ピン　　D：ラッチアセンブリ

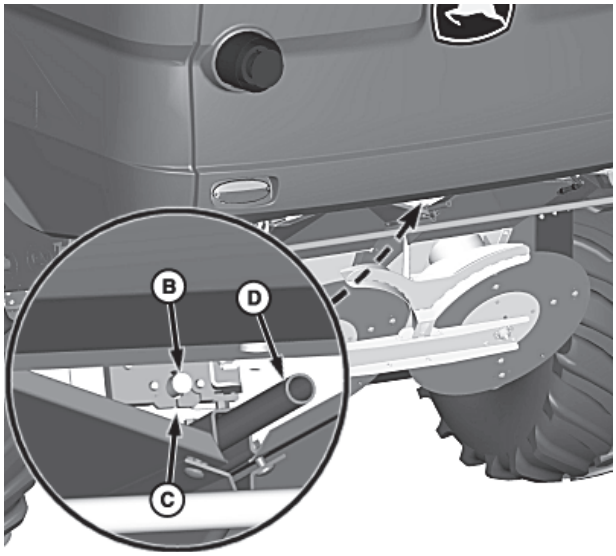
注記：スプレッダー速度をゼロに設定します。詳細については、「CommandTouch ひじかけコンソール」セクションの「スプレッダー速度調整スイッチ」を参照してください。

OUO6075,00009D3 -40-23SEP10-3/3

スプレッダー：下降



A：ピン　　B：ピン



C：ラッチアセンブリ　　D：ハンドル

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ピン (A) を回転させてブラケットに配置し、スプレッダーのロックを解除します。

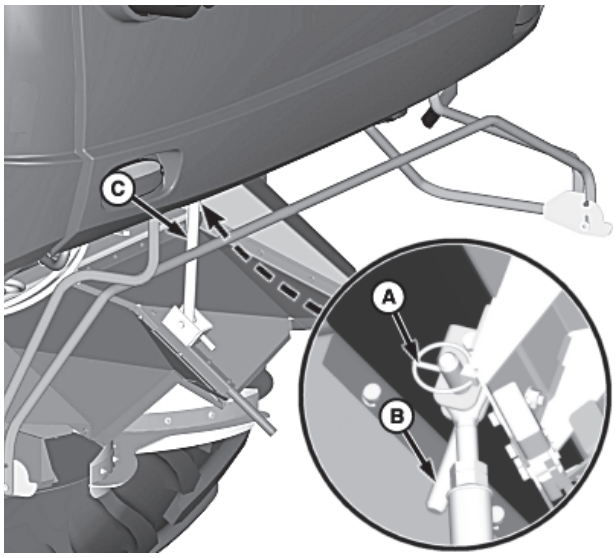
ピン (B) をラッチアセンブリ (C) から外し、スプレッダーをハンドル (D) で下げます。

OUO6075,00009D4 -40-08OCT10-1/2

サポートチューブ (C) を穴に整列するまで上げて、ピン (B) とクイックロックピン (A) で固定します。

注記：必要な拡散幅に達するまでスプレッダー速度を上げます。詳細については、「CommandTouch ひじかけコンソール」セクションの「スプレッダー速度調整スイッチ」を参照してください。

A：クイックロックピン
B：ピン
C：サポートチューブ



OUO6075,00009D4 -40-08OCT10-2/2

スプレッダーディスク (シングルスピード) : 交換

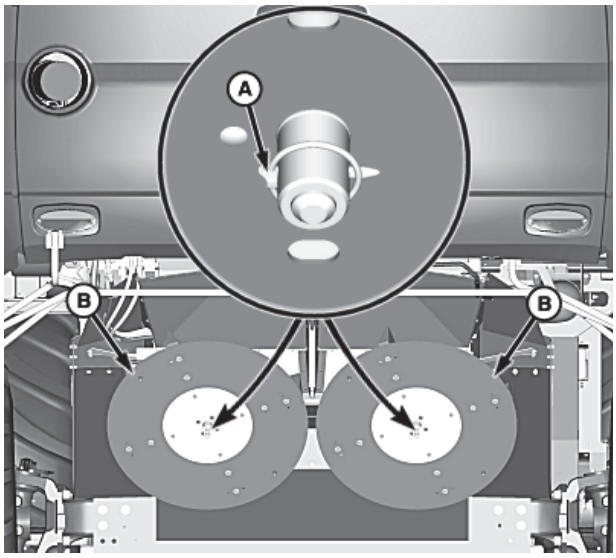
警戒 : ディスクアセンブリの重量は約 25 kg (55 lb) です。

重要 : ディスクアセンブリは左用と右用があります。取り外す前にディスクアセンブリの位置の印を付けてください。

注記 : ディスクアセンブリは、整備のために、またはスプレッダーの下に追加の隙間を確保するために取り外すことができます。

クイックロックピン (A) とディスクアセンブリ (B) を取り外します。

A : クイックロックピン
B : ディスクアセンブリ



OUO6075,00009D5 -40-23SEP10-1/2

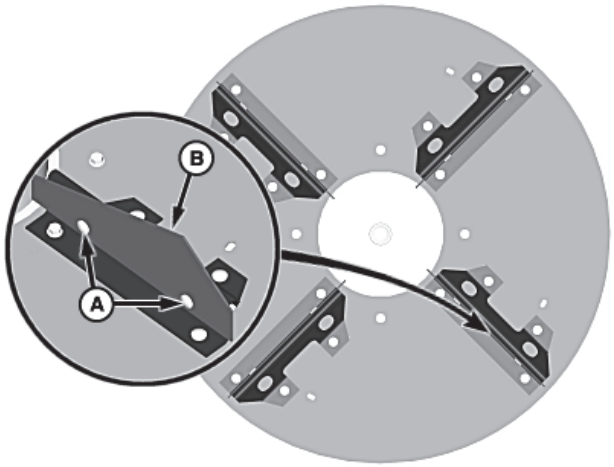
重要 : 摩耗または破損したブレードを交換するときは、ディスクの反対側のブレードも同時に交換してディスクの回転バランスを維持してください。

ブレードは、材料の最適な拡散が得られるように交互に変わる穴パターンで向きを設定されています。前に取り外したときの穴と同じ穴に交換用ブレードを取り付けていることを確認してください。

金具 (A) とブレード (B) を取り外します。

必要に応じて交換用ブレードを取り付けて金具を締め付けます。

A : 金具
B : ブレード



OUO6075,00009D5 -40-23SEP10-2/2

スプレッダーディスク (デュアルスピード) : 交換

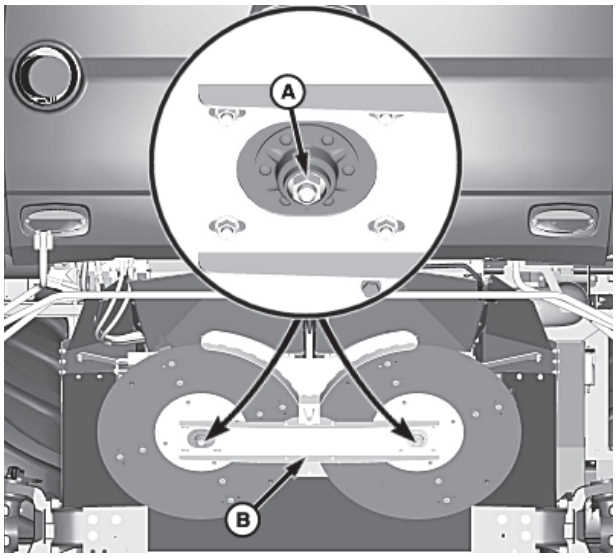
警戒 : ディスクアセンブリの重量は約 25 kg (55 lb) です。

重要 : ディスクアセンブリは左用と右用があります。取り外す前にディスクアセンブリの位置の印を付けてください。

注記 : ディスクアセンブリは、整備のために、またはスプレッダーの下に追加の隙間を確保するために取り外すことができます。

ナット (A) とサポートシュラウド (B) を取り外します。

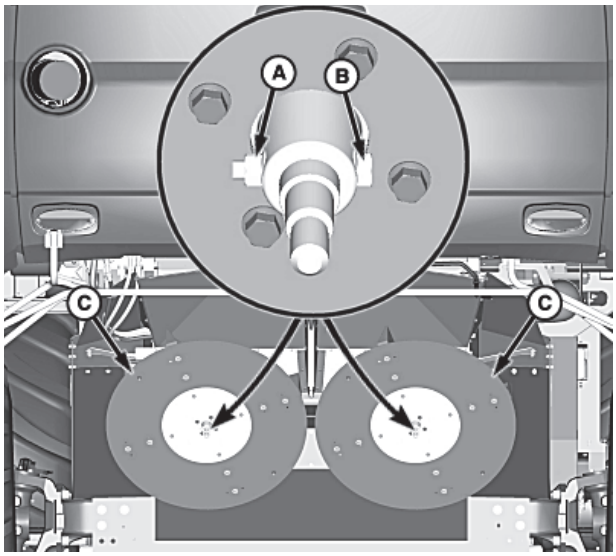
A : ナット
B : サポートシュラウド



OUO6075,00009D6 -40-23SEP10-1/3

ナット (A) とボルト (B) をディスクアセンブリ (C) から取り外します。

A : ナット
B : ボルト
C : ディスクアセンブリ



次のページへ

OUO6075,00009D6 -40-23SEP10-2/3

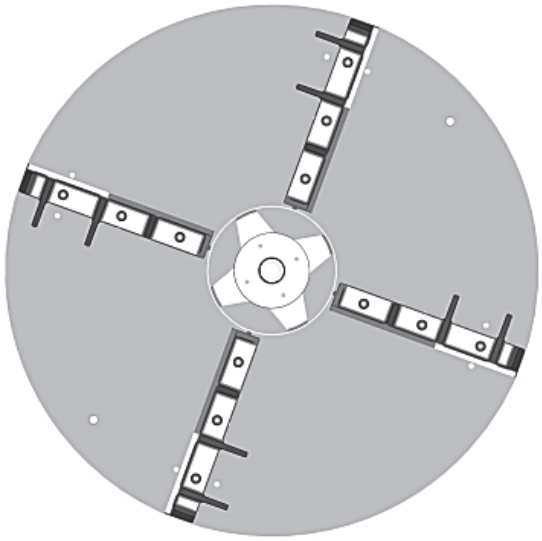
重要：摩耗または破損したブレードを交換するときは、ディスクの反対側のブレードも同時に交換してディスクの回転バランスを維持してください。

ブレードは、材料の最適な拡散が得られるように交互に変わる穴パターンで向きを設定されています。前に取り外したときの穴と同じ穴に交換用ブレードを取り付けていることを確認してください。

必要に応じて交換用ブレードを取り付けて金具を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ブレード金具 トルク	22 N•m (16 lb-ft)



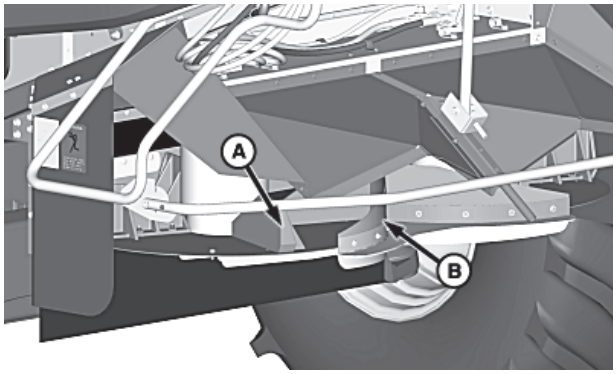
OUO6075,00009D6 -40-23SEP10-3/3

ワイドスプレッドストロースプレッダー (オプション)

警戒：スプレッダーを運転中はスプレッダーの背後に誰も立たせないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてからスプレッダーを調整してください。

注記：9.1 m (30 ft) よりも小さいヘッダーまたは 12 条未満のコーンヘッドを使用して収穫するときは、最適な材料分布を確保するためにシュラウドを取り外す必要があります。

ストロースプレッダーブレード (A) およびシュラウド (B) を取り付けると、拡散幅が増加し、大型のヘッダーで材料の分布が向上します。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。



A：ブレード　　**B：シュラウド**

OUO6075,00009D9 -40-28MAR11-1/1

チョッパーとスプレッダー (中間およびプレミアムモデル)

チョッパー (一般情報)

警戒：チョッパーを運転中はチョッパーの背後に誰も立たせないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてからチョッパーを調整してください。

通常の使用では、チョッパーフィンの底部が鋭角に摩耗します。

エキストラファインカットチョッパーは、チョップツードロップドアを閉めているときにセパレータから排出されるわらを切断します。チョップツードロップドア位置に変更する手順については、「CommandCenter ディスプレイ画面」セクションの「残留物管理の設定」を参照してください。

チョップツードロップドアは、ドアを開いているときにセパレータから排出されるわらを機械の背後にウィンドロー方式で落とすように設定することもできます。

チョップツードロップドアを開いているときに、Advanced PowerCast または Premium Vane テールボードを使用して脱穀材をクリーニングシューからヘッダーの幅に分配します。

高速チョッパーの用途：

- 穀物

低速チョッパーの用途：

- トウモロコシ

チョッパーを高速から低速に変更するには、このセクションで後述の「チョッパードライブ速度：変更」を参照してください。

ナイフバンクを完全に接続解除した位置にして開始します。良好な切断品質が必要な場合は、ナイフバンクを完全に接続した位置に調整します。このセクションで後述の「チョッパー固定ナイフバンク：調整」を参照してください。

注記：キャビンのチョッパー調整スイッチを使用する場合は、詳細について「CommandTouch ひじかけコンソール」セクションを参照してください。

キャビン内のスプレッダー調整スイッチの詳細については、「CommandTouch ひじかけコンソール」セクションを参照してください。

OUO6075,0000CA5 -40-15JUN11-1/1

ウィンドロー (一般情報)

- わらをウィンドロー状に並べて籾殻を散布するには、チョップツードロップドアを開きます (プレミアムモデル)。詳細については、「CommandCenter™ ディスプレイ画面」セクションの「残留物管理の設定」を参照してください。
- わらと籾殻のウィンドローについては、「Deluxe Residue」セクションの「ウィンドロー (一般情報)」を参照してください。
- チョッパーを完全に上昇させます。このセクションで後述の「チョッパー調整スイッチ」を参照してください。
- チョッパードライブをニュートラル位置にシフトします。このセクションで後述の「チョッパードライブ速度：変更」を参照してください。
- わらの量が少ない作物を収穫する場合は、穂軸デフレクタをトウモロコシ位置に下げます。このセクションで後述の「作物ダイバータ」を参照してください。
- Advanced PowerCast™ テールボードを装備している場合は、ディスク速度をゼロに設定します。詳細については、「CommandTouch™ ひじかけコンソール」セクションの「スプレッダー速度調整スイッチ」を参照してください。

CommandCenter は Deere & Company の商標です。
PowerCast は John Deer の商標です。

OUO6075,000181A -40-28MAY14-1/1

テールボード羽根：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：工場設定で適切な拡散幅や均一な分散が得られない場合は、テールボード羽根を調整できます。

テールボード羽根は 9.1 m (30 ft) プラットフォーム用に工場で設定されています。

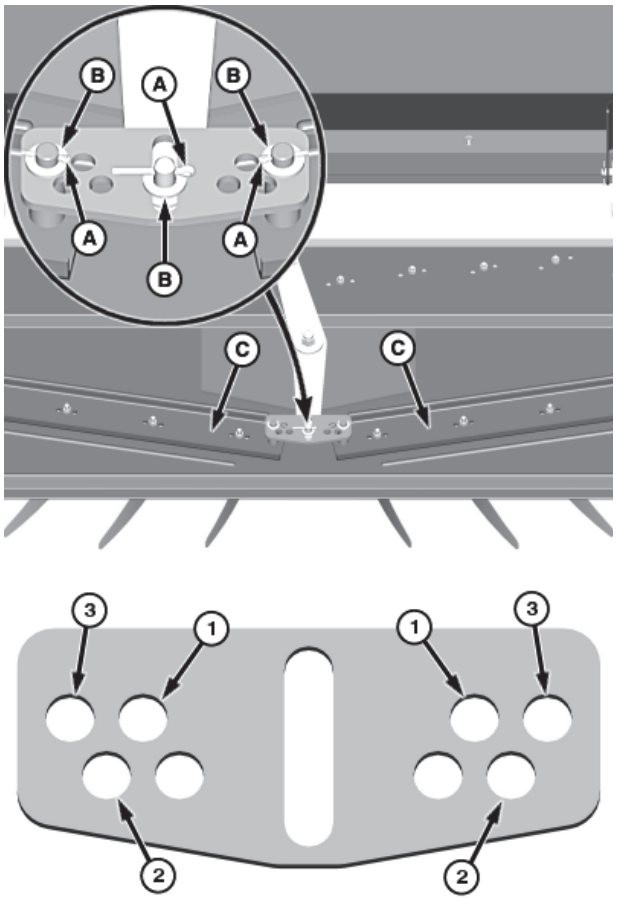
コッタピン (A) と座金 (B) を取り外して保管します。

スライドガイド (C) を調整プレートの必要な穴の位置に調整します。

- 穴 1：6.7 m (22 ft) ヘッダー位置
- 穴 2：7.6 m (25 ft) ヘッダー位置
- 穴 3：9.1 m (30 ft) ヘッダー位置

前の手順で取り外した座金とコッタピンを取り付けます。

A：コッタピン
B：座金
C：スライドガイド



OUO6075,000181B -40-28MAY14-1/1

テールボード羽根 (電気モーター)：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

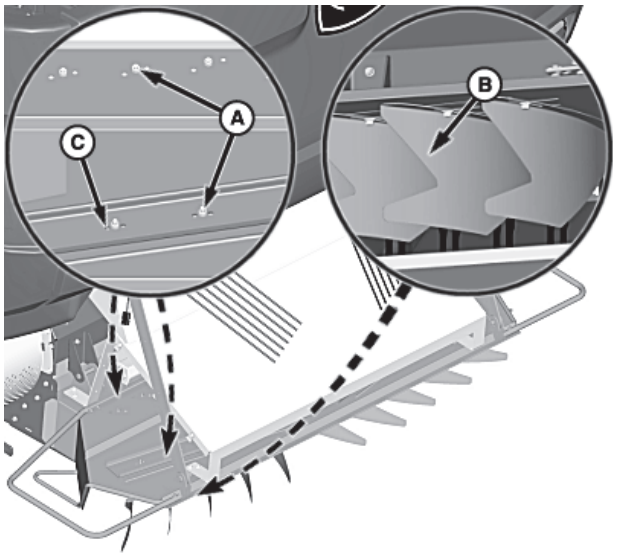
注記：工場設定で適切な拡散幅や均一な分散が得られない場合は、テールボード羽根を調整できます。

テールボード羽根は 9.1 m (30 ft) プラットフォーム用に工場で設定されています。

ナット (A) を緩めてテールボード羽根 (B) を必要に応じて別の穴 (C) に調整し、わら拡散幅の分布を制御します。このセクションで後述の「テールボード羽根 (電動調整)：工場設定」を参照してください。

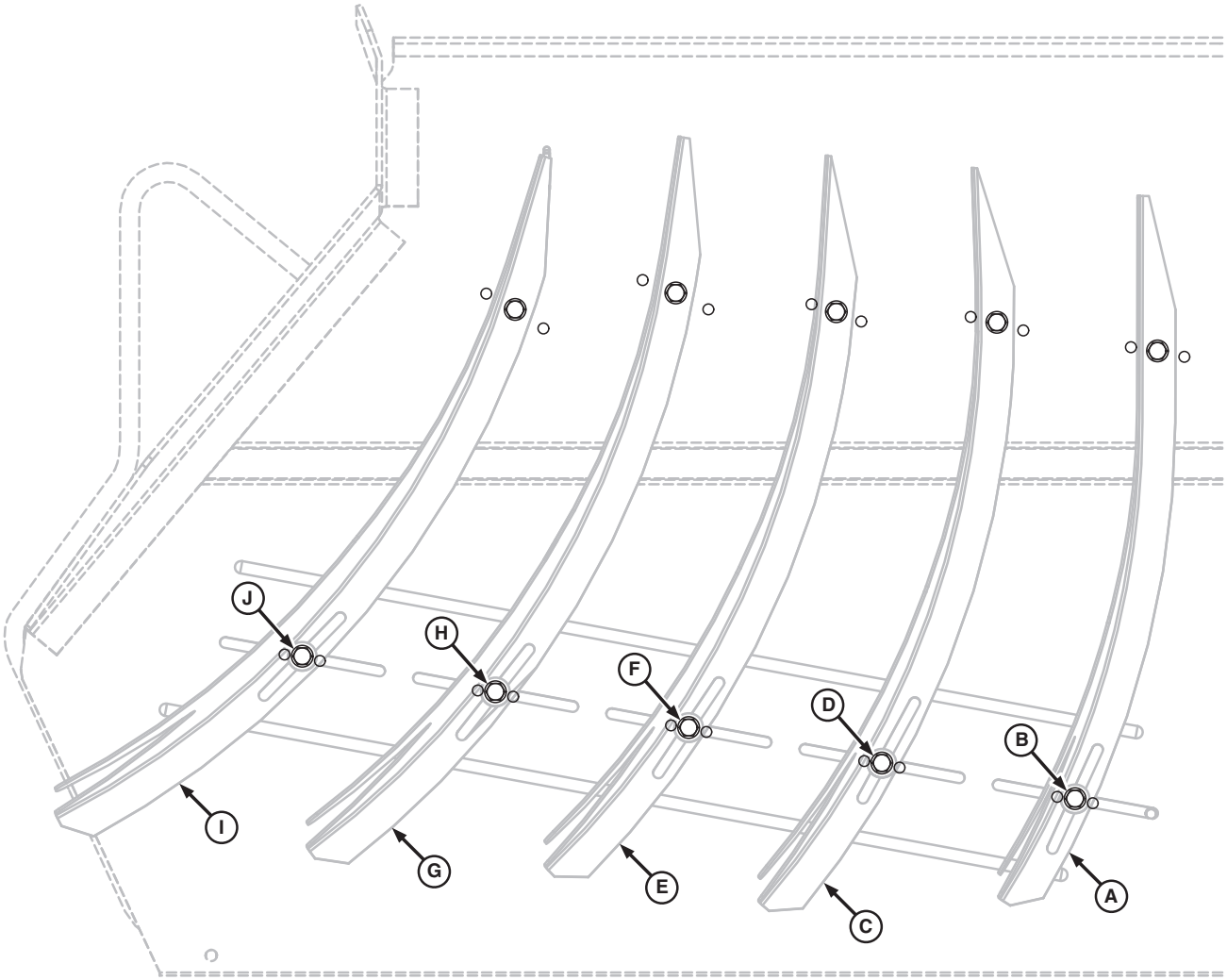
A：ナット
B：テールボード羽根
C：穴

ナットを締め付けて、残りのテールボード羽根で必要に応じて手順を繰り返します。



OUO6075,000181C -40-28MAY14-1/1

テールボード羽根 (電動調整) : 工場設定



9.1 m (30 ft) プラットフォーム用のテールボード羽根の設定 (テールボード底面から見た図)

A : 羽根 1
B : 中間の穴
C : 羽根 2
D : 中間の穴
E : 羽根 3
F : 中間の穴
G : 羽根 4
H : 中間の穴
I : 羽根 5
J : 中間の穴

注記 : 穴の位置は、テールボード羽根を調整する際のテールボードの中心から外側への位置を表しています。7.6 m (25 ft) 拡散幅パターンが必要な場合は、オプションキットの詳細について John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,000181D -40-28MAY14-1/1

作物ダイバータ羽根：調整

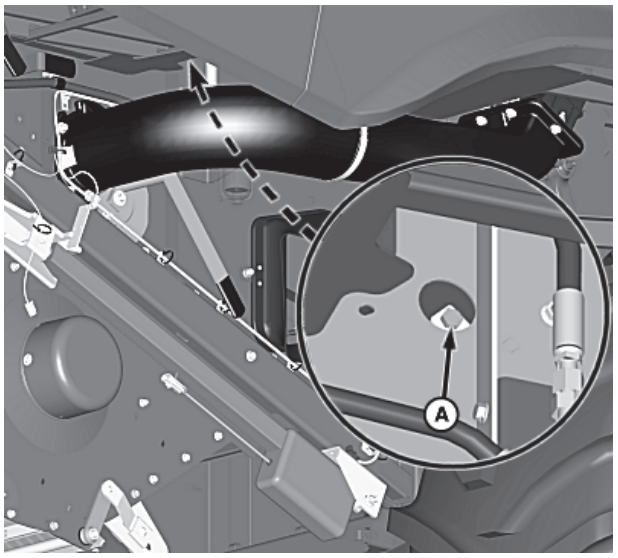
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

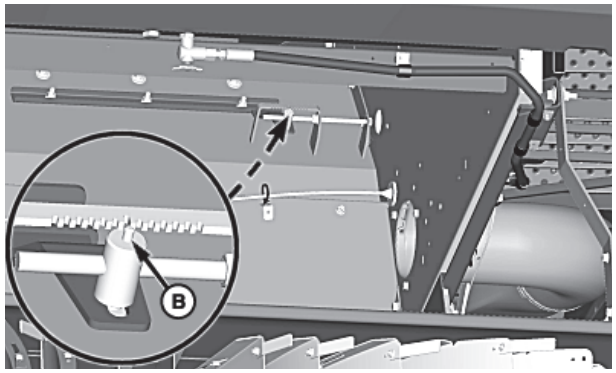
ボルト (A) を回してインジケーター (B) を調整し、作物ダイバータ羽根を動かします。

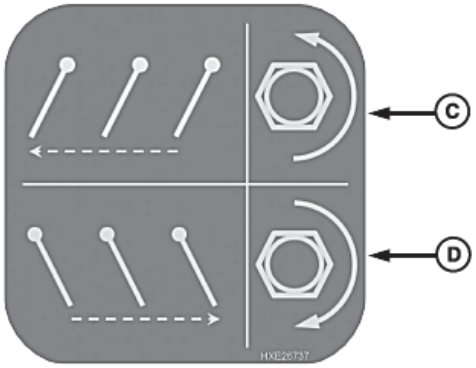
- 反時計回り (C)：羽根を機械の左側に動かします。
- 時計回り (D)：機械の右側に羽根を動かします。

注記：ボディ幅に全体に作物材料の分布が均等になるまで羽根を調整します。

A：ボルト
B：インジケーター
C：反時計回り
D：時計回り







OUO6075,00009CD -40-17NOV10-1/1

作物ダイバータ

重要：けがや機械の損傷を防止するため、機械を運転中は作物ダイバータハンドルを動かさないでください。

小粒穀物用位置 (C)：

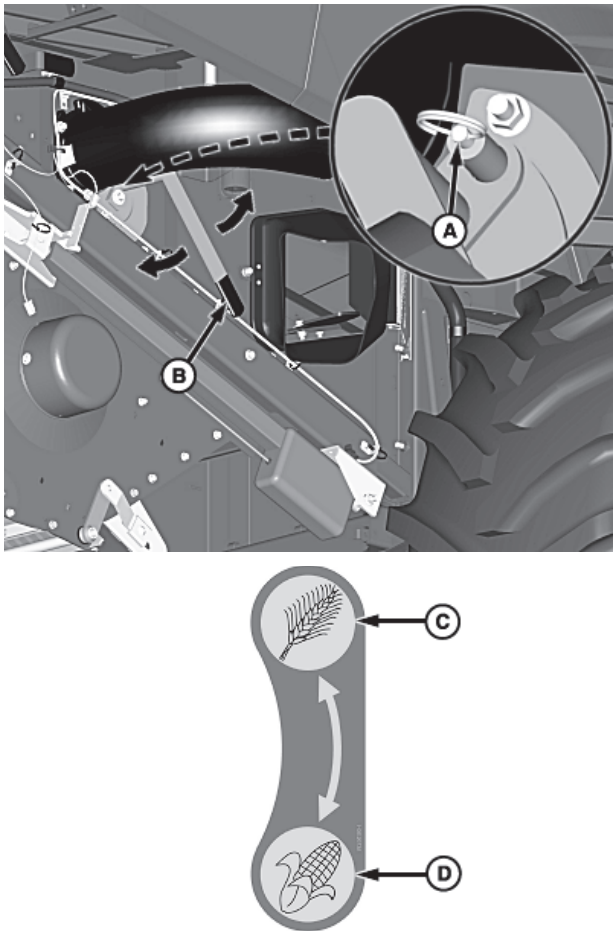
ロックアウトピン (A) を引き、作物ダイバータハンドル (B) を「上側」の位置に動かします。クリーニングシューを整備するときは、作物ダイバータハンドルを「上側」の位置にする必要があります。

大粒穀物用位置 (D)：

注記：トウモロコシまたはヒマワリを収穫するときは、作物ダイバータハンドルを「下側」の位置にする必要があります。

ロックアウトピン (A) を引き、作物ダイバータハンドル (B) を「下側」の位置に動かします。作物ダイバータは材料が前方に飛ばないようにしてクリーニングシューの損傷を防止します。

A：ロックアウトピン
B：作物ダイバータハンドル
C：小粒穀物用位置
D：大粒穀物用位置



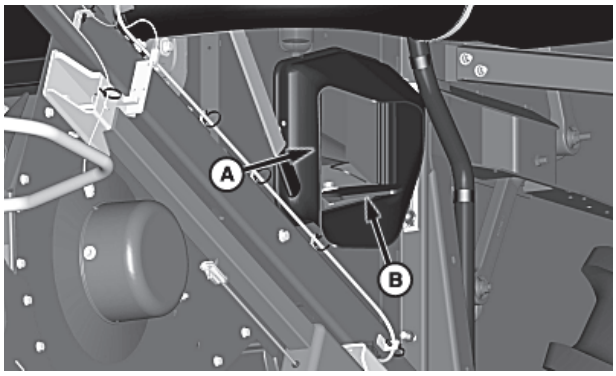
OUO6075,00009BC -40-23NOV10-1/1

エアシュート

エアシュート (A) はチョッパーの両側にあり、特に低速で運転中にクリーニングシューでより自由な空気の呼吸を可能にします。収穫条件によっては、グレインタンク品質を向上させてフィーダーハウスのほこりを減らすことができます。

エアシュートアジテータ (B) は作物材料の堆積やエアシュートの詰まりを防止します。

A：エアシュート
B：エアシュートアジテータ



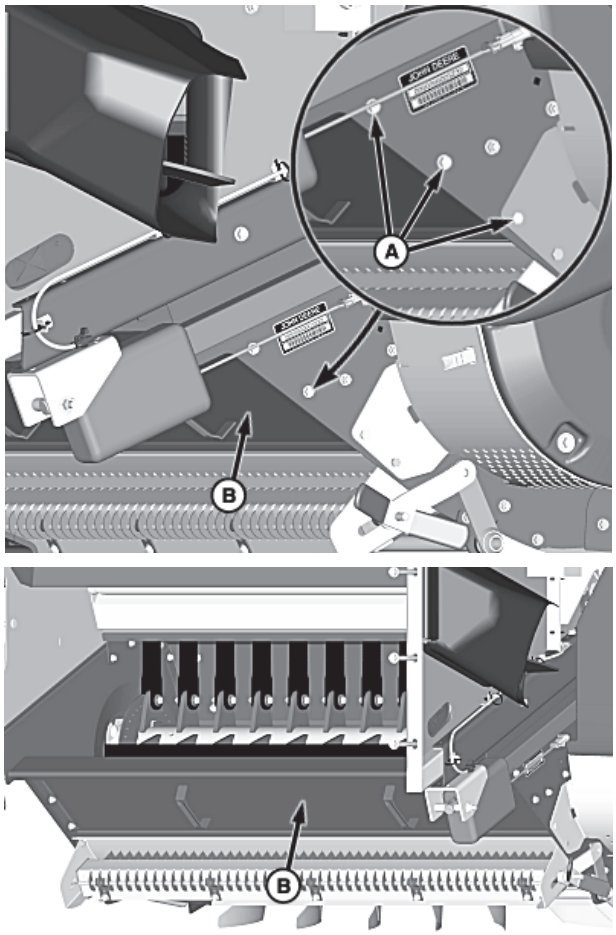
OUO6075,00009BD -40-28SEP10-1/1

チョッパーアクセスドア

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

チョッパーの両側のボルト (A) を取り外してアクセスドア (B) を取り外します。

A：ボルト
B：アクセスドア



OUO6075,0000A30 -40-20OCT10-1/1

オーバーショットビーターフロア (装備されている場合) : 取り外し

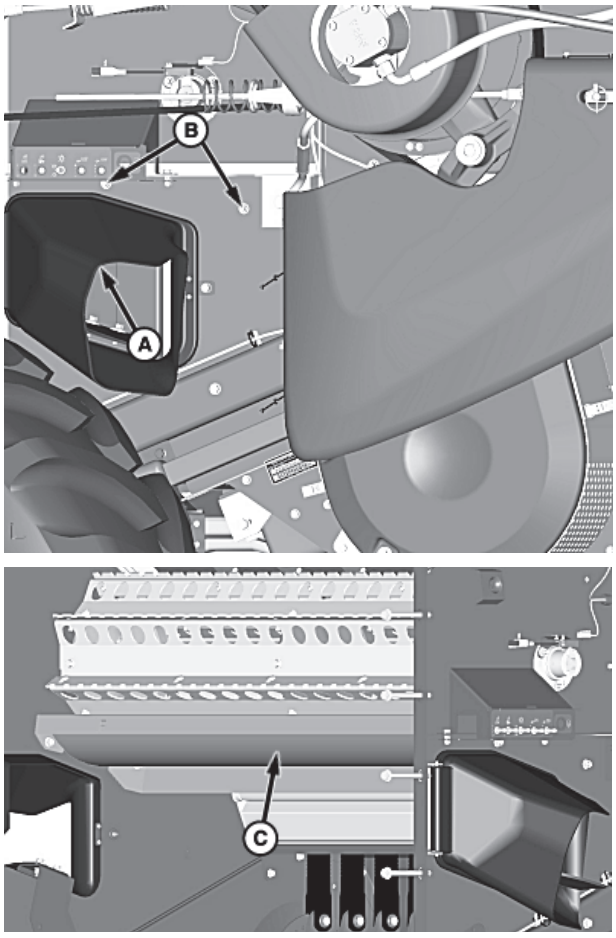
警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

注記 : オーバーショットビーターフロアは、トウモロコシ／大粒穀物では取り付ける必要があり、小粒穀物では取り外す必要があります。

チョッパーの両側にあるエアシュート (A) を開きます。

チョッパーの両側のエアシュートの上にあるボルト (B) を取り外して、オーバーショットビーターフロア (C) を取り外します。

A : エアシュート
B : ボルト (2 本使用)
C : オーバーショットビーターフロア



OUO6075,0000A34 -40-18NOV10-1/1

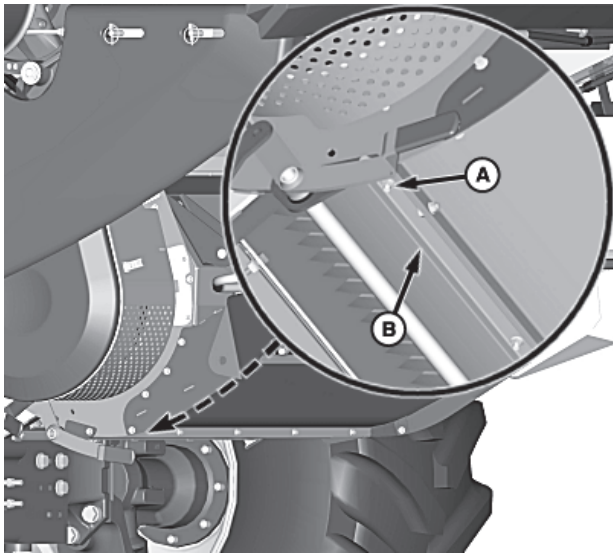
チョッパーコントローラバー (オプション)

重要 : トウモロコシを収穫するときは、コントローラバーを取り外して保管位置に配置する必要があります。コントローラバーを取り外さないと、チャファーエレメントが損傷する可能性があります。

コントローラバーは、難脱穀性わら条件で切断品質、分布、拡散幅を改善します。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

金具 (A) とコントローラバー (B) をチョッパーの底から取り外します。

A : 金具
B : コントローラバー

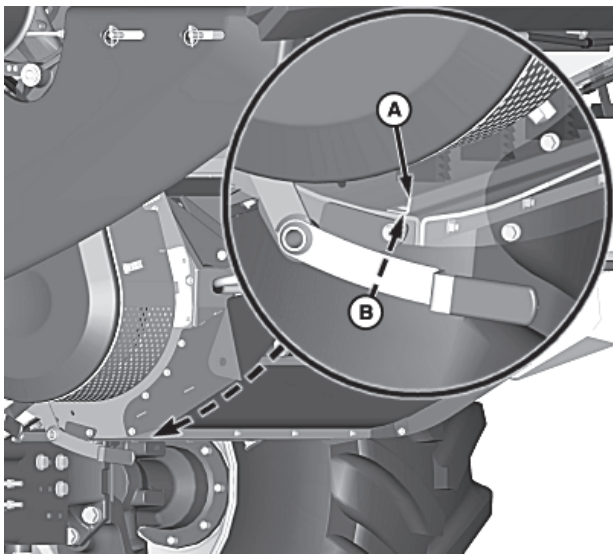


次のページへ

OUO6075,00009BF -40-21SEP10-1/2

図のように、チョッパーを完全に上げ、コントローラバー (A) をチョッパーの内側に取り付けて金具 (B) で固定します。

A : コントローラバー
B : 金具



OUO6075,00009BF -40-21SEP10-2/2

チョッパー固定ナイフバンク : 調整

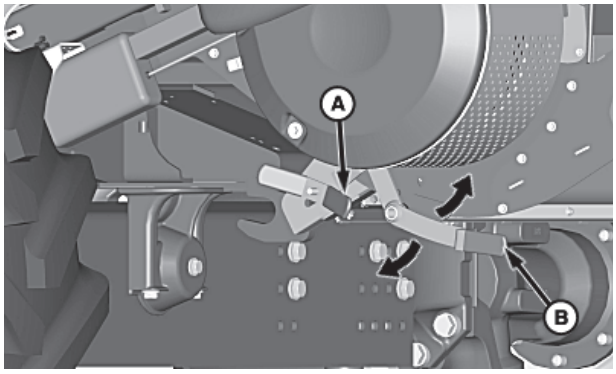
警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

重要 : ナイフバンクは、トウモロコシでは接続を完全に解除する必要があります。

注記 : チョッパーはナイフを解除して運転できますが、切断品質が低下低下します。

間の位置を使用して動力の消費を最適化し、満足できる切断長さを実現してください。

ナイフは任意の位置に調整できます。ナイフの位置によって材料の切断長さが決まります。



ナイフバンクの接続位置

A : 蝶ナット **B : ハンドル**

ナイフバンクの接続位置 :

チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。

ナイフバンクが調整スロットの上部に配置されるまで調整ハンドル (B) を下に動かします。

蝶ナットを締め付けてナイフバンクをその位置に固定します。

ナイフバンクの解除位置 :

チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。

ナイフバンクが調整スロットの底部に配置されるまで調整ハンドル (B) を上に動かします。

蝶ナットを締め付けてナイフバンクをその位置に固定します。

OUO6075,00009C1 -40-21SEP10-1/1

チョッパー固定ナイフブレード：交換

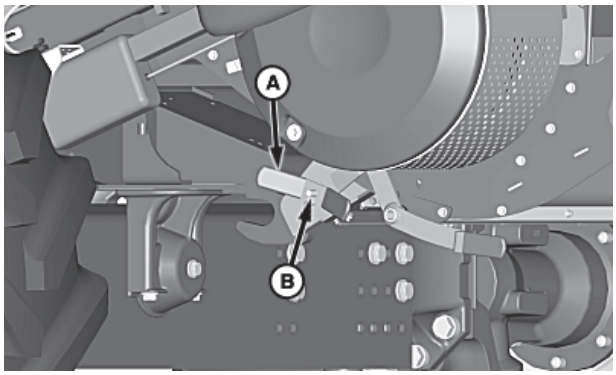
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。ナイフブレードは鋭利です。

チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。

ナイフバンクが調整スロットの底部に配置されるまで調整ハンドルを上に動かします。

注記：後で組み付けるためにナイフバンクの外端のブッシングを保管します。

ナイフバンクを支持し、機械の右側に押してテンションロッド (B) を取り外します。



A：蝶ナット **B：テンションロッド**

OUO6075,00009C0 -40-21SEP10-1/2

ピン (A) を固定ロッド (B) から取り外します。

固定ロッドを保持しているクリップのロックナット (C) を緩めます。

交換する必要があるナイフをかわせるまで固定ロッドをスライドさせます。

さらに使用するためにナイフを反転させるか、両側が摩耗している場合はナイフを交換します。

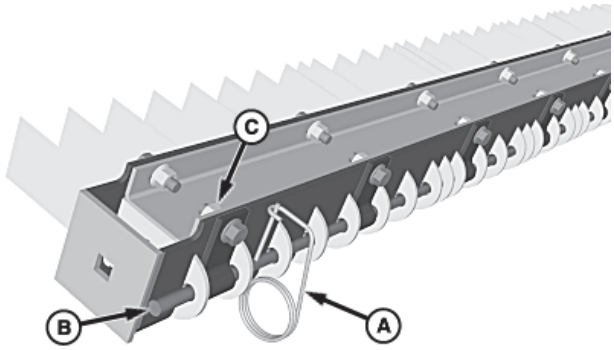
固定ロッドをナイフに整列させます。

クリックのロックナットを締め付けてピンを取り付けます。

注記：ナイフバンクの外端にブッシングを取り付けます。

ナイフバンクアセンブリを取り付けて、機械の右側からテンションロッドをスライドさせます。

蝶ナットを取り付けてナイフバンクを必要な位置に調整します。



A：ピン **C：ロックナット**
B：固定ロッド

重要：ナイフバンクは、トウモロコシでは接続を完全に解除する必要があります。

蝶ナットを締め付けてナイフバンクをその位置に固定します。

OUO6075,00009C0 -40-21SEP10-2/2

中間スプリッタナイフ：交換

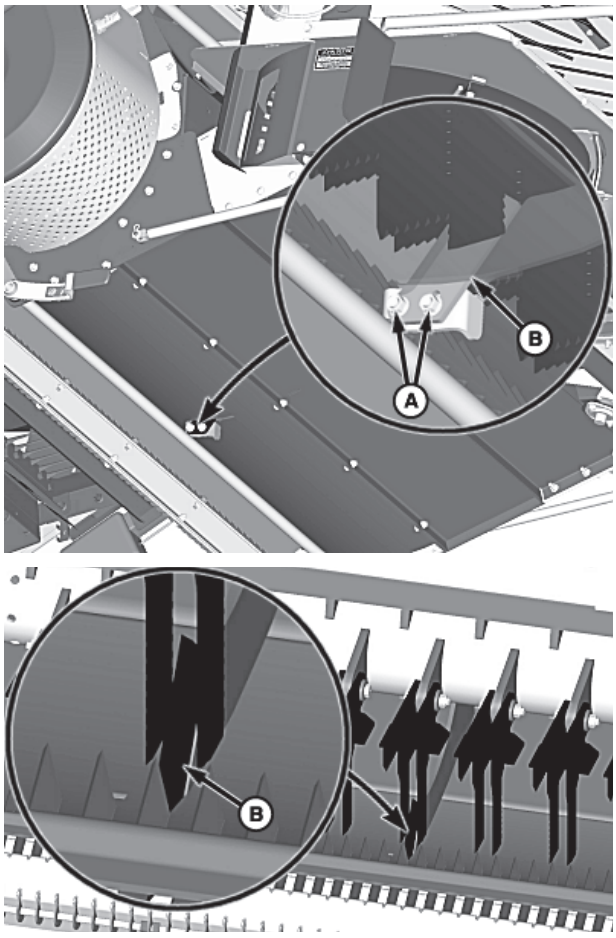
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。ナイフブレードは鋭利です。

金具 (A) を取り外して中間スプリッタナイフ (B) を廃棄します。

注記：ナイフは中間スプリッタに隙間なしで密着している必要があります。

中間スプリッタナイフを交換し、前の手順で取り外した金具を取り付けます。

A：金具
B：中間スプリッタナイフ



OUO6075,0000A31 -40-20OCT10-1/1

エキストラファインチョッパーブレード：交換と構成

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：図に示すローターは、パドルブレードとストレートブレードの両方の交換例を示しています。必ず工場出荷時のブレードパターンを維持してください。

外側ブレード：

注記：点検のためにブレードやブッシングを取り外した場合は、取り外したサポートと同じサポートにブレードを取り付けてください。これはバランスを維持するために必要です。取り外す前に各ブレードに印を付けることが適切です。

ブレードの取り付けまたは交換時は、取り外したときと同じ方向に新品の金具を取り付けてください。

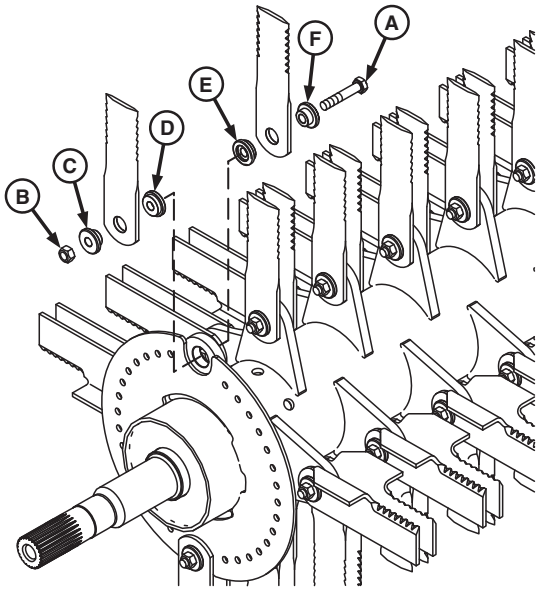
ロックナット (A)、ボルト (B)、ブッシング (C、D、E、F) を取り外します。

注記：ブッシング、ロックナット、ボルトを点検し、摩耗している場合は交換します。

ブレードとブッシングを交換します。ボルト、座金、ブッシング、ロックナットを取り付けます。ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

チョッパーブレードのロックナットトルク .....60 N•m (44 lb-ft)



A：ロックナット
B：ボルト
C：ブッシング
D：ブッシング
E：ブッシング
F：ブッシング

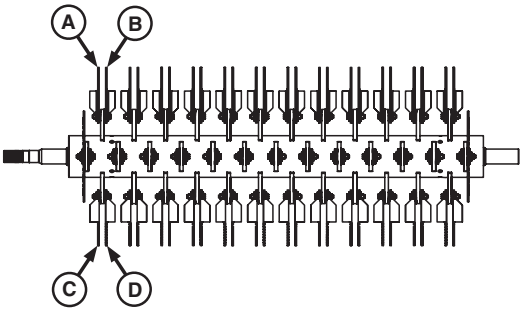
OUO6075,000153C -40-19JUN13-1/3

ブレード構成：

重要：チョッパーのバランスを維持する必要があります。1 つのサポートの両方のブレード、および反対側のサポートの (180°) の両方のブレードを交換します。1 つの破損したブレードを交換するには、4 つのブレードを取り付ける必要があります。また、すべてのブレードを一度に交換できます。これはバランスを維持するために必要です。

ブレード (A) が破損した場合は、ブレード (A～D) を交換します。

重要：チョッパーを運転する前に、ローターを手で回してローターブレードと固定ナイフ間の隙間を確認します。



A～D：パドルブレード

次のページへ

OUO6075,000153C -40-19JUN13-2/3

内側ブレード：

注記：点検のためにブレードやブッシングを取り外した場合は、取り外したサポートと同じサポートにブレードを取り付けてください。これはバランスを維持するために必要です。取り外す前に各ブレードに印を付けることが適切です。

ブレードの取り付けまたは交換時は、取り外したときと同じ方向に新品の金具を取り付けてください。

ロックナット (A) とボルト (B) を取り外します。

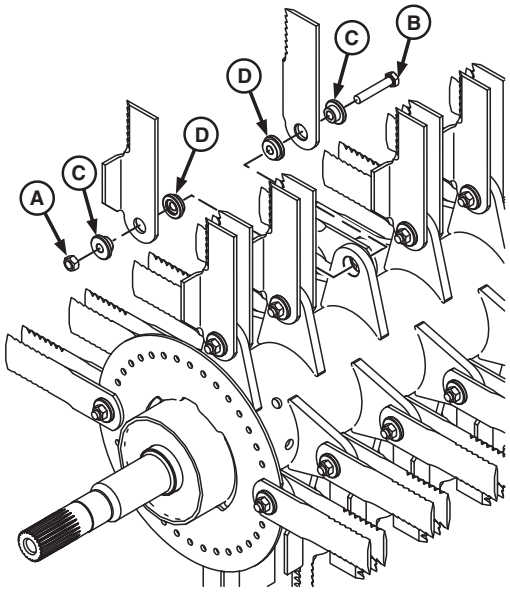
ブッシング (C、D) を取り外して点検します。

注記：ブッシング、ロックナット、ボルトを点検し、摩耗している場合は交換します。

ブレードとブッシングを交換します。ボルトとロックナットを取り付けます。ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

チョッパーブレードのロックナットトルク	60 N•m (44 lb-ft)



A：ロックナット
B：ボルト
C：ブッシング
D：ブッシング

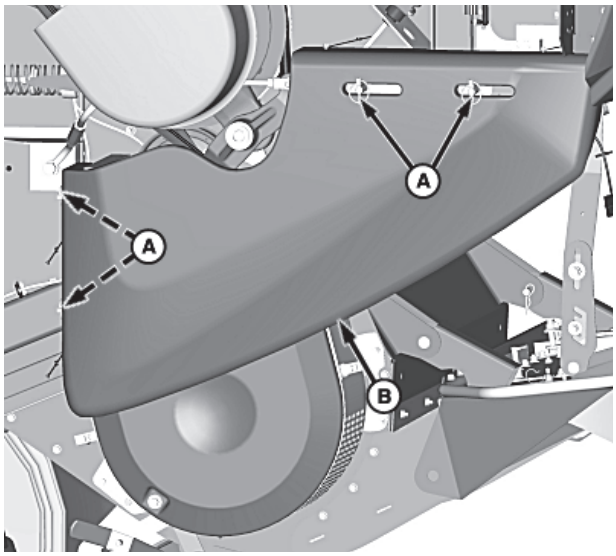
OUO6075,000153C -40-19JUN13-3/3

チョッパーブレード：心出し

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

チョッパーを完全に上げて、クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。

A：クイックロックピン
B：シールド



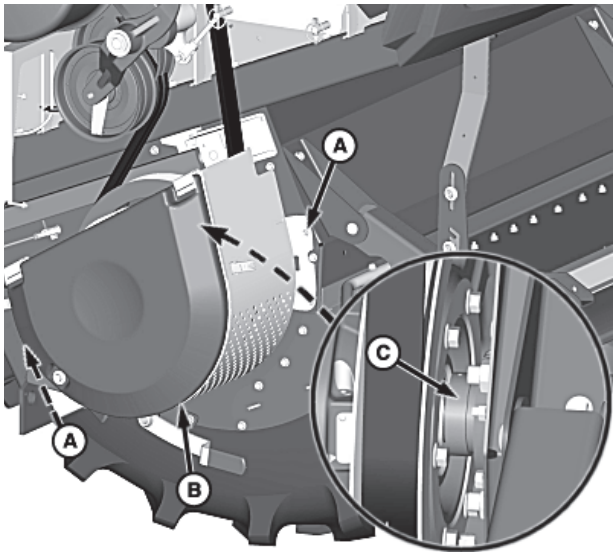
次のページへ

OUO6075,00009C4 -40-21SEP10-1/4

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

左側のセットボルトとロッキングカラー (C) を緩めます。

A : ボルト (4 個使用)
B : シールド
C : ロッキングカラー

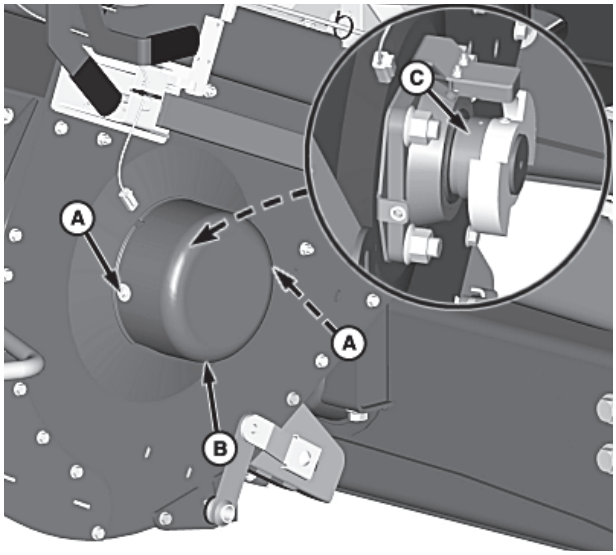


OUO6075,00009C4 -40-21SEP10-2/4

ボルト (A) とベアリングカバー (B) を取り外します。

右側のセットボルトとロッキングカラー (C) を緩めます。

A : ボルト (2 個使用)
B : ベアリングカバー
C : ロッキングカラー



次のページへ

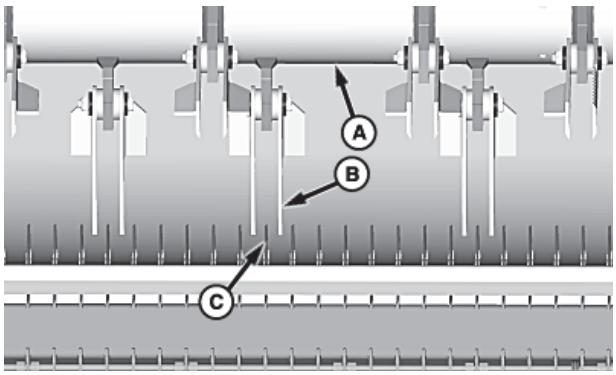
OUO6075,00009C4 -40-21SEP10-3/4

チョッパーローター (A) を右または左に配置して、すべてのブレード (B) が固定ナイフ (C) をかわした位置にあることを確認します。

両側のロッキングカラーを回転方向に締め付けて、セットボルトで固定します。

ベアリングカバーを右側に取り付けて、チョッパーシールドを左側に取り付けます。

A : チョッパーローター
B : ローターブレード
C : 固定ナイフ



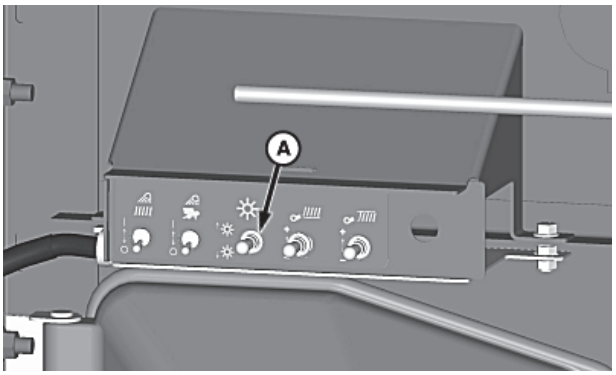
OUO6075,00009C4 -40-21SEP10-4/4

チョッパー調整スイッチ

チョッパー調整スイッチ (A) は機械の左側にあります。

チョッパー調整スイッチを使用して、チョッパーを種々の位置に上昇・下降させることができます。

A : チョッパースイッチ



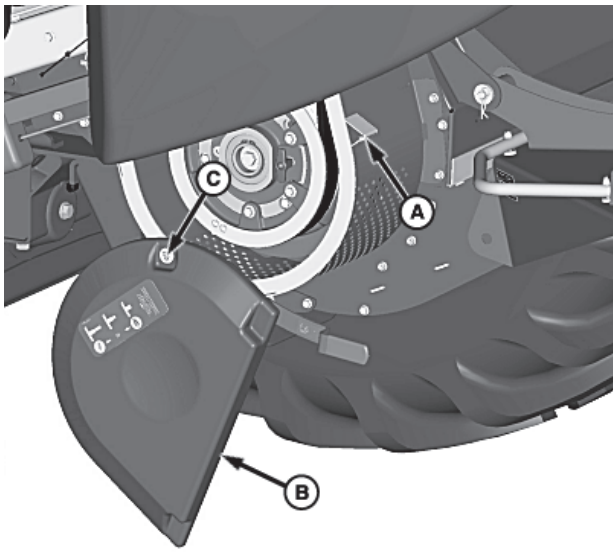
OUO6075,00009C6 -40-21SEP10-1/1

チョッパードライブ速度：変更

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ラッチ (A) を外し、ピボット (C) を中心にシールド (B) を回転させます。

A : ラッチ
B : シールド
C : ピボット



次のページへ

OUO6075,000113F -40-18MAY12-1/2

低速位置：

注記：シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。

シフターハンドル (A) を位置 (B) に動かします。

- トウモロコシ

ニュートラル位置：

注記：シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。

シフターハンドル (A) を位置 (C) に動かします。

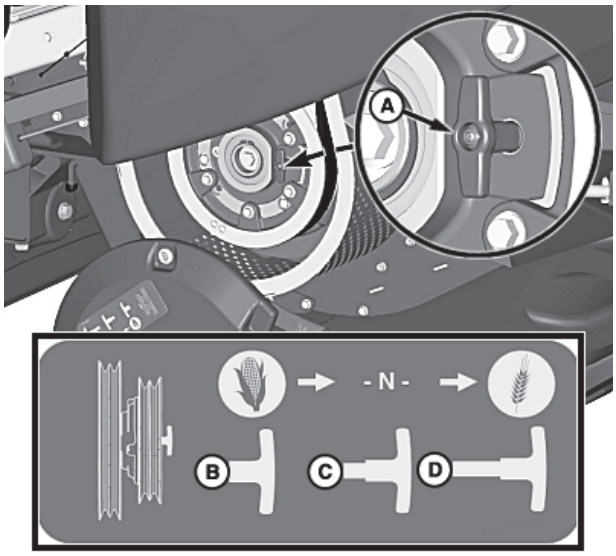
高速位置：

注記：シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。

シフターハンドル (A) を位置 (D) に動かします。

- 穀物

シールドを閉めてラッチで固定します。



A：シフターハンドル
B：低速位置
C：ニュートラル位置
D：高速位置

OUO6075,000113F -40-18MAY12-2/2

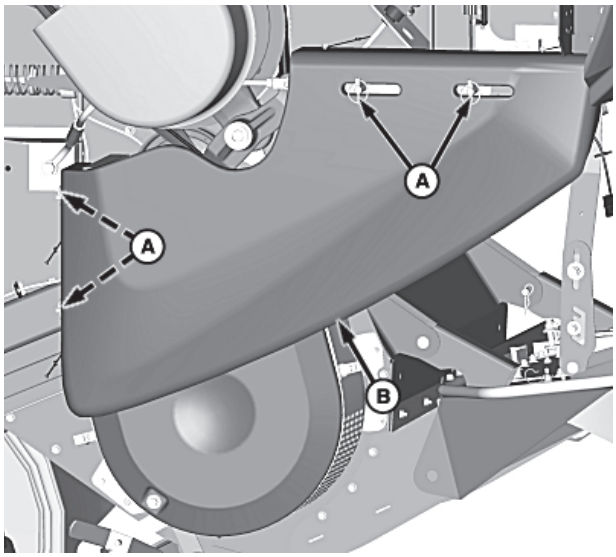
チョッパードライブベルト張力：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：チョッパーを完全に下ろしてベルトの張力を正しく調整します。

クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。

A：クイックロックピン
B：シールド



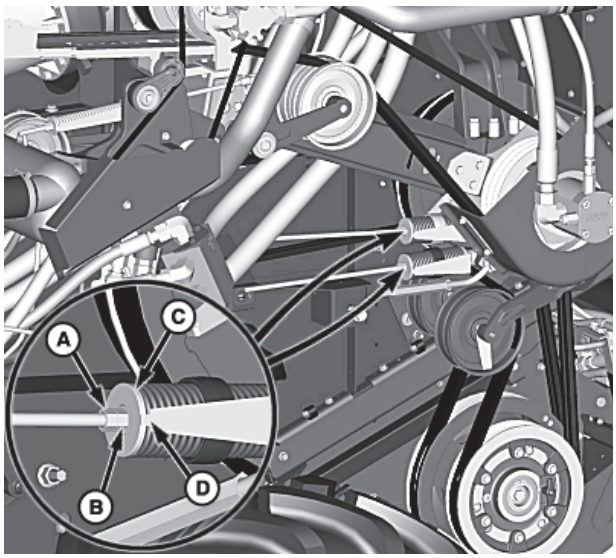
次のページへ

OUO6075,00013DF -40-18JUN13-1/2

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでロックナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

シールドを取り付けてクイックロックピンで固定します。

A : ロックナット
B : ナット
C : 座金
D : ゲージ



OUO6075,00013DF -40-18JUN13-2/2

チョッパーベルト : 交換

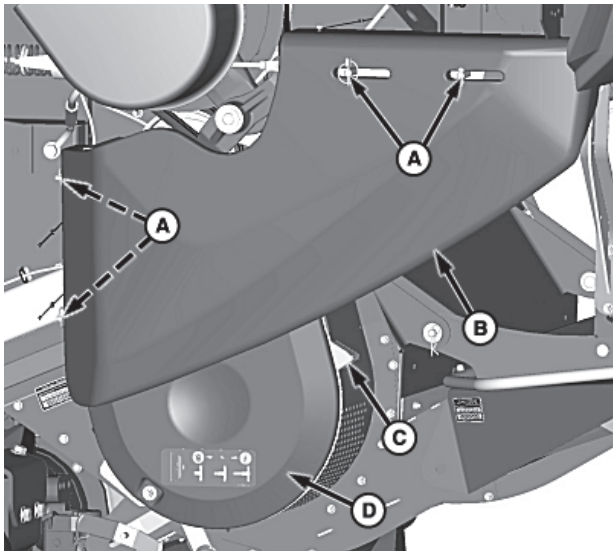
警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記 : ベルトを簡単に取り付けるには、チョッパーを中間位置に動かす必要があります。

クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。

ラッチ (C) を外し、シールド (D) を回転させて外します。

A : クイックロックピン
B : シールド
C : ラッチ
D : シールド



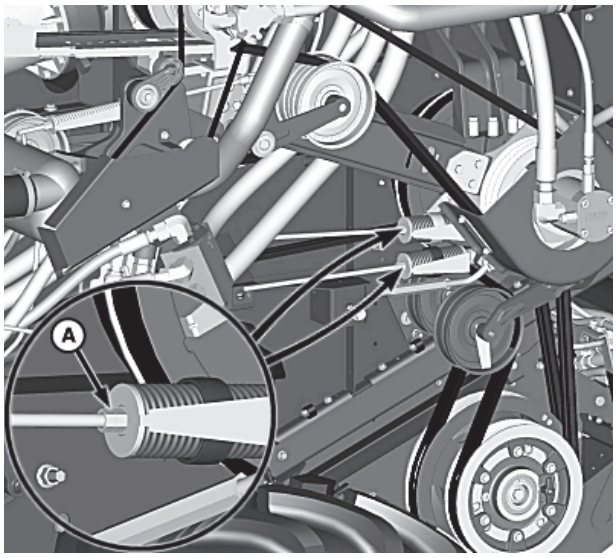
次のページへ

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-1/10

注記：再組み付けを容易にできるように、テンショナナットを緩める前にその位置に印を付けます。

ナット (A) を緩めてベルトの張力を解放します。

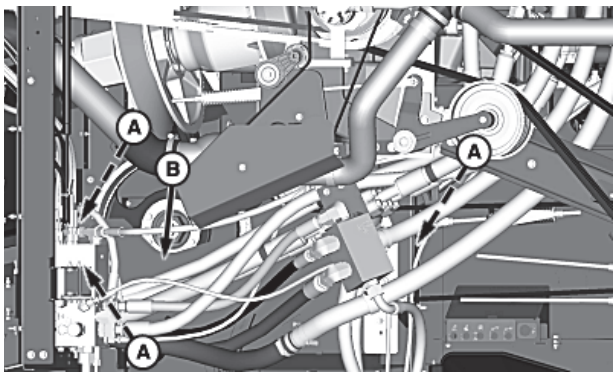
A : ナット



OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-2/10

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A : ボルト
B : シールド

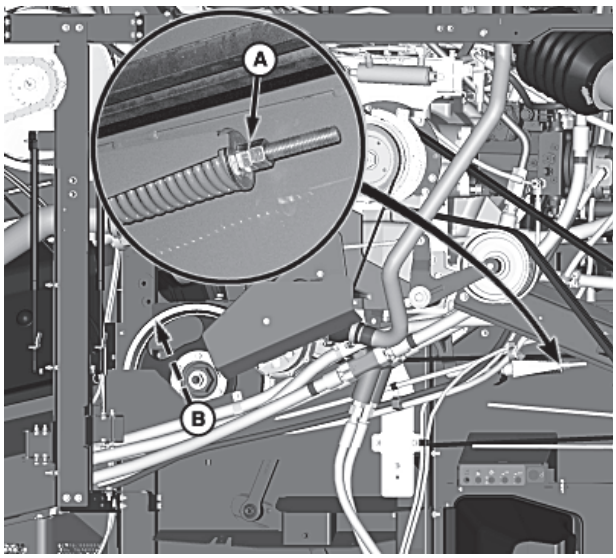


次のページへ

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-3/10

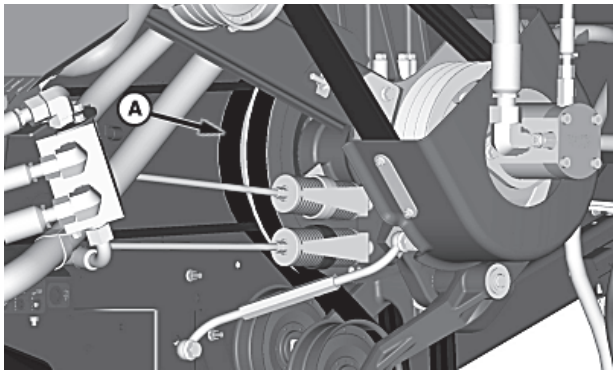
ナット (A) を緩めてディスチャージビーターベルト (B) の張力を解放します。

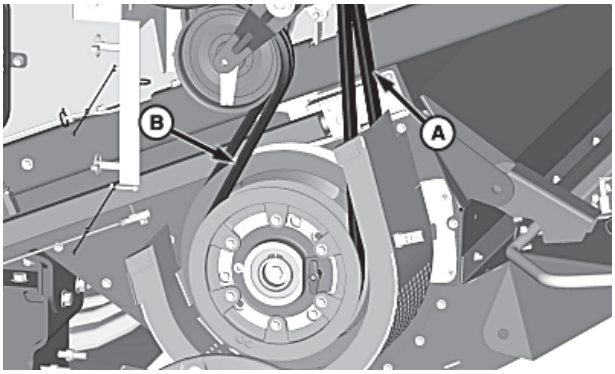
A : ナット
B : ディスチャージビーターベルト



OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-4/10

内側チョッパーベルト :





A : 内側チョッパードライブベルト　　B : 外側チョッパードライブベルト

注記 : シーブとサイドシートの間に収まるようにベルトを回します。

内側チョッパードライブベルト (A) を上部シーブから取り外します。

外側チョッパードライブベルト (B) を下部シーブから取り外します。

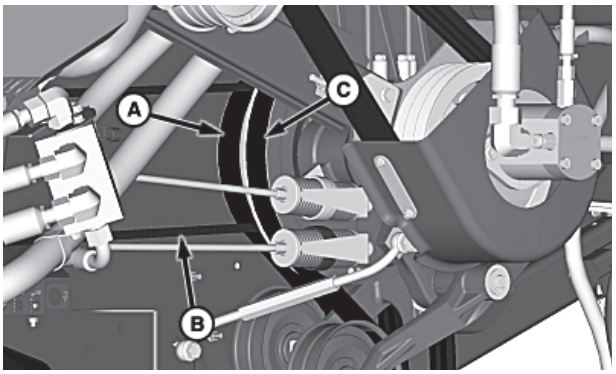
内側チョッパードライブベルトを下部シーブから取り外します。

交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

次のページへ

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-5/10

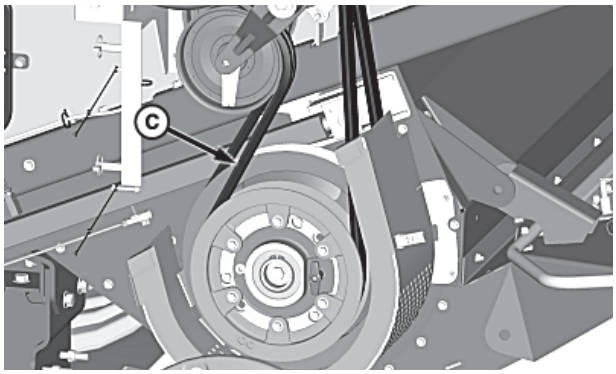
外側チョッパーベルト：



A：内側チョッパードライブベルト　　B：ディスチャージビーターベルト

注記：シーブとサイドシートの間に収まるようにベルトを回します。

内側チョッパードライブベルト (A) とディスチャージビーターベルト (B) を上部シーブから取り外します。



C：外側チョッパードライブベルト

外側チョッパードライブベルト (C) を上部および下部シーブから取り外します。

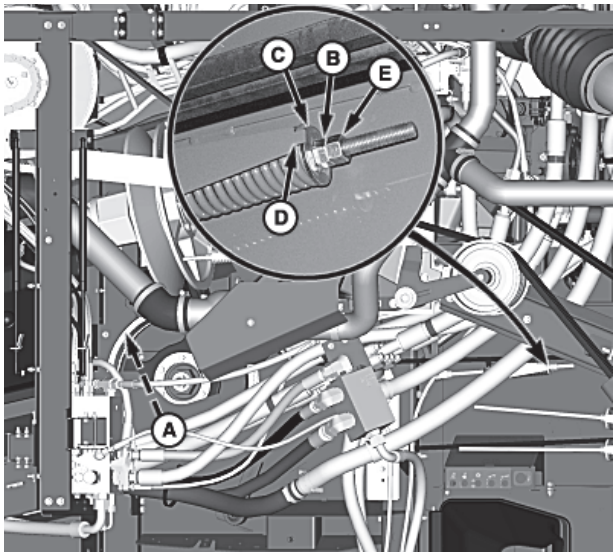
交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-6/10

ディスチャージビーターベルト (A) をシーブに取り付けます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナット (E) を締め付けます。

A：ディスチャージビーターベルト
B：ナット
C：座金
D：ゲージ
E：ロックナット

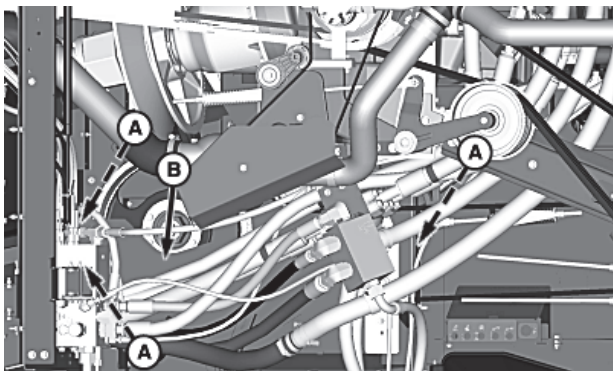


次のページへ

OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-7/10

シールド (B) を取り付けてボルト (A) で固定します。

A : ボルト
B : シールド

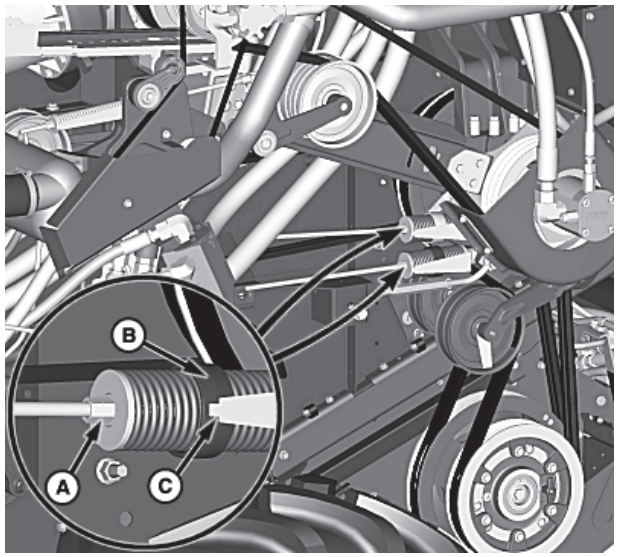


OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-8/10

チョッパーを中間の位置まで下ろします。

図に示すようにスプリングガイド (B) がゲージ (C) の端部に配置されるまでナット (A) を締め付けます。

A : ナット
B : スプリングガイド
C : ゲージ



次のページへ

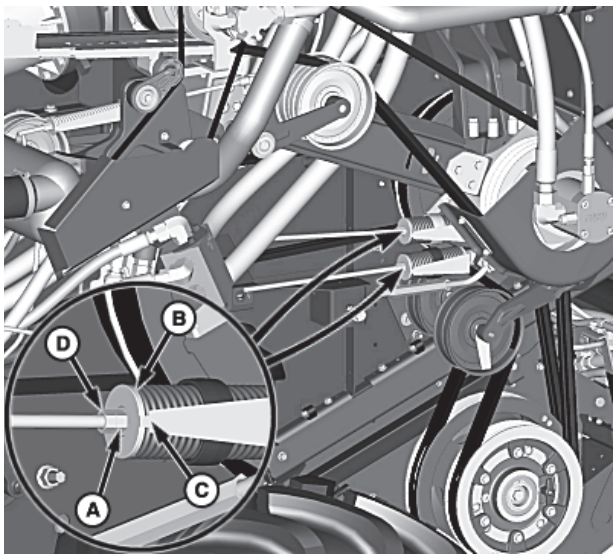
OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-9/10

チョッパーを完全に下ろしてベルトの張力を正しく調整します。

座金 (B) がゲージ (C) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。ロックナット (D) を締め付けます。

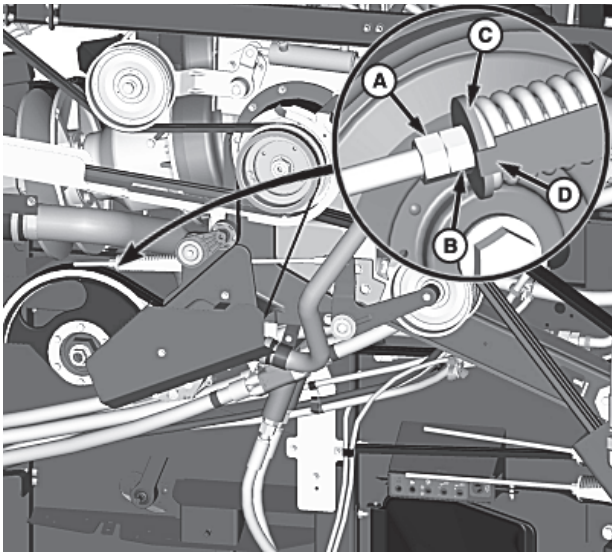
シールドを取り付けてクイックロックピンで固定します。

A : ナット
B : 座金
C : ゲージ
D : ロックナット

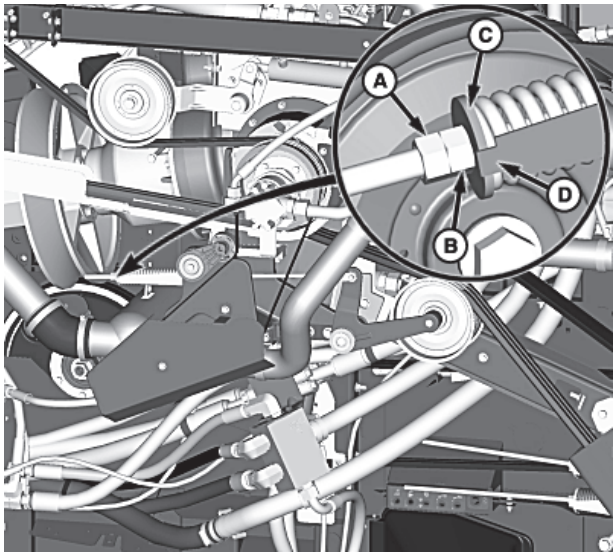


OUO6075,00013E0 -40-18JUN13-10/10

チョッパージャックシャフトベルト : 調整



S670



S680、S685、S690

A : ロックナット **B : ナット** **C : 座金** **D : ゲージ**

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

チョッパージャックシャフトベルトはチョッパーの上の左側にあります。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでロックナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,000153D -40-19JUN13-1/1

チョッパージャックシャフトベルト：交換 (S670)

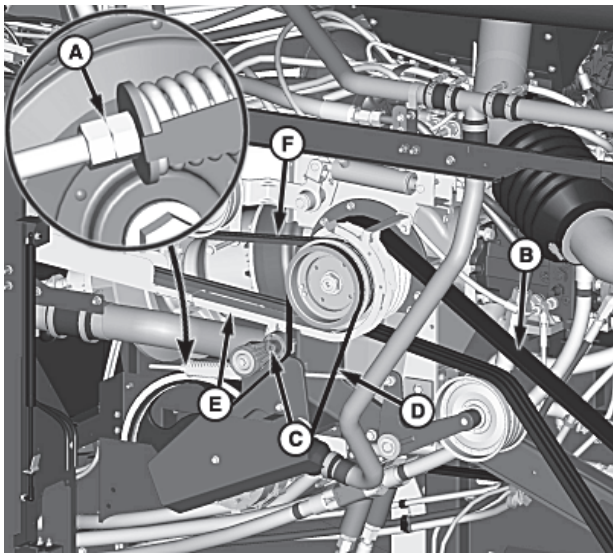
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ナット (A) を緩めてチョッパージャックシャフトベルト (B) の張力を解放します。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (C) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (D) を取り外します。

ボルトをベルトトラップ (E) から取り外します。

アンローディングオーガドライブベルト (F) を取り外して保管します。



A：ナット
B：チョッパージャックシャフトベルト
C：テンショナアーム
D：エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)
E：ベルトトラップ
F：アンローディングオーガドライブベルト

OUO6075,00013E4 -40-18JUN13-1/5

油圧ポンプ付きの場合：

シールドの両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

ナット (C) をポンプアセンブリブラケットから取り外します。

注記：取り外すときは、座金と防振材が残っていることを確認してください。アセンブリを取り外すときは、前の手順で取り外したナットを取り付けて座金と防振材を固定します。

ボルト (D) をポンプアセンブリから取り外します。

シールド (E) とポンプアセンブリブラケットを取り外します。

シールドとポンプアセンブリブラケットを邪魔にならない位置に支持します。

ジャックシャフトシャフト (F) を上部および下部シーブから取り外します。

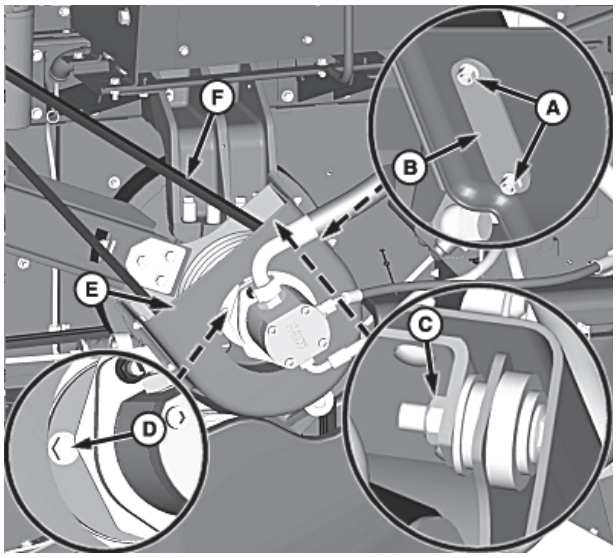
交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルトトルク	80 N•m (59 lb-ft)

注記：ポンプアセンブリのシャフトキーをシーブのキー溝と整列させます。座金と防振材がポンプアセンブリに残っていることを確認してください。



A：金具
B：ストラップ
C：ナット
D：ボルト (2 本使用)
E：シールド
F：チョッパージャックシャフトベルト

シールドとポンプアセンブリブラケットを取り付けてナットで固定します。

ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。

次のページへ

OUO6075,00013E4 -40-18JUN13-2/5

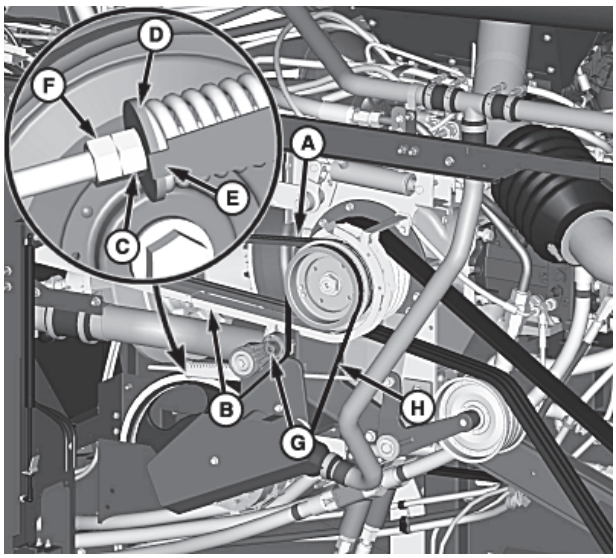
アンローディングオーガドライブベルト (A) を取り付けます。

ベルトトラップ (B) を取り付けてボルトで固定します。

座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (H) を取り付けます。

A : アンローディングオーガドライブベルト
B : ベルトトラップ
C : ナット
D : 座金
E : ゲージ
F : ロックナット
G : テンショナアーム
H : エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



OUO6075,00013E4 -40-18JUN13-3/5

油圧ポンプなしの場合 :

シールド (C) の両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

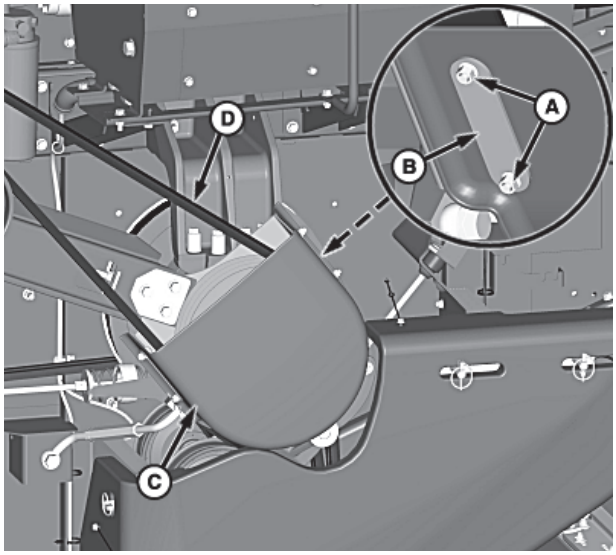
ジャックシャフトシャフト (D) を上部および下部シーブから取り外します。

交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

シールドをブラケットの穴に整列させます。

ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。

A : 金具
B : ストラップ
C : シールド
D : チョッパージャックシャフトベルト



次のページへ

OUO6075,00013E4 -40-18JUN13-4/5

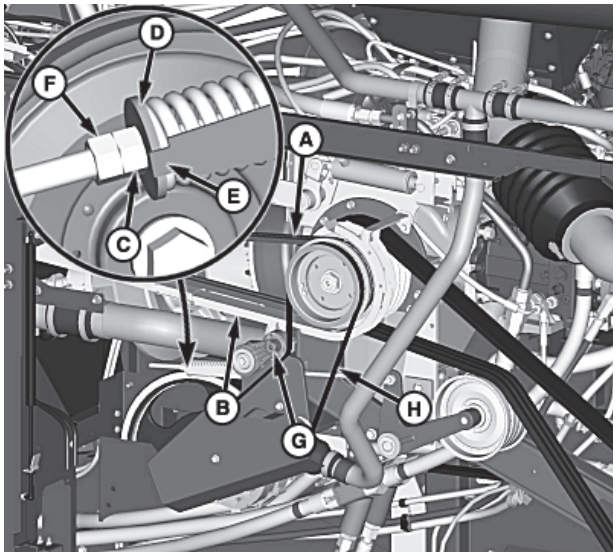
アンローディングオーガドライブベルト (A) を取り付けます。

ベルトトラップ (B) を取り付けてボルトで固定します。

座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (H) を取り付けます。

A : アンローディングオーガドライブベルト
B : ベルトトラップ
C : ナット
D : 座金
E : ゲージ
F : ロックナット
G : テンショナアーム
H : エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



OUO6075,00013E4 -40-18JUN13-5/5

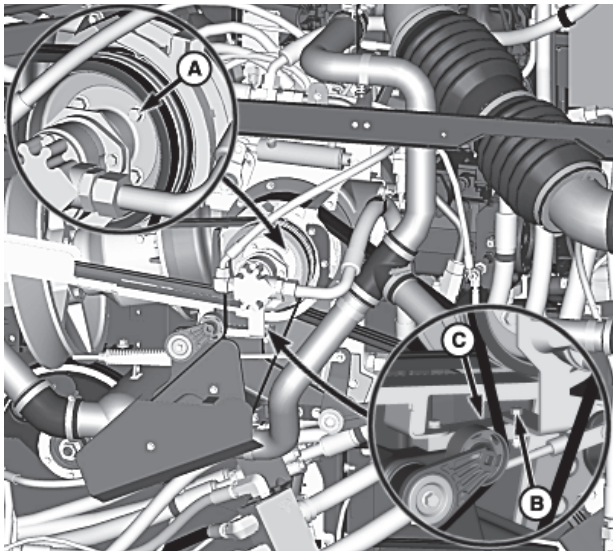
チョッパージャックシャフトベルト：交換 (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ボルト (A) と金具 (B) を防振材ストラップ (C) から取り外します。

サポートポンプアセンブリを取り外し、邪魔にならない位置に支持します。

A : ボルト (4 個使用)
B : 金具
C : 防振材ストラップ



次のページへ

OUO6075,000153E -40-19JUN13-1/8

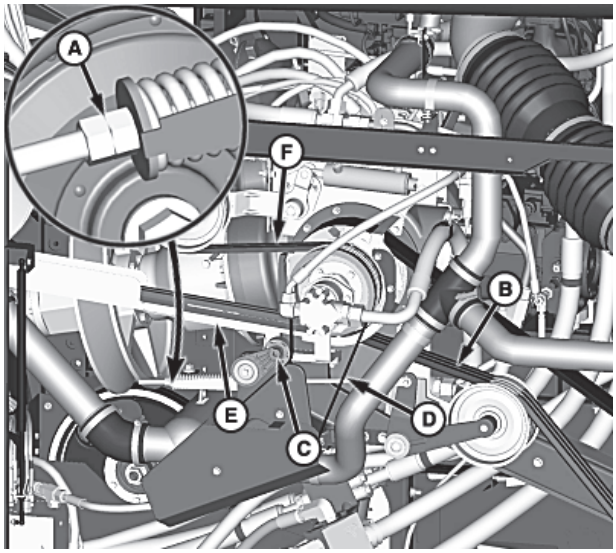
ナット (A) を緩めてチョッパージャックシャフトベルト (B) の張力を解放します。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (C) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (D) を取り外します。

ボルトをベルトトラップ (E) から取り外します。

アンローディングオーガドライブベルト (F) を取り外して保管します。

A : ナット
B : チョッパージャックシャフトベルト
C : テンショナアーム
D : エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)
E : ベルトトラップ
F : アンローディングオーガドライブベルト



OUO6075,000153E -40-19JUN13-2/8

油圧ポンプ付きの場合 :

シールドの両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

ナット (C) をポンプアセンブリブラケットから取り外します。

注記 : 取り外すときは、座金と防振材が残っていることを確認してください。アセンブリを取り外すときは、前の手順で取り外したナットを取り付けて座金と防振材を固定します。

ボルト (D) をポンプアセンブリから取り外します。

シールド (E) とポンプアセンブリブラケットを取り外します。

シールドとポンプアセンブリブラケットを邪魔にならない位置に支持します。

ジャックシャフトシャフト (F) を上部および下部シーブから取り外します。

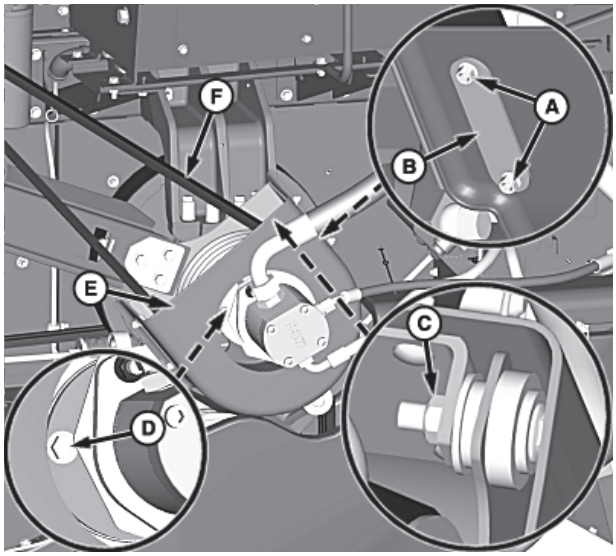
交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト
トルク .....80 N•m (59 lb-ft)

注記 : ポンプアセンブリのシャフトキーをシーブのキー溝と整列させます。座金と防振材がポンプアセンブリに残っていることを確認してください。



A : 金具
B : ストラップ
C : ナット
D : ボルト (2 本使用)
E : シールド
F : チョッパージャックシャフトベルト

シールドとポンプアセンブリブラケットを取り付けてナットで固定します。

ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。

次のページへ

OUO6075,000153E -40-19JUN13-3/8

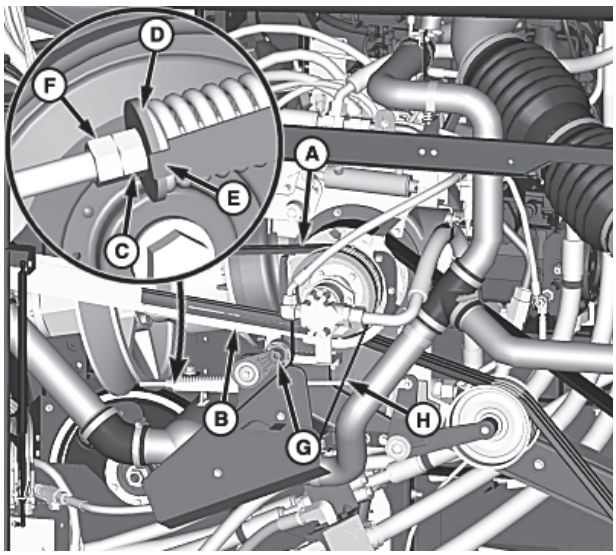
アンローディングオーガドライブベルト (A) を取り付けます。

ベルトトラップ (B) を取り付けてボルトで固定します。

座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (H) を取り付けます。

A : アンローディングオーガドライブベルト
B : ベルトトラップ
C : ナット
D : 座金
E : ゲージ
F : ロックナット
G : テンショナアーム
H : エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



OUO6075,000153E -40-19JUN13-4/8

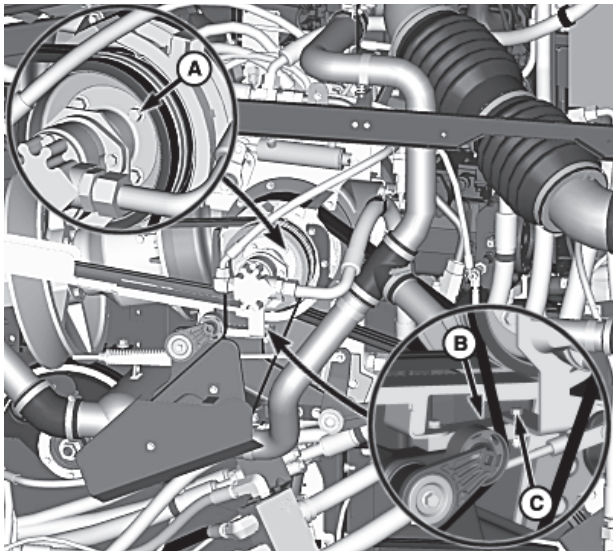
ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルト (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト トルク	80 N•m (59 lb-ft)

防振材ストラップ (B) を取り付けて金具 (C) で固定します。

A : ボルト (4 個使用)
B : 防振材ストラップ
C : 金具



次のページへ

OUO6075,000153E -40-19JUN13-5/8

油圧ポンプなしの場合：

シールド (C) の両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

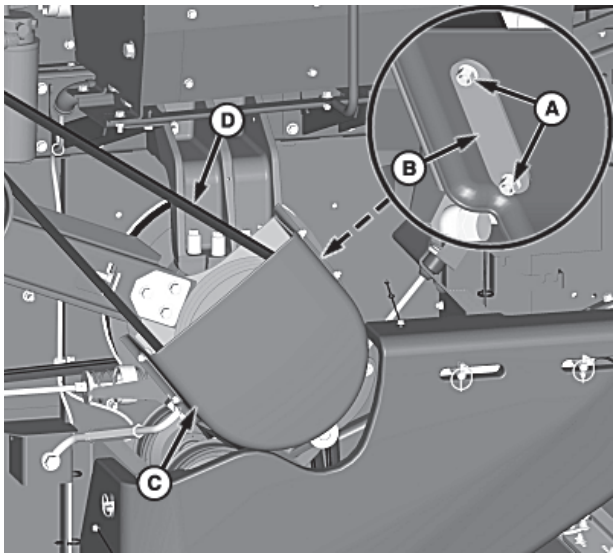
ジャックシャフトシャフト (D) を上部および下部シーブから取り外します。

交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

シールドをブラケットの穴に整列させます。

ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。

A：金具
B：ストラップ
C：シールド
D：チョッパージャックシャフトベルト



OUO6075,000153E -40-19JUN13-6/8

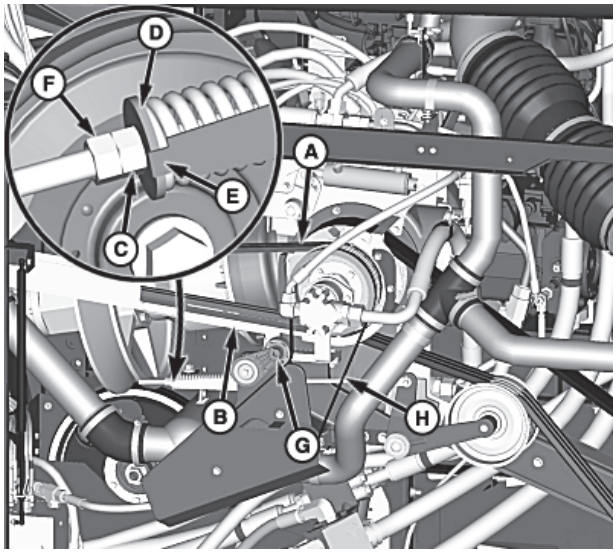
アンローディングオーガドライブベルト (A) を取り付けます。

ベルトトラップ (B) を取り付けてボルトで固定します。

座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (H) を取り付けます。

A：アンローディングオーガドライブベルト
B：ベルトトラップ
C：ナット
D：座金
E：ゲージ
F：ロックナット
G：テンショナアーム
H：エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



次のページへ

OUO6075,000153E -40-19JUN13-7/8

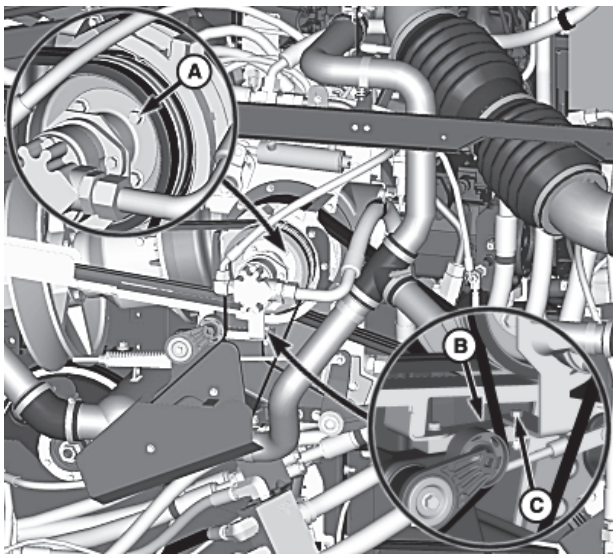
ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルト (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト	
トルク	80 N•m (59 lb-ft)

防振材ストラップ (B) を取り付けて金具 (C) で固定します。

A : ボルト (4 個使用)
B : 防振材ストラップ
C : 金具



OUO6075,000153E -40-19JUN13-8/8

Advanced PowerCast スプレッダーディスク : 交換

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

金具 (A) とブラケット (B) を取り外します。

ゴムサポート (C) とフィンガー (D) を点検し、必要に応じて交換します。交換部品については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

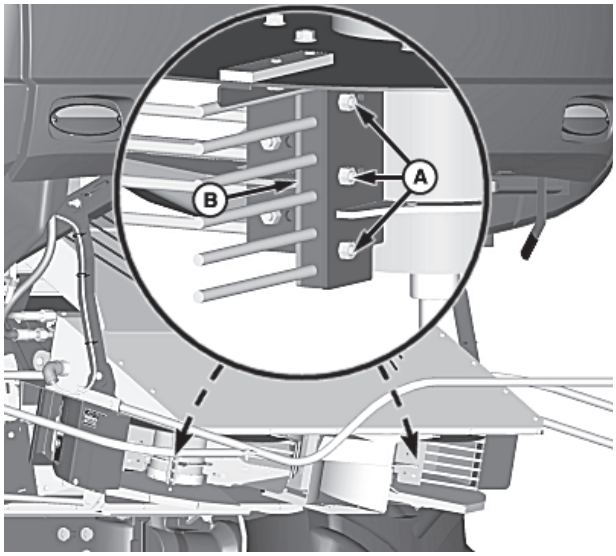
重要 : すべてのゴムサポートを交換して、ディスクの回転バランスを維持します。

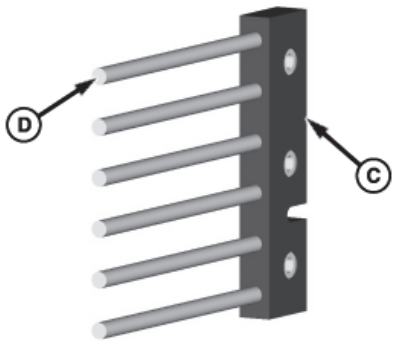
必要に応じて交換用ゴムサポートとフィンガーを取り付けます。

前に取り外したときの穴と同じ穴にゴムサポートとブラケットを取り付けていることを確認してください。

金具を締め付けて、残りのディスクブレードでも必要に応じて手順を繰り返します。

A : 金具
B : ブラケット
C : ゴムサポート
D : フィンガー





次のページへ

OUO6075,0000A32 -40-15JUN11-1/2

ボルト (A) をプレート (B) から取り外します。

パドルブラケット (C) を点検し、必要に応じて交換します。交換部品については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

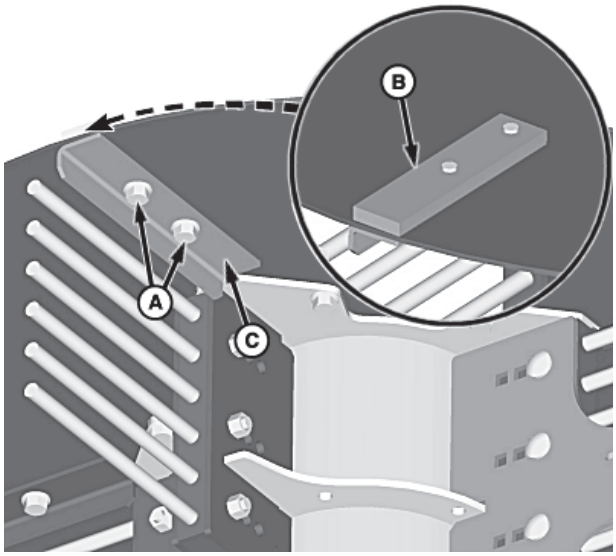
重要：すべてのパドルブラケットを交換して、ディスクの回転バランスを維持します。

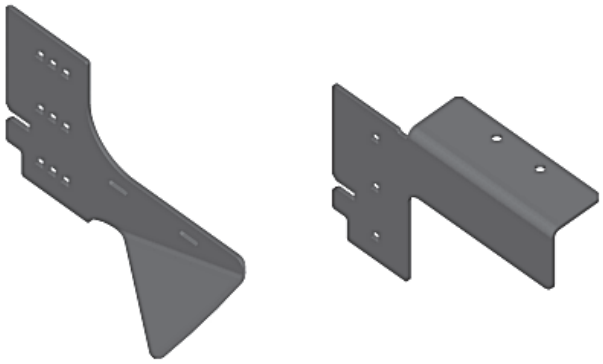
必要に応じて、交換用パドルブラケットを取り付けます。

金具を締め付けて、残りのディスクブレードでも必要に応じて手順を繰り返します。

注記：収穫している作物に必要な場合は、必要に応じて小粒穀物パドルを取り外してトウモロコシパドルを取り付けます。

A：ボルト
B：プレート
C：パドルブラケット





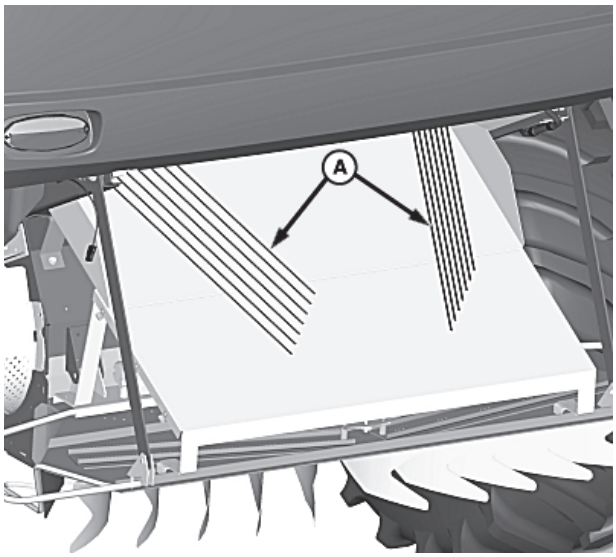
小粒穀物パドル／トウモロコシパドル

OUO6075,0000A32 -40-15JUN11-2/2

ウィンドローコンバージェンスレーキ

コンバージェンスレーキ (A) は刈り取られたわら材料を狭いウィンドローに転換するために使用されます。

A：コンバージェンスレーキ



OUO6075,0000A03 -40-23NOV10-1/1

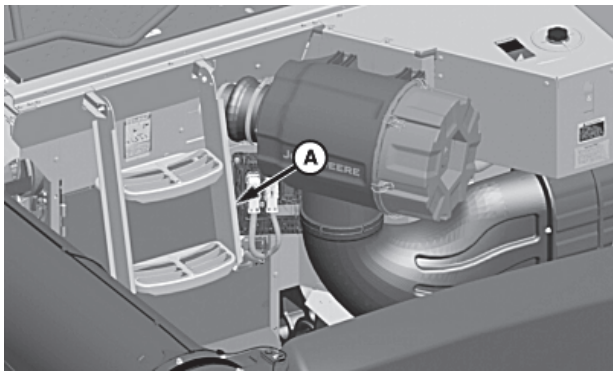
グレインタンク／エンジンタラップ

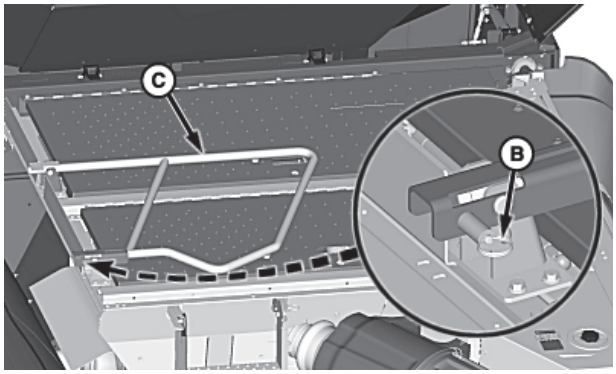
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

タラップ (A) を使用してグレインタンクにアクセスします。

ロックアウトピン (B) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (C) を回転させます。

A：はしご
B：ロックアウトピン
C：手すり





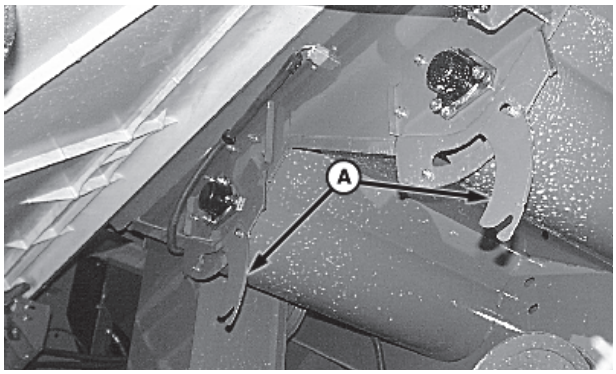
OUO6075,00007CA -40-23JUN11-1/1

グレインタンクドレン穴

グレインタンクドレン穴ドア (A) は両方のクロスオーガの右側にあり、保管中またはグレインタンクドアの清掃中に開く必要があります。

ボルトを緩め、ドアをスライドさせてドレン穴から離します。

A：ドレン穴ドア



OUO6075,0000A44 -40-21OCT10-1/1

グレインタンクサンプルトラフ

グレインタンクサンプルトラフ (A) を使用して、収穫した作物のサンプルをグレインタンクに入らないでローディングオーガから取り出すことができます。

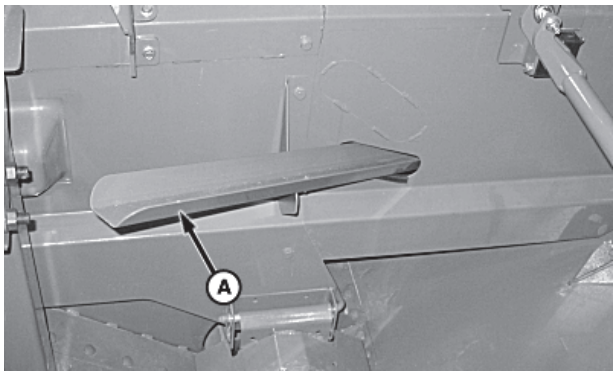
収穫した作物でいっぱいの機械の場合、マルチファンクションレバーをニュートラル位置に動かしてパーキングブレーキをかけます。

ヘッダーの接続を解除し、セパレータを接続したままにします。

警戒：グレインタンクサンプルの点検は他の人にやらせないでください。

ドア (B) を開きます。収穫した作物のサンプルがグレインタンクトラフの下端から出てきます。

A：サンプルトラフ
B：ドア



OUO6075,0000A45 -40-13DEZ10-1/1

グレインタンク充満センサー：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

注記：ブザーを鳴らすには、ヘッダードライブを接続する必要があります。

グレインタンク 3/4 満杯センサー：

3/4 満杯センサー (A) はクリーングレインローディングオーガの前側または右グレインタンクカバーにあります。低流量作物で運転している場合は、グレインタンクセンサー (C) を右グレインタンクカバーの最下部の穴に移動できます。

センサーをスロット (B) の高い位置または低い位置または穴 (E) に調整して、スイッチの「トリップ」ポイントを調整します。センサーを高い位置に取り付けると、ブザーが鳴るときのグレインタンクの量が増えます。

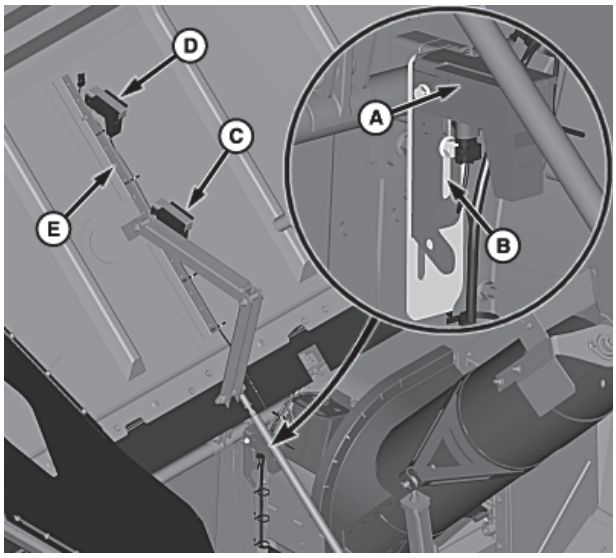
穀粒がセンサーに達すると、ディスプレイにグレインタンク 3/4 満杯アイコンが表示されます。

グレインタンクが 3/4 までいっぱいになると、ビーコンライトが点灯して、グレインタンクが満杯近くに達していることをグレインカートオペレータに知らせます。

グレインタンク 4/4 満杯センサー：

グレインタンク 4/4 満杯センサー (D) は右グレインタンクエクステンションまたはグレインタンクカバーにあります。

穀粒がセンサーに達すると、ディスプレイにグレインタンク 4/4 満杯アイコンが表示されます。



A：3/4 満杯センサー
B：スロット
C：3/4 満杯センサー (オプション位置)
D：4/4 満杯センサー
E：穴

センサーを穴 (E) の高い位置または低い位置に調整して、スイッチの「トリップ」ポイントを調整します。センサーを高い位置に取り付けると、ブザーが鳴るときのグレインタンクの量が増えます。

OUO6075,000104A -40-27FEB12-1/1

グレインタンクカバー (装備されている場合) : 操作

警戒 : 機械を車道で輸送する前に、グレインタンクカバーを閉めて、アンテナをキャビンルーフにフックで固定する必要があります。低く垂れ下がっている電力線や木の大枝に接触しないでください。

注記 : グレインタンクカバーを完全に開放するまで、セパレータは接続されません。

グレインタンクカバーを開くと、クリーングレインローディングオーガが上昇します。カバーを閉めると、オーガは下がります。

ひじかけの折りたたみ機能ショートカットスイッチ (A) を押します。グレインタンクカバーの上昇または下降の詳細については、「CommandCenter ディスプレイ画面」セクションの「折りたたみ機能の設定」を参照してください。

A : 折りたたみ機能ショートカットスイッチ

OUO6075,00007EF -40-15JUN10-1/1

グレインタンクカバー (装備されている場合) : 調整

注記 : 機械の左側にあるターンバックルのみを調整します。機械の右側のターンバックルは調整できません。

グレインタンクカバーを完全に上げます。

図に示すようにターンバックルの間で通常の距離 (C) が得られるまで、ナット (A) と調整ボルト (B) を緩めます。

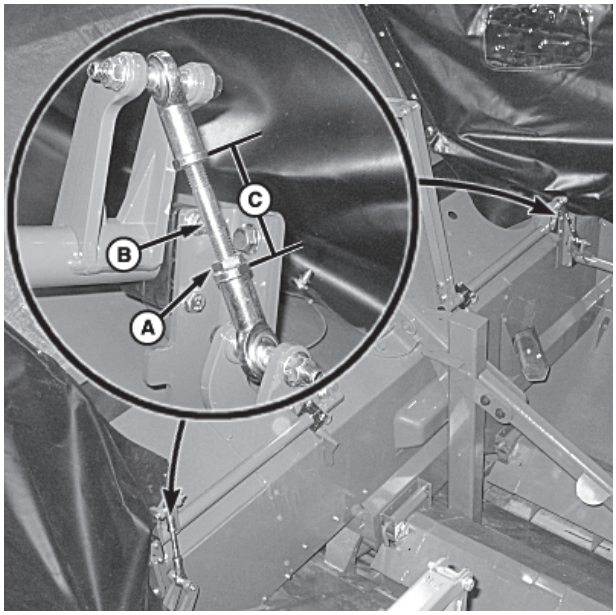
注記 : ターンバックル距離を増やすと、左カバーとフロント／リアカバー間の隙間が増えます。

ターンバックル距離を減らすと、左カバーとフロント／リアカバー間の隙間が減ります。

距離が得られたら、ナットを締め付けます。

残りのターンバックルでも必要に応じて手順を繰り返します。

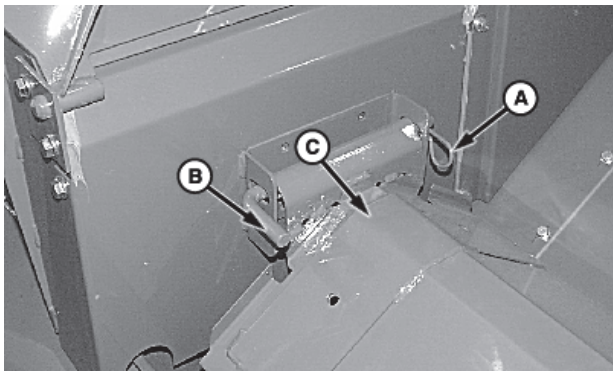
A : ナット
B : ボルト
C : 標準距離、64 mm (2-1/2 in)



OUO6075,00007F0 -40-21OCT10-1/1

グレインタンククロスオーガカバー

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。



オーガカバー (C) をグレインタンクに固定しているロックピン (A) とピン (B) を取り外します。カバーを必要な位置に保持して、前の手順で取り外したピンとロックピンを取り付けます。

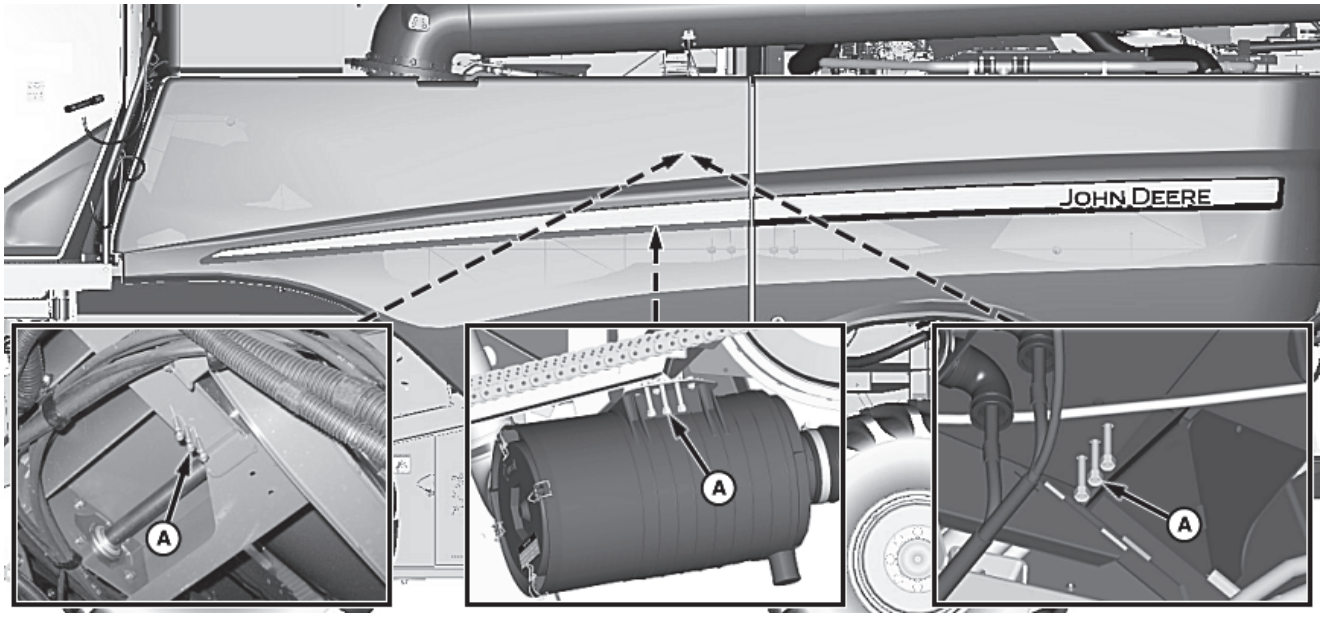
カバーは水平である必要があり、各カバーがオーガーから全長にわたって同じ距離であるように取り付ける必要があります。

注記：すべての作物で、オーガカバーを上部位置に設定します。

A：ロックピン
B：ピン
C：オーガカバー

OUO6075,0000A46 -40-27OCT10-1/1

せん断ボルトの位置



A：せん断ボルト (3 本使用)

注記：予備のせん断ボルト 3 本が付属しています。位置は、エンジンのサイズ、エンジンの排出ガスレベル、およびグレインタンクのアンローディング速度によって異なります。

アンローディングオーガドライブせん断ボルトが破断した場合は、取り外して図の位置の予備のせん断ボルト (A) と交換してください。

OUO6075,00017C7 -40-17APR14-1/1

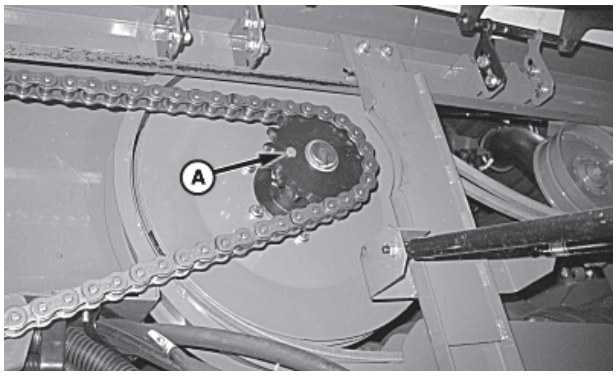
アンローディングオーガドライブせん断ボルト

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

John Deere が供給しているせん断ボルト (A) (ハブに通すボルト) のみを使用してください。交換用せん断ボルトについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

機械には予備のせん断ボルトが付属しています。詳細については、このセクションの「せん断ボルトの位置」を参照してください。

重要：アンローディングオーガの端部にタイヤの内側チューブや袋を取り付けないでください。オーガの端部に制限があると、アンローディングオーガシステムが損傷し、せん断ボルトが故障する原因になります。



A：せん断ボルト

OUO6075,00017C6 -40-16APR14-1/1

グレインタンクのローディングオーガデフレクタ

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

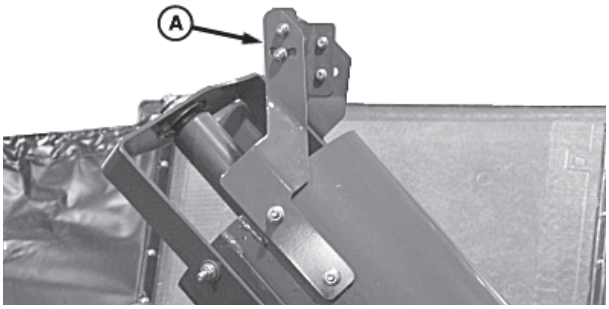
必要に応じてデフレクタ (A) を配置します。

反時計回りに回転：

- 牧草種子やアブラナなどの作物を収穫しているときの強風条件。
- トウモロコシ：グレインタンクは左および後部に向かって充満します。

時計回りに回転：

- 穀粒：グレインタンクは右および前部に向かって充満します。



A：デフレクタ

OUO6075,0000A47 -40-21OCT10-1/1

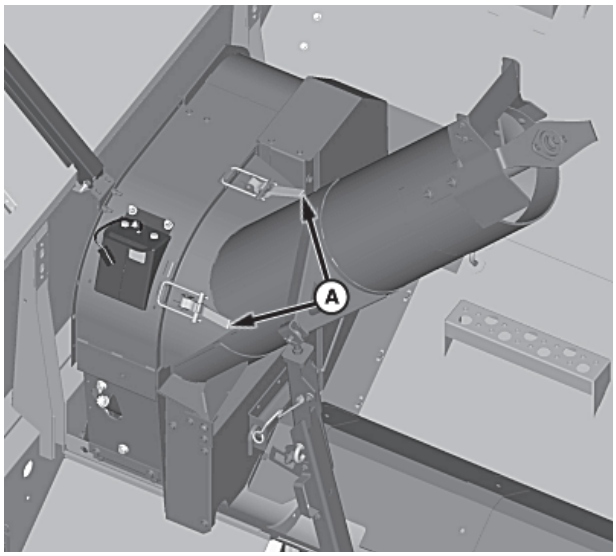
グレインタンクローディングオーガ (グレインタンクエクステンション) : 折りたたみ

警戒 : グレインタンクローディングオーガは重量があります。オーガを昇降させるときは、十分注意してください。

グレインタンクエクステンションを下げると、機械の高さを 0.5 m (1-1/2 ft) 下げることができます。

オーガの上部を保持してクランプ (A) を外します。オーガをクロスオーガカバーの上に下ろします。

A : クランプ



OUO6075,0000CA6 -40-15JUN11-1/1

グレインタンクローディングオーガ (グレインタンクカバー) : 調整

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

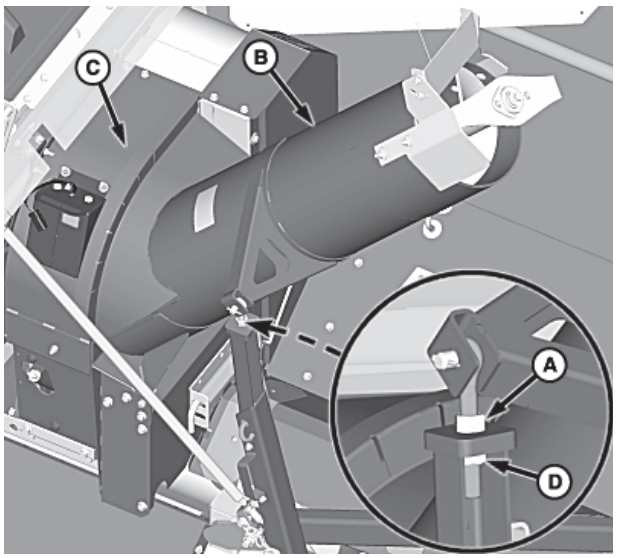
注記 : グレインタンクカバーが完全に上昇していることを確認してください。

グレインタンクローディングオーガ (B) がトランジションハウジング (C) に接触するまでナット (A) を調整します。

ナット (A) をさらに 1/2 回転させて調整し、ナット (D) を締め付けてアイボルトをその位置に固定します。

注記 : これにより、トランジションハウジングに対するローディングオーガハウジングの気密性が維持され、ローディングオーガがギアボックスのドライバーに完全にかみ合います。

A : ナット
B : グレインタンクローディングオーガ
C : トランジションハウジング
D : ナット



次のページへ

OUO6075,0001149 -40-24MAY12-1/2

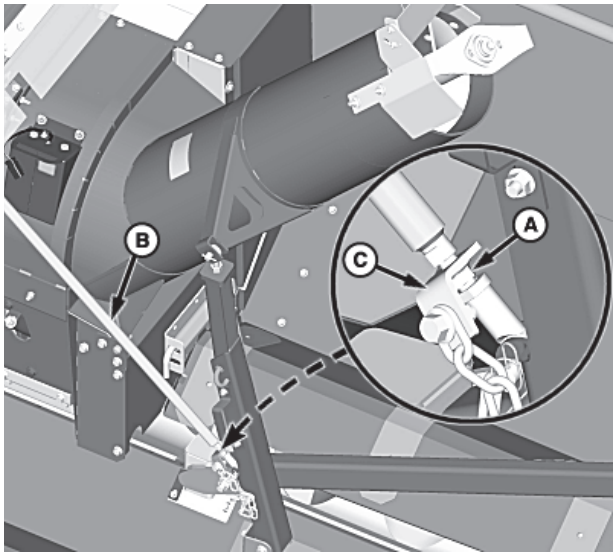
ナット (A) を緩めて、ターンバックルで少量の抵抗が感じられるまでターンバックル (B) を手で調整します。

注記：ターンバックルの長さを長くまたは短くして、ローディングオーガハウジングとトランジションハウジングの間の隙間を増減します。

適切に調整された場合、ターンバックルの端部のピンが自由に回転します。

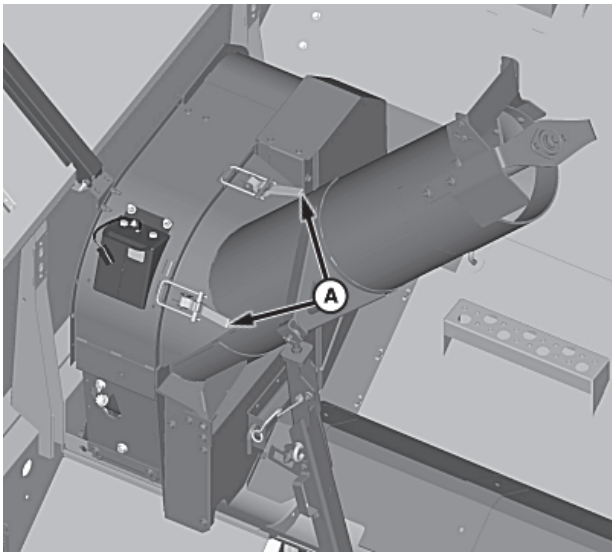
ブラケット (C) が機械の前部に向いていることを確認し、ナット (A) を締め付けてターンバックル (B) をその位置に固定します。

A：ナット
B：ターンバックル
C：ブラケット

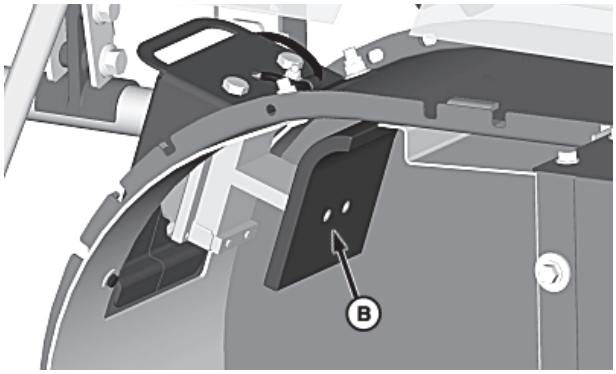


OUO6075,0001149 -40-24MAY12-2/2

質量流量センサープレート (グレインタンクエクステンション)：清掃



A：クランプ　　**B：質量流量センサー**



警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

グレインタンクローディングオーガは重量があります。オーガを昇降させるときは、十分注意してください。

グレインタンクローディングオーガの上部を保持してクランプ (A) を外します。

グレインタンクローディングオーガを下げて、質量流量センサープレート (B) にアクセスします。

グレインタンクローディングオーガをトランジションハウジングに対していっぱいまで上げ、クランプで固定します。

OUO6075,00010A5 -40-05MAR12-1/1

質量流量センサープレート (グレインタンクカバー) : 清掃

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ピン (A) を引っ張ってまたは取り外して、グレインタンクローディングオーガを下げないでください。ピンを取り外すと、けがまたは機械の損傷が発生する可能性があります。

グレインタンクローディングオーガは重量があります。オーガを昇降させるときは、十分注意してください。

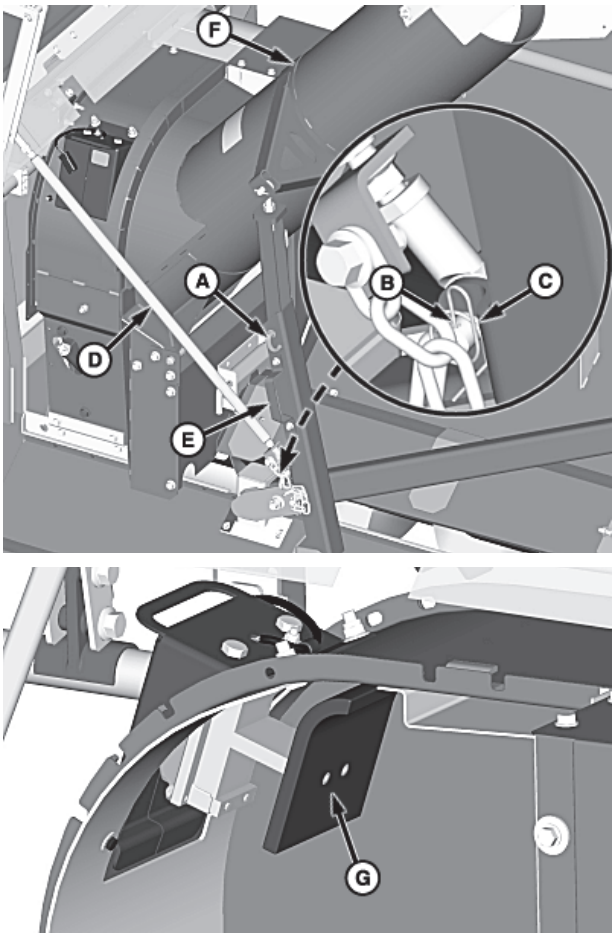
クイックロックピン (B) とピン (C) をターンバックル (D) から取り外します。

ハンドル (E) を使用してグレインタンクローディングオーガ (F) の下降を補助し、質量流量センサープレート (G) にアクセスします。

グレインタンクローディングオーガをトランジションハウジングに対していっぱいまで上げます。

ターンバックルを穴と整列させ、ピンとクイックロックピンで固定します。

A : ピン
B : クイックロックピン
C : ピン
D : ターンバックル
E : ハンドル
F : グレインタンクローディングオーガ
G : 質量流量センサー



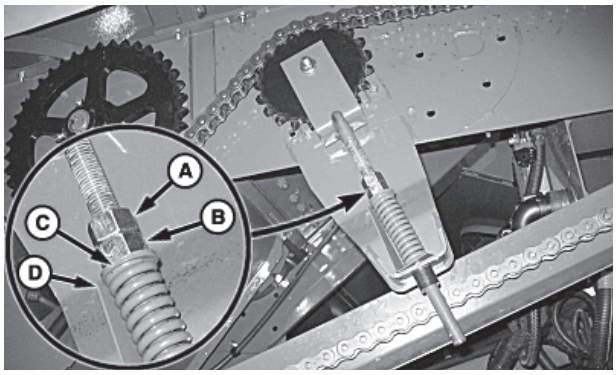
OUO6075,0000A67 -40-15JUN11-1/1

アンローディングオーガドライブチェーン : 調整

警戒 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ロックナット (A) を緩めます。座金 (C) がゲージ (D) の端と整列するまでナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

A : ナット
B : ナット
C : 座金
D : ゲージの端



OUO6075,000113B -40-10MAY12-1/1

アンローディングオーガクレードルサポート：調整

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

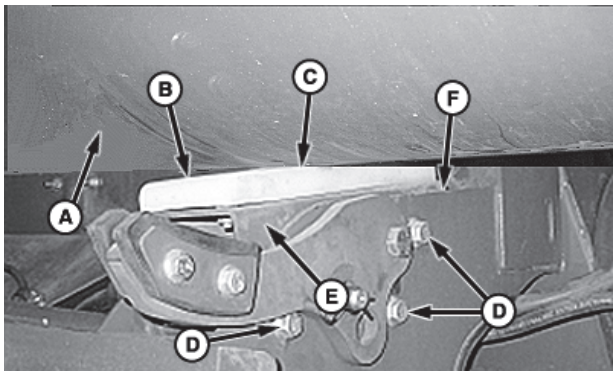
1. アンローディングオーガを保管位置または輸送位置まで旋回させます。

注記：適切に調整された場合、位置 (C) でアンローディングオーガ (A) と摩耗プレート (B) の間に隙間はありません。

2. アンローディングオーガと摩耗プレートの間に隙間がある場合は、ボルト (D) を緩めて、摩耗プレートがローディングオーガの下面に接触するまでクレードルサポート (E) を縦方向に調整します。

注記：クレードルサポート (E) の上面はグレインタンクプレート (F) の上面と平行である必要があります。

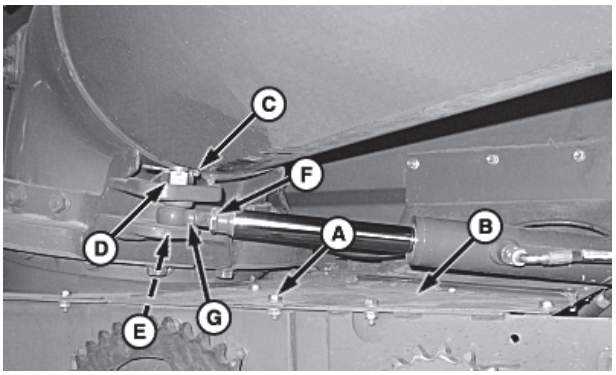
3. クレードルを調整したら、ボルトを締め付けます。



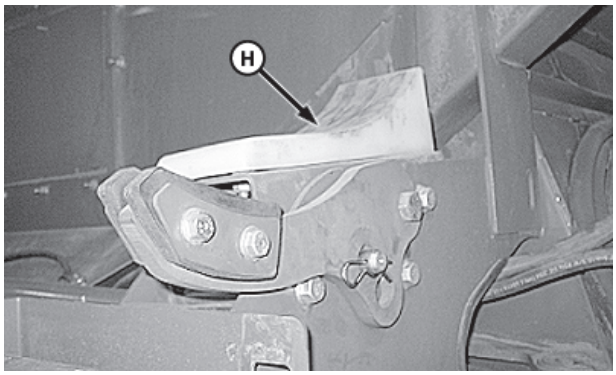
A：アンローディングオーガ
B：摩耗プレート
C：位置
D：ボルト
E：クレードルサポート
F：グレインタンクプレート

OUO6041,0000825 -40-29JAN13-1/1

アンローディングオーガ位置：調整



A：ボルト (8 個使用)
B：カバー
C：コッタピン
D：ナットと座金
E：ピン



F：ナット
G：アイボルト
H：摩耗プレート

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：適切に調整された場合、アンローディングオーガは摩耗プレートに接触している必要があります。

1. コッタピン (C)、ナット、座金 (D)、ピン (E) を取り外します。

2. ナット (F) を緩めて、アンローディングオーガが摩耗プレート面 (H) と軽く接触するまでアイボルト (G) を調整します。

3. アンローディングオーガを調整したら、前の手順で取り外した金具とカバーを取り付けます。

OUO6041,0000826 -40-29JAN13-1/1

アンローディングオーガロックアームの位置

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

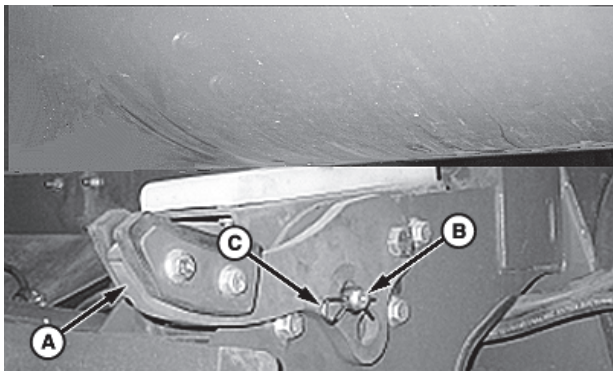
圃場位置：

ロックアーム (A) を図のように下ろしてピン (B) を取り付け、スプリングピン (C) で固定します。

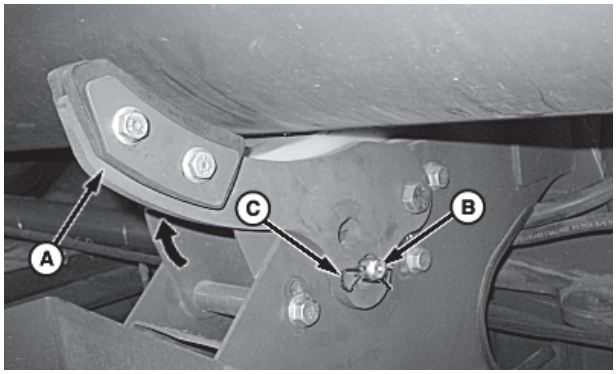
保管位置／輸送位置：

ロックアーム (A) を図のように上げてピン (B) を取り付け、スプリングピン (C) で固定します。

A：ロックアーム
B：ピン
C：スプリングピン



圃場位置



保管位置／輸送ピン位置

OUO6041,0000827 -40-29JAN13-1/1

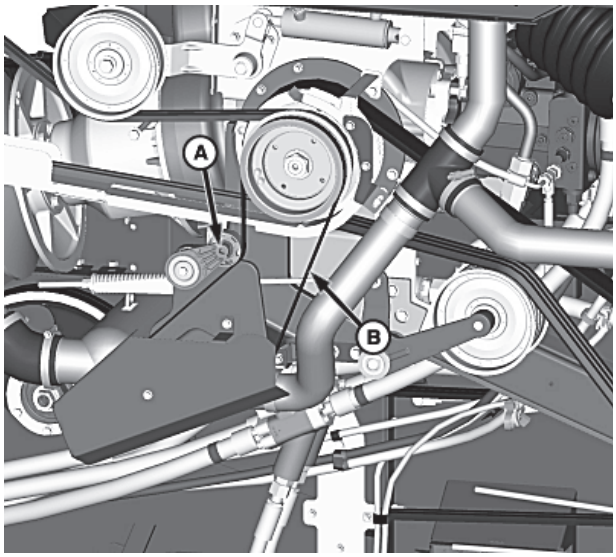
アンローディングオーガドライブベルト：交換 (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：アンローディングオーガ油圧シリンダが解除され、収縮していることを確認してください。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (A) から張力を解放し、エンジンデブリスマネジメントベルト (B) を取り外します。

A：テンショナアーム
B：エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)

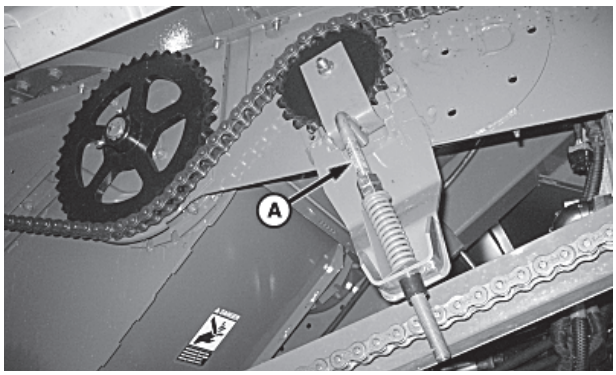


次のページへ

OUO6075,000153F -40-25JUN13-1/3

アンローディングオーガドライブチェーンのテンショナ (A) を緩めます。

A : テンショナ



OUO6075,000153F -40-25JUN13-2/3

チェーンをスプロケット (A) から取り外します。

ボルトをベルトトラップ (B) から取り外します。

ベルトトラップとベルト (C) を取り外します。

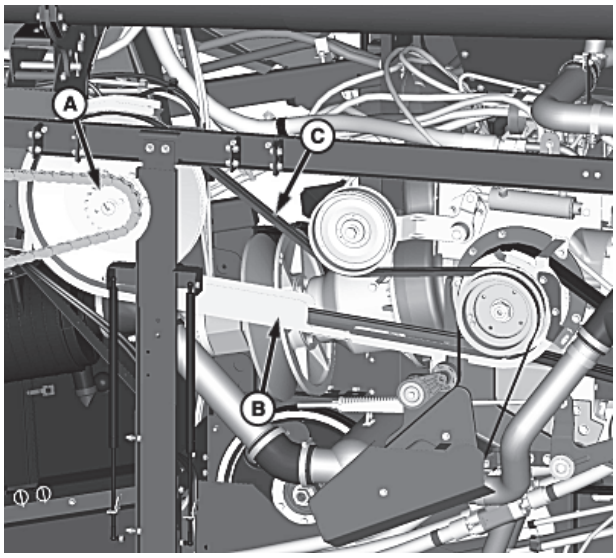
交換用ベルトと前の手順で取り外したベルトトラップを取り付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルトを取り付けます。

シールドを取り付けてボルトで固定します。

ドライブチェーンを取り付けて、座金がゲージの端部と整列するまでテンショナを調整します。

A : スプロケット
B : ベルトトラップ
C : ベルト



OUO6075,000153F -40-25JUN13-3/3

アンローディングオーガドライブベルト：交換 (S680、S685、S690)

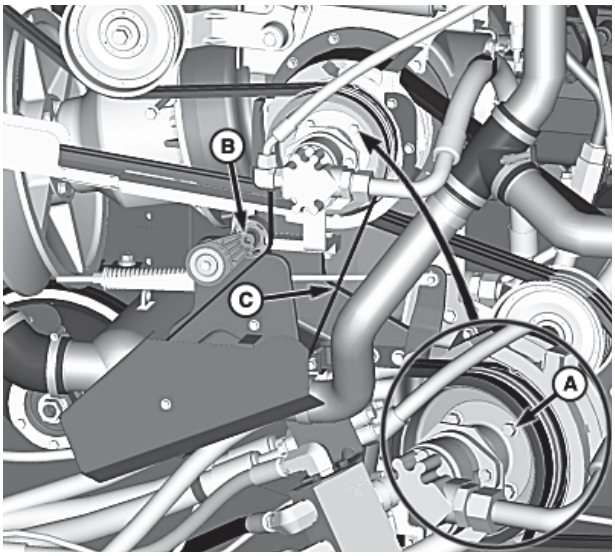
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記：アンローディングオーガ油圧シリンダが解除され、収縮していることを確認してください。

ボルト (A) を取り外し、サポートポンプアセンブリを邪魔にならない位置に移動します。

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (B) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (C) を取り外します。

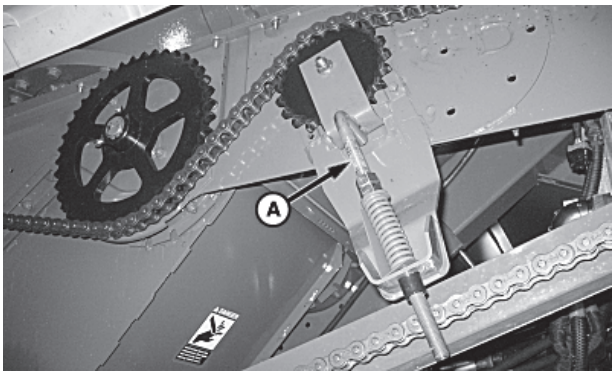
A：ボルト
B：テンショナアーム
C：エンジンデブリマネジメントベルト (装備されている場合)



OUO6075,0001540 -40-25JUN13-1/3

アンローディングオーガドライブチェーンのテンショナ (A) を緩めます。

A：テンショナ



次のページへ

OUO6075,0001540 -40-25JUN13-2/3

チェーンをスプロケット (A) から取り外します。

ボルトをベルトトラップ (B) から取り外します。

ベルトトラップとベルト (C) を取り外します。

交換用ベルトと前の手順で取り外したベルトトラップを取り付けます。

ポンプアセンブリと取り付け、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

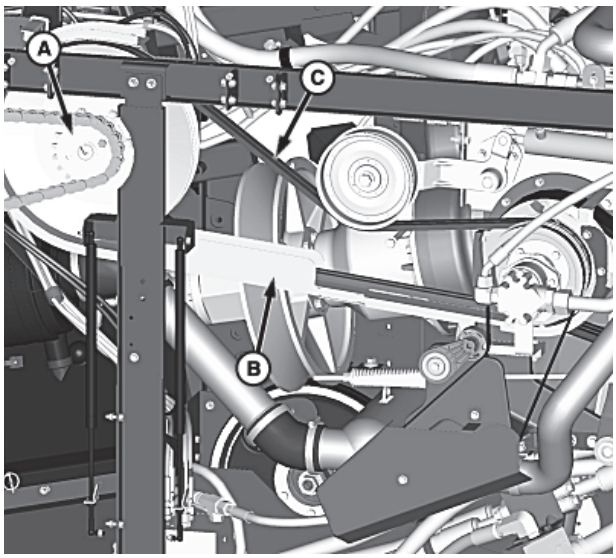
ボルトトルク	80 N•m (59 lb-ft)

ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルトを取り付けます。

シールドを取り付けてボルトで固定します。

ドライブチェーンを取り付けて、座金がゲージの端部と整列するまでテンショナを調整します。

A : スプロケット
B : ベルトトラップ
C : ベルト



OUO6075,0001540 -40-25JUN13-3/3

電子コントロールユニットの近くでの溶接

重要：溶接装置を使用して、エンジンをかけないでください (ジャンプスタートしないでください)。電流および電圧が高すぎて、完全に損傷する可能性があります。

1. バッテリのマイナスケーブル (-) の接続を外します。
2. バッテリのプラスケーブル (+) の接続を外します。
3. プラスおよびマイナス車両バッテリケーブルを互いに短絡させます。車両フレームには接続しないでください。
4. ワイヤハーネス部分を取り除くか、溶接している場所から遠ざけます。
5. 溶接アースを溶接するポイント近くに接続して、コントロールユニットから遠ざけます。

6. 修理箇所が完了し、すべての部品を元の位置に戻したら、プラス (+) バッテリケーブルを最初に接続し、次にマイナス (-) バッテリケーブルを接続します。

OUO6075,00003DD -40-01JUL09-1/1

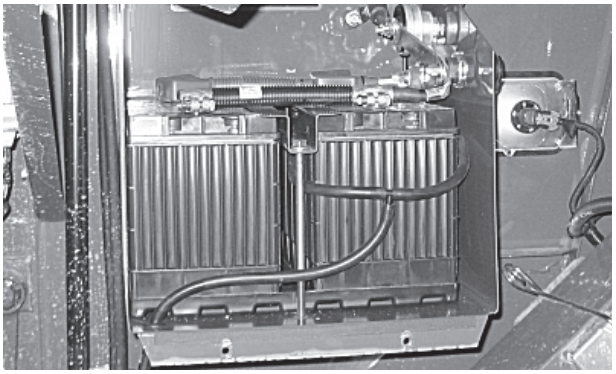
電子コントロールユニットのコネクタの清掃

重要：コントロールユニットを開けないでください。また高圧スプレーを使って洗浄しないでください。湿気、ごみ、その他の異物があると損傷が発生する恐れがあります。

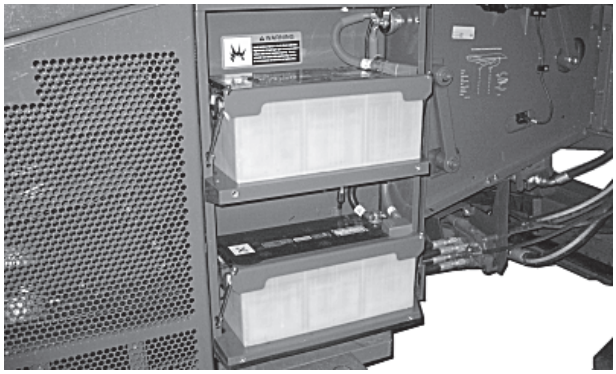
1. 端子を清掃して、異物を取り除きます。湿気、泥、および他の汚染物質により、長い時間コネクタの端子が侵食され、良好な電気的接続が得られなくなります。
2. コネクタを使用しないときは、異物の混入や湿気を防ぐために適切なダストキャップまたはシールを取り付けます。
3. コントロールユニットを修理することはできません。
4. コントロールユニットが故障することはほとんどないので、コントロールユニットを交換する前に、診断手順を実行して故障を特定してください。 (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。
5. 電子コントロールユニットのワイヤハーネス端子およびコネクタは修理ができます。

DX,WW,ECU04 -40-11JUN09-1/1

電気に関する注意事項の順守



S660、S670



S680、S685、S690

警戒：フルードレベルを正確に点検するには、機械を平坦な場所に駐車する必要があります。バッテリフルードレベルは、各セルのプレートを覆っている各注入ポートの上部で確認できる必要があります。

火花や火炎をすべてバッテリから遠ざけてください。電解液から発生するガスは爆発性があります。

火花を防止するため、アースケーブルは最後に接続し、最初に接続を外してください。電撃ややけどを防止するために、電気システムの部品を整備する前またはバッテリを取り外すときにバッテリ遮断スイッチを OFF にしてください。

OUO6075,00015A4 -40-25JUN13-1/1

コンピュータ制御システムを搭載した車両の基本的な電気部品の取り扱い／安全上の注意事項

- キースイッチを ON にしているときやエンジンを運転中は、絶対にバッテリの接続を外さないでください。
  理由：これにより、電気部品が損傷する可能性がある電圧スパイクが発生することがあります。
- キースイッチを ON にしているときにジャンパーケーブルを接続しないでください。
  理由：これにより、電気部品が損傷する可能性がある電圧スパイクが発生することがあります。
- 充電する前にバッテリの接続を外してください (可能な場合)。
  理由：機械の電気負荷により充電プロセスが遅くなる可能性があります。バッテリ充電器は、電気部品が損傷する可能性がある電圧スパイクが発生することがあります。
- 絶対に、機械を運転するために設計されている電圧よりも高い電圧で機械をジャンプ始動しないでください。
  理由：電気部品が損傷する可能性があります。
- キースイッチを ON にしているときまたは機械を運転中は、電気コネクタの抜き差しを行わないでください。
  理由：これにより、コンピュータプログラムの実行中にプログラムが中断してエラーが発生したり、電子部品が損傷する電圧スパイクが発生したりする可能性があります。
- 特に指定されない限り、テストとして部品に電力をかけたり、アースを接続したりしないでください。
  理由：正しくない電圧を電子システムの正しくないポイントに接続すると、電子部品が損傷することがあります。
- 機械で溶接を実施するときは、アースリード線を溶接部品に接続していることを確認してください。最大の保護を実現するには、溶接の前にすべての電子コントローラの接続をはずしてください。
  理由：溶接に関連する高電流は、アース経路に関係するワイヤハーネスを損傷する可能性があります。溶接により、電気部品が損傷する可能性がある電圧スパイクが発生することもあります。

KC01776,00003CF -40-19MAR01-1/1

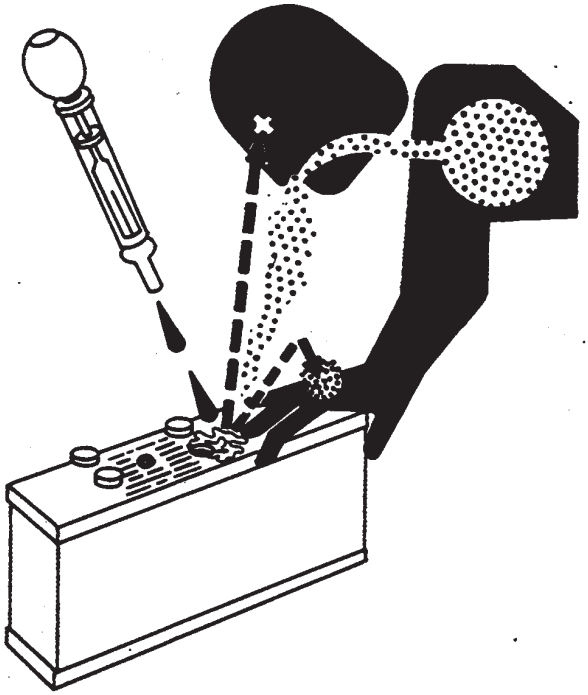
バッテリの安全な取り扱い

バッテリガスは爆発する可能性があります。バッテリに火花や火気を近づけないでください。バッテリ電解液の点検には、懐中電灯を使用します。

バッテリーの電極間に金属を入れて充電状態を確認することは絶対にしないでください。電圧計または比重計を使用します。

バッテリーの接続を外すときはアース側 (-) のクランプを必ず最初に外し、バッテリーを接続するときはアース側を必ず最後に接続します。

バッテリー電解液の硫酸は有害で強力なので、やけどをしたり、衣類に穴が開いたり、目にはねると失明する恐れがあります。



危険回避のための注意事項

- 十分に換気された場所でバッテリ液を補充してください。
- ゴーグルとゴム手袋を着用してください。
- バッテリ清掃に圧縮空気を使用しないでください。
- 電解液の追加時にガスを吸い込まないようにしてください。
- 電解液をこぼしたり、たらさないようにしてください。
- バッテリブースターやバッテリ充電器は正しい手順で使用してください。

酸が皮膚や目にかかった場合の処置

1. 水で洗い流してください。
2. 酸を中和するため、重曹または石灰をかけてください。
3. 目に入った場合は、15～30 分間水で洗い流してください。直ちに治療を受けてください。

酸を飲み込んだ場合の処置

1. 吐出しようとしないでください。
2. 大量の水または牛乳を飲んでください。ただし 2 L (2 qt) を超えないこと。
3. 直ちに治療を受けてください。

警告：バッテリ電極、端子、および関連アクセサリには、癌の原因になったり、生殖機能に有害なことがカリフォルニア州により確認されている鉛や鉛化合物が含まれています。**取り扱い後は手を洗ってください。**

DX,WW,BATTERIES -40-27NOV12-1/1

バッテリ：安全な取り付け

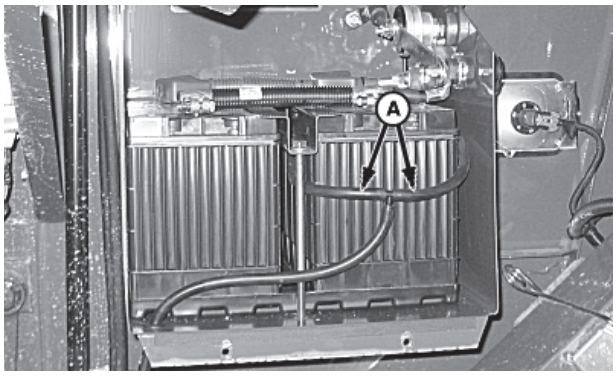
警戒：フルードレベルを正確に点検するには、機械を平坦な場所に駐車する必要があります。バッテリフルードレベルは、各セルのプレートを覆っている各注入ポートの上部で確認できる必要があります。

爆発による大けがや死亡事故を防止してください。バッテリボックスが正しく換気されていない場合、高濃度の水素ガスが溜まる可能性があります。バッテリやバッテリボックスで整備またはメンテナンスを実施した後、必ずベントチューブ (A) を元に戻してください。ベンチレーションホースが曲がったり、ねじれていないか確認してください。

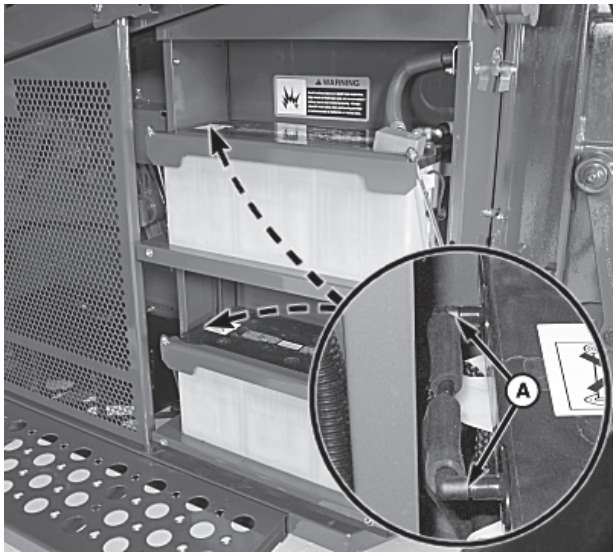
交換用バッテリには、ベンチレーションホース装置用のベンチレーション継手がある必要があります。ベンチレーション継手を装備している交換用バッテリについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

バッテリにベンチレーションチューブを取り付けない場合、機械エンジンを運転中にまたはバッテリを外部充電器で充電しているときに必ずバッテリリッドを外しておく必要があります。

A：ベントチューブ



S660、S670



S680、S685、S690

OUO6075,0001541 -40-01JUL13-1/1

バッテリケーブル：接続

警戒：バッテリはマイナスアース専用です。必ずバッテリアースケーブルをバッテリのマイナス (-) ポストに接続してください。スタータケーブルはバッテリのプラス (+) ポストに接続してください。バッテリの極性やオルタネータの接続を反転させると、電気システムに修復不能な損傷が発生します。最後にアースケーブルをマイナス (-) 端子に接続します。

重要：バッテリは端子配置が同じである必要があります。

バッテリを接続するときは、次の手順を実施してください。

すべてのスイッチとアクセサリをオフにします。バッテリポストと端子を清掃します。

アースケーブルをすばやくマイナスポストに接続します。アーク放電を発生させないでください。アーク放電が発生する場合は、接続を行わないでください。バッテリの位置が反転していないか確認してください。

アーク放電が引き続き発生する場合は、すべてのスイッチおよびアクセサリがオフであることをもう一度確認してください。次に、短絡、配線の破損、緩みまたは接続の腐食がないか点検してください。

マイナス (-) バッテリアースケーブルを接続します。

OUO6075,00007D7 -40-19MAR07-1/1

バッテリ：充電

特に寒冷気候では、バッテリをフル充電の状態に保ちます。バッテリを 12.50 V 以上に完全に充電しなかった場合、バッテリの寿命が短くなる可能性があります。

警戒：凍結したバッテリに充電しないでください。バッテリ充電器に接続する前に、室温で解凍してください。十分に換気された場所のみでバッテリに充電してください。コンバインに取り付けた状態でバッテリに充電するときは、バッテリから両方のバッテリケーブルの接続を外してください。

重要：バッテリが完全に充電されていない場合、電解液が凍結する可能性があります。

どのバッテリに充電する必要があるか決定してください。

バッテリの両方のケーブルの接続を外し、充電器のプラスケーブルを「+」端子に充電器のマイナスケーブルを「-」端子に接続します。

充電器に付属の説明書に従ってください。必ず 12 V 充電器でバッテリに充電してください。

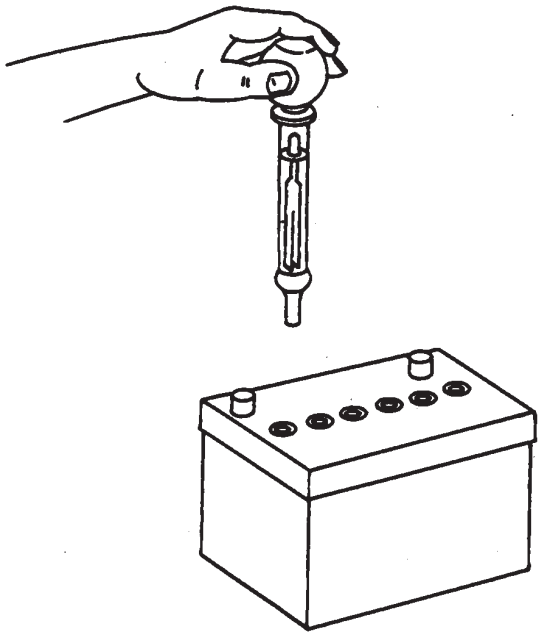
OUO6075,00007D8 -40-19MAR07-1/1

バッテリ：比重の点検

警戒：フルードレベルを正確に点検するには、バッテリを平らな面に置く必要があります。バッテリフルードレベルは、各セルのプレートを覆っている各注入ポートの上部で確認できる必要があります。

バッテリガスは爆発する可能性があります。バッテリに火花や火気を近づけないでください。バッテリ電解液の点検には、懐中電灯を使用します。

バッテリの電極間に金属を入れて充電状態を確認することは絶対にしないでください。電圧計または比重計を使用してください。



バッテリの状態を判定するには、バッテリ比重計を使用して各セルの電解液の比重を測定します。読みが 1.225 未満の場合は、バッテリに充電します。セル間の違いが 0.050 を超えている場合は、バッテリを交換します。

電解液の温度の変動に合わせて必ず比重計の読みを補正します。80°F 以上では、10°F ごとに 0.004 を追加します。(27°C 以上では、10°C ごとに 0.007 を追加します)。電解液が 80°F (27°C) である場合は同じ値を減算します。完全に充電されたバッテリの補正された比重の範囲は 1.265～1.280 です。

OUO6075,00007D9 -40-19MAR07-1/1

バッテリ：ブースターの接続

追加の 12 V バッテリを並列に接続すると、寒冷時の始動が容易になります。

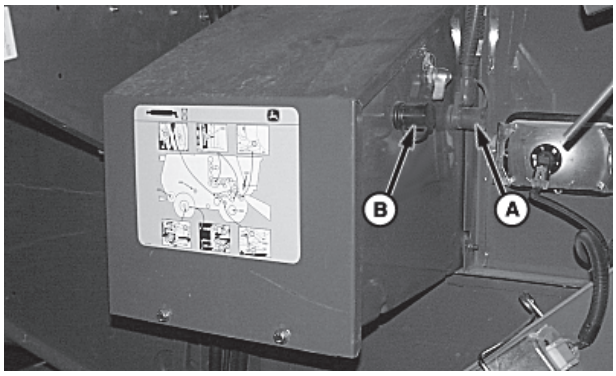
警戒：バッテリから出るガスは有毒です。バッテリの近くでは火花を発生させないでください。

重要：絶対にキースイッチまたはバッテリ遮断スイッチを ON にした状態でジャンパーケーブルを接続しないでください。絶対に 12 V を超える電圧でジャンプスタートしないでください。

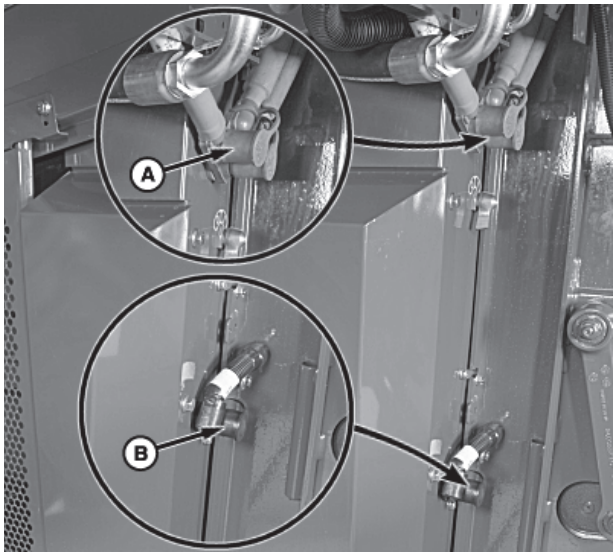
ポストから保護キャップを取り外します。

まず、ジャンパーケーブルをブースターバッテリのプラス (+) ポストに接続する必要があります。他端を機械のバッテリのプラス (+) ポスト (A) に接続します。次に、ジャンパーケーブルをブースターバッテリのマイナス (-) ポストに接続する必要があります。他端を機械のバッテリのマイナス (-) ポスト (B) に接続します。

A：プラス (+) ポスト
B：マイナス (-) ポスト



S660、S670



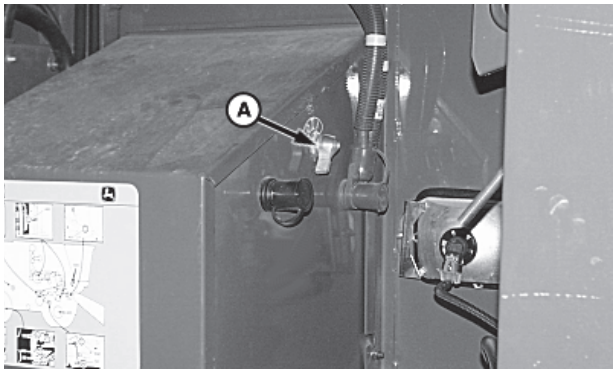
S680、S685、S690

OUO6075,00017AE -40-26MAR14-1/1

バッテリ：取り外しと取り付け (S660、S670)

1. バッテリ遮断スイッチ (A) を反時計回りに回して OFF 位置にします。

A：バッテリ遮断スイッチ

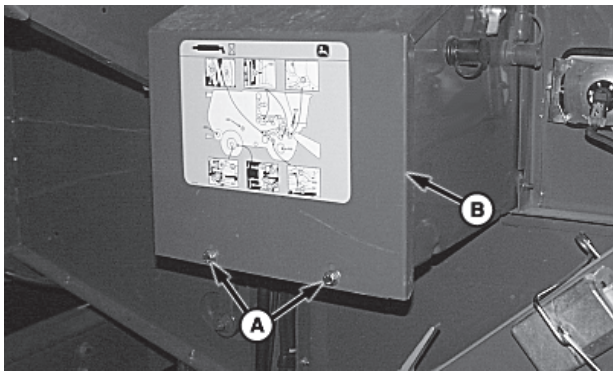


次のページへ

OUO6075,0000FBD -40-10MAY12-1/4

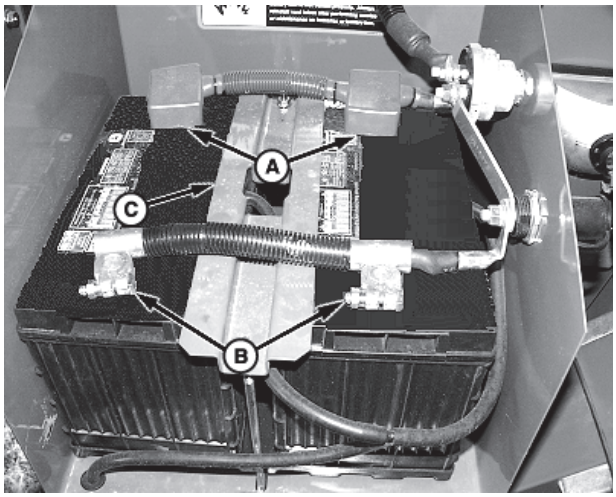
2. ボルト (A) とカバー (B) を取り外してバッテリにアクセスします。

A：ボルト
B：カバー



OUO6075,0000FBD -40-10MAY12-2/4

3. バッテリとマイナスジャンプスタートポストからマイナス (-) ケーブル (B) の接続を外します。
4. プラス (+) ケーブル (A) とプラスジャンプスタートポストの接続を外します。
5. クランプ (C) とバッテリベントチューブを取り外します。
6. バッテリとバッテリ取り付け部を清掃します。
7. バッテリをバッテリボックスとプラスチックトレーに取り付けます。
8. バッテリケーブルとポストを清掃し、バッテリベントチューブを接続します。
9. クランプ (C) を緩く取り付けます。
10. プラス (+) ケーブル (A) とプラスジャンプスタートポストを取り付けます。
11. マイナス (-) ケーブル (B) とマイナスジャンプスタートポストを取り付けます。
12. バッテリクランプを締め付けます。

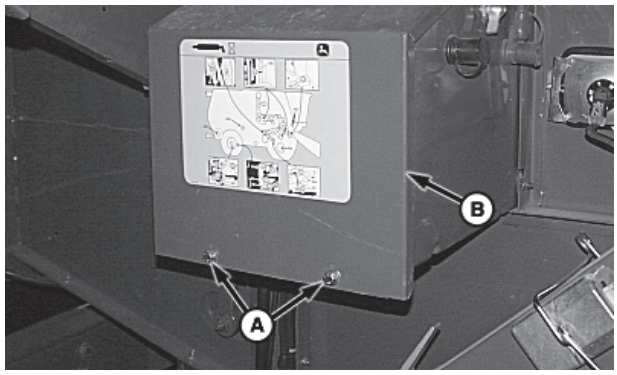


A：プラスケーブル
B：マイナスケーブル
C：クランプ

OUO6075,0000FBD -40-10MAY12-3/4

13. カバー (B) を取り付けて、前の手順で取り外したボルト (A) で固定します。
14. バッテリ遮断スイッチを時計回りに回して ON 位置にします。

A：ボルト
B：カバー

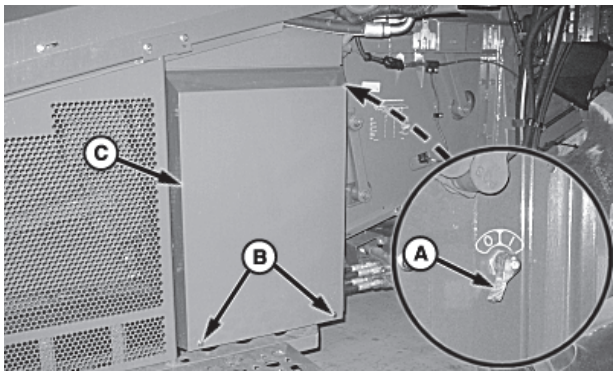


OUO6075,0000FBD -40-10MAY12-4/4

バッテリ：取り外しと取り付け (S680、S685、S690)

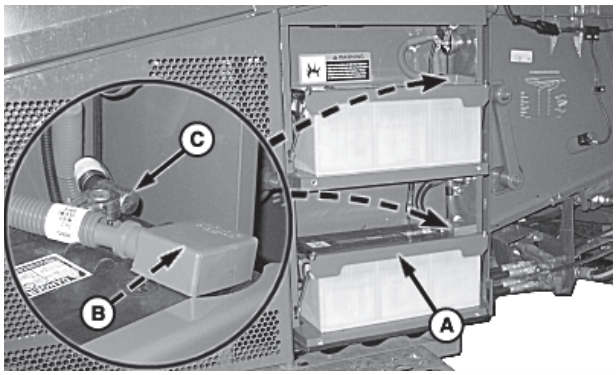
1. バッテリ遮断スイッチ (A) を反時計回りに回して OFF 位置にします。
2. ボルト (B) とカバー (C) を取り外してバッテリにアクセスします。

A：バッテリ遮断スイッチ
B：ボルト (9 本使用)
C：カバー



OUO6075,000123E -40-09OCT12-1/2

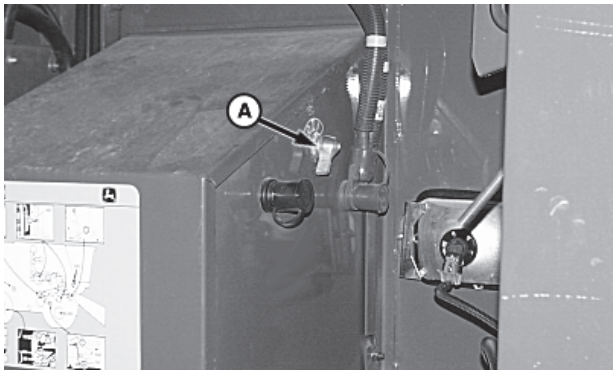
3. クランプ (A) とバッテリベントチューブを取り外します。
4. プラス (+) ケーブル (B) とマイナス (-) ケーブル (C) の接続を外します。
5. バッテリとバッテリ取り付け部を清掃します。
6. バッテリをバッテリボックスに取り付けます。
7. バッテリケーブルとポストを清掃し、バッテリベントチューブを接続します。
8. プラス (+) ケーブルとマイナス (-) ケーブルを接続します。
9. バッテリクランプを取り付けて締め付けます。
10. カバーを取り付けて前の手順で取り外したボルトで固定します。
11. バッテリ遮断スイッチを時計回りに回して ON 位置にします。



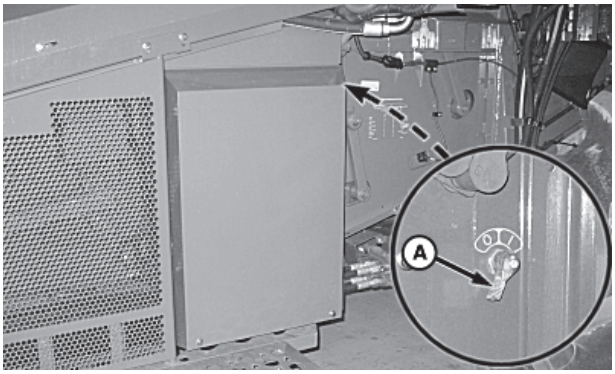
A：クランプ
B：プラスケーブル
C：マイナスケーブル

OUO6075,000123E -40-09OCT12-2/2

バッテリ遮断スイッチ



S660、S670



S680、S685、S690

A：バッテリ遮断スイッチ

重要：ファイナル ティア 4／ステージ IV：機械を停止してから 90 秒以上の間、バッテリーの接続を外さないでください。機械を停止した直後、SCR (選択触媒還元) システムはこの時間中に排ガス処理用尿素水 (DEF) のラインを自動的にパージします。ラインがパージされるまで十分な時間を確保しないと、ラインに残留した DEF が結晶化してラインの詰まりの原因になります。凍結気候では、液体が凍結してラインが破裂するおそれがあります。

注記：機械の 25 日以上保管する場合は、バッテリ遮断スイッチを OFF にしてください。保管期間が 90 日を超える場合は、バッテリのマイナスケーブルを外してバッテリーへの負荷を最小限度に抑えます。

バッテリ遮断スイッチ (A) を時計回りに回して機械の電気システムを ON にするか、スイッチを反時計回りにまわして機械の電気システムを OFF にします。

OUO6075,000179C -40-13MAR14-1/1

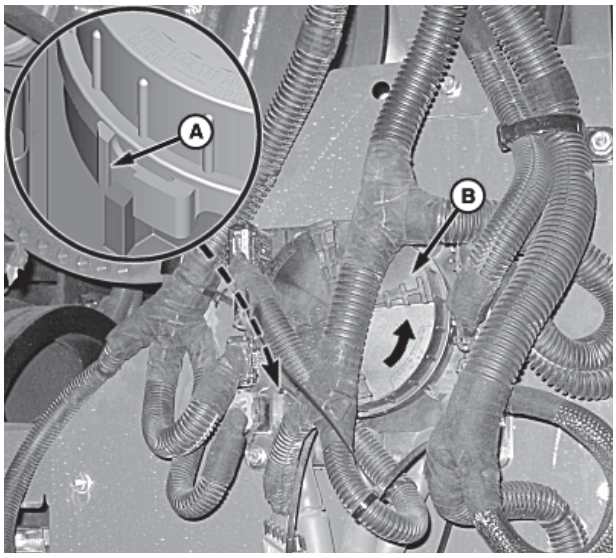
ヒューズセンターカバー

注記：ヒューズセンターは、S660 および S670 機械では右側にあり、S680、S685、S690 機械では左側にあります。

予備ヒューズとヒューズプーラーはカバーの下側にあります。

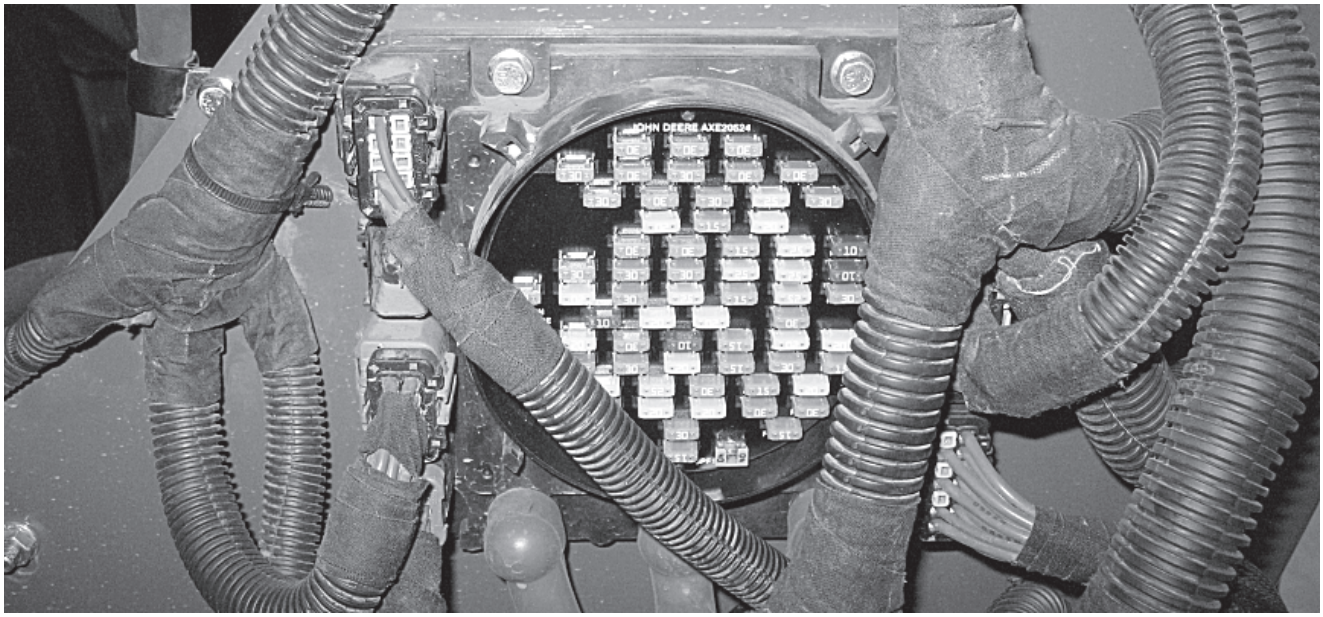
ロックタブ (A) を押し、カバー (B) を反時計回りに回してヒューズセンターを開きます。

A：ロックタブ
B：カバー



OUO6075,0001545 -40-19JUN13-1/1

ヒューズセンター



注記：ヒューズセンターは、S660 および S670 機械では右側にあり、S680、S685、S690 機械では左側にあります。

- F1、F2：不使用
- F3 (cc# 0642) 右コントロールユニット 2 (RC2) 電源 1
- F6 (cc# 0652) 右コントロールユニット 2 (RC2) 電源 2
- F7 (cc# 0342) 右コントロールユニット 1 (RC1) 電源 1
- F8 (cc# 0842) 左電源モジュール 1B (LPM1B) 電源 2
- F9 (cc# 0362) 右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 5
- F10 (cc# 8232) キャビンコントロールユニット (CAB) 電源 2
- F11 (cc# 0332) 右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 3
- F12 (cc# 0322) 右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 2
- F13：不使用
- F14 (cc# 8022) キャビン電源モジュール A (CPMA) 電源 1
- F15 (cc# 0352) 右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 4
- F16：不使用
- F17 (cc# 0912) 水分センサー電源
- F18 (cc# 0372) 右コントロールユニット 1 (RC1) 電源 2
- F19 (cc# 8042) キャビン電源モジュール A (CPMA) 電源 3
- F20 (cc# 8162) ドームライトおよび電動ミラー
- F21 (cc# 8132) キャビン電源モジュール B (CPMB) 電源 4
- F22 (cc# 8002) キャビンコントロールユニット (CAB) 電源 1
- F23 (cc# 8122) キャビン電源モジュール B (CPMB) 電源 3
- F24 (cc# 8142) キャビン電源モジュール B (CPMB) 電源 5
- F25：不使用
- F26 (cc# 8992) その他キャビン電源 3
- F27 (cc# 0152) 左コントロールユニット 1 (LC1) 電源 2
- F28 (cc# 8182) 再循環ファン電源 2
- F29 (cc# 8082) 再循環ファン電源 1
- F30 (cc# 8242) 補助コンセント常時供給電源
- F31 (cc# 0012) 常時供給バッテリ電源
- F32 (cc# 0142) 左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 4
- F33 (cc# 8092) アクセサリ電源
- F34 (cc# 0112) 左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 1
- F35：不使用
- F36 (cc# 0312) 右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 1
- F37 (cc# 8172) シートコンプレッサ
- F38 (cc# 8072) その他キャビン電源 1
- F39 (cc# 4972) AutoTrac™ (SSU/XSC) 常時供給電源
- F40 (cc# 8052) キャビン電源モジュール A (CPMA) 電源 4
- F41 (cc# 8032) キャビン電源モジュール A (CPMA) 電源 2
- F42 (cc# 8152) その他キャビン電源 2
- F43 (cc# 5222) エンジンコントロールユニット (ECU) 電源 3
- F44 (cc# 0712) 左電源モジュール 2B (LPM2B) 電源 1
- F45 (cc# 0122) 左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 2
- F46 (cc# 0132) 左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 3
- F47 (cc# 8192) 自動温度制御 (ATC) 電源
- F48 (cc# 5012) エンジンコントロールユニット (ECU) 電源 1
- F49 (cc# 8062) キャビン電源モジュール A (CPMA) 電源 5
- F50：不使用
- F51 (cc# 0162) 左コントロールユニット 1 (LC1) 電源 1
- F52：不使用
- F54 (cc# 0422) ProDrive™ トランスミッションコントロールユニット (PTP) 電源 (装備されている場合)
- F55 (cc# 5022) エンジンコントロールユニット (ECU) 電源 2
- F56 (cc# 5042) 燃料供給ポンプ
- F57 (cc# 0222) 左電源モジュール 2B (LPM2B) 電源 2
- F58：不使用
- F62：不使用

次のページへ

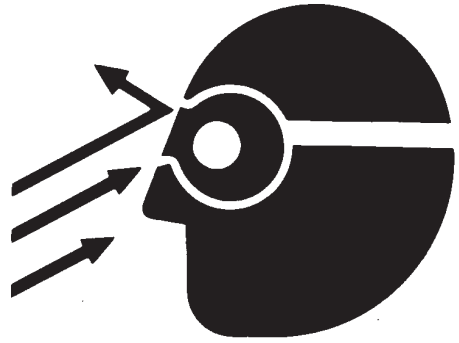
- F63 (cc# 5062) ドージングポンプ電源
- F64 (cc# 0212) 左電源モジュール 2A (LPM2A) 電源 1
- F67：不使用
- F68 (cc# 0172) 左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 5
- F69 (cc# 0972) Flex Residue チョッパー電源 2 (装備されている場合)
- F70：不使用
- F71：不使用
- F73 (cc# 0252) 左コントロールユニット 2 (LC2) 電源 1
- F74 (cc# 0972) Flex Residue チョッパー電源 1 (装備されている場合)
- F75～F77：不使用
- F78 (cc# 0242) 左コントロールユニット 2 (LC2) 電源 1
- F79：不使用
- F80 (cc# 0722) 左電源モジュール 2B (LPM2B) 電源 2

OUO6075,000159C -40-25JUN13-2/2

ハロゲンバルブ交換時の安全規則

警戒：ハロゲン電球 (A) には加圧されたガスが入っています。電球を正しく取り扱わないと、電球が粉々になって飛散することがあります。事故を防止するため、次のように取り扱ってください。

- **ライトのスイッチを切り、バルブが冷えてから交換してください。バルブ交換が終わるまでスイッチを OFF のままにしてください。**
- **バルブを交換するときは目の保護具を着用してください。**
- **バルブの差し込み口を扱ってください。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。**
- **取り付ける前に、清潔な布とアルコールを使用してバルブから指紋を拭き取ってください。皮膚の油分がバルブに残っていると、過熱や早期故障の原因になります。**
- **バルブを落としたり、傷つけないでください。**
- **バルブを湿気にさらさないでください。**
- **バルブはエンクロージャの外で点灯しないでください。バルブの内部圧力は高いので、割れたり破損したりすると破裂してけがをする恐れがあります。**
- **使用済みバルブは新品のバルブの容器に入れて、適切に廃棄してください。子供が触らないようにしてください。**



A：ハロゲン電球

OUO6075,0001356 -40-12DEZ12-1/1

キャビンヘッドライトバルブ：交換

警戒：ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

ヘッドライトアセンブリ (B) からワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。

ライトハウジングをキャビンの外側に向けて回します。

バルブアセンブリ (C) を反時計回りに回転させて取り外します。

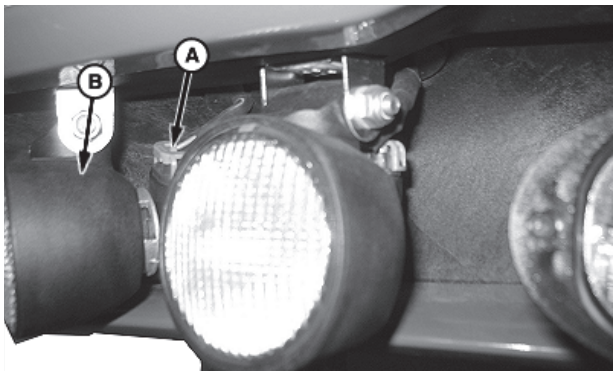
注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

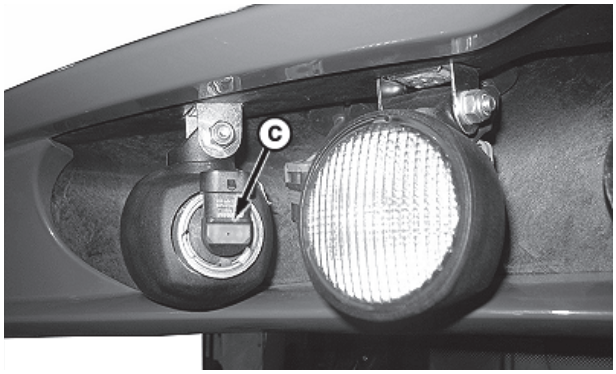
バルブを交換します。

バルブアセンブリをハウジングに押し込み、時計回りに回して取り付けます。

ライトハウジングを以前の作動位置に回してワイヤハーネスを接続します。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。





A：コネクタ
B：ヘッドライトアセンブリ
C：バルブアセンブリ

OUO6075,0000784 -40-04NOV10-1/1

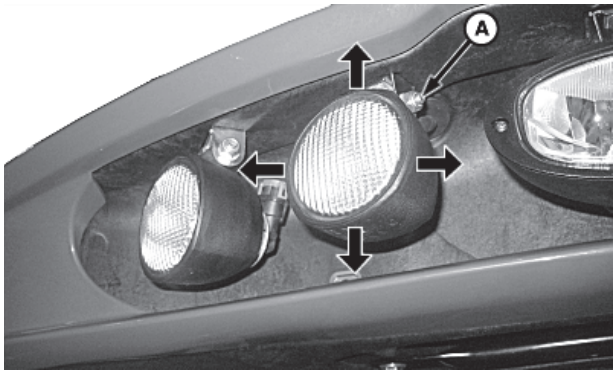
キャビンヘッドライト：調整

警戒：ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

注記：必要に応じて、正しい照明角度を得るためにライトアセンブリを調整できます。

垂直調整：ボルト (A) を緩めます。ライトアセンブリを必要な位置まで上下に回して、ボルトを締め付けます。必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

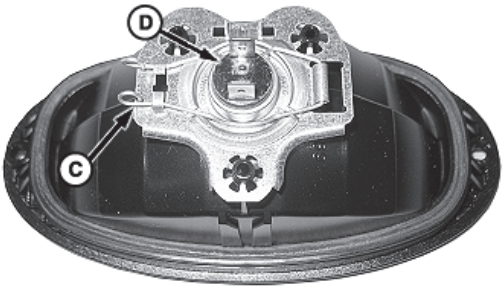
水平調整：ライトアセンブリを必要な位置まで左右に回転させます。必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。



A：ボルト

OUO6075,0001052 -40-27FEB12-1/1

キャビンハロゲンライトバルブ：交換



警戒：ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

ねじ (A) とフェースプレート (B) をハウジングから取り外します。

クリップ (C) を押し込んでバルブアセンブリ (D) を取り外します。

注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

バルブを取り外して交換します。

クリップを使用して、バルブアセンブリをライトバルブの差し込み口に取り付けます。

フェースプレートレンズをコネクタの内側のハウジングと整列させ、ねじで固定します。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

A：ボルト
B：フェースプレートレンズ
C：クリップ
D：バルブアセンブリ

OUO6075,0000787 -40-04NOV10-1/1

キャビンハロゲンライト：調整

警戒：ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

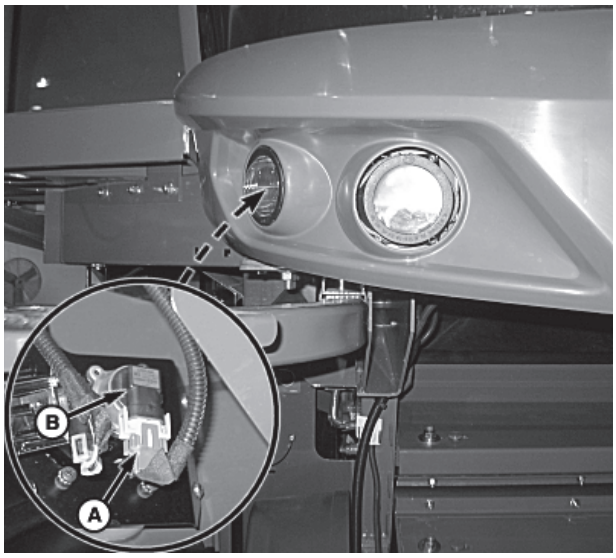
注記：必要に応じて、正しい照明角度を得るためにライトアセンブリを調整できます。

ボルト (A) を緩めます。ライトアセンブリを必要な位置まで上下に回して、ボルトを締め付けます。必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

A：ボルト

OUO6075,0001053 -40-27FEB12-1/1

フェーシアライトバルブ (装備されている場合)：交換



警戒：ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを完全に下げます。

バルブアセンブリ (B) からワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。

バルブアセンブリを反時計回りに回転させて取り外します。

注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

バルブを取り外して交換します。

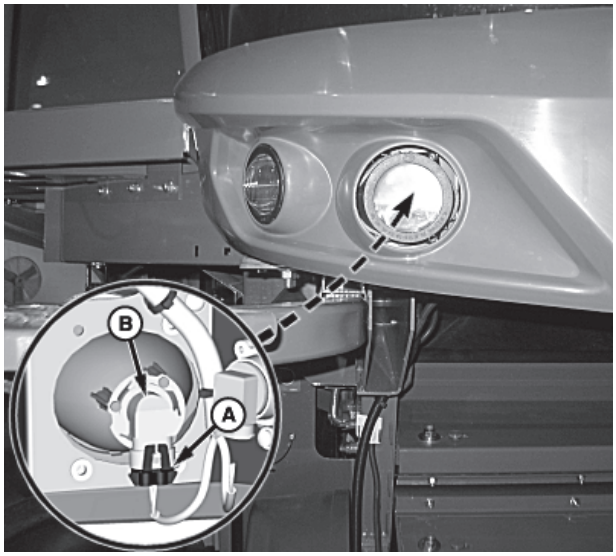
バルブアセンブリをハウジングに押し込み、時計回りに回して取り付けて、ワイヤハーネスを接続します。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

A：コネクタ
B：バルブアセンブリ

OUO6075,0000A6F -40-04NOV10-1/1

下部運転ライトバルブ (装備されている場合)：交換



警戒：ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを完全に下げます。

バルブアセンブリ (B) からワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。

バルブアセンブリを反時計回りに回転させて取り外します。

注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

バルブを取り外して交換します。

バルブアセンブリをハウジングに押し込み、時計回りに回して取り付けて、ワイヤハーネスを接続します。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

A：コネクタ
B：バルブアセンブリ

OUO6075,0000A70 -40-04NOV10-1/1

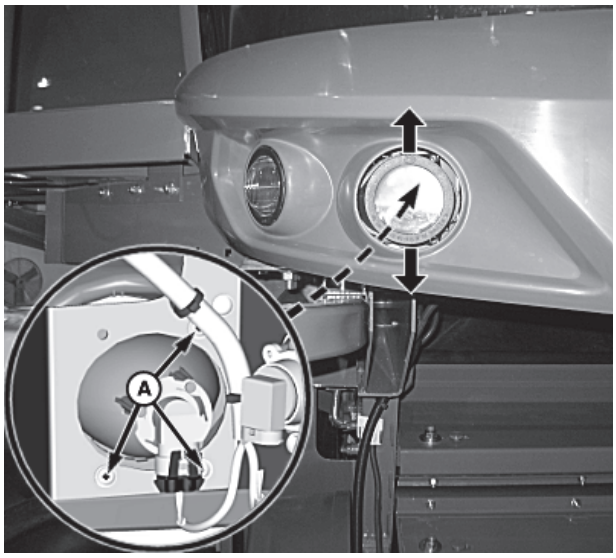
下部運転ライトバルブ (装備されている場合)：調整

警戒：ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを完全に下げます。

注記：必要に応じて、正しい照明角度を得るためにライトアセンブリを調整できます。

ライトアセンブリを必要な位置まで上下に回して、ねじ (A) を締め付けます。必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

A：ねじ

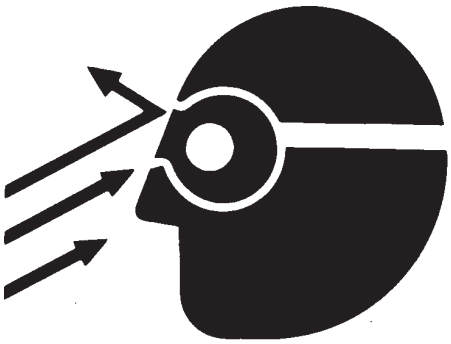


OUO6075,0001054 -40-27FEB12-1/1

高輝度放電 (HID) キセノンライト交換時の安全規則

警戒：バルブを正しく取り扱わないと、バルブが粉々になって飛散することがあります。事故を防止するため、次のように取り扱ってください。

- **ライトのスイッチを切り、バルブが冷えてから交換してください。バルブ交換が終わるまでスイッチを OFF のままにしてください。**
- **ライトと安定器の間は電気接続によって高電圧がかかります。この接続を外すには、必ず最初に安定器への車両ワイヤハーネスの接続を外す必要があります。**
- **バルブを交換するときは目の保護具を着用してください。**
- **バルブの差し込み口を扱ってください。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。**
- **取り付ける前に、清潔な布とアルコールを使用してバルブから指紋を拭き取ってください。皮膚の油分がバルブに残っていると、過熱や早期故障の原因になります。**
- **バルブを落としたり、傷つけないでください。**



- **バルブを湿気にさらさないでください。**
- **バルブはエンクロージャの外で点灯しないでください。バルブの内部圧力は高いので、割れたり破損したりすると破裂してけがをする恐れがあります。**
- **使用済みバルブは新品のバルブの容器に入れて、適切に廃棄してください。子供が触らないようにしてください。**

OUO6075,0001357 -40-12DEZ12-1/1

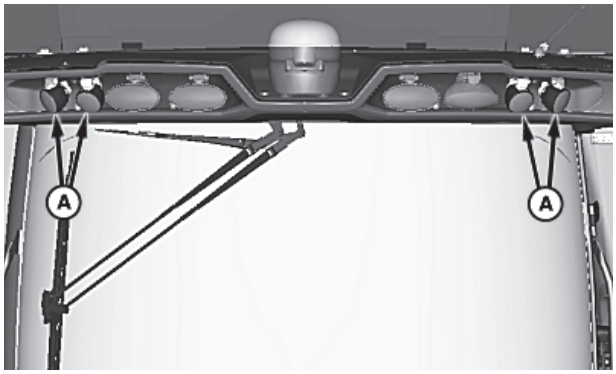
高輝度放電 (キセノン) ライトバルブ (オプション)：交換

警戒：電撃やランプの爆発による大けがや死亡事故を防止してください。ランプには 25,000 V の電圧がかかります。HID キセノンライトまたは安定器で作業を行う前に、ライトを OFF にし、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取り、適切な目の保護具を着用してください。

ライトをその前に操作していた場合は、バルブの整備を行う前に 5 分以上待ってください。

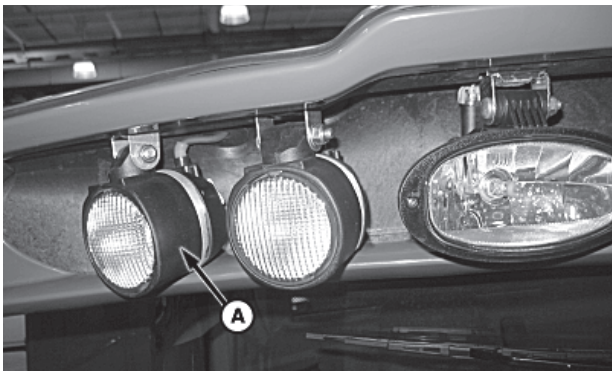
ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

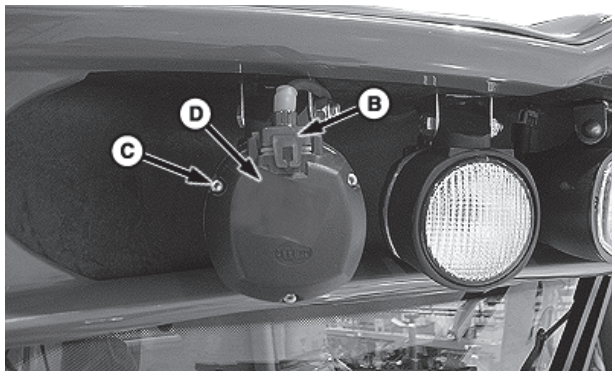
高輝度放電 (HID) キセノンライト (A) は図に示すようにキャビンの両側にあります。



A：HID キセノンライト

OUO6075,0000790 -40-04NOV10-1/2





ライトハウジング (A) をキャビンの外側に向けて回します。

ライトアセンブリからワイヤハーネスコネクタ (B) の接続を外します。

六角穴付きボルト (C) を取り外し、リアハウジング (D) を取り外します。

ロックタブ (E) をこじて HID キセノンバルブ (F) を取り外します。

重要：バルブを扱うときは差し込み口を扱い、ガラスに触れないでください。

バルブを取り外して交換します。

リアハウジングをライトハウジングに取り付けて、六角穴付きボルトで固定します。

ワイヤハーネスを接続し、ライトハウジングを以前の作動位置まで回します。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

A：ライトハウジング
B：コネクタ
C：六角穴付きボルト (3 本使用)
D：リアハウジング
E：ロックタブ
F：HID キセノンバルブ

OUO6075,0000790 -40-04NOV10-2/2

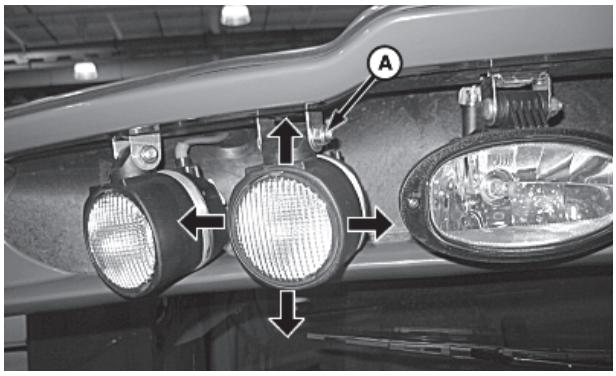
高輝度放電 (キセノン) ライト (オプション)：調整

警戒：ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

注記：必要に応じて、正しい照明角度を得るためにライトアセンブリを調整できます。

垂直調整：ボルト (A) を緩めます。ライトアセンブリを必要な位置まで上下に回して、ボルトを締め付けます。必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

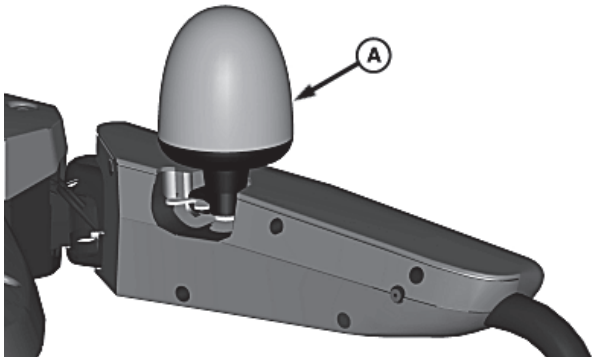
水平調整：ライトアセンブリを必要な位置まで左右に回転させます。必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

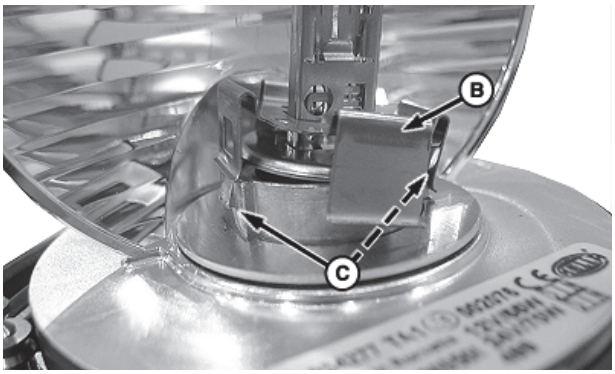


A：ボルト

OUO6075,0001055 -40-27FEB12-1/1

ビーコンライトの交換 (発光ダイオード (LED) ライトなし)





警戒：ビーコンライトを交換する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

レンズ (A) を押し下げて、反時計回りに回して取り外します。

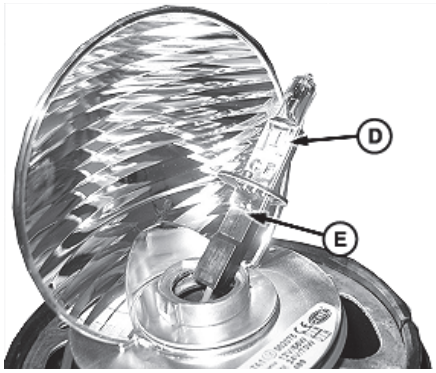
クリップ (B) をこじてロックタブ (C) から外します。

バルブアセンブリ (D) をコネクタ (E) から取り外します。

注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

バルブを交換し、取り外しと逆の順に取り付けます。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。



A：レンズ
B：クリップ
C：ロックタブ
D：バルブアセンブリ
E：コネクタ

OUO6075,0001838 -40-12JUN14-1/1

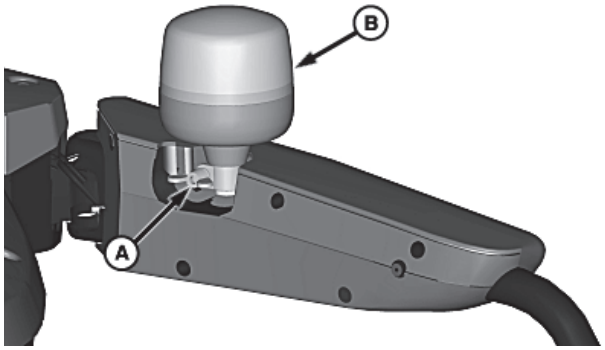
ビーコンライトの交換 (発光ダイオード (LED) ライト)

警戒：ビーコンライトを交換する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

蝶ナット (A) を緩め、ビーコンライト (B) を電源コンセントから取り外します。

ビーコンライトを交換し、取り外しと逆の順で取り付けます。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。



A：蝶ナット
B：ビーコンライト

OUO6075,0001839 -40-12JUN14-1/1

ディスチャージライト、補助圃場ライト、アクセスドアワークライト、スタッブルライト、グレインタンク／アンローディングオーガライト：交換

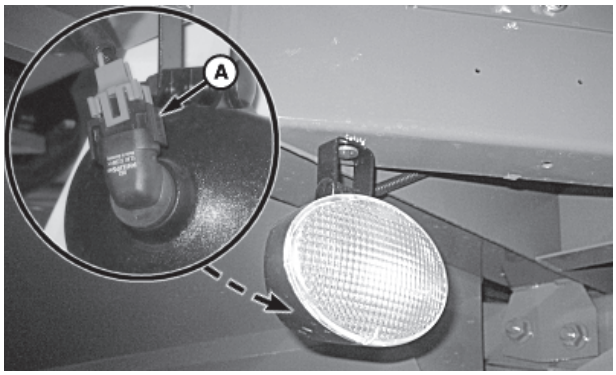
バルブアセンブリからワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。

バルブアセンブリを反時計回りに回転させて取り外します。

バルブを取り外して交換します。

注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

バルブアセンブリをハウジングに押し込み、時計回りに回して取り付けて、ワイヤハーネスを接続します。



右スタッブルライト

A：コネクタ

OUO6075,0000781 -40-04NOV10-1/1

サイドファインダーおよびクリーニングシューライト：交換

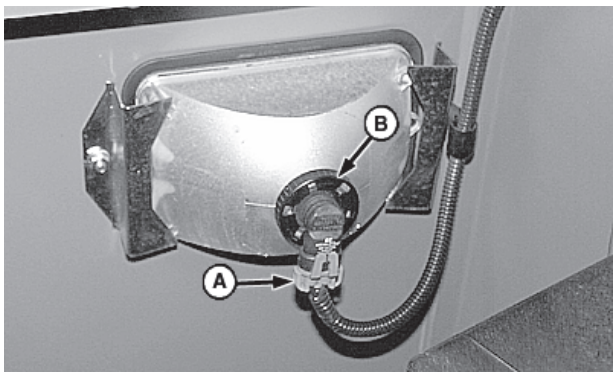
バルブアセンブリからワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。

リテーナリング (B) を押し込み、反時計回りにひねって取り外します。

バルブを取り外して交換します。

注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

取り外しと逆の順にバルブアセンブリを取り付けてワイヤハーネスを接続します。



A：コネクタ　　**B：リテーナリング**

OUO6075,0000782 -40-04NOV10-1/1

ハザード／マーカーライト、マーカー／ブレーキライト、リアハザードライト：交換

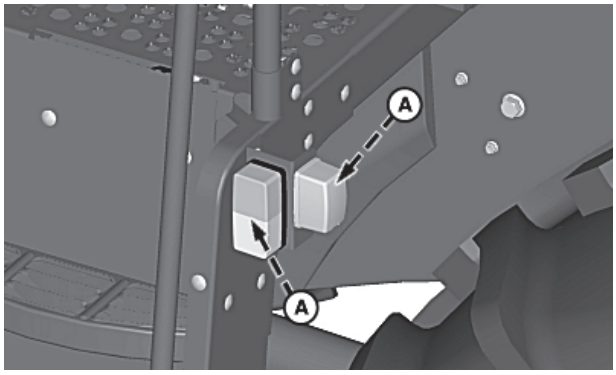
レンズカバーからねじ (A) を取り外します。

ライトバルブを押し込み、反時計回りに回して取り外します。

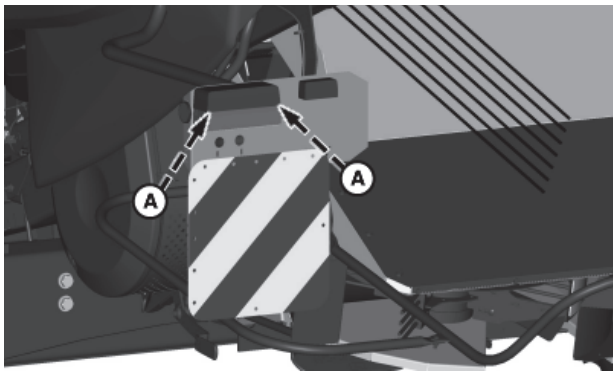
注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

取り外しと逆の順序でバルブとレンズカバーを取り付けます。

A：ねじ



ハザード／マーカーライト



マーカー／ブレーキライトおよびリアハザードライト

OUO6075,0001361 -40-11DEZ12-1/1

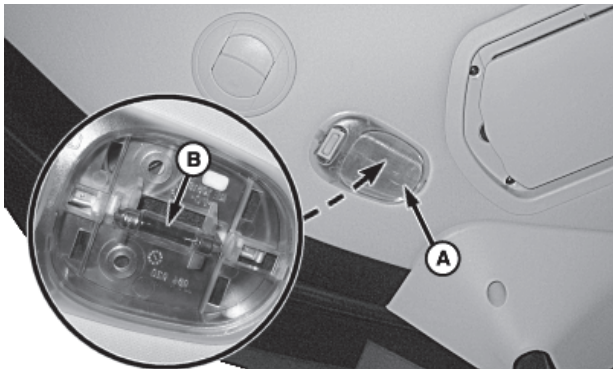
キャビンインテリアライト：交換

レンズカバー (A) を取り外してバルブ (B) を取り外します。

注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

取り外しと逆の順序でバルブとレンズカバーを取り付けます。

A：レンズカバー
B：バルブ



OUO6075,0000783 -40-04NOV10-1/1

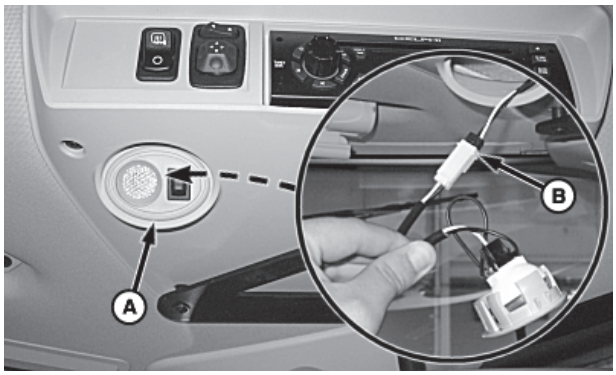
マップライト：交換

マップライトアセンブリ (A) を取り外して、ワイヤハーネスコネクタ (B) の接続を外します。

マップライトアセンブリを取り外して交換します。

図に示すように、取り外しとは逆の順にマップライトアセンブリを取り付けて向きを調整します。

A：マップライトアセンブリ
B：コネクタ



OUO6075,00009AF -40-13SEP10-1/1

診断トラブルコードメニューへのアクセス

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ) ／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

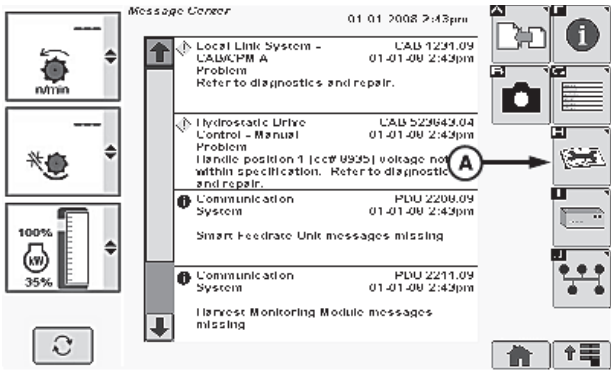
「Message Center Application
(メッセージセンターアプリケーション)」アイコン

「Message center (メッセージセンター)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00006C8 -40-01APR10-1/5

「Trouble Codes (トラブルコード)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A : トラブルコードアイコン

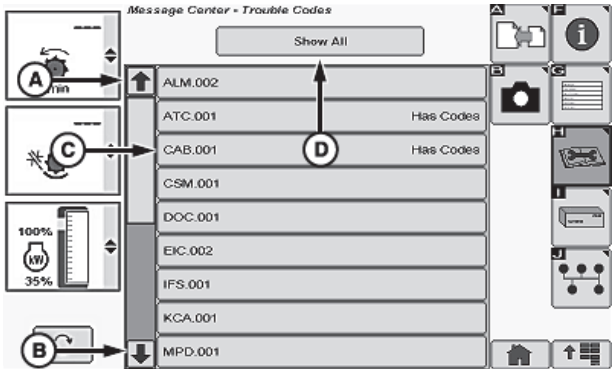


OUO6075,00006C8 -40-01APR10-2/5

注記 : 「Show All (すべて表示)」メニュー (D) を使用して診断トラブルコードをディスプレイに表示することもできます。「Show All (すべて表示)」メニューを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。これにより、すべてのコントロールユニットのすべてのトラブルコードが表示されます。

上矢印 (A) または下矢印 (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、コントロールユニットリストをスクロールします。

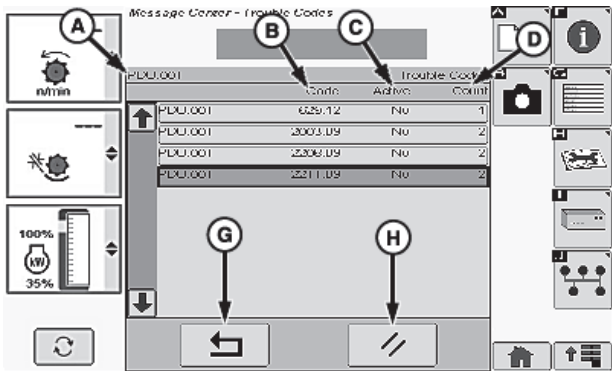
必要なコントロールユニット (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。



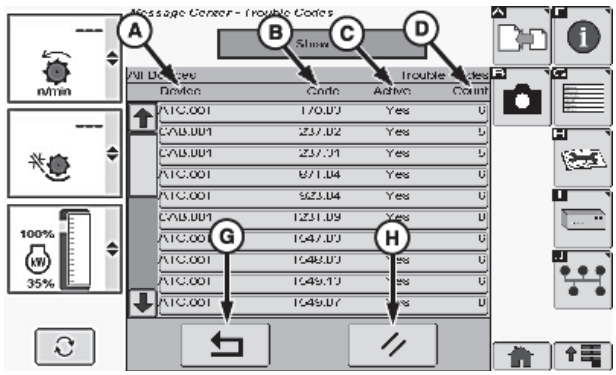
A : 上向き矢印
B : 下向き矢印
C : コントロールユニット
D : 「Show All (すべて表示)」メニュー

次のページへ

OUO6075,00006C8 -40-01APR10-3/5



個々のコントロールユニットトラブルコード



すべてのコントロールユニットトラブルコード

注記：複数のコードが表示されている場合は、上矢印または下矢印を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押してトラブルコードをスクロールします。

画面には以下の情報が表示されます。

- 「Control Unit (コントロールユニット)」(A)
- 「Trouble Code (トラブルコード)」(B)
- 「Active (Yes/No) (アクティブ (はい／いいえ))」(C)
- 「Count (カウント)」(D)

必要なコードを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

コードの説明 (E) が表示され、トラブルコードの詳細な説明が表示されます。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (F) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前の画面に戻ります。

「Return/Back (戻る)」アイコン (G) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻るか、「Clear (消去)」アイコン (H) が表示されるまで押し続けます。

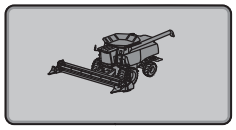
詳細コード説明

A：コントロールユニット／装置
B：トラブルコード
C：アクティブ (はい／いいえ)
D：カウント
E：コード説明
F：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン
G：「Return/Back Arrow (戻る矢印)」アイコン
H：「Clear (消去)」アイコン

OUO6075,00006C8 -40-01APR10-4/5

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ) ／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。



「Combine Main Application
(コンバインメインアプリケーション)」アイコン

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00006C8 -40-01APR10-5/5

診断トラブルコードの優先順位

各診断トラブルコード (DTC) には優先順位があります。DTC の優先順位は、DTC が表示される方法により示されます。

- **エンジン停止警告灯 (赤)**：点灯した場合、すぐにエンジンを停止し、問題を解決する必要があることを示します。問題が解決するまで、診断トラブルコードがひじかけのディスプレイに表示されます。
- **点検警告灯 (黄)**：機械で問題がある場合は、点灯して点滅します。機械をすぐに停止する必要があります。診断トラブルコードがひじかけのディスプレイに表示されます。
- **情報警告表示灯 (青)**：診断トラブルコードがアクティブの場合に点灯し、点滅します。条件を確認するようにオペレータに警告します。警告を確認したら、画面メッセージが消えて警告灯が消灯します。

OUO6075,00006CA -40-13MAR14-1/1

タイヤの安全な整備

警戒：タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

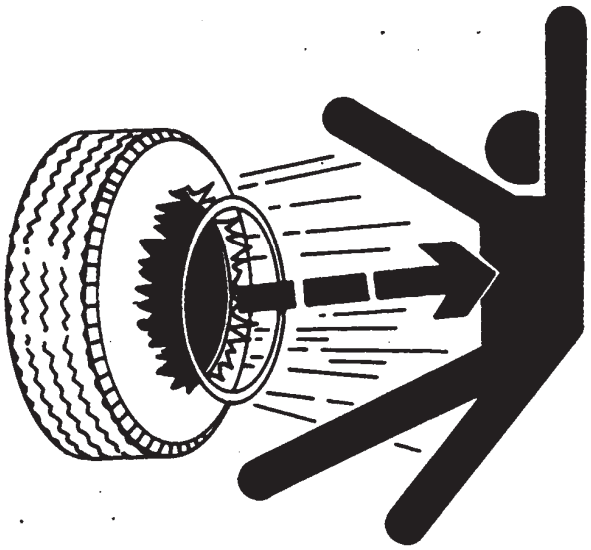
適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。

常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。

ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接、加熱しないでください。熱により空気圧が高くなり、タイヤが破裂することがあります。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。必要に応じて安全ケージを使用してください。

ホイールを点検し、圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないかどうかを確認します。



DX,RIM1 -40-27NOV12-1/1

ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送

公道でのコンバインの運転に関する国および地域の規則を順守してください。

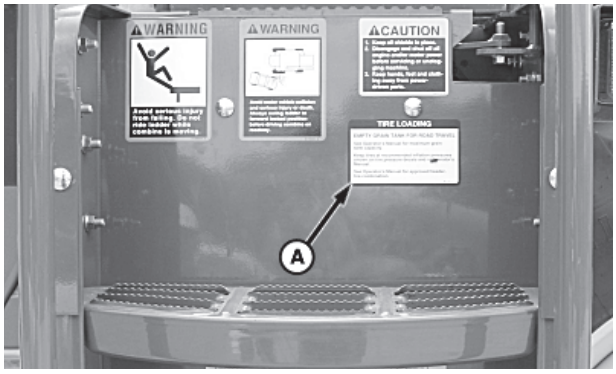
このコンバインは、Geringhoff 8 条折りたたみ式ヘッダーおよび Kemper 8 条折りたたみ式ヘッダーを使用する場合、ドイツの公道での輸送が認められています。他のヘッドを使用してドイツの公道で輸送する場合は、最寄りの TUEV の認可を受けて道路使用許可を得る必要があります。

OUO6075,0000A06 -40-15MAR07-1/1

タイヤ荷重ステッカー

キャビンタラップにあるステッカー (A) にはタイヤ荷重に関する重要な情報が記載されています。

A : ステッカー



OUO6075,00007CB -40-09JUN10-1/1

タイヤの手入れと整備

重要：元から装備されているタイヤと異なる仕様のタイヤを取り付けると、機械が故障するおそれがあります。お近くの取扱店かタイヤのメーカーにご相談ください。

標準外のタイヤや推奨タイヤよりも大きいタイヤを使用すると保証対象外になり、安定性の低下やステアリングへの影響を招き、タイヤの早期破損やその他の耐久性または安全性に関わる問題が発生するおそれがあります。

損傷していないか、または空気圧が極端に低くないかタイヤを毎日点検してください。

少なくとも 100 運転時間ごとに、タイヤ空気圧を点検してください。タイヤに液体バラストを使用している場合は、専用のエアウォーターゲージを使用して底部のバルブステムで測定します。

チューブレスタイヤの小さいパンクはタイヤを取り外さないで一時的に修理できるので、繁忙期の作業中止時間を回避できます。

直射日光、石油製品、化学薬品からタイヤを保護してください。

慎重に運転してください。岩や鋭利な物体を回避してください。

重要：タイヤの損傷が進まないように、可能な限り早期に完全な修理を実施する必要があります。

注記：以下のタイヤ空気圧は、タイヤ側面でのタイヤ空気圧とは異なる場合があります。

以下のタイヤには、地域や機械モデルによっては使用不可能なものもあります。

タイヤ空気圧

フロントタイヤのサイズ	荷重指数	空気圧		リアタイヤのサイズ	荷重指数	空気圧			
						S660～S670 二輪駆動		S660～S670 四輪駆動 S680～S690 二輪駆動および四輪駆動	
		kPa	psi			kPa	psi	kPa	psi
680/85R32 AC70G TL	178A8	414	60	500/85R24 IMP SFT TL	177A8	317	46	359	52
IF680/85R32 CFO TL CEREXBIB	179A8	241	35	500/80R28 IMP SFT TL	176A8	290	42	317	46
710/70R42 TL TM900 高出力	179A8	331	48	VF520/80R26 TL CEREXBIB	165A8	241	35	241	35
800/65R32 AC70N TL	178A8	414	60	620/75R26 TL MEGAXBIB	166A8	317	46	317	46
IF800/65R32 CFO TL CEREXBIB	178A8	241	35	VF620/70R26 TL CEREXBIB	173A8	179	26	241	35
800/70R32 CHO SFT TL	175A8	207	30	750/65R26 TL MEGAXBIB	166A8	248	36	290	42
IF800/70R32 CFO TL CEREXBIB	182A8	241	35						
800/70R38 SFT TL	181A8	290	42						
IF800/70R38 CFO TL CEREXBIB	187A8	241	35						
900/60R32 SFT TL	176A8	276	40						
900/60R38 SFT TL	181A8	276	40						
IF900/60R38 CFO TL CEREXBIB	188A8	207	30						

OUO6075,00017D5 -40-01JUL14-1/1

フロントタイヤおよびリアタイヤの情報

タイヤまたはファイナルドライブを工場出荷時のものから変更する場合は、システムを再較正する必要が生じます。正しいタイヤコードがメモリに入力されていることを確認します。

重要：駆動輪を交換すると、タイヤ半径が変わる場合があります。新しいタイヤ半径に合わせて CAB コントロールユニットを設定する必要があります。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

システムを較正しないと、Harvest Monitor の収量が不正確になります。

フロントタイヤおよびリアタイヤに関する以下の追加情報については、最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

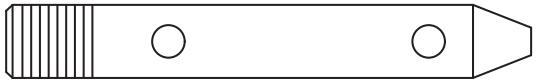
フロントタイヤ：
- タイヤサイズ
- ヘッダー互換性
- 条間隔
- ホイールスペーサ
- 車軸スペーサ
- ホイールオフセット

リアタイヤ：
- タイヤサイズ
- 車軸タイプ
- スピンドルタイプ
- 車軸位置
- フロントとリアの高さの差

OUO6075,0001113 -40-11APR12-1/1

駆動輪スタータスタッドボルト

ホイールを取り外した場合は、ホイールスタータスタッド (HXE16110) を車軸にねじ込み、次にホイールを取り付けます。このスタッドボルトはダブルタイヤにも使用できます。



OUO6075,00007CC -40-06AUG10-1/1

駆動輪ボルトのトルク (シングルタイヤ構成)

注記：フロントホイールボルトを取り付ける前に、前部のねじ山部分に JDM J20C オイルまたは同等品を塗ります。ボルトの頭と接触面にオイルが付着していないことを確認してください。ボルトの頭と接触面は乾燥している必要があります。

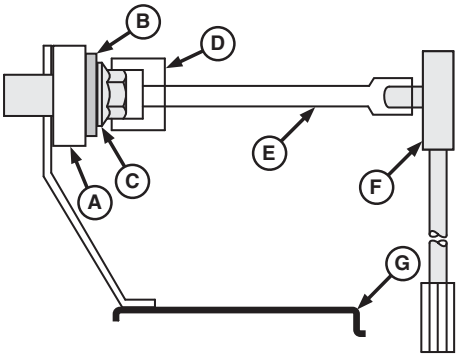
駆動輪の位置変更または交換を実施するたびに、ホイールボルトを規定のトルクで対角線上に締め付けます。

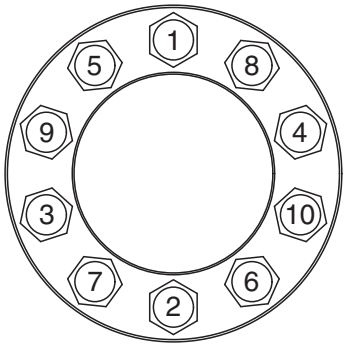
仕様

ホイールボルト
トルク (ウェット方式).....710 N•m
(524 lb-ft)

運転を開始してから最初の 1 時間後、その後は運転時間が 50 時間に達するまで運転時間 10 時間ごとにホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。その後、ホイールボルトは 100 時間ごとに締め付ける必要があります。

A : スペーサ
B : 座金
C : ホイールボルト
D : 32 mm ソケット
E : エクステンション
F : トルクレンチ
G : ホイール





締め付け順序

OUO6075,00017E5 -40-06MAY14-1/1

フロント駆動輪オフセット

警戒：ファイナルドライブの不具合や輸送中または圃場での運転中の駆動輪の脱落による大けがや死亡事故を防止してください。最大ホイールオフセットを超えないでください。

重要：John Deere が供給しているホイール、タイヤ、スペーサのみを使用してください。仕様を満たしていない、John Deere 以外の部品を使用すると、保証が適用されません。

クランプオン方式のダブルタイヤは使用しないでください。これらは John Deere の仕様を満たしていません。

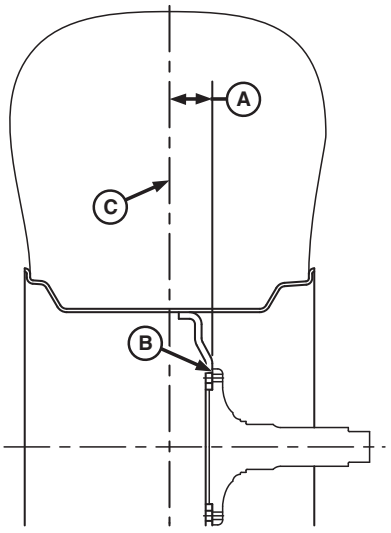
後輪を外側にオフセットさせた状態で運転しないでください。

ホイールオフセット距離はファイナルドライブ部品の寿命に重大な影響を与えます。駆動輪を取り付けるときは、スピンドル面 (B) から中心線 (C または D) までの距離を測定したオフセット寸法 (A) が仕様内であることを確認してください。

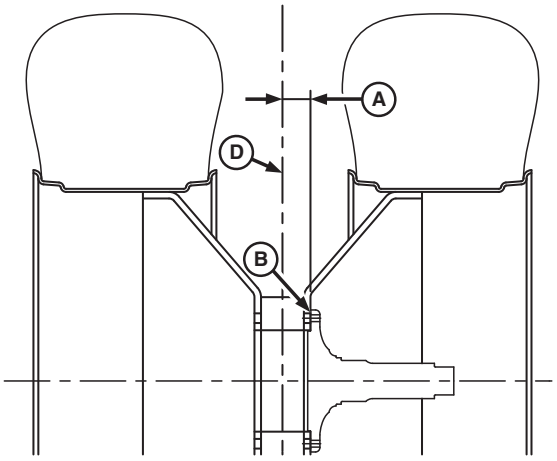
最大ホイールオフセット：仕様

シングルタイヤホイール	
距離	114.3 mm (4-1/2 in)
ダブルタイヤホイール	
距離	50.8 mm (2 in)

A：寸法
B：スピンドル面
C：タイヤ中心線
D：ダブルタイヤの中心線



シングルタイヤホイール



ダブルタイヤホイール

OUO6075,000130E -40-09NOV12-1/1

リアホイールボルトのトルク

注記：M22 リアホイールボルトを取り付ける前に、前部のねじ山部分に JDM J20C オイルまたは同等品を塗ります。ボルトの頭と接触面にオイルが付着していないことを確認してください。ボルトの頭と接触面は乾燥している必要があります。

後輪を取り外すたびに、ホイールボルトを規定のトルクで締め付けてください。

仕様

M16 ホイールボルト
(レギュラーデューティ二輪駆動)
トルク (ドライ方式).....315 N•m (230 lb-ft)

M22 ホイールボルト
(エキストラヘビーデューティ二輪駆動)
トルク (ウェット方式).....710 N•m (524 lb-ft)

M22 ホイールボルト (四輪駆動)
トルク (ウェット方式).....710 N•m (524 lb-ft)

運転を開始してから最初の 1 時間後、その後は運転時間が 50 時間に達するまで運転時間 10 時間ごとにホイールボルト

を規定のトルクで締め付けます。その後、ホイールボルトは 100 時間ごとに締め付ける必要があります。

注記：オフセットを「内側」にし、バルブステムを外側にしてリアタイヤを取り付けます。

正しい締め付け順序については、タイヤのステッカーを参照してください。

OUO6075,00017E7 -40-06MAY14-1/1

液体ウエイトの使用

警戒：液体ウエイト (バラスト) の取り付けには、専用の装置とトレーニングが必要です。

重要：溶液でリムが完全に覆われるようにして腐食を防止してください。ただし、絶対に 90% を超えてタイヤに充填しないでください。それ以上溶液を追加すると、空隙が少なくなりすぎて衝撃を吸収できなくなります。タイヤが損傷する可能性があります。

水と塩化カルシウムの溶液は安全で経済的なバラストです。適切に使用すれば、タイヤ、チューブ、リムを傷めることはありません。

塩化カルシウムを使用して、水の凍結を防止してください。水 3.8 L (1 gal) あたり塩化カルシウム 1.6 kg (3-1/2 lb) を含む溶液は -45°C (-50°F) よりも高い温度で凍結しません。

注記：アルコールを液体バラストとして使用するのは推奨しません。塩化カルシウム溶液はより重く経済的です。

チューブレスタイヤには、バルブレベル以上 (75% 以上) まで注入します。それよりも溶液の量が少ないと、腐食が生じる可能性があります。チューブタイプタイヤには、90% 未満の任意のレベルまで注入できます。

OUO6075,00007D0 -40-10JUN10-1/1

バラスト要件 (S660)

注記：液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

	通常 (傾斜が 15% 未満)				極端な坂 (傾斜が 15% を超過)			
	二輪駆動		四輪駆動		二輪駆動		四輪駆動	
	必要な液体		必要な液体		必要な液体		必要な液体	
ヘッダー	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
606C	0	0	0	0	0	0	0	0
606C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
608C	0	0	0	0	0	0	0	0
608C-SM	0	0	0	0	NR	1, 2, 3, 4, 5, 6	0	0
612C	0	0	0	0	NR	6	NR	4, 5, 6
615 BPU	0	0	0	0	0	0	0	0
618R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
620R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
622R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625R & F	0	0	0	0	6	1, 2, 3, 4, 5	0	0
630R & F	0	0	0	0	NR	4, 5, 6	6	1, 2, 3, 4, 5
635F	0	0	0	0	NR	NR	NR	4, 6
625D	0	0	0	0	NR	NR	NR	4, 6
630D	NR	1, 2, 3, 4, 5, 6	0	0	NR	NR	0	0
635D	NR	4, 6	NR	1, 2, 3, 4, 5, 6	NR	NR	0	0
625X	0	0	0	0	NR	4, 6	NR	1, 2, 3, 4, 5, 6
630X	0	0	0	0	NR	6	NR	4, 5, 6

BPU = ベルトピックアッププラットフォーム R = リジッドプラットフォーム F = フレックスプラットフォーム D = ドレーパープラットフォーム FD = フレックスドレーパープラットフォーム C = コーンヘッド C-SM = コーンヘッド、StalkMaster™ 装備	0 = すべてのリアタイヤオプションにバラスト不要 1 = 500/85R24 リアタイヤ 2 = 500/80R28 リアタイヤ 3 = VF520/80R26 リアタイヤ 4 = 620/75R26 リアタイヤ 5 = VF620/70R26 リアタイヤ 6 = 750/65R26 リアタイヤ NR = 非推奨 (ヘッダーを装備した機械は正しくバラストできないため)

StalkMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,000178D -40-07MAR14-1/1

バラスト要件 (S670)

注記：液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

	通常 (傾斜が 15% 未満)				極端な坂 (傾斜が 15% を超過)			
	二輪駆動		四輪駆動		二輪駆動		四輪駆動	
	必要な液体		必要な液体		必要な液体		必要な液体	
ヘッダー	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
606C	0	0	0	0	0	0	0	0
606C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
608C	0	0	0	0	0	0	0	0
608C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
612C	0	0	0	0	6	1, 2, 3, 4, 5	0	0
612C-SM	0	0	0	0	NR	4, 6	NR	1, 2, 3, 4, 5, 6
615 BPU	0	0	0	0	0	0	0	0
618R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
620R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
622R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
630R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
635F	0	0	0	0	NR	1, 2, 3, 4, 5, 6	0	0
625D	0	0	0	0	NR	1, 2, 3, 4, 5, 6	0	0
630D	0	0	0	0	NR	6	NR	4, 5, 6
635D	0	0	0	0	NR	NR	NR	6
625X	0	0	0	0	0	0	0	0
630X	0	0	0	0	4, 6	1, 2, 3, 5	0	0
635X	0	0	0	0	NR	NR	NR	6

BPU = ベルトピックアッププラットフォーム R = リジッドプラットフォーム F = フレックスプラットフォーム D = ドレーパープラットフォーム FD = フレックスドレーパープラットフォーム C = コーンヘッド C-SM = コーンヘッド、StalkMaster™ 装備	0 = すべてのリアタイヤオプションにバラスト不要 1 = 500/85R24 リアタイヤ 2 = 500/80R28 リアタイヤ 3 = VF520/80R26 リアタイヤ 4 = 620/75R26 リアタイヤ 5 = VF620/70R26 リアタイヤ 6 = 750/65R26 リアタイヤ NR = 非推奨 (ヘッダーを装備した機械は正しくバラストできないため)

StalkMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,000178E -40-19MAR14-1/1

バラスト要件 (S670 HillMaster™)

注記：液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

	通常 (傾斜が 15% 未満)				極端な坂 (傾斜が 15% を超過)			
	二輪駆動		四輪駆動		二輪駆動		四輪駆動	
	必要な液体		必要な液体		必要な液体		必要な液体	
ヘッダー	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
606C	0	0	0	0	0	0	0	0
606C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
608C	0	0	0	0	0	0	0	0
608C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
615 BPU	0	0	0	0	0	0	0	0
618R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
620R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
622R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
630R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625D	0	0	0	0	NR	1, 2	NR	1, 2
630D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
625X	0	0	0	0	0	0	0	0
630X	0	0	0	0	NR	1, 2	0	0
635X	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR

BPU = ベルトピックアッププラットフォーム
R = リジッドプラットフォーム
F = フレックスプラットフォーム
D = ドレーパープラットフォーム
FD = フレックスドレーパープラットフォーム
C = コーンヘッド
C-SM = コーンヘッド、StalkMaster™ 装備

0 = すべてのリアタイヤオプションにバラスト不要
1 = 500/85R24 リアタイヤ
2 = VF520/80R26 リアタイヤ
NR = 非推奨 (ヘッダーを装備した機械は正しくバラストできないため)

StalkMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,000178F -40-07MAR14-1/1

バラスト要件 (S680)

注記：液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

	通常 (傾斜が 15% 未満)				極端な坂 (傾斜が 15% を超過)			
	二輪駆動		四輪駆動		二輪駆動		四輪駆動	
	必要な液体		必要な液体		必要な液体		必要な液体	
ヘッダー	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
606C	0	0	0	0	0	0	0	0
606C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
608C	0	0	0	0	0	0	0	0
608C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
612C	0	0	0	0	4	1, 2, 3	0	0
612C-SM	0	0	0	0	NR	3, 4	NR	1, 2, 3, 4
616C	0	0	0	0	NR	NR	NR	4
616C-SM	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
618C	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
618C-SM	NR	3, 4	NR	1, 2, 3, 4	NR	NR	NR	NR
615 BPU	0	0	0	0	0	0	0	0
618R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
620R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
622R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
630R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
635F	0	0	0	0	NR	1, 2, 3, 4	2, 3, 4	1
625D	0	0	0	0	NR	1, 2, 3, 4	2, 3, 4	1
630D	0	0	0	0	NR	4	NR	4
635D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
640D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
625X	0	0	0	0	0	0	0	0
630X	0	0	0	0	3, 4	1, 2	0	0
635X	0	0	0	0	NR	NR	NR	4

BPU = ベルトピックアッププラットフォーム R = リジッドプラットフォーム F = フレックスプラットフォーム D = ドレーパープラットフォーム FD = フレックスドレーパープラットフォーム C = コーンヘッド C-SM = コーンヘッド、StalkMaster™ 装備	0 = すべてのリアタイヤオプションにバラスト不要 1 = 500/85R24 リアタイヤ 2 = 500/80R28 リアタイヤ 3 = VF620/70R26 リアタイヤ 4 = 750/65R26 リアタイヤ NR = 非推奨 (ヘッダーを装備した機械は正しくバラストできないため)

StalkMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001793 -40-07MAR14-1/1

バラスト要件 (S685、S690)

注記：液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

	通常 (傾斜が 15% 未満)				極端な坂 (傾斜が 15% を超過)			
	二輪駆動		四輪駆動		二輪駆動		四輪駆動	
	必要な液体		必要な液体		必要な液体		必要な液体	
ヘッダー	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
606C	0	0	0	0	0	0	0	00
606C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
608C	0	0	0	0	0	0	0	0
608C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
612C	0	0	0	0	4	1, 2, 3	0	0
612C-SM	0	0	0	0	NR	3, 4	NR	1, 2, 3, 4
616C	0	0	0	0	NR	NR	NR	4
616C-SM	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
618C	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
618C-SM	NR	3, 4	NR	1, 2, 3, 4	NR	NR	NR	NR
615 BPU	0	0	0	0	0	0	0	0
618R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
620R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
622R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
630R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
635F	0	0	0	0	NR	1, 2, 3, 4	2, 3, 4	1
625D	0	0	0	0	NR	1, 2, 3, 4	2, 3, 4	1
630D	0	0	0	0	NR	4	NR	4
635D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
640D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
630X	0	0	0	0	3, 4	1, 2	0	0
635X	0	0	0	0	NR	NR	NR	4
640X	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR

BPU = ベルトピックアッププラットフォーム R = リジッドプラットフォーム F = フレックスプラットフォーム D = ドレーパープラットフォーム FD = フレックスドレーパープラットフォーム C = コーンヘッド C-SM = コーンヘッド、StalkMaster™ 装備	0 = すべてのリアタイヤオプションにバラスト不要 1 = 500/85R24 リアタイヤ 2 = 500/80R28 リアタイヤ 3 = VF620/70R26 リアタイヤ 4 = 750/65R26 リアタイヤ NR = 非推奨 (ヘッダーを装備した機械は正しくバラストできないため)

StalkMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001790 -40-07MAR14-1/1

バラスト要件 (S680 HillMaster™)

注記：液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

	通常 (傾斜が 15% 未満)				極端な坂 (傾斜が 15% を超過)			
	二輪駆動		四輪駆動		二輪駆動		四輪駆動	
	必要な液体		必要な液体		必要な液体		必要な液体	
ヘッダー	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
606C	0	0	0	0	0	0	0	0
606C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
608C	0	0	0	0	0	0	0	0
608C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
616C	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
616C-SM	NR	1	0	0	NR	NR	NR	NR
618C	NR	1	0	0	NR	NR	NR	NR
618C-SM	NR	NR	NR	NR	NR	NR	NR	NR
615 BPU	0	0	0	0	0	0	0	0
618R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
620R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
622R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
630R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625D	0	0	0	0	NR	1	0	0
630D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
640D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
625X	0	0	0	0	0	0	0	0
630X	0	0	0	0	0	0	0	0
635X	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
BPU = ベルトピックアッププラットフォーム R = リジッドプラットフォーム F = フレックスプラットフォーム D = ドレーパープラットフォーム FD = フレックスドレーパープラットフォーム C = コーンヘッド C-SM = コーンヘッド、StalkMaster™ 装備			0 = すべてのリアタイヤオプションにバラスト不要 1 = 500/85R24 リアタイヤ NR = 非推奨 (ヘッダーを装備した機械は正しくバラストできないため)					

StalkMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001794 -40-07MAR14-1/1

バラスト要件 (S685 HillMaster™、S690 HillMaster™)

注記：液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

	通常 (傾斜が 15% 未満)				極端な坂 (傾斜が 15% を超過)			
	二輪駆動		四輪駆動		二輪駆動		四輪駆動	
	必要な液体		必要な液体		必要な液体		必要な液体	
ヘッダー	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
606C	0	0	0	0	0	0	0	0
606C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
608C	0	0	0	0	0	0	0	0
608C-SM	0	0	0	0	0	0	0	0
616C	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
616C-SM	NR	1	0	0	NR	NR	NR	NR
618C	NR	1	0	0	NR	NR	NR	NR
618C-SM	NR	NR	NR	NR	NR	NR	NR	NR
615 BPU	0	0	0	0	0	0	0	0
618R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
620R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
622R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
630R & F	0	0	0	0	0	0	0	0
625D	0	0	0	0	NR	1	0	0
630D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
640D	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR
630X	0	0	0	0	0	0	0	0
635X	0	0	0	0	NR	NR	NR	NR

BPU = ベルトピックアッププラットフォーム R = リジッドプラットフォーム F = フレックスプラットフォーム D = ドレーパープラットフォーム FD = フレックスドレーパープラットフォーム C = コーンヘッド C-SM = コーンヘッド、StalkMaster™ 装備	0 = すべてのリアタイヤオプションにバラスト不要 1 = 500/85R24 リアタイヤ NR = 非推奨 (ヘッダーを装備した機械は正しくバラストできないため)

StalkMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001791 -40-07MAR14-1/1

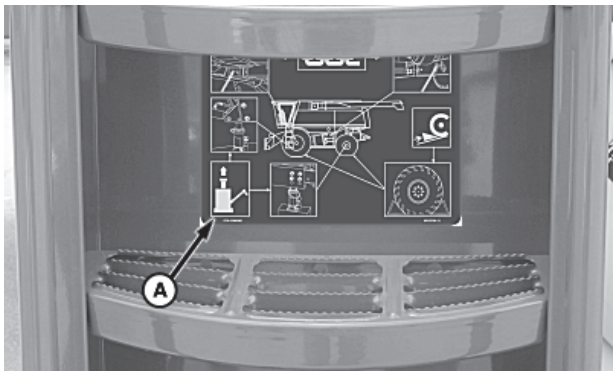
ジャッキポケット位置のステッカー

警戒：機械をジャッキアップする前に必ずグレインタンクを空にしてください。

タイヤの両側をブロックして、機械が動かないようにします。

ジャッキポケット位置のステッカー (A) はキャビンタラップにあります。ステッカーには、正しいジャッキを使用して機械をジャッキアップするための正しい位置が示されています。

A：ジャッキポケット位置のステッカー



OUO6075,0001392 -40-24JAN13-1/1

エンジンの慣らし運転

S660、S670、S680、S690 (ティア 2／ステージ II)

このエンジンには工場出荷時に John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを追加してください。

エンジン部品が適切に固定されるるように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い負荷をかけてエンジンを運転します。

John Deere Break-In™ エンジンオイルを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最長 100 時間でオイルとオイルフィルタを交換します。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを使用する場合は、100 時間以上および John Deere Plus-50™ II または Plus-50™ オイルに指定されている間隔以内にオイルとフィルタを交換してください I(詳しくは、「燃料と潤滑剤」セクションの「ディーゼルエンジンオイル」を参照してください)。

重要：オイルレベルがディップスティックの「ADD」マークを下回るまで、オイルを補充しないでください。慣らし運転期間中に消費されたオイルを補充するには、John Deere Break-In Plus™ オイルを使用してください。

新品のエンジンまたは大規模なオーバーホールを実施したエンジンの慣らし運転期間中は、Plus-50™ または Plus-50™ II エンジンオイルを使用しないでください。これらのオイルを使用すると、新品またはオーバーホールしたエンジンは慣らし運転期間中に適切な摩耗が確保されません。

慣らし運転期間中、頻繁にエンジンオイルレベルを点検してください。この期間にオイルを追加する必要がある場合は、John Deere Break-In Plus™ オイルをお勧めします。

重要：FULL マークを越えて補充しないでください。オイルレベルがクロスハッチ内にある場合は許容使用範囲内にあります。

注記：低粘度のオイルを使用した場合は、オイル消費量が少し増える可能性があります。オイルレベルをより頻繁に点検してください。

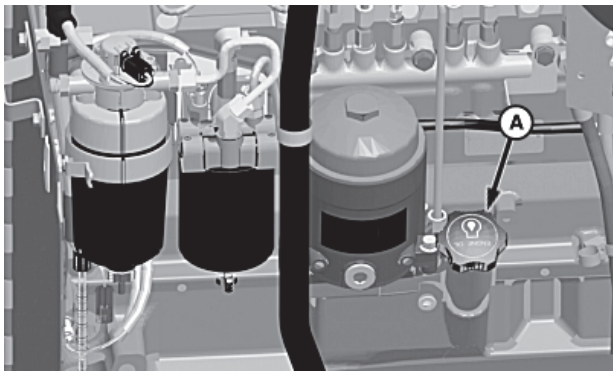
エンジンをアイドリングで長時間運転したり、最大負荷で続けて運転することは避けてください。エンジンを 5 分以上アイドルで運転する場合は、エンジンを停止してください。

慣らし運転期間が終了したら、エンジンオイルとエンジンオイルフィルタを交換してください。クランクケースに John Deere Plus-50™ II、John Deere Plus-50™ または季節に合わせた粘度等級のオイルを注入します (推奨オイルについては、「燃料と潤滑剤」セクションの「ディーゼルエンジンオイル」を参照してください)。

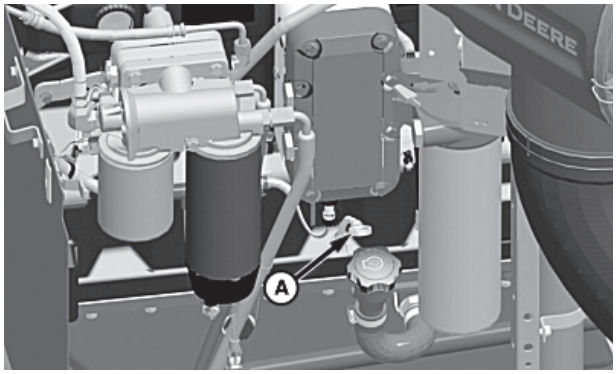
注記：オイルレベルを点検する前に、ディップスティックがハウジングに完全にねじ込まれているまたは押し込まれていることを確認してください。

ディップスティック (A) を取り外して、オイルレベルを毎日点検します。オイルレベルはディップスティックの「ADD」マークとクロスハッチ部の上部の間にある必要があります。オイルレベルが「ADD」マークよりも下にある場合は、必要な量のオイルを追加します (推奨オイルについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください)。

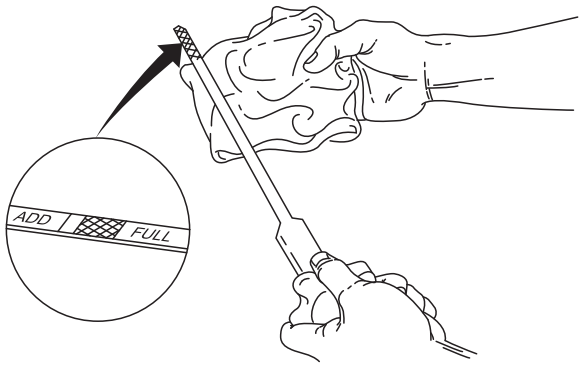
漏れがないか確認します。オイルレベルがディップスティックの「ADD」マークよりも下にあるときは、エンジンを運転しないでください。



S660、S670



S680、S690



A：ディップスティック

Break-In Plus は Deere & Company の商標です。
Break-In は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

次のページへ

S660、S670、S680、S685、S690 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

このエンジンには工場出荷時に John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを追加してください。

エンジン部品が適切に固定されるるように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い負荷をかけてエンジンを運転します。

新品またはリビルトのエンジンの初期運転中は、最短 100 時間から最長 Plus-50™ II オイルに指定されている期間の間に、オイルとフィルタを交換してください (詳しくは、「燃料と潤滑剤」セクションの「ディーゼルエンジンオイル」を参照してください)。

これらのオイルのいずれかを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最短 100 時間から最長 400 時間の間にオイルとオイルフィルタを交換します。

重要：オイルレベルがディップスティックの「ADD」マークを下回るまで、オイルを補充しないでください。慣らし運転期間中に消費されたオイルを補充するには、John Deere Break-In Plus™ オイルを使用してください。

新品のエンジンまたは大規模なオーバーホールを実施したエンジンの慣らし運転期間中は、Plus-50™ または Plus-50™ II エンジンオイルを使用しないでください。これらのオイルを使用すると、新品またはオーバーホールしたエンジンは慣らし運転期間中に適切な摩耗が確保されません。

慣らし運転期間中、頻繁にエンジンオイルレベルを点検してください。この期間中にオイルを追加する必要がある場合は、John Deere Break-In Plus™ オイルをお勧めします。

重要：FULL マークを越えて補充しないでください。オイルレベルがクロスハッチ内にある場合は許容使用範囲内にあります。

注記：低粘度のオイルを使用した場合は、オイル消費量が少し増える可能性があります。オイルレベルをより頻繁に点検してください。

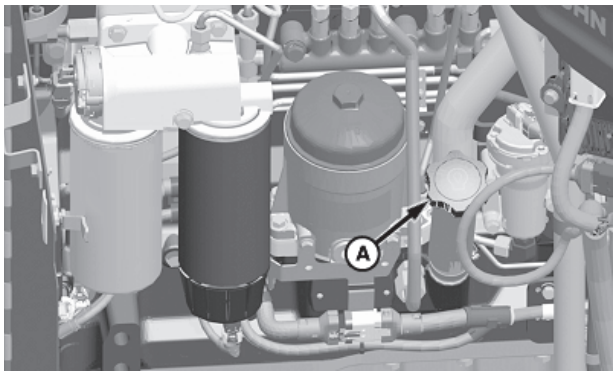
エンジンをアイドリングで長時間運転したり、最大負荷で続けて運転することは避けてください。エンジンを 5 分以上アイドルで運転する場合は、エンジンを停止してください。

慣らし運転期間が終了したら、エンジンオイルとエンジンオイルフィルタを交換してください。クランクケースに John Deere Plus-50™ II またはその他のディーゼルエンジンオイルを注入します (推奨オイルについては、「燃料と潤滑剤」セクションの「ディーゼルエンジンオイル」を参照してください)。

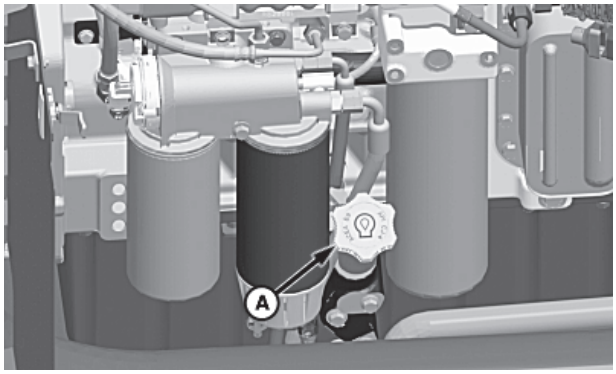
注記：オイルレベルを点検するために取り外す前に、ディップスティックがハウジングに完全にねじ込まれていることを確認します。

ディップスティック (A) を取り外して、オイルレベルを毎日点検します。オイルレベルはディップスティックの「ADD」マークとクロスハッチ部の上部の間にある必要があります。オイルレベルが「ADD」マークよりも下にある場合は、必要な量のオイルを追加します (推奨オイルについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください)。

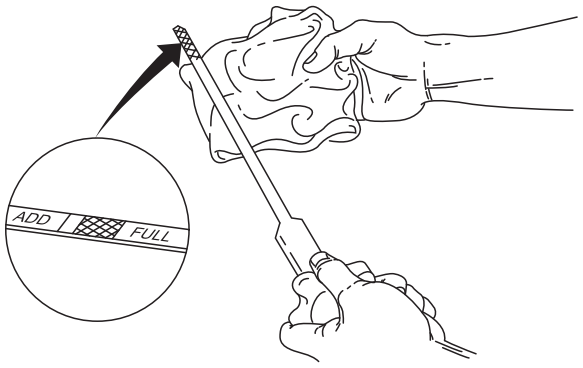
漏れがないか確認します。オイルレベルがディップスティックの「ADD」マークよりも下にあるときは、エンジンを運転しないでください。



S660、S670



S680、S685、S690



A：ディップスティック

Break-In Plus は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

次のページへ

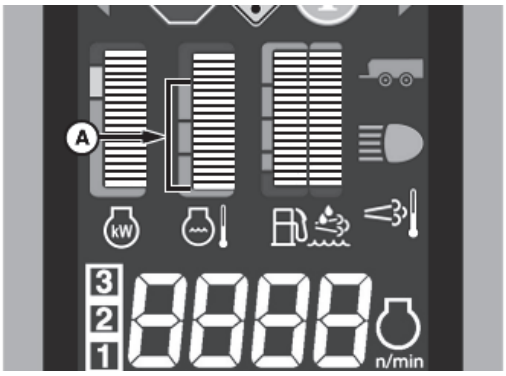
すべての機械に共通

周囲温度が -10°C (14°F) 未満になる場合は、エンジンブロックヒーターを使用します。

通常運転中は、温度計の読みが緑色のゾーン (A) 内にある必要があります。

重要：エンジンの損傷の可能性を回避してください。温度警告灯が点灯した場合、またはバーが赤色のゾーンに入った場合は、エンジンを停止しないでください。エンジンを停止すると、クーラント温度がさらに上昇し、機械が損傷します。負荷を減らし、低い回転数でエンジンを運転してクーラント温度を下げてください。温度がすぐに下がらない場合は、エンジンを停止し、運転再開前に原因を確認してください。

温度計に注意してください。ゲージが赤色のゾーン内に動いた場合は、運転を再開する前に、エンジンへの負荷を減らして原因を特定してください。



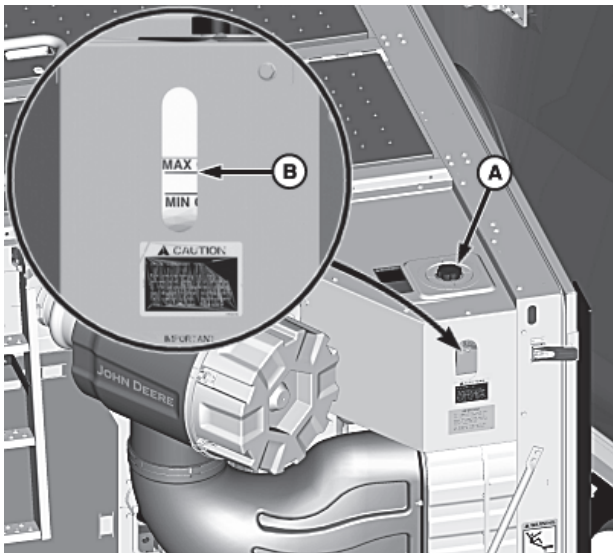
A：緑色のゾーン (通常運転)

OUO6075,00016C1 -40-26NOV13-3/4

クーラントレベルを定期的に点検し、漏れの兆候がないか確認してください。サージタンクキャップ (A) を取り外して、クーラントをサージタンクの「Max Cold」ライン (B) まで補充します。

注記：クーラントレベルは「Max Cold」(冷間時最高) ラインと「Min Cold」(冷間時最低) ラインの間にある必要があります。クーラントが「Min Cold」ラインよりも下にある場合は、必要な量のクーラントを追加してください。

A：サージタンクキャップ
B：Max Cold (冷間時最高) ライン



OUO6075,00016C1 -40-14JAN10-4/4

ベルトドライブの調整：最初の 50 時間

警戒：エンジンを運転した状態で、絶対にベルトドライブを点検または調整しないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

最初の 50 運転時間後、すべてのスプリング式ベルトアイドラの調整を点検します。ほとんどのベルトの伸びは、最初の整備時間中に発生します。

初期調整後、必要に応じてベルトの調整を点検してください。スプリングテンショナの座金はゲージの端部と段差の底部に配置する必要があります。

OUO6075,000056C -40-14JAN10-1/1

慣らし運転点検、最初の 100 時間

日常整備または 10 時間整備を実施します (「潤滑とメンテナンス」セクションを参照してください)。

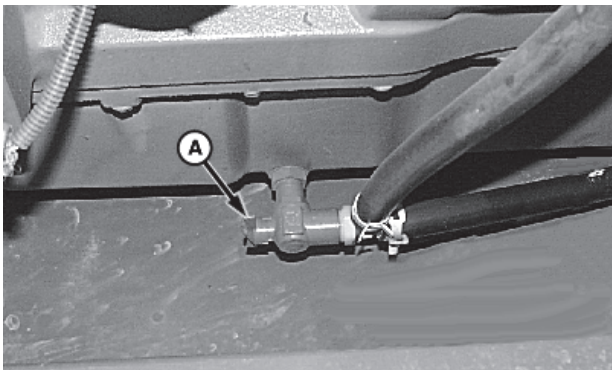
エンジン温度およびエンジンオイル圧の診断トラブルコードが表示されていないか、CommandCenter ディスプレイを確認します。コードが表示されている場合は、詳細について「診断トラブルコード」セクションを参照してください。

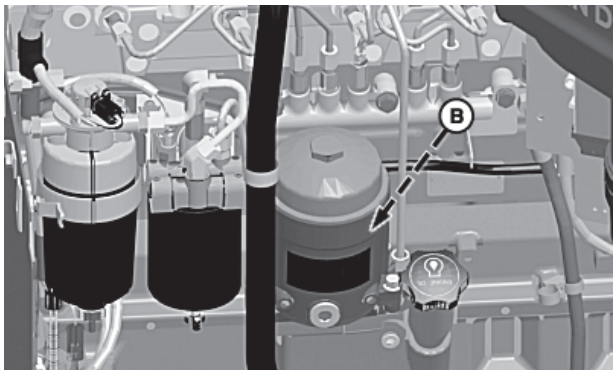
エンジンオイルレベル (必要に応じて、John Deere Break-In Oil を追加します) とクーラントレベルを頻繁に点検し、漏れの兆候がないか確認します。

エンジンの吸気システムのホースとクランプが緩んでいないか点検します。

OUO6075,000056D -40-14JAN10-1/1

慣らし運転整備、100 時間後 (ティア 2／ステージ II)





S660、S670

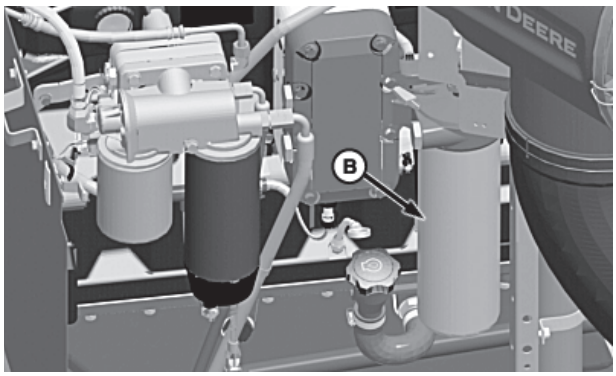
ドレン (A) を開けてクランクケースのオイルを抜き取ってからドレンを閉めます。

キャップを取り外して保管し、オイルフィルタ (B) を適切に廃棄します。

オイルフィルタを取り付けてキャップで固定します。

適切な量のエンジンオイルをクランクケースに注入します (オイルの仕様については、「燃料と潤滑剤」セクションの「ディーゼルエンジンオイル」を参照してください)。

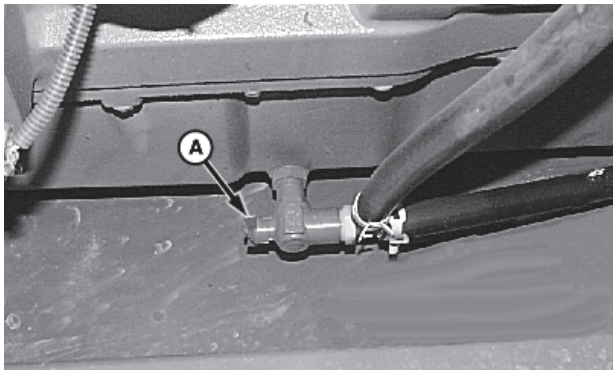
A : 抜き取り
B : オイルフィルタ

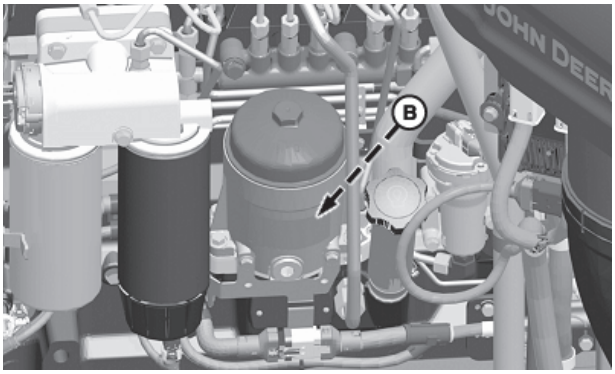


S680、S690

OUO6075,0001554 -40-09JUL13-1/1

慣らし運転整備、400 時間後 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)





S660、S670

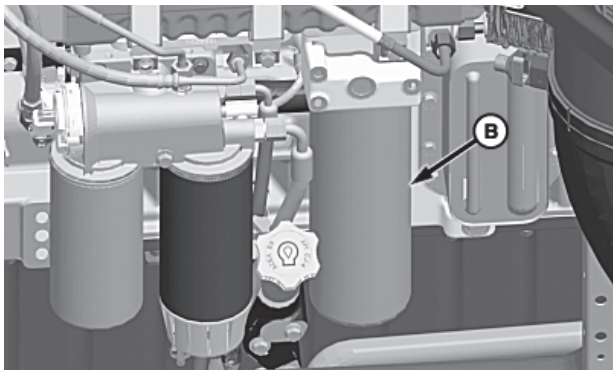
ドレン (A) を開けてクランクケースのオイルを抜き取ってからドレンを閉めます。

キャップを取り外して保管し、オイルフィルタ (B) を適切に廃棄します。

オイルフィルタを取り付けてキャップで固定します。

適切な量のエンジンオイルをクランクケースに注入します (オイルの仕様については、「燃料と潤滑剤」セクションの「ディーゼルエンジンオイル」を参照してください)。

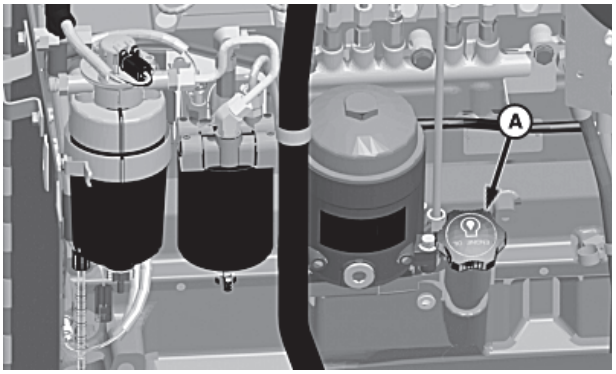
A : 抜き取り
B : オイルフィルタ



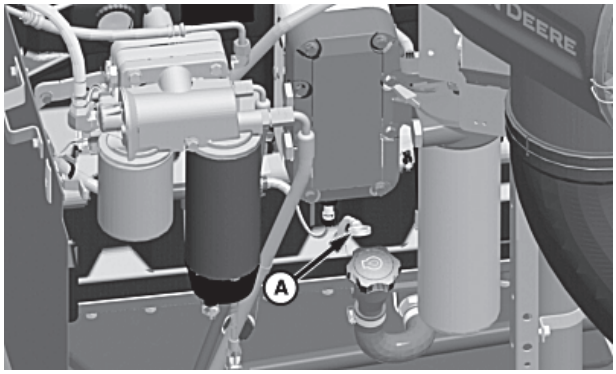
S680、S685、S690

OUO6075,00016C3 -40-26NOV13-1/1

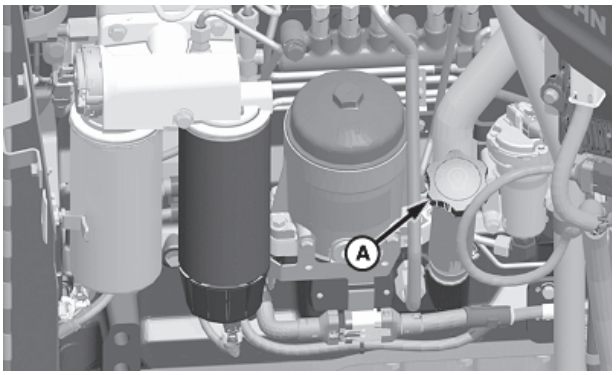
エンジンオイルレベル



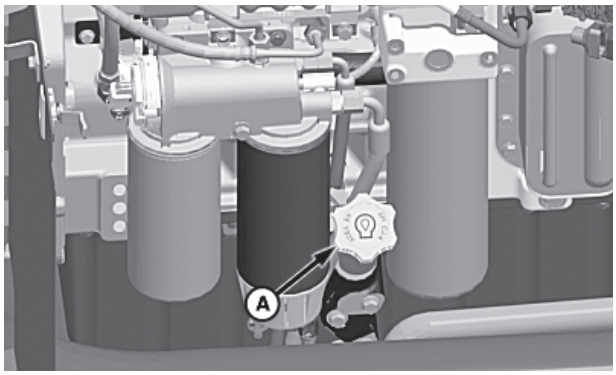
S660、S670 (ティア 2／ステージ II)



S680、S690 (ティア 2／ステージ II)



S660、S670 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



S680、S685、S690 (インテリムティア 4／ステージ III B)

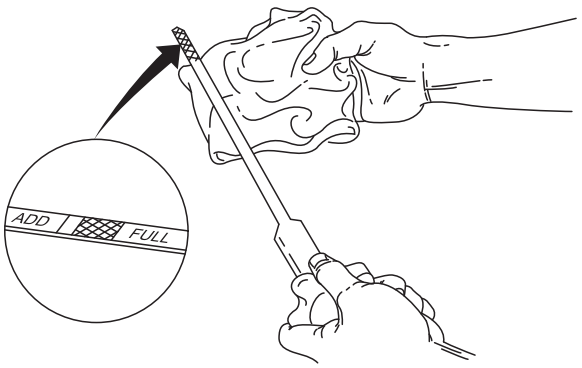
重要：長期間の耐用年数を確保するには、エンジンオイルを正しいレベルに維持することが非常に重要です。機械を平坦な場所に駐車してエンジンオイルを点検してください。

注記：オイルレベルを点検する前に、ディップスティックがハウジングに完全にねじ込まれているまたは押し込まれていることを確認してください。

ディップスティック (A) を使って毎日エンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルがディップスティックの「ADD」マークよりも下にあるときは、エンジンを運転しないでください。

ディップスティックを取り外し、オイルレベルを点検します。オイルレベルはディップスティックの「ADD」マークとクロスハッチ部の上部の間にある必要があります。オイルレベルが「ADD」マークよりも下にある場合は、必要な量のオイルを追加します (推奨オイルについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください)。

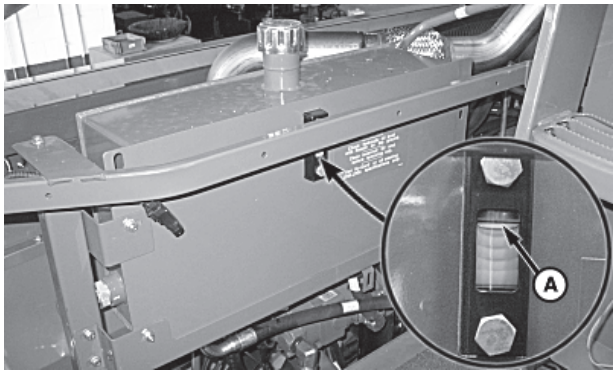
漏れがないか確認します。オイルレベルが「ADD」マークよりも下の状態でエンジンを運転しないでください。



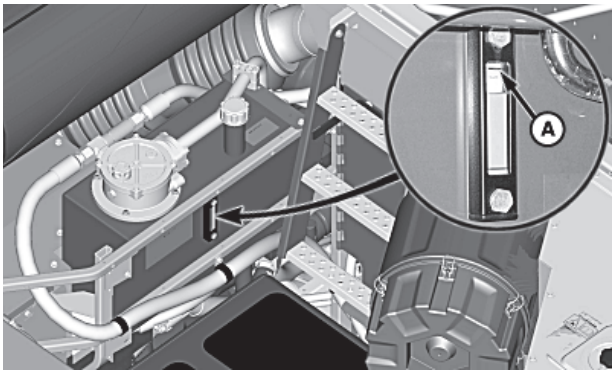
A：ディップスティック

OUO6075,00016C2 -40-17FEB14-1/1

ハイドロスタティックオイル／作動油のレベル



S660、S670

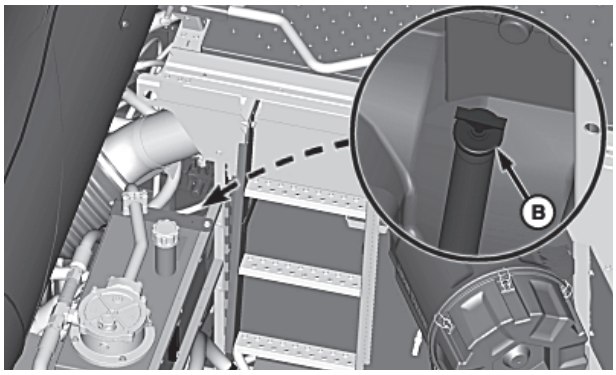


S680、S685、S690

ヘッダーを地面に下ろしてすべてのシリンダを収縮させた状態でハイドロスタティックオイルレベル／作動油レベルを点検してください。オイルレベルは、フィーダーハウスを完全に下げた状態で点検窓 (A) の最上部にある必要があります。必要に応じてオイルを追加してください。ただし、入れすぎないでください。

エンジンギアケースで作動油を点検する前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜き取ってください。オイルはディップスティック (B) の「ADD」マークよりも下にあってはなりません。

A：点検窓
B：ディップスティック



作動油レベル (エンジンギアケース)

OUO6075,0001557 -40-19JUN13-1/1

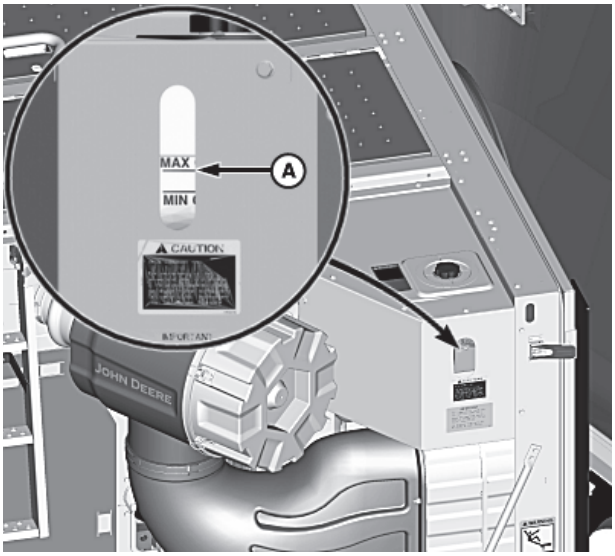
クーラントレベル

重要：サージタンクには専用のキャップが使用されています。キャップが破損したり、なくなったりした場合は、同等のキャップに交換する必要があります。

エンジンを冷まします。サージタンクのクーラントレベルは「Max Cold」ライン (A) の位置にある必要があります。

注記：クーラントレベルは「Max Cold」(冷間時最高) ラインと「Min Cold」(冷間時最低) ラインの間にある必要があります。クーラントが「Min Cold」ラインよりも下にある場合は、必要な量のクーラントを追加してください。

A：Max Cold (冷間時最高) ライン



OUO6075,000128C -40-17OCT12-1/1

燃料システム

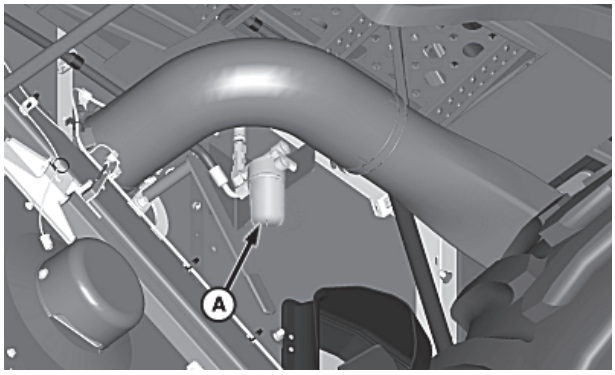
警戒：燃料フィルタでメンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

注記：燃料システムに空気が入らないように、プレクリーナボウルが完全に密着していることを確認してください。

燃料タンクの燃料シャットオフバルブを閉めます。

汚れた燃料が使用されていた場合は、プレクリーナボウル (A) を取り外してスクリーンを清掃します。

A：プレクリーナボウル



燃料プレクリーナボウル (すべての機械に共通)

OUO6075,00016C4 -40-26NOV13-1/4

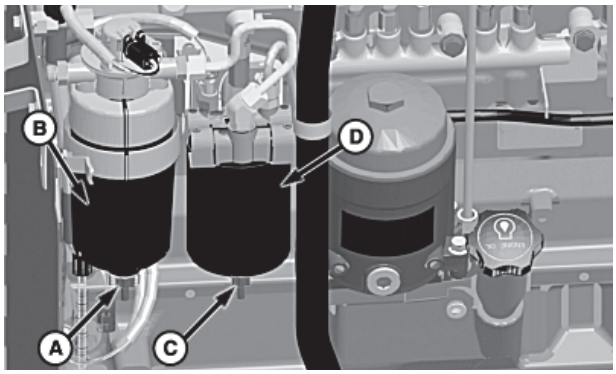
S660、S670 (ティア 2／ステージ II)

ドレン (A) を開き、1 次フィルタ (B) に水がないか燃料システムを点検します (「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

ドレン (C) を開き、2 次フィルタ (D) に水がないか燃料システムを点検します (「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

問題が解決しない場合は、燃料フィルタを交換します (「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

A：抜き取り
B：1 次燃料フィルタ
C：抜き取り
D：2 次燃料フィルタ



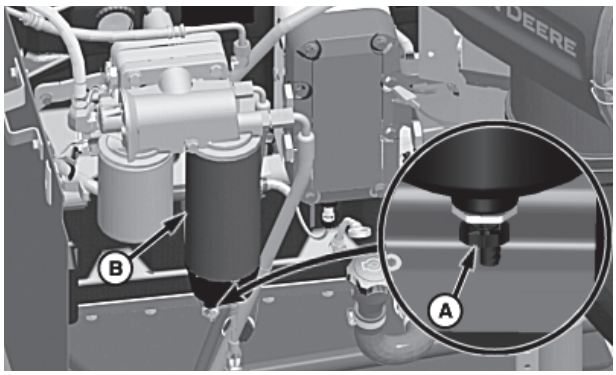
OUO6075,00016C4 -40-26NOV13-2/4

S680、S690 (ティア 2／ステージ II)

ドレン (A) を開き、1 次フィルタ (B) に水がないか燃料システムを点検します (「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

問題が解決しない場合は、燃料フィルタを交換します (「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

A：抜き取り
B：1 次燃料フィルタ



次のページへ

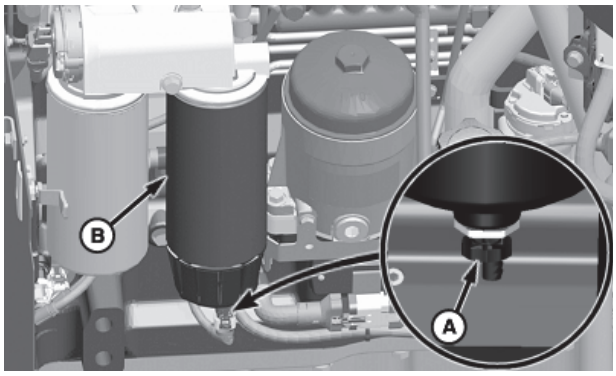
OUO6075,00016C4 -40-26NOV13-3/4

S660、S670、S680、S685、S690 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

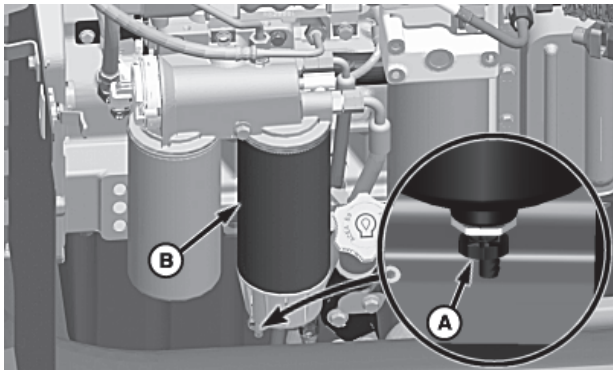
ドレン (A) を開き、1 次フィルタ (B) に水がないか燃料システムを点検します (「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

汚れている燃料を使用した場合は、フィルタを交換します (「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

A : 抜き取り
B : 1 次燃料フィルタ



S660、S670



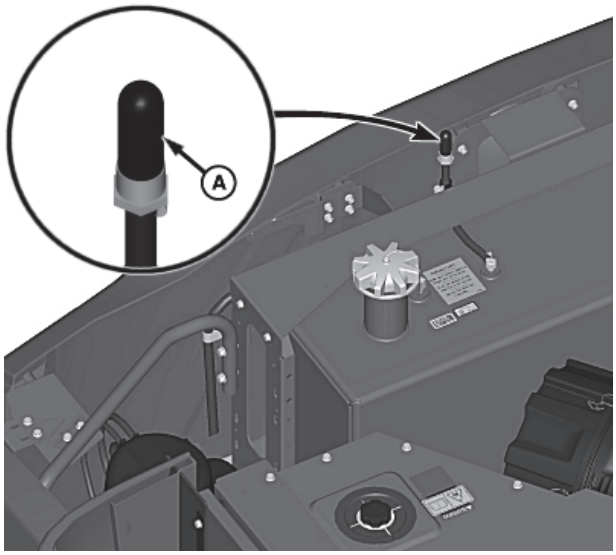
S680、S685、S690

OUO6075,00016C4 -40-26NOV13-4/4

燃料タンクブリーザー

燃料タンクブリーザー (A) を毎週目視点検します。ブリーザーに籾殻やごみが過剰に溜まらないようにしてください。ブリーザーがごみで覆われている場合、燃料タンクの通気が行われません。ホースから燃料タンクブリーザーを取り外して清掃します。

A : 燃料タンクブリーザー

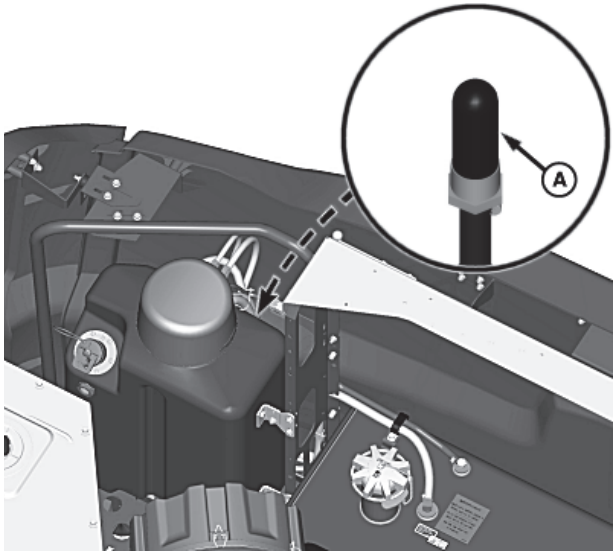


OUO6075,00012CA -40-27JUN13-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (A) を毎週目視点検します。ブリーザーに籾殻やごみが過剰に溜まらないようにしてください。ブリーザーがごみで覆われている場合、タンクの通気が行われません。ホースからブリーザーを取り外して清掃します。

A：排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー



OUO6075,00013BC -40-27JUN13-1/1

エンジンエアスクープの位置

注記：圃場での運転の前に、エンジンエアスクープが選択した圃場位置にあることを確認してください。

ロックアウトピン (A) を引き、エンジンエアスクープを必要な位置に回転させます。

輸送位置：

重要：現地の車道制限が適用される場合は、エンジンエアスクープを輸送位置にする必要があります。現地の規制に従ってください。

機械を輸送する必要がある場合は、エンジンエアスクープが輸送位置 (1) に動かされていることを確認します。

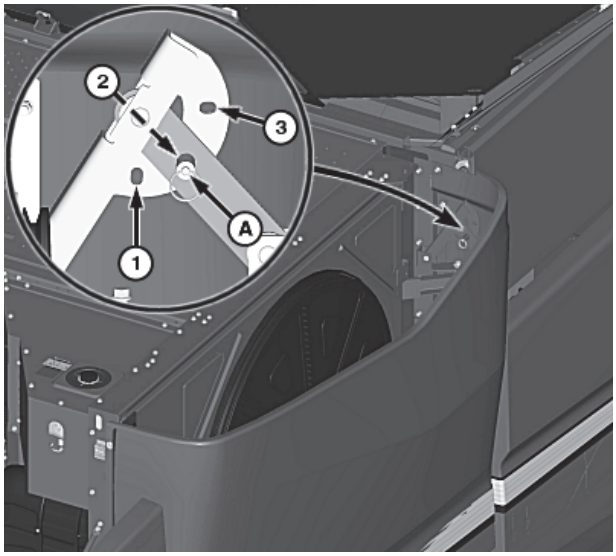
詳細については、このセクションの「エンジンエアスクープの位置設定 (輸送位置)」を参照してください。

標準圃場位置：

重要：収穫時はエンジンのオーバーヒートを防止するために、エンジンエアスクープを標準圃場位置にする必要があります。

通常の圃場条件で運転する場合は、エンジンエアスクープが標準圃場位置 (2) にあることを確認します。

詳細については、このセクションの「エンジンエアスクープの位置設定 (標準圃場位置)」を参照してください。



A：ロックアウトピン
1：輸送位置
2：標準圃場位置
3：拡張圃場位置

拡張圃場位置：

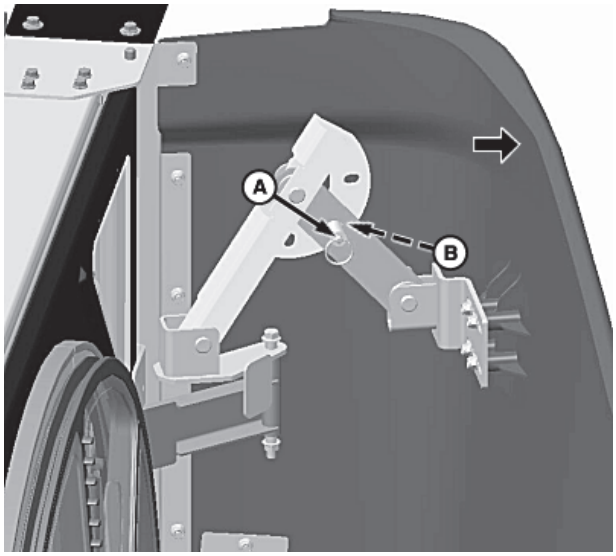
重要：高温条件や高地で収穫する場合は、エンジンのオーバーヒートを防止するためにエンジンエアスクープを拡張圃場位置にする必要があります。

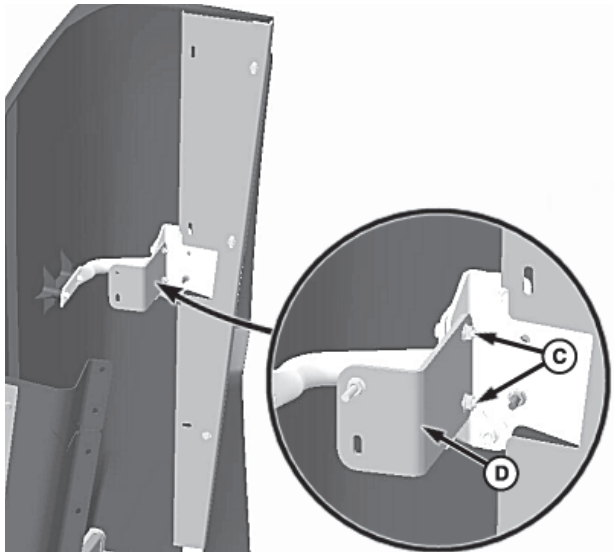
高温条件や高地で収穫する場合は、冷却能力を高めるためにエンジンエアスクープを拡張圃場位置 (3) にしていることを確認します。

詳細については、このセクションの「エンジンエアスクープの位置設定 (拡張圃場位置)」を参照してください。

OUO6075,0001825 -40-05JUN14-1/1

エンジンエアスクープの位置設定 (標準圃場位置)





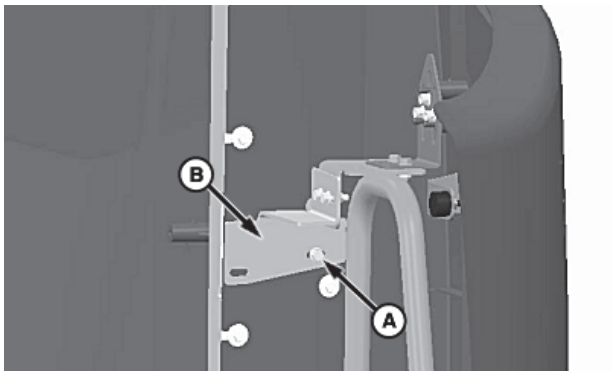
輸送位置

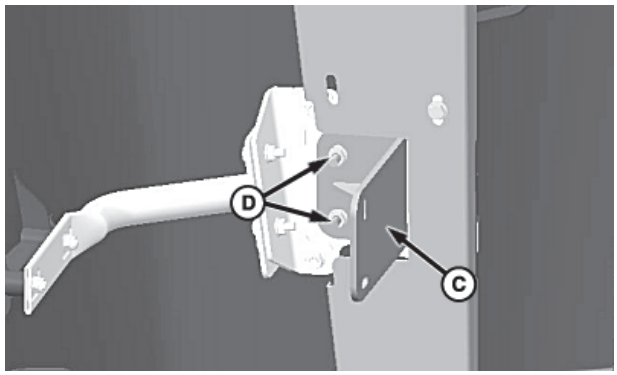
A : ロックアウトピン
B : 穴
C : ナット、M8 (2 個使用)
D : ブラケット

重要 : 収穫時はエンジンのオーバーヒートを防止するために、エンジンエアスクープを標準圃場位置にする必要があります。

1. ロックアウトピン (A) を引き、ピンが穴 (B) と整列するまでエアスクープを外側に動かします。
2. ナット (C) とブラケット (D) を取り外します。
3. 前の手順で取り外したナットをボルトに取り付けます。

OUO6075,0001827 -40-06JUN14-1/2





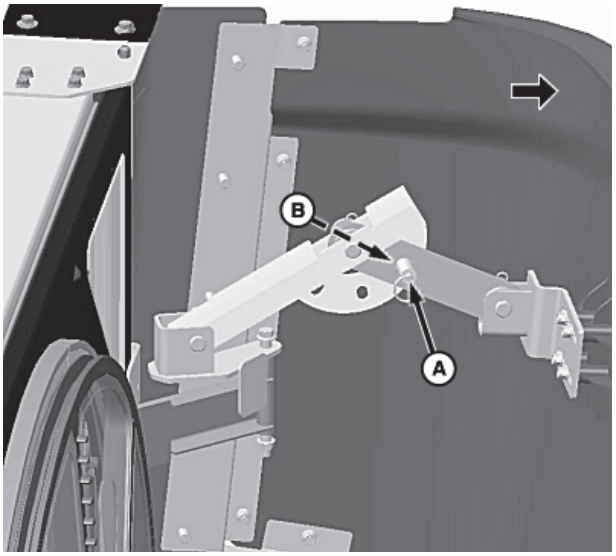
標準圃場位置

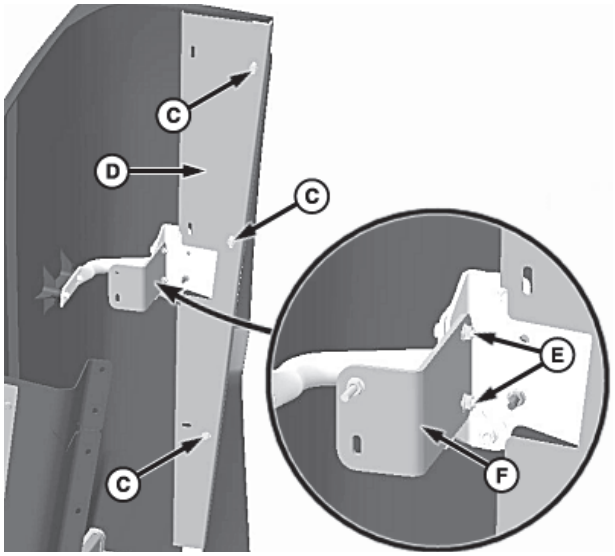
A : ボルト、M8 x 40
B : ブラケット
C : ブラケット
D : ナット、M8 (2 個使用)

4. 図のように、エアスクープを外側に動かしてブラケット (B) にボルト (A) を通して取り付けます。
5. 図のようにブラケット (C) を取り付けてナット (D) で固定します。

OUO6075,0001827 -40-06JUN14-2/2

エンジンエアスクープの位置設定 (拡張圃場位置)





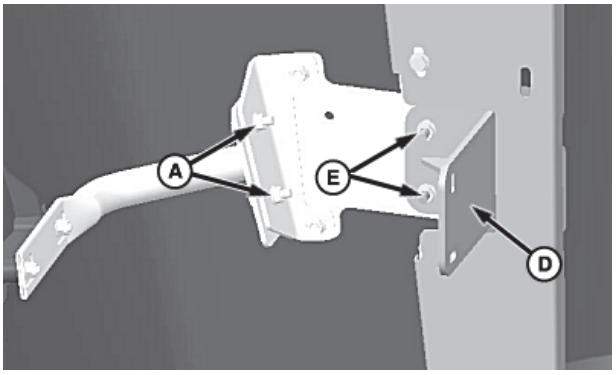
輸送位置

A : ロックアウトピン
B : 穴
C : ボルト、M8 x 25 (3 本使用)
D : パネル
E : ナット、M8 (2 個使用)
F : ブラケット

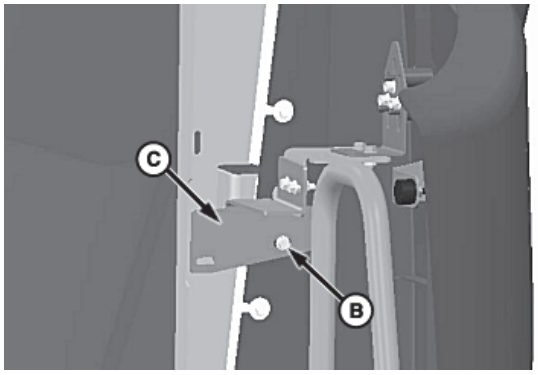
重要 : 高温条件や高地で収穫する場合は、エンジンのオーバーヒートを防止するためにエンジンエアスクープを拡張圃場位置にする必要があります。

1. ロックアウトピン (A) を引き、ピンが穴 (B) と整列するまでエアスクープを外側に動かします。
2. ボルト (C) をパネル (D) から取り外して保管します。
3. ナット (E) とブラケット (F) を取り外します。

OUO6075,0001828 -40-06JUN14-1/3



拡張圃場位置



A : ナット、M8 (2 個使用)
B : ボルト、M8 x 40 (2 本使用)
C : ブラケット
D : ブラケット
E : ナット、M8 (2 個使用)

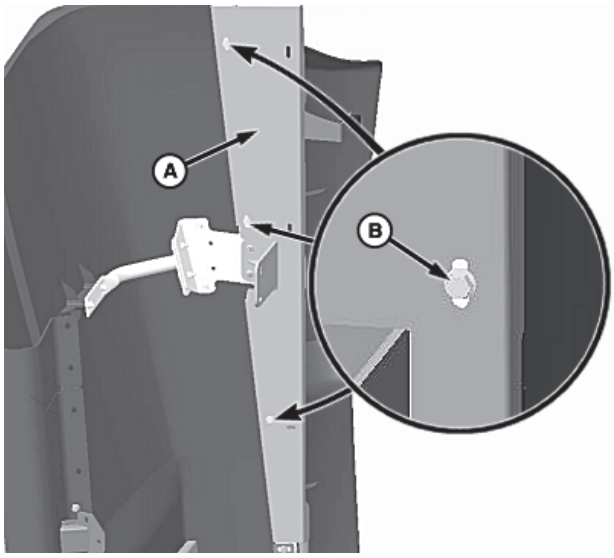
4. 前の手順で取り外したナット (A) をボルトに取り付けます。
5. 図のようにエアスクープを外側に動かして、ブラケット (C) にボルト (B) を通して取り付けます。
6. 図のようにブラケット (D) を取り付けてナット (E) で固定します。

次のページへ

OUO6075,0001828 -40-06JUN14-2/3

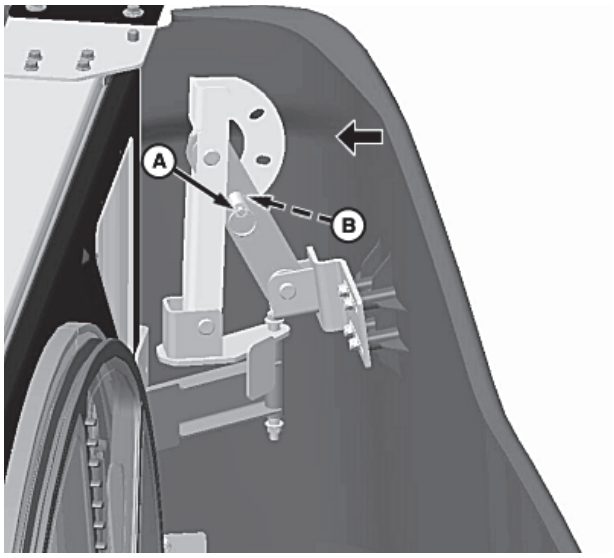
7. 前の手順で取り外したパネル (A) を取り付けてボルト (B) で固定します。

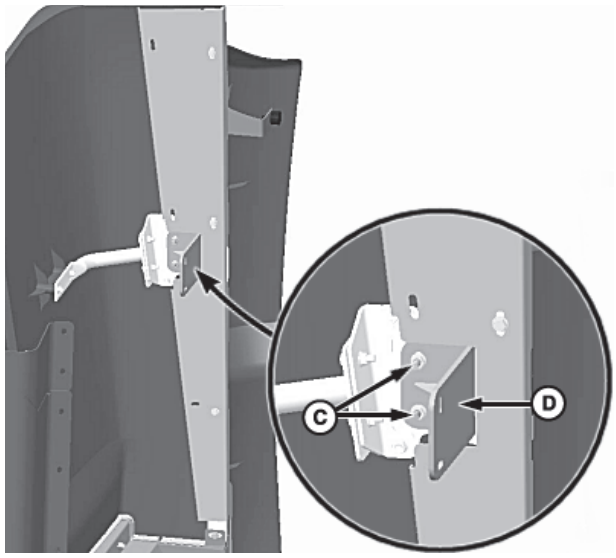
A : パネル
B : ボルト、M8 x 25 (3 本使用)



OUO6075,0001828 -40-06JUN14-3/3

エンジンエアスクープの位置設定 (輸送位置)





標準圃場位置

A : ロックアウトピン
B : 穴
C : ボルト M8 x 40 とナット M8 (2 個使用)
D : ブラケット

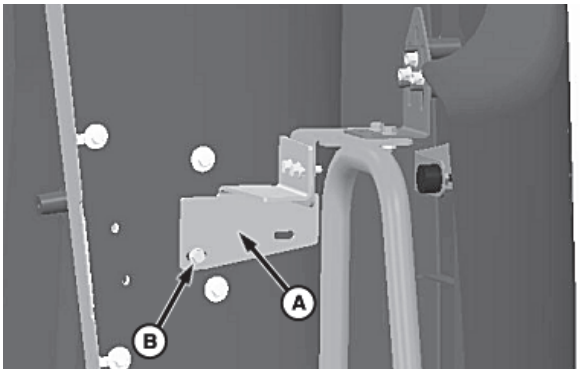
重要 : 現地の車道制限が適用される場合は、エンジンエアスクープを輸送位置にする必要があります。現地の規制に従ってください。

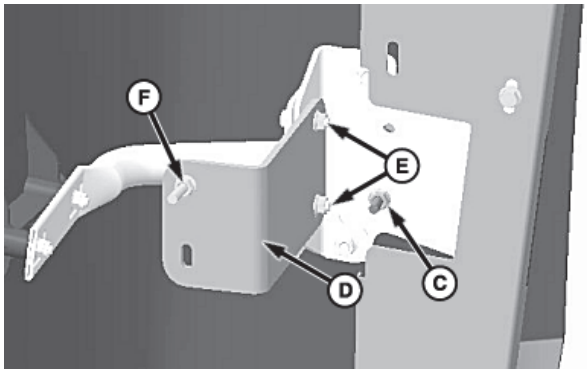
注記 : 圃場での運転の前に、エンジンエアスクープを選択した圃場位置に動かす必要があります。

1. ロックアウトピン (A) を引き、ピンが穴 (B) と整列するまでエアスクープを内側に動かします。
2. ボルトとナット (C) およびブラケット (D) を取り外して保管します。

次のページへ

OUO6075,0001826 -40-06JUN14-1/2





輸送位置

A : ブラケット
B : ボルト、M8 x 40
C : ナット、M8
D : ブラケット
E : ナット、M8 (2 個使用)
F : ボルト M8 x 40 とナット M8

3. 図のようにエアスクープを内側に動かして、ブラケット (A) にボルトを通して取り付け、ナット (C) で固定します。
4. 前の手順で取り外したブラケット (D) を取り付けてナット (E) で固定します。
5. 図のように、前の手順で取り外したボルトとナット (F) をブラケットに取り付けます。

OUO6075,0001826 -40-06JUN14-2/2

エンジンルームの清掃

警戒 : エンジンを運転した状態でエンジンやエンジンルームの清掃を行わないでください。エンジンルームやエンジンの泥、オイル、籾殻、作物屑は火災の危険があります。風向、農作物の種類とその含水量は、籾殻やごみが堆積する場所と量にすべて影響を与えます。この部分を頻繁に点検し、清掃してください。

OUO6075,0000575 -40-17MAR10-1/1

エグゾーストフィルタクリーニング

エグゾーストフィルタクリーニング中に機械や付属品の整備を行うと、大けがをすることがあります。高温の排気ガスにさらされたり、高温の部品に触れたりしないように気を付けてください。

自動または手動／駐車エグゾーストフィルタクリーニング中に、エンジンは上昇したアイドル回転数、高温の状態で長時間運転します。排気ガスやエグゾーストフィルタは、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

DX,FILTER -40-27NOV12-1/1

エグゾーストフィルタシステムの概要 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

機械には、排出ガスを浄化し、濾過する排出ガス規制適合エンジンが装備されています。通常の機械運転でシステムがAUTO モードに設定されている場合、オペレータがするべきことはほとんどありません。

エグゾーストフィルタシステムへの不要なディーゼル微粒子やすすの蓄積を避けるためには、次の各項を行ってください。

- 自動エグゾーストフィルタクリーニングモードの使用
- 不要なアイドリングの回避
- 適切なエンジンオイルの使用。推奨品については「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。
- 超低硫黄燃料のみを使用してください。推奨品については「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

「Engine Information (エンジン情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

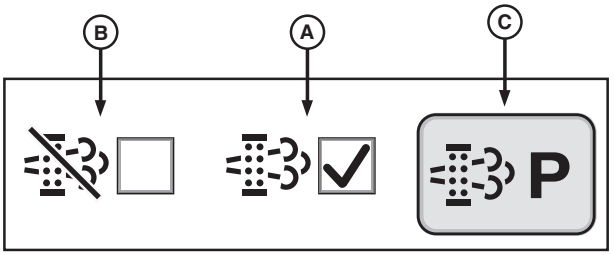
エグゾーストフィルタシステムモードには次の 2 つがあります。

- 自動 (A)
- 無効化 (B)

重要：診断や修理作業のために屋内排気装置に一時的に接続している場合は、無効化モードのみを使用してください。

注記：エグゾーストフィルタの詰まり具合によって、「Parked Exhaust Filter Cleaning (駐車エグゾーストフィルタクリーニング)」アイコン (C) はアクティブまたは非アクティブ (灰色) になります。このセクションの「駐車エグゾーストフィルタクリーニング」を参照してください。

「Engine Information (エンジン情報)」アイコン



A：自動エグゾーストフィルタクリーニングモード
B：エグゾーストフィルタクリーニングモードの無効化
C：「Parked Exhaust Filter Cleaning (駐車エグゾーストフィルタクリーニング)」アイコン

駐車エグゾーストフィルタクリーニングが完了するか、キースイッチを切り替えると、システムは既定でAUTO モードに設定されます。安全ではない条件が存在している場合を除き、AUTO モードが選択されていることを必ず確認してください。このセクションの「エグゾーストクリーニングシステムの無効化」を参照してください。

OUO6075,00016C5 -40-18MAR14-1/1

エグゾーストクリーニングシステムを無効化する時期

重要：エグゾーストフィルタクリーニングシステムの無効化は、必要な場合にのみ行ってください。

警戒：自動または駐車クリーニングが有効になっていると、エグゾーストフィルタのクリーニングサイクル中のある時期に、無負荷または軽負荷条件で排気温度が高くなる場合があります。

高温の排気ガスが危険な条件では、エグゾーストフィルタクリーニングシステムを無効にしてください。

これには、以下の条件が含まれます。

- 屋内または屋根の下 (ただし、高温の外部換気排気装置を接続している場合を除く)。
- 機械を停止する前に、クリーニングサイクルを完了するだけの十分な時間がない場合。
- 作物のごみや籾殻が多い条件。
- 給油場所が隣にある場合。

OUO6075,000071B -40-28JUN11-1/1

エグゾーストフィルタ AUTO モード (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

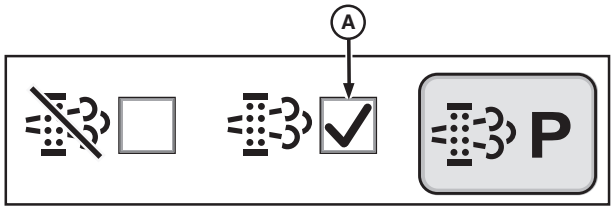
注記：駐車エグゾーストフィルタクリーニングが完了するか、キースイッチを切り替えると、システムは既定で AUTO モードに設定されます。安全ではない条件が存在している場合を除き、AUTO モードが選択されていることを必ず確認してください。このセクションの「エグゾーストクリーニングシステムの無効化」を参照してください。

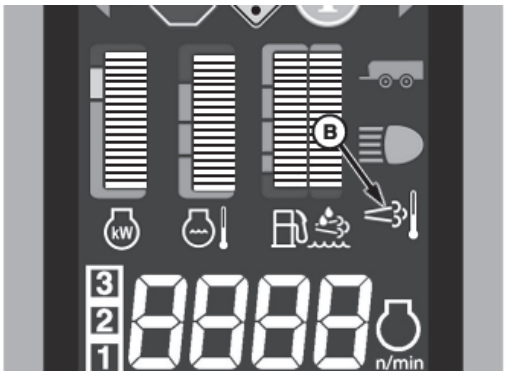
AUTO モード (A) では、エグゾーストフィルタシステムは必要に応じてインテリジェントにエグゾーストフィルタクリーニングを行います。コーナーポストディスプレイの表示灯とひじかけのディスプレイには、エグゾーストフィルタシステムの動作に関する情報が表示されます。

エグゾーストフィルタシステムでエグゾーストフィルタクリーニングが行われているときは、エグゾーストフィルタクリーニング表示灯 (B) が点灯します。

エグゾーストフィルタ詰まり。運転条件により、エグゾーストフィルタシステムは運転の変更を要求することがあります。ひじかけのディスプレイに、推奨される運転変更が表示されます。

A：自動エグゾーストフィルタクリーニングモード
B：エグゾーストフィルタクリーニング表示灯





OUO6075,00016C6 -40-18MAR14-1/1

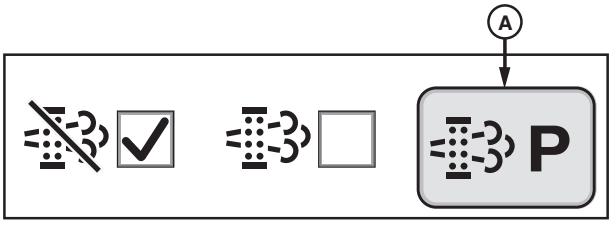
駐車エグゾーストフィルタクリーニング (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

駐車エグゾーストフィルタクリーニングはシステムが必要に応じてエグゾーストフィルタをクリーニングする自動化されたプロセスです。このプロセス中は、システムがエンジン回転数を制御し、手順完了まで機械を駐車しておく必要があります。駐車エグゾーストフィルタクリーニングプロセスに要する時間は、エグゾーストフィルタの詰まり具合、周囲温度、その時点の排気ガス温度によって異なります。完了までの推定時間がディスプレイに表示されます。

「Engine Information (エンジン情報)」アイコン

ディスプレイに表示される指示に従って、駐車エグゾーストフィルタクリーニング処理を完了してください。

注記：駐車エグゾーストフィルタクリーニングには 40 分以上かかる場合があります。



駐車エグゾーストフィルタクリーニング処理を開始する前に、次の手順を実行します。

- 機械を屋外に配置します。
- パーキングブレーキをかけます。
- ヘッダーおよびセパレータスイッチを OFF にします。
- エンジン回転数をローアイドルにします。
- リアコンポジットパネルの物体検出センサーが物体から外れて十分離れている必要があります。

「Engine Information (エンジン情報)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Parked Exhaust Filter Cleaning (駐車エグゾーストフィルタクリーニング)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

A：「Parked Exhaust Filter Cleaning (駐車エグゾーストフィルタクリーニング)」アイコン
B：「Cancel (キャンセル)」アイコン
C：「Next Page (次のページ)」アイコン

必要なアイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「キャンセル」アイコン (B) を使用すると、手順をキャンセルできます。
- 「Next Page (次のページ)」アイコン (C) を使用すると、手順を開始できます。

残りの画面に表示される指示に従います。

重要：フィルタクリーニング中は、機械がエンジン回転数を制御します。

次のページへ

処理が開始されると、ステータス画面が表示されます。

駐車フィルタクリーニング処理 (図 A) には、準備とクリーニングの 2 つの手順があります。準備手順中は、エグゾーストフィルタシステムがエンジン回転数を制御してエグゾースト温度を上昇させます。クリーニング手順中、ディーゼルの粒子、つまりすすが、エグゾーストフィルタシステムからクリーニングされます。

駐車フィルタクリーニングが完了すると、システムが通知します (図 B)。この手順終了後直ちに機械を使用しない場合は、エンジンが通常の使用温度に戻るまで待ってからエンジンを停止してください。

注記：駐車手順中のいつの時点でも、スロットルを踏み込む、トランスミッションを入れる、エンジンを停止してこの処理をキャンセルできます。

駐車エグゾーストフィルタクリーニングが完了すると、システムは既定で AUTO モードに設定されます。安全ではない条件が存在している場合を除き、AUTO モードが選択されていることを必ず確認してください。このセクションの「エグゾーストクリーニングシステムの無効化」を参照してください。

図 A

図 B

OUO6075,00016C7 -40-18MAR14-2/2

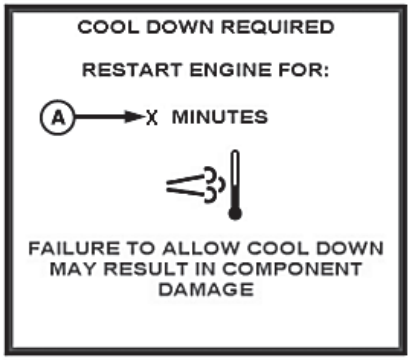
エンジンクールダウン警告画面 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

「Cool Down Required (クールダウン必要)」画面

重要：エグゾーストフィルタクリーニング中にエンジンが停止すると、画面が表示されます。

エグゾーストフィルタクリーニングを実行中に、またはクリーニングの完了直後にエンジンを停止すると、エグゾーストクリーニングの部品が損傷する可能性があります。警報が鳴り、警告メッセージがディスプレイに表示されます。機械を始動し、ディスプレイのメッセージに従って構成部品を冷ましてください。

エグゾーストフィルタクリーニング中にキースイッチを OFF にすると、次の画面が表示されます。



A：カウントダウンタイマー

Cool Down Required (クールダウン必要)
Restart Engine For
(エンジンを再始動して、次の時間放置してください) :
X Minutes (X 分)
Failure To Allow Cool Down (クールダウンしなかった場合)
May Result In Component (構成部品が)
Damage (損傷する可能性があります)

機械をすぐに始動して構成部品の損傷を避けてください。

カウントダウンタイマー (A) が表示され、安全にキースイッチを OFF にできるまでの時間が示されます。

次のページへ

OUO6075,00015D1 -40-31JUL13-1/3

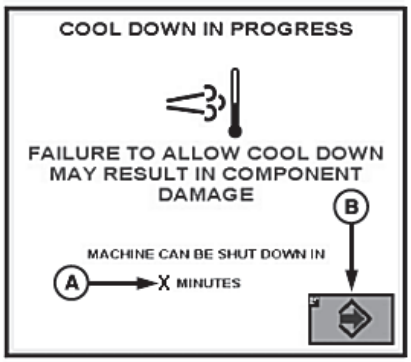
「Cool Down In Progress (クールダウン進行中)」画面

機械を再始動すると、次の画面が表示されます。

Cool Down In Progress (クールダウン進行中)
Failure To Allow Cool Down (クールダウンしなかった場合)
May Result In Component (構成部品が)
Damage (損傷する可能性があります)
Machine Can Be Shut Down In (次の時間後、機械を停止できます)
X Minutes (X 分)

カウントダウンタイマー (A) が表示され、安全にキースイッチを OFF にできるまでの時間が示されます。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、コンバインのメイン画面に戻ります。



A：カウントダウンタイマー　**B：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン**

OUO6075,00015D1 -40-31JUL13-2/3

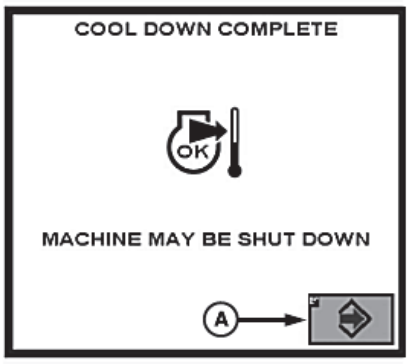
「Cool Down Complete (クールダウン完了)」画面

クールダウンが完了すると、次の画面が表示されます。

Cool Down Complete (クールダウン完了)
Machine May Be Shut Down (機械を停止できます)

機械は構成部品の損傷を防止するために十分クールダウンされました。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、コンバインのメイン画面に戻ります。



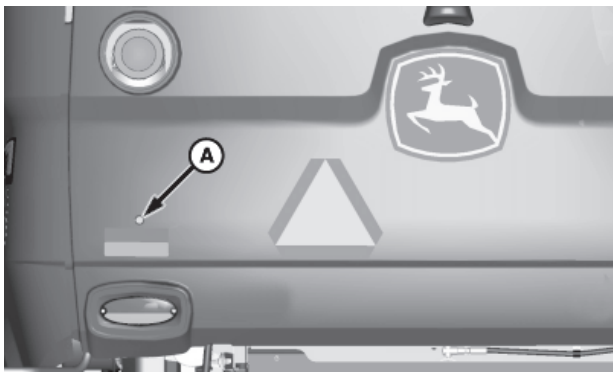
A：「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコン

OUO6075,00015D1 -40-31JUL13-3/3

物体検出センサー (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

注記：センサーが遮断されていないこと、泥や作物屑で覆われていないことを確認します。

リアコンポジットパネルにあるセンサー (A) は、エグゾーストフィルタクリーニング処理中に、物体が排気プルーム (高温の排気ガス) から 2 m (6.5 ft) 以上離れていることを確認します。物体が 2 m (6.5 ft) よりも近くにあることをセンサーが検出すると、システムはエグゾーストフィルタクリーニング処理を停止します。



A：センサー

OUO6075,00016C8 -40-26NOV13-1/1

SCR (選択触媒還元) システム (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

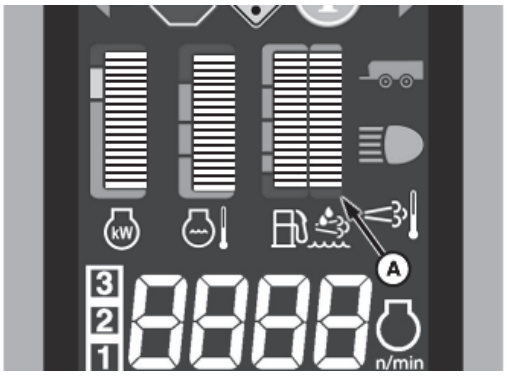
重要：後処理システムの部品をいじったり取り外したりするのは違法です。仕様に適合しない排ガス処理用尿素水 (DEF) の使用または排ガス処理用尿素水 (DEF) なしでの車両の運転も違法です。

不適切または承認されていない後処理装置の部品を使用すると、車両の後処理システムが損傷し、後処理システムの適切な動作性能が失われます。インテリムティア 4／ステージ III B を装備した機械とファイナル ティア 4／ステージ IV を装備した機械間で後処理装置の部品を相互に交換することは絶対にしないでください。

注記：SCR (選択触媒還元) システムは、システム内を流れる排ガス処理用尿素水 (DEF) の品質をモニタします。排ガス処理用尿素水 (DEF) 以外の液体または不適切な尿素濃度が検出されると、システムで診断トラブルコードがディスプレイに表示されます。

SCR (選択触媒還元) システムはエンジン後処理システムに排ガス処理用尿素水 (DEF) を供給します。排ガス処理用尿素水 (DEF) は後処理部品と連動して排出ガスを減らします。排ガス処理用尿素水 (DEF) の仕様と情報については、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

機械の電子制御システムは、適正な性能を確保するために排ガス処理用尿素水 (DEF) のレベルをモニタします。コーナーポストのディスプレイに現在の排ガス処理用尿素水 (DEF) レベル (A) が表示されます。排ガス処理用尿素水 (DEF) の量が一定のレベルに達すると、システムは機械の運転を変更します。排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクに補給すると、システムは機械を通常の運転に戻します。機械に燃料を補給するたびに、排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクに補給することをお勧めします。詳細については、「燃料と潤滑剤」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクへの補給と抜き取り」を参照してください。



A：排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター

排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルと運転の変更：

- レベルが 10% に達すると、レベルインジケーターが点滅し、警報が鳴り、フルード低下メッセージが表示されます。
- レベルが 0% に達すると、レベルインジケーターが点灯して点滅しなくなり、警報が鳴り、フルード空メッセージとエンジン出力制限メッセージが表示されます。
- プライミングの損失に達すると、レベルインジケーターが点灯して点滅が停止し、警報が鳴り、フルード空メッセージ、エンジン出力制限メッセージ、速度制限メッセージが表示されます。エンジン停止警告灯 (赤) が点灯して、機械機能が無効になります。

排ガス処理用尿素水 (DEF) は -11°C (12°F) で凍結し、SCR (選択触媒還元) システムに流れなくなります。システムは低温を検出し、排ガス処理用尿素水 (DEF) が流れない場合でもエンジンを始動させます。エンジンが運転されているときに、排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク内の液体を解かすためにエンジンクーラントが使用されます。凍結と解凍によって排ガス処理用尿素水 (DEF) の質が低下することはありません。

OUO6075,0001303 -40-26JUL13-1/1

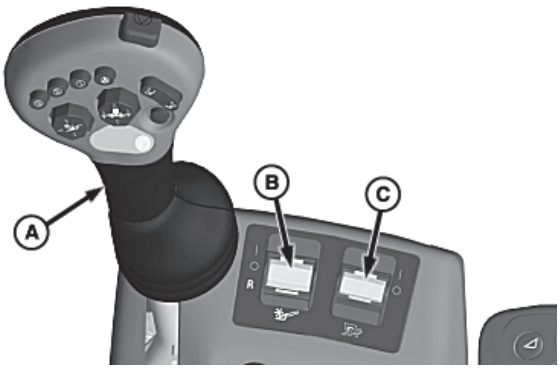
エンジンの始動

警戒：エンジンを始動する前に、機械の近くに人がいないことを確認してください。他の人に警告するためにホーンを鳴らします。

エンジンの排気ガスは病気や死亡の原因になる可能性があります。密閉された場所でエンジンを運転する必要がある場合は、排気管エクステンションを使って排気ガスを除去してください。

排気管エクステンションがない場合は、ドアを開けて外気を取り入れてください。

1. マルチファンクションレバー (A) をニュートラル位置に動かします。
2. 「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ (B) と「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ (C) が OFF であることを確認します。



A：マルチファンクションレバー
B：「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ
C：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ

OUO6075,0000581 -40-13DEZ10-1/2

警戒：エンジンを始動する前にホーンを鳴らして、機械から離れるように他の人に警告します。

けがや死亡事故が発生しないように、エンジンはオペレータシートだけから始動してください。エンジン始動のためにスタータ端子を短絡させないでください。バイパスさせた場合、機械はギアが入った状態で始動します。

重要：スタータが損傷しないように、スタータは一度に 30 秒以上操作しないでください。エンジンが始動しない場合は、2 分以上待ってから再度試みてください。

注記：温度が -5°C (23°F) 以下の場合は、寒冷時始動補助装置の使用が必要になることがあります (「エンジンの運転」セクションの「寒冷時始動補助装置」を参照してください)。

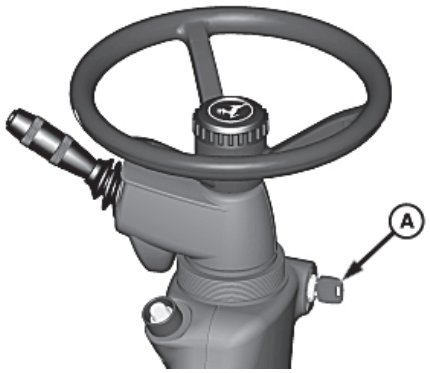
キースイッチを「START」に回すと、数秒の遅延が発生します。これにより、コントロールユニットの電源がオンになり、リレーが閉じてスタータソレノイドに通電します。

ひじかけの収納ボックスの蓋のステッカーにエンジン始動情報が表示されています。

3. ホーンを鳴らし、ステアリングコラムのキースイッチ (A) を「START」位置に回します。

キーの位置は次のとおりです。

最初の位置 ..... アクセサリ
2 番目の位置 ..... OFF
3 番目の位置 ..... RUN
4 番目の位置 ..... START



A：キースイッチ

注記：エンジン停止コードがディスプレイに表示された場合、診断トラブルコード (DTC) が表示されます。ディスプレイは通常の機能を停止し、機械を停止する必要がある問題と、問題をすぐに修正するように指示が表示されます。コードは問題が解決されるまで表示されます。問題を解決できない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

4. エンジンが始動したらキーを放し、エンジンをローアイドルで 5 分間運転してオイルを暖めます。

OUO6075,0000581 -40-13DEZ10-2/2

エンジンの停止

1. ヘッダーまたはリールを地面に完全に下ろします。
2. マルチファンクションレバー (A) をニュートラル位置 (B) に動かして、低エンジン回転数スイッチ (C) を押します。
3. 「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ」(D) と「セパレータ接続スイッ「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ (E) を OFF にします。

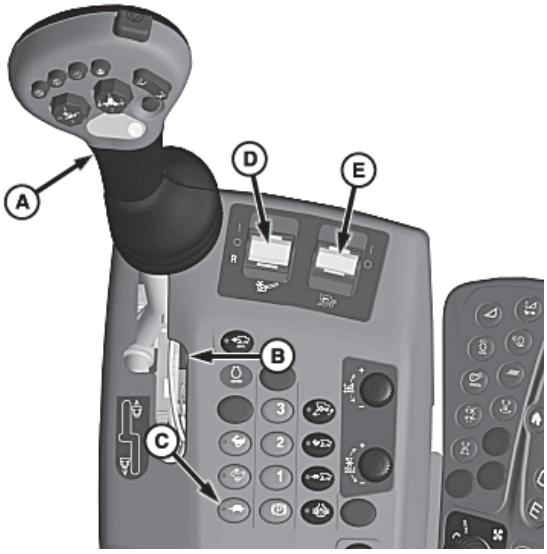
重要：ターボチャージャとエンジン部品の一部はエンジンオイルにより冷却されます。高温のエンジンを停止すると、これらの部品が損傷する可能性があります。

4. 作業負荷で運転されていたエンジンを停止する前に、エンジンを 2～3 分アイドルにしてターボチャージャを冷ましてください。

警戒：機械から離れる前に、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

5. キースイッチを OFF に回します。

重要：ファイナル ティア 4／ステージ IV：機械を停止してから 90 秒以上の間、バッテリーの接続を外さないでください。機械を停止した直後、SCR (選択触媒還元) システムはこの時間中に排ガス処理用尿素水 (DEF) のラインを自動的にパージします。ラインがパージされるまで十分な時間を確保しないと、ラインに残留した DEF が結晶化してラインの詰まりの原因になります。凍結気候では、液体が凍結してラインが破裂するおそれがあります。



A：マルチファンクションレバー
B：ニュートラル位置
C：低エンジン回転数スイッチ
D：「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ
E：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ

OUO6075,0001304 -40-05AUG13-1/1

エンジン始動液の安全な取り扱い

警戒：エンジン始動液は高い引火性があります。火、スパーク、炎の近くで使用しないでください。容器に記載されている注意事項を読んでください。容器が損傷しないように保護してください。キャビン内に余分な缶や空の缶を置かないでください。

エンジン始動液を数日使用しない場合は、缶を取り外してください。スプレーノズルを取り付けて押し込み、フルードとバルブの作動を確認してください。フルードが出てこない場合は、新品の缶を使用してください。

圧力がかかっている缶を保管するときは、誤って放出されないよう、蓋をしてください。涼しい、保護された場所に保管してください。

エンジン始動液の容器を焼却したり、穴を開けたりしないでください。

OUO6075,0000585 -40-17MAY10-1/1

寒冷時始動補助装置 (装備されている場合)

警戒：けがやエンジンの損傷を回避してください。エンジンが回転中にのみ液をスプレーします。

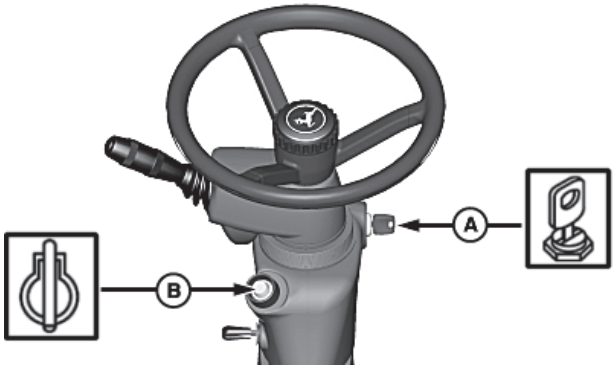
始動補助装置は、「RUN」または「START」位置でのみ機能します。

キースイッチ (A) を回してエンジンを始動します。エンジンが回り始めたら、始動補助ボタン (B) を押します。

エンジンが始動したら、キーと始動補助ボタンを放します。

温度が -5°C (23 °F) 以下である場合は、エンジン始動後、始動補助ボタンを 2〜3 秒間押したままにします。エンジンがもたつかないで回転するまで手順を繰り返します。

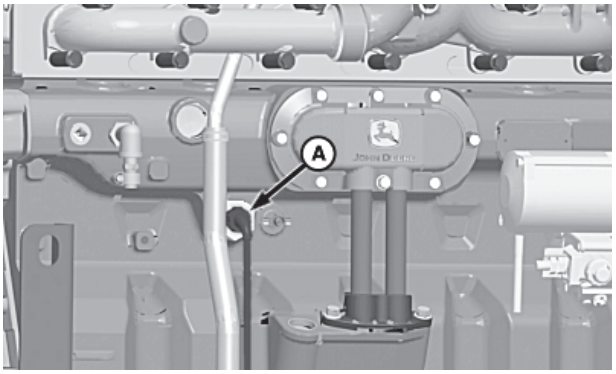
重要：適切な潤滑のためには、エンジンを低回転数で、無負荷で 1〜2 分間運転してください。温度が氷点下の場合はこの期間を 2〜4 分に延ばしてください。



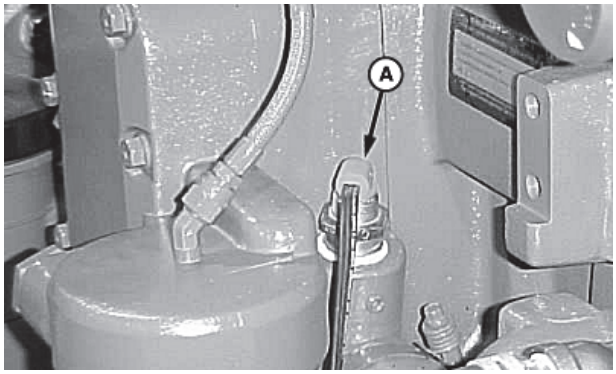
A：キースイッチ　　B：始動補助ボタン

OUO6075,0000586 -40-21MAR11-1/1

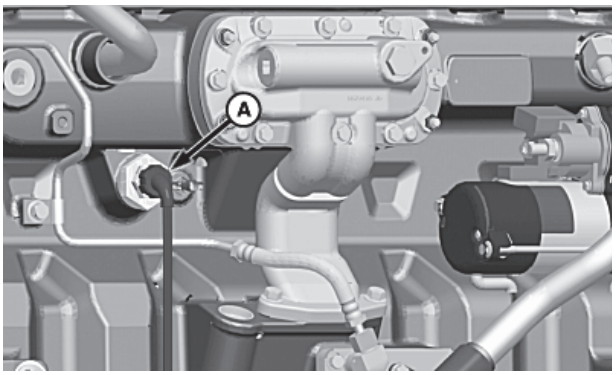
クーラントヒーター



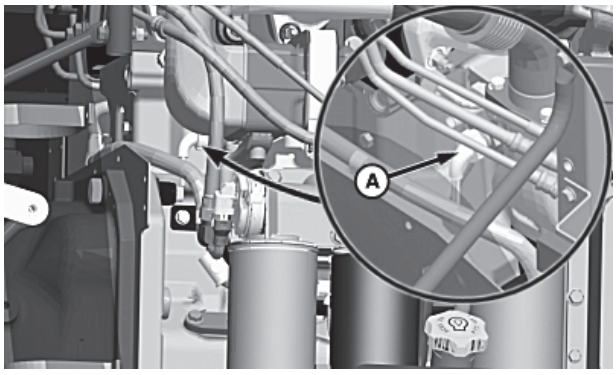
S660、S670 (ティア 2／ステージ II) (前側)



S680、S690 (ティア 2／ステージ II) (後側)



S660、S670 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (前側)



S680、S685、S690 (インテリムティア 4／ステージ III B) (後側)

警戒：衝撃や危険な運転を回避するために、コネクタ 3 個を備えている 3 線ヘビーデューティ電気コード (10 AWG ゲージ以上、長さ 7.6 m (25 ft) 未満) を使用してください。2 ピン・3 ピン変換アダプタを壁コンセントに使用する場合、必ず緑色の配線を適切なアースに接続してください。

ヒーターを電源に接続する前に、エレメントがクーラントに浸かっていることを確認してください。ヒーターを空気中でオンにすることは絶対にしないでください。エレメントの被覆が爆発してけがを起こす恐れがあります。

クーラントヒーター (A) をフリーズプラグ開口部に取り付けます (エンジンの前側または後側)。エンジンクーラントを暖めることにより、オイルドラグを減らし、始動を容易にし、暖機時間を短縮します。

A：クーラントヒーター

クーラントヒーターの種類

- 1000 W (110 V)
- 1000 W (220 V) (輸出向け機械)

OUO6075,00016CA -40-17FEB14-1/1

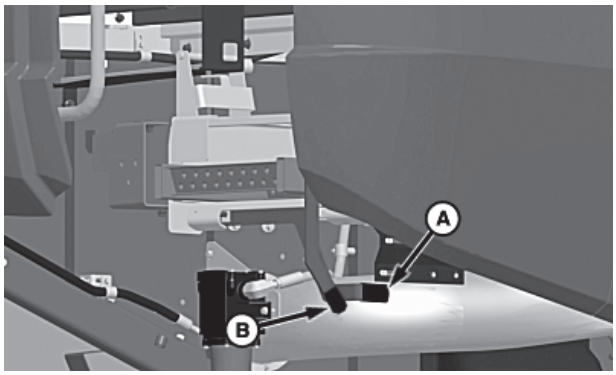
リアタラップと踊り場

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ハンドル (A) を押し上げて、ドアのラッチがかかるまでタラップを旋回させます。

ハンドル (B) を使用して、タラップを後方へ引きます。

A：ハンドル
B：ハンドル



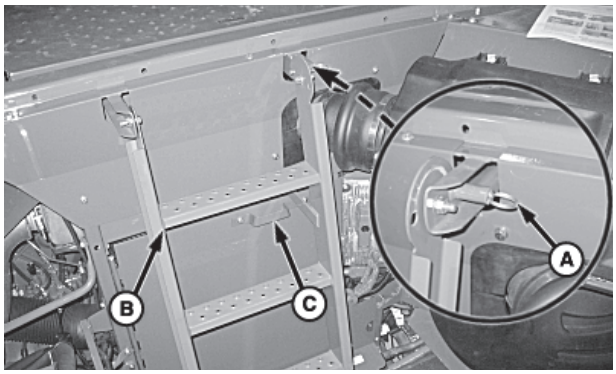
OUO6075,0000588 -40-16FEB10-1/1

エンジンフィルタアクセスカバー

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまでタラップ (B) を回転させます。

フィルタアクセスカバー (C) を引いて開き、磁石から解放します。

A：ロックアウトピン
B：タラップ
C：カバー



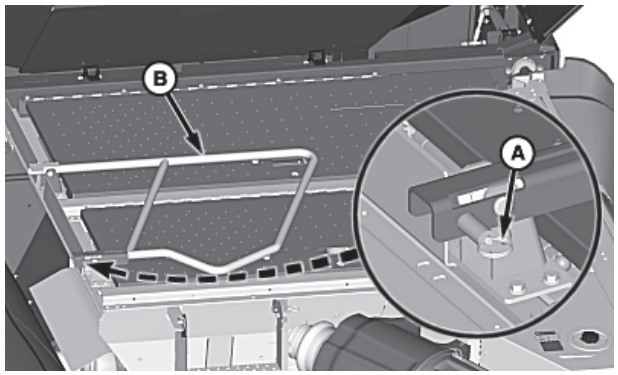
OUO6075,000069B -40-25AUG10-1/1

エンジンアクセスカバー

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させます。

エンジンアクセスカバーを開きます。

A：ロックアウトピン
B：手すり



OUO6075,0000589 -40-21JUN11-1/1

始動液缶の交換

警戒：始動液は非常に可燃性があり、誤って発火した場合、けがや死亡事故が発生することがあります。火、スパーク、炎の近くで使用しないでください。容器に記載されている注意情報を読み、容器を損傷から保護してください。

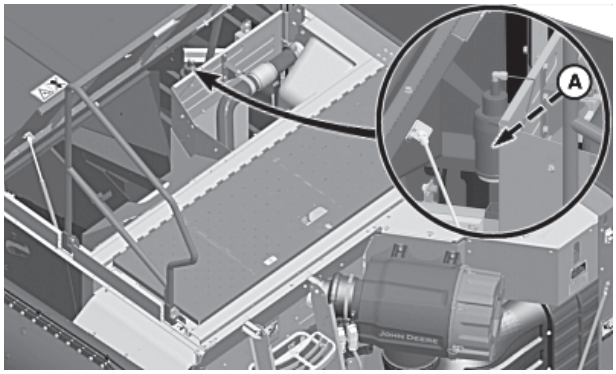
エンジンアクセスカバーを開きます。始動液缶 (A) からキャップとスプレーボタンを取り外します。缶を交換できる程度にサムホイールを緩めてから缶を交換して締め付けます。

重要：エンジンにほこりが吸入されないように、常に缶を所定の位置に維持してください。

極端な熱や損傷から始動液缶を保護してください。

スプレーノズルを取り付けて押し込み、液体とバルブの作動を点検します。液体が噴射されない場合は、缶を交換します。

警戒：容器の破裂によってけがをしないように、余分な缶や空の缶をキャビン内に保管しないでください。



A：始動液缶

OUO6075,000058B -40-17MAY10-1/1

エンジン出力や燃料／システムの改造の禁止

重要：排出ガス規制に適合しているエンジンで工場での設定を超えて、出力の増加、燃料および吸気分配システムの変更を行うと、排出ガスレベルが排出ガス規制で許可されているレベルを超える原因になります。認可されていない調整を行うと、このエンジンに適用されている排出ガス規制に違反し、高額な罰金や課徴金を支払う必要が生じることがあります。出力レベルを工場仕様から変更すると、機械の保証が無効になります。

インジェクションポンプやフューエルインジェクタの整備は行わないでください。専門的な訓練と工具が必要です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,000058D -40-11FEB10-1/1

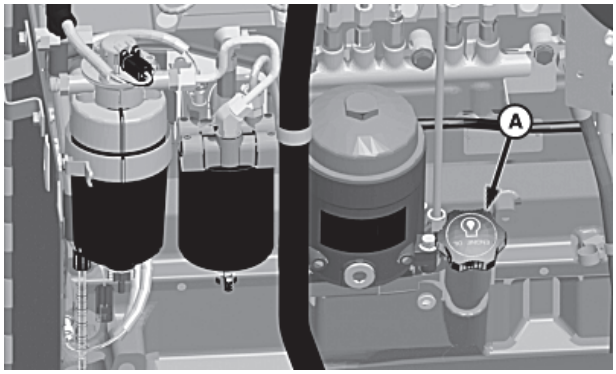
燃料システム

警戒：圧力のかかったディーゼル燃料が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをする恐れがあります。油圧または他のラインの接続を外す前に、圧力を解放してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。高圧の液体が噴出するピンホールやノズルに手や体を近づけないでください。ボール紙や紙類を使って漏れを探してください。手は使わないでください。

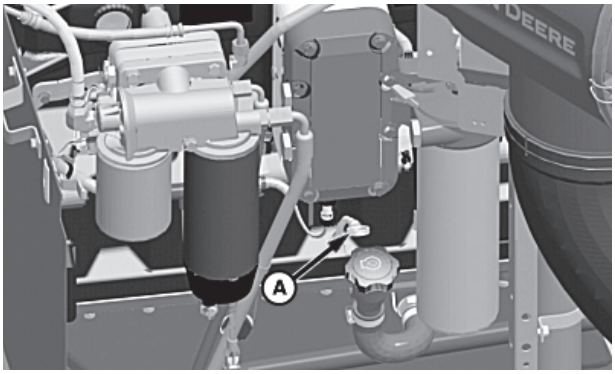
皮膚に液体がかかった場合は、このような外傷に慣れている医師によって数時間以内に外科的に除去してもらう必要があります。さもないと壊疽を引き起こす恐れがあります。

OUO6075,000058E -40-11FEB10-1/1

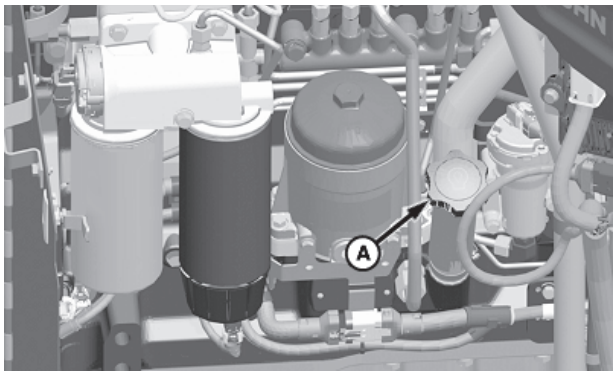
エンジンオイルレベル



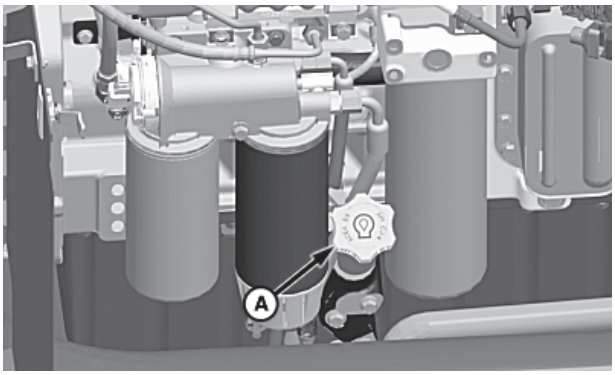
S660、S670 (ティア 2／ステージ II)



S680、S690 (ティア 2／ステージ II)



S660、S670 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



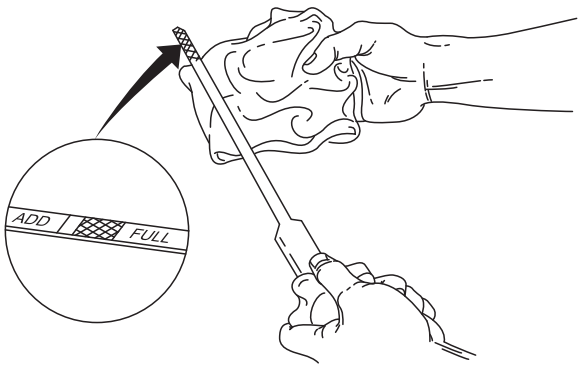
S680、S685、S690 (インテリムティア 4／ステージ III B)

重要：長期間の耐用年数を確保するには、エンジンオイルを正しいレベルに維持することが非常に重要です。機械を平坦な場所に駐車してエンジンオイルを点検してください。

注記：オイルレベルを点検する前に、ディップスティックがハウジングに完全にねじ込まれているまたは押し込まれていることを確認してください。

ディップスティック (A) を使って毎日エンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルがディップスティックの「ADD」マークよりも下にあるときは、エンジンを運転しないでください。

ディップスティックを取り外し、オイルレベルを点検します。オイルレベルはディップスティックの「ADD」マークとクロスハッチ部の上部の間にある必要があります。オイルレベルが「ADD」マークよりも下にある場合は、必要な量のオイルを追加します (推奨オイルについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください)。



A：ディップスティック

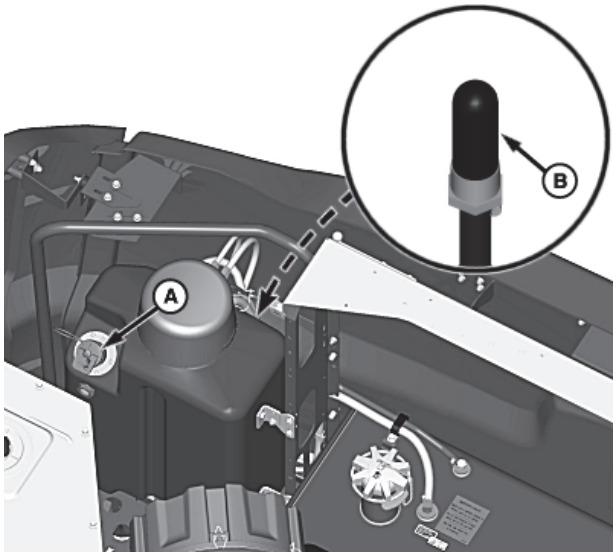
OUO6075,00016CB -40-17FEB14-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク：充填 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

警戒：排ガス処理用尿素水 (DEF) は尿素を含んでいます。フルードが目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。フルードを摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳細な情報については、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要：不適切または承認されていない後処理装置の部品を使用すると、車両の後処理システムが損傷し、後処理システムの適切な動作性能が失われます。インテリムティア 4／ステージ III B を装備した車両とファイナル ティア 4／ステージ IV を装備した車両間で後処理装置の部品を相互に交換することは絶対にしないでください。

注記：フルードがこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触した場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。フルードは塗装面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。



A：キャップ

B：排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー

キャップ (A) は通気されていません。余分な空気は、排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (B) を通じて排出されます。

ブリーザーを目視点検します。ブリーザーに籾殻やごみが過剰に溜まらないようにしてください。ブリーザーがごみで覆われている場合、タンクの通気が行われません。ホースからブリーザーを取り外して清掃します。

機械に燃料を補充するたびに、タンクにも補充してください。これができない場合は、コーナーポストディスプレイの排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーターをモニタして必要に応じて補充してください。機械性能が極端に変化しないように、フルードレベルをレベルインジケーターの上端付近の赤色のマークよりも上に常に維持してください。「エンジンの運転」セクションの「SCR (選択触媒還元) システム」を参照してください。

タンクに充填するには：

1. フルードを追加する前に、容器を洗浄して蒸留水ですすぎ、汚れを除去してください。
2. キャップを取り外す前にキャップの周囲を拭いて、フルードが汚れないようにしてください。
3. ファンネルを使用して、点検窓でレベルを確認しながらフルードをタンクに慎重に注入します。
4. 前の手順で取り外したキャップを取り付けます。
5. こぼれたフルードは蒸留水を使用して慎重に清掃します。

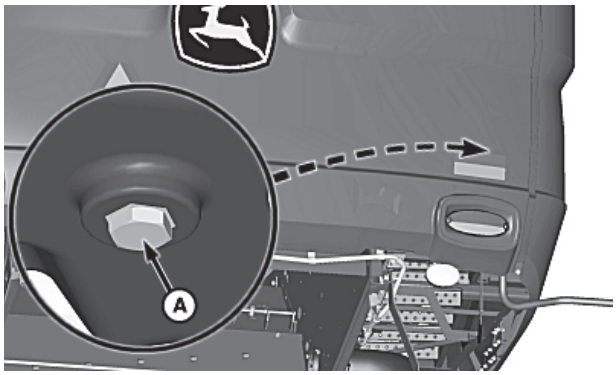
OUO6075,00013BD -40-27JUN13-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク：抜き取り (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

警戒：メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

重要：車両での長期間の (6 か月以上) 保管は推奨されません。長期間の保管が必要な場合は、フルードを定期的に検査して尿素の濃度が仕様から外れていないか確認することを推奨します。

ディーゼル燃料、エンジンクーラントなど、認可されていない液体を追加した場合は、タンクから抜き取って蒸留水で洗浄してからタンクに再度補充してください。清掃と再補充後にシステムが正しく作動しない場合は、John Deere 取扱店に問い合わせてシステムの清掃とパージの方法を決定してください。タンクに水を追加してしまった場合は、タンクから抜き取って、蒸留水でフラッシングし、排ガス処理用尿素水 (DEF) を再注入してください。タンクに補充した後、フルードの濃度を点検してください。詳細については、「燃料と潤滑剤」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。



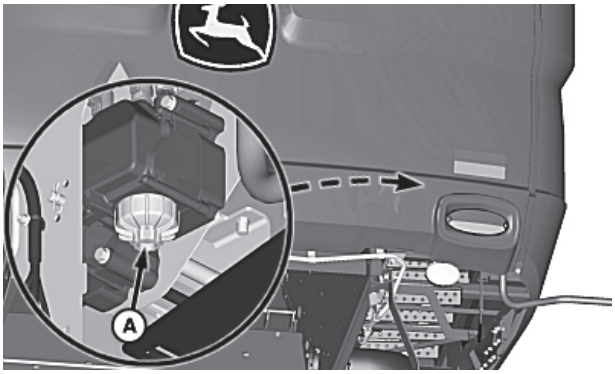
A：プラグ

注記：フルードがこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触した場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。フルードは塗装面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

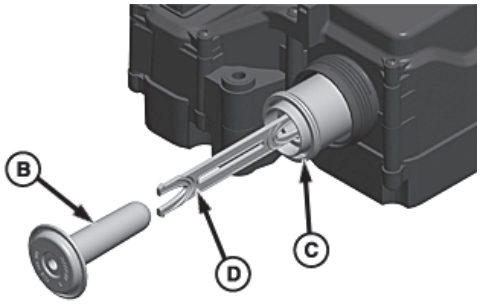
タンクの底のプラグ (A) を取り外してフルードを抜き取ります。

OUO6075,00013D3 -40-11SEP13-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) ドージングフィルタ：交換 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)



A：キャップ　　B：均圧フィルタ



C：フィルタ　　D：フィルタ工具

警戒：排ガス処理用尿素水 (DEF) は尿素を含んでいます。フルードが目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。フルードを摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳細な情報については、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

注記：フルードがこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触した場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。フルードは塗装面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

1. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。
2. キャップ (A) を取り外して保管します。
3. 均圧エレメント (B) を取り外して廃棄します。
4. フィルタ (C) の内側が変色 (灰色または黒) していないか点検します。
5. フィルタ工具 (D) の同じ色の端部を、カチッという感触が感じられる、音が聞こえるまで挿入します。これはフィルタ工具が完全にかみ合っていることを示します。

注記：必要に応じて、ドライバーなどの工具をフィルタ工具の溝に挿入して取り外しを容易にすることができます。

6. フィルタ工具を引っ張ってフィルタをドージングユニットから取り外します。
7. フィルタとフィルタ工具を廃棄します。
8. ドージングユニットのねじ山と合わせ面を蒸留水で洗浄します。
9. 新品のフィルタ O リングを新品のエンジンオイルで潤滑します。
10. フィルタと新品の均圧エレメントをドージングユニットに挿入します。
11. キャップを取り付けて規定のトルクで締め付けます。

仕様

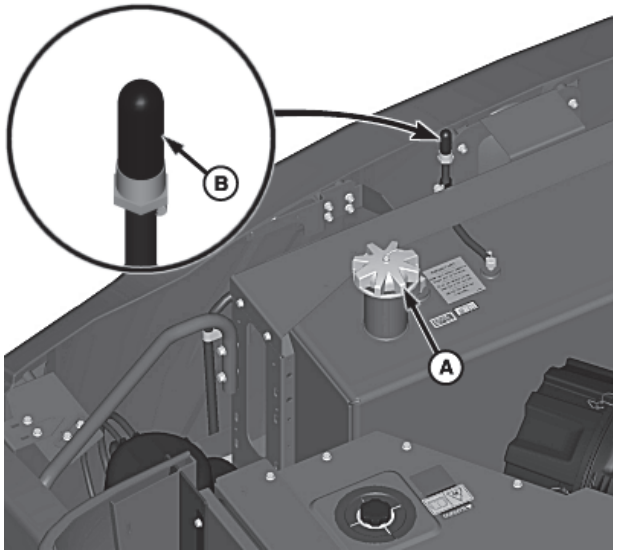
キャップ
トルク .....20 N•m (177 lb-in)

OUO6075,00014A8 -40-11SEP13-1/1

燃料タンク：充填

警戒：燃料の取り扱いに注意してください。煙が発生しているときは、機械に燃料を補給しないでください。燃料タンクに充填する前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

燃料タンクに入れすぎないでください。燃料が跳ね返ってけがをする可能性があります。燃料の膨張によって漏れが発生することがあります。タンクが満杯の場合、直射日光にさらされたり、温度が高くなりすぎると、タンクがオーバーフローします。



燃料タンクキャップ (A) は通気されていません。余分な空気は、燃料タンクブリーザー (B) を通じて排出されます。

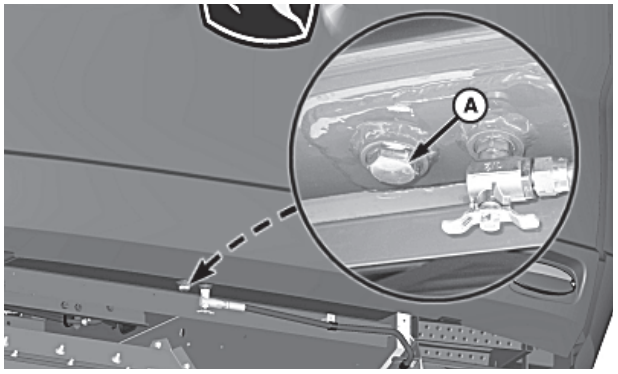
燃料タンクブリーザーを目視点検します。ブリーザーに籾殻やごみが過剰に溜まらないようにしてください。ブリーザーがごみで覆われている場合、燃料タンクの通気が行われません。ホースから燃料タンクブリーザーを取り外して清掃します。

A：燃料タンクキャップ
B：燃料タンクブリーザー

OUO6075,00012DC -40-01JUL13-1/1

燃料タンク：抜き取り

警戒：メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。



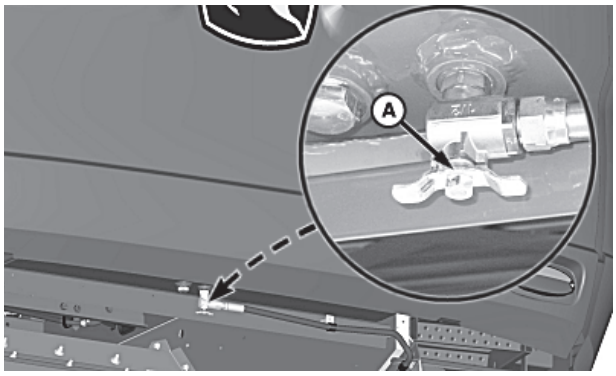
燃料タンクの底のプラグ (A) を取り外して燃料を抜き取ります。

A：プラグ

OUO6075,0000591 -40-16FEB10-1/1

燃料タンク：シャットオフバルブ

警戒：メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。



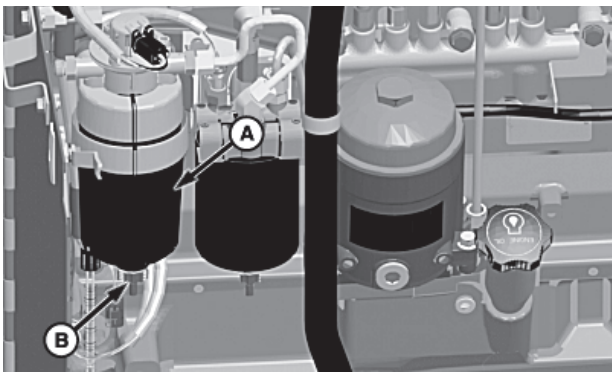
燃料フィルタを整備するときは、燃料タンクの底のバルブ (A) を閉めます。

A：バルブ

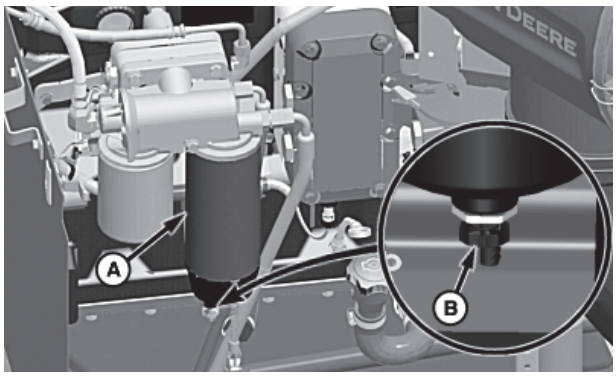
OUO6075,0000913 -40-30AUG10-1/1

ウォーターセパレータ 1 次燃料フィルタ：抜き取り

S660、S670、S680、S690 (ティア 2／ステージ II)



S660、S670



S680、S690

A：1 次燃料フィルタ　　B：抜き取り

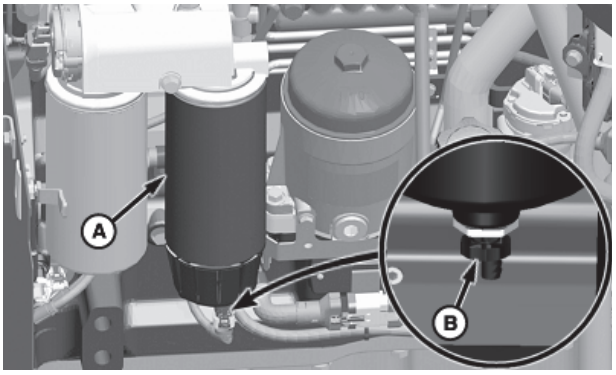
警戒：メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

1 次燃料フィルタ (A) で燃料システム内に水が検出されると、診断トラブルコードが生成されます。

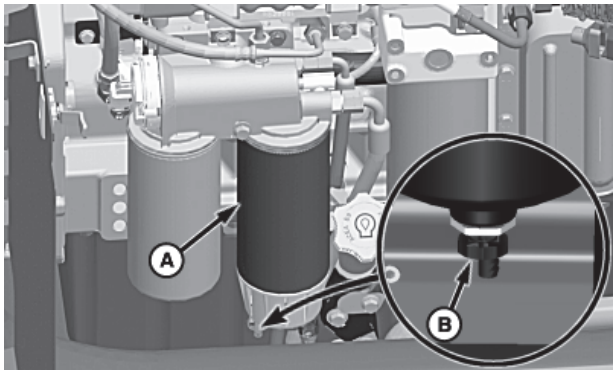
診断トラブルコードが表示された場合は、ドレン (B) を使用して 1 次フィルタから抜き取ってコードをリセットしてください。

OUO6075,00016CC -40-26NOV13-1/2

S660、S670、S680、S685、S690 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



S660、S670



S680、S685、S690

A：1 次燃料フィルタ　　B：抜き取り

警戒：メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

1 次燃料フィルタ (A) で燃料システム内に水が検出されると、診断トラブルコードが生成されます。

診断トラブルコードが表示された場合は、ドレン (B) を使用して 1 次フィルタから抜き取ってコードをリセットしてください。

OUO6075,00016CC -40-26NOV13-2/2

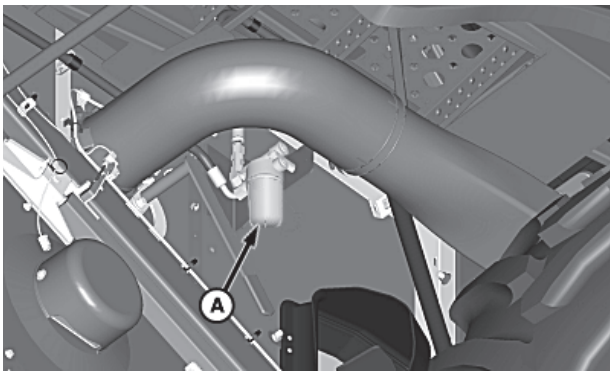
燃料プレクリーナフィルタ：清掃

注記：燃料プレクリーナの清掃と 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタの交換を同時に行わないでください。同時に実施した場合、機械の再始動が困難になります。1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換する前に、プレクリーナの清掃の手順を実行してからエンジンを運転してください。

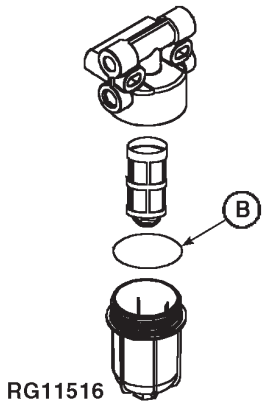
燃料プレクリーナフィルタのスクリーンにごみが堆積している場合、または診断トラブルコードが表示された場合は、フィルタを清掃してください。フィルタを清掃した後、コードをリセットしてください。

1. 機械を運転していなかった場合は、エンジンを始動してローアイドルで 3～5 分運転します。
2. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めて供給ラインに燃料が戻らないようにします。
3. 燃料プレクリーナアセンブリとその周囲を十分清掃します。
4. プレクリーナボウル (A) を取り外します。
5. フィルタスクリーンとプレクリーナボウルを清掃します。O リング (B) を点検します。
6. スクリーンを取り付けてプレクリーナボウルを締め付けます。
7. 燃料タンクの底のバルブを開いて、プレクリーナに充填します。
8. エンジンを始動し、ローアイドルで 3～5 分間運転します。

A：プレクリーナボウル
B：O リング



燃料プレクリーナフィルタ



燃料プレクリーナの部品

OUO6075,0000593 -40-27OCT10-1/1

ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)：フラッシング

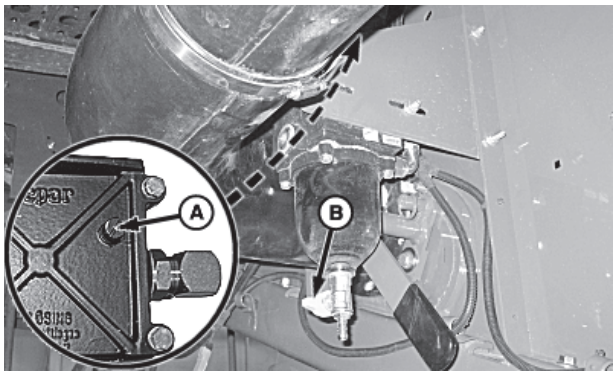
注記：燃料プレクリーナの清掃と 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタの交換を同時に行わないでください。同時に実施した場合、機械の再始動が困難になります。1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換する前に、プレクリーナの清掃の手順を実行してからエンジンを運転してください。

ボールの半分が水でいっぱいになったり、診断トラブルコードが表示された場合は、ヘビーデューティ燃料プレクリーナを逆洗浄してください。清掃した後、コードをリセットしてください。コードが引き続き表示される場合は、「ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)：清掃」を参照してください。

フィルタエレメントは交換する前に 5 回まで逆洗浄できます。

1. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。
2. ウォーターセパレータの上部にあるブリードスクリュー (A) を開きます。水や泥がフィルタエレメントから取り除かれて、ボウルの底にたまるようにします。
3. ドレンバルブ (B) を押し、反時計回りに回して水や泥をボウルから抜き取ります。

注記：燃料、水、泥が排出されると、さらに水や泥がフィルタエレメントから流れ、ボウルの底にたまります。



A：ブリードスクリュー　　B：ドレンバルブ

4. ドレンバルブを閉めて水や泥が再び溜まるようにします。
5. 水や泥がすべて取り除かれるまで手順 3 と 4 を繰り返します。
6. ブリードスクリューを閉めて、燃料タンクの底のバルブを開きます。
7. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料システムをプライミングし、漏れがないか点検します。
8. エンジンを始動し、ローアイドルで 3〜5 分間運転します。エンジンが始動しないか、止まった場合は、「1 次および 2 次燃料フィルタエレメント：交換」を参照してください。

OUO6075,0000594 -40-21MAR11-1/1

ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)

フィルタの交換

注記：フィルタエレメントを 5 回逆洗した後、フィルタを清掃します。フィルタを光にかざしても光が見えなくなったら、フィルタを交換してください。

1. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。
2. 蓋のネジを図に示す順序で均等に緩めます。

注記：蓋とスプリングカセットは再使用しますが、交換用フィルタエレメントを取り付ける必要があります。

3. 蓋 (A)、スプリングカセット (B)、フィルタエレメント (C) を取り外します。
4. 交換用フィルタエレメントを取り付けて、前の手順で取り外したスプリングカセット (B) を取り付けます。
5. 蓋のガスケット (D) を点検し、必要に応じて交換します。
6. 蓋を取り付けて、図に示す順序で締め付けます。
7. 燃料タンクの底のバルブを開きます。
8. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料システムをプライミングし、漏れがないか点検します。
9. エンジンを始動し、ローアイドルで 3〜5 分間運転します。エンジンが始動しないか、止まった場合は、「1 次および 2 次燃料フィルタエレメント：交換」を参照してください。

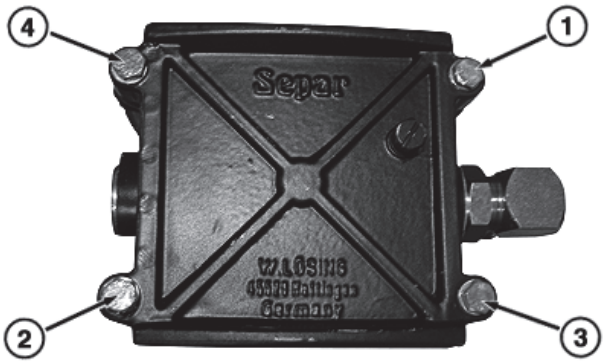
フィルタの清掃

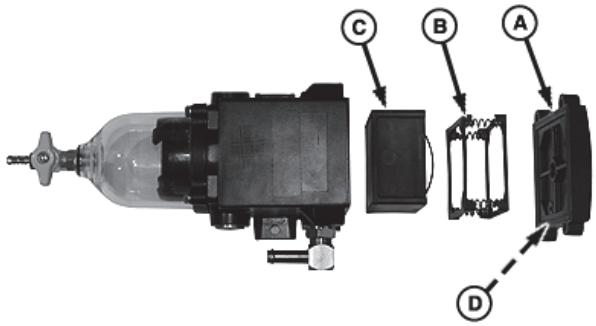
1. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。

注記：燃料を抜き取るときは受皿を使用してください。

2. ドレンバルブを開いて燃料をボウルから抜きます。
3. 蓋のネジを図に示す順序で均等に緩めます。
4. 蓋 (A) とスプリングカセット (B) を取り外します。
5. フィルタエレメント (C) を手で持ち上げて外します。

注記：フィルタに損傷がないか点検します。損傷がある場合は、交換用フィルタを取り付けます。



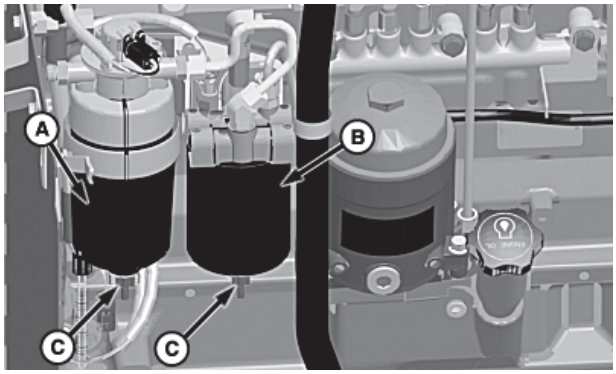


A：蓋
B：スプリング式カセット
C：フィルタエレメント
D：ガスケット

6. フィルタを新品のディーゼル燃料または石油系溶剤で洗います。
7. フィルタエレメントおよびスプリングカセットを取り付けます。
8. 蓋のガスケット (D) を点検し、必要に応じて交換します。
9. 蓋とボルトを取り付け、ボルトを手締めします。
10. 図に示した順序でボルトを締め付けます。
11. 燃料タンクの底のバルブを開きます。
12. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料システムをプライミングし、漏れがないか点検します。
13. エンジンを始動し、ローアイドルで 3〜5 分間運転します。

OUO6075,0000914 -40-30AUG10-1/1

1 次および 2 次燃料フィルタエレメント：交換 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670)



A：1 次燃料フィルタ　　B：2 次燃料フィルタ　　C：ドレンバルブ

警戒：燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。この種類のシステムを熟知している技術員のみが修理を行ってください。高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外す前に、エンジンが停止してから最低 15 分間待ってください。

注記：燃料プレクリーナの清掃と 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタの交換を同時に行わないでください。同時に実施した場合、機械の再始動が困難になります。1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換する前に、燃料プレクリーナの清掃を実行してからエンジンを運転してください。

性能の低下を確認した場合、または診断トラブルコードが表示された場合は、1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換してください。フィルタを交換した後、コードをリセットしてください。

1. 機械を運転していなかった場合は、エンジンを始動してローアイドルで 3〜5 分運転します。
2. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。
3. フィルタエレメントの外部とフィルタ取り付け部を十分清掃します。

警戒：フィルタの燃料には圧力がかかっている可能性があります。以下の手順を完了していない場合は、フィルタを取り外さないでください。

注記：燃料を抜き取る場合や燃料フィルタを取り外す場合は、受皿を使用してください。

4. ドレンバルブ (C) を開いて、燃料の不純物を抜き取り、1 次燃料フィルタ (A) と 2 次燃料フィルタ (B) から圧力を解放します。
5. ドレンバルブを閉めて、燃料フィルタを取り外します。

注記：フィルタハウジングからさらに燃料が排出されます。

6. 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを取り外します。

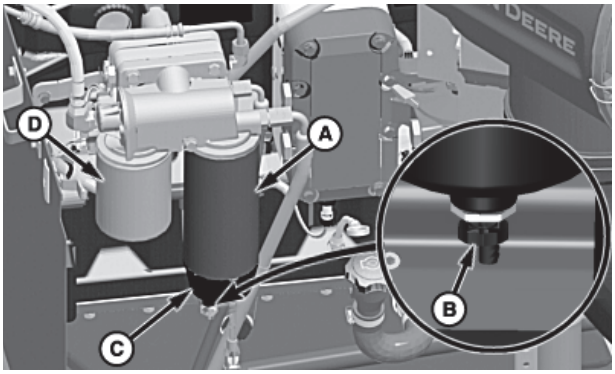
重要：どちらの燃料フィルタにも燃料をあらかじめ補充しないでください。

注記：フィルタシールを取り付ける前に、シールを新品のディーゼル燃料で潤滑します。

7. 1 次燃料フィルタ (A) アセンブリをエンジンに取り付けます。シールがフィルタハウジングに接触してからフィルタアセンブリを 3/4 回転締め付けます。
8. 交換用 2 次燃料フィルタ (B) を取り付けます。シールがフィルタハウジングに接触してからフィルタを 3/4 回転締め付けます。
9. ドレンバルブ (C) が閉まっていることを確認します。
10. 燃料タンクの底のバルブを開きます。
11. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料システムをプライミングします。
12. エンジンを始動し、ローアイドルで 3〜5 分間運転します。

OUO6075,00014FA -40-28MAY13-1/1

1 次および 2 次燃料フィルタエレメント：交換 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690)



A：1 次燃料フィルタ　　B：ドレンバルブ　　C：セパレータボウル　　D：2 次燃料フィルタ

警戒：燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。この種類のシステムを熟知している技術員のみが修理を行ってください。高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外す前に、エンジンが停止してから最低 15 分間待ってください。

注記：燃料プレクリーナの清掃と 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタの交換を同時に行わないでください。同時に実施した場合、機械の再始動が困難になります。1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換する前に、燃料プレクリーナの清掃を実行してからエンジンを運転してください。

性能の低下を確認した場合、または診断トラブルコードが表示された場合は、1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換してください。フィルタを交換した後、コードをリセットしてください。

1. 機械を運転していなかった場合は、エンジンを始動してローアイドルで 3〜5 分運転します。
2. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。
3. フィルタエレメントの外部とフィルタ取り付け部を十分清掃します。

警戒：フィルタの燃料には圧力がかかっている可能性があります。以下の手順を完了していない場合は、フィルタを取り外さないでください。

注記：燃料を抜き取る場合や燃料フィルタを取り外す場合は、受皿を使用してください。

4. ドレンバルブ (B) を開いて、燃料の不純物を抜き取り、1 次燃料フィルタ (A) から圧力を解放します。
5. ドレンバルブを閉めて、セパレータボウル (C) を取り外して保管します。

注記：フィルタハウジングからさらに燃料が排出されます。

6. 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタ (D) を取り外します。

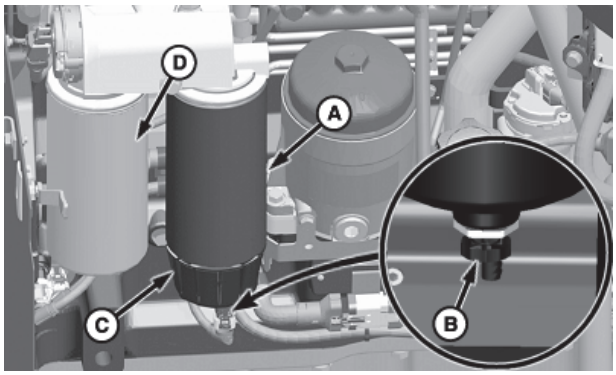
重要：どちらの燃料フィルタにも燃料をあらかじめ補充しないでください。

注記：フィルタシールを取り付ける前に、シールを新品のディーゼル燃料で潤滑します。

7. 前の手順で取り外したセパレータボウル (C) を交換用 1 次燃料フィルタ (A) に取り付けます。
8. 1 次燃料フィルタアセンブリをエンジンに取り付けます。シールがフィルタハウジングに接触してからフィルタアセンブリを 3/4 回転締め付けます。
9. 交換用 2 次燃料フィルタ (D) を取り付けます。シールがフィルタハウジングに接触してからフィルタを 3/4 回転締め付けます。
10. ドレンバルブ (B) が閉まっていることを確認します。
11. 燃料タンクの底のバルブを開きます。
12. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料システムをプライミングします。
13. エンジンを始動し、ローアイドルで 3〜5 分間運転します。

OUO6075,000155D -40-09JUL13-1/1

1 次および 2 次燃料フィルタエレメント：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



S660、S670

警戒：燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。この種類のシステムを熟知している技術員のみが修理を行ってください。高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外す前に、エンジンが停止してから最低 15 分間待ってください。

注記：燃料プレクリーナの清掃と 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタの交換を同時に行わないでください。同時に実施した場合、機械の再始動が困難になります。1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換する前に、燃料プレクリーナの清掃を実行してからエンジンを運転してください。

性能の低下を確認した場合、または診断トラブルコードが表示された場合は、1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換してください。フィルタを交換した後、コードをリセットしてください。

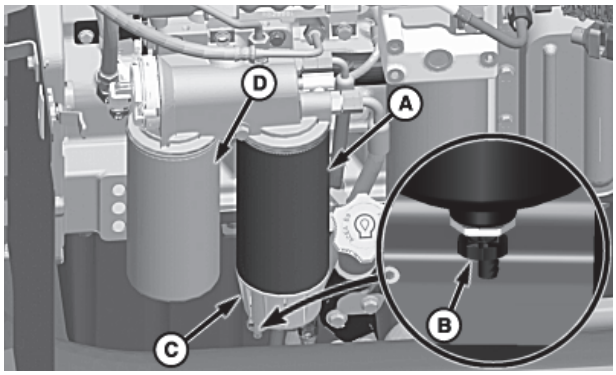
1. 機械を運転していなかった場合は、エンジンを始動してローアイドルで 3～5 分運転します。
2. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。
3. フィルタエレメントの外部とフィルタ取り付け部を十分清掃します。

警戒：フィルタの燃料には圧力がかかっている可能性があります。以下の手順を完了していない場合は、フィルタを取り外さないでください。

注記：燃料を抜き取る場合や燃料フィルタを取り外す場合は、受皿を使用してください。

4. ドレンバルブ (B) を開いて、燃料の不純物を抜き取り、1 次燃料フィルタ (A) から圧力を解放します。
5. ドレンバルブを閉めて、セパレータボウル (C) を取り外して保管します。

注記：フィルタハウジングからさらに燃料が排出されます。



S680、S685、S690

A：1 次燃料フィルタ
B：ドレンバルブ
C：セパレータボウル
D：2 次燃料フィルタ

6. 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタ (D) を取り外します。

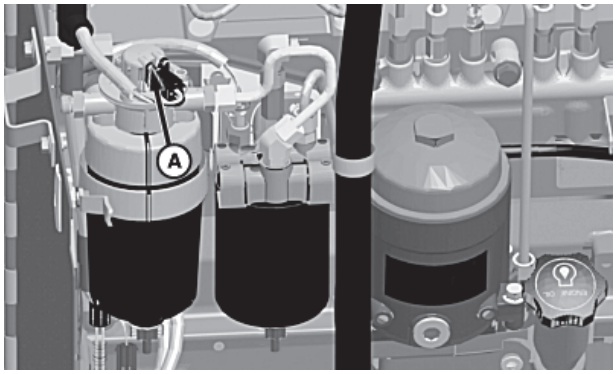
重要：どちらの燃料フィルタにも燃料をあらかじめ補充しないでください。

注記：フィルタシールを取り付ける前に、シールを新品のディーゼル燃料で潤滑します。

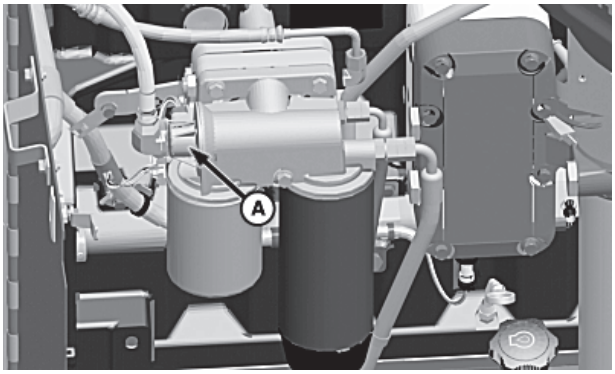
7. 前の手順で取り外したセパレータボウル (C) を交換用 1 次燃料フィルタ (A) に取り付けます。
8. 1 次燃料フィルタアセンブリをエンジンに取り付けます。シールがフィルタハウジングに接触してからフィルタアセンブリを 3/4 回転締め付けます。
9. 交換用 2 次燃料フィルタ (D) を取り付けます。シールがフィルタハウジングに接触してからフィルタを 3/4 回転締め付けます。
10. ドレンバルブ (B) が閉まっていることを確認します。
11. 燃料タンクの底のバルブを開きます。
12. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料システムをプライミングします。
13. エンジンを始動し、ローアイドルで 3～5 分間運転します。

OUO6075,00016CD -40-26NOV13-1/1

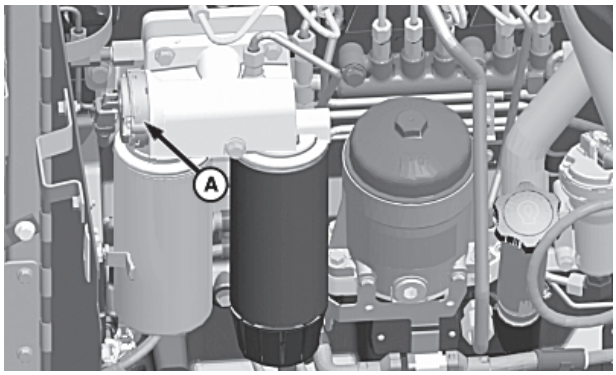
燃料システム、エア抜き



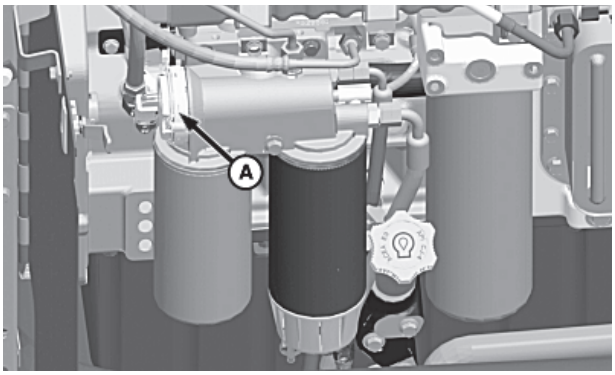
S660、S670 (ティア 2／ステージ II)



S680、S690 (ティア 2／ステージ II)



S660、S670 (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



S680、S685、S690 (インテリムティア 4／ステージ III B)

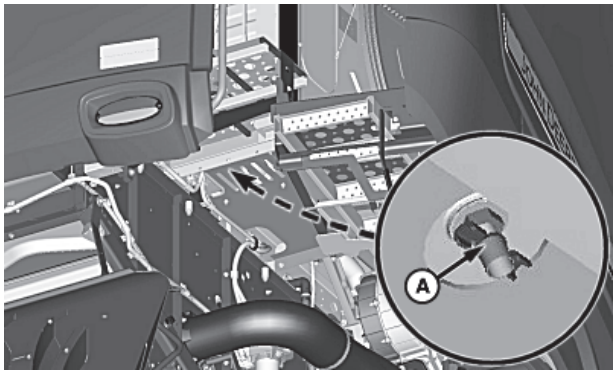
A：燃料ポンプ

警戒：メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

燃料フィルタを交換した場合や機械が燃料切れを起こしたときに燃料システムに空気が入る可能性があります。燃料システムに空気が入ると、エンジンを始動できなくなります。エンジンが始動しない場合は、キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプ (A) で燃料システムをプライミングします。

OUO6075,00016CE -40-17FEB14-1/1

冷却システム：抜き取り



S660、S670 (ティア 2／ステージ II)

警戒：サージタンクキャップを開けるときは火傷を防止してください。キャップを 1.5 回転させて圧力を解放します。エンジンが高温のときは絶対にキャップを開けないでください。抜き取る前にシステムを放置して冷ましてください。

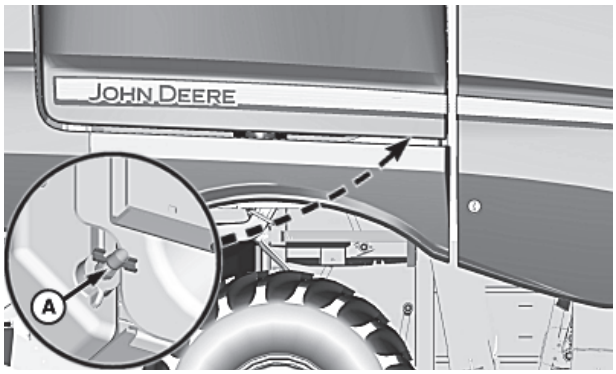
注記：ラジエータ ドレンはラジエータの前側にあります。

COOL-GARD™ II または COOL-GARD™ II PG を使用する場合、交換間隔は 6 年または 6,000 運転時間です。

COOL-GARD™ II または COOL-GARD™ II PG 以外のクーラントを使用する場合、交換間隔は 2 年または 2,000 運転時間に短縮されます。

クーラントは抜き取って交換する必要があります (詳細については、「燃料と潤滑剤」セクションのエンジンクーラントの推奨事項を参照してください)。

ラジエータのドレンバルブ (A) を開きます。

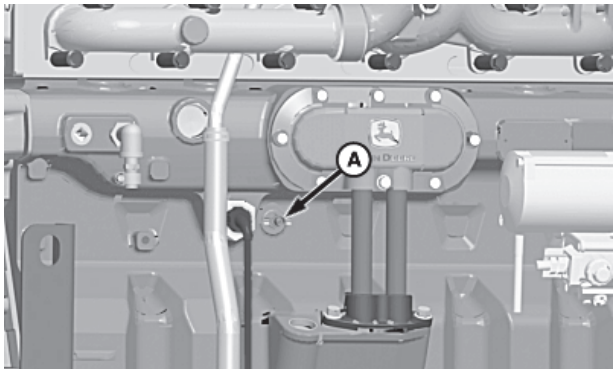


S680、S690 (ティア 2／ステージ II)
S660、S670、S680、S685、S690 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

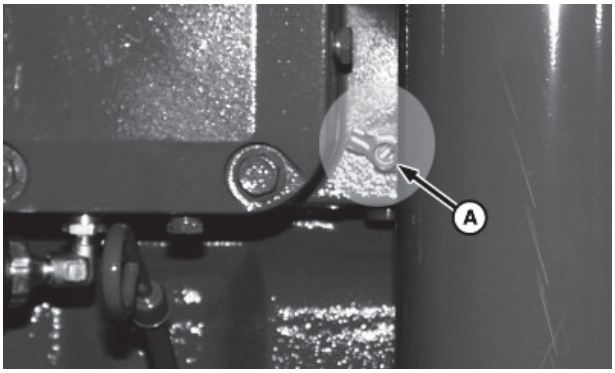
A：ドレンバルブ

COOL-GARD は Deere & Company の商標です。

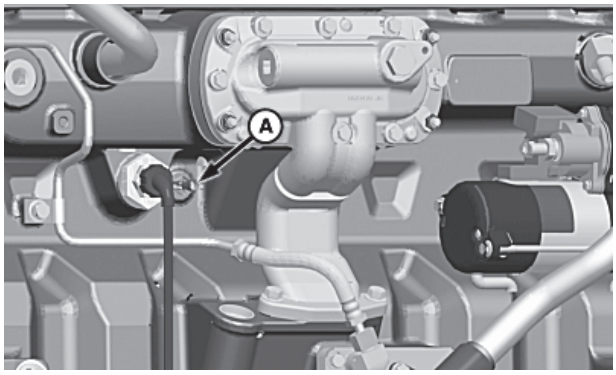
次のページへ



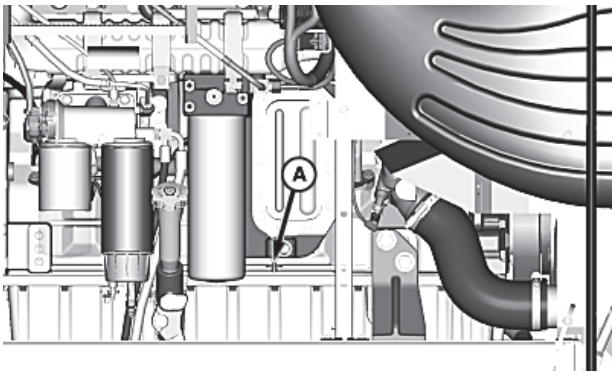
エンジンの前側 (S660 および S670 ティア 2／ステージ II)



クランクシャフトの上 (S680 および S690 ティア 2／ステージ II)



エンジンの前側 (S660、S670、インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



エンジンの後側 (S680、S685、S690 インテリムティア 4／ステージ III B)

A：ドレンバルブ

エンジンブロックのドレンバルブ (A) を開きます。

OUO6075,00016CF -40-17FEB14-2/3

サージタンクキャップ (A) を開いて、クーラントが早く抜けるようにします。

ラジエータドレンを閉めて、システムの浄水を充填します。

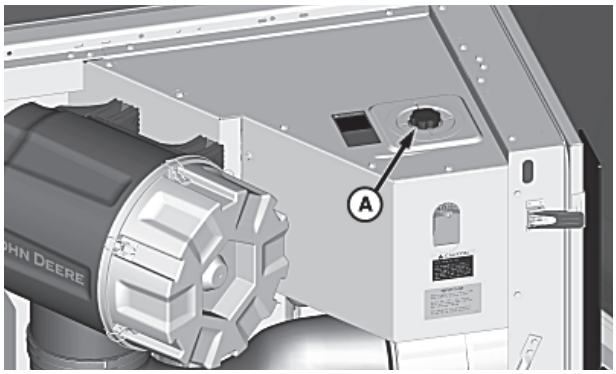
サージタンクタンクキャップを取り付けて、ヒーターを ON にし、使用温度に達するまでエンジンを運転します。

エンジンを停止し、サージタンクタンクキャップを慎重に取り外して、錆や沈殿物が沈下する前に水を抜き取ります。

ラジエータドレンを閉めて、浄水と John Deere Cooling System Cleaner PT500 または同等品の溶液をシステムに補給します。クリーナに記載されている指示に従います。

クリーナを使用した後、浄水でシステムをフラッシングして抜き取ります。

ラジエータドレンを閉めてシステムに充填します (充填手順についてはこのセクションの「冷却システム：充填」を、クーラントの仕様については、「燃料と潤滑剤」セクションをそれぞれ参照してください)。



A：サージタンクキャップ

OUO6075,00016CF -40-17FEB14-3/3

冷却システム：充填

警戒：サージタンクキャップを開けるときは火傷を防止してください。キャップを 1.5 回転させて圧力を解放します。エンジンが高温の場合は絶対にキャップを開けないでください。また、エンジンが低回転数でアイドルで運転されていない限り、エンジンがオーバーヒートしているときに冷却システムに充填しないでください。クーラントを徐々に注入してください。エンジンが冷めているときにクーラントレベルを点検してください。

重要：サージタンクとラジエータには専用のキャップが使用されています。キャップが破損したり、なくなったりした場合は、同等のキャップに交換する必要があります。

絶対に高温のエンジンに冷水を注入しないでください。シリンダブロックやシリンダヘッドに亀裂が入る可能性があります。クーラントが入っていない状態でエンジンを運転しないでください。

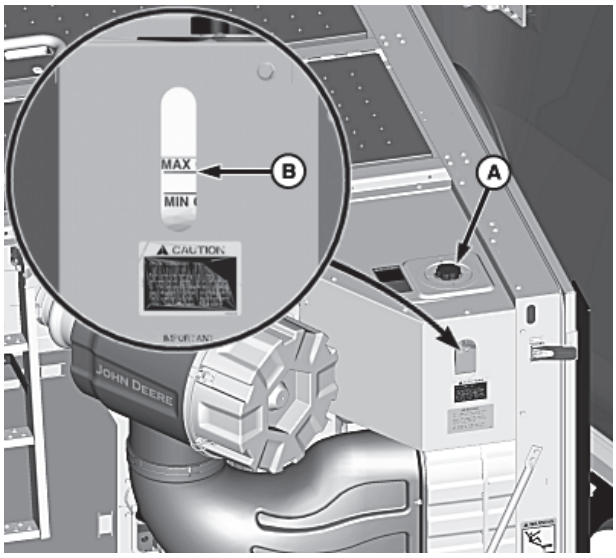
サージタンクキャップ (A) を取り外して、フルードが「Max Cold」ライン (B) になるまで充填します。

サージタンクタンクにキャップを取り付けて、ヒーターを ON にし、使用温度に達するまでエンジンを運転します。

キャップをサージタンクから慎重に取り外して、必要に応じて補給します。キャップをサージタンクに取り付けます。

エンジンが冷えているときは、クーラントレベルは「Max Cold」ラインにある必要があります。

注記：クーラントレベルは「Max Cold」ラインと「Min Cold」ラインの間にある必要があります。クーラントが「Min Cold」ラインよりも下にある場合は、必要な量のクーラントを追加してください。



A：サージタンクキャップ　**B：Max Cold (冷間時最高) ライン**

OUO6075,0001294 -40-17OCT12-1/1

冷却システム：冬季に対する準備

重要：凍結から保護するために冷却システムから抜き取らないでください。ヒーターは完全に抜けきれないので、損傷する可能性があります。

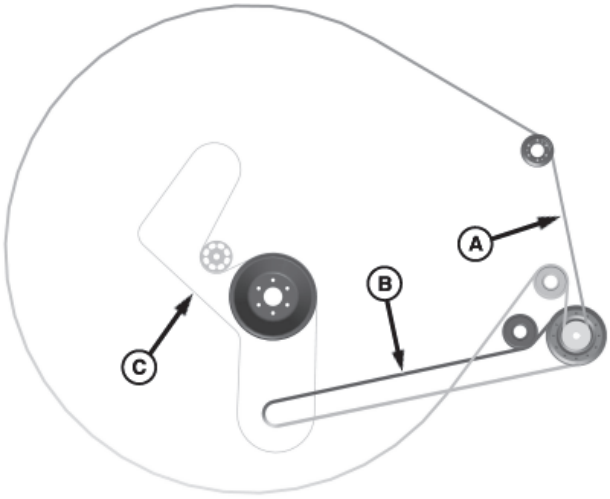
寒冷気候の前に、冷却システムに十分な不凍液が入っていることを確認してください。錆止め剤とウォーターポンプポンプを含み、漏れ防止添加剤を含んでいない、信頼できるブランドのパーマネント型エチレングリコール不凍液を使用してください (推奨品については、このマニュアルの「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください)。

不凍液を追加した後、ヒーターを ON にし、エンジンを始動して使用温度に達するまでエンジンを運転します。これにより、溶液が混合され、システム内を循環します。

OUO6075,000059B -40-14JAN10-1/1

エンジンベルト：取り回し (ティア 2／ステージ II) (S660、S670)

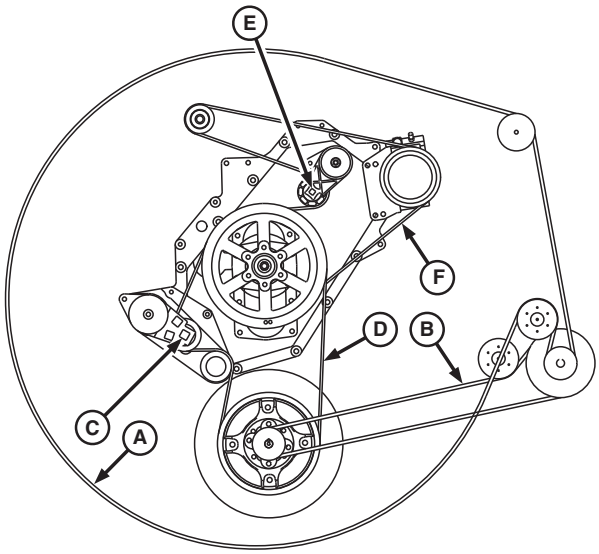
A：ロータリースクリーンドライブベルト、スクリーン側
B：ロータリースクリーンドライブベルト、エンジン側
C：冷却ファン、エアコン、コンプレッサベルト



OUO6075,0000FED -40-13FEB12-1/1

エンジンベルト：取り回し (ティア 2／ステージ II) (S680、S690)

A：ベルト、ロータリースクリーン (従動)
B：ベルト、ロータリースクリーン (駆動)
C：テンショナ、ファン
D：ベルト、ファン
E：テンショナ、補機
F：ベルト、補機



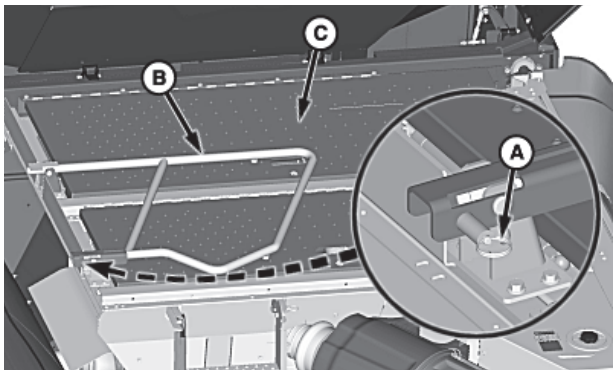
OUO6075,0001562 -40-09JUL13-1/1

エンジン補機／ファンドライブベルト：交換 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

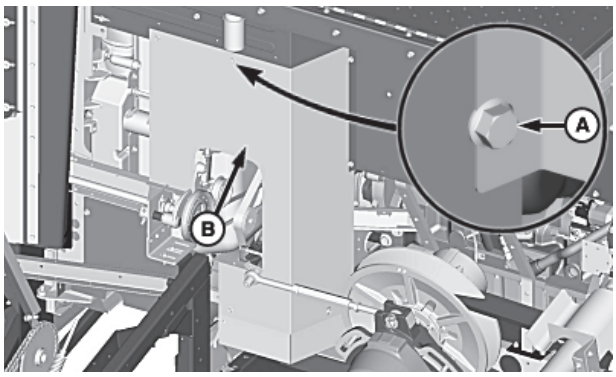
A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー



OUO6075,00013BF -40-28MAY13-1/8

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド

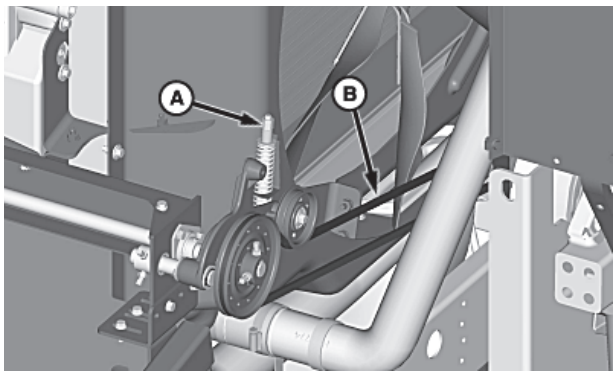


エンジンの前側

OUO6075,00013BF -40-28MAY13-2/8

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト

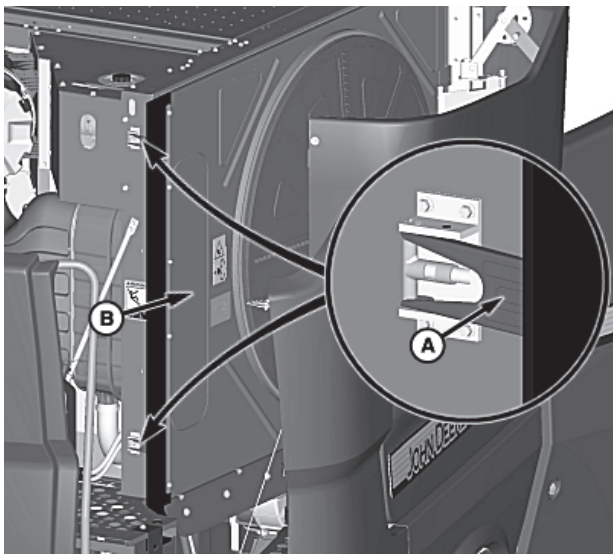


次のページへ

OUO6075,00013BF -40-28MAY13-3/8

ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

A：ラッチ
B：ロータリースクリーンドア

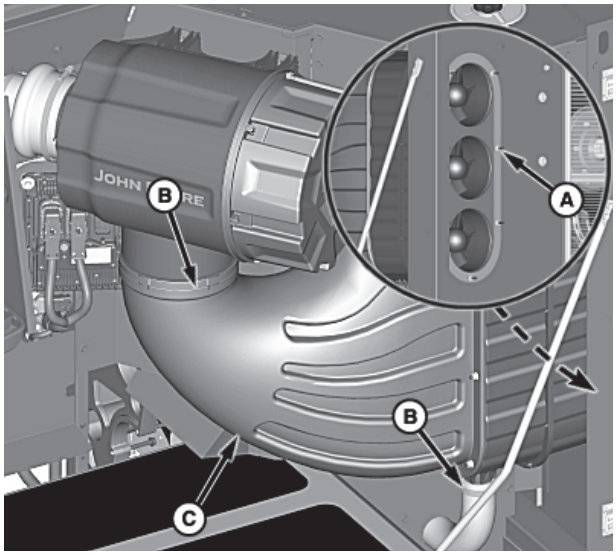


OUO6075,00013BF -40-28MAY13-4/8

ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。

エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。

A：ナット (7 個使用)
B：クランプ
C：エアダクト

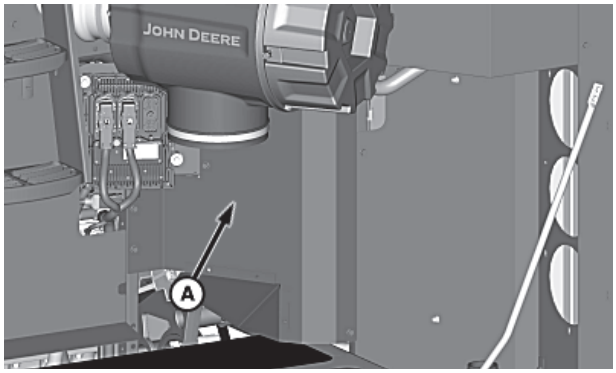


次のページへ

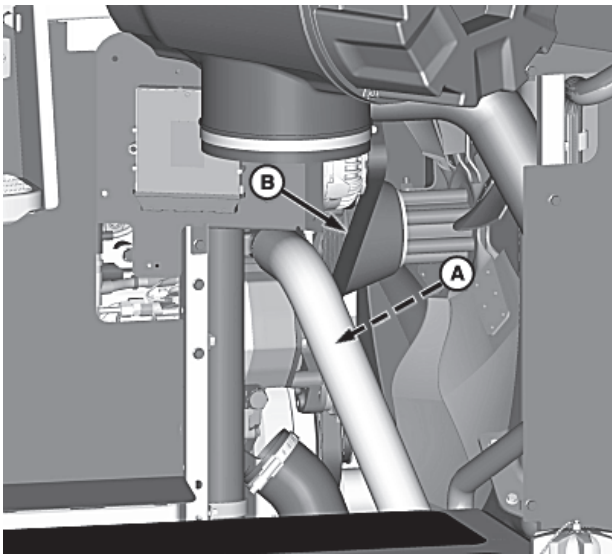
OUO6075,00013BF -40-28MAY13-5/8

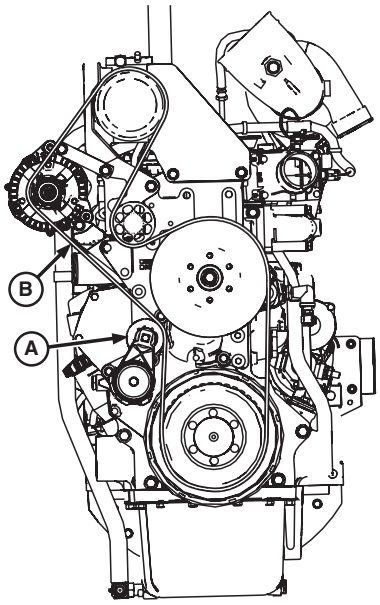
シールド (A) を取り外します。

A：シールド



OUO6075,00013BF -40-28MAY13-6/8





エンジン補機／ファンドライブベルト

A：テンショナアーム

B：エンジン補機／ファンドライブベルト

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

ベルト (B) を取り外してファンブレードからベルトを取り外します。

ファンブレードに交換用ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアームからベルト張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。

次のページへ

OUO6075,00013BF -40-28MAY13-7/8

ロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り付けます。

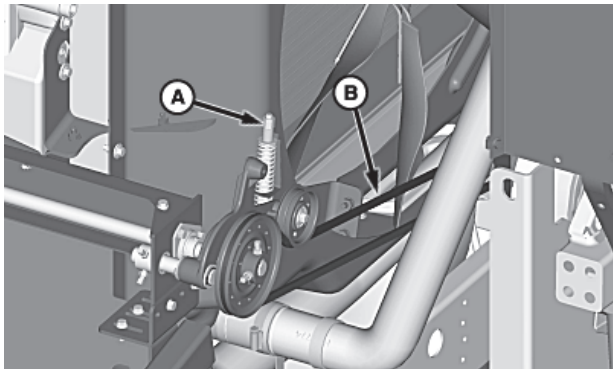
座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。

前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。

セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。



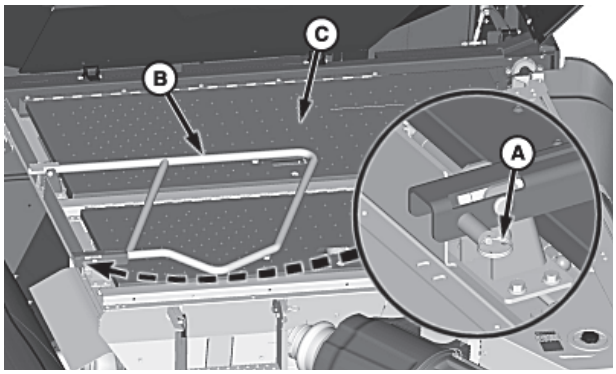
A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト

OUO6075,00013BF -40-28MAY13-8/8

エンジン補機ベルト：交換 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

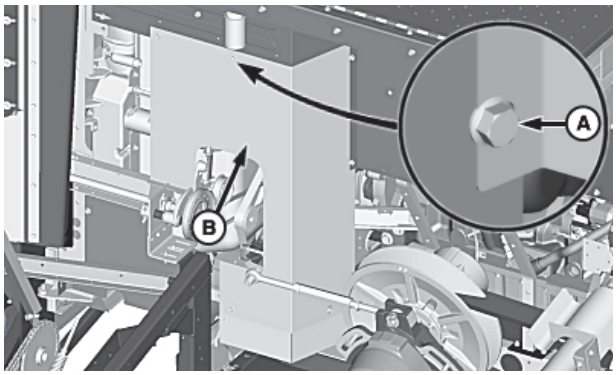
ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー

OUO6075,0001563 -40-09JUL13-1/10

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。



エンジンの前側

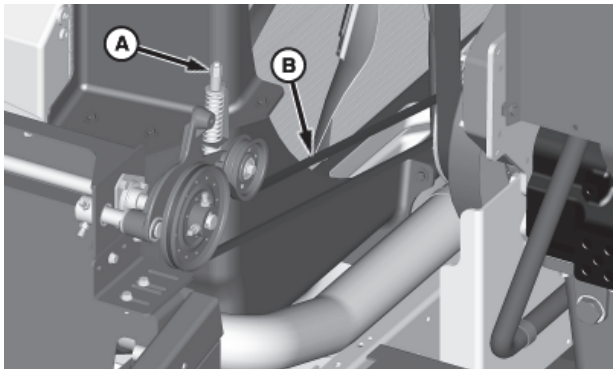
A：ボルト (7 個使用)
B：シールド

次のページへ

OUO6075,0001563 -40-09JUL13-2/10

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

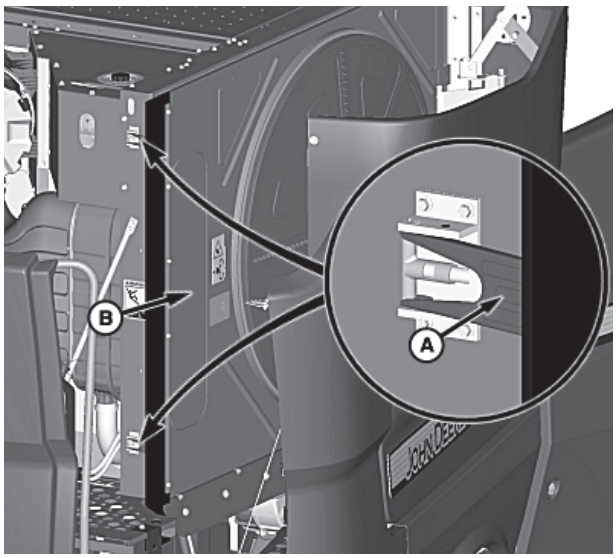
A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト



OUO6075,0001563 -40-09JUL13-3/10

ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

A：ラッチ
B：ロータリースクリーンドア



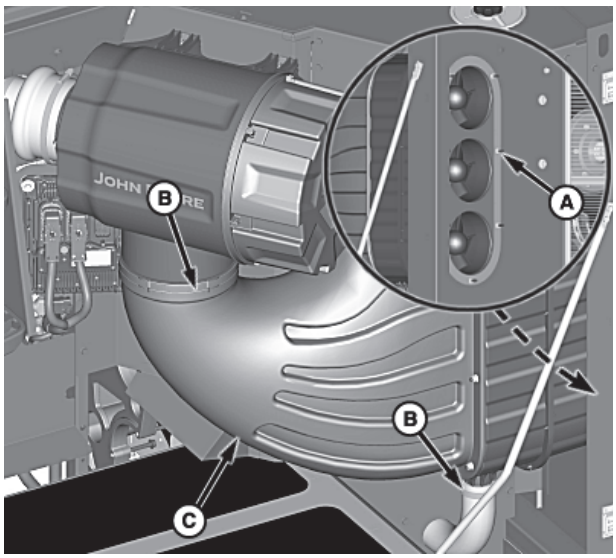
次のページへ

OUO6075,0001563 -40-09JUL13-4/10

ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。

エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。

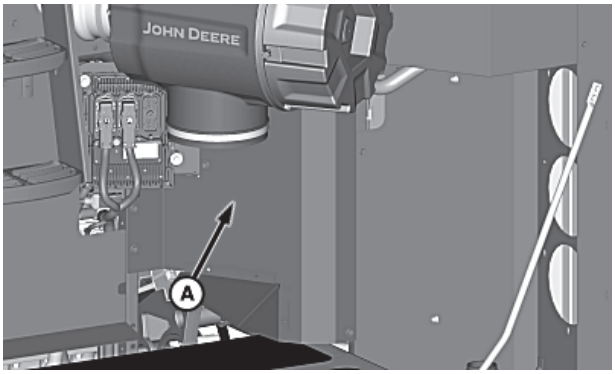
A：ナット (7 個使用)
B：クランプ
C：エアダクト



OUO6075,0001563 -40-09JUL13-5/10

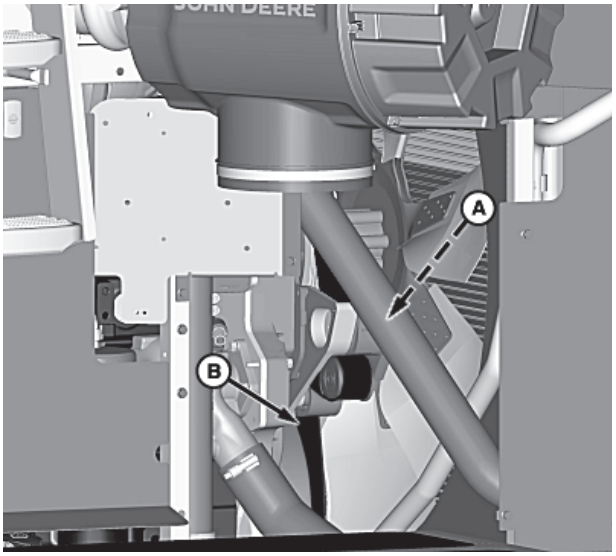
シールド (A) を取り外します。

A：シールド



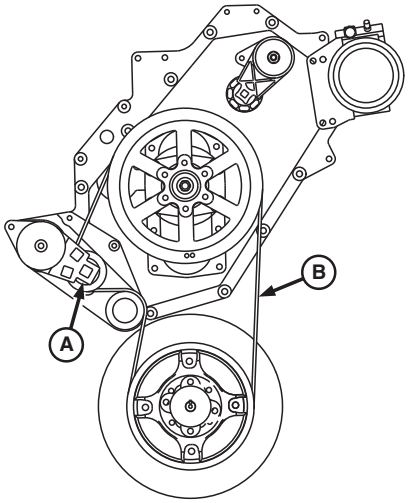
次のページへ

OUO6075,0001563 -40-09JUL13-6/10



A：テンショナアーム　　B：ファンベルト

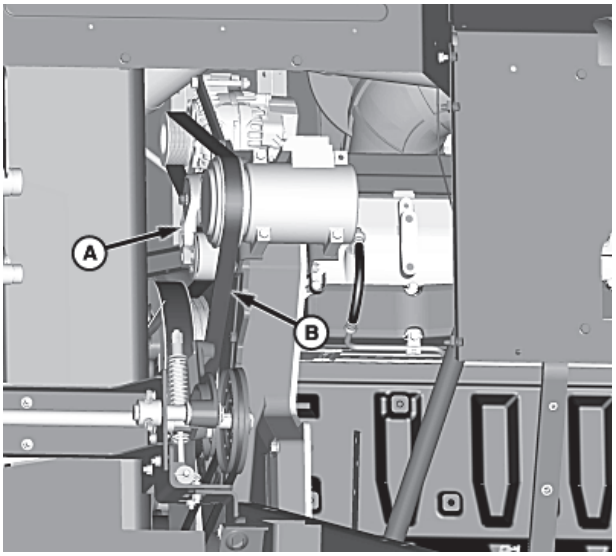
ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。



ファンベルトの取り回し

ベルト (B) を取り外してファンブレードからベルトを取り外します。

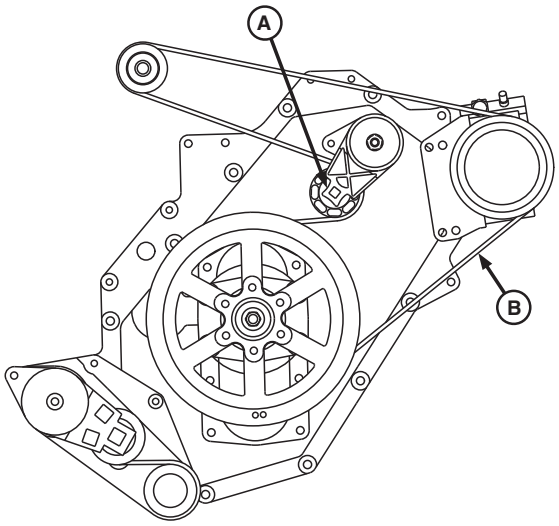
OUO6075,0001563 -40-09JUL13-7/10



A：テンショナアーム　　B：補機ベルト

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

ベルト (B) を取り外してファンブレードからベルトを取り外します。



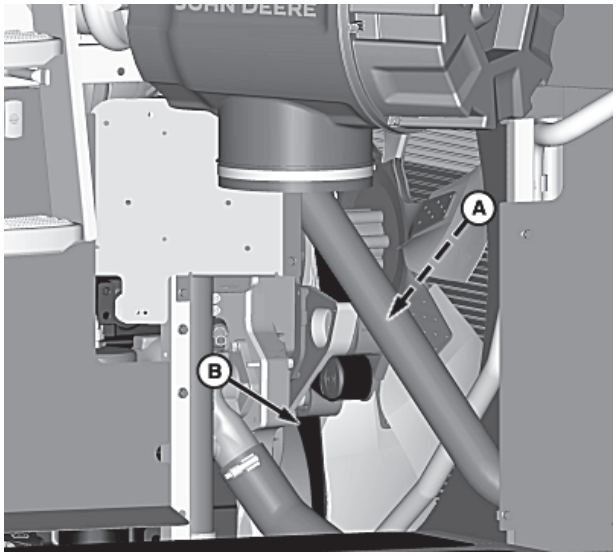
補機ベルトの取り回し

ファンブレードに交換用ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアームからベルト張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。

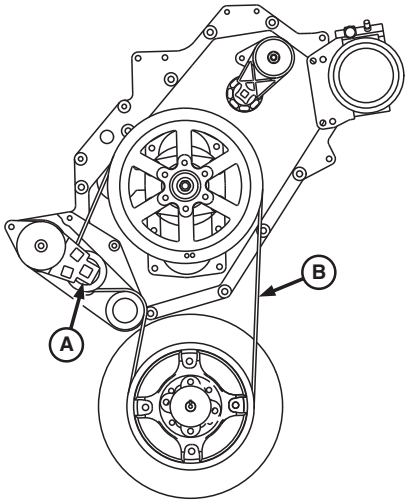
次のページへ

OUO6075,0001563 -40-09JUL13-8/10



A：テンショナアーム　　**B：ファンベルト**

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。



ファンベルトの取り回し

前の手順で取り外したベルト (B) を取り付けて、ファンにベルトをかけます。

OUO6075,0001563 -40-09JUL13-9/10

ロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り付けます。

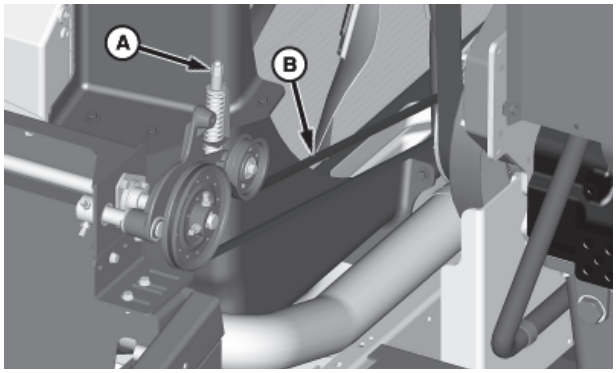
座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。

前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。

セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。



A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト

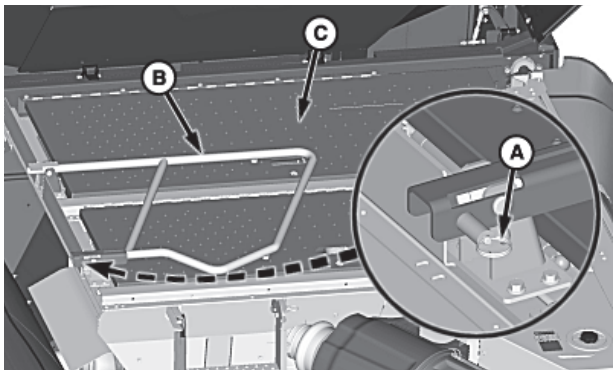
OUO6075,0001563 -40-09JUL13-10/10

ファンドライブベルト：交換 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

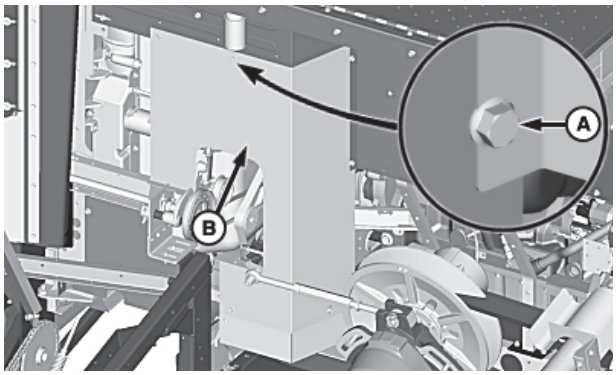
A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー



OUO6075,0001564 -40-09JUL13-1/8

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド

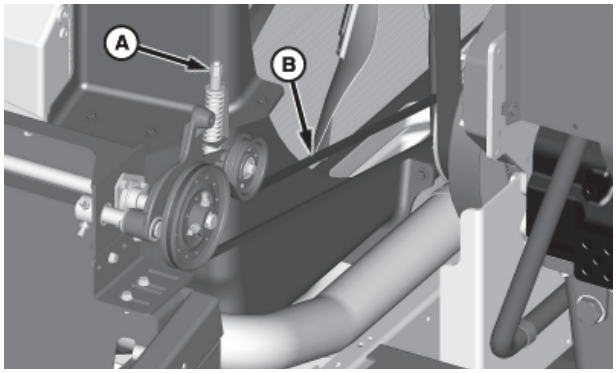


エンジンの前側

OUO6075,0001564 -40-09JUL13-2/8

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト

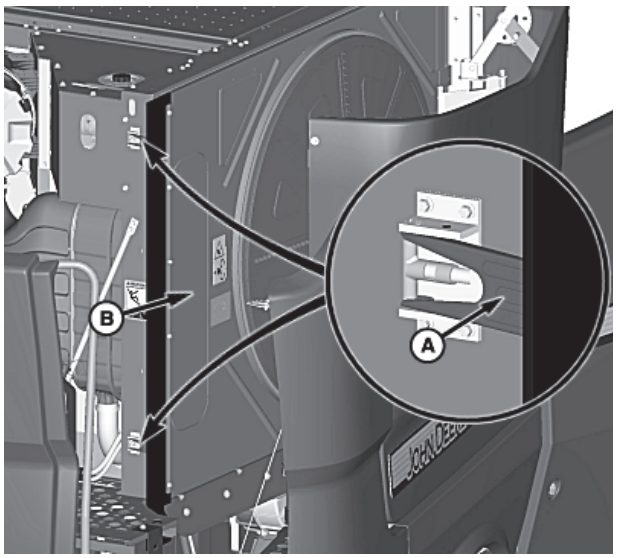


次のページへ

OUO6075,0001564 -40-09JUL13-3/8

ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

A：ラッチ
B：ロータリースクリーンドア

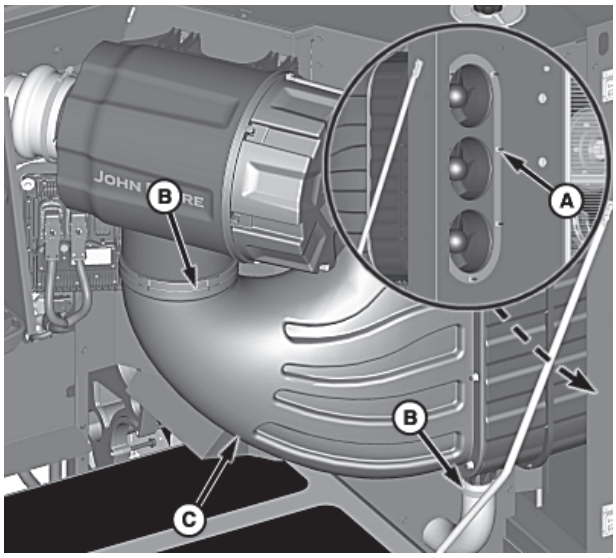


OUO6075,0001564 -40-09JUL13-4/8

ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。

エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。

A：ナット (7 個使用)
B：クランプ
C：エアダクト

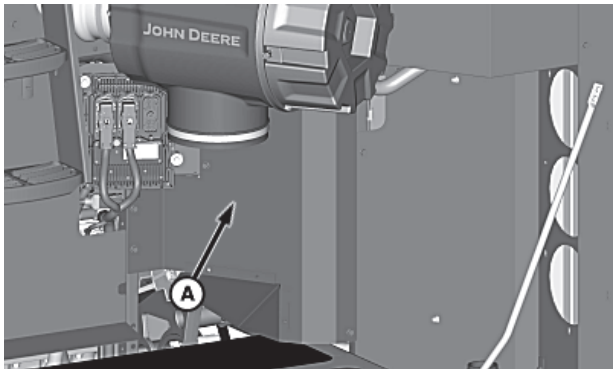


次のページへ

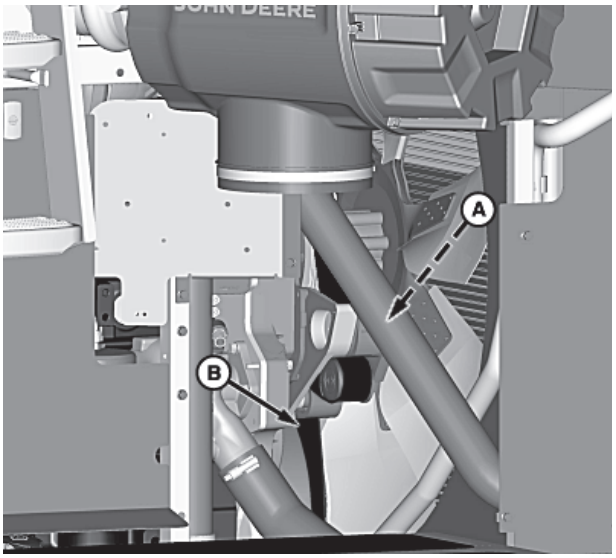
OUO6075,0001564 -40-09JUL13-5/8

シールド (A) を取り外します。

A：シールド



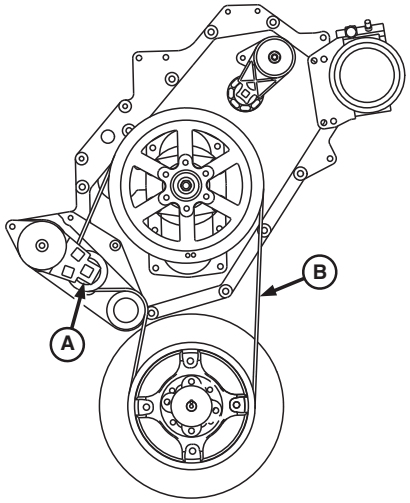
OUO6075,0001564 -40-09JUL13-6/8



A：テンショナアーム　　**B：ファンベルト**

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

ベルト (B) を取り外してファンブレードからベルトを取り外します。



ファンベルトの取り回し

ファンブレードに交換用ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアームからベルト張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。

次のページへ

OUO6075,0001564 -40-09JUL13-7/8

ロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り付けます。

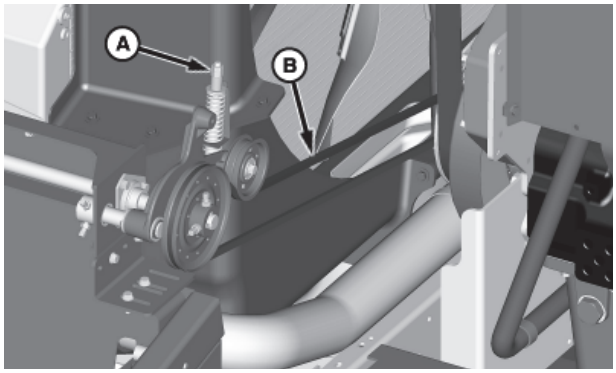
座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。

前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。

セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。

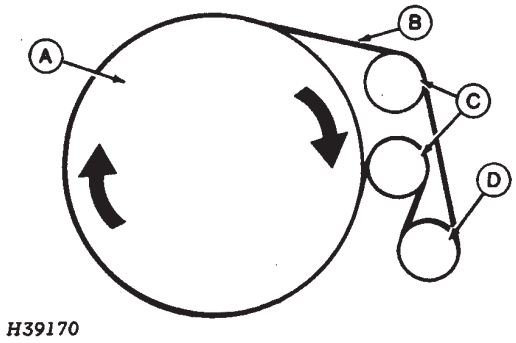


A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト

OUO6075,0001564 -40-09JUL13-8/8

ロータリースクリーンベルト：取り回し

A：ロータリースクリーン
B：ベルト
C：アイドラ
D：ドライブシーブ

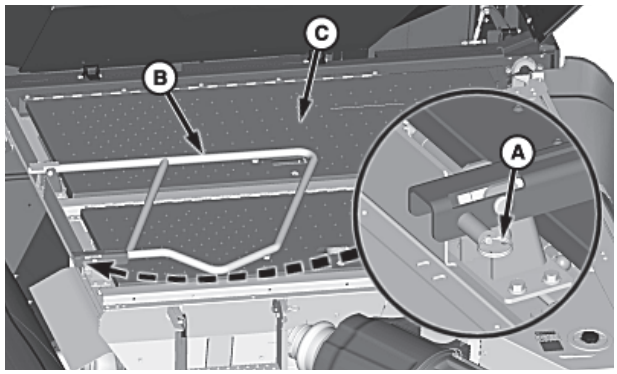


OUO6075,00006CE -40-05MAR10-1/1

ロータリースクリーンドライブベルト：交換 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



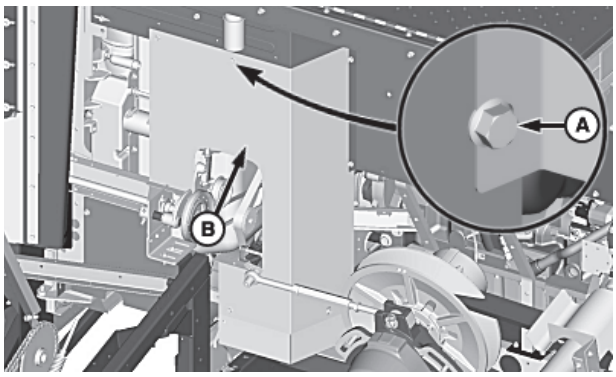
A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー

次のページへ

OUO6075,00013C2 -40-08FEB13-1/3

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド



エンジンの前側

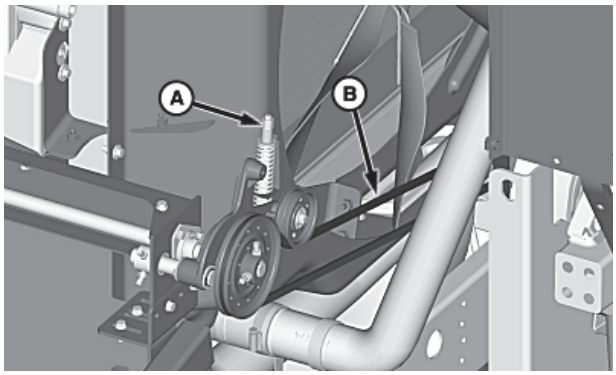
OUO6075,00013C2 -40-08FEB13-2/3

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナットを締め付けます。

前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト



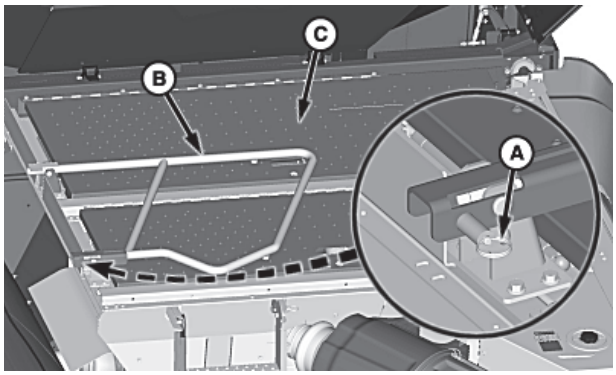
OUO6075,00013C2 -40-08FEB13-3/3

ロータリースクリーンドライブベルト：交換 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー

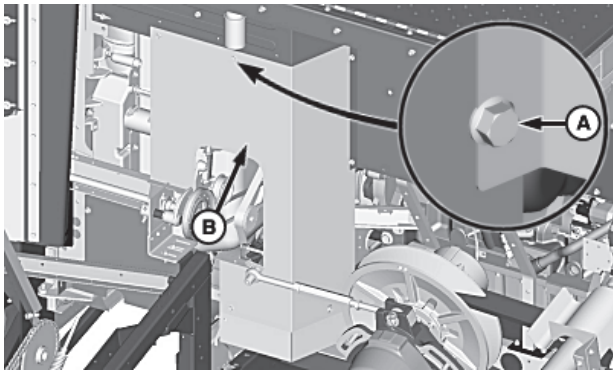


次のページへ

OUO6075,0001565 -40-09JUL13-1/3

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド



エンジンの前側

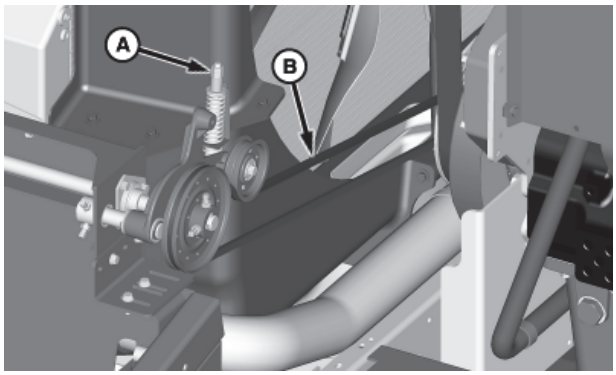
OUO6075,0001565 -40-09JUL13-2/3

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナットを締め付けます。

前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

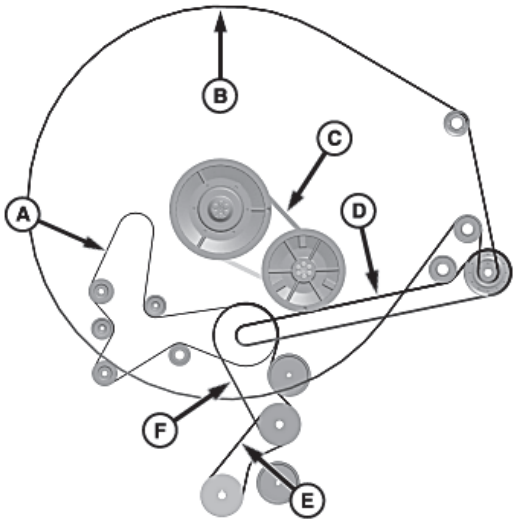
A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト



OUO6075,0001565 -40-09JUL13-3/3

エンジンベルト：取り回し (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670)

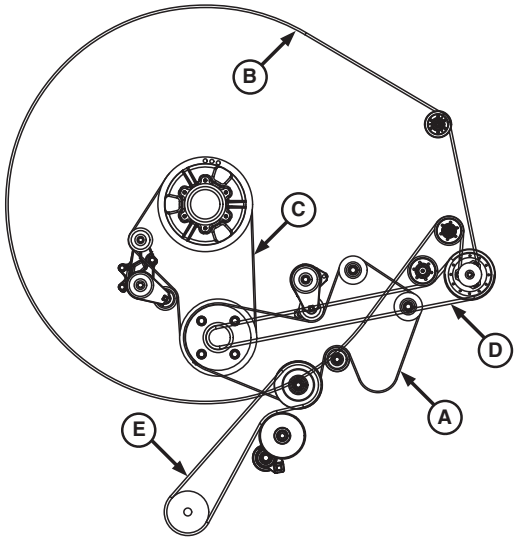
A：エアコンコンプレッサ、オルタネータベルト
B：ロータリースクリーンドライブベルト、スクリーン側
C：回転数可変ファンベルト
D：ロータリースクリーンドライブベルト、エンジン側
E：バキュームファン従動ベルト、ファン側
F：バキュームファンドライブベルト、エンジン側



OUO6075,00016D0 -40-26NOV13-1/1

エンジンベルト：取り回し (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690)

A：エアコンコンプレッサ、オルタネータベルト
B：ロータリースクリーンドライブベルト、スクリーン側
C：ファンドライブベルト
D：ロータリースクリーンドライブベルト、エンジン側
E：バキュームファンドライブベルト



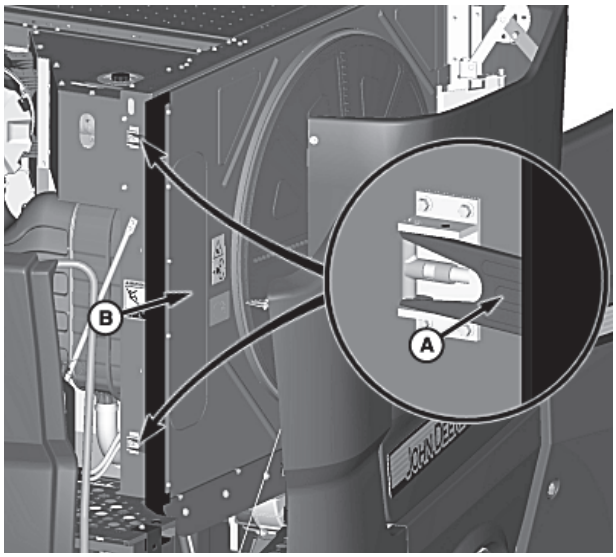
OUO6075,00016D1 -40-17FEB14-1/1

エアコンコンプレッサ／オルタネータベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナルティア 4／ステージ IV) (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

A：ラッチ
B：ロータリースクリーンドア



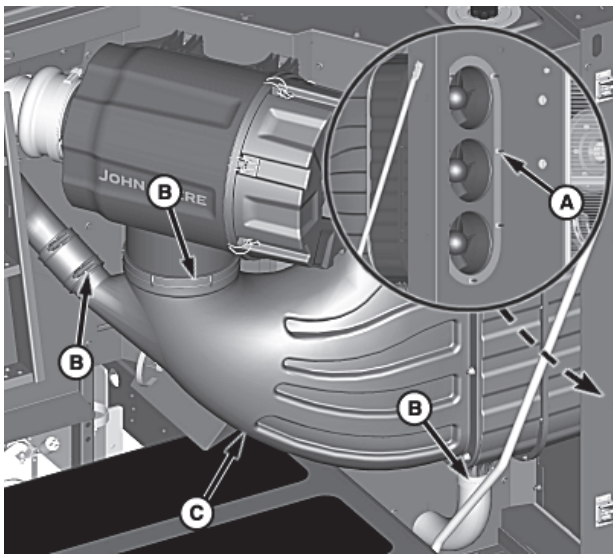
次のページへ

OUO6075,00016D2 -40-18MAR14-1/8

ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。

エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。

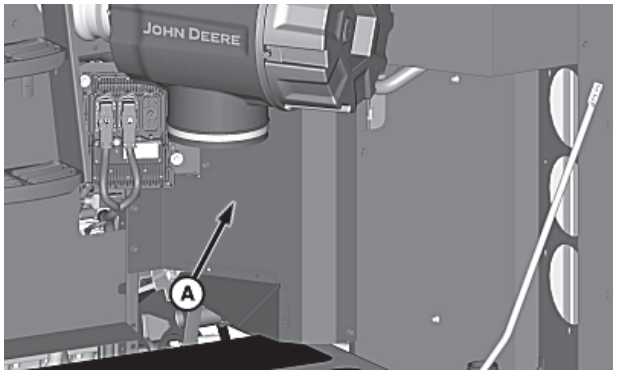
A：ナット (7 個使用)
B：クランプ
C：エアダクト



OUO6075,00016D2 -40-18MAR14-2/8

シールド (A) を取り外します。

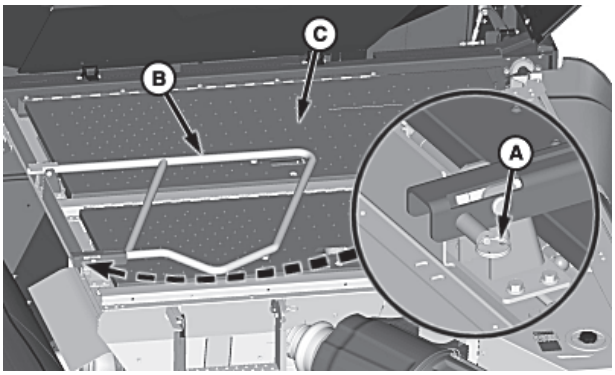
A：シールド



OUO6075,00016D2 -40-18MAR14-3/8

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー

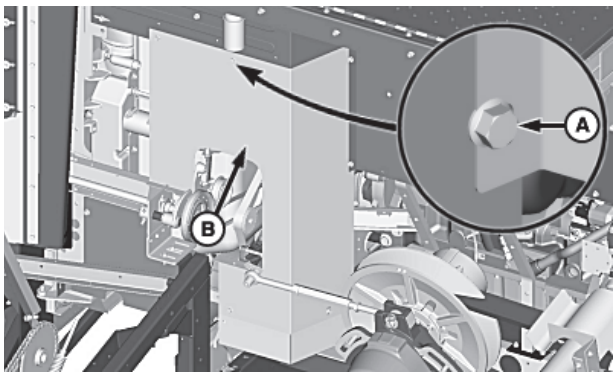


次のページへ

OUO6075,00016D2 -40-18MAR14-4/8

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド



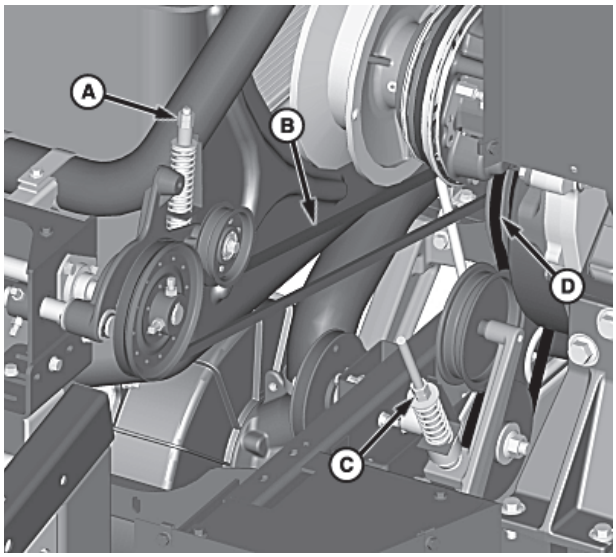
エンジンの前側

OUO6075,00016D2 -40-18MAR14-5/8

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

ナット (C) を緩めて、バキュームファンドライブベルト (D) を取り外します。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト
C：ナット
D：バキュームファンドライブベルト



次のページへ

OUO6075,00016D2 -40-18MAR14-6/8

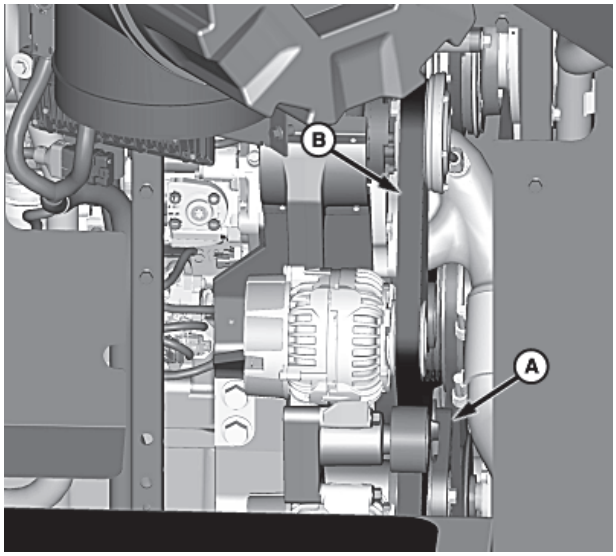
ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

ベルト (B) を取り外してファンブレードからベルトを取り外します。

ファンブレードに交換用ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアームからベルト張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。

A：テンショナアーム
B：ベルト



OUO6075,00016D2 -40-18MAR14-7/8

バキュームファンドライブベルト (D) を取り付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。

ロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。

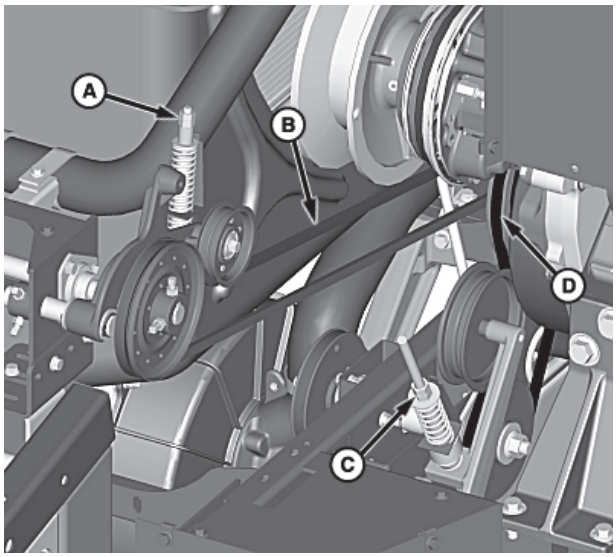
前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。

セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト
C：ナット
D：バキュームファンドライブベルト



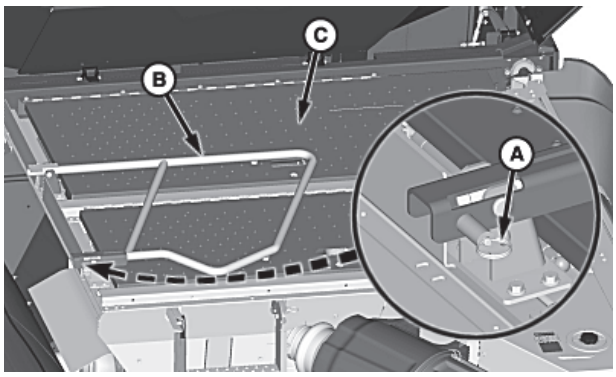
OUO6075,00016D2 -40-18MAR14-8/8

エアコンコンプレッサ／オルタネータベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

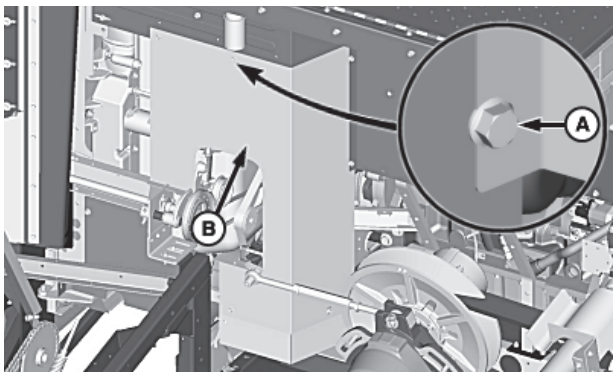
A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー



OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-1/12

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド

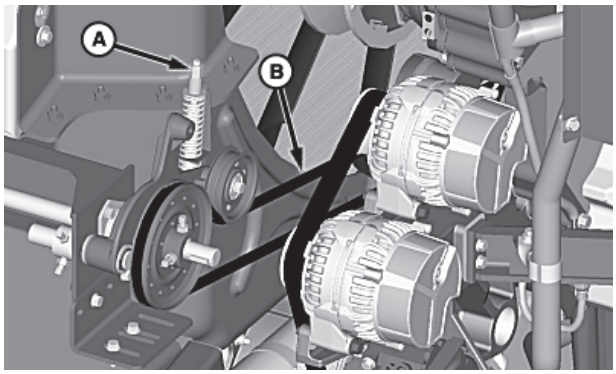


エンジンの前側

OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-2/12

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト

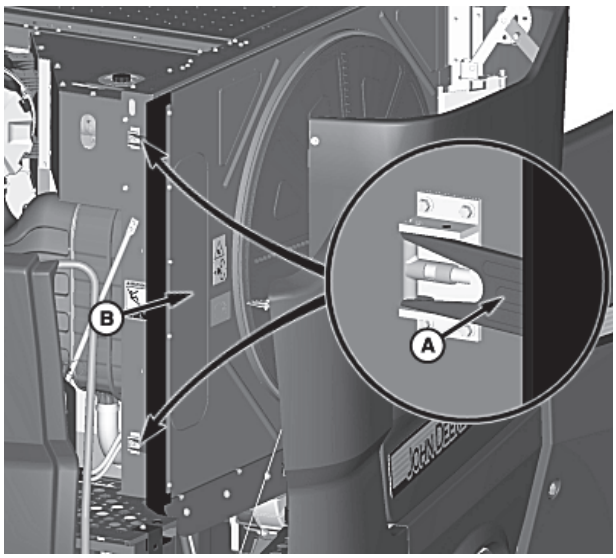


次のページへ

OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-3/12

ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

A：ラッチ
B：ロータリースクリーンドア

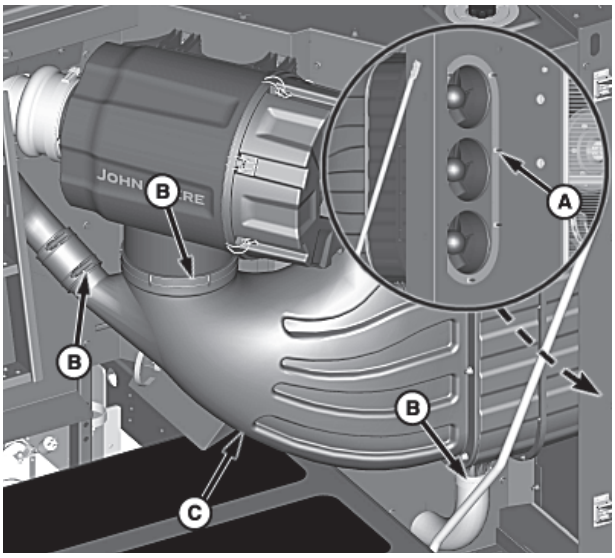


OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-4/12

ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。

エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。

A：ナット (7 個使用)
B：クランプ
C：エアダクト

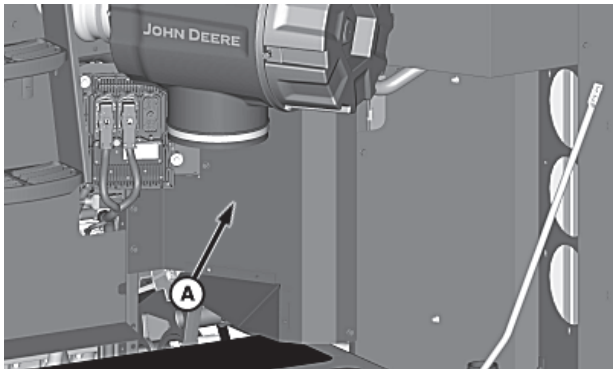


次のページへ

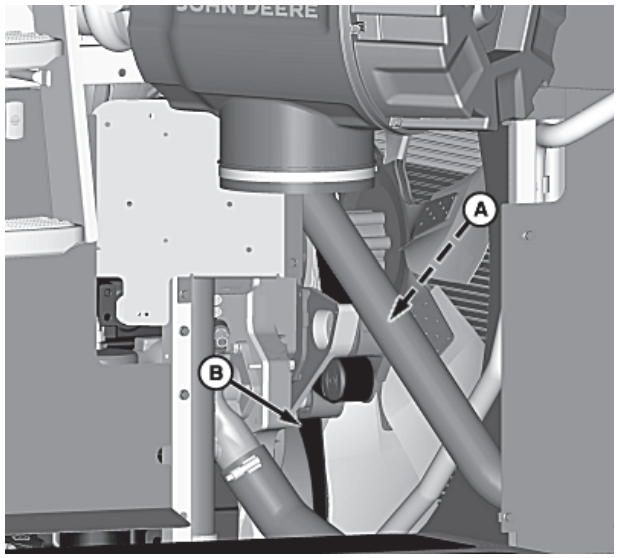
OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-5/12

シールド (A) を取り外します。

A：シールド

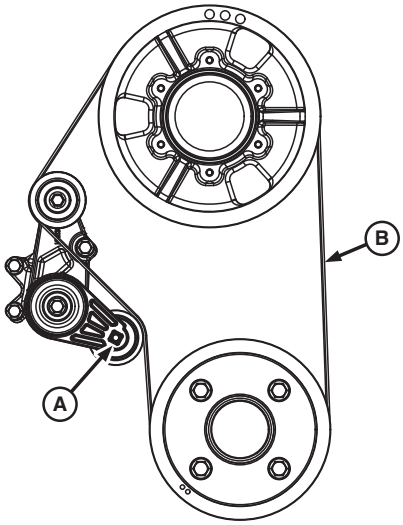


OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-6/12



A：テンショナアーム　　**B：ファンベルト**

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。



ファンベルトの取り回し

ベルト (B) を取り外してファンブレードからベルトを取り外します。

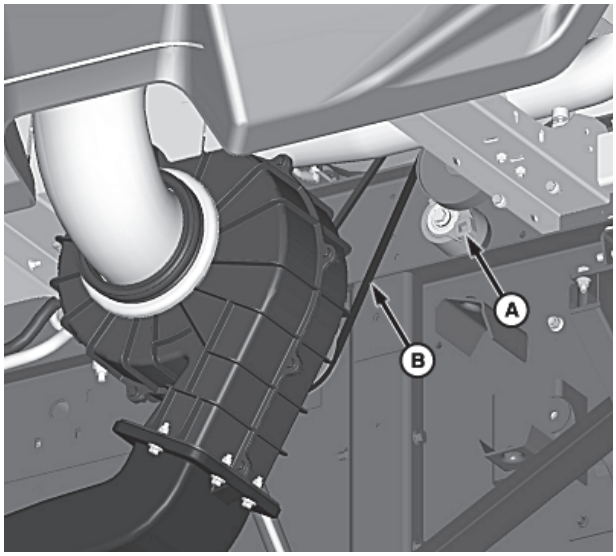
次のページへ

OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-7/12

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

ラジエータの下にあるバキュームファンドライブベルト (B) を取り外します。

A：テンショナアーム
B：バキュームファンドライブベルト



OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-8/12

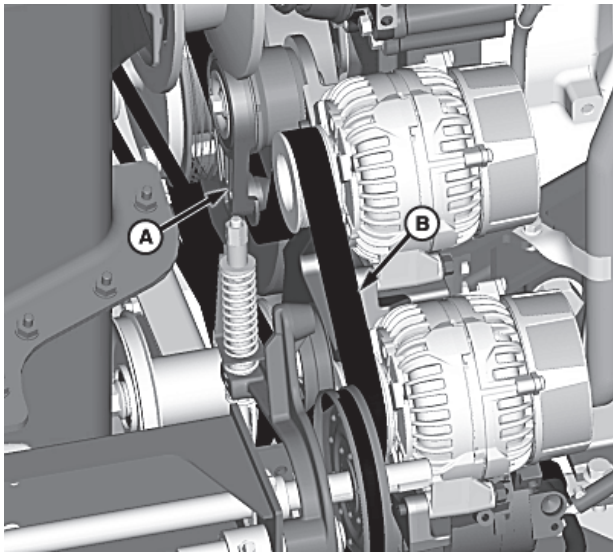
ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

ベルト (B) を取り外してファンブレードからベルトを取り外します。

ファンブレードに交換用ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアームからベルト張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。

A：テンショナアーム
B：ベルト



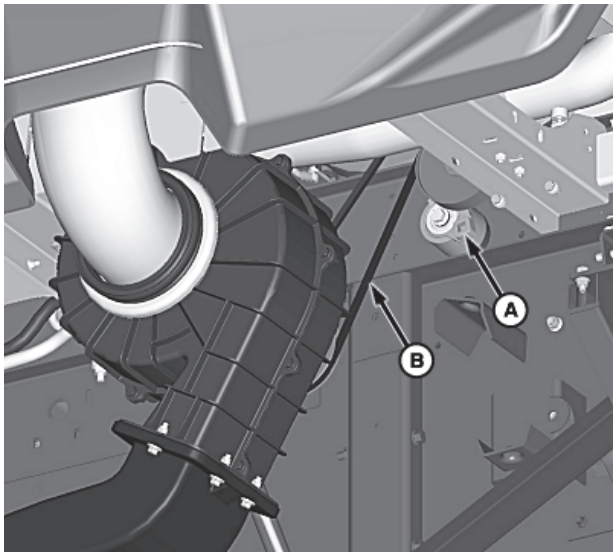
次のページへ

OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-9/12

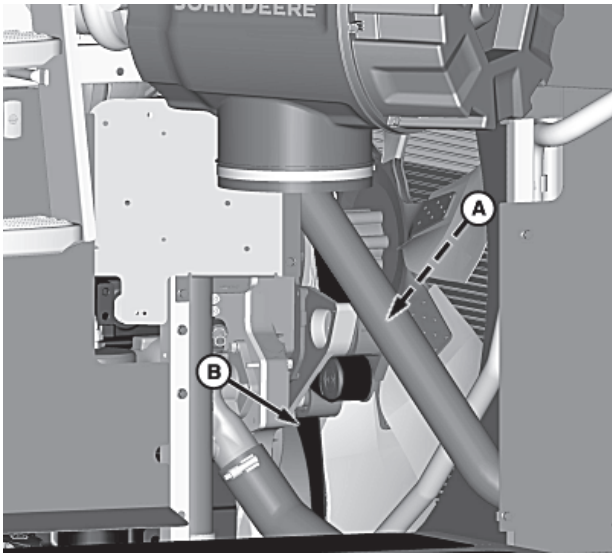
バキュームファンドライブベルト (B) を取り付けます。

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してベルトを取り付けます。

A：テンショナアーム
B：バキュームファンドライブベルト

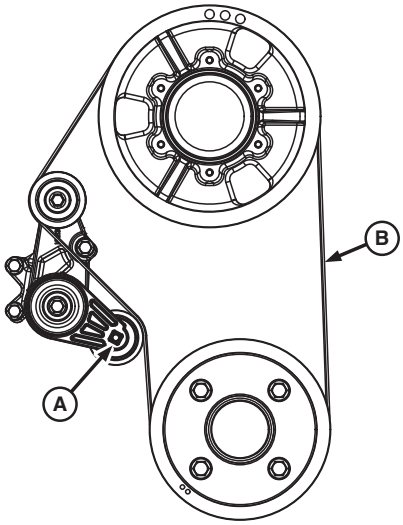


OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-10/12



A：テンショナアーム　　**B：ファンベルト**

ベルト (B) を取り付けてファンブレードにベルトをかけます。



ファンベルトの取り回し

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してベルトを取り付けます。

次のページへ

OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-11/12

ロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り付けます。

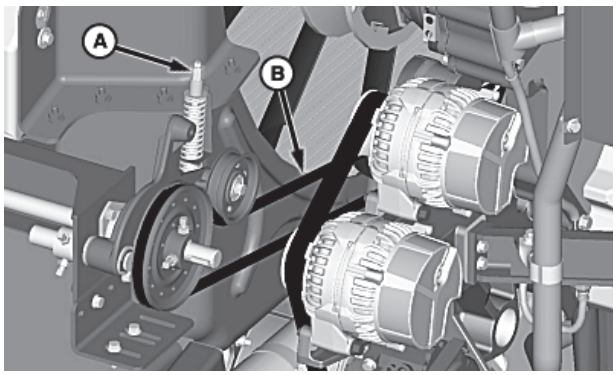
座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。

前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。

セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。



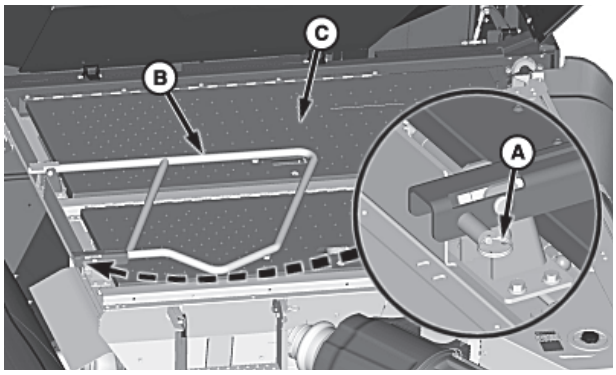
A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト

OUO6075,00016D3 -40-18MAR14-12/12

ロータリースクリーンドライブベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

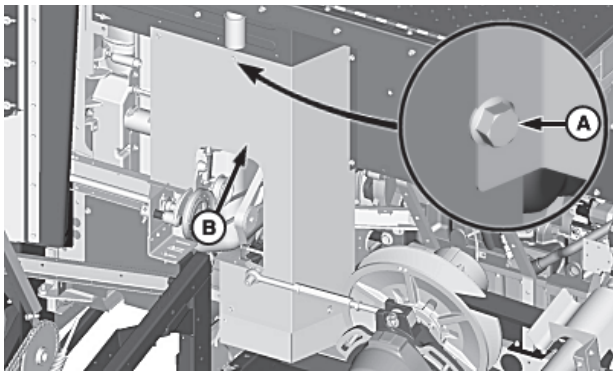
ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー

OUO6075,00016D4 -40-26NOV13-1/3

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。



エンジンの前側

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド

次のページへ

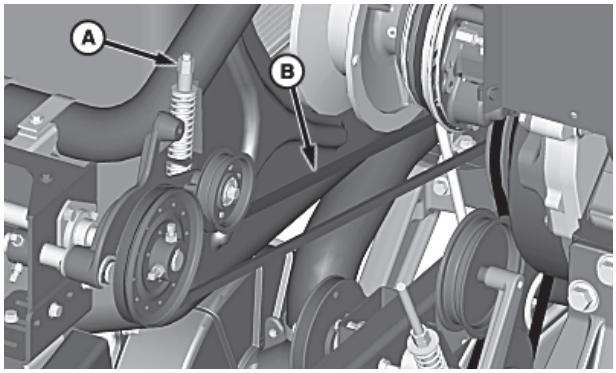
OUO6075,00016D4 -40-26NOV13-2/3

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナットを締め付けます。

前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト



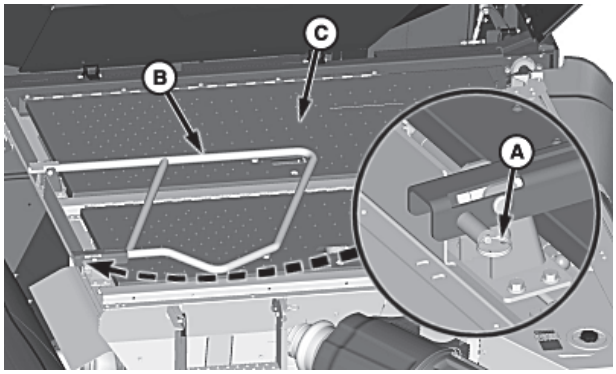
OUO6075,00016D4 -40-26NOV13-3/3

ロータリースクリーンドライブベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

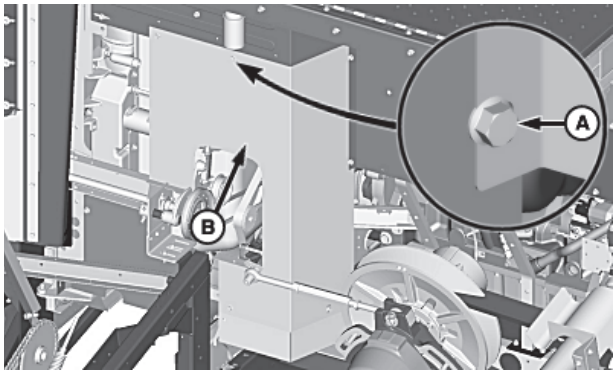
A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー



OUO6075,00016D5 -40-17FEB14-1/3

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド



エンジンの前側

次のページへ

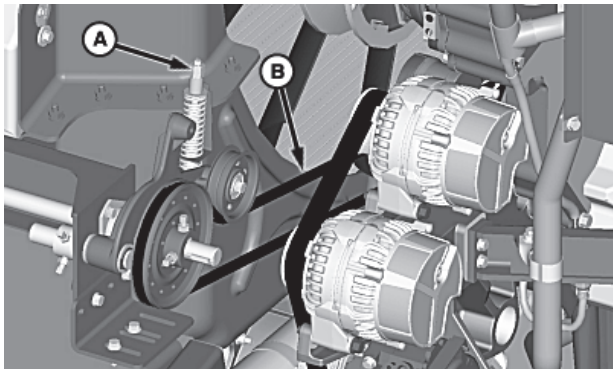
OUO6075,00016D5 -40-17FEB14-2/3

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナットを締め付けます。

前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト



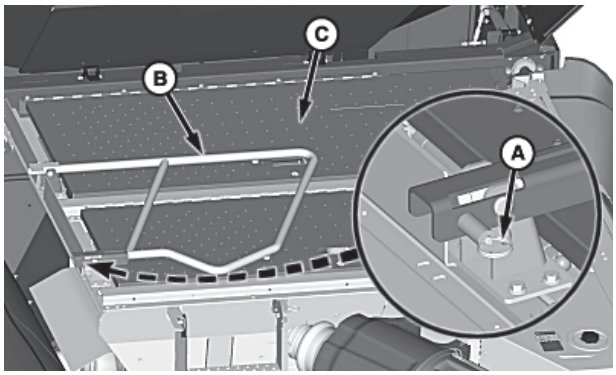
OUO6075,00016D5 -40-17FEB14-3/3

バキュームファンドライブベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

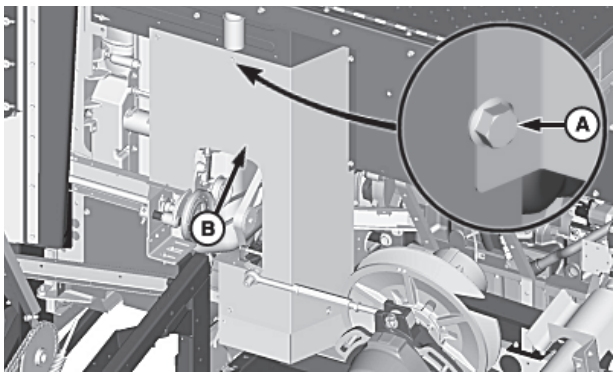
A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー



OUO6075,00016D6 -40-26NOV13-1/3

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド



エンジンの前側

次のページへ

OUO6075,00016D6 -40-26NOV13-2/3

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

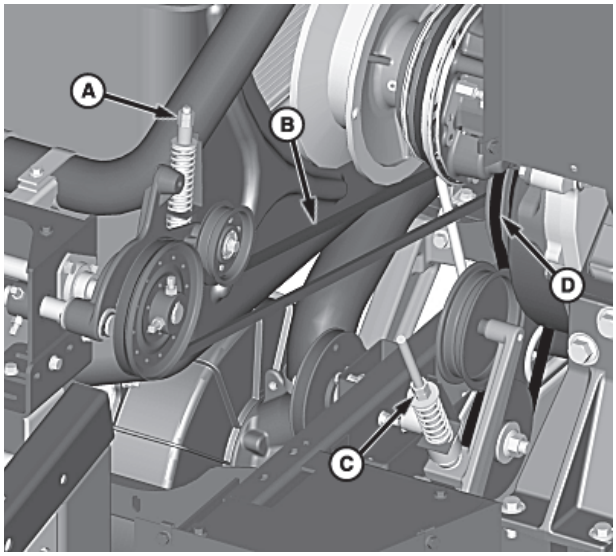
ナット (C) を緩めて、バキュームファンドライブベルト (D) を取り外します。

交換用バキュームファンドライブベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナットを締め付けます。

ロータリースクリーンドライブベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナットを締め付けます。

前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト
C：ナット
D：バキュームファンドライブベルト



OUO6075,00016D6 -40-26NOV13-3/3

バキュームファンドライブベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

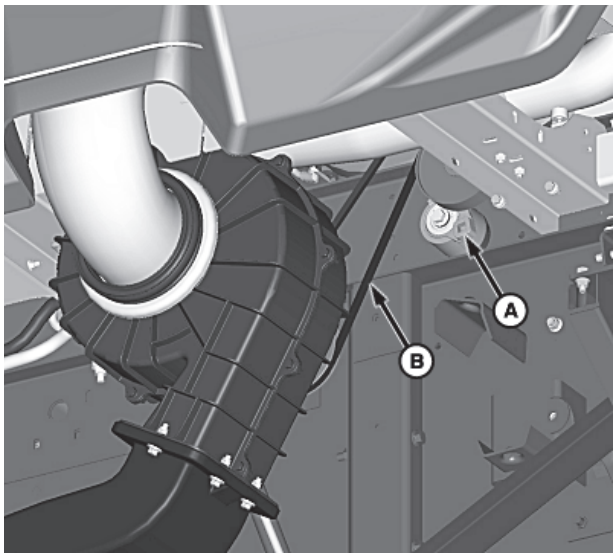
ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

ラジエータの下にあるバキュームファンドライブベルト (B) を取り外します。

交換用バキュームファンドライブベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用して、テンショナアームからベルト張力を解放してベルトを取り付けます。

A：テンショナアーム
B：バキュームファンドライブベルト



OUO6075,00016D7 -40-17FEB14-1/1

バキュームファン従動ベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670)

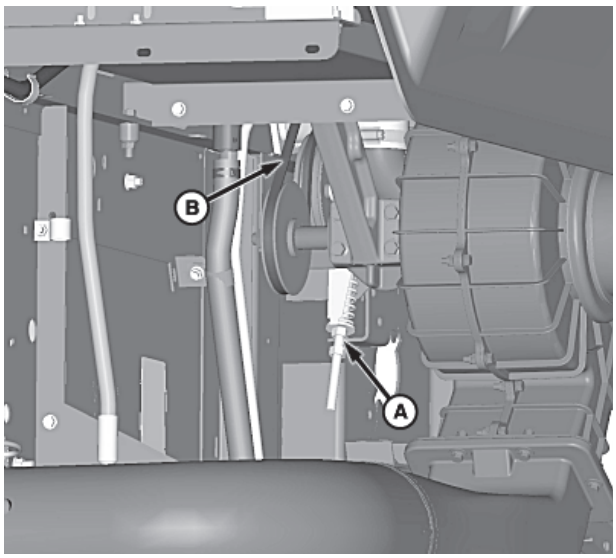
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ナット (A) を緩めて、ラジエータの下にあるバキュームファン従動ベルト (B) を取り外します。

交換用バキュームファン従動ベルトを取り付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナットを締め付けます。

A：ナット
B：バキュームファン従動ベルト



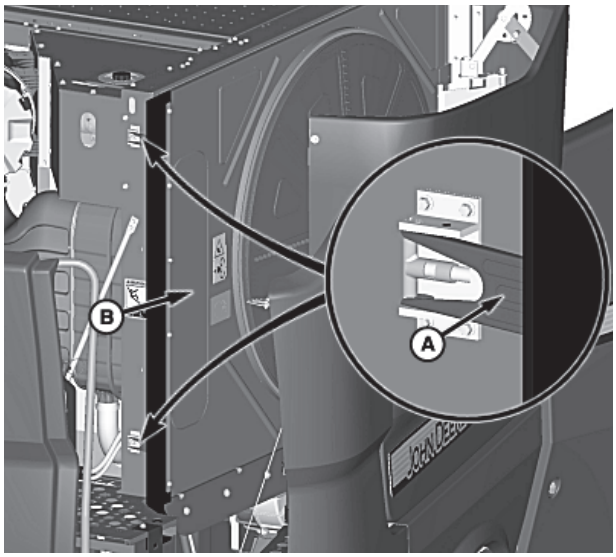
OUO6075,00016D8 -40-26NOV13-1/1

回転数可変ファンドライブベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

A：ラッチ
B：ロータリースクリーンドア



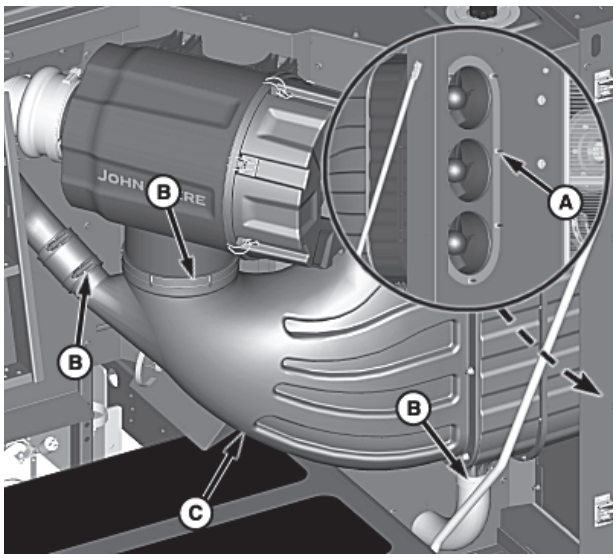
次のページへ

OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-1/12

ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。

エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。

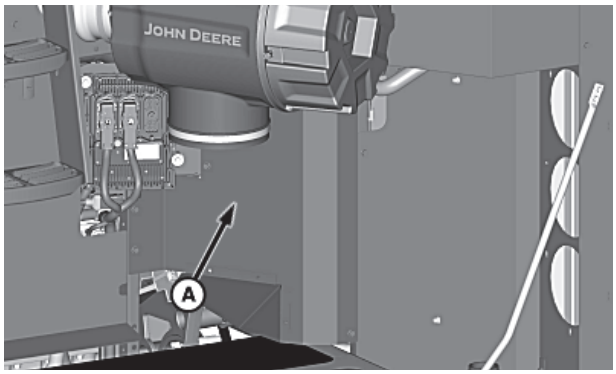
A：ナット (7 個使用)
B：クランプ
C：エアダクト



OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-2/12

シールド (A) を取り外します。

A：シールド



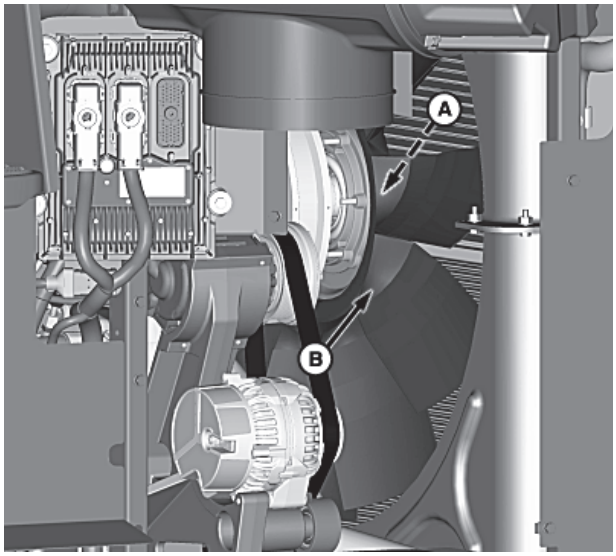
次のページへ

OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-3/12

ボルト (A) をファンアセンブリ (B) から取り外します。

ファンアセンブリを邪魔にならない位置に移動します。

A：ボルト (6 個使用)
B：ファンアセンブリ

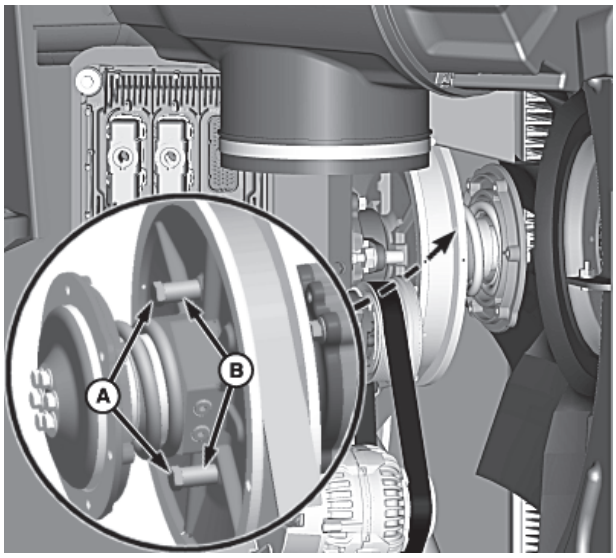


OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-4/12

ボルト (A) とスペーサ (B) を取り外します。

前の手順で取り外したボルトをスプリングが完全に圧縮されるまで取り付けます。

A：ボルト
B：スペーサ

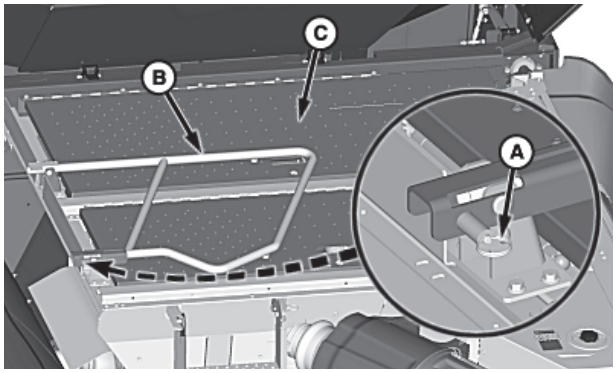


次のページへ

OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-5/12

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

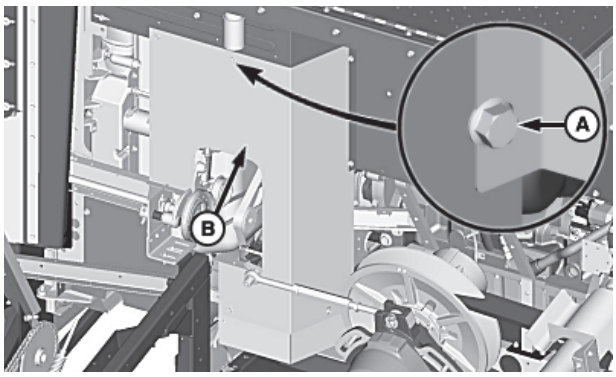
A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー



OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-6/12

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド

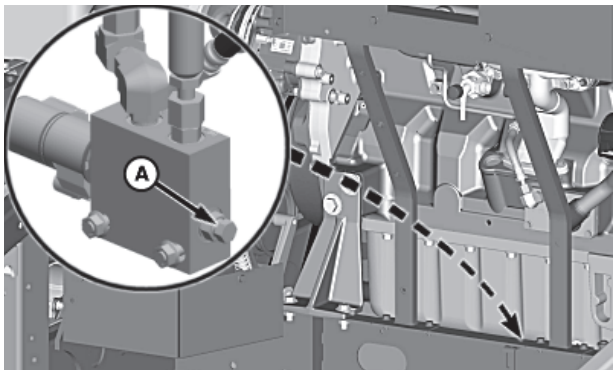


エンジンの前側

OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-7/12

サポートレールの前側にあるバルブを確認し、ブリードスクリュー (A) を緩めてシーブから圧力を解放します。

A：ブリードスクリュー



次のページへ

OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-8/12

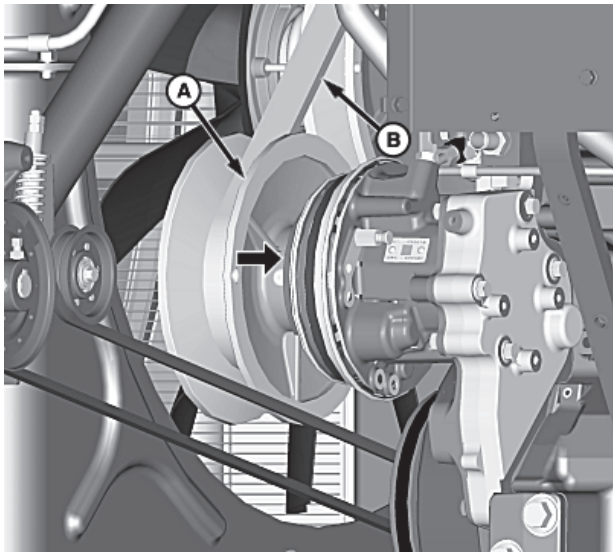
ブリードスクリューを緩めた状態で、完全に開くまでシーブ (A) をエンジンに向かって引っ張ります。

バリアブルスピードベルト (B) を取り外します。

注記：ベルトは最初にドライブシーブに取り付けてから従動シーブに取り付ける必要があります。

交換用バリアブルスピードベルトを取り付けます。

A：シーブ
B：バリアブルスピードベルト

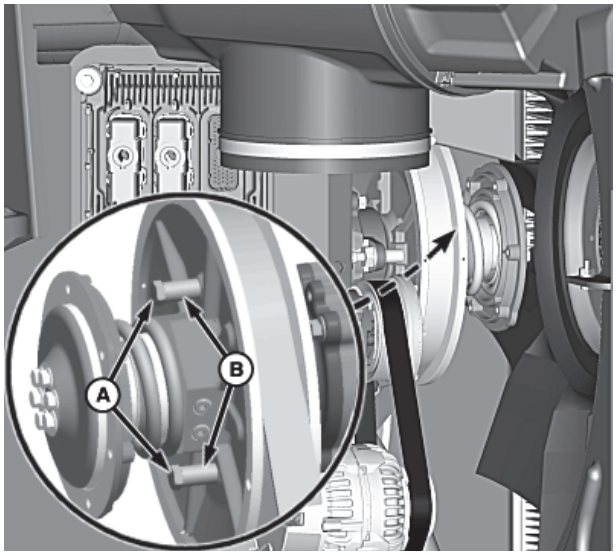


OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-9/12

重要：回転数可変ファンで回転数を調整するには、スプリングの圧縮を解除する必要があります。

バリアブルスピードベルトを取り付けた状態で、ボルト (A) を取り外してスプリングの圧縮を解除し、前の手順で取り外したスペーサ (B) を取り付けます (図示)。

A：ボルト
B：スペーサ



次のページへ

OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-10/12

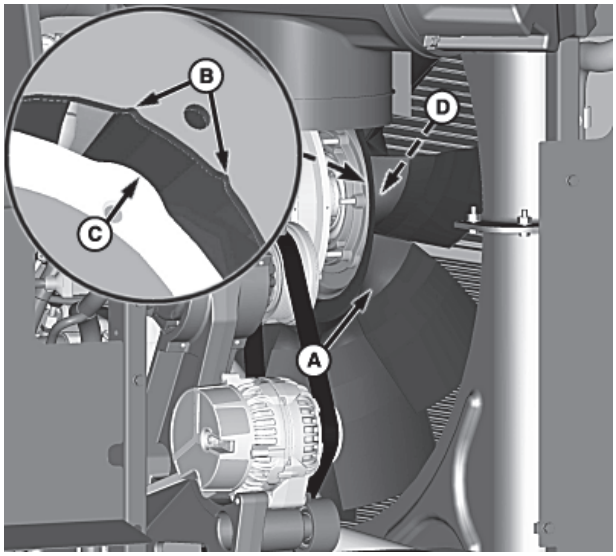
インデックスマーク (B) がボス (C) の両側に配置されるようにファンアセンブリ (A) を取り付けます。

前の手順で取り外したボルト (D) を取り付けます。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト
トルク .....40 N•m (30 lb-ft)

A：ファンアセンブリ
B：インデックスマーク
C：ボス
D：ボルト (6 本使用)



OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-11/12

サポートレールの前側にあるバルブを確認して、ブリードスクリューとナット (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ブリードスクリューとナット
トルク .....23 N•m (17 lb-ft)

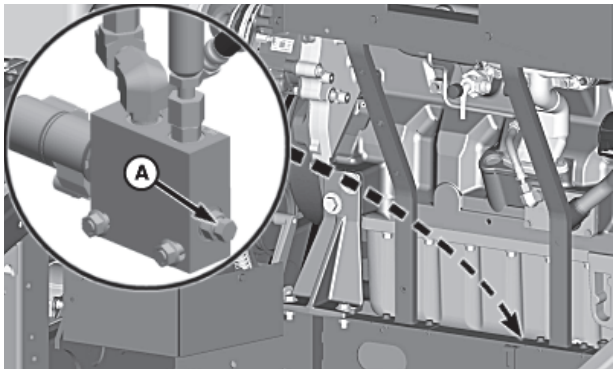
前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。

セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。

A：ブリードスクリューとナット



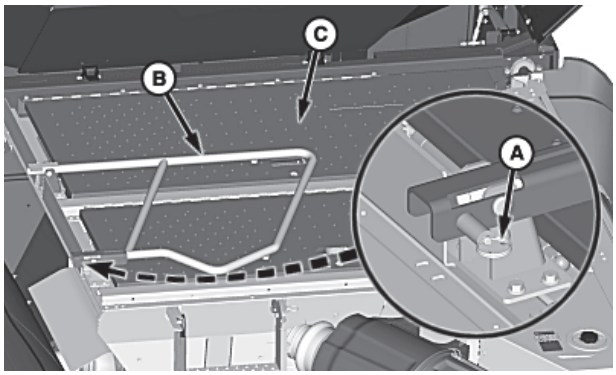
OUO6075,00016D9 -40-18MAR14-12/12

ファンドライブベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690)

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー

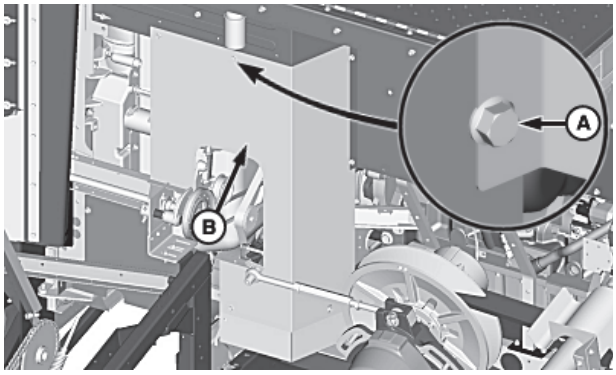


次のページへ

OUO6075,00016DA -40-18MAR14-1/8

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

A：ボルト (7 個使用)
B：シールド

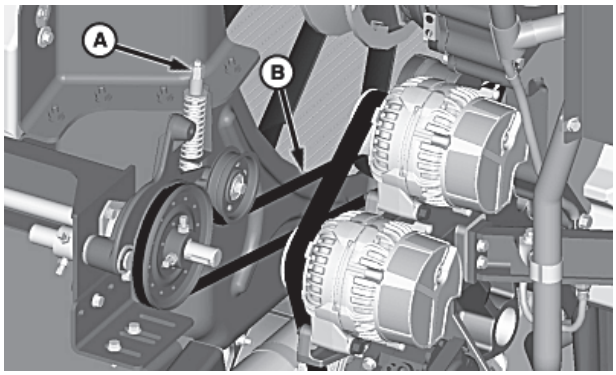


エンジンの前側

OUO6075,00016DA -40-18MAR14-2/8

ナット (A) を緩めてロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り外します。

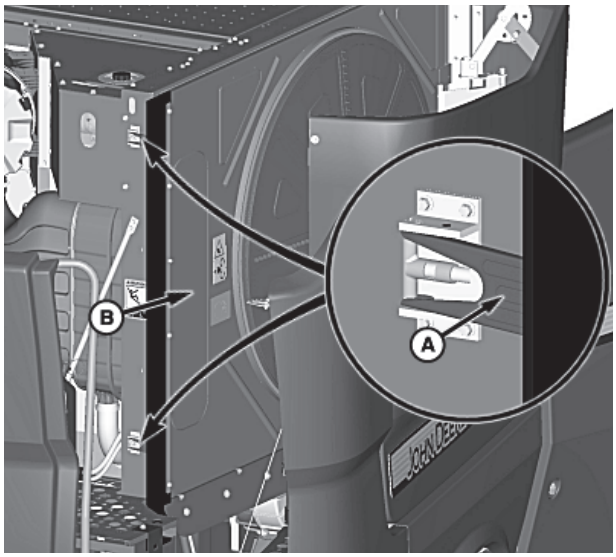
A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト



OUO6075,00016DA -40-18MAR14-3/8

ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

A：ラッチ
B：ロータリースクリーンドア



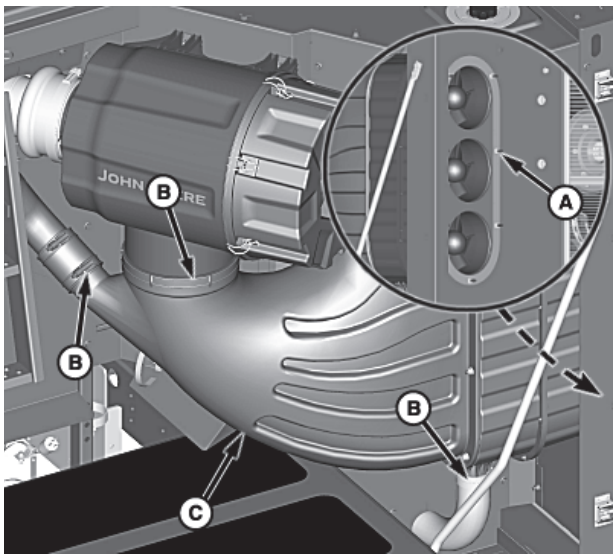
次のページへ

OUO6075,00016DA -40-18MAR14-4/8

ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。

エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。

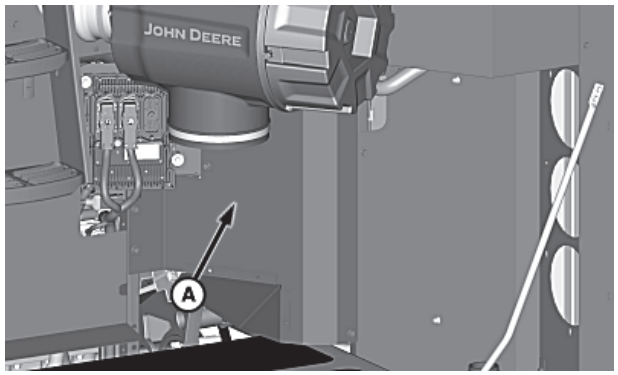
A：ナット (7 個使用)
B：クランプ
C：エアダクト



OUO6075,00016DA -40-18MAR14-5/8

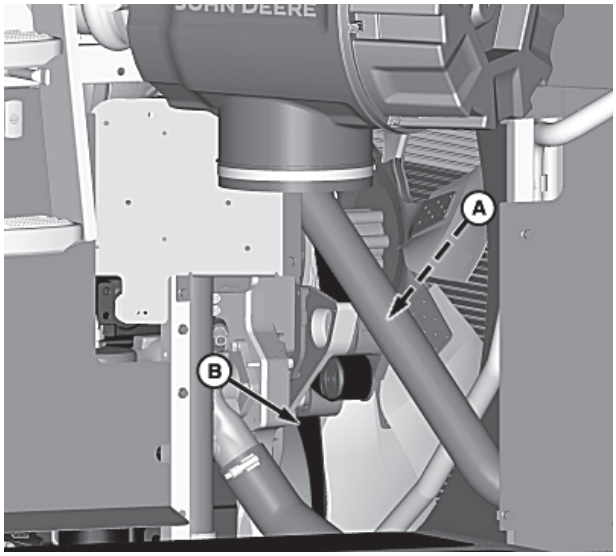
シールド (A) を取り外します。

A：シールド



次のページへ

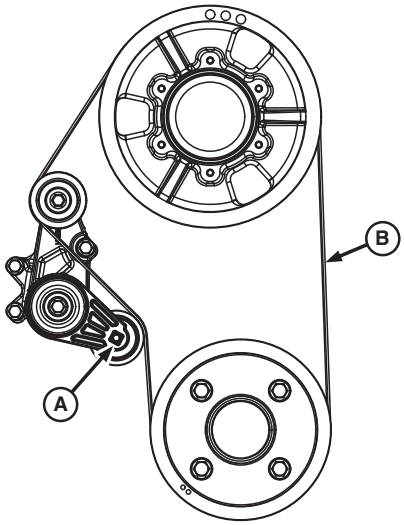
OUO6075,00016DA -40-18MAR14-6/8



A：テンショナアーム　　B：ファンベルト

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

ベルト (B) を取り外してファンブレードからベルトを取り外します。



ファンベルトの取り回し

ファンブレードに交換用ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用してテンショナアームからベルト張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。

OUO6075,00016DA -40-18MAR14-7/8

ロータリースクリーンドライブベルト (B) を取り付けます。

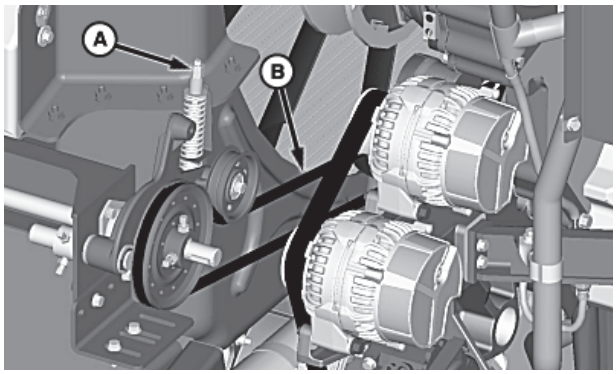
座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。

前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。

セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。



A：ナット
B：ロータリースクリーンドライブベルト

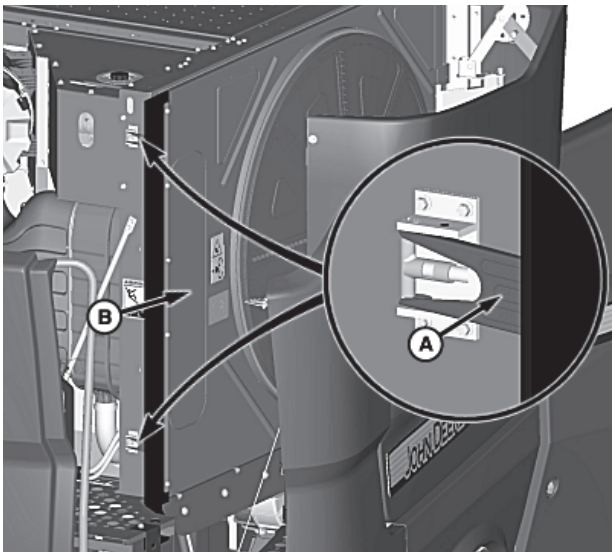
OUO6075,00016DA -40-18MAR14-8/8

ロータリースクリーン、オイルクーラー、コンデンサ、ラジエータ、チャージャエアクーラー：清掃

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

A：ラッチ
B：ロータリースクリーンドア



OUO6075,00016DB -40-26NOV13-1/3

ティア 2／ステージ II (S660、S670)：

注記：圧縮空気を内側から吹き付けて各部を清掃します。

ロータリースクリーンを毎日点検して、自由に回転することを確認してください。

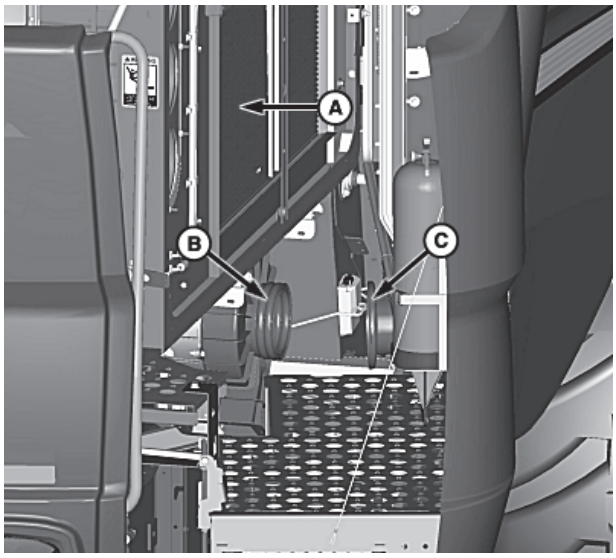
泥や籾殻がロータリースクリーンやその背後に堆積している場合は、ブラシと圧縮空気を使用してスクリーンを清掃してください。

コンデンサ (A)、オイルクーラー、チャージャエアクーラー、およびラジエータを清掃します。

下部真空ダクト (B) と搬送ダクト (C) から泥を除去します。

重要：高圧の空気や水を使用する場合は、クーラーのフィンが損傷しないように注意してください。曲がったフィンをまっすぐにするには、フィンコームを使用してください。曲がったフィンはクーラーの性能を低下させます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。



A：コンデンサ
B：真空ダクト
C：搬送ダクト

次のページへ

OUO6075,00016DB -40-26NOV13-2/3

インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV (S660、S670、S680、S685、S690)

注記：圧縮空気を内側から吹き付けて各部を清掃します。

ロータリースクリーンを毎日点検して、自由に回転することを確認してください。

泥や籾殻がロータリースクリーンやその背後に堆積している場合は、ブラシと圧縮空気を使用してスクリーンを清掃してください。

ロックアウトピン (A) を引っ張り、燃料クーラー (B) を回転させて清掃します。

ラジエータ (C)、オイルクーラー、チャージャエアクーラーを清掃します。

下部真空ダクト (D) から泥を除去します。

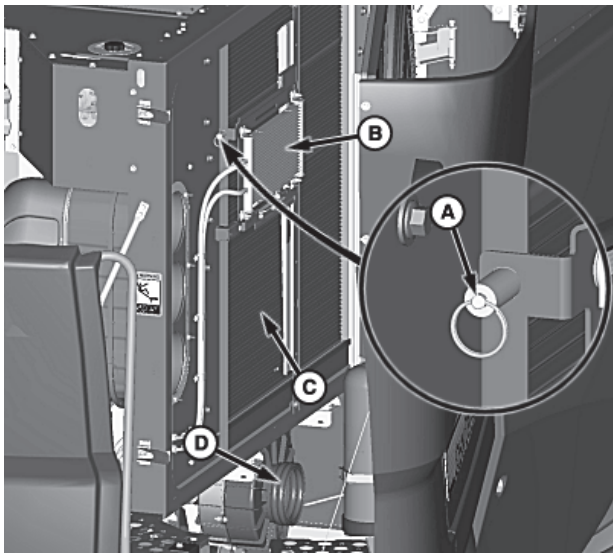
ロータリースクリーンドア (F) にあるコンデンサ (E) を清掃します。

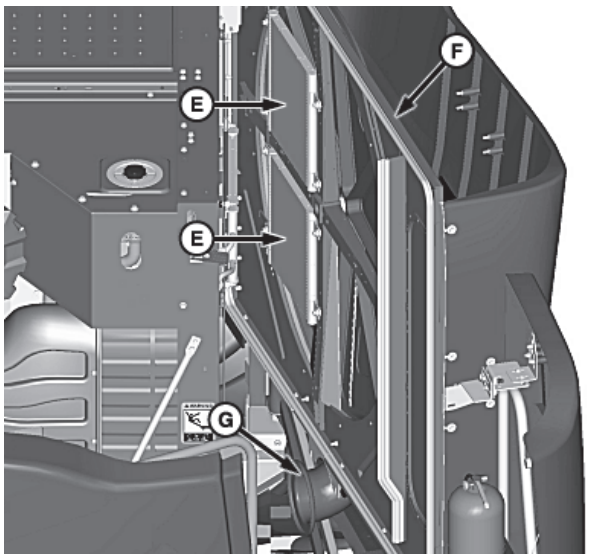
搬送ダクト (G) から泥を除去します。

重要：高圧の空気や水を使用する場合は、クーラーのフィンが損傷しないように注意してください。曲がったフィンをまっすぐにするには、フィンコームを使用してください。曲がったフィンはクーラーの性能を低下させます。

ロータリースクリーンドアを閉めてラッチをかけます。

A：ロックアウトピン
B：燃料クーラー
C：ラジエータ
D：真空ダクト
E：コンデンサ
F：ロータリースクリーンドア
G：搬送ダクト



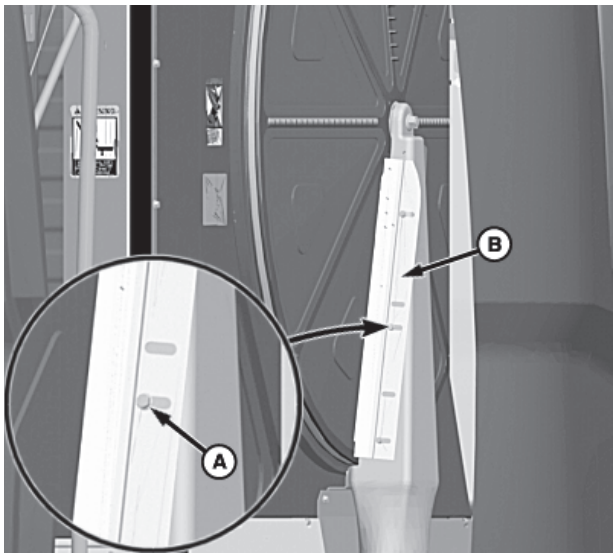


OUO6075,00016DB -40-26NOV13-3/3

ロータリースクリーンブラシ：調整

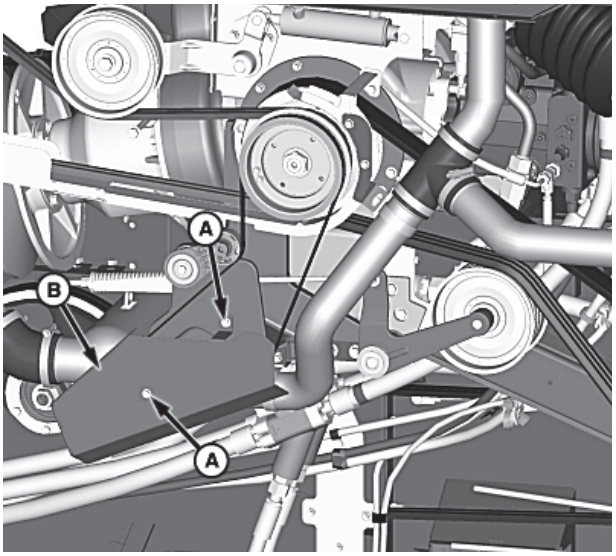
ボルト (A) を緩めて、作物屑を除去するために必要に応じてブラシ (B) を調整します。

A：ボルト
B：ブラシ

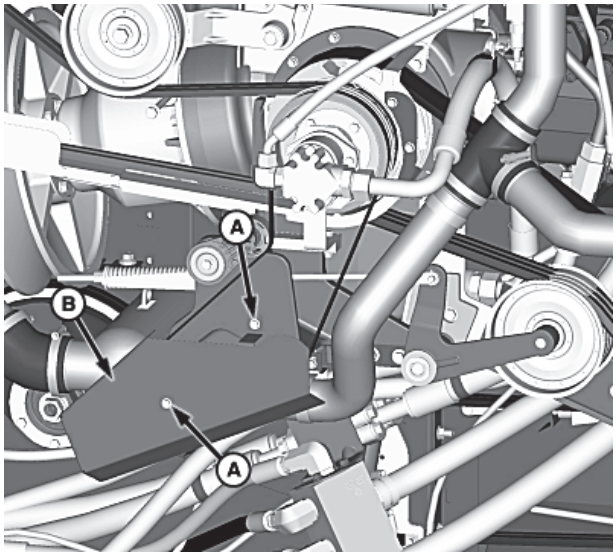


OUO6075,00005A0 -40-16FEB10-1/1

エンジンデブリマネジメントベルト：交換 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



S660、S670



S680、S685、S690

A：ボルト　　**B：シールド**

警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

次のページへ

OUO6075,00016DC -40-26NOV13-1/3

S660、S670

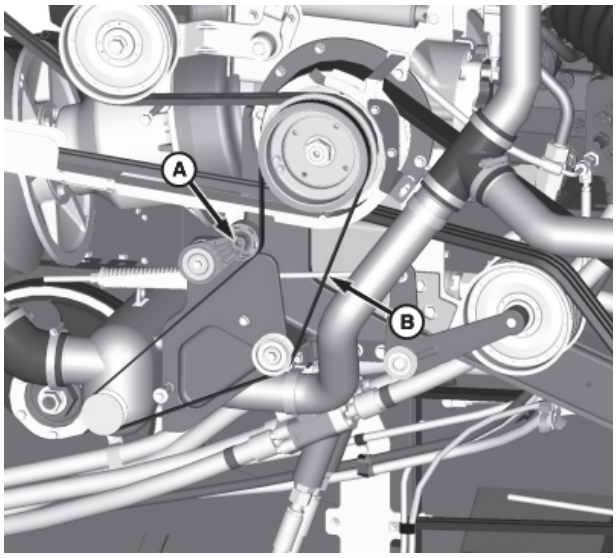
ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (A) から張力を解放し、エンジンデブリスマネジメントベルト (B) を取り外します。

ベルトを取り外し、逆の順に交換ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用して、テンショナアームからベルト張力を解放してベルトを取り付けます。

シールドを取り付けてボルトで固定します。

A：テンショナアーム
B：エンジンデブリマネジメントベルト



OUO6075,00016DC -40-26NOV13-2/3

S680、S685、S690

ボルト (A) を取り外し、サポートポンプアセンブリを邪魔にならない位置に移動します。

ベルトを取り外し、逆の順に交換ベルトを取り付けます。

ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

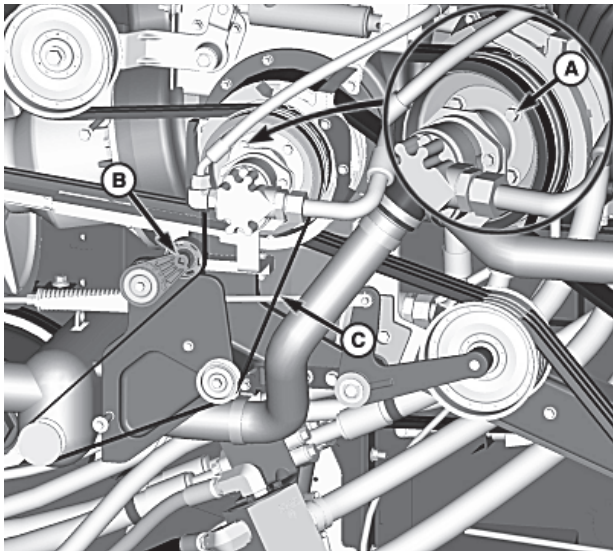
仕様

ボルト トルク	80 N•m (59 lb-ft)

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (B) から張力を解放し、エンジンデブリマネジメントベルト (C) を取り付けます。

シールドを取り付けてボルトで固定します。

A：ボルト
B：テンショナアーム
C：エンジンデブリマネジメントベルト



OUO6075,00016DC -40-26NOV13-3/3

エンジンデブリマネジメントエアフィルタ (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

重要：フィルタを整備するときは、エンジンにごみが吸い込まれないようにエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ひじかけのディスプレイに「エンジンデブリマネジメントエアフィルタ」アイコンが表示された場合のみフィルタを整備してください。

ラッチ (A) を解除し、ダストカバー (B) を取り外します。

1 次エアフィルタ (C) を取り外します。

反時計回りの方向に安全フィルタ (D) を取り外します。安全フィルタは、損傷した 1 次フィルタを通過するごみを遮断します。

重要：絶対にエレメントを洗浄したり、ブラシをかけたり、たたいたりしないでください。1 次エレメントに圧縮空気を吹き付ける場合は、乾燥圧縮空気 (500 kPa、72.5 psi) を使用してください。エアガンの先端をフィルタペーパーに接触させないように注意しながら、内側から外側にエレメントを清掃してください。絶対に安全エレメントは清掃しないでください。

汚れている場合は、交換してください。

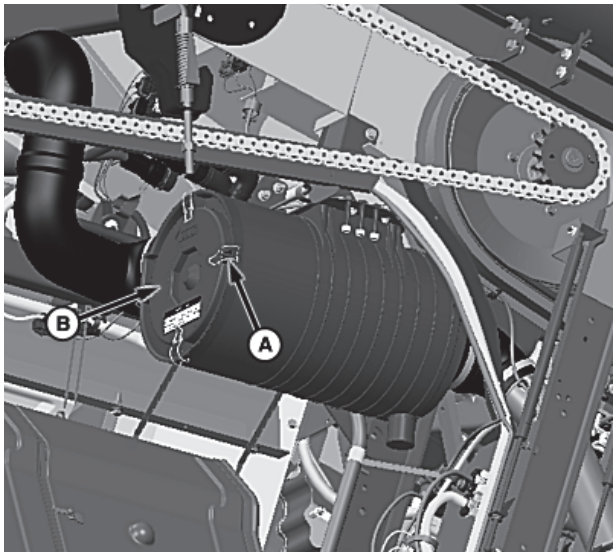
絶対に両方のフィルタがない状態でエンジンを運転しないでください。

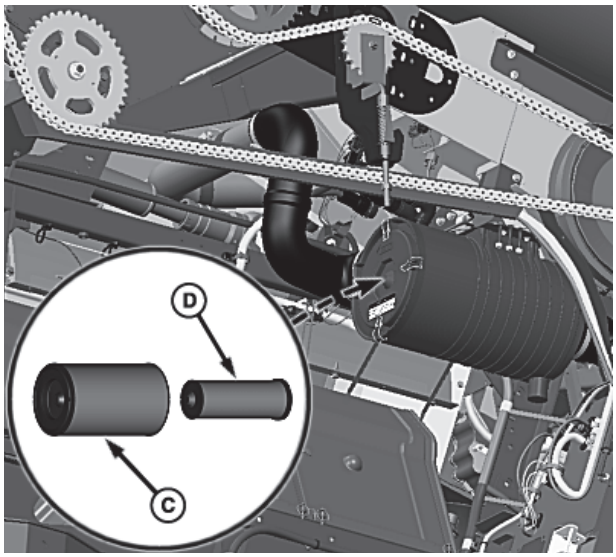
必要に応じてフィルタを整備してください。

安全フィルタを取り付けて、手でしっかりと締まっていることを確認できるまで時計回りに回します。

1 次エアフィルタを取り付けます。

カバーを取り付けてラッチをかけます。





A：ラッチ
B：ダストカバー
C：1 次エアフィルタ
D：安全フィルタ

OUO6075,00017DA -40-28APR14-1/1

エアクリーナフィルタ：取り外し

重要：フィルタを整備するときは、エンジンにごみが吸い込まれないようにエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ひじかけディスプレイに「エンジンエアフィルタ」アイコンが表示された場合のみフィルタを整備してください。

ダストカバー (A) のスナップを外して、1 次エアフィルタ (B) を取り外します。

反時計回りの方向に安全フィルタ (C) を緩めて取り外します。安全フィルタは、損傷した 1 次フィルタを通過するごみを遮断します。

重要：絶対にエレメントを洗浄したり、ブラシをかけたり、たたいたりしないでください。1 次エレメントに圧縮空気を吹き付ける場合は、乾燥圧縮空気 (500 kPa、72.5 psi) を使用してください。エアガンの先端をフィルタペーパーに接触させないように注意しながら、内側から外側にエレメントを清掃してください。絶対に安全エレメントは清掃しないでください。

汚れている場合は、交換してください。

絶対に両方のフィルタがない状態でエンジンを運転しないでください。

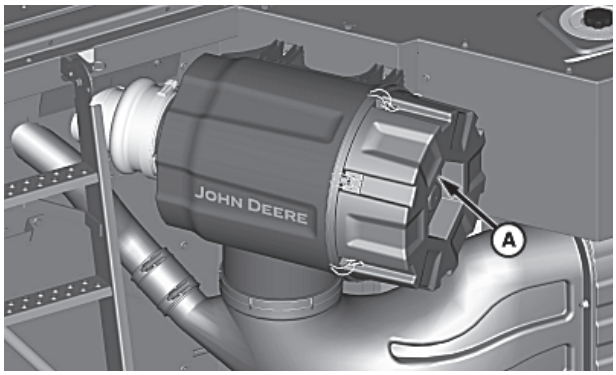
必要に応じてフィルタを整備してください。

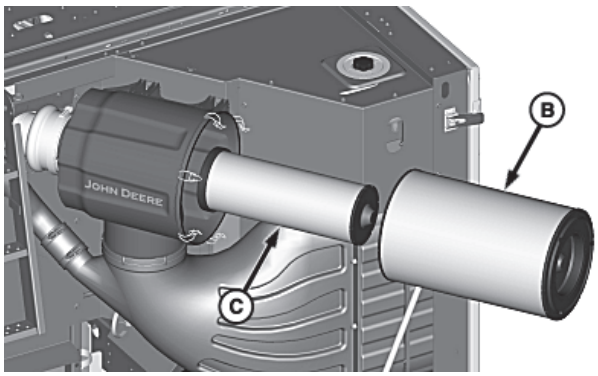
安全フィルタを取り付けて、手でしっかりと締まっていることを確認できるまで時計回りに回します。

1 次エアフィルタとダストカバーを取り付けます。

吸気システムのすべての接続を点検します。接続が緊密であることを確認します。

重要：コンバインの籾殻を吹き飛ばすために排気フロークリーニングユニットを使用しないでください。このようなユニットを使用すると、エアフィルタが破損し、エンジンの故障の原因になります。

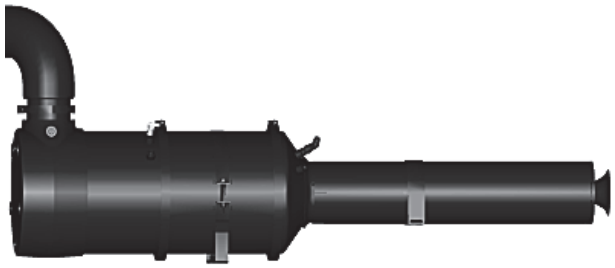




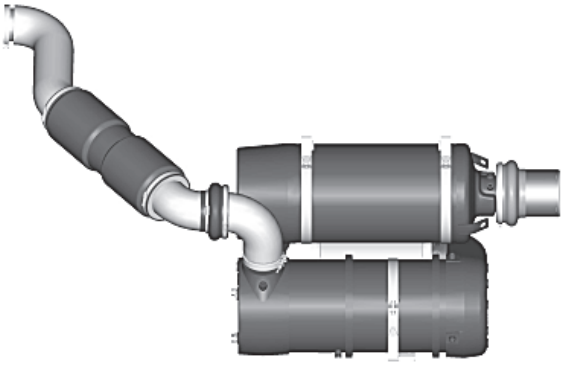
A：ダストカバー
B：1 次エアフィルタ
C：安全フィルタ

OUO6075,00017D4 -40-25APR14-1/1

ディーゼル微粒子フィルタのメンテナンスと整備 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



インテリムティア 4／ステージ III B



ファイナル ティア 4／ステージ IV

エグゾーストフィルタにはディーゼル酸化触媒とディーゼル微粒子フィルタ (DPF) を備えています。DPF は残留灰を捉えるように作られており、この灰とはクランクケースの潤滑油と燃料に使用されている添加剤の不燃焼物です。DPF はメンテナンスなしで何時間も使用できます。しかしある程度時間が経過すると、DPF は専門家が蓄積された灰を取り外すことが必要になります。この手入れが必要となる正確な時間は、エンジンのパワーカテゴリー、デューティーサイクル、運転条件、エンジンオイルの灰成分、燃料の品質によって異なります。John Deere の推奨する潤滑油、燃料仕様に従っていただきますと、専門家による DPF の手入れを必要とする間隔を最大にすることができます。

エンジンの所有者として、オペレータマニュアルに記載の必要とするメンテナンスを行うことは必須です。通常の装置運転では、DPF のメンテナンスの必要は灰がこれにどれほど早くたまるかによります。通常、175 hp / 130 kW を超えるエンジンの DPF は約 4,500 時間で整備する必要があります。DPF 内の灰の量が増えるとすすに対する容量が減り、排気システムの背圧がより頻繁に上昇するようになります。DPF の整備が必要であることを示す診断トラブルコードが表示されます。

DPF からの灰の除去は DPF を機械から取り外し、特殊な装置に入れて行う必要があります。灰の除去に水または他の薬剤を使用しないでください。このような方法で灰を除去すると、DPF を容器に固定している材質が破損し DPF 部品が緩み、DPF が振動によって破損する可能性があります。

認可された灰の除去方法に従わないと、米国政府、州政府、自治体の廃棄物処理法に違反する可能性があります。また DPF を破損し、ディーゼルエグゾーストフィルタ排出ガスに関する保証が無効になる可能性があります。DPF の整備には、John Deere 認定整備工場または資格を備えた整備工場に DPF を持って行くことを強く推奨します。

自動または駐車クリーニングが有効になっていると、エグゾーストフィルタのクリーニングサイクル中のある時期に、無負荷または軽負荷条件で排気温度が高くなる場合があります。

高温の排気ガスが危険な条件では、エグゾーストフィルタクリーニングシステムを無効にしてください。

エグゾーストフィルタクリーニングシステムの無効化は、必要な場合にのみ行ってください。

OUO6075,00016DE -40-27NOV13-1/1

エグゾーストフィルタ／ディーゼル微粒子フィルタの灰の処理と廃棄 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

警戒：米国政府、州政府、自治体の法律、規制により、ディーゼル微粒子フィルタの灰は有毒廃棄物に指定されていることがあります。有毒廃棄物は米国政府、州政府、自治体の法律、規制で定めるすべての有毒廃棄物廃棄方法に従って廃棄する必要があります。資格を備えた整備店のみが DPF の灰の除去を行うようにしてください。DPF の取扱い、クリーニングに当たっては、清潔で信頼性のある保護具、保護服を着用してください。John Deere 取扱店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

OUO6075,00016DF -40-26NOV13-1/1

エグゾーストフィルタの廃棄 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

警戒：使用期限に達したエグゾーストフィルタは、その中の灰や触媒物質が米国政府、州政府、自治体の法律や規制で有毒廃棄物に指定されていることがあるので、適切に扱う必要があります。ディーゼル微粒子フィルタを含む使用済みのエグゾーストフィルタは、任意の John Deere 取扱店または資格を備えた整備工場でも交換できます。

OUO6075,00016E0 -40-26NOV13-1/1

ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送

公道でのコンバインの運転に関する国および地域の規則を順守してください。

このコンバインは、Geringhoff 8 条折りたたみ式ヘッダーおよび Kemper 8 条折りたたみ式ヘッダーを使用する場合、ドイツの公道での輸送が認められています。他のヘッドを使用してドイツの公道で輸送する場合は、最寄りの TUEV の認可を受けて道路使用許可を得る必要があります。

OUO6075,0000A06 -40-15MAR07-1/1

道路での機械の運転

1. 折りたたみ機能画面に直接移動するには、折りたたみ機能ショートカットスイッチ (A) を押します。

重要：機械を道路で輸送する前にグレインタンクが空であることを確認してください。

2. 「折りたたみ式アンローディングオーガ」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

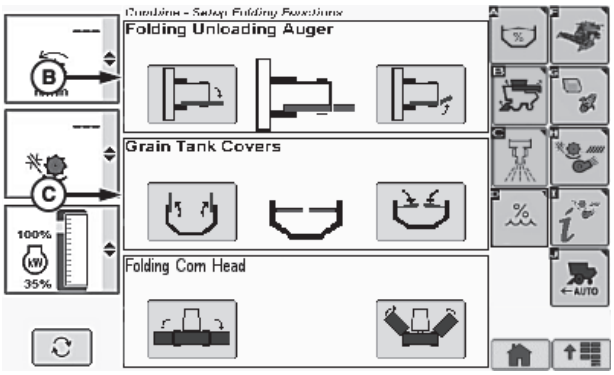
注記：アイコンが選択されている場合、折りたたみ式アンローディングオーガは自動機能です。アイコンを選択すると、アンローディングオーガは自動的に折りたたみを開始します。

警戒：送電線との接触を回避してください。機械を輸送する前に、グレインタンクカバーを閉めるる必要があります。

3. **グレインタンクカバー (装備されている場合)：**

「折りたたみ式グレインタンクカバー」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押し続けます。

注記：目的のアイコンに触れるか、「Confirm (確定)」スイッチを押すと、カバーは自動的に折りたたまれます。



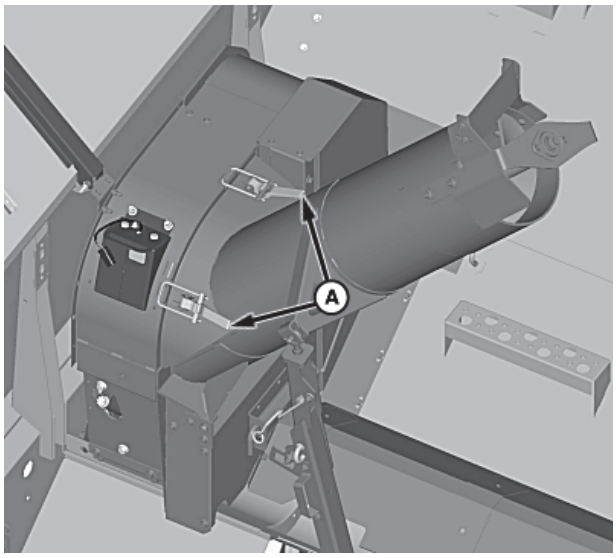
A：折りたたみ機能ショートカットスイッチ
B：アンローディングオーガの折りたたみ
C：グレインタンクカバーの折りたたみ

次のページへ

OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-1/12

4. **手動折りたたみ式クリーングレインオーガ (装備されている場合) :** クランプ (A) を解放してオーガを下げます。

A : クランプ



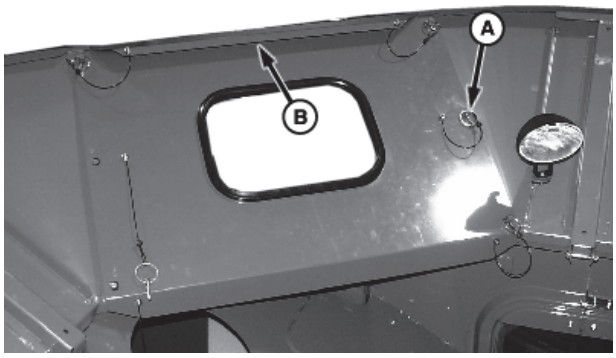
OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-2/12

5. **116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレートのグレインタンクエクステンション (装備されている場合) :** クイックロックピン (A) をグレインタンクコーナーエクステンション (B) から取り外します。次の順にグレインタンクエクステンションを折りたたみます。

   a. フロントグレインタンクエクステンションとリアグレインタンクエクステンションを折りたたみます。

   b. 左グレインタンクエクステンションと右グレインタンクエクステンションを折りたたみます。

A : クイックロックピン
B : グレインタンクコーナーエクステンション



フロントグレインタンクエクステンション

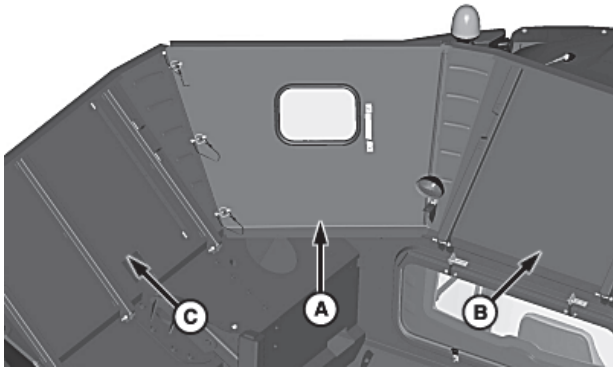
OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-3/12

6. **134 L/sec (3.8 bu/sec) アンロードレートのグレインタンクエクステンション (装備されている場合) :** クイックロックピンをグレインタンクコーナーエクステンション (A) から取り外します。次の順にグレインタンクエクステンションを折りたたみます。

   a. フロントグレインタンクエクステンション (B) とリアグレインタンクエクステンションを折りたたみます。

   b. 左グレインタンクエクステンション (C) と右グレインタンクエクステンションを折りたたみます。

A : グレインタンクコーナーエクステンション
B : フロントグレインタンクエクステンション
C : 左グレインタンクエクステンション



フロントグレインタンクエクステンション

次のページへ

OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-4/12

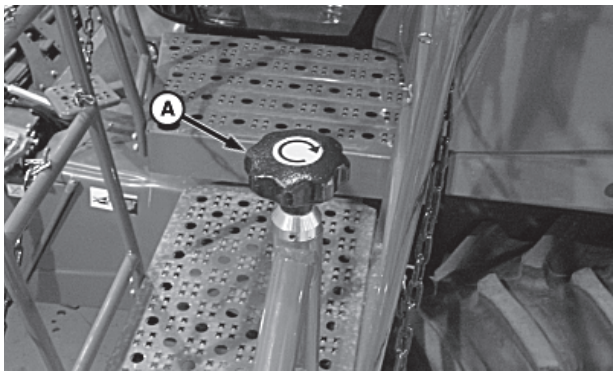
警戒：機械幅を減らす、接近する自動車運転者にマーカー／ハザードライトを向けるには、タラップを前方いっぱいの位置まで旋回させてください。

重要：道路や圃場条件に合わせた合理的な速度で走行してください。絶対にタンクに穀物が入っている状態で道路で輸送しないでください。

公道を走行する前に、装置のサイズ、照明、標識に関する現地の規則に従ってください。

7. ハンドル (A) を使用してタラップのロックを解除し、前方にいっぱいまで旋回させます。

8. ラジオアンテナを折りたたんでフックで固定します (装備されている場合)。フックがない場合は、アンテナをキャビンルーフにテープで固定します。



A：ハンドル

OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-5/12

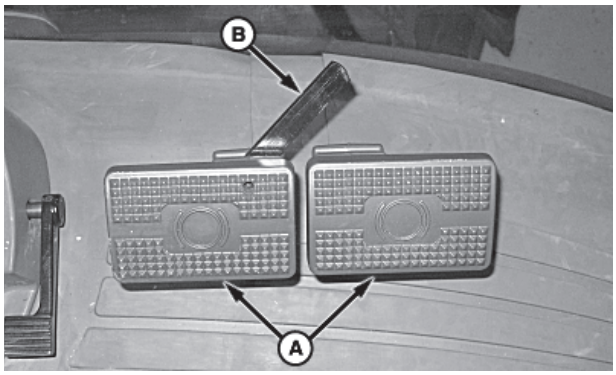
9. 道路での運転時は、ブレーキペダルをロック (B) で互いにロックしてください。圃場での運転では、ペダル (A) のロックを解除したままにしてください。

警戒：機械を運転するときまたは見学者として同乗するときは、必ずシートベルトを着用してください。

10. シートベルトを着用します。

警戒：エンジンを始動する前にホーンを鳴らして、機械から離れるように他の人に警告します。

11. ホーンを鳴らしてエンジンを始動します。必要に応じて、寒冷時始動補助装置を使用します。



A：ペダル **B：ロック**

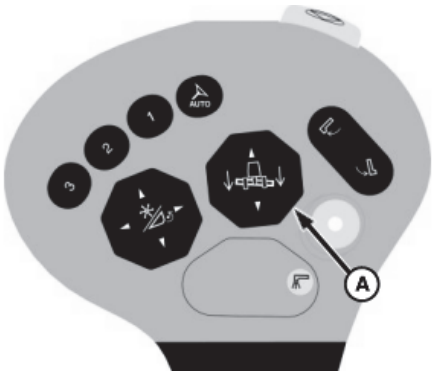
次のページへ

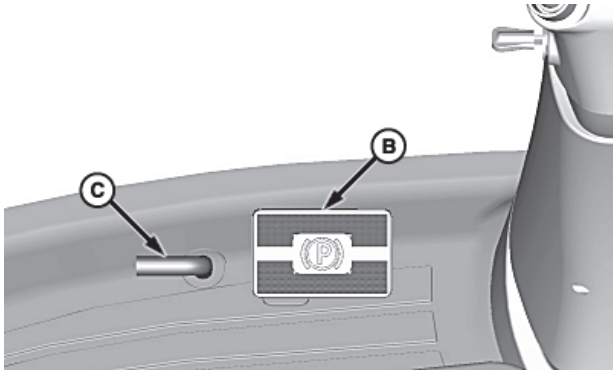
OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-6/12

12. ヘッダースイッチ (A) を使用してヘッダーを上昇させます。

13. ProDrive™ 非装備の機械：ペダル (C) を使ってパーキングブレーキ (B) を解除します。

A：ヘッダー昇降スイッチ
B：パーキングブレーキ
C：ペダル





ProDrive は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-7/12

14. **HillMaster™ 機械：**

警戒：道路輸送中に制御が失われて大けがや死亡事故が発生しないようにしてください。絶対に HillMaster™ 水平調整システムを自動モードにして車道で機械を輸送しないでください。車道を輸送中は、絶対に機械の手動傾斜を行わないでください。

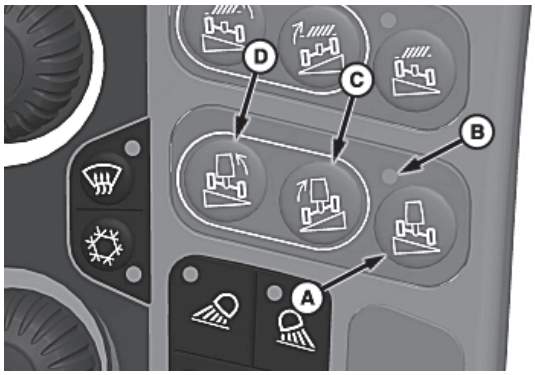
a. 機械を平坦な場所に駐車します。

注記：道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

b. 自動水平調整制御スイッチ (A) を **5 秒**間、または表示灯 (B) が点滅するまで押します。

c. 手動傾斜右スイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

d. 手動傾斜右スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。



A：自動水平調整制御スイッチ
B：表示灯
C：手動傾斜右スイッチ
D：手動傾斜左スイッチ

次のページへ

OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-8/12

注記：機械を輸送した後、道路輸送切断スイッチを 2 秒間押して表示灯を消灯させ、必要なスイッチ機能が作動するようにします。

15. 道路輸送切断スイッチ (A) を有効にします。

A：「Road Transport Disconnect (道路輸送切断)」スイッチ

OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-9/12

警戒：道路または高速道路で輸送するときに、両側のマーカー／ハザードライトおよびテールライトは前後から接近してくる車両の運転者への警告として機能します。機械を公道で運転するときは、これらのライトを点灯する必要があります。キャビンのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー／ハザードライトを接近してくる自動車運転者に向けます。法律で禁止されている場合は、マーカー／ハザードライトを操作しないでください。

16. 道路走行時は昼間と夜間ともにビーコン／ハザードライトスイッチ (A) を ON にしてください。ハザードライトを ON にすると、警告灯が自動的に作動します。

A：ビーコン／ハザードライトスイッチ

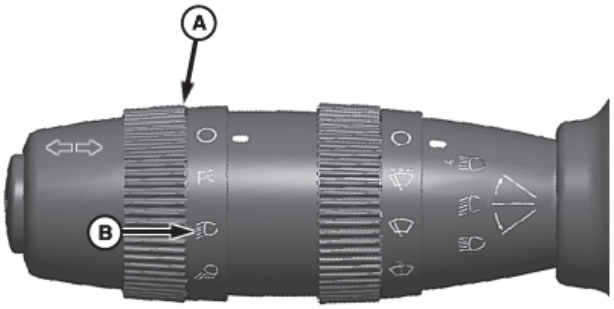
OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-10/12

17. 夜間走行では、選択スイッチ (A) を使用して道路ライト (B) を点灯させます。

注記：コーナーポストディスプレイのターンシグナル表示灯は点灯して進路変更を示します。

18. 必要に応じてターンシグナルを使用してください。これらは自動復帰式ではありません。

A：選択スイッチ
B：道路ライトスイッチ



次のページへ

OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-11/12

19. 最高エンジン回転数にするには、エンジン回転数スイッチ (A) を押します。

注記：圃場での運転の場合は、作業条件に合わせてギアを選択してください。

20. ProDrive™ 非装備の機械：道路走行では 3 速に入れます。

警戒：ヘッダーを取り付けた状態で機械を輸送する場合は、妥当な速度で走行して適切なブレーキ性能と機械の制御を確保してください。

21. マルチファンクションレバーをゆっくりと前後に動かします。坂の頂上に達したら、降坂を開始する前にマルチファンクションレバーを引きもどします。

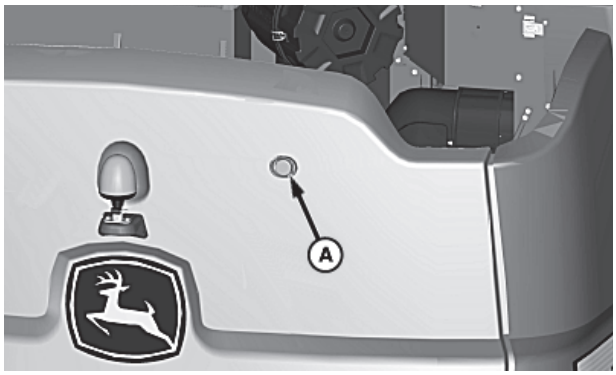
A：エンジン回転数スイッチ

OUO6075,00016E1 -40-17FEB14-12/12

バックアップアラーム

エンジンを運転中にマルチファンクションレバーを後方に動かすと、バックアップアラーム (A) が鳴り、機械の周囲の人に後退していることを知らせます。

A：バックアップアラーム



OUO6075,00016AC -40-22NOV13-1/1

トレーラーによる機械の輸送

1. 機械をトレーラーに載せて輸送する前に実施する必要がある追加の情報については、このセクションで前述の「道路での機械の運転」を参照してください。

2. ヘッダーと外側のダブルタイヤホイール (装備されている場合) を取り外します。

注記：機械を輸送した後、リア車軸の間隔を以前の幅に調整します。

3. リア車軸のジャッキポケット (A) の位置を確認して機械を上げます。

4. ボルト (B) をリア車軸から取り外します。

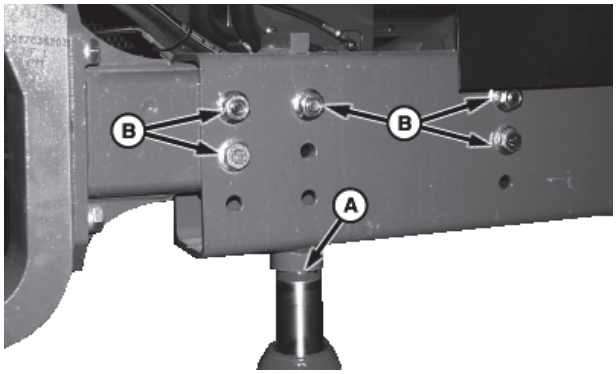
5. ボルト (C) をタイロッドから取り外します。

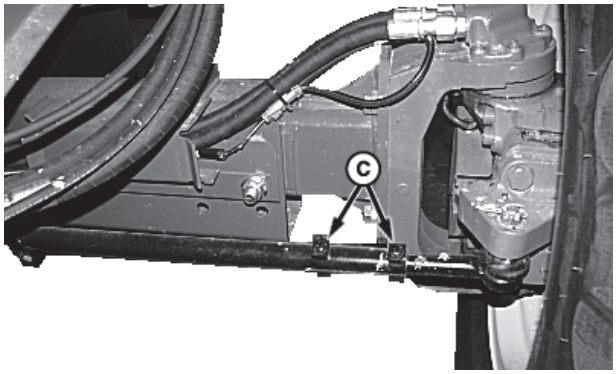
6. リア車軸を最も狭い位置に調整します。必要に応じて反対側でも同じ手順を行います。

7. 前の手順で取り外した金具を取り付けて規定のトルクで締め付けます。

仕様

車軸のボルト	
トルク	620 N•m (460 lb-ft)
タイロッドのボルト	
トルク (ウェット方式)	62 N•m (46 lb-ft)





A：ジャッキポケット
B：ボルト (5 本使用)
C：ボルト

OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-1/12

8. **HillMaster™ 機械：**

警戒：絶対に HillMaster™ 水平調整システムを自動モードにした状態でトレーラーに載せた機械を運転しないでください。絶対にトレーラーに載せているときに機械の手動傾斜を行わないでください。

   a. 機械を平坦な場所に駐車します。

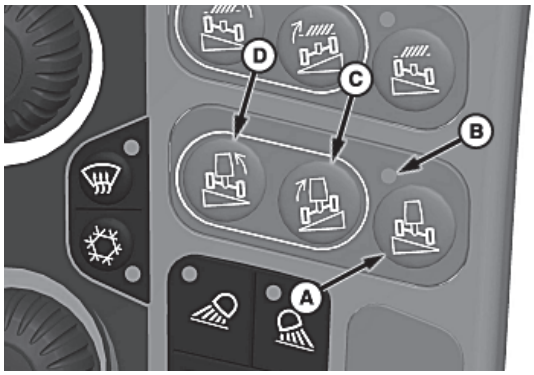
注記：道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

   b. 自動水平調整制御スイッチ (A) を **5 秒**間、または表示灯 (B) が点滅するまで押します。

   c. 手動傾斜右スイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

   d. 手動傾斜右スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

9. 機械をトレーラーの上に運転し、マルチファンクションレバーをニュートラル位置にします。



A：自動水平調整制御スイッチ
B：表示灯
C：手動傾斜右スイッチ
D：手動傾斜左スイッチ

10. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

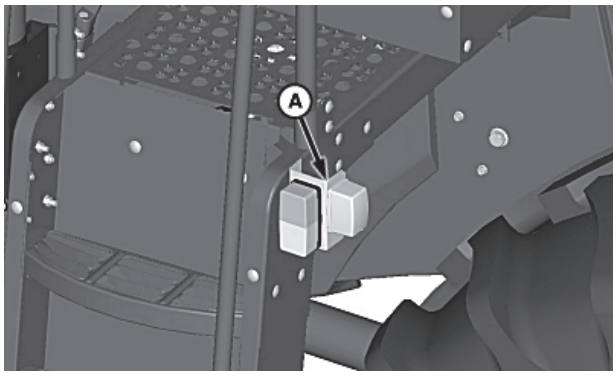
11. ラジオアンテナを折りたたんでフックで固定します (装備されている場合)。フックがない場合は、アンテナをキャビンルーフにテープで固定します。

次のページへ

OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-2/12

12. **シングルタイヤ構成**：ワイヤハーネスの接続を外してライトブラケット (A) を取り外します。

A : ライトブラケット



OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-3/12

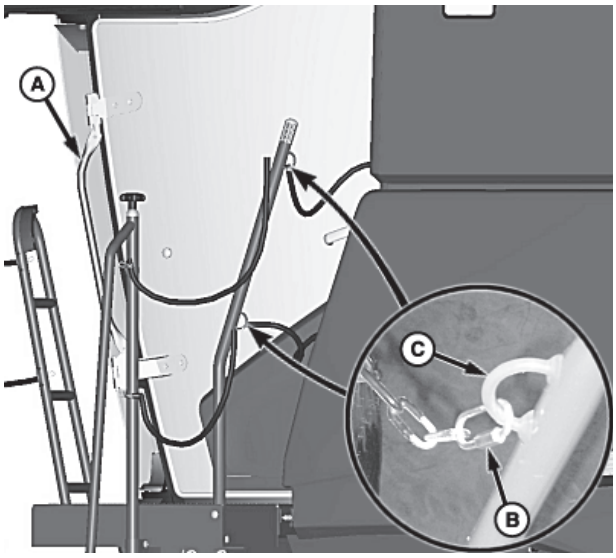
13. **シングルタイヤ構成**：キャビンの手すり (A) を取り外して保管します。

重要：落下して自分や他の人がけがをする可能性があります。安全チェーンを外して、タラップを取り外すときは十分注意してください。

注記：タラップの手すりの既存のループとグレインタンクのループにチェーンを組み付けます。これによりチェーンが短くなるため、コンポジットパネルがチェーンで損傷しなくなります。

14. **シングルタイヤ構成**：終端のチェーンリンク (B) を手すりの輪 (C) から外して保管します。

A : 手すり
B : チェーンリンク
C : ハンドレールの輪

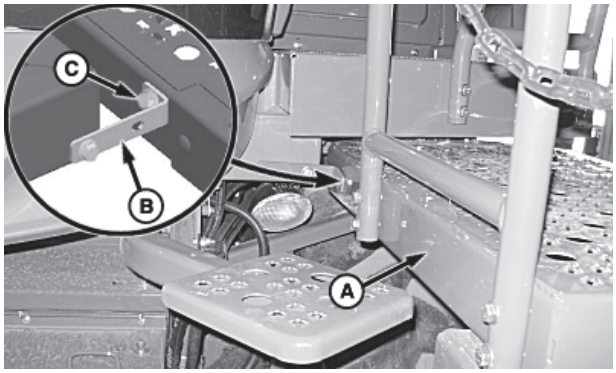


OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-4/12

注記：キャビンのタラップは、タラップの踊り場が出荷ブラケットに接触するように最も内側のデテント位置を越えて旋回させる必要があります。

15. **シングルタイヤ構成**：出荷ブラケット (B) に接触するまでタラップの踊り場 (A) を輸送位置に旋回させ、ボルト (C) を取り付けます。

A : タラップの踊り場
B : 出荷ブラケット
C : ボルト

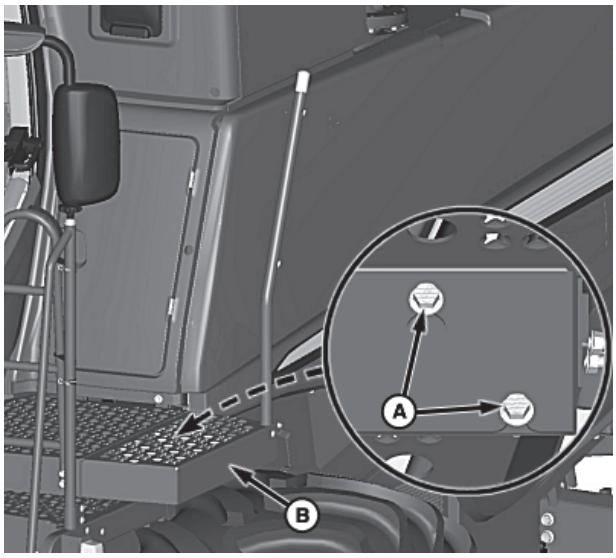


次のページへ

OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-5/12

16. **シングルタイヤ構成**：ボルト (A) を緩めてタラップの踊り場 (B) を取り外します。

A：ボルト (5 個使用)
B：タラップの踊り場

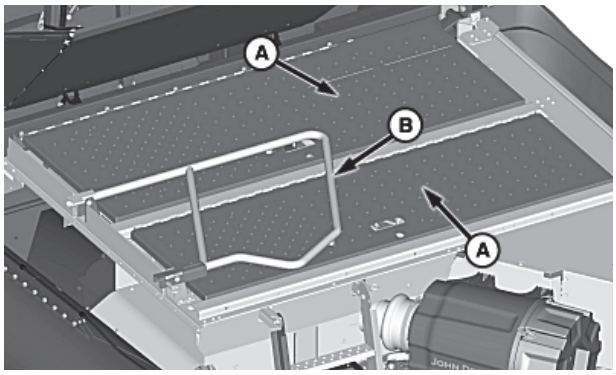


OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-6/12

17. エンジンアクセスカバー (A) と手すり (B) を下ろして、カバーを所定の位置に固定します。

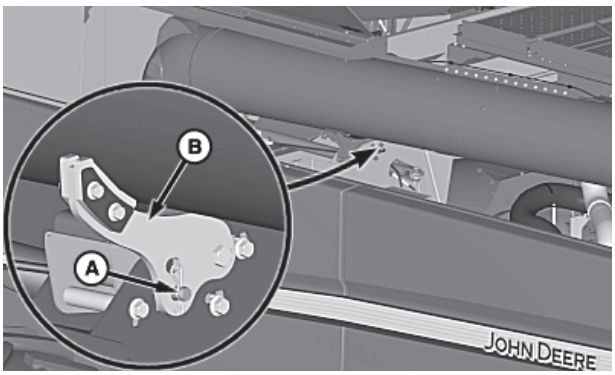
18. **ティア 2／ステージ II エンジン**：ターボチャージャが損傷しないように、マフラーキャップをテープで覆います。

A：エンジンアクセスカバー
B：手すり



次のページへ

OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-7/12



A：スプリングピンとピン

B：アンローディングオーガロックアーム

警戒：落下して自分や他の人がけがをしたり死亡したりする可能性があります。アンローディングオーガ固定金具を取り付けるときは、作業場所にアクセスするために適切な荷重定格のタラップまたは同等品を使用してください。エンジンプラットフォームから作業場所にアクセスしないでください。

19. **アンローディングオーガロックアーム：**

a. スプリングピン とピン (A) を取り外して保管します。

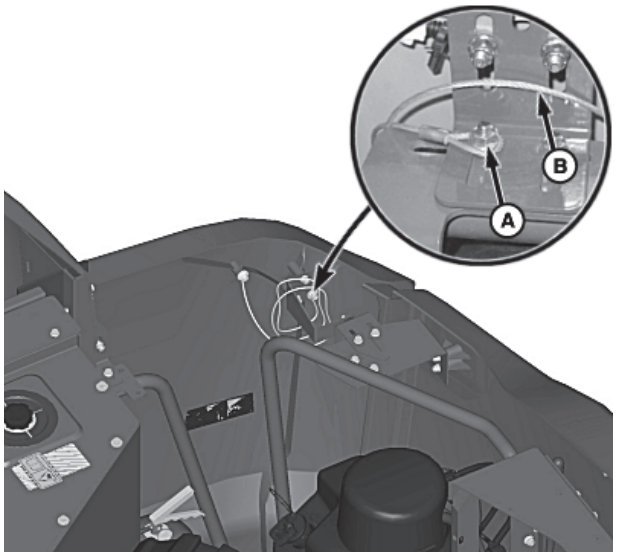
b. 穴が整列するまで、アンローディングオーガロックアーム (B) を上げます。

c. 前の手順で取り外したピンとスプリングピンを取り付けます。

OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-8/12

20. 金具 (A) を緩めてケーブル (B) を保管位置から取り外します。

A：金具
B：ケーブル



次のページへ

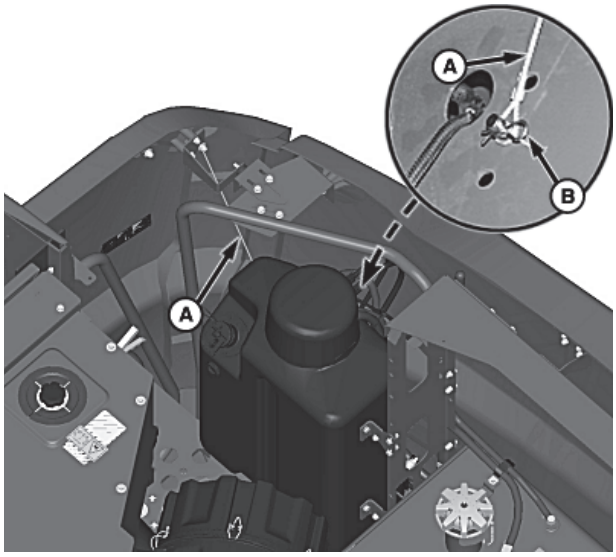
OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-9/12

注記：手すりの内側の部分にケーブルが取り付けられていることを確認してください。

ケーブルが到達しない場合は、ピンを別の位置に調整します。

21. ケーブル (A) をピンに取り付けて、スプリングピン (B) を使用して固定します。

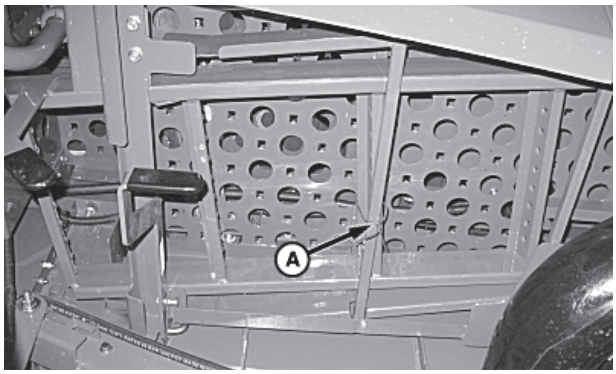
A : ケーブル
B : スプリングピン



OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-10/12

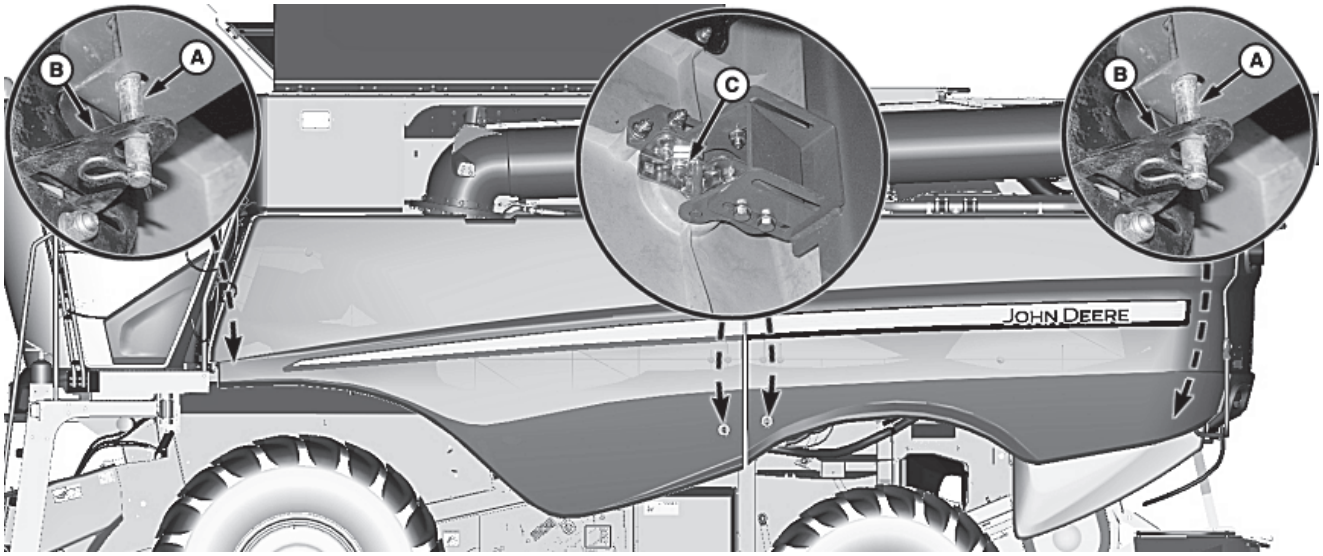
22. タラップエクステンションとプラットフォーム (A) をワイヤで結束します。

A : タラップエクステンションとプラットフォーム



次のページへ

OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-11/12



A：ピン　　B：ロックプレート　　C：ラッチ

23. ピン (A) をロックプレート (B) に通して取り付け、左ガルウイングドアの前後の隅にスプリングピンで固定します。

24. ラッチ (C) の位置でガルウイングを結束します。機械の反対側で手順を繰り返します。

重要：チェーンで機械をトレーラーに締め付けます。

25. チェーンで機械をトレーラーに固定します (結束については、キャビンタラップにある機械の結束位置ステッカーを参照してください)。

OUO6075,00017E9 -40-10JUL14-12/12

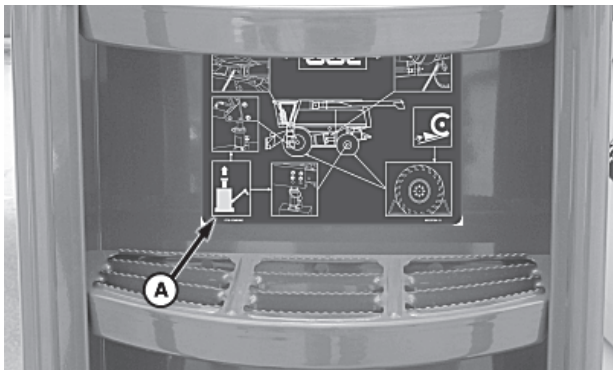
機械の結束位置ステッカー

警戒：機械をジャッキアップする前に必ずグレインタンクを空にしてください。

注記：機械の結束位置は、機械の両側の前後にあります。

機械の結束位置ステッカー (A) はキャビンタラップにあります。ステッカーには、チェーンで機械を締め付ける正しい位置が示されています。

A：機械の結束位置ステッカー



OUO6075,0001393 -40-24JAN13-1/1

輸送情報

警戒：送電線に接触しないように注意してください。機械を輸送する前に、グレインタンクカバーを閉めて、ラジオアンテナを水平位置に回す必要があります。

公道での装置の運転または牽引に関する現地の国の規則を確認してください。最寄りの John Deere 取扱店から入手できる補助ライトや装置を使用して、他の道路使用者に警告してください。

機械はフラットベッドトラックの載せて、または牽引して輸送できます。

牽引する場合は、このセクションの「機械の牽引」を参照してください。

OUO6075,00000D6 -40-28APR08-1/1

機械の牽引 (機械式シフトトランスミッション装備の機械)

警戒：ワイヤロープを使用して機械を牽引しないでください。ロープが破損した場合、むち打ちアクションによりけがをする可能性があります。

送電線に接触しないように注意してください。輸送の前にグレインエクステンションを下げて、ラジオアンテナを下げてください。

公道での装置の運転または牽引に関する現地の国の規則を確認してください。最寄りの John Deere 取扱店から入手できる補助ライトや装置を使用して、他の道路使用者に警告してください。

緊急時に短距離を 8 km/h (5 mph) で牽引する以外は機械を牽引しないでください。機械を牽引するには、次の手順に従います。

- グレインタンクを空にしてヘッダーを取り外します。
- アンローディングオーガを旋回させて戻します。グレインタンクエクステンションを折りたたみます。
- タラップを前方に旋回させ、ラジオアンテナを折りたたみます。
- パーキングブレーキレバーを解除します。

警戒：カプラーを取り外さないでください。カプラーを取り外すと、ブレーキが無効になります。

- ギアシフトレバーとマルチファンクションレバーをニュートラル位置にします。
- チェーンを主車軸に取り付けて、機械を前方に牽引します。チェーンによって油圧ラインが損傷しないように注意してください。ドライバーがオペレータシートに座り、機械の操舵とブレーキの操作を行います。
- 法で禁止されていない限り、警告灯を ON にします。
- 8 km/h (5 mph) を超えない安全で妥当な速度で走行します。

警戒：公道では、他の道路利用者、装置や牽引装置を取り付けて低速走行しているトラクター、および自走式作業機との衝突を予防してください。特に右折や左折時などは、後方からの交通をこまめに確認し、手信号やターンシグナルライトを使用してください。

ヘッドライト、点滅警告灯、およびターンシグナルを昼夜とも使用してください。インプルメントの照明やマーキングについての各地の規制に従ってください。照明や識別標識はよく見えるように提示し、良好な作動状態を維持してください。損傷または紛失しているライトやマーカーは交換または修理してください。

OUO6075,00008DB -40-13DEZ10-1/1

機械の牽引 (押しボタンシフトおよび ProDrive トランスミッション装備の機械)

警戒：ワイヤロープを使用して機械を牽引しないでください。ロープが破損した場合、むち打ちアクションによりけがをする可能性があります。

カプラーを取り外さないでください。カプラーを取り外すと、ブレーキが無効になります。

送電線に接触しないように注意してください。輸送の前にグレインエクステンションまたはグレインタンクカバーを下げて、ラジオアンテナを下げてください。

公道での装置の運転または牽引に関する現地の国の規則を確認してください。最寄りの John Deere 取扱店から入手できる補助ライトや装置を使用して、他の道路使用者に警告してください。

暴走した機械に挟まれてけがをしないように注意してください。機械が傾斜地にある場合は、ホイールをブロックするまでパーキングブレーキを解除しないでください。

パーキングブレーキのロックを解放するのは、牽引目的のみで実施してください。絶対にパーキングブレーキを機械的に開放して機械を運転しないでください。牽引が不要になったら、必ずパーキングブレーキロックを初期状態に戻してください。

機械は、緊急時に最高速度 10 km/h (6.2 mph) で最長 10 分間牽引できます。

注記：機械を牽引するには、エンジンを運転している必要があります。エンジンを運転できない場合は、詳細について最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

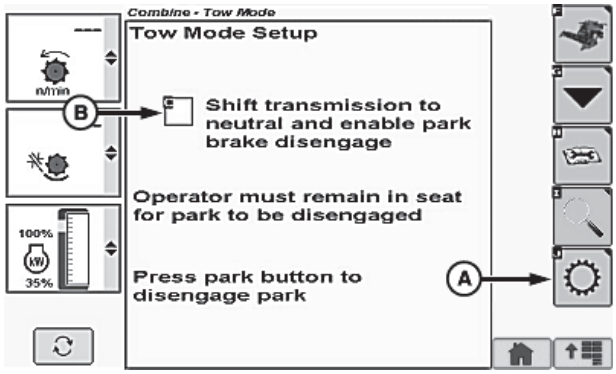
機械を牽引するには、次の手順に従います。

- エンジンを始動します。
- グレインタンクを空にしてヘッダーを取り外します。
- アンローディングオーガを旋回させて戻します。
- グレインタンクエクステンションまたはグレインタンクカバーを折りたたみます。
- タラップを前方に旋回させ、ラジオアンテナを折りたたみます。
- チェーンを主車軸に取り付けて、機械を前方に牽引します。チェーンによって油圧ラインが損傷しないように注意してください。ドライバーがオペレータシートに座り、機械の操舵を行います。
- 法で禁止されていない限り、警告灯を ON にします。

警戒：公道では、他の道路利用者、装置や牽引装置を取り付けて低速走行しているトラクター、および自走式作業機との衝突を予防してください。特に右折や左折時などは、後方からの交通をこまめに確認し、手信号やターンシグナルライトを使用してください。

ヘッドライト、点滅警告灯、およびターンシグナルを昼夜とも使用してください。インプルメントの照明やマーキングについての各地の規制に従ってください。照明や識別標識はよく見えるように提示し、良好な作動状態を維持してください。損傷または紛失しているライトやマーカーは交換または修理してください。

「Diagnostic (診断)」アイコン



「Diagnostic (診断)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Tow Mode Setup (牽引モードの設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ボックスを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 「 Shift transmission to neutral and enable park brake disengaged (トランスミッションをニュートラルにシフトしてパーキングブレーキの解除を有効にしてください」ボックス (B)：機械をニュートラル位置にシフトし、パーキングブレーキの解除を有効にします。

注記：パーキングブレーキを解除するには、オペレータがシートに座っている必要があります。

機械を牽引する前に、ひじかけのパーキングブレーキスイッチを押してブレーキを解除します。

OUO6075,00008DA -40-29MAR11-1/1

半自動トレーラーヒッチ：取り付け (標準)

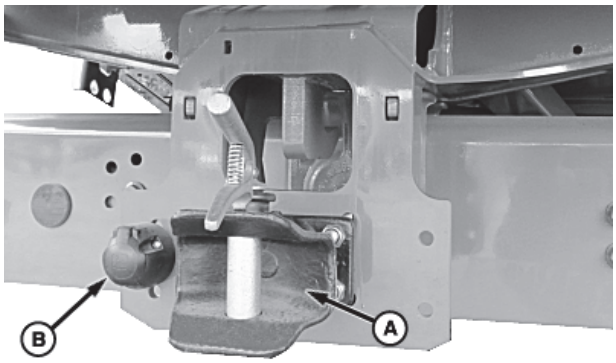
警戒：トレーラーを連結する前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

チョッパーを完全に上昇させます。

トレーラーをヒッチ (A) に連結し、トレーラーヒッチピンで固定します。

トレーラーの電気ハーネスを電気コネクタ (B) に接続します。

A：ヒッチ
B：電気コネクタ



OUO6075,00017FB -40-12MAY14-1/1

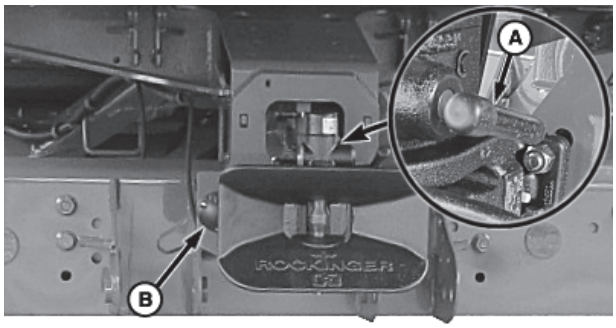
自動リアトレーラーヒッチ：取り付け (オプション)

警戒：トレーラーを連結する前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

チョッパーを完全に上昇させます。

ハンドル (A) を上げてロックピンを開き、トレーラーを機械に連結します。トレーラーヒッチがロックピンと整列すると、ハンドルが下がりトレーラーヒッチが自動的に所定の位置にロックされます。

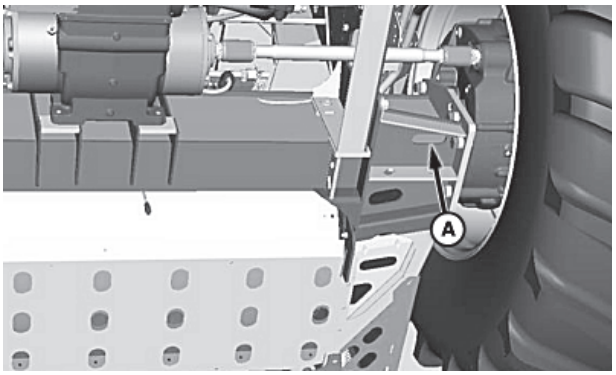
トレーラーの電気ハーネスを電気コネクタ (B) に接続します。



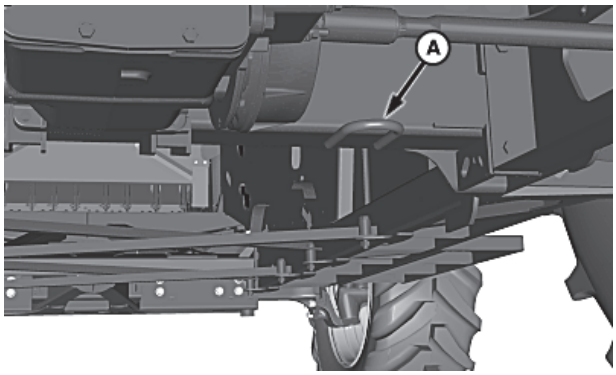
A：ハンドル　　**B：電気コネクタ**

OUO6075,00017FC -40-12MAY14-1/1

フロント牽引フック



フロント牽引フック (平地機械)



フロント牽引フック (HillMaster 装備の機械)

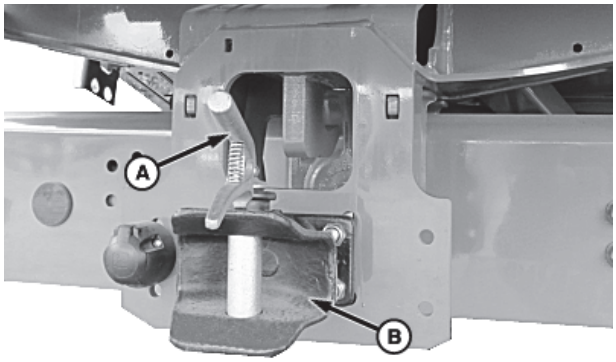
A：フック

必要な場合は、チェーンをフロント車軸のフック (A) に取り付けて機械を前進方向に牽引または引っ張ってぬかるみから出してください。チェーンによって油圧ラインが損傷しないように注意してください。

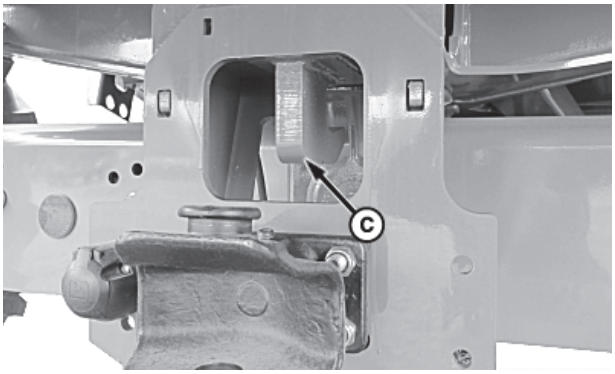
OUO6075,0000CA1 -40-20JUN11-1/1

リア牽引フック

半自動トレーラーヒッチ



A：ヒッチピン　　B：トレーラーヒッチ



C：フック

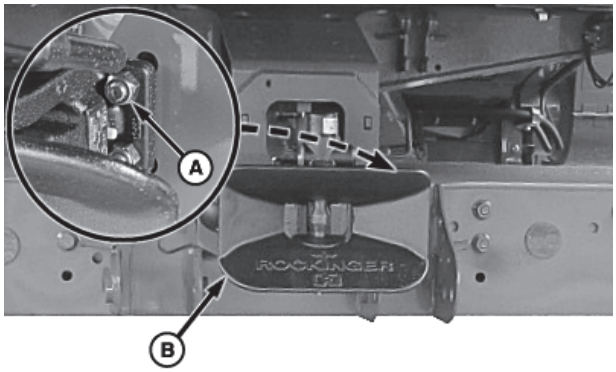
警戒：トレーラーヒッチで機械を引っ張らないでください。供給されている牽引フックのみを使用してください。必ず適切なチェーンを使用してください。破壊強度を超えないでください。牽引ストラップやロープとチェーンを混用しないでください。牽引装置に蓄えられたエネルギーは、破損した場合、大けがの原因になります。

ヒッチピン (A) をトレーラーヒッチ (B) から取り外します。

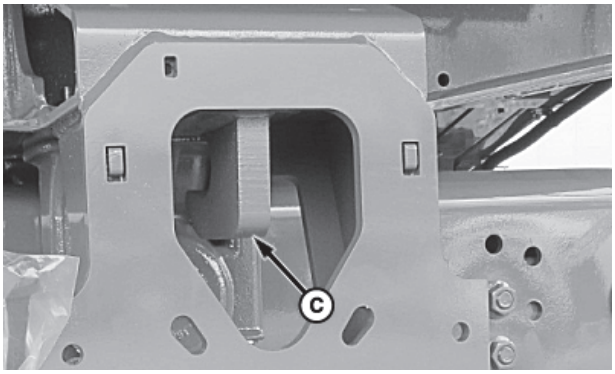
チェーンをフック (C) に固定して機械を引っ張ります。トレーラーを引っ張るためにこのフックを使用しないでください。

OUO6075,00017FD -40-21MAY14-1/2

自動トレーラーヒッチ



A：ボルトとナット (4 個使用)
B：トレーラーヒッチ



C：フック

警戒：トレーラーヒッチで機械を引っ張らないでください。供給されている牽引フックのみを使用してください。必ず適切なチェーンを使用してください。破壊強度を超えないでください。牽引ストラップやロープとチェーンを混用しないでください。牽引装置に蓄えられたエネルギーは、破損した場合、大けがの原因になります。

ボルトとナット (A) をトレーラーヒッチ (B) から取り外します。

チェーンをフック (C) に固定して機械を引っ張ります。トレーラーを引っ張るためにこのフックを使用しないでください。

トレーラーヒッチを取り付け、ボルトとナットで固定します。金具を規定のトルクで締め付けます。

仕様

トレーラーヒッチの金具	
トルク	150 N•m (111 lb-ft)

OUO6075,00017FD -40-21MAY14-2/2

収穫のヒント

低温時の運転

重要：低温時に運転するときは、適切な等級のディーゼル燃料を使用していることを確認してください。温暖気候等級のディーゼル燃料は、燃料ライン、燃料フィルタ、燃料タンク内でゲル化します。ディーゼル燃料がゲル化すると、燃料システムの整備が必要です。詳細については、「燃料と潤滑油」セクションと「エンジンの整備」セクションを参照してください。

雪や氷が存在する低温時は、コンバイン機能が低下する可能性があります。コンバインに吸い込まれる雪を最小限度に抑えるために特別なケアが必要です。雪が吸い込まれると、チャファー、クリーニングファン、セパレータコンケーブ、セパレータ格子などの部分が詰まる可能性があります。これらの部分が詰まった状態で運転すると、機械が損傷し、大がかりな修理や機能性能の低下が発生する可能性があります。低温時に運転する前に、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00016F0 -40-19DEZ13-1/1

収穫のヒント

収穫している作物や圃場の条件に合わせて機械を調整してください。

機械が過負荷にならない対地速度を選択してください。セパレータをフルスピードに維持するには、エンジンをフル回転数で運転する必要があります。低速移動用の、エンジン回転数が低下しない対地速度を選択してください。

コンケーブの設定が収穫された作物に近すぎると、わらが過剰に圧砕されて、脱穀に余分な馬力が必要になります。

コンケーブの設定の幅が収穫された作物に対して広すぎると、完全に脱穀されません。

コンケーブを正しく調整した後、セパレータ回転数を調整して、作物の損傷量を最小に抑えて最大の脱穀量を実現します。作物の損傷が発生しない場合は、コンケーブクリアランスを広くしないでください。代わりに、フィードアクセルレータ速度を減らしてください。これらの作物でのコンケーブ間隔は種子の損傷にほとんど影響を与えません。

食用豆やエンドウ豆などの作物は亀裂が入り易く、遅いフィードアクセルドライブを使用する必要があります。食用豆やエンドウ豆を収穫するときは、作物の衝撃を和らげて亀裂を防止する十分な素材を機械に維持してください。

わらの品質を潜在的に向上するには、条件に応じて次の点を考慮してください。

- フィーダーハウスのチェーン速度を遅くする
- フィードアクセルレータ速度を遅くする
- ローター回転数を下げる
- コンケーブを開く
- 脱穀エレメントを減らす
- ラウンドバーコンケーブを取り付ける

傾斜地条件での性能を向上するには、オーガベッドディバイダーを上げる、高いチャファーディバイダーを取り付ける (John Deere 取扱店から入手可能) 、チャファーエレメントの後隅にある脱着式プラスチックフィンガーを取り外すまたは切り落とす、セパレータ格子カバー (装備されている場合) を取り付けて籾殻と穀粒の分配を改善するなどを検討してください。これらはそれぞれクリーニングシューへの籾殻や穀粒の分布を改善し、傾斜地条件での機械性能の向上に役立ちます。

カッティングプラットフォームを使用する場合は、低い位置にある作物の頭部の損失なしに可能な限り高い位置で作物を切断してください。リール位置と速度を調整して均一なフィードを実現してください。カッターバーを正しく合わせ、ガードを整列させて、清浄な刈り取りを実現してください。

トウモロコシの収穫時は、コーンヘッドを穂に必要な程度に低く維持してください。コーンヘッドを畝の中心に維持して、穂の損失を防止してください。

ベルトピックアップを使用しているときは、素材がフィーダーハウス内に均一に送られるようにウィンドローを中心に維持してください。グレインヘッドは一方向に設置されている必要があります。ヘッドが最初にピックアップされるように機械を運転してください。

ロークロップヘッドを使用して大豆を収穫する場合は、ヘッダーを可能な限り低く維持してください。ミロやヒマワリなどの作物を収穫する場合は、茎から頭を刈り取れる程度に低い位置でヘッダーを操作してください。

チャファーの最初の 3 分の 2 で大量の粗い素材が入ることなく穀類や種子が下部ふるいに移動するようにチャファー開口部を調整してください。

クリーンな穀類や種子を吹き飛ばさない程度に可能な限り空気を多く使用してください。重い作物には軽い作物よりも多くの空気が必要です。

OUO6075,00000F4 -40-29APR08-1/1

アルファルファ／オオムギ／アブラナ／ヒヨコ豆

注記：表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

*** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。**

	アルファルファ	オオムギ
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	高	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	600～800	700～950
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	0～5	5～22
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	小ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	小／小／大	小／小／大
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	550～700	850-1100
チャファー隙間 (mm)	10～20	13～18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	1～4	6～9
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀粒	穀粒
作物ダイバータ	穀粒	穀粒
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高
	アブラナ	**ヒヨコ豆**
フィーダーハウスドラムの位置	上	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	高	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	350～550 **(L) ***	400～600
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	15～40	18～24
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	小ワイヤ	丸棒／大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	小／小／大	丸棒／大ワイヤ
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	600～900	800～1100
チャファー隙間 (mm)	10～14	15～20
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	2～5	6～10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	トウモロコシ
作物ダイバータ	穀粒	穀粒
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,00017E0 -40-30APR14-1/1

トウモロコシ (ドライ) ／トウモロコシ (ウエット) ／トウモロコシ穂軸混合／食用大豆

注記：表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

*** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。**

	トウモロコシドライ	トウモロコシウエット
フィーダーハウスドラムの位置	上	上
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	低 **(C) ***	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) (**G) ***	鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	250～450	350～500
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	20～35	20～35
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	丸棒	丸棒
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	丸棒	丸棒
セパレータ格子カバー **(D) ***	なし	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	900～1300	1000～1300
チャファー隙間 (mm)	15～20 (高歯) 17～22 (汎用)	16～21 (高歯) 18～22 (汎用)
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	10～14 (高歯) 11～15 (汎用)	10～14 (高歯) 11～15 (汎用)
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	トウモロコシ
作物ダイバータ	トウモロコシ	トウモロコシ
ナイフバンクの接続	解除のみ	解除のみ
チョッパー回転数	低	低
	トウモロコシ穂軸混合 (H) * (M) *	**食用大豆**
フィーダーハウスドラムの位置	上	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 22 **(P) ***
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	低	低 **(C) ***
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	後傾斜鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) (**G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	後傾斜鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	450～650	300～500 **(L) ***
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	15～30	15～30
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	大径ワイヤ **(K) ***	丸棒／大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	大径ワイヤ **(K) ***	丸棒／大ワイヤ
セパレータ格子カバー **(D) ***	なし	なし
セパレータ格子スペーサ	どちらか	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Advanced (進み側)」
ファン回転数 (rpm)	1000～1300	800～1100
チャファー隙間 (mm)	22	14～18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	取り外し	6～10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	トウモロコシ
作物ダイバータ	トウモロコシ	穀物
ナイフバンクの接続	解除のみ	許可
チョッパー回転数	低	高

OUO6075,00011AD -40-18JAN13-1/1

亜麻／牧草種子／グアー (クラスタマメ) ／ヒラマメ

注記：表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

*** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。**

	亜麻	牧草種子
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 32
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	高	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	800～1000	500～850 **(N) ***
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	0～10	12～25
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	小ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	小ワイヤ	小／小／大
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	700～1050	350～600 **(I) ***
チャファー隙間 (mm)	8～15	12～18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	5～10	5～12
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀物	穀物
作物ダイバータ	穀物	穀物
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高
	グアー (クラスタマメ)	**ヒラマメ**
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	低	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	500～700	350～500
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	10～15	7～12
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	丸棒	丸棒／大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	丸棒	小／小／大
セパレータ格子カバー **(D) ***	なし	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	650～750	800～1000
チャファー隙間 (mm)	10～15	12～18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	6～10	3～10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	トウモロコシ
作物ダイバータ	穀物	穀物
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,00011AE -40-18JAN13-1/1

ルピナス／キビ／カラシ／白インゲンマメ

注記：表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

*** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。**

	ルピナス	キビ
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	低	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	400～600	400～500
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	12～18	10～15
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	丸棒／大ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	丸棒／大ワイヤ	小／小／大
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	900～1100	600～750
チャファー隙間 (mm)	15～20	10～12
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	4～8	4～6
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	穀物
作物ダイバータ	穀物	穀物
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高
	カラシ	**白インゲンマメ**
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 22 **(P) ***
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	高	低 **(C) ***
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	後傾斜鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	後傾斜鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	600～900	300～350 **(L) ***
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	10～20	15～30
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	小ワイヤ	丸棒
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	小／小／大	丸棒
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Advanced (進み側)」
ファン回転数 (rpm)	500～800	800～1100
チャファー隙間 (mm)	10～14	14～18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	2～5	6～10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀物	トウモロコシ
作物ダイバータ	穀物	穀物
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,00011AF -40-18JAN13-1/1

カラスムギ／エンドウマメ／ポップコーン／ナタネ (ドライ)

注記：表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

*** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。**

	カラスムギ	エンドウマメ
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	高	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	600～900	300～400
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	15～25	15～30
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	小ワイヤ	丸棒／大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	小／小／大	丸棒／大ワイヤ
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Advanced (進み側)」
ファン回転数 (rpm)	750～900	850～1050
チャファー隙間 (mm)	18～22	16～20
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	6～10	6～11
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀物	トウモロコシ
作物ダイバータ	穀物	穀物
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高
	ポップコーン	**ナタネ (ドライ)**
フィーダーハウスドラムの位置	上	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	低	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	スムーズ	難脱穀性作物用鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	スムーズ	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	210～310	400～700 **(L) ***
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	15～25	20～40
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	丸棒	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	丸棒	小／小／大
セパレータ格子カバー **(D) ***	なし	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	取り付け済み	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	900～1100	620～800
チャファー隙間 (mm)	14～18	11～14
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	6～8	3～6
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	トウモロコシ
作物ダイバータ	トウモロコシ	穀物
ナイフバンクの接続	解除のみ	許可
チョッパー回転数	低	高

OUO6075,00011B0 -40-18JAN13-1/1

ナタネ (未乾燥) ／イネ／ライムギ／ベニバナ

注記：表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

*** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。**

	ナタネ (未乾燥)	イネ
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 32	歯数 32
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	低	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	難脱穀性作物用鋸刃状	タイン
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) (**G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	タイン
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	500～800 **(L) ***	700～1000 **(N) ***
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	20～40	15～25
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	小ワイヤ	大径ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	小／小／大	大径ワイヤ
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	700～850	700～900
チャファー隙間 (mm)	11～14	16～20
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	4～8	5～10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	トウモロコシ
作物ダイバータ	穀粒	穀粒
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高
	ライムギ	**ベニバナ**
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	高	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) (**G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	700～900	300～400
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	13～26	15～25
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	小ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	小／小／大	小／小／大
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	750～950	550～750
チャファー隙間 (mm)	16～18	14～16
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	6～10	4～7
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀粒	トウモロコシ
作物ダイバータ	穀粒	穀粒
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,00017E1 -40-30APR14-1/1

モロコシ／大豆／ヒマワリ／ライコムギ

注記：表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

*** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。**

	モロコシ	大豆
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	低	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	550～700	450～650
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	10～25	15～30
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	丸棒／大ワイヤ	丸棒／大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	丸棒／大ワイヤ	丸棒／大ワイヤ
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	どちらか
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	900～1100	800～1050
チャファー隙間 (mm)	14～17	14～18 (汎用) 13～17 (高歯)
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	5～8	6～10 (汎用) 5～9 (高歯)
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	トウモロコシ
作物ダイバータ	穀物	穀物
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高
	ヒマワリ	**ライコムギ**
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	低	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) **(G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	200～400	850～1000
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	25～40	18～24
コンケーブタイプ (北米) **(F) ***	丸棒／大ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) **(F) ***	丸棒／大ワイヤ	小／小／大
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Advanced (進み側)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	650～850	750～1000
チャファー隙間 (mm)	10～15	16～18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	3～10	6～10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	トウモロコシ	穀物
作物ダイバータ	穀物	穀物
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

コムギ (難脱穀性) ／コムギ (普通)

注記：表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

*** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。**

	コムギ (難脱穀性)	コムギ (普通)
フィーダーハウスドラムの位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン **(A) * (B) ***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 **(B) * (J) ***	高	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) (**G) ***	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) **(B) * (E) ***	800～1000	750～950
「Threshing Clearance (脱穀隙間)」	3～15	8～16
コンケーブタイプ (北米) (**F) ***	小ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) (**F) ***	小／小／大	小／小／大
セパレータ格子カバー **(D) ***	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 **(O) *** (装備されている場合)	「Standard (標準)」	「Standard (標準)」
ファン回転数 (rpm)	900～1250	900～1250
チャファー隙間 (mm)	13～18	13～18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	3～8	3～8
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀物	穀物
作物ダイバータ	穀物	穀物
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,00011B3 -40-18JAN13-1/1

脚注の説明ページ

(A) *大量、未乾燥、またはウィンドローが原因でわら作物の送りが不良の場合は、歯数 32 の駆動スプロケットを推奨します。

(B) *乾燥作物のわら品質を向上するには、低速を使用してください。乾燥した脆いヒマワリの場合は、歯数 15 の駆動スプロケットを使用できます。

(C) *穀粒品質を向上するには、320 rpm への減速キットを使用してください。

(D) *小ワイヤコンケーブを使用し、乾燥作物でシューの過負荷条件が発生する場合は、最初にセパレータ格子の右側に 2 条を取り付け、左側に 3 条を取り付けてください。大ワイヤコンケーブの場合は、最初にセパレータ格子の右側に 3 条を取り付け、左側に 2 条を取り付けてください。条件に応じて、数とパターンを調整してください。

(E) *15 エレメントは標準構成です。ほとんどの条件で、15 エレメントは高い能力、シュー負荷の低減、藁の損傷の低減を実現するのに必要な出力が少なくて済みます。さらに、厄介な素材を扱う条件で使用できる難脱穀作物用ローターでは 9 エレメント位置 (Dense Pack) を利用できます。

(F) *脱穀、グレインタンクサンプル、小粒穀物での籾殻負荷分布を向上するには、最初にコンケーブカバーをフロントコンケーブに取り付けてください。必要に応じて、追加のカバーをその他のコンケーブに追加できます。

(G) *難脱穀性作物用鋸刃状以外の推奨事項では、フィードビーターの変換が必要です。

(H) *2 番物サンプカバーを推奨します。

(I) *クリーニングファン減速キットが必要になる場合があります。

(J) *素材の扱いを増やすには、高速を使用してください。

(K) *穂軸の取り込みを増やすために、ワイヤを取り外すことができます。

(L) *TriStream™ ローターを使用している場合は、ローターでの素材の扱いを改善するためにディスチャージパドルを取り付けることができます。

(M) *トウモロコシ穂軸混合セパレータ格子を使用してください。

(N) *極端に厄介な素材を扱う条件では、脱穀エレメントの代わりに脱穀タインを取り付けることができます (脱穀性能が低下する可能性があります)。

(O) *わら品質や素材の扱いを向上するために Advanced (進み側) 位置設定を使用できます。注記：Advanced (進み側) 位置設定では、セパレータロスが増える可能性があります。

(P) *整備部品を通じて入手できます。

OUO6075,0001365 -40-13DEZ12-1/1

コンケーブに関する推奨事項

コンケーブタイプ	トウモロコシ	大豆	コムギ オオムギ 小粒穀物	イネ	ポップコーン 食用 トウモロコシ	モロコシ (ミロ) ヒマワリ (製菓用)	ヒマワリ (オイル用)	アブラナ
小ワイヤ	非推奨	非推奨	最良	非推奨	NR	非推奨	平均	最良
大ワイヤ	良好	良好	良好	最良	非推奨	最良	最良	良好
丸棒	最良	最良	平均	良好	最良	平均	最良	平均

最良 = 最高の結果を得ることが可能。
良好 = 良い結果を得ることが可能。
平均 = 平均的な結果を得ることが可能。
非推奨 = 推奨しません。

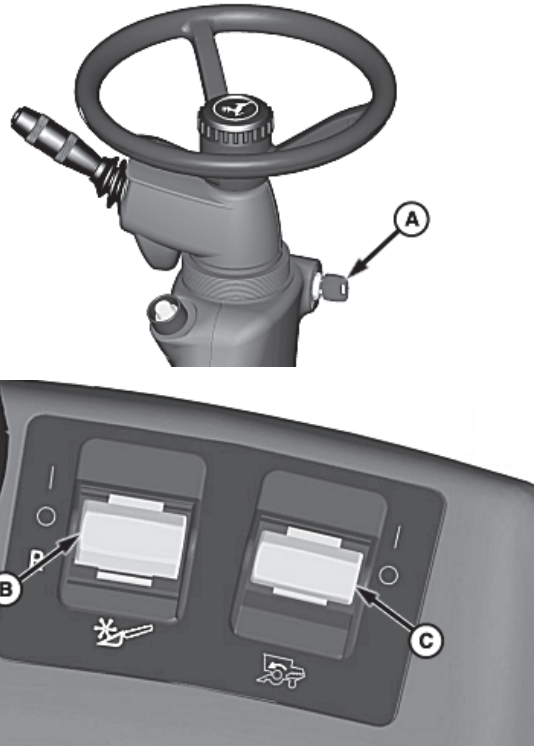
OUO6075,00017DE -40-07MAY14-1/1

動力の遮断手順

注記：動力の遮断手順を使用して、セパレータ内の素材の「スナップショット」を作成することにより、脱穀および分離エリアの機械性能を判定します。これは、機械の背後で発生している損失の場所、条件を修正するために実施できる調整の内容を判定するうえで価値があります。

作物の条件と素材の取り込みが遮断ごとに同じであることを確認してください。

1. コーナーポストディスプレイのエンジン回転数インジケーターと、ひじかけのディスプレイの脱穀速度の読み値を確認します。
2. ブレーキペダルを連結します。
3. 目的の作物で最適化されたスループットレベルで機械を運転します。
4. 自由に動くようにステアリングをホイールを前方へ動かします (両手が必要です)。
5. ひじかけのローアイドルエンジン回転数スイッチを押します。
6. ブレーキペダルを踏み込みます。
   a. **ProDrive™ 非装備の機械：**ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます (推進システムに負荷をかけてエンジン回転数をすばやく下げます)。
   b. **ProDrive™ 装備の機械：**ブレーキペダルを軽く踏み込みます (完全に踏み込むと、ProDrive™ は動力を復帰させ、シフトダウンして機械のダイナミクスが変わります)。
7. ローアイドル回転数 (1200 rpm) までエンジン回転数が低下したら、**ひじかけのヘッダー (B) およびとセパレータ (C) スイッチをすばやく解除します。**
8. マルチファンクションレバーをすばやくニュートラル位置に動かします。
9. エンジンを 1 分間放置して冷まします。
10. キースイッチ (A) を回してエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。



A：キースイッチ
B：「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ
C：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ

11. 調整を行う前に、穀粒がひどく損傷していないか、穂軸に穀粒が残っていないか点検し、穀粒の損失がないことを点検します。
12. 必要な調整を決定します。脱穀隙間を空け、セパレータを接続します (クリーンアウト中は、シリンダ駆動部に不要な応力をかけないでください)。
13. 機械を目的の設定に調整して収穫を続けます。
14. この手順を繰り返して、穀粒品質および機械の背後の穀粒損失を確認します。
15. 受け入れ可能な損失レベルに達したら、VisionTrak™ モニタを較正して収穫を続けます。

OUO6075,00014AB -40-18APR13-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate (オプション)

Harvest Smart Feed Rate：安全な操作 (装備されている場合)

重要：Harvest Smart Feed Rate はオペレータがより効率的に機械を操作できるようにします。ただし、オペレータは機械に引き続き責任を負い、操作中は周囲の環境に注意する必要があります。

Harvest Smart を操作する前にこのマニュアルをよく読み、理解してください。説明なしに他の人にシステムを操作させないでください。このマニュアルに不明な点があり、サポートが必要な場合は、John Deere 取扱店までご連絡ください。

システムが作動しているときは、周囲の環境に常に警戒し、注意を払ってください。条の最後でシステムの作動を解除するときは、対地速度を制御できるように準備してください。

OUO6075,0000705 -40-06APR10-1/1

Harvest Smart Feed Rate：説明

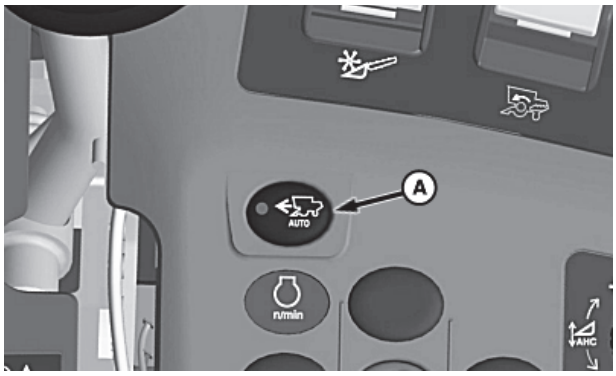
Harvest Smart フィードレートは、対地速度を変えて機械を通る素材のフローを一定にし、生産性を最大限に高めてオペレータの疲労を軽減します。作物材料が軽くなると、機械の対地速度が増加し、作物材料が重くなると対地速度が減少します。**オペレータはマルチファンクションレバーを引き戻して最高対地速度を常時制限します。**システムは、エンジン出力レベルがオペレータの必要な最大エンジン出力設定を超えると、機械の対地速度を低下させ始めます。これにより、エンジン回転数の低下とストールからエンジンが保護されます。

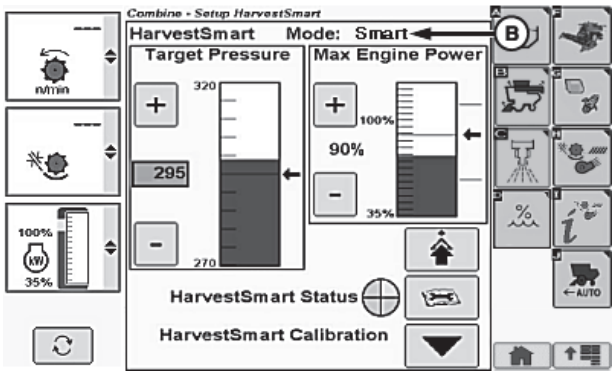
以下の条件で使用した場合、システムは最適に作動しない可能性があります。

- 極端に坂の多い条件
- 絡んだまたは倒れた作物条件
- 極端に泥の多い条件

OUO6075,0000706 -40-13DEZ10-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate：スマートまたはキャパシティモード





A：Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ　B：運転モード

Harvest Smart™ フィードレート有効化スイッチ (A) を押すと、異なる運転モード (B) 間で切り替えができます。

スマートモード：

注記：スマートモードは機械の制御を優先する運転方法です。

ロスレベルを VisionTrak™ で監視して、オペレータが指定したレベル (ロスモニタで較正) にシステムを維持します。穀粒ロス較正アイコンを選択すると、システムが設定されます。ロスモニタレベルが、オペレータが必要なレベルよりも一貫して上回っているまたは下回っている場合、システムは材料フローレベルを増減して、ロスレベルを必要な範囲内に戻します。

キャパシティモード：

作物材料が軽い場合は一定の材料フローを維持して機械の対地速度を上げ、作物材料が重い場合は対地速度を下げます。キャパシティモードは一定の材料フローを維持するため、VisionTrak™ のモニタ設定を調整しません。

OUO6075,0001809 -40-23MAY14-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate：目標圧力

注記：スマートモードでは、Harvest Smart™ 設定画面を通じて目標圧力を調整することはできません。

目標圧力を使用すると、VisionTrak™ ロスモニタ設定を変更しないで目標容積を調整できます。目標容積では、ローター圧力をモニタしてセパレータに入る材料の量を測定します。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「プラス (+)」アイコン (B) または「マイナス (-)」アイコン (C) が強調表示されるか、「目標圧力」ボックス (D) を強調表示したら、、目標圧力を調整して「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な目標圧力値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な目標値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

注記：バーグラフに現在の目標圧力レベルが表示されます。矢印インジケーターとラインにより、オペレータ設定値がディスプレイに表示されます。

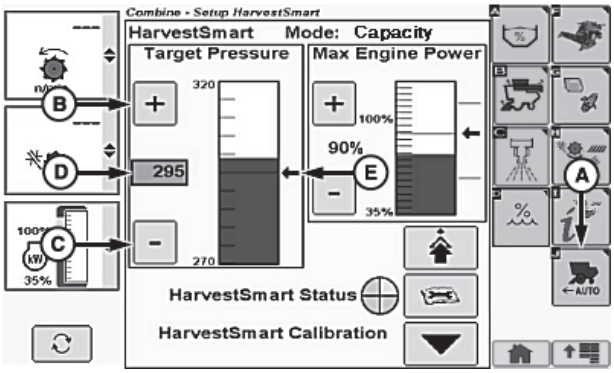
矢印インジケーター (E) はオペレータ設定値に調整します。

システムの調整

注記：スマートモードでは、Harvest Smart™ 設定画面を通じて目標圧力を調整することはできません。

- 「Target Pressure (目標圧力)」(30～420)：これを使用して、VisionTrak™ ロスモニタとは独立して、目標容量またはスループットを設定します。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン
B：「Plus (プラス)」アイコン
C：「Minus (マイナス)」アイコン
D：「Target Pressure (目標圧力)」ボックス
E：矢印インジケーター

- VisionTrak™ ロスモニタ較正を変更しないで (ローター負荷に基づいて) 目標容量を調整したい場合は、パラメータを使用できます。
- VisionTrak™ で上／下矢印ボタンを使用してスマートモードで目標圧力を調整することをお勧めします。VisionTrak™ を通じて設定を実行すると、目標容積／ロスの関係が維持されます (例：VisionTrak™ 較正係数は受け入れ可能であるが、機械で遅い対地速度を維持する場合は、目標容積パラメータを 20 増やします。対地速度が速い場合は、目標容積パラメータを 20 減らします)。

OUO6075,0001372 -40-09JAN13-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate：最大エンジン出力

最大エンジン出力では、Harvest Smart™ で運転が許可される許容最大エンジン負荷を設定します。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

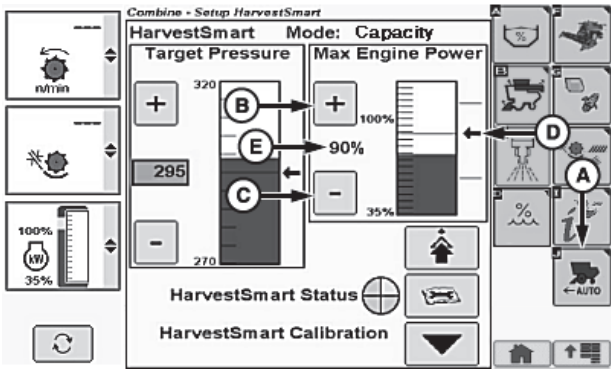
「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「プラス (+)」アイコン (B) または「マイナス (-)」アイコン (C) を強調表示したら、最大エンジン出力を調整して、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：バーグラフに現在のエンジン出力レベルが表示されます。矢印インジケーターとラインにより、オペレータ設定値がディスプレイに表示されます。

矢印インジケーター (D) はオペレータ設定値に調整し、最大エンジン出力割合 (E) が表示されます。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン
B：「Plus (プラス)」アイコン
C：「Minus (マイナス)」アイコン
D：矢印インジケーター
E：「最大エンジン出力割合」

システムの調整

- 「最大エンジン出力」アイコン：これを使用して、Harvest Smart™ で許可される最大許容エンジン負荷を設定します。
  - スラグフィードが懸念される場合は、設定を減らしてエンジン負荷に対する緩衝を確保してください。
  - エンジン負荷の使用による対地速度の制御は、値を運転最大エンジン出力レベルに設定して実現できます。これは、脱穀負荷に対してヘッダー負荷が大きい作物 (例、トウモロコシ) で実施できます。

OUO6075,0001371 -40-24JAN13-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate：最大収穫速度

最大収穫速度では、Harvest Smart™ で運転する最大許容対地速度を設定します。システムは作物容量に関係なく設定を超えません。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「詳細設定」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「最大収穫速度」ボックス (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な最大収穫速度値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な最大収穫速度値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

「Return/Back (戻る)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

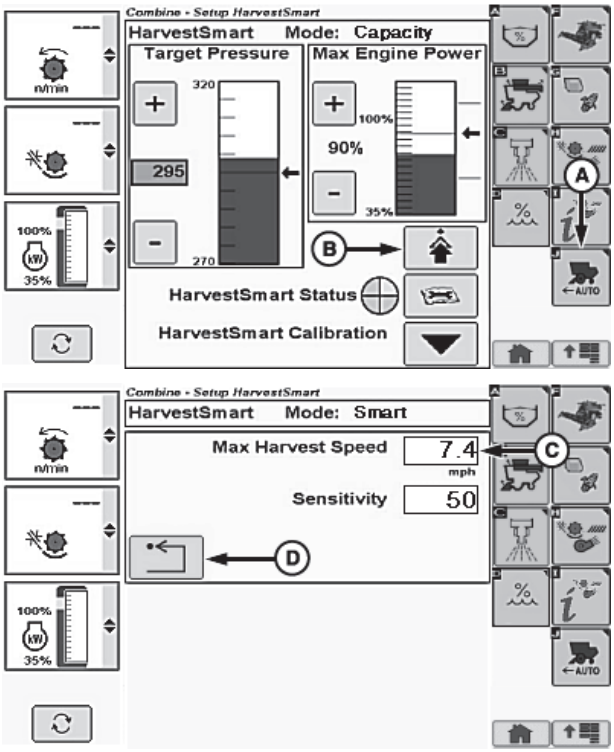
システムの調整

- 「最高収穫速度」(2.0～14.0 km/h) (1.2～8.6 mph)：パラメータを使用して、Harvest Smart™ がアクティブなときの最高対地速度を設定します。

  注記：機能の向上と性能の最適化のためにパラメータを変更できます。

  - マルチファンクションレバーを戻す必要のない快適な最高対地速度を設定します。そうしないと、作物条件が通常の収量から軽い収量に変わった場合、システムは目標圧力またはマルチファンクションレバー位置の速度に達するまで対地速度を上げます。
  - 1 つのオプションとして、最も軽い作物条件で最高対地速度を 0.8～1.6 km/h (0.5～1 mph) に設定します。最高対地速度を通常の運転速度のすぐ上に制限することにより、システムは (大きな速度範囲に適応するのではなくリーンなパラメータに適応するので) より効率的になります。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン
B：「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン
C：「最大収穫速度」ボックス
D：「Return/Back (戻る)」アイコン

注記：オペレータが設定するマルチファンクションレバー位置では最高対地速度が常に制限されます。

OUO6075,0001376 -40-08JAN13-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate：感度

感度では、Harvest Smart™ が作物密度の変化に応答する程度を設定します。高応答設定では、機械は対地速度を急変させて作物容量を維持します。低応答設定では、機械で急変が抑制されます。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「詳細設定」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「感度」ボックス (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な感度値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な感度値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

「Return/Back (戻る)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

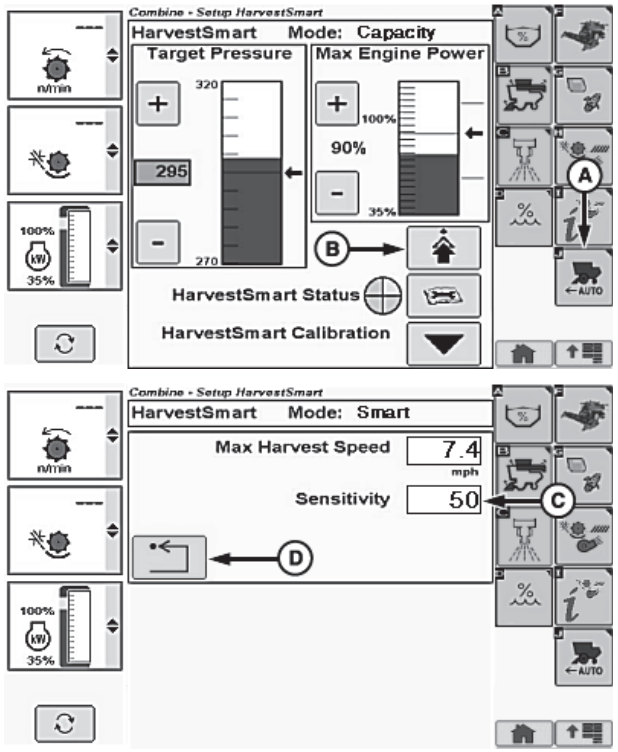
システムの調整

- 「感度」(0～100)：これを使用して、Harvest Smart™ が対地速度を変更する感度を調整します。

  注記：機能の向上と性能の最適化のためにパラメータを変更できます。

  - 対地速度が極端に変わるのが感じられるまで、低い値から初めて大きく増やします (10～20)。そこから数値を戻します。
  - フィード機能での違いにより、ヘッダーに応じてレートが変わります (例：コーンヘッドは高レートで最適に機能し、ドレーパーは低レートが必要な場合があります)。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン
B：「Advanced Setup (詳細設定)」アイコン
C：「Sensitivity (感度)」ボックス
D：「Return/Back (戻る)」アイコン

- レートは対地速度に基づいて調整する必要があります。低速では、高いレートの方が高速よりも良好に機能する可能性があります。条件が大きく変わる場合は (短距離で密度が大きく変化するなど)、応答レートを中範囲設定 (40～60) に維持することをお勧めします。

OUO6075,0001377 -40-08JAN13-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate：ステータスの識別

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：「Harvest Smart™ Status (Harvest Smart™ ステータス)」インジケーター (B) は、機械が現在運転されている状態を示します。

「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン (C) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

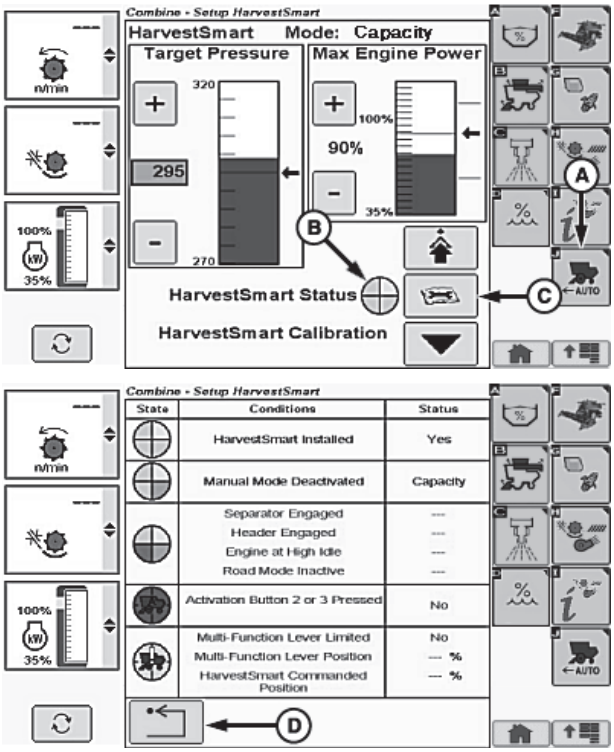
画面には、以下の機械状態、条件、およびステータス情報が表示されます。

- Harvest Smart™ Installed (Harvest Smart™ インストール済み)
- Manual Mode Deactivated (手動モード非アクティブ)
- Separator Engaged (セパレータ接続済み)
- Header Engaged (ヘッダー接続済み)
- Engine at High Idle (エンジンハイアイドル)
- Road Mode Inactive (道路モード非アクティブ)
- Activation Button 2 or 3 Pressed (起動ボタンが 2～3 回押された)
- Multi-Function Lever Limited (マルチファンクションレバー制限)
- Multi-Function Lever Position (マルチファンクションレバー位置)
- Harvest Smart™ Commanded Position (Harvest Smart™ で命令された位置)

「Return/Back (戻る)」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して前のページに戻ります。

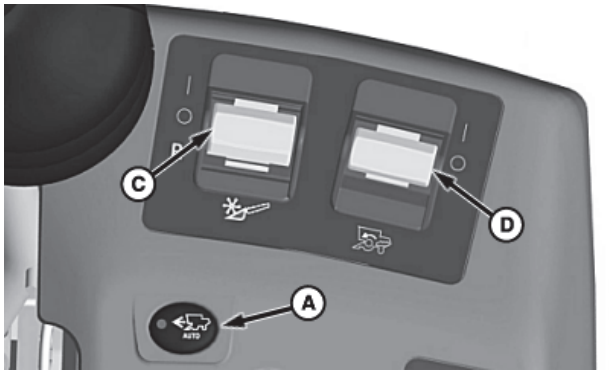
A：「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン
B：「Harvest Smart™ Status (Harvest Smart™ ステータス)」インジケータ
C：「Diagnostic Readings (診断結果)」アイコン
D：「Return/Back (戻る)」アイコン

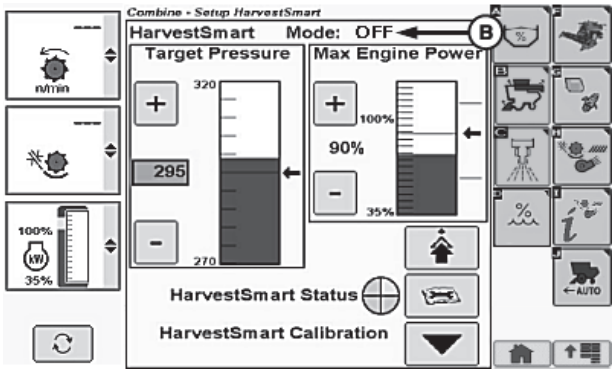
「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



OUO6075,0001374 -40-04JAN13-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate：初期較正





A：Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ
B：OFF
C：「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ
D：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ

注記：較正は、作物の収穫を初めて行うとき、作物が変わるとき、または圃場条件が変わるときに実施する必要があります。

ディスプレイに「OFF」(B) が表示されるまで、「Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ」(A) を押します。

「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ (C) と「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ (D) を ON にし、ヘッダーを下ろします。

OUO6075,0001284 -40-08JAN13-1/2

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

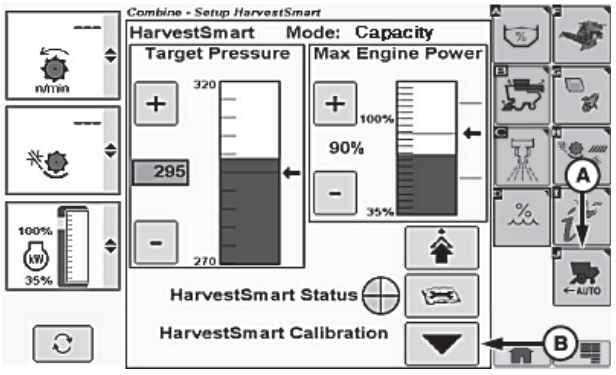
「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

機械を運転し、必要なロスレベルで一貫して作物を収穫します。そのレベルに 10～15 秒間維持して機械を安定させます。

「Harvest Smart™ 較正」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。これにより、Harvest Smart™ の材料フローやロスの目標値が設定されます。

A：「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン
B：「Harvest Smart™ 較正」アイコン

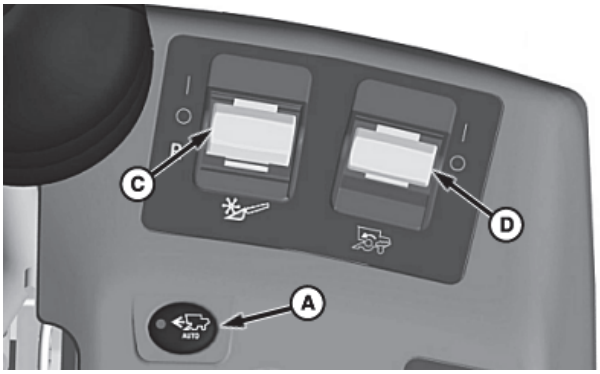
「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン

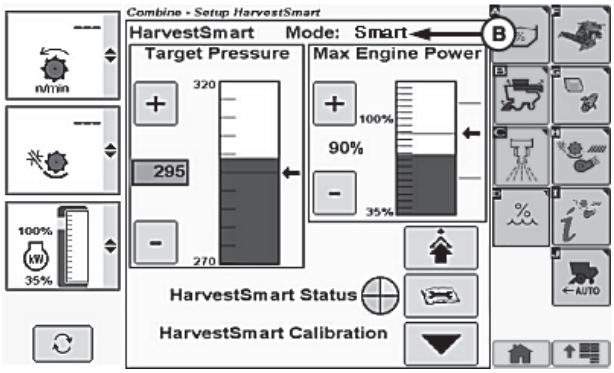


キャパシティモード

OUO6075,0001284 -40-08JAN13-2/2

Harvest Smart™ Feed Rate：運転





A：Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ
B：スマート
C：「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ
D：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ

注記：Harvest Smart™ が作動しているときにオペレータがシートを離れると、システムは接続を解除して機械の速度を下げて停止するまで 3 秒間引き続き作動します。システムを起動するには、マルチファンクションレバーをニュートラル位置にして、マルチファンクションレバーの起動ボタン 2 または 3 を押します。

ディスプレイに「Smart (スマート)」(B) が表示されるまで、「Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ」(A) を押します。

「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ (C) と「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ (D) を ON にし、ヘッダーを下ろします。

OUO6075,0001375 -40-24JAN13-1/2

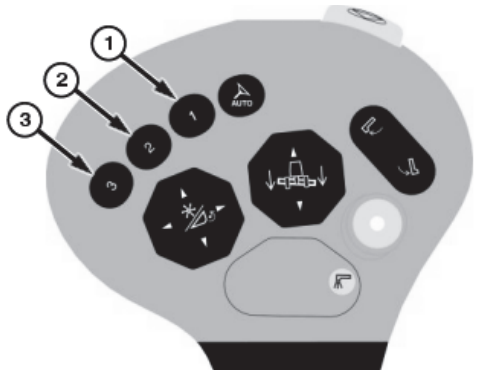
マルチファンクションレバーの起動ボタン 2 または 3 を押してシステムを起動し、マルチファンクションレバーを前方いっぱいまで動かします。

注記：マルチファンクションレバーでは最高対地速度が制限されます。機械の速度を遅くするまたは停止するには、マルチファンクションレバーを後方に動かします。マルチファンクションレバーを前方にゆっくりと動かして、オペレータが設定した対地速度まで機械を進めます。

最大許容対地速度は、CommandCenter™ ディスプレイに表示されます。

警戒：起動ボタン 1 を押すと、機械はマルチファンクションレバー位置まで加速し、マルチファンクションレバーのフルコントロールをオペレータに返します。

圃場の端に達したら、マルチファンクションレバーの起動ボタン 1 を押します。これによりシステムが一時的に無効になり、機械はマルチファンクションレバー位置まで加速できます。システムが一時的に無効になると、オペレータは機械をフルコントロールできます。マルチファンクションレバーを後方に引いて機械の速度を遅くします。



注記：新しい較正を入力した後、Harvest Smart™ が平均収穫速度を判定するのに 5 分かかります。この速度は、作物を入れて、Harvest Smart™ がアクティブのときに機械の対地速度を再開するために使用されます。

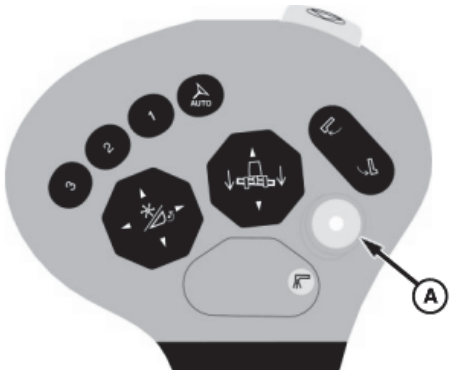
作物を入れるときは、マルチファンクションレバーの起動ボタン 2 または 3 を押してシステムを再起動してマルチファンクションレバーを前方いっぱいまで動かします。

OUO6075,0001375 -40-24JAN13-2/2

Harvest Smart™ Feed Rate：追加情報 (アンローディングオーガ ON および圃場条件)

注記：アンローディングオーガボタンを押すと、Harvest Smart™ は機械の対地速度を維持します (マルチファンクションレバーが後方に移動されていない場合)。アンローディングシステムが接続されている場合、システムは制御された状態に維持されますが、応答は制限され、グレインカートがオーバーランする急変を防止します。

- アンローディングオーガドライブスイッチ (A) を押しても、Harvest Smart™ は引き続きアクティブです。アンローディング中にオペレータが機械を手動で制御したい場合は、機械が少し遅くなるまでマルチファンクションレバーを後方に引いてシステムを一時的に非アクティブにします。これにより、オペレータは対地速度をフルコントロールできます。アンローディングオーガボタンを OFF にすると、システムは自動的に再度アクティブ化され、対地速度を制御します。
- 作物条件が非常に変化する場合、オペレータはマルチファンクションレバーを後方に動かして機械の速度を遅くし、機械に入る速度を重い作物条件に制限する必要があります。5 秒後、マルチファンクションレバーを後方にいっぱいまで動かします。



A：アンローディングオーガドライブスイッチ

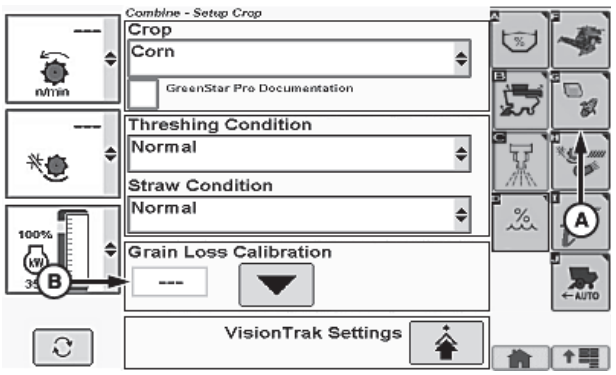
Harvest Smart は John Deere の商標です。

OUO6075,0001837 -40-12JUN14-1/2

システムが一貫して通常よりも速く機械を駆動する場合は、穀粒ロス較正値を 2 または 3 増やしてください。システムが一貫して通常よりも遅く機械を駆動する場合は、穀粒ロス較正値を 2 または 3 減らしてください。

a. 「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。
b. 「Crop Setup (作物の設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。
c. 「穀粒ロス較正値」(B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。
d. 以下の手順に従って、必要な穀粒ロス較正値を選択します。
e. **非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン**：必要な穀粒ロス較正値が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。
f. **タッチスクリーンのみ**：数値ディスプレイ上で必要な穀粒ロス較正値を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



A：「Crop Setup (作物の設定)」アイコン
B：「Grain Loss Calibration Value (穀粒ロス較正値)」

OUO6075,0001837 -40-12JUN14-2/2

Harvest Smart™ Feed Rate：ベストプラクティス

以下の手順に従って、システムを較正します。

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

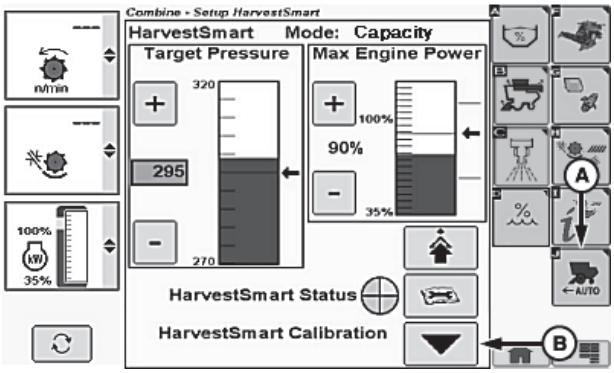
必要な作物、および受け入れ可能なスループットとロスレベルで機械を約 15～20 秒 運転し (ローター圧力とロスレベルを安定させ) 、安定した運転を確認します。

「穀粒ロス較正」アイコン (B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。較正により、以下のパラメータが設定されます。

- 目標容積 (スループット)
- 目標ロス
- VisionTrak™ ロス較正係数

A：「Harvest Smart™ Feed Rate 設定」アイコン
B：「Grain Loss Calibration (穀粒ロス較正)」アイコン

「Combine Setup (コンバインの設定)」アイコン



「キャパシティ」画面

OUO6075,0001286 -40-04JAN13-1/2

以下の手順に従って、システムを起動します

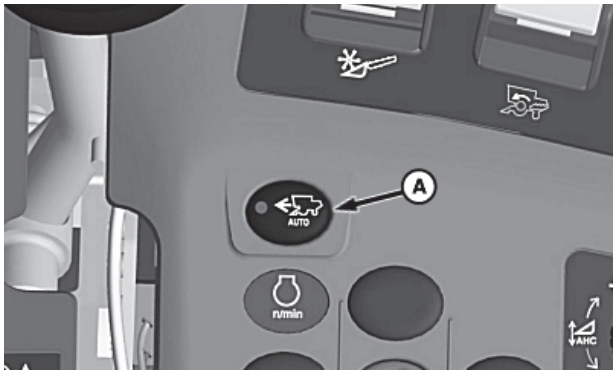
「Smart (スマート)」モードまたは「Capacity (キャパシティ)」モードがディスプレイに表示されるまで、「Harvest Smart™ feed rate enable (Harvest Smart™ Feed Rate の有効化)」スイッチ」(A) を押します。

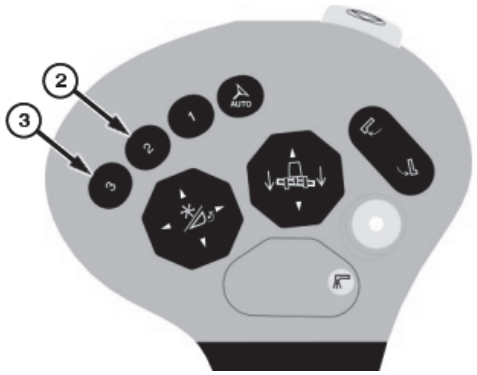
- スマートモードを推奨します。
- キャパシティモード：ロスの問題がないか、条件により VisionTrak™ が信頼性に欠ける場合。

マルチファンクションレバーの起動ボタン 2 または 3 を押してシステムを起動し、マルチファンクションレバーを前方に動かして、作物密度に応じて速度を速くします。

注記：システムは、マルチファンクションレバー位置よりも速い速度を命令しません。

A：Harvest Smart™ Feed Rate 有効化スイッチ





OUO6075,0001286 -40-04JAN13-2/2

Harvest Smart™ Feed Rate 制御：システムと圃場の症状

機械の加速が遅すぎる：

- 感度レートを増やします。このセクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：感度」を参照してください。
  - 高い感度レートでは、機械は変化により早く応答します。

注記：感度レートを 1 増加させても感じられる変化はありません。感度レートを 20 増加させると、はっきりとわかるようになります。受け入れ可能な性能範囲になったら、設定をさらに絞り込むことができます。

感度レートを高くしても最大減速に影響はありません。

機械が急に停止または速度超過する：

- 機械が脱穀速度範囲の下限にあり、フィードレートが速度超過する場合は、ローター回転数を 20～30 rpm 上げます。ローター回転数が増加または減少した後、対地速度が 10 秒間保持されます。10 秒後、5 秒平均のローター圧力が取得され、目標圧力の新しい値が設定されます。

注記：Harvest Smart™ は、脱穀速度の上限と下限で検出ローター負荷を制限します。15 秒後、平均化されたシステムが不安定な場合は、目標値をもう一度較正してください。

対地速度の振動：

注記：新しい作物の収穫時に、機械が短期間振動するのは正常です。

- 感度レートを減らしてください。
- 機械をエンジンの定格回転数で最大出力近くで運転しており、機械が振動する (対地速度が速く／遅くなる) 場合は、このセクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：感度」を参照してください。
  - 感度レートを減らして振動を停止し、目標エンジン回転数を調整して対地速度を制御してください。

対地速度が坂の多い条件で振動する：

- 機械は上り坂を動きときに一定の対地速度を維持します。機械が急な坂を上る場合、機械は高いハイドロスタティック力が下人で速度が少し遅くなります。このセクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：最大収穫速度」を参照してください。
- 機械は下り坂を下りる場合、速度が速くなります。このセクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：最大収穫速度」を参照してください。
  - オペレータは快適な最大収穫対地速度を設定する必要があります。これにより、機械は下り坂を下りるときに最大速度を超過しません。

注記：作物条件が厳しい場所、または水路や流出箇所に沿った場所で収穫するときは、マルチファンクションレバーを引き戻すことをお勧めします。機械が速すぎると感じられる場合は、これによって機械の制御が得られ、対地速度が低下します。

ロスなしで目標速度または対地速度が増加する：

- スマートモードで運転中に VisionTrak™ センサーが (曇り、切断、または損傷により) 機能していないと、機械の速度が速くなり、高いロスが発生します。このセクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：スマートまたはキャパシティモード」を参照してください。
  - 運転をスマートモードからキャパシティモードに変更してください。これにより、一定の材料フローが得られ、作物材料が軽い場合は機械の対地速度が上がり、作物材料が重い場合は対地速度が下がります。

システムで目標値が失われる：

- スマートモードで運転中に、システムは継続して目標圧力値を再計算して、対地速度を調整します。
- キースイッチを入れ直すたびに、Harvest Smart™ を再較正する必要があります。システムはキーサイクルを通じてエントリ速度を保持しません。

作物の変化に対して機械の応答が遅すぎる：

- 機械の感度レートの調整が遅すぎます。このセクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：感度」を参照してください。

注記：感度レートを 1 増加させても感じられる変化はありません。感度レートを 20 増加させると、はっきりとわかるようになります。

  - 振動が発生するまで感度レートを上げ続けて、その点から感度レートを下げます。
  - 高感度レート設定では、機械は作物容積を維持するために対地速度を急激に変化させます。
  - 低感度設定では、急激な変化が抑えられます。

機械が作物ロスに対して急激に反応する：

- キャパシティモードでは、一定の材料フローが得られ、作物材料が軽い場合は機械の対地速度が上がり、作物材料が重い場合は対地速度が下がります。
  - VisionTrak™ を再較正してください。このセクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：初回較正」を参照してください。
  - VisionTrak™ を較正しても効果がない場合は、キャパシティモードに切り替えてください。このセクションの「Harvest Smart™ Feed Rate：スマートまたはキャパシティモード」を参照してください。
  - 一部の条件では、キャパシティモードが運転に適しています。

OUO6075,0001378 -40-30JAN13-1/1

Harvest Smart™ Feed Rate のトラブルシューティング

Harvest Smart™ Feed Rate 制御

兆候	問題	解決方法
Harvest Smart™ Feed Rate 制御を起動すると、機械が遅くなるまたは停止する。	注記：新しい較正を入力した後、Harvest Smart™ が平均収穫速度を判定するのに 5 分かかります。	システムを再較正してください。
	機械の較正値が不良です。	
	キースイッチを入れ直すたびに、Harvest Smart™ を再較正する必要があります。システムはキーサイクルを通じてエントリ速度を保持しません。	システムを再較正してください。
システムを較正した後、機械の走行が遅すぎる。	目標ロータートルクが低すぎます。	穀粒ロス較正値を 2 または 3 増やしてください。
	機械の較正値が不良です。	システムを再較正してください。
システムを較正した後、機械の走行が必要以上に速すぎる。	目標ロータートルクが高すぎます。	穀粒ロス較正値を 2 または 3 減らしてください
	機械の較正値が不良です。	システムを再較正してください。
Harvest Smart™ Feed Rate 制御がアクティブな状態で、機械の速度の振動が大きすぎる。	グレイン／感応性の設定が高すぎます。	感度設定を減らしてください。
	ロスモニタの感度が高すぎます。	Harvest Smart™ Feed Rate 制御システムをキャパシティモードで試してください。
Harvest Smart™ Feed Rate 制御がアクティブな状態で、システムが変化に対して緩慢に応答する。	グレイン／感応性の設定が低すぎます。	感度設定を増やしてください。
Harvest Smart™ Feed Rate 制御が不規則に作動している。	機械の較正値が不良です。	システムを再較正してください。
	ロスモニタが正しく機能していない。	Harvest Smart™ Feed Rate 制御システムをキャパシティモードで試してください。

Harvest Smart™ Feed Rate 制御ドライブバイワイヤ

兆候	問題	解決方法
機械が予期せず停止し、動かなくなる。	システムに公差範囲外の部品があります。	マルチファンクションレバーをニュートラルにして、すべての診断トラブルコードを消去します。コードが消去されたら、機械を運転します。
	斜板位置センサーでバルブの固着が検出されました。またはこのセンサーが故障して複数の診断トラブルコードが表示されています。	(ProDrive™ 非装備の機械) 詳細については、このセクションで後述の「Harvest Smart™ Feed Rate リンプおよび緊急モード」を参照するか、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
		(ProDrive™ 装備の機械) 詳細については、このセクションで後述の「Harvest Smart™ Feed Rate リンプモード」を参照するか、John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	システムが 1 つ以上の冗長チャンネルを失いました。またはチャンネルに矛盾があり、複数の診断トラブルコードが表示されています。	(ProDrive™ 非装備の機械) 詳細については、このセクションで後述の「Harvest Smart™ Feed Rate リンプおよび緊急モード」を参照するか、John Deere 取扱店にお問い合わせください。
		(ProDrive™ 装備の機械) 詳細については、このセクションで後述の「Harvest Smart™ Feed Rate リンプモード」を参照するか、John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ドライバーが 3 秒間シートから離れた後、機械が停止する。	オペレータが座席にいない。	運転を開始する前に、オペレータをシートに戻り、マルチファンクションレバーをニュートラルに戻す必要があります。

OUO6075,0001379 -40-30JAN13-2/2

Harvest Smart Feed Rate、リンプモードと緊急モード

リンプモード

注記：機械を最長 4 時間運転します。通常の運転には使用しません。John Deere 取扱店に連絡して、すぐに機械の点検を受けてください。

LIMP モードは機械を一時的に動かすために使用します。

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Message center (メッセージセンター)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Diagnostic Address (診断アドレス)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：下矢印を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、リストをスクロールします。

装置ドロップダウンメニューを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

メニューリストの **VCM** コントローラを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

下矢印を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

メニューリストのアドレス **103** を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：0 を 1 に変更してリンプモードを有効にします。

桁 1 を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 0= 無効
- 1= 有効

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押してアドレス値を保存します。

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

緊急モード

注記：機械を 30 秒間動かします。通常の運転には使用しません。John Deere 取扱店に連絡して、すぐに機械の点検を受けてください。

緊急モードを使用して、機械を邪魔にならない位置に動かします。

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Message center (メッセージセンター)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Diagnostic Address (診断アドレス)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：下矢印を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、リストをスクロールします。

装置ドロップダウンメニューを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ProDrive™ 非装備の機械：メニューリストの **VCM** コントローラを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ProDrive 装備の機械：メニューリストの **PTP** コントローラを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

下矢印を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ProDrive™ 非装備の機械：メニューリストのアドレス **102** を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

ProDrive 装備の機械：メニューリストのアドレス **119** を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

注記：0 を 1 に変更して緊急モードを有効にします。

桁 1 を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

- 0= 無効
- 1= 有効

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押してアドレス値を保存します。

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,0001118 -40-13APR12-1/1

HillMaster™ 水平調整システム (装備されている場合)

HillMaster システム (一般情報)

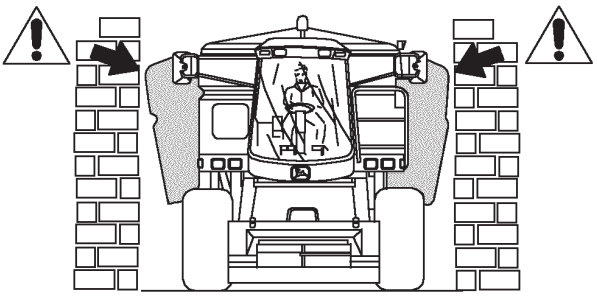
警戒：HillMaster は圃場のみで使用してください。公道を走行する前に、最大高さが 4.0m 未満になるように機械を輸送位置に下げる必要があります。

機械を傾斜地で旋回させる場合は、十分に注意する必要があります。安定性の喪失や機械の横転の可能性を回避するために、傾斜地で機械を旋回させるときは以下の注意事項に従ってください。

- **絶対に水平調整システムで機械を水平に維持できる速さよりも速く機械を旋回させないでください。**
- **必ず上り坂で旋回し、絶対に下り坂で旋回しないでください。**
- **最大傾斜限度インジケーターがディスプレイに表示されたら、急な傾斜地に移動しないでください。**

機械に挟まれてけがをしないように注意してください。整備や調整のために機械の下に入る前に、必ず水平調整システムを下げてください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

重要：手動水平調整制御スイッチを作動させる前に、パーキングブレーキが解除されていることを確認してください。



ZX 002438

他の機械や建物の壁の近くに機械を駐車しないでください。長時間駐車しているときに油圧の内部損失により機械が傾くことがあるためこれは重要です。これにより、機械や隣接する機械または壁が損傷する可能性があります。

標準のファイナルドライブがフロント車軸のピボットキャリアプレートに取り付けられています。キャリアプレートを上下に旋回させて機械を傾斜させるために油圧シリンダが使用されています。機械が不均一な地面上を動いてもセパレータは水平に維持されます。

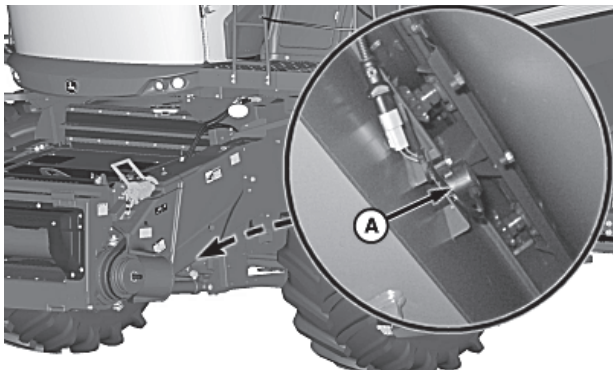
システムは、HillMaster 傾斜左／右ボタンを使用して手動で、または自動モードで操作されます。

自動モードでは、傾斜センサー (A) によって機械のボディが水平にされ、機械が圃場で動くときに水平に維持されます。

圃場の勾配が変化すると、傾斜センサー内の振り子によって傾斜角度が測定され、信号がコントロールユニットに送信されます。適切な時期と角度で、制御回路は電気信号を傾斜水平調整制御バルブの左右の傾斜ソレノイドに送信します。

注記：センサーは、圃場運転中に 1° 以内にセパレータレベルを維持します。荒れた地面や不整地で運転しているときは、セパレータレベル位置が短期間 1° を超えることがあります。

傾斜システムは 15% までの勾配でセパレータレベルを維持します。15% を超える勾配で運転した場合、最大傾斜限度インジケーターがディスプレイに表示されます。



フロント車軸の傾斜センサー

A：傾斜センサー

次のページへ

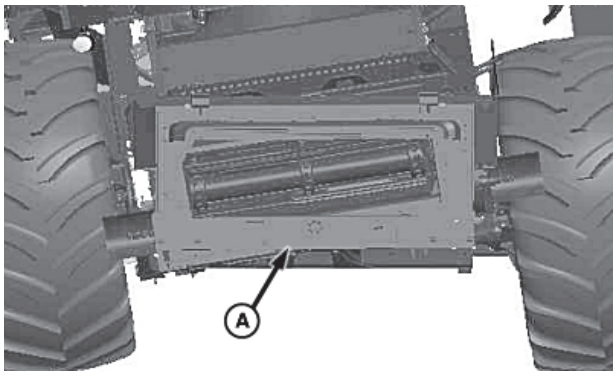
HeaderTrak 傾斜機能の作動

HeaderTrak 傾斜機能は、機械のセパレーターが傾いて水平を維持するときにヘッダーが地面と平行になるように支援します。このシステムは、ヘッダーを左右に傾けることができる特別に装備されたフィーダーハウス (A) を使用します。

HillMaster と HeaderTrak 傾斜機能により、ヘッダーを左右に ± 9° 傾けることができます。両方のシステムにより、ヘッダーは 15% までの勾配で正しくカットできます。

HeaderTrak 傾斜システムは、複動式プライマリ／セカンダリシリンダ配列を使用して、シャーシに対してヘッダーを傾けます。

A : フィーダーハウス



OUO6075,0000A04 -40-02NOV10-3/5

ヘッダー傾斜プライマリシリンダ (A) はフロント車軸と左ファイナルドライブキャリアプレートとの間に接続されています。ヘッダー傾斜セカンダリ (B) はフィーダーハウスの最上部にあり、傾斜フレームをフィーダーハウスに接続しています。通常の運転では、セパレータが左右に傾斜して水平を維持するときにヘッダーは地面に対して平行に自動的に維持されます。

注記：完全な傾斜移動を制限する可能性がある材料の堆積を防止するために、フィーダーハウス傾斜フレームの周囲を定期的に清掃する必要があります。

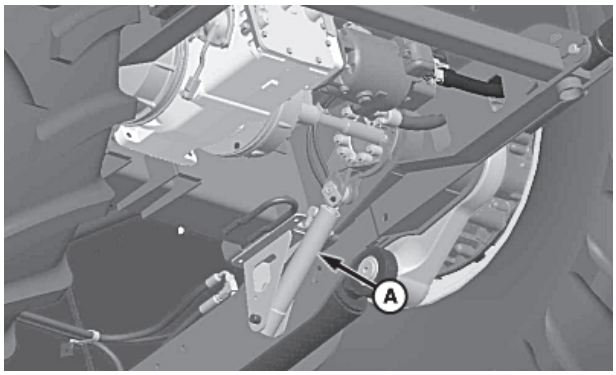
オペレータは、マルチファンクションレバーにある HeaderTrak 傾斜スイッチを使用して、自動ヘッダー水平調整機能を解除することができます。HeaderTrak 傾斜スイッチを押すと、メイン油圧バルブブロックからのオイルがヘッダー傾斜回路に追加または除去され、フィーダーハウスやシャーシとは無関係にヘッダー傾斜回路が作動します。

自動作動の場合、ヘッダーに HeaderTrak センサーを取り付けて初回使用の前に較正する必要があります。

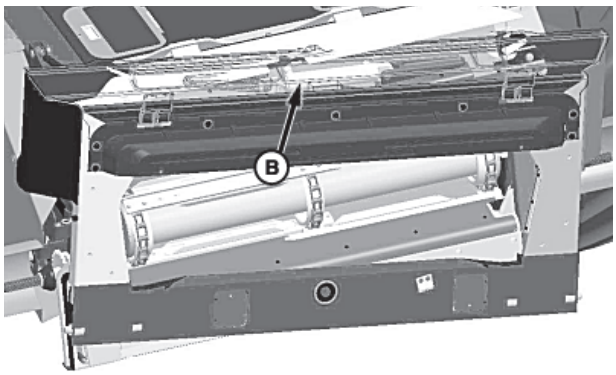
ディスプレイの「HeaderTrak enable (HeaderTrak の有効化)」ボタンを押すと、自動作動が有効になります。マルチファンクションレバーの起動ボタン 1、2、または 3 を使用してこのシステムを起動します。

HeaderTrak 傾斜機能を装備したヘッダーには、左右の端部にそれぞれ 1 つのセンサーがあります。これらのセンサーからの信号が処理され、適切な油圧制御バルブに通電して、ヘッダーが地面に対して水平に調整されます。

A : ヘッダー傾斜プライマリシリンダ
B : ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ



左側のプライマリシリンダ



ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ

次のページへ

OUO6075,0000A04 -40-02NOV10-4/5

ヘッダー傾斜シリンダ

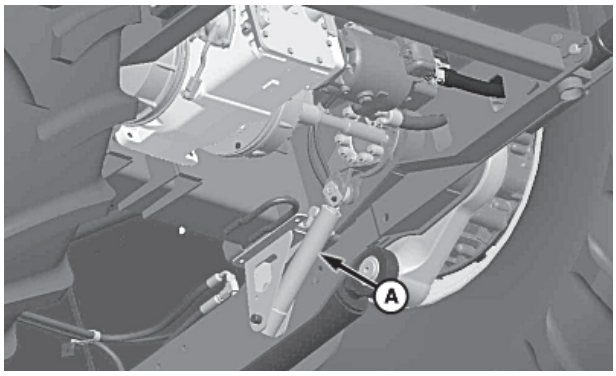
ヘッダーの角度は、プライマリ／セカンダリシリンダ配列によって決まります。プライマリシリンダ (A) はシャーシと左ファイナルドライブキャリアプレートとの間に接続されています。セカンダリシリンダ (B) は、フィーダーハウスと傾斜フレームの間に接続されています。

プライマリ／セカンダリシリンダのロッドエンドは互いに接続され、プライマリ／セカンダリシリンダのピストンエンドは互いに接続されています。左水平調整シリンダが伸長・収縮すると、左ファイナルドライブキャリアプレートが上下に旋回して、ヘッダー傾斜プライマリシリンダを伸長または収縮させます。プライマリシリンダの動きにより、セカンダリシリンダが伸長および収縮します。

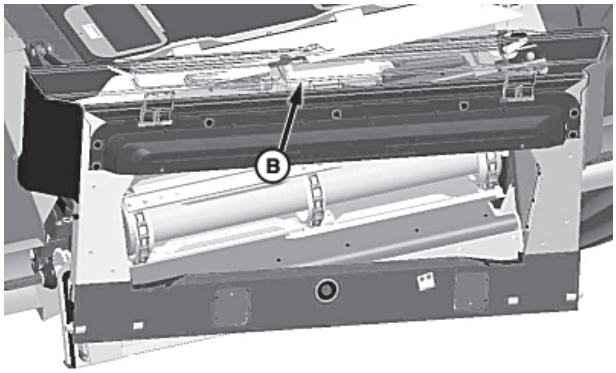
ファイナルドライブキャリアプレートが動いているときにプライマリシリンダが伸長すると、オイルがプライマリシリンダのロッドエンドからセカンダリシリンダのロッドエンドに流れます。これにより、セカンダリシリンダが収縮します。セカンダリシリンダのベースエンドからのオイルがプライマリシリンダのベースエンドに流れて、プライマリシリンダの伸長によって生じた追加の容積を満たします。

ファイナルドライブキャリアプレートの動きによってプライマリシリンダが収縮すると、反対のことが発生します。

A : ヘッダー傾斜プライマリシリンダ
B : ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ



左側のプライマリシリンダ



ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ

OUO6075,0000A04 -40-02NOV10-5/5

HillMaster の日常操作の準備

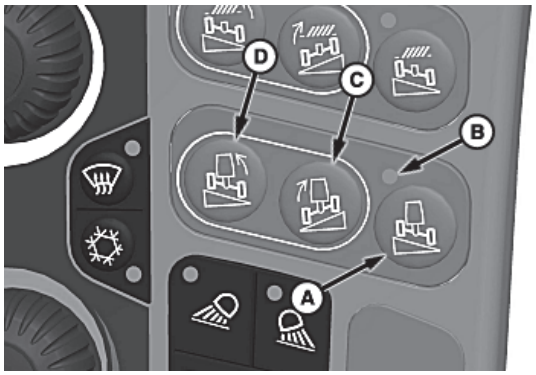
警戒 : 以下のすべての作動点検を正常に完了しない限り、HillMaster 装備の機械を運転しないでください。以下の 1 つ以上の点検に合格しなかった場合 (セパレータが傾斜しない、または完全に傾斜するまでにかかる時間が長すぎるなど) 、John Deere 取扱店に連絡してください。

HillMaster 装備の装備の機械を運転する前に、以下の 3 つの作動点検を実施する必要があります (毎日)。

システム要件 :

- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 自動水平調整制御スイッチ (A) を押して、自動水平調整システムを起動します。
- 表示灯 (B) が点灯し、設定が自動モードであることが示されます。

点検 1 : 手動傾斜右スイッチ (C) を約 20 秒間押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。



A : 自動水平調整制御スイッチ
B : 表示灯
C : 手動傾斜右スイッチ
D : 手動傾斜左スイッチ

点検 2 : 手動傾斜左スイッチ (D) を約 20 秒間押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

注記 : 機械を最大左傾斜位置から最大右傾斜位置にするために必要な時間は約 5〜7 秒です。

点検 3 : 機械が完全に左に傾斜するまで手動傾斜左スイッチを押し続けます。機械シャーシが右に完全に傾斜するまで、手動傾斜右スイッチを押し続けます。

OUO6075,0000A05 -40-01NOV10-1/1

HillMaster 水平調整制御スイッチ

自動水平調整

自動水平調整制御スイッチ (A) を使用すると、機械が起伏地を動くときに機械セパレータは自動的で水平調整できます。

システム要件：
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

1. 自動水平調整制御スイッチを押して、自動水平調整システムを起動します。

2. 表示灯 (B) が点灯し、設定が自動モードであることが示されます。

3. 機械シャーシボディの位置がディスプレイに図形として表示されます。

機械が圃場を動くときに、振り子を使用して機械の勾配が検出されます。

注記：自動水平調整制御システムが作動した状態で、手動傾斜スイッチを使用して自動機能よりも優先させることができます (機械を手動で左右に傾斜させることができます)。

手動水平調整

機械が起伏地を動くときに、手動傾斜スイッチを使用して機械シャーシを手動で左右に傾斜させることができます。

システム要件：
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

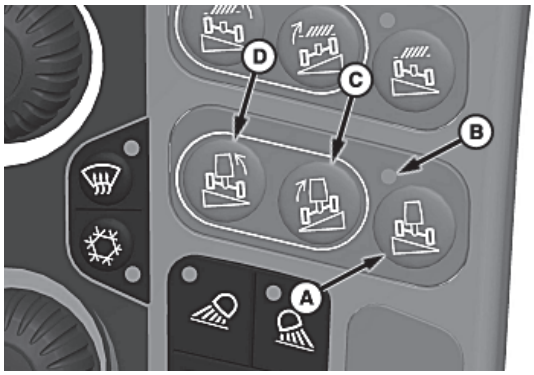
注記：押しボタンシフトトランスミッション装備の機械：手動傾斜右スイッチ (C) または手動傾斜左スイッチ (D) を使用して、HillMaster モードを有効にします。パーキングブレーキスイッチを押して、パーキングブレーキを解除します。

手動傾斜右スイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

手動傾斜右スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

注記：目的の手動傾斜スイッチを放すと、自動モードに引き継がれ、機械シャーシが自動的に水平調整されます。

機械シャーシボディの位置がディスプレイに図形として表示されます。



A：自動水平調整制御スイッチ
B：表示灯
C：手動傾斜右スイッチ
D：手動傾斜左スイッチ

機械が圃場を動くときに、振り子を使用して機械の勾配が検出されます。

注記：自動水平調整制御システムが作動した状態で、手動傾斜スイッチを使用して自動機能よりも優先させることができます (機械を手動で左右に傾斜させることができます)。

道路輸送位置：

警戒：道路輸送中に制御が失われて大けがや死亡事故が発生しないようにしてください。絶対に HillMaster を自動モードにして車道で機械を輸送しないでください。車道を輸送中は、絶対に機械の手動傾斜を行わないでください。

以下の条件では、HillMaster 水平調整システムがロックアウトされ、道路輸送中に水平調整システムによる変更は行われません。

システム要件：
- エンジン運転中。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

1. 機械を平坦な場所に駐車します。

2. 自動水平調整制御スイッチを **5 秒**間、または表示灯 (B) が点滅するまで押します。

3. 手動傾斜右スイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

4. 手動傾斜右スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

以上で機械はニュートラル位置であり、車道で運転できます。

OUO6075,00010C9 -40-14MAR12-1/1

火災防止

火災防止のための推奨事項

機械は収穫作業日を通して定期的に点検する必要があります。溜まっている作物材料やその他ごみを取り除いて機械の適切な機能を確保し、火災の危険を減らしてください。

オペレータマニュアルに記載されている他の日常メンテナンスに加えて定期的に機械全体の清掃を行うことにより、コストがかかるダウンタイムと火災の発生リスクを大幅に減少させ、機械の性能を向上させることができます。

機械およびオペレータマニュアルに掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に、必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

この機械には、汎用の消火器と加圧式水消火器が装備されています。キャビンに乗降する際や機械の周囲で作業するときは、消火器を毎日点検し、使用可能な状態であることを確認してください。使用後、消火器は交換するか専門業者に整備を依頼する必要があります。

詳細については、「機械の清掃」セクションを参照してください。

OUO6075,00001E2 -40-29MAR11-1/1

消火器の操作

この機械には、汎用の消火器と加圧式水消火器が装備されています。キャビンに乗降する際や機械の周囲で作業するときは、消火器を毎日点検し、使用可能な状態であることを確認してください。使用後、消火器は交換するか専門業者に整備を依頼する必要があります。

消火器に関する推奨事項：

汎用消火器：
- グリース、オイル、電気、化学薬品の火災に使用してください。

加圧式水消火器：
- 堆積した作物材料や作物屑の火災に使用してください。

消火器の使用：

図は消火の推奨方法を示しています。必ず火災の基部に向けてください。

消火器の基本的な使用手順を以下に示します。

1. ブラケットから消火器を外し、火災場所まで運びます。
2. 自分の背中に風を受けるようにしながら、火災場所に近づきます。
3. 消火器の上部から安全ピンを引きます。
4. ハンドルで消火器を直立させ、ホースを炎の**下部**に向けます。
5. ハンドルを握って消火剤を噴射します。
6. ノズルを前後に動かし、粉末で炎を包みます。

点検チェックリスト：

少なくとも月に 1 回消火器を点検し、以下の点を確認してください。

1. 消火器はキャビンタラップの踊り場および機械の後部の指定の位置にありますか？
2. 消火器の取り出しまたは視認の障害になっている物はありませんか？
3. 銘板の操作指示は読みやすく、外側に向けられていますか？
4. 安全シールが破損または紛失していませんか？
5. 消火器は満杯ですか？ (重量測定や「持ち上げる」ことにより判定)
6. 物理的な損傷、腐食、漏れ、またはノズルの詰まりはありませんか？

消火器の点検で欠陥が認められた場合は、消火器を整備するか交換する必要があります。

OUO6075,00001E1 -40-29MAR11-1/1

燃料の安全な取り扱い：火災防止

燃料は慎重に取り扱ってください。高い引火性があります。喫煙しながら、または直火や火花がある状況で給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。燃料タンクは屋外で補充してください。

廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃し、火災を防止してください。こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

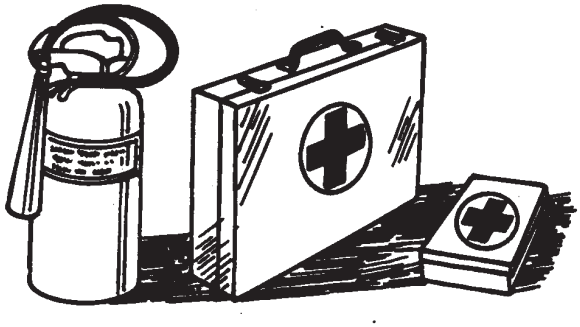
引火性液体の持ち運びには認可された燃料容器だけを使用してください。

プラスチック製ベッドライナーを敷いたピックアップトラックで、絶対に燃料容器を充填しないでください。補充の前に必ず燃料容器を地面に置いてください。缶の蓋を外す前に燃料容器を燃料ディスペンサーのノズルで触ります。補充時は、燃料ディスペンサーのノズルが常に燃料容器に触れているようにします。

直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに燃料容器を保管しないでください。

DX,FIRE1 -40-27NOV12-1/1

緊急事態に対する準備



火災に備えてください。

救急箱と消火器を手近に置いてください。

医師、救急車サービス、病院、消防署の緊急番号を電話の近くに備えてください。

DX,FIRE2 -40-27NOV12-1/1

エンジン始動液の安全な取り扱い

エンジン始動液は高い引火性があります。

使用する場合は、すべての火気と火花を遠ざけてください。エンジン始動液はバッテリとケーブルから離してください。

加圧された缶の保管時には、中身が誤って放出されないよう、蓋をして涼しい安全な場所に保管してください。

エンジン始動液の容器を焼却したり、穴を開けたりしないでください。

DX,FIRE3 -40-27NOV12-1/1

溜まっている作物屑の除去

エンジンルーム、エンジン、可動部品の近くに堆積しているもみ殻や作物屑は火災の危険があります。これらの部分を頻繁に点検し、清掃してください。点検や整備を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜いてください。

HX,9010SA,B -40-23AUG97-1/1

消火器

機械には、国の認定要件を満たしている 6 kg (15 lb) の汎用消火器を取り付ける必要があります。消火器とブラケットはエンジンプラットフォームの右側にあります。

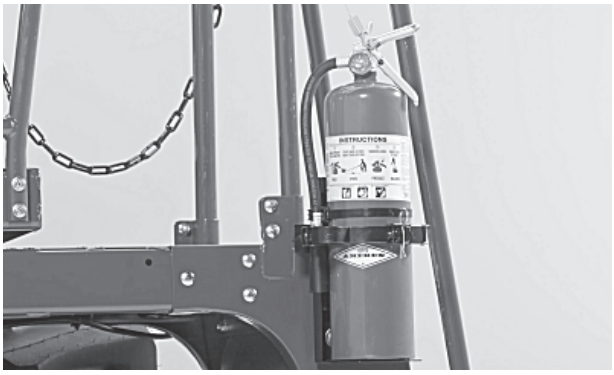
消火器はいつでも使用できる状態に維持してください。

エンジンデッキを清潔に保ち、籾殻、わらがない状態に維持して火災を防止してください。

OUO6075,0000A9F -40-16NOV10-1/1

消火器の位置

汎用消火器はフロントタラッププラットフォームにあります。



前部の消火器の位置

OUO6075,0000C9F -40-14JUN11-1/1

火災が発生した場合

警戒：けがをしないようにしてください。

火災の兆候が認められた場合はすぐに作業機を止めてください。火災は煙の臭いや炎により発見することができます。火災は急速に拡大するため、すぐに作業機を降りて火元から離れてください。絶対に作業機には戻らないでください。安全を最優先してください。

消防署に通報してください。携帯型の消火器でも小さな火災を消火したり消防車が到着するまで抑えることができますが、それにも限界があります。必ずオペレータと同伴者の安全を最優先してください。消火を試みる場合は、風を背にして避難路を確保し、消火に失敗した時にすぐに離れられるようにしてください。

消火器の説明書を読み、火災が発生する前にその位置、部品、および操作を理解しておいてください。現地の消防署または防火装置の販売店から消火器の講習や推薦を受けることができます。

お使いの消火器に説明書がない場合は、以下のガイドラインに従ってください。

1. ピンを引きます。ノズルを自分から離して消火器を保持し、ロック機構を解除します。
2. 低い場所を狙います。消火器は火の根元に向けてください。
3. レバーをゆっくり均等に握ります。
4. 横から横へノズルを動かします。

DX,FIRE4 -40-22AUG13-1/1

エンジンルームの清掃

警戒：エンジンを運転した状態でエンジンやエンジンルームの清掃を行わないでください。エンジンルームやエンジンの泥、オイル、籾殻、作物屑は火災の危険があります。風向、農作物の種類とその含水量は、籾殻やごみが堆積する場所と量にすべて影響を与えます。この部分を頻繁に点検し、清掃してください。

OUO6075,0000575 -40-17MAR10-1/1

機械の清掃

一般的な清掃のガイドライン

機械は収穫作業日を通して定期的に点検する必要があります。溜まっている作物材料やその他ごみを取り除いて機械の適切な機能を確保し、火災の危険を減らしてください。点検や清掃の頻度は、運転条件、機械の設定、作物条件、運転速度、天候などの複数の要因によって異なります。点検や清掃は、特に乾燥、高温、風が強い条件では、収穫作業日を通じて複数回行う必要があります。

重要：オペレータマニュアルに記載されている他の日常メンテナンスに加えて定期的に機械全体の清掃を行うことにより、コストがかかるダウンタイムと火災の発生リスクを大幅に減少させ、機械の性能を向上させることができます。

作物材料やその他のごみはさまざまな部分に堆積する可能性があります。風向き、作物の種類、作物の含水量は、すべて作物材料やごみが堆積する場所に影響を与えます。収穫条件を確認し、清掃スケジュールを調整して、適切な機械機能を確保し、火災の危険性を減らしてください。収穫作業日を通じて必要に応じてこれらの部分を点検および清掃してください。

特定の作物の収穫により、特別な問題が生じることがあります。一部の作物は非常に「粘着性」があり、収穫時に機械を清掃するのが困難になることがあります。これらの作物の例には、ヒマワリ、アブラナ、ベニバナがあります。これらの作物を収穫する際は、機械の清掃に特に配慮してください。

機械およびオペレータマニュアルに掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に、必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

OUO6075,0001167 -40-21JUN12-1/1

機械の清掃 (定期清掃)

このセクションの写真は、機械の定期的な点検や清掃を必要とする部分を示しています。定期的な清掃を必要とするその他の部分もありますが、これらの部分に頻繁に注意することにより火災防止に大きな影響があります。

一部の写真は、清掃前の作物材料やその他のごみの堆積を示しています。この種の堆積は通常ではありません。解説のためにのみ掲載されています。

重要：収穫条件によっては、これらの部分は 1 日に複数回清掃するなど、より頻繁な清掃が必要な場合があります。収穫条件を確認し、清掃スケジュールを調整して、適切な機械機能を確保し、火災の危険性を減らしてください。

このセクションで扱っていないその他の部分にも作物屑が溜まる可能性があり、機械機能や概観を確保するために定期的に清掃する必要があります。収穫期を通じて機械全体を定期的に十分点検してください。

機械およびオペレータマニュアルに掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に、必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

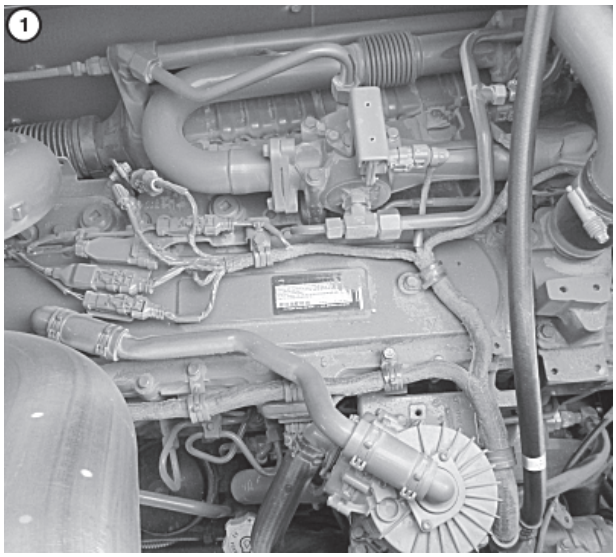
圧縮空気を使用して、機械の上部から底部まで十分清掃してください。最初に、エンジンデッキからアクセスできるすべての部分を清掃します。エンジンルームから開始して、排気後処理装置エンクロージャ (装備されている場合) の周囲など、エンジンルーム、エンジン下のフロア、ロータ上部の後側、リアデッキの周囲のその他の部分に外側に反時計回りに清掃してください。機械の上部がきれいになったら、地面からアクセスできる部分の清掃に進みます。

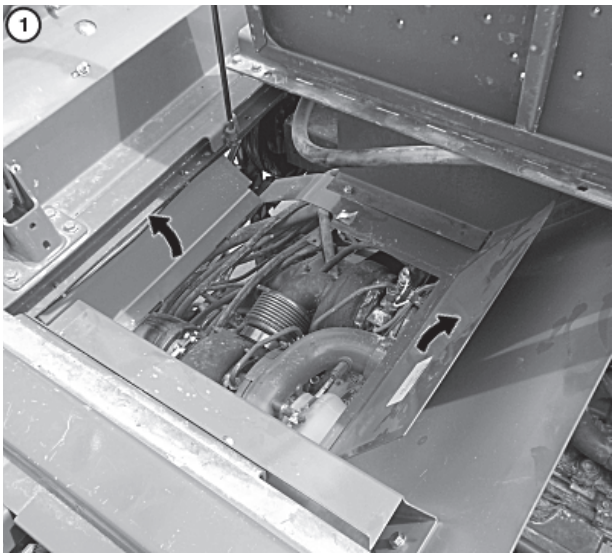
地面から、燃料タンク部分の後下側および残留物排気システムの後板の上部を清掃します。排気後処理装置エンクロージャ部分 (装備されている場合) も地面から清掃する必要があります。地面からの清掃が完了したら、地面での清掃で飛ばされた可能性がある作物屑がないかエンジンルームを再点検します。

注記：写真ではわかりやすいように一部のシールドが取り外されています。

次のページへ

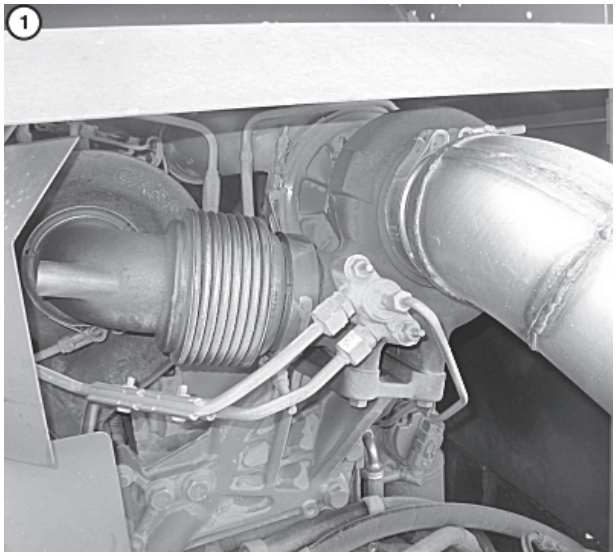
エンジンルーム (上部)





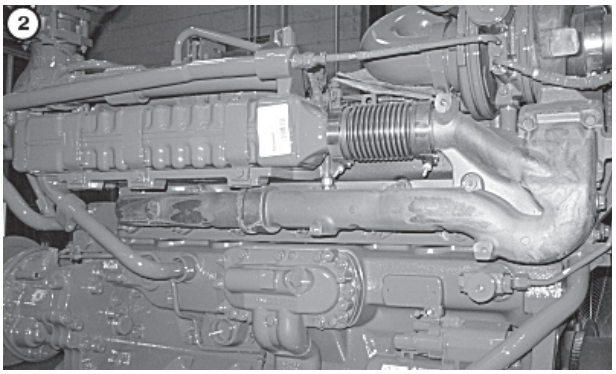
S660、S670 (9.0 L ファイナル ティア 4／ステージ IV)

(1) エンジンとターボチャージャの上部

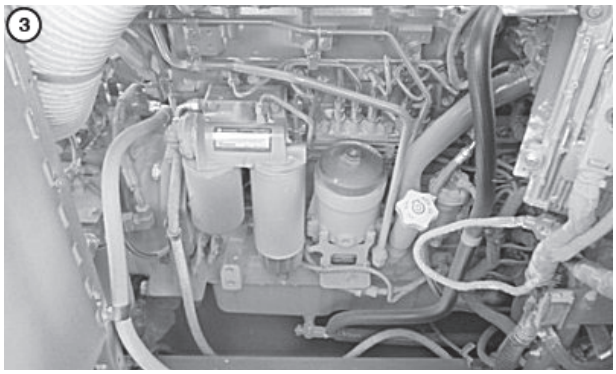


次のページへ

エンジンルーム (上部)



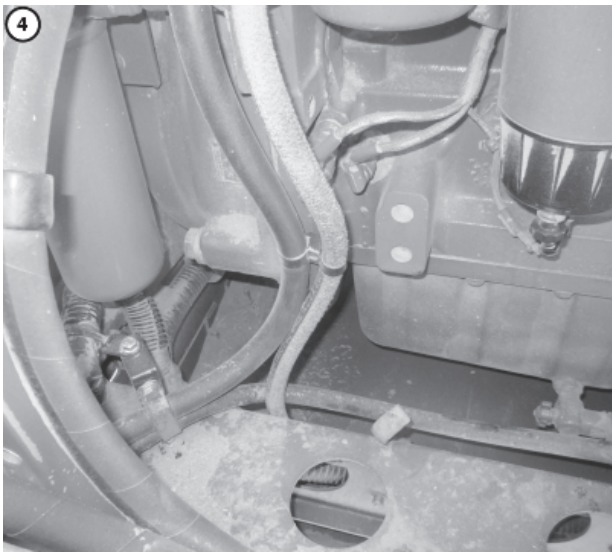
(2) エグゾーストマニホールドとマニホールドシールド、ターボインターステージチューブ、排気ガス再循環装置 (EGR) クーラーチューブ



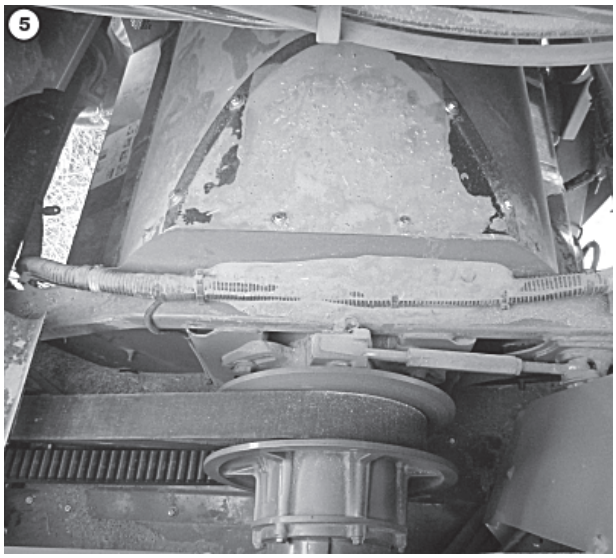
(3) エンジン周辺

OUO6075,000182D -40-16JUN14-3/16

エンジンルーム (上部)



(4) エンジン下部

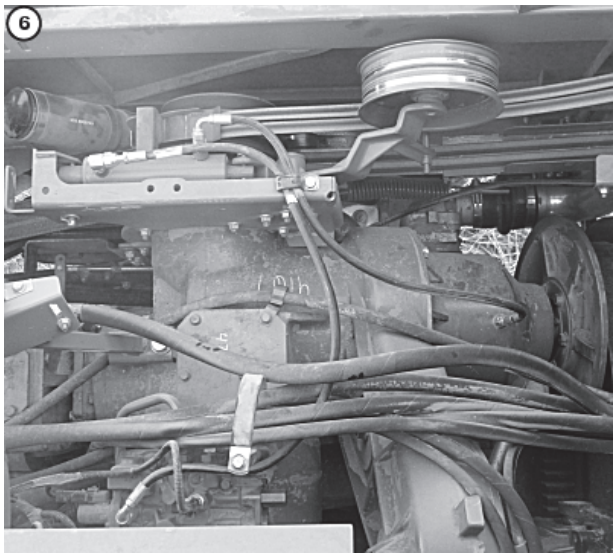


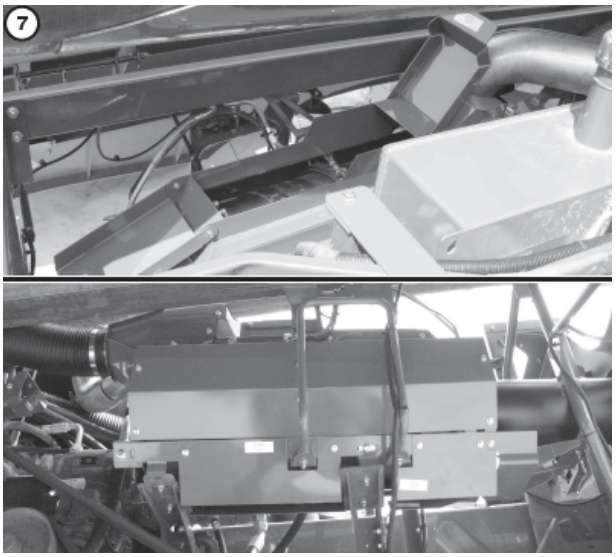
(5) ローターの上後部およびローター駆動装置の周囲

次のページへ

OUO6075,000182D -40-16JUN14-4/16

エンジンルーム (上部)

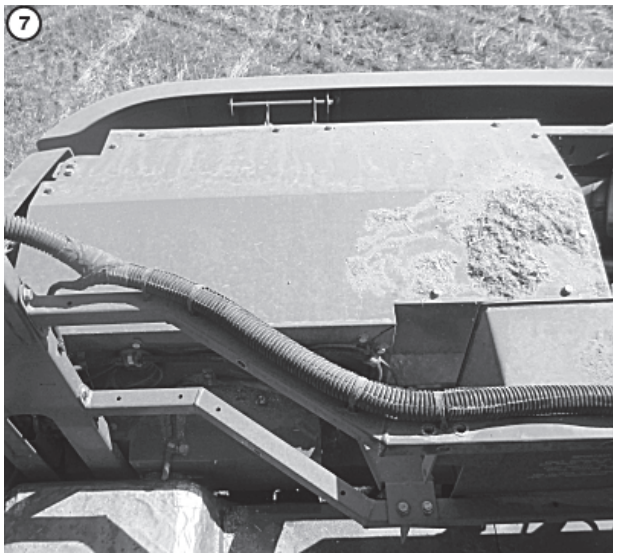




排気後処理装置エンクロージャ (インテリムティア 4／ステージ III B)

(6) メインエンジンギアケース

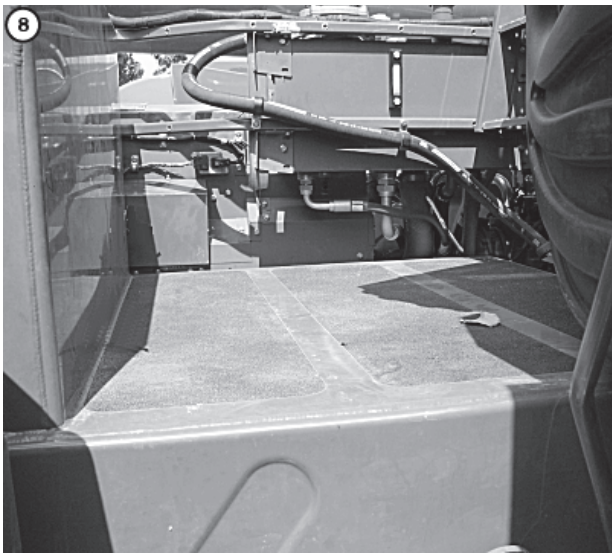
(7) 排気後処理装置エンクロージャ (装備されている場合) の周囲と下の部分



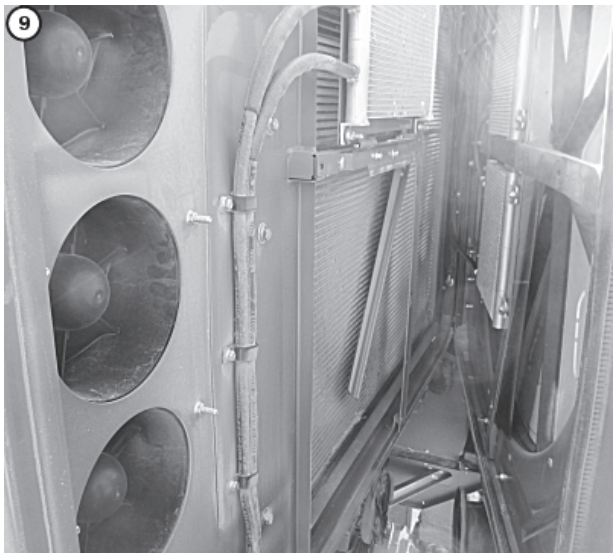
排気後処理装置エンクロージャ (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

次のページへ

エンジンルーム (上部)



(8) 燃料タンクの上部

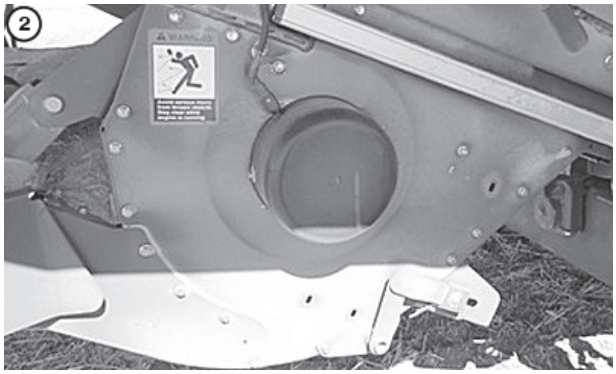


(9) エンジン冷却パッケージ

OUO6075,000182D -40-16JUN14-6/16

地面からアクセス可能 (底部)

(1) 燃料タンクの下側

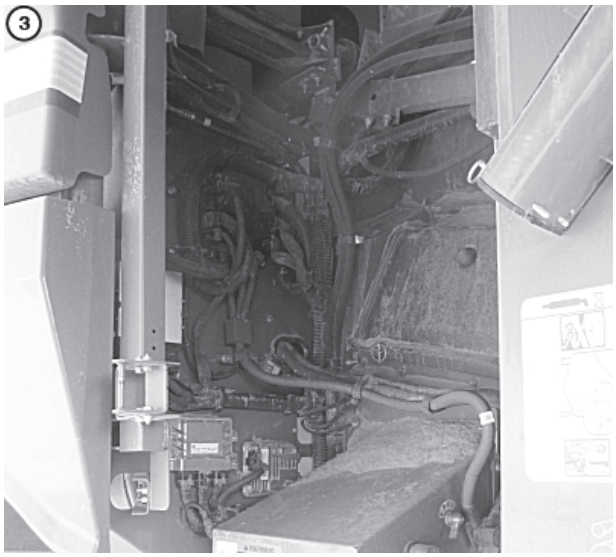


(2) ベアリングおよびベアリングガードの周囲の部分 (種々の場所)

次のページへ

OUO6075,000182D -40-16JUN14-7/16

地面からアクセス可能 (底部)



ヒューズセンター (S660、S670 機械)

重要：潤滑ステッカーには、機械のグリースポイントのさまざまな場所が示されています。ステッカーに示されている潤滑時期に従ってください。詳細については、「潤滑とメンテナンス」セクションに示している時間間隔を参照してください。

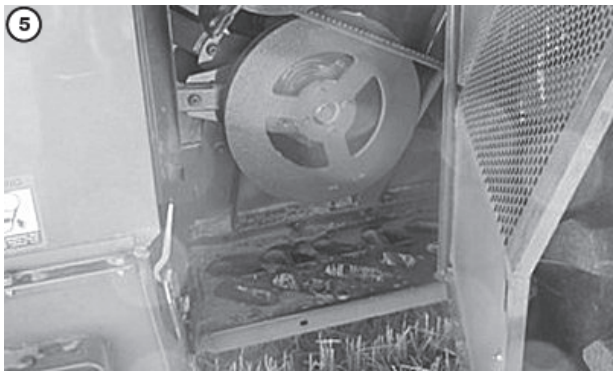
ベアリングの故障や過熱は、火災につながる可能性があります。ベアリングの故障や過熱を減らすために、必ず機械の潤滑ステッカーを参照してください。

(3) ヒューズセンターおよびバッテリボックス部分

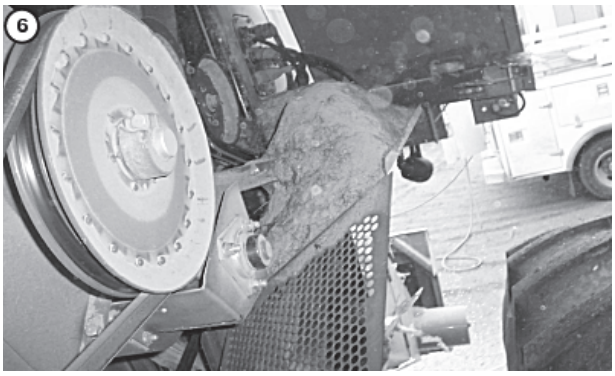
(4) クリーングレインエレベータードライブ

OUO6075,000182D -40-16JUN14-8/16

地面からアクセス可能 (底部)



(5) 右側歩行エリア



(6) 右側マッドシールド

次のページへ

OUO6075,000182D -40-16JUN14-9/16

地面からアクセス可能 (底部)

(7) 右側フィーダーハウスシールド

(8) 左側フィーダーハウスシールド

OUO6075,000182D -40-16JUN14-10/16

地面からアクセス可能 (底部)

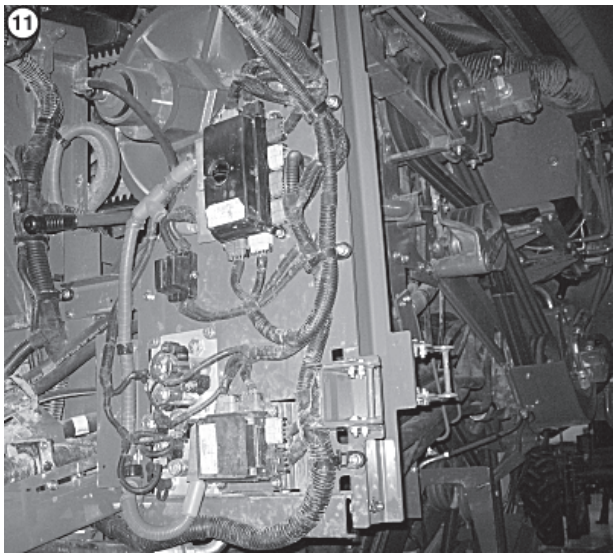
(9) トランスミッション

(10) 左側歩行エリア

次のページへ

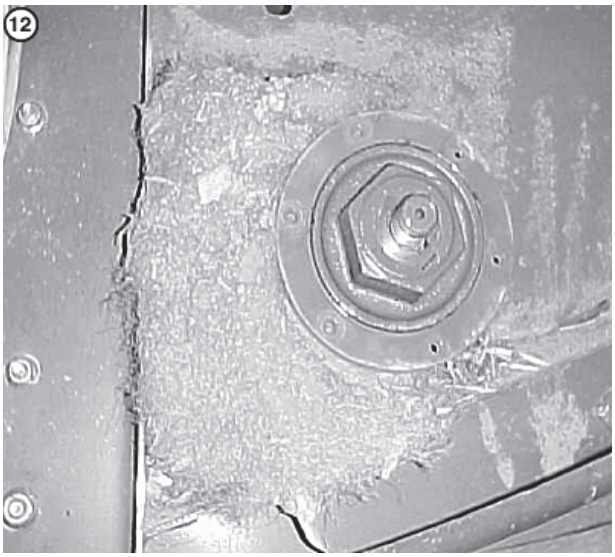
OUO6075,000182D -40-16JUN14-11/16

地面からアクセス可能 (底部)



ヒューズセンター (S680、S685、S690 機械)

(11) ヒューズセンターおよびバッテリボックス部分



(12) ディスチャージビーター駆動装置

OUO6075,000182D -40-16JUN14-12/16

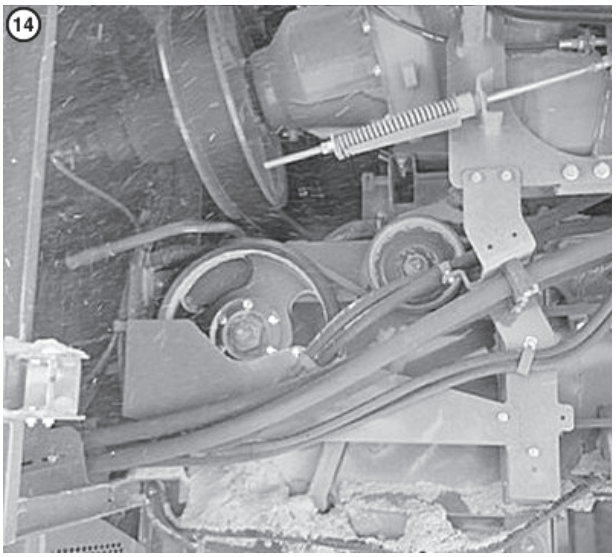
地面からアクセス可能 (底部)

(13) 左側ローター部分

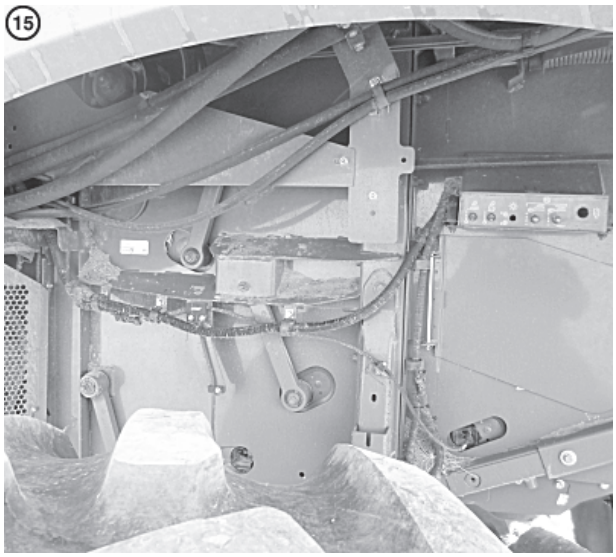
次のページへ

OUO6075,000182D -40-16JUN14-13/16

地面からアクセス可能 (底部)



(14) ローター駆動装置

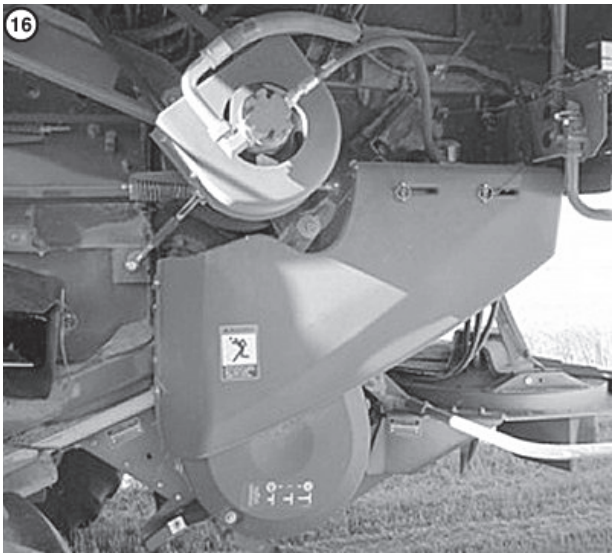


(15) 左サイドシート部分

OUO6075,000182D -40-16JUN14-14/16

地面からアクセス可能 (底部)

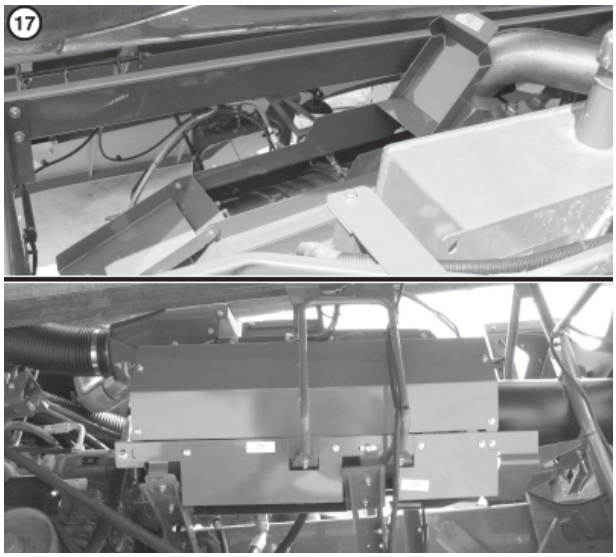
(16) 残留物廃棄駆動装置



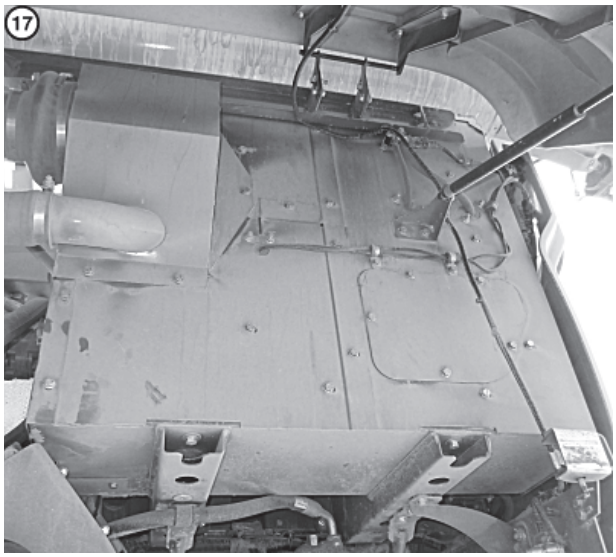
次のページへ

OUO6075,000182D -40-16JUN14-15/16

地面からアクセス可能 (底部)



排気後処理装置エンクロージャ (インテリムティア 4／ステージ III B)



排気後処理装置エンクロージャ (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

(17) 排気後処理装置エンクロージャ (装備されている場合) の周囲と下の部分

OUO6075,000182D -40-16JUN14-16/16

機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)

警戒：エンジンを運転してセパレータを接続した状態では、けがを防止するために絶対に機械を清掃しないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

保証種子作物の場合、または州間で機械を輸送する場合は、機械の清掃で以下の手順をお勧めします。

警戒：ヘッダーを安全に固定して動かないようにしてください。リールの安全ストップを下げてください。

ヘッダーを機械から取り外します。

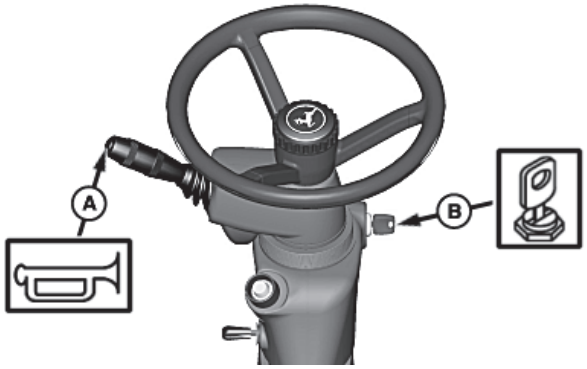
畝端や段差に機械を運転して、ぬかるんだ泥を震動させて振り落とします。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

すべてのドアおよびドレンホースを開き、取り外します。

警戒：ホーン (A) を鳴らして、その区域から人を遠ざけます。籾殻を排出させているときは、機械から離れてください。

キースイッチ (B) を回してエンジンを始動します。

籾殻が機械の後部から出てこなくなるまでセパレータを接続します。



A：ホーン　　B：キースイッチ

エンジン回転数をローアイドルまで下げてセパレータを複数回接続します。セパレータをローアイドルで運転すると、ローターの内側から泥が除去されます。

スロットルを高回転数に動かして、数分間運転します。籾殻が機械の後部から出てこなくなるまでサイクルを繰り返します。

警戒：籾殻を排出させているときは、周囲の人を機械から遠ざけてください。

右側が約 150 mm (6 in) 高くなるように機械をブロックの上に運転するか、泥がなくなるように斜面に駐車します。

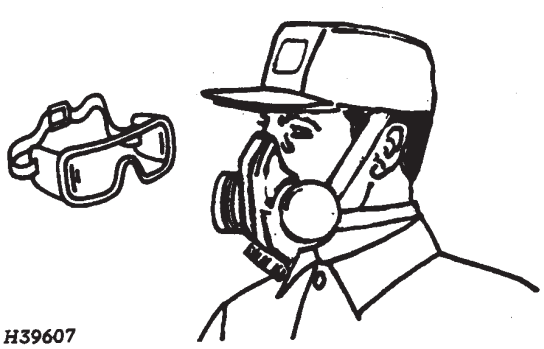
次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-1/30

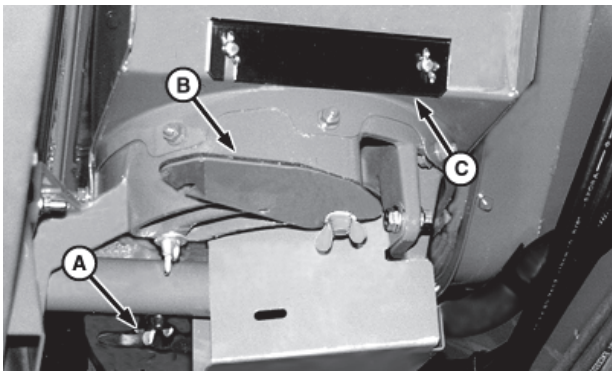
警戒：エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ります。次に、ホイールをブロックしてフィーダーハウス安全ストップを下げます。

ほこりの多い条件で圧縮空気を使用するときは、個人保護のために保護メガネと防塵マスクを着用する必要があります。エアホースは、2 m (6 ft) ワンド (端部) を備えている必要があります。

機械の上部で開始し、下に作業します。



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-2/30

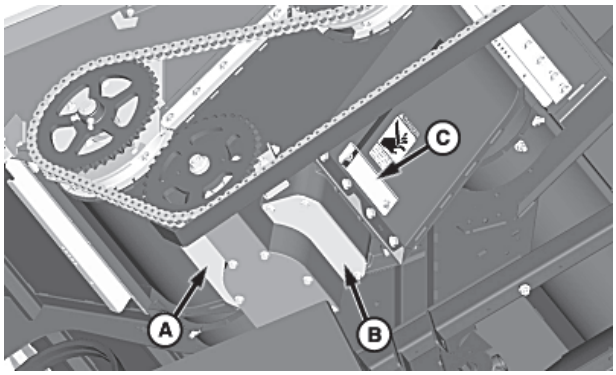


S660、S670

A：クリーンアウトドア **B：クリーンアウトドア**

クリーンアウトドア (A) 、(B) 、(C) を開けます。

グレインタンククロスオーガの下からサンプまでの穀粒を清掃します。



S680、S685、S690

C：クリーンアウトドア

アンローディングオーガサンプからボタンまでの穀粒を清掃します。地面に立って各ドアから穀粒を清掃する必要があります。

次のページへ

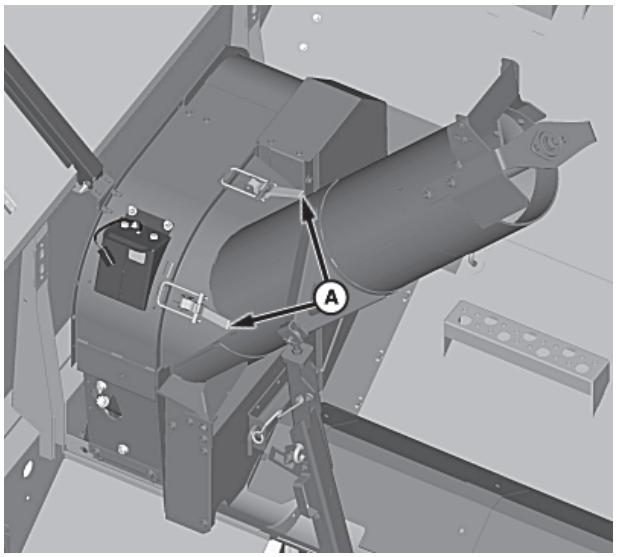
OUO6075,0001803 -40-13MAY14-3/30

グレインタンクローディングオーガ (グレインタンクエクステンション)

クランプ (A) を解放してオーガを下げます。

上部から下にクリーングレインエレベータからクリーンエレベータチェーンまで清掃します。すべての側面を清掃します。

A : クランプ



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-4/30

グレインタンクローディングオーガ (グレインタンクカバー)

警戒 : ピン (A) を引っ張ってまたは取り外して、グレインタンクローディングオーガを下げないでください。ピンを取り外すと、けがまたは機械の損傷が発生する可能性があります。

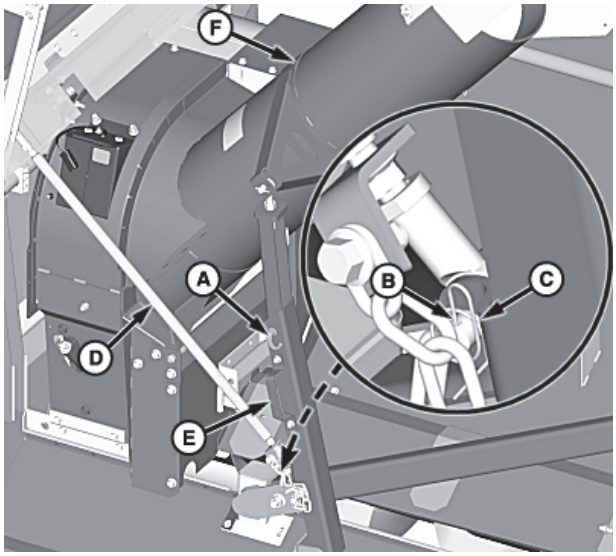
グレインタンクローディングオーガは重量があります。オーガを昇降させるときは、十分注意してください。

クイックロックピン (B) とピン (C) をターンバックル (D) から取り外します。

ハンドル (E) を使用して、グレインタンクローディングオーガ (F) の下降を補助します。

上部から下にクリーングレインエレベータからクリーンエレベータチェーンまで清掃します。すべての側面を清掃します。

A : ピン
B : クイックロックピン
C : ピン
D : ターンバックル
E : ハンドル
F : オーガ

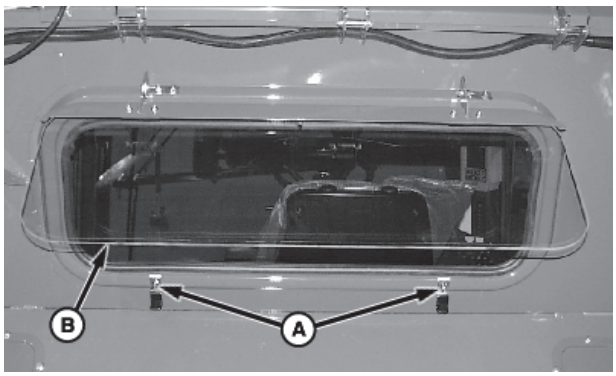


OUO6075,0001803 -40-13MAY14-5/30

クランプ (A) を緩めて、グレインタンクウィンドウ (B) を上に旋回させます。

キャビンの背後の部分、プライマリカウンタシャフトの周囲、およびセパレータの上部を清掃します。

A : クランプ
B : グレインタンクウィンドウ



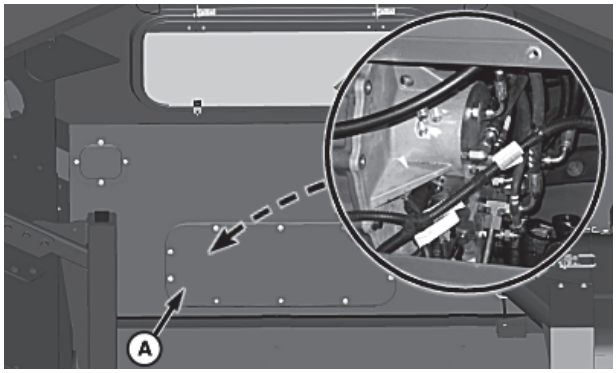
次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-6/30

グレインタンク前側のアクセスドア (A) (装備されている場合) を取り外します。

マルチスピードフィーダーハウスのドライブギアケースの周囲の材料を清掃します。

A : アクセスドア



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-7/30

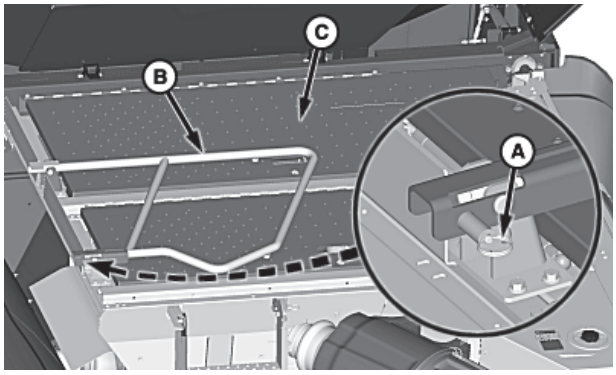
ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させます。

エンジンアクセスカバー (C) を開き、エンジンルームエリアの上側とエンジン前側のセパレータの周囲を清掃します。

エンジンルームエリア全体、特にエンジン下部を清掃します。

エンジン周辺で見つかったオイルやグリースを拭き取ります。

A : ロックアウトピン
B : 手すり
C : エンジンアクセスカバー



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-8/30

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまでタラップ (B) を回転させます。

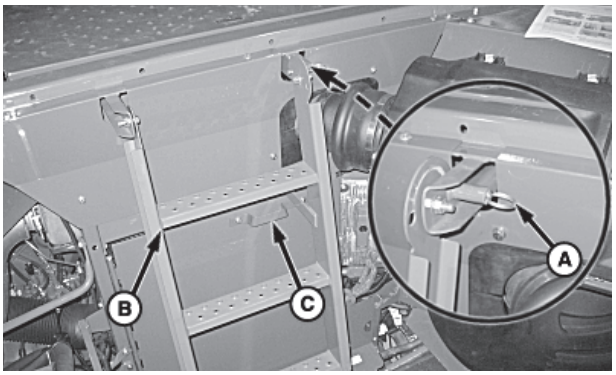
フィルタアクセスカバー (C) を引いて開き、磁石から解放します。

エンジンルームエリアの後側を清掃します。

エンジンルームエリア全体、特にエンジン下部を清掃します。

エンジン周辺で見つかったオイルやグリースを拭き取ります。

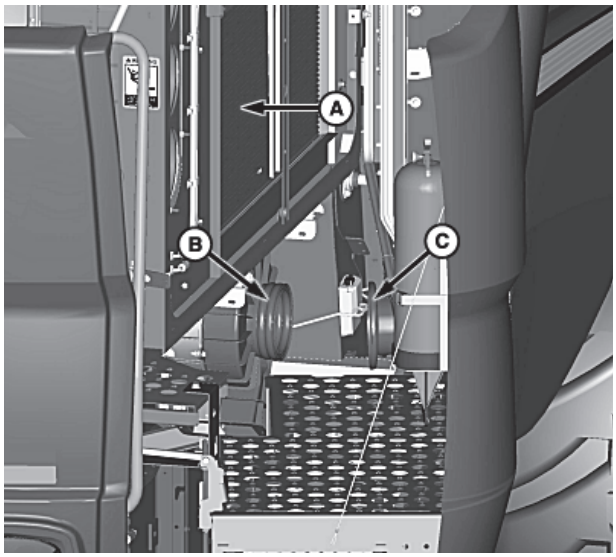
A : ロックアウトピン
B : はしご
C : カバー



次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-9/30

ティア 2／ステージ II (S660、S670) :



注記：圧縮空気を内側から吹き付けて各部を清掃します。

ロータリースクリーンドアを開きます。

次のエリアを外に向かって清掃します。

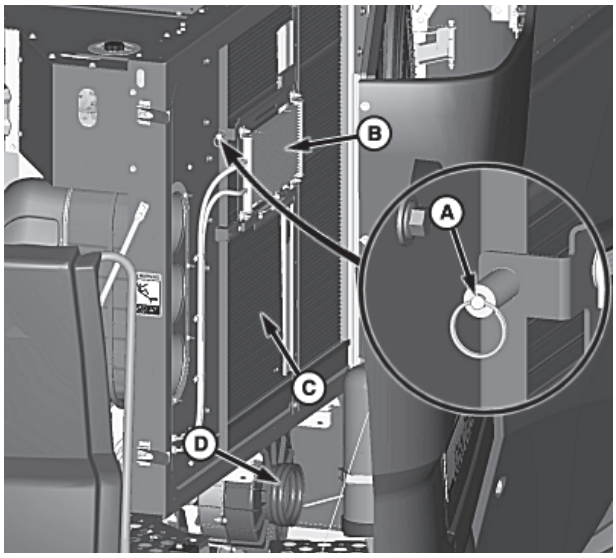
- ラジエータ (A)
- コンデンサ
- オイルクーラー
- チャージャエアクーラー

下部真空ダクト (B) と搬送ダクト (C) から泥を除去します。

A : ラジエータ
B : 真空ダクト
C : 搬送ダクト

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-10/30

インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV (S660、S670、S680、S685、S690) :



A : ロックアウトピン
B : 燃料クーラー
C : ラジエータ
D : 真空ダクト

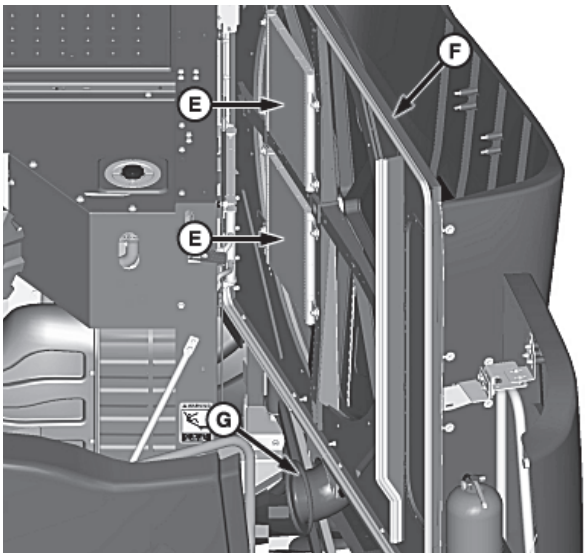
注記：圧縮空気を内側から吹き付けて各部を清掃します。

ロータリースクリーンドアを開きます。

ロックアウトピン (A) を引っ張り、燃料クーラー (B) を回転させて清掃します。

次のエリアを外に向かって清掃します。

- ラジエータ (C)



E : コンデンサ
F : ロータリースクリーンドア
G : 搬送ダクト

- オイルクーラー
- チャージャエアクーラー

下部真空ダクト (D) から泥を除去します。

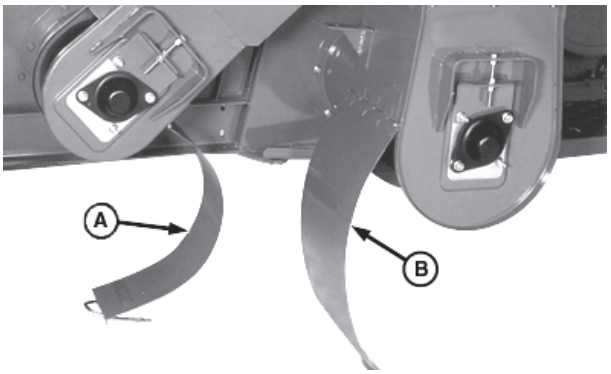
ロータリースクリーンドア (F) にあるコンデンサ (E) を清掃します。

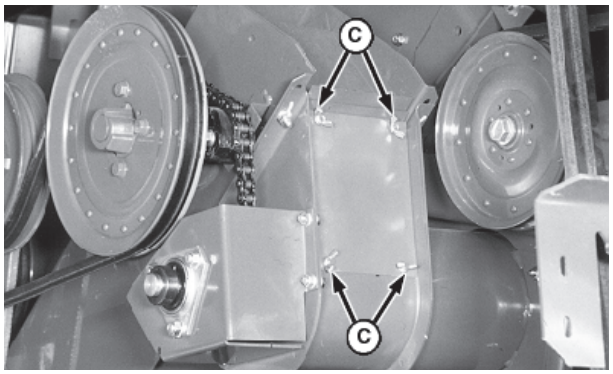
搬送ダクト (G) から泥を除去します。

次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-11/30

S660、S670：





A：2 番物エレベータードア　**B：クリーングレインエレベータードア**　**C：蝶ナット**

下部 2 番物エレベータードア (A) とクリーングレインエレベータードア (B) を開きます。

蝶ナット (C) を取り外し、2 番物エレベーターの上端のドアを取り外します。

必要に応じて材料を除去し、エレベーターの側面を清掃します。

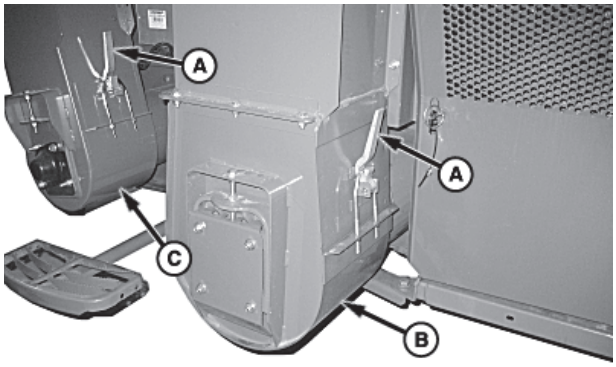
OUO6075,0001803 -40-13MAY14-12/30

S680、S685、S690：

ハンドル (A) を使用して、クリーングレインエレベータードア (B) と 2 番物システムエレベータードア (C) を開きます。

必要に応じて材料を除去し、エレベーターの側面を清掃します。

A：ハンドル
B：クリーングレインエレベータードア
C：2 番物システムエレベータードア



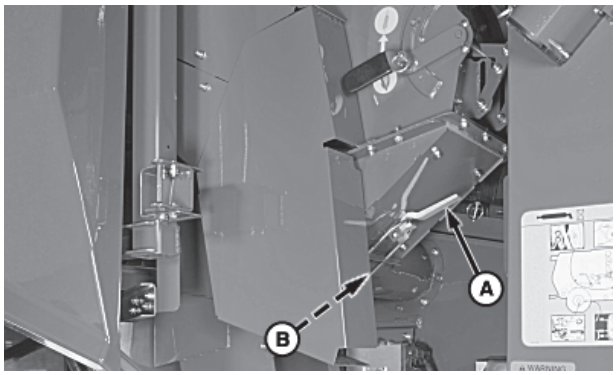
OUO6075,0001803 -40-13MAY14-13/30

S680、S685、S690：

ハンドル (A) を使用して、2 番物システムオーガドア (B) を開きます。

必要に応じて材料を除去し、エレベーターの側面を清掃します。

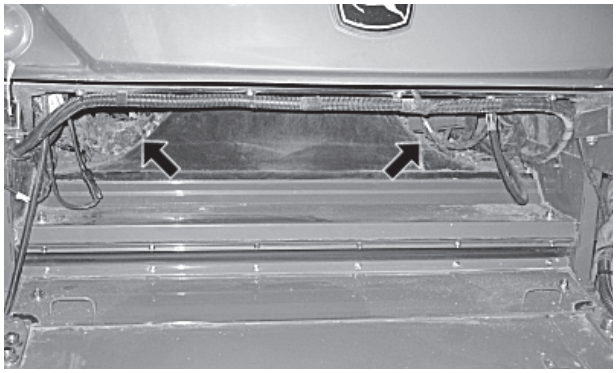
A：ハンドル
B：2 番物システムオーガドア



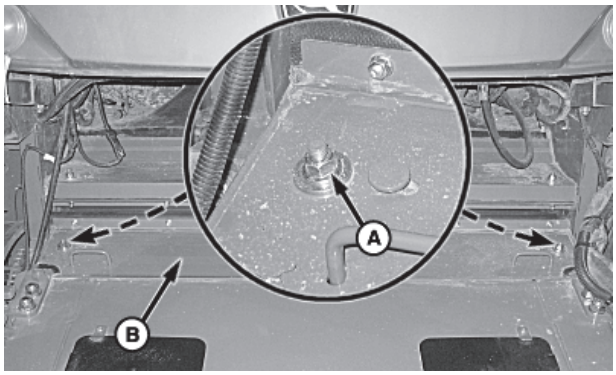
次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-14/30

セパレータと機械の側面の間の籾殻を除去します。



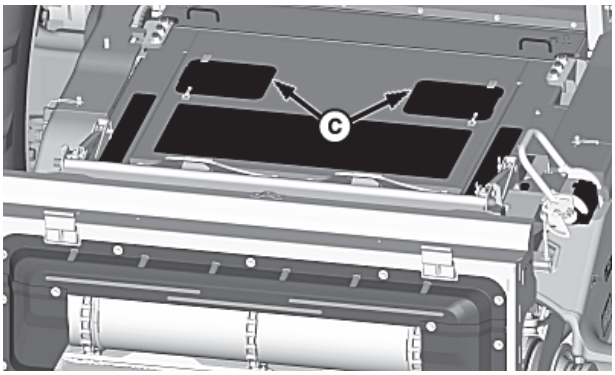
OUO6075,0001803 -40-13MAY14-15/30



A : ナット　　B : フィーダーハウスドア

フィーダーハウスドアの各側のナット (A) を緩めて、ナットをフィーダーハウスの中心に向けて押します。

ドアを前方に引っ張って取り外します。



C : フィーダーハウスドア

トップドア (B) と (C) の開口部からフィーダーハウスを清掃します。

清掃中は、コンベアチェーンを数回持ち上げて戻します。

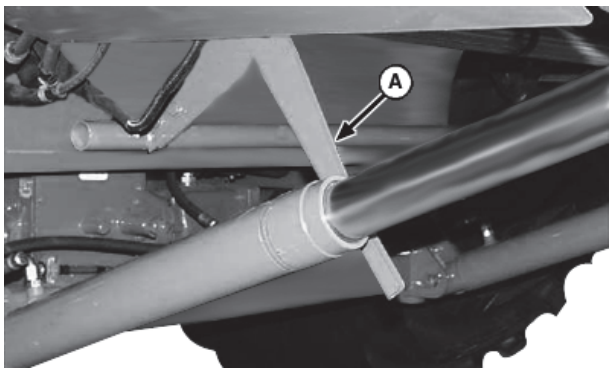
OUO6075,0001803 -40-13MAY14-16/30

クイックロックピンを取り外してレバー (A) を下後方に動かし、フィードプレートを開きます。

フィードプレート部分を清掃します。

レバーを前方に上に動かしてフィードプレートを閉めます。クイックロックピンで固定します。

A : レバー



次のページへ

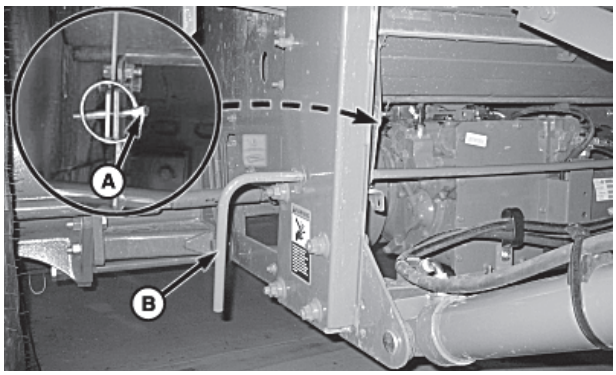
OUO6075,0001803 -40-13MAY14-17/30

クイックロックピン (A) を取り外し、レバー (B) を上に動かしてストーントラップを開きます。

ストーントラップ部分を清掃します。

レバーを下に動かしてストーントラップを閉めます。クイックロックピンで固定します。

A : クイックロックピン
B : レバー

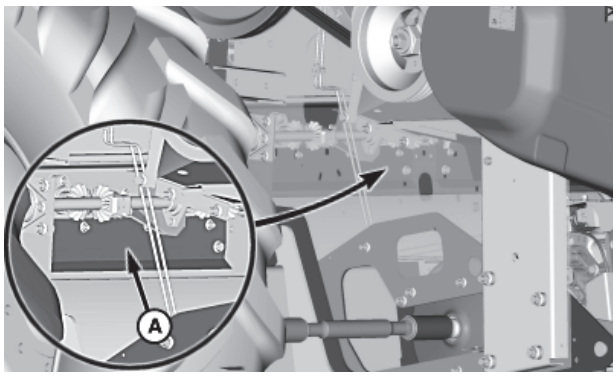


OUO6075,0001803 -40-13MAY14-18/30

装備されている場合：ボルトをクリーンアウトドア (A) から取り外してその部分を清掃します。

清掃が完了したら、クリーンアウトドアとボルトを取り付けます。

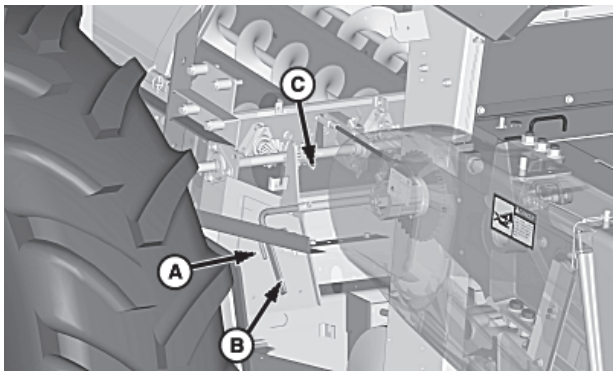
A : クリーンアウトドア



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-19/30

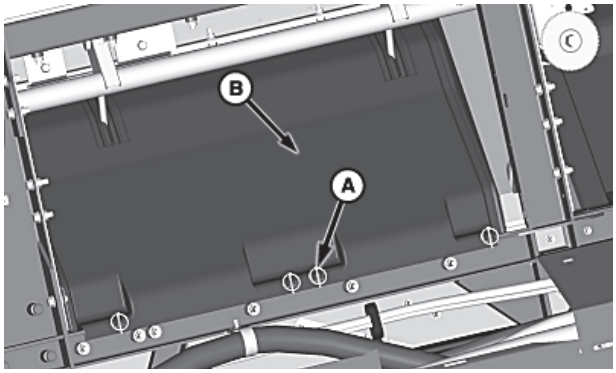
装備されている場合：ロックアウトピン (A) を引っ張ってハンドル (B) を上に動かし、クリーンアウトドア (C) を外します。ハンドルを下に動かしてクリーンアウトドアを閉めてロックします。

A : ロックアウトピン
B : ハンドル
C : クリーンアウトドア

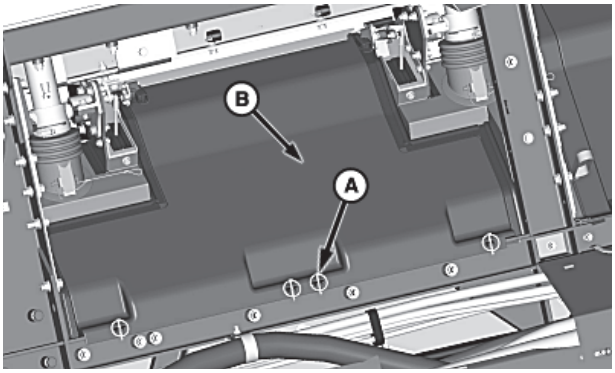


次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-20/30



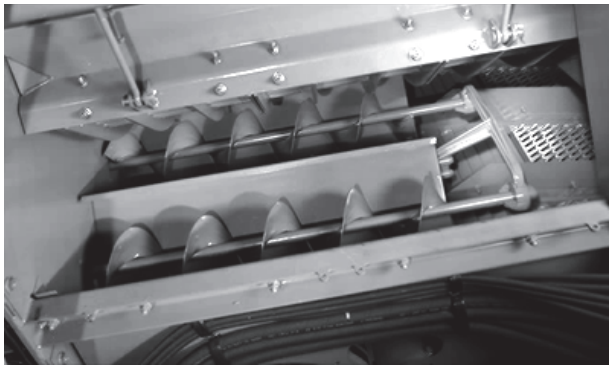
点検カバー (標準コンケーブの調整)



点検カバー (アクティブコンケーブの分離)

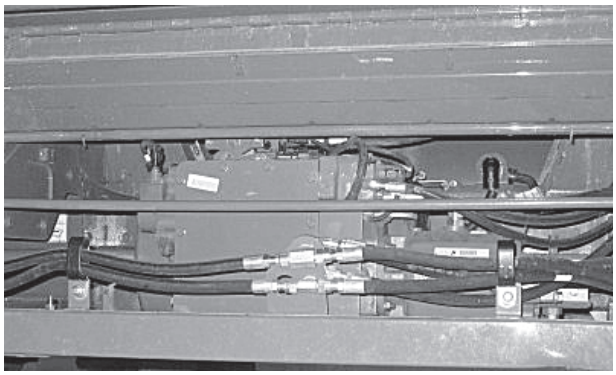
クイックロックピン (A) と点検カバー (B) を外します。スクレーパを使用して材料をほぐし、機械の側面から清掃します。

A : クイックロックピン
B : 点検カバー



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-21/30

車軸の上部とトランスミッションを清掃します。



押しボタンシフトの機械

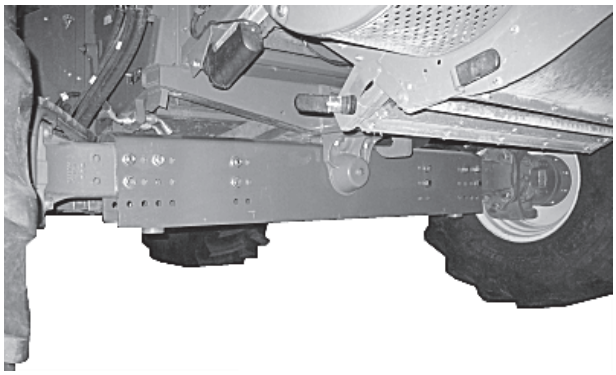
次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-22/30

可能な限りふるいとチャファーを開き、清掃します。

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-23/30

リア車軸エリアを清掃します。



次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-24/30

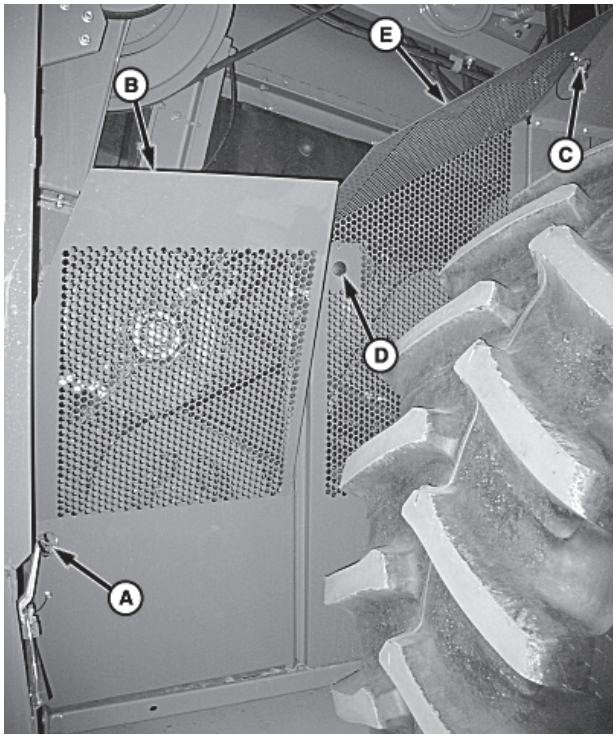
クイックロックピン (A) を取り外して、シールド (B) を開きます。

クイックロックピン (C) を取り外し、ラッチ (D) を回してロックを解除します。

リアシールド (B) とミドルファンシールド (E) を持ち上げて取り外します。

ファンエリアを清掃します。

A : クイックロックピン
B : シールド
C : クイックロックピン
D : ラッチ
E : シールド

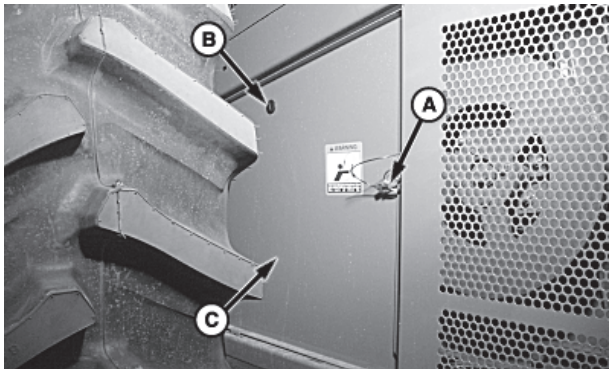


OUO6075,0001803 -40-13MAY14-25/30

クイックロックピン (A) を取り外し、ラッチ (B) を回してシールド (C) を取り外します。

エリアを清掃します。

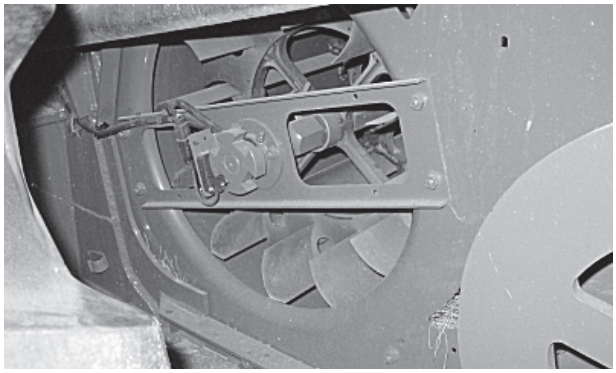
A : クイックロックピン
B : ラッチ
C : シールド



次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-26/30

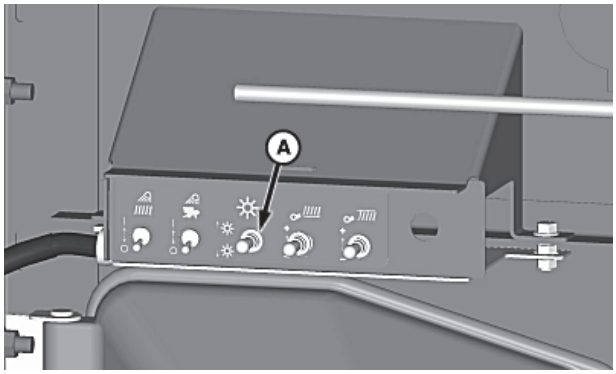
ファン周辺エリアを清掃します。



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-27/30

スイッチ (A) を使用して、チョッパー (装備されている場合) を上げます。

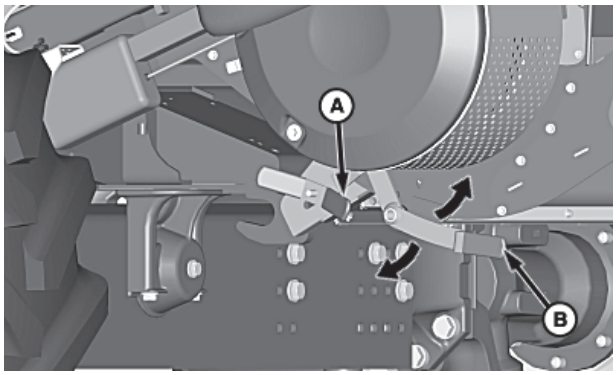
A : スイッチ



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-28/30

蝶ナット (A) を緩めてハンドル (B) を使用してナイフバンクの接続を解除し、チョッパーを清掃します。

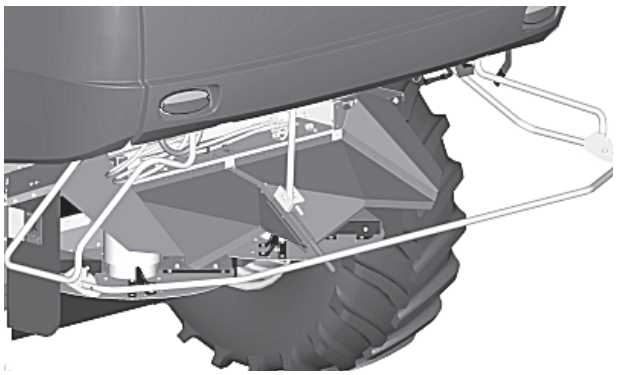
A : 蝶ナット
B : ハンドル



次のページへ

OUO6075,0001803 -40-13MAY14-29/30

スプレッダー (装備されている場合) ドライブエリアとスプレッダフードから籾殻を清掃します。



OUO6075,0001803 -40-13MAY14-30/30

燃料の安全な取り扱い：火災防止

燃料は慎重に取り扱ってください。高い引火性があります。喫煙しながら、または直火や火花がある状況で給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。燃料タンクは屋外で補充してください。

廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃し、火災を防止してください。こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

引火性液体の持ち運びには認可された燃料容器だけを使用してください。

プラスチック製ベッドライナーを敷いたピックアップトラックで、絶対に燃料容器を充填しないでください。補充の前に必ず燃料容器を地面に置いてください。缶の蓋を外す前に燃料容器を燃料ディスペンサーのノズルで触ります。補充時は、燃料ディスペンサーのノズルが常に燃料容器に触れているようにします。

直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに燃料容器を保管しないでください。

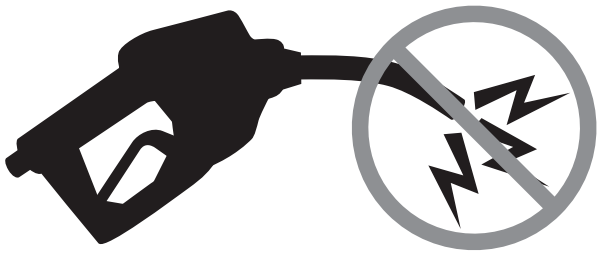
DX,FIRE1 -40-27NOV12-1/1

燃料再補充時の静電気発生リスクの防止

超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料内の硫黄と他の化合物が除去されると導電性が低下するため、静電気を帯電しやすくなります。

製油業者が帯電防止添加剤で燃料を処理している場合もあります。しかし時間の経過により、添加剤の効果が低下するさまざまな要因があります。

燃料供給システム内を ULSD 燃料が流れるにしたがい、静電気が帯電する可能性があります。燃焼性のガスが存在する場合に静電放電が発生すると、火災や爆発のおそれがあります。



したがって、お使いの作業機に燃料を補充するためのシステム全体 (燃料供給タンク、移送ポンプ、移送ホース、ノズル等) を適切に接地し接合することが重要です。燃料供給システムが、適切な接地および接合に関して燃料補給系としての基準を満たしているかどうか確認するには、お使いの燃料または燃料システムのメーカーにお問い合わせください。

DX,FUEL,STATIC,ELEC -40-12JUL13-1/1

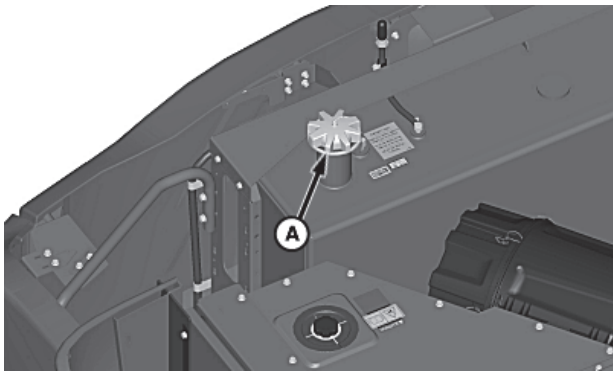
燃料タンク：充填

警戒：燃料の取り扱いに注意してください。煙が発生しているときは、機械に燃料を補給しないでください。燃料タンクに充填する前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

燃料タンクに入れすぎないでください。燃料が跳ね返ってけがをする可能性があります。燃料の膨張によって漏れが発生することがあります。タンクが満タンの場合、直射日光にさらされたり、温度が高くなりすぎると、タンクがオーバーフローします。

重要：インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV エンジン：超低硫黄ディーゼル燃料のみを使用してください。詳細については、このセクションの「ディーゼル燃料とバイオディーゼル燃料」を参照してください。

毎日の運転終了時に燃料タンク (A) に充填してください。これにより、湿った空気が冷却されてタンク内で結露することを防ぎます。



A：燃料タンク

OUO6075,00016E3 -40-26NOV13-1/1

ディーゼル燃料の取り扱いと保管

警戒：火災の危険を減らしてください。燃料の取り扱いに注意してください。エンジンの作動中は燃料タンクに給油しないでください。燃料タンクへの給油や燃料システムの整備中は、喫煙しないでください。

寒冷気候での水分凝縮や凍結を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクをいっぱいにしてください。

すべての保管用タンクは可能な限り一杯に補充して、結露を最小限に抑えてください。

水分が入らないように、必ず燃料タンクのキャップとカバーをすべて適切に取り付けてください。燃料の水分含有量を定期的に監視してください。

バイオディーゼル燃料の使用時は目詰まりが早くなるため、より頻繁に燃料フィルタを交換する必要があります。

毎日、エンジン始動前にエンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルの上昇はエンジンオイルの燃料希釈を示す場合があります。

燃料を長期間保管する場合や燃料の使用がわずかな場合は、燃料を安定させて水分凝縮を防ぐために、燃料コンディショナを追加してください。推奨事項については、燃料の販売業者か John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,000163E -40-06SEP13-1/1

ディーゼル燃料

地域で使用可能なディーゼル燃料の特性については、地元の燃料販売店にお問い合わせください。

一般に、ディーゼル燃料は販売される地域の低温要件に合わせて混合されます。

EN 590 または ASTM D975 に規定されたディーゼル燃料をお勧めします。動物油脂と植物油の水素化処理によって生成される再生可能ディーゼル燃料は、石油系ディーゼル燃料と基本的に同一のものです。EN 590 または ASTM D975 に適合する再生可能ディーゼル燃料は、すべての混合比での使用が容認されています。

必要な燃料特性

あらゆる場合に燃料は次の特性に適合する必要があります。

最低 43 のセタン価。特に -20°C (-4°F) 未満の温度または 1,500 m (5,000 ft) を超える高度では、47 を超えるセタン価を推奨します。

寒冷フィルタ目詰まり点 (CFPP、Cold Filter Plugging Point) が予期される最低温度より少なくとも 5°C (9°F) 低いか、**曇り点**が予期される最低外気温より低い必要があります。

燃料潤滑性は ASTM D6079 または ISO 12156-1 によって評価される最大傷跡直径 0.52 mm に合格する必要があります。最大傷跡直径 0.45 mm が推奨されます。

ディーゼル燃料の品質と硫黄含有量が、エンジンが作動する地域に存在するすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。硫黄含有量が 10,000 mg/kg (10,000 ppm) を超えるディーゼル燃料を使用しないでください。

Interim Tier 4、Final Tier 4、Stage III B、および Stage IV エンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が最大 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。

Tier 3 および Stage III A エンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 1,000 mg/kg (1,000 ppm) 未満のディーゼル燃料の使用をお勧めします。
- 硫黄含有量が 1,000～2,000 mg/kg (1,000～2,000 ppm) のディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短縮されます。
- 硫黄含有量が 2,000 mg/kg (2,000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用する場合は、事前に担当の John Deere 取扱店にお問い合わせください。

Tier 2 および Stage II エンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 2,000 mg/kg (2,000 ppm) 未満のディーゼル燃料を使用してください。
- 硫黄含有量が 2,000～5,000 mg/kg (2,000～5,000 ppm) のディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短縮されます。
- 硫黄含有量が 5000 mg/kg (5000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用する場合は、事前に担当の John Deere 取扱店にお問い合わせください。

その他のエンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 5,000 mg/kg (5,000 ppm) 未満のディーゼル燃料の使用をお勧めします。
- 硫黄含有量が 5,000 mg/kg (5,000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短縮されます。

重要：使用済みディーゼルエンジンオイルやその他のどの潤滑油も、ディーゼル燃料と混合しないでください。

不適切な燃料添加剤の使用により、ディーゼルエンジンのフューエルインジェクション装置が損傷する恐れがあります。

DX,FUEL1 -40-17JUN13-1/1

バイオディーゼル燃料

バイオディーゼル燃料は、植物油または動物油脂から採取した長鎖脂肪酸のモノアルキルエステルから構成されています。バイオディーゼル混合燃料は、容積ベースで石油系ディーゼル燃料と混合されたバイオディーゼルです。

バイオディーゼルを含む燃料を使用する前に、このオペレータマニュアルの「バイオディーゼルの使用要件と推奨事項」を確認してください。

環境法および規制によってバイオ燃料が推奨または禁止されている場合があります。オペレータはバイオ燃料を使用する前に適切な政府機関に相談してください。

John Deere の全エンジン (エグゾーストフィルタあり) (2011 年以降)

5% 混合 (B5) をお勧めしますが、石油系ディーゼル燃料の最大 20% 混合 (B20) も使用できます。最大 B20 のバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル (100% バイオディーゼルまたは B100) が ASTM D6751、EN 14214、または同等の規格に適合する場合のみ使用できます。B20 の使用時は、2% の出力低下と 3% の燃費低下を見込んでください。

B20 を上回るバイオディーゼル濃度は排出ガス制御システムに悪影響を及ぼす場合があるので使用しないでください。静止再生頻度が増える、すすがたまる、灰除去の回数が増えるなど、その他のリスクが生じます。

B10～B20 のバイオディーゼル混合燃料を使用する際は、John Deer が認可した洗剤と分散剤を添加した燃料コンディショナが必要であり、より低濃度のバイオディーゼル混合燃料を使用する際もコンディショナの使用を推奨します。

John Deere の全エンジン (エグゾーストフィルタなし) (主に 2012 年以前)

5% 混合 (B5) をお勧めしますが、石油系ディーゼル燃料の最大 20% 混合 (B20) も使用できます。最大 B20 のバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル (100% バイオディーゼルまたは B100) が ASTM D6751、EN 14214、または同等の規格に適合する場合のみ使用できます。B20 の使用時は、2% の出力低下と 3% の燃費低下を見込んでください。

これらの John Deere エンジンは B20 より上のバイオディーゼル混合燃料で動作可能です (最大 100% バイオディーゼル)。バイオディーゼルが法律で認められ、EN 14214 規格 (主にヨーロッパで使用) に適合する場合のみ、B20 より上のレベルを使用してください。B20 より上のバイオディーゼル混合燃料で動作するエンジンは、すべての該当する排出ガス規制に完全には準拠していないか、認められない場合があります。100% バイオディーゼルの使用時は、最大 12% の出力低下と 18% の燃費低下を見込んでください。

B10～B20 のバイオディーゼル混合燃料を使用する際は、John Deer が認可した洗剤と分散剤を添加した燃料コンディショナが必要であり、より低濃度のバイオディーゼル混合燃料を使用する際もコンディショナの使用を推奨します。

バイオディーゼルの使用要件と推奨事項

すべてのバイオディーゼル混合燃料の石油系ディーゼル部分は、ASTM D975 (US) または EN 590 (EU) の商業規格に適合する必要があります。

米国のバイオディーゼル利用者には、BQ-9000 に (National Biodiesel Board によって) 認定された生産者の生産したバイオディーゼル混合燃料を、BQ-9000 公認の販売業者から購入することを強くお勧めします。公認販売業者および認定生産者は次の Web サイトで検索できます。
http://www.bq9000.org

バイオディーゼルには残灰が含まれます。灰のレベルが ASTM D6751 または EN14214 で認められている最大値を超えると、灰の堆積が速まり、エグゾーストフィルタがある場合は必要なクリーニング回数が増える可能性があります。

バイオディーゼル燃料の使用時は、特にディーゼル燃料から切り替えると、より頻繁に燃料フィルタを交換する必要があります。毎日、エンジン始動前にエンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルの上昇はエンジンオイルの燃料希釈を示す場合があります。B20 までのバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル生産日から 90 日以内に使用してください。B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル生産日から 45 日以内に使用してください。

B20 までのバイオディーゼル混合燃料の使用時には、次の事項を考慮する必要があります。

- 寒冷気候での流性低下
- 安定性と保管の問題 (吸湿、微生物増殖)
- フィルタの制限と目詰まりの可能性 (通常、中古エンジンで初めてバイオディーゼルに切り替えるときの問題)
- シールやホースからの燃料漏れの可能性 (主に、古いエンジンでの問題)
- エンジン部品の耐用年数の減少の可能性

燃料がこのオペレータマニュアルに記載された仕様に準拠していることを確認するには、燃料販売店に分析証明書を要求してください。

バイオディーゼル燃料の保管と性能を向上するには、認定されている燃料コンディショナについて John Deere 取扱店にお問い合わせください。

B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料の使用時には、次の事項も考慮する必要があります。

次のページへ

- コーキングやインジェクタノズルの詰まりの可能性 (John Deere 認定の燃料コンディショナを使用しない場合、出力低下、エンジンの失火の原因になる)
- クランクケースのオイル希釈の可能性 (より頻繁なオイル交換が必要になる)
- 内部部品のラッカリングまたは焼き付きの可能性
- スラッジや沈殿物の形成の可能性
- 高温時に燃料の熱酸化の可能性
- 燃料処理装置で使用されるその他の材料 (銅、鉛、亜鉛、錫、黄銅、青銅) との互換性の問題
- ウォーターセパレータの効率低下の可能性
- バイオディーゼルにさらされた塗料の損傷の可能性
- フューエルインジェクション装置の腐食の可能性
- エラストマーシールまたはガスケットの材質劣化の可能性 (主に古いエンジンでの問題)
- 燃料システム内の高い酸性度の可能性
- B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料にはより多くの灰が含まれるため、B20 を超える混合燃料を使用すると灰の堆積が速まり、エグゾーストフィルタがある場合は必要なクリーニング回数が増える可能性があります。

重要：John Deere エンジンには、加工されていない圧搾植物油は、どの濃度でも燃料として使用できません。使用するとエンジン故障の原因となる可能性があります。

DX,FUEL7 -40-15MAY13-2/2

ディーゼル燃料の潤滑性

米国、カナダ、および EU で生産されるほとんどのディーゼル燃料は、フューエルインジェクションシステム部品の適切な作動と耐久性を保証する十分な潤滑性を備えています。ただし、世界の一部の地域で生産されるディーゼル燃料には、必要な潤滑性を備えていないものがあります。

重要：自分の機械で使用するディーゼル燃料が適切な潤滑特性を示すことを確認してください。

燃料潤滑性が ASTM D6079 または ISO 12156-1 によって評価される最大傷跡直径 0.52 mm に合格しなければなりません。最大傷跡直径 0.45 mm が推奨されます。

使用する燃料の潤滑性が低いまたは不明な場合は、John Deere Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (または同等品) を指定の濃度で加えてください。

バイオディーゼル燃料の潤滑性

燃料の潤滑性は、B20 (20% バイオディーゼル) までのバイオディーゼル混合燃料では大幅に改善されます。B20 以上のバイオディーゼル混合燃料では燃料の潤滑性が増加しにくくなります。

DX,FUEL5 -40-07FEB14-1/1

ディーゼル燃料の補助添加剤

ディーゼル燃料は、多くの理由から性能またはその他の作動上の問題の原因となることがあります。たとえば、不十分な潤滑性、汚染物質、低セタン値、および燃料システム堆積物を生成させるさまざまな特性があります。これらの問題や他の問題については、このオペレータマニュアルの他のセクションでも説明します。

エンジンの性能と信頼性を最適化するため、このオペレータマニュアルの各所に記載される燃料品質、保管、および取り扱いに関する推奨事項によく従ってください。

エンジンの燃料システムの性能と信頼性を維持する際にさらに役立つように、John Deere は燃料添加剤製品ファミリをほとんど世界中の市場向けに開発しています。主要製品として、Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (冬季／夏季処方の汎用コンディショナ) と Fuel-Protect Keep Clean (フューエルインジェクタ堆積物の除去および予防) があります。これらの製品や他の製品を入手できるかは市場ごとに異なります。ニーズに適した燃料添加剤の入手方法と詳細については、現地の John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,FUEL13 -40-07FEB14-1/1

ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響を最小限に抑える方法

John Deere ディーゼルエンジンは、寒冷気候で有効に作動するように設計されています。

ただし、効果的な始動と寒冷気候での運転のためには、若干の特別な手入れが必要です。以下の情報は、寒冷気候がエンジンの始動および運転に与える影響を最小限に抑えるための手順の概要です。追加情報や各地で使用可能な寒冷地での補助については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

冬用燃料の使用

温度が 0°C (32°F) より低いときは、冬用燃料 (北米では No.1D) が寒冷気候での運転に最も適しています。冬用燃料は曇り点、流動点が低くなっています。

曇り点とは、燃料内でワックス分が析出し始める温度のことです。このワックスは燃料フィルタの目詰まりの原因になります。**流動点**とは、燃料の動きが見られる最低温度のことです。

注記：一般的に、冬用等級のディーゼル燃料の BTU (熱容量) は低く設定されています。冬用燃料を使用すると出力や燃費が低下する場合がありますが、他のエンジン性能には影響しません。寒冷気候での運転時の低出力の問題については、トラブルシューティングの前に使用中の燃料の等級を確認してください。

吸気ヒーター

吸気ヒーターは、寒冷気候での始動補助のために一部のエンジンで使用可能なオプションです。

エーテル

吸入口のエーテルポートは、寒冷気候での始動補助のために使用可能です。

警戒：エーテルは高い引火性があります。グロープラグまたは吸気ヒーターを備えたエンジンの始動時にはエーテルを使用しないでください。

クーラントヒーター

エンジンブロックヒーター (クーラントヒーター) は、寒冷気候での始動補助のために使用可能なオプションです。

季節に適した粘度のオイルと適切なクーラント濃度

オイル交換の間に予想される気温範囲に基づいて、季節に適した粘度等級のエンジンオイル、および推奨されている適切な濃度のケイ酸塩不凍液を使用してください。(このセクションのディーゼルエンジンオイルとエンジンクーラントに関する要件を参照してください)。

ディーゼル燃料添加剤

John Deere Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (Winter Formula) を使用してください。これには冬用でない等級の燃料 (北米では No.2D) を寒冷時期に処理する、ゲル化防止成分または同等のフューエルコンディショナが含まれます。通常、これによって燃料曇り点より約 10°C (18°F) 低い温度まで作動温度が拡張されます。さらに低い温度での運転には、冬用燃料を使用してください。

重要：外気温が 0°C (32°F) より低いときは燃料を処理してください。最適な結果を得るためには、未処理燃料を使用してください。ラベルに記載されたすべての推奨事項に従ってください。

バイオディーゼル

バイオディーゼル混合燃料の使用時は、気温がそれほど低くないときでもワックス分が析出する可能性があります。寒冷気候でバイオディーゼル燃料を処理する時は、5°C (41°F) になったら John Deere Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (Winter Formula) の使用を開始してください。温度が 0°C (32°F) より低いときは、B5 以下の混合を使用します。温度が -10°C (14°F) より低いときは、冬用の石油系ディーゼル燃料のみを使用してください。

ウィンターフロント

布類、段ボール、または固いウィンターフロントは、John Deere エンジンでは推奨されません。使用すると、エンジンクーラント、オイル、およびチャージエア温度が過度になる可能性があります。これは、エンジン寿命の短縮、出力の損失、燃費の低下につながります。ウィンターフロントはファンやファンドライブ部品を異常に酷使し、故障を早める可能性もあります。

ウィンターフロントを使用する場合は、フロントグリル域を完全には閉鎖しないでください。グリルの中心の約 25% は常に開放されたままにする必要があります。気道を塞ぐ装置をラジエータコアに決して直接接触させないでください。

ラジエータシャッター

サーモスタット制御式ラジエータシャッターシステムが装備されている場合は、過度なインテークマニホールド温度を防止するため、クーラントが 93°C (200°F) に達する前にシャッターを完全に開放するなどの方法で、システムを調整してください。システムの手動制御は推奨されません。

空冷式アフタークーラーを使用する場合は、インテークマニホールド空気温度が、チャージャエアクーラーからの最大許容温度に達するまで、シャッターを完全に開放する必要があります。

詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,FUEL10 -40-15MAY13-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

排ガス処理用尿素水 (DEF) は、選択接触還元 (SCR) システムを装備したエンジンの排気システムに注入される高純度の液体です。DEF の純度を保つことは、SCR システムの故障防止のために重要です。排ガス処理用尿素水 (DEF) を必要とするエンジンは、ISO 22241-1 に基づく尿素水溶液 32 (AUS 32) の要件に適合する製品を使用する必要があります。

John Deere Diesel Exhaust Fluid の使用をお勧めします。John Deere Diesel Exhaust Fluid は、John Deere 取扱店から用途に適したさまざまなサイズのパッケージで入手できます。

AdBlue は VDA（ドイツ自動車工業会）の商標です。

John Deere 排ガス処理用尿素水 (DEF) を入手できない場合は、米国石油協会 (API) の排ガス処理用尿素水 (DEF) 証明制度または AdBlue™ の排ガス処理用尿素水 (DEF) 証明制度よって認定されている排ガス処理用尿素水 (DEF) を使用してください。容器上の API 認定マークまたは AdBlue™ 名を探してください。

排ガス処理用尿素水 (DEF) は次のいずれかの名前で呼ばれる場合があります。

- 尿素
- 尿素水溶液 32
- AUS 32
- AdBlue™
- NOx 還元剤
- 触媒溶液

OUO6075,0001829 -40-10JUN14-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) のテスト (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

重要：適切な濃度の排ガス処理用尿素水 (DEF) を使用することは、エンジンと後処理システムの性能にとって非常に重要です。長期保存や他の条件により、DEF 濃度が低下することがあります。

DEF 品質が疑わしい場合は、DEF タンクまたは保管用タンクから清浄な容器にサンプルを採ります。DEF は透明でわずかなアンモニア臭があります。DEF が濁って色がつき、アンモニア臭が強くなった場合は、基準値を満たしていない可能性があります。この状態の DEF は使用しないでください。タンクを空にして蒸留水でフラッシングし、新品または良好な DEF を補充します。タンクに補充した後、DEF 濃度を点検します。

DEF が目視テストと嗅覚テストに合格した場合は、DEF 測定用に較正された携帯型屈折計で DEF 濃度を点検します。

エンジンを長期保管していた場合、またはエンジンやパッケージ DEF フルードに水が混入した疑いがある場合は、DEF 濃度を点検してください。

2 つの認可済みツールが John Deere 取扱店から入手できます。

- JDG11594 デジタル DEF 屈折計：濃度測定値を簡単に読み取れるデジタルツールです DEF 屈折計、デジタル JDG11594 DEF 濃度のテストを行います。
- JDG11684 DEF 屈折計：低価格な代替ツールで、アナログ読み取りに対応しています DEF 屈折計 JDG11684DEF 濃度のテストを行います。

測定方法については、各工具に付属の説明書を参照してください。

適切な DEF 濃度は 31.8〜33.2% 尿素です。DEF 濃度が基準値内にない場合は、DEF タンクを空にして蒸留水でフラッシングし、新品または良好な DEF を補充します。パッケージの DEF が基準値内にない場合は、DEF パッケージを廃棄し、新品または良好な DEF と交換します。

OUO6075,000182A -40-10JUN14-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) の保管 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

警戒：目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

DEF を摂取しないでください。DEF を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要：後処理システムの部品をいじったり取り外したりするのは違法です。要求される仕様に適合しない DEF を使用したり、DEF なしでエンジンを作動させたりしないでください。

絶対に農業用尿素と水の混合による DEF の生成を試みないでください。農業用尿素は必要な仕様に適合しないため、後処理システムを損傷させる可能性があります。

凍結防止のために何らかの薬剤や添加剤を DEF に加えないでください。薬剤や添加剤を DEF に加えると、後処理システムを損傷させる可能性があります。

絶対に水や他の液体を DEF の代わりとして、または DEF に加えて補充しないでください。手を加えた DEF による作動、または無認可の DEF の使用により、後処理システムが損傷するおそれがあります。

以下の保管に関する情報は参照用であり、ガイドラインとしてのみ使用してください。

DEF は極端な外気温にならない場所に保管することをお勧めします。排ガス処理用尿素水 (DEF) は –11C (12°F) で凍結します。30°C (86°F) を超える温度にさらされると、排ガス処理用尿素水 (DEF) が徐々に劣化するおそれがあります。

蒸発および汚染防止のため、使用しないときは専用の DEF 保管容器に密閉する必要があります。排ガス処理用尿素水 (DEF) の運搬や保管には、ポリエチレン、ポリプロピレン、またはステンレス製の容器をお勧めします。

理想的な DEF 保管条件は次のとおりです。

- –5°C～30°C (23°F～86°F) の温度で保管してください。
- 汚染および蒸発防止のため、専用容器に密閉して保管してください。

これらの条件のもとでは、DEF は通常 18 か月以上使用可能です。排ガス処理用尿素水 (DEF) を高温で保管すると、30°C (86°F) を 5°C (9°F) 上回るごとに耐用期間が約 6 か月短くなります。

DEF の保管期間や保管状況が不明の場合は、DEF をテストしてください。「ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) のテスト」参照。

DEF タンク (排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク) での長期保管 (12 か月以上) は推奨されません。長期保管が必要な場合は、エンジンを作動させる前に排ガス処理用尿素水 (DEF) をテストしてください。「ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) のテスト」参照。

12 か月以内に使い切れる量の排ガス処理用尿素水 (DEF) を購入することをお勧めします。

OUO6075,0001640 -40-06SEP13-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクへの補給 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

警戒：目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

DEF を摂取しないでください。DEF を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要：DEF の供給に使用する部品の洗浄には、蒸留水のみを使用してください。水道水では DEF の品質が落ちる可能性があります。蒸留水を入手できない場合は、清浄な水道水で洗浄してから、十分な量の DEF でよくゆすいでください。

DEF がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触した場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。DEF は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

DEF がエンジンの燃料タンクや他の液体の容器に注入されている場合は、システムから DEF を適切にパージするまでエンジンを作動させないでください。すぐ John Deere 取扱店に問い合わせて、システムの洗浄とパージの方法を確認してください。

DEF タンクに補充するときは十分な注意を払ってください。DEF タンクのキャップを外す前に周辺にごみがないことを確認してください。汚染および蒸発防止のため、使用しないときは DEF 容器を密閉してください。

DEF がはね散って、肌、目、口に入らないようにしてください。

DEF の取り扱いは危険ではありませんが、スチール、鉄、亜鉛、ニッケル、銅、アルミニウム、マグネシウムなどの材料が腐食するおそれがあります。DEF の運搬や保管には適切な容器を使用してください。ポリエチレン、ポリプロピレン、またはステンレス製の容器をお勧めします。

肌に長時間触れることは避けてください。うっかり肌に触れた場合は、すぐに石けん水で洗ってください。

DEF の保管や小出しに使う容器に泥やほこりがつかないようにします。容器やじょうごは蒸留水でよく洗浄して汚れを取り除きます。

ディーゼル燃料やクーラントなどの認められていない液体を DEF タンクに追加した場合は、すぐ John Deere 取扱店に問い合わせて、システムの洗浄とパージの方法を確認してください。

水を DEF タンクに追加していた場合は、タンクの洗浄が必要です。このマニュアルの「DEF タンクの洗浄」参照。タンクに補充した後、DEF 濃度を点検します。「ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) のテスト」参照。

オペレータは常に適切な DEF レベルを保つ必要があります。排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルは毎日点検し、必要に応じてタンクに補充してください。注入口は、図のような DEF のエンボスマーク付きの青色のキャップで識別できます。

OUO6075,000182B -40-10JUN14-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの清掃 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

警戒：目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要：DEF がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触した場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。DEF は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

DEF がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切に清掃しないと、選択接触還元 (SCR) システムの漏れの診断で問題になることがあります。

DEF タンクに異物や他の液体が入った場合は、DEF タンクを空にしてフラッシングし、新しい DEF で充填します。

DEF の品質に疑いがある場合は、DEF タンクからサンプリングし、透明の容器に入れます。DEF は透明でわずかなアンモニア臭があります。DEF が濁って色がつき、アンモニア臭が強くなった場合は、基準値を満たしていない可能性があります。この状態の DEF は使用しないでください。

1. ドレンプラグ (装備されている場合) を取り外し、劣化した DEF を DEF タンクから抜き取るかサイホンで吸い出します。

注記：清掃は DEF タンクを取り付けた状態でも取り外した状態でも可能です。

2. DEF タンクを新品の DEF で清掃します。

   DEF は、エンジンを作動させる前に目視点検、嗅覚点検、濃度点検に合格する必要があります。詳細については、「燃料と潤滑剤」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) (ファイナル ティア 4／ステージ IV)」を参照してください。

3. DEF タンクを空にするかサイホンで吸い出します。

注記：DEF タンクがきれいになるまで手順 2～3 を繰り返します。

4. DEF ドージングユニットフィルタを交換します。

5. DEF タンクのドレンプラグを取り付けます (取り外されている場合)。DEF タンクを取り付けます (取り外されている場合)。

6. DEF タンクに新品の DEF を注入します。

7. JDG11594、JDG11684 などの屈折計を使用して、DEF 濃度を点検します。適切な DEF 濃度は 31.8～33.2% です。詳しくは認定取扱店にお問い合わせください。

8. DEF が基準値内にないか、透明に見えないか、わずかなアンモニア臭がない場合は、認定取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,000182C -40-10JUN14-1/1

排ガス処理用尿素水 (DEF) の廃棄 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

排ガス処理用尿素水 (DEF) が地面に少しこぼれてもほとんど問題はありませんが、大量の DEF は封じ込める必要があります。大量にこぼれた場合は、除去について現地の環境関係機関に問い合わせてください。

大量の DEF が基準値内にない場合は、廃棄について DEF 販売業者に問い合わせてください。大量の排ガス処理用尿素水 (DEF) を地面に捨てたり、排ガス処理用尿素水 (DEF) を汚水処理施設に送り出したりしないでください。

OUO6075,000164A -40-10SEP13-1/1

ディーゼルエンジンクーラント (ウェットスリーブシリンダライナー付きエンジン)

推奨クーラント

以下の予混合タイプのエンジンクーラントが推奨されています。

- **John Deere COOL-GARD™II**
- **John Deere COOL-GARD II PG**

COOL-GARD II 予混合タイプクーラントは、次の表に示すように、凍結予防の限界の異なる複数の濃度で用意されています。

COOL-GARD II 予混合タイプ	凍結予防の限界
COOL-GARD II 20/80	-9°C (16°F)
COOL-GARD II 30/70	-16°C (3°F)
COOL-GARD II 50/50	-37°C (-34°F)
COOL-GARD II 55/45	-45°C (-49°F)
COOL-GARD II PG 60/40	-49°C (-56°F)
COOL-GARD II 60/40	-52°C (-62°F)

すべての COOL-GARD II 予混合タイプの製品がすべての国で販売されているわけではありません。

毒性のないクーラントの処方が必要な場合は、COOL-GARD II PG を使用してください。

その他の推奨クーラント

以下のエンジンクーラントも推奨されています。

- John Deere COOL-GARD II Concentrate (上質水との 40～60% の混合)

重要：濃縮タイプのクーラントを水と混合するときは、40% 未満または 60% を超える濃度のクーラントを使用しないでください。40% 未満は腐食防止用の添加剤としては不十分です。60% を超えると、クーラント凍結や冷却システムの問題が発生することがあります。

その他のクーラント

その他、次の基準に適合するエチレングリコール系またはプロプレングリコール系のクーラントを使用できます。

- ASTM D6210 要件に適合する予混合タイプのクーラント
- ASTM D6210 要件に適合する濃縮タイプのクーラント (上質水との 40～60% 濃度の混合液)

これらの基準のいずれかに適合するクーラントを入手できない場合は、少なくとも次の化学的または物理的特性を備えた濃縮タイプまたは予混合タイプのクーラントを使用します。

- John Deere のキャビテーションテスト方法または 60% 負荷以上でのフリートスタディランに従って、シリンダライナーのキャビテーションを保護する
- 亜硝酸塩を使わない添加剤パッケージで調合されている
- 冷却システムの金属 (鋳鉄、アルミ合金、真鍮などの銅合金) を腐食から保護する

水質

冷却システムの性能にとって水質は重要です。エチレングリコール系とプロプレングリコール系のエンジンクーラント濃縮タイプと混合する場合は、蒸留水、純水、または脱塩水をお勧めします。

クーラントの交換間隔

指定間隔で冷却システムをフラッシングして新しいクーラントを補充します。この間隔は使用するクーラントによって異なります。

COOL-GARD II または COOL-GARD II PG を使用する場合、交換間隔は 6 年または 6,000 運転時間です。

COOL-GARD II または COOL-GARD II PG 以外のクーラントを使用する場合、交換間隔は 2 年または 2,000 運転時間に短縮されます。

重要：冷却システムのシーリング添加剤、またはシーリング添加剤を含む不凍液を使用しないでください。

エチレングリコール系とプロプレングリコール系のクーラントを混合しないでください。

亜硝酸塩を含むクーラントを使用しないでください。

COOL-GARD は Deere & Company の商標です。

DX,COOL3 -40-15MAY13-1/1

John Deere COOL-GARD™ II Coolant Extender

一部のクーラント添加剤はエンジンの運転に伴い、次第に減っていきます。COOL-GARD™ II 予混合タイプ と COOL-GARD II 濃縮タイプ使用の際は、COOL-GARD II Coolant Extender を加えることにより、交換時期までの間クーラント添加剤を補充してください。

COOL-GARD II Coolant Extender は、COOL-GARD II 試験紙で使用すべきとの結果が出ない限り加えないでください。これらの試験紙は、エンジンクーラントの凍結点、添加剤レベル、および pH を点検するシンプルで効果的な手段です。

12 か月ごと、および漏れや過熱によってクーラントが著しく失われた場合にクーラント液をテストしてください。

重要：COOL-GARD II PG には COOL-GARD II 試験紙を使用しないでください。

COOL-GARD は Deere & Company の商標です。

COOL-GARD II Coolant Extender は、すべての COOL-GARD II クーラントで使用するために、化学的に調合された添加剤システムです。COOL-GARD II Coolant Extender は、亜硝酸塩を含むクーラントで使用するためのものではありません。

重要：冷却システムを空にした後に次のいずれかで補充した場合は、補助クーラント添加剤を加えないでください。

- **John Deere COOL-GARD II**
- **John Deere COOL-GARD II PG**

推奨されていない補助クーラント添加剤を使用すると、添加剤の減少、クーラントの凍結、または冷却システムの部品の腐食が発生する可能性があります。

推奨濃度の COOL-GARD II Coolant Extender を追加してください。推奨される量以上に加えないでください。

DX,COOL16 -40-15MAY13-1/1

温暖気候での運転

John Deere エンジンは、推奨エンジンクーラントを使用して運転するように作られています。

凍結予防の必要がない地域で運転する場合も、推奨されるエンジンクーラントを必ず使用してください。

重要：緊急時のみ、クーラントの代わりに水を使用できます。

クーラントとして水を使用した場合は、クーラント添加剤を追加しても、発泡、高温アルミニウムや鉄の腐食、酸化物の付着、キャビテーションが発生します。

できるだけ早く冷却システムを空にして、推奨されるエンジンクーラントを補充してください。

DX,COOL6 -40-15MAY13-1/1

クーラント濃縮タイプと混合する場合の水質

エンジンクーラントは 3 つの化学成分の組み合わせです。つまりエチレングリコール (EG) またはプロプレングリコール (PG) 不凍液、抑制クーラント添加剤、上質水を組み合わせたものです。

冷却システムの性能にとって水質は重要です。エチレングリコールとプロプレングリコールベースのエンジンクーラント濃縮タイプとの混合用には、蒸留水、純水、または脱塩水をお勧めします。

冷却システムで使用するすべての水質は、次の最小基準値に適合する必要があります。

塩化物	<40 mg/L
硫酸塩	<100 mg/L
全固形物	<340 mg/L
全溶解物／硬度	<170 mg/L
pH	5.5～9.0

重要：ボトル飲料水には高濃度の全蒸発残留物が含まれることが多いので使用しないでください。

凍結予防

エンジンクーラント内のグリコールと水の相対濃度により、凍結予防の限界が決まります。

エチレングリコール	凍結予防の限界
40%	-24°C (-12°F)
50%	-37°C (-34°F)
60%	-52°C (-62°F)
プロプレングリコール	**凍結予防の限界**
40%	-21°C (-6°F)
50%	-33°C (-27°F)
60%	-49°C (-56°F)

60% エチレングリコールまたは 60% プロプレングリコールを超える冷却水の混合液を使用しないでください。

DX,COOL19 -40-15MAY13-1/1

クーラントの凝固点のテスト

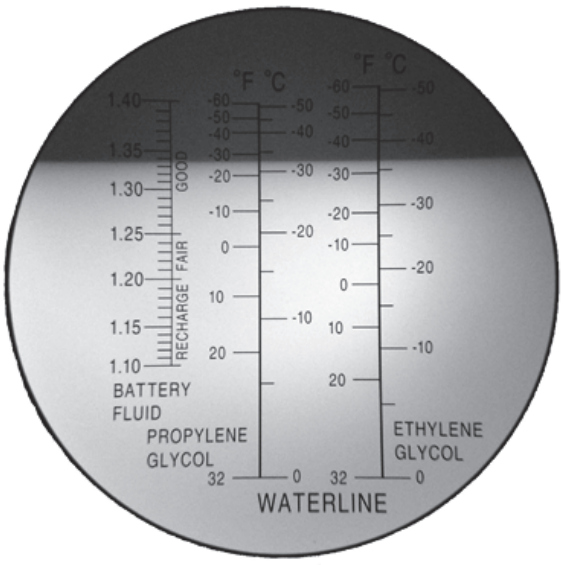
携帯型クーラント屈折計の使用は、最も迅速、容易、かつ正確にクーラントの凝固点を確認する方法です。この方法は、十分な結果を得られない試験紙や浮遊式の比重計より正確です。

クーラント屈折計は John Deere 取扱店から SERVICEGARD™ 工具プログラムで入手できます。品番 75240 は、現場で正確な凝固点を確認する経済的な解決策になります。クーラント／バッテリ屈折計 75240 プロプレングリコールまたはエチレングリコールベースの冷却システムの凝固点を測定し、電解液バッテリの強度を点検するために使用します。

SERVICEGARD™ 品番 75240

このエ具は次のように使用します。

1. 冷却システムを外気温まで冷まします。
2. ラジエータキャップを開いてクーラントを露出します。
3. 付属のスポイトで少量のクーラントサンプルを採取します。
4. 屈折計の蓋を開き、クーラント 1 滴を窓に落として、蓋を閉じます。
5. アイピースから覗き、必要に応じて焦点を合わせます。
6. テスト中のクーラントの種類 (エチレングリコール系クーラントまたはプロプレングリコール系クーラント) ごとに示された凝固点を読み取ります。



50//50 クーラント 1 滴を屈折計の窓に落とした様子

SERVICEGARD は Deere & Company の商標です。

DX,COOL,TEST -40-13JUN13-1/1

ディーゼルエンジン慣らし運転オイル (ティア 2／ステージ II)

新品のエンジンには、工場で John Deere Break-In™ または John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In™ または Break-In Plus™ エンジンオイルをそれぞれ追加してください。

エンジン部品が適切に固定されるるように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い荷重をかけて、エンジンを作動させます。

John Deere Break-In™ エンジンオイルを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最長 100 時間でオイルとオイルフィルタを交換します。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを使用する場合は、最短 100 時間から最長 John Deere Plus-50™ II または Plus-50™ オイルの規定間隔でオイルとオイルフィルタを交換します。

エンジンオーバーホール後、John Deere Break-In™ または Break-In Plus™ エンジンオイルを充填します。

John Deere Break-In™ または Break-In Plus™ エンジンオイルを入手できない場合は、次のいずれかに適合する SAE 10W-30 粘度等級のディーゼルエンジンオイルを使用し、最長 100 運転時間でオイルとフィルタを交換します。

Break-In は Deere & Company の商標です。
Break-In Plus は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

- API サービス分類 CE
- API サービス分類 CD
- API サービス分類 CC
- ACEA オイルシーケンス E2
- ACEA オイルシーケンス E1

重要：新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期慣らし運転では、Plus-50™ II、Plus-50™、または次のいずれかに適合するエンジンオイルを使用しないでください。

API CJ-4	**ACEA E9**
API CI-4 PLUS	**ACEA E7**
API CI-4	**ACEA E6**
API CH-4	**ACEA E5**
API CG-4	**ACEA E4**
API CF-4	**ACEA E3**
API CF-2	
API CF	

これらのオイルはエンジンの慣らし運転に適していません。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルは、すべての排出ガス規制認定レベルの John Deere ディーゼルエンジンで使用できます。

慣らし運転期間後は、John Deere Plus-50™ II、John Deere Plus-50™、またはこのマニュアルで推奨している他のディーゼルエンジンオイルを使用します。

OUO6075,00016F9 -40-19DEZ13-1/1

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイル (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

新品のエンジンには、工場で John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを追加してください。

エンジン部品が適切に固定されるるように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い荷重をかけて、エンジンを作動させます。

新品またはリビルトのエンジンの初期運転中は、最短 100 時間から最長 John Deere Plus-50™ II オイル用に指定されている期間の間にオイルとフィルタを交換してください。

エンジンオーバーホール後、John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを充填します。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを入手できない場合は、次のいずれかに適合する SAE 10W-30 粘度等級のディーゼルエンジンオイルを使用します。

Break-In Plus は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

- API サービス分類 CJ-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E6

このいずれかのオイルを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最短 100 時間から最長 250 時間の間にオイルとオイルフィルタを交換します。

重要：新品のエンジンやリビルトエンジンの初期慣らし運転期間中は、他のエンジンオイルを使用しないでください。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルは、すべての排出ガス規制認定レベルの John Deere ディーゼルエンジンで使用できます。

慣らし運転期間後は、John Deere Plus-50™ II またはこのマニュアルで推奨している他のディーゼルエンジンオイルを使用します。

OUO6075,00016FA -40-19DEZ13-1/1

ディーゼルエンジンオイル (ティア 2／ステージ II)

次のオイル交換までの期間に予期される吸気温度の範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

John Deere Plus-50™ II オイルをお勧めします。

また、John Deere Plus-50™ もお勧めします。

以下のいずれかに適合する他のオイルも使用できます。

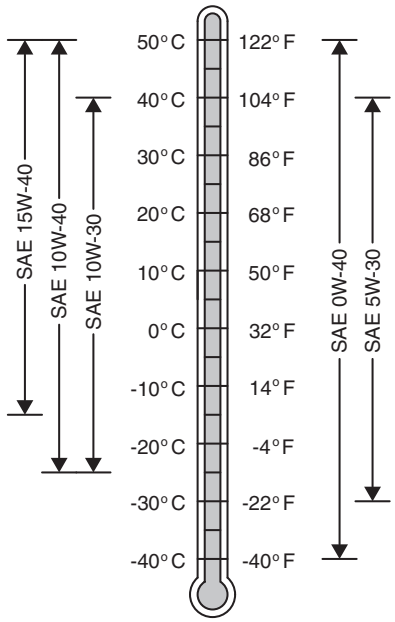
- John Deere Torq-Gard™
- API サービス分類 CJ-4
- API サービス分類 CI-4 PLUS
- API サービス分類 CI-4
- API サービス分類 CH-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E7
- ACEA オイルシーケンス E6
- ACEA オイルシーケンス E5
- ACEA オイルシーケンス E4

マルチグレード粘度のディーゼルエンジンオイルをお勧めします。

ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジンを運転する地域に存在するすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。

硫黄含有量が 10,000 mg/kg (10,000 ppm) を超えるディーゼル燃料を使用しないでください。

Plus-50 は Deere & Company の商標です。
Torq-Gard は Deere & Company の商標です。



気温範囲に適したオイル粘度

OUO6075,00016FB -40-19DEZ13-1/1

ディーゼルエンジンオイル (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

次のオイル交換までの期間に予期される吸気温度の範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

推奨エンジンオイルは John Deere Plus-50™ II です。

John Deere Plus-50™ II エンジンオイルを使用すると、整備間隔を延ばすことができます。エンジンオイルの交換間隔の表を参照してください。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

John Deere Plus-50™ II エンジンオイルを入手できない場合は、次のいずれかに適合するエンジンオイルを使用できます。

- API サービス分類 CJ-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E6

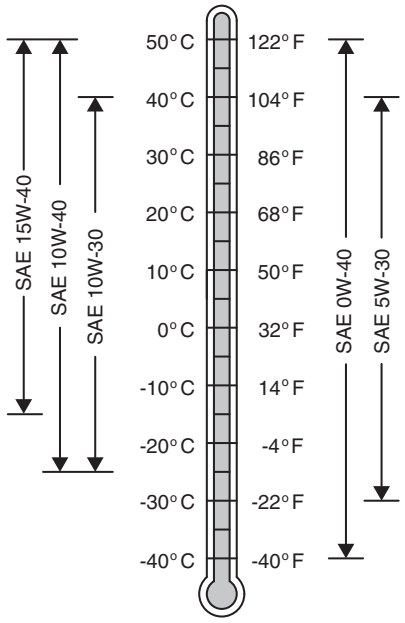
1.0% を超える硫酸塩灰分、0.12% を超えるリン、または 0.4% を超える硫黄を含むエンジンオイルを使用しないでください。

マルチグレード粘度のディーゼルエンジンオイルをお勧めします。

ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジンを運転する地域に存在するすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。

重要：最大硫黄含有量が 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。

Plus-50 は Deere & Company の商標です。



気温範囲に適したオイル粘度

OUO6075,00016FC -40-19DEZ13-1/1

エンジンオイルとフィルタの点検間隔 (ティア 2／ステージ II)

推奨されるオイルやフィルタの整備間隔は、オイルパン容量、使用されるエンジンオイルとフィルタの種類、ディーゼル燃料の硫黄含有量の組み合わせに基づきます。実際の整備間隔は運用やメンテナンスの慣行によって異なります。

オイル分析を使用してオイルの状態を確認し、適切なオイルやフィルタの整備間隔を選択する目安にしてください。エンジンオイル分析の詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

推奨される点検間隔より運転時間が短い場合でも、最低 12 か月に 1 回はオイルとオイルフィルタを交換してください。

ディーゼル燃料の硫黄含有量はエンジンオイルやフィルタの整備間隔に影響します。

- 硫黄含有量が 2,000 mg/kg (2,000 ppm) 未満のディーゼル燃料の使用をお勧めします。
- 硫黄含有量が 2,000～5,000 mg/kg (2,000～5,000 ppm) のディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短縮されます。
- 硫黄含有量が 5,000 mg/kg (5,000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用する場合は、事前に担当の John Deere 取扱店にお問い合わせください。

重要：エンジンの損傷防止策：

- **B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料の使用時は、オイルとフィルタの点検間隔を 50% 短縮してください。オイル分析により、整備間隔を延長できる場合があります。**
- **認可されているオイルの種類のみを使用してください。**

認可されているオイルの種類：

- 「Plus-50 オイル」John Deere Plus-50™ II と John Deere Plus-50™ が含まれます。
- 「その他のオイル」John Deere Torq-Gard™API CJ-4、API CI-4 PLUS、API CI-4、API CH-4、ACEA E9、ACEA E7、ACEA E6、ACEA E5、ACEA E4 が含まれます。

エンジンオイルとフィルタの整備間隔	
燃料の硫黄分	2,000 mg/kg (2,000 ppm) 未満
Plus-50 オイル	375 時間
その他のオイル	250 時間
燃料の硫黄分	2,000～5,000 mg/kg (2,000～5,000 ppm)
Plus-50 オイル	275 時間
その他のオイル	150 時間
燃料の硫黄分	5,000～10,000 mg/kg (5,000～10,000 ppm)
Plus-50 オイル	187 時間 (John Deere 取扱店にお問い合わせください)
その他のオイル	125 時間 (John Deere 取扱店にお問い合わせください)
オイル分析により「その他のオイル」の整備間隔を最長まで延長できる場合があります。ただし、Plus-50 オイルの整備間隔を超えることはできません。	

Plus-50 は Deere & Company の商標です。
Torq-Gard は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00016FD -40-19DEZ13-1/1

エンジンオイルとフィルタの点検間隔 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

推奨されるオイルやフィルタの点検間隔は、オイルパン容量、使用されるエンジンオイルとフィルタの種類、ディーゼル燃料の硫黄含有量の組み合わせに基づきます。実際の整備間隔は運用やメンテナンスの慣行によって異なります。

オイル分析を使用してオイルの状態を確認し、適切なオイルやフィルタの整備間隔を選択する目安にしてください。エンジンオイル分析の詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

推奨される点検間隔より運転時間が短い場合でも、最低 12 か月に 1 回はオイルとオイルフィルタを交換してください。

ディーゼル燃料の硫黄含有量はエンジンオイルやフィルタの整備間隔に影響します。燃料の硫黄濃度が高いとオイルやフィルタの整備間隔が短くなります。

硫黄含有量が 15 mg/kg (15 ppm) 未満のディーゼル燃料を使用する必要があります。

重要：エンジンの損傷防止策：

- **B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料の使用時は、オイルとフィルタの点検間隔を 50% 短縮してください。オイル分析により、整備間隔を延長できる場合があります。**
- **認可されているオイルの種類のみを使用してください。**

認可されているオイルの種類

- John Deere Plus-50™ II
- 「その他のオイル」API CJ-4、ACEA E9、ACEA E6 に適合するオイルが含まれます。

エンジンオイルとフィルタの整備間隔	
John Deere Plus-50™ II	400 時間
その他のオイル	250 時間
オイル分析により「その他のオイル」の整備間隔を最長まで延長できる場合があります。ただし、Plus-50™ II オイルの整備間隔を超えることはできません。	

Plus-50 は Deere & Company の商標です。

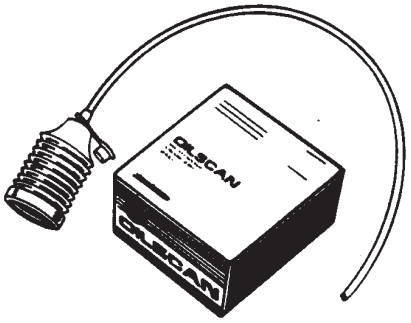
OUO6075,00016FE -40-11APR14-1/1

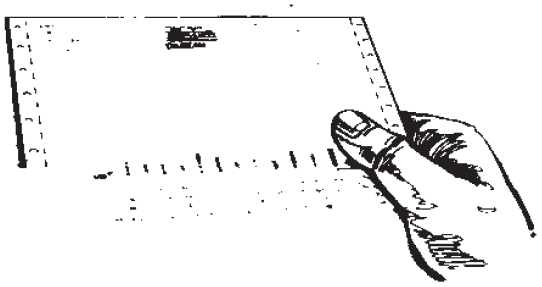
OILSCAN™ および COOLSCAN™

Oilscan™ および CoolScan™ は、機械性能を監視し、重大な損傷が起こる前に潜在的な問題を発見するのに役立つ John Deere サンプリングプログラムです。

オイルとクーラントのサンプルは、推奨される交換間隔より前に各システムから採取する必要があります。

Oilscan™ および CoolScan™ キットの入手については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。





Oilscan は Deere & Company の商標です。
CoolScan は Deere & Company の商標です。

DX,OILSCAN -40-28NOV12-1/1

ProDrive™ トランスミッション、CommandTouch™ マルチスピードフィーダーハウスドライブ、油圧駆動システム、メイン油圧システム、メインエンジンギアケースオイル

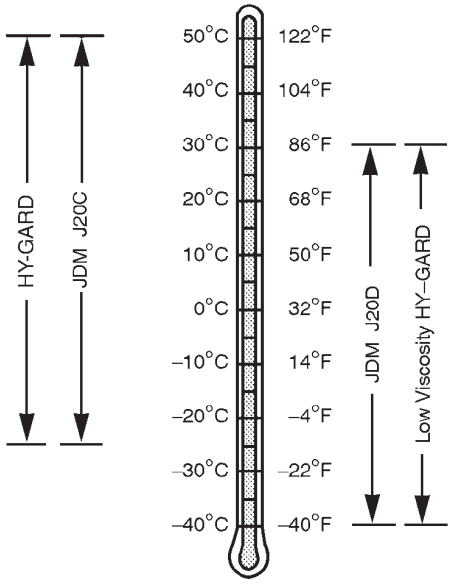
注記：機械は工場で John Deere Hy-Gard™ が充填されています。

以下のオイルのみが承認されています。

- John Deere Hy-Gard™
- John Deere Standard JDM J20C に適合しているオイル

注記：極端に低い温度で使用する場合は、以下のみを代替として使用できます。

- Low Viscosity Hy-Gard™
- John Deere Standard JDM J20D に適合しているオイル



Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00013F2 -40-28FEB13-1/1

トランスミッション (機械式シフトおよび押しボタンシフト) 、ファイナルドライブ、ローディングオーガ、プライマリカウンタシャフトおよび 2 スピードセパレータドライブギアケース

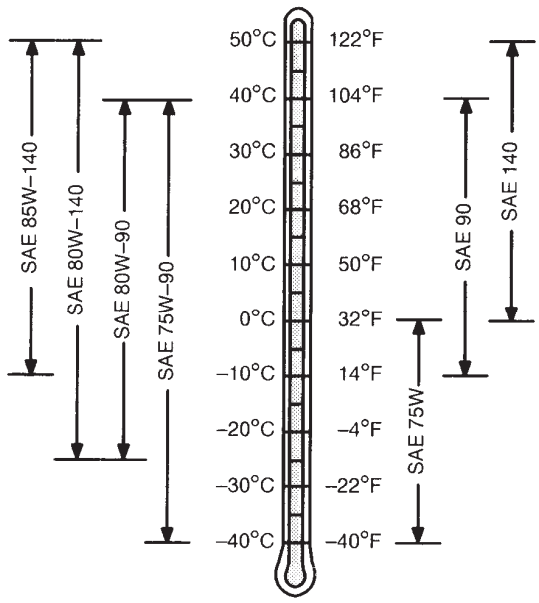
オイル交換の間に予想される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

以下のオイルを推奨します。

- John Deere GL-5 ギアオイル
- John Deere EXTREME-GARD™

他のオイルを使用する場合は、API サービス分類 GL-5 に適合する製品をお選びください。

製品番号	説明	サイズ
TY6252	80W/90 GL5 ギアオイル	16 kg pail (35 lb pail)
TY6296	80W/90 GL5 ギアオイル	0.9 L 缶 (1 qt 缶)
TY6256	85W/140 GL5 ギアオイル	16 kg pail (35 lb pail)
TY6345	85W/140 GL5 ギアオイル	0.9 L 缶 (1 qt 缶)



EXTREME-GARD は Deere & Company の商標です。

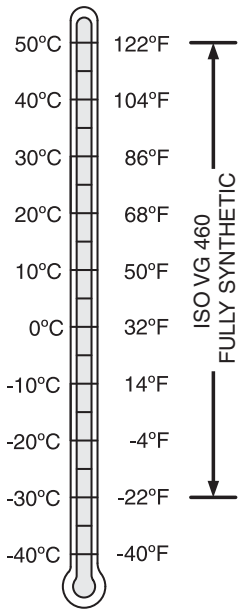
OUO6075,00010AC -40-05MAR12-1/1

フィーダーハウスリバーサギアケース

以下のオイルのみが承認されています。

- ISO VG 460 完全化学合成油

製品番号	説明	サイズ
TY26408	ISO VG 460 完全化学合成油	0.95 L (1 qt)



OUO6075,0000B2A -40-09AUG07-1/1

グリース

NLGI グリースちょう度番号、および点検間隔中に予想される気温範囲に基づいたグリースを使用してください。

以下のグリースを推奨します。

- John Deere SD POLYUREA GREASE (TY6341)

以下の条件に適合する他のグリースも使用できます。

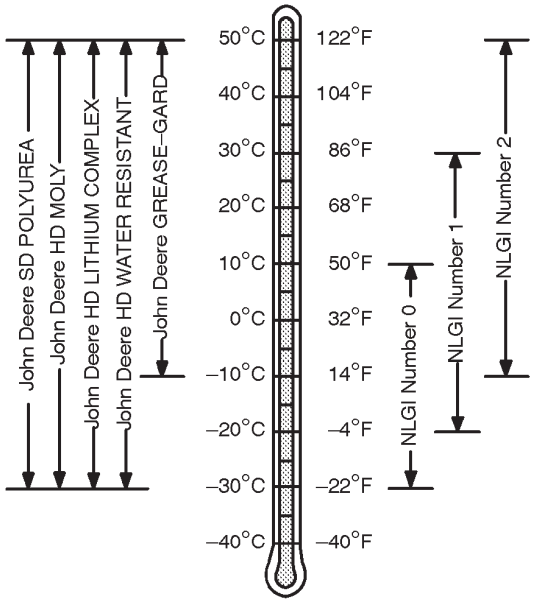
- NLGI 性能分類 GC-LB

重要：フィーダーハウスのトルクセンシングカムには、John Deere SD POLYUREA GREASE (TY6341) が必要です。

一部の種類の増粘されているグリースは他の種類と互換性がありません。

グリース継手がなくなっている場合は、すぐに代わりを付けます。グリースガンを使用する前に、継手をきれいにします。

製品番号	説明
TY6341	多目的、高温極圧グリースは、特に転がり接触用途で効果があります。



HX,AG,SF7350 -40-26OCT99-1/1

ブレーキフルード (装備されている場合)

重要：リザーバーキャップを取り外すときは、異物がリザーバーに入らないように注意してください。

フルードは上部から 6 mm (1/4 in) の位置にある必要があります。

SAE J1703d、DOT-3、または DOT-4 油圧ブレーキフルードを充填してください。

OUO6075,0000AE9 -40-10DEZ10-1/1

オイルフィルタ

オイルの濾過は適切な作動と潤滑にとってきわめて重要です。John Deere ブランドのオイルフィルタは John Deere 製品専用に設計および製造されています。

フィルタは、ろ材の品質、フィルタ効率等級、ろ材とエレメントエンドキャップ間の接合強度、容器の耐用年数 (該当する場合) 、およびフィルタシールの圧力性能に関する製造仕様に従っています。John Deere ブランド以外のオイルフィルタは、これらの主要 John Deere 仕様に適合しない場合があります。

フィルタは必ず、このマニュアルに記述されているとおりに定期的に交換してください。

DX,FILT1 -40-11APR11-1/1

燃料フィルタ

燃料フィルタの重要性は現代の燃料システムできわめて高いものです。排出ガス規制の強化とより効率的なエンジンへの需要の高まりにより、燃料システムを高圧で作動させる必要があります。高い圧力は、許容範囲の非常に狭いフューエルインジェクション部品を使用してのみ実現できます。これらの厳密な製造許容範囲により、ごみや水分の含まれる量は大幅に減っています。

John Deere ブランドの燃料フィルタは John Deere エンジン専用に設計および製造されています。

エンジンをごみや水分から保護するには、必ずこのマニュアルに記載されているとおりにエンジンの燃料フィルタを交換してください。

DX,FILT2 -40-14APR11-1/1

代替潤滑剤と合成潤滑剤

特定地域の気候条件によっては、このマニュアルに記載されている潤滑剤とは別の潤滑剤が推奨される場合があります。

一部の John Deere 製クーラントや潤滑剤は現地で入手できない可能性があります。

情報や推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

このマニュアルに記載された性能要件に適合する場合は、合成潤滑剤を使用できます。

このマニュアルに記載された温度制限と整備間隔は、従来型潤滑剤と合成潤滑剤の両方に適用されます。

再精製された基油製品も、精製後の潤滑性能が要件に適合すれば使用できます。

DX,ALTER -40-11APR11-1/1

潤滑剤の保管

清浄な潤滑剤を使用した場合のみ、装置は最も効率的に作動します。

すべての潤滑剤の取り扱いには清潔な容器を使用してください。

粉塵、湿気、その他の汚染から保護された場所に潤滑剤と容器を保管してください。水分や埃がたまらないように容器は横向きに保管してください。

すべての容器に適切にマークを付けて、中身を識別できるようにしてください。

すべての古い容器およびその中に残留している潤滑剤は適切に処分してください。

DX,LUBST -40-11APR11-1/1

潤滑剤の混合

通常、異なるブランドまたは種類のオイルを混合しないでください。オイルメーカーは、一定の基準値や性能要件に適合するように添加剤を配合しています。

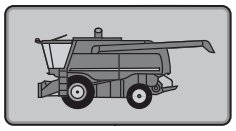
異なるオイルを混ぜると、これらの添加剤が適切に機能しなくなり、潤滑性能が低下することがあります。

仕様情報や推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,LUBMIX -40-18MAR96-1/1

点検間隔：消去または遅延

「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ) ／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)



「Performance Monitor Application
(パフォーマンスモニタアプリケーション)」アイコン

警戒：機械、ヘッダー、またはエンジンの運転中は、けがを防止するため、絶対に機械の潤滑または整備を行わないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

重要：点検時期は平均的な運転条件でのものです。次のような極端な条件で機械を使用している場合は、より頻繁に整備してください。

注記：最初の 100 運転時間の点検間隔については、「慣らし運転整備」セクションを参照してください。

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

「Performance Monitor Application (パフォーマンスモニタアプリケーション)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00005F1 -40-27JUN12-1/3

「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン (A) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

「整備アラーム間隔」(B) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

非タッチスクリーンまたはタッチスクリーン：必要な点検間隔が表示されるまで選択ダイヤルを回します。「Confirm (確定)」スイッチを押して値を保存します。

タッチスクリーンのみ：数値ディスプレイ上で必要な点検間隔を入力します。「Enter/Accept (入力／承諾)」アイコンに触れて値を保存します。

注記：整備画面を使用して機械の整備が必要な時期の参考にします。

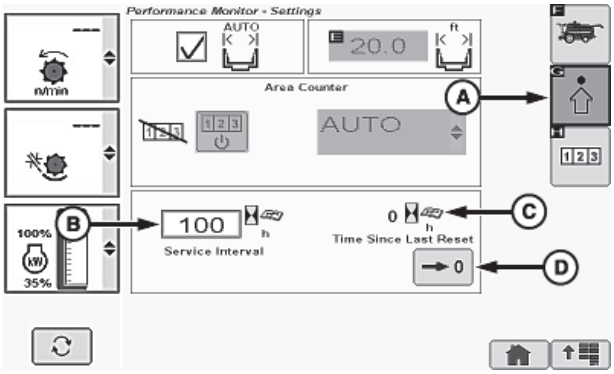
整備画面はエンジンの 50 時間の運転ごとに表示され、機械を整備する必要があることが表示されます。

整備画面が表示されたら、以下の 2 つの選択肢から選択できます。

- オペレータはこの時点で機械の整備を無視することができます。
- オペレータはこの時点で機械の整備を選択できます。

注記：オペレータが「Return/Back (戻る)」アイコンを選択してこの時点での整備を無視した場合、画面が表示されなくなります。次回、キースイッチを「RUN」位置に回すと、画面が表示されます。

前回のリセットからの時間 (C) が表示され、整備してから経過した時間数がオペレータに通知されます。

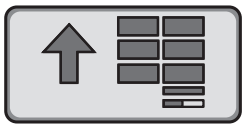


A：「Advanced Settings (詳細設定)」アイコン
B：「Service Alarm Interval (整備アラーム間隔)」
C：「Time Since Last Reset (前回のリセットしてからの時間)」
D：「Reset (リセット)」アイコン

整備を実施した後、「リセット」アイコン (D) を強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押して、ゼロにリセットします。

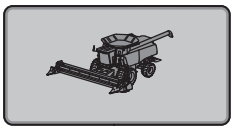
次のページへ

OUO6075,00005F1 -40-27JUN12-2/3



「Main Menu (メインメニュー)」アイコン (ディスプレイ) ／
「Main Menu (メインメニュー)」スイッチ (ひじかけ)

「Main Menu (メインメニュー)」アイコンまたはスイッチを押します。

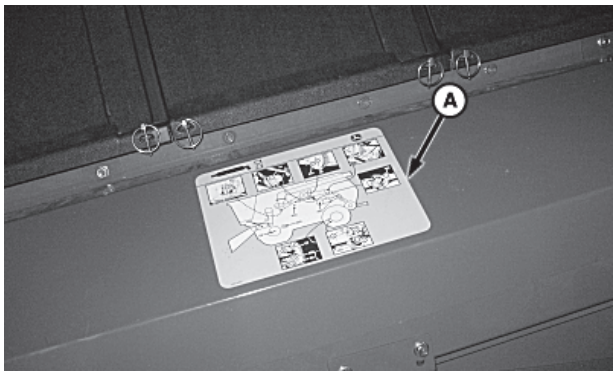


「Combine Main Application (コンバインメインアプリケーション)」アイコン

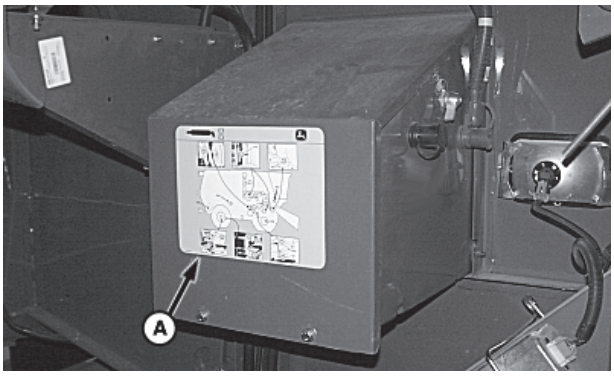
「Combine Main (コンバインメイン)」アイコンを強調表示したら、「Confirm (確定)」スイッチに触れるか押します。

OUO6075,00005F1 -40-27JUN12-3/3

潤滑ステッカーの位置



左側潤滑ステッカー



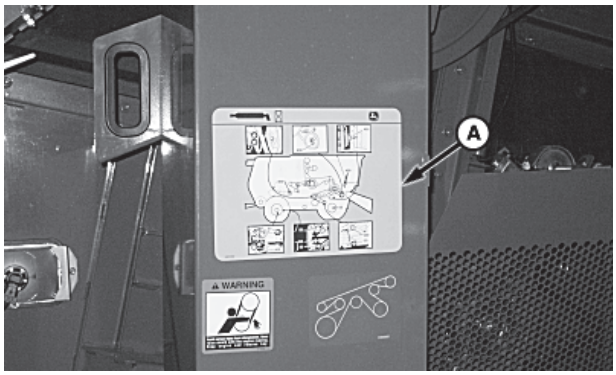
右側潤滑ステッカー (S660、S670)

重要：HillMaster 装備の機械：機械に挟まれてけがをしないように注意してください。整備、調整、または修理のために機械の下に入る前に、必ず機械の水平調整システムを完全に下げてください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

潤滑ステッカー (A) には、機械のグリースポイントのさまざまな場所が示されています。ステッカーに示されている潤滑時期に従ってください。詳細については、このセクションに示している時間間隔を参照してください。

ベアリングの故障や過熱は、火災につながる可能性があります。ベアリングの故障や過熱を減らすために、詳細についてこのセクションに示している時間間隔に従ってください。

作物材料やその他のごみがベアリングやベアリングカバーに溜まる可能性があります。収穫作業日を通じてこれらの部分を点検および清掃してください。



右側潤滑ステッカー (S680、S685、S690)

A：潤滑ステッカー

OUO6075,0001258 -40-09OCT12-1/1

油圧ホースの交換

油圧ホースを頻繁に点検し、漏れ、よじれ、切れ、亀裂、摩耗、腐食、ワイヤブレードの露出、または他の摩耗または損傷の兆候がないか確認してください。摩耗または損傷しているホースアセンブリは途中で使用できなくなる可能性があるので、すぐに交換してください。交換ホースについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

警戒：適正等級以外のホースを使用すると、機械の損傷や死傷事故が発生することがあります。

ホースを製作する場合は、交換する元のホースと同じ等級であることを確認してください。正しいホース定格の交換品については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

不適切なホース長や取り回しにより、ホースの摩耗または損傷が起こりやすくなります。これまでのホース長および取り回しを目安にしてください。

不適切な継手は対応部品の損傷や漏れの原因になります。ホースメーカーが使用を認められているスチール製継手を使用してください。交換ホースに合ったサイズとねじ山の種類のものを使用してください。

OUO6075,00000B9 -40-04JUN08-1/1

油圧システムの清浄度

警戒：圧力のかかった液体が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをするおそれがあります。油圧パイプや他のパイプを外す前に圧力を解放し、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このようなけがに詳しくない医師は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois)、または他の専門医療機関にお問い合わせください。

清浄度

整備のために油圧システムを外す必要がある場合は、糸くずの出ないウエスまたは透明なポリ袋を使用してホースの端部、チューブ、部品のポートを汚損から保護してください。

交換用ホースを取り付ける前に、未使用のディーゼル燃料または未使用の市販のガソリンクリーニング溶剤で 10 分以上内側をフラッシングします。水、水溶性クリーナまたは圧縮空気は使用しないでください。

マルチカプラーからカバーを取り外して、ヘッダーのドッキングステーションに接続します。ヘッダーに連結するときは、マルチカプラーの面を清掃して泥やごみを除去します。

OUO6075,0000A7B -40-04NOV10-1/1

アキュムレータ圧力

注記：温度差によってアキュムレータ圧力は大きく変わり、調整が必要になります。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00017A8 -40-27MAR14-1/1

潤滑記号

警戒：機械のエンジンを運転中は、絶対にコーンヘッドを潤滑または整備しないでください。

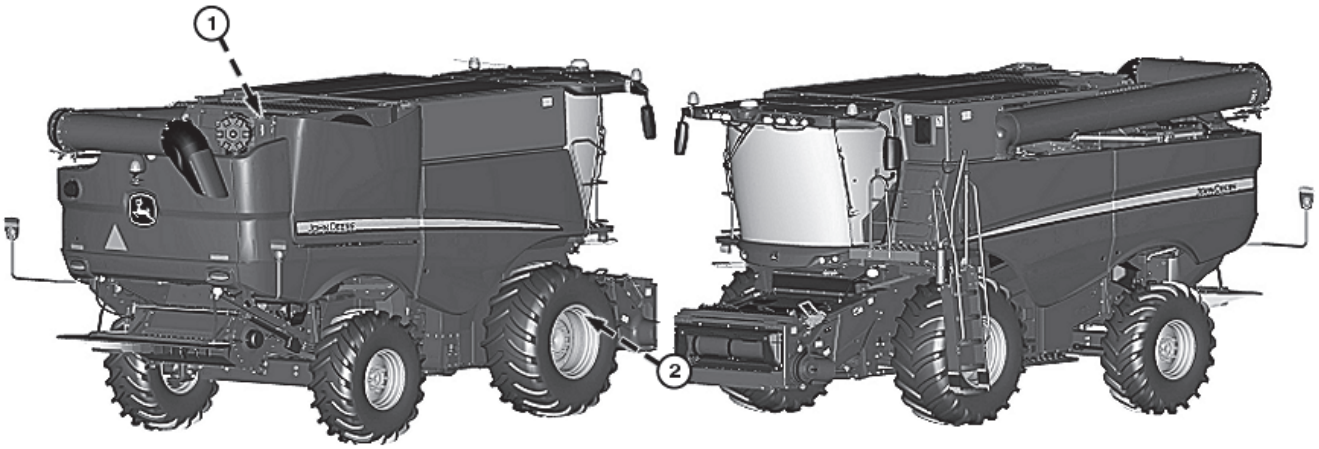
John Deere Multipurpose SD Polyurea Grease 高温／極圧潤滑剤または同等の SAE 多目的高温極圧 (EP) グリース性能を有するもので記号に示された時間に潤滑してください。

記号に示されている時間間隔で John Deere SAE 30 オイルまたは重質のオイルを使用して潤滑します。

重要：推奨点検間隔は平均的な運転条件でのものです。機械を悪条件で運転する場合は、より頻繁に整備してください。

OUO6075,0000852 -40-14MAR07-1/1

10 時間ごと

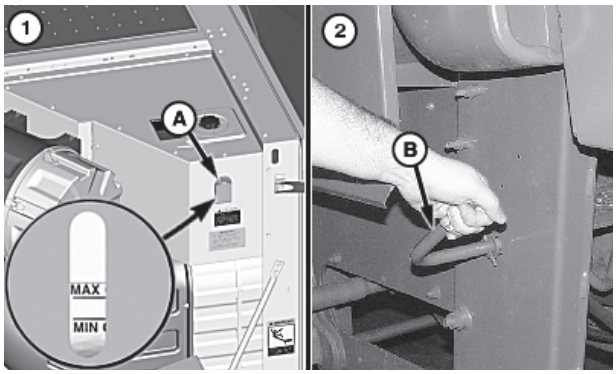


重要：点検時期は平均的な運転条件でのものです。次のような極端な条件で機械を使用している場合は、より頻繁に整備してください。

1. サージタンク：エンジンが冷めているときにサージタンク (A) でエンジンクーラントレベルを点検します。レベルは「Max Cold」ラインに達している必要があります。

注記：クーラントレベルは「Max Cold」(冷間時最高) ラインと「Min Cold」(冷間時最低) ラインの間にある必要があります。クーラントが「Min Cold」ラインよりも下にある場合は、必要な量のクーラントを追加してください。

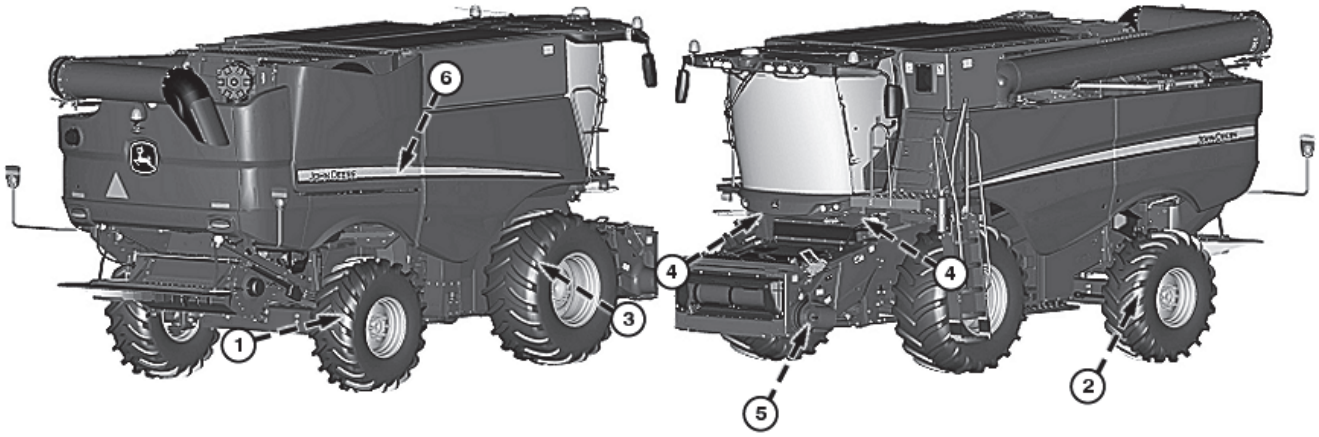
2. ストーントラップ：クイックロックピンを取り外し、レバー (B) を使用してストーントラップを外します。ストーントラップを閉めてクイックロックピンで固定します。

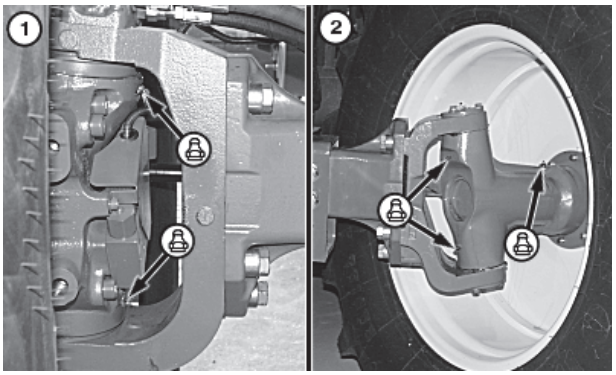


A：サージタンク　　**B：レバー**

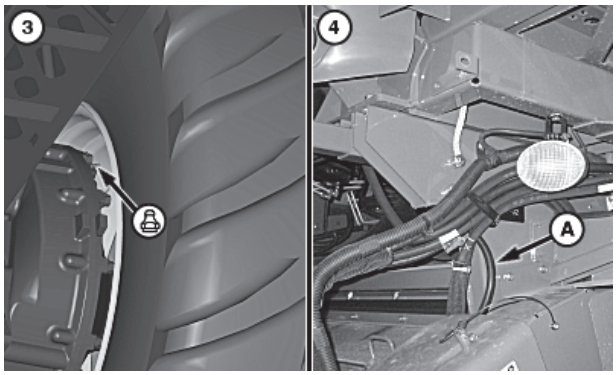
OUO6075,000132D -40-07MAR13-1/1

10 時間ごと





四輪駆動／二輪駆動

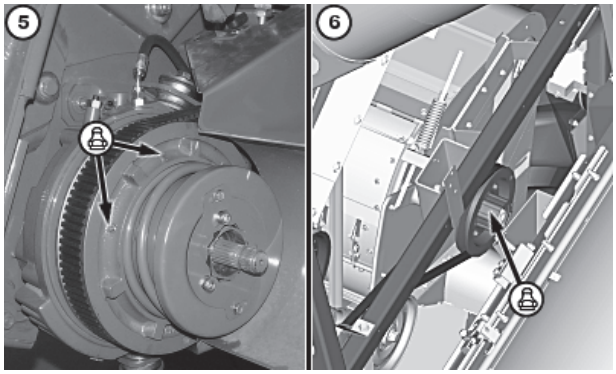


A：ドレンホース

注記：ぬかるみや水がある場所で運転するときは、リア車軸のスピンドルベアリングとモーターピボットに 10 時間ごとにグリースを注入してください。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

グリースがモーターピボットシールの上部と底部から出てくるまでグリースを注入します。

1. 2 速四輪駆動モーターピボット：2 つのフィッティング (両側) にグリースを注入します。
2. 二輪駆動ヘビーデューティおよびエクストラデューティ車軸スピンドルベアリング／ピボットピン：ぬかるみや水のある場所で運転するときは、10 時間ごとにフィッティング (両側) にグリースを注入します。通常の条件では、50 時間ごとにフィッティングにグリースを注入してください。



3. ファイナルドライブ外側ベアリング：ぬかるみや水のある場所で運転するときは、10 時間ごとにフィッティング (両側) にグリースを注入します。通常の条件では、50 時間ごとにフィッティングにグリースを注入してください。
4. エアコンドレンホース：キャビンの両側のエアコンドレンホース (A) を清掃します。

次のページへ

注記：フィーダーハウスリバーサ駆動ギアケースにグリースを注入するときは、John Deere TY6341 Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere TY25744 Synthetic Grease を使用します。

5. **S660、S670 機械：**フィーダーハウスリバーサドライブギアケース (バリアブルスピードフィーダーハウス)：フィッティングが 12 時と 2 時の位置になるまでシーブを回します。

   過酷な条件で運転または高収量トウモロコシを収穫している場合は、グリースを 10 時間ごとに 12 時の位置のフィッティングに 5〜8 回ポンピングして注入します。余分なグリースは下スプリングから排出されます。

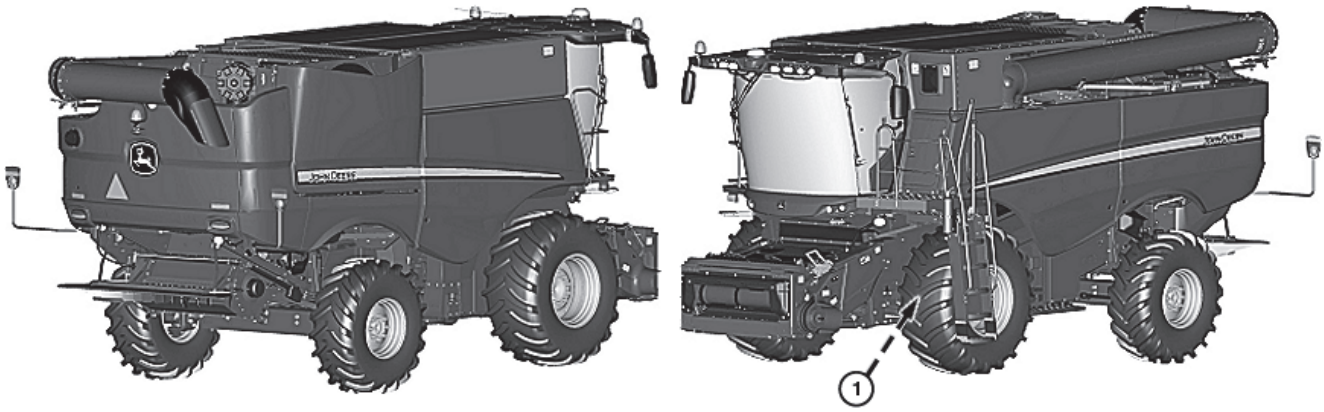
   グリースを 10 時間ごとに 2 時の位置のフィッティングに 2〜3 回ポンピングして注入します。このフィッティングに余分にグリースを注入すると、グリースがベルトの上に排出され、ベルト故障の原因になります。

   通常の条件で運転するときは、グリースを 50 時間ごとに 12 時のフィッティング (10〜15 回) と 2 時のフィッティング (5〜8 回) に注入します。グリースを注入した後、速度レンジを変えて可変プーリーに数回入れ直して、グリースをカム表面に均一に行き渡らせます。

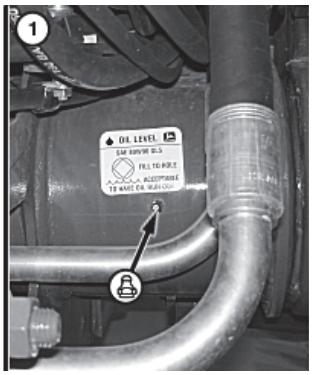
6. **S680、S685、S690 機械：**2 番物エレベータースリップクラッチ：2 番物エレベータースリップクラッチのグリースフィッティング

OUO6075,00017E4 -40-06MAY14-2/2

10 時間 (HillMaster™ 装備の機械)

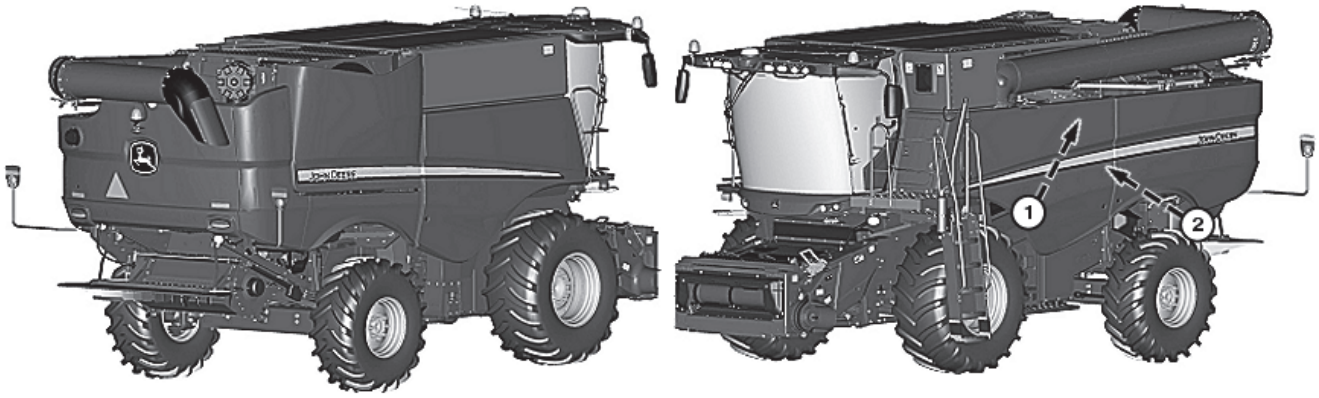


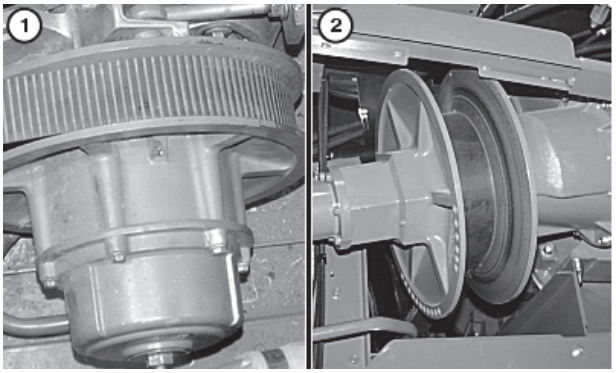
1. ファイナルドライブピボット：グリースが出てくるまでフィッティング (両側) にグリースを注入します。



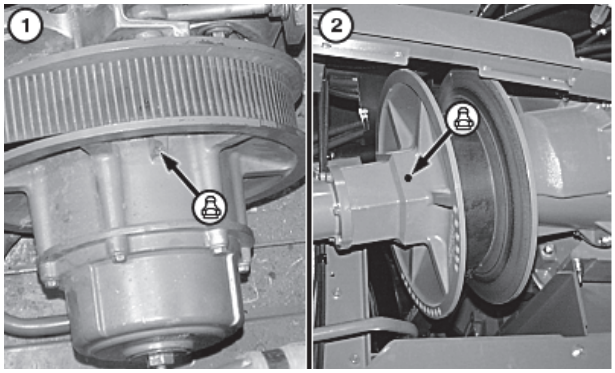
OUO6075,00013F7 -40-01MAR13-1/1

50 時間ごと





S660



S670、S680、S685、S690

S660 機械：

注記：機械を始動し、フル速度レンジでセパレータを数回入れ直し、グリースを均一に行き渡らせます。

1. セパレータバリアブルスピード従動シーブ：高速で常時運転していた場合は、速度レンジを通してシーブを入れ直します。シーブを入れ直すことにより、シーブキャビティの内側に既にあるグリースがブッシングに補充されやすくなります。

2. セパレータバリアブルスピードドライバーシーブ：高速で常時運転していた場合は、速度レンジを通してシーブを入れ直します。シーブを入れ直すことにより、シーブキャビティの内側に既にあるグリースがブッシングに補充されやすくなります。

S670、S680、S685、S690 機械：

重要：セパレータバリアブルスピード従動／ドライバーシーブ：グリースをフィッティングに 20〜25 ショットポンピングします。グリースを注入しすぎないでください。

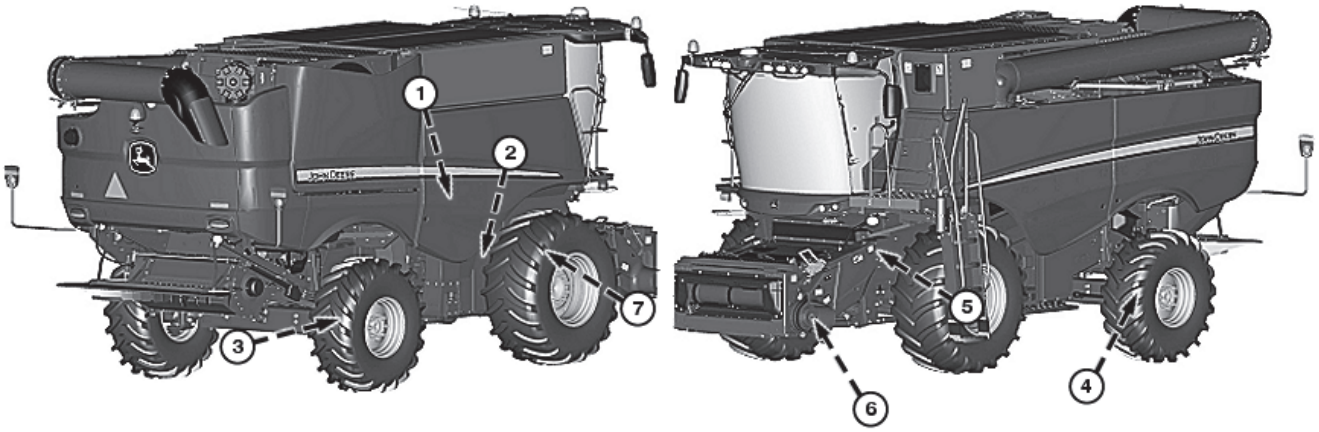
1. セパレータバリアブルスピード従動シーブ：シーブを回転させてフィッティングにアクセスします。

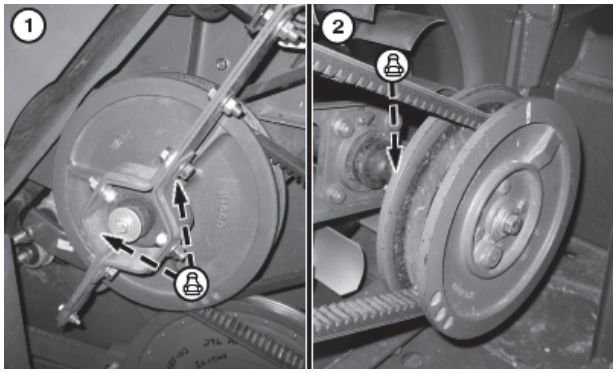
注記：機械を始動し、フル速度レンジでセパレータを数回入れ直し、グリースを均一に行き渡らせます。

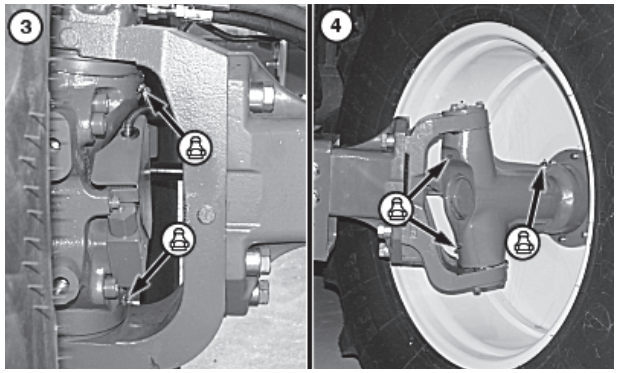
2. セパレータバリアブルスピードドライバーシーブ：グリースを外側シーブハブのフィッティングに注入する前に、シーブ (高速) を閉じます。シーブを回転させてフィッティングにアクセスします。常時高速で運転していた場合は、シリンダ速度を入れ直してグリースを行き渡らせます。

OUO6075,0001575 -40-20JUN13-1/1

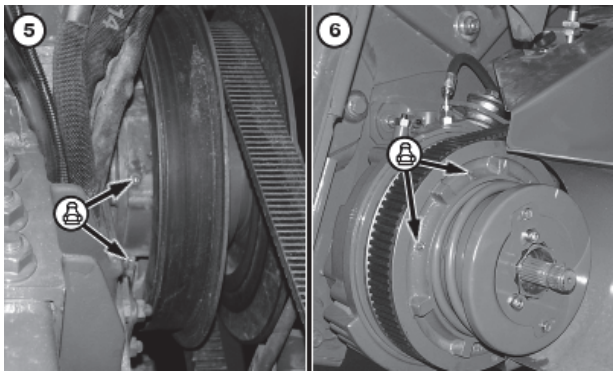
50 時間ごと







四輪駆動／二輪駆動



1. クリーニングファンバリアブル上部シーブ：グリースを外側シーブのハブの両方のフィッティングに注入します。フィッティングにアクセスできるようにシーブを回転させます。
2. クリーニングファンバリアブル下部シーブ：グリースを内側シーブにあるハブのフィッティングに注入します。フィッティングにアクセスできるようにシーブを回転させます。

次のページへ

注記：ぬかるみや水がある場所で運転するときは、リア車軸のスピンドルベアリングとモーターピボットに 10 時間ごとにグリースを注入してください。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

グリースがモーターピボットシールの上部と底部から出てくるまでグリースを注入します。

3. 2 速四輪駆動モーターピボット：2 つのフィッティング (両側) にグリースを注入します。

4. 二輪駆動ヘビーデューティおよびエクストラデューティ車軸スピンドルベアリング／ピボットピン：ぬかるみや水のある場所で運転するときは、10 時間ごとにフィッティング (両側) にグリースを注入します。通常の条件では、50 時間ごとにフィッティングにグリースを注入してください。

注記：フィッティングにアクセスできるようにシーブを回転させる必要がある場合があります。

5. **S660、S670 機械：**フィーダーハウス上部シーブ (バリアブルスピードフィーダーハウス)：フィーダーハウスを上げ、安全ストップを下ろして、フィーダーハウスの下側からフィッティングを潤滑します。

注記：フィーダーハウスリバーサ駆動ギアケースにグリースを注入するときは、John Deere TY6341 Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere TY25744 Synthetic Grease を使用します。

6. **S660、S670 機械：**フィーダーハウスリバーサドライブギアケース (バリアブルスピードフィーダーハウス)：フィッティングが 12 時と 2 時の位置になるまでシーブを回します。

過酷な条件で運転または高収量トウモロコシを収穫している場合は、グリースを 10 時間ごとに 12 時の位置のフィッティングに 5～8 回ポンピングして注入します。余分なグリースは下スプリングから排出されます。

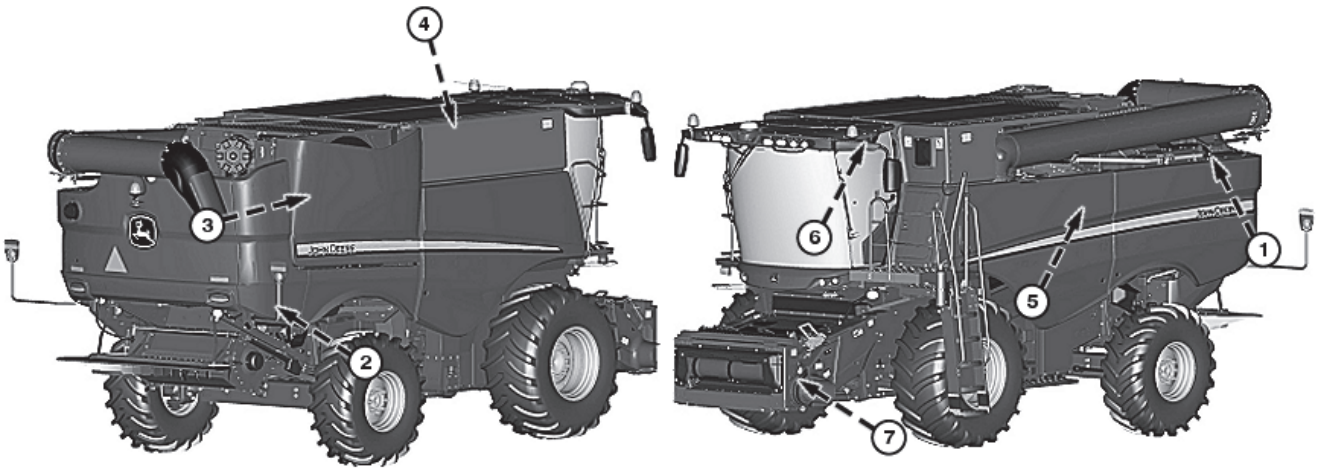
グリースを 10 時間ごとに 2 時の位置のフィッティングに 2～3 回ポンピングして注入します。このフィッティングに余分にグリースを注入すると、グリースがベルトの上に排出され、ベルト故障の原因になります。

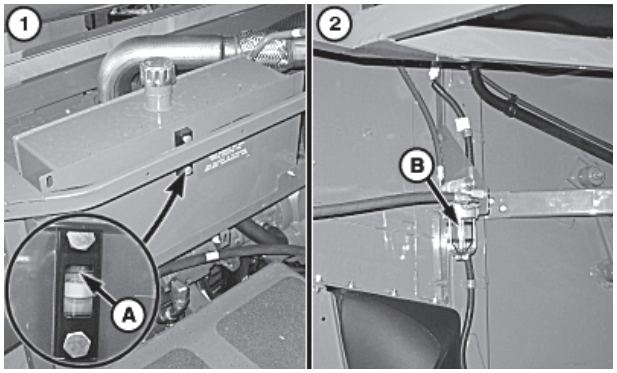
通常の条件で運転するときは、グリースを 50 時間ごとに 12 時のフィッティング (10～15 回) と 2 時のフィッティング (5～8 回) に注入します。グリースを注入した後、速度レンジを通してバリアブルシーブを数回入れ直して、グリースをカム表面に均一に行き渡らせます。

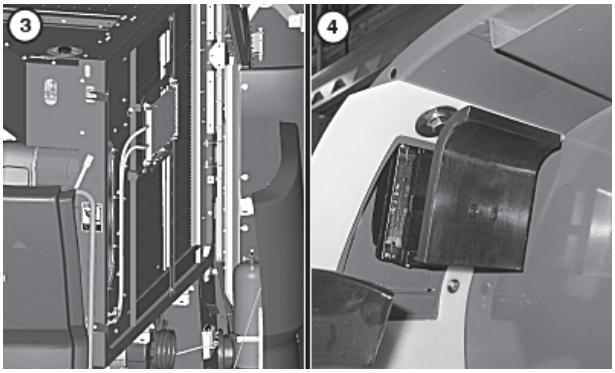
7. ファイナルドライブ外側ベアリング：ぬかるみや水のある場所で運転するときは、10 時間ごとにフィッティング (両側) にグリースを注入します。通常の条件では、50 時間ごとにフィッティングにグリースを注入してください。

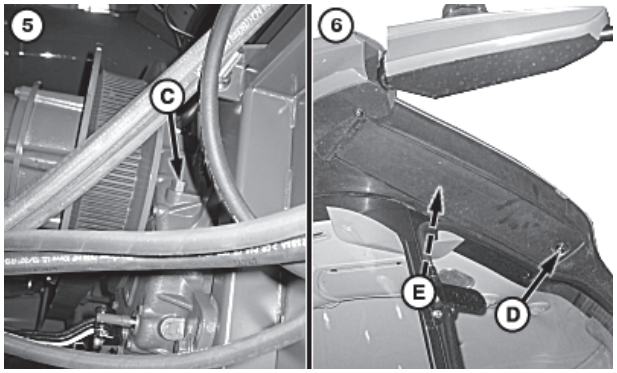
OUO6075,0001719 -40-13JAN14-2/2

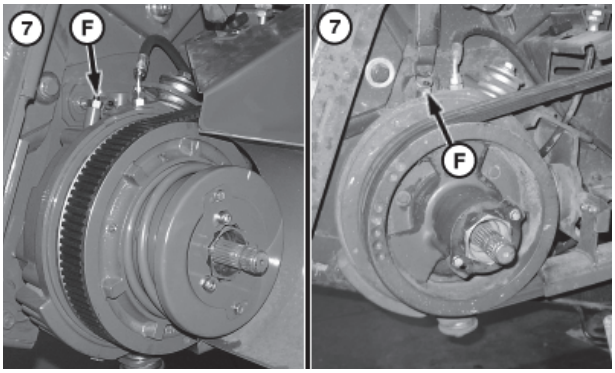
50 時間ごと











バリアブルスピード／マルチスピードリバーサギアケース

A：点検窓
B：燃料プレクリーナフィルタ
C：ディップスティック
D：ノブ
E：外気フィルタ
F：ディップスティック

1. ハイドロスタティックオイル／作動油：ヘッダーを地面に下ろして点検します。オイルレベルは、フィーダーハウスを完全に下げた状態で点検窓 (A) の最上部にある必要があります。必要に応じてオイルを追加します。

次のページへ

2. 燃料プレクリーナフィルタ：燃料プレクリーナフィルタ (B) を目視点検し、スクリーンに付着物が確認できる場合は清掃します。燃料タンクシャットオフバルブを閉じます。フィルタを取り外してスクリーンを清掃します。スクリーンとフィルタを取り付けて、燃料タンクシャットオフバルブを開いて充填します (「エンジンの整備」セクションの「燃料プレクリーナフィルタの清掃」を参照してください)。

3. ラジエータ、チャージャエアクーラー、オイルクーラー、コンデンサ：圧縮空気を内側から吹き付けてラジエータを清掃します。籾殻が溜まっていないか各部を点検し、必要に応じて清掃します。

注記：グレインタンクカバーを装備している機械では、底のサポートロッド金具を取り外してオーガを下げる必要があります。

4. 質量流量センサー：オーガを下げて質量流量センサープレートを清掃します。

5. 2 スピードセパレータドライブ：ディップスティック (C) を取り外してオイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加し、ディップスティックのオイルレベルを修正します。

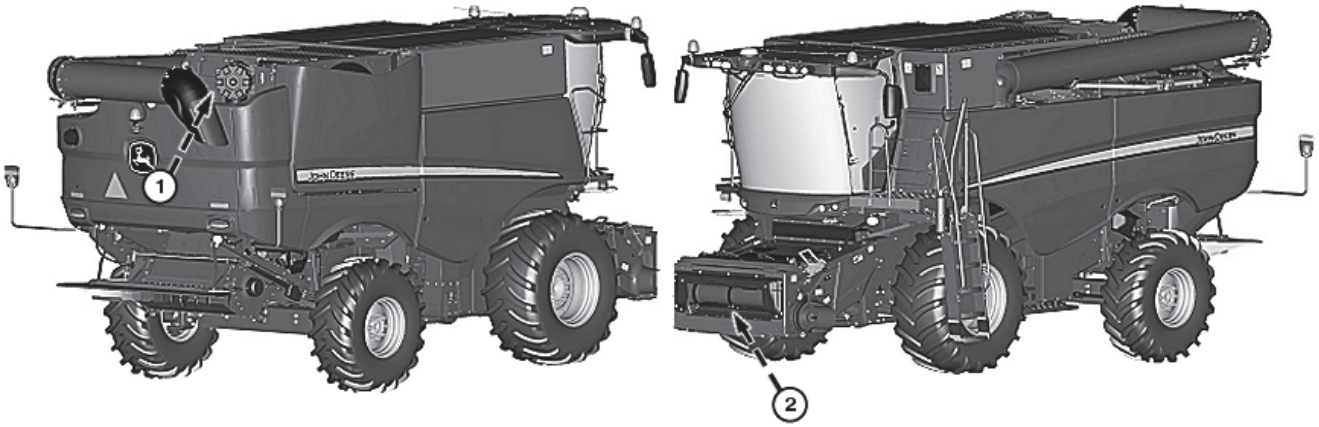
注記：非常にほこりの多い条件では、キャビン外気フィルタをすぐに清掃する必要がある場合があります。

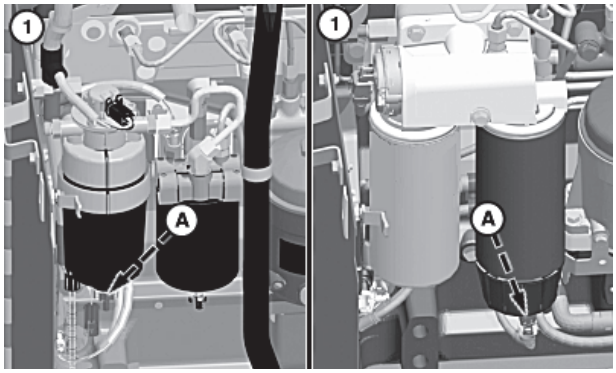
6. キャビン外気フィルタ：ノブ (D) を回してアクセスカバーを下げます。外気フィルタ (E) を取り外して清掃または交換します。

7. フィーダーハウスリバーサギアケース：フィーダーハウスを上げ、安全ストップを下げます。オイルクーラー付きのギアケースはギアケースを数分間運転する必要があります。これにより、クーラーがオイルで満たされます。オイルレベルはディップスティック (F) の刻み付きの部分にある必要があります。

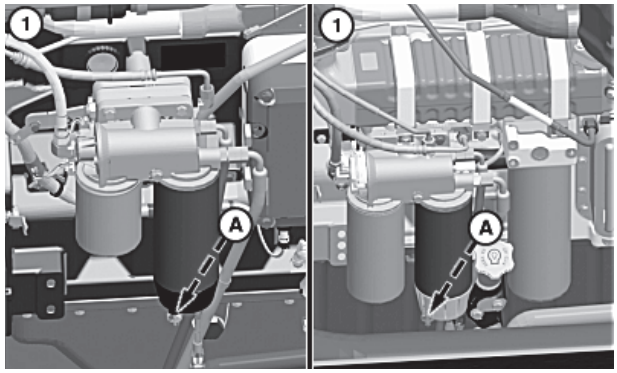
OUO6075,0001331 -40-07MAR13-2/2

50 時間ごと





S660、S670 (ティア 2／ステージ II) / (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

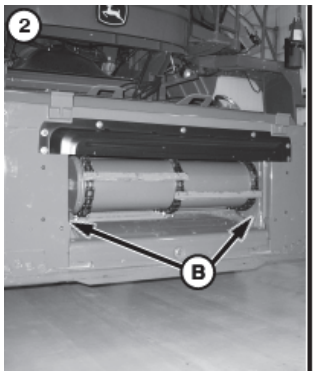


S680、S690 (ティア 2／ステージ II) / (インテリムティア 4／ステージ III B)

1. ウォーターセパレータ 1 次燃料フィルタ：セパレータボウルに水がないか点検します。ドレン (A) を開き、セパレータボウルから水を抜き取ります。

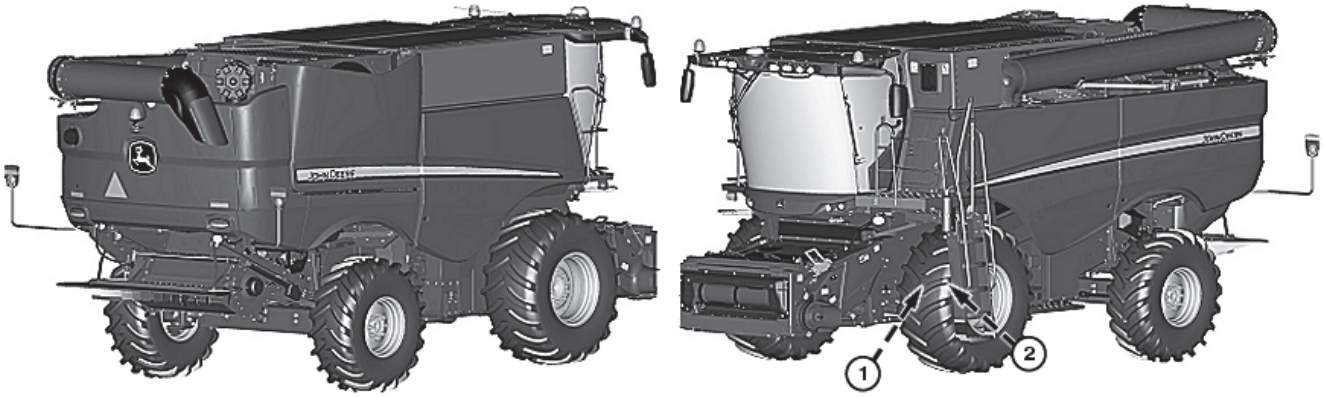
2. 横方向傾斜フィーダーハウス：ヘッダーの傾斜を妨げる可能性がある固まった材料がないか清掃エリア (B) を点検します。必要に応じて清掃します。

A：抜き取り
B：クリーンアウトエリア

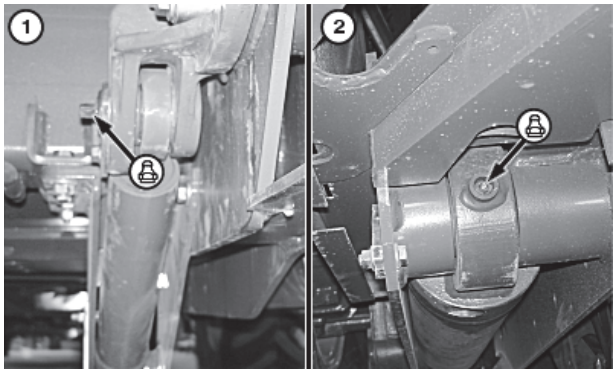


OUO6075,0001797 -40-10MAR14-1/1

50 時間 (Hillmaster™ 機械)

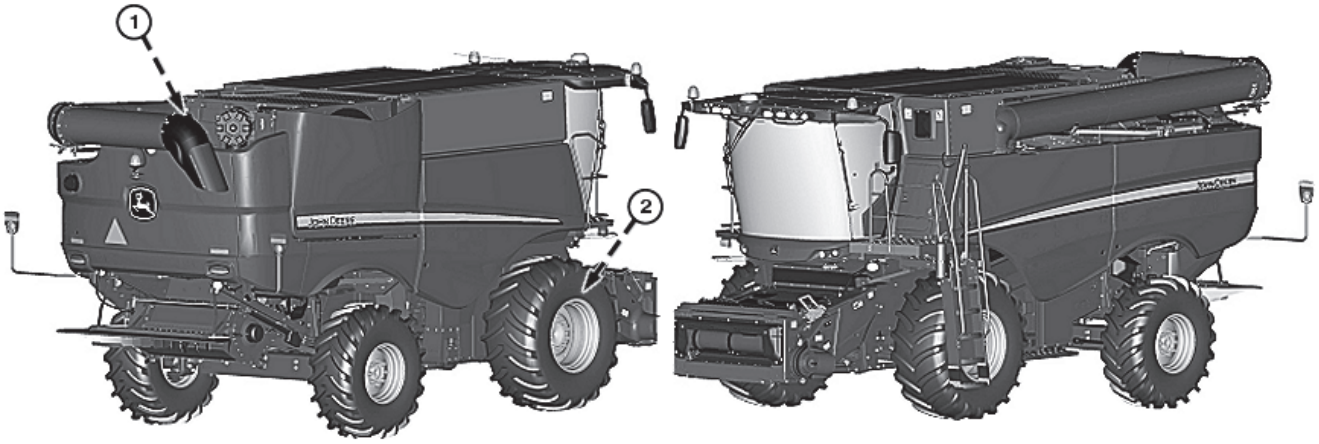


1. マスターシリンダピストンピン：グリースが出てくるまでフィッティング (両側) にグリースを注入します。
2. 水平調整シリンダバレル：グリースが出てくるまでフィッティング (両側) にグリースを注入します。



OUO6075,00013FB -40-01MAR13-1/1

最初の 100 時間 (S670、S680、S685、S690 ProDrive™ 装備の機械)

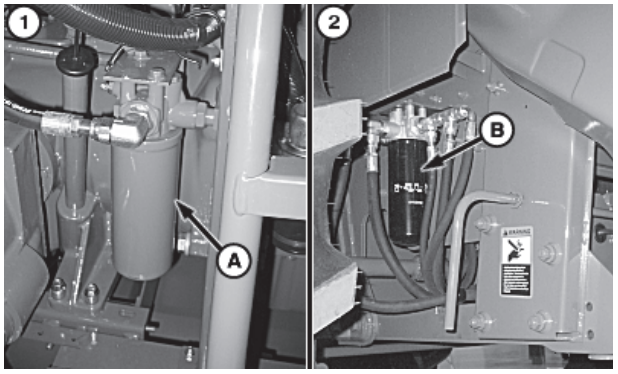


注記：フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

3. **S670 ProDrive™ 装備の機械：**メインエンジンギアケースフィルタ：フィルタ (A) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

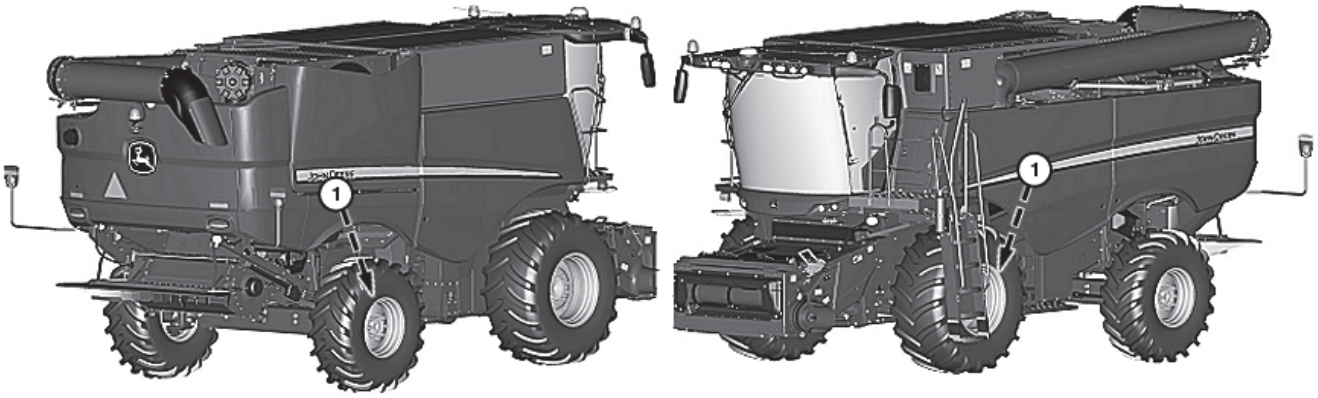
4. **ProDrive™ 装備の機械：**ProDrive™／メインエンジンギアケース潤滑油フィルタ：フィルタ (B) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

A：フィルタ
B：フィルタ



OUO6075,0001577 -40-20JUN13-1/1

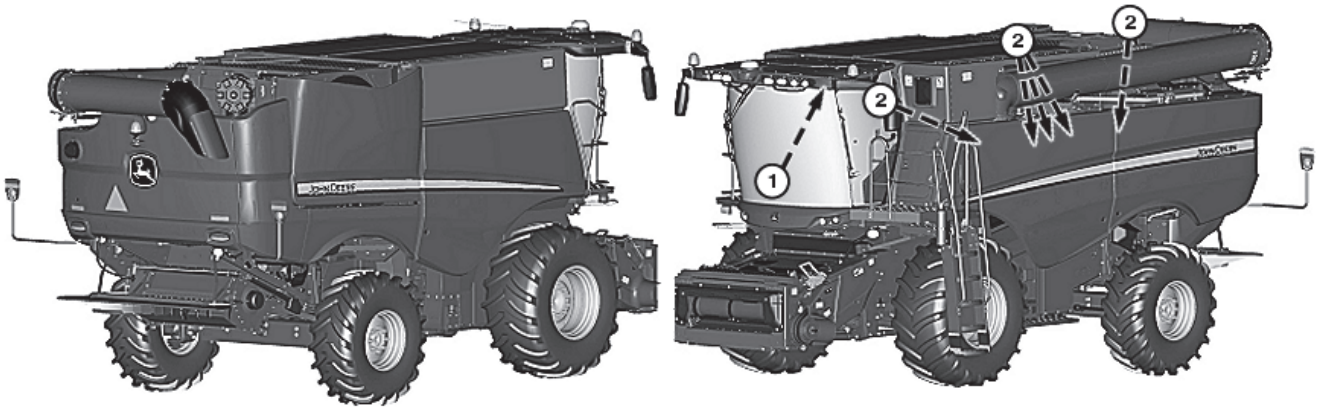
100 時間ごと

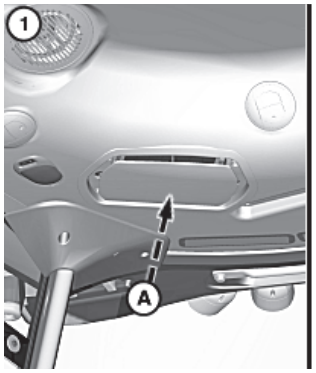


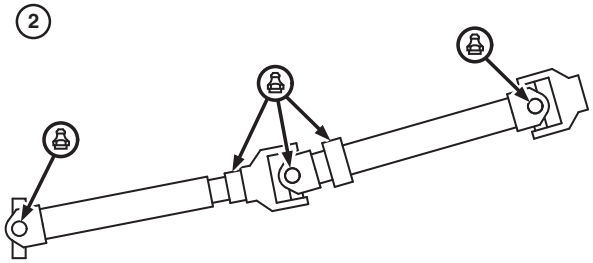
1. タイヤ空気圧とボルトのトルク：フロントおよびリアタイヤ空気圧とホイールボルトのトルクを点検します (「グラウンドドライブとリア車軸」セクションを参照してください)。

OUO6075,000150D -40-10JUN13-1/1

200 時間ごと







A：内気循環フィルタ

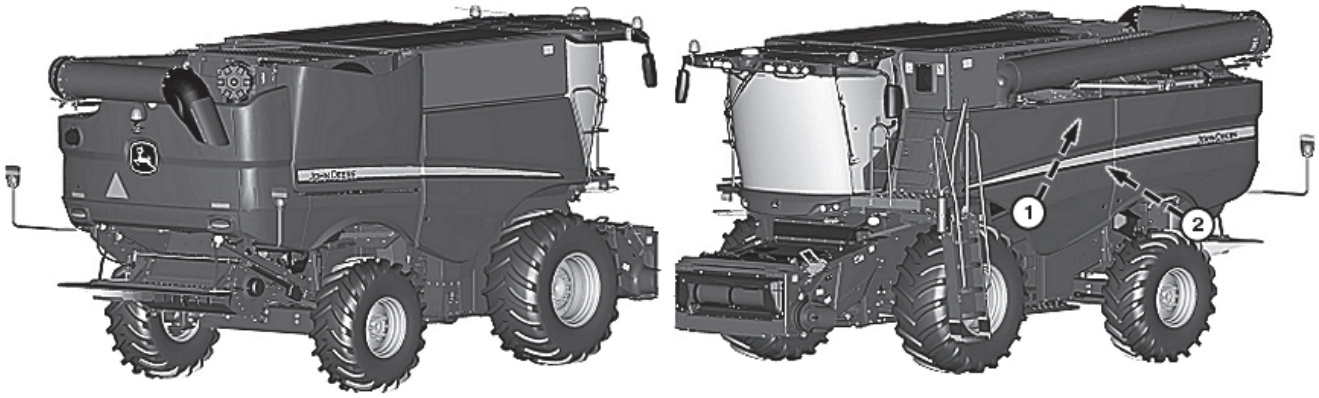
1. 内気循環フィルタ：カバーを取り外し、内気循環フィルタ (A) を清掃または交換します。

注記：マルチスピードフィーダーハウスドライブを装備していない機械には、グリースフィッティングが 1 つあります。

2. **S670、S680、S685、S690 機械：**プライマリカウンタシャフト (マルチスピードフィーダーハウス)：回転させて 5 つのフィッティングにアクセスし、グリースを注入します。

OUO6075,0001578 -40-20JUN13-1/1

200 時間ごと (S660)

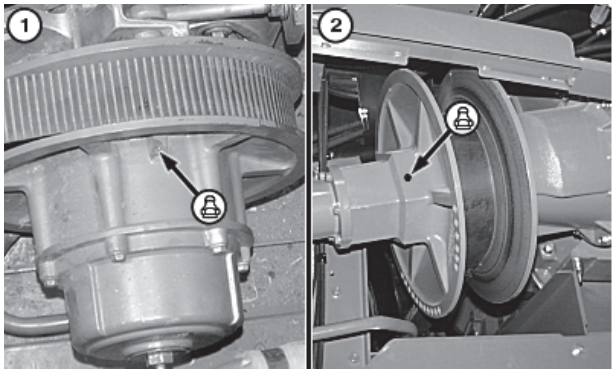


重要：セパレータバリアブルスピード従動／ドライバーシーブ：グリースをフィッティングに 20～25 ショットポンピングします。グリースを注入しすぎないでください。

1. セパレータバリアブルスピード従動シーブ：シーブを回転させてフィッティングにアクセスします。

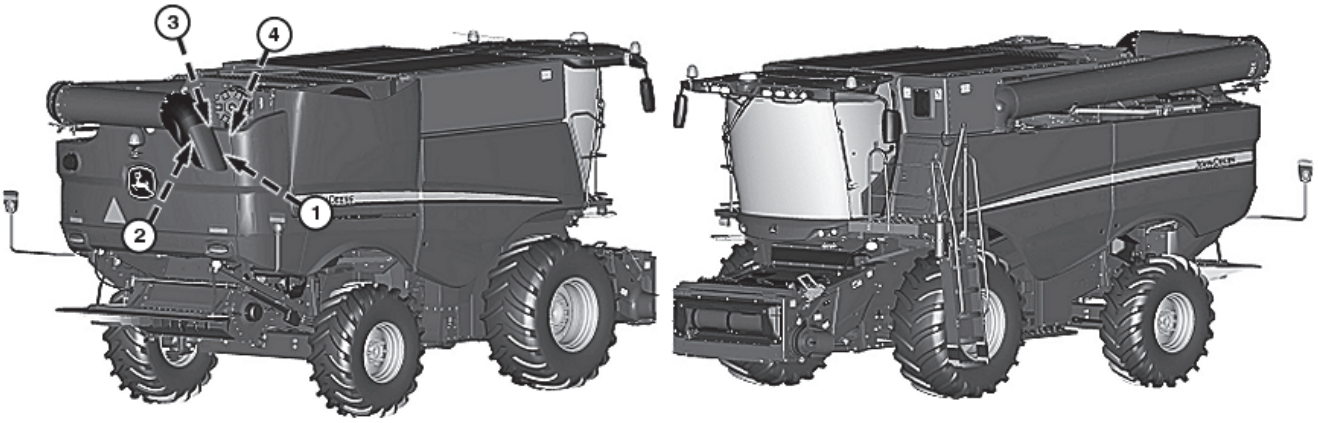
注記：機械を始動し、フル速度レンジでセパレータを数回入れ直し、グリースを均一に行き渡らせます。

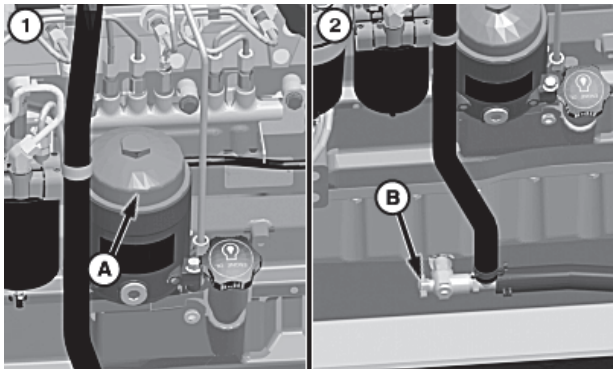
2. セパレータバリアブルスピードドライバーシーブ：グリースを外側シーブハブのフィッティングに注入する前に、シーブ (高速) を閉じます。シーブを回転させてフィッティングにアクセスします。常時高速で運転していた場合は、シリンダ速度を入れ直してグリースを行き渡らせます。



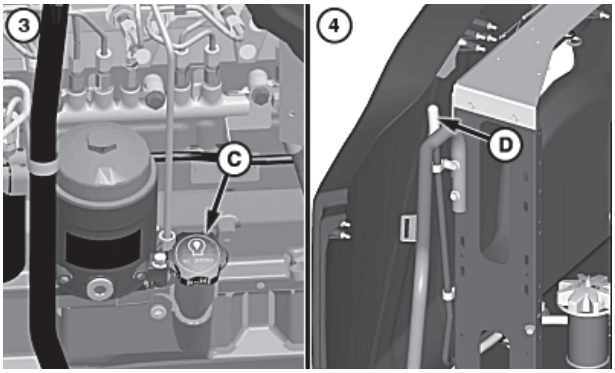
OUO6075,00013FC -40-01MAR13-1/1

250 時間ごと (ティア 2／ステージ II) (S660、S670)





A：キャップ　　B：抜き取り



C：ディップスティック　　D：燃料タンクブリーザー

重要：硫黄含量の高い燃料を使用した場合は、100 時間ごとにオイルを交換します。硫黄含量の詳細については、「燃料と潤滑油」セクションと「エンジンの整備」セクションを参照してください。

季節に適した粘度等級のオイルまたは Torq-Gard™ をクランクケースに充填します (250 時間点検間隔)。John Deere Plus-50™ または Plus-50™ II エンジンオイルおよび John Deere 製フィルタを使用している場合は、点検間隔を 50% 延長することができます。例：250 時間は 375 時間に延長されます。

1. エンジンクランクケーストップロードオイルフィルタ：キャップ (A) を取り外してフィルタを取り外します。フィルタを交換し、キャップを取り付けます。キャップを規定のトルクで締め付けます。

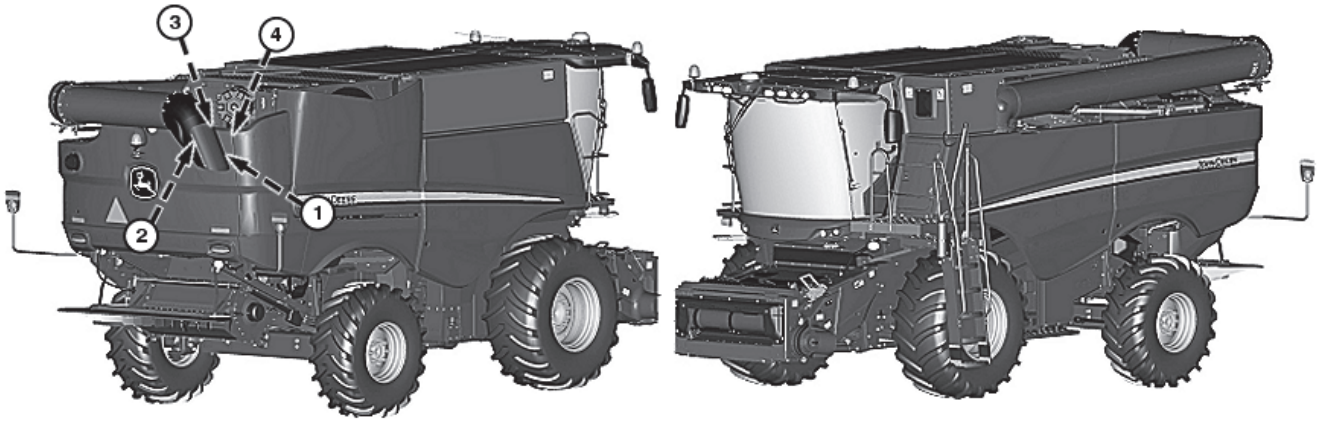
仕様

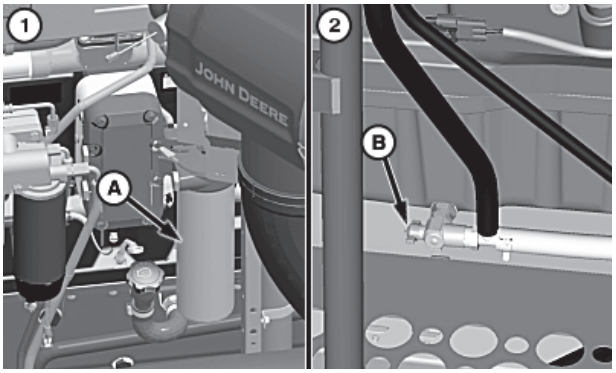
オイルフィルタキャップ トルク	40 N•m (30 lb-ft)

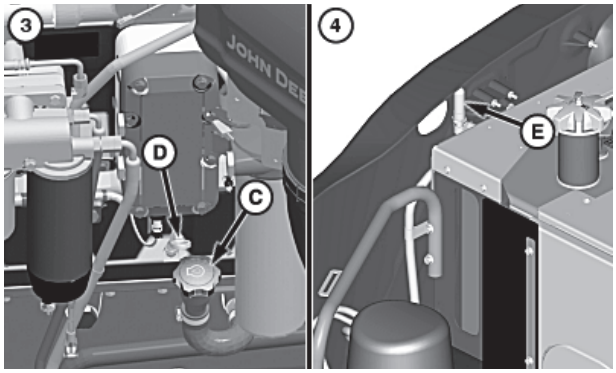
2. エンジンクランクケーストップロードオイル：ドレン (B) を開き、オイルを抜き取ります。
3. エンジンクランクケーストップロードオイル：ディップスティック (C) を取り外してオイルを充填し、オイルレベルを点検します。
4. 燃料タンクブリーザー：燃料タンクブリーザー (D) を目視点検します。ブリーザーにごみが溜まらないようにしてください。ホースから燃料タンクブリーザーを取り外して清掃します。

Torq-Gard は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

250 時間ごと (ティア 2／ステージ II) (S680、S690)







A：オイルフィルタ
B：抜き取り
C：キャップ
D：ディップスティック
E：燃料タンクブリーザー

重要：硫黄含量の高い燃料を使用した場合は、100 時間ごとにオイルを交換します。硫黄含量の詳細については、「燃料と潤滑油」セクションと「エンジンの整備」セクションを参照してください。

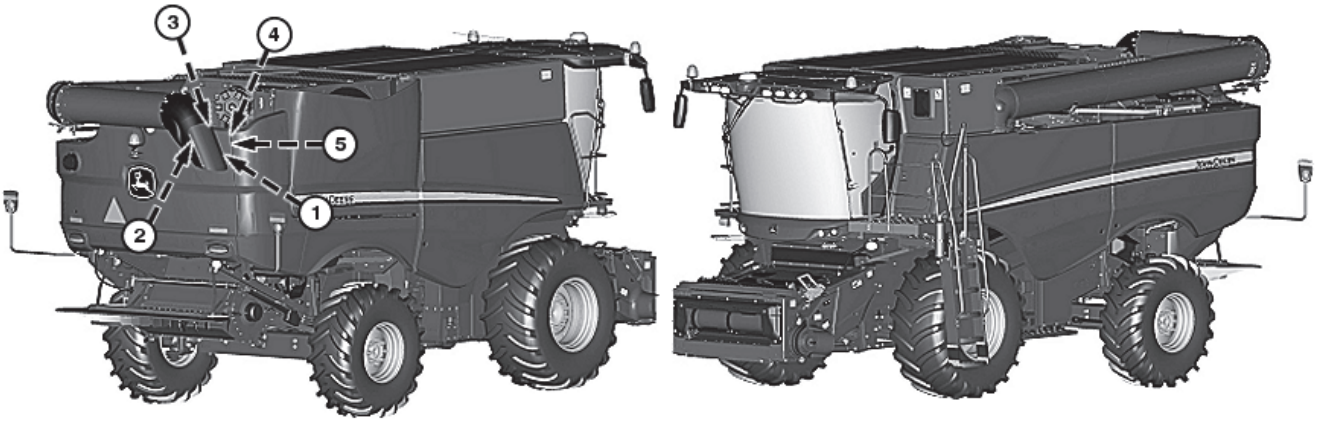
季節に適した粘度等級のオイルまたは Torq-Gard™ をクランクケースに充填します (250 時間点検間隔)。John Deere Plus-50™ または Plus-50™ II エンジンオイルおよび John Deere 製フィルタを使用している場合は、点検間隔を 50% 延長することができます。例：250 時間は 375 時間に延長されます。

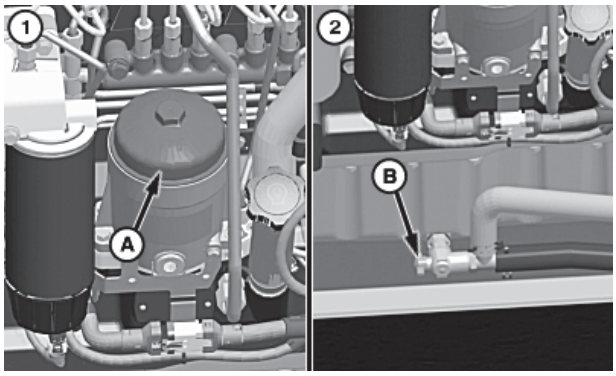
1. エンジンクランクケースオイルフィルタ：オイルフィルタ (A) を取り外して交換します。
2. エンジンクランクケースオイル：ドレン (B) を開き、オイルを抜き取ります。
3. エンジンクランクケースオイル：キャップ (C) を取り外してオイルを充填し、ディップスティック (D) でオイルレベルを点検します。
4. 燃料タンクブリーザー：燃料タンクブリーザー (E) を目視点検します。ブリーザーにごみが溜まらないようにしてください。ホースから燃料タンクブリーザーを取り外して清掃します。

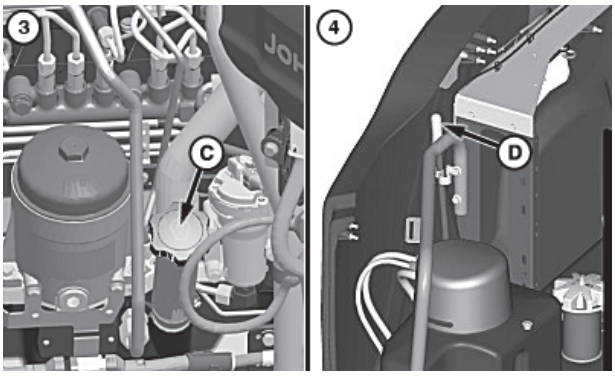
Torq-Gard は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0001579 -40-09JUL13-1/1

250 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670)







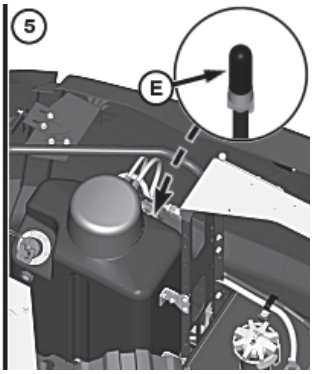
A：キャップ
B：抜き取り
C：ディップスティック
D：燃料タンクブリーザー
E：排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー

重要：「燃料と潤滑油」セクションで指定されているエンジンオイル以外のエンジンオイルを使用している場合は、250 時間ごとにオイルを交換してください。

John Deere Plus-50™ II エンジンオイルおよび John Deere 製フィルタを使用している場合は、400 時間ごとにオイルを交換してください。詳細については、「燃料と潤滑油」セクションを参照してください。

インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV エンジンは、Plus-50™ II エンジンオイルまたは API CJ-4、ACEA E9、ACEA E6 規格適合オイルが必要です。

最大硫黄含有量が 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。



1. エンジンクランクケーストップロードオイルフィルタ：キャップ (A) を取り外してフィルタを取り外します。フィルタを交換し、キャップを取り付けます。キャップを規定のトルクで締め付けます。

仕様

オイルフィルタキャップ トルク	40 N•m (30 lb-ft)

次のページへ

2. エンジンクランクケーストップロードオイル：ドレン (B) を開き、オイルを抜き取ります。

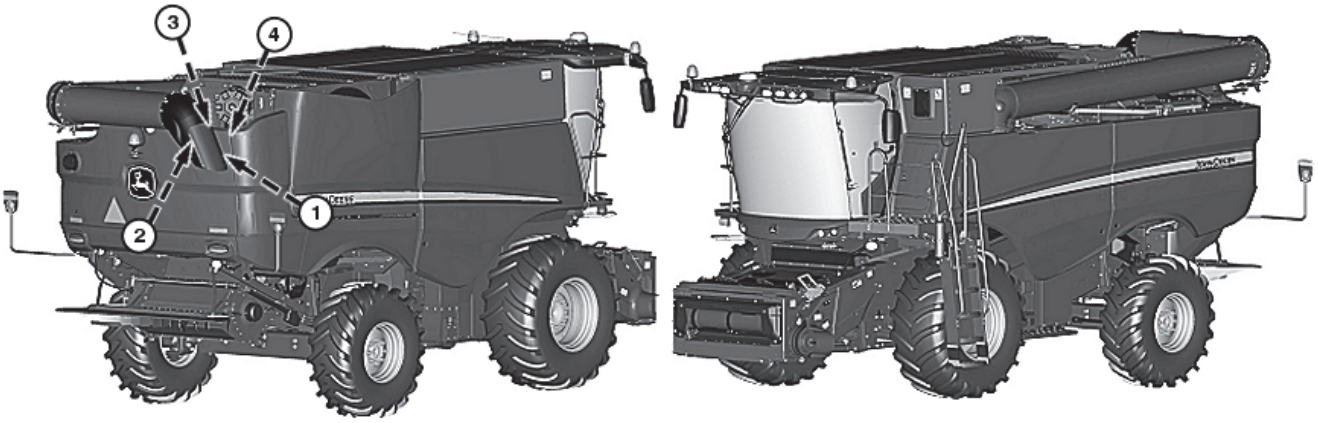
3. エンジンクランクケーストップロードオイル：ディップスティック (C) を取り外してオイルを充填し、オイルレベルを点検します。

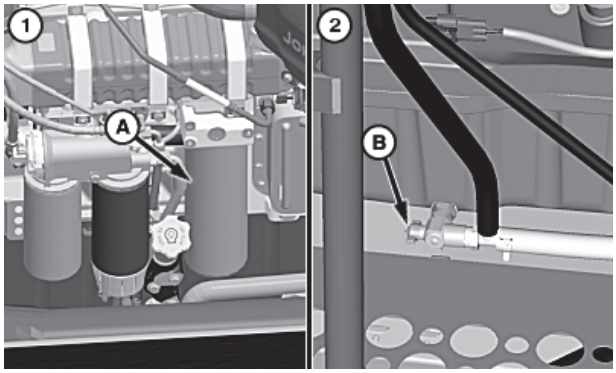
4. 燃料タンクブリーザー：燃料タンクブリーザー (D) を目視点検します。ブリーザーにごみが溜まらないようにしてください。ホースから燃料タンクブリーザーを取り外して清掃します。

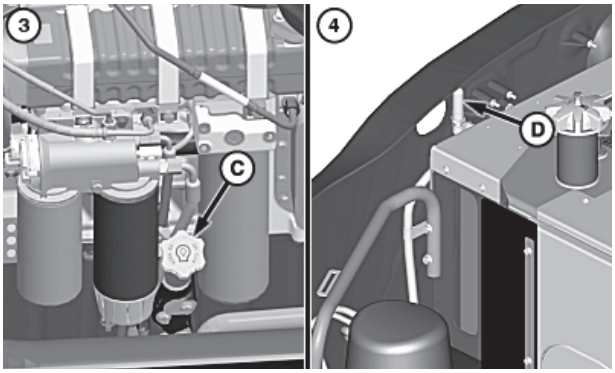
5. 排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー：排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (E) を目視点検します。ブリーザーにごみが溜まらないようにしてください。ホースからブリーザーを取り外して清掃します。

Plus-50 は Deere & Company の商標です。

250 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690)







A：オイルフィルタ
B：抜き取り
C：ディップスティック
D：燃料タンクブリーザー
E：排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー

重要：「燃料と潤滑油」セクションで指定されているエンジンオイル以外のエンジンオイルを使用している場合は、250 時間ごとにオイルを交換してください。

John Deere Plus-50™ II エンジンオイルおよび John Deere 製フィルタを使用している場合は、400 時間ごとにオイルを交換してください。詳細については、「燃料と潤滑油」セクションを参照してください。

インテリムティア 4／ステージ III B エンジンは、Plus-50™ II エンジンオイルまたは API CJ-4、ACEA E9、ACEA E6 規格適合エンジンが必要です。

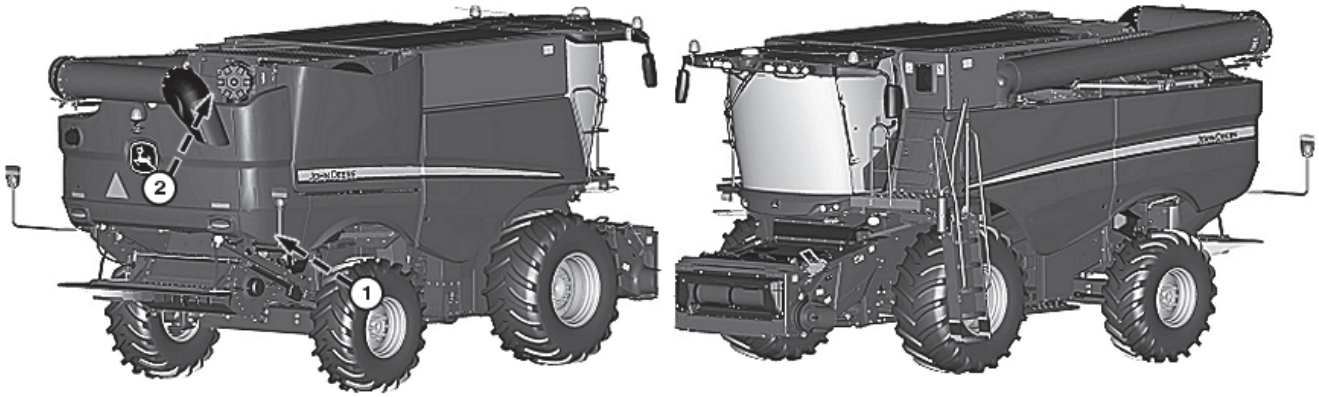
最大硫黄含有量が 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。

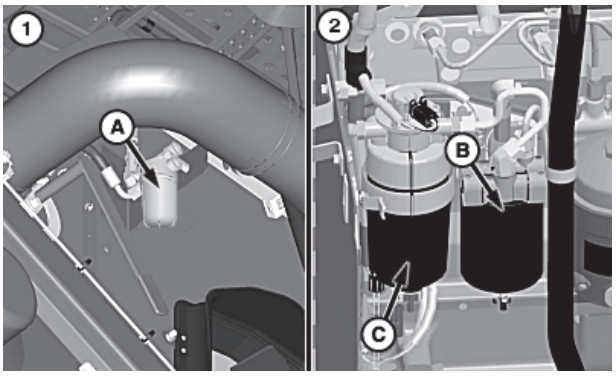
1. エンジンクランクケースオイルフィルタ：オイルフィルタ (A) を取り外して交換します。
2. エンジンクランクケースオイル：ドレン (B) を開き、オイルを抜き取ります。
3. エンジンクランクケースオイル：ディップスティック (C) を取り外してオイルを充填し、オイルレベルを点検します。
4. 燃料タンクブリーザー：燃料タンクブリーザー (D) を目視点検します。ブリーザーにごみが溜まらないようにしてください。ホースから燃料タンクブリーザーを取り外して清掃します。

Plus-50 は Deere & Company の商標です。

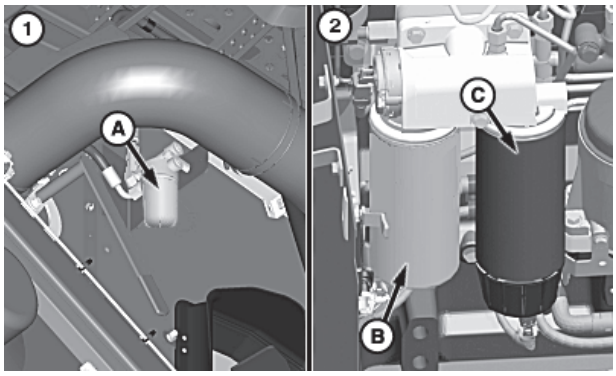
OUO6075,00016E6 -40-17FEB14-1/1

400 時間ごと (S660、S670)





燃料フィルタ (ティア 2／ステージ II)



燃料フィルタ (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

A : 燃料プレクリーナフィルタ　　B : 2 次燃料フィルタ　　C : 1 次燃料フィルタ

警戒：燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外す前に、エンジンが停止してから最低 15 分間待ってください。

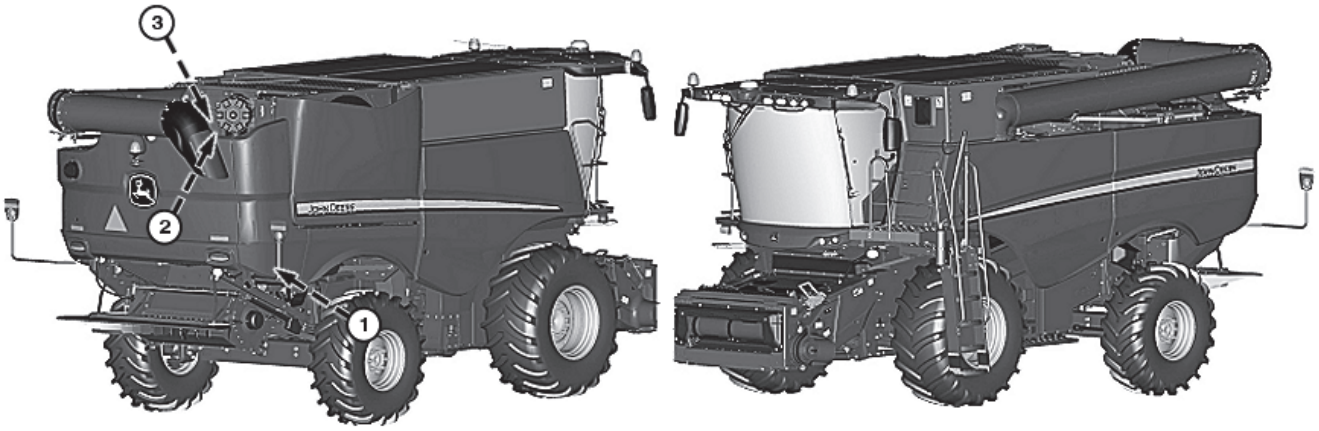
燃料フィルタでメンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

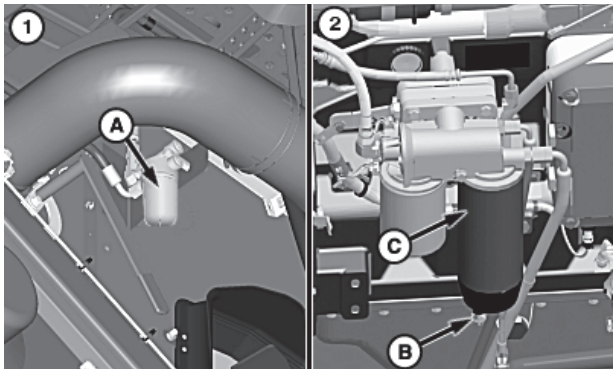
1. 燃料プレクリーナフィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。燃料プレクリーナフィルタ (A) を取り外してスクリーンを清掃します。燃料プレクリーナフィルタを取り付けて、燃料タンクシャットオフバルブを開いてボウルに充填します (「エンジンの整備」セクションの「燃料プレクリーナフィルタ：清掃」を参照してください)。
2. 2 次燃料フィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。性能の低下に気付いた場合または診断トラブルコードが生成された場合は、2 次燃料フィルタ (B) を取り外して交換します。フィルタから燃料を除去して廃棄します。交換用 2 次燃料フィルタを取り付けて燃料タンクシャットオフバルブを開きます (「エンジンの整備」セクションの「1 次および 2 次燃料フィルタ：交換」を参照してください)。

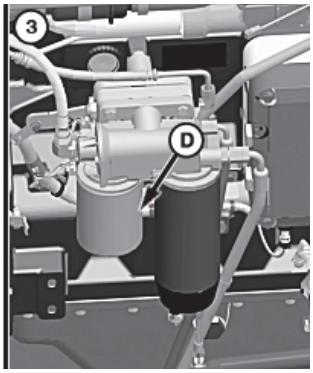
   1 次燃料フィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。性能の低下に気付いた場合または診断トラブルコードが生成された場合は、1 次燃料フィルタ (C) を取り外して交換します。水センサーを 1 次燃料フィルタから外します。フィルタから燃料を除去して廃棄します。交換用 1 次燃料フィルタを取り付けて燃料タンクシャットオフバルブを開きます。キースイッチを ON に回して燃料システムをプライミングします (「エンジンの整備」セクションの「1 次および 2 次燃料フィルタ：交換」を参照してください)。

OUO6075,00016E7 -40-26NOV13-1/1

400 時間ごと (ティア 2／ステージ II) (S680、S690)







A：燃料プレクリーナフィルタ　　B：ウォーターセパレータ　　C：1 次燃料フィルタ　　D：2 次燃料フィルタ

1. 燃料プレクリーナフィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。燃料プレクリーナフィルタ (A) を取り外してスクリーンを清掃します。燃料プレクリーナフィルタを取り付けて、燃料タンクシャットオフバルブを開いてボウルに充填します (「エンジンの整備」セクションの「燃料プレクリーナフィルタ：清掃」を参照してください)。

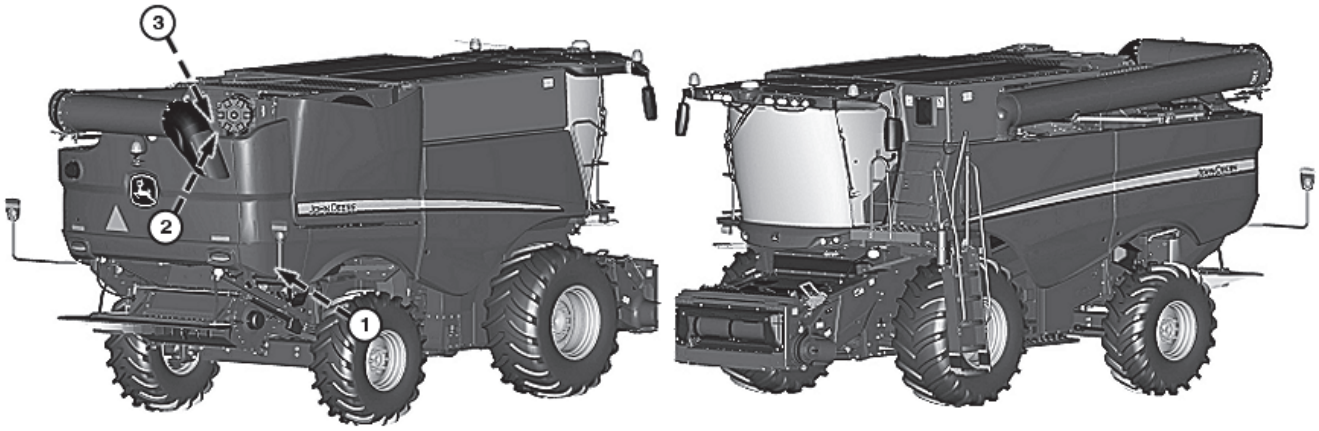
2. ウォーターセパレータ：水がないかウォーターセパレータ (B) を点検し、診断トラブルコードが生成されたときも点検します。ドレンを開いてウォーターセパレータから水を除去します (「エンジンの整備」セクションの「ウォーターセパレータ 1 次燃料フィルタ：交換を参照してください」)。ウォーターセパレータを取り外して保管します。

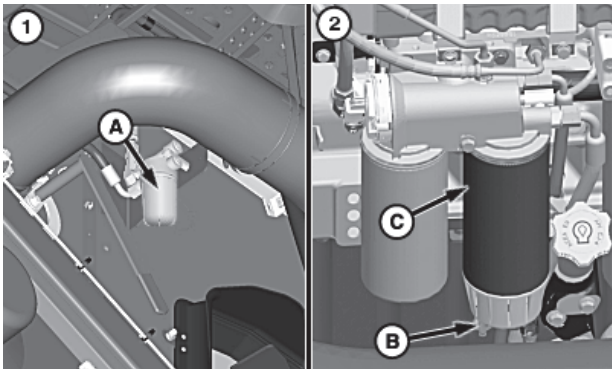
   1 次燃料フィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。性能の低下に気付いた場合または診断トラブルコードが生成された場合は、1 次燃料フィルタ (C) を取り外して交換します。交換用 1 次燃料フィルタと前の手順で取り外したウォーターセパレータを取り付けます (「エンジンの整備」セクションの「1 次および 2 次燃料フィルタ：交換」を参照してください)。

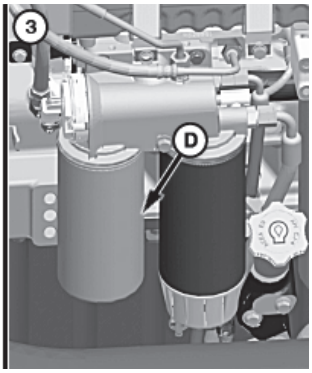
3. 2 次燃料フィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。性能の低下に気付いた場合または診断トラブルコードが生成された場合は、2 次燃料フィルタ (D) を取り外して交換します。フィルタから燃料を除去して廃棄します。交換用 2 次燃料フィルタを取り付けて燃料タンクシャットオフバルブを開きます。キースイッチを ON に回して燃料システムをプライミングします (「エンジンの整備」セクションの「1 次および 2 次燃料フィルタ：交換」を参照してください)。

OUO6075,000157B -40-09JUL13-1/1

400 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690)







A：燃料プレクリーナフィルタ　B：ウォーターセパレータ　C：1 次燃料フィルタ　D：2 次燃料フィルタ

1. 燃料プレクリーナフィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。燃料プレクリーナフィルタ (A) を取り外してスクリーンを清掃します。燃料プレクリーナフィルタを取り付けて、燃料タンクシャットオフバルブを開いてボウルに充填します (「エンジンの整備」セクションの「燃料プレクリーナフィルタ：清掃」を参照してください)。

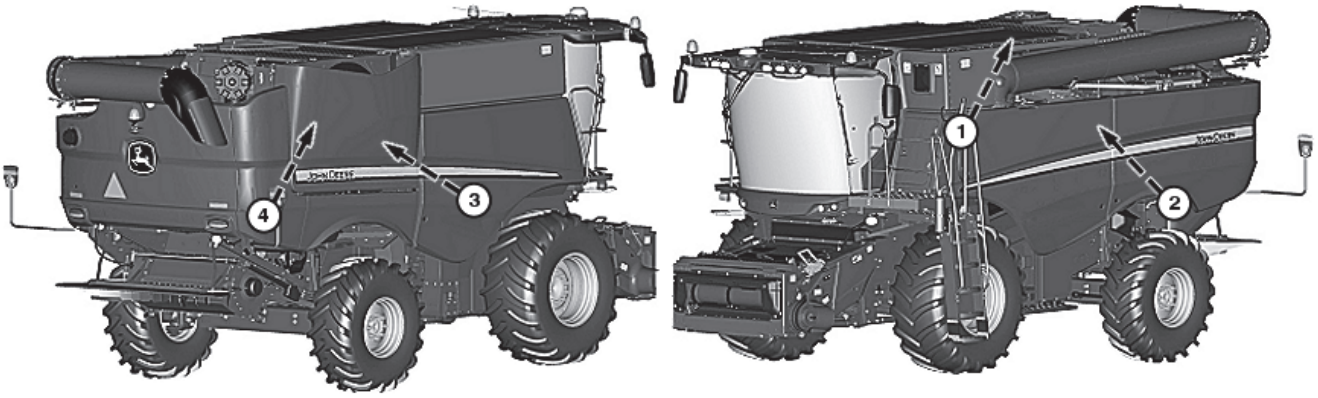
2. ウォーターセパレータ：水がないかウォーターセパレータ (B) を点検し、診断トラブルコードが生成されたときも点検します。ドレンを開いてウォーターセパレータから水を除去します (「エンジンの整備」セクションの「ウォーターセパレータ 1 次燃料フィルタ：交換を参照してください」)。ウォーターセパレータを取り外して保管します。

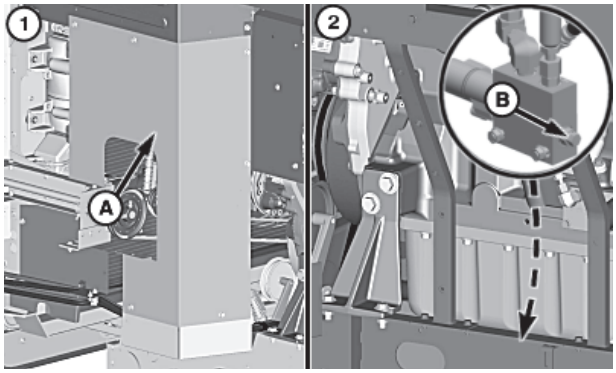
   1 次燃料フィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。性能の低下に気付いた場合または診断トラブルコードが生成された場合は、1 次燃料フィルタ (C) を取り外して交換します。交換用 1 次燃料フィルタと前の手順で取り外したウォーターセパレータを取り付けます (「エンジンの整備」セクションの「1 次および 2 次燃料フィルタ：交換」を参照してください)。

3. 2 次燃料フィルタ：燃料タンクシャットオフバルブを閉めます。性能の低下に気付いた場合または診断トラブルコードが生成された場合は、2 次燃料フィルタ (D) を取り外して交換します。フィルタから燃料を除去して廃棄します。交換用 2 次燃料フィルタを取り付けて燃料タンクシャットオフバルブを開きます。キースイッチを ON に回して燃料システムをプライミングします (「エンジンの整備」セクションの「1 次および 2 次燃料フィルタ：交換」を参照してください)。

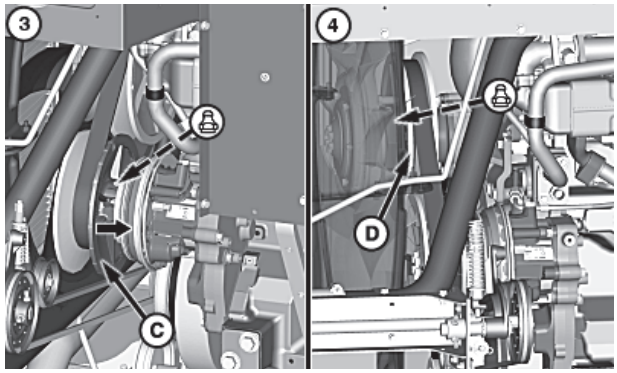
OUO6075,00016E8 -40-17FEB14-1/1

400 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670)





A：シールド　　B：エア抜きネジ



C：ドライバーシーブ　　D：従動シーブ

1. エンジンシールド：シールド (A) を取り外して保管します。

2. バリアブルスピードドライブエア抜きバルブ：ブリードスクリュー (B) を緩めてシーブから圧力を解放します。

重要：適切な潤滑量を得るには、内側ドライバーシーブが完全に収縮している必要があります。

シーブが完全に隔離されていない場合、シーブの移動範囲が損なわれる可能性があります。

3. バリアブルスピードドライバーシーブ：ドライバーシーブ (C) のグリースフィッティングの位置を確認します。完全に開くまで駆動シーブをエンジン側に引っ張ります。10～12 回ポンピングしてグリースを注入します。余分なグリースは駆動シーブの前側から出てきます。

重要：適切な潤滑量を得るには、駆動シーブが完全に閉じている必要があります。

シーブが完全に閉じていない場合、シーブの移動範囲が損なわれる可能性があります。

4. バリアブルスピード従動シーブ：従動シーブ (D) のグリースフィッティングの位置を確認します。従動シーブが完全に閉じるまで従動シーブを一緒に押します。10～12 回ポンピングしてグリースを注入します。余分なグリースは従動シーブの前側から出てきます。

ブリードスクリューとナットを規定のトルクで締付けます。

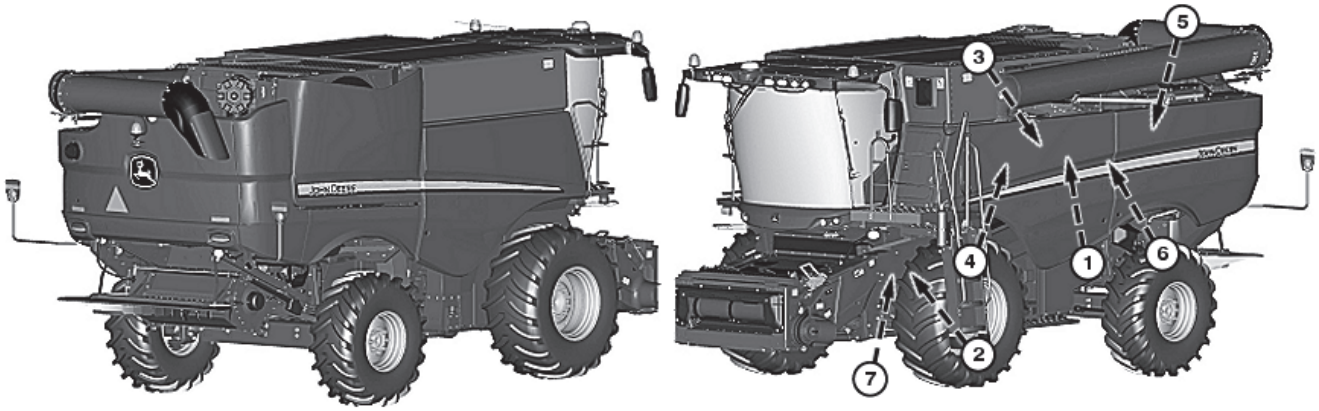
仕様

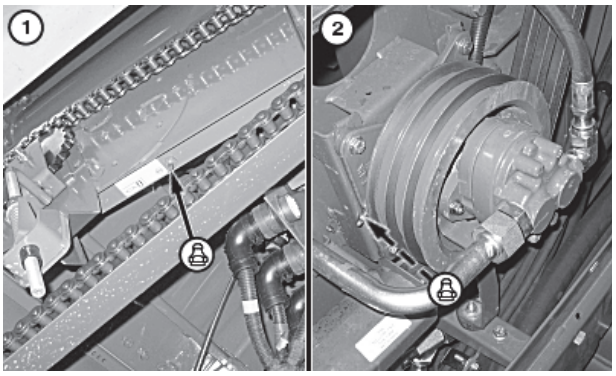
ブリードスクリューとナット トルク	23 N•m (17 lb-ft)

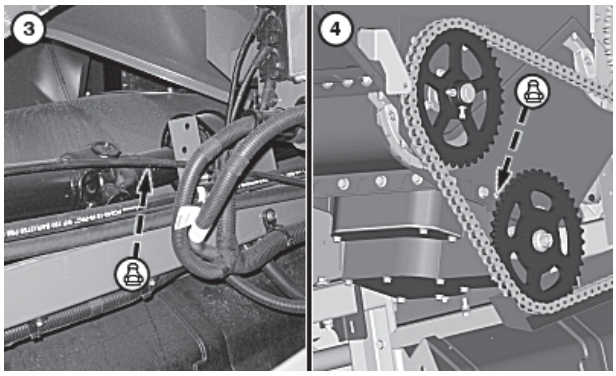
前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

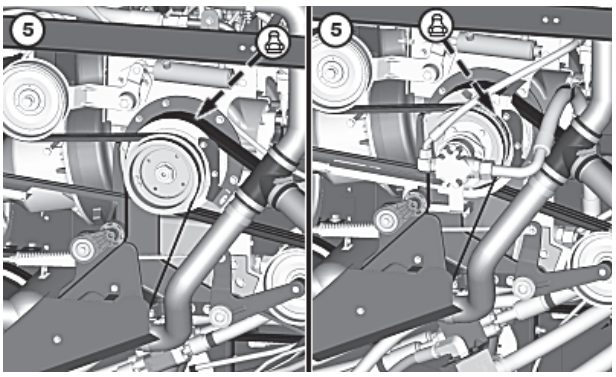
OUO6075,00016E9 -40-26NOV13-1/1

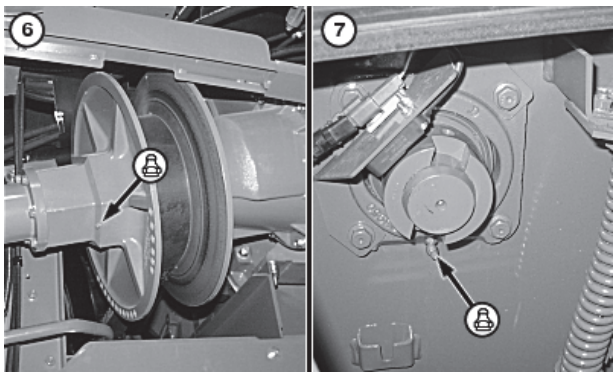
400 時間ごと











S660、S670/S680、S685、S690

1. アンローディングオーガ上部ギアケース：グリースフィッティング
2. ヘッダー／リールドライブポンプシーブベアリング：グリースフィッティング

注記：マルチスピードフィーダーハウスドライブを装備している機械には、5 つのグリースフィッティングがあります。

3. プライマリカウンタシャフトユニバーサルジョイントスプライン (非マルチスピードフィーダーハウス)：回転させてフィッティングにアクセスし、グリースを注入します。

次のページへ

重要：グリースをフィッティングに 10 ショットポンピングします。

4. **S680、S685、S690 機械**：垂直アンローディングオーガ上部ギアケース：グリースフィッティング

5. チョッパー／アンローディングドライブシャフトベアリング：シーブを回転させ、ふるい溝の底部のフィッティングおよびグリースフィッティングにアクセスします。

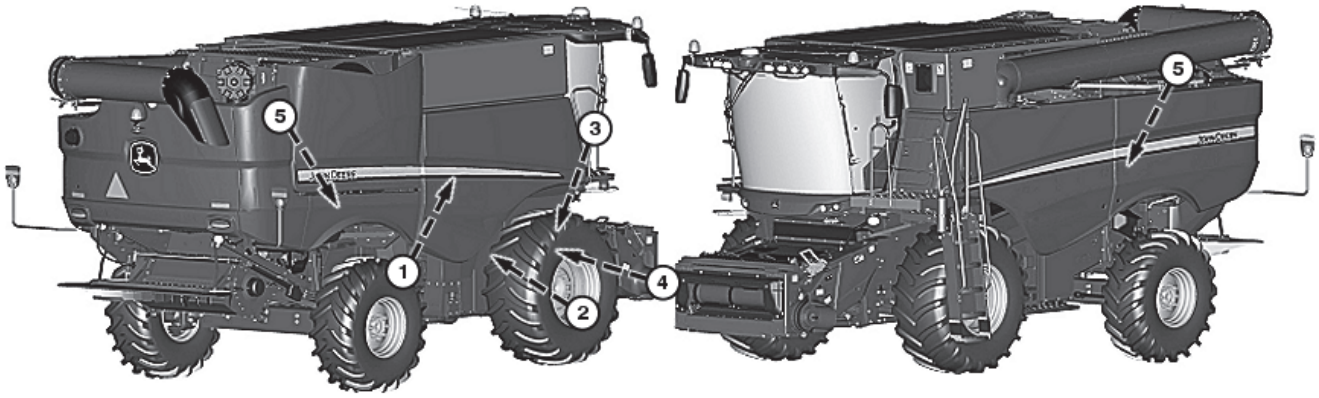
重要：パイププラグを取り外し、グリースフィッティングを取り付けます。グリースをフィッティングに 40～45 ショットポンピングします。グリースを注入しすぎないでください。グリースフィッティングを取り外し、パイププラグを取り付けます。

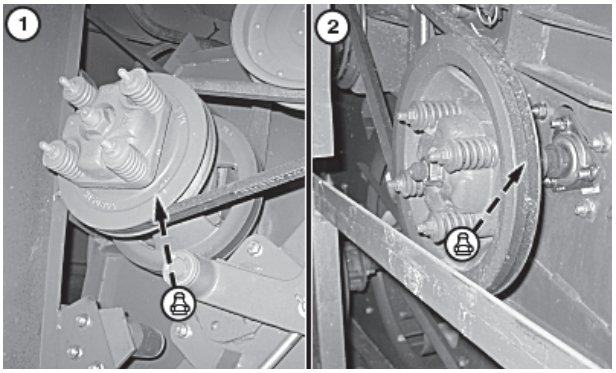
6. バリアブルスピードドライブシーブ：グリースを外側シーブハブのパイププラグの位置でフィッティングに注入する前に、シーブ (高速) を閉じます。パイププラグにアクセスするためにシーブを回転させます。常時高速で運転していた場合は、シリンダ速度を入れ直してグリースを行き渡らせます。

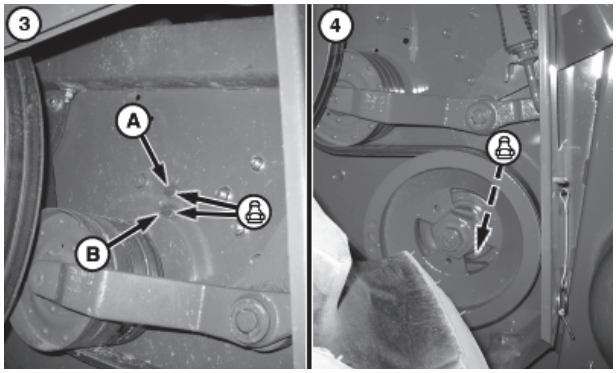
7. フィードアクセルレータベアリング (左側)：グリースフィッティング。

OUO6075,000157D -40-20JUN13-2/2

400 時間ごと







A : プライマリカウンタシャフトベアリング
B : セパレータベアリング

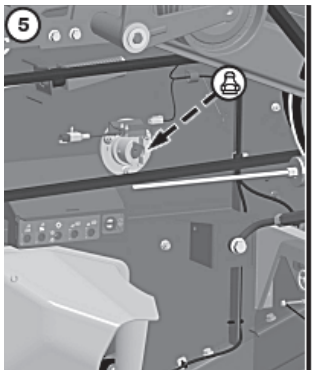
1. **S660、S670 機械 :** 2 番物オーガドライブスリップクラッチ : シーブアセンブリを回転させてフィッティングにアクセスします。グリースを注入しすぎないでください。

2. コンベアオーガドライブスリップクラッチ : シーブアセンブリを回転させてフィッティングにアクセスします。グリースを注入しすぎないでください。

3. 右側潤滑油バンク : グリースをフィッティングに注入して、プライマリカウンタシャフトベアリング (A) とセパレータベアリング (B) を潤滑します。

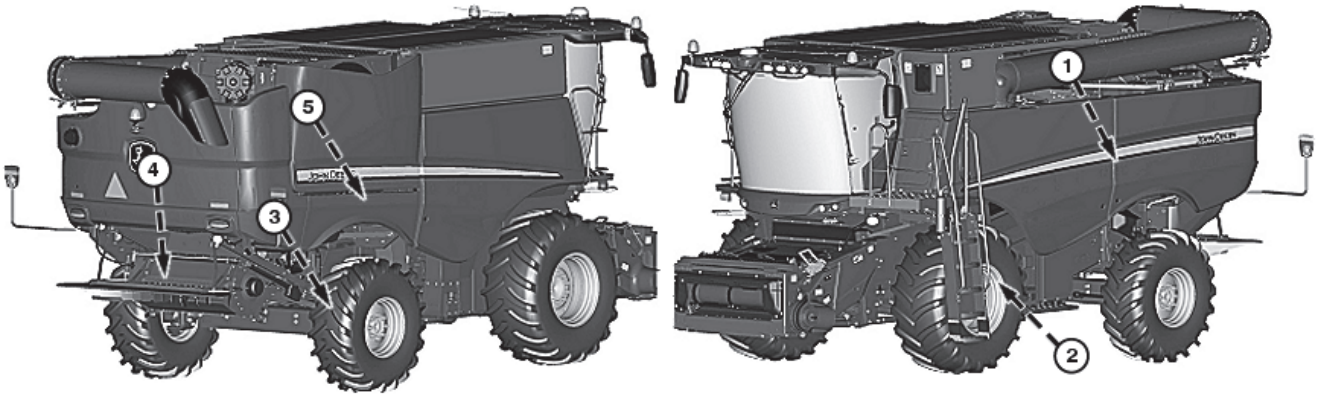
4. フィードアクセルレータベアリング (右側) : シーブを回転させてフィッティングにアクセスします。

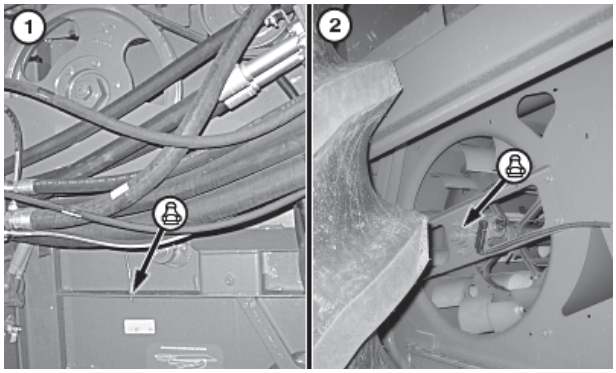
5. **S670、S680、S685、S690 機械 :** オーバーショットビーターベアリング (オプション) : グリースフィッティング (両側)。

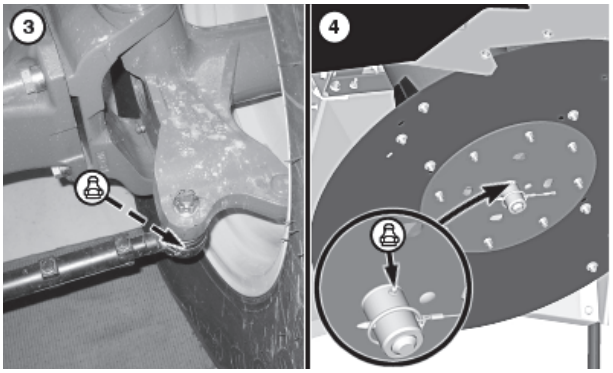


OUO6075,000157E -40-20JUN13-1/1

400 時間ごと

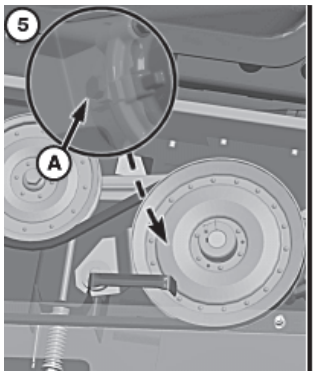






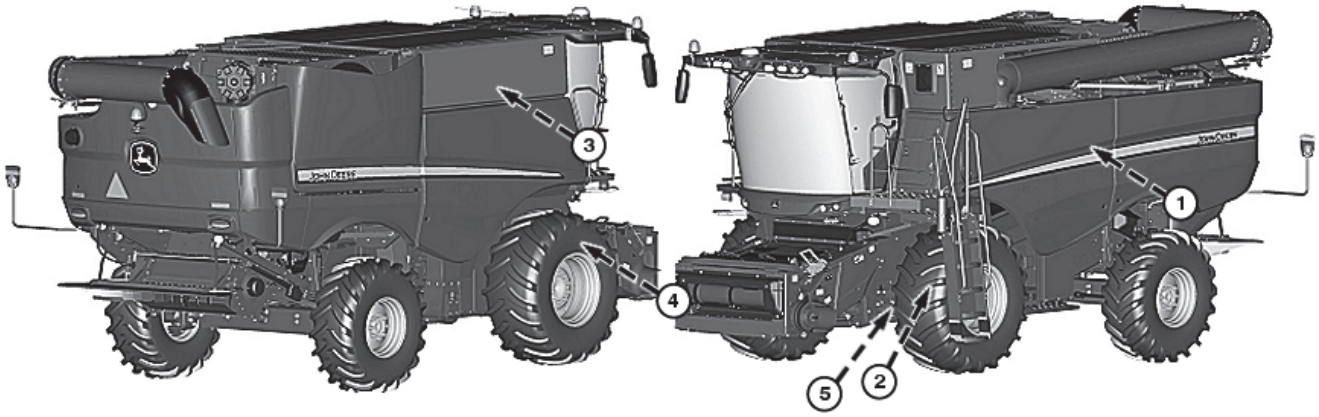
A : プラグ

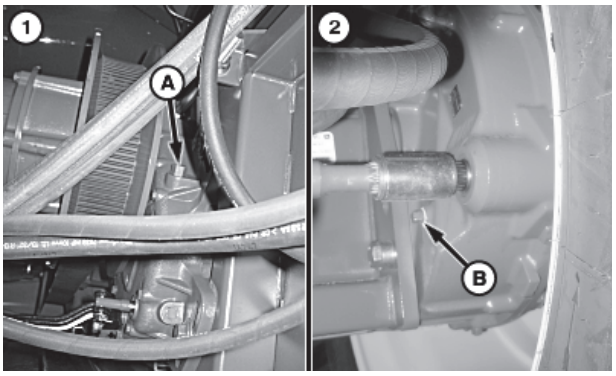
1. ディスチャージビーターベアリング : グリースフィッティング (両側)。
2. クリーニングファンシャフトベアリング : グリースフィッティング (両側)。
3. リア車軸タイロッド : パワーステアリングロッドエンドボールジョイントのフィッティング (両側) にグリースを注入します。
4. スプレッダーディスク (装備されている場合) : ハブがシャフトに焼き付かないようにするためにグリースをフィッティング (両側) に注入します。
5. **S670、S680、S685、S690 機械 :** オーバーショットビーターギアケースオイル (オプション) : プラグ (A) を取り外してオイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加します。

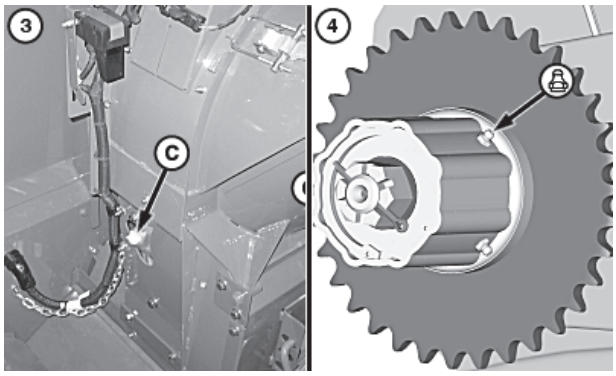


OUO6075,000157F -40-20JUN13-1/1

400 時間ごと







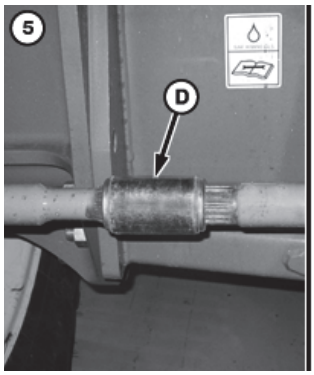
A：ディップスティック
B：プラグ
C：ディップスティック
D：ドライブシャフトカプラー

1. スピードセパレータドライブ：ディップスティック (A) を取り外してオイルレベルを点検します。オイルレベルは、ディップスティックの溝の間にある必要があります。必要に応じてオイルを追加します。

重要：HillMaster™ 機械：ファイナルドライブのオイルレベルを点検するときは、レベルの点検中に機械から離れるように周囲の人に警告します。

注記：HillMaster™ 機械：オイルレベルを正確に点検するには、ファイナルドライブインプットシャフトがアクスルドライブシャフトと同じレベルになるようにファイナルドライブを位置決めする必要があります。

2. ファイナルドライブオイル：プラグ (B) を取り外してオイルレベル (両側) を点検します。オイルは穴の底部から 12 mm (1/2 in) 以内である必要があります。必要に応じてオイルを追加します。



注記：ローディングオーガオーガギアケースは抜き取る必要はありません。

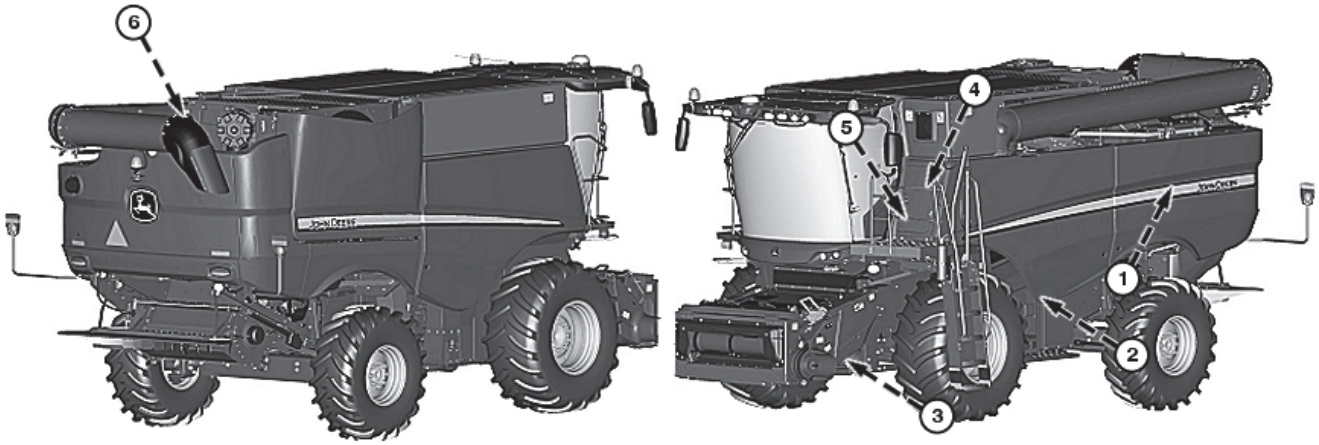
3. ローディングオーガオーガギアケース：ディップスティック (C) でオイルレベルを点検し、必要に応じてオイルを追加します。

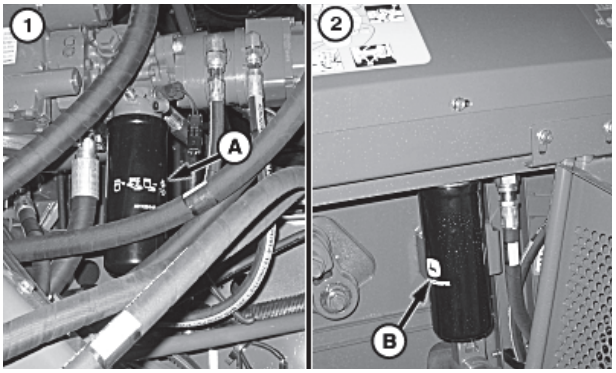
次のページへ

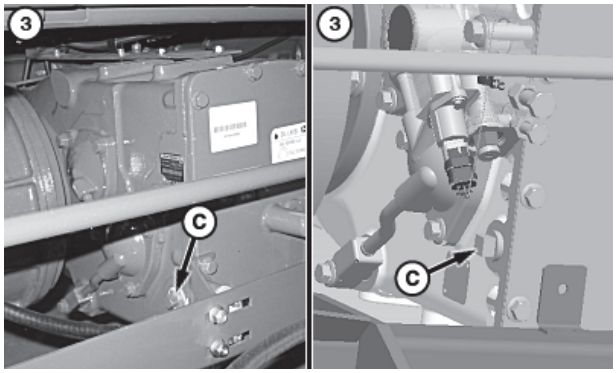
4. フィーダーハウススリップクラッチ：グリースがシールから出てくるまでグリースを上部フィーダーハウススリップクラッチのフィッティングに注入します。
5. ファイナルドライブカプラー：ドライブシャフトカプラー (D) とドライブシャフトを取り外します (両側)。スプライン部分を清掃し、ドライブシャフトの両端のスプライン加工部に焼き付き防止剤を塗布します。

OUO6075,0001404 -40-01MAR13-2/2

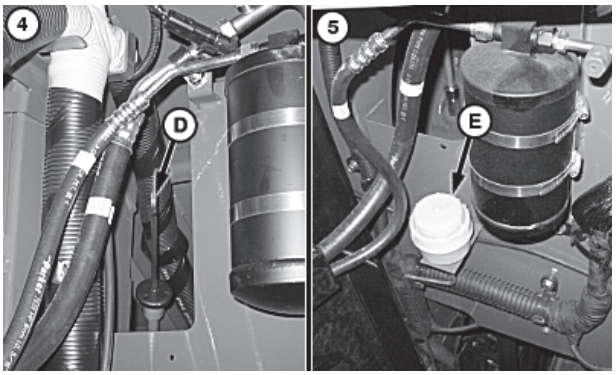
400 時間ごと (S660、S670 ProDrive™ 非装備の機械)

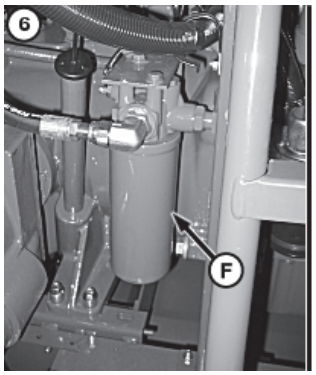






機械式シフト／押しボタンシフト





A : フィルタ
B : フィルタ
C : プラグ
D : ディップスティック
E : リザーバーキャップ
F : フィルタ

注記：フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

1. ハイドロスタティックチャージフィルタ：フィルタ (A) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

次のページへ

OUO6075,0001405 -40-20JUN13-1/2

2. 油圧／ハイドロスタティックフィルタ：フィルタ (B) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

3. トランスミッションオイル：プラグ (C) を取り外してオイルレベルを点検します。必要に応じて、オイルを穴の底部から 12 mm (1/2 in) 以内まで追加します。

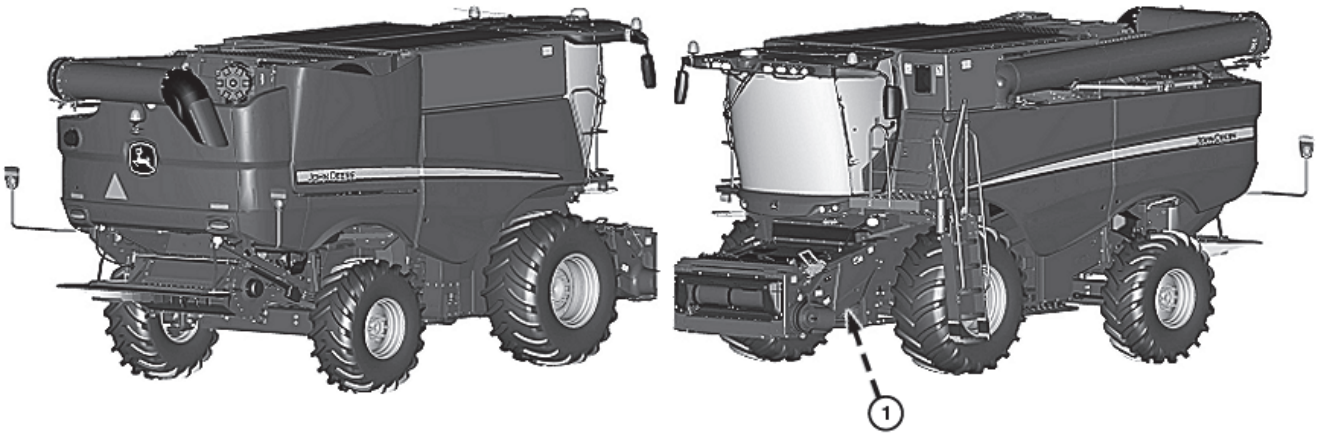
4. プライマリカウンタシャフトギアケースのオイル (固定スピードおよびバリアブルスピードフィーダーハウス)：ディップスティック (D) でプライマリカウンタシャフトギアケースのオイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加します。

5. ブレーキフルード：ブレーキフルードレベルを点検します。リザーバーキャップ (E) から見て確認します ブレーキフルードを上端から 6 mm (1/4 in) の位置まで追加します。ごみがブレーキフルードに入らないように注意してください。

6. メインエンジンギアケースフィルタ：フィルタ (F) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

OUO6075,0001405 -40-20JUN13-2/2

400 時間ごと (S660、S670 押しボタンシフトトランスミッション装備の機械)



注記：パーキングブレーキをかけてください (ピストンが伸長し、スプリングの力がかかる)。

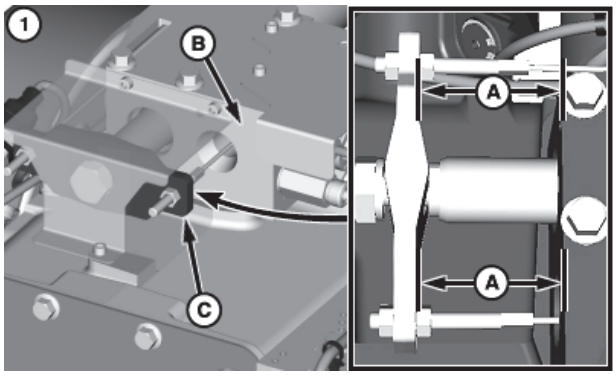
1. パーキングブレーキシリンダケーブル：両側のアクチュエータハウジング (B) からバランサ (C) までの距離を測定し、基準値内であることを確認します。

仕様

パーキングブレーキケーブル
距離.....37.5 ± 2.5 mm (1-31/64 ± 3/32 in)

警戒：パーキングブレーキシリンダケーブルには、非常に大きな圧力がかかっています。ケーブルは、John Deere 取扱店で調整する必要があります。

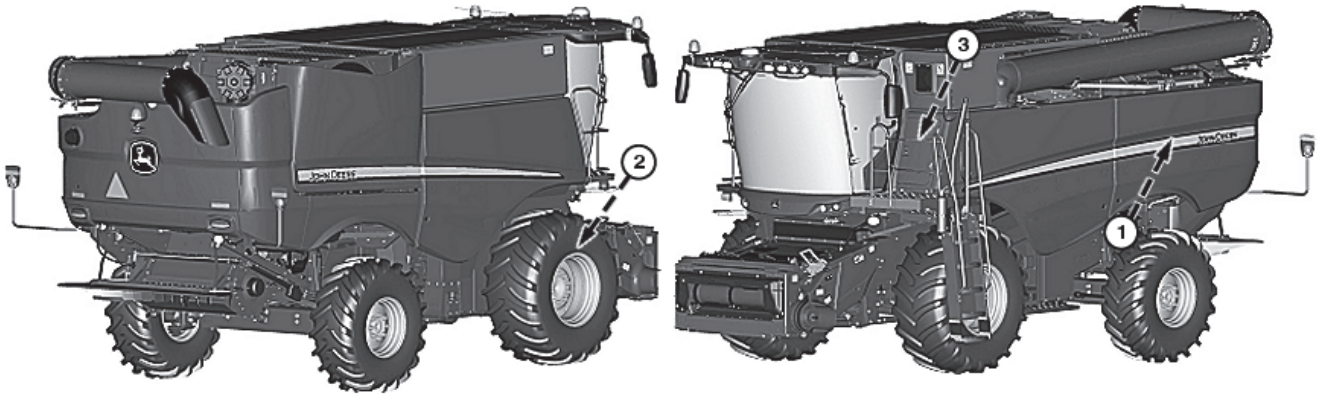
ケーブルを調整する必要がある場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

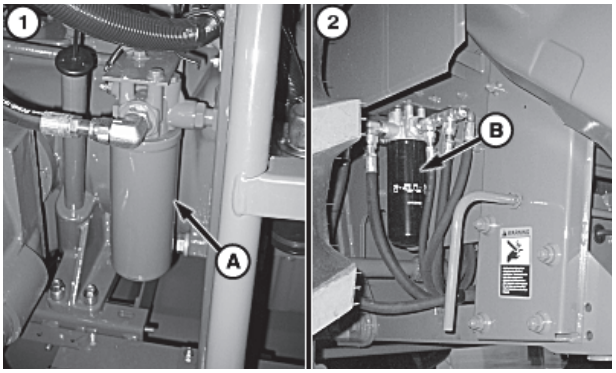


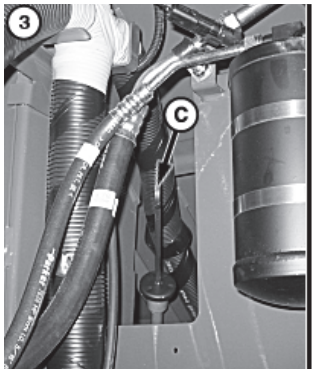
A：間隔
B：アクチュエータハウジング
C：バランサ

OUO6075,00017EE -40-06MAY14-1/1

400 時間ごと (S670 ProDrive™ 装備の機械)







A : フィルタ　　B : フィルタ　　C : ディップスティック

注記 : フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

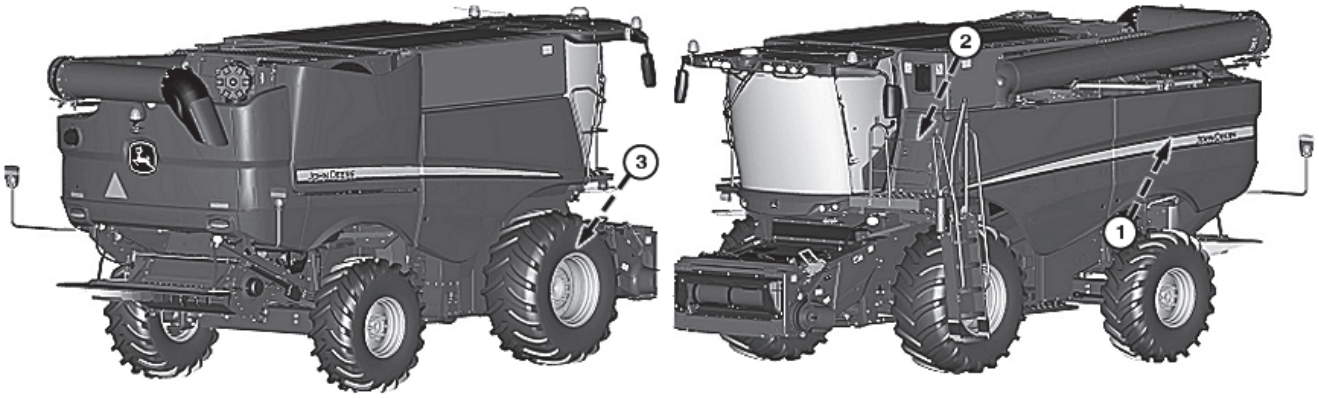
1. メインエンジンギアケースフィルタ : フィルタ (A) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

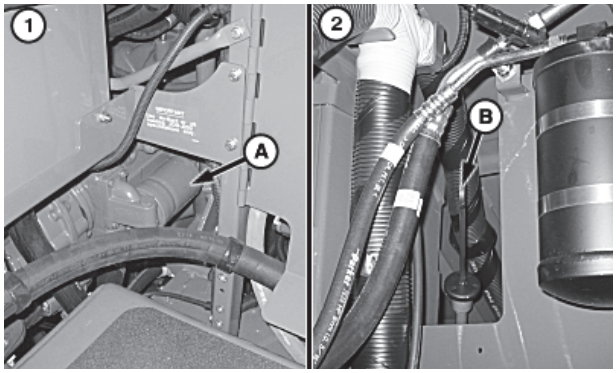
2. ProDrive™／メインエンジンギアケース潤滑油フィルタ : フィルタ (B) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

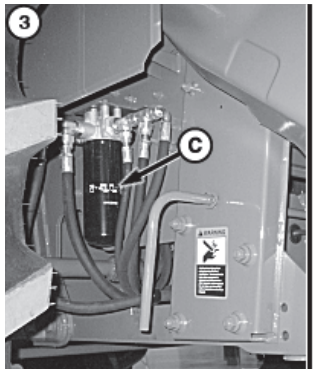
3. プライマリカウンタシャフトギアケースのオイル (回転数固定フィーダーハウス) : ディップスティック (C) でプライマリカウンタシャフトギアケースのオイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加します。

OUO6075,0001862 -40-27JUN14-1/1

400 時間ごと (S680、S685、S690 ProDrive™ 装備の機械)







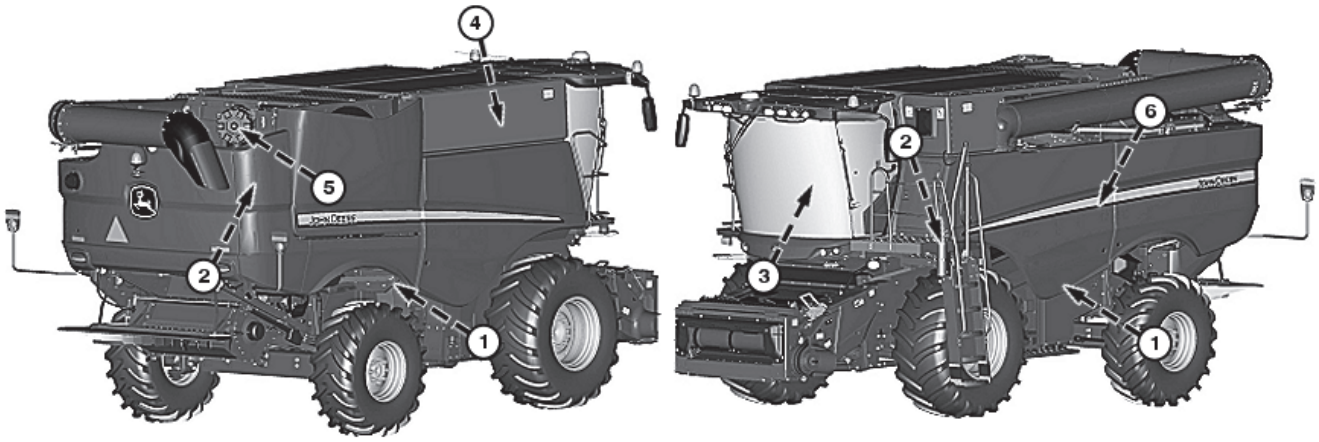
A : フィルタ　　**B : ディップスティック**　　**C : フィルタ**

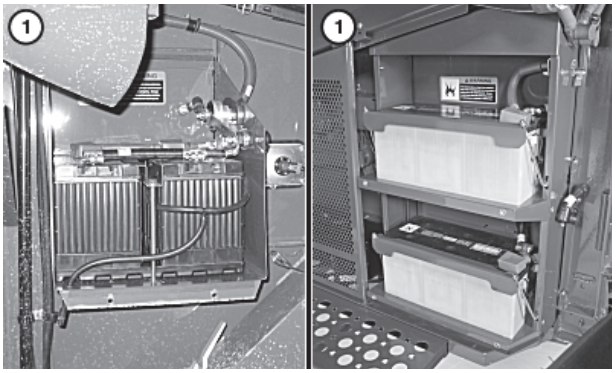
注記 : フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

1. ハイドロスタティックチャージフィルタ : フィルタ (A) を取り外して交換します。フィルタの新品のシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。
2. プライマリカウンタシャフトギアケースのオイル (回転数固定フィーダーハウス) : ディップスティック (B) でプライマリカウンタシャフトギアケースのオイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加します。
3. ProDrive™/メインエンジンギアケース潤滑油フィルタ : フィルタ (C) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

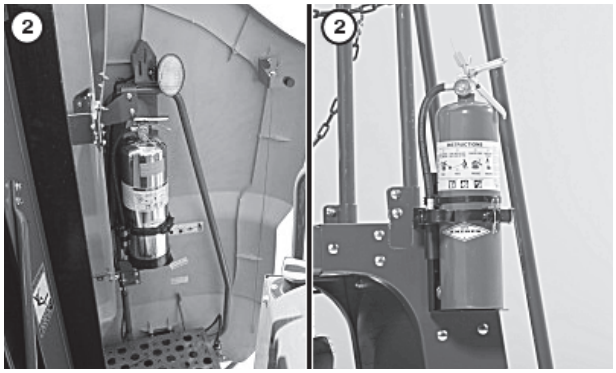
OUO6075,0001861 -40-27JUN14-1/1

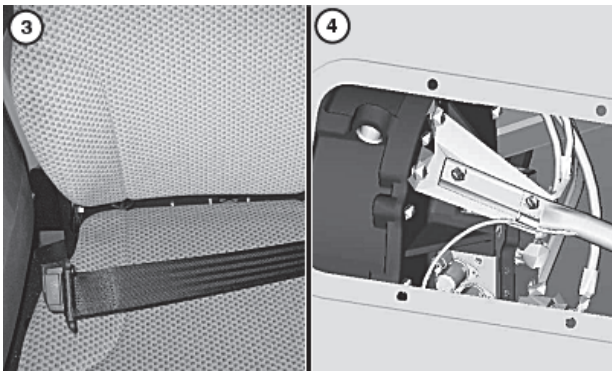
400 時間ごと

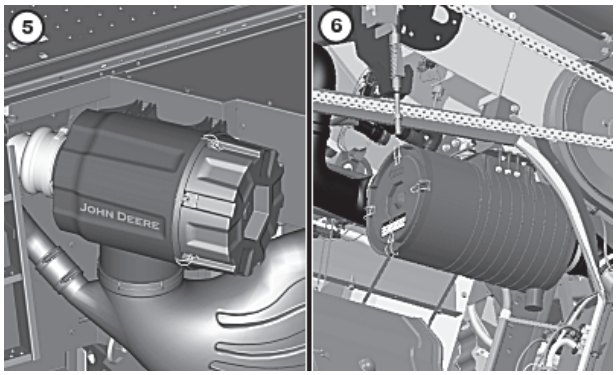




S660、S670/S680、S685、S690







注記：バッテリは S660 および S670 機械の場合、機械の右側にあり、S680、S685、S690 機械の場合、機械の左側にあります。

1. バッテリ：バッテリの上部を清掃し、各セルのレベルを点検します。必要に応じて、フィラーネックの底部まで蒸留水を充填します。バッテリ端子、ケーブルを清掃し、必要に応じて接続を締め付けます。

2. 消火器：消火器のラベルに記載されているメンテナンス手順に従って消火器 (前部および後部) を点検します。必要に応じて再充填または交換します。

次のページへ

重要：シートベルトと取り付け金具は少なくとも年に 1 回点検してください。シートベルトシステム (取り付け具、バックル、ベルト、リトラクタ) に、損傷、異常な摩耗、変色、またはすり減りの兆候がある場合は、シートベルト全体をすぐに交換する必要があります。安全を確保するために、シートベルトシステムを機械で認可されている交換部品と交換してください。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

3. シートベルト：損傷がないかシートベルトを点検します。

警戒：この部分のごみ、オイル、籾殻、作物屑は火災の危険があります。風向、農作物の種類とその含水量は、籾殻やごみが堆積する場所と量にすべて影響を与えます。エンジン運転中に、この部分を清掃しないでください。

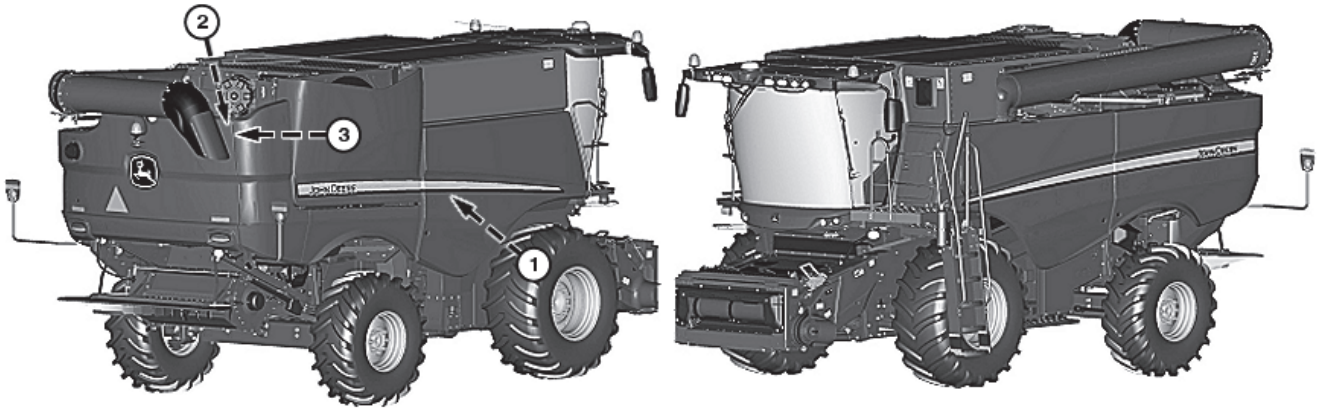
4. **S670、S680、S685、S690 機械：**マルチスピードフィーダーハウスドライブ (オプション)：グレインタンクの前側のアクセスドアを取り外して、ギアケースの周囲の材料を清掃します。

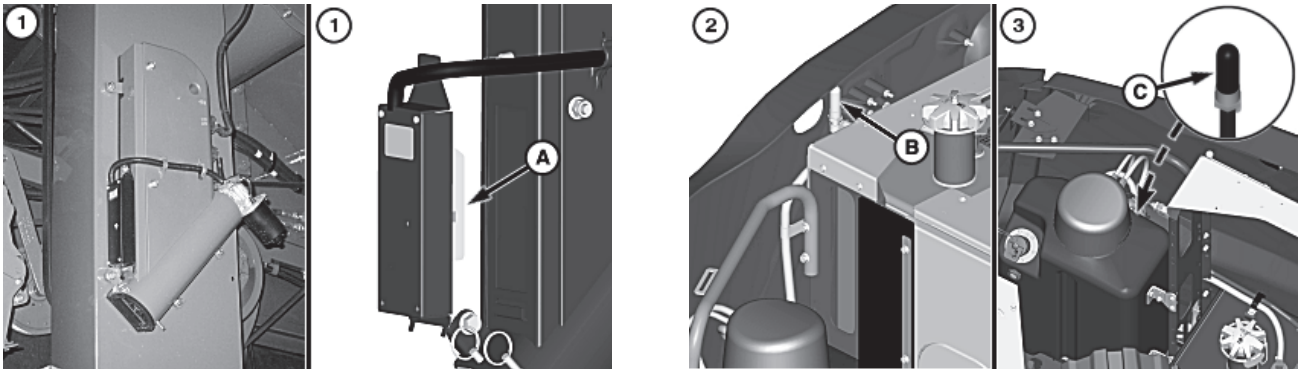
5. エアフィルタエレメント：ディスプレイにエンジンエアフィルタ目詰まり表示灯が表示されたら、プライマリエアフィルタを整備してください。安全フィルタが詰まっていないか点検します。アスピレータチューブに漏れや破損がないか点検します。

6. エンジンデブリスマネジメントエアフィルタ (インテリムティア 4／ステージ IIIB およびファイナル ティア 4／ステージ IV エンジン)：エアフィルタ目詰まり表示灯がディスプレイに表示されたら、プライマリフィルタを整備してください。安全フィルタが詰まっていないか点検します。

OUO6075,00017DB -40-28APR14-2/2

400 時間ごと





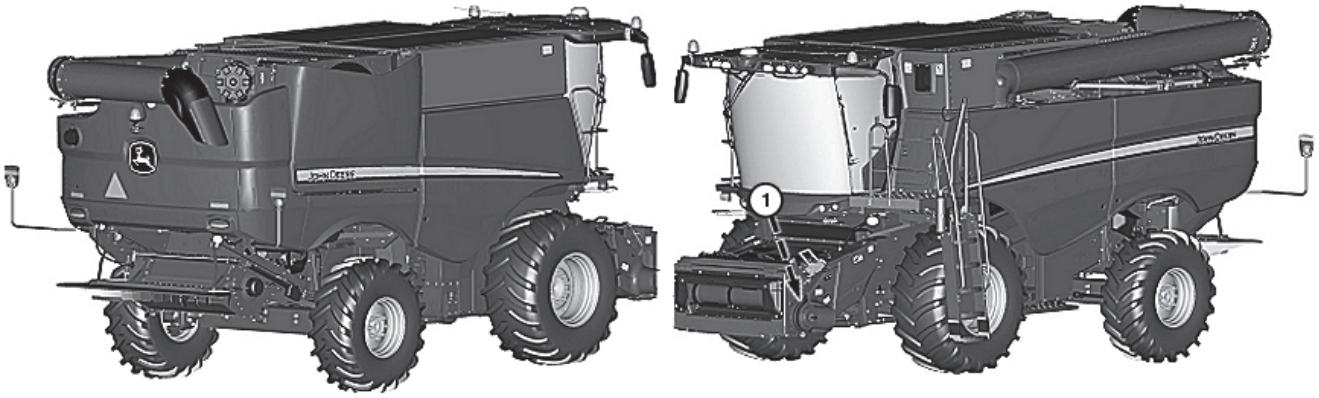
A：水分センサーモジュール
B：燃料タンクブリーザー
C：排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー

重要：検出プレートに触ったときに、静電気により水分センサーモジュールが破損することがあります。破損しないように、水分センサーモジュールの作業または清掃を行う前に少なくとも片手または腕を機械の金属面に必ず触れてください。

1. 水分センサー：草、緑色作物、または非常に小さい穀物 (アブラナ) を機械で扱っている場合は、水分センサーモジュール (A) を取り外して清掃します。
2. 燃料タンクブリーザー:燃料タンクブリーザー (B) を取り外して交換します。
3. 排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (ファイナルティア 4／ステージ IV エンジン)：ディ排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (C) を取り外して交換します。

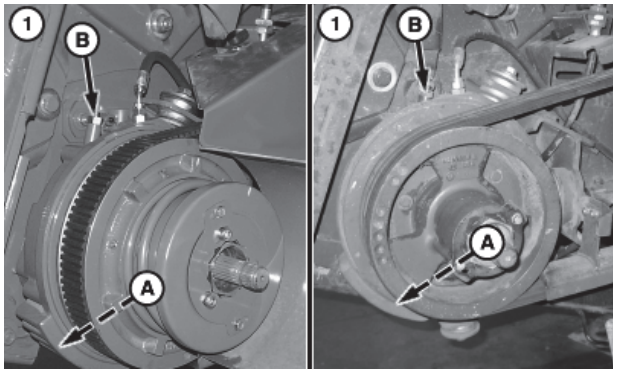
OUO6075,00016EB -40-26NOV13-1/1

800 時間ごと

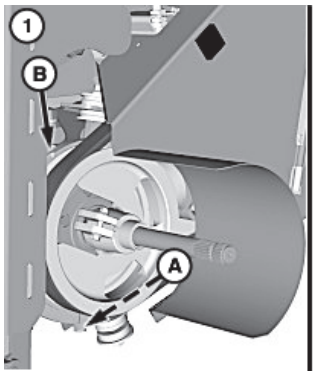


1. フィーダーハウスリバーサギアケース：フィーダーハウスを上げ、安全ストップを下げます。プラグ (A) でオイルを抜き取り、プラグを拭いて清掃してディップスティック開口部 (B) からオイルを補給します。フィーダーハウスを上昇させた状態でオイルレベルを点検します。オイルクーラー付きのギアケースはギアケースを数分間運転する必要があります。これにより、クーラーがオイルで満たされます。オイルレベルはディップスティックの刻みの部分にある必要があります。適切なオイルタイプについては、「燃料と潤滑油」セクションを参照してください。

A：プラグ
B：ディップスティック



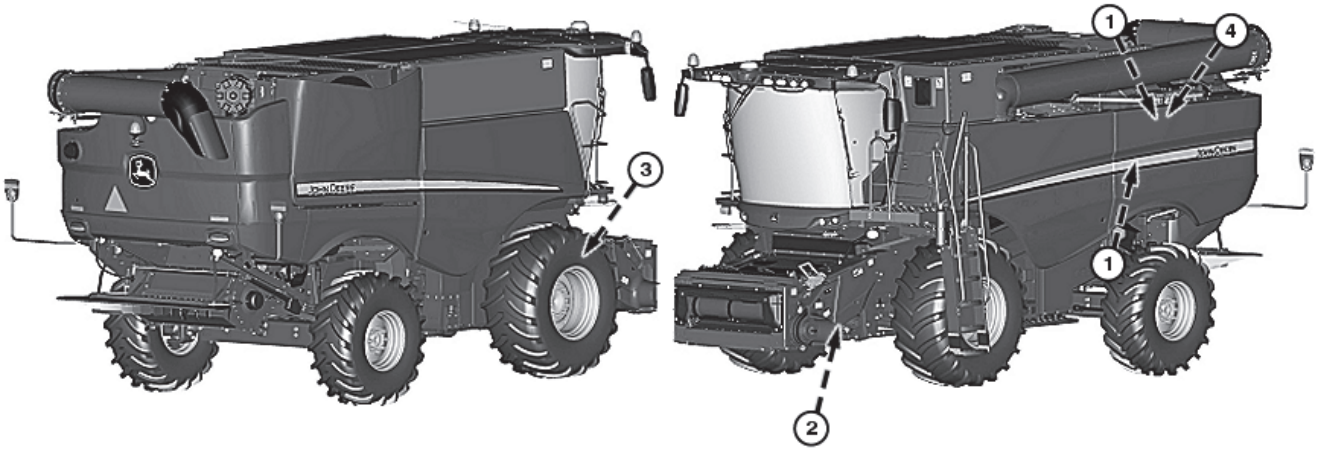
バリアブルスピード／マルチスピードリバーサギアケース

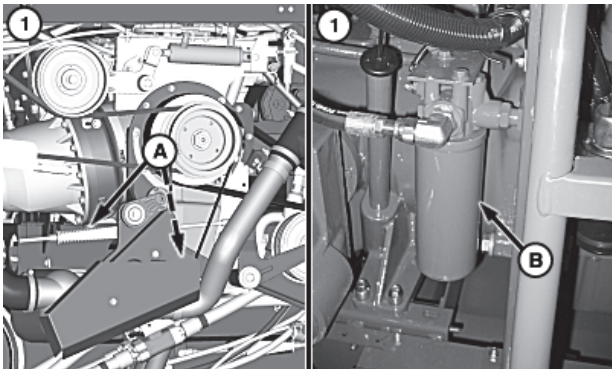


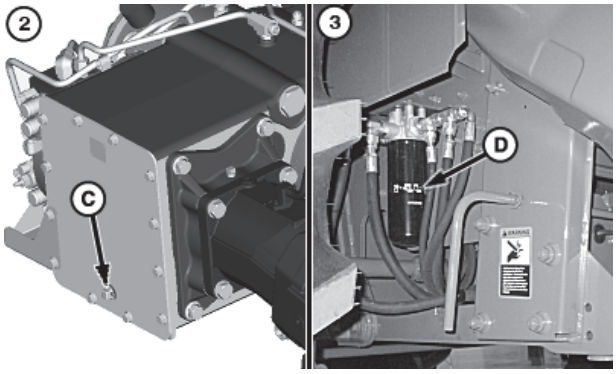
固定回転数

OUO6075,0001347 -40-27NOV12-1/1

1000 時間ごと (S670 ProDrive™ 装備の機械)







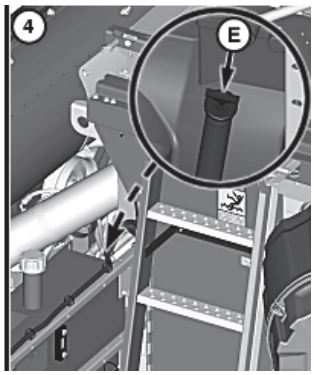
A : プラグ
B : フィルタ
C : プラグ
D : フィルタ
E : ディップスティック

1. メインエンジンギアケースオイルおよびフィルタ : プラグ (A) の位置でオイルを抜き取ります。フィルタ (B) を取り外して交換します。フィルタの新品のシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。
2. トランスミッションオイル : プラグ (C) の位置でオイルを抜き取ります。
3. ProDrive™／メインエンジンギアケース潤滑油フィルタ : フィルタ (D) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

注記 : メインエンジンギアケースにオイルを入れすぎると、機械を運転中にオイルによってディップスティックチューブが押し出されることがあります。

4. **メインエンジンギアケースへの充填**

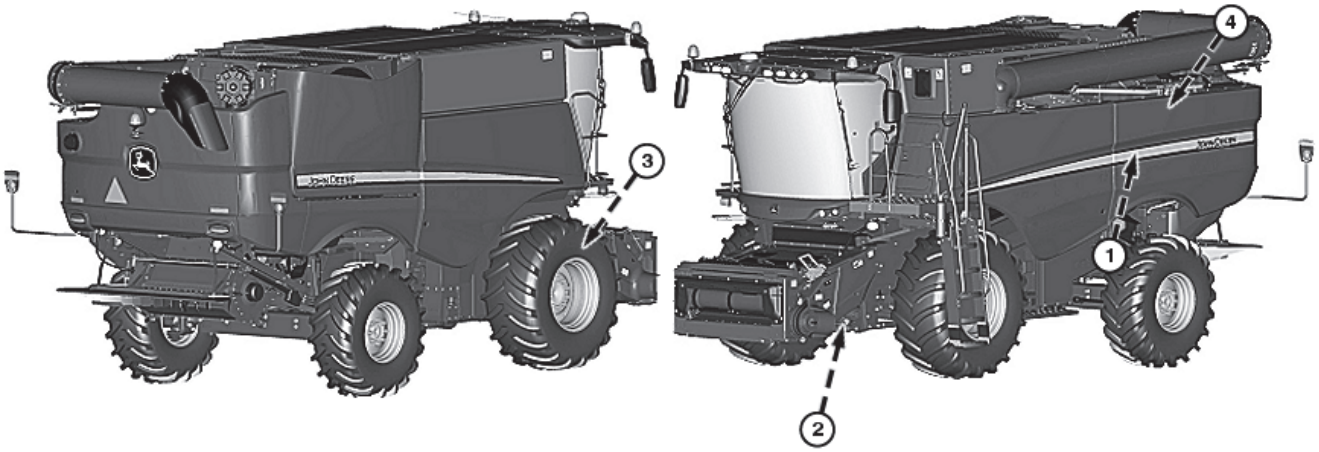
5. ディップスティック (E) の下の線に達するまでオイルを充填します。
6. ディップスティックを取り付けて、エンジンを 1 分間運転します。

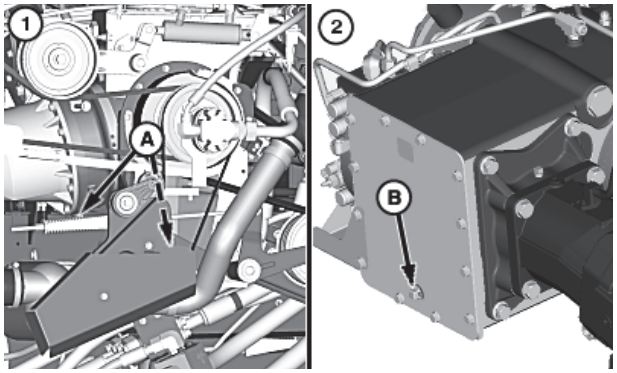


7. エンジンを停止し、オイルから空気が抜けるように機械を 5 分間放置します。
8. ディップスティックを取り外し、オイルレベルを点検します。オイルレベルがディップスティックの上の線に達するまでオイルを追加します。
9. オイルレベルがディップスティックの上の線に維持されるまで手順を繰り返します。

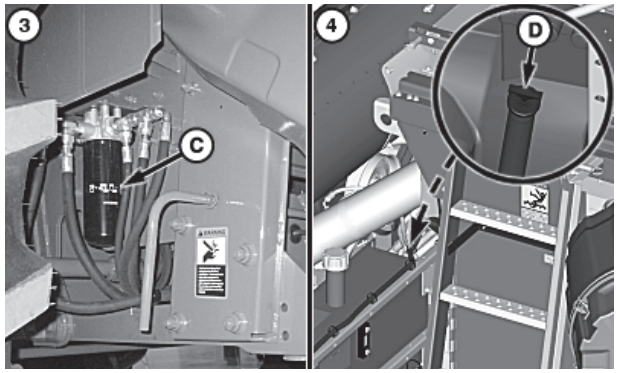
OUO6075,00014FC -40-20JUN13-1/1

1000 時間ごと (S680、S685、S690)





A：プラグ　　B：プラグ



C：フィルタ　　D：ディップスティック

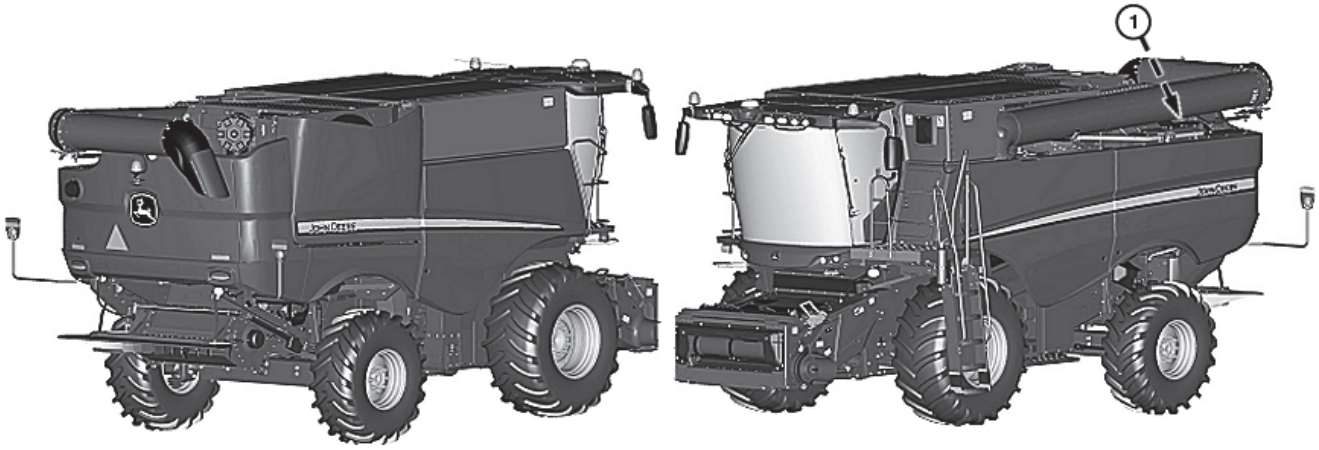
1. メインエンジンギアケース：プラグ (A) の位置でオイルを抜き取ります。
2. トランスミッションオイル：プラグ (B) の位置でオイルを抜き取ります。
3. ProDrive™／メインエンジンギアケース潤滑油フィルタ：フィルタ (C) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを塗布します。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

注記：メインエンジンギアケースにオイルを入れすぎると、機械を運転中にオイルによってディップスティックチューブが押し出されることがあります。

4. **メインエンジンギアケースへの充填**
   1. ディップスティック (D) の下の線に達するまでオイルを充填します。
   2. ディップスティックを取り付けて、エンジンを 1 分間運転します。
   3. エンジンを停止し、オイルから空気が抜けるように機械を 5 分間放置します。
   4. ディップスティックを取り外し、オイルレベルを点検します。オイルレベルがディップスティックの上の線に達するまでオイルを追加します。
   5. オイルレベルがディップスティックの上の線に維持されるまで手順を繰り返します。

OUO6075,0001582 -40-20JUN13-1/1

1000 時間ごと (S680、S685、S690)



注記：フィルタキャップを取り外す前にキャップの周囲を清掃して、システムが汚れないようにしてください。フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

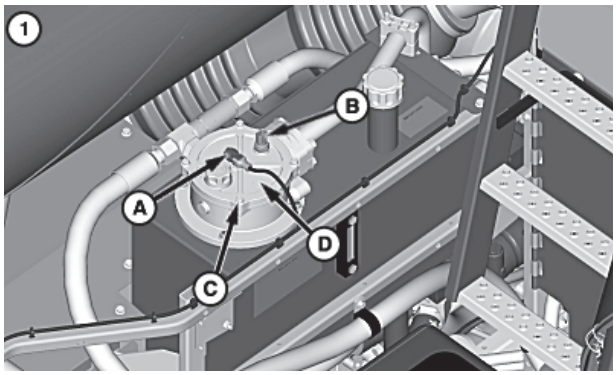
1. 作動油リザーバーフィルタ：性能の低下に気付いた場合または診断トラブルコードが生成された場合は、フィルタを取り外して交換します。

1. センサー (B) からワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。

警戒：ボルトを均一に取り外して、スプリング圧力をフィルタキャップから解放します。

注記：フィルタキャップの下側の O リングを点検し、必要に応じて交換します。

2. ボルト (C) とフィルタキャップ (D) を取り外して保管します。
3. フィルタ上部のスプリングを取り外して保管します。
4. フィルタを取り外して廃棄します。
5. 前の手順で取り外したスプリングと一緒に交換用フィルタを取り付けます (図示)。
6. 前の手順で取り外したフィルタキャップを取り付けます。
7. フィルタキャップを使用してスプリングを圧縮し、前の手順で取り外したボルトを取り付けます。



A：ワイヤハーネスコネクタ
B：センサー
C：ボルト
D：フィルタキャップ

重要：フィルタキャップを取り付けるときは O リングが残っていることを確認してください。

8. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

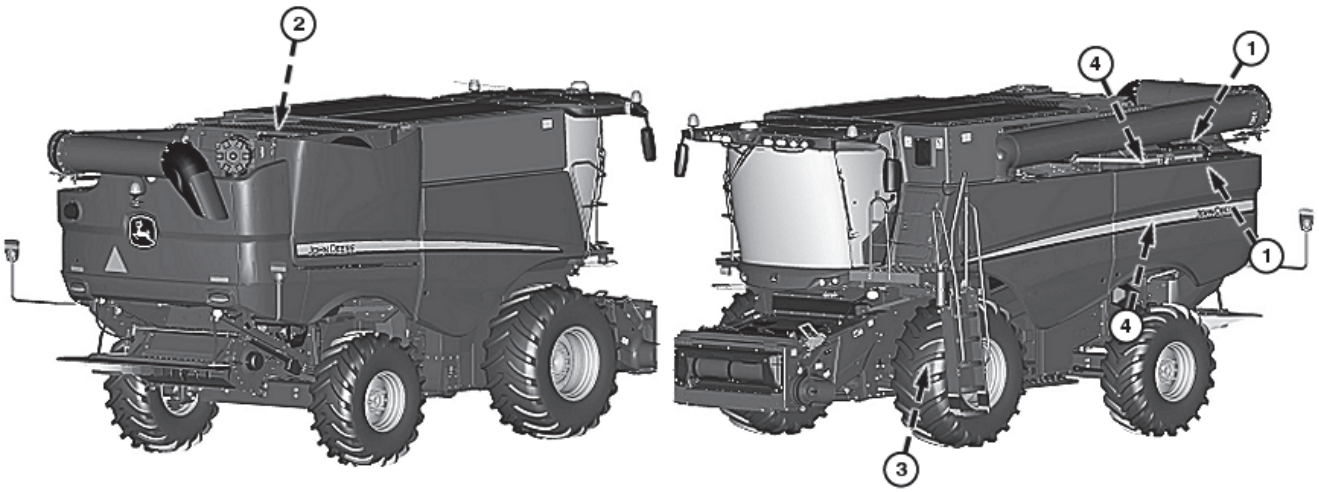
仕様

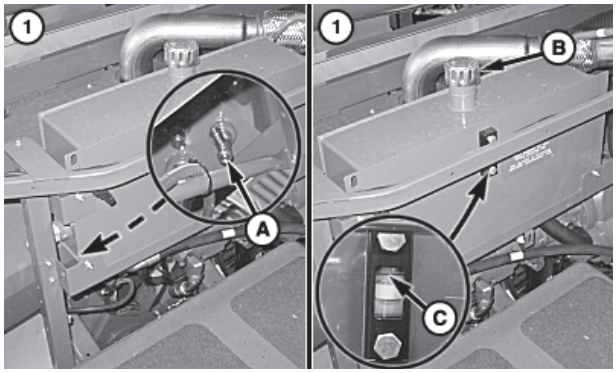
ボルト トルク	7 N•m (62 lb-in)

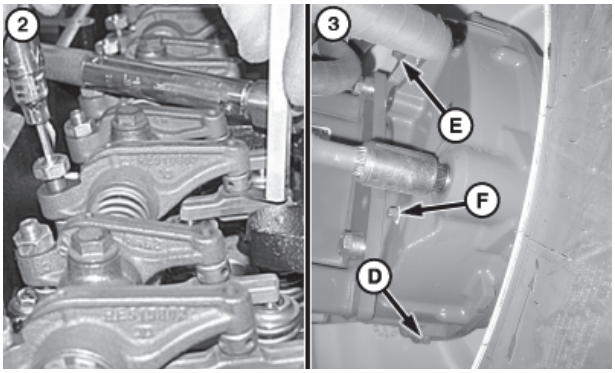
9. ワイヤハーネスをセンサーに接続します。

OUO6075,0001583 -40-20JUN13-1/1

2000 時間ごと (S660、S670)







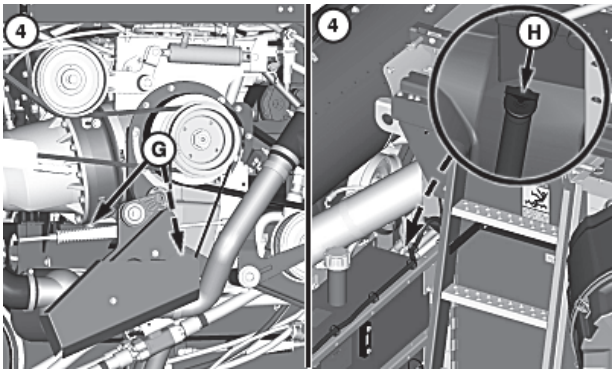
A : ドレンバルブ
B : キャップ
C : 点検窓
D : ドレンプラグ
E : 注入プラグ
F : 点検穴
G : ドレンプラグ
H : ディップスティック

注記：抜き取る前にシステムの汚損を防止するために作動油リザーバー部分を清掃し、オイル容量について「仕様」セクションを参照してください。

1. 作動油／ハイドロスタティックリザーバーオイル：ドレンバルブ (A) を開いてオイルを抜き取ります。オイルが抜き取られたら、バルブを閉めます。キャップ (B) を取り外して、フィーダーハウスを完全に下ろした状態で点検窓 (C) の上部にオイルレベルが達するまでオイルを作動油リザーバーに充填します。

2. エンジンバルブバックラッシュ：必要に応じて、John Deere 取扱店にエンジンバルブバックラッシュの点検と調整を依頼してください。

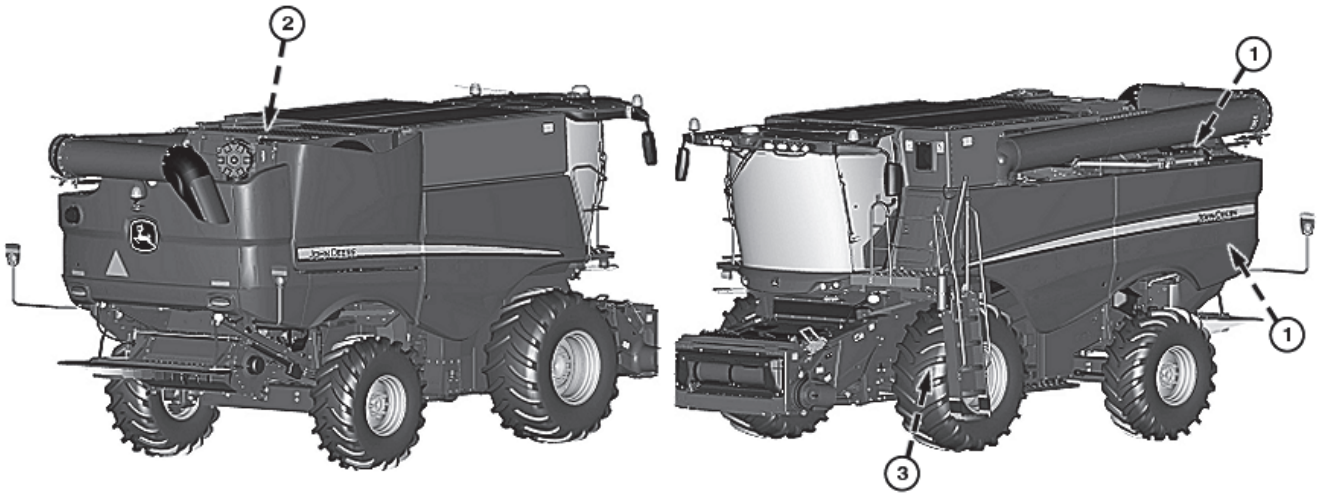
3. ファイナルドライブオイル (両側)：ドレンプラグ (D) を取り外して抜き取ります。注入プラグ (E) を取り外して、底部点検穴 (F) の 12 mm (1/2 in) 以内にオイルレベルが達するまで補給します。

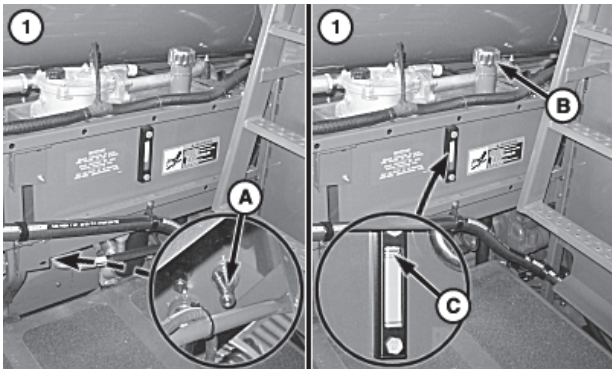


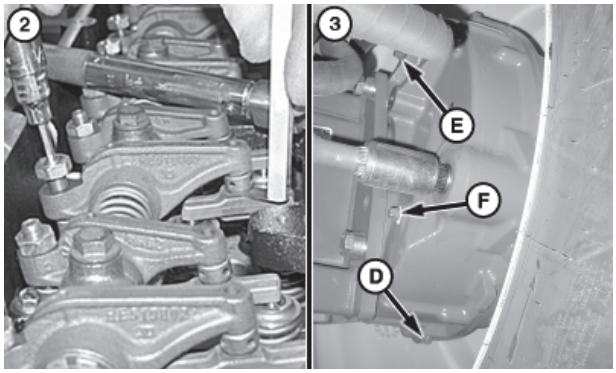
4. メインエンジンギアケースオイル (ProDrive™ 非装備の機械)：プラグ (G) の位置で抜き取ります。オイルを補給してディップスティック (H) でオイルレベルを点検します。

OUO6075,0001584 -40-20JUN13-1/1

2000 時間ごと (S680、S685、S690)







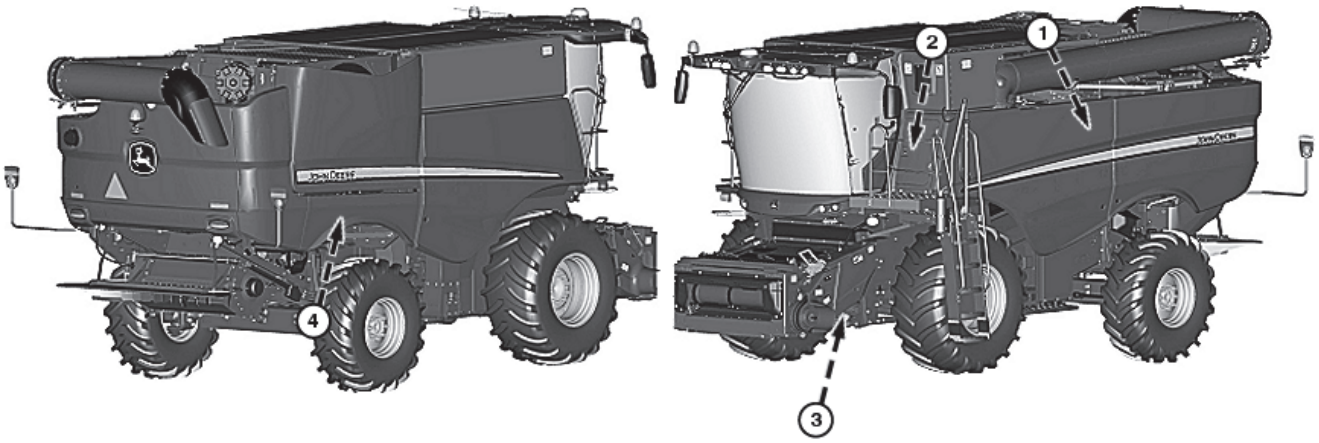
A：ドレンバルブ
B：キャップ
C：点検窓
D：ドレンプラグ
E：注入プラグ
F：点検穴

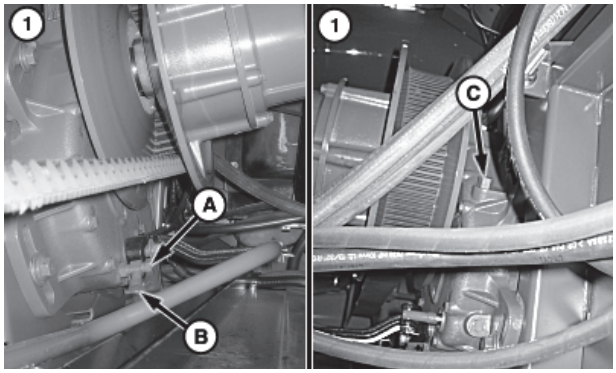
注記：抜き取る前にシステムの汚損を防止するために作動油リザーバー部分を清掃し、オイル容量について「仕様」セクションを参照してください。

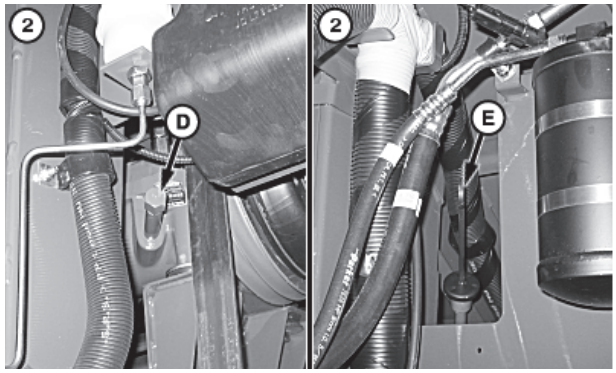
1. 作動油／ハイドロスタティックリザーバーオイル：ドレンバルブ (A) を開いてオイルを抜き取ります。オイルが抜き取られたら、バルブを閉めます。キャップ (B) を取り外して、フィーダーハウスを完全に下ろした状態で点検窓 (C) の上部にオイルレベルが達するまでオイルを作動油リザーバーに充填します。
2. エンジンバルブバックラッシュ：必要に応じて、John Deere 取扱店にエンジンバルブバックラッシュの点検と調整を依頼してください。
3. ファイナルドライブオイル (両側)：ドレンプラグ (D) を取り外して抜き取ります。注入プラグ (E) を取り外して、底部点検穴 (F) の 12 mm (1/2 in) 以内にオイルレベルが達するまで補給します。

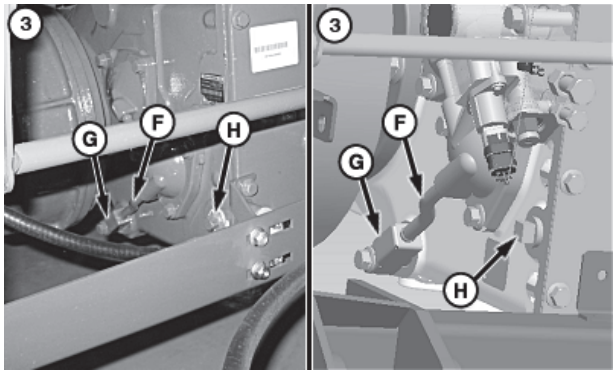
OUO6075,0001585 -40-20JUN13-1/1

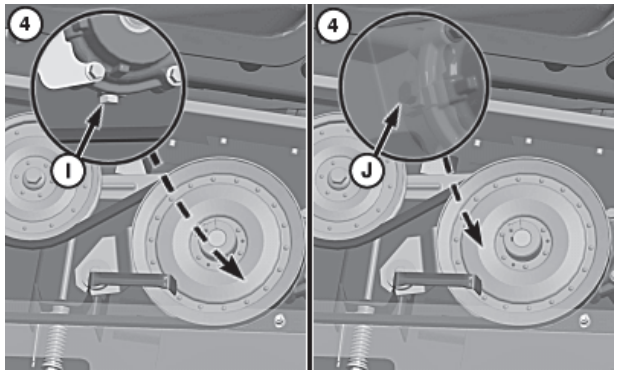
2000 時間ごと











機械式シフト／押しボタンシフト

A : キャップ
B : ドレンバルブ
C : ディップスティック
D : キャップ
E : ディップスティック
F : チューブ
G : ブロック
H : 点検プラグ
I : プラグ
J : プラグ

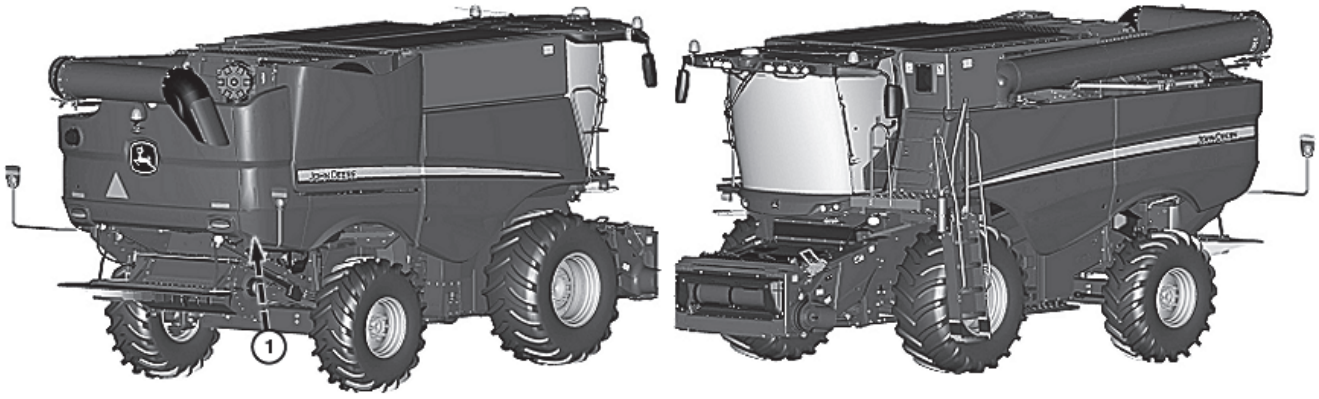
1. セパレータドライブオイル : キャップ (A) を取り外し、ドレンバルブ (B) にホースを接続します。バルブを開いて抜き取ります。必要に応じて、ディップスティック (C) の位置で補給します。
2. プライマリカウンタシャフトギアケースオイル (固定およびバリアブルスピードフィーダーハウス) : キャップ (D) の位置で抜き取り、ディップスティック (E) の位置で補給します。オイルレベルはディップスティックの刻みの部分にある必要があります。

次のページへ

3. トランスミッションオイル：チューブ (F) をブロック (G) からスライドさせて抜きます。ブロックを取り外してオイルを抜き取ります。点検プラグ (H) を取り外し、穴の 12 mm (1/2 in) 以内まで補給します。
4. **S670、S680、S685、S690 機械：**オーバーショットビーターギアケースオイル (オプション)：プラグ (I) の位置で抜き取り、プラグ (J) の位置で補給します。オイルレベルはギアケースの側面のプラグ穴と整列している必要があります。

OUO6075,0001586 -40-20JUN13-2/2

4500 時間ごとまたは 3 年ごと (ファイナル ティア 4／ステージ IV)

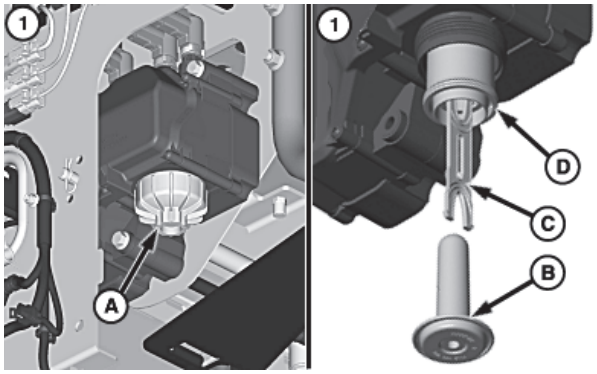


警戒：排ガス処理用尿素水 (DEF) は尿素を含んでいます。フルードが目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。フルードを摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳細な情報については、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

注記：フルードがこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触した場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。フルードは塗装面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

1. 排ガス処理用尿素水 (DEF) ドージングフィルタ：キャップ (A) を取り外して均圧フィルタ (B) を廃棄します。フィルタ工具 (C) を使用し、フィルタ (D) を取り外して廃棄します。フィルタと均圧フィルタを交換します。キャップを取り付けて規定のトルクで締め付けます。「エンジンの整備」「排ガス処理用尿素水 (DEF) ドージングフィルタ：交換」セクションを参照してください。



A：キャップ
B：均圧フィルタ
C：フィルタ工具
D：フィルタ

仕様

キャップ
トルク ..... 20 N•m (177 lb-in)

OUO6075,00014AA -40-08AUG13-1/1

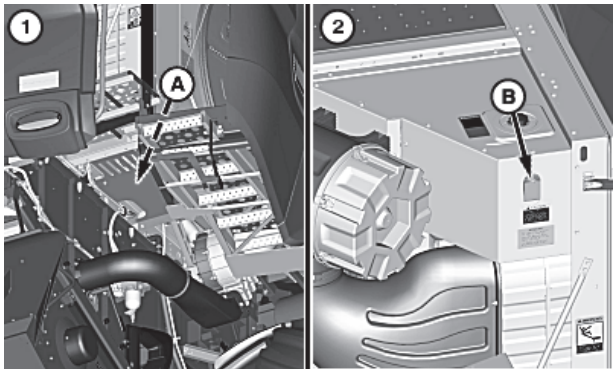
4500 時間または 5 年

重要：バイブレーションダンパーアセンブリは修理できないので、5 年または 4500 時間のいずれか早い時期に交換する必要があります。

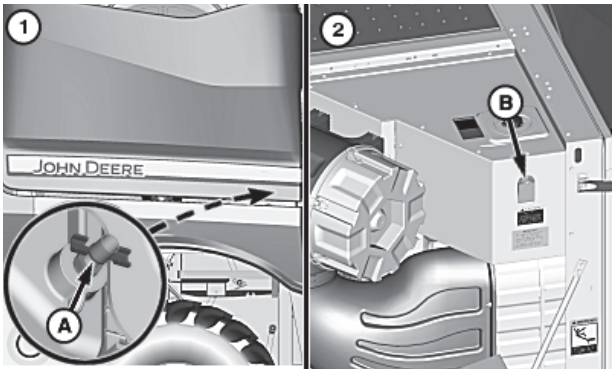
フロントエンジンクランクシャフトダンパーの交換は、John Deere 取扱店に依頼してください。

OUO6075,0000609 -40-19JAN10-1/1

6000 時間または 6 年



S660、S670 ラジエータの抜き取り (ティア 2／ステージ II)



S680、S690 ラジエータの抜き取り (ティア 2／ステージ II)
S660、S670、S680、S685、S690 ラジエータの抜き取り
(インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)

A：抜き取り **B：サージタンク**

注記：COOL-GARD™ II または COOL-GARD™ II PG を使用する場合、交換間隔は 6 年または 6,000 運転時間です。

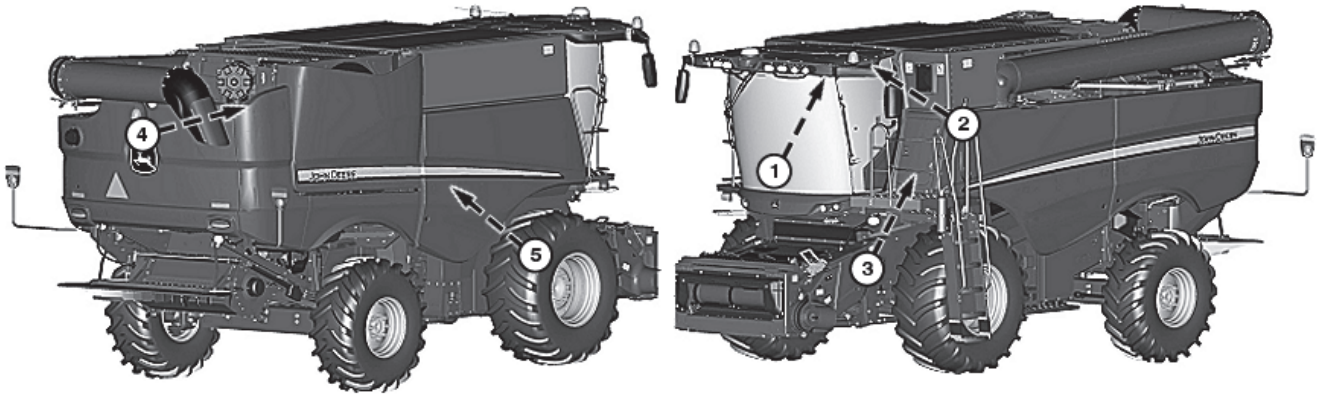
COOL-GARD™ II または COOL-GARD™ II PG 以外のクーラントを使用する場合、交換間隔は 2 年または 2,000 運転時間に短縮されます。

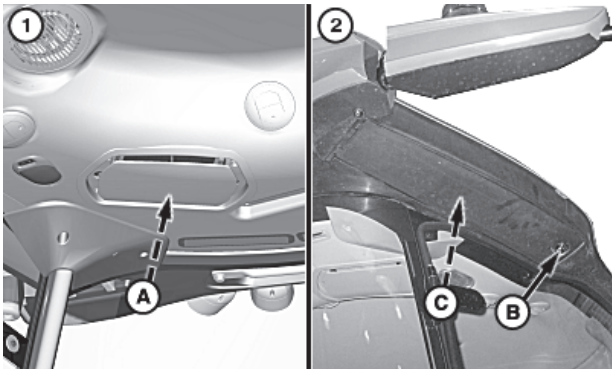
1. ラジエータ：ドレン (A) を開けて、クーラントをラジエータから抜き取ります。
2. サージタンク：正しいクーラントとコンディショナを使用してフラッシングを補給を行います (エンジンの整備」セクションの「冷却システム：抜き取り」セクションおよび「エンジンと潤滑剤」セクションのエンジンクーラントの推奨事項を参照してください)。エンジンが冷めているときにサージタンク (B) でエンジンクーラントレベルを点検します。レベルは「Max Cold」ラインまで達している必要があります。

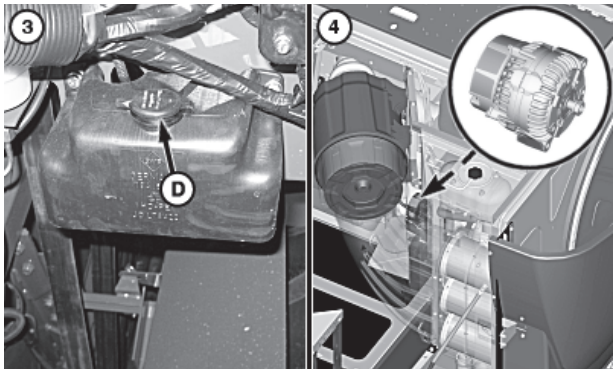
COOL-GARD は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00016EC -40-26NOV13-1/1

必要に応じて



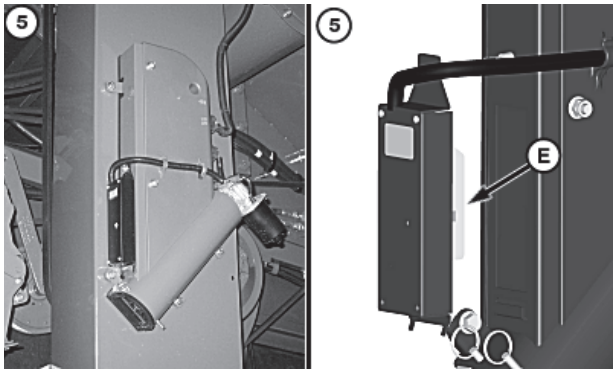




A：内気循環フィルタ
B：ノブ
C：外気フィルタ
D：リザーバーキャップ
E：水分センサーモジュール

1. 内気循環フィルタ：カバーを取り外し、内気循環フィルタ (A) を清掃または交換します。
2. キャビン外気フィルタ：ノブ (B) を回してアクセスカバーを下げます。外気フィルタ (C) を取り外して清掃するか、必要に応じて交換します。
3. ウインドシールドウォッシャリザーバー：キャップ (D) を開き、必要に応じてウォッシャフルードを充填します。
4. オルタネータスクリーン：ごみで 50% 覆われたら、スクリーンを清掃します。

重要：検出プレートに触ったときに、静電気により水分センサーモジュールが破損することがあります。破損しないように、水分センサーモジュールの作業または清掃を行う前に少なくとも片手または腕を機械の金属面に必ず触れてください。



5. 水分センサー：草、緑色作物、または非常に小さい穀物 (アブラナ) を機械で扱っている場合は、水分センサーモジュール (E) を取り外して清掃します。

OUO6075,000134F -40-27NOV12-1/1

フィーダーハウス

兆候	問題	解決方法
作物がローターに不均一にまたはまとまって供給される	ヘッダーオーガが高すぎる。	オーガを下および後に調整します。ヘッダーのオペレータマニュアル参照。
	カッターバーに穀粒が堆積している。	リールを下げ、可能な限りカッターバーとオーガに近づけて前後位置を設定します。プラットフォームのオペレータマニュアル参照。
	ドラムアームが片側のサイドシートに拘束されている。	チェーンを緩めてもう一度張ります。曲がっている部品をまっすぐにするか、交換します。
	フィーダーコンベアチェーンがきつすぎてドラムを持ち上げている。	コンベアチェーンを正しい張力に調整します。
	ヘッダードライブベルトが滑る。	スプリング付きアイドラは自由に回転し、ベルトに対して緊密に張っている必要があります。
	オーガがストリッパの先にありすぎる。	オーガを調整してストリッパ側に戻します。ヘッダーのオペレータマニュアル参照。
	フィーダーコンベアドライブチェーンが正しいスプロケットにかみあっていない。	チェーンを正しいスプロケットに配置します。
	フィーダーコンベアスラットが曲がっている。	曲がっているスラットを曲がっている部品をまっすぐにするか、交換します。
	フィーダーハウス底部にごみや樹液が溜まっている。	底部を清掃します。
	プラットフォームオーガとフィーダーハウスフロントドラムの間の距離が大きすぎる。	フィーダーハウスチェーンにリンクを追加します。
ヘッダーまたはリールが正しく持ち上がらない	油圧システム内に空気がある。	漏れているラインやホースのクランプを締め付けます。リールリフトシステムのエア抜きを行います。プラットフォームのオペレータマニュアル参照。

OUO6075,0000B5B -40-02MAR11-1/1

セパレータ

兆候	問題	解決方法
セパレータの動きが緩慢または過負荷	シングルタインセパレータのバリアブルドライブベルトが低速で滑っている。	シーブ隙間を調整します。
	セパレータ回転数が作物に対して遅すぎる。	セパレータ回転数を増やします。
フィードアクセルレータの逆送り	セパレータ回転数が作物に対して遅すぎる。	セパレータ回転数を増やします。
	アクセルレータ速度が低速位置にある。	アクセルレータ速度を高速位置にします。
穀粒が脱穀されない	セパレータ回転数が作物に対して遅すぎる。	セパレータ回転数を 50～100 rpm 単位で増やします。セパレータ回転数を調整した後、穀粒の品質を点検します。
	コンケーブクリアランスが広すぎる。	脱穀隙間を 5～10 mm 単位で締め付けます。脱穀隙間を調整した後、穀粒品質を点検します。
	前後でコンケーブクリアランスが均一ではない。	仕様に調整します。詳細については、「セパレータ」セクションの「コンケーブの水平調整」参照。
	適切な脱穀が行われる程度に材料がコンバインに入っていない。	対地速度を増やします。
亀裂が入った穀粒がタンクで多すぎる	セパレータ回転数が作物に対して速すぎる。	セパレータ回転数を 10 rpm 単位で減らします。
	コンケーブクリアランスがきつすぎる。	脱穀隙間を 2 mm 単位で広げます。
	フィードビーター速度が作物に対して速すぎる。	低速に切り替えてフィードアクセルレータ速度を減らします。
	2 番物の穀粒が多すぎる。	2 番物を減らすためにふるいを 2 mm 単位で広げます。
	十分な材料が機械に入っていない。	対地速度を増やします。
	アクティブ 2 番物システム (装備されている場合) のコンケーブ位置が不適切に設定されている。	アクティブ 2 番物システムのコンケーブ位置を設定します。詳細については、「作物の設定」セクション参照。
セパレータ穀粒ロス	不完全な脱穀またはコンケーブでの脱穀の遅れによるセパレータの過負荷。	セパレータとコンケーブの間隔を減らす、およびセパレータ回転数を増やして脱穀作用を増やすまたはそのどちらかを実施します。
	セパレータカバーが取り付けられている。	詳細については、「作物の設定」セクション参照。 カバーを取り外して解放部分を増やすと同時に均一のシュー負荷を維持します。
	セパレータ トップカバー羽根 (装備されている場合) が Advanced (進み側) 位置にある。	羽根を標準位置に移動します。詳細については、「CommandCenter ディスプレイ画面」セクション参照。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
グレインタンクが汚れている (未脱穀の穂により)	セパレータの脱穀が不十分。	セパレータ回転数を 50～100 rpm 単位で増やします。
		脱穀隙間を 2 mm 単位で減らします。
		コンケーブレベルを点検します。詳細については、「セパレータ」セクションの「コンケーブの水平調整」参照。
		アクティブ 2 番物システム装備の機械：最初のコンケーブにコンケーブカバーを取り付けます。
		アクティブ 2 番物システム非装備の機械：2 番目のコンケーブにコンケーブカバーを取り付けます。
		コンケーブインタラプタを最初のコンケーブに追加します。
	アクティブ 2 番物システム (装備されている場合) のコンケーブ位置が不適切に設定されている。	収穫している作物に対してアクティブ 2 番物システムのコンケーブ位置が正しいことを確認します。
		アクティブ 2 番物システムのコンケーブ位置のゼロ位置が正しいか点検します。詳細については、「セパレータ」セクションの「2 番物システム摩耗ストリップとやすりバー：調整」参照。
グレインタンクの汚れ (ほとんどが籾殻)	ファン回転数が遅すぎる。	ファン回転数を速くします。
	残留物システムの作物ダイバータドアの位置が正しくない。	ドア位置が収穫される作物に合っていることを確認します。
グレインタンクの汚れ (穂軸の小片)	グレインタンクに破損した穂軸の断片がある。	注記：スペーサはトウモロコシや大豆のみに使用する必要があります。他のすべての作物でスペーサを取り外します。
		セパレータ格子スペーサを取り付けます。
	脱穀隙間を点検します。隙間が未加工の穂軸の径よりも小さい場合、ローターによって穂軸が砕けます。	注記：2 番物システムをアクティブにしている機械では、スペーサを 4 番目の格子に取り付けないことが必要です。
		セパレータ格子スペーサを取り付けます。
チャファー／ふるいエレメントの損傷	作物ダイバータドアの位置が正しくない。	ドア位置が収穫される作物に合っていることを確認します。
クリーニングシューでの穀粒ロス	チャファー／ふるい隙間が正しくない。	チャファー／ふるい隙間を点検および較正します。
	クリーニングシュー上の籾殻／穀粒の分布が正しくない。	必要に応じて、セパレータ格子のブランクとオーガベッドディバイダーを調整します。詳細については、「作物の設定」セクションの「電源の遮断手順」参照。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
VisionTrak パフォーマンスモニタが読み取っていない	クリーニングシューロスが低供給レートで増加する。	ファン回転数を下げます。
	クリーニングシューロスが高供給レートで増加する。	チャファーを開きます。
		ファン回転数を速くします。
	センサーが読み取っていない。	作物感度設定を点検します。
		センサーが接続されていることを確認します。
		センサーが物質により遮断されていないか点検します。
わら品質不良	材料の取り扱い量が過剰。	ローター回転数を下げて脱穀隙間を増やし、わら品質を向上させて脱穀性能のバランスを取ります。
		材料処理速度 (フィーダーハウスとフィードアクセルレータ) を減らしてわら品質と材料処理性能のバランスを取ります。
		セパレータトップカバー羽根 (装備されている場合) を進めます。 詳細については、「CommandCenter ディスプレイ画面」セクション参照。

OUO6075,0000B6A -40-07APR11-3/3

ハイドロスタティックグラウンドドライブ

兆候	問題	解決方法
速度レンジセレクターが後退に入らない (ProDrive™ 非装備の機械)	コントロールリンケージの部品の曲りまたは破損。	必要に応じて修理または交換します。
リンケージの固着 (ProDrive™ 非装備の機械)	コントロールケーブルのボールジョイントの凍結または摩耗。	潤滑または交換します。
	ベルクランクまたはピボットの固着。	潤滑または交換します。
	コントロールケーブルのねじれまたは凍結。	必要に応じて交換します。
システムがオーバーヒートする	オイルクーラーまたはラジエータの詰まり。	コアを通して空気を吹き付けて清掃します。
	チャージオイルフローの不足。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エンジンファンベルトの滑りまたは破損。	摩耗または破損したベルトがないか点検します。
	オイルフィルタの詰まり	フィルタを交換します。
	リリーフバルブ圧力の超過。	低いギアにシフトします。
	リリーフバルブが閉状態で固着している。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	バイパスバルブが閉じない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
オイルの損失が大きい	接続の緩み、油圧ライン、ホース、O リングの漏れ。	接続を締め付けるか、損傷しているライン、ホース、O リングを交換します。
	オイルがメインエンジンギアケース内に漏れている (ProDrive™ 非装備の機械)。	ハイドロスタティックポンプのシャフトシールを交換します。
	オイルがメインエンジンギアケース内に漏れている (ProDrive™ 装備の機械)。	ハイドロスタティックモーターのシャフトシールまたはトランスミッションのパーキングブレーキシールを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	トリプルポンプシールの摩耗または損傷 (ProDrive™ 非装備の機械)	バルブスタックポンプとステアリングポンプの間のトリプルポンプキャビティを点検します。両方のポンプキャビティにオイルがあってはなりません。ポンプキャビティセクションにオイルが見つかった場合は、両方のポンプを交換する前にバルブスタックポンプとステアリングポンプのポンプシャフトシールを交換します。
	クアドラプルポンプシールの摩耗または損傷 (ProDrive™ Machines)。	バルブスタックポンプと ProDrive™ 潤滑油供給ポンプの間のクアドラプルポンプキャビティを点検します。両方のポンプキャビティにオイルがあってはなりません。ポンプキャビティセクションにオイルが見つかった場合は、両方のポンプを交換する前にバルブスタックポンプと ProDrive™ 潤滑油ポンプのポンプシャフトシールを交換します。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
機械が前進または後退しない	トランスミッションのギアが外れている (ProDrive™ 装備の機械)。	トランスミッションをシフトします。
	システムがグラウンドドライブの故障を検出した (ProDrive™ 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルの不足。	漏れがないか点検して修理します。リザーバーに補充します。
	システムの空気漏れ。	接続部を締め付けます。
	コントロールリンケージの破損または緩み (ProDrive™ 非装備の機械)。	緩んでいるリンケージを締め付けるか、必要に応じて交換します。
	チャージフローまたはチャージ圧力の不足。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フィルタの詰まり。	フィルタを交換します。
	最大使用圧力設定を超過している (ProDrive™ 非装備の機械)。	低いギアにシフトします。
	最大使用圧力設定を超過している (ProDrive™ 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ドライブシステムで圧力が高くならない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	リリーフバルブが開いている。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
走行速度が安定しない	オイル低下。	漏れがないか点検して修理します。リザーバーに補充します。
	フィルタの詰まり。	ハイドロスタティックチャージフィルタを交換します。
	最大使用圧力設定を超過している (ProDrive™ 非装備の機械)。	低いギアにシフトするか、四輪駆動に切り替えます。
	最大使用圧力設定を超過している (ProDrive™ 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	マルチファンクションレバーがニュートラルに向って動く。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	システムがチャージ圧力を維持できない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
速度レンジセレクターがニュートラル位置のときに機械が停止しない (ProDrive™ 非装備の機械)	コントロールケーブルが調整範囲外。	ニュートラル位置のケーブルを調整します。
出力の不足または出力の損失 機械が速度レンジセレクターに応答していない	オイルの不足。	漏れがないか点検して修理します。リザーバーに補充します。
	フィルタの詰まり。	ハイドロスタティックチャージフィルタを交換します。
	チャージフローまたはチャージ圧力の不足。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
	燃料フィルタの汚れ。	燃料フィルタを交換します。
	セパレータボウル内に水が溜まっている。	ウォーターセパレータボウルから水を抜きます。
	ドライブシステムで圧力を維持できない、または圧力が高くならない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	システムがグラウンドドライブの故障を検出した。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,0001006 -40-23MAY13-3/3

四輪駆動 (オプション)

兆候	問題	解決方法
四輪駆動に切り替えたときに機械が動かない	片側または両方の後輪がスピンしている。	マルチファンクションレバーを前方に動かして、ハイドロスタティックポンプフローを増やします。
	コンソールの電気制御スイッチの不良。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	コントロールバルブのソレノイドバルブの不良。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	コントロールバルブのスプールが動かない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
四輪駆動を解除したときに機械が動かない	メインシステムと後輪ドライブコントロールバルブの間のラインまたは接続の故障。	必要に応じて部品を修理または交換します。
四輪駆動が解除されない	コンソールの電気制御スイッチの不良。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	コントロールバルブのソレノイドバルブの不良。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	コントロールバルブのスプールが動かない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
輸送速度中の後輪のふらつき	トーインが調整を外れている。	トーインを調整します。

OUO6075,0000AEF -40-14APR11-1/1

ステアリング

兆候	問題	解決方法
輸送速度中の後輪のふらつき	トーインが調整を外れている。	トーインを調整します。
ステアリングアームが据え切り時にストップに接触しない	ステアリングシリンダが調整範囲を外れている。	シリンダを調整します。
ステアリングが固い	エンジンギアケースリザーバーのオイルレベルが低い。	オイルを追加します。

OUO6075,0000B30 -40-09AUG07-1/1

ブレーキ

兆候	問題	解決方法
ブレーキペダル圧力のスポンジ感	ブレーキフルードレベルが低い (ProDrive 装備の機械)。	ブレーキフルードを追加します。
	ブレーキペダルプッシュロッドが調整範囲を外れている (ProDrive 装備の機械)。	ブレーキペダルプッシュロッドの薄ナットを調整します。
	空気がシステムに混入している。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ブレーキパワーの損失	ライニングの鏡面摩耗 (ProDrive 非装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	圧力が不適切 (ProDrive 機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ライニングの摩耗。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
パーキングブレーキが保持していない	パーキングブレーキが正しく調整されていない (ProDrive 非装備の機械)。	パーキングブレーキを調整します。
	スプリング力の不足 (ProDrive 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ライニングの鏡面摩耗 (ProDrive 非装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ブレーキライニングの摩耗 (ProDrive 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	機械を動かせるように機械が手動オーバーライドされている (ProDrive 装備の機械)。	トランスミッションからボルトを取り外します。

OUO6075,00000F7 -40-29APR08-1/1

エンジン

兆候	問題	解決方法
エンジンがクランクしない	バッテリの消耗	バッテリを充電するか、交換します。
	バッテリ接続の腐食またはゆるみ	バッテリ端子と接続を清掃します。
	メインスイッチまたは始動用安全スイッチの故障	必要に応じてスイッチを修理します。
	スタータソレノイドの不具合	ソレノイドを交換する。
	スタータの故障	スタータを交換します。
エンジンが始動しにくい、または始動しない	始動システムの問題	始動システムにエンジンを始動するほどの動力がない 「エンジンがクランクしない」の手順を実行します。
	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	クランキング速度が遅い	充電／始動システムに問題がないか点検します。
	クランクケースオイルの粘度が高すぎる	クランクケースオイルを抜き取り、適切な粘度のオイルと交換します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジンが点火しない、または作動状態が不規則	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジン出力の不足	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	燃料フィルタの目詰まり	燃料フィルタを交換します。
	エンジン過負荷	エンジン負荷を軽減します。
	クランクケースオイルが不適切	クランクケースオイルを抜き取り、適切な粘度のオイルと交換します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	アクティブな診断トラブルコードによりエンジンがディレーティングされている	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エグゾーストフィルタクリーニングが必要なため、エンジンがディレーティングされている	エグゾーストフィルタを自動クリーニングモードにし、手動エグゾーストフィルタクリーニングを要求します。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
エンジンが黒または灰色の煙を排出	エンジン過負荷	エンジン負荷を軽減します。
	燃料の種類が不適切	適切な燃料を使用します。
	エアクリーナの詰まりや汚れ	必要に応じてエアクリーナエレメントを交換します。
	マフラーや排気管の不具合 (背圧の生成)	マフラーや不良な排気管を交換します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フューエルインジェクタの汚れ	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	高圧燃料ポンプのタイミングずれ	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ターボチャージャが機能していない	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エグゾーストフィルタの亀裂や損傷	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジンからの白煙の排出	エンジンコンプレッションが低すぎる	低コンプレッションの原因を特定し、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	燃料の種類が不適切	適切な燃料を使用します。
	エンジン温度が低い	エンジンを通常の使用温度まで暖機します。
	サーモスタットの故障	サーモスタットをテストし、必要に応じて交換します。
	燃焼室へのクーラントの侵入 (シリンダヘッドガスケットの不具合またはシリンダヘッドの亀裂)	必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フューエルインジェクタの不具合	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	高圧燃料ポンプのタイミングずれ	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジンのアイドリングの不具合	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	吸気システムの吸引側の空気漏れ	ホースやパイプの締りを点検し、必要に応じて修理します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
過度の燃料消費量	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	エンジン過負荷	エンジン負荷を軽減します。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
	エアクリーナの詰まりや汚れ	必要に応じてエアクリーナエレメントを交換します。
	コンプレッションが低すぎる	低コンプレッションの原因を特定し、必要に応じて修理します。
	燃料供給システムの漏れ	漏れている箇所を探し、必要に応じて修理します。
	燃料の種類が不適切	適切な種類の燃料を使用します。
	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	バルブクリアランスの不良	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フューエルインジェクタの不具合	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	高圧燃料ポンプのタイミングずれ	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ターボチャージャの作動の不具合	ターボチャージャを点検します。 John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エンジン温度が低い	サーモスタットを点検します。
オイル内の燃料	シリンダヘッドの亀裂	亀裂を探し、必要に応じて部品を修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	電子ユニットインジェクタ O リングの亀裂や摩耗	疑わしい電子ユニットインジェクタを取り外して、必要に応じて O リングを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
燃料圧力が低い	燃料フィルタの目詰まり	燃料フィルタを交換します。
	燃料ラインの詰まり	詰まりを探し、必要に応じて修理します。
	燃料供給ポンプの故障	燃料供給ポンプを取り外し、必要に応じてポンプを修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
燃料への空気の混入	電子ユニットインジェクタ保持クランプの緩み	保持クランプのボルトを適切なトルクで締め付けます。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	電子ユニットインジェクタ O リングの亀裂や摩耗	疑わしい電子ユニットインジェクタを取り外して、必要に応じて O リングを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
油圧が低い	クランクケースのオイルレベルが低い	クランクケースに適切なオイルレベルまで充填します。
	クランクケースのオイルレベルが高すぎる	クランクケースに適切なオイルレベルまで充填します。
	圧力センサーの不良	センサーを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
	オイルクーラーやフィルタの目詰まり	オイルクーラーを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	過度のオイル温度	オイルクーラーを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルポンプの不具合	オイルポンプを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	不適切なオイル	クランクケースから抜き取り、適切なオイルを補充します。
	圧力調整バルブの故障	オイル圧力調整バルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンの噴霧ノズルの破損	ピストンの噴霧ノズルを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルポンプスクリーンの目詰まり、またはピックアップチューブの亀裂	オイルパンを取り外して、スクリーンを清掃するか、ピックアップチューブを交換します。
	過度のメインベアリングまたはコンロッドベアリングのクリアランス	ベアリングのクリアランスを確認します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
油圧が高い	オイルの等級が不適切	クランクケースから抜き取り、適切なオイルを補充します。
	圧力センサーの不良	センサーを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイル圧力調整バルブのブッシングの緩み (ゆらぎ)	オイル圧力調整バルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	調整バルブの動作不良	オイル圧力調整バルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンの噴霧ノズルの詰まり	ピストンの噴霧ノズルを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フィルタバイパスバルブの固着や損傷	フィルタバイパスバルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルクーラーバイパスバルブの固着や損傷	オイルクーラーバイパスバルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
過度のオイル消費量	クランクケースオイルの粘度が低すぎる	クランクケースから抜き取り、適切な粘度のオイルを補充します。
	クランクケースのオイルレベルが高すぎる	オイルを適正なレベルになるまで抜きます。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
	外部のオイル漏れ	オイル漏れの原因を確認し、必要に応じて修理します。
	オイルコントロールリングがはまっていない	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルコントロールリングの磨耗または破損	ピストンリングを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	シリンダライナーまたはピストンのかじり	シリンダやライナーを取り外して点検し、必要に応じて交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	バルブガイドまたはステムの磨耗	バルブステムやバルブガイドを点検して測定し、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	過度な油圧	このセクションで前述の「油圧が高い」を参照してください。
	ピストンリンググルーブが非常に磨耗している	ピストンを取り外して点検します。 John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンリングがリングの溝に固着している	ピストンを取り外して点検します。 John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンピストン張力が不十分	ピストンを取り外して点検します。 John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンリングの隙間が交互になっていない	ピストンを取り外して点検します。 John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フロント／リアクランクシャフトオイルシールの不具合	オイルシールを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジン異音 [1]	メインベアリングまたはコンロッドベアリングの摩耗	ベアリングのクリアランスを確認します。 John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	クランクシャフトの過度の軸方向の遊び	クランクシャフトの軸方向の遊びを点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	メインベアリングキャップの緩み	ベアリングのクリアランスを点検し、必要に応じてベアリングとベアリングキャップ取り付けボルトを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	コンロッドブッシングとピストンピンの摩耗	ピストンピンとブッシングを点検します。 John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンのかじり	ピストンを点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	タイミングギアの摩耗または過大なバックラッシュ	タイミングギアのバックラッシュを点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
	過大なバルブクリアランス	クリアランスを点検、調整します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	カムシャフトローブの摩耗	カムシャフトを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ロッカーアームシャフトの摩耗	ロッカーアームシャフトを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エンジンの潤滑が不十分	このセクションで後述の「潤滑システムのトラブルシューティング」参照。
	ターボチャージャ異音	このセクションで後述の「吸気システムのトラブルシューティング」参照。
ターボチャージャの「ヒューヒュー音」	インテークマニホールドの空気漏れ	インテークマニホールドガスケットとマニホールドを点検し、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ターボチャージャの異音または振動 [1]	ベアリングが潤滑されていない (油圧不足)	潤滑不足の原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エンジンのインテークトマニホールドまたはエグゾーストマニホールドの空気漏れ	インテークマニホールドガスケットとエグゾーストマニホールドガスケットを点検し、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	タービンホイールとタービンハウジング間のクリアランスが不適切	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ブレードの破損 (または他のホイールの不具合)	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ターボチャージャコンプレッサホイール上またはコンプレッサハウジング内のオイル (センターハウジングからのオイル漏れ)	クランクケース圧力過大	クランクケース圧力過大の原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	吸気量制限	吸気が滞っている原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ドレンチューブの詰まり	ドレンチューブの詰まりの原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
インテークマニホールド内のオイルまたはターボチャージャハウジングからの漏れ	クランクケース圧力過大	クランクケース圧力過大の原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	吸気量制限	吸気が滞っている原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
	ドレンチューブの詰まり	ドレンチューブの詰まりの原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ハウジングベアリングの損傷または摩耗	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	回転アセンブリのバランス欠如	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	タービンまたはコンプレッサのホイールやブレードの損傷	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ホイールやブレードに泥やカーボンがたまる	吸気の漏れ (エアフィルタ以降) を点検します。ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ベアリングの摩耗	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイル不足または潤滑が不十分	潤滑不足の原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	シャフトシールの摩耗	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ターボチャージャのタービンホイールの引きずり跡	コークス化したオイルまたは燃焼かすが原因でタービンホイールの裏にカーボンがたまる	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	吸気漏れが原因でコンプレッサホイールの裏に泥がたまる	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ベアリングの焼き付き、汚れ、摩耗	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジンのオーバーヒート	エンジン過負荷	エンジン負荷を軽減します。
	クーラントレベルが低い	冷却システムに適切なレベルまで充填し、ラジエータやホースに接続の緩みや漏れがないか点検します。
	サージタンクキャップの故障	必要に応じてサージタンクキャップを交換します。
	ファンベルトの緩みや不具合	必要に応じてファンベルトを交換します。ベルトテンショナを点検します。

次のページへ

兆候	問題	解決方法
	エンジンオイルレベルが低い。	オイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加します。
	冷却システムのフラッシングが必要。	冷却システムをフラッシングします。
	サーモスタットの故障	必要に応じて、サーモスタットを取り外して点検します。
	温度計またはセンダーの故障	クーラント温度を温度計で点検し、必要に応じて交換します。
	燃料の等級が不適切	適切な等級の燃料を使用します。
	ラジエータコアの汚れ	必要に応じてラジエータを清掃します。
	クランクケースのオイルレベルが低すぎる	クランクケースに適切なオイルレベルまで充填します。
	シリンダヘッドガスケットの損傷	シリンダヘッドガスケットを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ウォーターポンプの故障	ウォーターポンプを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
クランクケース内のクーラント	シリンダヘッドガスケットの不具合	シリンダヘッドガスケットを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	シリンダヘッドまたはブロックの亀裂	亀裂を探し、必要に応じて部品を修理または交換します。
	シリンダライナーのシールの漏れ	シリンダライナーを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルクーラーの漏れ	オイルクーラーの圧力テストを行い、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルクーラー O リングの不具合	オイルクーラー O リングを取り外して点検し、必要に応じて交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ウォーターポンプシールの不具合、水抜き穴の目詰まり、ベアリングからのクーラントの漏れ	ウォーターポンプシールを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
クーラント温度が通常より低い	サーモスタットの故障	サーモスタットをテストし、必要に応じて交換します。

[1] 注記：可変ジオメトリターボチャージャがエンジンの始動後に再循環して、エンジンで瞬間的に回転音が発生します。これは正常です。走行中に聞こえる、ベアリング故障を示すうなり音と混同しないでください。

OUO6075,0000C98 -40-20JUN11-8/8

電気

兆候	問題	解決方法
充電不足	追加の付属品による過度な電気負荷	付属品を取り外すか、出力の高いオルタネータを取り付けます。
	エンジンのアイドリングが過度	電気負荷が重い場合は、エンジン回転数を増やします。
	バッテリ、接地ストラップ、スタータ、またはオルタネータの電気接続不良	点検して、必要に応じて清掃します。
	バッテリの故障	バッテリをテストします。
	オルタネータの故障	充電システムをテストします。
バッテリで使用する水が多すぎる	バッテリケースの亀裂	水分を点検し、必要に応じて交換します。
	バッテリの充電率が高すぎる	充電システムをテストします。
バッテリが充電されない	接続の緩みまたは腐食。	清掃して接続を締め直します。
	バッテリの硫化または劣化	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ベルトの伸びまたはベルトテンショナの不具合	ベルト張力を調整するか、ベルトを交換します。
スタータがかからない	エンジン駆動系統がかみ合っている	エンジン駆動系統を外します。
	接続の緩みまたは腐食	接続部を清掃し、緩い部分を締め付けます。
	バッテリ出力電圧が低いか、バッテリが充電されていない	バッテリを充電するか、交換します。
	始動回路リレーの不具合	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換します。
		バッテリ端子と接続を清掃します。
	メインスイッチまたは始動用安全スイッチの故障	必要に応じてスイッチを修理します。
	スタータソレノイドの不具合	ソレノイドを交換する。
	スタータの故障	スタータを交換します。
スタータのクランキングが遅い	バッテリ出力が低い	バッテリを充電します。
	クランクケースオイルの粘度が高すぎる	適切な粘度のオイルを使用します。
	接続の緩みまたは腐食	接続部を清掃し、緩い部分を締め付けます。
電気システム全体が機能しない	バッテリ接続の不具合	清掃して接続を締め直します。
	バッテリの硫化または劣化	バッテリーを交換します。
	ヒューズ切れ	ヒューズを交換します。

OUO6075,0000C99 -40-20JUN11-1/1

ヒーター

兆候	問題	解決方法
ヒーターで温かい空気が吹き出されない。	内気循環フィルタの汚れ	フィルタを清掃します。
	サーモスタットがウォーターアウトレットマニホールドにない	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ウォーターアウトレットマニホールドのサーモスタットの故障	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ヒーター温度コントロールの故障	コントロールを交換します。
	ヒーターホースのねじれ。ヒーターバルブの故障	まっすぐにするか、交換します。バルブを交換します。

OUO6075,0000B24 -40-14MAR07-1/1

エアコン

兆候	問題	解決方法
冷房不足または不十分	温度コントロールが OFF 位置にある。	エアコン位置を選択します。
	コンプレッサベルトベルトの外れまたは破損。	ベルトを交換します。
	コンプレッサが機能していない (左アクセスパネルの大きいホースと小さいホースが同じ温度である)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	温度コントロールが応答していない (温度ドアの破損により暖かい空気が流れている)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	低圧警告 (システムの冷媒が失われている)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	高圧警告 (システムに過剰に充填されている)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
コンプレッサクラッチのオンオフが激しいまたはコンプレッサが最長 15 分間 OFF のままになっている	エバポレータの着氷。	コントロールを正しく調整します。「CommandTouch ひじかけコンソール」セクション参照。ルーバーを開きます。フィルタを清掃します。コントロールをより暖かい設定に動かします。
キャビンで異臭がする (嫌なにおい)	ドレンチューブの詰まり。フィルタの汚れ。キャビンの汚れ。	凝縮水チューブを空気で吹き飛ばして、エバポレータの下のパンを清掃します。フィルタを清掃します。キャビンに掃除機をかけます。
		凝縮水ドレンチューブに水抜きバルブが取り付けられていることを確認します。

OUO6075,0000A6E -40-02NOV10-1/1

水分センサー (装備されている場合)

兆候	問題	解決方法
湿気が多すぎる	緑色植物の樹液や雑草種子が水分センサープレートの上に溜まっている。	水分センサープレートを清掃します。
水分が一貫して高いまたは低い	水分補正を調整する必要がある。	水分補正を変更します。
水分が変化しないまたは一貫して低い	センサーがさえぎられている。	エレベーターマウントユニットを点検し、必要に応じて清掃します。
水分の読み値が不正確	正しくない作物が選択されている。	正しい作物を選択します。
	水分センサーが調整範囲を外れている。	水分補正を変更します。
水分が常にゼロ	記録の問題。	収穫中に、記録ステータスがオンになっているかを点検します。

OUO6075,0000A75 -40-03NOV10-1/1

質量流量センサー (装備されている場合)

兆候	問題	解決方法
収量が一定して高すぎるまたは低すぎる	システムが較正範囲外。	収量較正を変更します。
	ヘッダー幅が正しくない。	ヘッダー幅を変更します。
	正しくない作物が選択されている。	正しい作物を選択します。
	インパクトプレートへのごみ、泥、屑の付着。	インパクトプレートを清掃します。
収量ゼロ	対地速度なし。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	クリーングレインエレベーター速度が低すぎる。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	記録の問題。	収穫中に、記録ステータスがオンになっているかを点検します。

OUO6075,0000A76 -40-03NOV10-1/1

保管のための機械の準備

コンデンサとオイルクーラーを外側に旋回させて、ラジエータを圧縮空気、水、掃除機で清掃します。

ラジエータを清掃した後、コンデンサとオイルクーラーを清掃します。チャージャエアクーラーを清掃します。

60～90 日ごとにエンジンを始動してエアコンを ON にします。エンジンをローアイドルで数分間運転してコンプレッサシールの潤滑を確保します。エアコンが適切に作動するには、外気温が 5°C (40°F) よりも高い必要があります。

安全な溶剤でエンジンの外側を清掃します。

警戒：ガソリンは使用しないでください。

エアクリーナの内側を清掃して、新品のエレメントを取り付けます。

エンジンが暖かいときにクランクケースのオイルを抜き取ります。フィルタを交換し、正しいオイルを充填します。腐食防止剤 0.66 L (22 oz) をクランクケースに追加します。エンジンを運転して循環させます。

冷却システムから抜き取り、フラッシングして不凍液と水の 50/50 の混合液を補給します。

重要：車両での長期間の (6 か月以上) 保管は推奨されません。長期間の保管が必要な場合は、排ガス処理用尿素水 (DEF) を定期的に検査して尿素の濃度が基準値から外れていないか確認することを推奨します。

ファイナル ティア 4／ステージ IV：排ガス処理用尿素水 (DEF) の保管寿命は限られていますが、保管条件によっては車両内に 6 か月まで保管できます。詳細については、「燃料と潤滑油」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) の取り扱いと保管」と「エンジンの整備」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) 短期の充填」および「排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの抜き取り」を参照してくださ。

重要：ファイナル ティア 4／ステージ IV：機械を停止してから 90 秒以上の間、バッテリーの接続を外さないでください。機械を停止した直後、SCR (選択触媒還元) システムはこの時間中に排ガス処理用尿素水 (DEF) のラインを自動的にパージします。ラインがパージされるまで十分な時間を確保しないと、ラインに残留した DEF が結晶化してラインの詰まりの原因になります。凍結気候では、液体が凍結してラインが破裂するおそれがあります。

注記：機械の 25 日以上保管する場合は、バッテリ遮断スイッチを OFF にしてください。保管期間が 90 日を超える場合は、バッテリのマイナスケーブルを外してバッテリーへの負荷を最小限度に抑えます。

バッテリにフル充電します。比重は 1.260 V になります。バッテリのマイナスケーブルを外してバッテリーへの負荷を最小限度に抑えます。

ウォーターセパレータから抜き取ります。

機械の内側と外側を清掃します。エレベータードアとドレンカバーを開けたままにします。

コンケーブを上下に複数回入れ直して、コンケーブエリアに物質が溜まらないようにします。

重要：電気／電子部品、ベアリング、油圧シール、フューエルインジェクションポンプ、その他の高精度部品に加圧水を向けると、製品が正常に機能しなくなる場合があります。圧力を下げて、45～90 度の角度で噴霧してください。

必要な箇所を塗装します。

注記：機械にワックスをかける必要はありません。ただし、必要な場合は、研磨材を含んでいない良質の透明ワックスを使用できます。通常、これらの種類のワックスはクリーナを含んでいません。

機械を潤滑し、調整ボルトのねじ山にグリースを塗布します。

すべての 400 時間 (毎年) の整備を実施します。

燃料タンクに充填して結露を防止します。

重要：燃料を機械の燃料タンクや農場の保管タンクに長期間保管する場合、燃料の回転率が遅い場合は、燃料を安定させて水分凝縮を防ぐために、燃料コンディショナを追加してください。推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

機械を長期間保管する場合は、バイオディーゼルを抜き取り、機械に通常の石油系ディーゼル燃料を充填することが適切です。そうでない場合は、バイオディーゼル安定 (抗酸化) 添加剤または完全に調合されたバイオディーゼルコンディショナを使用してください。推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

機械を長期間保管する場合は、バッテリを取り外して清掃します。涼しく乾燥した場所に保管し、充電状態を維持します。

OUO6075,0001301 -40-05AUG13-1/1

保管からの機械の復帰

バッテリを再接続し、充電します。

バッテリにフル充電します。比重は 1.260 V になります。バッテリのマイナスケーブルを外してバッテリーへの負荷を最小限度に抑えます。

オイルとクーラントのレベルを点検します。漏れがないか点検し、必要に応じてオイルとクーラントを追加します。

ファイナル ティア 4／ステージ IV：排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクをから抜き取らなかった場合は、尿素濃度をテストしてください。詳細については、「燃料と潤滑剤」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。濃度が基準値内にない場合は、抜き取って新品の排ガス処理用尿素水 (DEF) と交換してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクから抜き取った場合は、タンクに充填します。詳細については、「エンジンの整備」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクへの充填」を参照してください。

エレベータードアとドレン穴を閉めます。

ドライブベルトの張力を点検します。座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでスプリング式アイドラを調整します。

タイヤ空気圧を点検し、機械のオペレータマニュアルを見直します。

消火器のラベルに記載されているメンテナンス手順に従って消火器 (前部および後部) を点検します。必要に応じて再充填または交換します。

OUO6075,0001302 -40-05AUG13-1/1

運転回転数 (S660、S670)

記載されている回転数は平均値であり、機械に応じて異なる場合があります。

注記：運転回転数の仕様および設計は予告なしに変更される場合があります。

エンジン回転数	(9.0 L ティア 2／ステージ II) エンジン	(9.0 L インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) エンジン
スローアイドル (セパレータオフ)	1200 rpm	1200 rpm
中速回転数 (セパレータオフ)	1690 rpm	1690 rpm
ファストアイドル (セパレータオフ)	2340 rpm	2340 rpm
全負荷定格回転数	2200 rpm	2200 rpm

セパレータドライブシャフト回転数	1453 rpm

メインカウンタシャフト回転数	1453 rpm

セパレータ回転数	S660	S670
ハイレンジ	380～1000 rpm	400～1000 rpm
ローレンジ	210～530 rpm	210～530 rpm

フィーダーハウス下部シャフト回転数	
回転数固定 (装備されている場合)	490 rpm
ヘビーデューティバリアブルスピード (装備されている場合)	490～750 rpm
高トルクバリアブルスピード (装備されている場合)	490～750 rpm
マルチスピード (装備されている場合)	1 速：490 rpm、2 速：550 rpm、3 速：600 rpm、4 速：670 rpm、5 速：750 rpm

フィード *ベーラーへの供給	
フィードアクセルレータ (標準速度)	430/780 rpm
フィードアクセルレータ速度 (低速オプション)	310/770 rpm
フィードアクセルレータ (高速大容量)	520/970 rpm

ディスチャージビーター回転数	S660	S670
	998 rpm	995 rpm

ジャックシャフト回転数	
フロント右ジャックシャフト	518 rpm
リア右ジャックシャフト	518 rpm

クリーニングファン回転数	
標準回転数	620～1350 rpm
特殊低速回転数	250～500 rpm

エレベーター回転数	S660	S670
クリーングレインエレベーター	417 rpm	415 rpm
クリーングレインローディングオーガ	448 rpm	445 rpm
2 番物エレベーター、下部オーガ	395 rpm	395 rpm
2 番物エレベーター、上部オーガ	625 rpm	625 rpm
シュードライブ	298 rpm	298 rpm
コンベアオーガ	420 rpm	420 rpm

次のページへ

アンローディングシステム回転数 (セパレータ接続時)	
アンローディングシステムカウンタシャフト	1000 rpm
アンローディングオーガギアボックス、インプットシャフト	460 rpm 116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート
アンローディング垂直オーガ	460 rpm 116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート
アンローディングアウタオーガ	460 rpm 116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート
グレインタンク水平オーガ (フロントおよびリア)	330 rpm 116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート

チョッパー回転数	Deluxe Residue	Intermediate Residue	Premium Residue
チョッパー／ディスチャージビータージャックシャフト	1880 rpm	2045 rpm	2045 rpm
チョッパー (2 速)	1505/2350 rpm	1400/2995 rpm	1400/2995 rpm
オーバーショットビーター	N/A	N/A	995 rpm

OUO6075,000181E -40-28MAY14-2/2

運転回転数 (S680、S685、S690)

記載されている回転数は平均値であり、機械に応じて異なる場合があります。

注記：運転回転数の仕様および設計は予告なしに変更される場合があります。

エンジン回転数	(13.5 L ティア 2／ステージ II) エンジン	(13.5 L インテリムティア 4／ステージ III B) エンジン
スローアイドル (セパレータオフ)	1200 rpm	1200 rpm
中速回転数 (セパレータオフ)	1690 rpm	1690 rpm
ファストアイドル (セパレータオフ)	2240 rpm	2240 rpm
全負荷定格回転数	2100 rpm	2100 rpm

セパレータドライブシャフト回転数	1466 rpm

メインカウンタシャフト回転数	1466 rpm

セパレータ回転数	
ハイレンジ	400～1000 rpm
ローレンジ	210～530 rpm
2 番物システム速度	880 rpm

フィーダーハウス下部シャフト回転数	
固定回転数	490 rpm
マルチスピード	1 速：490 rpm、2 速：550 rpm、3 速：600 rpm、4 速：670 rpm、5 速：750 rpm

フィード *ベーラーへの供給	
フィードアクセルレータ (標準速度)	430/780 rpm
フィードアクセルレータ速度 (低速オプション)	310/770 rpm
フィードアクセルレータ (高速大容量)	520/970 rpm

ディスチャージビーター回転数	995 rpm

ジャックシャフト回転数	
フロント右ジャックシャフト	520 rpm
リア右ジャックシャフト	520 rpm

クリーニングファン回転数	
標準回転数	620～1350 rpm
特殊低速回転数	250～500 rpm

エレベーター回転数	S680、S685	S690
クリーングレインエレベーター	415 rpm	460 rpm415 rpm (HillMaster™)
クリーングレインローディングオーガ	450 rpm	500 rpm450 rpm (HillMaster™)
2 番物エレベーター、下部オーガ	490 rpm	
2 番物エレベーター、上部オーガ	580 rpm	
シュードライブ	300 rpm	
コンベアオーガ	425 rpm	

次のページへ

アンローディングシステム回転数 (セパレータ接続時)	
アンローディングシステムカウンタシャフト	1005 rpm
アンローディングオーガギアボックス、インプットシャフト	460 rpm 465 rpm (HillMaster™)
アンローディング垂直オーガ	460 rpm 465 rpm (HillMaster™)
アンローディングアウタオーガ	460 rpm 465 rpm (HillMaster™)
グレインタンク水平オーガ (フロントおよびリア)	450 rpm 335 rpm (HillMaster™)

チョッパー回転数	Deluxe Residue	Intermediate Residue	Premium Residue
チョッパー／ディスチャージビータージャックシャフト	1880 rpm	2045 rpm	2045 rpm
チョッパー (2 速)	1505/2350 rpm	1400/2995 rpm	1400/2995 rpm
オーバーショットビーター	N/A	N/A	995 rpm

OUO6075,000181F -40-28MAY14-2/2

仕様 (S660、S670)

注記：仕様および設計は予告なしに変更される場合があります。

エンジン		
製造元	John Deere	
モデル	6090HH006 (9.0 L ティア 2／ステージ II) 6090HH015 (9.0 L インテリムティア 4／ステージ III B) 6090HH016 (9.0 L ファイナル ティア 4／ステージ IV)	
種類	6 気筒、直列、オーバーヘッド 4 バルブ、空冷式アフタークーラーディーゼルターボ過給	
	S660	**S670**
定格出力 (ティア 2／ステージ II)	239 kW (320 hp)	278 kW (373 hp)
定格出力 (インテリムティア 4／ステージ III B)	239 kW (320 hp)	278 kW (373 hp)
定格出力 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)	249 kW (334 hp)	292 kW (392 hp)
定格回転数	2200 rpm	2200 rpm
定格回転数時パワーブースト	25 kW (34 hp)	25 kW (34 hp)
ピーク出力 (ティア 2／ステージ II)	272 kW (365 hp)	317 kW (425 hp)
ピーク出力 (インテリムティア 4／ステージ III B)	272 kW (365 hp)	317 kW (425 hp)
ピーク出力 (ファイナル ティア 4／ステージ IV)	285 kW (382 hp)	335 kW (449 hp) [a]
ピーク出力回転数 (定格回転数 -200 rpm)	2000 rpm	2000 rpm
排気量	9.0 L (549 cu in)	9.0 L (549 cu in)
点火順序	1-5-3-6-2-4	1-5-3-6-2-4
エアクリーナ	乾式、安全エレメント付	乾式、安全エレメント付

[a] ピーク出力はエンジンコントロールユニット (ECU) タイマーによって制限されます。

電気システム	
バッテリ電圧	12 V
バッテリ端子のアース接続	マイナス
オルタネータ (ティア 2／ステージ II) オルタネータ (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)	200 A

トランスミッション	
速度 (機械式シフトの機械)	3 速
速度 (押しボタンシフトの機械)	3 速
速度 (ProDrive™ 装備の機械)	2 速オートシフト

ブレーキ	
種類 (機械式シフトの機械)	油圧シュー
種類 (押しボタンシフトの機械)	油圧シュー
種類 (ProDrive™ 装備の機械)	多板湿式ディスク

フィードアクセルレータ	S660、S670	S670 HillMaster™
ウイング数	標準：10 難脱穀性作物：8 イネ：5	難脱穀性作物：8

セパレータエレメント	
脱穀エレメント (TriStream™ ローター)	コーン／小粒穀物：15
脱穀エレメント (バリアブルストリームローター)	コーン／小粒穀物：15 イネオプション：15 個のエレメントおよび 12 個の脱穀タインを高密度配置
タイン (TriStream™ ローター)	24
タイン (バリアブルストリームローター)	20

コンケーブ	
コンケーブ数	3
コンケーブあたりのバー数	穀粒：フロント 25、中間／リア 25、コーン 31

次のページへ

セパレータ	
格子数	4

ディスチャージ格子	
格子数	3

ディスチャージビーター	S660、S670	S670 HillMaster™
ウイング数	標準：5 難脱穀性作物：8	難脱穀性作物：8

グレインタンク	
容量	10,572 L (300 bu) エクステンション 10,572 L (300 bu) カバー
平均アンローディングレート、116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート	6977 L/min (198 bu/min)
最大アンローディングレート、116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート	7612 L/min (216 bu/min)

旋回半径	
後輪トレッド幅	3.35 m (10 ft 10 in)
旋回半径 (パワーアシストなし車軸)	8.02 m (26 ft 3 in)
旋回半径 (パワーアシスト車軸)	7.73 m (25 ft 4 in)

容量	S660	S670
燃料タンク	760 L (200 gal) オプション 950 L (250 gal) 標準	
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4／ステージ IV)	29 L (7.6 gal) オプション 52.2 L (13.8 gal) 標準	
冷却システム、ヒーターを含む (ティア 2／ステージ II)	53 L (56 qt)	
冷却システム、ヒーターを含む (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)	53 L (56 qt)	
エンジンクランクケース、フィルタを含む (ティア 2／ステージ II)	27.5 L (29 qt) [a]	
エンジンクランクケース、フィルタを含む (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)	27.5 L (29 qt) [a]	
トランスミッション (機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械)	9.6 L (10 qt)	
ファイナルドライブ	8 L (8.5 qt)	8 L (8.5 qt) 7 L (7.4 qt) HillMaster™
ヘビーデューティフィーダーハウスリバーサギアケース、クーラーを含まず	2.3 L (4.75 pt)	
ヘビーデューティフィーダーハウスリバーサギアケース、クーラーを含む	3.5 L (7.4 pt)	N/A
エキストラヘビーデューティフィーダーハウスリバーサギアケース、クーラーを含む	4.9 L (10.4 pt)	
マルチスピードフィーダーハウスリバーサギアケース、クーラーを含む	N/A	5.2 L (11 pt)
プレミアムオーバーショットビーターギアケース (装備されている場合)	N/A	0.2 L (6.75 oz)
プライマリカウンタシャフトドライブギアケース	1.9 L (2.04 qt)	
ローディングオーガオーガギアケース	3.8 L (4 qt)	
2 スピードセパレータ駆動ギアケース	4.7 L (5 qt)	
エンジンギアケース、トランスファを含む (機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械)	21.3 L (22.5 qt)	
エンジンギアケース、トランスファを含む (ProDrive™ 装備の機械)	N/A	51 L (54 qt)
油圧／ハイドロスタティックリザーバー	31 L (33 qt)	

[a] エンジンオイルを正しいレベルに維持することが非常に重要です。整備時にディップスティックの正しい位置にオイルレベルがあることを必ず確認してください。

OUO6075,000183E -40-02JUL14-2/2

仕様 (S680、S685、S690)

注記：仕様および設計は予告なしに変更される場合があります。

エンジン		
製造元	John Deere	
モデル	6135HH004 (13.5 L ティア 2／ステージ II) 6135HH003 (13.5 L インテリムティア 4／ステージ III B)	
種類	6 気筒、直列、オーバーヘッドバルブ、空冷式アフタークーラーディーゼルターボ過給	
	S680	**S685**
定格出力 (ティア 2／ステージ II)	353 kW (473 hp)	373 kW (500 hp)
定格出力 (インテリムティア 4／ステージ III B)	353 kW (473 hp)	373 kW (500 hp)
定格回転数	2100 rpm	2100 rpm
定格回転数時パワーブースト	37 kW (50 hp)	37 kW (50 hp)
ピーク出力 (ティア 2／ステージ II)	402 kW (540 hp)	425 kW (570 hp)
ピーク出力 (インテリムティア 4／ステージ III B)	402 kW (540 hp)	425 kW (570 hp)
ピーク出力回転数 (定格回転数 -200 rpm)	1900 rpm	1900 rpm
排気量	13.5 L (824 cu in)	13.5 L (824 cu in)
点火順序	1-5-3-6-2-4	1-5-3-6-2-4
エアクリーナ	乾式、安全エレメント付	乾式、安全エレメント付
	S690	
定格出力 (ティア 2／ステージ II)	405 kW (543 hp)	
定格出力 (インテリムティア 4／ステージ III B)	405 kW (543 hp)	
定格回転数	2100 rpm	
定格回転数でのパワーブースト (ティア 2／ステージ II)	23 kW (31 hp)	
定格回転数でのパワーブースト (インテリムティア 4／ステージ III B)	37 kW (50 hp)	
ピーク出力 (ティア 2／ステージ II)	458 kW (614 hp	
ピーク出力 (インテリムティア 4／ステージ III B)	460 kW (617 hp)	
ピーク出力回転数 (定格回転数 -200 rpm)	1900 rpm	
排気量	13.5 L (824 cu in)	
点火順序	1-5-3-6-2-4	
エアクリーナ	乾式、安全エレメント付	

電気システム	
バッテリ電圧	12 V
バッテリ端子のアース接続	マイナス
オルタネータ (ティア 2／ステージ II) オルタネータ (インテリムティア 4／ステージ III B)	200 A

トランスミッション	
速度	2 速オートシフト

ブレーキ	
種類	多板湿式ディスク

フィードアクセルレータ	S680、S685、S690	S680 HillMaster™、S685 HillMaster™、S690 HillMaster™
ウイング数	標準：10 難脱穀性作物：8 イネ：5	難脱穀性作物：8

セパレータエレメント	
脱穀エレメント (TriStream™ ローター)	コーン／小粒穀物：15
脱穀エレメント (バリアブルストリームローター)	コーン／小粒穀物：15 イネオプション：15 個のエレメントおよび 12 個の脱穀タインを高密度配置

次のページへ

セパレータエレメント	
タイン (TriStream™ ローター)	24
タイン (バリアブルストリームローター)	20

コンケーブ	
コンケーブ数	3
コンケーブあたりのバー数	穀粒：フロント 25、中間／リア 25、コーン 31

セパレータ	
格子数	4

ディスチャージ格子	
格子数	1

ディスチャージビーター	S680、S685、S690	S680 HillMaster™、S685 HillMaster™、S690 HillMaster™
ウイング数	標準：10 難脱穀性作物：8	難脱穀性作物：8

グレインタンク	S680、S685、S690
容量	14,096 L (400 bu) エクステンション 14,096 L (400 bu) カバー
平均アンローディングレート、134 L/sec (3.8 bu/sec) アンロードレート	8,035 L/min (228 bu/min)
最大アンローディングレート、134 L/sec (3.8 bu/sec) アンロードレート	8,670 L/min (246 bu/min)

グレインタンク	HillMaster™ 装備の機械
容量	10,572 L (300 bu) エクステンション 10,572 L (300 bu) カバー
平均アンローディングレート、116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート	6,977 L/min (198 bu/min)
最大アンローディングレート、116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート	7,612 L/min (216 bu/min)

旋回半径	
後輪トレッド幅	3.35 m (10 ft 10 in)
旋回半径 (パワーアシストなし車軸)	8.02 m (26 ft 3 in)
旋回半径 (パワーアシスト車軸)	7.73 m (25 ft 4 in)

容量	
燃料タンク	950 L (250 gal) オプション 1,250 L (330 gal) 標準
冷却システム、ヒーターを含む (ティア 2／ステージ II)	61.2 L (65 qt)
冷却システム、ヒーターを含む (インテリムティア 4／ステージ III B)	85 L (90 qt)
エンジンクランクケース、フィルタを含む (ティア 2／ステージ II)	39 L (41 qt) [a]
エンジンクランクケース、フィルタを含む (インテリムティア 4／ステージ III B)	43 L (45.5 qt) [a]
ファイナルドライブ	8 L (8.5 qt) 7 L (7.4 qt) HillMaster™
エキストラヘビーデューティフィーダーハウスリバーサギアケース、クーラーを含まず	3.6 L (7.7 pt)
マルチスピードフィーダーハウスリバーサギアケース、クーラーを含む (オプション)	5.2 L (11 pt)
プレミアムオーバーショットビーターギアケース (装備されている場合)	0.2 L (6.75 oz)
プライマリカウンタシャフトドライブギアケース (非マルチスピード)	1.9 L (2.04 qt)
ローディングオーガオーガギアケース	3.8 L (4 qt)
2 スピードセパレータ駆動ギアケース	4.7 L (5 qt)
エンジンギアケース、トランスファを含む	51 L (54 qt)
油圧／ハイドロスタティックリザーバー	47 L (50 qt)

[a] エンジンオイルを正しいレベルに維持することが非常に重要です。整備時にディップスティックの正しい位置にオイルレベルがあることを必ず確認してください。

OUO6075,000183F -40-02JUL14-2/2

寸法 (S660、S670)

注記：寸法は概略値であり、通知なしに変更する場合があります。

寸法	S660	S670
A	10.46 m (34 ft 3 in) 、5.6 m (18 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	N/A
	11.00 m (36 ft 1 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 12.11 m (39 ft 7 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 12.87 m (42 ft 2 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	
B	9.10 m (29 ft 9 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) 動力折りたたみ式オーガ装備時 9.91 m (32 ft 5 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) 動力折りたたみ式オーガ装備時	
C	8.51 m (27 ft 9 in)	
D	4.66 m～4.94 m (15 ft 3 in～16 ft 2 in) 、10 572 L (300 bu) カバー装備時	
E	4.51 m～4.80 m (14 ft 8 in～15 ft 8 in) クリーングレインローディングオーガ	
F	4.04 m～4.32 m (13 ft 3 in～14 ft 2 in) 、10 572 L (300 bu) エクステンション装備時	
G	3.79 m～4.07 m (12 ft 4 in～13 ft 4 in)	
H	3.68 m～3.97 m (12 ft 1 in～13 ft 0 in)	
I	0.69 m (2 ft 3 in)	
J	3.52 m (11 ft 6 in)	
K	6.95 m (22 ft 8 in) 、5.6 m (18 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	N/A
	8.03 m (26 ft 4 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 9.13 m (29 ft 10 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 9.89 m (32 ft 4 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	
L	4.55 m～4.83 m (14 ft 9 in～15 ft 9 in) 、5.6 m (18 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	N/A
	4.77 m～5.06 m (15 ft 7 in～16 ft 6 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 5.00 m～5.29 m (16 ft 4 in～17 ft 4 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 5.27 m～5.55 m (17 ft 3 in～18 ft 2 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	
M	3.83 m～4.12 m (12 ft 6 in～13 ft 5 in) 、5.6 m (18 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	N/A
	4.13 m～4.42 m (13 ft 6 in～14 ft 5 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 4.28 m～4.56 m (14 ft 0 in～14 ft 10 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 4.42 m～4.70 m (14 ft 5 in～15 ft 4 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	
N [a]	4.02 m～4.31 m (13 ft 2 in～14 ft 1 in) 、5.6 m (18 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	N/A
	4.07 m～4.36 m (13 ft 4 in～14 ft 3 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 4.39 m～4.67 m (14 ft 4 in～15 ft 3 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 4.67 m～4.96 m (15 ft 3 in～16 ft 3 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時	
O [b]	3.36 m～3.83 m (11 ft 0 in～12 ft 6 in) リアタイヤ	
P [b]	3.45 m～3.73 m (11 ft 3 in～12 ft 2 in) フロントタイヤ	

[a] 寸法 1.22 m (4 ft) はグレインスピルポイントからの測定値です。これはグレインカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。
[b] タイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルタイプに応じて、機械の幅は変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00016B2 -40-08APR14-1/1

寸法 (S670 HillMaster™)

注記：寸法は概略値であり、通知なしに変更する場合があります。

寸法	S670 HillMaster™
A	11.00 m (36 ft 1 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 12.11 m (39 ft 7 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 12.87 m (42 ft 2 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
B	9.10 m (29 ft 9 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) 動力折りたたみ式オーガ装備時 9.91 m (32 ft 5 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) 動力折りたたみ式オーガ装備時
C	8.51 m (27 ft 9 in)
D	4.66 m～4.90 m (15 ft 3 in～16 ft 1 in) 、10,572 L (300 bu) カバー装備時
E	4.51 m～4.76 m (14 ft 8 in～15 ft 6 in) クリーングレインローディングオーガ
F	4.04 m～4.28 m (13 ft 3 in～14 ft 0 in) 、10 572 L (300 bu) エクステンション装備時
G	3.79 m～4.03 m (12 ft 4 in～13 ft 2 in)
H	3.68 m～3.92 m (12 ft 1 in～12 ft 9 in)
I	0.69 m (2 ft 3 in)
J	3.52 m (11 ft 6 in)
K	8.03 m (26 ft 4 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 9.13 m (29 ft 10 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 9.89 m (32 ft 4 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
L	4.77 m～5.02 m (15 ft 7 in～16 ft 5 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 5.00 m～5.25 m (16 ft 4 in～17 ft 2 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 5.27 m～5.51 m (17 ft 3 in～18 ft 1 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
M	4.13 m～4.38 m (13 ft 6 in～14 ft 4 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 4.28 m～4.52 m (14 ft 0 in～14 ft 8 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 4.42 m～4.66 m (14 ft 5 in～15 ft 3 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
N [a]	4.07 m～4.31 m (13 ft 4 in～14 ft 1 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 4.39 m～4.63 m (14 ft 6 in～15 ft 2 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 4.67 m～4.91 m (15 ft 3 in～16 ft 1 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
O [b]	3.36 m～3.39 m (11 ft 0 in～11 ft 1 in) リアタイヤ
P [b]	3.45 m～3.65 m (11 ft 3 in～11 ft 10 in) フロントタイヤ

[a] 寸法 1.22 m (4 ft) はグレインスピルポイントからの測定値です。これはグレインカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。
[b] タイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルタイプに応じて、機械の幅は変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00016B3 -40-08APR14-1/1

寸法 (S680、S685、S690)

注記：寸法は概略値であり、通知なしに変更する場合があります。

寸法	S680、S685、S690
A	11.00 m (36 ft 1 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 12.11 m (39 ft 7 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 12.87 m (42 ft 2 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
B	9.10 m (29 ft 9 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) 動力折りたたみ式オーガ装備時 9.91 m (32 ft 5 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) 動力折りたたみ式オーガ装備時
C	8.51 m (27 ft 9 in)
D	4.66 m～4.94 m (15 ft 3 in～16 ft 2 in) 、14 096 L (400 bu) カバー装備時
E	4.51 m～4.80 m (14 ft 8 in～15 ft 8 in) クリーングレインローディングオーガ
F	4.29 m～4.58 m (14 ft 1 in～15 ft 0 in) 、14,096 L (400 bu) エクステンション装備時
G	3.79 m～4.07 m (12 ft 4 in～13 ft 4 in)
H	3.68 m～3.97 m (12 ft 1 in～13 ft 0 in)
I	0.69 m (2 ft 3 in)
J	3.52 m (11 ft 5 in)
K	8.03 m (26 ft 4 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 9.13 m (29 ft 10 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 9.89 m (32 ft 4 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
L	4.77 m～5.06 m (15 ft 7 in～16 ft 6 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 5.00 m～5.29 m (16 ft 4 in～17 ft 4 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 5.27 m～5.55 m (17 ft 3 in～18 ft 2 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
M	4.13 m～4.42 m (13 ft 6 in～14 ft 5 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 4.28 m～4.56 m (14 ft 0 in～14 ft 10 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 4.42 m～4.70 m (14 ft 5 in～15 ft 4 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
N [a]	4.07 m～4.36 m (13 ft 4 in～14 ft 3 in) 、6.9 m (22 ft 5 in) アンローディングオーガ装備時 4.39 m～4.67 m (14 ft 4 in～15 ft 3 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 4.67 m～4.96 m (15 ft 3 in～16 ft 3 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
O [b]	3.36 m～3.83 m (11 ft 0 in～12 ft 6 in) リアタイヤ
P [b]	3.45 m～3.73 m (11 ft 3 in～12 ft 2 in) フロントタイヤ

[a] 寸法 1.22 m (4 ft) はグレインスピルポイントからの測定値です。これはグレインカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。
[b] タイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルタイプに応じて、機械の幅は変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00016B4 -40-08APR14-1/1

寸法 (S680 HillMaster™、S685 HillMaster™、S690 HillMaster™)

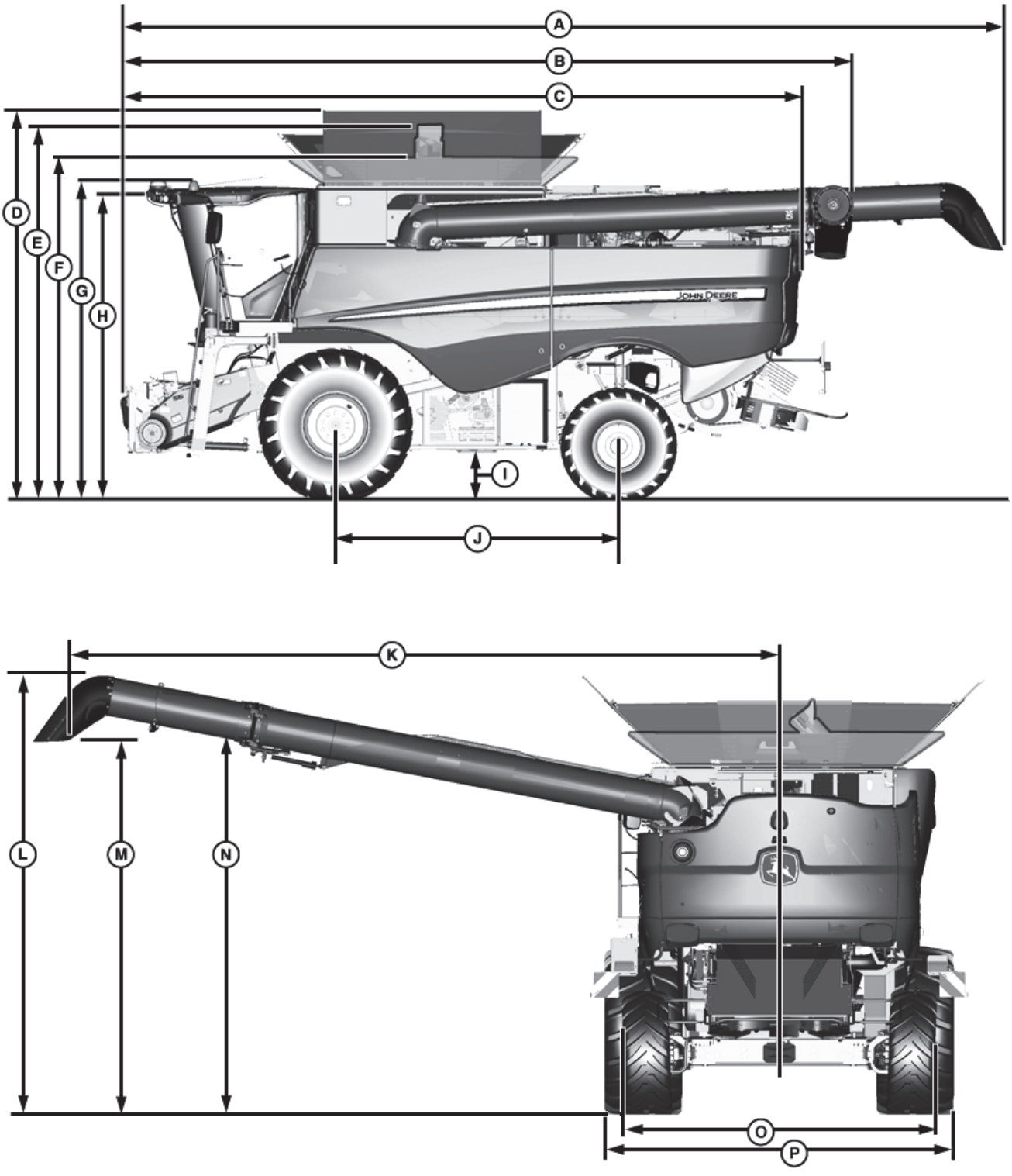
注記：寸法は概略値であり、通知なしに変更する場合があります。

寸法	S680 HillMaster™、S685 HillMaster™、S690 HillMaster™
A	11.00 m (36 ft 1 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 12.11 m (39 ft 7 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 12.87 m (42 ft 2 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
B	9.10 m (29 ft 9 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) 動力折りたたみ式オーガ装備時 9.91 m (32 ft 5 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) 動力折りたたみ式オーガ装備時
C	8.51 m (27 ft 9 in)
D	4.66 m～4.90 m (15 ft 3 in～16 ft 1 in) 、14,096 L (400 bu) カバー装備時
E	4.51 m～4.76 m (14 ft 8 in～15 ft 6 in) クリーングレインローディングオーガ
F	4.29 m～4.54 m (14 ft 1 in～14 ft 9 in) 、14,096 L (400 bu) エクステンション装備時
G	3.79 m～4.03 m (12 ft 4 in～13 ft 2 in)
H	3.68 m～3.92 m (12 ft 1 in～12 ft 9 in)
I	0.69 m (2 ft 3 in)
J	3.52 m (11 ft 6 in)
K	8.03 m (26 ft 4 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 9.13 m (29 ft 10 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 9.89 m (32 ft 4 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
L	4.77 m～5.02 m (15 ft 7 in～16 ft 5 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 5.00 m～5.25 m (16 ft 4 in～17 ft 2 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 5.27 m～5.51 m (17 ft 3 in～18 ft 1 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
M	4.13 m～4.38 m (13 ft 6 in～14 ft 4 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 4.28 m～4.52 m (14 ft 0 in～14 ft 8 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 4.42 m～4.66 m (14 ft 5 in～15 ft 3 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
N [a]	4.07 m～4.31 m (13 ft 4 in～14 ft 1 in) 、6.9 m (22 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時 4.39 m～4.63 m (14 ft 4 in～15 ft 2 in) 、7.9 m (26 ft 0 in) アンローディングオーガ装備時 4.67 m～4.91 m (15 ft 3 in～16 ft 1 in) 、8.7 m (28 ft 6 in) アンローディングオーガ装備時
O [b]	3.36 m～3.39 m (11 ft 0 in～11 ft 1 in) リアタイヤ
P [b]	3.45 m～3.65 m (11 ft 3 in～11 ft 10 in) フロントタイヤ

[a] 寸法 1.22 m (4 ft) はグレインスピルポイントからの測定値です。これはグレインカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。
[b] タイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルタイプに応じて、機械の幅は変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00016B5 -40-08APR14-1/1

寸法基準点



OUO6075,00013F5 -40-28FEB13-1/1

全身振動

全身にかかる補正加速度実効値は、代表的な機械で典型的な運転を実施中に測定し、ISO 2631 に従って解析した場合、0.51～0.73 m/s^2 の範囲です。同じ運転中に、補正ハンドアーム振動実効値は ISO 5349 に従って解析した場合、2.5 m/s^2 未満でした。これらの加速度値は、地面の荒さ、コンバイン操作時の速度、オペレータの経験、重量、運転の癖に依存します。

OUO6075,0000AA6 -40-17NOV10-1/1

騒音レベル

オペレータステーション内側での A 特性音圧レベルは、ISO 5131 に従って複数の代表的な機械で測定した場合、72.8～77.0 dB (A) でした。音圧レベルは、エンジン回転数と負荷、セパレータ設定、圃場と作物の条件、使用するプラットフォームの種類に依存しています。

OUO6075,0000AA7 -40-22MAR11-1/1

電気・電子機器、およびその構成要素の追加設置に関する安全のしおり

この機械は、他の機器の電磁波によって、その機能に影響を受ける可能性のある電子部品が装備されています。このような影響は、安全を害する恐れがあるので、次の安全指示事項を考慮してください。

機械に電気・電子機器の追加設置を行い、さらに機械内のシステムに接続する場合、ユーザーは、これにより電子機器や他の構成要素が影響を受けるどうかを確認する必要があります。特に次のものに対して通用します。

- 面積カウンター
- パーソナルコンピュータ
- GPS (全地球位置測位システム) レシーバ

特に、追加して設置された電子・電気機器は、EMC 指令 89/336/EEC の関連版に準拠している必要があり、CE マークが付いている必要があります。

後でモバイル通信システム (無線通信、電話等) を設置する場合は、次の追加要件を満たす必要があります。

- 正当な国の法律 (ドイツでは BZT 認定) による認可を受けた機器のみを設置する。
- 機器を確実に設置する。
- 携帯型またはモバイル機器は、固定式外部アンテナに接続されている場合のみ車両から操作可能。
- トランスミッタは車両の電子系統から独立して設置する。
- アンテナは専門的な方法で設置し、アンテナと車両のアースの間で良好なアース接続を確保する。

配線、設置、および最大許容電流源は、機械メーカーの設置マニュアルに記載されているものと同様である必要があります。

OUO6075,0000AA8 -40-17NOV10-1/1

EC 適合宣言

Deere & Company
Moline, Illinois U.S.A.

下記に記名した人間が以下を宣言します。

機械の種類：コンバイン
モデル：S660、S670、S680、S685、S690

この機械は以下の指令と関係するあらゆる規定および基本要件にすべて適合しています。

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EC	自己認定、指令の附属書類 5 による
電磁適合性指令	2004/108/EC	自己認定、指令の附属書類 II による

技術構成ファイルの編集権限を与えられた欧州共同体担当者の氏名および住所：

Brigitte Birk
John Deere GmbH & Co. KG
Mannheim Regional Center
John Deere Strasse 70
D-68163 Mannheim

宣言場所：Zweibruecken, Germany
宣言日：2013 年 1 月 1 日

氏名：Tim Deutsch
役職：グローバルディレクター、作物収穫プラットフォーム、製品エンジニアリング、Ag and Turf 部門

製造部門：John Deere Werk
Zweibruecken

CE

OUO6075,0001831 -40-12JUN14-1/1

関税同盟：EAC

この情報は、関税同盟加入国の EAC 適合マークを表示した製品にのみ適用されます。

メーカー：　Deere & Company
Moline, Illinois U.S.A.

モデル：S660、S670、S680、S685、S690 コンバイン

Zweibruecken にて製造 (ドイツ)

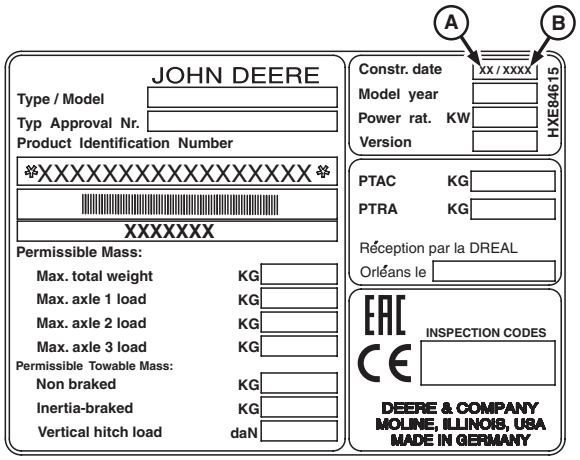
ロシア、ベラルーシおよびカザフスタンの関税同盟における正式代表者の名称と住所：
有限会社
John Deere Rus

住所：
142050, Russia, Moscow region, Domodedovo district, Domodedovo, Beliye Stolbi micro district, vladenye "Warehouse 104," Building 2.

技術的なサポートについては、お近くの取扱店にご相談ください。

製造日付は製品ラベルに記載されています。

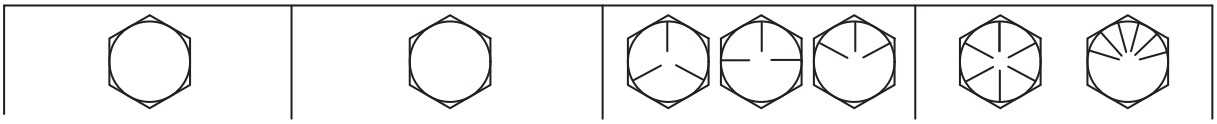
A：製造月
B：製造年



製品ラベルの例

OUO6075,000186B -40-09JUL14-1/1

ユニファイボルトとネジの締め付けトルク値



ボルト／ネジのサイズ	SAE 等級 1				SAE 等級 2 [a]				SAE 等級 5、5.1、5.2				SAE 等級 8、8.2			
	ウェット [b]		ドライ [c]		ウェット [b]		ドライ [c]		ウェット [b]		ドライ [c]		ウェット [b]		ドライ [c]	
	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in
1/4	3.7	33	4.7	42	6	53	7.5	66	9.5	84	12	106	13.5	120	17	150
													N•m	lb-ft	N•m	lb-ft
5/16	7.7	68	9.8	86	12	106	15.5	137	19.5	172	25	221	28	20.5	35	26
									N•m	lb-ft	N•m	lb-ft				
3/8	13.5	120	17.5	155	22	194	27	240	35	26	44	32.5	49	36	63	46
			N•m	lb-ft	N•m	lb-ft	N•m	lb-ft								
7/16	22	194	28	20.5	35	26	44	32.5	56	41	70	52	80	59	100	74
	N•m	lb-ft														
1/2	34	25	42	31	53	39	67	49	85	63	110	80	120	88	155	115
9/16	48	35.5	60	45	76	56	95	70	125	92	155	115	175	130	220	165
5/8	67	49	85	63	105	77	135	100	170	125	215	160	240	175	305	225
3/4	120	88	150	110	190	140	240	175	300	220	380	280	425	315	540	400
7/8	190	140	240	175	190	140	240	175	490	360	615	455	690	510	870	640
1	285	210	360	265	285	210	360	265	730	540	920	680	1030	760	1300	960
1-1/8	400	300	510	375	400	300	510	375	910	670	1150	850	1450	1075	1850	1350
1-1/4	570	420	725	535	570	420	725	535	1280	945	1630	1200	2050	1500	2600	1920
1-3/8	750	550	950	700	750	550	950	700	1700	1250	2140	1580	2700	2000	3400	2500
1-1/2	990	730	1250	930	990	730	1250	930	2250	1650	2850	2100	3600	2650	4550	3350

記載されているトルク値は、ボルトやネジの強度に基づく一般的な使用のための値です。特定のエンジン装置・用途のために異なる締め付けトルクや締め付け手順が示されている場合は、この値を使用しないでください。プラスチックインサートまたは圧着鋼タイプのロックナット、ステンレス鋼留め具、U 字形ボルトのナットに関しては、特定のエンジン装置・用途に対する締め付け要領を参照してください。せん断ボルトは、既定の負荷において破断するように設計されています。せん断ボルトは、常に同一の等級のものと交換してください。

留め具を同一、またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強度に締め付けてください。留め具のねじ山が清潔で、ねじ山を正しくかみ合わせることができるかどうか確認してください。特定のエンジン装置・用途のための異なる指示が与えられている場合を除いて、可能であれば、平型留め具または亜鉛メッキ留め具を潤滑してください (ロックナット、ホイールボルト、ホイールナットを除く)。

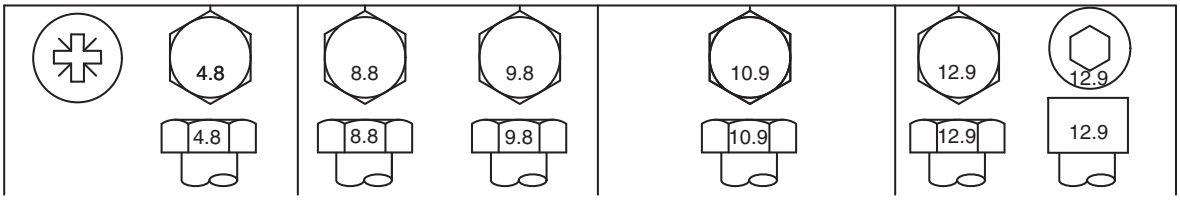
[a] 等級 2 は長さ 6 in (152 mm) 以下の六角穴付きボルトに適用されます。等級 1 は、6 in (152 mm) より長い六角穴付きボルト、および他のすべての長さのボルト、ネジに適用されます。

[b] 「ウェット」とは、エンジンオイルのような潤滑剤による被覆、リン酸塩と油で被覆された留め具、または JDM F13C、F13F、F13J 亜鉛フレーク被覆の 7/8 in 以上の留め具を意味します。

[c] 「ドライ」とは、潤滑剤の施されていない平型留め具や亜鉛メッキ留め具、または JDM F13B、F13E、F13H 亜鉛フレーク被覆された 1/4～3/4 in の留め具を意味します。

DX,TORQ1 -40-27NOV12-1/1

メートルボルトとネジの締め付けトルク値



ボルト／ネジのサイズ	等級 4.8				等級 8.8 または 9.8				等級 10.9				等級 12.9			
	ウェット[a]		ドライ[b]		ウェット[a]		ドライ[b]		ウェット[a]		ドライ[b]		ウェット[a]		ドライ[b]	
	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in	N•m	lb-in
M6	4.7	42	6	53	8.9	79	11.3	100	13	115	16.5	146	15.5	137	19.5	172
									N•m	lb-ft	N•m	lb-ft	N•m	lb-ft	N•m	lb-ft
M8	11.5	102	14.5	128	22	194	27.5	243	32	23.5	40	29.5	37	27.5	47	35
			N•m	lb-ft	N•m	lb-ft	N•m	lb-ft								
M10	23	204	29	21	43	32	55	40	63	46	80	59	75	55	95	70
	N•m	lb-ft														
M12	40	29.5	50	37	75	55	95	70	110	80	140	105	130	95	165	120
M14	63	46	80	59	120	88	150	110	175	130	220	165	205	150	260	190
M16	100	74	125	92	190	140	240	175	275	200	350	255	320	235	400	300
M18	135	100	170	125	265	195	330	245	375	275	475	350	440	325	560	410
M20	190	140	245	180	375	275	475	350	530	390	675	500	625	460	790	580
M22	265	195	330	245	510	375	650	480	725	535	920	680	850	625	1080	800
M24	330	245	425	315	650	480	820	600	920	680	1150	850	1080	800	1350	1000
M27	490	360	625	460	950	700	1200	885	1350	1000	1700	1250	1580	1160	2000	1475
M30	660	490	850	625	1290	950	1630	1200	1850	1350	2300	1700	2140	1580	2700	2000
M33	900	665	1150	850	1750	1300	2200	1625	2500	1850	3150	2325	2900	2150	3700	2730
M36	1150	850	1450	1075	2250	1650	2850	2100	3200	2350	4050	3000	3750	2770	4750	3500

記載されているトルク値は、ボルトやネジの強度に基づく一般的な使用のための値です。特定のエンジン装置・用途のために異なる締め付けトルクや締め付け手順が示されている場合は、この値を使用しないでください。ステンレス鋼留め具、またはUボルトのナットに関しては、特定のエンジン装置・用途に対する締め付け要領を参照してください。特定のエンジン装置・用途のための異なる指示がない限り、プラスチックインサート、または圧着鋼タイプのロックナットを締め付けるには、表に記載されたトルク値 (ドライ) までナットを回転させてください。

せん断ボルトは、既定の負荷において破断するように設計されています。せん断ボルトは、常に同一の等級のものと交換してください。留め具は、同一またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強度に締め付けてください。留め具のねじ山が清潔で、ねじ山を正しくかみ合わせることができるかどうか確認してください。特定のエンジン装置・用途のための異なる指示が与えられている場合を除いて、可能であれば、平型留め具または亜鉛メッキ留め具を潤滑してください (ロックナット、ホイールボルト、ホイールナットを除く)。

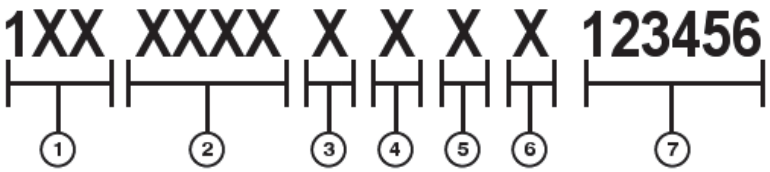
[a] 「ウェット」とは、エンジンオイルのような潤滑剤による被覆、リン酸塩と油で被覆された留め具、または JDM F13C、F13F、F13J 亜鉛フレーク被覆の M20 以上の留め具を意味します。

[b] 「ドライ」とは、潤滑剤の施されていない平型留め具や亜鉛メッキ留め具、または JDM F13B、F13E、F13H 亜鉛フレーク被覆された M6～M18 の留め具を意味します。

DX,TORQ2 -40-27NOV12-1/1

機械識別番号

機械シリアル番号の解釈



1	メーカーコード	AX：John Deere Seeding Group BM：John Deere Montenegro CC：John Deere Arc-les-Gray CD：John Deere Usine De Saran CE：John Deere Iberica Getafe CJ：John Deere Nigel CP：John Deere Tianjin Works CQ：John Deere Horizontina DM：John Deere Roberine Enschede DW：John Deere Davenport Works DX：Deere & Company EK：John Deere Orenburg EX：John Deere Ottumwa Works FD：DCEO-Mannheim FX：DCEO-Mannheim GX：John Deere Power Products HX：John Deere Harvester Works JX：Industrias John Deere Argentina S.A. JZ：John Deere Domodedovo KM：KemperKV：Knoxville LG：Mannheim 5x20 LV：John Deere Augusta Works LX：John Deere Werke Mannheim MC：DCEO Parts Marketing MX：John Deere Horicon Works MY：John Deere Sirhind Works	N4：John Deere Ningbo Works NF：John Deere Tianjin Tractor Co.,Ltd NW：John Deere Catalão NX：John Deere Des Moines Works PC：John Deere Intelligent Solutions Group PX：Industrias John Deere S.A. de C.V. PY：John Deere India Pvt. Ltd RG：John Deere Power Systems RX：John Deere Waterloo Works SA：SABO GummersbachT8：John Deere Thibodaux TC：John Deere Turf Care TX：Worldwide Construction And Forestry Division TY：John Deere Merchandise Division WX：John Deere Welland Works WZ：John Deere Fabriek Horst B.V. XJ：Ashok Leyland John Deere Construction Equipment Company, Pvt. Ltd. XU：Xuzhou XCG John Deere Machinery Manufacturing Co., Ltd. YC：John Deere Jiamusi Agricultural Machinery YH：John Deere Harbin Works YN：John Deere Tianjin Construction Works YZ：John Deere Coffeyville Works ZT：JDI GmbH-ISB ZX：John Deere Werke Zweibrucken 9Q：John Deere Water
2	機械モデル ID		
3	モデル ID 接尾辞 機械構成コード 追加機械情報		例：N、T、W など
4	チェックレター		例：A、B、C、D など
5	製造暦年		「製造年コード」の表を参照
6	追加情報		
7	製造シリアル番号		例：000001、000127 など

製造年のコード

年	コード	年	コード	年	コード	年	コード
2008	8	2018	J	2028	W	2038	8
2009	9	2019	K	2029	X	2039	9
2010	A	2020	L	2030	Y	2040	A
2011	B	2021	M	2031	1	2041	B
2012	C	2022	N	2032	2	2042	C
2013	D	2023	P	2033	3	2043	D
2014	E	2024	R	2034	4	2044	E
2015	F	2025	S	2035	5	2045	F
2016	G	2026	T	2036	6	2046	G
2017	H	2027	V	2037	7	2047	H

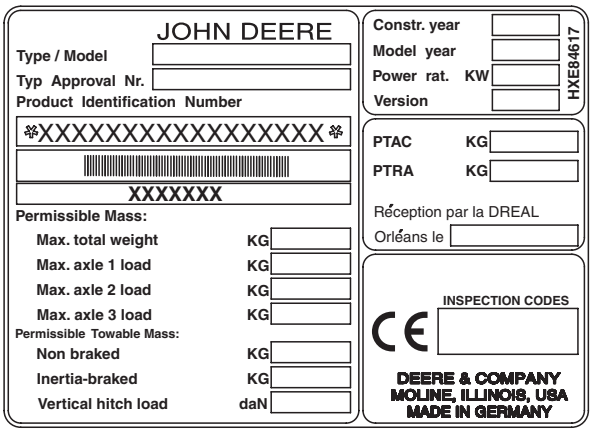
OUO6075,0001187 -40-27AUG12-1/1

識別番号

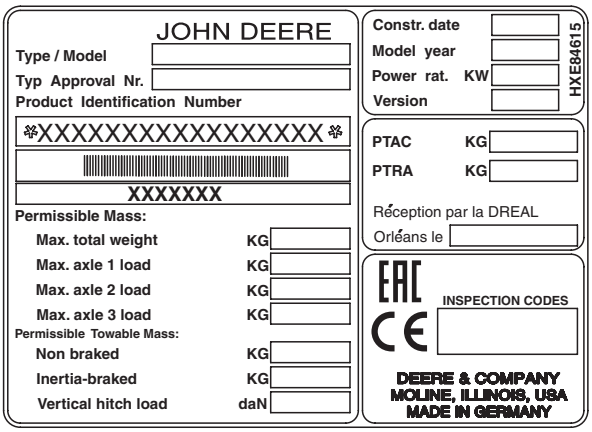
機械にはさまざまな識別プレートがあります。プレートに刻印された文字と数字によって部品またはアセンブリを識別します。部品の注文時、または John Deere 製品サポートプログラムのために機械や構成部品を識別するときには、これらの文字がすべて必要です。また、機械が盗難にあった場合、警察などが機械を追跡するために必要です。以下の各写真で示す箇所にあるこれらの文字を正確に記録してください。

OUO6075,0000BE0 -40-04MAY11-1/1

機械識別プレート



サンプル識別プレート



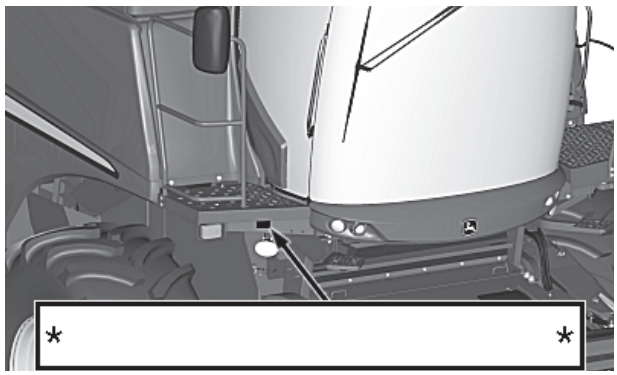
サンプル識別プレート

注記：機械識別プレートは機械が出荷された場所に応じて異なります。機械識別プレートの位置を確認し、ここに記載している情報と比較してください。

OUO6075,0001877 -40-08JUL14-1/1

機械識別プレートの位置

キャビン手すり踊り場の右側にあります。



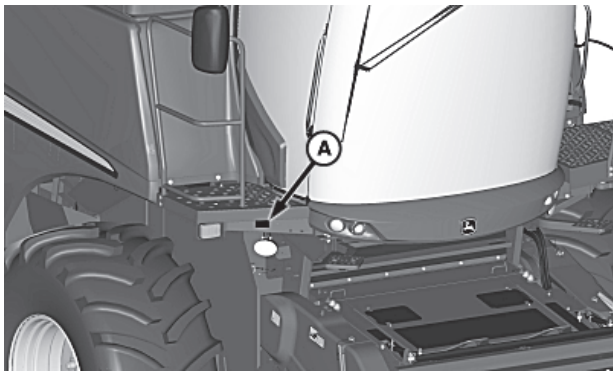
OUO6075,0000BE1 -40-04MAY11-1/1

関税同盟：EAC 適合ラベルの位置

注記：この情報は、関税同盟加入国の EAC 適合マークを表示した製品にのみ適用されます。

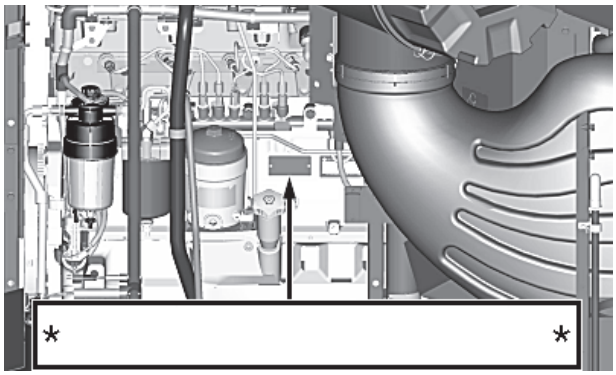
適合ラベル (A) は、キャビン手すり踊り場の右側にあります。

A：適合ラベル



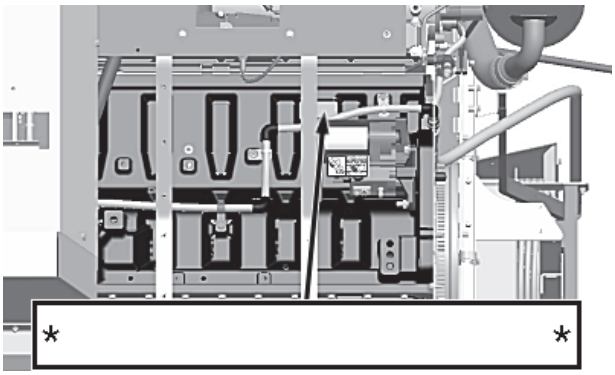
OUO6075,000186A -40-01JUL14-1/1

エンジンシリアル番号 (ティア 2／ステージ II)



S660、S670

S660、S670：エンジンの後側にあります。

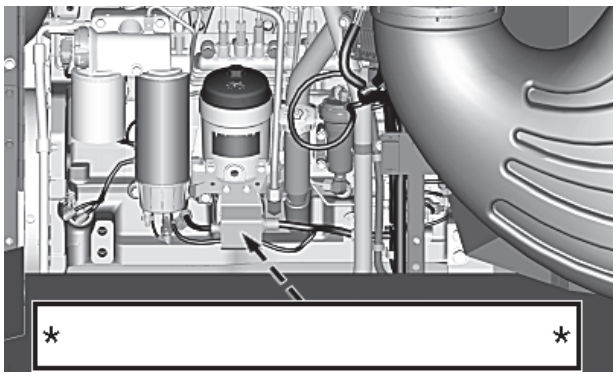


S680、S690

S680、S690：エンジンの前側、スタータの上にあります。

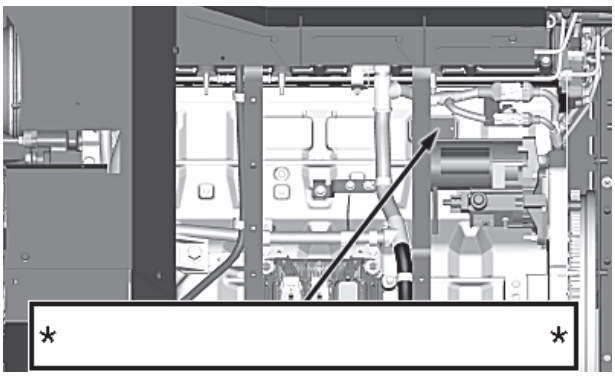
OUO6075,0001590 -40-09JUL13-1/1

エンジンシリアル番号 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)



S660、S670

S660、S670：エンジンの後側にあります。



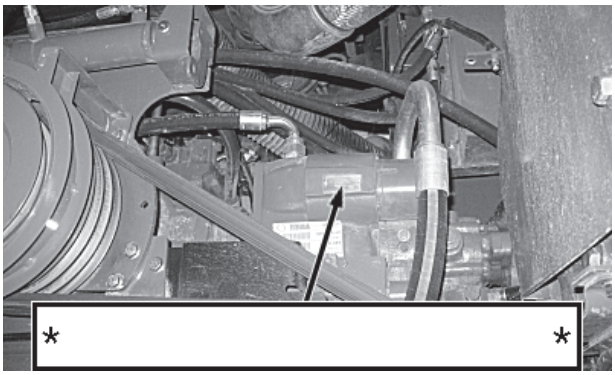
S680、S685、S690

S680、S685、S690：エンジンの前側、スタータの上にあります。

OUO6075,00016EE -40-27NOV13-1/1

ハイドロスタティックドライブユニットポンプ

ハイドロスタティック駆動ポンプの側面にあります。



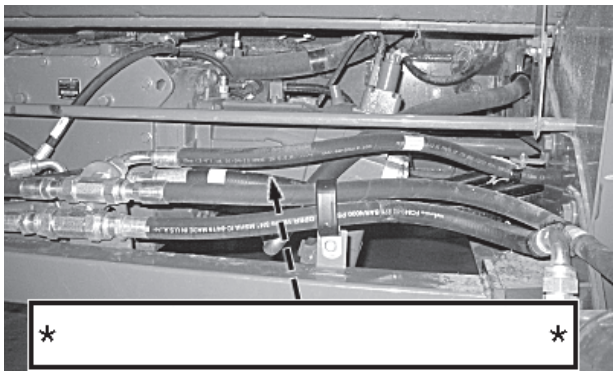
機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械の場合

OUO6075,0001059 -40-27FEB12-1/1

ハイドロスタティックドライブユニットモーター

機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械：ハイドロスタティック駆動モーターの上側にあります。

ProDrive 装備の機械：ハイドロスタティックドライブモーターの下側にあります。

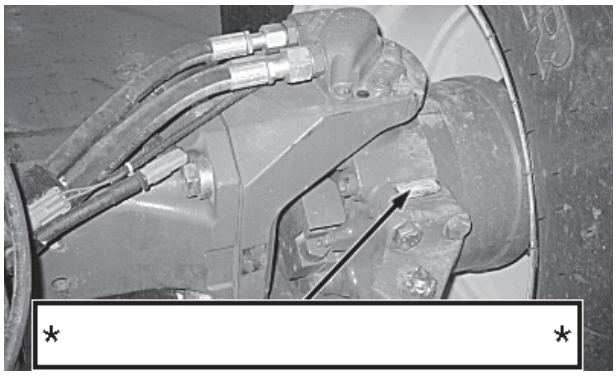


ProDrive 装備の機械の場合

OUO6075,0001058 -40-27FEB12-1/1

2 速四輪駆動モーター

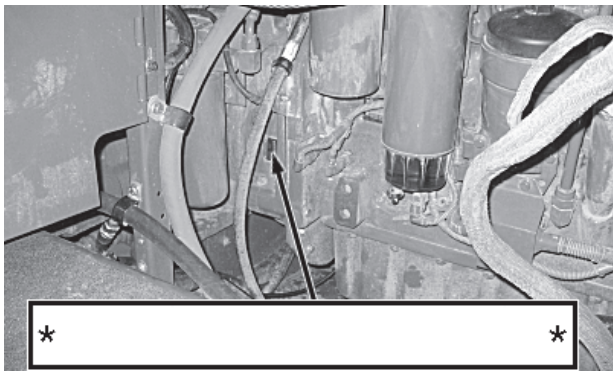
四輪駆動モーターの上側にあります。



OUO6075,0000AF4 -40-14APR11-1/1

エンジンギアケース

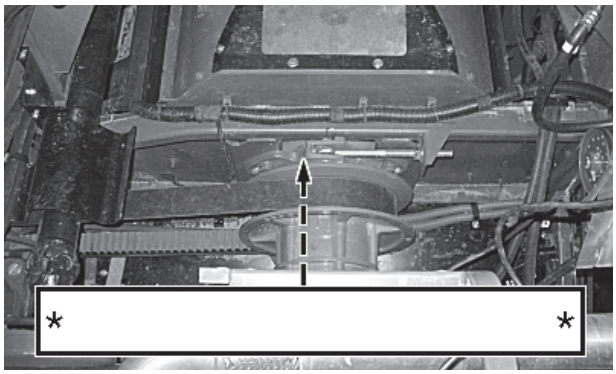
エンジンギアケースの後側にあります。



OUO6075,0001057 -40-27FEB12-1/1

ロータードライブギアケース

ロータードライブギアケースの左側にあります。

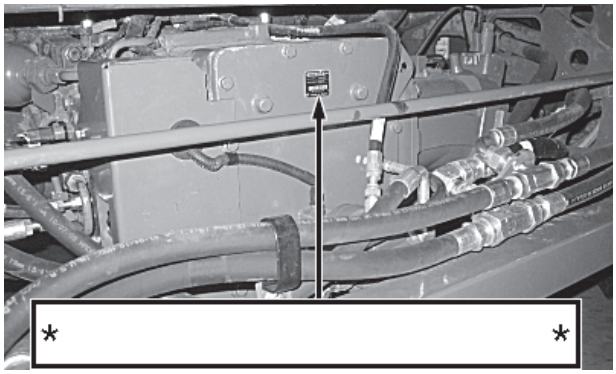


OUO6075,0000AF6 -40-14DEZ10-1/1

トランスミッション

機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械：トランスミッションの側面にあります。

ProDrive 装備の機械：トランスミッションの前側にあります。

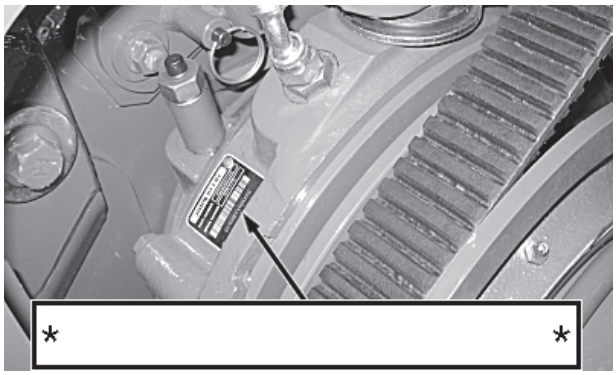


ProDrive トランスミッションの場合

OUO6075,0001056 -40-27FEB12-1/1

フィーダーハウスリバーサ

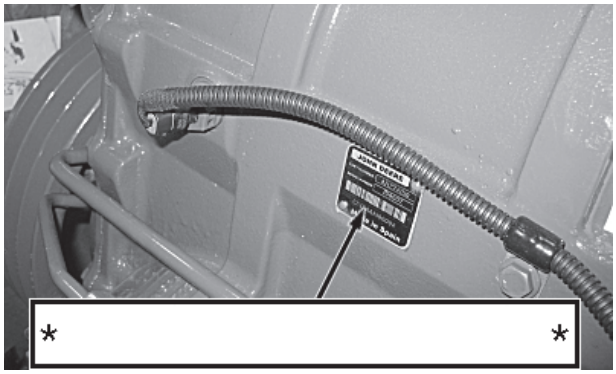
フィーダーハウスリバーサの上側にあります。



OUO6075,0000AF9 -40-14DEZ10-1/1

マルチスピードフィーダーハウスギアケース (装備されている場合)

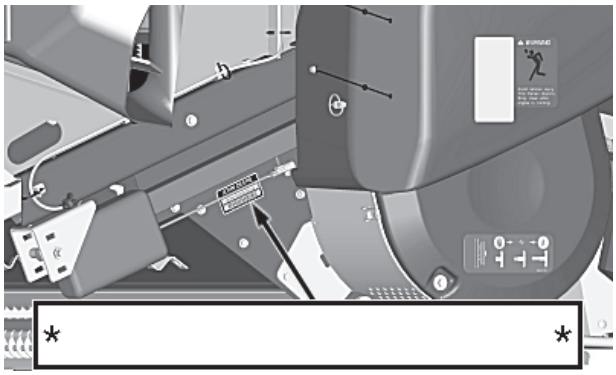
マルチスピードフィーダーハウスギアケースの後側にあります。



OUO6075,0000B00 -40-14DEZ10-1/1

チョッパー (装備されている場合)

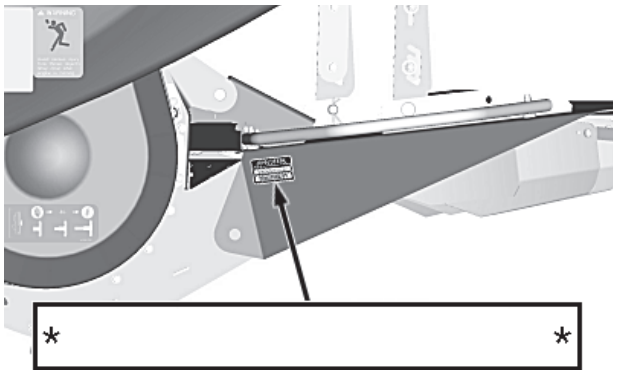
チョッパーの左側にあります。



OUO6075,0000C27 -40-04MAY11-1/1

羽根テールボード (Deluxe、Intermediate、Premium Residue)

羽根テールボードの左側にあります。



OUO6075,0001820 -40-28MAY14-1/1

Advanced PowerCast™ テールボード (Intermediate、Premium Residue)

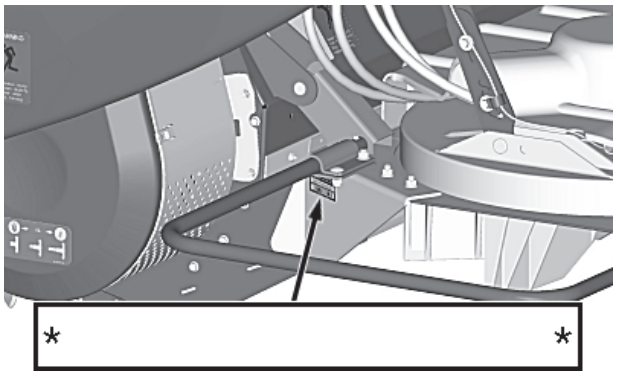
Advanced PowerCast™ テールボードの左側にあります。

PowerCast は John Deer の商標です。

OUO6075,0001821 -40-28MAY14-1/1

PowerCast テールボード (Deluxe Residue)

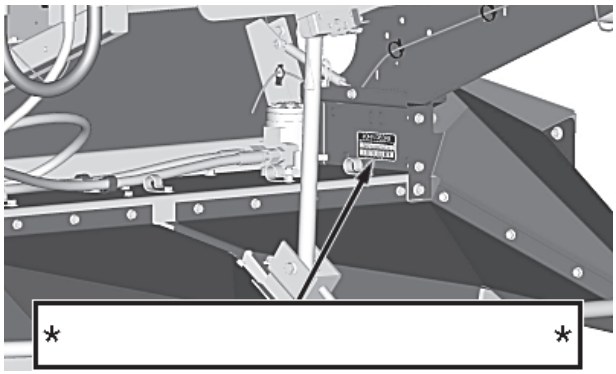
PowerCast テールボードの左側にあります。



OUO6075,0000C2A -40-04MAY11-1/1

スプレッダー (Deluxe Residue)

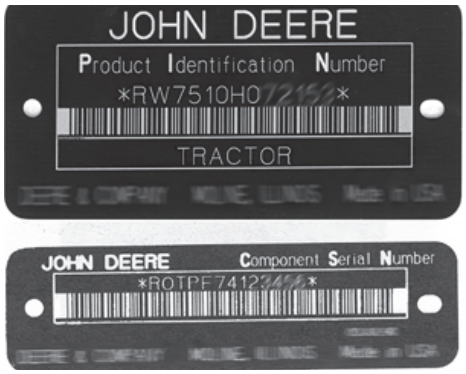
スプレッダーの右側にあります。



OUO6075,0000C2B -40-04MAY11-1/1

所有権証明の保管

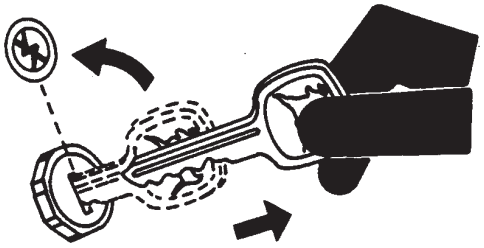
1. すべての製品と部品の最新のシリアル番号目録を安全な場所に保管します。
2. 識別プレートが取り外されていないことを定期的に確認します。何らかの改ざんの形跡があれば法執行機関に報告し、同一のプレートを発注してください。
3. 実行可能なその他の手順：
   - 独自の番号システムで機械に印を付けます。
   - いくつかのアングルから各機械のカラー写真を撮ります。



DX,SECURE1 -40-28NOV12-1/1

機械の安全な保管

1. 破壊防止装置を取り付けます。
2. 機械の保管中の注意事項：
   - 装置を地面に降ろします。
   - 車輪幅を最大位置にして積み込みにくくします。
   - すべてのキーとバッテリを取り外します。
3. 屋内に駐車する場合は、大型装置を出入口の前に置いて保管庫を施錠します。
4. 屋外に駐車する場合は、明るくフェンスで囲まれた場所に保管します。
5. 不審な行為は記録して、盗難があれば直ちに法執行機関に報告します。
6. 損害があれば John Deere 取扱店にご連絡ください。



DX,SECURE2 -40-28NOV12-1/1

索引

ページ

2

2 番物エレベーター
センサー 70-74
調整
ドライブベルト (S660、S670) 70-75
上部ドライブチェーン (S660、S670) 70-76
2 番物システム
交換
ドライブチェーン (S680、S685、S690) 70-79
ドライブベルト (S680、S685、S690) 70-78
取り外し
ラスプバー (S680、S685、S690) 70-80
摩耗ストリップ (S680、S685、S690) 70-80
取り付け
ラスプバー (S680、S685、S690) 70-80
摩耗ストリップ (S680、S685、S690) 70-80
清掃
2 番物エレベーターセンサー 70-74
オーガの清掃 (S680、S685、S690) 70-84
調整
2 番物エレベーターパドルチェーン 70-76
エレベーターパドル 70-75
ドライブチェーン (S680、S685、S690) 70-79
ドライブベルト (S680、S685、S690) 70-77
ラスプバー (S680、S685、S690) 70-82
リターンコンケーブ (S680、S685、S690) 70-84
摩耗ストリップ (S680、S685、S690) 70-82

A

Advanced PowerCast
交換
スプレッダーディスク 80-28

C

CB
ラジオの取り付け 25-4
CommandCenter
電話
設定 30-79
操作 30-76
電話帳 30-77, 30-78
CoolScan 160-19

D

Dial-A-Speed
有効化 30-61

F

FarmSight™
イーサネット接続 (装備されている場合) 50-1

ページ

H

Harvest Smart フィードレート (オプション)
システムの説明 140-1
リンプモードと緊急モード 140-14
安全な操作 140-1
Harvest Smart™ フィードレート (オプション)
キャパシティモード 140-1
システムの症状 140-11
スマートモード 140-1
トラブルシューティング 140-12
初期較正 140-7
推奨事項 140-10
操作 140-8
追加情報 140-9
圃場の症状 140-11
Harvest Smart™ フィードレート (装備されている場合)
情報画面 30-22, 30-54
Harvest Smart™ フィードレート (装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン)
画面 30-13
HillMaster
スイッチ
水平調整制御 35-22, 145-4
一般情報 145-1
日常操作の準備 145-3

O

Oilscan 160-19

P

Posi-Torq™
速度レンジ 70-48
PowerCast テールボード (オプション)
リアシュラウド 75-6
調整 75-5
PowerCast テールボードブレード (オプション)
交換 75-5
ProDrive™
ギアケース
オイルの推奨事項 160-19

S

SCR (選択触媒還元) システム
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 115-6

V

VisionTrak™
ディスプレイ 40-26
パフォーマンスモニタ (一般情報) 40-28
パフォーマンスモニタの操作 40-29
作動点検 40-32
予備調整 40-32

次のページへ

ページ

あ

アキュムレータ
圧力 165-3
アクセスドアワークライト
交換 90-18
アクセスマネージャアプリケーション
アクセスレベルの設定 30-98
アプリケーションのロック／ロック解除 30-99
パスワードの変更 30-98
アクティブヘッダーフロート 40-16
有効化 30-61
圧力
タイヤの点検 100-2
アブラナ
作物の設定 135-1
アプリケーション
アクセスマネージャ
アクセスレベルの設定 30-98
アプリケーションのロック／ロック解除 30-99
パスワードの変更 30-98
ディスプレイ
アラーム音量 30-82
キャビンとの同期 30-82
グローバルポジショニングシステム (GPS)
日付／時刻設定 30-86
ディスプレイテスト 30-88
バージョン情報
(ソフトウェアおよびハードウェア情報) 30-87
輝度レベル 30-81
境界ボックスの色 30-83
減光モード 30-81
言語の設定 30-84
時刻の設定 30-86
診断読み値 30-88
測定単位の設定 30-84
地域の設定 30-84
昼／夜の設定 30-81
日付設定 30-86
複数のディスプレイの接続 30-90
補助制御装置の接続 30-90
パフォーマンスモニタ
ヘッダー幅情報 30-93
メニュー情報 30-92
情報の消去 30-93
点検間隔情報 30-93
面積カウンター情報 30-93
ビデオ
コントラストの調整 30-96
ビデオインターフェース機能 30-95
ビデオ設定 30-97
ミラーの設定 30-96
安全 30-96

ページ

メッセージセンター
CAN バス情報 30-91
デバッグファイルの転送 30-91
メッセージ情報 30-91
診断アドレス情報 30-91
診断トラブルコード情報 30-91
電子コントロールユニット情報 30-91
レイアウトマネージャ
ホームページ領域の設定 30-94
亜麻
作物の設定 135-3
アラーム
バックアップ 125-6
アラーム音量
調整 30-82
アルファルファ
作物の設定 135-1
安全
シートベルト 50-8
ステッカー
ジャッキポケット位置 100-13
機械の結束位置 125-12
タイヤ荷重ステッカー 100-1
バックアップアラーム 125-6
バッテリの安全な取り付け 90-4
ハロゲンバルブの安全規則 90-11
フィーダーハウスストップ 60-1
ヘッダーの輸送 10-3
火災防止のための推奨事項 150-1
機械の機能 05-1
高輝度放電バルブの安全規則 90-15
消火器 50-10, 150-3
チェックリスト 150-1
位置 50-11, 150-3
操作 150-1
非常出口 50-1
安全、高圧流体の回避
高圧流体の回避 10-12
安全、燃料の安全な取り扱い、火災防止
火災防止、燃料の安全な取り扱い 10-4, 150-2, 160-1
アンテナ 25-3
アンローディングオーガ
せん断ボルト 85-6
位置 85-5
ロックアームの位置 85-11
交換
ドライブベルト (S660、S670) 85-11
ドライブベルト (S680、S685、S690) 85-13
ライト 90-18
調整
アンローディングオーガ位置 85-10
クレードルサポート 85-10
ドライブチェーン 85-9

次のページへ

ページ

い

イネ
作物の設定 135-6
インジケーター
フィーダーハウスの傾斜 60-29
調整
充満センサー 85-3
インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合)
システムの設定 30-41, 30-49
システムモニタリングアイコン 30-45, 30-50
以前の受け入れ可能な
パラメータ設定の確認 30-47, 30-52
改善設定の確認 30-46, 30-51
穀粒ロスの改善 30-43
穀粒品質の改善 30-44
最適化完了 30-48, 30-53
収穫時の優先項目の設定 30-43
情報画面 30-22
推奨機械の変更 30-44, 30-48, 30-49, 30-53
設定
コンバインの改善目標 30-42
情報画面 30-22
インタラクティブコンバイン調整 (装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン)
画面 30-12
インフォテイメント
ディスプレイナビゲーション 30-4

う

ウインドシールド
ウォッシャスイッチ 50-12
ワイパースイッチ 50-12
ウィンドローコンバージェンスレーキ 80-29
運転回転数 (S660、S670) 180-1
運転回転数 (S680、S685、S690) 180-3

え

エアクリーナフィルタ
取り外し 120-61
エアコン
トラブルシューティング 170-19
エアコンベルト (インテリムティア 4／ステージ III B)
交換 (S680、S685、S690) 120-38
エアコンベルト (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
交換 (S660、S670) 120-34
エアシュート 75-9, 80-5
エアスクープ
位置 110-5
拡張圃場位置 110-7
標準圃場位置 110-6
輸送位置 110-8

ページ

エア抜き
燃料システム 120-15
エアフィルタ
取り外し
エンジンデブリマネジメント (インテリムティア 4／
ステージ III B およびファイナル ティア 4／
ステージ IV) 120-60
エーテル
安全 115-8
エグゾーストフィルタ
灰の処理と廃棄 120-62
エグゾーストフィルタ、安全
安全、エグゾーストフィルタ 10-18
エグゾーストフィルタクリーニング
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
情報画面 30-63
エグゾーストフィルタの廃棄 120-63
エグゾーストフィルタの灰の処理と廃棄
ディーゼル微粒子フィルタの灰の処理と廃棄 120-62
エンジン
SCR (選択触媒還元) システム
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 115-6
アクセスカバー 120-1
エアスクープ
位置 110-5
拡張圃場位置 110-7
標準圃場位置 110-6
輸送位置 110-8
エグゾーストフィルタクリーニング
情報画面 30-62
エグゾーストフィルタクリーニング
(インテリムティア 4／ステージ III B および
ファイナル ティア 4／ステージ IV) 30-63
エンジン回転数管理
情報画面
エンジン回転数管理
(ProDrive™ 装備の機械) 30-64
エンジン始動液 120-2
エンジン始動液の安全な取り扱い 115-8
エンジン始動液の作動 115-9
オイルの点検 110-1, 120-3
クーラントヒーター 115-10
ディスプレイナビゲーション 30-7
トラブルシューティング 170-9
フィルタアクセスカバー 120-1
ベルト
取り回し (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-33
取り回し (インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-34

次のページへ

ページ

取り回し (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 120-19
取り回し (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-19
慣らし運転 105-1
慣らし運転整備、100 時間後
(ティア 2／ステージ II) 105-4
慣らし運転整備、400 時間後
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 105-5
慣らし運転点検、最初の 100 時間 105-4
交換
エアコンベルト (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-34
エアコンベルト (インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-38
エンジンデブリマネジメントベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B および
ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-58
オルタネータベルト (インテリムティア 4／ステージ III
B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-34
オルタネータベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-38
バキュームファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-45
バキュームファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-46
バキュームファン従動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-47
ファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-52
ファンベルト (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 120-20
ファンベルト (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-28
ロータリースクリーン駆動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-43
ロータリースクリーン駆動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-44
ロータリースクリーン駆動ベルト
(ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-31

ページ

ロータリースクリーン駆動ベルト
(ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-32
回転数可変ファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-47
補機ベルト (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 120-20
補機ベルト (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-23
始動情報 115-7
取り回し
ロータリースクリーンベルト 120-31
情報画面 30-62
エグゾーストフィルタクリーニング
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) ... 30-63
エンジン回転数管理 (ProDrive™ 装備の機械) 30-64
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)
機械の清掃 155-11
調整
ロータリースクリーンブラシ 120-58
停止情報 115-8
エンジンオイル
ディーゼル
インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV .. 160-17
慣らし運転
インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV .. 160-15
慣らし運転 (ティア 2／ステージ II) 160-15
エンジンオイル (ティア 2／ステージ II) 160-16
エンジンオイルとフィルタの点検間隔
インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV 160-18
ティア 2／ステージ II
標準ドレンオイルパン 160-18
エンジン回転数管理 (ProDrive™ 装備の機械)
情報画面 30-64
エンジン始動液
安全 115-8
操作 115-9
変更 120-2
エンジン出力
改造禁止 120-2
エンジンデブリマネジメント
交換
ドライブベルト (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) . 120-58
エンドウマメ
作物の設定 135-5

次のページへ

ページ

お

オイル
エンジン
インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV ... 160-17
エンジン (ティア 2／ステージ II) 160-16
オイルクーラー
清掃 120-56
オーガ
オーガーベッドディバイダー 70-50
クリーンアウトドア
クリーニングシューオーガギア (装備されている場合) 70-63
グレインタンククロスオーガカバー 85-5
グレインタンクローディングオーガの折りたたみ (グレインタンクエクステンション) 85-7
ローディングオーガデフレクタ 85-6
手動クリーンアウトドア
クリーニングシューオーガギア 70-63
調整
グレインタンクローディングオーガ (グレインタンクカバー) 85-7
上部 2 番物ドライブチェーン (S660、S670) 70-76
オーバーショットビーター
交換
ウイング (装備されている場合) 70-60
ベルト (装備されている場合) 70-59
取り外し
フロア (装備されている場合) 80-7
調整
ベルト (装備されている場合) 70-58
オーバーヘッドコントロールパネル 25-1
オオムギ
作物の設定 135-1
オペレータステーション
John Deere FarmSight™ イーサネット接続 (装備されている場合) 50-1
ギアシフトレバー (装備されている場合) 50-12
キャビンタラップ位置 (シングルタイヤ構成) 50-9
キャビンタラップ位置 (ダブルタイヤ構成) 50-10
シートヒーター／換気スイッチ (プレミアムレザーシート) 50-6
シートベルト 50-8
ステアリングコラム 50-11
ディスプレイ
GreenStar 50-13
Harvest doc 50-13
Harvest Monitor 50-13
ブレーキペダル 50-13
マニュアルの保管場所 50-1
ランバーサポートスイッチ (プレミアムレザーシート) 50-6
右踊り場アクセス 50-13
手すり 50-13
手動パーキングブレーキ (装備されている場合) 50-12

ページ

調整
オペレータシート (プレミアムクロスシート) 50-3
オペレータシート (プレミアムレザーシート) 50-4
オペレータシート (ベーシックシート) 50-2
シートバック (プレミアムクロスシート) 50-5
シートバック (プレミアムレザーシート) 50-5
シートバック (ベーシックシート) 50-5
ひじかけ 50-8
ひじかけディスプレイ 50-8
教習シート 50-7
左ひじかけ (プレミアムクロスシート) 50-5
左ひじかけ (プレミアムレザーシート) 50-5
左ひじかけ (ベーシックシート) 50-5
非常出口 50-1
補助電源コンセント 50-9
冷蔵庫 (装備されている場合) 50-7
折りたたみ機能の設定
情報画面 30-20
折りたたみ機能の設定 (装備されている場合)
アンローディングオーガ 30-24
グレンタンクカバー 30-24
コーンヘッド 30-24
オルタネータベルト (インテリムティア 4／ステージ III B)
交換 (S680、S685、S690) 120-38
オルタネータベルト (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
交換 (S660、S670) 120-34

か

回転数可変ファン
交換
ドライブベルト (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670) 120-47
格子インタラプタ (装備されている場合) 70-13
格子インタラプタの位置 (装備されている場合) 70-13
格子カバー (装備されている場合) 70-12
格子スペーサ 70-11
格子の種類 70-12
カッターバー
前後の調整
マルチファンクションレバーの設定 30-62
カッターバー前後位置 (欧州向け 600X ヘッダープラットフォーム) 40-24
金具のトルク値
メートル法 180-18
ユニファイインチ 180-17
カバー
エンジンアクセス 120-1
エンジンフィルタアクセス 120-1
グレインタンク
操作 85-4

次のページへ

ページ

カラシ
作物の設定 135-4
カラスムギ
作物の設定 135-5
刈幅の変更
収穫情報画面 30-17
関税同盟：EAC 180-16
関税同盟：EAC 適合ラベルの位置 185-3
寒冷気候
エンジン始動液 120-2
エンジン始動液の安全な取り扱い 115-8
エンジン始動液の作動 115-9
クーラントヒーター 115-10

き

ギアケース
ProDrive™ 搭載機械
オイルの推奨事項 160-19
オイルの推奨事項 160-19, 160-21
ギアシフト
レバー (装備されている場合) 50-12
機械
ジャッキポケット位置のステッカー 100-13
トレーラーによる輸送 125-7
結束位置ステッカー 125-12
牽引
(ProDrive トランスミッション装備の機械) 125-14
牽引
(押しボタンシフトトランスミッション
装備の機械) 125-14
牽引
(機械式シフトトランスミッション
装備の機械) 125-13
道路輸送 125-1
ヘッダーを取り付けた状態 100-1, 125-1
輸送情報 125-12
機械識別番号 185-2
2 速四輪駆動モーター 185-4
Advanced PowerCast™ テールボード
(Intermediate、Premium Residue) 185-7
PowerCast テールボード (Deluxe Residue) 185-7
エンジン (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 185-3
エンジン (ティア 2／ステージ II) 185-3
エンジンギアケース 185-5
スプレッダー (Deluxe Residue) 185-8
チョッパー (装備されている場合) 185-6
トランスミッション 185-5
ハイドロスタティックドライブポンプ 185-4
ハイドロスタティックドライブモーター 185-4
フィーダーハウスリバーサ 185-6
マルチスピードフィーダーハウスギアケース
(装備されている場合) 185-6
ロータードライブギアケース 185-5

ページ

羽根テールボード (Deluxe、Intermediate、
Premium Residue) 185-7
機械識別プレート 185-2
関税同盟：EAC 適合ラベルの位置 185-3
機械識別プレートの位置 185-2
機械の運転
ヘッダーを取り付けた状態 100-1, 125-1
道路輸送 125-1
機械の結束位置ステッカー 125-12
機械の上昇
ジャッキポケット位置のステッカー 100-13
機械の設定
コンケーブに関する推奨事項 135-9
コンバイン設定画面 30-39
チョッパーコントローラバー
(オプション) 75-10, 80-7
チョッパー回転数の変更 75-16, 80-14
テールボード羽根 75-3, 75-4, 80-3
ドラム高さ 60-8
固定ナイフバンク 75-11, 80-8
作物ダイバータ 75-9, 80-5
作物の設定
アブラナ 135-1
アルファルファ 135-1
イネ 135-6
エンドウマメ 135-5
オオムギ 135-1
カラシ 135-4
カラスムギ 135-5
キビ 135-4
グアー (クラスタマメ) 135-3
コムギ (難脱穀性) 135-8
コムギ (普通) 135-8
トウモロコシ (ウェット) 135-2
トウモロコシ (ドライ) 135-2
トウモロコシ穂軸混合 135-2
ナタネ (ドライ) 135-5
ナタネ (未乾燥) 135-6
ヒマワリ 135-7
ヒヨコ豆 135-1
ヒラマメ 135-3
ベニバナ 135-6
ポップコーン 135-5
モロコシ 135-7
ライコムギ 135-7
ライムギ 135-6
ルピナス 135-4
亜麻 135-3
脚注の説明ページ 135-9
食用大豆 135-2
大豆 135-7
白インゲンマメ 135-4
牧草種子 135-3
収穫のヒント 130-1

次のページへ

ページ

情報画面 30-21
低温時の運転 130-1
動力の遮断手順 135-10
機械の保管
機械の準備 175-1
冬季に対する冷却システムの準備 120-18
保管からの機械の復帰 175-2
機械の輸送
結束位置ステッカー 125-12
牽引 125-7
輝度レベル
調整 30-81
キビ
作物の設定 135-4
記録
ヘッダー停止高さ 30-57
手動 ON/OFF 30-13
停止高さ 30-57
キャパシティモード
Harvest Smart™ フィードレート (オプション) 140-1
キャビン
ClimaTrak 自動温度コントロール 35-23
アクセスマネージャアプリケーション
アクセスレベルの設定 30-98
アプリケーションのロック／ロック解除 30-99
パスワードの変更 30-98
アフターマーケットラジオ 25-3
オーバーヘッドコントロールパネル 25-1
コーナーポスト
Dial-A-Speed
自動／手動調整 40-12
VisionTrak 予備調整 40-32
VisionTrak™ ディスプレイ 40-26
VisionTrak™ パフォーマンスモニタ
(一般情報) 40-28
VisionTrak™ パフォーマンスモニタの操作 40-29
VisionTrak™ 作動点検 40-32
アクティブヘッダーフロート 40-16
アクティブヘッダー制御ディスプレイ 40-4
カッターバー前後位置 (欧州向け 600X ヘッダー
プラットフォーム) 40-24
ディスプレイ 40-1
デッキプレート再開 40-20
ヘッダー高さ検出 40-8
ヘッダー高さ検出
(HydraFlex プラットフォーム) 40-10
ヘッダー高さ再開 40-6
リール位置再開 40-18
横方向傾斜 (オプション) 40-14
起動ボタンモードの組み合せ 40-5
自動ヘッダー高さ制御システムの説明 40-4
油圧フィーダーハウス前後傾斜
(装備されている場合) 40-22
コントロール

ページ

オペレータインターフェース 35-19
マルチファンクションレバー、AutoTrac™ 再開
(装備されている場合) 35-31
マルチファンクションレバー、アンローディング
オーガドライブ 35-28
マルチファンクションレバー、アンローディング
オーガ旋回 35-27
マルチファンクションレバー、カッターバー前後
(600X ヘッダープラットフォーム) 35-32
マルチファンクションレバー、コーンヘッドバック
シャフト回転数／調整式デッキプレート
間隔 35-30
マルチファンクションレバー、ドレーパーカッター
バー傾斜スイッチ (600D ドレーパー) 35-32
マルチファンクションレバー、プラットフォーム
リールリフト／リール前後 35-30
マルチファンクションレバー、ヘッダー起動 ... 35-31
マルチファンクションレバー、ヘッダー昇降 ... 35-28
マルチファンクションレバー、機械同期
(装備されている場合) 35-29
マルチファンクションレバー、油圧フィーダー
ハウス前後傾斜 (装備されている場合) 35-32
マルチファンクションレバークイック
ストップ 35-27
マルチファンクションレバースイッチ 35-26
マルチファンクションレバーパーム調整 35-25
マルチファンクションレバー横方向傾斜 35-29
スイッチ
CommandARM™ コントロール 35-11
Harvest Smart™ フィードレート有効化
(装備されている場合) 35-4
HillMaster 水平調整制御 35-22, 145-4
ProDrive モード (ProDrive 装備の機械)
(装備されている場合) 35-6
インテリアライト 55-9
ウインドシールドウォッシャ 50-12
ウインドシールドワイパー 50-12
エンジン回転数 35-5
クリーニングファン回転数の調整 35-13
サイドベルト回転数低減 35-19
スプレッダー回転数の調整
(Advanced PowerCast™ スプレッダー) 35-15
スプレッダー回転数の調整
(PowerCast™ スプレッダー) 35-14
スプレッダー回転数の調整
(わらスプレッダー) 35-14
セットポイントモード (手動または自動) 35-20
セパレータ接続 35-3
ターンシグナル 55-8
チャファーの調整 35-18
ディスチャージスワップ
(装備されている場合) 35-16

次のページへ

ページ

テールボード羽根角度の調整
(装備されている場合) 35-18
デフロック (装備されている場合) 35-8
パーキングブレーキ (装備されている場合) 35-5
ひじかけコントロール 35-1
フィーダーハウスリバーサ、シフト 35-3
フィーダーハウスレート／感度調整 35-17
ふるいの調整 35-18
ヘッダー接続およびフィーダーハウス
リバーサ 35-2
ヘッダー調整 35-12
マップライト 55-9
ライト 35-24, 55-1
ライトの位置 55-2
運転ライト (ロシアのみ) 55-8
ラジオ機能 (装備されている場合) 35-25
押しボタンシフトギアスイッチ
(装備されている場合) 35-6
四輪駆動 (装備されている場合) 35-8
照明の遅延／タイムアウト 55-8
折りたたみ機能ショートカット
(装備されている場合) 35-10
脱穀隙間の調整 35-18
脱穀速度の調整 35-13
道路輸送切断 35-10
スイッチの図 20-1
ダイヤル
Dial-A-Speed ダイヤル
自動／手動調整 35-9
ヘッダー高さ／HydraFlex 圧力の制御 35-9
タラップ位置 (シングルタイヤ構成) 50-9
タラップ位置 (ダブルタイヤ構成) 50-10
ディスプレイ
ディスプレイアプリケーション
アラーム音量 30-82
キャビンとの同期 30-82
グローバルポジショニングシステム (GPS)
日付／時刻設定 30-86
ディスプレイテスト 30-88
バージョン情報
(ソフトウェアおよびハードウェア情報) 30-87
輝度レベル 30-81
境界ボックスの色 30-83
減光モード 30-81
言語の設定 30-84
時刻の設定 30-86
診断読み値 30-88
測定単位の設定 30-84
地域の設定 30-84
昼／夜の設定 30-81
日付設定 30-86
複数のディスプレイの接続 30-90
補助制御装置の接続 30-90

ページ

パフォーマンスモニタアプリケーション
ヘッダー幅情報 30-93
メニュー情報 30-92
情報の消去 30-93
点検間隔情報 30-93
面積カウンター情報 30-93
ビデオアプリケーション
コントラストの調整 30-96
ビデオインターフェース機能 30-95
ビデオ設定 30-97
ミラーの設定 30-96
安全 30-96
マイク (オプション) 25-1
ミラーコントロールスイッチ (オプション) 25-2
ミラーヒータースイッチ (オプション) 25-1
メッセージセンターアプリケーション
CAN バス情報 30-91
デバッグファイルの転送 30-91
メッセージ情報 30-91
診断アドレス情報 30-91
診断トラブルコード情報 30-91
電子コントロールユニット情報 30-91
ラジオ
CB の取り付け 25-4
アンテナ 25-3
ラジオのコントロール 25-3
ラジオの種類 (オプション) 25-2
レイアウトマネージャアプリケーション
ホームページ領域の設定 30-94
右踊り場 50-13
較正画面 30-65
Harvest Smart™ フィードレート
(装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン) 30-13
アイコンの識別 30-8
アンローディングオーガ
(システムモニタリングアイコン) 30-12
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン) 30-12
インフォテイメントナビゲーション 30-4
エンジン情報ナビゲーション 30-7
エンジン情報画面 30-62
エグゾーストフィルタクリーニング
(インテリムティア 4／ステージ III B および
ファイナル ティア 4／ステージ IV) 30-63
エンジン回転数管理
(ProDrive™ 装備の機械) 30-64
グレインタンク充満センサー
(システムモニタリングアイコン) 30-12
コンバインの設定ナビゲーション 30-6
コンバインメインナビゲーション 30-5
コンバインメイン画面 30-11

次のページへ

ページ

コンバイン設定画面 30-19
Harvest Smart™ フィードレートの設定
(装備されている場合) 30-22, 30-54
アンローディングレートオフセットの
設定 30-19, 30-23
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合) 30-41, 30-49
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(コンバインの改善目標) 30-22, 30-42
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン) .. 30-45, 30-50
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(以前の受け入れ可能なパラメータ
設定の確認) 30-47, 30-52
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(改善設定の確認) 30-46, 30-51
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(穀粒ロスの改善) 30-43
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(穀粒品質の改善) 30-44
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(最適化完了) 30-48, 30-53
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(収穫時の優先順位の設定) 30-22, 30-43
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(推奨機械の変更) 30-44, 30-48, 30-49, 30-53
グレインタンクレベルの設定 30-19, 30-23
機械の設定 30-21
機械の設定の変更 30-39
穀粒ロスの設定の変更 30-37
作物の設定 30-21
作物の変更 30-37
作物因子メニューの変更 30-39
残留物管理の設定 30-20
残留物管理の設定 (スプレッダー回転数) 30-25
残留物管理の設定 (セパレータ羽根位置) 30-25
残留物管理の設定 (チョッパー位置) 30-25
残留物管理の設定
(チョップツードロップ位置) 30-25
収量単位の設定 30-20
収量単位の設定の変更 30-26
水分の設定 30-20
水分の設定の変更 30-26
水分補正の設定の変更 30-26

ページ

折りたたみ機能の設定 30-20
折りたたみ式オーガの設定
(装備されている場合) 30-24
折りたたみ式グレインタンクカバーの設定
(装備されている場合) 30-24
折りたたみ式コーンヘッドの設定
(装備されている場合) 30-24
名前をカスタマイズした作物 30-40
サイドベルト回転数低減
(システムモニタリングアイコン) 30-12
ナビゲーション
(GreenStar™ 3 2630 ディスプレイ) 30-3
ナビゲーション (GreenStar™ 3 CommandCenter™
タッチスクリーン) 30-2
ナビゲーション (GreenStar™ 3 CommandCenter™
非タッチスクリーン) 30-1
ナビゲーションのレイアウト 30-4
パフォーマンスモニタ設定の再構成 30-14
ヘッダー設定のナビゲーション 30-7
ヘッダー設定画面 30-54
ヘッダー設定の変更 30-57
自動ヘッダー制御 (AHC) の設定 30-61
マルチファンクションレバーの設定 30-62
ラジオナビゲーション 30-4
機械の詳細設定の再構成 30-14
牽引モードの設定画面 30-66
左領域のレイアウト 30-11
手動記録 30-13
収穫情報ナビゲーション 30-6
収穫情報画面 30-15
刈幅の変更 30-17
作物総収量の消去 30-19
作物総収量情報 30-16
収量ウェットまたは収量ドライの選択 30-17
圃場総収量の消去 30-18
圃場総収量情報 30-15
収量較正 30-27
タイヤ半径コードの変更 30-34
診断と較正のナビゲーション 30-5
診断画面 30-66
水分センサー温度の較正 30-35
水分と密度の一覧表 30-36
特殊テスト画面 30-66
標準重量表 30-36
領域のレイアウト 30-10
計器図 20-1
手すり 50-13
全体図 20-1
冷蔵庫 (装備されている場合) 50-7
キャビンインテリアライト
交換 90-19
キャビンとの同期
調整 30-82

次のページへ

ページ

吸気システム
改造禁止 120-2
境界ボックスの色
調整 30-83

く

グアー (クラスタマメ)
作物の設定 135-3
クーラント
John Deere COOL-GARD II COOLANT EXTENDER 160-12
ディーゼルエンジン
ウェットスリーブシリンダライナー付きエンジン 160-11
ヒーター 115-10
温暖気候 160-12
凝固点のテスト 160-14
濃縮タイプとの混合、水質 160-13
駆動輪スタータスタッドボルト 100-3
グリース
極圧および多目的 160-21
クリーニングシュー
アクセスドア (スプレッダー機械) 70-63
クリーンアウトドア
オーガギア (装備されている場合) 70-63
ライトの交換 90-18
交換
ベルト 70-64
手動クリーンアウトドア
オーガギア 70-63
調整
エアシュート 70-62
ベルト 70-64
クリーニングファン
交換
ベルト 70-64, 70-65
調整
アクチュエータ 70-65
ベルト 70-64
クリーングレインエレベーター
交換
ベルト 70-72
調整
コンベアチェーン 70-73
ベルト 70-72
グレインタンク
アンローディングオーガ
ロックアームの位置 85-11
アンローディングオーガドライブせん断ボルト 85-6
位置 85-5
アンローディングレートオフセットの設定 30-23
情報画面 30-19
エンジンタラップ 85-1

ページ

グレインタンクの清掃と詰まりの除去を安全に行う 10-11
クロスオーガカバー 85-5
サンプルトラフ 85-2
ドレン穴 85-1
ライトの交換 90-18
レベルの設定
情報画面 30-19
レベルの設定 30-23
ローディングオーガデフレクタ 85-6
ローディングオーガの折りたたみ
(グレインタンクエクステンション) 85-7
交換
アンローディングオーガドライブベルト (S660、S670) 85-11
アンローディングオーガドライブベルト (S680、S685、S690) 85-13
清掃
質量流量センサー
(グレインタンクエクステンション) 85-8
質量流量センサー
(グレインタンクカバー) 85-9
操作
カバー (装備されている場合) 85-4
調整
アンローディングオーガクレードルサポート 85-10
アンローディングオーガドライブチェーン 85-9
アンローディングオーガ位置 85-10
カバー (装備されている場合) 85-4
ローディングオーガ (グレインタンクカバー) 85-7
充満センサーインジケーター 85-3
グローバルポジショニングシステム (GPS)
日付／時刻設定
変更 30-86

け

傾斜インジケーター
フィーダーハウス 60-29
傾斜フレーム
設定
フィーダーハウス 60-4
調整
フィーダーハウス 60-4
牽引
機械
(ProDrive トランスミッション装備の機械) 125-14
機械 (押しボタンシフトトランスミッション装備の機械) 125-14
機械 (機械式シフトトランスミッション装備の機械) 125-13
機械の後退 125-16
機械の前進 125-15

次のページへ

ページ

牽引フック
フロント 125-15
リア 125-16
牽引モードの設定
画面 30-66
減光モード
調整 30-81
言語の設定
変更 30-84

こ

較正
Harvest Smart™ フィードレート (オプション) 140-7
エラーコード 45-2
ディスプレイナビゲーション 30-5
画面 30-65
較正の時期 45-1
機械のシステム 45-2
穀粒ロス 30-37
穀粒ロスの設定 30-37
収量 30-27
タイヤ半径コードの変更 30-34
水分センサー温度の較正 30-35
コード
タイヤ半径の変更 30-34
コーナーポスト
ディスプレイ
Dial-A-Speed
自動／手動調整 40-12
VisionTrak 予備調整 40-32
VisionTrak™ 40-26
VisionTrak™ パフォーマンスモニタ
(一般情報) 40-28
VisionTrak™ パフォーマンスモニタの操作 40-29
VisionTrak™ 作動点検 40-32
アクティブヘッダーフロート 40-16
アクティブヘッダー制御 40-4
カッターバー前後位置 (欧州向け 600X
ヘッダープラットフォーム) 40-24
ディスプレイ 40-1
デッキプレート位置再開 40-20
ヘッダー高さ検出 40-8
ヘッダー高さ検出
(HydraFlex プラットフォーム) 40-10
ヘッダー高さ再開 40-6
リール位置再開 40-18
横方向傾斜 (オプション) 40-14
起動ボタンモードの組み合せ 40-5
自動ヘッダー高さ制御システムの説明 40-4
油圧フィーダーハウス前後傾斜
(装備されている場合) 40-22
穀粒ロスの設定
コンバイン設定画面 30-37

ページ

固定ナイフバンク
ブレードの交換 75-12, 80-9
調整 75-11, 80-8
コムギ (難脱穀性)
作物の設定 135-8
コムギ (普通)
作物の設定 135-8
コンケーブ
セクターギアせん断ボルト
(標準型コンケーブの調整) 70-14
セパレータ格子の種類 70-12
格子インタラプタ (装備されている場合) 70-13
格子インタラプタの位置 (装備されている場合) 70-13
格子カバー (装備されている場合) 70-12
格子スペーサ 70-11
取り外し
セクション (アクティブコンケーブの分離) 70-19
セクション (標準型コンケーブの調整) 70-14
取り付け
セクション (アクティブコンケーブの分離) 70-19
セクション (標準型コンケーブの調整) 70-14
種々のタイプ 70-11
推奨事項 70-10
水平調整 (アクティブコンケーブの分離) 70-30
水平調整 (標準型コンケーブの調整) 70-27
コンケーブの水平調整
アクティブコンケーブの分離 70-30
標準型コンケーブの調整 70-27
コンデンサ
清掃 120-56
コントローラバー (オプション) 75-10, 80-7
コントロール
オーバーヘッドコントロールパネル 25-1
コントロールと計器の全体図 20-1
マイク (オプション) 25-1
ミラースイッチ (オプション) 25-2
ミラーヒータースイッチ (オプション) 25-1
コンバインの設定
ディスプレイナビゲーション 30-6
画面 30-19
Harvest Smart™ フィードレートの設定
(装備されている場合) 30-22, 30-54
アンローディングレートオフセットの
設定 30-19, 30-23
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合) 30-41, 30-49
コンバインの改善目標 30-22, 30-42
システムモニタリングアイコン 30-45, 30-50
以前の受け入れ可能なパラメータ
設定の確認 30-47, 30-52
改善設定の確認 30-46, 30-51
穀粒ロスの改善 30-43
穀粒品質の改善 30-44

次のページへ

ページ

最適化完了 30-48, 30-53
収穫時の優先項目の設定 30-22, 30-43
推奨機械の変更 30-44, 30-48, 30-49, 30-53
グレインタンクレベルの設定 30-19, 30-23
機械の設定 30-21
作物の設定 30-21
残留物管理の設定 30-20
残留物管理の設定 (スプレッダー回転数) 30-25
残留物管理の設定 (セパレータ羽根位置) 30-25
残留物管理の設定 (チョッパー位置) 30-25
残留物管理の設定
(チョップツードロップ位置) 30-25
収量単位の設定 30-20
水分の設定 30-20
折りたたみ機能の設定 30-20
折りたたみ式オーガの設定
(装備されている場合) 30-24
折りたたみ式グレインタンクカバーの設定
(装備されている場合) 30-24
折りたたみ式コーンヘッドの設定
(装備されている場合) 30-24
機械の設定の変更 30-39
穀粒ロスの設定の変更 30-37
作物の変更 30-37
作物因子メニューの変更 30-39
収量単位の設定 30-26
水分の設定の変更 30-26
水分補正の設定の変更 30-26
名前をカスタマイズした作物 30-40
コンバインメイン
アンローディングオーガ
(システムモニタリングアイコン) 30-12
グレインタンク充満センサー
(システムモニタリングアイコン) 30-12
サイドベルト回転数低減
(システムモニタリングアイコン) 30-12
ディスプレイナビゲーション 30-5
画面 30-11
コンベアオーガ
交換
ベルト 70-64
調整
ベルト 70-64
コンベア速度
交換 60-8
コンベアチェーン
取り外し
リンク 60-7
調整 60-6
ドライブチェーン 60-10

さ

サイドファインダーライト
交換 90-18

ページ

作物
コンバイン設定画面 30-37
重量表 30-36
水分の一覧表 30-36
密度の表 30-36
作物因子メニュー
コンバイン設定画面 30-39
作物総収量
情報画面 30-16
作物総収量の消去
収穫情報画面 30-19
作物ダイバータ 75-9, 80-5
作物ダイバータ羽根
調整 75-8, 80-4
作物の設定
アブラナ 135-1
アルファルファ 135-1
イネ 135-6
エンドウマメ 135-5
オオムギ 135-1
カラシ 135-4
カラスムギ 135-5
キビ 135-4
グアー (クラスタマメ) 135-3
コムギ (難脱穀性) 135-8
コムギ (普通) 135-8
コンケーブに関する推奨事項 135-9
トウモロコシ (ウェット) 135-2
トウモロコシ (ドライ) 135-2
トウモロコシ穂軸混合 135-2
ナタネ (ドライ) 135-5
ナタネ (未乾燥) 135-6
ヒマワリ 135-7
ヒヨコ豆 135-1
ヒラマメ 135-3
ベニバナ 135-6
ポップコーン 135-5
モロコシ 135-7
ライコムギ 135-7
ライムギ 135-6
ルピナス 135-4
亜麻 135-3
脚注の説明ページ 135-9
情報画面 30-21
食用大豆 135-2
大豆 135-7
白インゲンマメ 135-4
牧草種子 135-3
残留物管理の設定
スプレッダー回転数 30-25
セパレータ羽根位置 30-25
チョッパー位置 30-25
チョップツードロップ位置 30-25
情報画面 30-20

次のページへ

ページ

し

シート
シートヒーター／換気スイッチ
(プレミアムレザーシート) 50-6
シートベルト 50-8
ランバーサポートスイッチ
(プレミアムレザーシート) 50-6
調整
オペレータシート (プレミアムクロスシート) 50-3
オペレータシート (プレミアムレザーシート) 50-4
オペレータシート (ベーシックシート) 50-2
シートバック (プレミアムクロスシート) 50-5
シートバック (プレミアムレザーシート) 50-5
シートバック (ベーシックシート) 50-5
ひじかけ 50-8
ひじかけディスプレイ 50-8
教習シート 50-7
左ひじかけ (プレミアムクロスシート) 50-5
左ひじかけ (プレミアムレザーシート) 50-5
左ひじかけ (ベーシックシート) 50-5
シールド
ガルウイングドア 65-1
セパレータカバー 65-5
フィーダーハウス 60-1
フィーダーハウスドア 60-2
右側 65-4
左側 65-2
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)
機械の清掃 155-11
時刻の設定
変更 30-86
質量流量センサー
トラブルシューティング 170-20
自動ヘッダー制御 (AHC)
有効化
Dial-A-Speed 30-61
アクティブヘッダーフロート 30-61
デッキプレート位置 30-61
ヘッダー高さ検出 30-61
ヘッダー高さ再開 30-61
リール位置 30-61
横方向傾斜 30-61
ジャッキポケット
位置のステッカー 100-13
収穫情報
ディスプレイナビゲーション 30-6
画面 30-15
作物総収量情報 30-16
圃場総収量情報 30-15
刈幅の変更 30-17
作物総収量の消去 30-19

ページ

収量ウェットまたは収量ドライの選択 30-17
圃場総収量の消去 30-18
収穫のヒント
低温時の運転 130-1
収量ウェットまたは収量ドライ
収穫情報画面 30-17
収量較正 30-27
タイヤ半径コードの変更 30-34
収量単位
設定 30-26
収量単位の設定
情報画面 30-20
手動
保管場所 50-1
潤滑剤
混合 160-22
潤滑剤、安全
安全、潤滑剤 160-22
潤滑剤の混合 160-22
潤滑剤の保管
保管、潤滑剤 160-22
潤滑とメンテナンス
必要に応じて
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの清掃 160-10
仕様
運転回転数 (S660、S670) 180-1
運転回転数 (S680、S685、S690) 180-3
寸法 (S660、S670) 180-9
寸法 (S670 HillMaster™) 180-10
寸法 (S680 HillMaster™、S685 HillMaster™ および S690 HillMaster™) 180-12
寸法 (S680、S685、S690) 180-11
寸法基準点 180-13
全身振動 180-14
騒音レベル 180-14
仕様 (S660、S670) 180-5
仕様 (S680、S685、S690) 180-7
消火器 50-10, 150-3
チェックリスト 150-1
火災防止のための推奨事項 150-1
取り付け 50-11, 150-3
操作 150-1
食用大豆
作物の設定 135-2
シリアル番号の識別 185-2
2 速四輪駆動モーター 185-4
Advanced PowerCast™ テールボード (Intermediate、Premium Residue) 185-7
PowerCast テールボード (Deluxe Residue) 185-7
エンジン (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 185-3
エンジン (ティア 2／ステージ II) 185-3
エンジンギアケース 185-5

次のページへ

ページ

スプレッダー (Deluxe Residue) 185-8
チョッパー (装備されている場合) 185-6
トランスミッション 185-5
ハイドロスタティックドライブポンプ 185-4
ハイドロスタティックドライブモーター 185-4
フィーダーハウスリバーサ 185-6
マルチスピードフィーダーハウスギアケース
(装備されている場合) 185-6
ロータードライブギアケース 185-5
羽根テールボード (Deluxe、Intermediate、
Premium Residue) 185-7
白インゲンマメ
作物の設定 135-4
シングルポイント
せん断ねじの位置 60-37
ラッチ 60-30
ラッチ解除
ピン 60-37
清掃
ラッチピン 60-37
調整
ラッチ 60-34
下部ケーブル端 (平地) 60-36
診断
CAN バス情報 30-91
アドレス情報 30-91
ディスプレイナビゲーション 30-5
デバッグファイルの転送 30-91
トラブルコード情報 30-91
電子コントロールユニット情報 30-91
読み値 30-88
読み値画面 30-66
診断トラブルコード
アクセス 95-1
優先順位 95-3

す

スイッチ
AutoTrac™ 再開 (装備されている場合) 35-31
ClimaTrak 自動温度コントロール 35-23
CommandARM™ コントロール 35-11
Harvest Smart™ フィードレート有効化
(装備されている場合) 35-4
HillMaster 水平調整制御 35-22, 145-4
ProDrive モード (ProDrive 装備の機械)
(装備されている場合) 35-6
アンローディングオーガドライブ 35-28
アンローディングオーガ旋回 35-27
ウインドシールドウォッシャ 50-12
ウインドシールドワイパー 50-12
エアコン 35-23
エンジン回転数 35-5
オペレータインターフェース 35-19

ページ

カッターバー前後
(600X ヘッダープラットフォーム) 35-32
キャビンインテリアライト 55-9
クイックストップ 35-27
クリーニングファン回転数の調整 35-13
サイドベルト回転数低減 35-19
シートヒーター／換気
(プレミアムレザーシート) 50-6
スプレッダー回転数の調整
(Advanced PowerCast™ スプレッダー) 35-15
スプレッダー回転数の調整
(PowerCast™ スプレッダー) 35-14
スプレッダー回転数の調整 (わらスプレッダー) 35-14
セットポイントモード (手動または自動) 35-20
セパレータ接続 35-3
ターンシグナル 55-8
チャファーの調整 35-18, 70-68
チョッパーの調整 75-16, 80-14
ディスチャージスワップ (装備されている場合) 35-16
テールボード羽根角度の調整
(装備されている場合) 35-18
デッキプレート間隔の調整 35-30
デフロック (装備されている場合) 35-8
ドレーパーカッターバー傾斜スイッチ
(600D ドレーパー) 35-32
パーキングブレーキ (装備されている場合) 35-5
バックシャフト回転数 35-30
バッテリ遮断 90-9
ひじかけコントロール 35-1
ファン回転数 35-23
フィーダーハウスリバーサ、シフト 35-3
フィーダーハウスレート／感度調整 35-17
ふるいの調整 35-18, 70-68
ヘッダー下降 35-28
ヘッダー起動ボタン 35-31
ヘッダー上昇 35-28
ヘッダー接続およびフィーダーハウスリバーサ 35-2
ヘッダー調整 35-12
マップライト 55-9
マルチファンクションレバーの設定 30-62
ミラーコントロール (オプション) 25-2
ミラーヒーター (オプション) 25-1
ライト 35-24, 55-1
ライトの位置 55-2
運転ライト (ロシアのみ) 55-8
ラジオ機能 (装備されている場合) 35-25
ランバーサポート (プレミアムレザーシート) 50-6
リールリフト 35-30
リール前後 35-30
押しボタンシフトギアスイッチ
(装備されている場合) 35-6
横方向傾斜 35-29
温度コントロール 35-23

次のページへ

ページ

機械同期 (装備されている場合) 35-29
四輪駆動 (装備されている場合) 35-8
照明の遅延／タイムアウト 55-8
折りたたみ機能ショートカット
(装備されている場合) 35-10
霜取り 35-23
脱穀隙間の調整 35-18
脱穀速度の調整 35-13
道路輸送切断 35-10
油圧フィーダーハウス前後傾斜
(装備されている場合) 35-32
水分
水分と密度の一覧表 30-36
水分センサー
トラブルシューティング 170-19
設定 30-26
水分センサー温度の較正 30-35
水分の設定
情報画面 30-20
水分補正
設定 30-26
スタッブルライト
交換 90-18
ステアリング
コラム 50-11
トラブルシューティング 170-7
ステッカー
潤滑の位置 165-2
ストーントラップ 60-3
スプレッダー
ウィンドロー位置 75-31
ワイドスプレッドストロースプレッダー
(オプション) 75-36
一般情報 75-30
下降 75-33
交換
Advanced PowerCast スプレッダーディスク ... 80-28
ディスクアセンブリ (シングルスピード) 75-34
ディスクアセンブリ (デュアルスピード) 75-35
調整
回転数 30-25
スマートモード
Harvest Smart™ フィードレート (オプション) 140-1
寸法
S660、S670 180-9
S670 HillMaster™ 180-10
S680 HillMaster™、S685 HillMaster™
および S690 HillMaster™ 180-12
S680、S685、S690 180-11
基準点 180-13

せ

清掃
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物) 155-11

ページ

機械の清掃 (定期清掃) 155-2
性能点検
動力の遮断 135-10
整備
10 時間ごと 165-4, 165-6
100 時間ごと 165-15
1000 時間ごと 165-42, 165-43
1000 時間ごと (S670 ProDrive™ 装備の機械) 165-41
200 時間ごと 165-16, 165-17
2000 時間ごと 165-44, 165-46
250 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 165-20
250 時間ごと
(インテリムティア 4／ステージ III B) 165-22
250 時間ごと (ティア 2／ステージ II) 165-18, 165-19
400 時間ごと 165-23, 165-39
400 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 165-26
400 時間ごと
または毎年 165-27, 165-29, 165-31, 165-37
400 時間ごとまたは毎年
(S660、S670 ProDrive™ 非装備の機械) 165-33
400 時間ごとまたは毎年
(S660、S670 押しボタンシフトトランスミッション
装備の機械) 165-34
400 時間ごとまたは毎年
(S670 ProDrive 装備の機械) 165-35
400 時間ごとまたは毎年
(S680、S685、S690 ProDrive™
装備の機械) 165-36
400 時間ごとまたは毎年
(インテリムティア 4／ステージ III B) 165-25
400 時間ごとまたは毎年
(ティア 2／ステージ II) 165-24
4500 時間ごと 165-47
4500 時間ごとまたは 3 年ごと
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 165-47
50 時間ごと 165-7, 165-8, 165-10, 165-12, 165-13
6000 時間ごとまたは 6 年ごと 165-48
800 時間ごと 165-40
アキュムレータ圧力 165-3
エンジンオイルの点検 110-1, 120-3
エンジンの慣らし運転 105-1
エンジンルームの清掃 110-9, 150-4
クーラントレベルの点検 110-2
タイヤ空気圧の点検 100-2
ハイドロスタティックオイルの点検 110-2
フラッシング
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-10
リアホイールボルトのトルク 100-6
火災防止 150-1
慣らし運転整備、100 時間後
(ティア 2／ステージ II) 105-4

次のページへ

ページ

慣らし運転整備、400 時間後
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 105-5
慣らし運転点検、最初の 100 時間 105-4
駆動輪ボルトのトルク (シングルタイヤ構成) 100-4
交換
1 次および 2 次燃料フィルタ
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) .. 120-14
1 次および 2 次燃料フィルタ
(ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-12
1 次および 2 次燃料フィルタ
(ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-13
Advanced PowerCast スプレッダーディスク ... 80-28
オーバーショットビーターウイング
(装備されている場合) 70-60
タインフィードアクセルレータの
摩耗ストリップ 70-3
チョッパーブレード 75-13, 80-11
ディスクアセンブリ (シングルスピード) 75-34
ディスクアセンブリ (デュアルスピード) 75-35
ディスチャージビーター摩耗ストリップ 70-56
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-11
固定ナイフバンクブレード 75-12, 80-9
中間スプリッタナイフ 80-10
難脱穀性作物用ディスチャージビーター
摩耗ストリップ 70-58
難脱穀性作物用フィードアクセルレータの
摩耗ストリップ 70-2
排ガス処理用尿素水 (DEF) フィルタ
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-6
標準ディスチャージビーター摩耗ストリップ ... 70-57
標準フィードアクセルレータ摩耗ストリップ 70-1
油圧ホース 165-3
最初の 100 時間 (S670、S680、S685、
S690 ProDrive™ 装備の機械) 165-14
作動油リザーバーオイルの点検 110-2
取り外し
エアクリーナフィルタ 120-61
エンジンデブリマネジメントエアフィルタ
(インテリムティア 4／ステージ III B および
ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-60
充填
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-4
消火器 150-1
心出し
チョッパーブレード 75-14, 80-12
清掃
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-11
機械の清掃 (定期清掃) 155-2

ページ

質量流量センサー
(グレインタンクエクステンション) 85-8
質量流量センサー (グレインタンクカバー) 85-9
燃料プレクリーナ 120-9
清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)
機械の清掃 155-11
調整
アンローディングオーガクレードルサポート ... 85-10
アンローディングオーガドライブチェーン 85-9
アンローディングオーガ位置 85-10
クリーングレインエレベーター
コンベアチェーン 70-73
グレインタンクカバー (装備されている場合) 85-4
グレインタンクローディングオーガ
(グレインタンクカバー) 85-7
ベルト、最初の 50 時間 105-3
点検
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 110-5
冬季に対する冷却システムの準備 120-18
燃料システムのエア抜き 120-15
燃料システムの点検 110-3
燃料タンクシャットオフバルブ 120-7
燃料タンクの充填 120-7, 160-2
燃料タンクの抜き取り 120-7
燃料タンクブリーザーの点検 110-4
抜き取り
ウォーターセパレータ 1 次フィルタ 120-8
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-5
必要に応じて 165-49
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの清掃 160-10
油圧システムの清浄度 165-3
冷却システムの充填 120-18
冷却システムの抜き取り 120-16
設定
コンケーブに関する推奨事項 135-9
コンバイン
Harvest Smart™ フィードレートの設定
(装備されている場合) 30-54
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合) 30-41, 30-49
コンバインの改善目標 30-42
システムモニタリングアイコン 30-45, 30-50
以前の受け入れ可能なパラメータ
設定の確認 30-47, 30-52
改善設定の確認 30-46, 30-51
穀粒ロスの改善 30-43
穀粒品質の改善 30-44
最適化完了 30-48, 30-53
収穫時の優先項目の設定 30-43
推奨機械の変更 30-44, 30-48, 30-49, 30-53
グレインタンクレベル 30-23
ディスプレイナビゲーション 30-6

次のページへ

ページ

機械の設定 30-39
穀粒ロスの設定 30-37
作物 30-37
作物因子メニュー 30-39
残留物管理の設定 (スプレッダー回転数) 30-25
残留物管理の設定 (セパレータ羽根位置) 30-25
残留物管理の設定 (チョッパー位置) 30-25
残留物管理の設定
(チョップツードロップ位置) 30-25
収量単位の設定 30-26
水分の設定 30-26
水分補正の設定 30-26
折りたたみ機能 (装備されている場合)
アンローディングオーガ 30-24
グレンタンクカバー 30-24
コーンヘッド 30-24
名前をカスタマイズした作物 30-40
コンバイン画面 30-19
チョッパーコントローラバー
(オプション) 75-10, 80-7
チョッパー回転数の変更 75-16, 80-14
バラスト要件 (S660) 100-7
バラスト要件 (S670 HillMaster™) 100-9
バラスト要件 (S670) 100-8
バラスト要件 (S680 HillMaster™) 100-12
バラスト要件 (S680) 100-10
バラスト要件 (S685 HillMaster™) 100-13
バラスト要件 (S685) 100-11
バラスト要件 (S690 HillMaster™) 100-13
バラスト要件 (S690) 100-11
ヘッダー
ディスプレイナビゲーション 30-7
手動記録 30-13
ヘッダー画面 30-54
マルチファンクションレバー 30-62
作物
2 番物システムリターンコンケーブ
(S680、S685、S690) 70-84
アブラナ 135-1
アルファルファ 135-1
イネ 135-6
エンドウマメ 135-5
オオムギ 135-1
カラシ 135-4
カラスムギ 135-5
キビ 135-4
グアー (クラスタマメ) 135-3
コムギ (難脱穀性) 135-8
コムギ (普通) 135-8
テールボード羽根 75-3, 75-4, 80-3
トウモロコシ (ウェット) 135-2
トウモロコシ (ドライ) 135-2
トウモロコシ穂軸混合 135-2
ドラム高さ 60-8

ページ

ナタネ (ドライ) 135-5
ナタネ (未乾燥) 135-6
ヒマワリ 135-7
ヒヨコ豆 135-1
ヒラマメ 135-3
フロントタイヤおよびリアタイヤの情報 100-3
ベニバナ 135-6
ポップコーン 135-5
モロコシ 135-7
ライコムギ 135-7
ライムギ 135-6
ルピナス 135-4
亜麻 135-3
脚注の説明ページ 135-9
固定ナイフバンク 75-11, 80-8
作物ダイバータ 75-9, 80-5
収穫のヒント 130-1
食用大豆 135-2
大豆 135-7
低温時の運転 130-1
動力の遮断手順 135-10
白インゲンマメ 135-4
牧草種子 135-3
収穫情報
ディスプレイナビゲーション 30-6
セパレータ
Posi-Torq™
速度レンジ 70-48
オーガーベッドディバイダー 70-50
カバー 65-5
クリーニングシューアクセスドア
(スプレッダー機械) 70-63
クリーニングシューエアシュート 70-62
クリーニングシューオーガギア
クリーンアウトドア (装備されている場合) 70-63
手動クリーンアウトドア 70-63
コンケーブセクターギアせん断ボルト
(標準型コンケーブの調整) 70-14
コンケーブタイプ 70-11
コンケーブに関する推奨事項 70-10
セパレータタインの位置 (TriStream ローター
タフグレインローター構成) 70-41
セパレータタインの位置 (TriStream ローター
デンスパック構成) 70-42
セパレータタインの位置 (バリアブルストリーム
ローターデンスパック構成) 70-47
セパレータタインの位置 (バリアブルストリーム
ローター標準構成) 70-46
ディープツースチャファー 70-67
ディープツースフロントチャファー 70-65
デュアルレンジ
回転数 70-48
トップカバー羽根 (装備されている場合) 70-39
トラブルシューティング 170-2

次のページへ

ページ

右ドライブベルト (S660、S670) 70-86
右ドライブベルト (S680、S685、S690) 70-87
格子インタラプタ (装備されている場合) 70-13
格子インタラプタの位置 (装備されている場合) 70-13
格子カバー (装備されている場合) 70-12
格子スペーサ 70-11
格子の種類 70-12
詰まり除去 70-88
　ディスチャージビーター 70-88
　フィーダーアクセルレータ 70-87
交換
　2 番物システムドライブチェーン
　　(S680、S685、S690) 70-79
　2 番物システムドライブベルト
　　(S680、S685、S690) 70-78
　オーバーショットビーターウイング
　　(装備されている場合) 70-60
　オーバーショットビーターベルト
　　(装備されている場合) 70-59
　カウンタシャフト右フロントベルト 70-61
　カウンタシャフト右リアベルト 70-62
　クリーニングシューベルト 70-64
　クリーニングファンベルト 70-64, 70-65
　クリーングレインエレベーターベルト 70-72
　コンベアオーガベルト 70-64
　タインフィードアクセルレータの
　　摩耗ストリップ 70-3
　ディスチャージビーターベルト 70-51
　ディスチャージビーター摩耗ストリップ 70-56
　ディスチャージビーター摩耗ストリップ
　　(難脱穀性作物用) 70-58
　バリアブルドライブベルト 70-50
　高速大容量フィードアクセルレータベルト 70-7
　難脱穀性作物用フィードアクセルレータの
　　摩耗ストリップ 70-2
　標準ディスチャージビーター
　　摩耗ストリップ 70-57
　標準フィードアクセルレータ
　　摩耗ストリップ 70-1
　標準速度大容量フィードアクセル
　　レータベルト 70-7
高歯ふるい 70-67
左ドライブベルト 70-85
取り外し
　2 番物システムのラスプバー
　　(S680、S685、S690) 70-80
　2 番物システムの摩耗ストリップ
　　(S680、S685、S690) 70-80
　オーバーショットビーターフロア
　　(装備されている場合) 80-7
　コンケーブセクション
　　(アクティブコンケーブの分離) 70-19
　コンケーブセクション
　　(標準型コンケーブの調整) 70-14

ページ

　タインフィードアクセルレータのコームフロア
　　(イネ用機械) 70-4
　チャファーエレメント 70-68
　ふるいエレメント 70-68
　脱穀エレメント (TriStream ローター) 70-39
　脱穀エレメント
　　(バリアブルストリームローター) 70-43
　脱穀タイン (TriStream ローター) 70-39
　脱穀タイン (バリアブルストリームローター) ... 70-43
取り付け
　2 番物システムのラスプバー
　　(S680、S685、S690) 70-80
　2 番物システムの摩耗ストリップ
　　(S680、S685、S690) 70-80
　コンケーブセクション
　　(アクティブコンケーブの分離) 70-19
　コンケーブセクション
　　(標準型コンケーブの調整) 70-14
　チャファーエレメント 70-68
　ふるいエレメント 70-68
　脱穀エレメント (TriStream ローター) 70-39
　脱穀エレメント
　　(バリアブルストリームローター) 70-43
　脱穀タイン (TriStream ローター) 70-39
　脱穀タイン (バリアブルストリームローター) ... 70-43
水平調整
　コンケーブ (アクティブコンケーブの分離) 70-30
　コンケーブ (標準型コンケーブの調整) 70-27
清掃
　2 番物オーガ (S680、S685、S690) 70-84
　2 番物システムエレベーターセンサー 70-74
　機械の清掃 (定期清掃) 155-2
清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)
　機械の清掃 155-11
測定
　チャファー 70-66
　ふるい 70-66
脱穀エレメントの位置
　(TriStream ロータータフグレイン構成) 70-41
脱穀エレメントの位置
　(TriStream ローターデンスパック構成) 70-42
脱穀エレメントの位置
　(バリアブルストリームローターデンス
　　パック構成) 70-47
脱穀エレメントの位置
　(バリアブルストリームローター標準構成) 70-46
調整
　2 番物エレベータードライブベルト
　　(S660、S670) 70-75
　2 番物システムエレベーターパドル 70-75
　2 番物システムエレベーターパドルチェーン ... 70-76
　2 番物システムドライブチェーン
　　(S680、S685、S690) 70-79

次のページへ

ページ

2 番物システムドライブベルト
(S680、S685、S690) 70-77
2 番物システムのラスプバー
(S680、S685、S690) 70-82
2 番物システムの摩耗ストリップ
(S680、S685、S690) 70-82
2 番物システムリターンコンケーブ
(S680、S685、S690) 70-84
オーバーショットビーターベルト
(装備されている場合) 70-58
カウンタシャフト右フロントベルト 70-61
カウンタシャフト右リアベルト 70-62
クリーニングシューベルト 70-64
クリーニングファンアクチュエータ 70-65
クリーニングファンベルト 70-64
クリーングレインエレベーター
コンベアチェーン 70-73
クリーングレインエレベーターベルト 70-72
コンベアオーガベルト 70-64
シーブドライブ隙間 70-49
チャファースイッチ 70-68
チャファーモーター 70-71
ディスチャージビーターベルト 70-51
デュアルゾーン調整リアチャファー 70-68
フィードアクセルレータベルト 70-8
ふるいスイッチ 70-68
ふるいモーター 70-71
羽根位置 30-25
回転数 70-48
上部 2 番物オーガドライブチェーン
(S660、S670) 70-76
汎用チャファー 70-66
汎用ふるい 70-67
変更
高速大容量フィードアクセルレータの速度 70-10
標準速度大容量フィードアクセルレータの
速度 70-9
センサー
調整
グレインタンク充満 85-3
全身振動 180-14
せん断ねじの位置
シングルポイントラッチ 60-37
せん断ボルト
アンローディングオーガドライブ 85-6
位置 85-5

そ

騒音レベル 180-14
測定単位
変更 30-84
ソフトウェア
バージョン情報 30-87

ページ

た

タイヤ
タイヤ半径コードの変更 30-34
バラスト要件 (S660) 100-7
バラスト要件 (S670 HillMaster™) 100-9
バラスト要件 (S670) 100-8
バラスト要件 (S680 HillMaster™) 100-12
バラスト要件 (S680) 100-10
バラスト要件 (S685 HillMaster™) 100-13
バラスト要件 (S685) 100-11
バラスト要件 (S690 HillMaster™) 100-13
バラスト要件 (S690) 100-11
フロントタイヤの情報 100-3
フロント駆動輪オフセット 100-5
リアタイヤの情報 100-3
リアホイールボルトのトルク 100-6
圧力の点検 100-2
液体ウエイト 100-6
荷重ステッカー 100-1
駆動輪スタータスタッドボルト 100-3
駆動輪ボルトのトルク (シングルタイヤ構成) 100-4
ダイヤル
Dial-A-Speed
自動／手動調整 40-12
Dial-A-Speed ダイヤル
自動／手動調整 35-9
ヘッダー高さ／HydraFlex 圧力の制御 35-9
大豆
作物の設定 135-7
脱穀エレメント
位置 (TriStream ロータータフグレインローター
構成) 70-41
位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 70-42
位置 (バリアブルストリームローターデンスパック
構成) 70-47
位置 (バリアブルストリームローター標準構成) 70-46
脱穀エレメント (TriStream ローター)
取り外し 70-39
取り付け 70-39
脱穀エレメント (バリアブルストリームローター)
取り外し 70-43
取り付け 70-43
脱穀タイン
位置 (TriStream ロータータフグレインローター
構成) 70-41
位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 70-42
位置 (バリアブルストリームローターデンスパック
構成) 70-47
位置 (バリアブルストリームローター標準構成) 70-46
脱穀タイン (TriStream ローター)
取り外し 70-39
取り付け 70-39

次のページへ

ページ

脱穀タイン (バリアブルストリームローター)
取り外し 70-43
取り付け 70-43
脱穀羽根
トップカバー羽根 (装備されている場合) 70-39
タラップ
エンジン 85-1
グレインタンク 85-1
リア 120-1
位置 (シングルタイヤ構成) 50-9
位置 (ダブルタイヤ構成) 50-10

ち

地域の設定
変更 30-84
チャージャエアクーラー
清掃 120-56
チャファー
ディープツースチャファー 70-67
ディープツースフロントチャファー 70-65
取り外し
エレメント 70-68
取り付け
エレメント 70-68
測定 70-66
調整
デュアルゾーン調整 70-68
モーター 70-71
調整スイッチ 70-68
汎用チャファー 70-66
チョッパー
PowerCast テールボード (オプション)
リアシュラウド 75-6
アクセスドア 75-10, 80-6
ウィンドローコンバージェンスレーキ 80-29
ウィンドローの一般情報 75-1, 80-1
コントローラバー (オプション) 75-10, 80-7
位置 30-25
一般情報 75-1, 80-1
交換
Advanced PowerCast スプレッダーディスク ... 80-28
PowerCast テールボードブレード
(オプション) 75-5
チョッパージャックシャフトベルト
(S660、S670) 75-24
チョッパージャックシャフトベルト (S670) 80-22
チョッパージャックシャフトベルト
(S680、S685、S690) 75-26, 80-24
チョッパーブレード 75-13, 80-11
ベルト 75-18, 80-16
固定ナイフバンクブレード 75-12, 80-9
中間スプリッタナイフ 80-10
作物ダイバータ 75-9, 80-5

ページ

心出し
チョッパーブレード 75-14, 80-12
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)
機械の清掃 155-11
調整
PowerCast テールボード (オプション) 75-5
エアシュート 75-9, 80-5
チョッパージャックシャフトベルト 75-23, 80-21
チョッパードライブベルト張力 75-17, 80-15
チョップツードロップドア位置 30-25
テールボード 75-1
テールボード羽根 75-2, 80-2
テールボード羽根の設定 75-3, 75-4, 80-3
固定ナイフバンク 75-11, 80-8
作物ダイバータ羽根 75-8, 80-4
調整スイッチ 75-16, 80-14
変更
回転数 75-16, 80-14

て

ディーゼルエンジン、寒冷気候の影響 160-6
ディーゼルエンジンオイル
インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV 160-17
ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響 160-6
ディーゼル燃料 160-3
補助添加剤 160-5
ディーゼル燃料の潤滑性 160-5
ディーゼル微粒子フィルタ
メンテナンスと整備 120-62
ディーゼル微粒子フィルタのメンテナンスと整備 ... 120-62
低温時の運転 130-1
ディスチャージビーター
詰まり除去 70-88
交換
ベルト 70-51
摩耗ストリップ 70-56
調整
ベルト 70-51
ディスチャージビーター (難脱穀性作物用)
交換
摩耗ストリップ 70-58
ディスチャージビーター (標準)
交換
摩耗ストリップ 70-57
ディスチャージライト
交換 90-18
ディスプレイ
Harvest Smart™ フィードレート (装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン) 30-13
アイコンの識別 30-8

次のページへ

ページ

アンローディングオーガ
(システムモニタリングアイコン) 30-12
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(システムモニタリングアイコン) 30-12
インフォテイメントナビゲーション 30-4
エンジン情報ナビゲーション 30-7
エンジン情報画面 30-62
エグゾーストフィルタクリーニング
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 30-63
エンジン回転数管理 (ProDrive™ 装備の機械) 30-64
グレインタンク充満センサー
(システムモニタリングアイコン) 30-12
コーナーポスト
Dial-A-Speed
自動／手動調整 40-12
VisionTrak 予備調整 40-32
VisionTrak™ 40-26
VisionTrak™ パフォーマンスモニタ
(一般情報) 40-28
VisionTrak™ パフォーマンスモニタの操作 40-29
VisionTrak™ 作動点検 40-32
アクティブヘッダーフロート 40-16
アクティブヘッダー制御 40-4
カッターバー前後位置 (欧州向け 600X
ヘッダープラットフォーム) 40-24
デッキプレート位置再開 40-20
ヘッダー高さ検出 40-8
ヘッダー高さ検出
(HydraFlex プラットフォーム) 40-10
ヘッダー高さ再開 40-6
リール位置再開 40-18
横方向傾斜 (オプション) 40-14
起動ボタンモードの組み合せ 40-5
自動ヘッダー高さ制御システムの説明 40-4
油圧フィーダーハウス前後傾斜
(装備されている場合) 40-22
コンバインの設定ナビゲーション 30-6
コンバインメインナビゲーション 30-5
コンバインメイン画面 30-11
コンバイン設定画面 30-19
Harvest Smart™ フィードレートの設定
(装備されている場合) 30-22, 30-54
アンローディングレートオフセットの
設定 30-19, 30-23
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合) 30-41, 30-49
コンバインの改善目標 30-22, 30-42
システムモニタリングアイコン 30-45, 30-50
以前の受け入れ可能なパラメータ設定の
確認 30-47, 30-52
改善設定の確認 30-46, 30-51
穀粒ロスの改善 30-43

ページ

穀粒品質の改善 30-44
最適化完了 30-48, 30-53
収穫時の優先項目の設定 30-22, 30-43
推奨機械の変更 30-44, 30-48, 30-49, 30-53
グレインタンクレベルの設定 30-19, 30-23
機械の設定 30-21
機械の設定の変更 30-39
穀粒ロスの設定の変更 30-37
作物の設定 30-21
作物の変更 30-37
作物因子メニューの変更 30-39
残留物管理の設定 30-20
残留物管理の設定 (スプレッダー回転数) 30-25
残留物管理の設定 (セパレータ羽根位置) 30-25
残留物管理の設定 (チョッパー位置) 30-25
残留物管理の設定
(チョップツードロップ位置) 30-25
収量単位の設定 30-20
収量単位の設定の変更 30-26
水分の設定 30-20
水分の設定の変更 30-26
水分補正の設定の変更 30-26
折りたたみ機能の設定 30-20
折りたたみ式オーガの設定
(装備されている場合) 30-24
折りたたみ式グレインタンクカバーの設定
(装備されている場合) 30-24
折りたたみ式コーンヘッドの設定
(装備されている場合) 30-24
名前をカスタマイズした作物 30-40
サイドベルト回転数低減
(システムモニタリングアイコン) 30-12
ナビゲーション
(GreenStar™ 3 2630 ディスプレイ) 30-3
ナビゲーション (GreenStar™ 3 CommandCenter™
タッチスクリーン) 30-2
ナビゲーション (GreenStar™ 3 CommandCenter™
非タッチスクリーン) 30-1
ナビゲーションのレイアウト 30-4
パフォーマンスモニタ設定の再構成 30-14
ヘッダー設定のナビゲーション 30-7
ヘッダー設定画面 30-54
ヘッダー設定の変更 30-57
自動ヘッダー制御 (AHC) の設定 30-61
マルチファンクションレバーの設定画面 30-62
ラジオナビゲーション 30-4
較正画面 30-65
機械の詳細設定の再構成 30-14
牽引モードの設定画面 30-66
左領域のレイアウト 30-11
手動記録 30-13
収穫情報ナビゲーション 30-6

次のページへ

ページ

収穫情報画面 30-15
刈幅の変更 30-17
作物総収量の消去 30-19
作物総収量情報 30-16
収量ウェットまたは収量ドライの選択 30-17
圃場総収量の消去 30-18
圃場総収量情報 30-15
収量較正 30-27
タイヤ半径コードの変更 30-34
診断と較正のナビゲーション 30-5
診断画面 30-66
水分センサー温度の較正 30-35
特殊テスト 30-88
特殊テスト画面 30-66
複数のディスプレイの接続 30-90
補助制御装置の接続 30-90
領域のレイアウト 30-10
テールボード
PowerCast (オプション)
リアシュラウド 75-6
交換
PowerCast ブレード (オプション) 75-5
調整 75-1
PowerCast (オプション) 75-5
羽根 75-2, 80-2
羽根の設定 75-3, 75-4, 80-3
適合宣言 180-15
テスト
排ガス処理用尿素水 (DEF) 160-7
デッキプレート位置再開 40-20
有効化 30-61
電気
トラブルシューティング 170-17
部品の取り扱いの注意 90-2
電気システム
ケーブルの接続 90-4
バッテリの取り外しと取り付け (S660、S670) 90-6
バッテリの取り外しと取り付け
(S680、S685、S690) 90-8
バッテリの充電 90-5
バッテリ遮断スイッチ 90-9
ハロゲンバルブの安全規則 90-11
ヒューズセンター 90-10
カバー 90-9
ブースターの接続 90-6
交換
アクセスドアワークライト 90-18
アンローディングオーガライト 90-18
キャビンインテリアライト 90-19
キャビンハロゲンライトバルブ 90-13
キャビンヘッドライトバルブ 90-12
クリーニングシューライト 90-18
グレインタンクライト 90-18
サイドファインダーライト 90-18

ページ

スタッブルライト 90-18
ディスチャージライト 90-18
ハザード／マーカーライト 90-19
ビーコンライト (LED) 90-18
ビーコンライトバルブ (LED なし) 90-17
フェーシアライトバルブ
(装備されている場合) 90-14
マーカー／ブレーキライト 90-19
マップライト 90-20
リアハザードライト 90-19
下部運転ライトバルブ
(装備されている場合) 90-14
高輝度放電 (キセノン) ライトバルブ 90-16
補助圃場ライト 90-18
高輝度放電バルブの安全規則 90-15
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
注意事項 90-2
調整
キャビンハロゲンライト 90-13
キャビンヘッドライト 90-12
下部運転ライトバルブ (装備されている場合) ... 90-15
高輝度放電 (キセノン) ライト 90-17
比重の点検 90-5
点検間隔
消去または遅延 165-1

と

トウモロコシ (ウェット)
作物の設定 135-2
トウモロコシ (ドライ)
作物の設定 135-2
トウモロコシ穂軸混合
作物の設定 135-2
動力の遮断手順 135-10
道路輸送 125-1
ヘッダーを取り付けた状態 100-1, 125-1
特殊テスト
画面 30-66
トラブルシューティング
CAN バス情報 30-91
Harvest Smart フィードレート (オプション)
リンプモードと緊急モード 140-14
Harvest Smart™ フィードレート (オプション) .. 140-11, 140-12
エアコン 170-19
エンジン 170-9
ステアリング 170-7
セパレータ 170-2
デバッグファイルの転送 30-91
ハイドロスタティックグラウンドドライブ 170-5
ヒーター 170-18
フィーダーハウス 170-1

次のページへ

ページ

フィードレート (オプション) 140-11, 140-12
リンプモードと緊急モード 140-14
ブレーキ 170-8
較正 30-65
ディスプレイナビゲーション 30-5
牽引モードの設定 30-66
四輪駆動 (オプション) 170-7
質量流量センサー (装備されている場合) 170-20
診断
ディスプレイナビゲーション 30-5
診断アドレス情報 30-91
診断トラブルコード情報 30-91
診断読み値 30-66
水分センサー (装備されている場合) 170-19
電気 170-17
電子コントロールユニット情報 30-91
特殊テスト 30-66
トルク表
メートル法 180-18
ユニファイインチ 180-17
トレーラーヒッチ
自動 (オプション) 125-15
半自動 (標準) 125-15
ドレン穴
グレインタンク 85-1

な

ナタネ (ドライ)
作物の設定 135-5
ナタネ (未乾燥)
作物の設定 135-6
名前をカスタマイズした作物
コンバイン設定画面 30-40
慣らし運転整備
100 時間後点検 (ティア 2／ステージ II) 105-4
400 時間後点検 (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 105-5
エンジン 105-1
最初の 100 時間後点検 105-4
慣らし運転用エンジンオイル
インテリムティア 4／ステージ III B および
ファイナル ティア 4／ステージ IV 160-15
慣らし運転用エンジンオイル
(ティア 2／ステージ II) 160-15

ね

燃料
システムのエア抜き 120-15
システムの点検 110-3
シャットオフバルブ 120-7
タンクの抜き取り 120-7
タンクへの充填 120-7, 160-2
ディーゼル 160-3

ページ

バイオディーゼル 160-4
フラッシング
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-10
ブリーザー (ファイナル ティア 4／ステージ IV) ... 110-5
交換
1 次および 2 次燃料フィルタ (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-14
1 次および 2 次燃料フィルタ
(ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-12
1 次および 2 次燃料フィルタ
(ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-13
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-11
取り扱いと保管 160-2
充填
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-4
潤滑性 160-5
清掃
プリクリーナ 120-9
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-11
燃料タンクブリーザーの点検 110-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの点検
抜き取り
ウォーターセパレータ 1 次フィルタ 120-8
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-5
燃料再補充時、静電気発生リスクの防止 10-6, 160-1
燃料システム 120-2
エア抜き 120-15
改造禁止 120-2
点検 110-3
燃料タンク
シャットオフバルブ 120-7
ブリーザーの点検 110-4
充填 120-7, 160-2
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
抜き取り 120-7
燃料の保管 160-2
燃料フィルタ
フィルタ、燃料 160-22
燃料補充時の静電気リスクの防止 10-6, 160-1

は

バージョン情報
(ソフトウェアおよびハードウェア情報) 30-87, 30-88
ハードウェア
バージョン情報 30-87
バイオディーゼル燃料 160-4

次のページへ

ページ

排ガス処理用尿素水 (DEF)
タンク、清掃 160-10
テスト 160-7
仕様 160-7
廃棄 160-10
保管 160-8
補充 160-9
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク
ブリーザーの点検 110-5
交換
フィルタ 120-6
充填 120-4
清掃 160-10
抜き取り 120-5
廃棄
排ガス処理用尿素水 (DEF) 160-10
廃棄、エグゾーストフィルタ 120-63
ハイドロスタティックグラウンドドライブ
トラブルシューティング 170-5
バキュームファン
交換
ドライブベルト (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670) 120-45
ドライブベルト (インテリムティア 4／ステージ III B) (S680、S685、S690) 120-46
従動ベルト (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、S670) 120-47
ハザードライト
交換 90-19
バックアップアラーム 125-6
バッテリ
ケーブルの接続 90-4
ブースターの接続 90-6
安全な取り付け 90-4
遮断スイッチ 90-9
取り外しと取り付け (S660、S670) 90-6
取り外しと取り付け (S680、S685、S690) 90-8
充電 90-5
比重の点検 90-5
バッテリの取り扱い、安全
安全、バッテリの取り扱い 10-17, 90-3
羽根
調整
作物ダイバータ 75-8, 80-4
パネル
ガルウイングドア 65-1
セパレータカバー 65-5
フィーダーハウス 60-1
右側 65-4
左側 65-2

ページ

パフォーマンスモニタアプリケーション
ヘッダー幅情報 30-93
メニュー情報 30-92
情報の消去 30-93
点検間隔情報 30-93
面積カウンター情報 30-93
バラスト
液体ウエイト 100-6
要件 (S660) 100-7
要件 (S670 HillMaster™) 100-9
要件 (S670) 100-8
要件 (S680 HillMaster™) 100-12
要件 (S680) 100-10
要件 (S685 HillMaster™) 100-13
要件 (S685) 100-11
要件 (S690 HillMaster™) 100-13
要件 (S690) 100-11

ひ

ビーコン
交換
ライト (LED) 90-18
ライトバルブ (LED なし) 90-17
ヒーター
トラブルシューティング 170-18
ひじかけ
アクセスマネージャアプリケーション
アクセスレベルの設定 30-98
アプリケーションのロック／ロック解除 30-99
パスワードの変更 30-98
コントロール
ClimaTrak 自動温度コントロール 35-23
オペレータインターフェース 35-19
マルチファンクションレバー、AutoTrac™ 再開 (装備されている場合) 35-31
マルチファンクションレバー、アンローディングオーガドライブ 35-28
マルチファンクションレバー、アンローディングオーガ旋回 35-27
マルチファンクションレバー、カッターバー前後 (600X ヘッダープラットフォーム) 35-32
マルチファンクションレバー、コーンヘッドバックシャフト回転数／調整式デッキプレート間隔 35-30
マルチファンクションレバー、ドレーパーカッターバー傾斜スイッチ (600D ドレーパー) 35-32
マルチファンクションレバー、プラットフォームリールリフト／リール前後 35-30
マルチファンクションレバー、ヘッダー起動 ... 35-31
マルチファンクションレバー、ヘッダー昇降 ... 35-28
マルチファンクションレバー、機械同期 (装備されている場合) 35-29

次のページへ

ページ

マルチファンクションレバー、油圧フィーダーハウス前後傾斜 (装備されている場合) 35-32
マルチファンクションレバークイックストップ 35-27
マルチファンクションレバースイッチ 35-26
マルチファンクションレバーパーム調整 35-25
マルチファンクションレバー横方向傾斜 35-29
スイッチ
CommandARM™ コントロール 35-11
Harvest Smart™ フィードレート有効化(装備されている場合) 35-4
HillMaster 水平調整制御 35-22, 145-4
ProDrive モード (ProDrive 装備の機械)(装備されている場合) 35-6
エンジン回転数 35-5
クリーニングファン回転数の調整 35-13
サイドベルト回転数低減 35-19
スプレッダー回転数の調整(Advanced PowerCast™ スプレッダー) 35-15
スプレッダー回転数の調整(PowerCast™ スプレッダー) 35-14
スプレッダー回転数の調整(わらスプレッダー) 35-14
セットポイントモード (手動または自動) 35-20
セパレータ接続 35-3
チャファーの調整 35-18
ディスチャージスワップ(装備されている場合) 35-16
テールボード羽根角度の調整(装備されている場合) 35-18
デフロック (装備されている場合) 35-8
パーキングブレーキ (装備されている場合) 35-5
ひじかけコントロール 35-1
フィーダーハウスリバーサ、シフト 35-3
フィーダーハウスレート／感度調整 35-17
ふるいの調整 35-18
ヘッダー接続およびフィーダーハウスリバーサ .. 35-2
ヘッダー調整 35-12
ライト 35-24
ラジオ機能 (装備されている場合) 35-25
押しボタンシフトギアスイッチ(装備されている場合) 35-6
四輪駆動 (装備されている場合) 35-8
折りたたみ機能ショートカット(装備されている場合) 35-10
脱穀隙間の調整 35-18
脱穀速度の調整 35-13
道路輸送切断 35-10
ダイヤル
Dial-A-Speed ダイヤル自動／手動調整 35-9
ヘッダー高さ／HydraFlex 圧力の制御 35-9

ページ

ディスプレイ
Harvest Smart™ フィードレート(装備されている場合)(システムモニタリングアイコン) 30-13
アイコンの識別 30-8
アンローディングオーガ(システムモニタリングアイコン) 30-12
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合)(システムモニタリングアイコン) 30-12
インフォテイメントナビゲーション 30-4
エンジン情報ナビゲーション 30-7
エンジン情報画面 30-62
エグゾーストフィルタクリーニング(インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 30-63
エンジン回転数管理(ProDrive™ 装備の機械) 30-64
グレインタンク充満センサー(システムモニタリングアイコン) 30-12
コンバインの設定ナビゲーション 30-6
コンバインメインナビゲーション 30-5
コンバインメイン画面 30-11
コンバイン設定画面 30-19
Harvest Smart™ フィードレートの設定(装備されている場合) 30-22, 30-54
アンローディングレートオフセットの設定 30-19, 30-23
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合) 30-41, 30-49
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合)(コンバインの改善目標) 30-22, 30-42
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合)(システムモニタリングアイコン) .. 30-45, 30-50
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合) (以前の受け入れ可能なパラメータ設定の確認) 30-47, 30-52
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合)(改善設定の確認) 30-46, 30-51
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合)(穀粒ロスの改善) 30-43
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合)(穀粒品質の改善) 30-44
インタラクティブコンバイン調整(装備されている場合)(最適化完了) 30-48, 30-53

次のページへ

ページ

インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(収穫時の優先順位の設定) 30-22, 30-43
インタラクティブコンバイン調整
(装備されている場合)
(推奨機械の変更) 30-44, 30-48, 30-49, 30-53
グレインタンクレベルの設定 30-19, 30-23
機械の設定 30-21
機械の設定の変更 30-39
穀粒ロスの設定の変更 30-37
作物の設定 30-21
作物の変更 30-37
作物因子メニューの変更 30-39
残留物管理の設定 30-20
残留物管理の設定 (スプレッダー回転数) 30-25
残留物管理の設定 (セパレータ羽根位置) 30-25
残留物管理の設定 (チョッパー位置) 30-25
残留物管理の設定
(チョップツードロップ位置) 30-25
収量単位の設定 30-20
収量単位の設定の変更 30-26
水分の設定 30-20
水分の設定の変更 30-26
水分補正の設定の変更 30-26
折りたたみ機能の設定 30-20
折りたたみ式オーガの設定
(装備されている場合) 30-24
折りたたみ式グレインタンクカバーの設定
(装備されている場合) 30-24
折りたたみ式コーンヘッドの設定
(装備されている場合) 30-24
名前をカスタマイズした作物 30-40
サイドベルト回転数低減
(システムモニタリングアイコン) 30-12
タイヤ半径コードの変更 30-34
ナビゲーション
(GreenStar™ 3 2630 ディスプレイ) 30-3
ナビゲーション
(GreenStar™ 3 CommandCenter™ タッチスクリーン)
30-2
ナビゲーション
(GreenStar™ 3 CommandCenter™
非タッチスクリーン) 30-1
ナビゲーションのレイアウト 30-4
パフォーマンスモニタ設定の再構成 30-14
ヘッダー設定のナビゲーション 30-7
ヘッダー設定画面 30-54
ヘッダー設定の変更 30-57
自動ヘッダー制御 (AHC) の設定 30-61
マルチファンクションレバーの設定 30-62
ラジオナビゲーション 30-4
較正画面 30-65
機械の詳細設定の再構成 30-14

ページ

牽引モードの設定画面 30-66
左領域のレイアウト 30-11
手動記録 30-13
収穫情報ナビゲーション 30-6
収穫情報画面 30-15
刈幅の変更 30-17
作物総収量の消去 30-19
作物総収量情報 30-16
収量ウェットまたは収量ドライの選択 30-17
圃場総収量の消去 30-18
圃場総収量情報 30-15
収量較正 30-27
診断と較正のナビゲーション 30-5
診断画面 30-66
水分センサー温度の較正 30-35
水分と密度の一覧表 30-36
特殊テスト画面 30-66
標準重量表 30-36
領域のレイアウト 30-10
ディスプレイアプリケーション
アラーム音量 30-82
キャビンとの同期 30-82
グローバルポジショニングシステム (GPS)
日付／時刻設定 30-86
ディスプレイテスト 30-88
バージョン情報
(ソフトウェアおよびハードウェア情報) 30-87
輝度レベル 30-81
境界ボックスの色 30-83
減光モード 30-81
言語の設定 30-84
時刻の設定 30-86
診断読み値 30-88
測定単位の設定 30-84
地域の設定 30-84
昼／夜の設定 30-81
日付設定 30-86
複数のディスプレイの接続 30-90
補助制御装置の接続 30-90
パフォーマンスモニタアプリケーション
ヘッダー幅情報 30-93
メニュー情報 30-92
情報の消去 30-93
点検間隔情報 30-93
面積カウンター情報 30-93
ビデオアプリケーション
コントラストの調整 30-96
ビデオインターフェース機能 30-95
ビデオ設定 30-97
ミラーの設定 30-96
安全 30-96

次のページへ

ページ

メッセージセンターアプリケーション
CAN バス情報 30-91
デバッグファイルの転送 30-91
メッセージ情報 30-91
診断アドレス情報 30-91
診断トラブルコード情報 30-91
電子コントロールユニット情報 30-91
レイアウトマネージャアプリケーション
ホームページ領域の設定 30-94
調整
コントロールコンソール 50-8
ディスプレイ 50-8
非常出口 50-1
日付設定
変更 30-86
ヒッチ
AutoMatic (オプション) 125-15
半自動 (標準) 125-15
ビデオアプリケーション
コントラストの調整 30-96
ビデオインターフェース機能 30-95
ビデオ設定 30-97
ミラーの設定 30-96
安全 30-96
ヒマワリ
作物の設定 135-7
ヒューズ
センター 90-10
カバー 90-9
標準重量表 30-36
ヒヨコ豆
作物の設定 135-1
ヒラマメ
作物の設定 135-3
昼／夜の設定
調整 30-81

ふ

ファンベルト
交換 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-20
交換 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-28
フィーダーハウス
サイドシールド 60-1
シリンダ安全ストップ 60-1
ストーントラップ 60-3
せん断ねじの位置 60-37
ドア 60-2
トラブルシューティング 170-1
フィードアクセルレータのトップアクセスドア 60-2
フィードプレートシールサポート 60-3
ラッチ解除
ピン 60-37
リバーサのシフト 35-3

ページ

交換
CommandTouch マルチスピードフィーダー
ハウスドライブベルト 60-26
ヘッダーリール／ベルトピックアップ
ポンプベルト (CommandTouch マルチスピード
フィーダーハウス) 60-27
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(可変速フィーダーハウス) 60-17
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(固定速度フィーダーハウス) 60-23
可変速ドライブベルト 60-11
固定速度ドライブベルト 60-22
取り外し
コンベアチェーンリンク 60-7
ヘッダー 60-33
取り付け
ヘッダー 60-33
マルチカプラーとシングルポイントラッチ 60-30
手動傾斜インジケーター 60-29
上部シャフトスプロケット 60-11
清掃
ラッチピン 60-37
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)
機械の清掃 155-11
設定
前後傾斜フレーム 60-4
前後傾斜
マルチファンクションレバーの設定 30-62
調整
CommandTouch マルチスピードフィーダー
ハウスドライブベルト 60-27
コンベアチェーン 60-6
コンベアドライブチェーン 60-10
シム (平地) 60-36
シングルポイントラッチ 60-34
ドラム高さ 60-8
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(CommandTouch マルチスピード
フィーダーハウス) 60-29
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(可変速フィーダーハウス) 60-22
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプベルト
(固定速度フィーダーハウス) 60-26
下部ケーブル端 (平地) 60-36
可変速ドライブベルト 60-13
固定速度ドライブベルト 60-23
前後傾斜フレーム 60-4
底部ドア 60-3
変更
コンベア速度 60-8
フィードアクセルレータ
トップアクセスドア 60-2
詰まり除去 70-87

次のページへ

ページ

交換
高速大容量フィードアクセルレータベルト 70-7
標準速度大容量フィードアクセルレータベルト .. 70-7
摩耗ストリップ (タイン) 70-3
摩耗ストリップ (難脱穀性作物) 70-2
摩耗ストリップ (標準) 70-1
取り外し
コームフロア (イネ用機械) 70-4
調整
ベルト 70-8
変更
高速大容量フィードアクセルレータの速度 70-10
標準速度大容量フィードアクセルレータの速度 70-9
フィードプレート
シールサポート 60-3
フィードレート (オプション)
キャパシティモード 140-1
システムの症状 140-11
システムの説明 140-1
スマートモード 140-1
トラブルシューティング 140-12
リンプモードと緊急モード 140-14
安全な操作 140-1
初期較正 140-7
推奨事項 140-10
操作 140-8
追加情報 140-9
圃場の症状 140-11
フィルタ
フラッシング
ヘビーデューティ燃料プレクリーナ (オプション) 120-10
交換
1 次および 2 次燃料フィルタ (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-14
1 次および 2 次燃料フィルタ (ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-12
1 次および 2 次燃料フィルタ (ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-13
ヘビーデューティ燃料プレクリーナ (オプション) 120-11
排ガス処理用尿素水 (DEF) フィルタ (ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-6
取り外し
エアクリーナフィルタ 120-61
エンジンデブリマネジメントエアフィルタ (インテリムティア 4／ステージ III B およびファイナル ティア 4／ステージ IV) . 120-60
清掃
プリクリーナ 120-9

ページ

ヘビーデューティ燃料プレクリーナ (オプション) 120-11
抜き取り
ウォーターセパレータ 1 次フィルタ 120-8
フィルタ、オイル
オイルフィルタ 160-22
ふるい
高歯ふるい 70-67
取り外し
エレメント 70-68
取り付け
エレメント 70-68
測定 70-66
調整
モーター 70-71
調整スイッチ 70-68
汎用ふるい 70-67
ブレーキ
トラブルシューティング 170-8
ペダル 50-13
手動パーキング (装備されている場合) 50-12
ブレーキフルード (装備されている場合) 160-21
ブレーキライト
交換 90-19

へ

ヘッダー
安全な輸送 10-3
取り外し 60-33
取り付け 60-33
ヘッダー高さ
検出 40-8
検出 (HydraFlex プラットフォーム) 40-10
再開 40-6
自動システムの説明 40-4
ヘッダー高さ検出
有効化 30-61
ヘッダー高さ再開
有効化 30-61
ヘッダーの設定
コーンヘッド
刈幅の変更 30-57
記録停止高さ 30-57
条間隔の変更 30-57
ディスプレイナビゲーション 30-7
プラットフォーム
刈幅の変更 30-57
記録停止高さ 30-57
最低リール速度の変更 30-57
画面 30-54
自動ヘッダー制御 (AHC) の設定 30-61
手動記録 30-13

次のページへ

ページ

有効化
Dial-A-Speed 30-61
アクティブヘッダーフロート 30-61
デッキプレート位置 30-61
ヘッダー高さ検出 30-61
ヘッダー高さ再開 30-61
リール位置 30-61
横方向傾斜 30-61
ヘッドライト
交換
キャビンハロゲンライトバルブ 90-13
バルブ 90-12
フェーシアライトバルブ
(装備されている場合) 90-14
下部運転ライトバルブ (装備されている場合) ... 90-14
高輝度放電 (キセノン) ライトバルブ 90-16
調整 90-12
キャビンハロゲンライト 90-13
下部運転ライトバルブ (装備されている場合) ... 90-15
高輝度放電 (キセノン) ライト 90-17
ベニバナ
作物の設定 135-6
ベルト
エンジンでの取り回し
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-33
エンジンでの取り回し
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-34
エンジンでの取り回し (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 120-19
エンジンでの取り回し (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-19
右ドライブベルト (S660、S670) 70-86
右ドライブベルト (S680、S685、S690) 70-87
交換
2 番物システム (S680、S685、S690) 70-78
CommandTouch マルチスピードフィーダー
ハウスドライブ 60-26
アンローディングオーガドライブ
(S660、S670) 85-11
アンローディングオーガドライブ
(S680、S685、S690) 85-13
エアコン (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-34
エアコン (インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-38
エンジンデブリマネジメントベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B および
ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-58
オーバーショットビーター
(装備されている場合) 70-59

ページ

オルタネータ (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-34
オルタネータ (インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-38
カウンタシャフト右フロント 70-61
カウンタシャフト右リア 70-62
クリーニングシュー 70-64
クリーニングファン 70-64, 70-65
クリーングレインエレベーター 70-72
コンベアオーガ 70-64
チョッパー 75-18, 80-16
チョッパージャックシャフト (S660、S670) 75-24
チョッパージャックシャフト (S670) 80-22
チョッパージャックシャフト
(S680、S685、S690) 75-26, 80-24
ディスチャージビーター 70-51
バキュームファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-45
バキュームファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-46
バキュームファン従動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-47
バリアブルドライブ 70-50
ファンドライブ (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 120-20
ファンドライブ (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-28
ファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-52
フィーダーハウス可変速ドライブ 60-11
フィーダーハウス固定速度ドライブ 60-22
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプ
(CommandTouch マルチスピード
フィーダーハウス) 60-27
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプ
(可変速フィーダーハウス) 60-17
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプ
(固定速度フィーダーハウス) 60-23
ロータリースクリーン駆動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-43
ロータリースクリーン駆動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-44
ロータリースクリーン駆動ベルト
(ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-31

次のページへ

ページ

ロータリースクリーン駆動ベルト
(ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-32
回転数可変ファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-47
高速大容量フィードアクセルレータ 70-7
標準速度大容量フィードアクセルレータ 70-7
補機 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-20
補機 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-23
左ドライブベルト 70-85
取り回し
ロータリースクリーンベルト 120-31
調整
2 番物エレベーター (S660、S670) 70-75
2 番物システム (S680、S685、S690) 70-77
CommandTouch マルチスピードフィーダー
ハウスドライブ 60-27
オーバーショットビーター
(装備されている場合) 70-58
カウンタシャフト右フロント 70-61
カウンタシャフト右リア 70-62
クリーニングシュー 70-64
クリーニングファン 70-64
クリーングレインエレベーター 70-72
コンベアオーガ 70-64
チョッパージャックシャフト 75-23, 80-21
チョッパードライブ 75-17, 80-15
ディスチャージビーター 70-51
フィーダーハウス可変速ドライブ 60-13
フィーダーハウス固定速度ドライブ 60-23
フィードアクセルレータ 70-8
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプ
(CommandTouch マルチスピード
フィーダーハウス) 60-29
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプ
(可変速フィーダーハウス) 60-22
ヘッダーリール／ベルトピックアップポンプ
(固定速度フィーダーハウス) 60-26
最初の 50 時間 105-3
ベルトピックアップ回転数
自動調整 35-9, 40-12
手動調整 35-9, 40-12

ほ

ホイールオフセット
フロントタイヤ 100-5
保管
機械の準備 175-1
冬季に対する冷却システムの準備 120-18
排ガス処理用尿素水 (DEF) 160-8
保管からの機械の復帰 175-2
補機ベルト
交換 (ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-20

ページ

交換 (ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-23
補給
排ガス処理用尿素水 (DEF) 160-9
牧草種子
作物の設定 135-3
補助電源コンセント 50-9
補助圃場ライト
交換 90-18
ポップコーン
作物の設定 135-5
圃場総収量
情報画面 30-15
圃場総収量の消去
収穫情報画面 30-18
ボルトとネジの締め付けトルク値
メートル法 180-18
ユニファイインチ 180-17

ま

マーカーライト
交換 90-19
マイク (オプション) 25-1
マップライト
交換 90-20
マルチカプラー
取り付け 60-30
マルチファンクションレバー
AutoTrac™ 再開 (装備されている場合) 35-31
アンローディングオーガドライブ 35-28
アンローディングオーガ旋回 35-27
カッターバー前後
(600X ヘッダープラットフォーム) 35-32
クイックストップ 35-27
コーンヘッドバックシャフト回転数／
調整式デッキプレート間隔 35-30
ドレーパーカッターバー傾斜スイッチ
(600D ドレーパー) 35-32
パーム調整 35-25
プラットフォームリールリフト／リール前後 35-30
ヘッダーの昇降 35-28
ヘッダー起動 35-31
横方向傾斜 35-29
機械同期 (装備されている場合) 35-29
設定 30-62
油圧フィーダーハウス前後傾斜
(装備されている場合) 35-32
マルチファンクションレバースイッチ 35-26

み

ミラー
コントロールスイッチ (オプション) 25-2
ヒータースイッチ (オプション) 25-1

次のページへ

ページ

め

メートルボルトとネジの締め付けトルク値 180-18
メッセージセンター
ディスプレイ情報 30-91
メンテナンス
10 時間ごと 165-4, 165-6
100 時間ごと 165-15
1000 時間ごと 165-42, 165-43
1000 時間ごと (S670 ProDrive™ 装備の機械) 165-41
200 時間ごと 165-16, 165-17
2000 時間ごと 165-44, 165-46
250 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 165-20
250 時間ごと
(インテリムティア 4／ステージ III B) 165-22
250 時間ごと (ティア 2／ステージ II) 165-18, 165-19
400 時間ごと 165-23, 165-39
400 時間ごと (インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) 165-26
400 時間ごと
または毎年 165-27, 165-29, 165-31, 165-37
400 時間ごとまたは毎年
(S660、S670 ProDrive™ 非装備の機械) 165-33
400 時間ごとまたは毎年 (S660、S670 押しボタン
シフトトランスミッション装備の機械) 165-34
400 時間ごとまたは毎年
(S670 ProDrive 装備の機械) 165-35
400 時間ごとまたは毎年 (S680、S685、S690 ProDrive™
装備の機械) 165-36
400 時間ごとまたは毎年
(インテリムティア 4／ステージ III B) 165-25
400 時間ごとまたは毎年
(ティア 2／ステージ II) 165-24
4500 時間ごと 165-47
4500 時間ごとまたは 3 年ごと
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 165-47
50 時間ごと 165-7, 165-8, 165-10, 165-12, 165-13
6000 時間ごとまたは 6 年ごと 165-48
800 時間ごと 165-40
アキュムレータ圧力 165-3
エンジンオイルの点検 110-1, 120-3
エンジンの慣らし運転 105-1
エンジンルームの清掃 110-9, 150-4
クーラントレベルの点検 110-2
タイヤ空気圧の点検 100-2
ハイドロスタティックオイルの点検 110-2
フラッシング
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-10
リアホイールボルトのトルク 100-6
火災防止 150-1
慣らし運転整備、100 時間後
(ティア 2／ステージ II) 105-4

ページ

慣らし運転整備、400 時間後
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) ... 105-5
慣らし運転点検、最初の 100 時間 105-4
駆動輪ボルトのトルク (シングルタイヤ構成) 100-4
交換
1 次および 2 次燃料フィルタ (インテリムティア 4／
ステージ III B およびファイナル ティア 4／
ステージ IV) 120-14
1 次および 2 次燃料フィルタ (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 120-12
1 次および 2 次燃料フィルタ (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-13
Advanced PowerCast スプレッダー
ディスク 80-28
オーバーショットビーターウイング
(装備されている場合) 70-60
タインフィードアクセルレータの
摩耗ストリップ 70-3
チョッパーブレード 75-13, 80-11
ディスクアセンブリ (シングルスピード) 75-34
ディスクアセンブリ (デュアルスピード) 75-35
ディスチャージビーター摩耗ストリップ 70-56
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ
(オプション) 120-11
固定ナイフバンクブレード 75-12, 80-9
中間スプリッタナイフ 80-10
難脱穀性作物用ディスチャージビーター
摩耗ストリップ 70-58
難脱穀性作物用フィードアクセルレータの
摩耗ストリップ 70-2
排ガス処理用尿素水 (DEF) フィルタ
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-6
標準ディスチャージビーター
摩耗ストリップ 70-57
標準フィードアクセルレータ
摩耗ストリップ 70-1
油圧ホース 165-3
最初の 100 時間 (S670、S680、S685、
S690 ProDrive™ 装備の機械) 165-14
作動油リザーバーオイルの点検 110-2
取り外し
エアクリーナフィルタ 120-61
エンジンデブリマネジメントエアフィルタ
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) . 120-60
充填
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク
(ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-4
潤滑ステッカーの位置 165-2
潤滑マーク 165-4
消火器 150-1
心出し
チョッパーブレード 75-14, 80-12

次のページへ

ページ

清掃
2 番物システムエレベーターセンサー 70-74
オイルクーラー 120-56
コンデンサ 120-56
チャージャエアクーラー 120-56
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション) 120-11
ラジエータ 120-56
ロータリースクリーン 120-56
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
質量流量センサー (グレインタンクエクステンション) 85-8
質量流量センサー (グレインタンクカバー) 85-9
燃料プレクリーナ 120-9
清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)
機械の清掃 155-11
調整
アンローディングオーガクレードルサポート ... 85-10
アンローディングオーガドライブチェーン 85-9
アンローディングオーガ位置 85-10
クリーングレインエレベーターコンベアチェーン 70-73
グレインタンクカバー (装備されている場合) 85-4
グレインタンクローディングオーガ (グレインタンクカバー) 85-7
ベルト、最初の 50 時間 105-3
点検
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (ファイナル ティア 4／ステージ IV) 110-5
点検間隔
消去または遅延 165-1
冬季に対する冷却システムの準備 120-18
燃料システムのエア抜き 120-15
燃料システムの点検 110-3
燃料タンクシャットオフバルブ 120-7
燃料タンクの充填 120-7, 160-2
燃料タンクの抜き取り 120-7
燃料タンクブリーザーの点検 110-4
抜き取り
ウォーターセパレータ 1 次フィルタ 120-8
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナル ティア 4／ステージ IV) 120-5
必要に応じて 165-49
油圧システムの清浄度 165-3
冷却システムの充填 120-18
冷却システムの抜き取り 120-16

も

モロコシ
作物の設定 135-7

ページ

ゆ

油圧システム
アキュムレータ圧力 165-3
ホースの交換 165-3
リザーバーのオイルの点検 110-2
清浄度 165-3
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 155-2
清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)
機械の清掃 155-11
油圧フィーダーハウス前後傾斜 (装備されている場合) 40-22
輸送情報 125-12
ユニファイボルトとネジの締め付けトルク値 180-17

よ

横方向傾斜
有効化 30-61
横方向傾斜 (オプション) 40-14
四輪駆動 (オプション)
トラブルシューティング 170-7

ら

ライコムギ
作物の設定 135-7
ライト
キャビンインテリア 55-9
スイッチ 35-24, 55-1
ターンシグナル 55-8
マップライト 55-9
ライトの位置 55-2
運転ライト (ロシアのみ) 55-8
交換
アクセスドアワークライト 90-18
アンローディングオーガライト 90-18
キャビンインテリアライト 90-19
キャビンハロゲンライトバルブ 90-13
キャビンヘッドライトバルブ 90-12
クリーニングシューライト 90-18
グレインタンクライト 90-18
サイドファインダーライト 90-18
スタッブルライト 90-18
ディスチャージライト 90-18
ハザード／マーカーライト 90-19
ハロゲンバルブの安全規則 90-11
ビーコンライト (LED) 90-18
ビーコンライトバルブ (LED なし) 90-17
フェーシアライトバルブ (装備されている場合) 90-14
マーカー／ブレーキライト 90-19

次のページへ

ページ

マップライト 90-20
リアハザードライト 90-19
下部運転ライトバルブ
(装備されている場合) 90-14
高輝度放電 (キセノン) ライトバルブ 90-16
高輝度放電バルブの安全規則 90-15
補助圃場ライト 90-18
照明の遅延／タイムアウト 55-8
調整
キャビンハロゲンライト 90-13
キャビンヘッドライト 90-12
下部運転ライトバルブ (装備されている場合) ... 90-15
高輝度放電 (キセノン) ライト 90-17
ライムギ
作物の設定 135-6
ラジエータ
クーラントレベルの点検 110-2
システムの抜き取り 120-16
システムへの充填 120-18
交換
バキュームファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-45
バキュームファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-46
バキュームファン従動ベルト (インテリムティア 4／
ステージ III B およびファイナル ティア 4／
ステージ IV) (S660、S670) 120-47
ファンドライブベルト (インテリムティア 4／
ステージ III B) (S680、S685、S690) 120-52
ロータリースクリーン駆動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-43
ロータリースクリーン駆動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-44
ロータリースクリーン駆動ベルト
(ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-31
ロータリースクリーン駆動ベルト
(ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-32
回転数可変ファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV) (S660、
S670) 120-47
取り回し
ロータリースクリーンベルト 120-31
清掃 120-56
調整
ロータリースクリーンブラシ 120-58
冬季に対するシステムの準備 120-18

ページ

ラジオ 25-2
CB の取り付け 25-4
アフターマーケットラジオ 25-3
アンテナ 25-3
コントロール 25-3
スイッチ (装備されている場合) 35-25
ディスプレイナビゲーション 30-4
プレミアムラジオ
CommandCenter
AUX (Auxiliary) ホームページ 30-74
Bluetooth オーディオ 30-74
CD/MP3 ホームページ 30-70
MW/LW ホームページ 30-68
USB ホームページ 30-72
ソース選択 30-67
設定 30-75

り

リアタラップと踊り場 120-1
リール位置
有効化 30-61
リール位置再開 40-18
リール回転数
自動調整 35-9, 40-12
手動調整 35-9, 40-12

る

ルピナス
作物の設定 135-4

れ

レイアウトマネージャアプリケーション
ホームページ領域の設定 30-94
冷却システム
クーラントレベルの点検 110-2
交換
バキュームファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-45
バキュームファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-46
バキュームファン従動ベルト (インテリムティア 4／
ステージ III B およびファイナル ティア 4／
ステージ IV) (S660、S670) 120-47
ファンドライブベルト (インテリムティア 4／
ステージ III B) (S680、S685、S690) 120-52
ロータリースクリーン駆動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-43

次のページへ

ページ

ロータリースクリーン駆動ベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B)
(S680、S685、S690) 120-44
ロータリースクリーン駆動ベルト
(ティア 2／ステージ II) (S660、S670) 120-31
ロータリースクリーン駆動ベルト
(ティア 2／ステージ II) (S680、S690) 120-32
回転数可変ファンドライブベルト
(インテリムティア 4／ステージ III B
およびファイナル ティア 4／ステージ IV)
(S660、S670) 120-47
取り回し
ロータリースクリーンベルト 120-31
充填 120-18
調整
ロータリースクリーンブラシ 120-58
冬季に対する準備 120-18
抜き取り 120-16
冷蔵庫 (装備されている場合) 50-7

ろ

ページ

ローター
セパレータタインの位置 (TriStream ローター
タフグレインローター構成) 70-41
セパレータタインの位置 (TriStream ローター
デンスパック構成) 70-42
セパレータタインの位置 (バリアブルストリーム
ローターデンスパック構成) 70-47
セパレータタインの位置 (バリアブルストリーム
ローター標準構成) 70-46
取り外し
脱穀エレメント (TriStream ローター) 70-39
脱穀エレメント
(バリアブルストリームローター) 70-43
脱穀タイン (TriStream ローター) 70-39
脱穀タイン
(バリアブルストリームローター) 70-43
取り付け
脱穀エレメント (TriStream ローター) 70-39
脱穀エレメント
(バリアブルストリームローター) 70-43
脱穀タイン (TriStream ローター) 70-39
脱穀タイン
(バリアブルストリームローター) 70-43
脱穀エレメントの位置 (TriStream ローター
タフグレインローター構成) 70-41
脱穀エレメントの位置 (TriStream ローター
デンスパック構成) 70-42
脱穀エレメントの位置 (バリアブルストリーム
ローターデンスパック構成) 70-47
脱穀エレメントの位置 (バリアブルストリーム
ローター標準構成) 70-46
ロータリースクリーン
交換
ドライブベルト (インテリムティア 4／
ステージ III B およびファイナル ティア 4／
ステージ IV) (S660、S670) 120-43
ドライブベルト (インテリムティア 4／
ステージ III B) (S680、S685、S690) 120-44
ドライブベルト (ティア 2／ステージ II)
(S660、S670) 120-31
ドライブベルト (ティア 2／ステージ II)
(S680、S690) 120-32
取り回し
ベルト 120-31
清掃 120-56
調整
ブラシ 120-58
ローディングオーガデフレクタ 85-6
ローディングオーガの折りたたみ
(グレインタンクエクステンション) 85-7

John Deere サービスがお客様の現場を守ります

John Deere 製部品

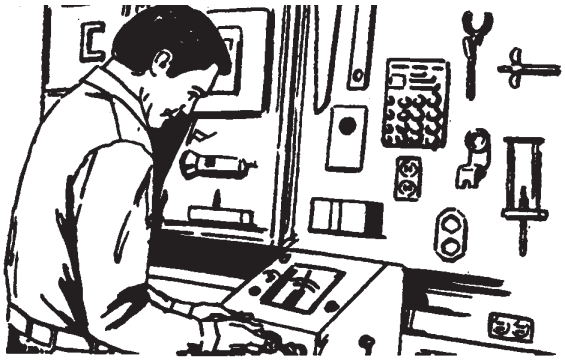
当社は、正規の John Deere 製部品を迅速にお届けして、ダウンタイムを最小限に抑えます。

豊富で充実した在庫を常に維持し、お客様のニーズを先取りしてお応えいたします。

DX,IBC,A -40-28NOV12-1/1

適切な工具

お客様の時間と経費を無駄にしないように、当社のサービス部門は、精密工具と検査機器を使用して迅速に故障を特定し、修理を行います。



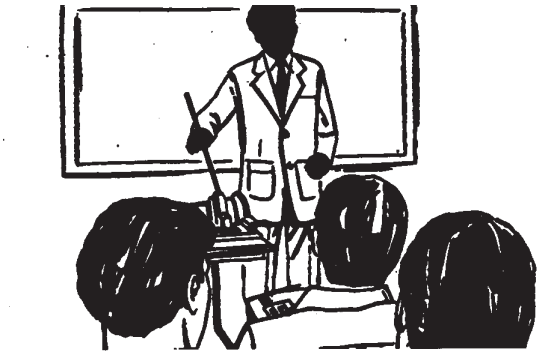
DX,IBC,B -40-28NOV12-1/1

十分な訓練を受けた技術員

John Deere 整備士にとって学習期間が終了することはありません。

お客様の機器およびそのメンテナンス方法を担当者に習得させるため、訓練教育は定期的に行われています。

その結果が、お客様に信頼していただける知識です。



DX,IBC,C -40-28NOV12-1/1

迅速なサービス

当社の目標は、お客様の望む時に、お客様の望む場所で、迅速で効率的なケアを提供することです。

お客様の所在地、または当社にて、それぞれの状況に応じた修理を行うことができます。何でもご安心してご相談ください。

卓越した JOHN DEERE のサービス：いつでも必要な時にお応えいたします。

DX,IBC,D -40-28NOV12-1/1

John Deere サービスがお客様の現場を守ります